第７　システム化に係わる「詳細設計」等資料編

（目次）

1　「システム処理」の要件定義について

2　要件定義書

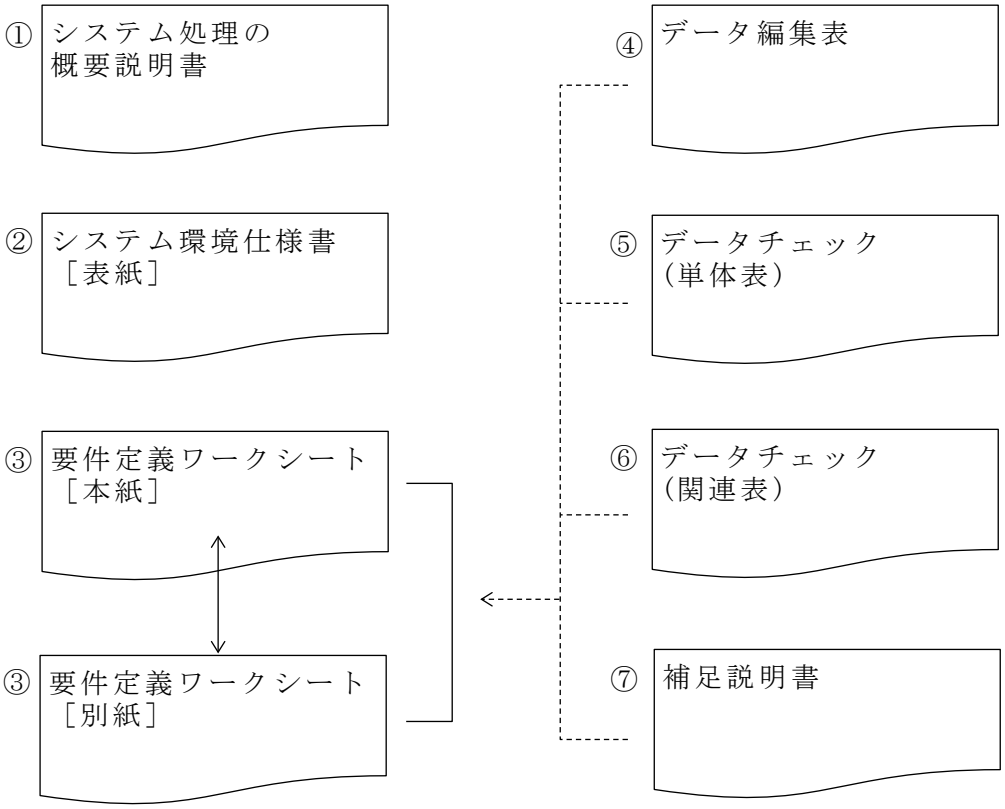
第 7.1　「システム処理」の要件定義について

第７　システム化に係わる「詳細設計」等資料編

1　「システム処理」の要件定義について

(1) 要件定義書の作成方法

ア　要件定義書の構成



イ　要件定義書の各ドキュメントの内容

①　システム処理の概要説明書

プロセス単位又はいくつかプロセスをまとめて、それらのシステム処理の概要及びシステム処理しない部分を説明する。

②　システム環境仕様書

基本的に要件定義書の表紙となるもので、詳細フロー、使用 DB・ファイル一覧処理の概要、機能体系(又は、要件定義書の構成)、及び特記事項等を記述する。

③　要件定義ワークシート

本紙においては、処理のメーン・ロジックを自己完結型に記述し、各詳細については、別紙でトップダウン方式で展開する。

別紙においては、第三レベルまでに止どめ、本紙のロジックを補強する。また、各々自己完結型に詳細記述し、本紙に戻る。

④　データ編集表

DB・各ファイル間や、画面と各ファイル間などで、データの受渡しを行う場合に、それらの項目をこの一覧表に記述する。

⑤　データチェック(単体表)

データの単体チェックの内容、エラーメッセージ及びエラーコード等を記述する。

⑥　データチェック(関連表)

データの関連チェックの内容、エラーメッセージ及びエラーコード等を記述する。

⑦　補足説明書

必要に応じて、項目関連図(マトリックス)等を作成し、追加説明する。

ウ　要件定義ワークシート記載方法の基本パターン

ワークシートについては、次の点を考慮した。

①トップダウン方式や「基本パターン」でロジックを整理できること。

②プログラムの処理概要の全体を視覚的に把握、理解できること。

③入力部及び出力部を限定し、エラー処理が明確化できること。

④ワープロ作成ができること。(追加、修正に容易に対応できる)

「基本パターン」は、次のとおりである。

①順次処理

データを上から下へ、無条件で順番に処理するケース

(1)　処理　A
(2)　処理　B
(3)　処理　C

②条件処理

一定の条件に基づいて、処理が2つに別れるケース

(1)条件がYESか、NOか？	
YES	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
NO	(4)　処理　C
	(5)　処理　D

③繰り返し処理

一定の条件を満たすまで繰り返し処理するケース

(1)一定の条件を満たすまで(2)～(5)を繰り返す	
	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
	(4)　処理　C
	(5)　処理　D

④複合条件処理

複数の条件があり、それぞれの条件に対する処理があるケース

(1)条件が、「>」、「=」、「<」、「その他」か？	
>の場合	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
=	(4)　処理　C
	(5)　処理　D
<	(6)　処理　E
	(7)　処理　F
その他	(8)　処理　G

オ　要件定義ワークシート記載方法の基本的ルール

（ア）　規定用語について

①プロセスから画面に展開する場合は

「画面を編集(出力)する」

②プロセスからプロセスに展開する場合は

「制御を渡す」

③DB を読むときは

「(検索)キーとして DB を読む」

④ファイルを読むときは

「(キーとして)ファイルを読む」

⑤DB・ファイルの更新は

「追加、更新、削除する」

⑥条件(ケース)の処理は

「比較する、判定する、チェックする、選択する」

AND条件は、「かつ」

OR条件は、「または」

このほか、比較記号等を用いる(例、=、≠、<、>等)

⑦エラーの表現は

「エラーメッセージ表示、確認メッセージ表示、」

⑧その他

「抽出する、(初期)設定する、処理する、作成する、実行する、変換する、計算する、転送する、(キーとして昇順/降順)にソートする」

(イ)「PFキー」について

次のとおり、参考までに主な機能を割り当てた、下記以外は各プロセスで定める。

①PF1　　戸籍業務メニューへ

②PF2　　届出選択メニューへ

③PF5　　前画面へ

④PF7　　前頁へ

⑤PF8　　後頁へ

⑥実行キー　実行処理

(2) 要件定義書の共通仕様について

ア　戸籍 DB の編集(戸籍編製マトリックス)

要件定義書(入力確認)においては、仮の戸籍 DB を編集する場合に、データ編集表と戸籍編製マトリックスを使用して記述されており、戸籍編製マトリックスは、次のような手順・要領に従っている。

【戸籍編製マトリックス】(サンプル)

項番	グループ 1			グループ 2			条件 7		戸籍 A		戸籍 B	新戸籍編製
	条件 1	条件 2	条件 3	条件 4	条件 5	条件 6			一部除籍 A.2 6.3	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 A.2 C.1 D.1	A.1 B.1 C.1 D.1
1	○			○							子(5.1)	
2	○				○						子(5.1)	母(7.1)
3	○			－	－	－	○				子(5.1)	

(ア)マトリックスは、「条件項目」と「戸籍編製パターン」に分けて記述する。

「条件項目」等が、多い場合は複数頁になる。

(イ)『項番』は、「条件項目」の種類別を順番号で区別する。

(ウ)「条件項目」中の記号は、次の4種である。

・『○』(マル)　　:条件に該当する内容。

・『－』(ハイフン)　:条件対象外(何であろうと無関係)。

・『　』(ブランク)　:入力なし。

・『×』(バツ)　　:条件に該当しない内容。

(エ)「戸籍編製パターン」は、各事件の該当する戸籍単位の戸籍の編製を示す。

・『一部除籍』　　:除籍後に他の在籍者あり。

・『全部除籍』　　:除籍後に他の在籍者なし。

・『変動なし』　　:戸籍事項/身分事項の記録のみ。

・『一部記載』　　:該当戸籍に入籍。

・『新戸籍編製』　:新しい戸籍の編製。

(オ)「戸籍編製パターン」欄にあらわれる『X.X』の数字は、戸籍編製を行う場合に、使用されるデータ編集表の処理名の番号である。

また、英字で記述されているものは全届に対して共通なデータ編集表であり、中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型として使用している。

中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型については、後述の補足説明書を参照のこと。

(カ)「条件項目」に該当した場合の処理を行うべき対象(者)を、「戸籍編製パターン」の該当する欄へ「子」「養子」「夫」等で記述するとともに、戸籍編製を行う場合に、使用されるデータ編集表の処理名の番号を記述する。

※(例)【戸籍編製マトリックス】(サンプル)の項番1の場合

・条件として、『条件1』『条件4』に該当して、他の「条件項目」に入力がない

・『戸籍B』『一部記載』の欄に、『子(5.1)』の記入があるので、戸籍Bへ子をデータ編集表の5.1及び中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型A.2、C.1、D.1を使用して記録処理を行う。

イ　メッセージ表示後の対応

要件定義書(入力審査)において、メッセージ表示後の対応は、エラーメッセージも確認メーッセージも、本紙もしくは要件定義書の前の処理へ戻るような記述をしているが、

メッセージに対する流れは、メッセージの種類に影響されるので、「第 5-8(3)メッセージ一覧表」の補足説明書及び後述の「審査の流れについて(エラー処理)」を参照のこと。

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(ひな型)
処理名	中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型

中間ファイル(仮戸籍)

分類	中間ファイル(仮戸籍)で管理する情報の名称	ひな型	ひな型の名称	ひな型の説明	中間ファイル(仮戸籍への更新内容)
A	戸籍特定情報 戸籍DBのうち、戸籍特定DBの内容に関して管理する	A.1	戸籍特定(編製)	・管内に新戸籍を編製または管外から管内への転籍で新しく戸籍を編製する場合に使用	戸籍特定レコードの追加
		A.2	戸籍特定(記録)	・本籍・筆頭者が変更となる場合に使用 （管内転籍または筆頭者の氏及び名の変更） ・戸籍の変動により全部除籍となる場合に使用 ・その他戸籍の変動により戸籍の記録者数等の戸籍情報に変更がある場合に使用	戸籍特定レコードの更新
B	戸籍事項情報 戸籍DBのうち、戸籍事項DBの内容に関して管理する	B.1	戸籍特定(編製)	・管内に新戸籍を編製する場合に使用(管外から管内への転籍は転籍の審査で対応)	戸籍事項レコードの追加
		B.2	戸籍特定(消除)	・戸籍の変動により全部除籍となる場合に使用	戸籍事項レコードの追加
		―――	――――――――	・B.1及びB.2以外の記録は各審査で対応(氏の変更、管内転籍等)	戸籍事項レコードの追加
C	個人特定情報 戸籍DBのうち、個人特定DBの内容に関して管理する	C.1	個人特定(入籍)	・戸籍の変動により戸籍に個人が入籍する場合に使用	個人特定レコードの追加
		C.2	個人特定(記録)	・配偶者区分・父母名・養父母名が変更となる場合に使用する （婚姻、養子縁組した養子等） ・戸籍の変動により除籍者となる場合に使用	個人特定レコードの更新
D	氏名情報 戸籍DBのうち、氏名DBの内容に関して管理する	D.1	氏名(入籍)	・戸籍の変動により戸籍に個人が入籍する場合に使用	氏名レコードの追加
		D.2	氏名(記録)	・現在の氏名に変更があった場合に使用 〔今までの氏名を旧氏名として履歴に残す〕 (戸籍の変動がない氏の変更、名の変更)	氏名レコードの追加 (履歴作成)
E	身分事項情報 戸籍DBのうち、身分事項DBの内容に関して管理する	―――	――――――――	・身分事項情報の記録は各届出によりすべて異なるため、各審査で対応	身分事項レコードの追加

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(ひな型)							
処理名	A.1 戸籍特定(編製)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							決裁処理で設定
	編製日		中間ファイル(届書)	処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数		戸籍編製処理					戸籍に記録されている人数を設定 記録者数=在籍者数
	在籍者数							戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数							
	戸籍除区分							0:現戸籍を設定
	戸籍異動区分							0:解除を設定

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(ひな型)								
処理名	A.2　戸籍特定(記録)編集・出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号								
	編製日			中間ファイル(届書)					
	改製日								
	消除日				処理日 (または送付日 または受領日)				【全部除籍のとき設定】 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	回復日								
	本籍コード				新本籍コード				【管内転籍のとき設定】
	本籍				新本籍				同上
	筆頭者				変更後の筆頭者氏名				【筆頭者の氏及び名の変更のとき設定】
	記録者数			戸籍編製処理					【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍に記録されている人数を設定 記録者数=在籍者数+除籍者数
	在籍者数								【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数								【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍から除籍になっている人数を設定
	戸籍除区分								全部除籍のとき1:除籍を設定
	戸籍異動区分								0:解除を設定

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(ひな型)								
処理名	B.1 戸籍事項(編製)編集・出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号								決裁処理で設定
	行番号								システムで設定(RDBのみ)
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード			戸籍編製処理					0001:編製を設定
	記録コード								0001:戸籍編製事項の記録を設定
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	戸籍事項項目								【編製】の戸籍事項項目を使用
		編製日			処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
		特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(ひな型)								
処理名	B.2 戸籍事項(消除)編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号								決裁処理で設定
	行番号								システムで設定(RDBのみ)
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード			戸籍編製処理					0002:消除を設定
	記録コード								0002:戸籍消除事項の記録を設定
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	戸籍事項項目								【消除】の戸籍事項項目を使用
		消除日			処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
		特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(ひな型)								
処理名	C.1 個人特定(入籍)編集・出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号								決裁処理で設定
	戸籍番号								決裁処理で設定
	入籍日			中間ファイル(届書)	処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日								
	性別				父母との続柄		有		
	生年月日				生年月日				
	筆頭者区分				筆頭者区分				
	配偶者区分				配偶者区分				
	父				父氏名				
	母				母氏名				
	父母の続柄				父母との続柄				
	養父				養父氏名				
	養母				養母氏名				
	養父母の続柄				養父母との続柄				
	前個人番号			戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分								0:在籍者を設定

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日		改訂日付	令和 年 月 日		版	1
作業名	入力確認(ひな型)										
処理名	C.2 個人特定(記録)編集・出力										
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考		
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目						
	名称	記号名			名称	記号名					
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号										
	戸籍番号										
	入籍日			中間ファイル(届書)							
	除籍日				処理日 (または送付日 または受領日)				【個人が除籍になるとき設定】 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定		
	性別										
	生年月日										
	筆頭者区分										
	配偶者区分				配偶者区分				【個人情報に変更があるとき設定】		
	父				父氏名				同上		
	母				母氏名				同上		
	父母の続柄										
	養父				養父氏名				同上		
	養母				養母氏名				同上		
	養父母の続柄										
	前個人番号			戸籍編製処理							
	個人除区分								【個人が除籍になるとき設定】 1:除籍者を設定		

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(ひな型)								
処理名	D.1 氏名(入籍)編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号							決裁処理で設定	
	行番号							1を設定(RDBのみ)	
	カナ氏名		中間ファイル(届書)	カナ氏名(入籍者のカナ氏名)					
	漢字氏名			漢字氏名(入籍者の漢字氏名)					

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(ひな型)							
処理名	D.2 氏名(記録)編集･出力							

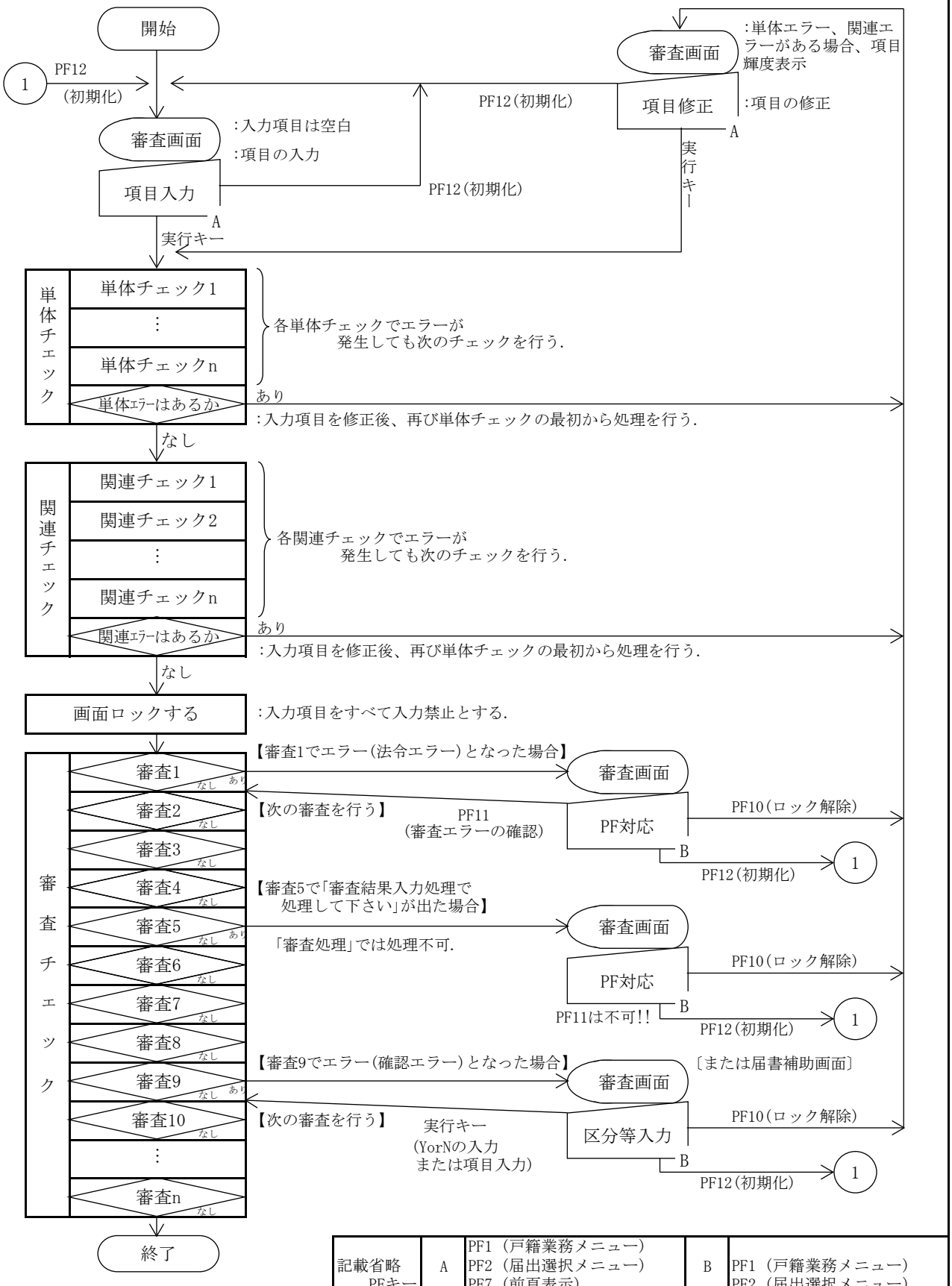
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号							
	行番号							システムで設定(RDBのみ)
	カナ氏名		中間ファイル(届書)	カナ氏名(事件本人のカナ氏名)				
	漢字氏名			漢字氏名(事件本人の漢字氏名)				

※ 現在の氏名に変更があった場合に、今までの氏名を旧氏名として履歴に残す。変更の要件としては下記のものがある。
- ･戸籍の異動が無い氏の変更届(73条の2、77条の2関係も含む)
- ･名の変更届
- ･氏名の訂正

補足説明書	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

審査の流れについて(エラー処理)



記載省略 PFキー	A	PF1 (戸籍業務メニュー) PF2 (届出選択メニュー) PF7 (前頁表示) PF8 (次頁表示)	B	PF1 (戸籍業務メニュー) PF2 (届出選択メニュー)

第 7.2　要件定義書

（目次）

(1)「業務選択」処理
(2)「検索」処理
(3)「届出選択」処理
(4)「異動検索」処理
(5)「審査」処理
(6)「処分決定」処理
(7)「仮戸籍表示」処理
(8)「エラー履歴表示」処理
(9)「移記事項入力」処理
(10)「決裁用帳票出力」処理
(11)「決裁」処理
(12)「証明書発行」処理
(13)「各種ファイル更新」処理
(14)「受領番号確保」処理
(15)「帳票出力」処理
(16)「統計」処理
(17)「関連業務」処理(帳票系、9 条 2 項通知ファイル更新)
(18)「一括」処理(高齢者消除、行政区画変更)
(19)「行政区画土地の名称」変更
(20)「受付ファイル欠番」処理
(21)「再製」処理
(22)本人届出確認台帳管理
(23)不受理処分整理簿管理
(24)戸籍副本データ管理システム
(25)戸籍情報連携システム
(26)「連携情報」処理
(27)「本籍人副本記録情報検索」処理
(28)「送付分届書等振分け」処理

(29)「証明書発行履歴通知」処理
(30)「異動予約」処理
(31)「戸籍電子証明書利用申請履歴表示」処理

第7.2.(1)

「業務選択」処理

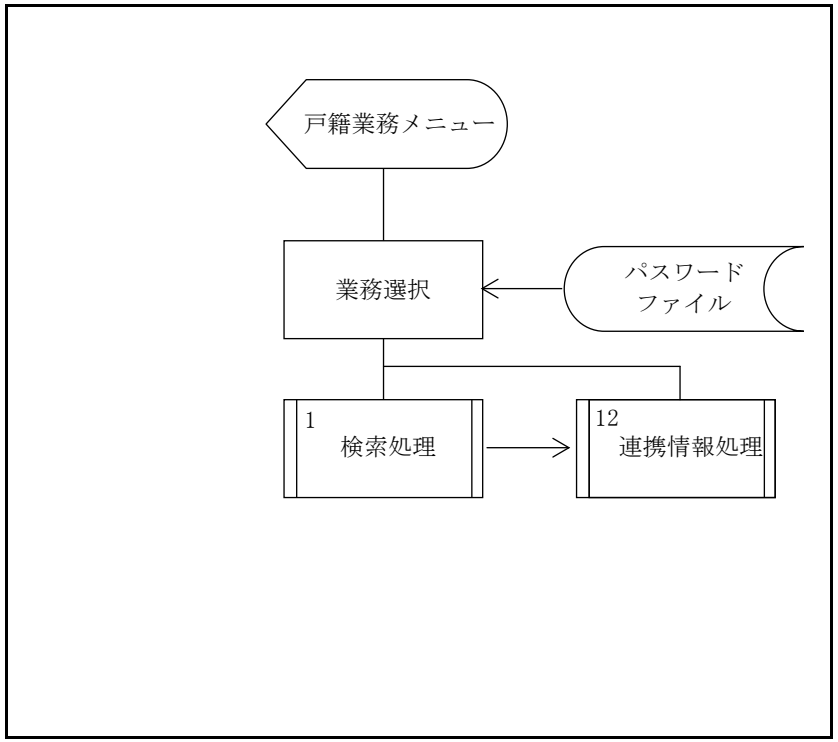
戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「業務選択」処理	業務選択 ・戸籍業務メニューに「12.連携情報処理]を追加

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2

作業名	業務選択

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
パスワードファイル	入力		

3.処理概要
(1)業務選択番号の入力チェック
(2)入力パスワードの入力チェック
(3)検索処理～連携情報処理作業に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 別紙1(パスワード･チェック)
　　　 └ 2.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)
(1)パスワードチェック　サブルーチン

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	業務選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)戸籍業務メニュー画面を出力する						/			
(2)キー選択(実行キー、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/			
	YES	(4)パスワードのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/			
		YES	(5)業務選択番号(1～12)			/			
			1	(6)検索処理			(7)検索処理に制御を渡す		
			2	(8)異動処理			(9)異動処理に制御を渡す		
			3	(10)移記事項入力処理			(11)移記事項入力処理に制御を渡す		
			4	(12)決裁処理			(13)決裁処理に制御を渡す		
			5	(14)証明処理			(15)証明処理に制御を渡す		
			6	(16)統計処理			(17)統計処理に制御を渡す		
			7	(18)帳票出力処理			(19)帳票出力処理に制御を渡す		
			8	(20)各種ファイル更新処理			(21)各種ファイル更新処理に制御を渡す		
			9	(22)受領番号確保処理			(23)受領番号確保処理に制御を渡す		
			10	(24)関連業務処理			(25)関連業務処理に制御を渡す		
			11	(26)訂正･追完･更正･審査結果入力処理			(27)訂正･追完･更正･審査結果入力処理に制御を渡す		
			12	(28)連携情報処理			(29)連携情報処理に制御を渡す		
		NO	(30)エラーメッセージ 「パスワード･エラー」を表示する				(31)同画面を編集する		
	NO	(32)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示							
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する								

第7-2-(1) 「業務選択」処理

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	業務選択						
処理名	1.0　別紙1(パスワード･チェック)					備考	
(1)入力されたパスワードをキーにパスワードファイルを読む(ある:YES,なし:NO)				/			
YES	(2)内容をチェックする(OK:YES,NG:NO)　　<<自治体、メーカー独自>>			/		パスワードチェック･サブルーチン	
	YES	(3)操作員資格区分を参照する		/			
	NO	(4)エラー		/			
NO	(5)エラー			/			

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	業務選択								
処理名				画面名	画面ID				
2.0 入力項目チェック				業務選択メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
01	業務選択番号	○	数字	01～12であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	パスワード	○	数字	数字であること					

第7.2.(2)

「検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1、2	「検索」処理	システム処理の概要説明 ・「1. 検索処理の概要」に届書等情報表示処理を追加 ・「2.留意点」にイメージ印刷時の留意点を追加 ・「3.各検索画面でのPFキー」に届書等情報表示画面のキーを追加 受付ファイル検索 ・届書処理通番の読み込み中間ファイル(受付ファイル表示)を作成し、届書等情報表示への制御を追加 (新規)「届書等情報表示」を追加
2		3		システム処理の概要説明 ・「1. 検索処理の概要」「3.各検索画面でのPFキー」に「C.副本記録情報検索」を追加 ・「2. 留意点」を追加 ・「4. 副本記録情報検索の検索キー」を追加 検索選択 ・「3.副本記録情報検索」を追加 「該当戸籍一覧(副本)表示」を追加 「戸籍構成員一覧(副本)表示」を追加 「個人詳細表示(副本)」を追加 「不受理申出ファイル表示(副本)」を追加 「個人状態表示ファイル(副本)」を追加 「副本記録情報検索処理」補足説明を追加
3	R3	B01、 B02、 B03	「検索」処理	システム処理の概要説明 1. 検索処理の概要 ・A.個人検索に不受理申出イメージ表示、胎児認知届イメージ表示、異動処理状況表示を追加 ・B.受付検索に届書等情報イメージ履歴表示、決裁状況表示を追加 ・C.副本記録情報検索に記載字検索フラグ、遡り検索フラグ、構成員等取得検索及び仕様について追加 ・C.副本記録情報検索のワイルドカードの説明に仕様について追加 3. 各検索画面でのPFキー ・A.個人検索の戸籍構成員一覧及び個人詳細表示のPF9に異動処理状況表示を割り当て ・B.受付検索の受付ファイル検索のPF9に決裁状況表示を割り当て 同届書等情報表示のPF10にイメージ表示を割り当て ・C.副本記録情報検索の該当戸籍一覧（副本）のPF9を削除 ・A.個人検索及びC.副本記録情報検索の不受理申出表示(副本)と個人状態表示(副本)のPF6にイメージ表示を割り当て 4. 副本記録情報検索の検索キー ・副本検索情報キーに記載字検索フラグ、遡り検索フラグ及び構成員等取得フラグを追加 ・検索の指定条件をWebAPI「I0020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】に合わせた ・検索情報キーの仕様場所を追加
4				非本籍人検索の検索補完キーの追加、不受理申出情報の追加により下記仕様書を修正した。 ①該当戸籍一覧表示(副本) ②戸籍構成員一覧表示(副本) ③個人詳細表示(副本)
5		B03		不受理申出情報イメージ表示により下記仕様書を追加、修正した。 ①不受理申出ファイル表示 ②不受理申出イメージ表示：追加 届書等情報イメージ表示により下記仕様書を修正した。 ①届書等情報表示：追加
6		B04		異動処理状況表示、決裁状況表示について下記仕様書を修正した。 ①検索処理 ②戸籍構成員一覧表示 ③個人詳細表示 ④受付ファイル検索

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
7		－		副本記録情報検索処理・補足説明書 訂正・更正・追完・審査結果入力処理に「*1」を付記し、注意点を欄外に記載
8		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
9	R4	B01	「検索」処理	検索した戸籍が異動予約中、異動処理中である場合の対処を追加 ①システム処理の概要説明 2.留意点
10				個人状態ファイルに注意喚起区分が追加されたことによる修正 ①戸籍構成員一覧表示 1.0 中間ファイル(構成員一覧)作成、2.0 戸籍構成員一覧編集処理、3.0 中間ファイル(個人詳細)作成 ②個人詳細表示 1.0 個人詳細表示編集処理 ③個人状態ファイル表示 1.0 個人状態ファイル表示画面編集 ④戸籍構成員一覧(副本)表示 1.0 中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成、2.0 戸籍構成員一覧(副本)編集、5.0 中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成 ⑤個人詳細表示(副本) 1.0 個人詳細表示(副本)編集 ⑥個人状態ファイル表示(副本) 0.0 本紙、1.0 個人状態ファイル表示(副本)画面編集
11		B06		注意喚起区分があった場合の対処を追加 ①該当戸籍一覧表示(副本)表示 0.0 本紙 ②戸籍構成員一覧(副本)表示 0.0 本紙 ③個人詳細表示(副本) 0.0 本紙
12		申し送り事項一覧No.9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ①受付ファイル検索 システム環境仕様書 5.備考(特記事項含む)、1.0 受付ファイル検索画面編集 ②届書等情報表示 システム環境仕様書 5.備考(特記事項含む)、1.0 受付ファイル検索画面編集、2.0 届書等情報表示画面編集
13		指摘事項管理表No.87		戸籍種別の誤り：戸籍種別=4(再製原戸籍)を追加 ①戸籍構成員一覧(副本)表示 4.0 戸籍種別チェック
14		指摘事項管理表No.89		戸籍種別が電算化前と電算化後のチェック要件を修正 ①システム処理の概要説明 4. 副本記録情報検索の検索キー
15		指摘事項管理表No.91		戸籍種別を全て選択しない（全ての戸籍種別を検索対象とする）場合のチェック要件を記載 ①該当戸籍一覧表示(副本)表示 2.0 入力検索キーのチェック
16		指摘事項管理表No.92②		戸籍情報連携システムから受領する不受理申出情報の出張所に関する項目は日本語名称であるため、出張所コードを削除 ①不受理申出ファイル表示(副本) 1.0 不受理申出ファイル表示(副本)画面編集 ②不受理申出イメージ表示(副本) 2.0 不受理申出イメージ表示(副本)画面編集
17		指摘事項管理表No.93		不受理申出情報の画像情報取得の情報を修正 ①戸籍構成員一覧(副本)表示 1.0 中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成、5.0 中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成 ②不受理申出ファイル表示(副本) 0.0 本紙 ③不受理申出イメージ表示(副本) 1.0 WebAPI(IO230:画像等情報取得) ④個人状態ファイル表示(副本) 2.0 画像等情報取得
18				全ての画像情報を最初に取得して表示する仕様を、順次取得しても可とする修正 ①届書等情報表示 0.0 本紙、1.0 WebAPI(IO220:届書関連画像取得)、2.0 届書等情報表示画面編集 ②不受理申出イメージ表示(副本) 0.0 本紙、1.0 WebAPI(IO230:画像等情報取得)、2.0 不受理申出イメージ表示(副本)画面編集

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
19		－		指摘事項管理表№24により名称が画面項目一覧表、ファイル仕様書等と合っていないものの修正 ①該当戸籍一覧表示(副本)表示 6.0 中間ファイル(該当戸籍一覧(副本))作成、7.0 該当戸籍一覧(副本)編集 ②戸籍構成員一覧(副本)表示 1.0 中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成、2.0 戸籍構成員一覧(副本)編集
20				戸籍情報連携システム運用前は届書処理通番ファイルが存在しないことによる修正 ①受付ファイル検索 0.0_本紙

第7.2.(2)

「検索」処理

作業名

1. 検索処理
2. 検索選択
3. 該当戸籍一覧表示
4. 戸籍構成員一覧表示
5. 個人詳細表示
6. 不受理申出ファイル表示
7. 個人状態ファイル表示
8. 受付ファイル選択表示
9. 受付ファイル検索
10. 届書等情報表示
11. 該当戸籍一覧表示(副本)
12. 戸籍構成員一覧表示(副本)
13. 個人詳細表示(副本)
14. 不受理申出ファイル表示(副本)
15. 個人状態ファイル表示(副本)

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	検索処理

1. 検索処理の概要

A.個人検索

・個人検索処理には、該当戸籍一覧表示、戸籍構成員一覧表示、個人詳細表示、個人状態表示、不受理申出表示がある
・該当戸籍一覧表示では、該当戸籍を表示選択し、戸籍構成員一覧表示では、該当戸籍の構成員を表示し個人を選択する
・個人詳細表示及び個人状態ファイル表示、不受理申出ファイル表示では、選択された個人の各ファイルを検索して表示する
・該当戸籍一覧表示での検索項目は、本籍、氏名、仮名氏名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍又は除籍の別の10項目であり、当説明では、本籍、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、筆頭者と称して5検索キーのみの説明を記す。
・不受理申出表示で不受理申出イメージを表示することができる。
・個人状態表示で胎児認知区分がある者は胎児認知届イメージを表示することができる。
・戸籍情報連携システムから通知される受信情報(F0070:異動処理状況)データから、該当の戸籍又は個人に対して異動処理状況を表示することができる。
本対応は任意設計とし、個人検索の仕様としてはPFキーによる処理遷移までを記載する。

B. 受付検索

・受付検索には、受付ファイル選択、受付ファイル検索、届書等情報表示があり、受付ファイル選択で選択された受付ファイルの内容を受付ファイル検索で表示する
・受付ファイル選択での検索項目は、受付(受領)番号、氏名、カナ氏名、生年月日、届書等の受領年月日、届出事件の種別、渉外事件であるかどうかの別、受理か送付であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分であり、当説明では、受領番号、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、受領日、届出事件コード、渉外区分、受理送付区分、処分区分と称して説明を記す。
・届書等情報表示では、当該受付ファイルに紐付いた届書等情報をWebAPI(IO170:届書等情報取得)を利用して取得し、表示する。
本情報の届書画像処理履歴有無が有の場合、WebAPI(IO220:届書画像情報履歴取得)にて届書画像情報の履歴を取得し、イメージを表示することができる。
なお、検索処理で表示する届書等情報は戸籍情報連携システムから取得した情報とすること。
・戸籍情報連携システムから通知される受信情報(F0060:届書処理状況)データから、該当の受付ファイルに対する他市区町村の決裁状況を表示することができる。
本対応は任意設計とし、受付検索の仕様としてはPFキーによる処理遷移までを記載する。

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	検索処理						

C.副本記録情報検索

・副本記録情報検索処理には、該当戸籍一覧(副本)、目的内利用確認、戸籍構成員一覧(副本)、個人詳細表示(副本)、個人状態表示(副本)、不受理申出表示(副本)がある。
・該当戸籍一覧(副本)では、該当戸籍の副本記録情報をWebAPI(I0020:副本記録情報検索)を利用して検索結果の一覧を取得し、表示して、戸籍を選択する。
・目的内利用確認では、該当戸籍一覧(副本)で行う検索行為が戸籍事務のための検索であることを確認し、検索の目的を選択する。選択した情報はWebAPI(I0010:業務利用目的送信(副本参照処理通番))への送信項目となる。副本記録情報検索の目的内利用確認は検索の都度行うこと。目的を確認できない場合には検索できないよう検索キー入力画面に戻る等の処理を行うこと。
・戸籍構成員一覧(副本)では、選択した戸籍の副本記録情報をWebAPI(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を利用して取得し、戸籍の構成員の情報を表示して、個人を選択する。また、全部事項イメージ又は電算化前の除籍等イメージのPDFファイルを表示する。WebAPI(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))は、WebAPI(I0020:副本記録情報検索)を用い取得した検索結果を表示し、ユーザーによって該当戸籍を選択する操作によって呼び出すこと。該当戸籍を選択した後の処理については、WebAPI(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))で取得した情報を基に行うこと。
・個人詳細表示(副本)、個人状態表示(副本)及び不受理申出表示(副本)では、戸籍構成員一覧(副本)で取得した副本記録情報から各情報を表示する。
・個人状態表示(副本)の胎児認知及び不受理申出表示(副本)の画像情報は、(I0230:画像等情報取得)を利用して取得する。
・該当戸籍一覧(副本)での検索項目は、検索対象市区町村、本籍、氏名、カナ氏名、生年月日、筆頭者の氏名、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日及び戸籍種別の11項目である。詳細については本概要説明「4. 副本記録情報検索の検索キー」を参照のこと。
・検索を補完する項目として、記載字検索、遡り検索及び構成員等情報取得検索を行うことができる。仕様に関しては、WebAPI「I0020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】に従うこと。
・該当戸籍一覧(副本)では、異体字検索を行うことができる。また、通常検索及び異体字検索において、検索キーにワイルドカードを用いることができる。ただしワイルドカードについては、ワイルドカードを用いない検索を一度以上行った後に行うよう制御すること。
ワイルドカードの仕様に関しては、WebAPI「I0020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】に従うこと。
・戸籍構成員一覧(副本)において、戸籍種別が5～10である場合には、記録数、在籍数、戸籍事項、続柄、配偶、家、照、胎、不、注の項目は表示しない。
また、個人詳細表示(副本)に遷移しない。
・戸籍構成員一覧(副本)において、改製不適合区分が0以外の場合には、記録数、在籍数、戸籍事項、続柄、配偶、家、照、胎、不、注の項目は表示しない。
また、個人詳細表示(副本)に遷移しない。

2. 留意点

・ロックがかかっている戸籍を検索した場合は、メッセージにてその旨を表示する(「第4-10(4) 異動検索処理」を参照のこと)。
副本記録情報検索においても同様であり、戸籍情報連携システムから渡される異動処理状況情報で判断する。なお、メッセージ表示ではなく画面項目を追加して表示しても構わない。
・戸籍DBを表示する操作であるのか、副本記録情報を表示する操作であるのかを判別できるよう画面表示等で工夫すること。
・戸籍情報連携システムから取得した各イメージを印刷する場合は、内部用帳票である旨の表示を施して出力すること。
・副本記録情報検索において、電算化前の除籍等を検索対象とする場合や検索結果が改製不適合戸籍の場合には、戸籍情報連携システムから取得する索引情報の項目によっては情報が設定されていない可能性があるが、この場合でもブランク表示とする等問題なく表示できること。
・検索処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	検索処理

3. 各検索画面でのPFキー

共通処理

画面 / PFキー	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2	
PF3	
PF4	
PF5	
PF6	
PF7	
PF8	
PF9	
PF10	
PF11	
PF12	
実行キー	該当戸籍一覧 受付ﾌｧｲﾙ選択 副本記録情報検索

A.個人検索

画面 / PFキー	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示	不受理申出表示	個人状態表示
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF3			前頁構成員		
PF4			次頁構成員		
PF5		該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧
PF6			前戸籍個人表示	不受理申出 イメージ表示	胎児認知届 イメージ表示
PF7	前頁表示	構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示	構成員項目次頁	次頁表示	次頁表示	
PF9		異動処理状況	異動処理状況	個人詳細表示	個人詳細表示
PF10		戸籍項目前頁	不受理申出表示		不受理申出表示
PF11		戸籍項目次頁	個人状態表示	個人状態表示	
PF12	入力画面初期化				
実行キー	戸籍構成員一覧	個人詳細表示			

※PFキーは拡張して任意に設定が変更できる

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	検索処理

B. 受付検索

画面 / PFキー	受付ﾌｧｲﾙ選択	受付ﾌｧｲﾙ検索	届書等情報表示
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF3		前履歴表示	
PF4		次履歴表示	
PF5		受付ﾌｧｲﾙ選択	受付ﾌｧｲﾙ検索
PF6			
PF7	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示	次頁表示	
PF9		決裁状況表示	
PF10		届書等情報表示	各種イメージ表示
PF11			
PF12	入力画面初期化		
実行キー	受付ﾌｧｲﾙ検索		

※PFキーは拡張して任意に設定が変更できる

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	検索処理					

C.副本記録情報検索

画面 / PFキー	該当戸籍一覧(副本)	目的内利用確認	戸籍構成員一覧(副本)	個人詳細表示(副本)	不受理申出表示(副本)	個人状態表示(副本)
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF3				前頁構成員		
PF4				次頁構成員		
PF5		該当戸籍一覧(副本)	該当戸籍一覧(副本)	戸籍構成員一覧(副本)	戸籍構成員一覧(副本)	戸籍構成員一覧(副本)
PF6					不受理申出イメージ表示	胎児認知届イメージ表示
PF7	前頁表示		構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示		構成員項目次頁	次頁表示	次頁表示	
PF9			全部事項イメージ/電算化前の除籍等イメージ表示 ※2		個人詳細表示(副本)	個人詳細表示(副本)
PF10			戸籍項目前頁 ※1 ※2	不受理申出表示(副本)		不受理申出表示(副本)
PF11			戸籍項目次頁 ※1 ※2	個人状態表示(副本)	個人状態表示(副本)	
PF12	入力画面初期化	入力画面初期化				
実行キー	戸籍構成員一覧(副本)	該当戸籍一覧(副本)	個人詳細表示(副本) ※1 ※2			

※1:戸籍種別コードが(5(除籍(電算化前))～10(再製原新改(平成改製原)):電算化前)の場合には無効とする。

※2:改製不適合区分が0以外の場合には無効とする。

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	検索処理						

4. 副本記録情報検索の検索キー

副本記録情報検索における検索キーは、検索対象とする戸籍種別によりその必須の指定が異なる。以下に、選択する戸籍種別と当該戸籍種別を選択した時に指定が必須となる検索キー又は指定することができない検索キーの対応を示す。

凡例：◎必須指定、○1項目以上指定、●2項目以上指定、△任意指定、×指定不可

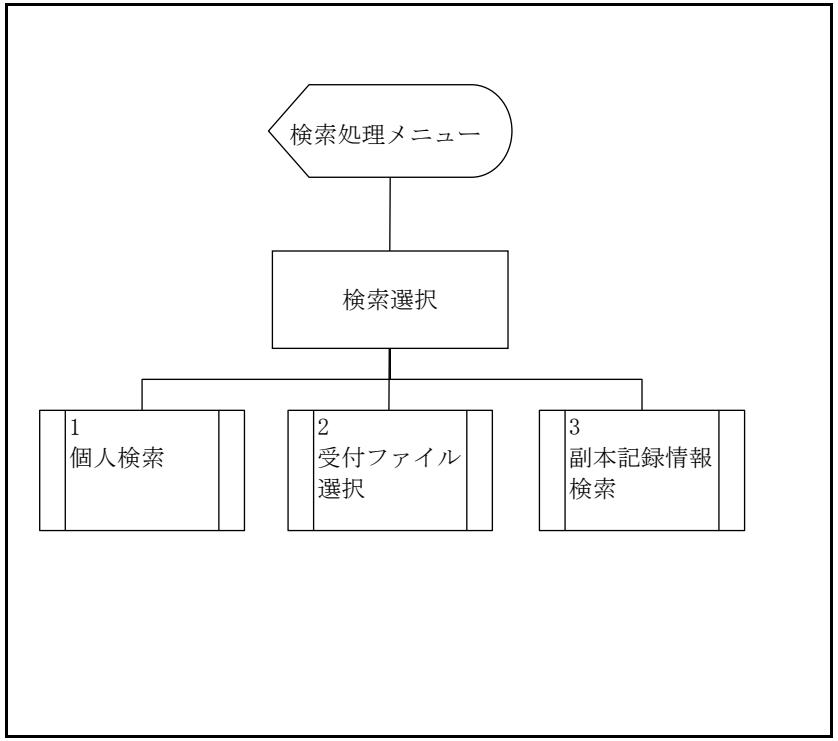
検索キー項目 ＼ 戸籍種別		検索対象市区町村	カナ氏名	漢字氏名	本籍	生年月日	筆頭者	戸籍の編製日	戸籍の消除日	入籍日	除籍日	戸籍種別	記載字検索フラグ	遡り検索フラグ	構成員等取得フラグ
電算化後	戸籍	◎	○	○	△	◎	△	△	×	△	△	△	◎	◎	◎
	除籍	◎	○	○	△	◎	△	△	△	△	△	△	◎	◎	◎
	改製原戸籍	◎	○	○	△	◎	△	△	△	△	△	△	◎	×	◎
	再製原戸籍	◎	○	○	△	◎	△	△	△	△	△	△	◎	×	◎
電算化前	除籍（電算化前）	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	×	◎
	司法大臣原戸籍	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	×	◎
	昭和改製原戸籍	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	×	◎
	平成改製原戸籍	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	×	◎
	再製原除籍	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	×	◎
	再製原新改	◎	●	●	●	●	●	△	△	×	△	△	◎	×	◎

なお、カナ氏名、漢字氏名、本籍、筆頭者については前方一致で検索することができる。
また、戸籍の編製日、戸籍の消除日、入籍日、除籍日については日付を指定せずに年月の一致で検索することができる。
戸籍種別については複数を選択可能であり、複数の「戸籍種別」を同時に選択した場合は、各々の入力要件とする。
※仕様の詳細はWebAPI「I0020-R01(副本記録情報検索)」の【補足説明】を参照のこと。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2

作業名	検索選択

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1)検索処理選択番号の入力チェック
(2)個人検索、受付ファイル選択、副本記録情報検索に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)

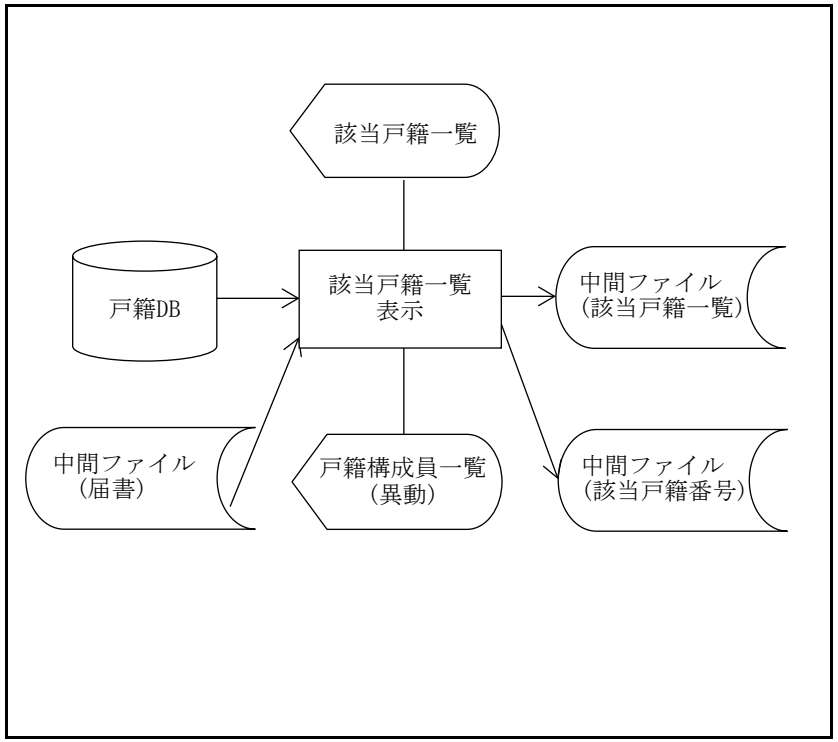
要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	検索選択							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)検索処理メニュー画面を出力する					/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)					/			
実行キー	(3)選択番号の入力チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/			
	YES	(4)選択番号(1～3)			/			
		1	(5)個人検索			(6)該当戸籍一覧表示に制御を渡す		
		2	(7)受付ファイル検索			(8)受付ファイル選択表示に制御を渡す		
		3	(9)副本記録情報検索			(10)該当戸籍一覧表示(副本)に制御を渡す		
	NO	(11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する				(12)同画面を編集する		
PF1	→					(13)業務選択に制御を渡す		
その他	(14)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する					(15)同画面を編集する		

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	検索選択								
処理名				画面名		画面ID			
1.0 検索処理選択番号のチェック				検索処理メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容			出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1～3であること			「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	該当戸籍一覧表示

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル (該当戸籍一覧)	入出力		
中間ファイル (該当戸籍番号)	出力		

3. 処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる戸籍DBの検索
- a. カナ氏名(氏、氏名) ※従前のカナ氏名含む
- b. 漢字氏名(氏、氏名) ※従前の漢字氏名含む
- c. 本籍地　(前方一致):各自治体の判断により異なる
- d. 生年月日(前方一致)
- e. 筆頭者　(氏名)

(2)該当戸籍の表示及び該当戸籍選択

(3)戸籍構成員一覧へ制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1(検索)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当戸籍一覧))
- 3.0 データ編集表(該当戸籍一覧画面作成)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当戸籍番号))
- 5.0 データチェック(単体表)
- 6.0 データチェック(単体表)
- 7.0 データチェック(関連表)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	該当戸籍一覧表示
処理名	0.0 本紙

								備考
(1)該当戸籍一覧画面を出力する						/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF12、その他)						/		
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [5.0] [7.0]					/		
	YES	(4)カナ氏名～筆頭者で検索する [1.0]				/		
		(5)0<検索人数<100か? (YES,NO)				/		MAX件数は任意
		YES	(6)該当戸籍一覧画面編集･出力する [3.0]			/		
			(7)キー選択(該当番号の入力 (実行キー)、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)			/		
			実行キー	(8)該当番号のチェック (OK:YES,NG:NO) [6.0]		/		
				YES	(9)中間ファイル (該当戸籍番号)を編集･出力する [4.0]		(10)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す	
				NO	(11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(12)同画面を編集する	
			PF1	→			(13)業務選択に制御を渡す	
			PF2	→			(14)検索選択に制御を渡す	
			PF7	(15)前ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)		/	(17)同画面を編集する	
				YES	(16)前ページ分の該当戸籍一覧画面編集			
				NO	(18)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する			
			PF8	(19)次ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)		/		
				YES	(20)次ページ分の該当戸籍一覧画面編集			
				NO	(21)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する			
			PF12	(22)入力画面を初期化する				
			その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する				
		NO	(24)検索人数＝0	エラーメッセージ 「該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する				
			(25)検索人数>99	エラーメッセージ 「該当者が多過ぎます。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する				
	NO	(26)エラーメッセージ 入力検索キーチェックにて編集したメッセージを表示する						
PF1	→						(27)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(28)検索選択に制御を渡す	
PF12	(29)入力画面を初期化する						(30)同画面を編集する	
その他	(31)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する							

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	該当戸籍一覧表示

処理名	1.0 別紙1 (検索処理)			備考
	(1)検索キー(カナ氏名)の入力あるか	/		
YES	(2)カナ名の入力あるか	/		
YES	(3)カナ氏名を検索キーとする	/		
NO	(4)カナ氏のみを検索キーとする	/		
NO	(5)カナ氏名は検索キーとしない	/		
	(6)検索キー(漢字氏名)の入力あるか	/		
YES	(7)漢字名の入力あるか	/		
YES	(8)漢字氏名を検索キーとする	/		
NO	(9)漢字氏のみを検索キーとする	/		
NO	(10)漢字氏名は検索キーとしない	/		
	(11)検索キー(本籍地)の入力あるか	/		
YES	(12)本籍地を検索キーとする	/		
NO	(13)本籍地は検索キーとしない	/		
	(14)検索キー(生年月日)の入力あるか	/		
YES	(15)生年月日は検索キーとする	/		
NO	(16)生年月日は検索キーとしない	/		
	(17)検索キー(筆頭者)の入力あるか	/		
YES	(18)筆頭者を検索キーとする	/		
NO	(19)筆頭者は検索キーとしない	/		
	(20)上記で指定した検索キーで戸籍DBを全件読み込む	/		
	(カナ氏名・漢字氏名は、旧氏名の場合もあるため、個人の氏名履歴全て対象とする)			
	(21)中間ファイル(該当戸籍一覧)に編集・出力する [2.0]	/		
	(22)検索終了		(23)本紙へ	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示							
処理名	2.0 中間ファイル(該当戸籍一覧)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍一覧)	戸籍番号		戸籍DB戸籍特定	戸籍番号				
	本人氏名		戸籍DB氏名	漢字氏名				※最新の戸籍DB氏名よりセット
	筆頭者		戸籍DB戸籍特定	筆頭者				
	生年月日		戸籍DB個人特定	生年月日				
	編製日		戸籍DB戸籍特定	編製日				
	消除日			消除日				
	除籍日		戸籍DB個人特定	除籍日				個人除区分が「2」(戸籍消除者)の場合のみall「-」(ハイフン)をセット
	本籍･住所コード		戸籍DB戸籍特定	本籍･住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	旧氏名表示		戸籍DB氏名					※検索した氏名が戸籍DB氏名の最新でない場合「1」をセット

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示							
処理名	3.0 該当戸籍一覧編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
該当戸籍一覧画面	現ページ、総ページ							
	カナ氏名		該当戸籍一覧画面	(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	本籍			(同項目)				
	生年月日			(同項目)				
	筆頭者			(同項目)				
(本人氏名～本籍地) 最大1画面　5人	本人氏名　1～5		中間ファイル (該当戸籍一覧)	本人氏名				
	旧氏名表示1～5			旧氏名表示				1の場合「旧」をセット
	筆頭者　　1～5			筆頭者				
	生年月日　1～5			生年月日		有		
	編製日　　1～5			編製日		有		
	消除日　　1～5			消除日		有		
	除籍日　　1～5			除籍日		有		
	本籍地　　1～5			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	該当番号							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示							
処理名	4.0 中間ファイル(該当戸籍番号)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍番号)	戸籍番号		中間ファイル (該当戸籍一覧)	戸籍番号				

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示								
処理名				画面名	画面ID				
5.0　入力検索キーのチェック				該当戸籍一覧					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	カナ氏名		カナ		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	漢字氏名		漢字				
03	本籍		漢字	「管内本籍住所変換サブルーチン」			
04	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
05	筆頭者		漢字	氏、名共に入力があること			

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示								
処理名				画面名	画面ID				
6.0 該当番号のチェック				該当戸籍一覧					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している該当戸籍のNo(MAX05)		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

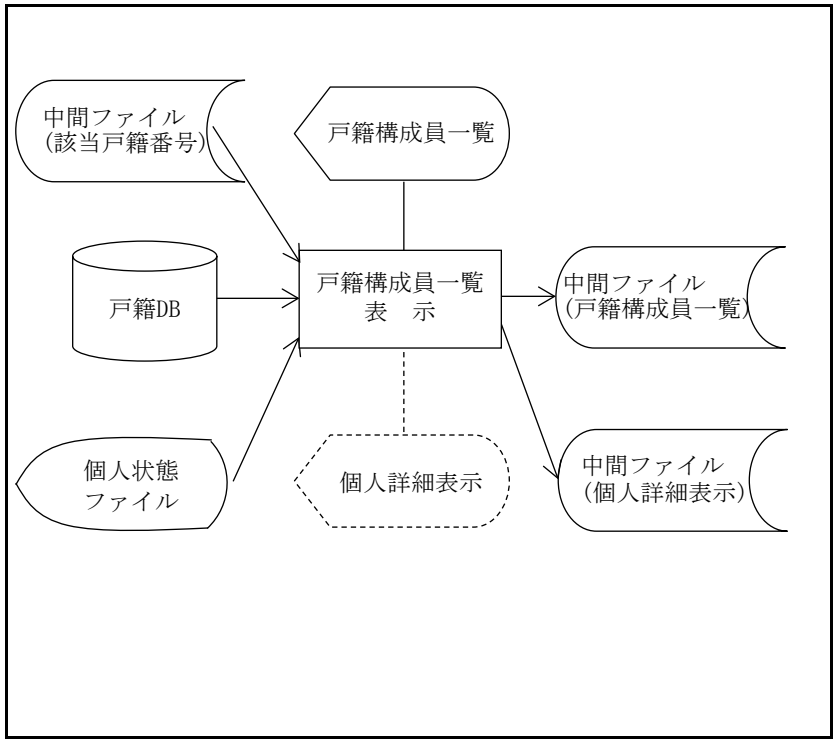
データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	該当戸籍一覧表示						

処理名	画面名	画面ID	
7.0 入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1) カナ氏名、(NO.2) 漢字氏名、(NO.3) 本籍、(NO.4) 生年月日、(NO.5) 筆頭者のいずれかに必ず入力があること(複数入力可能)	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍構成員一覧表示					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	中間ファイル (個人詳細表示)	出力
中間ファイル (該当戸籍番号)	入力		
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入出力		
個人状態ファイル	入力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(該当戸籍番号)の戸籍番号をキーに戸籍DB、個人状態ファイルを検索し、戸籍事項、個人事項等を編集する
(2)戸籍構成員の個人番号をキーに個人状態ファイルを読み込み編集する
(3)戸籍構成員一覧の表示及び個人詳細番号の選択
(4)選択された中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する
(5)個人詳細表示へ制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(中間ファイル作成(戸籍構成員一覧))
- 2.0 データ編集表(戸籍構成員一覧画面作成)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル作成(個人詳細表示))
- 4.0 データチェック(単体表)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	戸籍構成員一覧表示					
処理名	0.0 本紙				備考	

(1)中間ファイル(該当戸籍番号)を読む				/		
(2)中間ファイル(該当戸籍番号)の戸籍番号をキーとして戸籍DBをよむ				/		
(3)戸籍DBの個人特定を全件読む				/		
(4)戸籍DB.個人特定の個人番号をキーとして個人状態ファイルを読む				/		
(5)中間ファイル(戸籍構成員一覧)に編集･出力する [1.0]				/		
(6)戸籍構成員一覧画面を編集する [2.0]				/	(7)同画面を編集する	
(8)キー選択(詳細選択番号の入力(実行キー)、 PF1、 PF2、 PF5、 PF7、 PF8、 PF9、 PF10、 PF11、 その他)				/		
実行キー	(9)詳細選択番号のチェックをする(OK:YES, NG:NO) [4.0]			/		
	YES	(10)中間ファイル(戸籍構成員一覧)を全件読む		/		
			(11)中間ファイル(戸籍構成員一覧)を中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する [3.0]		(12)個人詳細表示に制御を渡す	
	NO	(13)単体チェックにて編集したメッセージを表示する			(14)同画面を編集する	
PF1	→				(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→				(16)検索選択に制御を渡す	
PF5	→				(17)該当戸籍一覧表示に制御を渡す	
PF7	(18)戸籍構成員の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/		
	YES	(19)前ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧画面を編集する			(20)同画面を編集する	
	NO	(21)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する				
PF8	(22)戸籍構成員の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/		
	YES	(23)次ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧画面を編集する				
	NO	(24)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する				
PF9	→				(24-1)異動処理状況表示に制御を渡す	異動処理状況表示に関しては任意設計とし仕様は提示しない
PF10	(25)戸籍事項の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/		
	YES	(26)前ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧画面を編集する			(26-1)同画面を編集する	
	NO	(27)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する				
PF11	(28)戸籍事項の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/		
	YES	(29)次ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧画面を編集する				
	NO	(30)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する				

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	戸籍構成員一覧表示							
処理名	0.0 本紙					備考		
その他	(31)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧表示								
処理名	1.0 中間ファイル(構成員一覧)作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日		戸籍DB戸籍特定	編製日					
	消除日			消除日					
	記録数		戸籍DB個人特定					個人特定の数	
	在籍数							個人特定中、在籍者の数	
	本籍･住所コード		戸籍DB戸籍特定	本籍･住所コード					
	本籍地番			本籍地番					
	筆頭者			筆頭者					
	戸籍事項コード		戸籍DB戸籍事項	戸籍事項コード				複数有り	
	戸籍事項			戸籍事項項目					
	個人番号		戸籍DB個人特定	個人番号					
	カナ氏名		戸籍DB氏名	カナ氏名				最新のもの	
	漢字氏名			漢字氏名					
	生年月日		戸籍DB個人特定	生年月日					
	除籍日			除籍日				個人除区分が「2」(戸籍消除者)の場合のみall「-」(ハイフン)をセット	
	筆頭者区分			筆頭者区分					
	配偶者区分			配偶者区分					
	父			父					
	母			母					
	父母との続柄			父母との続柄					
	養父			養父					
	養母			養母					
	養父母との続柄			養父母との続柄					
	前個人番号			前個人番号					
	タイトルコード		戸籍DB身分事項	タイトルコード				複数有り	
	記載コード			記載コード					
	身分事項			身分事項				複数有り	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧表示							
処理名	1.0 中間ファイル(構成員一覧)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	家裁		個人状態	裁判所通知区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				証明業務での身分証明書発行検索でのみセット
	受理照会区分			受理照会区分				
	保留区分			保留区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	メモ区分			メモ				メモにデータがあれば「1」をセット

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧表示							
処理名	2.0 戸籍構成員一覧編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
戸籍構成員一覧画面	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	戸籍事項 1～6			戸籍事項				複数有り
	構成員SEQ番号 1～8							
	構成員漢字氏名 1～8		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	漢字氏名				
	構成員生年月日 1～8			生年月日		有		
	構成員除籍日 1～8			除籍日		有		
	構成員続柄 1～8			父母との続柄		有		
	構成員配偶者区分 1～8			配偶者区分		有		
	構成員裁判所通知有無 1～8			家裁				1の場合「*」
	構成員照会届出有無 1～8			受理照会区分				1の場合「*」
	構成員保留届出有無 1～8			保留区分				1の場合「*」
	構成員胎児認知有無 1～8			胎児認知区分				1の場合「*」
	構成員注意喚起有無 1～8			注意喚起区分				1、2の場合「*」
	構成員メモ有無 1～8			メモ区分				1の場合「*」
	詳細選択番号							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧表示							
処理名	3.0 中間ファイル(個人詳細)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (個人詳細表示)	選択区分							選択されたものに『1』セット
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数			記録数				
	在籍数			在籍数				
	本籍･住所コード			本籍･住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	個人番号			個人番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	事件名			事件名				複数有り
	身分事項			身分事項				
	家裁			家裁				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	受理照会区分			受理照会区分				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧表示							
処理名	3.0 中間ファイル(個人詳細)作成							

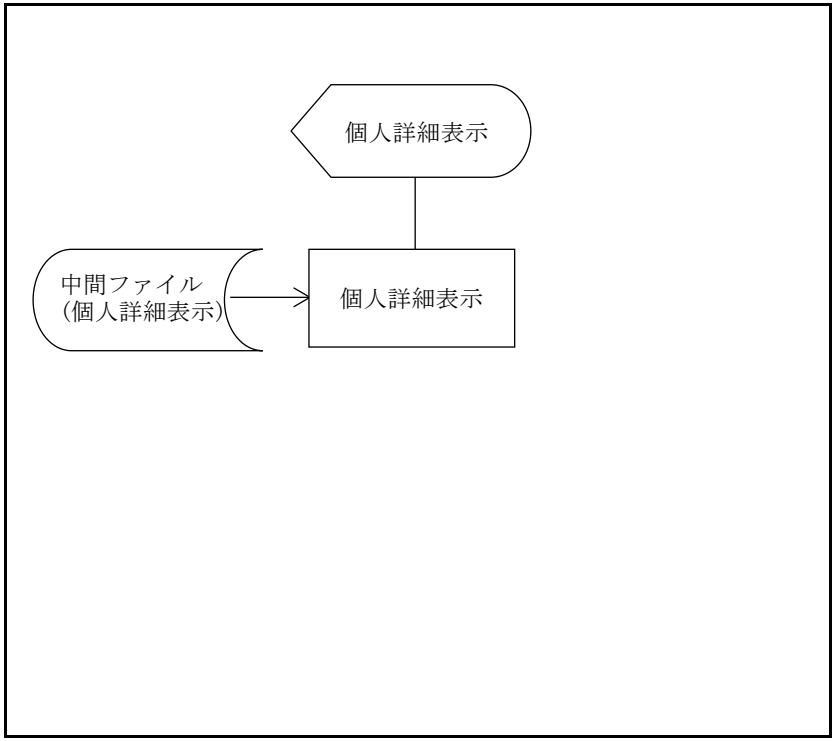
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	保留区分			保留区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	メモ区分			メモ区分				

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	戸籍構成員一覧表示								
処理名				画面名	画面ID				
4.0　詳細選択番号のチェック				戸籍構成員一覧					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	詳細選択番号	○	数字	表示している構成員のNo(MAX08)		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	個人詳細表示

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)を読み込み、個人事項等を編集する
(2) 個人詳細表示画面の表示

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　―　1.0 データ編集表(個人詳細表示画面作成)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人詳細表示						
処理名	0.0 本紙					備考	
(1)中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし、該当データを読み込む			/				
(2)個人詳細表示画面を編集･表示する [1.0]			/				
(3)キー選択 (PF1、PF2、PF3、PF4、PF5、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、その他)			/				
PF1	→			(4)業務選択に制御を渡す			
PF2	→			(5)検索選択に制御を渡す			
PF3	(6)一件前の中間ファイル(個人詳細表示)があるか?(ある:YES,なし:NO)		/				
	YES	(7)該当する中間ファイル(個人詳細表示)を読み(2)へ	/				
	NO	(8)エラーメッセージ 「この前には構成員がありません。」を表示する		(9)同画面を編集する			
PF4	(10)一件後の中間ファイル(個人詳細表示)があるか?(ある:YES,なし:NO)		/				
	YES	(11)該当する中間ファイル(個人詳細表示)を読み(2)へ	/				
	NO	(12)エラーメッセージ 「この後には構成員がありません。」を表示する					
PF6	(13)中間ファイル(個人詳細表示)の前個人番号にデータがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/			前戸籍個人表示(要件定義書省略)からの戻りは、頭初の個人詳細表示へ制御を渡す	
	YES	(14)前個人番号により前戸籍個人を検索し編集する					
	NO	(15)エラーメッセージ 「該当する戸籍はありません。」を表示する					
PF7	(16)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/				
	YES	(17)前ページ分の個人詳細表示を編集する					
	NO	(18)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/				
	YES	(20)次ページ分の個人詳細表示を編集する					
	NO	(21)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
PF9	→			(21-1)異動処理状況表示に制御を渡す		異動処理状況表示に関しては任意設計とし仕様は提示しない	
PF10	→			(22)不受理申出表示に制御を渡す			
PF11	→			(23)個人状態表示に制御を渡す			
その他	(24)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(25)同画面を編集する			

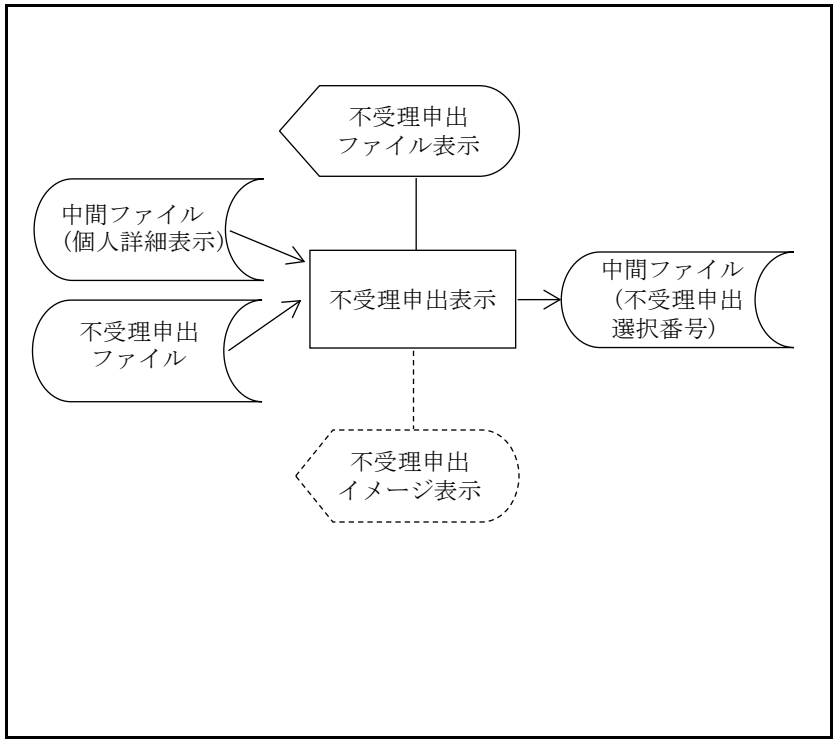
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人詳細表示							
処理名	1.0 個人詳細表示編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人詳細表示画面	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (個人詳細表示)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	裁判所通知有無			家裁				1の場合「有」
	照会届出有無			受理照会区分				1の場合「有」
	保留届出有無			保留区分				1の場合「有」
	胎児届出有無			胎児認知区分				1の場合「有」
	注意喚起有無			注意喚起区分				1、2の場合「有」
	メモ有無			メモ区分				1の場合「有」
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	筆頭者表示			筆頭者区分				1の場合「筆頭者」
	配偶者区分表示			配偶者区分		有		
	破産宣告人表示			破産宣告人区分				1の場合「破産宣告人」
	父氏名			父				
	母氏名			母				
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	養父氏名			養父				
	養母氏名			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄		有		
	身分事項事件項番							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人詳細表示							
処理名	1.0 個人詳細表示編集処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	身分事項事件名		中間ファイル (個人詳細表示)	事件名		有		複数有り 事項証明書と同形式が基本であるが画面表示する場合で1身分事項内に限り、ベタ打ちを可とする
	身分事項記録項目			身分事項				

システム環境仕様書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル表示						

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
不受理申出ファイル	入力		
中間ファイル (不受理申出選択番号)	出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに不受理申出ファイルを検索し、
ファイルの内容等を編集する
(2) 不受理申出ファイル表示画面の表示
(3) 指定により不受理申出イメージ表示画面へ遷移する

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(不受理申出ファイル表示画面編集)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	不受理申出ファイル表示
処理名	0.0 本紙

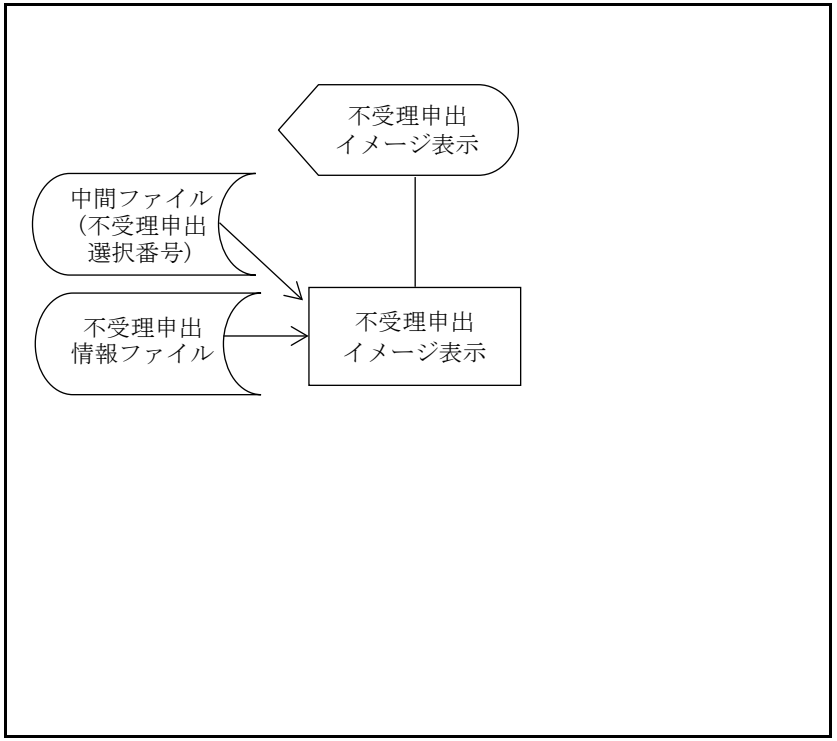
					備考
					(1)を削除(R3版)
(2)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する (OK:YES,NG:NO) ※整理番号違いで複数件有り			/		
YES	(3)不受理申出ファイル表示画面を編集･表示する [1.0]		/		
NO	(4)エラーメッセージ 「不受理申出はありません。」を表示する			(5)同画面を編集する	
(6)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF11、その他)			/		
PF1	→			(7)業務選択に制御を渡す	
PF2	→			(8)検索選択に制御を渡す	
PF5	→			(9)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す	
PF6	(9-1)選択番号に入力がない 又は 番号が範囲外である(YES,NO)		/		
	YES	(9-2)エラーメッセージ 「選択番号が誤りです。正しく入力して下さい。」を表示する		(9-3)同画面を編集する	
	NO	→		(9-4)不受理申出イメージ表示に制御を渡す	
PF7	(10)不受理申出の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	YES	(11)前ページ分の不受理申出ファイル表示画面を編集する		(12)同画面を編集する	
	NO	(13)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(14)不受理申出の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	YES	(15)次ページ分の不受理申出ファイル表示画面を編集する			
	NO	(16)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する			
PF9	→			(17)個人詳細表示に制御を渡す	
PF11	→			(18)個人状態表示に制御を渡す	
その他	(19)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(20)同画面を編集する	

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル表示								
処理名	1.0 不受理申出ファイル表示画面編集								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出 ファイル表示画面	現ページ、総ページ		－	－				
	カナ氏名		中間ファイル (個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
(整理番号～ 相手氏名2) 最大1画面 2件	項番 1～2		－	－				01から件数分表示する
	出張所番号 1～2		不受理申出ファイル	出張所番号				
	受理送付区分 1～2			受理送付区分				
	開始日 1～2			開始日		有		
	送付日 1～2			送付日		有		
	失効日 1～2			失効日		有		
	失効区分 1～2			失効区分		有		
	事件コード 1～2			不受理申出事件ｺｰﾄﾞ				
	事件名 1～2			不受理申出事件ｺｰﾄﾞ		有		
	相手氏名1 1～2			相手方氏名1				
	相手氏名2 1～2			相手方氏名2				
	不受理申出選択番号		－	－				

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(不受理申出選択番号)	入力		
不受理申出情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)不受理申出情報ファイルから該当の不受理申出情報を検索する
(2)指定により不受理申出イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(不受理申出イメージ表示画面編集)
　　├ 2.0 データチェック(単体表)
　　└ 3.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(不受理申出選択番号)に該当するデータ　又は　前情報　又は　後情報を不受理申出情報ファイルから読み込む				/			本籍人の場合は戸籍情報システムで保持している情報を表示する	
(2)不受理申出イメージ表示画面を編集･表示する [1.0]				/				
(3)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、その他)				/				
PF1	→				(4)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(5)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(6)不受理申出ファイル表示に制御を渡す			
PF6	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
	YES	(8)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する			(9)同画面を編集する			
	NO	(10)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
PF7	(11)一件前の不受理申出があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(12)→(1)へ		/				
	NO	(13)エラーメッセージ　「不受理申出はありません。」を表示する			(14)同画面を編集する			
PF8	(15)一件後の不受理申出があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(16)→(1)へ		/				
	NO	(17)エラーメッセージ　「不受理申出はありません。」を表示する			(18)同画面を編集する			
その他	(19)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示							
処理名	1.0　不受理申出イメージ表示画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
不受理申出イメージ表示画面	カナ氏名		不受理申出ファイル表示画面	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	項番			項番				
	出張所番号			出張所番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	事件コード			事件コード				
	事件名			事件名				
	相手氏名1			相手氏名1				
	相手氏名2			相手氏名2				
	不受理申出イメージ更新日		不受理申出情報ファイル	不受理申出イメージ更新日		有		登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)のデータを表示する 各情報を別ファイルに分けることも可
	不受理申出イメージ 更新時間			不受理申出イメージ 更新時間				
	不受理申出イメージ 最終履歴番号			不受理申出イメージ 登録番号				
	不受理申出添付書面 イメージ更新日			不受理申出添付書面 イメージ更新日		有		
	不受理申出添付書面 イメージ更新時間			不受理申出添付書面 イメージ更新時間				
	不受理申出補正 イメージ更新日			不受理申出補正 イメージ更新日		有		

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示							
処理名	1.0　不受理申出イメージ表示画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	不受理申出補正 イメージ更新時間			不受理申出補正 イメージ更新時間				
	不受理申出取下 イメージ更新日			不受理申出取下 イメージ更新日		有		
	不受理申出取下 イメージ更新時間			不受理申出取下 イメージ更新時間				
	不受理申出補正内容			不受理申出補正情報				
	イメージ種別番号							
	表示履歴番号							

データチェック(単体表)			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示							
処理名			画面名		画面ID			
2.0　入力項目のチェック			不受理申出イメージ表示					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				

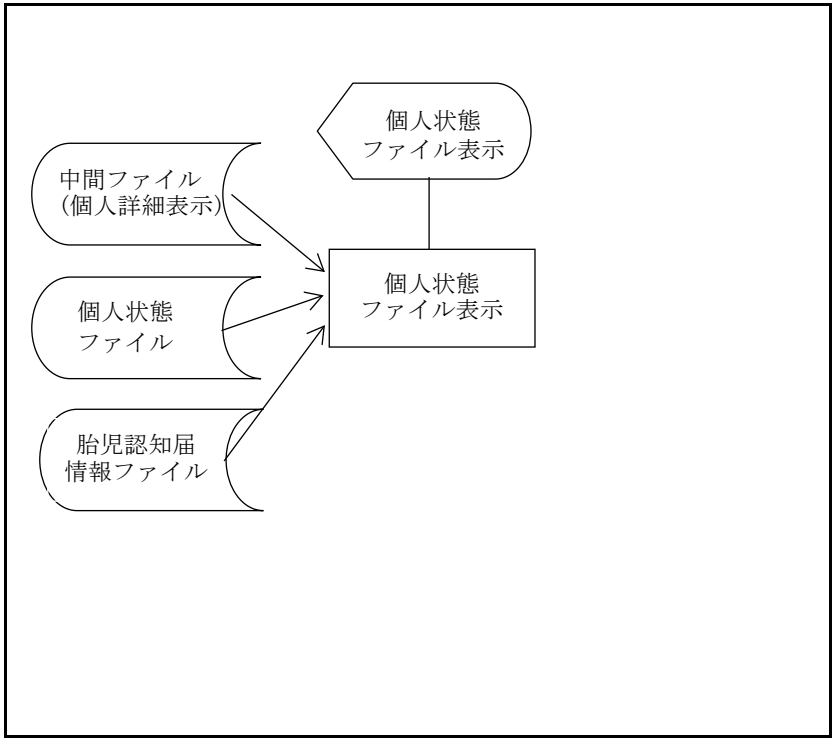
データチェック(関連表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　入力項目のチェック	不受理申出イメージ表示		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(不受理申出)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦不受理申出イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面) 又は　3(不受理申出補正)　又は　4(不受理申出取下)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
個人状態ファイル	入力		
胎児認知届情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに個人状態ファイルを検索し、
ファイルの内容等を編集する
(2)個人状態ファイル表示画面の表示
(3)胎児認知区分がある場合該当の胎児認知届イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(個人状態ファイル表示画面編集)

5.備考(特記事項含む)

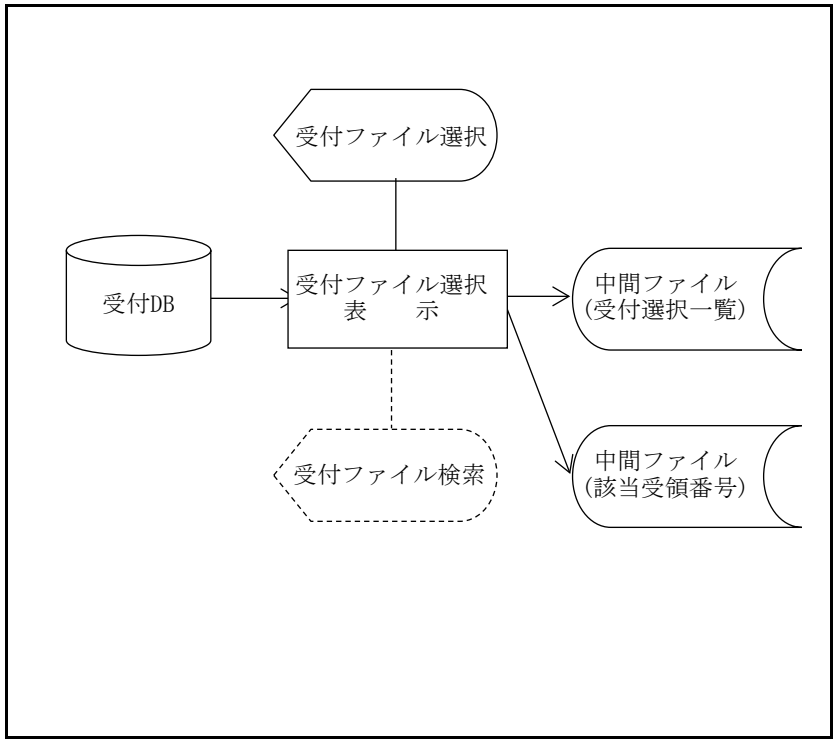
要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
							(1)を削除(R3版)	
(2)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する(OK:YES,NG:NO)				/				
YES	(3)個人状態ファイル表示画面を編集･表示する [1.0]			/	(5)同画面を編集する			
NO	(4)エラーメッセージ 「個人状態はありません。」を表示する							
(6)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF9、PF10、その他)				/				
PF1	→				(7)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(8)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(9)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す			
PF6	(9-1)胎児認知区分=1(有)である(YES,NO)			/				
	YES	(9-2)該当の胎児認知届イメージを表示する			(9-3)同画面を編集する			
	NO	(9-4)メッセージ 「胎児認知届はありません。」を表示する						
PF9	→				(10)個人詳細表示に制御を渡す			
PF10	→				(11)不受理申出表示に制御を渡す			
その他	(12)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(13)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人状態ファイル表示							
処理名	1.0 個人状態ファイル表示画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
個人状態ファイル表示画面	カナ氏名		中間ファイル (個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者			筆頭者				
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分				個人状態ファイルがない場合 全ての項目へ0(ゼロ)をセット 破産宣告人区分は、証明業務での身分証明書発行検索でのみ表示 犯歴区分は、民刑担当者が操作の場合のみ表示する時、市町村の判断に委ねられる
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	(犯歴区分)			(犯歴区分)				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理･処理照会区分			受理処理照会区分				
	保留区分			保留区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	メモ			メモ				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	受付ファイル選択表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力		
中間ファイル (受付選択一覧)	入出力		
中間ファイル (該当受領番号)	出力		

3.処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる受付DBの検索
- a.受領番号(7桁):受付DBの受付番号の3～9桁
- b.受付日　　※範囲指定の検索も可能
- c.処分区分
- d.カナ氏名(氏、氏名)
- e.漢字氏名(氏、氏名}
- f.受付事件
- g.渉外区分
- h.生年月日
- i.受理･送付区分

(2)受付ファイル選択の表示及び事件番号選択
(3)受付ファイル検索へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1(検索)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル作成(受付選択一覧))
- 3.0 データ編集表(受付ファイル選択画面作成)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当受領番号))
- 5.0 データチェック(単体表)
- 6.0 データチェック(単体表)
- 7.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	受付ファイル選択表示					
処理名	0.0 本紙					備考
(1)受付ファイル選択画面を出力する				/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF12、その他)				/		
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [5.0] [7.0]			/		
	YES	(4)受領番号～渉外区分で受付DBを検索する [1.0]		/		
		(5)0<検索人数<100か?(YES,NO)		/		
		YES	(6)受付ファイル選択面面を編集･表示する [3.0]	/		
			(7)キー選択(該当番号の入力(実行キー)、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)	/		
			実行キー	(8)該当番号のチェック(OK:YES,NG:NO) [6.0]	/	
				YES (9)中間ファイル(該当受領番号)を編集･出力する [4.0]		(10)受付ファイル検索に制御を渡す
				NO (11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(12)同画面を編集する
			PF1	→		(13)業務選択に制御を渡す
			PF2	→		(14)検索選択に制御を渡す
			PF7	(15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)	/	
				YES (16)前ページ分の受付ファイル選択画面編集		(17)同画面を編集する
				NO (18)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する		
			PF8	(19)次ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)	/	
				YES (20)次ページ分の受付ファイル選択面面編集		
				NO (21)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する		
			PF12	(22)入力画面を初期化する		
			その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する		
		NO	(24)検索人数=0	エラーメッセージ 「該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する		
			(25)検索人数>99	エラーメッセージ 「該当者が多過ぎます。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する		
	NO	(26)エラーメッセージ 入力検索キーのチェックにて編集したメッセージを表示する				
PF1	→					(27)業務選択に制御を渡す
PF2	→					(28)検索選択に制御を渡す
PF12	(29)入力画面を初期化する					(30)同画面を編集する
その他	(31)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	受付ファイル選択表示						
処理名	1.0 別紙1 (検索処理)					備考	
(1)検索キー(受領番号)の入力があるか			/				
YES	(2)受領番号を検索キーとする		/				
NO	(3)受領番号は検索キーとしない		/				
(4)検索キー(受付日)の入力があるか			/				
YES	(5)受付日を検索キーとする		/				
NO	(6)受付日を検索キーとしない		/				
(7)検索キー(処分区分)の入力があるか			/				
YES	(8)処分区分を検索キーとする		/				
NO	(9)処分区分を検索キーとしない		/				
(10)検索キー(カナ氏名)の入力があるか			/				
YES	(11)カナ名の入力があるか		/				
	YES	(12)カナ氏名を検索キーとする	/				
	NO	(13)カナ氏のみを検索キーとする	/				
NO	(14)カナ氏名を検索キーとしない		/				
(15)検索キー(漢字氏名)の入力があるか			/				
YES	(16)漢字名の入力があるか		/				
	YES	(17)漢字氏名を検索キーとする	/				
	NO	(18)漢字氏のみを検索キーとする	/				
NO	(19)漢字氏名を検索キーとしない		/				
(20)検索キー(受付事件)の入力があるか			/				
YES	(21)受付事件を検索キーとする		/				
NO	(22)受付事件を検索キーとしない		/				
(23)検索キー(渉外区分)の入力があるか			/				
YES	(24)渉外区分を検索キーとする		/				
NO	(25)渉外区分を検索キーとしない		/				
(25-1)検索キー(生年月日)の入力があるか			/				
YES	(25-2)生年月日を検索キーとする		/				
NO	(25-3)生年月日を検索キーとしない		/				
(25-4)検索キー(受理･送付区分)の入力があるか			/				
YES	(25-5)受理･送付区分を検索キーとする		/				

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	受付ファイル選択表示						
処理名	1.0 別紙1 (検索処理)					備考	
NO	(25-6)受理･送付区分を検索キーとしない		/				
(26)上記で指定した検索キーで受付DBを全件読み込む 但し、検索キー(受領番号)以外では、決裁区分:欠番は対象外とする			/				
	(27)中間ファイル(受付選択一覧)に編集･出力する [2.0]		/				
(28)検索終了				(29)本紙へ			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付ファイル選択表示							
処理名	2.0 中間ファイル(受付選択一覧)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (受付選択一覧)	受領番号		受付DB	受領番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	処分区分			処分区分				「受理」の時はブランク
	決裁区分			決裁区分				「決裁」の時はブランク
	受付日			受付日				
	事件コード			受付事件コード				
	渉外区分			渉外区分				
	事件本人漢字氏名		受付DB事件本人	事件本人漢字氏名				

注)受付DBの受領番号は枝番で履歴管理しているため、最新のデータを対象とし、該当するデータを移す。

但し、処分区分「誤処理」での検索の場合のみ、すべてのデータを対象とし、該当するデータをそのまま移す。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル選択表示							
処理名	3.0 受付ファイル選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付ファイル 選択画面	現ページ、総ページ							
	受領番号		受付ファイル 選択画面	(同項目)				
	受付日1			(同項目)				
	受付日2			(同項目)				
	処分区分			(同項目)				
	処分名称			処分区分		有		
	カナ氏名			(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	届出事件コード			(同項目)				
	届出事件名称			届出事件コード		有		
	生年月日			(同項目)				
	受理送付区分			(同項目)				
	渉外区分			(同項目)				
	渉外区分名							渉外区分より変換 0:(日本人)、2:渉外、3:外国人
(処分区分表示 ～ 事件本人漢字氏名) 最大1画面 6人	処分区分表示 1～6		中間ファイル (受付選択一覧)	処分区分		有		
	事件名 1～6			事件コード		有		
	受理送付区分 1～6			受理送付区分		有		
	本籍非本籍区分1～6			本非区分		有		
	渉外区分名称 1～6			渉外区分		有		
	受付日 1～6			受付日		有		
	決裁区分 1～6			決裁区分		有		
	受付番号 1～6			受領番号				3桁目以降を表示する
	事件本人漢字氏名1～6			事件本人漢字氏名				
	選択番号							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付ファイル選択表示							
処理名	4.0 中間ファイル(該当受領番号)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当受領番号)	受領番号		中間ファイル (受付選択一覧)	受領番号				

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	受付ファイル選択表示						
処理名		画面名	画面ID				
5.0 入力検索キーのチェック		受付ファイル選択画面					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	受領番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	受付日1		英数	「日付チェックサブルーチン」			
03	受付日2		英数	「日付チェックサブルーチン」			
04	処分区分		数字	1(受理)～ 9(誤処理)であること			
05	カナ氏名		カナ				
06	漢字氏名		漢字				
07	届出事件コード		数字	受付事件コードの頭2桁であること			
07-1	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
07-2	受理送付区分		数字	ブランク、1(受理)、2(送付)であると			
08	渉外区分		数字	0(日本人のみ)～ 2(外国人のみ)であること			

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付ファイル選択表示								
処理名				画面名	画面ID				
6.0 該当番号のチェック				受付ファイル選択画面					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している事件のNo(MAX06)		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

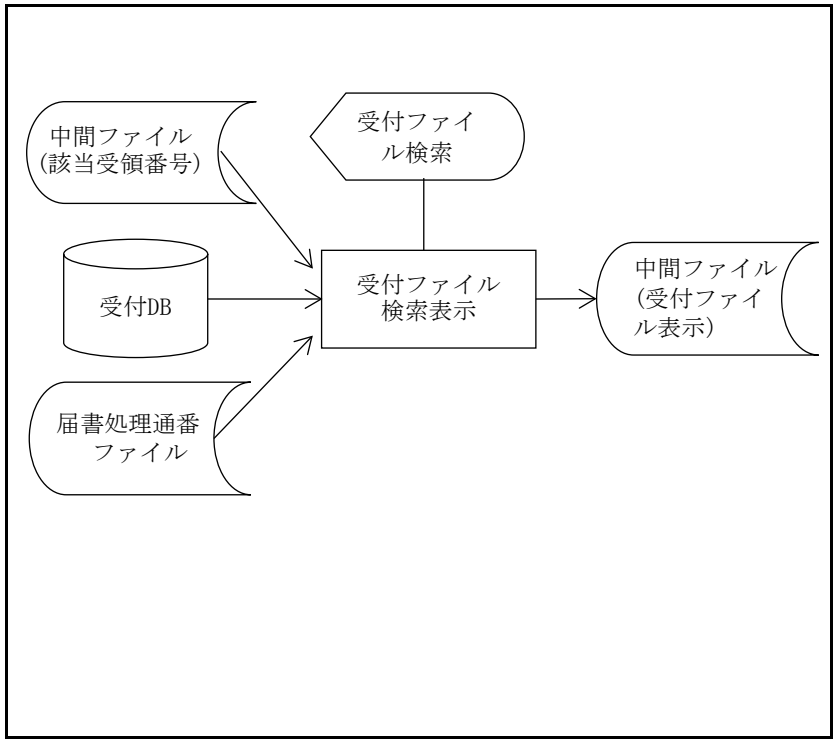
データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	受付ファイル選択表示						

処理名	画面名	画面ID	
7.0 入力検索キーのチェック	受付ファイル選択画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(No.1)受領番号、(No.2)受付日1、(No.4)処分区分、(No.5)カナ氏名、(No.6)漢字氏名、 (No.7-1)生年月日のいずれかに必ず入力があること(複数入力可能)	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	受付ファイル検索					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (該当受領番号)	入力	中間ファイル (受付ファイル表示)	出力
受付DB	入力		
届書処理通番ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(該当受領番号)の受領番号をキーに受付DBを検索し、DBの内容等を編集する

(2)受付ファイル検索画面の表示

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(受付ファイル検索画面の編集)
　　└ 2.0 データ編集表(中間ファイル作成(受付ファイル表示))

5.備考(特記事項含む)

受付ファイル検索画面の「発送日」の名称は、受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、
届書等情報送信区分が1の場合:「送信日」
それ以外又は届書処理通番ファイルが無い場合:「発送日」と表示する。

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	受付ファイル検索							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(該当受領番号)を読む				/				
(2)中間ファイル(該当受領番号)の受領番号をキーとして受付ファイルを検索する				/				
(3)受付ファイル検索画面を編集･表示する [1.0]				/				
(4)キー選択(PF1、PF2、PF3、PF4、PF5、PF7、PF8、PF9、PF10、その他)				/				
PF1	→				(5)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(6)検索選択に制御を渡す			
PF3	(7)前履歴分の受付ファイルはあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(8)該当する受付ファイルを検索し、(3)へ		/				
	NO	(10)エラーメッセージ 「この前の履歴はありません。」を表示する。			(9)同画面を編集する			
PF4	(11)次履歴分の受付ファイルはあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(12)該当する受付ファイルを検索し、(3)へ		/				
	NO	(13)エラーメッセージ 「この後の履歴はありません。」を表示する。						
PF5	→				(14)受付ファイル選択表示に制御を渡す			
PF7	(15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(16)前ページ分の受付ファイル検索画面編集		/				
	NO	(18)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する			(17)同画面を編集する			
PF8	(19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(20)次ページ分の受付ファイル検索画面編集		/				
	NO	(21)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF9	→				(21-1)決裁状況表示に制御を渡す		決裁状況(F0060-S01)表示に関しては任意設計とし仕様は提示しない	
PF10	(22)中間ファイル(該当受領番号)の受領番号をキーとして届書処理通番ファイルを検索する			/			戸籍情報連携システム運用前はファイルが存在しない	
	(22-1)届書処理通番ファイルがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(23)中間ファイル(受付ファイル表示)を作成する [2.0]		/				
		→			(24)届書等情報表示に制御を渡す			
	NO	(24-1)エラーメッセージ 「該当のデータはありません」を表示する			(24-2)同画面を編集する			
その他	(25)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(26)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	受付ファイル検索							
処理名	1.0 受付ファイル検索画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付ファイル 検索画面	現ページ、総ページ							
	受領番号		受付DB	受領番号				3～9桁目を表示
	受理送付			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分区分			処分区分		有		
	事件名			事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	時分			事件発生時分				
	決裁区分			決裁区分		有		
	出張所			出張所番号				
	発送日名称						受領番号で届書処理通番ファイルを検索 届書等情報送信区分=1:「送信日」を表示 それ以外又は届書処理通番ファイルが無い: 「発送日」を表示	
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外区分			渉外区分		有		但し、1:日本人のときブランク
	指示日			指示日		有		
	関連受領番号 1～5			関連受領番号				
(事件本人区分 ～ 本籍) 最大1画面 2人	事件本人区分 1～2		受付DB事件本人	事件本人区分		有		
	届出人区分 1～2							事件本人=届出人の場合 「届出人」を表示
	カナ氏名 1～2			事件本人カナ氏名				
	漢字氏名 1～2			事件本人漢字氏名				

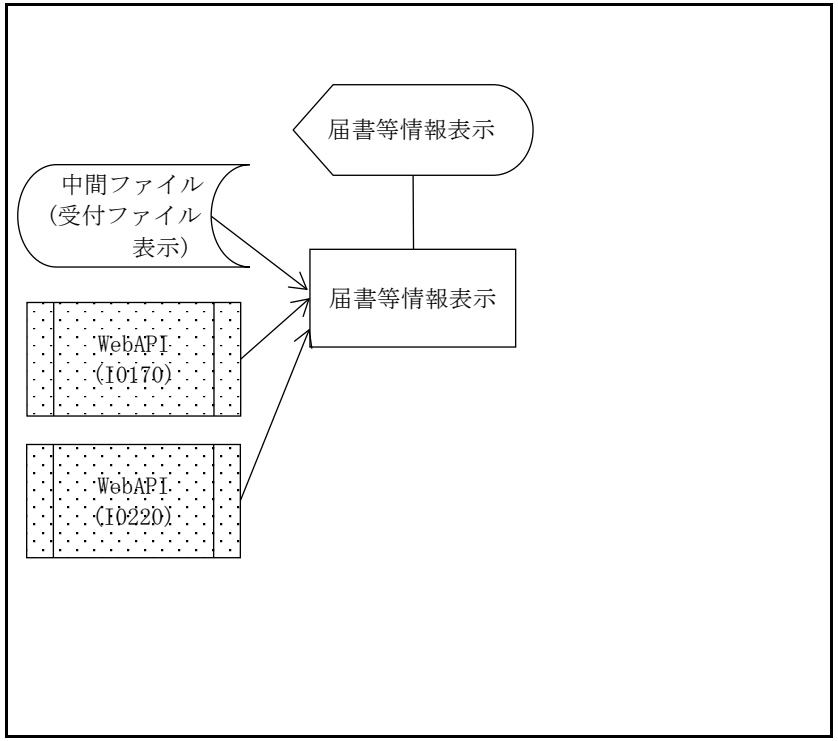
データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	受付ファイル検索								
処理名	1.0 受付ファイル検索画面編集								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	生年月日	1～2			生年月日		有		
	送達1	1		受付DB	送達確認1				最初の事件本人に移送する
	送達2	1～2		受付DB事件本人	送達確認2				
	本籍	1～2		受付DB	事件本人本籍地				’本籍地△筆頭者’で編集
	筆頭者	1～2			事件本人筆頭者				
	届出人1資格				届出人資格区分1		有		
	届出人1氏名				届出人氏名1				
	届出人2資格				届出人資格区分2		有		
	届出人2氏名				届出人氏名2				
	届後本籍	(*1)			届後本籍地(死亡の場合、内容は’死亡日時’)				(*1)死亡の場合、受付DBの届後本籍地に’死亡日時’がセットされているため、画面タイトルを「死亡日時」とする。
	筆頭者				届後戸籍の筆頭者				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	受付ファイル検索								
処理名	2.0 中間ファイル(受付ファイル表示)作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (受付ファイル表示)	受領番号		受付DB	受領番号					
	受理送付区分			受理送付区分					
	受付日			受付日					
	処分区分			処分区分					
	決裁区分			決裁区分					
	事件コード			事件コード					
	事件発生日			事件発生日					
	事件発生時分			事件発生時分					
	出張所番号			出張所番号					
	発送日			発送日					
	郵送日			郵送日					
	本非区分			本非区分					
	発日			発日					
	収日			収日					
	許可日			許可日					
	渉外区分			渉外区分					
	指示日			指示日					
	関連受領番号1			関連受領番号1					
	関連受領番号2			関連受領番号2					
	関連受領番号3			関連受領番号3					
	関連受領番号4			関連受領番号4					
	関連受領番号5			関連受領番号5					
	届書処理通番		届書処理通番	届書処理通番					

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(受付ファイル表示)	入力		
WebAPI(I0170)	入力		
WebAPI(I0220)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の届書処理通番をキーにWebAPI(I0170:届書等情報取得)、(I0220:届書関連画像取得)を呼び出す
(2)届書等情報表示画面を編集し、表示する
(3)指定により届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージ、申入書イメージの各イメージデータを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(WebAPI(I0220:届書関連画像取得))
- 2.0 データ編集表(届書等情報表示画面編集)
- 3.0 データチェック(単体表)
- 4.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

届書等情報表示画面の「発送日」の名称は、受領番号で届書処理通番ファイルを検索し、
届書等情報送信区分が1の場合:「送信日」
それ以外又は届書処理通番ファイルが無い場合:「発送日」と表示する。

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の届書処理通番をキーとして WebAPI(IO170:届書等情報取得)を呼び出す				/				
(2)中間ファイル(受付ファイル表示)の届書処理通番をキーとして WebAPI(IO220:届書関連画像取得)を呼び出す(OK:YES,NG:NO)			[1.0]	/			届書(履歴)、申入書画像(失効分)、申入書画像(履歴)を全て入手する ※関連画像については初期取得せず、操作者の指示に従い(PFキー等)取得・表示しても良い	
YES	(3)届書等情報表示画面を編集・表示する		[2.0]		(5)同画面を編集する			
NO	(4)エラーメッセージ 「該当のデータはありません」を表示する							
(6)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF10、その他)				/				
PF1	→				(7)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(8)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(9)受付ファイル検索に制御を渡す			
PF7	(10)1件前の申入書があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(11)1件前の申入書情報を画面に表示する→(3)		/				
	NO	(12)メッセージ 「情報はありません。」を表示する			(13)同画面を編集する			
PF8	(14)1件後の申入書があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(15)1件後の申入書情報を画面に表示する→(3)		/				
	NO	(16)メッセージ 「情報はありません。」を表示する			(17)同画面を編集する			
PF10	(18)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO)			[3.0][4.0] /				
	YES	(19)イメージ種別番号=1(届書) 又は 4(申入書)である(YES,NO)		/				
		YES	(19-1)イメージ種別番号=1(届書)の時、届書イメージ更新日≠スペース 又はメージ種別番号=4(届書)の時、申入書イメージ更新日≠スペースである(YES,NO)	/				
			YES (19-2)イメージ種別番号、表示履歴番号の画像を表示する		(20)同画面を編集する			
			NO (19-3)メッセージ 「画像情報はありません。」を表示する					
		NO	(19-4)イメージ種別番号の画像を表示する					
	NO	(21)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する						
その他	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示							
処理名	1.0　WebAPI(IO220:届書関連画像取得)							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO220-R01: 届書等関連画像情報の照会要求)	届書処理通番		中間ファイル (受付ファイル表示)	届書処理通番				
	届書等関連画像情報取得区分							下記区分を順に設定して全ての画像情報を取得する 「00:届書画像(履歴)」 「10:申入書画像(失効分)」 「12:申入書画像(履歴)」 ※操作者の指示(PFキー等)に従い、個別に取得しても良い

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示								
処理名	2.0　届書等情報表示画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
届書等情報表示画面	受領番号		中間ファイル (受付ファイル表示)	受領番号				3～9桁目を表示	
	受理送付区分			受理送付区分		有			
	受付日			受付日		有			
	処分区分			処分区分		有			
	決裁区分			決裁区分		有			
	事件名			事件コード		有			
	事件日			事件発生日		有			
	事件発生時分			事件発生時分					
	出張所番号			出張所番号					
	発送日名称						受領番号で届書処理通番ファイルを検索 届書等情報送信区分=1:「送信日」を表示 それ以外又は届書処理通番ファイルが無い: 「発送日」を表示		
	発送日			発送日		有			
	郵送日			郵送日		有			
	本非区分			本非区分		有			
	発日			発日		有			
	収日			収日		有			
	許可日			許可日		有			
	渉外区分			渉外区分		有		但し、0:日本人のときブランク	
	指示日			指示日		有			
	関連受領番号1			関連受領番号1					
	関連受領番号2			関連受領番号2					
	関連受領番号3			関連受領番号3					
	関連受領番号4			関連受領番号4					
	関連受領番号5			関連受領番号5					
	届書イメージ更新日		WebAPI(IO220-S01: 届書等関連画像情報 の照会要求結果)	届書PDF更新年月日		有		最新の情報を表示する ※関連画像を初期取得しない場合 は、WebAPI(IO170-S01:届書等情報の	
	届書イメージ更新時間			届書PDF更新時分秒					

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報表示								
処理名	2.0　届書等情報表示画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届書イメージ最終履歴番号			届書画像情報履歴番号				照会要求結果)の情報で編集する	
	届書添付書面イメージ更新日			届書添付書面PDF更新年月日		有			
	届書添付書面イメージ時間			届書添付書面PDF更新時分秒					
	届書補正イメージ更新日			届書補正PDF更新年月日		有			
	届書補正イメージ更新時間			届書補正PDF更新時分秒					
	申入書イメージ更新日			申入書PDF更新年月日		有			
	申入書イメージ更新時間			申入書PDF更新時分秒					
	申入書イメージ最終履歴番号			申入書画像情報履歴番号					
	申入書情報表示番号			申入書情報連番					
	申入書情報総数			申入書情報連番(最後)				最後のデータの申入書情報連番	
	届書補正内容		WebAPI(I0170-S01:届書等情報の照会要求結果)	届書補正情報					
	イメージ種別番号								
	表示履歴番号								

データチェック(単体表)			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報表示							
処理名			画面名		画面ID			
3.0　入力項目のチェック			届書等情報表示					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				

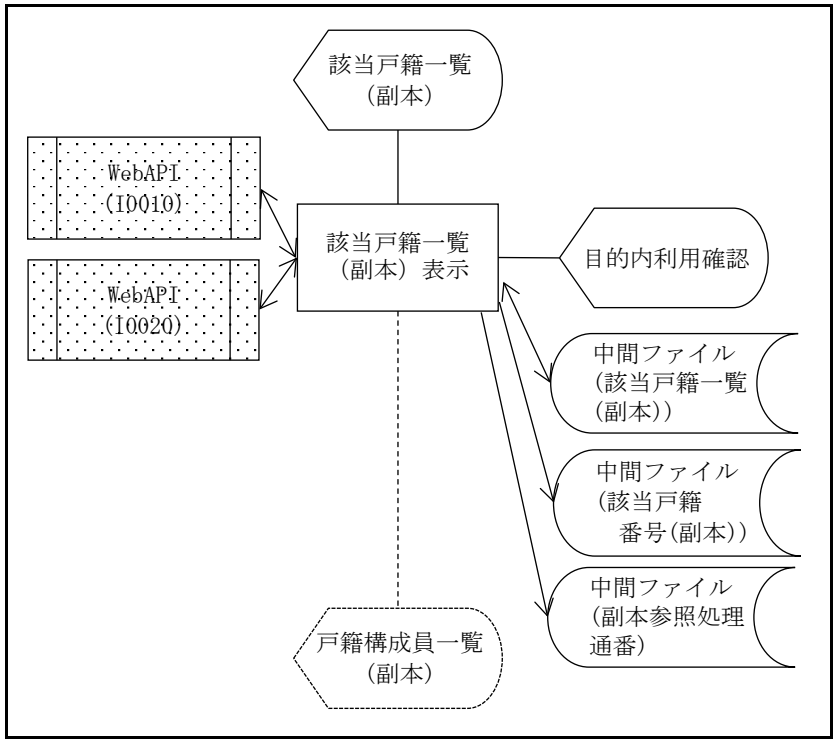
データチェック(関連表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報表示						

処理名	画面名	画面ID	
4.0　入力項目のチェック	届書等情報表示		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号＝1(届書)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦届書イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号＝4(申入書)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦申入書イメージ最終履歴番号であること			
03	(NO.1)イメージ種別番号＝2(添付書面)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペース　かつ　添付書面イメージ更新日≠スペースであること			
04	(NO.1)イメージ種別番号＝3(届書補正)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペース　かつ　届書補正イメージ更新日≠スペースであること			

システム環境仕様書		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
WebAPI(IO010)	入力	中間ファイル(副本参照処理通番)	出力
WebAPI(IO020)	入力		
中間ファイル(該当戸籍一覧(副本))	入出力		
中間ファイル(該当戸籍番号(副本))	出力		

3.処理概要

(1)検索キー入力後、目的内利用確認画面を表示する
(2)目的内利用であることを確認し、入力した検索キーでWebAPI(IO020:副本記録情報検索)を呼び出す
a.カナ氏名
b.漢字氏名
c.本籍
d.生年月日
e.筆頭者
f.戸籍の編製日
g.戸籍の消除日
h.入籍日
i.除籍日
j.検索対象市区町村
k.戸籍種別
l.記載字検索フラグ
m.遡り検索フラグ
n.構成員等取得フラグ
(3)該当戸籍一覧を表示し、該当戸籍を選択する
(4)戸籍構成員一覧(副本)へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表：入力検索キー)
- 2.0 データチェック(関連表：入力検索キー)
- 3.0 データチェック(単体表：検索目的)
- 4.0 データチェック(関連表：検索目的)
- 5.0 データ編集表(業務利用目的送信(副本参照処理通番))
- 5.1 データ編集表(中間ファイル(副本参照処理通番))
- 5.2 データ編集表(副本記録情報検索)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル作成/該当戸籍一覧(副本))
- 7.0 データ編集表(該当戸籍一覧(副本)画面)
- 8.0 データチェック(単体表：該当番号)
- 9.0 データ編集表(中間ファイル作成/該当戸籍番号(副本))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示

処理名	0.0 本紙			備考
(1)該当戸籍一覧(副本)画面(検索キー入力)を出力する		/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF12、その他)		/		
実行キー	(3)ワイルドカードを使用していない 又は ワイルドカードを使用せず一度以上検索してからワイルドカードを使用しているか？(YES,NO)	/		
YES	(4)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0][2.0]	/		
YES	(5)目的内利用確認画面を表示する	/		目的IDの設定については、「外部インターフェイス仕様書_別紙２－１ 5 目的IDの入力仕様」を参照のこと
	(6)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF12、その他)	/		
実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [3.0][4.0]	/		
YES	(8)検索目的確認=1(はい)である(YES,NO)	/		
YES	(9)→(22)へ	/		
NO	(10)エラーメッセージ 「戸籍事務以外での利用はできません。」を表示する		(11)目的内利用確認画面を表示する	
NO	(12)単体チェック・関連チェックにて編集したメッセージを表示する			
PF1	→		(13)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(14)検索選択に制御を渡す	
PF5	(15)→(2)へ	/		
PF12	(16)入力画面を初期化する		(17)目的内利用確認画面を編集する	
その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			
NO	(19)単体チェック・関連チェックにて編集したメッセージを表示する		(20)同画面を編集する	
NO	(21)エラーメッセージ 「ワイルドカードは、ワイルドカードを使用せずに一度以上検索を実行してから使用してください。」を表示する。			
(22)WebAPI(IO010:業務利用目的送信(副本参照処理通番))を呼び出す [5.0]		/		
(22-1)WebAPI(IO010:業務利用目的送信(副本参照処理通番))結果 (OK:YES,NG:NO)		/		
YES	(22-2)中間ファイル(副本参照処理通番)を編集・出力する [5.1]	/		
NO	(22-3)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する		(22-4)同画面を編集する	
(23)中間ファイル(副本参照処理通番)で検索対象市区町村コード～遡り検索フラグをキーにWebAPI(IO020:副本記録情報検索)を呼び出す [5.2]		/		
(24)WebAPI(IO020:副本記録情報検索)結果 (OK:YES,NG:NO)		/		

要件定義ワークシート				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示								
処理名	0.0 本紙							備考	
	YES	(25)中間ファイル(該当戸籍一覧(副本))を編集･出力する [6.0]			/				
		(26)該当戸籍一覧(副本)画面を編集･出力する [7.0]			/			異動処理状況情報に該当する場合はメッセージ表示等の対応を行う	
		(27)キー選択 (該当番号の入力 (実行キー)、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)			/				
		実行キー	(28)該当番号のチェック (OK:YES,NG:NO) [8.0]		/				
			YES	(29)中間ファイル (該当戸籍番号(副本))を編集･出力する [9.0]		(30)戸籍構成員一覧表示(副本)に制御を渡す			
			NO	(31)単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(32)同画面を編集する			
		PF1	→			(33)業務選択に制御を渡す			
		PF2	→			(34)検索選択に制御を渡す			
		PF7	(35)前ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)		/				
			YES	(36)前ページ分の該当戸籍一覧(副本)画面を編集する		(37)同画面を編集する			
			NO	(38)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
		PF8	(39)次ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)		/				
			YES	(40)次ページ分の該当戸籍一覧(副本)画面を編集する					
			NO	(41)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
		PF12	(42)入力画面を初期化する			(43)同画面を編集する			
		その他	(44)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(45)同画面を編集する			
	NO	(46)WebAPI(I0020:副本記録情報検索)の結果			/				
			0件	(48)エラーメッセージ 「該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する				(47)(49)(51)削除(R3版)	
			上限値	(50)エラーメッセージ 「該当者が多過ぎます。再度、検索キーを入力して下さい。」を表示する					
			不正利用	(52)エラーメッセージ 「検索結果を表示できません (結果コード) 。」を表示する					
PF1	→					(53)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(54)検索選択に制御を渡す			
								PF9(異体字検索)を記載字検索フラグとして画面入力仕様(実行キー対応)に変更したため、PF9の処理(55)～(105)を削除する(R3版)	
PF12	(106)入力画面を初期化する					(106-1)同画面を編集する			
その他	(107)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する								

データチェック(単体表)	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示

処理名	画面名	画面ID	
1.0　入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧(副本)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	検索対象市区町村コード	○	数字	「住所(市区町村)チェックサブルーチン」 管外の市区町村コードであること。	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	カナ氏名		カナ	先頭１文字が「/」でないこと　かつ　「/」以降に文字がないこと　かつ　全ての文字が「＊」でないこと			
03	漢字氏名		漢字	先頭１文字が「/」でないこと　かつ　「/」以降に文字がないこと　かつ　全ての文字が「＊」でないこと			
04	本籍		漢字	先頭１文字が「/」でないこと　かつ　「/」以降に文字がないこと　かつ　全ての文字が「＊」でないこと			
05	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」 年月日の省略がないこと			情報連携システムへは和暦形式で渡す
06	筆頭者		漢字	先頭１文字が「/」でないこと　かつ　「/」以降に文字がないこと　かつ　全ての文字が「＊」でないこと			
07	戸籍の編製日		英数	「日付(年月)チェックサブルーチン」			情報連携システムへは和暦形式で渡す 仕様は外部インターフェイス仕様書別紙2-1「3 日付項目の入力仕様」参照
08	戸籍の消除日		英数	「日付(年月)チェックサブルーチン」			
09	入籍日		英数	「日付(年月)チェックサブルーチン」			
10	除籍日		英数	「日付(年月)チェックサブルーチン」			
11	戸籍種別　1～9		英数	(0:無、1:有、空白)であること			コード一覧の戸籍種別「3:改製原戸籍」は検索対象外 戸籍種別3以降がコード一覧の4以降になる
12	記載字検索フラグ	○	数字	(0:無、1:有)であること			
13	遡り検索フラグ		英数	(0:無、1:有、空白)であること			
14	構成員等取得フラグ	○	数字	(0:無、1:有)であること			

データチェック(関連表)	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示					

処理名	画面名	画面ID	
2.0 入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧(副本)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01		「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		01削除(R3版) 戸籍種別が全て空白の場合は、全ての種別を選択したとみなすため、この場合は全ての関連チェックを実施すること。
02	(NO.11)戸籍種別1(戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別2(除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別3(再製原戸籍)=1の場合、 (NO.5)生年月日に入力があること			
03	(NO.11)戸籍種別1(戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別2(除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別3(再製原戸籍)=1の場合、 (NO.2)カナ氏名、(NO.3)漢字氏名のいずれかに入力があること			
04	(NO.11)戸籍種別1(戸籍)=1の場合、(NO.8)戸籍の消除日=空白であること			
05	(NO.11)戸籍種別4(除籍(電算化前))=1 又は (NO.11)戸籍種別5(司法大臣原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別6(昭和改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別7(平成改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別8(再製原除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別9(再製原新改)=1の場合、 (NO.9)入籍日=空白であること			
06	(NO.11)戸籍種別4(除籍(電算化前))=1 又は (NO.11)戸籍種別5(司法大臣原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別6(昭和改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別7(平成改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別8(再製原除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別9(再製原新改)=1の場合、 (NO.2)カナ氏名、(NO.3)漢字氏名(NO.4) 本籍、(NO.5) 生年月日、(NO.6) 筆頭者のいずれか2項目以上に入力があること			
07	(NO.11)戸籍種別1(戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別2(除籍)=1の場合、 (NO.13)遡り検索フラグに入力があること			
08	(NO.11)戸籍種別3(再製原戸籍)=1 又は 戸籍種別4(除籍(電算化前))=1 又は (NO.11)戸籍種別5(司法大臣原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別6(昭和改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別7(平成改製原戸籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別8(再製原除籍)=1 又は (NO.11)戸籍種別9(再製原新改)=1の場合、 (NO.13)遡り検索フラグ=空白であること			

データチェック(単体表)		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　検索目的のチェック	目的内利用確認		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	検索目的確認	○	数字	1　又は　2であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	検索目的区分	○	数字	1～5であること			
03	検索目的(その他)		漢字				本項目は情報連携システムに渡さないため、本項目の設定可否、設定した場合の項目の保持はベンダー任意とする

データチェック(関連表)		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示						

処理名	画面名	画面ID	
4.0　検索目的のチェック	該当戸籍一覧(副本)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.2)検索目的区分=5(その他)の場合、(NO.3)検索目的(その他)に入力があること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.2)検索目的区分≠5(その他)の場合、(NO.3)検索目的(その他)に入力がないこと			

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	5.0　業務利用目的送信(副本参照処理通番)							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO010-R01:業務利用目的の送信)	目的ID		該当戸籍一覧(副本)画面	検索目的区分				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	5.1　中間ファイル(副本参照処理通番)作成							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (副本参照処理通番)	副本参照処理通番		WebAPI(I0010-S01:業務利用目的の確認結果)	副本参照処理通番				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示								
処理名	5.2　副本記録情報検索								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
WebAPI(I0020-R01:副本記録情報検索要求)	副本参照処理通番		中間ファイル(副本参照処理通番)	副本参照処理通番				
	本籍地市区町村コード		該当戸籍一覧(副本)画面	検索対象市区町村コード				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者			筆頭者				
	編製日			編製日				
	消除日			消除日				
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	戸籍種別			戸籍種別1～9				選択した戸籍種別のコード値を全て設定
	記録字検索フラグ			記録字検索フラグ				
	遡り検索フラグ			遡り検索フラグ				
	構成員等取得フラグ			構成員等取得フラグ				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示								
処理名	6.0　中間ファイル(該当戸籍一覧(副本))作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (該当戸籍一覧(副本))	副本参照処理通番		WebAPI (I0020-S01:副本記録情報検索結果)	副本参照処理通番					
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)					
	戸籍種別			戸籍種別					
	本人氏名			本人氏名					
	生年月日			生年月日					
	編製日			編製日					
	消除日			消除日					
	除籍日			除籍日					
	旧氏名検索区分			旧氏名検索区分					
	筆頭者			筆頭者					
	本籍			本籍					
	異動対象区分			異動対象区分					
	異動処理状況種別コード			異動処理状況種別コード					
	異動処理日時			異動処理日時					
	届書受領日			届書受領日					
	処理地市区町村コード			処理地市区町村コード					
	対象事件コード			対象事件コード					
	異動予約目的区分			異動予約目的区分					
	改製不適合戸籍区分			改製不適合戸籍区分					
	遡り該当フラグ			遡り該当フラグ					
	遡り選択番号			遡り選択番号(行番号)					
	構成員等該当フラグ			構成員等該当フラグ					
	構成員等抽出元選択番号			構成員等抽出元選択番号(行番号)					
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号					
	不受理申出区分			不受理申出区分					
	胎児認知届書区分			胎児認知届書区分					
	名寄せ未完了フラグ			名寄せ未完了フラグ					

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示								
処理名	7.0 該当戸籍一覧(副本)編集								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
該当戸籍一覧(副本)画面	現ページ、総ページ		WebAPI(I0020-S01:副本記録情報検索結果)	該当件数				該当件数より総ページを算出し、表示頁を編集
	カナ氏名		該当戸籍一覧(副本)画面	(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	本籍			(同項目)				
	生年月日			(同項目)				
	筆頭者			(同項目)				
	戸籍の編製日			(同項目)				
	戸籍の消除日			(同項目)				
	入籍日			(同項目)				
	除籍日			(同項目)				
	検索対象市区町村コード			(同項目)				
	検索対象市区町村			(同項目)				
	戸籍種別1			(同項目)				
	戸籍種別2			(同項目)				
	戸籍種別3			(同項目)				
	戸籍種別4			(同項目)				
	戸籍種別5			(同項目)				
	戸籍種別6			(同項目)				
	戸籍種別7			(同項目)				
	戸籍種別8			(同項目)				
	戸籍種別9			(同項目)				
該当戸籍一覧(副本)画面 (NO.～本籍) 最大1画面 3人	NO. 1～3		中間ファイル (該当戸籍一覧)	選択番号(行番号)				
	戸籍種別 1～3			戸籍種別		有		
	改製不適合区分 1～3			改製不適合区分				1の場合「不適紙」 2の場合「不適磁気」
	遡り該当フラグ 1～3			遡り該当フラグ				1の場合「遡り」

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	7.0　該当戸籍一覧(副本)編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	本人氏名　1～3			本人氏名				
	生年月日　1～3			生年月日				
	編製日　1～3			編製日				
	消除日　1～3			消除日				
	除籍日　1～3			除籍日				
	旧氏名表示1～3			旧氏名表示区分				1の場合「旧」
	構成員等該当者フラグ　1～3			構成員等該当フラグ				1の場合「構成」
	筆頭者　1～3			筆頭者				
	本籍　1～3			本籍				
該当戸籍一覧(副本)画面	該当番号							

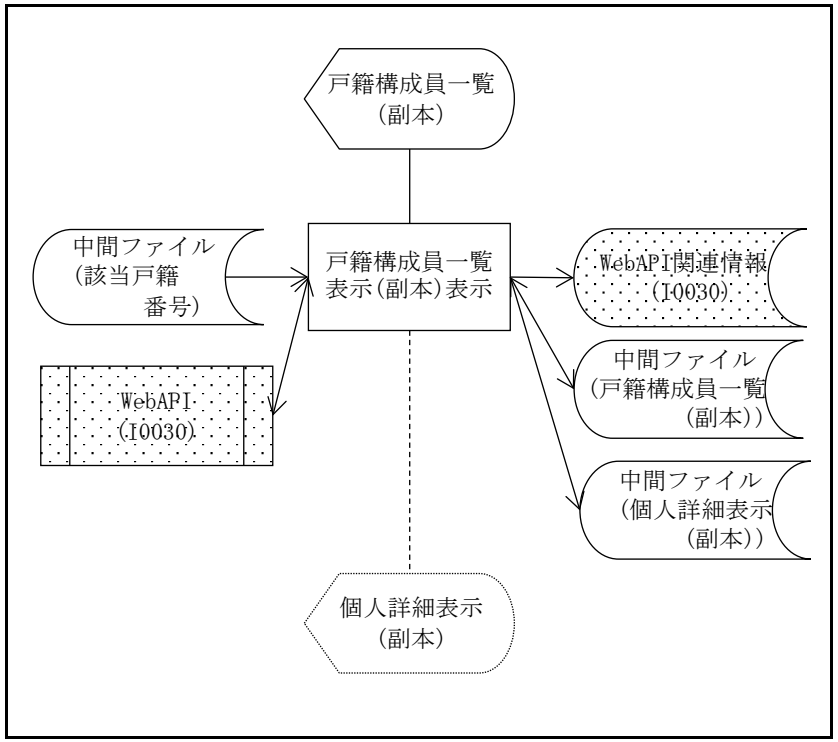
データチェック(単体表)			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名			画面名		画面ID			
8.0　該当番号のチェック			該当戸籍一覧(副本)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している該当戸籍のNO.	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	9.0　中間ファイル(該当戸籍番号(副本))作成							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル （該当戸籍番号(副本)）	副本参照処理通番		中間ファイル （該当戸籍一覧）	副本参照処理通番				
	行番号			選択番号(行番号)				
	改製不適合区分			改製不適合区分				

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (該当戸籍番号)	入力	中間ファイル (戸籍構成員一覧(副本))	入出力
WebAPI (I0030)	入力	中間ファイル (個人詳細表示(副本))	出力
WebAPI関連情報 (I0030)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(該当戸籍番号)の副本参照処理通番及び行番号をキーにWebAPI(I0030:副本記録情報取得(副本参照処理通番))を呼び出し、中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本)を編集･出力する
(2)戸籍構成員一覧(副本)の表示及び個人詳細番号を選択する
(3)全部事項イメージ及び除籍イメージを表示する
(4)選択された中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する
(5)個人詳細表示へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 0.1 データ編集表(副本記録情報取得(副本参照処理通番))
- 1.0 データ編集表(中間ファイル作成/戸籍構成員一覧(副本))
- 2.0 データ編集表(戸籍構成員一覧(副本)画面作成)
- 3.0 データチェック(単体表：詳細選択番号)
- 4.0 データチェック(関連表：戸籍種別)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル作成/個人詳細表示(副本))
- 6.0 データ編集表(WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(該当戸籍番号)を読む				/				
(2)中間ファイル(該当戸籍番号)の副本参照処理通番と行番号をキーに、WebAPI(I0030:副本 記録情報取得(副本参照処理通番))を呼び出す			[0.1]	/				
(2-1)WebAPI(I0030:副本記録情報取得(副本参照処理通番))結果 (OK:YES,NG:NO)				/				
YES (2-2)→(3)へ				/				
NO (2-3)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する					(2-4)同画面を編集する			
(3)中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))に編集・出力する			[1.0]	/				
(4)戸籍構成員一覧(副本)画面を編集・出力する			[2.0]	/			異動処理状況情報に該当する場合はメッセージ表示等の対応を行う	
(5)キー選択(詳細選択番号の入力) (実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、 PF7、 PF8、 PF9、 PF10、 PF11、その他)				/				
実行キー	(6)詳細選択番号のチェック(OK:YES, NG:NO)		[3.0][4.0]	/				
	YES	(7)中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))を全件読む		/				
		(8)中間ファイル(個人詳細表示(副本))へ編集・出力する	[5.0]	/				
		(9)WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)を編集・出力する	[6.0]		(10)個人詳細表示 (副本)に制御を渡す			
	NO	(11)単体チェック・関連チェックにて編集したメッセージを表示する			(12)同画面を編集する			
PF1	→				(13)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(14)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(15)該当戸籍一覧表示(副本)に制御を渡す			
PF7	(16)戸籍構成員の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(17)前ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧(副本)画面を編集する			(18)同画面を編集する			
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭のページです。」を表示する						
PF8	(20)戸籍構成員の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(21)次ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧(副本)画面を編集する						
	NO	(22)エラーメッセージ 「最終のページです。」を表示する						
PF9	(23)改製不適合戸籍か(YES,NO)			/				
	YES	(24)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(25)同画面を編集する			
	NO	(26)全部事項イメージ 又は 除籍イメージを表示する						

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF10	(27)戸籍事項の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(28)前ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧(副本)画面を編集する			(29)同画面を編集する			
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭のページです。」を表示する						
PF11	(31)戸籍事項の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(32)次ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧(副本)画面を編集する						
	NO	(33)エラーメッセージ 「最終のページです。」を表示する						
その他	(34)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	該当戸籍一覧表示(副本)表示							
処理名	0.1　副本記録情報取得(副本参照処理通番)							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(I0030-R01:副本記録情報照会要求)	副本参照処理通番		中間ファイル (該当戸籍番号)	副本参照処理通番				
	選択番号(行番号)			行番号				

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	1.0　中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (戸籍構成員一覧(副本))	戸籍種別		WebAPI (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	戸籍種別				
	改製不適合戸籍区分		中間ファイル (該当戸籍番号)	改製不適合戸籍区分				
	編製日		WebAPI (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数			記録者数				個人特定情報の件数
	在籍数			在籍者数				個人特定ファイルの在籍者の数
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	戸籍事項タイトルコード			戸籍事項タイトルコード				複数有り
	戸籍事項記録コード			戸籍事項記録コード				
	戸籍事項項目			戸籍事項項目				
	個人番号			個人番号				
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号				
	カナ氏名			カナ氏名				最新のものを編集
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示								
処理名	1.0　中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	養父母との続柄			養父母との続柄					
	前個人番号			前個人番号					
	身分事項タイトルコード			身分事項タイトルコード				複数有り	
	身分事項記録コード			身分事項記録コード					
	身分事項項目			身分事項項目					
	裁判所通知区分			裁判所通知区分					
	受理処理照会区分			受理処理照会区分					
	胎児認知区分			胎児認知区分					
	不受理申出区分			不受理申出情報の件数				件数≧1の時「1」、件数=0の時「0」	
	注意喚起区分			注意喚起区分					
	不受理申出ファイル			不受理申出ファイル				中間ファイル項目の細分化も可	
	除籍特定ファイル			除籍特定ファイル				中間ファイル項目の細分化も可	
	除籍個人特定ファイル			除籍個人特定ファイル				中間ファイル項目の細分化も可	
	全部証明書PDF更新年月日			全部証明書PDF更新年月日					
	全部証明書PDF更新時分秒			全部証明書PDF更新時分秒					
	全部証明書PDFファイル			全部証明書PDFファイル					
	除籍イメージPDFファイル			除籍イメージPDFファイル					
	異動処理状況情報			異動処理状況情報				各項目は省略する	

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示								
処理名	2.0　戸籍構成員一覧(副本)編集								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
戸籍構成員一覧(副本)画面	ページ1								戸籍事項の総ページを算出し、表示頁を編集
	ページ2								構成員の総ページを算出し、表示頁を編集
	戸籍種別			中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))	戸籍種別		有		
	改製不適合区分				改製不適合戸籍区分		有		0以外の場合に編集する
	編製日				編製日		有		
	消除日				消除日		有		
	記録数				記録数			Z9	
	在籍数				在籍数			Z9	
	本籍				本籍				
	筆頭者				筆頭者				
	戸籍事項	1～5			戸籍事項タイトルコード				中間ファイルの項目を編集して表示 複数有り
					戸籍事項記録コード				
					戸籍事項項目				
	NO.	1～8							
	漢字氏名	1～8			漢字氏名				
	生年月日	1～8			生年月日		有		
	除籍日	1～8			除籍日		有		
	続柄	1～8			父母との続柄		有		
	配偶者区分	1～8			配偶者区分		有		
	裁判所通知区分	1～8			裁判所通知区分				1の場合「*」
	受理処理照会区分	1～8			受理処理照会区分				1の場合「*」
	胎児認知届区分	1～8			胎児認知区分				1の場合「*」
	不受理申出区分	1～8			不受理申出区分				1の場合「*」
	注意喚起区分	1～8			注意喚起区分				1、2の場合「*」
	詳細選択番号								

データチェック(単体表)			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名			画面名		画面ID			
3.0　詳細選択番号のチェック			戸籍構成員一覧(副本)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	詳細選択番号	○	数字	表示している構成員のNO.	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

データチェック(単体表)		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示						

処理名	画面名	画面ID	
4.0　戸籍種別チェック	戸籍構成員一覧(副本)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	詳細選択番号が入力されたとき、戸籍種別=1(戸籍)　又は　戸籍種別=2(除籍(電算化後))　又は 戸籍種別=4(再製原戸籍)であること。	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	詳細選択番号が入力されたとき、改製不適合戸籍区分=0であること。			

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示							
処理名	5.0　中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成							

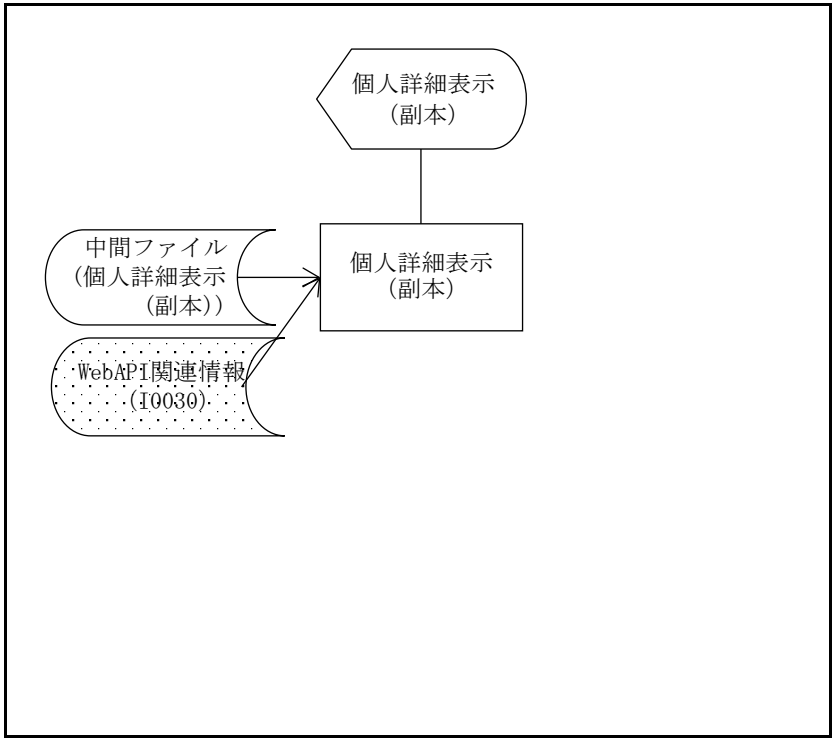
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (個人詳細表示(副本))	選択区分		戸籍構成員一覧(副本)画面					選択されたものに「1」セット
	詳細選択番号			詳細選択番号				
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧(副本))	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数			記録数				
	在籍数			在籍数				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	個人番号			個人番号				
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父氏名			父				
	母氏名			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父氏名			養父				
	養母氏名			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	身分事項タイトルコード			身分事項タイトルコード				複数有り
	身分事項記録コード			身分事項記録コード				
	身分事項項目			身分事項項目				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示								
処理名	5.0　中間ファイル(個人詳細表示(副本))作成								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	受理処理照会区分				受理処理照会区分				
	胎児認知区分				胎児認知区分				
	不受理申出区分				不受理申出区分				
	注意喚起区分				注意喚起区分				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	戸籍構成員一覧(副本)表示								
処理名	6.0 WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)	(全項目)		WebAPI(I0030-S01:副本記録情報照会結果)	(全項目)					

システム環境仕様書		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人詳細表示(副本)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示(副本))	入力		
WebAPI関連情報 (I0030)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得(副本参照処理通番))を読み込み、個人事項等を編集する

(2)個人詳細表示(副本)画面を表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(個人詳細表示(副本)画面作成)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人詳細表示(副本)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし、該当データを読み込む				/				
(2)中間ファイル(個人詳細表示(副本)) 及び WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得) [1.0] より、個人詳細表示(副本)画面を編集・表示する				/			異動処理状況情報に該当する場合はメッセージ表示等の対応を行う	
(3)キー選択 (PF1、PF2、PF3、PF4、PF5、PF7、PF8、PF10、PF11、その他)				/				
PF1	→				(4)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(5)検索選択に制御を渡す			
PF3	(6)1件前の中間ファイル(個人詳細表示(副本))があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(7)該当する中間ファイル(個人詳細表示(副本))を読み選択区分を設定する			(9)同画面を編集する			
	NO	(8)エラーメッセージ 「この前には構成員がありません。」を表示する						
PF4	(10)1件後の中間ファイル(個人詳細表示(副本))があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(11)該当する中間ファイル(個人詳細表示(副本))を読み選択区分を設定する						
	NO	(12)エラーメッセージ 「この後には構成員がありません。」を表示する						
PF5	→				(13)戸籍構成員一覧(副本)に制御を渡す			
PF7	(14)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(15)前ページ分の個人詳細表示(副本)を編集する			(17)同画面を編集する			
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭のページです。」を表示する						
PF8	(18)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(19)次ページ分の個人詳細表示(副本)を編集する						
	NO	(20)エラーメッセージ 「最後のページです。」を表示する						
PF10	→				(21)不受理申出表示(副本)に制御を渡す			
PF11	→				(22)個人状態表示(副本)に制御を渡す			
その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(24)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人詳細表示(副本)							
処理名	1.0　個人詳細表示(副本)編集							

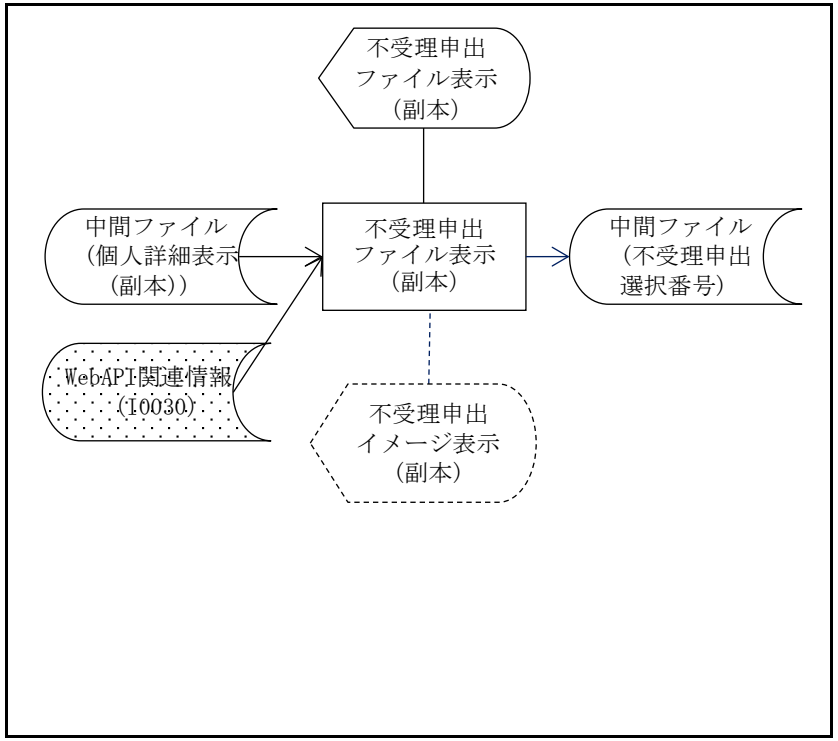
受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
個人詳細表示(副本)画面	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	戸籍種別		WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)	戸籍種別		有		
	編製日		中間ファイル(個人詳細表示(副本))	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				1の場合「有」
	受理処理照会区分			受理処理照会区分				1の場合「有」
	胎児認知区分			胎児認知区分				1の場合「有」
	不受理申出区分			不受理申出区分				1の場合「有」
	注意喚起区分			注意喚起区分				1、2の場合「有」
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分				1の場合「筆頭者」
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	養父氏名			養父氏名				
	養母氏名			養母氏名				
	養父母との続柄			養父母との続柄		有		
	身分事項事件項番1～10							

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人詳細表示(副本)							
処理名	1.0　個人詳細表示(副本)編集							

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	身分事項事件名1～10			身分事項タイトルコード		有		複数有り 事項証明書と同形式が基本であるが画面表示する場合で1身分事項内に限り、ベタ打ちを可とする
	身分事項記録項目1～10			身分事項項目				

システム環境仕様書		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル表示(副本)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(個人詳細表示(副本))	入力		
WebAPI関連情報(I0030)	入力		
中間ファイル(不受理申出選択番号)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))より、不受理申出ファイル表示(副本)画面を編集する
(2)不受理申出ファイル表示(副本)画面を表示する
(3)指定により不受理申出イメージ表示(副本)画面へ遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(不受理申出ファイル表示(副本)画面編集)

5.備考(特記事項含む)

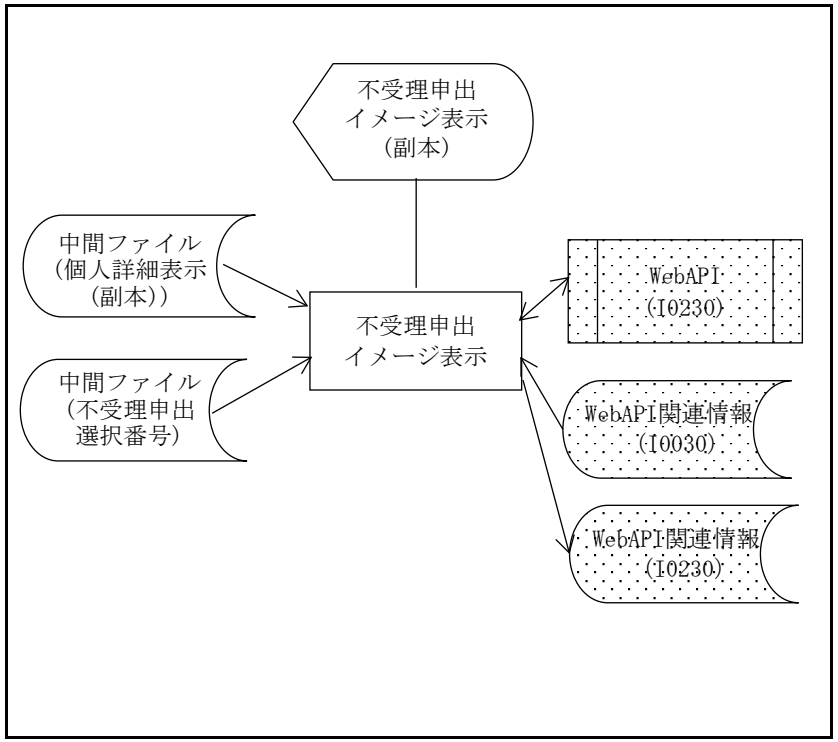
要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル表示(副本)							
処理名	0.0 本紙						備考	
							(1)を削除(R3版)	
(2)中間ファイル(個人詳細表示)に該当する不受理申出情報をWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)から読み込む検索する				/			中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))から編集しても構わない	
(3)不受理申出情報がある (OK:YES,NG:NO)				/				
YES	(4)不受理申出ファイル表示(副本)画面を編集・表示する [1.0]			/				
NO	(5)エラーメッセージ 「不受理申出はありません。」を表示する				(6)同画面を編集する			
(7)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF11、その他)				/				
PF1	→				(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(9)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(10)戸籍構成員一覧表示(副本)に制御を渡す			
PF6	(10-1)選択番号に入力がない 又は 番号が範囲外である(YES,NO)			/				
	YES	(10-2)エラーメッセージ 「選択番号が誤りです。正しく入力して下さい。」を表示する			(10-3)同画面を編集する			
	NO	→			(10-4)不受理申出イメージ表示(副本)に制御を渡す			
PF7	(11)不受理申出の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(12)前ページ分の不受理申出ファイル表示(副本)画面を編集する			(13)同画面を編集する			
	NO	(14)エラーメッセージ 「最終のページです。」を表示する						
PF8	(15)不受理申出の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(16)次ページ分の不受理申出ファイル表示(副本)画面を編集する						
	NO	(17)エラーメッセージ 「最終のページです。」を表示する						
PF9	→				(18)個人詳細表示(副本)に制御を渡す			
PF11	→				(19)個人状態表示(副本)に制御を渡す			
その他	(20)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(21)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル表示(副本)							
処理名	1.0　不受理申出ファイル表示(副本)画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
不受理申出 ファイル表示(副本) 画面	現ページ、総ページ							
	戸籍種別		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報取得)	戸籍種別		有		
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
(項番～ 相手氏名2) 最大1画面　2件	項番　1～2							01から件数分表示する
	開始日　1～2		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報取得)	開始日		有		
	送付日　1～2			送付日		有		
	失効日　1～2			失効日		有		
	失効区分　1～2			失効区分		有		
	失効区分表示　1～2							
	事件コード　1～2			不受理申出事件コード		有		
	事件名　1～2							
	相手氏名1　1～2			相手方氏名1				
	相手氏名2　1～2			相手方氏名2				
	不受理申出選択番号							

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出イメージ表示選択(副本)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示 (副本))	入力	WebAPI関連情報 (I0230)	出力
中間ファイル (不受理申出 選択番号)	入力		
WebAPI(I0230)	入力		
WebAPI関連情報 (I0030)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(不受理申出選択番号)の情報でWebAPI(I0230)を呼び出す
(2)不受理申出イメージ表示選択(副本)画面を表示する
(3)指定により不受理申出イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(WebAPI(I0230:画像等情報取得))
- 2.0 データ編集表(不受理申出イメージ表示(副本)画面編集)
- 3.0 データチェック(単体表)
- 4.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))の情報をキーとしてWebAPI(IO230:画像等情報取得)を呼び出し、全項目をWebAPI関連情報(IO230:画像等情報取得)に保存する [1.0]				/			非本籍人の場合は戸籍情報連携システムで保持している画像情報(履歴を含む全て)を取得する ※有効分の画像だけを取得して初期表示し、関連画像は操作者の指示に従い(PFキー等)取得・表示しても良い	
							(2)～(3)を削除(R4版)	
				/				
	(4)不受理申出イメージ表示画面を編集･表示する [2.0]			/				
							(5)～(6)を削除(R4版)	
(7)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、その他)				/				
PF1	→				(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(9)検索選択に制御を渡す			
PF5	→				(10)不受理申出ファイル表示(副本)に制御を渡す			
PF6	(11)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [3.0][4.0]			/				
	YES	(12)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する			(13)同画面を編集する			
	NO	(14)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
PF7	(15)一件前の不受理申出があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(16)→(2)へ		/				
	NO	(17)メッセージ 「不受理申出はありません。」を表示する			(18)同画面を編集する			
PF8	(19)一件後の不受理申出があるか?(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(20)→(2)へ		/				
	NO	(21)メッセージ 「不受理申出はありません。」を表示する			(22)同画面を編集する			
その他	(19)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)								
処理名	1.0 WebAPI(IO230:画像等情報取得)								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI(IO230-R01:画像等情報の照会要求)	副本参照処理通番		WebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)	副本参照処理通番				中間ファイル(不受理申出選択番号)で選択した情報に該当するWebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)の項目を設定して呼び出す	
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)					
	戸籍記録順位番号		中間ファイル(個人詳細表示(副本))	戸籍記録順位番号					
	取得対象区分							下記区分を順に設定して全ての画像情報を取得する 「20:不受理申出情報(有効分)」 「21:不受理申出情報(失効分)」 「22:不受理申出情報(有効分の履歴)」 「23:不受理申出情報(失効分の履歴)」 ※有効分の画像だけを取得し、関連画像は操作者の指示に従い(PFキー等)取得・表示しても良い	

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)							
処理名	2.0　不受理申出イメージ表示(副本)画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出イメージ表示(副本)画面	戸籍種別		不受理申出ファイル表示(副本)画面	戸籍種別				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	項番			項番				
	受理送付区分			受理送付区分				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	事件コード			事件コード				
	事件名			事件名				
	相手氏名1			相手氏名1				
	相手氏名2			相手氏名2				
	不受理申出イメージ更新日		WebAPI関連情報(IO230:画像等情報取得)	不受理申出イメージ更新日		有		不受理申出情報登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)を表示する
	不受理申出イメージ更新時間			不受理申出イメージ更新時分秒				
	不受理申出イメージ最終履歴番号			不受理申出情報登録番号				
	不受理申出添付書面イメージ更新日			不受理申出添付書面イメージ更新日		有		
	不受理申出添付書面イメージ更新時間			不受理申出添付書面イメージ更新時分秒				
	不受理申出補正イメージ更新日			不受理申出補正イメージ更新日		有		

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)								
処理名	2.0　不受理申出イメージ表示(副本)画面編集								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	ｲﾒｰｼﾞ更新日				ｲﾒｰｼﾞ更新日				
	不受理申出補正 イメージ更新時間				不受理申出補正 イメージ更新時分秒				
	不受理申出取下 イメージ更新日				不受理申出取下 イメージ更新日		有		
	不受理申出取下 イメージ更新時間				不受理申出取下 イメージ更新時分秒				
	不受理申出補正内容			WebAPI関連情報 (I0030:副本記録情報取得)	不受理申出補正情報				
	イメージ種別番号								
	表示履歴番号								

データチェック(単体表)			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)							
処理名			画面名		画面ID			
2.0　入力項目のチェック			不受理申出イメージ表示(副本)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				

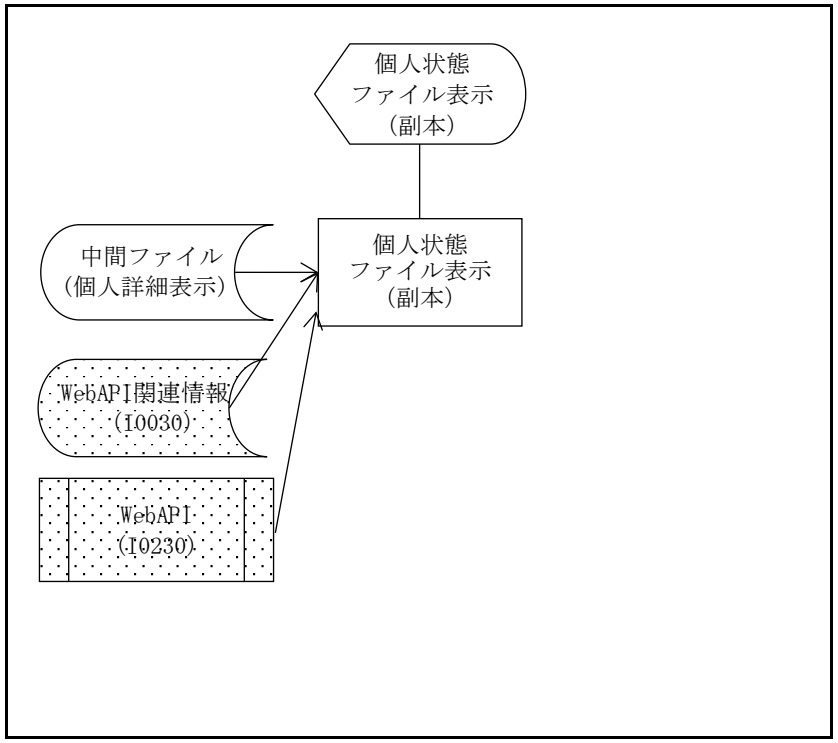
データチェック(関連表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出イメージ表示(副本)						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　入力項目のチェック	不受理申出イメージ表示(副本)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(不受理申出)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦不受理申出イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面) 又は　3(不受理申出補正)　又は　4(不受理申出取下)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル表示(副本)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(個人詳細表示(副本))	入力		
WebAPI関連情報(I0030)	入力		
WebAPI(I0230)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示(副本))及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み、個人状態ファイル表示(副本)画面を編集する
(2)個人状態ファイル表示画面を表示する
(3)胎児認知区分があれば指定によりWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出し、胎児認知
届イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(個人状態ファイル表示(副本)画面編集)
└ 2.0 データ編集表(画像等情報取得)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人状態ファイル表示(副本)								
処理名	0.0 本紙							備考	
								(1)を削除(R3版)	
(2)中間ファイル(個人詳細表示(副本))に該当する個人状態情報をWebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)から読み込む検索する					/			中間ファイル(戸籍構成員一覧(副本))から編集しても構わない	
(3)個人状態情報がある (OK:YES,NG:NO)					/				
YES	(4)個人状態ファイル表示(副本)画面を編集・表示する [1.0]				/				
NO	(5)エラーメッセージ 「個人状態はありません。」を表示する					(6)同画面を編集する			
(7)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF9、PF10、その他)					/				
PF1	→					(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(9)検索選択に制御を渡す			
PF5	→					(10)戸籍構成員一覧表示(副本)に制御を渡す			
PF6	(10-1)胎児認知区分=1である(YES,NO)				/				
	YES	(10-2)WebAPI(IO230:画像等情報取得)を呼び出す [2.0]			/				
		(10-3)WebAPI(IO230:画像等情報取得)結果 (OK:YES,NG:NO)			/				
		YES	(10-4)胎児認知届書イメージを表示する			(10-5)同画面を編集する			
		NO	(10-6)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						
	NO	(10-7)エラーメッセージ 「胎児認知届はありません。」を表示する							
PF9	→					(11)個人詳細表示(副本)に制御を渡す			
PF10	→					(12)不受理申出表示(副本)に制御を渡す			
その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(14)同画面を編集する			

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人状態ファイル表示(副本)								
処理名	1.0　個人状態ファイル表示(副本)画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
個人状態ファイル表示(副本)画面	戸籍種別		WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)	戸籍種別		有			
	カナ氏名		中間ファイル(個人詳細表示(副本))	カナ氏名					
	漢字氏名			漢字氏名					
	本籍			本籍					
	生年月日			生年月日		有			
	筆頭者			筆頭者					
	禁治産者区分		WebAPI関連情報(I0030:副本記録情報取得)	禁治産者区分					
	裁判所通知区分			裁判所通知区分					
	受理処理照会区分			受理処理照会区分					
	胎児認知区分			胎児認知区分					
	注意喚起区分			注意喚起区分					

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人状態ファイル表示(副本)								
処理名	2.0 画像等情報取得								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI(IO230-R01:画像等情報の照会要求)	副本参照処理通番		WebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)	副本参照処理通番					
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)					
	戸籍記録順位番号		中間ファイル(個人詳細表示(副本))	戸籍記録順位番号					
	取得対象区分							「10:胎児認知情報」を設定	

補足説明書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	検索処理
処理名	副本記録情報検索処理

「副本記録情報検索」処理は戸籍情報連携システムのWebAPI機能を利用して副本記録情報を検索し、その内容を表示する処理である。

戸籍情報システムの他の処理において副本記録情報を検索し、証明や異動等の各処理を行う上ではおおむね「副本記録情報検索」処理の仕様と同様に実装することとなるが、ここで各処理において含むべきプロセスと、各処理において戸籍情報連携システムのWebAPI機能を用いて参照することができる副本記録情報の制限を一覧で示す。「検索」処理と各処理との相違点の詳細については各処理の要件定義書を参照のこと。

1.副本記録情報を検索する処理と利用可能なプロセス

副本記録情報を検索する処理の一覧及び当該処理で利用可能なプロセスについて、対応表を右表に示す。

凡例　○ 標準仕様書で利用可能としているプロセス

△ 標準仕様書では明記していないプロセス
（戸籍を特定した操作以降であれば任意実装可能）

			システムの機能体系図												
			1	2	3	4	5		6	7	8	9	10	11	12
			検索処理	異動処理	移記事項入力処理	決裁処理	証明処理		統計処理	帳票出力処理	各種ファイル更新処理	受領番号確保処理	関連業務処理	訂正・更正・追完・審査結果入力処理＊1	連携情報処理
			副本記録情報検索	異動検索			広域交付戸籍証明書等	戸籍電子証明書等							本籍人副本記録情報検索
副本記録情報検索処理のプロセス	1	該当戸籍一覧（副本）	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	2	目的内利用確認	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	3	異体字検索	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	4	戸籍構成員一覧（副本）	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	5	全部事項イメージ／除籍イメージ表示	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	6	個人詳細表示（副本）	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	7	不受理申出ファイル表示（副本）	○	○	—	—	△	△	—	—	—	—	—	—	○
	8	個人状態ファイル表示（副本）	○	○	—	—	△	△	—	—	—	—	—	—	○

*1：訂正・更正・追完・審査結果入力処理は、副本記録情報検索処理の対象とはしていないが、非本籍戸籍を参照する機能をベンダーの戸籍情報システムに組み込んだ場合は、副本記録情報検索処理のプロセスに従うこと。

補足説明書		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	検索処理						
処理名	副本記録情報検索処理						

2.「副本記録情報検索」処理で参照することができる副本記録情報の制限

2-1. 各処理において参照できる戸籍種別の制限

各処理において参照することができる戸籍種別については右表のとおりである。本仕様については検索時に選択された項目が正しいか、各処理においてチェックを行うこと。

*2改製不適合戸籍については、戸籍種別「戸籍」を選択することによって検索対象となる。検索結果に改製不適合戸籍があれば、改製不適合区分によって判別することができる。

2-2. 本籍人の副本記録情報を参照することができる処理

戸籍DB又は副本記録情報を検索する処理において、原則として本籍人の情報は戸籍DBを参照し、非本籍人の情報については副本記録情報を参照する。例外として、「戸籍電子証明書等」処理及び「本籍人副本記録情報検索」処理については本籍人の副本記録情報を参照することができる。

		システムの機能体系図												
		1	2	3	4	5		6	7	8	9	10	11	12
		検索処理	異動処理	移記事項入力処理	決裁処理	証明処理		統計処理	帳票出力処理	各種ファイル更新処理	受領番号確保処理	関連業務処理	訂正・更正・追完・審査結果入力処理＊1	連携情報処理
		副本記録情報検索	異動検索			広域交付戸籍証明書等	戸籍電子証明書等							本籍人副本記録情報検索
電算化	戸籍　*2	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	除籍	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	改製原戸籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	再製原戸籍	○	×	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	○
電算化前	除籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	司法大臣原戸籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	昭和改製原戸籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	平成改製原戸籍	○	×	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○
	再製原除籍	○	×	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	○
	再製原新改(平成改製原)	○	×	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	○

*1：訂正・更正・追完・審査結果入力処理は、副本記録情報検索処理の対象とはしていないが、非本籍戸籍を参照する機能をベンダーの戸籍情報システムに組み込んだ場合は、全ての戸籍を検索対象とすることができる。

第7.2.(3)

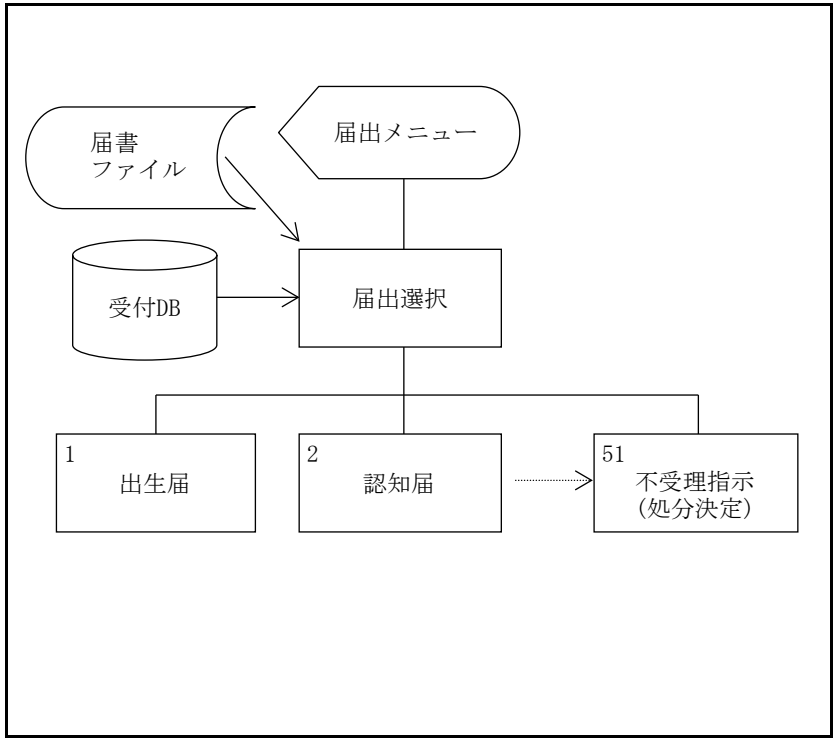
「届出選択」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	107の2の26	届出選択処理	0.0_本紙 ・107条2項届、同3項届、同4項届の名称が誤っているため、画面設計書の名称に合わせる修正
2		－		システム環境仕様書、0.0_本紙、4.0_仮受付ファイル作成 ・仮受付ファイル作成不要により各仕様書から削除 3.0_別紙 受理指示と不受理指示の番号が誤っているため修正
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3
作業名	届出選択					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力		
届書ファイル	入力		

3.処理概要

(1)届出選択(事件コード)の入力チェック
(2)受領番号入力時の届書F項目及び受付DB項目とのチェック
(3)出生届～不受理指示に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データチェック(単体表)
├ 2.0 データチェック(関連表)
└ 3.0 届書ファイル及び受付DBとのチェック

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3

作業名	届出選択

処理名	0.0 本紙			備考
(1)届出メニュー画面を出力する		/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)		/		
実行キー	(3)該当事件コード、受領番号の入力チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
YES	(4)該当事件コード、受領番号の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
YES	(5)届書F及び受付DBとのチェック(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
YES	(6) → (10)	/		
NO	(7) →		(8)同画面を編集する	
NO	(9) →			
(10)該当事件コード(1～40、50、51)		/		再入力時点で届書ファイルの排他区分を設定する
1	(11)出生届		(12)出生届に制御を渡す	
2	(13)認知届		(14)認知届に制御を渡す	
3	(15)養子縁組届		(16)養子縁組届に制卸を渡す	
4	(17)養子離縁届		(18)養子離縁届に制御を渡す	
5	(19)特別養子縁組届		(20)特別養子縁組届に制御を渡す	
6	(21)特別養子離縁届		(22)特別養子離縁届に制御を渡す	審査結果入力
7	(23)73条の2届		(24)73条の2届に制御を渡す	
8	(25)養子離縁届同時73条の2届		(26)養子離縁届同時73条の2届に制御を渡す	
9	(27)婚姻届		(28)婚姻届に制御を渡す	
10	(29)離婚届		(30)離婚届に制御を渡す	

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3
作業名	届出選択						
処理名	0.0 本紙					備考	
11	(31)77条の2届			(32)77条の2届に制御を渡す			
12	(33)離婚届同時77条の2届			(34)離婚届同時77条の2届に制御を渡す			
13	(35)親権(管理権)届			(36)親権(管理権)届に制御を渡す			
14						(37)～(38)第22版で削除	
15	(39)保佐届			(40)保佐届に制御を渡す			
16	(41)死亡届			(42)死亡届に制御を渡す			
17	(43)失踪届			(44)失踪届に制御を渡す			
18	(45)復氏届			(46)復氏届に制御を渡す			
19	(47)姻族関係終了届			(48)姻族関係終了届に制御を渡す			
20	(49)推定相続人廃除届			(50)推定相続人廃除届に制御を渡す			
21	(51)入籍届			(52)入籍届に制御を渡す			
22	(53)分籍届			(54)分籍届に制御を渡す			
23	(55)国籍取得届			(56)国籍取得届に制御を渡す			
24	(57)帰化届			(58)帰化届に制御を渡す			
25	(59)国籍喪失届			(60)国籍喪失届に制御を渡す			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3

作業名	届出選択

処理名			0.0 本紙			備考
		26	(61)国籍選択届		(62)国籍選択届に制御を渡す	
		27	(63)外国国籍喪失届		(64)外国国籍喪失届に制御を渡す	
		28	(65)氏の変更届		(66)氏の変更届に制御を渡す	
		29	(67)107条2項届		(68)107条2項届に制御を渡す	
		30	(69)107条3項届		(70)107条3項届に制御を渡す	
		31	(71)107条4項届		(72)107条4項届に制御を渡す	
		32	(73)名の変更届		(74)名の変更届に制御を渡す	
		33	(75)転籍届		(76)転籍届に制御を渡す	
		34	(77)就籍届		(78)就籍届に制御を渡す	
		35	(79)縁組取消届		(80)縁組取消届に制御を渡す	審査結果入力
		36	(81)離縁取消届		(82)離縁取消届に制御を渡す	審査結果入力
		37	(83)婚姻取消届		(84)婚姻取消届に制御を渡す	審査結果入力
		38	(85)離婚取消届		(86)離婚取消届に制御を渡す	審査結果入力
		39	(87)失踪宣告取消届		(88)失踪宣告取消届に制御を渡す	審査結果入力
		40	(89)推定相続人廃除取消届		(90)推定相続人廃除取消届に制御を渡す	審査結果入力

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3
作業名			届出選択						
処理名			0.0 本紙					備考	
		41	(90-1)未成年者の後見届			(90-2)未成年者の後見届に制御を渡す			
		50	(91)受理指示 受理指示事件コードにより届出事件を判別する			(92)各処理に制御を渡す			
		51	(93)不受理指示			(94)処分決定処理に制御を渡す			
	NO		(95)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する			(96)同画面を編集する			
PF1	→					(97)業務選択に制御を渡す			
その他	(98)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(99)同画面を編集する			

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年3月31日	版	22
作業名	届出選択								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　該当事件コードのチェック				届出メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当事件コード	○	数字	1～41、50～51であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	受領番号		数字						

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	届出選択						

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	届出メニュー		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)該当事件コードが50～51の場合、(NO.2)受領番号に入力があること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3

作業名	届出選択
処理名	3.0 別紙

					備考
(1)入力された受領番号をキーに届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)		/			
YES	(2)届書排他区分=1:「排他」である(YES,NO)		/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は現在処理中です。移動処理は行えません。」を表示		(4)本紙へ	
	NO	(5)→(6)へ	/		
NO					
(6)入力された受領番号をキーに受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
YES	(7)決裁区分は1:「決裁」 又は 4:「欠番」である(YES,NO)		/		
	YES	(8)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は、再処理は行えません。」を表示		(9)本紙へ	
	NO	(10)→(13)へ	/		
NO	(11)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届はありません。」を表示			(12)本紙へ	
(13)画面入力された該当事件コードは50:「受理指示」 又は 51:「不受理指示」である(YES,NO)			/		
YES	(14)処分区分は3:「受理照会」 又は 4:「処理照会」である(YES,NO)				
	YES	(15)→(19)へ			
	NO	(16)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は、照会ではありません。」を表示		(17)本紙へ	
NO	(18)→(19)へ		/		
(19)受付DB.関連受領番号1～5まで繰り返す			/		
	(20)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)		/		
	YES	(21)入力された受領番号<受付DB.関連受領番号である(YES,NO)	/		
		YES (22)→	/		
		NO (23)エラーメッセージ 「関連する届があります。基本となる届の受領番号を入力してください。」を表示		(24)本紙へ	
	NO	(25)→	/		
(26)受理指示事件コードを初期化する					
(27)該当事件コード(4、8、10、12、50、51、その他)					

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3
作業名	届出選択								
処理名	3.0 別紙							備考	
4 (離縁)	(28)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/					
	YES	(29)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示			(30)本紙へ				
	NO	(31)受付事件コード=「離縁」である(YES,NO)		/					
		YES	(32)→		(33)本紙へ				
		NO	(34)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示						
8 (離縁同時73条の2)	(35)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/					
	YES	(36)受付事件コード=「離縁」である(YES,NO)		/					
		YES	(37)→		(38)本紙へ				
		NO	(39)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示						
	NO	(40)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示							
10 (離婚)	(41)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/					
	YES	(42)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示			(43)本紙へ				
	NO	(44)受付事件コード=「離婚」である(YES,NO)		/					
		YES	(45)→		(46)本紙へ				
		NO	(47)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示						
12 (離婚同時77条の2)	(48)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/					
	YES	(49)受付事件コード=「離婚」である(YES,NO)		/					
		YES	(50)→		(51)本紙へ				
		NO	(52)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示						
	NO	(53)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示							

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年12月31日	版	R3
作業名	届出選択							
処理名	3.0 別紙						備考	
50 (受理指示)	(54)受理指示事件コードに、選択事件コードを、受付事件コードで判別してセットする			/				
	(55)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)			/				
	YES	(56)受付事件コード=「離縁」である(YES,NO)		/				
		YES	(57)受付指示事件コードに選択事件コード:離縁同時73条の2をセットする	/				
		NO	(58) → (59)へ	/				
		(59)受付事件コード=「離婚」である(YES,NO)		/				
		YES	(60)受付指示事件コードに選択事件コード:離婚同時77条の2をセットする		(61)本紙へ			
		NO	(62) →					
	NO							
51	(63) →				(64)本紙へ			
その他	(65)選択事件コードと受付事件コードのチェックをする(OK:YES,NG:NO)			/				
	YES	(66) →			(67)本紙へ			
	NO	(68)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示						

第7.2.(4)

「異動検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「異動検索」処理	システム処理の概要説明書 ・「前提」に必須とする事項を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要図」を変更直下のフロー図にサブタイトル「1-1.異動検索(本籍人)処理業務の概要図」を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要図」に「1-2.異動検索(非本籍)) 処理業務の概要図」を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要」を「2.異動検索処理業務の概要」に変更 ・「2.異動検索処理業務の概要　B.該当戸籍一覧～個人詳細表示」に異動検索(非本籍人)の処理概要を追加
2	R3	B03	「異動検索」処理	システム処理の概要説明書 ・「前提」に異動予約情報一覧から事件本人等を選択できる機能を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要図」「1-1.異動検索(本籍人)処理業務の概要図」の戸籍DBロック中間F作成に戸籍情報連携システムとの連携に関する事項を追加 ・「1.異動検索処理業務の概要図」「1-2.異動検索(非本籍)) 処理業務の概要図」の中間F作成に戸籍情報連携システムとの連携に関する事項を追加 ・「2.異動検索処理業務の概要」 　不受理申出イメージ表示、胎児認知届イメージ表示を記載 　予約情報一覧から事件本人等を選択した場合を記載 ・I0140送信回数の変更 　この変更を補記するため「2.0 事件本人の選択における戸籍情報連携システムとの送受信」を追加
3	R4	B01	「異動検索」処理	検索した戸籍が異動予約中、異動処理中である場合の対処を追加 ①「前提」に(10)を追加

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	異動検索

★前提★

ここに記述するものは、基本的な例であり、処理機能･画面等は、各自治体･メーカー一任とする。

但し、次に掲げる事項は、必須とする。

1).該当者選択時における審査不可区分のチェック

区分	新メッセージ内容
1	審査不可区分が設定されています。(渉外婚姻)
2	審査不可区分が設定されています。(婿養子縁組婚姻、入夫婚姻)

2).不受理申出がある場合の、不受理申出画面の強制表示

3).出生子の名に使える文字のチェック

4).本籍、住所等選択入力の場合のコードの設定

5).戸籍DBの排他制御(ロック)処理(エラーメッセージ表示含む)

6).その他、処理に必要なコード等の設定

7).除籍者が選択された場合は、注意喚起のメッセージ等を表示

8).検索処理において順守すべきとされている事項

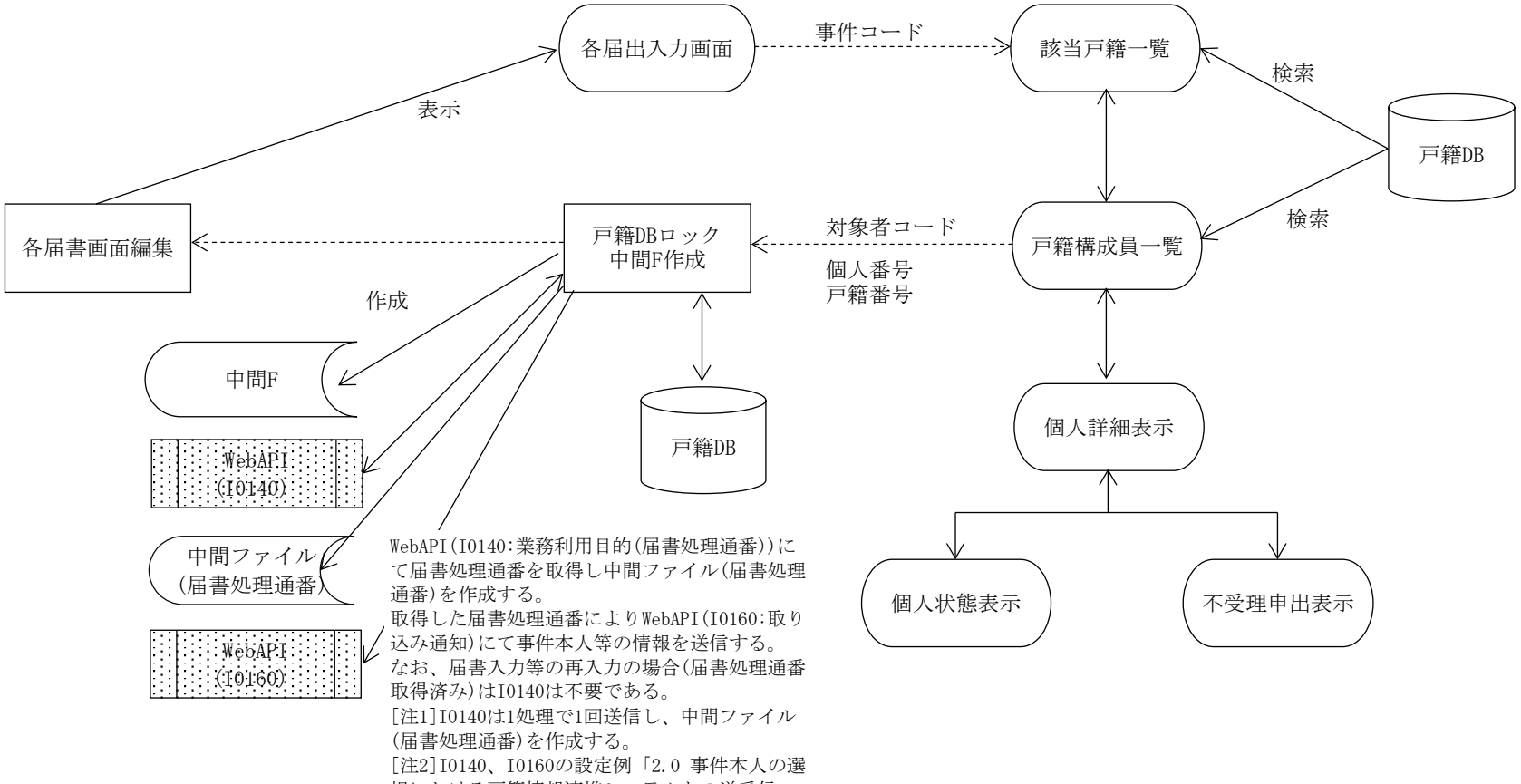
9).異動予約情報の一覧から異動事件の該当戸籍又は個人を選択する機能を備えること

10).非本籍人検索において事件本人に異動処理状況情報を確認し、「異動処理中」である場合は選択不可とする処理を、「異動予約中」の場合は異動予約内容の表示等により処理継続が可能か判断する処理を行うこと

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	異動検索					

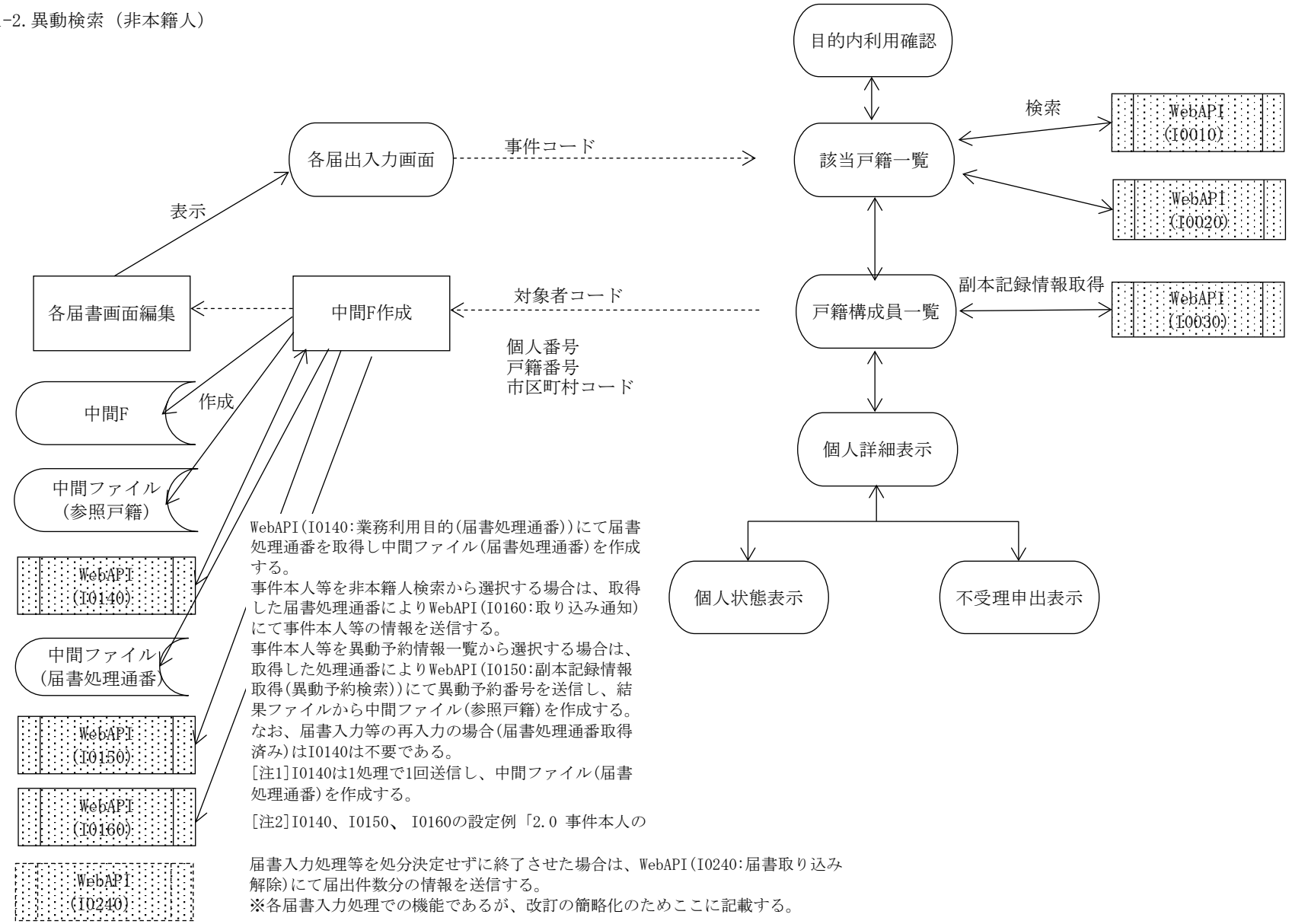
1.異動検索処理業務の概要図

1-1.異動検索（本籍人）



システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	異動検索					

1-2.異動検索（非本籍人）



WebAPI(I0140:業務利用目的(届書処理通番))にて届書処理通番を取得し中間ファイル(届書処理通番)を作成する。
事件本人等を非本籍人検索から選択する場合は、取得した届書処理通番によりWebAPI(I0160:取り込み通知)にて事件本人等の情報を送信する。
事件本人等を異動予約情報一覧から選択する場合は、取得した処理通番によりWebAPI(I0150:副本記録情報取得(異動予約検索))にて異動予約番号を送信し、結果ファイルから中間ファイル(参照戸籍)を作成する。
なお、届書入力等の再入力の場合(届書処理通番取得済み)はI0140は不要である。
[注1]I0140は1処理で1回送信し、中間ファイル(届書処理通番)を作成する。

[注2]I0140、I0150、 I0160の設定例「2.0 事件本人の

届書入力処理等を処分決定せずに終了させた場合は、WebAPI(I0240:届書取り込み解除)にて届出件数分の情報を送信する。
※各届書入力処理での機能であるが、改訂の簡略化のためここに記載する。

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	異動検索						

2.異動検索処理業務の概要

A.各届書入力画面からの制御

・各届書入力画面から、事件コードを受け取る。

B.該当戸籍一覧～個人詳細表示又は該当戸籍一覧(副本・異動)～個人詳細表示(副本・異動)
選択したい該当者が本籍人の場合は、異動検索(本籍人)処理として戸籍DBを検索し該当戸籍一覧～個人詳細表示を表示する。非本籍人の場合には、異動検索(非本籍人)処理として戸籍情報連携システムのWebAPI機能を利用して副本記録情報を検索し、該当戸籍一覧(副本・異動)～個人詳細表示(副本・異動)を表示する。

・該当戸籍選択又は該当戸籍一覧(副本・異動):検索処理と同様
該当戸籍一覧(副本･異動)画面の検索キー(戸籍種別)について、改製原戸籍、再製原戸籍、除籍(電算化前)、司法大臣原戸、昭和改製原戸籍
平成改製原戸籍、再製原除籍及び再製原新改(平成改製原)の指定は不可とする。
・戸籍構成員一覧又は戸籍構成員一覧(副本・異動):与えられた事件コードに対する該当者及び該当戸籍を選択する。【次頁参照】
改製不適合戸籍又は改製不適合戸籍に在籍する個人は、該当者/該当戸籍として選択することができない。
・個人詳細表示又は個人詳細表示(副本・異動):検索処理と同様(個人状態ファイルに胎児認知区分がある者は、胎児認知届イメージを表示する)
・不受理申出表示又は不受理申出ファイル表示(副本・異動):検索処理と同様(不受理申出がある者は、不受理申出イメージを表示する)

該当者/該当戸籍 分繰り返す

C.異動予約情報一覧　※「異動予約」処理はサンプル提示のため画面設計書は作成しない

・本籍人、非本籍人とも予約情報一覧から事件本人等を選択する。この場合、A.～B.の画面による処理は行わない。

D.該当者選択終了後

・該当者に不受理申出Fが存在すれば、不受理申出に該当するかどうかの判断入力ができる不受理申出の画面を強制的に出力させる。
判断結果は、異動入力へと引き継ぐ。
・該当者が本籍人の場合、該当する戸籍に対して、ロックをかける。
・該当者が本籍人の場合、WebAPI(IO140:業務利用目的(届書処理通番))にて届書処理通番を取得して中間ファイル(届書処理通番)を作成し、WebAPI(IO160:取り込み通知)にて事件本人等の情報を送信する。
・該当者が非本籍人の場合、WebAPI(IO140:業務利用目的(届書処理通番))にて届書処理通番を取得して中間ファイル(届書処理通番)を作成する。
該当者を非本籍人検索から選択した場合はWebAPI(IO030:副本記録情報取得(副本参照処理通番))から中間ファイル(参照戸籍)を作成し、WebAPI(IO160:取り込み通知)にて事件本人等の情報を送信する。
該当者を異動予約から選択した場合はWebAPI(IO150:副本記録情報取得(異動予約検索))にて事件本人等の情報を送信し、送信結果から中間ファイル(参照戸籍)を作成する。
・届書画面に対応する中間Fを作成する。

E.届書画面編集

・作成した中間Fより画面へ編集する。

3.留意点

・異動検索処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。又、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。
・IO140は1処理で1回送信し、中間ファイル(届書処理通番)を作成する。再処理(届書処理通番取得済)の場合はIO140は不要。
・届書入力処理等を処分決定せずに終了させた場合は、WebAPI(IO240:届書取り込み解除)にて届出件数分の情報を送信する。
※届書入力処理の改訂の簡略化のためここに記載する。
・IO140、IO150、IO160の設定情報は後の処理で使用する場合も考えられることから、設定情報を中間ファイル(届書処理通番)と連携して保持することを検討するこ

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	異動検索
処理名	1.0 異動検索の届書別該当者一覧

届書名	該当者	該当戸籍	備考
出生届	父 母 届出人	入るべき戸籍	新本籍の入力
認知届	被認知者(子) 認知者(父) 被認知者の母 (子の母)		
養子縁組届	養子・養女 養父 養母		新本籍の入力
養子離縁届	養子・養女 養父 養母	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
特別養子縁組届	養子・養女 養父 養母		
特別養子離縁届	養子・養女 養父 養母	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
法73条の2届(法69条の2届)	縁氏続称者		新本籍の入力
養子離縁届同時73条の2届	養子・養女 養父 養母		新本籍の入力
婚姻届	夫 妻		新本籍の入力
離婚届	夫 妻	戻る戸籍	新本籍の入力
77条の2届	婚氏続称者		新本籍の入力
離婚届同時77条の2届	夫 妻		新本籍の入力
親権(管理権)届	未成年者 親権者(管理権者)		
未成年後見届	未成年被後見人 未成年後見人		
保佐届	被保佐人 保佐人		

届書名	該当者	該当戸籍	備考
死亡届	死亡者 死亡者の生存配偶者		
失踪宣告届	失踪者 失踪者の生存配偶者		
復氏届	復氏届	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
姻族関係終了届	姻族関係終了者		
推定相続人廃除届	被廃除者 廃除者		
入籍届	入籍者 入籍者の配偶者	入籍戸籍	
分籍届	分籍者		
国籍取得届		入籍戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
帰化届		入籍戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
国籍喪失届	国籍喪失者 国籍喪失者の配偶者		
国籍選択届	国籍選択者		
外国国籍喪失届	外国国籍選択者		
107条1項届	氏変更者 氏変更の筆頭者		
107条2項届	氏変更者		新本籍の入力
107条3項届	氏変更者		新本籍の入力
107条4項届	氏変更者		新本籍の入力
名の変更届	名変更者		
転籍届	転籍者 転籍の筆頭者		新本籍の入力
就籍届		入籍戸籍	新本籍の入力

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	異動検索
処理名	2.0 事件本人等の選択における戸籍情報連携システムとの送受信

項番	届出事件	事件本人等	I/F	I/F送信情報(主な設定情報)及びI/F受信情報(主な受信項目)	備考
1	婚姻 (届書入力)	夫(本)異動予約	I0140-R01	目的ID「2:戸籍の届出業務」届出事件コード「09:婚姻」届書処理方法区分「0:届書審査処理」	最初の事件本人設定で実施
			I0140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
			I0160-R01	選択種別「1:異動予約から事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「001」異動対象区分「－：設定不要」事件本人区分「12」事件対象戸籍区分「－：設定不要」	事件本人「夫」の選択 設定項目を中間ファイル(届書処理通番)への設定を検討する
			I0160-S01	特になし	
		妻(非本)異動予約	I0150-R01	入力識別番号「002」事件本人区分「13」副本参照処理区分、事件対象戸籍区分は夫と同じ	事件本人「妻」の選択
			I0150-S01	取得した事件本人の副本記録情報を中間ファイル(参照戸籍)として登録	
2	婚姻 (届書入力)	夫(非本)副本記録情報検索	I0140	項番1と同じ	最初の事件本人設定で実施
			I0160-R01	選択種別「2:副本記録情報を検索して事件本人を選択」異動対象区分「1:事件本人単位」他は項番1の夫と同じ	事件本人「夫」の選択
			I0160-S01	取得した異動予約番号で異動予約ファイルの更新が可能	
		妻(本)本籍人検索	I0160-R01 I0160-S01	選択種別「3:戸籍情報を検索して事件本人を選択」異動対象区分「1:事件本人単位」他は項番1の妻と同じ S01の用途は夫と同じ	事件本人「妻」の選択
3	項番2の婚姻(届書入力)で事件本人(夫)の選択誤りがあった場合	夫(非本)副本記録情報**【再検索】** 選択誤りの事件本人	I0140	**取得済みのため送信不要**	
			I0160-R01	選択種別「1:異動予約から事件本人を選択」副本参照処理区分「**2:届書取り込み解除**」入力識別番号「001」異動対象区分「1:事件本人単位」事件本人区分「12」事件対象戸籍区分「－：設定不要」	事件本人「夫」の**再選択** 誤った事件本人の届書取り込み解除を行う 再選択した事件本人の届書取り込みを行う
		選択し直した事件本人	I0160-R01	項番2の夫と同じ	
4	離婚 (届書入力)	夫(非本)異動予約	I0140-R01	目的ID「2:戸籍の届出業務」届出事件コード「10:離婚」届書処理方法区分「0:届書審査処理」	最初の事件本人設定で実施
			I0140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
			I0150-R01	副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「001」事件本人区分「12」事件対象戸籍区分「－：設定不要」	事件本人「夫」の選択
			I0150-S01	取得した事件本人の副本記録情報を中間ファイル(参照戸籍)として登録	
		妻(非本)異動予約	I0150-R01	入力識別番号「002」事件本人区分「13」他は夫と同じ	事件本人「妻」の選択
			I0150-S01	夫と同じ情報のため何もしない	
		戻る戸籍(本)異動予約	I0160-R01	選択種別「1:異動予約から事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」入力識別番号「900」異動対象区分「－：設定不要」事件本人区分「－：設定不要」事件対象戸籍区分「02：戻る戸籍」	事件本人「戻る戸籍」の選択

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	異動検索			
5 離縁同時73条の2の届 (届書入力)	養子(本)本籍人検索	I0140-R01	目的ID「2:戸籍の届出業務」届出事件コード**「08:戸籍法69条の2」**届書処理方法区分「0:届書審査処理」	最初の事件本人設定で実施 I0140は1処理で1回だけ送信 ※届出事件コードは欄外参照
		I0140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
		I0160-R01 S01省略	選択種別「3:戸籍情報を検索して事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」 入力識別番号「003」異動対象区分「1:事件本人単位」事件本人区分「10」事件対象戸籍区分「－：設定なし」	事件本人「養子」の選択
	養父(本)本籍人検索	I0160-R01	入力識別番号「001」事件本人区分「08」他は養子と同じ	事件本人「養父」の選択
	養母(本)本籍人検索	I0160-R01	入力識別番号「002」事件本人区分「09」他は養子と同じ	事件本人「養母」の選択
6 入籍(3名) (審査結果入力)	入籍者①②③(本)該当戸籍検索 入籍戸籍(非本)	I0140-R01	目的ID「2:戸籍の届出業務」届出事件コード「21:入籍」届書処理方法区分「1:審査結果入力処理」	**戸籍を検索した時点では設定項目が不明 従って受付ファイル作成で作成した受付ファイルごとに実施**
		I0140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
		I0160-R01 S01省略	選択種別「3:戸籍情報を検索して事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」 入力識別番号「900」異動対象区分「2:戸籍単位」事件本人区分「－：設定なし」事件対象戸籍区分「04：該当戸籍」	1件目の受付ファイル作成**本籍分**の事件本人の数及び届後戸籍で実施
	入籍者②、③	I0160-R01 S01省略	②：入力識別番号「901」他は入籍者①と同じ ③：入力識別番号「902」他は入籍者①と同じ	2、3件目の受付ファイル1人目で取得した届書処理通番を使用
7 離婚無効 (訂正・更正・追完)	夫婦の戸籍(本)該当戸籍検索 妻・復籍戸籍(本)該当戸籍検索	I0140-R01	目的ID「3:戸籍の訂正等業務」届出事件コード「50:訂正」届書処理方法区分「2:訂正・更正・追完処理」	**戸籍を検索した時点では設定項目が不明 従って受付ファイル作成で作成した受付ファイルごとに実施**
		I0140-S01	取得した届書処理通番等を中間ファイル(届書処理通番)に登録	
	夫	I0160-R01 S01省略	選択種別「3:戸籍情報を検索して事件本人を選択」副本参照処理区分「1:届書取り込み」 入力識別番号「900」異動対象区分「2:戸籍単位」事件本人区分「－：設定なし」事件対象戸籍区分「04：該当戸籍」	1件目の受付ファイル作成**本籍分**の事件本人の数及び届後戸籍で実施
	妻(戻る戸籍)	I0160-R01	入力識別番号「901」他は夫と同じ	

[注]1処理で複数届がある場合の届出事件コード
離縁同時73条の2届「08(戸籍法69条の2)」、離婚同時77条の2届「12(戸籍法75条の2)」、それ以外は基本の届の届出事件コードを設定する(養子離縁届と親権届を同時に処理する場合は「04(養子離縁)」)。

[参照]
・別紙2-1電文設計書(項目説明) 表8～表12(事件別)異動処理中とする対象者
・別紙2-2電文設計書(Webサービス連携) I0160-R01「表1：要求キー情報指定条件」

第7.2.(5)

「審査」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	－	「審査」処理	新規作成 ・5.10.(5)_「審査」処理の内容を記載
2		B03		4. 戸籍情報連携システムとの連携を追加 ・各届書入力処理での共通事項を追加

システム処理の概要説明	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	審査処理					

1. 処理概要

(1)　各異動届の入力、審査、仮戸籍ファイルの作成等を行う。
基本的にすべてを順守すること(処理の流れ、チェック･審査内容、戸籍編製内容等)。

2. 留意点

(1) より深く審査するための画面項目の追加、審査項目の追加は構わない。
(2) 他の仕様を変更することによる処理の変更は認める(関連事務のファイルを作成する等)。
(3) 画面への入力方式は任意とする。

3. その他

(1) 審査処理で処理できないもの(審査結果入力処理)を以下に示す。
①通常のカレンダーにはない日付を持っている者の処理(日付には生年月日の他に、戸籍事項および身分事項にも複数存在する)
･元号が変わった境目の日付(大正15年12月25日と昭和元年12月25日等)
･実際にカレンダー上にはない日付(大正16年、2月30日等)
②改正国籍法(昭和60年1月1日施行)前に外国人と婚姻してシステム化後も(養)父母の戸籍にいる者の処理
その者については個人特定DBの審査不可区分に1を設定し、審査ではじくことにする。
③旧法において婿養子縁組婚姻または入夫婚姻した夫が昭和32年法務省令による改製作業の際に申出を行い筆頭者となった夫及び妻については個人特定DBの審査不可区分に1を設定し、審査ではじくことにする。
④不受理とされた創設的届出に対して、受理を命ずる裁判が確定した場合の処理
⑤事件本人が既に死亡している者の創設的届出があったときの処理(死亡後受理)
上記以外については各事件の要件定義書「システム処理の概要説明」を参照のこと。

(2)　審査処理で注意が必要な事項を以下に示す。
①北方地域(色丹、国後および択捉島)に本籍を有することができること。また、この場合の送付先は根室市であることに注意が必要である。
②再入力処理での入力仕様、異動検索との関わり等

4. 戸籍情報連携システムとの連携

(1) 各届書入力処理での共通事項
①事件本人等を確定した後処分決定に進まずに処理を中断した場合、WebAPI(I0240:届書取り込み解除)を送信すること。

第7.2.(5)「異動」処理

1.出生届(含国籍留保)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	出生152	「出生届」	・誤記を訂正 3.0　審査(レアケース、不受理、以降の処理制御) (164-39)の飛び先の不要な罫線を削除、(214)、(219) 3.23 審査（母日本人未婚･婚姻解消後出生)(42) ・タイトル誤記を訂正 3.6 審査（父母日本人婚姻後200日以内出生) 3.23 審査（母日本人未婚･婚姻解消後出生)
2		出生153		・誤記を修正 入力確認_3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 事件本人区分の備考欄
3		－		・条文等の見直しによる修正 4.0 中間ファイル(届書) 処分区分の備考「3:受理伺い」を「3:受理照会」に修正
4		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15

作業名	出生届

1.出生業務範囲外の処理

(1)国外の出生地主義、条件付出生地主義、血統主義に関する審査
(2)裁判以外の嫡出の推定を排除する例外事由の内容についての審査
(3)新国籍法施行前(昭和25年6月30日以前)の出生届(審査結果業務)
(4)改正国籍法施行前(昭和59年12月31日以前)に外国人と婚姻し、現在も(養)父母の戸籍にいる者の出生届(審査結果業務)
(5)入るべき戸籍の父母双方が除籍である場合(審査結果業務)
(6)母重婚中に出生した出生届(審査結果業務)
(7)親子関係存在確認の裁判によるもの(審査結果業務)
(8)父母又は母の親子関係不存在確認の裁判によるもの(審査結果業務)
(9)国籍留保届出人が法定代理人である場合の出生届(審査結果業務)
(10)非嫡出子を出生した母(構成員、配偶者区分 ＝ 未)が、出生当時の戸籍より除籍となっている場合の出生届(審査結果業務)
(11)父母婚姻前出生、又は婚姻後200日以内出生の時、胎児認知があり、胎児認知者が母の夫以外である場合の出生届(審査結果業務)
(12)嫡出子出生届により、既に入籍している子の弟妹につき父母との続柄を訂正する場合の訂正処理(訂正業務)
(13)出生子の名のみの届出の場合(審査結果業務)
(14)胎児認知がある場合、胎児認知を届け出た市区町村以外への出生の届出(審査結果業務)
　及び、送付分による父のみの胎児認知の記録の出生届
(15)同一人との再婚後に出生した場合の出生届(審査結果業務)
(16)入るべき戸籍の本籍が管外であり、入籍事件日への入力がない場合は、入るべき戸籍、出生区分等の審査(審査3.5～3.12)については審査しない。
　但し、入籍事件日への入力がある場合は、通常の審査を行う。
(17)改正国籍法施行前(昭和59年12月31日以前)に国外で出生した場合の出生届(審査結果業務)
(18)父又母が性同一性障害者で、性同一性障害による性別変更以前に出生した出生届(審査結果業務)
(19)日本人男と外国人母が婚姻し、離婚後300日以内に出生、別の日本人男が胎児認知届を行い、前夫との嫡出否認の裁判の出生届
(20)国籍喪失者(筆頭者)とその配偶者の嫡出子出生届(外国人と日本人の嫡出子出生届)(審査結果入力)
　→戸籍編製マトリックスで判断項目が不足しているため、審査結果入力対象とする。
(21)胎児認知届が証書提出の場合→出生届に証書関連の入力項目が存在しないため、審査結果入力対象とする。
(22)入るべき戸籍の母が除籍者の場合は、審査結果入力対象とする。

2.出生届出入力画面の意義

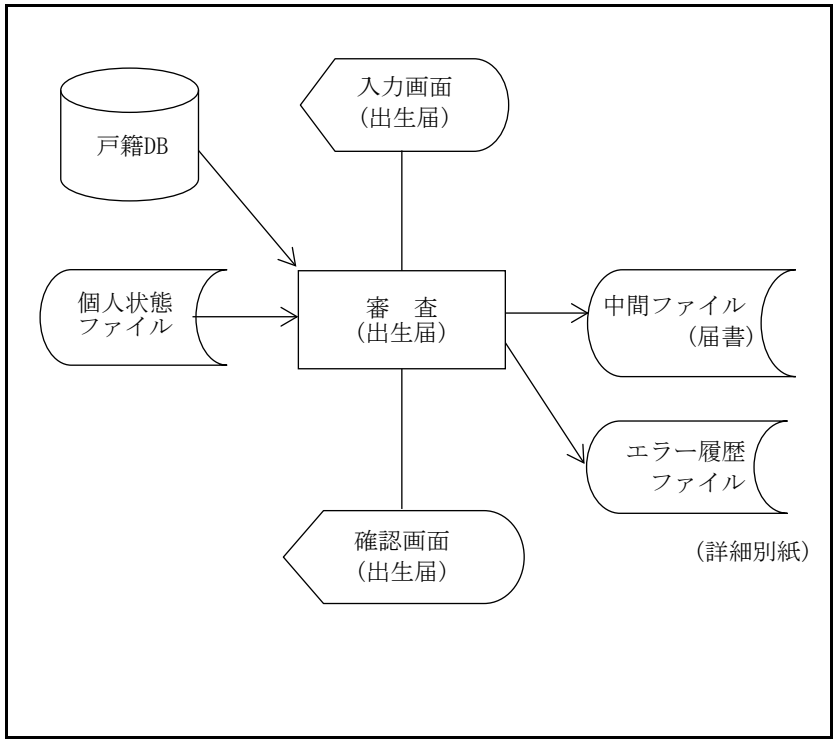
(1)その1画面:出生子･届出人の各項目を入力する。
(2)その2画面:入るべき戸籍･父母の各項目を入力する。
(3)その3画面:上記入力以外の身分事項記載用データを入力する。

3.その他

(1)対象父(現夫、前後夫、届書の父)について
・審査で使用している対象父の考えは、画面上に入力された父を現夫として取り扱っている。
　従って、審査のパターンによっては、母の実際の夫が後夫として取り扱われる場合もある。
(2)離婚後300日以内の出生子への「親権」事項の記載について
・昭和36年12月5日民事甲第3061号において、記載不要との先例があるが、コンピュータ化後の記載としては省略せずに記載するものとする。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1) 出生届の内容を画面入力する
(2) 出生届で入力された項目の単体チェックを行う
(3) 出生届で入力された項目の関連チェックを行う
(4) 審査を行う
(5) 出生届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6) 入力確認(出生届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)
  - 3.1 審査(嫡出否認の裁判)
  - 3.2 審査(親子関係不存在確認の裁判)
  - 3.3 審査(父を定める訴の裁判)
  - 3.4 審査(強制認知の裁判)
  - 3.5 審査(父母日本人婚姻後201日以降出生)
  - 3.6 審査(父母日本人婚姻後200日以内出生)
  - 3.7 審査(父母日本人婚姻前出生)
  - 3.8 審査(父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生)
  - 3.9 審査(父日本人、母外国人婚姻後201日以降出生)
  - 3.10 審査(父日本人、母外国人婚姻後200日以内出生)
  - 3.11 審査(父日本人、母外国人婚姻前出生)
  - 3.12 審査(父日本人、母外国人、母未婚･婚姻解消後出生)
  - 3.13 審査(父母外国人･無国籍人出生)
  - 3.14 審査(棄児)
  - 3.15 審査(嫡出子)
  - 3.16 審査(準正嫡出子)
  - 3.17 審査(非嫡出子)
  - 3.18 審査(受理照会)
  - 3.19 審査(母日本人、父外国人婚姻後201日以降出生)
  - 3.20 審査(母日本人、父外国人婚姻後200日以内出生)
  - 3.21 審査(母日本人、父外国人婚姻前出生)
  - 3.22 審査(母日本人、父外国人、母未婚･婚姻解消後出生)
  - 3.23 審査(母日本人未婚･婚姻解消後出生)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)			
処理名	0.0 本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (17)前ページ分の入力画面(出生届)を編集する		(18)同画面を編集する	
	NO (19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する			
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (21)次ページ分の入力画面(出生届)を編集する		(22)同画面を編集する	
	NO (23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(出生届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本･非本区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態区分	○	数字	(0:要、1:不要)であること			
10	報告区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
11	出生証明書区分	○	数字	(0:無、1:医師･助産師、2:その他)であること			
12	出生子のカナ氏名	○	カナ	(氏△名　又は　氏)であること			
13	出生子の漢字氏名	○	漢字	(氏△名　又は　氏)であること			
14	出生子の生年月日	○	英数	「日付ﾁｪｯｸｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ」「年齢算出ﾁｪｯｸｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ」			
15	出生子の出生区分	○	数字	(1:嫡出子、2:準正嫡出子、3:非嫡出子、4:棄児)であるこ			
16	出生子の続柄コード	○	数字	(11～29、31～49、99)であること			
17	出生子の出生地		漢字				
18	出生子の国籍		漢字				
19	出生子の住所	○	漢字				
20	出生子の世帯主氏名	○	漢字				
21	出生子の世帯主との続柄コード	○	数字				
22	届出人の資格コード	○	数字	(001:父、002:母、005:父母、077:法定代理人、079:医師、115:助産師、081:その他立会人、082:親族、085:同居者、			
23	届出人の資格コード名称		漢字				
24	届出人の氏名		漢字	届出人の資格 ＝ 005の097の場合未入力 届出人の資格 ≠ 005、097の場合入力必須			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(出生届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	入るべき戸籍の婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	入るべき戸籍の嫡出子例外区分		数字	(0:無、1:有)であること			
28	入るべき戸籍の離婚日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	入るべき戸籍の母前離婚日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	入るべき戸籍の本籍		漢字				
31	入るべき戸籍の筆頭者氏名		漢字				
32	入るべき戸籍の父氏名		漢字				
33	入るべき戸籍の父筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
37	入るべき戸籍の父配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
34	入るべき戸籍の父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	入るべき戸籍の父入籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	入るべき戸籍の父除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
38	入るべき戸籍の母氏名		漢字				
39	入るべき戸籍の母筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
43	入るべき戸籍の母配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
40	入るべき戸籍の母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
41	入るべき戸籍の母入籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	入るべき戸籍の母除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
44	届書の父氏名		漢字				
45	届書の父本籍		漢字				
46	届書の父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	届書の父筆頭者氏名		漢字				
48	届書の父外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
49	届書の母氏名		漢字				
50	届書の母本籍		漢字				
51	届書の母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(出生届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
52	届書の母筆頭者氏名		漢字				
53	届書の母外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
54	胎児認知区分		数字	(0:無、1:有)であること			
55	胎児認知日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
56	関連受領番号		数字				
57	新戸籍の本籍		漢字				
58	新戸籍の筆頭者氏名		漢字				
59	国外出生の国籍留保届出人資格		数字	(0:無、1:父、2:母、3:父母)であること			
60	国外出生の在外公館名		漢字				
61	裁判の区分		数字	(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)であること			
62	裁判の確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
63	裁判の子の氏変更申出区分		数字	(0:無、1:有)であること			
64	裁判の対象夫氏名		漢字				
65	裁判の対象夫生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
68	国内遅延理由区分		数字	(0:無、1:国内有)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.3)送付日 ＝ スペース かつ (No.15)出生子の出生区分 ≠ 4の時、 (No.9)動態区分 ＝ 1:要であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
8	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
9	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付の時、 (No.9)動態区分 ＝ 1:要であること			
10	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由の時、 (No.9)動態区分 ＝ 0:不要であること			
11	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日>(No.2)受領日であること			第20版変更
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
15	(No.15)出生子の出生区分 ＝ 4の時、(No.9)動態区分 ＝ 0であること			
16	(No.32～37)入るべき戸籍の父欄のいずれか 又は (No.38～43)入るべき戸籍の母欄のいずれかに入力がある場合、 (No.30)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース、 (No.31)入るべき戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペースであること			
17	(No.28)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペースの時、 (No.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース、 (No.28)入るべき戸籍の離婚日 ≧ (No.25)入るべき戸籍の婚姻日であること			
18	(No.32～37)入るべき戸籍の父欄のいずれかに入力がある場合、 (No.32)入るべき戸籍の父氏名、(No.33)入るべき戸籍の父筆頭者区分、 (No.34)入るべき戸籍の父生年月日、(No.37)入るべき戸籍の父配偶者区分 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.38～43)入るべき戸籍の母欄のいずれかに入力がある場合、 (No.38)入るべき戸籍の母氏名、(No.39)入るべき戸籍の母筆頭者区分、 (No.40)入るべき戸籍の母生年月日、(No.43)入るべき戸籍の母配偶者区分 ≠ スペースであること			
20	(No.30)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース 又は (No.31)入るべき戸籍の筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.30)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース、 (No.31)入るべき戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペース であること (No.32～37)入るべき戸籍の父欄(関連No.18項目) (No.38～43)入るべき戸籍の母欄(同No.19項目)の双方又は一方に入力があること			
21	(No.44～47)届書の父氏名、届書の父本籍、届書の父生年月日、 届書の父筆頭者氏名のいずれかに入力がある時、 (No.48)届書の父外国人区分 ＝ 0の場合、 (No.44)届書の父氏名 ≠ スペース、(No.45届書の)父本籍 ≠ 本籍、 (No.46)届書の父生年月日 ＝ 和暦、(No.47)届書の父筆頭者氏名 ≠ スペースであること (No.48)届書の父外国人区分 ＝ 1の場合、 (No.44)届書の父氏名 ≠ スペース、(No.45)届書の父本籍 ＝ 国籍、 (No.46)届書の父生年月日 ＝ 西暦、(No.47)届書の父筆頭者氏名 ＝ スペースであること			
22	(No.49～52)届書の母氏名、届書の母本籍、届書の母生年月日、 届書の母筆頭者氏名のいずれかに入力がある時、 (No.53)届書の母外国人区分 ＝ 0の場合、 (No.49)届書の母氏名 ≠ スペース、(No.50)届書の母本籍 ＝ 本籍、 (No.51)届書の母生年月日 ＝ 和暦、(No.52)届書の母筆頭者氏名 ≠ スペースであること (No.53)届書の母外国人区分 ＝ 1の場合、 (No.49)届書の母氏名 ≠ スペース、(No.50)届書の母本籍 ＝ 国籍、 (No.51)届書の母生年月日 ＝ 西暦、(NO.52)届書の母筆頭者氏名 ＝ スペースであること			
23	(NO.57)新戸籍の本籍 ≠ スペース 又は (NO.58)新戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペースの時、 (NO.57)新戸籍の本籍 ≠ スペースかつ (NO.58)新戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペースであること			
24	(NO.59)国外出生の国籍留保届出人資格 ≠ スペースの時、 (NO.60)国外出生の在外公館名 ＝ スペースであること			
25	(NO.60)国外出生の在外公館名 ≠ スペースの時、 (NO.59)国外出生の国籍留保届出人資格 ＝ スペースであること			
26	(NO.61)裁判の区分 ＝ 1、2の時、 (NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、(NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペース、 (NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	(NO.61)裁判の区分 ＝ 3、4の時、 (NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、(NO.63)裁判の子の氏変更申出区分 ＝ スペース、 (NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペース、(NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			
28	(NO.62)裁判の確定日 ≠ スペースの時、 (NO.61)裁判の区分 ≠ スペース、(NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペース、 (NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			
29	(NO.63)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペースの時、 (NO.61)裁判の区分 ＝ 1 又は 2、 (NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、(NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペース、 (NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			
30	(NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペースの時、 (NO.61)裁判の区分 ≠ スペース、(NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、 (NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースであること			
31	(NO.65)裁判の対象夫生年月日 ≠ スペースの時、 (NO.61)裁判の区分 ≠ スペース、(NO.62)裁判の確定日 ≠ スペース、 (NO.64)裁判の対象夫氏名 ≠ スペースであること			
32				22版(出生142)
33				22版(出生142)
34	(NO.68)国内遅延理由区分 ≠ スペースの時、 (NO.5)在外送付区分 ＝ 1、かつ、(NO.4)発送元 ≠ スペースであること			
35	(NO.22)届出人の資格コード ＝ 077(法定代理人)、093(公設所の長)の時、 (NO.23)届出人のコード名称 ≠ スペースであること			
36	(NO.22)届出人の資格コード ≠ 077(法定代理人)、093(公設所の長)、097(市区町村長)の時、 (NO.23)届出人のコード名称 ＝ スペースであること			
37	(NO.11)出生証明書区分 ＝ 1　又は　(NO.22)届出人の資格コード ＝ 092(船長)の時、 (NO.17)出生子お￥の出生地 ≠ スペースであること			
39	(NO.32)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース　かつ　(NO.38)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペースの時、 (NO.32)入るべき戸籍の父氏名(氏) ＝ (NO.38)入るべき戸籍の母氏名(氏)であること			
40	(NO.48)届書の父外国人区分 ＝ 1　かつ　(NO.53)届書の母外国人区分 ＝ 1の時、 (NO.25～43)入るべき戸籍欄 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
41	(NO.55)胎児認知日 ＝ スペースの時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 又は (NO.44～48)届書の父欄の一方には入力があること			
42	(NO.12)出生子のカナ氏名 ＝ 氏のみの時、 (NO.13)出生子の漢字氏名 ＝ 氏のみであること			
43	(NO.12)出生子のカナ氏名 ＝ 氏△名の時、 (NO.13)出生子の漢字氏名 ＝ 氏△名であること			
44	(NO.32)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペースの時、 (NO.44～48)届書の父欄 ＝ スペースであること			
45	(NO.38)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペースの時、 (NO.49～53)届書の母欄 ＝ スペースであること			
46	(NO.44)届書の父氏名 ≠ スペース、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペースであること			
47	(NO.49)届書の母氏名 ≠ スペースの時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースであること			
48	(NO.22)届出人の資格コード ＝ 001(父)の時、 (NO.24)届出人の氏名 ＝ (NO.32)入るべき戸籍の父氏名 又は (NO.24)届出人の氏名 ＝ (NO.44)届書の父氏名であること			
49	(NO.22)届出人の資格コード ＝ 002(母)の時、 (NO.24)届出人の氏名 ＝ (NO.38)入るべき戸籍の母氏名 又は (NO.24)届出人の氏名 ＝ (NO.49)届書の母氏名であること			
50	(NO.22)届出人の資格コード ＝ 005(父母)の時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は (NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであるこ			
51	(NO.25)婚姻日 ≠ スペース かつ (NO.28)離婚日 ＝ スペース かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペースの時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであるこ			
52	(NO.25)婚姻日 ≠ スペース かつ (NO.28)離婚日 ＝ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は (NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースであるこ			
53	(NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ (NO.28)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.49～53)届書の母欄 ＝ スペース かつ (NO.44～48)届書の父欄 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
54	(NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ (NO.28)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースの時、 (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペース かつ (NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースであること			
55	(NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ＝ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース かつ (NO.43～53)届書の母欄 ＝ スペースであるこ			
56	(NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ＝ スペース かつ (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースであること			
57	(NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースの時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであること			
58	(NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時、 (NO.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペースであること			
59	(NO.15)出生子の出生区分 ＝ 4の時、 (NO.17)出生子の出生地 ＝ スペースであること			
60	(NO.11)出生証明書区分 ＝ 1の時、 (NO.15)出生子の出生区分 ≠ 4であること			
61	(NO.15)入るべき戸籍の出生区分 ≠ 4の時、 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであること			
62	(NO.54)胎児認知区分、 (NO.55)胎児認知日、 (NO.56)関連受領番号のいずれかに入力がある時、 (NO.54～56)全てに入力があること			
63	(NO.30)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 本籍 ＝ 管内の時、 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄のいずれかに入力がある場合、 (NO.35)入るべき戸籍の父入籍日 ≠ スペースであること (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄のいずれかに入力がある場合、 (NO.41)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペースであること			
64	(NO.36)入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペースの時、 (NO.35)入るべき戸籍の父入籍日 ≠ スペースであること			
65	(NO.42)入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペースの時、 (NO.41)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(出生届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
66	入るべき戸籍の父、入るべき戸籍の母 ≠ スペース かつ 父母の一方が本籍人の時、 入るべき戸籍の父.戸籍番号 ＝ 入るべき戸籍の母.戸籍番号であること			
67	(NO.14)出生子の生年月日 ＝ 和暦の時、 (NO.18)出生子の国籍 ＝ スペースであること			
68	(No.33)入るべき戸籍の父筆頭者区分 ＝ 1 かつ (No.36)入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペース かつ (No.42)入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペースの時、 (No.43)入るべき戸籍の母配偶者区分 ≠ 2であること			12版追加
69	(No.36)入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ (No.39)入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 1 かつ (No.42)入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペースの時、 (No.37)入るべき戸籍の父配偶者区分 ≠ 1であること			12版追加
70	(No.33)入るべき戸籍の父筆頭者区分 ＝ 0 かつ (No.36)入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ (No.37)入るべき戸籍の父配偶者区分 ＝ 1の時、 (No.49)届書の母氏名～(No.53)届書の母外国人区分 ＝ (未入力)であること			
71	(No.39)入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0 かつ (No.42)入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース かつ (No.43)入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 2の時、 (No.44)届書の父氏名～(No.48)届書の父外国人区分 ＝ (未入力)であること			
72	(No.32)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース かつ (No.36)入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ (No.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ (No.28)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ (No.38)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペースの時、 (No.37)入るべき戸籍の父配偶者区分 ＝ 1 であること			20版追加
73	(No.37)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース かつ (No.39)入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース かつ (No.25)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ (No.28)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ (No.32)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペースの時、 (No.43)入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 2 であること			20版追加

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

					備考
(1)関連受領番号 ≠ スペース(YES,NO)			/		
YES	(2)受けF.受付事件コード ≠ 0202(YES,NO)		/		
	YES	(3) エラーメッセージ 「入力された関連受領No.は、胎児認知の受付帳ではありません。」を表示する		(4) 本紙へ	不受理
	NO	(5)受けF.受理送付区分 = 1 かつ 在外送付区分 = 0(YES,NO)	/		※出生:受理、胎児認知:受理だけ審査対象それ以外は審査結果入力
		YES (5-1)→(6)へ	/		
		NO (5-2) エラーメッセージ 「出生、胎児認知が受理分以外の場合は審査結果業務で処理して下さい。」を表示する		(5-3) 本紙へ	審査結果入力
NO	(5-4)→(6)へ				
(6) 出生子の生年月日 < 昭和25年7月1日(YES,NO)			/		新国籍法(昭和25. 7. 1施行)
YES	(7)エラーメッセージ 「出生日が新国籍法施行前の出生処理は審査結果業務で処理して下さい。」を表示する			(8)本紙へ	審査結果入力
NO	(9)→(10)へ		/		
(10)入るべき戸籍の母前離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)			/		
YES	(10-1)確認メッセージ(YES,NO) 「同一人の再婚でないものとして処理を続行しますか。」を表示する			(10-2)本紙へ	
	YES	(10-3)→(10-7)へ	/		
	NO	(10-4)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(10-5)本紙へ	審査結果入力
NO	(10-6)→(10-7)へ		/		
(10-7)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース かつ 届書の母氏名 ≠ スペース かつ 届書の母外国人区分 = 1(YES,NO)			/		
YES	(11)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)		/		
	YES	(13)父母渉外婚姻区分に1を移送	/		父母渉外婚姻区分は審査処理上の区分
		(14)→(17)へ			
	NO	(15)父母渉外婚姻区分に3を移送	/		
		(16)→(17)へ	/		
NO					
(17)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース かつ 届書の父氏名 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 = 1(YES,NO)			/		
YES	(18)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

							備考
	YES		(20)父母渉外婚姻区分に2を移送		/		
			(21)→(24)へ		/		
	NO		(22)父母渉外婚姻区分に4を移送		/		
			(23)→(24)へ		/		
NO							
(24)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 昭和60年1月1日(YES,NO)					/		改正国籍法(昭和60.1.1施行)
YES	(25)父母渉外婚姻区分 = 1(YES,NO)				/		
	YES	(26)入るべき戸籍の筆頭者氏名 ≠ 入るべき戸籍の父氏名(YES,NO)			/		
		YES	(27)エラーメッセージ 「改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果業務より処理して下さい。」 を表示する			(28)本紙へ	審査結果入力
		NO	(29)→(35)へ		/		
	NO	(30)父母渉外婚姻区分 = 2(YES,NO)			/		
		YES	(31)入るべき戸籍の筆頭者氏名 ≠ 入るべき戸籍の母氏名(YES,NO)		/		
			YES	(32)エラーメッセージ 「改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果業務より処理して下さい。」		(33)本紙へ	審査結果入力
			NO	(34)→(35)へ	/		
		NO					
NO							
(35)出生子の生年月日<昭和60年1月1日(YES,NO)					/		改正国籍法(昭和60.1.1施行)
YES	(36)父母渉外婚姻区分 = 2(YES,NO)				/		
	YES	(37)出生子の生年月日 = 和暦(YES,NO)			/		
		YES	(38)エラーメッセージ 「出生子は外国人です。出生子の生年月日を西暦で入力して下さい。」を表示する			(39)本紙へ	不受理
		NO	(40)→(46)へ		/		
	NO						
NO							
(46)入るべき戸籍の父入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペース(YES,NO)					/		
YES	(47)エラーメッセージ 「入るべき戸籍に父母が在籍していない為、審査結果業務より処理して下さい。」を表示する					(48)本紙へ	審査結果入力

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)						備考	
NO	(49)→(49-1)へ			/			第20版変更	
(49-1)入るべき戸籍の父氏名～入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ 届書の父氏名～届書の父外国人区分のいずれかに入力があり かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペース(YES,NO)				/			第13版変更	
YES	(49-2)エラーメッセージ 「入るべき戸籍に母が在籍していない為、審査結果業務より処理して下さい。」を表示する				(49-3)本紙へ		審査結果入力	
NO	(49-4)→(60)へ			/				
							(50)～(59)は欠番	
(60)入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0 かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 0 かつ 入るべき戸籍の母除籍日 > 出生子の生年月日(YES,NO)				/				
YES	(61)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて 処理して下さい。」を表示する				(62)本紙へ		不受理 若しくは 一時的に3代戸籍となる場合は審査結果入力	
NO	(63)→(64)へ			/				
(64)胎児認知区分 ＝ 1(YES,NO)				/				
YES	(65)出生子の生年月日 ≦ 胎児認知日(YES,NO)			/				
	YES	(66)エラーメッセージ 「出生後に胎児認知があります。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する			(67)本紙へ		不受理	
	NO	(68)→(69)へ		/				
	(69)関連受領番号に対応する受付F.事件本人漢字氏名・生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父 又は 届書の父(YES,NO)			/				
	YES	(70)→(98)へ		/				
	NO	(71)エラーメッセージ 「胎児認知者と入るべき戸籍の父又は届書の父が違います。」を表示する			(72)本紙へ		審査結果入力	
NO	(73)→(74)へ			/				
(74)入るべき戸籍の父入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペース かつ 届書.母外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)				/				
YES	(75)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父母が在籍していない為、審査結果入力より処理して下さい。」を表示する				(76)本紙へ		審査結果入力	
NO	(77)→(98)へ			/				
(98)入るべき戸籍の母入籍日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)				/				
YES	(99)入るべき戸籍の母入籍日>出生子の生年月日(YES,NO)			/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

						備考
	YES	(100)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する		(101)本紙へ		
		YES (102)→(112)へ	/			
		NO (103)→		(104)本紙へ	不受理	
	NO	(104-1)入るべき戸籍の母の婚姻日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/			
		YES (105)入るべき戸籍の母前離婚日 ＝ スペース(YES,NO)	/			
		YES (106)確認メッセージ(YES,NO) 「母に前婚姻解消の履歴がないものとして処理を続行しますか。」を表示する		(107)本紙へ		
		YES (108)→(112)へ	/			
		NO (109)→		(110)本紙へ	不受理	
		NO (111)→(112)へ	/			
	NO					
NO	(111-1)入るべき戸籍の父入籍日+300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/			
	YES	(111-2)入るべき戸籍の父入籍日 > 出生子の生年月日(YES,NO)	/			
		YES (111-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する		(111-4)表紙へ		
		YES (111-5)→(112)へ	/			
		NO (111-6)→		(111-7)本誌へ	不受理	
		NO (111-8)→(112)へ				
	NO					
(112)出生子の出生地 ＝ 国外 かつ 出生子の生年月日 ≧ 昭和60年1月1日 かつ 出生子の国籍 ＝ スペース(YES,NO)			/			
YES	(113)国外出生の国籍留保届出人資格 ＝ スペース(YES,NO)		/		戸104I、昭和23.6.24 民事甲1989号	
	YES	(114)国外出生の在外公館名 ＝ スペース(YES,NO)	/		昭和32.9.21 民事甲1833号	
		YES (115)確認メッセージ(YES,NO) 「外国国籍を取得していませんね。」を表示する		(116)本紙へ		
		YES (117)→(123-1)へ	/			
		NO (118)→		(119)本紙へ	不受理	
		NO (120)確認メッセージ(YES,NO) 「在外公館職員は父として処理を続行しますか。」を表示する				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)

処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)			備考
YES	(121)中間F(届書).大使館職員区分に1を移送	/		
NO	(122)中間F(届書).大使館職員区分に2を移送	/		
	(123)→(123-1)へ	/		
	(123-1)受領日 ≦ 出生子の生年月日 + 3ヶ月(YES,NO)	/		戸104I
YES	(123-2)→(133)へ	/		
NO	(123-3)メッセージ 「届出期間を経過していますので注意して下さい。」を表示する		(113-4)本紙へ	戸104III
	(123-4-1) →(133)へ	/		
		/		(123-4-2)から(123-7)まで、削除
NO	(124)受領日 ≦ 出生子の生年月日 + 3ケ月(YES,NO)	/		戸104I
YES	(125)→(133)へ	/		
NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「遅延理由書の添付があるものとして処理を続行しますか。」を表示する		(127)本紙へ	戸104III
YES	(127-1)			(15版修正)
	(127-2)			(15版修正)
	(128)中間F(届書).国外遅延理由区分に1を移送	/		誤植(15版修正)
	(129)→(133)へ	/		
NO	(130)→		(131)本紙へ	不受理、大正13.11.14民事11606号回答
NO	(132)出生子の出生地 ＝ 国外 かつ 出生子の生年月日 < 昭和60年1月1日(YES,NO)	/		
YES	(132-1)エラーメッセージ 「改正国籍法以前の国外出生の出生届は審査結果で行って下さい。」を表示する		(132-2)本紙へ	審査結果入力
NO	(132-3)→(133)へ	/		
(133)出生子の漢字氏名(名) ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は名未定として処理を続行しますか。」を表示する		(135)本紙へ	
YES	(136)→(140)へ	/		
NO	(137)確認メッセージ(YES,NO) 「名のみの届出ですか。」を表示する		(138)本紙へ	
YES	(138-1)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			審査結果入力
NO	(138-2)→			不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

						備考
NO	(139)→(140)へ			/		
(140)入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)				/		昭和39.8.5-6島根県戸住協決 12版改修
YES	(140-1)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)			/		第20版変更
	YES	(141)入るべき戸籍の父氏名(氏) ＝ 出生子の漢字氏名(氏)(YES,NO)				民790I本文、民790II 第20版変更
		YES	(142)→(145)へ	/		第20版変更
		NO	(143)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父と出生子の氏(漢字)が違います。」を表示する		(144)本紙へ	不受理 第20版変更
			(145)入るべき戸籍の父氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)	/		昭和40.6.21 民事甲1430号回答 第20版変更
		YES	(146)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示する		(147)本紙へ	不受理 第20版変更
		NO	(148)→(149)へ	/		第20版変更
	NO					
NO						
(149)入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)				/		昭和39.8.5～6 島根県戸住協決 12版改修
YES	(149-1)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)			/		第20版変更
	YES	(150)入るべき戸籍の母氏名(氏) ＝ 出生子の漢字氏名(氏)(YES,NO)				民790I本文、民790II 第20版変更
		YES	(151)→(154)へ	/		第20版変更
		NO	(152)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母と出生子の氏(漢字)が違います。」を表示する		(153)本紙へ	不受理 第20版変更
			(154)入るべき戸籍の母氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)	/		昭和40.6.21 民事甲1430号回答 第20版変更
		YES	(155)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示する		(156)本紙へ	不受理 第20版変更
		NO	(157)→(158)へ	/		第20版変更
	NO					
NO						
(158)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内 かつ 出生子の漢字氏名(名) ≠ スペース かつ (入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 2 又は 3 又は 入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 1)(YES,NO)				/		
YES	(159)入るべき戸籍の構成員数分繰り返す(構成員の個人特定DB.個人除区分 ＝ 0の者のみ)			/		
	(160)入るべき戸籍の構成員n番の氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0　審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

							備考
		YES	(161)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の構成員と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示する		(162)本紙へ		不受理
		NO	(163)→(164-1)へ		/		
NO	(164)→(164-1)へ				/		
(164-1)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内(YES,NO)					/		
YES	(164-2)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)				/		
	YES	(164-3)父の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)			/		平成15年法律第111号3条
		YES	(164-4)確認メッセージ(YES,NO) 「父に性同一性障害の記録があります。よろしければ処理を続行してください。」を表示する		(164-5)本紙へ		第19版変更
			YES	(164-6)→(164-10)へ	/		第19版変更
			NO	(164-8)→			不受理　第20版変更
		NO	(164-9)→(164-10)へ		/		
	NO						
	(164-10)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)				/		
	YES	(164-11)母の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)			/		平成15年法律第111号3条
		YES	(164-12)確認メッセージ(YES,NO) 「母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね?」を表示する		(164-13)本紙へ		
			YES	(164-14)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(164-15)本紙へ	審査結果入力
			NO	(164-16)→			不受理　第20版変更
		NO	(164-17)→(164-18)へ		/		
	NO						
NO							
(164-18)届書の父本籍 ＝ 管内(YES,NO)					/		
YES	(164-19)父の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)				/		平成15年法律第111号3条
	YES	(164-19)確認メッセージ(YES,NO) 「父に性同一性障害の記録があります。父に間違いありませんね?」を表示する				(164-21)本紙へ	
		YES	(164-22)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(164-23)本紙へ	審査結果入力
		NO	(164-24)→				不受理　第20版変更

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)						備考	
	NO	(164-25)→(164-26)へ		/				
NO				/				
(164-26)届書の母本籍 ＝ 管内(YES,NO)				/				
YES	(164-27)母の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)			/			平成15年法律第111号	
	YES	(164-28)確認メッセージ(YES,NO) 「母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね。」を表示する			(164-29)本紙へ			
		YES	(164-30)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(164-31)本紙へ		審査結果入力	
		NO	(164-32)→				画面項目修正(審査完了しない)	
	NO	(164-33)→(164-34)へ		/				
NO				/				
(164-34)出生子の出生区分 ＝ 1(嫡出子)(YES,NO)				/				
YES	(164-35)入るべき戸籍の父筆頭者区分 ＝ 0:構成員 かつ 入るべき戸籍の父配偶者区分 ≠ 0:未 かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1:外国人 又は 入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0:構成員 かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ≠ 0:未 かつ 届書の父外国人区分 ＝ 1:外国人 (YES,NO)			/				
	YES	(164-36)審査メッセージ(YES,NO) 「日本人父又は母が構成員で、外国人配偶者との嫡出子出生届です。」を表示する		/				
		YES	(164-37)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理してください。」を表示する		(164-38)本紙へ			
		NO		/			R3.0(出生152)	
	NO	(164-39)→(164-40)へ					21版(出生139)	
NO							R3.0(出生152)	
(164-40)受領日 ＝ 送付日の場合 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する				/				
YES	(164-41)→(165)へ			/				
NO	(164-42)→				(164-43)本紙へ			
(165)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/				
0	(166)→(187)へ			/				
1	(167)嫡出否認の裁判審査処理へ [3.1]			/				
	(171)→(187)へ			/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0　審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

						備考
2	(172)親子関係不存在確認の裁判審査処理へ [3.2]			/		
	(176)→(187)へ			/		
3	(177)父を定める訴の裁判審査処理へ [3.3]			/		
	(178)3.3審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)			/		
	YES	(179)→			(180)本紙へ	
	NO	(181)→(187)へ		/		
4	(182)強制認知の裁判審査処理へ [3.4]			/		
	(186)→(187)へ			/		
(187)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース　又は 届書の母欄 ≠ スペース　かつ　届書の母外国人区分 ＝ 0(YES,NO)				/		
YES	(188)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース　又は 届書の父欄 ≠ スペース　かつ　届書の父外国人区分 ＝ 0(YES,NO)			/		
	YES	(189)(入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース　かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日)　又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース　かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日　かつ 入るべき戸籍の離婚日+300日 ≧ 出生子の生年月日)(YES,NO)		/		
		YES	(190)父母日本人、婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.5]	/		
			(191)3.5審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
			YES　(192)→		(193)本紙へ	
			NO　(194)→(250)へ	/		
		NO	(195)(入出る生べき戸籍の離婚日 ＝ スペース　かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日)　又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース　かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日　かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日　かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
			YES　(196)父母日本人、婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.6]	/		
			(197)3.6審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
			YES　(198)→		(199)本紙へ	
			NO　(200)→(250)へ	/		
		NO	(201)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日　かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース(YES,NO)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

									備考
				YES	(201-1)父母日本人、婚姻前出生審査処理へ [3.7]	/			
					(202)3.7審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/			
					YES (203)→		(204)本紙へ		
					NO (205)→(250)へ	/			
				NO	(206)父母日本人、未婚･婚姻解消後出生審査処理へ [3.8]	/			
					(207)3.8審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/			
					YES (208)→		(209)本紙へ		
					NO (210)→(250)へ	/			
	NO			(210-1)届書の父欄 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 1(YES,NO)		/			
		YES		(210-2)入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 又は 入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/			
			YES		(210-3)母日本人･父外国人、婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.19]	/			
					(210-4)3.19審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/			
				YES	(210-5)→		(210-6)本紙へ		
				NO	(210-7)→(250)へ	/			
			NO		(210-8)(入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日<出生子の生年月日)(YES,NO)		/			
				YES	(210-9)母日本人･父外国人、婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.20]	/			
					(210-10)3.20審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある (YES,NO)	/			
				YES	(210-11)→		(210-12)本紙へ		
				NO	(210-13)→(250)へ	/			
				NO	(210-14)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース(YES,NO)	/			
				YES	(210-15)母日本人･父外国人、婚姻前出生審査処理へ [3.21]	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)

処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)			備考
	(210-16)3.21審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (210-17)→	/	(210-18)本紙へ	
	NO (210-19)→(250)へ	/		
	NO (210-20)母日本人･父外国人、未婚･婚姻解消後出生審査処理へ [3.22]	/		
	(210-21)3.22審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (210-22)→		(210-23)本紙へ	
	NO (210-24)→(250)へ	/		
NO	(210-25)母日本人、未婚･婚姻解消後出生審査処理へ [3.23]	/		
	(210-36)3.23審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (210-37)→		(210-38)本紙へ	
	NO (210-39)→(250)へ	/		
NO	(211)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は 届書の父欄 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 0(YES,NO)	/		
YES	(213) (入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日)(YES,NO)	/		
	YES (214)父日本人、母外国人、婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.9]	/		R3.0(出生152)
	(215)3.9審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (216)→		(217)本紙へ	
	NO (218)→(250)へ	/		
	NO (219) (入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日)(YES,NO)	/		R3.0(出生152)
	YES (220)父日本人、母外国人、婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.10]	/		
	(221)3.10審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (222)→		(223)本紙へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)

									備考
				NO	(224)→(250)へ		/		
			NO		(225)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日 かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
				YES	(225-1)父日本人、母外国人、婚姻前出生審査処理へ [3.11]		/		
					(226)3.11審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)		/		
					YES	(227)→		(228)本紙へ	
					NO	(229)→(250)へ	/		
				NO	(230)父日本人、母外国人、未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.12]		/		
					(231)3.12審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)				
					YES	(232)→		(233)本紙へ	
					NO	(234)→(250)へ	/		
		NO			(235)届書の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)		/		
		YES			(236)父母外国人・無国籍の出生審査処理へ [3.13]		/		
					(237)3.13審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)		/		
				YES	(238)→			(239)本紙へ	
				NO	(240)→(269)へ		/		
		NO			(241)確認メッセージ(YES,NO) 「棄児の処理として続行しますか。」を表示する			(242)本紙へ	
				YES	(243)棄児の審査処理へ [3.14]		/		
					(244)3.14審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)		/		
				YES	(245)→			(246)本紙へ	
				NO	(247)→(250)へ		/		
			NO		(248)→			(249)本紙へ	受理照会
(250)出生子の生年月日 ＝ 西暦 かつ 出生子の出生区分 ≠ 2(YES,NO)							/		
YES	(251)→(269)へ						/		
NO	(252)→(253)へ						/		
(253)出生子の出生区分(1:嫡出子、2:準正嫡出子、3:非嫡出子)							/		
1	(254)嫡出子の審査処理へ [3.15]						/		
	(255)3.15審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)						/		
	YES	(256)→						(257)本紙へ	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.0 審査(レアケース、不受理、以降の処理制御)						備考	
	NO	(258)→(269)へ			/			
2	(259)準正嫡出子の審査処理へ			[3.16]	/			
	(260)3.16審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)				/			
	YES	(261)→				(262)本紙へ		
	NO	(263)→(269)へ			/			
3	(264)非嫡出子の審査処理へ			[3.17]	/			
	(265)3.17審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)				/			
	YES	(266)→				(267)本紙へ		
	NO	(268)→(269)へ			/			
(269)受理照会の審査処理へ				[3.18]	/			
(270)→						(271)本紙へ		

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.1　審査(嫡出否認の裁判)				備考		
(1)裁判の対象夫氏名 ＝ 入るべき戸籍の父氏名　かつ 裁判の対象夫生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父生年月日　又は 裁判の対象夫氏名 ＝ 届書の父氏名　かつ　裁判の対象夫生年月日 ＝ 届書の生年月日(YES,NO)			/				
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送			(3)3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分		
NO	(4)対象父区分に2(前後夫)を移送						

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.2　審査(親子関係不存在確認の裁判)				備考		
(1)裁判の対象夫氏名 ＝ 入るべき戸籍の父氏名　かつ 裁判の対象夫生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父生年月日　又は 裁判の対象夫氏名 ＝ 届書の父氏名　かつ　裁判の対象夫生年月日 ＝ 届書の生年月日(YES,NO)			/				
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送			(3)3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分		
NO	(4)対象父区分に2(前後夫)を移送						

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.3　審査(父を定める訴の裁判)					備考	
(1)裁判の対象夫氏名 ＝ 入るべき戸籍の父氏名　かつ 裁判の対象夫生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父生年月日　又は 裁判の対象夫氏名 ＝ 届書の父氏名　かつ　裁判の対象夫生年月日 ＝ 届書の生年月日(YES,NO)		/					
YES	(2)→			(3)3.0審査へ			
NO	(4)エラーメッセージ 「父を定める裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.4　審査(強制認知の裁判)					備考	
(1)裁判の対象夫氏名 ＝ 入るべき戸籍の父氏名　かつ 裁判の対象夫生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父生年月日(YES,NO)			/				
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送			(3)3.0審査へ		対象父区分は審査上の区分	
NO	(4)→(5)へ		/				
(5)裁判の対象夫氏名 ＝ 届書の父氏名　かつ　裁判の対象夫生年月日 ＝ 届書の生年月日(YES,NO)			/				
YES	(6)対象父区分に3(届書の父)を移送			(7)3.0審査へ			
NO	(7)対象父区分に2(前後夫)を移送						

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)					
処理名	3.5 審査 (父母日本人婚姻後201日以降出生)					

処理	/	遷移	備考
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		民772II
YES (2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する		(3)3.0審査へ	
YES / YES (11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)	/		
YES / YES / 0 (12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する		(13)3.0審査へ	昭28. 7.20 民事甲 1238号回答
YES / YES / 0 / YES (14) → (63)へ	/		
YES / YES / 0 / NO (15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)	/		
YES / YES / 0 / NO / 0 (19)出生子の出生区分 = 1(YES,NO)	/		戸49II1
YES / YES / 0 / NO / 0 / YES (20)中間F (届書).父未定区分に 1 を移送	/		戸54
YES / YES / 0 / NO / 0 / YES (21) → (63)へ	/		
YES / YES / 0 / NO / 0 / NO (22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」 を表示する		(23)3.0審査へ	不受理 昭20. 9.24 民事特甲 408号回答 昭24. 9. 5 民事甲 1942号回答
YES / YES / 0 / NO / 1 (24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項入力して下さい。」 を表示する			不受理
YES / YES / 1,2 (25)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)	/		民775
YES / YES / 1,2 / 1 (26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(27)3.0審査へ	不受理
YES / YES / 1,2 / 2 (28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
YES / YES / 1,2 / 2 / YES (29) → (63)へ	/		
YES / YES / 1,2 / 2 / NO (30) →		(30-1)3.0審査へ	不受理
YES / YES / 3 (31) → (63)へ	/		民773
YES / YES / 4 (36)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)	/		
YES / YES / 4 / 1,3 (37) → (63)へ	/		
YES / YES / 4 / 2 (38)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(39)3.0審査へ	不受理
YES / NO (40) →(41)へ	/		
NO			
(41)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)	/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.5 審査 (父母日本人婚姻後201日以降出生)						備考	
0	(42) → (63)へ				/			
1,2	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)				/		民775	
	1	(44) → (78)			/			
	2	(50) → (63)			/			
3	(54) → (63)へ				/		民773	
4	(55)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)				/		民787	
	1,3	(56) → (63)へ			/			
	2	(57)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する				(58)3.0審査へ	不受理	
(63)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)					/			
0	(64)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)				/		戸49II1	
	YES	(65)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)			/			
		YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/			
			YES	(67) →		(68)3.0審査へ		
			NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する			不受理	
		NO		(70)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する			不受理	
	NO			(71)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理	
1	(72) → (78)へ				/			
(78)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)					/			
YES	(79)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日(YES,NO)				/		21版(出生112)	
	YES	(79-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)			/		21版(出生112)	21版(出生112)
		YES	(79-2) → (88)へ		/		21版(出生112)	
		NO	(79-3) → (80)へ		/		21版(出生112)	
		(80)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)			/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			審査(出生届)						
処理名			3.5 審査（父母日本人婚姻後201日以降出生）					備考	
	YES		(81) → (88)へ		/				
	NO	YES	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する			(83)3.0審査へ			
		NO	(84) → (88)へ		/				
			(85) →			(86)3.0審査へ		不受理	
	NO		(87) → (88)へ		/				
(88)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)					/			戸49II1	
	YES		(89)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/				
		YES	(90) →			(91)3.0審査へ			
		NO	(92)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
	NO		(93)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO			(107)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.6 審査 (父母日本人婚姻後200日以内出生)

							備考
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)					/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する					(3)3.0審査へ	民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(13)3.0審査	
			YES	(14) → (52)へ	/		
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(16)3.0審査へ	不受理
		1	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
			YES	(20-1) → (52)へ	/		
			NO	(20-2) →		(20-3)3.0審査へ	不受理
		2	(20-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(20-5)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(20-6)3.0審査へ	不受理
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
			YES	(20-8) → (52)へ	/		
			NO	(20-9) →		(20-10)3.0審査へ	不受理
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				不受理 民773
		4	(22)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		民787
			1,3	(23) → (52)へ	/		
			2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(25)3.0審査へ	不受理
	NO	(30) →(32)へ			/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.6 審査 (父母日本人婚姻後200日以内出生)						備考	
NO				/				
(32)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/				
0	(33) → (52)へ			/				
1	(34)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/			民775	
	1	(35)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(36)3.0審査へ		不受理	
	2	(37) → (52)へ		/				
2	(38)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/			民775	
	1	(39)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/				
		YES	(40) → (59)へ	/				
		NO	(41)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する		(41-1)3.0審査へ		不受理	
	2	(41-2) → (52)へ		/				
3	(42)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				(42-1)3.0審査へ		不受理	
4	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/			民787	
	1,3	(44) → (52)へ		/				
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(46)3.0審査へ		不受理	
(52)届出人のコード名称 ＝ 母 かつ 出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			昭和26. 6.27 民事甲 1332号回答	
YES	(53) → (59)へ			/				
NO	(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/			戸49II1	
	YES	(55)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(56)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/				
			YES (57)→		(57-1)3.0審査へ			
			NO (57-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
		NO	(58)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する				不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.6 審査 (父母日本人婚姻後200日以内出生)						備考	
	NO	(58-1)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(74)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＜ 出生子の生年月日(YES,NO)			/				
	YES	(74-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/			21版(出生112)	
		YES	(74-2)→(83)へ	/			21版(出生112)	
		NO	(74-3)→(75)へ	/			21版(出生112)	
		(75)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(76)→(83)へ	/				
		NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する		(78)3.0審査へ			
			YES (79)→(83)へ	/				
			NO (80)→		(81)3.0審査へ		不受理	
	NO	(82)→(83)へ		/				
	(83)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)			/			戸49II1	
	YES	(84)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/				
		YES	(85)→		(86)3.0審査へ			
		NO	(87)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
	NO	(88)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(89)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.7 審査 (父母日本人婚姻前出生)

							備考
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)					/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する					(3) 3.0審査へ	民772
	YSE	(11)裁判の区分(0:無、 1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(13)3.0審査へ	
			YES	(14)→(59)へ	/		
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(16)3.0審査へ	不受理
		1	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
			YES	(20-1)→(59)へ	/		
			NO	(20-2)→		(20-3)3.0審査	不受理
		2	(20-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(20-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(20-6)3.0審査へ	不受理
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
			YES	(20-8)→(59)へ	/		
			NO	(20-9)		(20-10)3.0審査へ	不受理
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				不受理 民773
		4	(22)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		民787.昭和41.3.14 民事甲 655号回答
			1,3	(23)→(59)へ	/		
			2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(25)3.0審査へ	不受理
	NO	(38)→(39)へ			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.7 審査 (父母日本人婚姻前出生)

						備考
NO				/		
(39)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/		
0	(40)→(59)へ			/		
1,2,3	(41)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区外を入力することは出来ません。」を表示する				(42)3.0審査へ	不受理
4	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/		民787
	1,3	(44)→(59)へ		/		戸49II1
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(46)3.0審査へ	不受理
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/		
YES	(59-1)裁判の区分 ＝ 4 かつ 対象父区分 ＝ 1 又は 3(YES,NO)			/		
	YES	(59-2)→(112)へ		/		
	NO	(59-3)→(60)へ		/		
	(60)届出人の資格コード ＝ 001 又は 005(YES,NO)			/		戸62、大正8.9.13 民 3686号回答
	YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は死亡していますか。」を表示する			(62)3.0審査へ	民783II前段 大正6.3.6 民 197号回答
		YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか。」を表示する			民783II前段
			YES	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属は成年に達していますか。」を表示する		民3、783II後段
				YES	(65)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示する	
					YES	(66)→(112)へ /
					NO	(70)→ (71)3.0審査へ 不受理
				NO	(72)→(112)へ	/
			NO	(75)→		不受理
		NO	(75-1)受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)		/	R2.1(出生150)
			YES	(75-2)出生子の生年月日 + 18年 ≦ 受領日(YES,NO)	/	民3、782 R2.1(出生150)
				YES	(75-3)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示する	(75-4)3.0審査へ 大正7.5.30民1159号回答 R2.1(出生150) 昭和43.4.5民事甲689号回答 R2.1(出生150)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.7 審査 (父母日本人婚姻前出生)

									備考
				YES	(75-5)→(112)へ	/			R2.1(出生150)
				NO	(75-6)→		(75-7)3.0審査へ		不受理 R2.1(出生150)
			NO		(75-8)→(112)へ	/			R2.1(出生150)
			NO		(76)出生子の生年月日 + 20年 ≦ 受領日(YES,NO)	/			民3、782 21版(出生138)
			YES		(77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」 を表示する		(78)3.0審査へ		大正7.5.30民1159号回答 昭和43.4.5民事甲689号回答
				YES	(79)→(112)へ	/			
				NO	(82)→		(83)3.0審査へ		不受理
			NO		(84)→(112)へ	/			
	NO				(88)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が父・父母以外の為、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか。」を表示する		(89)3.0審査へ		
		YES			(88-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)	/			21版(出生112) 21版(出生112)
			YES		(88-2)→(118)へ	/			21版(出生112)
			NO		(88-3)→(90)へ	/			21版(出生112)
					(90)入るべき戸籍の母入籍日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	/			
			YES		(91)→(118)へ	/			
			NO		(94)入るべき戸籍の母入籍日 > 出生子の生年月日(YES,NO)	/			
				YES	(95)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」 を表示する		(96)3.0審査へ		
				YES	(97)→(118)へ	/			
				NO	(98)→		(99)3.0審査へ		不受理
				NO	(100)→				受理照会
		NO			(101)→				不受理
NO					(111)→(112)へ	/			
(112)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)						/			
YES					(113)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/			
	YES				(114)→		(115)3.0審査へ		
	NO				(116)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.7 審査 (父母日本人婚姻前出生)						備考	
NO	(117)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	
(118)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/				
YES	(119)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(120)→			(121)3.0審査へ			
	NO	(122)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(123)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(出生届)
処理名	3.8 審査 (父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生)

							備考
(1)届書の母欄 ≠ スペース(YES,NO)						/	
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示する					(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)へ					/	
(5)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)						/	
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する					(7)3.0審査へ	民772
	YES	(8)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/	
		0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(10)3.0審査へ	
			YES	(11)→(42)へ		/	
			NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(13)3.0審査へ	不受理
		1	(14)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/	民775
			1	(14-1)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(14-2)3.0審査へ	不受理
			2	(15)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前離婚日(YES,NO)		/	
				YES	(16)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)	/	
					YES	(17)→(42)へ	/
					NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」 を表示する	(19)3.0審査へ	不受理
						YES	(19-1)→(42)へ	/
						NO	(19-2)→	(19-3)3.0審査へ	不受理
				NO	(20)→(42)へ		/	
		2	(21)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/	民775
			1	(22)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(22-1)3.0審査へ	不受理
			2	(22-2)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前離婚日(YES,NO)		/	
				YES	(22-3)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)	/	
					YES	(22-4)→(42)へ	/

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(出生届)
処理名	3.8 審査 (父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生)

															備考
					NO	(22-5)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」 を表示する								(22-6)3.0審査へ	
				YES	(22-7)→(42)へ								/		
				NO	(22-8)→									(22-9)3.0審査へ	不受理
			NO	(22-10)→(42)へ									/		
		3	(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する												不受理 民773
		4	(24)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)										/		民787
			1,3	(25)→(65)へ									/		
			2	(28)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する										(29)3.0審査へ	不受理
	NO	(30)→(31)へ											/		
NO															
(31)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)													/		
0	(32)→(42)へ												/		
1	(33)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)												/		民775
	1	(33-1)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する												(33-2)3.0審査へ	不受理
	2	(33-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する													
		YES	(33-4)→(42)へ										/		
		NO	(33-5)→											(33-6)3.0審査へ	不受理
2	(33-7)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)												/		民775
	1	(33-8)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する												(33-9)3.0審査へ	不受理
	2	(33-10)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する													
		YES	(33-11)→(42)へ										/		
		NO	(33-12)→											(33-13)3.0審査へ	不受理

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.8 審査 (父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生)						備考	
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する						不受理	
4	(35)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/			民787	
	1,3	(36)→(65)へ		/				
	2	(40)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(41)3.0審査へ		不受理	
(42)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(43)エラーメッセージ 「父欄を入力することは出来ません。」を表示する				(44)3.0審査へ		不受理	
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示する							
	YES	(62)→(65)へ		/				
	NO	(63)→			(64)3.0審査へ		不受理	
(65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			戸49II1	
YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(67)→			(68)3.0審査へ			
	NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(70)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.9 審査 (父日本人、母外国人婚姻後201日以降出生)

								備考
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示する							(2)3.0審査へ	
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前央の嫡出の推定を受けますか。」を表示する							民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する				(13)3.0審査へ	昭28.7.20 民事甲 1238号回答
			YES	(14)→(52)へ		/		
			NO	(15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)		/		
				0	(19)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
					YES (20)中間F(届書)、父未定区分に2を移送	/		戸54、戸規50
					(21)→(60)へ	/		
					NO (22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」 を表示する		(23)3.0審査へ	不受理 昭20. 9.24 民事特甲 408号回答 昭24. 9. 5 民事甲 1942号回答
				1	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する			不受理
		1,2	(25)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/		民775
			1	(26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する			(27)3.0審査へ	不受理
			2	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する				
				YES	(29)→(52)へ	/		
				NO	(30)→		(31)3.0審査へ	不受理
		3	(32)→(52)へ			/		民773
		4	(36)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/		
			1,3	(37)→(52)へ		/		
			2	(38)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する			(39)3.0審査へ	不受理
	NO	(40)→(41)へ				/		
NO								

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.9 審査（父日本人、母外国人婚姻後201日以降出生）

							備考
(41)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)					/		
0	(42)→(52)へ				/		
1,2	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)				/		民775
	1	(44)→(60)へ			/		
	2	(45)→(52)へ			/		
3	(47)→(52)へ				/		
4	(48)対象父区分(1;現夫、2:前後夫、3:届書の父)				/		
	1,3	(49)→(52)へ			/		
	2	(50)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する				(51)3.0審査へ	不受理
(52)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)					/		
0	(53)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)				/		戸49II1
	YES	(54)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)			/		
		YES	(55)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/		
			YES	(56)→		(56-1)3.0審査へ	
			NO	(56-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和歴でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO	(57)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する				不受理
	NO	(58)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理
1	(59)→(60)へ				/		
(60)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)					/		
YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示する					(62)3.0審査へ	
	YES	(69)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄以外の項目			/		
		YES	(70)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)		/		
			YES	(71)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
				YES (72)→		(72-1)3.0審査へ	

要件定義ワークシート									作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名									審査(出生届)					
処理名									3.9 審査（父日本人、母外国人婚姻後201日以降出生）				備考	
				NO	(72-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する								不受理	
			NO		(73)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する								不受理	
		NO			(74)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する								不受理	
	NO				(75)→								不受理	
NO					(76)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する								不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.10 審査（父日本人、母外国人婚姻後200日以内出生）

							備考
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示する						(2)3.0審査へ	
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示する						民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(13)3.0審査へ	
			YES	(14)→(51)へ	/		
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(16)3.0審査へ	不受理
		1	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
				YES	(20-1)→(51)へ	/	
				NO	(20-2)→		(20-3)3.0審査へ	不受理
		2	(20-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(20-5)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(20-6)3.0審査へ	不受理
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
				YES	(20-8)→(51)へ	/	
				NO	(20-9)→		(20-10)3.0審査へ	不受理
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				不受理
		4	(22)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		民787
			1,3	(23)→(51)へ	/		
			2	(27)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(28)3.0審査へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.10 審査（父日本人、母外国人婚姻後200日以内出生）

					備考
	NO	(32)→(33)へ	/		
NO					
(33)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
0	(34)→(51)へ		/		
1	(35)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		
	1	(36)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(36-1)3.0審査へ	不受理
	2	(36-2)→(51)へ	/		
2	(37)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		
	1	(38)→(60)へ	/		
	2	(38-6)→(51)へ	/		
3	(41)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する			(41-1)3.0審査へ	不受理
4	(42)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		
	1,3	(43)→(51)へ	/		
	2	(47)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する		(48)3.0審査へ	不受理
(51)届出人のコード名称 ＝ 母　かつ　出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)			/		
YES	(52)→(60)へ		/		
NO	(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)		/		
	YES	(55)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
		YES (561出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
		YES (57)→		(57-1)3.0審査へ	
		NO (57-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO (58)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する			不受理
	NO	(59)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理
(60)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.10 審査（父日本人、母外国人婚姻後200日以内出生）							備考	
YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示する						(62)3.0審査へ		
	YES	(63)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄を除く項目			/				
		YES	(64)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)		/				
			YES	(65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/				
				YES	(66)→		(67)3.0審査へ		
				NO	(68)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理	
			NO		(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する			不受理	
		NO			(70)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する			不受理	
	NO	(71)→						不受理	
NO	(72)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する							不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.11 審査 (父日本人、母外国人婚姻前出生)

								備考
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示する							(2)3.0審査へ	
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示する							民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する				(15)3.0審査へ	
			YES	(13)→(76)へ		/		
			NO	(14)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する			(15)3.0審査へ	不受理
		1	(16)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/		民775
			1	(17)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(18)3.0審査へ	不受理
			2	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する				
				YES	(19-1)→(76)へ	/		
				NO	(19-2)→		(19-3)3.0審査へ	不受理
		2	(19-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/		民775
			1	(19-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(19-6)3.0審査へ	不受理
			2	(19-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する				
				YES	(19-8)→(76)へ	/		
				NO	(19-9)		(19-10)3.0審査へ	不受理
		3	(20)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する					不受理 民773
		4	(21)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/		民787
			1、3	(23)→(76)へ		/		戸49II1
			2	(41)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する			(42)3.0審査へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.11 審査（父日本人、母外国人婚姻前出生）

						備考
	NO	(46)→(47)へ	/			
NO						
(47)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/			
0	(48)→(76)へ		/			
1,2,3	(49)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示する			(50)3.0審査へ		不受理
4	(51)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/			民787
	1,3	(53)→(76)へ	/			
	2	(71)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する		(72)3.0審査へ		不受理
(76)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)			/			
YES	(76-1)裁判の区分 ＝ 4　かつ　対象父区分　1　又は　3(YES,NO)		/			
	YES	(76-2)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)	/			
		YES	(76-3)届書の母本籍 ≠ 無国籍(YES,NO)	/		
			YES	(76-4)出生の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/	
				YES	(76-5)→		(76-6)3.0審査へ	
				NO	(76-7)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する			不受理
			NO	(76-8)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/	
				YES	(76-9)→		(76-10) 3.0審査へ	
				NO	(76-11)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO	(76-12) エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理
	NO	(76-13)→(77)へ	/			
	(77)届出人の資格コード ＝ 001　又は　005(YES,NO)		/			戸62、大正8.9.13民　3686号回答
	YES	(78)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)	/			戸49II1
		YES	(78-1)届書の母本籍 ≠ 無国籍(YES,NO)	/		
			YES	(79)在外送付区分 ＝ 0　又は　1(YES,NO)	/	
				YES	(80)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.11 審査（父日本人、母外国人婚姻前出生）

											備考
					YES	(81)出生子の国籍 ≠ スペース(YES,NO)		/			
						YES	(82)→			(83)3.0審査へ	
						NO	(84)エラーメッセージ 「出生子の国籍を入力して下さい。」を表示する				不受理
					NO		(85)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する				不受理
				NO			(86)エラーメッセージ 「認知業務より処理して下さい。」を表示する				認知業務処理
			NO				(86-1)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/		
				YES			(86-2)→			(86-3)3.0審査へ	
				NO			(86-4)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理
		NO					(87)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する				不受理
	NO						(88)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示する				
		YES					(89)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄を除く項目		/		
			YES				(93)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)		/		
				YES			(94)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		
					YES		(95)→			(95-1)3.0審査へ	
					NO		(96-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」 を表示する				不受理
				NO			(96)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する				不受理
			NO				(97)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する				不受理
		NO					(98)→				不受理
NO							(99)父母渉外婚姻区分 ＝ 1(YES,NO)		/		
	YES						(100)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)		/		戸49II1

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名			審査(出生届)						
処理名			3.11 審査（父日本人、母外国人婚姻前出生)					備考	
		YES	(101)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/				
			YES	(102)→			(102-1) 3.0審査へ		
			NO	(102-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
		NO		(103)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する				不受理	
	NO			(104)エラーメッセージ 「胎児認知者と母の夫が違います。審査結果業務で処理した下さい。」を表示する				審査結果入力	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.12 審査（父日本人、母外国人、母未婚･婚姻解消後出生）

							備考
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示する						(2)3.0審査へ	
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示する						民772
	YES	(4)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
		0	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(6)3.0審査へ	
			YES	(7)→(37)へ	/		
			NO	(8)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(9)3.0審査へ	不受理
		1	(10)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(11)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(11-1)3.0審査へ	不受理
			2	(12)→(37)へ	/		
		2	(13)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		
			1	(13-1)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(13-2)3.0審査へ	不受理
			2	(13-3)→(37)へ	/		
		3	(14)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する			(14-1)3.0審査へ	不受理 民773
		4	(15)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		民787
			1,3	(16)→(37)へ	/		
			2	(22)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(22-1)3.0審査へ	不受理
	NO	(23)→(24)へ			/		
NO							
(24)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4;強制認知)					/		
0	(25)→(37)へ				/		
1	(26)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)				/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.12 審査（父日本人、母外国人、母未婚･婚姻解消後出生）						備考	
	1	(27)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(28)3.0審査へ		不受理	
	2	(29)→(37)へ		/				
2	(30)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/				
	1	(31)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(32)3.0審査へ		不受理	
	2	(33)→(37)へ		/				
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				(35)3.0審査へ		不受理	
4	(36)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/				
	1,3	(36-1)→(37)へ		/				
	2	(36-2)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(36-3)3.0審査へ		不受理	
(37)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(38)入るべき戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)			/				
	YES	(39)エラーメッセージ 「出生子は外国人です。入るべき戸籍欄には入力出来ません。」を表示する			(40)3.0審査へ		不受理	
	NO	(41)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄を除く項目		/				
		YES	(42)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/			戸49II1	
			YES	(43)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/			
				YES	(44)→		(44-1)3.0審査へ	
				NO	(44-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する		不受理	
			NO	(45)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する			不受理	
		NO	(46)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する				不受理	
NO	(47)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示する							

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.12 審査（父日本人、母外国人、母未婚･婚姻解消後出生）							備考	
YES	(48)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)			/					
YES	(49)出生の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/					
YES	(50)→					(51)3.0審査へ			
NO	(52)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する							不受理	
NO	(53)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する							不受理	
NO	(54)→							不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.13 審査 (父母外国人･無国籍人出生)

							備考
(1)届書の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)					/		
YES					/		
	(3)届書の父本籍 ＝ 無国籍、かつ、届書の母本籍 ＝ 無国籍(YES,NO)				/		
	YES	(4)→(30)へ			/		
	NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「父母の嫡出子であり、父母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか。」を表示する				(6)3.0審査へ	
		YES	(7)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書父母欄　筆頭者氏名欄を除く項目		/		
			YES	(8)→(11)へ	/		
			NO	(9)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する		(10)3.0審査へ	不受理
				(11)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
			YES	(12)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
				YES (13)→		(13-1)3.0審査へ	
				NO (13-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理
			NO	(14)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO		(15)→			不受理
NO	(17)届書の母本籍 ＝ 無国籍人(YES,NO)				/		
	YES	(18)→(30)へ			/		
	NO	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「母の非嫡出子であり、母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか。」を表示する				(20)3.0審査へ	
		YES	(21)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名、生年月日 届書母欄　筆頭者氏名欄を除く項目		/		
			YES	(22)→(25)へ	/		
			NO	(23)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示する		(24)3.0審査へ	不受理
				(25)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
			YES	(26)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.13 審査 (父母外国人･無国籍人出生)

								備考
				YES	(27)→		(27-1)3.0審査へ	
				NO	(27-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する			不受理
			NO		(28)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示する			不受理
		NO			(29)→			不受理
(30)確認メッセージ(YES,NO) 「父母又は母が無国籍人であるものとして処理を続行しますか。」を表示する								
YES	(31)→(34)へ					/		
NO	(32)→						(33)3.0審査へ	不受理
(34)出生証明書区分 ＝ 1(YES,NO)						/		
YES	(35)出生子の出生地 ＝ 日本国内(YES,NO)					/		国2
	YES	(36)→(43)へ				/		
	NO	(37)エラーメッセージ 「国外で出生した出生子の出生届は受理出来ません。」を表示する					(38)3.0審査へ	不受理
NO	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は日本で出生したものとして処理を続行しますか。」を表示する							
	YES	(40)→(43)へ				/		
	NO	(41)→					(42)3.0審査へ	不受理
(43)新戸籍欄 ＝ スペース(YES,NO)						/		国2
YES	(44)エラーメッセージ 「出生子の新戸籍を新戸籍欄へ入力して下さい。」を表示する						(45)3.0審査へ	不受理
NO	(46)→(47)へ					/		
(47)入るべき戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)						/		
YES	(48)エラーメッセージ 「無国籍人の出生子の場合、入るべき戸籍欄には入力出来ません。」を表示する						(49)3.0審査へ	不受理
NO	(50)→(51)へ					/		
(51)届書の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)						/		
YES	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「父母の婚姻後の出生ですか。」を表示する						(53)3.0審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.13 審査 (父母外国人･無国籍人出生)

							備考
	YES	(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/		戸49II1、昭和57.7.6民二　265号通達
		YES	(55)→(63)へ		/		
		NO	(56)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する			(57)3.0審査へ	不受理
	NO	(58)確認メッセージ(YES,NO) 「父母は婚姻しているものとして処理を続行しますか。」を表示する					
		YES	(58-1)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)		/		
			YES	(58-2)→(63)へ	/		
			NO	(58-3)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する		(58-4)3.0審査へ	不受理
		NO	(58-5)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		
			YES	(58-6)→(63)へ	/		
			NO	(58-7)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する		(58-7)3.0審査へ	不受理
NO	(58-9)→(59)へ				/		
(59)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)					/		戸49II1、昭和57.7.6民二　265号通達
YES	(60)→(63)へ				/		
NO	(61)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する					(62)3.0審査へ	不受理
(63)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)					/		
YES	(64)→					(65)3.0審査へ	受理照会
NO	(66)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する						不受理

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	審査(出生届)						
処理名	3.14 審査(出生区分 ＝ 棄児)					備考	
(1)出生子の出生地 ＝ 国外(YES,NO)			/				
YES	(2)エラーメッセージ 「国外で出生した出生子の出生届は受理出来ません。」を表示する			(3)3.0審査へ		不受理	
NO	(4)→(5)		/				
(5)出生子の出生区分 ≠ 4(YES,NO)			/			戸4II1	
YES	(6)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は4(棄児)でなければなりません。」を表示する			(7)3.0審査へ		不受理	
NO	(8)→(9)		/				
(9)届出人のコード名称 ≠ 市区町村長(YES,NO)			/			戸57	
YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人を市区町村長として処理を続行しますか。」を表示する			(11)3.0審査へ			
	YES	(12)中間F(届書)、届出人資格、コード名称に市区町村コード、市区町村名を移送	/				
	NO	(13)→		(14)3.0審査へ		不受理	
NO	(15)→(20)へ		/				
(20)新戸籍欄 ＝ スペース(YES,NO)			/			戸57II	
YES	(21)エラーメッセージ 「新戸籍欄へ入力して下さい。」を表示する			(22)3.0審査へ		不受理	
NO	(23)新戸籍の本籍 ≠ 管内(YES,NO)		/			昭和25.4.10　民事甲　932号回答	
	YES	(24)エラーメッセージ 「新戸籍の本籍は管内に作成して下さい。」を表示する		(25)3.0審査へ		不受理	
	NO	(26)→		(26-1)3.0審査へ			
(27)削除			/			(27)～(30)を削除(続柄更正申出対応8.3版)	
YES	(28)削除			(29)削除			
NO	(30)削除						

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	8.3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.15 審査(出生区分 ＝ 嫡出子)						備考	
(1)新戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)				/				
YES	(2)届書の父本籍 ≠ 無国籍　かつ　届書の母本籍 ≠ 無国籍(YES,NO)			/				
	YES	(3)エラーメッセージ 「嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。」を表示する			(4)3.0審査へ		不受理	
	NO	(5)→(6)へ		/				
NO								
(6)中間F(届書).父未定区分 ＝ 1　又は　2(YES,NO)				/				
YES	(7)届出人のコード名称 ＝ 母、同居者、医師、助産師、立会人、法定代理人、公設署の長、船長、親族のいずれかである(YES,NO)			/			戸52	
	YES	(8)→			(8-1)3.0審査へ			
	NO	(9)エラーメッセージ 「父母離婚後(父未定)・嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示する			(10)3.0審査へ		不受理	
NO	(11)届出人のコード名称 ＝ 父、母、父母、同居者、医師、助産師、立会人、法定代理人、公設署の長、船長、親族のいずれかである(YES,NO)			/			戸52 昭和36.7.18～19第20回福島県下戸連合協決	
	YES	(12)→			(12-1)3.0審査へ			
	NO	(13)エラーメッセージ 「父母婚姻中・嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示する			(14)3.0審査へ		不受理	
(15)削除				/			(15)～(23)を削除(続柄更正申出対応8.3版)	
YES	(16)削除			/				
	YES	(17)削除			(18)削除			
	NO	(19)削除						
NO	(20)削除			/				
	YES	(21)削除			(22)削除			
	NO	(23)削除						

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 11月 1日	版	8.3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.16 審査(出生区分 ＝ 準正嫡出子)						備考	
(1)新戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)				/				
YES	(2)届書の父本籍 ≠ 無国籍　かつ　届書の母本籍 ≠ 無国籍(YES,NO)			/				
	YES	(3)エラーメッセージ 「準正嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。」を表示する			(4)3.0審査へ		不受理	
	NO	(5)→(6)へ		/				
NO								
(6)届出人のコード名称 ＝ 父　又は　父母(YES,NO)				/			戸62、大正11.11.30民事　4297回答	
YES	(7)→(14)へ			/				
NO	(8)胎児認知区分 ＝ 1　又は　裁判の区分 ＝ 4(YES,NO)			/				
	YES	(9)届出人のコード名称 ＝ 母、同居者、医師、助産師、立会人、法定代理人、 公設署の長、船長、親族のいずれかである(YES,NO)		/				
		YES	(9-1)→(14)へ	/				
		NO	(9-2)エラーメッセージ 「準正嫡出子の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示する		(9-3)3.0審査へ		不受理	
	NO	(9-4)エラーメッセージ 「準正嫡出子の場合の届出入資格に間違いがあります。」を表示する					不受理	
(10)削除				/			(10)～(13)を削除(続柄更正申出対応8.3版)	
YES	(11)削除			/				
NO	(12)削除				(13)削除			
(14)届書の母の本籍 ＝ 無国籍　かつ　胎児認知日 ＝ スペース　かつ　裁判の区分 ≠ 4　かつ 父の本籍 ≠ 国籍(YES,NO)								
YES	(15)→				(16)3.0審査へ		受理照会	
NO	(17)→							

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(出生届)
処理名	3.17 審査(出生区分 ＝ 非嫡出子)

						備考
(1)入るべき戸籍欄 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0　かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 0　又は 届書の父外国人区分 ＝ 0　かつ　届書の母外国人区分 ＝ 1　かつ　胎児認知日 ≠ スペース　又は 届書の母外国人区分 ＝ 1　かつ　届書の母本籍 ＝ 無国籍(YES,NO)				/		
YES	(2)新戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(3)→(9)へ		/		
	NO	(4)届書の母外国人区分 ＝ 1(YES,NO)		/		
		YES	(5)エラーメッセージ 「子につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。」を表示する		(6)3.0審査へ	不受理
		NO	(7)エラーメッセージ 「母につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。」を表示する			不受理
NO	(8)新戸籍の本籍 ≠ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(8-1)エラーメッセージ 「母の現在戸籍への入籍です。新戸籍欄への入力は出来ません。」を表示する			(8-2)3.0審査へ	不受理
	NO	(8-3)→(9)へ		/		
(9)届出人のコード名称 ＝ 母、同居者、医師、助産師、立会人、法定代理人、公設所の長、船長、親族のいずれかである(YES,NO)				/		戸52
YES	(10)→				(10-1)3.0審査へ	
NO	(11)エラーメッセージ 「非嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示する				(12)3.0審査へ	不受理
(13)削除				/		(13)～(16)を削除
YES	(14)削除				(15)削除	
NO	(16)削除					
(17)届出人のコード名称 ≠ 母　かつ　新戸籍の本籍 ≠ 入るべき戸籍の本籍　かつ 新戸籍の本籍 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース(YES,NO)				/		16版改修　第20版誤植変更
YES	(18)エラーメッセージ 「新本籍と従前の本籍は同一でなければなりません。」を表示する				(19)3.0審査へ	戸籍法30-3 不受理　第19版変更
NO	(20)→				(21)3.0審査へ	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.18 審査 (受理照会等)						備考	
								↑
								↑
								第18版削除
(1)出生子の生年月日 ＝ 西暦　かつ　出生証明書区分 ＝ 1(YES,NO)				/			昭和36.5.17民事甲1196号回答	
YES	(2)→(10-1)へ			/				第19版変更
NO	(3)出生子の生年月日 + 6年(6歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)			/			昭和34.8.27民事甲1545号	21版(出生138)
	YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の年齢が学齢を越えています。受理してよろしいですか?」を表示する		/				第18版変更
								↓
		YES	(4-1)→(7)へ	/				↓
		NO	(4-2)→		(5)3.0審査へ		受理照会	↓
							昭和36.5.12～13佐賀県戸協決	↓
	NO	(6)→(7)へ		/				↓
	(7)母の生年月日 + 50年(50歳以上) ≦ 子の出生日(YES,NO)			/			平成26.7.3民一737号	21版(出生138)
	YES	(7-1)確認メッセージ(YES,NO) 「出生時、母年齢が50歳以上です。出生施設は医療法上の病院ですか?」を表示する						第18版変更
								↓
		YES	(7-2)→(10-1)へ	/				第19版変更
		NO	(8)エラーメッセージ 「出生当時の母の年齢が50歳を越えています。」を表示する		(9)3.0審査へ		受理照会	第18版変更
							昭和36.9.5民事甲2008号	↓
	NO	(10)→(10-1)へ		/				↓
(10-1)在外送付区分 ＝ 0:受理分(YES,NO)				/			送付分の届書は受理照会の対象外とする。	
YES	(10-2)→(11)へ			/				↓
NO	(10-3)→(21)へ			/				↓
(11)出生証明書区分 ≠ 1　かつ　届出人のコード名称 ≠ 船長　かつ　出生子の出生区分 ≠ 4 (YES,NO)				/			戸49III	
YES	(12)エラーメッセージ 「出生証明者が医師・助産師以外です。」を表示する				(13)3.0審査へ		受理照会、昭和23.12.1民事甲1998号回答	
							昭和54.9.27～28高知県連協決	
NO	(14)→(15)へ			/				
(15)出生子の出生場所 ＝ 国内である(YES,NO)				/				
YES	(16)出生子の生年月日+14日(14日未満) ＞ 受領日(YES,NO)			/			戸49I	21版(出生138)
	YES	(17)→(21)へ		/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.18 審査 (受理照会等)						備考	
	NO	(18)エラーメッセージ 「出生の届出が出生日から14日を過ぎています。」を表示する			(19)3.0審査へ		受理 (失期通知を裁判所へ提出)	
NO	(20)→(21)へ			/				
(21)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/				
YES	(22)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内　かつ　新戸籍の本籍 ＝ 管外(YES,NO)			/				
	YES	(22-1)在外送付区分 ＝ 0:受理　又は　2:在外公館の直接送付(YES,NO)		/				
		YES	(23)本・非本区分 ＝ 2(YES,NO)	/				
			YES	(24)→(37)へ	/			
			NO	(26)エラーメッセージ 「本・非本区分け2(非本籍)でなければなりません。」を表示する		(25)3.0審査へ	不受理	
		NO		(26-1)本・非本区分 ＝ 1(YES,NO)	/			
			YES	(26-2)→(37)へ	/			
			NO	(26-3)エラーメッセージ 「本・非本区分け1(本籍)でなければなりません。」を表示する		(26-4)3.0審査へ	不受理	
	NO	(27)→(28)へ			/			
NO								
(28)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内　又は　新戸籍の本籍 ＝ 管内(YES,NO)					/			
YES	(29)本・非本区分 ＝ 1(YES,NO)				/			
	YES	(30)→(37)へ			/			
	NO	(31)エラーメッセージ 「本・非本区分は1(本籍)でなければなりません。」を表示する				(32)3.0審査へ	不受理	
NO	(33)本・非本区分 ＝ 2(YES,NO)				/			
	YES	(34)→(37)へ			/			
	NO	(35)エラーメッセージ 「本・非本区分は2(非本籍)でなければなりません。」を表示する				(36)3.0審査へ	不受理	
(37)出生子の出生区分 ＝ 2　かつ　入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース　かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1　かつ　胎児認知日 ＝ スペース　かつ　在外送付区分 ＝ 1(YES,NO)					/			
YES	(38)報告区分 ＝ 1(YES,NO)				/			
	YES	(39)→				(40)3.0審査へ		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.18 審査 (受理照会等)						備考	
	NO	(41)エラーメッセージ 「報告区分は1(創設的届出)でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(42)報告区分 ＝ 2(YES,NO)			/				
	YES	(43)→			(44)3.0審査へ			
	NO	(45)エラーメッセージ 「報告区分は2(報告的届出)でなければなりません。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)					
処理名	3.19 審査 (母日本人、父外国人婚姻後201日以降出生)					

処理			備考
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		民772II
YES (2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する		(3)3.0審査へ	
YES (11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)	/		
0 (12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する		(13)3.0審査へ	昭28.7.20 民事甲 1238号回答
YES (14)→(63)へ	/		
NO (15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)	/		
0 (19)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
YES (20)中間F(届書).父未定区分に1を移送	/		戸54
(21)→(63)へ	/		
NO (22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」 を表示する		(23)3.0審査へ	不受理 昭20. 9.24 民事特甲 408号回答 昭24. 9. 5 民事甲 1942号回答
1 (24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する			不受理
1,2 (25)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)	/		民775
1 (26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(27)3.0審査へ	不受理
2 (28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
YES (29)→(63)へ	/		
NO (30)→		(31)3.0審査へ	不受理
3 (32)→(63)へ	/		民773.戸49II1
4 (39)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)	/		
1,3 (39-1)→(63)へ	/		
2 (39-2)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(39-3)3.0審査へ	不受理
NO (40)→(41)へ	/		
NO			
(41)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)	/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.19 審査 (母日本人、父外国人婚姻後201日以降出生)						備考	
0	(42)→(63)へ			/				
1,2	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/			民775	
	1	(44)→(78)へ		/				
	2	(53)→(63)へ		/				
3	(54)→(63)へ			/			民773	
4	(62)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/				
	1,3	(62-1)→(63)へ		/				
	2	(62-2)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(62-3)3.0審査へ		不受理	
(63)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無、1:有)				/				
0	(64)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/			戸49II1	
	YES	(65)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/				
			YES (67)→		(68)3.0審査へ			
			NO (69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
		NO	(70)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する				不受理	
	NO	(71)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
1	(72)→(78)へ			/				
(78)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(79)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日(YES,NO)			/				
	YES	(79-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/			21版(出生211)	
		YES	(79-2)→(88)へ	/			21版(出生211)	
		NO	(79-3)→(80)へ	/			21版(出生211)	
		(80)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名			審査(出生届)						
処理名			3.19 審査 (母日本人、父外国人婚姻後201日以降出生)					備考	
	YES		(81)→(88)へ		/				
	NO		(82)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する			(83)3.0審査へ			
		YES	(84)→(88)へ		/				
		NO	(85)→			(86)3.0審査へ		不受理	
	NO		(87)→(88)へ		/				
(88)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)					/				
	YES		(89)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/				
		YES	(90)→			(91)3.0審査へ			
		NO	(92)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
	NO		(93)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO			(107)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(出生届)
処理名	3.20 審査 (母日本人･父外国人婚姻後200日以内出生)

											備考
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)									/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する									(3)3.0審査へ	民772
	YES	(4)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)							/		
		0	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する							(6)3.0審査へ	
			YES	(7)→(47)へ					/		
			NO	(8)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する						(9)3.0審査へ	不受理
		1	(10)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)						/		民775
			1	(11)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する						(12)3.0審査へ	不受理
			2	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する							
				YES	(14)→(47)へ				/		
				NO	(15)→					(16)3.0審査へ	不受理
		2	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)						/		民775
			1	(18)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する						(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する							
				YES	(21)→(47)へ				/		
				NO	(22)→					(23)3.0審査へ	不受理
		3	(24)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する								不受理 民773
		4	(25)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)						/		民787
			1,3	(26)→(47)へ					/		
			2	(27)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する						(28)3.0審査へ	不受理
	NO	(29)→(30)へ							/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.20 審査 (母日本人･父外国人婚姻後200日以内出生)						備考	
NO								
(30)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)				/				
0	(31)→(47)へ			/				
1	(32)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/				
	1	(33)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する			(34)3.0審査へ		不受理	
	2	(35)→(47)へ		/				
2	(36)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/				
	1	(37)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/				
		YES	(38)→(53)へ	/				
		NO	(39)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する		(40)3.0審査へ		不受理	
	2	(41)→(47)へ		/				
3	(42)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				(42-1)3.0審査へ		不受理	
4	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)			/				
	1	(44)→(47)へ		/				
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(46)3.0審査へ		不受理	
(47)届出人のコード名称 ＝ 母　かつ　出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			昭和26.6.27 民事甲　1332号回答	
YES	(48)→(53)へ			/				
NO	(49)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			/			戸49II1	
	YES	(50)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(51)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/				
			YES (51-1)→		(51-2)3.0審査へ			
			NO (51-3)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
		NO	(51-4)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する				不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.20 審査 (母日本人･父外国人婚姻後200日以内出生)						備考	
	NO	(52)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
(53)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(54)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 ＜ 出生子の生年月日(YES,NO)			/				
	YES	(54-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/			21版(出生211)	
		YES	(54-2)→(63)へ	/			21版(出生211)	
		NO	(54-3)→(55)へ	/			21版(出生211)	
		(55)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(56)→(63)へ	/				
		NO	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する		(58)3.0審査へ			
			YES (59)→(63)へ	/				
			NO (60)→		(61)3.0審査へ		不受理	
	NO	(62)→(63)へ		/				
	(63)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)			/				
	YES	(64)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/				
		YES	(65)→		(66)3.0審査へ			
		NO	(67)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する				不受理	
	NO	(68)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(69)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.21 審査 (母日本人･父外国人婚姻前出生)

							備考
(1)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)					/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する					(3)3.0審査へ	民772
	YES	(11)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
		0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する			(13)3.0審査へ	
			YES	(14)→(59)へ	/		
			NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(16)3.0審査へ	不受理
		1	(17)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
			2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
				YES	(20-1)→(59)へ	/	
				NO	(20-2)→		(20-3)3.0審査へ	不受理
		2	(20-4)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)		/		民775
			1	(20-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(20-6)3.0審査へ	不受理
			2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示する			
				YES	(20-8)→(59)へ	/	
				NO	(20-9)→		(20-10)3.0審査へ	不受理
		3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				不受理 民773
		4	(22)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		民787.昭和41.3.14 民事甲　655号回答
			1,3	(23)→(59)へ	/		
			2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する		(25)3.0審査へ	不受理
	NO	(38)→(39)へ			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.21 審査 (母日本人･父外国人婚姻前出生)

					備考
NO					
(39)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)			/		
0	(40)→(59)へ		/		
1,2,3	(41)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示する			(42)3.0審査へ	不受理
4	(43)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)		/		民787
	1,3	(44)→(59)へ	/		戸49II1
	2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」 を表示する		(46)3.0審査へ	不受理
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)			/		
YES	(59-1)裁判の区分 ＝ 4 かつ 対象父区分 ＝ 1 又は 3(YES,NO)		/		
	YES	(59-2)→(112)へ	/		
	NO	(59-3)→(60)へ	/		
	(60)届出人の資格コード ＝ 001 又は 005(YES,NO)		/		戸62、大正8.9.13民 3686号回答
	YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は死亡していますか。」を表示する		(62)3.0審査へ	民783II前段
					大正6.3.6民 197号回答
		YES (63)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか。」を表示する			民783II前段
		YES (64)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属は成年に達していますか。」を表示する			民3、783II後段
		YES (65)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示する			
		YES (66)→(112)へ	/		
		NO (70)→		(71)3.0審査へ	不受理
		NO (72)→(112)へ	/		
		NO (75)→			不受理
	NO	(75-1)受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)	/		R2.1(出生150)
		YES (75-2)子の生年月日 + 18年(18歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	/		民3、782 R2.1(出生150)
					大正7.5.30民1159号回答 R2.1(出生150)
		YES (75-3)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」 を表示する		(75-4)3.0審査へ	昭和43.4.5民事甲689号回答 R2.1(出生150)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(出生届)
処理名	3.21 審査 (母日本人･父外国人婚姻前出生)

										備考
					YES	(75-5)→(112)へ	/			R2.1(出生150)
					NO	(75-6)→		(75-7)3.0審査へ		不受理 R2.1(出生150)
				NO		(75-8)→(112)へ	/			R2.1(出生150)
			NO	(76)子の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)			/			民3、782 21版(出生138)
				YES		(77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」 を表示する		(78)3.0審査へ		大正7.5.30 民 1159号回答 昭和43.4.5 民事甲 689号回答
					YES	(79)→(112)へ	/			
					NO	(82)→		(83)3.0審査へ		不受理
				NO		(84)→(112)へ	/			
	NO		(88)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が父･父母以外の為、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか。」を表示する					(89)3.0審査へ		
		YES	(88-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)				/			21版(出生211)
										21版(出生211)
			YES	(88-2)→(118)へ			/			21版(出生211)
			NO	(88-3)→(90)へ			/			21版(出生211)
			(90)入るべき戸籍の母入籍日<出生子の生年月日(YES,NO)				/			
			YES	(91)→(118)へ			/			
			NO							22版(出生143)
										22版(出生143)
										22版(出生143)
				(94)入るべき戸籍の母入籍日>出生子の生年月日(YES,NO)			/			
				YES		(95)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」 を表示する		(96)3.0審査へ		
					YES	(97)→(118)へ	/			
					NO	(98)→		(99)3.0審査へ		不受理
				NO		(100)→				受理照会
		NO	(101)→							不受理
NO	(111)→(112)へ						/			
(112)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)							/			
YES	(113)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)						/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.21 審査 (母日本人･父外国人婚姻前出生)						備考	
	YES	(114)→			(115)3.0審査へ			
	NO	(116)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(117)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	
(118)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/				
YES	(119)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(120)→			(121)3.0審査へ			
	NO	(122)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(123)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.22 審査 (母日本人、父外国人、母未婚･婚姻解消後出生)

									備考
(1)届書の母欄 ≠ スペース(YES,NO)							/		
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示する							(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)へ						/		
(5)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)							/		
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する							(7)3.0審査へ	民772
	YES	(8)裁判の区分(0:無、1:摘出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)					/		
		0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の摘出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する					(10)3.0審査へ	
			YES	(11)→(42)へ			/		
			NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の摘出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する				(13)3.0審査へ	不受理
		1	(14)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)				/		民775
			1	(14-1)エラーメッセージ 「摘出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する				(14-2)3.0審査へ	不受理
			2	(15)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前離婚日(YES,NO)			/		
				YES	(16)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)		/		
					YES	(17)→(42)へ	/		
					NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
						YES (19-1)→(42)へ	/		
						NO (19-2)→		(19-3)3.0審査へ	不受理
				NO	(20)→(42)へ		/		
		2	(21)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)				/		民775
			1	(22)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する				(22-1)3.0審査へ	不受理
			2	(22-2)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前離婚日(YES,NO)			/		
				YES	(22-3)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)		/		
					YES	(22-4)→(42)へ	/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)								
処理名	3.22 審査 (母日本人、父外国人、母未婚･婚姻解消後出生)							備考	
				NO	(22-5)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」 を表示する		(22-6)3.0審査へ		
				YES	(22-7)→(42)へ	/			
				NO	(22-8)→		(22-9)3.0審査へ	不受理	
			NO		(22-10)→(42)へ	/			
		3			(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する			不受理	
								民773	
		4			(24)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)	/		民787	
			1,3		(25)→(65)へ	/			
			2		(28)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」 を表示する		(29)3.0審査へ	不受理	
	NO				(30)→(31)へ	/			
NO									
(31)裁判の区分(0:無、1:摘出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)						/			
0	(32)→(42)へ					/			
1	(33)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)					/		民775	
	1				(33-1)エラーメッセージ 「摘出否認裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(33-2)3.0審査へ	不受理	
	2				(33-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する				
		YES			(33-4)→(42)へ	/			
		NO			(33-5)→		(33-6)3.0審査へ	不受理	
2	(33-7)対象父区分(1:現夫、2:前後夫)					/		民775	
	1				(33-8)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示する		(33-9)3.0審査へ	不受理	
	2				(33-10)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する				
		YES			(33-11)→(42)へ	/			
		NO			(33-12)→		(33-13)3.0審査へ	不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.22 審査 (母日本人、父外国人、母未婚･婚姻解消後出生)						備考	
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する						不受理	
4	(35)対象父区分(1:現夫、2:前後夫、3:届書の父)			/			民787	
	1,3	(36)→(65)へ		/				
	2	(40)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			(41)3.0審査へ		不受理	
(42)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)				/				
YES	(43)出生子の生年月日 ≧ 平成2年1月1日(YES,NO)			/			改正法例(平成2年1月1日施行)	
	YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「父は事実主義国の外国人として処理を続行しますか。」を表示する			(45)3.0審査へ		法18I	
		YES	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「父の事実主義に関する証明書の添付があるものとして処理を続行しますか。」を表示する				平成元年.10.2 民二3900号 第3の2(2)ア	
			YES (47)→(65)へ		/			
			NO (48)→			(49)3.0審査へ	不受理	
		NO						
	NO	(50)エラーメッセージ 「改正法例前における事実主義にもとずく父欄の入力は出来ません。」を表示する					不受理	
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示する							
	YES	(62)→(65)へ		/				
	NO	(63)→			(64)3.0審査へ		不受理	
(65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			戸49II1	
YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(67)→			(68)3.0審査へ			
	NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理	
NO	(70)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(出生届)
処理名	3.23 審査 (母日本人未婚･婚姻解消後出生)

											備考
(1)届書の母欄 ≠ スペース(YES,NO)									/		
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示する									(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)へ								/		
(5)入るべき戸籍の母前離婚日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)									/		
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示する									(7)3.0審査へ	民772
	YES	(8)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)							/		
		0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示する							(10)3.0審査へ	
			YES	(11)→(38)へ					/		
			NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示する						(13)3.0審査へ	不受理
		1,2	(14)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前離婚日(YES,NO)						/		民775
			YES	(15)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)					/		
				YES	(16)→(38)へ				/		
				NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示する					(18)3.0審査へ	不受理
					YES	(19)→(38)へ			/		
					NO	(20)→				(21)3.0審査へ	不受理
			NO	(22)→(38)へ					/		
		3	(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する							(24)3.0審査へ	不受理
											民773
		4	(25)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する								不受理
	NO	(26)→(27)へ							/		
NO											
(27)裁判の区分(0:無、1:嫡出否認、2:親子関係不存在、3:父を定める訴、4:強制認知)									/		
0	(28)→(38)へ								/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	3.23 審査 (母日本人未婚･婚姻解消後出生)						備考	
1,2	(29)入るべき戸籍の離婚日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の離婚日 < 出生子の生年月日(YES,NO)			/				
	YES	(29-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/			21版(出生211)	21版(出生211)
		YES	(29-2)→(38)へ	/			21版(出生211)	
		NO	(29-3)→(30)へ	/			21版(出生211)	
		(30)入るべき戸籍の母入籍日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)		/				
		YES	(31)→(38)へ	/				
		NO	(32)エラーメッセージ 「出生子は、母の現在戸籍への入籍です。母の現在戸籍を入力して下さい。」 を表示する		(33)3.0審査へ		不受理	
	NO	(34)→(38)へ		/				
3	(35)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示する				(36)3.0審査へ		不受理	
4	(37)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示する			/			不受理	
(38)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				/			戸49II1	
YES	(39)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			/				
	YES	(40)→			(41)3.0審査へ		R3.0(出生152)	
	NO	(42)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示する					不受理 R3.0(出生152)	
NO	(43)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示する						不受理	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		出生届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							01(出生届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0:1 在外送付区分 ≠ 0:2
	本非区分			本･非本区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			報告区分				
	渉外区分			外国人区分(届書父) 外国人区分(届書母) 国籍留保届出人区分				父母双方に入力がある場合 父母双方日本人 :0 父母の一方が日本人:1 父母双方外国人 :2 父母の一方に入力がある場合 入力がある者は日本人:0 入力がある者は外国人:2 但し、上記区分 ＝ 0であるとき 国籍留保届出人 ≠ 0の場合:1
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人サブシステムインターフェイス	戸籍番号				入るべき戸籍、届書の父、届書の母が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号(2)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(3)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(4)							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容		出生届入力画面					中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理 又は 3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							受領No. ＝ スペース:0を移送
	届書排他区分							再入力の場合:1
中間ファイル(届書) 事件別内容								
	出生証明書区分			出生証明書区分				
	出生子のカナ氏名			出生子のカナ氏名				
	出生子の漢字氏名			出生子の漢字氏名				
	出生子の生年月日			出生子の生年月日				
	出生子の出生区分			出生子の出生区分				
	出生子の続柄コード			出生子の続柄コード				
	出生子の出生地コード			出生子の出生地		有		
	出生子の出生地							
	出生子の国籍			出生子の国籍				
	出生子の住所コード			出生子の住所		有		
	出生子の住所							
	出生子の世帯主氏名			出生子の世帯主氏名				
	出生子の世帯主との続柄コード			出生子の世帯主との続柄コード				
	届出人の資格コード			届出人の資格コード				
	届出人の資格名称			届出人の資格コード名称				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人の氏名			届出人の氏名				
	入るべき戸籍の婚姻日			入るべき戸籍の婚姻日				
	入るべき戸籍の嫡出子例外区分			入るべき戸籍の嫡出子例外区分				
	入るべき戸籍の婚姻解消日			入るべき戸籍の離婚日				
	入るべき戸籍の母前婚姻解消日			入るべき戸籍の母前離婚日				
	入るべき戸籍の本籍コード			入るべき戸籍の本籍		有		
	入るべき戸籍の本籍							
	入るべき戸籍の筆頭者氏名			入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	入るべき戸籍の父個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、入るべき戸籍の父の個人番号を移送
	入るべき戸籍の父カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	入るべき戸籍の父漢字氏名		出生届入力画面	入るべき戸籍の父氏名				
	入るべき戸籍の父筆頭者区分			入るべき戸籍の父筆頭者区分				
	入るべき戸籍の父生年月日			入るべき戸籍の父生年月日				
	入るべき戸籍の父入籍事件日			入るべき戸籍の父入籍日				
	入るべき戸籍の父除籍日			入るべき戸籍の父除籍日				
	入るべき戸籍の父配偶者区分			入るべき戸籍の父配偶者区分				
	入るべき戸籍の母個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、入るべき戸籍の母の個人番号を移送
	入るべき戸籍の母カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

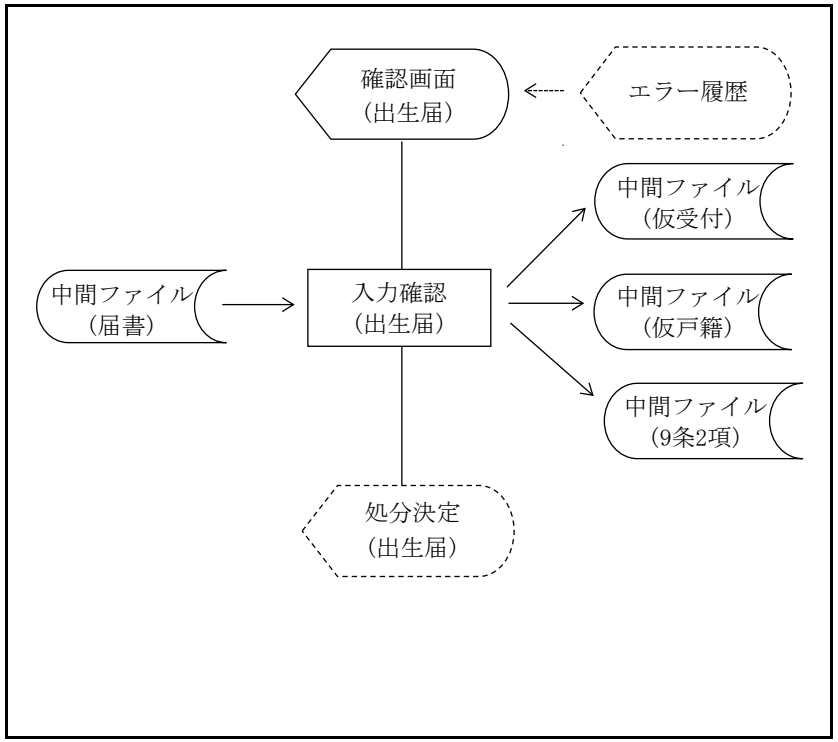
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入るべき戸籍の母漢字氏名		出生届入力画面	入るべき戸籍の母氏名				
	入るべき戸籍の母筆頭者区分			入るべき戸籍の母筆頭者区分				
	入るべき戸籍の母生年月日			入るべき戸籍の母生年月日				
	入るべき戸籍の母入籍事件日			入るべき戸籍の母入籍日				
	入るべき戸籍の母除籍日			入るべき戸籍の母除籍日				
	入るべき戸籍の母配偶者区分			入るべき戸籍の母配偶者区分				
	届書の父個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、届書の父の個人番号を移送
	届書の父カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	届書の父漢字氏名		出生届入力画面	届書の父氏名				
	届書の父本籍コード			届書の父本籍		有		
	届書の父本籍							
	届書の父生年月日			届書の父生年月日				
	届書の父筆頭者氏名			届書の父筆頭者氏名				
	届書の父外国人区分			届書の父外国人区分				
	届書の母個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、届書の母の個人番号を移送
	届書の母カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	届書の母漢字氏名		出生届入力画面	届書の母氏名				
	届書の母本籍コード			届書の母本籍		有		
	届書の母本籍							
	届書の母生年月日			届書の母生年月日				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届書の母筆頭者氏名			届書の母筆頭者氏名				
	届書の母外国人区分			届書の母外国人区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	胎児認知日			胎児認知日				
	関連受領番号			関連受領番号				西暦の頭2桁 + 関連受領番号を移送
	新戸籍の本籍コード			新戸籍の本籍				
	新戸籍の本籍							
	新戸籍の筆頭者カナ氏名		サブシステム インターフェイス					
	新戸籍の筆頭者漢字氏名		出生届入力画面	新戸籍の筆頭者氏名				
	国外の国籍留保届出人資格			国外出生の国籍留保届出人資格				
	国外の在外公館名称			国外出生の在外公館名				
	裁判の区分			裁判の区分				
	裁判の確定日			裁判の確定日				
	裁判の子の氏変更申出区分			裁判の子の氏変更申出区分				
	裁判の対象父氏名			裁判の対象夫氏名				
	裁判の対象父生年月日			裁判の対象夫生年月日				
	国内遅延理由区分			国内遅延理由区分				
	大使館職員区分		審査処理					
	国外遅延理由区分							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0　本紙
- 1.0　データ編集表(確認画面)
- 2.0　戸籍編成マトリックス表
- 3.0　データ編集表(中間ファイル/仮受付)　出生
  - 3.1　事件本人(子)
  - 3.2　事件本人(父)　－認知(62条)
- 4.0　データ編集表(中間ファイル/仮受付)　認知(62条)
  - 4.1　事件本人
- 5.0　データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 5.1　父(変動なし)/62条
  - 5.2　父(変動なし)/胎児認知
- 6.0　データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1　母(除籍)
  - 6.2　母(入籍)
- 7.0　データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 7.1　出生子(入籍)
- 8.0　データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1　出生子(入籍)
  - 8.2　出生子(記録[親権])/協議
  - 8.3　出生子(入籍[棄児])
  - 8.4　出生子(記録[胎児認知])
- 9.0　データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 9.1　出生子
  - 9.2　母

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(出生届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する				[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の変動状況を決定する			[2.0]	/		
	(4)出生子の出生区分 ＝ 2　かつ　在外送付区分 ＝ 1　かつ　胎児認知日 ＝ スペース　かつ　裁判の区分 ≠ 4　かつ　入るべき戸籍の父漢字氏名 ≠ スペース　かつ　届書の母外国人区分 ＝ 1(YES,NO)				/		
	YES	(5)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する		[4.0]	/		認知(62条)受付作成
		(6)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する		[4.1]	/		
	NO	(7)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する		[3.0]	/		出生受付作成
		(8)中間ファイル(仮受付[事件本人(出生子)])を編集・出力する		[3.1]	/		
		(9)出生区分 ＝ 2 かつ 胎児認知日 ＝ スペース かつ 裁判の区分 ≠ 4(YES,NO)			/		
		YES	(10)中間ファイル(仮受付[事件本人(父)])を編集・出力する	[3.2]	/		
		NO	(11)→(12)へ		/		
	(12)父 ＝ 本籍人(YES,NO)				/		
	YES	(13)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		父の変動なし(身分事項)	(14)父の記録事項の編集(62条)	[5.1]	/		
		父の変動なし(身分事項)	(15)父の記録事項の編集(胎児認知)	[5.2]	/		
	NO	(16)→(17)へ			/		
	(17)母 ＝ 本籍入(YES,NO))				/		
	YES	(18)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		母の除籍(身分事項)	(19)母の除籍事項の編集	[6.1]	/		
		母の入籍(身分事項)	(20)母の入籍事項の編集	[6.2]	/		
	NO	(21)→(22)へ			/		
	(22)出生子 ＝ 本籍人 かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦 かつ 父未定区分 ≠ 2(YES,NO)				/		
	YES	(23)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		
		子の入籍(個人特定)	(24)出生子の記録事項の編集	[7.1]	/		
		子の入籍(身分事項)	(25)出生子の記録事項の編集	[8.1]	/		
		子の入籍(身分事項)	(26)出生子の記録事項の編集	[8.3]	/		
		子の記録(身分事項)	(27)出生子の記録事項の編集	[8.4]	/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
		(28)出生子の出生区分 ＝ 1　かつ　入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース　かつ 父未定区分 ＝ 0　かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日+301日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)			/			
	YES	子の記録(身分事項)	(29)出生子の記録事項の編集 [8.2]		/			
	NO	(30)→(31)へ			/			
	NO								
		(31)在外送付区分 ＝ 0　又は　2　かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦　かつ　父未定区分 ≠ 2(YES,NO)			/			
	YES	(32)戸籍変動状況をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集･出力する			/			
		(33)出生子の編集 [9.1]			/			
		(34)→(35-1)へ			/			
	NO	(35)→(35-1)へ			/			
		(35-1)在外送付区分 ＝ 0　又は　2　かつ　出生子の出生区分 ≠ 4　かつ (入るべき戸籍の母漢字氏名 ≠ スペース　又　は届書の母外国人区分 ＝ 0)(YES,NO)			/			
	YES	(35-2)戸籍変動状況(母につき新戸籍編製)をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集･出力する			/			
		(35-3)母の編集 [9.2]				(35-4)処分決定に制御を渡す		
	NO	(35-5)→						
PF1	→					(36)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(37)届出選択に制御を渡す		
PF5	→					(38)届書入力(出生届)に制御を渡す		
PF7	(39)前ページがあるか(YES,NO)				/			
	YES	(40)前ページ分の確認画面(出生届)を編集する				(41)同画面を編集する		
	NO	(42)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(43)次ページあるか(YES,NO)				/			
	YES	(44)次ページ分の確認画面(出生届)を編集する				(45)同画面を編集する		
	NO	(46)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→					(47)エラー履歴画面に制御を渡す		
その他	(48)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(49)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	1.0　確認画面(出生届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
出生届確認画面	画面ID			画面ID				画面ID
	システム日付			システム日付				システム日付
	支所No.		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領No.			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元		有		
	在外			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非本区分				
	郵送日			郵送日		有		
	動態			動態区分				
	報告			報告区分				
	出生証明書区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	出生証明書区分				
	出生子のカナ氏名			出生子のカナ氏名				
	出生子の漢字氏名			出生子の漢字氏名				
	出生子の生年月日			出生子の生年月日		有		
	出生子の出生区分			出生子の出生区分				
	出生子の続柄コード			出生子の続柄コード				
	出生子の出生地			出生子の出生地コード		有		
				出生子の出生地				
	出生子の国籍			出生子の国籍				
	出生子の住所			出生子の住所コード		有		
				出生子の住所				
	出生子の世帯主氏名			出生子の世帯主氏名				
	出生子の世帯主との続柄コード			出生子の世帯主との続柄コード				

画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サンプルデータ)	29.,	
	届出人の資格コード			届出人の資格コード				
	届出人の資格コード名称			届出人の資格名称				
	届出人の氏名			届出人の氏名				
	入るべき戸籍の婚姻日			入るべき戸籍の婚姻日		有		
	入るべき戸籍の嫡出子例外区分			入るべき戸籍の嫡出子例外区分				
	入るべき戸籍の離婚日			入るべき戸籍の婚姻解消日		有		
	入るべき戸籍の母前離婚日			入るべき戸籍の母前婚姻解消日		有		
	入るべき戸籍の本籍			入るべき戸籍の本籍コード		有		
				入るべき戸籍の本籍				
	入るべき戸籍の筆頭者氏名			入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	入るべき戸籍の父氏名			入るべき戸籍の父漢字氏名				
	入るべき戸籍の父筆頭者区分			入るべき戸籍の父筆頭者区分				
	入るべき戸籍の父生年月日			入るべき戸籍の父生年月日		有		
	入るべき戸籍の父入籍日			入るべき戸籍の父入籍事件日		有		
	入るべき戸籍の父除籍日			入るべき戸籍の父除籍日		有		
	入るべき戸籍の父配偶者区分			入るべき戸籍の父配偶者区分				
	入るべき戸籍の母氏名			入るべき戸籍の母漢字氏名				
	入るべき戸籍の母筆頭者区分			入るべき戸籍の母筆頭者区分				
	入るべき戸籍の母生年月日			入るべき戸籍の母生年月日		有		
	入るべき戸籍の母入籍日			入るべき戸籍の母入籍事件日		有		
	入るべき戸籍の母除籍日			入るべき戸籍の母除籍日		有		
	入るべき戸籍の母配偶者区分			入るべき戸籍の母配偶者区分				
	届書の父氏名			届書の父漢字氏名				

画面名称	名称	記号名	画面名称	名称	記号名	(サンプルデータ)	29.,	
	届書の父本籍			届書の父本籍コード		有		
				届書の父本籍				
	届書の父生年月日			届書の父生年月日		有		
	届書の父筆頭者氏名			届書の父筆頭者氏名				
	届書の父外国人区分			届書の父外国人区分				
	届書の母氏名			届書の母漢字氏名				
	届書の母本籍			届書の母本籍コード		有		
				届書の母本籍				
	届書の母生年月日			届書の母生年月日		有		
	届書の母筆頭者氏名			届書の母筆頭者氏名				
	届書の母外国人区分			届書の母外国人区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	胎児認知日			胎児認知日		有		
	関連受領番号			関連受領番号				3桁目より7桁を表示
	新戸籍の本籍			新戸籍の本籍コード		有		
				新戸籍の本籍				
	新戸籍の筆頭者氏名			新戸籍の筆頭者漢字氏名				
	国外出生の国籍留保届出人資格			国外の国籍留保届出人資格				
	国外出生の在外公館名			国外の在外公館名称				
	裁判の区分			裁判の区分				
	裁判の確定日			裁判の確定日		有		
	裁判の子の氏変更申出区分			裁判の子の氏変更申出区分		有		
	裁判の対象夫氏名			裁判の対象父氏名				
	裁判の対象夫生年月日			裁判の対象父生年月日		有		
	国内遅延理由区分			国内遅延理由区分				

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
1	○				○		－	－			○		－	－	－	－						子(7.1) 子(8.1)							
2	○				○		○										－	－						子(7.1) 子(8.1)					
3	○								－	－	○		○		－	－										子(7.1) 子(8.1)			
4	○									○								○		○									子(7.1) 子(8.1)
5		○			○		－	－			○		－	－	－	－						子(7.1) 子(8.1)							
6		○			○		－	－			○		－	－	－	－			○			子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)						
7		○			○		○										○								父(5.1)				
8		○			○		○										－	－	○					子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)				
9		○							－	－	○		○		－	－										子(7.1) 子(8.1)			
10		○							－	－	○		○		－	－			○							子(7.1) 子(8.1)子(8.4)			
11		○								○								○		○									子(7.1) 子(8.1)
12			○								○		○		－	－										子(7.1)			

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者														
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無													
12			○								○		○													子(8.1)		
13			○			○	-	-			○		○		-	-			○							子(7.1) 子(8.1)子(8.4)		
14			○		○		-	-			○		○		-	-			○						父(5.2)	子(7.1) 子(8.1)子(8.4)		
15			○								○			○	○					○							母(6.1)	母(6.2) 子(7.1)子(8.1)	
16			○			○	-	-			○			○	○				○	○							母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)	
17			○		○		-	-			○			○	○				○	○					父(5.2)		母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)	
18			○								○			○		○				○							母(6.1)	母(6.2) 子(7.1)子(8.1)	
19			○			○	-	-			○			○		○			○	○							母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)	
20			○		○		-	-			○			○		○			○	○					父(5.2)		母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)	
21			○								○			○	○						○					母(6.1)		
22			○		○		-	-			○			○	○				○		○				父(5.2)	母(6.1)		
23			○								○			○		○					○						母(6.1)	

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
24			○		○		-	-			○			○		○			○		○				父(5.2)			母(6.1)	
25			○									○		○	-	-				○									母(6.2) 子(7.1)子(8.1)
28			○			○	-	-									○		○	○									子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
29			○		○		-	-									○		○	○				父(5.2)					子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
30			○															○		○									子(7.1) 子(8.1)
31			○			○	-	-										○	○	○									子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
32			○		○		-	-										○	○	○				父(5.2)					子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
33				○																○									子(7.1) 子(8.3)
34			○		○		-	-									○		○		○			父(5.2)					
35			○		○		-	-										○	○		○			父(5.2)					
36			○						○		○		○		-	-									子(7.1) 子(8.1)				
37			○						○		○			○	○					○						母(6.1)			母(6.2) 子(7.1)子(8.1)
38			○						○		○			○		○				○							母(6.1)		母(6.2) 子(7.1)子(8.1)
39			○						○		○			○	○						○					母(6.1)			

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
					日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2												
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者					管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無													
40			○						○		○			○		○					○							母(6.1)	
41			○						○			○		○	-	-				○									母(6.2) 子(7.1)子(8.1)
42		○			○		○											○						子(7.1) 子(8.1)					
43*3	○				○		○				-	-	-	-	-	-	-	-						子(7.1) 子(8.1)					
44*3	○				-	-	-	-	-	-	○		○		-	-										子(7.1) 子(8.1)			
45			○						-	-	○		○		-	-			○							子(7.1) 子(8.1)子(8.4)			
46			○						-	-	○			○	○				○	○						母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
47			○						-	-	○			○	○				○		○					母(6.1)			
48			○						-	-	○			○		○			○	○							母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)子(8.4)
49			○						-	-	○			○		○			○		○						母(6.1)		
50*4			○								○			○	-	-										子(7.1) 子(8.1)			
51*4			○		○		-	-			○			○	-	-			○					父(5.2)		子(7.1) 子(8.1)子(8.4)			
52			○			-	-	-	-	-	○			○	-	-			○							子(7.1)			

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
					日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2											
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者					管内	管外								
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無						一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
*4			○								○			○					○							子(8.1)	子(8.4)		
53 *5			○		○		－	－			○		－	－	－	－						子(7.1) 子(8.1)							

＊1：母につき新戸籍編製時の母の個人特定についての編集を指す。
＊2：届書の父母欄より判断する。
＊3：項番43～44：父母の婚姻解消日 ≠ スペース かつ　入るべき戸籍に入力のある父又は母の場合を指す。
＊4：項番50～52：母の配偶者区分 ≠ 0の条件が成り立つ時に処理する。
＊5：項番51：父母婚姻中の場合に処理する。

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(出生届)								
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)共通 編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			出生子の出生区分 国外出生の国籍留保届出人資格 胎児認知日 裁判の区分	･出生子の出生区分 ＝ 3(非嫡) かつ 入るべき戸籍の母 ＝ 本籍人 かつ 新戸籍の本籍 ＝ 非本籍 かつ 在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) 又は 2(在外公館の直接送付) 又は 3(在外公館の国内経由):4401(その他) ･国外出生の国籍留保届出人資格 ≠ スペース:0102(出生:国籍留保) ･出生子の出生区分 ＝ 2(準嫡) かつ 以下のどちらか (胎児認知日 ＝ スペース & 裁判の区分 ≠ 4):0103(出生･認知) (胎児認知日 ≠ スペース or 裁判の区分 ＝ 4):0101(出生) ･出生子の出生区分 ＝ 4(棄児):0104(出生･棄児発見) ･国外出生の国籍留保届出人資格 ≠ スペース かつ 出生子の出生区分 ＝ 2 かつ 以下のどちらか (胎児認知日 ＝ スペース かつ 裁判の区分 ≠ 4) :0105(出生･認知、国籍留保) (胎児認知日 ≠ スペース 又は 裁判の区分 ＝ 4) :0102(出生･国籍留保) ･上記以外:0101(出生)			
	受付日			送付日 受領日			送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 ＝ スペースの時、受領日移送	
	事件発生日			出生子の生年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0:1 在外送付区分 ＝ 1 又は 2 又は 3:2
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)共通　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格コード1 届出人資格名称1 届出人氏名1 届出人資格コード2 届出人資格名称2 届出人氏名2			届出人の資格コード 届出人の資格名称 届出人の氏名 入るべき戸籍欄 届書欄		届出人の資格コード ＝ 005(父母)の場合 　届出人資格コード1 ＝ ″001″(父) 　届出人資格名称1 ＝ ″父″ 　届出人氏名1　＝ 入るべき戸籍又は届書の父欄 　届出人資格コード2 ＝ ″002″(母) 　届出人資格名称2 ＝ ″母″ 　届出人氏名2　＝ 入るべき戸籍又は届書の母欄 届出人の資格コード ＝ 081(その他の立会人)の場合 　届出人資格コード1 ＝ スペース 　届出人資格名称1 ＝ スペース 　届出人氏名1　＝ 届出人の氏名 届出人の資格コード ＝ 077(法定代理人)、093(公設所の長)の場合 　届出人資格コード1 ＝ 届出人の資格 　届出人資格名称1 ＝ 届出人の資格名称 　届出人氏名1　＝ 届出人の氏名 届出人の資格コード ＝ 097(市区町村長)の場合 　届出人資格コード1 ＝ スペース 　届出人資格名称1 ＝ スペース 　届出人氏名1　＝ スペース 　上記以外の場合(届出人が事件本人の場合スペース処理) 　届出人資格コード1 ＝ 届出人の資格コード 　届出人資格名称1 ＝ 届出人の資格名称 　届出人氏名1　＝ 届出人の氏名			
	届後本籍区分							出生子が入籍:1 出生子 又は 母につき新戸籍編製:2
	届後本籍コード			新戸籍の本籍コード				受付事件コード:4401(その他)の場合のみ移送する
	届後本籍			新戸籍の本籍				
	届後戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者漢字氏名				
	送達確認区分1							在外送付区分 ＝ 0　かつ 届後本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送
	証書提出区分							0 を移送
	届書送付目録区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)共通　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	処分区分							
	決裁区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)事件本人　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							・受付事件コード ＝ 4401:04 ・上記以外 出生子の出生区分 ≠ 4:01 出生子の出生区分 ＝ 4:02
	届出人区分							・事件本人区分 ＝ 04　かつ 届出人の資格コード ＝ 002:1 ・上記以外:0(ZERO)
	カナ氏名			カナ氏名				・事件本人区分 ＝ 04: 入るべき戸籍の母を移送 ・上記以外 出生子を移送
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2			送達確認2				在外送付区分 ＝ 0　かつ 事件本人の本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送

※出生子の本籍(コード)編集の条件
　出生子の国籍 ≠ スペース　：　出生子の国籍を移送
　新戸籍の本籍 ≠ スペース　：　新戸籍の本籍を移送
　入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース　：　入るべき戸籍の本籍を移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成 18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)事件本人 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							03を移送
	届出人区分							1を移送
	カナ氏名			カナ氏名				入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース: 入るべき戸籍の父欄を編集 入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース: 届書の父欄を編集
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			筆頭者氏名				
	送達確認2							在外送付区分 ＝ 0 かつ 事件本人の本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成17年 5月 1日	版	9
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力　※4.1(事件本人)含む							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0201を移送
	受付日			送付日 受領日			送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 ＝ スペースの時、受領日移送	
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							2を移送
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成17年 5月 1日	版	9
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力　※4.1(事件本人)含む							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認区分1							
	証書提出区分							0　を移送
	届書送付目録区分							1　を移送
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							事件本人 ＝ 出生子:01 事件本人 ＝ 父:03
	届出人区分							事件本人 ＝ 父:1を移送
	カナ氏名			カナ氏名				事件本人区分に対するデータを移送する 事件本人区分 ＝ 01:出生子 事件本人区分 ＝ 03:入るべき戸籍の父
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			筆頭者氏名				
	送達確認2							0を移送

仮受付(事件本人)の出力順位
1. 出生子
2. 父

注:出生子の本籍コード、本籍の編集元は、出生子、国籍コード、国籍とする。

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 3月 1日	版	8
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	5.1 身分事項(父・変動なし)62条						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	父個人番号				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	認知 認知日							未使用
	届出日			受領日				
	届出の性質							″認知届出の効力を有する出生届出″を移送
	胎児認知日							未使用
	認知の裁判確定日							未使用
	認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知した子の氏名(亡区分)							未使用
	認知した子の氏名(氏名)			出生子の漢字氏名				項目がある場合移送
	認知した子の死亡日							未使用
	認知した子の戸籍(本籍)			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				国籍 ＝ スペース:下記条件で移送 新戸籍欄 ≠ スペース:新戸籍欄 新戸籍欄 ＝ スペース:入るべき戸籍欄
	認知した子の戸籍(筆頭者)			新戸籍の筆頭者漢字氏名 入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	認知した子の国籍			出生子の国籍				出生子の国籍 ≠ スペースの時移送
	認知した子の生年月日			出生子の生年月日				
	認知した子の母の氏名			届書の母漢字氏名				

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 3月 1日	版	8
作業名	入力確認(出生届)								
処理名	5.1 身分事項(父・変動なし)62条								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		認知の方式							未使用
		裁判所							未使用
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送
	特記	特記事項							未使用

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 3月 1日	版	8
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	5.2 身分事項(父・変動なし)胎児認知						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	父個人番号				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	認知 認知日							未使用
	認知 届出日							未使用
	認知 届出の性質							未使用
								未使用
	認知 胎児認知日			胎児認知日				
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知した子の氏名(亡区分)							未使用
	認知 認知した子の氏名(氏名)			出生子の漢字氏名				項目がある場合移送
	認知 認知した子の死亡日							未使用
	認知 認知した子の戸籍(本籍)			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				国籍 ＝ スペース:下記条件で移送 新戸籍欄 ≠ スペース:新戸籍欄 新戸籍欄 ＝ スペース:入るべき戸籍欄
	認知 認知した子の戸籍(筆頭者)			新戸籍の筆頭者漢字氏名 入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	認知 認知した子の国籍			出生子の国籍				出生子の国籍 ≠ スペースの時移送
	認知 認知した子の生年月日			出生子の生年月日				

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 3月 1日	版	8
作業名	入力確認(出生届)								
処理名	5.2 身分事項(父・変動なし)胎児認知								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		認知した子の母の氏名			届書の母漢字氏名				
		認知の方式							未使用
		裁判所							未使用
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送
	特記	特記事項							未使用

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 3月 1日	版	8
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	6.1 身分事項(母・除籍)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	母個人番号				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0102を移送
	記録コード							0102を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	届出 届出日			受領日				届出人の資格名称 ＝ 船長:航海日誌謄本提出日に受領日を移送 届出人の資格名称 ≠ 船長:届出日に受領日を移送
	届出 航海日誌謄本提出日							
	除籍Ⅰ 除籍事由							届出人の資格名称 ＝ 船長:"子の出生の航海日誌謄本提出" 届出人の資格名称 ≠ 船長:"子の出生届出"
	送付 送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
	送付 受理者			発送元				項目がある場合移送
	入籍 入籍日							除籍では不使用
	入籍 入籍事由							除籍では不使用
	入籍 従前戸籍							除籍では不使用
	除籍Ⅱ 除籍日			処理日				項目がある場合移送
	除籍Ⅱ 新本籍			新戸籍の本籍				項目がある場合移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	6.2　身分事項(母・入籍)							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	母個人番号				必須移送項目
	行番号								
	出力区分								0(ZERO)を移送
	タイトルコード								0102を移送
	記録コード								0102を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				出生子の生年月日				
	届出	届出日							新戸籍編製では不使用
		航海日誌謄本提出日							新戸籍編製では不使用
	除籍Ⅰ	除籍事由							新戸籍編製では不使用
	送付	送付を受けた日							新戸籍編製では不使用
		受理者							新戸籍編製では不使用
	入籍	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日に入力がない時:送付日 送付日に入力がない時:受領日
		入籍事由							届出人の資格名称 ＝ 船長:"子の出生の航海日誌謄本提出" 届出人の資格名称 ≠ 船長:"子の出生届出"
		従前戸籍			入るべき戸籍の本籍 入るべき戸籍の筆頭者				項目がある場合移送
	除籍Ⅱ	除籍日							新戸籍編製では不使用
		新本籍							新戸籍編製では不使用

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成27年 3月 1日	版	18
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	7.1　個人特定(出生子･入籍)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日に入力がない時:送付日 送付日に入力がない時:受領日
	除籍日							
	性別			出生子の続柄コード		有		
	筆頭者区分							新戸籍の筆頭者漢字氏名 ≠ スペース　かつ　新戸籍の筆頭者漢字氏名 ＝ 出生子の氏名:1を移送 上記以外:0を移送
	配偶者区分							0を移送
	父			入るべき戸籍の父漢字氏名 届書の父漢字氏名	出生子の出生区分 ＝ 1　又は　2　又は 出生子の出生区分 ＝ 3　かつ　(裁判の区分 ＝ 4　又は 胎児認知日 ≠ スペース又は事実主義を含む出生)の時、 入るべき戸籍の父漢字氏名 ≠ スペース: 入るべき戸籍の父漢字氏名を移送 届書の父漢字氏名 ≠ スペース:届書の父漢字氏名を移送 ※父未定区分 ＝ 1　又は　2の場合:スペースを移送			
	母			入るべき戸籍の母漢字氏名 届書の母漢字氏名	入るべき戸籍の母漢字氏名 ≠ スペース: 入るべき戸籍の母氏名を移送 届書の母漢字氏名 ≠ スペース:届書の母氏名を移送			
	父母との続柄			出生子の続柄コード		有		
	養父							スペースを移送
	養母							スペースを移送
	養父母との続柄							00を移送
	生年月日			出生子の生年月日				
	前個人番号							スペースを移送
	個人除区分							0:在籍者を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.1 身分事項(出生子・入籍)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0101を移送
	記録コード							0101を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	出生 出生日			出生子の生年月日				必須移送項目
	出生 出生地			出生子の出生地				必須移送項目
	父母 父の国籍			届書の父本籍				編集仕様に関しては次の補足説明書を参照
	父母 父の生年月日			届書の父生年月日				
	父母 母の国籍			届書の母本籍				
	父母 母の生年月日			届書の母生年月日				
	届出 届出日			受領日		届出人の資格 ＝ 船長:航海日誌謄本提出日に受領日を移送 届出人の資格 ≠ 船長:届出日に受領日を移送		
	届出 航海日誌謄本提出日							
	届出 届出人資格			届出人の資格名称		資格名称 ＝ 父、母、父母、医師、助産師、同居者、親族の時移送 ※但し、法定代理人の場合は届出人資格名称を移送		
	届出 届出人氏名			届出人の氏名		資格名称 ＝ 父、母、父母、船長の場合、スペースを移送 資格 ＝ 市区町村長の場合、市区町村名 +「長」を移送 上記以外で届出人の氏名 ≠ スペースの場合移送		
	国籍留保 国籍留保の届出日			受領日		国外の国籍留保届出人資格 ≠ スペースの時移送		
	国籍留保 国籍留保届出人資格			国外の国籍留保届出人資格		国外の国籍留保届出人資格 ≠ スペース かつ 届出人の資格名称 ≠ 国外の国籍留保届出人資格(名称)の場合移送		
	送付 送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
	送付 受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可 許可日			許可日				項目がある場合移送

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(出生届)								
処理名	8.1 身分事項(出生子・入籍)								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	入籍日	入籍日			処理日				項目がある場合移送
		従前の本籍							入籍では不使用
		従前の筆頭者							
	特記	特記事項			裁判の確定日 裁判の対象父氏名 入るべき戸籍の本籍		項目がある場合以下の編集後移送 裁判の区分 ＝ 1:裁判確定日 + 裁判の対象父氏名 + ″の嫡出子否認の裁判確定″ 裁判の区分 ＝ 2:裁判確定日 + 裁判の対象父氏名 + ″との親子関係不存在確認の裁判確定″ 裁判の区分 ＝ 3:″父を″ + 裁判の対象父氏名 + ″と定める裁判確定″ 裁判の区分 ＝ 4:裁判確定日 + 入るべき戸籍の本籍 + 裁判の対象父氏名 + ″認知の裁判確定″		
					裁判の子の氏変更申出区分		裁判の子の氏変更申出区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 受領日 + ″母の氏を称する入籍届″		
					国内遅延理由区分		国内遅延理由区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 発送元 + ″からの届書送付未着につき再送付″		
					国外遅延理由区分		国外遅延理由区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 ″責めに帰することのできない事由のため期間経過″		
					大使館職員区分 国外の在外公館名称		項目がある場合以下の編集後移送 大使館職員区分 ＝ 1: ″父″ + 国外の在外公館名称 + ″職員″ 大使館職員区分 ＝ 2: ″母″ + 国外の在外公館名称 + ″職員″		
					出生子の漢字氏名		出生子の漢字氏名がない場合、″名未定″を移送		
					父未定区分		父未定区分 ＝ 1の場合、″父未定″を移送		

補足説明書	作成日付	平成18年 3月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	10
作業名	入力確認(出生届)					
処理名						

No	出生区分				父			母			胎児認知有	出生子日本人	出生子の身分事項	
	棄児	嫡出	準嫡	非嫡	日本	外国	無籍	日本	外国	無籍			父の国籍・生年月日	母の国籍・生年月日
1	○											○	×	×
2		○					○			○	−	○	○	○
3		○			No2以外							○	×	×
4			○		○			○				○	×	×
5			○		○			○			○	○	×	×
6			○		○				○			×		
7			○		○				○		○	○	×	×
8			○		○					○		×		
9			○		○					○	○	○	×	×
10			○			○		○				○	○	×
11			○			○		○			○	○	×	×
12			○			○			○			×		
13			○			○			○		○	×		
14			○			○				○		×		
15			○			○				○	○	×		
16			○				○	○				○	○	×
17			○				○	○			○	○	×	×
18			○				○		○			×		
19			○				○		○		○	×		
20			○				○			○		○	○	○
21			○				○			○	○	○	○	○
22				○				○				○	×	×
23				○					○			×		
24				○						○		○	×	○
25				○	○			○			○	○	×	×
26				○	○				○		○	○	×	○
27				○	○					○	○	○	×	○

<8.1子の入籍　出生事項中の父母国籍・生年月日記録仕様>

○出生区分 ＝ 嫡出子
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍:父母双方移送
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍以外:移送不要
○出生区分 ＝ 準正嫡出子
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍:父母双方移送
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍以外
　　胎児認知有:移送不要
　　胎児認知無:届書の父　又は　母の外国人区分 ＝ 1の場合、
　　外国人を移送
○出生区分 ＝ 非嫡出子
　届書の父　又は　母の外国人区分 ＝ 1の場合、外国人を移送

補足説明書				作成日付	平成18年 3月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	10
作業名	入力確認(出生届)								
処理名									

No	出生区分				父			母			胎児認知有	出生子日本人	出生子の身分事項	
	棄児	嫡出	準嫡	非嫡	日本	外国	無籍	日本	外国	無籍			父の国籍・生年月日	母の国籍・生年月日
28				○		○		○			○	○	○	×
29				○		○			○		○	×		
30				○		○				○	○	×		
31				○			○	○			○	○	○	×
32				○			○		○		○	×		
33				○			○			○	○	○	○	○
34				○		○		○				○	○	×
35				○		○			○			×		
36				○		○				○		×		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.2　身分事項(出生子･一部記録)親権							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号								
	出力区分								0(ZERO)を移送
	タイトルコード								1301を移送
	記録コード								1301を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				出生子の生年月日				
	親権者	資格							002を移送
		資格名称							″母″を移送
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.2　身分事項(出生子・入籍)棄児							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号								
	出力区分								0(ZERO)を移送
	タイトルコード								0101を移送
	記録コード								0101を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				出生子の生年月日				
	出生	出生日			出生子の生年月日				
		出生地							
	父母	父の国籍							
		父の生年月日							
		母の国籍							
		母の生年月日							
	届出	届出日			受領日				
		航海日誌謄本提出日							
		届出人資格							
		届出人氏名							市区町村名 +「長」を移送
	国籍留保	国籍留保の届出日							
		国籍留保届出人資格							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
	入籍	入籍日			処理日				項目がある場合移送
		従前の本籍							
		従前の筆頭者							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.4 身分事項(出生子･一部記録)胎児認知							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0201を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			胎児認知日				
	認知 認知日							未使用
	認知 胎児認知日			胎児認知日				項目がある場合移送
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 親子関係不存在確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知者氏名(亡区分)							未使用
	認知 認知者氏名(氏名)			入るべき戸籍の父漢字氏名 届書の父漢字氏名		届書の父漢字氏名 ＝ スペース:入るべき戸籍の父漢字氏名 届書の父漢字氏名 ≠ スペース:届書の父漢字氏名		
	認知 認知者死亡日							未使用
	認知 認知者の戸籍(本籍)			入るべき戸籍の父本籍 届書の父本籍		届書の父外国人区分 ＝ 0の時編集 届書の父本籍 ＝ スペース:入るべき戸籍の父本籍 届書の父本籍 ≠ スペース:届書の父本籍		
	認知 認知者の戸籍(筆頭者)							
	認知 認知者の国籍			届書の父本籍				届書の父外国人区分 ＝ 1の時編集
	認知 認知者の生年月日							
	認知 認知の方式							未使用
	認知 裁判所							未使用

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	8.4 身分事項(出生子･一部記録)胎児認知							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日							未使用
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	入籍	入籍日							未使用

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(出生届)								
処理名	8.4 身分事項(出生子･一部記録)胎児認知								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	直系卑属	直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属民名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
	関連	関連訂正事項							未使用
	従前の記録	従前の記録							未使用
		父母との続柄							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合、移送
	特記	特記事項							未使用

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	9.1 9条2項(出生子) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 出生子	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			出生子の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							01(出生届)
	受理日			送付日 又は 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			出生子の漢字氏名				
	旧氏名							
	新生年月日			出生子の生年月日				
	旧生年月日							
	新父母との続柄			出生子の続柄コード				
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新戸籍の本籍コード 入るべき戸籍の本籍コード				新戸籍の本籍コード ＝ スペース: 入るべき戸籍の本籍コード 新戸籍の本籍コード ≠ スペース: 新戸籍の本籍コード
	新本籍			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				新戸籍の本籍 ＝ スペース: 入るべき戸籍の本籍 新戸籍の本籍 ≠ スペース: 新戸籍の本籍
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者氏名 入るべき戸籍の筆頭者氏名				新戸籍の筆頭者氏名 ＝ スペース: 入るべき戸籍の筆頭者氏名 新戸籍の筆頭者氏名 ≠ スペース: 新戸籍の筆頭者氏名
	旧筆頭者							
	住所コード			出生子の住所コード				
	住所			出生子の住所				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	9.1　9条2項(出生子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	方書			出生子の住所				
	住定日			出生子の生年月日				
	住民日			出生子の生年月日				
	世帯主			出生子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄			出生子の世帯主との続柄コード		有		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(出生届)							
処理名	9.2　9条2項(母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 母	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							
	宛名							
	事件コード							01(出生届)
	受理日			送付日 又は 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			母個人番号				本籍人の場合移送
	新氏名							
	旧氏名			母の氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新戸籍の本籍コード				
	新本籍			新戸籍の本籍				
	旧本籍コード			入るべき戸籍の本籍コード				
	旧本籍			入るべき戸籍の本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者氏名				
	旧筆頭者			入るべき戸籍の筆頭者氏名				
	住所コード							注意:新戸籍が編製された場合、届書入力には住所入力欄がないため、処分決定後、別途、9条2項ファイルを修正する必要がある。
	住所							
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

補足説明書		作成日付	平成 5年12月18日	改訂日付	平成14年 3月 1日	版	5.1
作業名	入力確認(出生届)						
処理名	届出人コード一覧						

届出事件細別	届出義務者・届出人	届書入力				受付帳			身分事項DB		項目化記載例	備考
		資格区分		実体名	氏名	資格	資格名称	氏名	資格名称	氏名		
嫡出子出生届	父、母、同居者又は出産に立ち会った医師、助産師若しくはその他の者又は父母以外の法定代理人	001	父	×	○	○	父	○	父	―	【届出人】父	
		002	母	×	○	○	母	○	母	―	【届出人】母	
		005	父母	×	×	○	父母	○	父母	―	【届出人】父母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】後見人 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	―	○	―	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
準正嫡出子出生届	父及び母又は父のみ	001	父	×	○	○	父	○	父	―	【届出人】父	
		005	父母	×	×	○	父母	○	父母	―	【届出人】父母	
	胎児認知又は強制認知があり、認知者が母の夫である場合に有効	002	母	×	○	○	母	○	母	―	【届出人】母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】母の親権者 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	―	○	―	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
非嫡出子出生届(胎児認知含む)	母、同居者又は出産に立ち会った医師、助産師若しくはその他の者又は母以外の法定代理人	002	母	×	○	○	母	○	母	―	【届出人】母	
		077	法定代理人	○	○	○	実体名	○	実体名	○	【届出人】後見人 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	―	○	―	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
航海中の出生につき航海日誌の謄本送付	船長	092	船長	×	○	○	船長	○	―	×	【航海日誌の謄本提出日】［受領日］	

補足説明書	作成日付	平成 5年12月18日	改訂日付	平成14年 3月 1日	版	5.1
作業名	入力確認(出生届)					
処理名	届出人コード一覧					

届出事件細別	届出義務者・届出人	届書入力				受付帳			身分事項DB		項目化記載例	備考
		資格区分		実体名	氏名	資格	資格名称	氏名	資格名称	氏名		
病院、刑務所その他公設所において出生した場合	父母ともに届出不能の時は公設所の長又は管理人	093	公設所の長	○	○	○	実体名	○	－	○	【届出人】 ［氏名］	
棄児発見の申出	発見者又は発見の申告を受けた警察官	097	市区町村長	△	×	×	－	×	実体名	×	【届出人】 ［市区町村］+長	届書入力、実体名はメーカーオプション

※届書入力での実体名入力例 ()内は画面上の名称

資格コード(資格)	→	097	:操作員入力
資格コードの名称(-)	→	市区町村長	:システム対応
実体名(資格名称)	→	△△△県□□□市	:操作員入力
氏名(氏名)	→	－－－－	:未入力

第7.2.(5)「異動」処理

2.認知届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	116	「認知届」	審査3.2（15-3） 「2004年4月2日(17歳)≦被認知者の生年月日≦2006年4月1日(16歳)」に修正。
2		115		条文等の見直しによる修正
3		117		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	認知届					

1.認知業務処理範囲外の処理

(1)胎児認知の記録

(2)遺言による認知の記録

(3)認知者の死後に確定した認知の記録

(4)死亡した子に対する認知の記録

(5)父が生存中に郵送した認知届を父の本籍地で父死亡後に受理した場合の記録

(6)戸籍法63条の類推適用による届出(事実主義を採っている父の本国法に基づく父子関係存在確認の裁判が確定した場合)の記録

(7)性同一性障害による性別変更者からの認知の記録

2.認知届入力画面の意義

(1)その1画面:認知される子及び認知する者の入力

(2)その2画面:認知される子の母及び認知の方法等の入力

(3)その3画面:届出人等の入力

3.その他

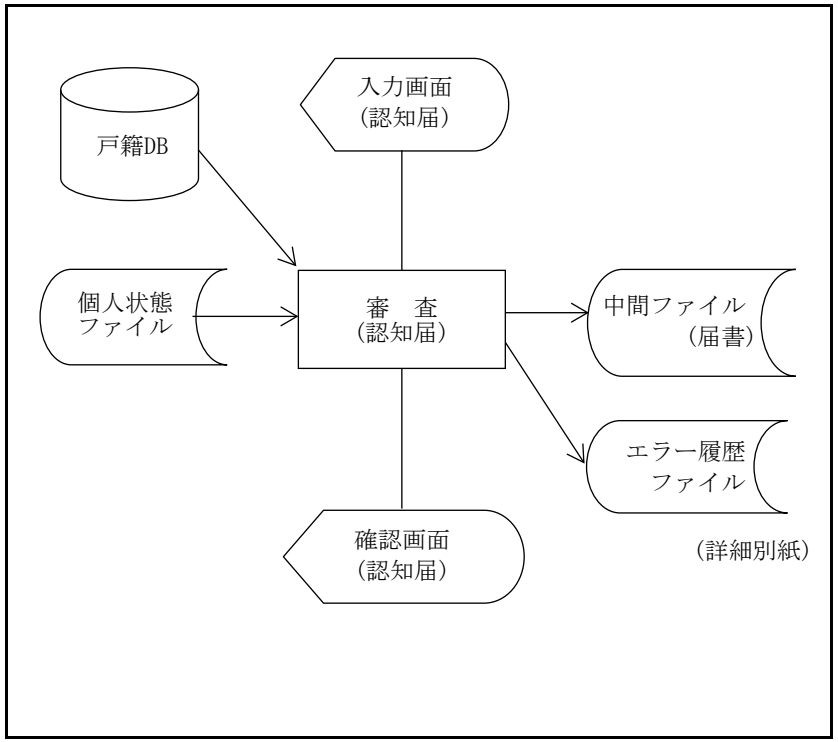
(1)成年(成年擬制も含む)の被認知者が成年被後見人の場合は、成年後見人の承諾が必要となる。
(但し、成年後見人が認知者の場合は、成年後見監督人か特別代理人の承諾が必要)

(2)日本人子・外国人認知者双方に日本民法上の認知の要件が備わっていない場合において、認知をする者の本国法により認知することができる旨の
証明書を添付した認知の届出があったときは、通則法第42条(公序)の規定の適用が問題となるので、管轄局の長の指示を求めるものとする。

(3)届出人となる母、養父、養母が外国人で親権規定がない場合は、審査結果入力で処理する。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(認知届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)認知届の内容を入力する
(2)認知届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)認知届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)認知届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(認知届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査
  - 3.2 審査
  - 3.3 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(認知届)

処理名	0.0　本紙							備考
(1)届書内容を画面入力する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)						/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する					
	NO							
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(認知届)を編集する					(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する						
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(認知届)を編集する					(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する						
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する							
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							

データチェック(単体表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(認知届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表	入力画面(認知届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	報告区分	○	数字	(1:創設、2:報告)であること			
11	被認知者の区分	○	数字	(1:胎児、2:未成年、3:成年)であること			
12	被認知者の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
13	被認知者の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
14	被認知者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	被認知者の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
16	被認知者のカナ氏名		カナ				
17	被認知者の漢字氏名		漢字				
18	被認知者の住所		漢字				
19	被認知者の世帯主		漢字				
20	被認知者の本籍地		漢字				
21	被認知者の筆頭者		漢字				
22	被認知者の準正による訂正後の続柄		数字	(11:長男～29:十九男　又は　31:長女～49:十九女)であること			
23	認知者の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
24	認知者の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
25	認知者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(認知届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(認知届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	認知者の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
27	認知者のカナ氏名	○	カナ				
28	認知者の漢字氏名	○	漢字				
29	認知者の本籍地	○	漢字				
30	認知者の筆頭者		漢字				
31	母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
32	母の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
33	母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	母のカナ氏名		カナ				
35	母の漢字氏名		漢字				
36	母の本籍地		漢字				
37	母の筆頭者		漢字				
38	母の住所地		漢字				
39	認知者との婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
40	認知種別	○	数字	(1:任意、2:裁判)であること			
41	審査の準拠法		数字	(0:日本法、1:外国法(認知者)、2:外国法(子又は母))であること			
42	認知成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
43	認知の方式		漢字				
44	裁判成立地		数字	(0:日本、1:外国)であること			
45	審判/判決確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	裁判訴提起者		漢字				
47	外国の裁判所名		漢字				
48	認知を承諾した者		数字	(0:無、1:胎児の母、2:成年者、3:その他)であること			

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(認知届)								
処理名				画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表				入力画面(認知届)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
49	届出人資格1	○	数字	(1:父、17:親権者母、19:親権者養父、20:親権者養母、99:その他、105:子)であること					
50	届出人資格1名称		漢字						
51	届出人氏名1		漢字						
52	届出人資格2		数字	(17:親権者母、19:親権者養父、20:親権者養母、99:その他)であること					
53	届出人資格2名称		漢字						
54	届出人氏名2		漢字						

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(認知届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(認知届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.5)発送元＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースであること			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日＝スペースの時、(No.6)在外送付区分＝0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元≠スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分＝1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元≠スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分＝2(在外公館の直接送付)　又は (No.6)在外送付区分＝3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日>(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.4)送付日＝スペースであること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
11	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時、 (No.12)被認知者の外国人区分～(No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄は、未入力であること			
12	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)～3(成年)の時、 (No.12)被認知者の外国人区分～(No.17)被認知者の漢字氏名および (No.20)被認知者の本籍地は、必須入力であること			
13	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日<2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日+20年(20歳未満)＞受領日であること			R2.1(認知111)
13-0-1	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日≧2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋18年(18歳未満)＞受領日であること			R2.1(認知111)
13-1	(No.11)被認知者の区分＝3(成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日<2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日であること			R2.1(認知111)
13-1-1	(No.11)被認知者の区分＝3(成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日≧2022年4月1日　かつ　(2004年4月2日>(No.14)被認知者の生年月日　又は 2006年4月1日<(No.14)被認知者の生年月日)の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋18年(18歳以上)≦受領日であること			R2.1(認知111)

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(認知届)					

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
13-1-2	(No.11)被認知者の区分＝3(成年)　かつ　(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)　かつ (No.3)受領日≧2022年4月1日　かつ (2004年4月2日≦(No.14)被認知者の生年月日≦2006年4月1日)の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋16年(16歳以上)≦受領日であること			R2.1(認知111)
14	(No.12)被認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、 (No.13)被認知者の本非区分＝2(非本籍)であること			
15	(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.14)被認知者の生年月日＝和暦であること			
16	(No.12)被認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.14)被認知者の生年月日＝西暦であること			
17	(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝本籍であること			
18	(No.12)被認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝国籍であること			
19	(No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.21)被認知者の筆頭者は必須入力であること			
20	(No.12)被認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.21)被認知者の筆頭者は未入力であること			
21	(No.13)被認知者の本非区分＝1(本籍)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝管内であること			
22	(No.13)被認知者の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.20)被認知者の本籍地＝管外であること			
23	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)、3(成年)で、 (No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄に入力がある時、 (No.39)母の認知者との婚姻日は、入力必須であること			
23-1	(No.18)被認知者の住所≠スペースの時、(No.19)被認知者の世帯主≠スペースであること			
23-2	(No.18)被認知者の住所＝スペースの時、(No.19)被認知者の世帯主＝スペースであること			
23-1-1	(No.11)被認知者の区分＝2(未成年)～3(成年)　かつ (No.12)被認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、 (No.17)被認知者の漢字氏名の氏＝(No.21)被認知者の筆頭者の氏であること			
25	(No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄に入力がある時、 (訂正前の父母との続柄＝10(男)～29(十九男))ならば (No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄＝11(長男)～29(十九男)であること			※被認知者が本籍人の時、チェックする
26	(No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄に入力がある時、 (訂正前の父母との続柄＝30(女)～49(十九女))ならば (No.22)被認知者の準正による訂正後の続柄＝31(長女)～49(十九女)であること			
27	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)であること			
28	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.25)認知者の生年月日＝和暦であること			
29	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.25)認知者の生年月日＝西暦であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
30	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.29)認知者の本籍地＝本籍であること			
31	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.29)認知者の本籍地＝国籍であること			
32	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.30)認知者の筆頭者は入力必須であること			
33	(No.23)認知者の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.30)認知者の筆頭者は未入力であること			
34	(No.24)認知者の本非区分＝1(本籍)の時、(No.29)認知者の本籍地＝管内であること			
35	(No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.29)認知者の本籍地＝管外であること			
35-1	(No.23)認知者の外国人区分＝0(日本人)の時、 (No.28)認知者の漢字氏名の氏＝(No.30)認知者の筆頭者の氏であること			
36	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.32)母の本非区分＝2(非本籍)であること			
37	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.33)母の生年月日＝和暦であること			
38	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.33)母の生年月日＝西暦であること			
39	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.36)母の本籍地＝本籍であること			
40	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.36)母の本籍地＝国籍であること			
41	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、(No.37)母の筆頭者は入力必須であること			
42	(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、(No.37)母の筆頭者は未入力であること			
43	(No.32)母の本非区分＝1(本籍)の時、(No.36)母の本籍地＝管内であること			
44	(No.32)母の本非区分＝2(非本籍)の時、(No.36)母の本籍地＝管外であること			
44-1	(No.31)母の外国人区分＝0(日本人)の時、 (No.35)母の漢字氏名の氏＝(No.37)母の筆頭者の氏			
45	(No.40)認知種別＝1(任意)で、(No.42)認知成立日＝0(日本の方式)の時、 (No.10)報告区分＝1(創設)であること			
46	(No.40)認知種別＝1(任意)で、(No.42)認知成立日≠0(外国の方式)の時、 (No.10)報告区分＝2(報告)であること			
47	(No.40)認知種別＝2(裁判)の時、(No.10)報告区分＝2(報告)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(認知届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(認知届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
48	(No.40)認知種別＝2(裁判)の時、 (No.45)審判/判決確定日、(No.46)裁判訴提起者は必須入力であること			
48-1	(No.45)審判/判決確定日≠スペースの場合、 (No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.45)審判/判決確定日であり、 (No.9)郵送日＝スペースの時、(No.3)受領日≧(No.45)審判/判決確定日であること			
49	(No.42)認知成立日≠0(外国の方式)の時、(No.40)認知種別＝1(任意)であること			
50	(No.42)認知成立日≠0(外国の方式)の時、(No.43)認知の方式は必須入力であること			
51	(No.42)認知成立日≠0(外国の方式)の場合、 (No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≧(No.42)認知成立日であり、 (No.9)郵送日＝スペースの時、(No.3)受領日≧(No.42)認知成立日であること			
52	(No.44)裁判成立地＝1(外国で成立)の時、(No.40)認知種別＝2(裁判)であること			
53	(No.44)裁判成立地＝1(外国で成立)の時、(No.47)外国の裁判所名は必須入力であること			
54	(No.44)裁判成立地＝0(日本で成立)の時、(No.47)外国の裁判所名は未入力であること			
55	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時、 (No.48)認知を承諾した者＝0(無)、1(胎児の母)であること			
56	(No.11)被認知者の区分＝3(成年)の時、 (No.48)認知を承諾した者＝0(無)、2(成年)、3(その他)であること			
57	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)　かつ　(No.31)母の外国人区分＝1(外国人)の時、 (No.38)母の住所地は必須入力であること			
58	(No.49)届出人資格1≠99の時、 (No.50)届出人資格1名称＝スペースであること			
59	(No.49)届出人資格1＝1(父)　かつ　(No.51)届出人氏名1≠スペースの時、 (No.51)届出人氏名1＝(No.28)認知者の漢字氏名であること			
60	(No.49)届出人資格1＝17(親権者母)　かつ　(No.35)母の漢字氏名≠スペース　かつ (No.51)届出人氏名1≠スペースの時、 (No.51)届出人氏名1＝(No.35)母の漢字氏名であること			
61	(No.49)届出人資格1＝99(その他)の時、(No.50)届出人資格1名称＝必須入力であること			
62	(No.49)届出人資格1≠1、17(父、親権者母)の時、(No.51)届出人氏名1＝必須入力であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
62-1	(No.49)届出人資格1＝17(親権者母)　かつ　(No.35)母の漢字氏名＝スペースの時、 (No.51)届出人氏名1＝必須入力であること			
63	(No.40)認知種別＝1(任意)の時、 (No.52)届出人資格2、(No.53)届出人資格2名称、(No.54)届出人氏名2＝未入力であること			
64	(No.52)届出人資格2＝99(その他)の時、(No.53)届出人資格2名称＝必須入力であること			
64-1	(No.52)届出人資格2≠スペース、17(未入力、親権者母)の時、 (No.54)届出人氏名2＝必須入力であること			
64-2	(No.52)届出人資格2＝17(親権者母)　かつ　(No.35)母の漢字氏名＝スペースの時、 (No.54)届出人氏名2＝必須入力であること			
64-3	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時　又は (No.11)被認知者の区分＝2、3(未成年、成年)　かつ　(No.12)被認知者の外人区分＝1(外国人)の時、 (No.31)母の外国人区分～(No.36)母の本籍地は必須入力あること			
65	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時、 (No.24)認知者の本非区分＝1(本籍)　又は　(No.32)母の本非区分＝1(本籍)ならば (No.8)本非区分＝1(本籍)であること			
66	(No.11)被認知者の区分＝1(胎児)の時、 (No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)　かつ　(No32)母の本非区分＝2(非本籍)ならば (No.8)本非区分＝2(非本籍)であること			
67	(No.11)被認知者の区分＝2、3(未成年、成年)の時、 (No.13)被認知者の本非区分＝1(本籍)　又は(No.24)認知者の本非区分＝1(本籍)ならば (No.8)本非区分＝1(本籍)であること			
68	(No.11)被認知者の区分＝2、3(未成年、成年)の時、 (No.13)被認知者の本非区分＝2(非本籍)　かつ　(No.24)認知者の本非区分＝2(非本籍)ならば (No.8)本非区分＝2(非本籍)であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(認知届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0-1)受領日=送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/		R2.1(認知114)
	NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			/		R2.1(認知114)
(0-7)(被認知者の外国人区分=0:日本人 かつ 被認知者の漢字氏名の名が未入力) 又は (認知者の外国人区分=0:日本人 かつ 認知者の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)				/		R2.1(認知114)
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示する				(0-9)本紙へ	R2.1(認知114)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-12)本紙へ	不受理 R2.1(認知114)
	NO	(0-11)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(認知114)
NO	(0-13)→(1)へ			/		R2.1(認知114)
(1)審判/判決確定日≠スペースである。(YES,NO)				/		
YES	(2)審判/判決確定日<昭和25年7月1日である(YES,NO)			/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(4)本紙へ	
	NO	(5)審判/判決確定日<昭和27年4月28日である(YES,NO)		/		
		YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約の発効に該当する国ですか?」を表示する		(7)本紙へ	
			YES (8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			
			NO (9)→(19)へ	/		
		NO				
NO	(10)認知成立日≠スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(11)認知成立日<昭和25年7月1日である(YES,NO)		/		
		YES	(12)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(13)本紙へ	
		NO	(14)認知成立日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		

現行国籍法施行(昭和25年7月1日)以前の有効な身分行為に関しては、現行法では処理できない。
但し、現行法施行以降でも対日平和条約発効(昭和27年4月28日)以前で、平和条約を締結している国に関しても同様に現行法では処理できない。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(認知届)
処理名	3.0 審査

								備考
			YES	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約の発効に該当する国ですか?」を表示		(16)本紙へ		
			YES	(17)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				
			NO	(18)→(19)へ	/			
		NO						
	NO							
(19)認知者の生死区分(0:生存、1:死亡)					/			
0	(20)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)				/			
	1	(21)→(26-1)へ			/			R2.1
	2,3	(22)被認知者の生死区分(0:生存、1:死亡)			/			
		0	(23)→(26-1)へ		/			R2.1
		1	(24)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(25)本紙へ		
1	(26)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する							
(26-1)認知者の本籍地=管内(YES,NO)					/			
YES	(26-2)認知者の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)				/			平成15年法律第111号3条
	YES	(26-3)エラーメッセージ 「性同一性障害の記録があります。審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(26-4)本紙へ		
	NO	(26-5)→(26-6)へ			/			R2.1(認知112)
NO								
(26-6)在外送付区分=2(在外公館の直接送付)　又は　3(在外公館の国内経由)(YES,NO)					/			R2.1(認知112)
YES	(26-7)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)				/			R2.1(認知112)
	1	(26-8)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/			R2.1(認知112)
		0	(26-9)→(27)へ		/			R2.1(認知112)
		1	(26-10)エラーメッセージ 「在外公館から送付された胎児認知届は審査結果入力で処理して下さい。」 を表示する			(26-11)本紙へ		R2.1(認知112)
	2,3	(26-12)→(27)へ			/			R2.1(認知112)
NO								R2.1(認知112)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(認知届)
処理名	3.0 審査

								備考
(27)認知種別(1:任意、2:裁判)						/		
1	(28)外国の方式により成立した届出(戸籍法41条)であるか					/		
	YES	(29)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により認知が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」を表示する					(30)本紙へ	
		YES	(31)→(34)へ			/		
								R2.1(認知112) (31-1)～(31-7)を削除
		NO	(32)→				(33)本紙へ	不受理 R2.1(認知112)
		(34)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/		
		0	(35)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)			/		
			1	(36)子の母の外国人区分(0:日本人、1:外国人)		/		
				0	(37)→(63)へ	/		
				1	(38)確認メッセージ(YES,NO) 「母の国籍証明書の添付がありますか?」を表示する		(39)本紙へ	
					YES (40)→(63)へ	/		
					NO (41)→		(42)本紙へ	不受理
			2,3	(43)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)		/		
				0	(44)→(63)へ	/		
				1	(45)確認メッセージ(YES,NO) 「子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか?」を表示する		(46)本紙へ	
					YES (47)→(63)へ	/		
					NO (48)→		(49)本紙へ	不受理
		1	(50)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の国籍証明書の添付がありますか?」を表示する					
			YES	(51)→(54)		/		
			NO	(52)→			(53)本紙へ	不受理
			(54)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年〉			/		
			1	(55)子の母の外国入区分(0:日本人、1:外国人)		/		
				0	(56)→(63)	/		
				1	(57)エラーメッセージ 「外国人同士の証書提出は受理できません。」を表示する		(58〉本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(認知届)

処理名	3.0 審査				備考
	2,3	(59)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
	0	(60)→(63)	/		
	1	(61)エラーメッセージ 「外国人同士の証書提出は受理できません。」を表示する		(62) 本紙へ	不受理
		(63)確認メッセージ(YES,NO) 「証書の謄本が認知を証明するものかどうか審査は済みましたか?」を表示する			
	YES	(64)→			受理
	NO	(65)→			不受理
NO		(66)3.1審査へ進む [3.1]	/		
		(67)→		(68)本紙へ	
2		(69)被認知者区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)	/		
1		(70)エラーメッセージ 「強制認知による胎児認知はできません。」を表示する		(71)本紙へ	不受理、昭和25.1.7民事甲22号回答
2,3		(72)確認メッセージ(YES,NO) 「審判又は判決の謄本及び確定証明書の添付がありますか?」を表示する			戸63
	YES	(73)→(76)	/		
	NO	(74)→		(75)本紙へ	不受理
		(76)裁判成立地(日本、外国)	/		
	日本	(77)審判/判決確定日より10日以内の届出であるか	/		戸63
	YES	(78)届出人は裁判の申立人であるか(YES,NO)	/		戸63
	YES	(79)→		(80)本紙へ	受理
	NO	(81)エラーメッセージ 「裁判確定日より10日以内に届け出られるのは申立人のみです。」 を表示する			不受理
	NO	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は裁判の申立人もしくは裁判の相手方ですか?」を表示する		(82-1)本紙へ	戸63Ⅱ
	YES	(83)→			受理
	NO	(84)→			不受理
	外国	(85)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
	0	(86)→(91)	/		
	1	(87)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年 3月31日	版	R2.1
作業名				審査(認知届)					
処理名				3.0 審査				備考	
				0	(88)→(91)	/			
				1	(89)エラーメッセージ 「外国で成立した外国人同士の裁判認知届は受理できません。」 を表示する		(90)本紙へ	不受理	
				(91)確認メッセージ(YES,NO) 「民事訴訟法118条の要件を満たし判決は承認されますか?」を表示する					
				YES	(92)→			民訴118 受理	
				NO	(93)→			不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	3.1 審査			備考
(1)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)		/		
0	(2)→(15)	/		(3)～(9)削除
1	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の国籍証明書の添付がありますか」を表示する		(11)3.0審査へ	
YES	(12)→(15)	/		
NO	(13)→		(14)3.0審査へ	不受理
(15)被認知者区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)		/		
1	(16)子の母の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(17)子の母の本非区分(1:本籍、2:非本籍)	/		戸61
1	(18)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(19)審査の準拠法(0:日本法)	/		
0	(20)→(31)	/		
その他	(21)エラーメッセージ 「準拠法が異なります」を表示する		(22)3.0審査へ	
1	(23)審査の準拠法(0:日本法、1:外国法(認知者の本国法))	/		
0	(24)→(31)	/		
1	(25)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の本国法により認知できる旨の証明書はありますか」を表示する		(26)3.0審査へ	
YES	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示する			
YES	(28)→			受理
NO	(29)→			不受理
NO	(30)→			不受理
(31)母は現在婚姻していますか		/		
YES	(32)確認メッセージ(YES,NO) 「配偶者からの認知ではなく、婚姻成立後200日を経過していないですね」を表示する		(33)3.0審査へ	民772 民779
YES	(34)→(41)	/		
NO	(35)→		(36)3.0審査へ	不受理
NO	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者と胎児の母との婚姻解消後300日以内の届出ではありませんね」を表示する			民779
YES	(38)→(41)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	3.1 審査			備考
	NO (39)→		(40)3.0審査へ	不受理
	(41)既に胎児認知届が出されているか	/		大正5.11.2 民事 1331号回答
	YES (42)エラーメッセージ 「既に胎児認知届がだされています」を表示する		(43)3.0審査へ	不受理
	NO (44)→(87)	/		
2	(45)母は無籍者であるか	/		
	YES (46)エラーメッセージ 「母は無籍者です。受理照会となります」を表示する		(47)3.0審査へ	受理照会
	NO (48)エラーメッセージ 「胎児認知届は母の本籍地に届け出て下さい」を表示する			不受理
1	(49)確認メッセージ(YES,NO) 「母の国籍証明書の添付がありますか」を表示する			
	YES (50)→(53)	/		
	NO (51)→		(52)3.0審査へ	不受理
	(53)認知者の外国入区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(54)母の住所地(管内、管外、国外)	/		昭和29.3.6 民事甲 509号回答
	管内 (55)→(63)	/		
	管外 (56)エラーメッセージ 「胎児認知届は母の住所地に届け出て下さい」を表示する		(57)3.0審査へ	不受理
	国外 (58)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の本籍地又は届出人の所在地ですか」を表示する		(59)3.0審査へ	
	YES (60)→(63)	/		
	NO (61)→		(62)3.0審査へ	受理照会
	(63)審査の準拠法(0:日本法、2:外国法(子 又は 母の本国法))	/		
	0 (64)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示する		(65)3.0審査へ	
	YES (66)→(87)	/		
	NO (67)→		(68)3.0審査へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	3.1 審査			備考
	2 (69)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示する			
	YES (70) →			受理
	NO (71) →			不受理
	1 (72)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人の所在地での届出ですか」を表示する			
	YES (73)→(76)	/		
	NO (74)→		(75)3.0審査へ	
	(76)審査の準拠法(1:外国法(認知者の本国法)、2:外国法(子又は母の本国法))	/		
	1 (77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」 を表示する		(78)3.0審査へ	
	YES (79)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」 を表示する			
	YES (80)→			受理
	NO (81)→			不受理
	NO (82)→		(83)3.0審査へ	不受理
	2 (84)確認メッセージ(YSE、NO) 「母の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示する			
	YES (85)→			受理
	NO (86)→			不受理
	(87)認知者の生年月日 + 12年(12歳以上) ≦ 受領日か	/		昭和39.7.8～9 釧路地方法務局管内戸住協決 昭和40.3.6 民事(2)発第87号民事局変更指示 昭和39.9.16～17 香川県連合戸住協決 昭和40.4.14 民事(2)発第146号民事局変更指示
	YES (88)→(94)	/		
	NO (89)確認メッセージ(YSE、NO) 「認知者の生年月日は正しいですか」を表示する		(90)3.0審査へ	
	YES (91)→(94)	/		
	NO (92)→		(93)3.0審査へ	
	(94)3.2 審査へ進行 [3.2]	/		
	(95)審査の結果、確認･エラーメッセージがない(YSE、NO)	/		
	YES (96)→(166)	/		
	NO (97)→		(98)3.0審査へ	
2,3	(99)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	3.1 審査			備考
0	(100)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(101)審査の準拠法(0:日本法)	/		
0	(102) → (118)	/		
その他	(103)エラーメッセージ 「準拠法が異なります」を表示する		(104)3.0審査へ	
1	(105)在外送付区分は、2(在外公館の直接送付)であるか(YSE、NO)	/		戸40、通則法29Ⅰ・Ⅱ、34
YES	(106)エラーメッセージ 「送付分の届書としては処理できません」を表示する		(107)3.0審査へ	
NO	(108)→(109)	/		
	(109)審査の準拠法(0:日本法、1:外国法(認知者の本国法))	/		
0	(110) → (118)	/		
1	(111)確認メッセージ(YSE、NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」 を表示する		(112)3.0審査へ	
YES	(113)確認メッセージ(YES,NO) 「日本法上の子の保護要件の審査は済みましたか」を表示する		(114)3.0審査へ	
YES	(115)→			受理
NO	(116)→			不受理
NO	(117)→			不受理
	(118)3.3 審査へ進む [3.3]	/		
	(119)審査結果、確認･エラーメッセージがない(YES,NO)	/		
YES	(120) → (149)	/		
NO	(121) →		(122)3.0審査へ	
1	(123)確認メッセージ(YES,NO) 「子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか」を表示する			
YES	(124)→(127)	/		
NO	(125)→		(126)3.0審査へ	
	(127)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(128)審査の準拠法(0:日本法、2:外国法(子の本国法))	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名				3.1 審査			備考
		0		(129)確認メッセージ(YES,NO) 「子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」 を表示する		(130)3.0審査へ	
			YES	(131)確認メッセージ(YES,NO) 「嫡出子・特別養子・既に認知されている子では、ありませんか」 を表示する			
				YES (132)→(149)	/		
				NO (133)→		(134)3.0審査へ	不受理
			NO	(135)→			不受理
		2		(136)確認メッセージ(YES,NO) 「子の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示する			
			YES	(137)→		(138)3.0審査へ	受理
			NO	(139)→			不受理
		1		(140)審査の準拠法(1:外国法(認知者の本国法)、2:外国法(子又は母の本国法))	/		
		1		(141)確認メッセージ(YSE、NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」 を表示する		(142)3.0審査へ	
			YES	(143)確認メッセージ(YSE、NO) 「子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」 を表示する			
				YES (144)→			受理
				NO (145)→			不受理
			NO	(145-1)→			不受理
		2		(146)確認メッセージ(YSE、NO) 「子の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示する			
			YES	(147)→			受理
			NO	(148)→			不受理
	(149)認知者と母との婚姻日 ≠ スペースであるか(YSE、NO)				/		
	YES	(150)被認知者は認知者と母の婚姻200日以内の出生子であるか(YSE、NO)			/		昭和34.8.28 民事甲 1827号通達
		YES	(151)エラーメッセージ 「父母婚姻200日以内の子の認知は嫡出子としての戸籍訂正となります」を表示する			(152)3.0審査へ	
		NO	(153) → (154)		/		
	NO						
	(154)認知者の生年月日 + 12年(12歳以上) ≦ 被認知者の生年月日か(YSE、NO)				/		昭和39.7.8～9 釧路地方法務局管内戸住協決 昭和40.3.6 民事(2)発第87号民事局変更指示 昭和39.9.16～17 香川県連合戸住協決
	YES	(155)→(161)			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名	3.1　審査			備考
NO	(156)確認メッセージ(YSE、NO) 「認知者及び子の生年月日は正しいですか」を表示する		(157)3.0審査へ	昭和40.4.14　民事(2)発第146号民事局変更指示
YES	(158)→(161)	/		
NO	(159)→		(160)3.0審査へ	
(161)3.2　審査へ進む　[3.2]		/		
(162)審査結果、確認･エラーメッセージがない(YES,NO)		/		
YES	(163)→(166)	/		
NO	(164)→		(165)3.0審査へ	
(166)届出人は認知者本人であるか(YES,NO)		/		
YES	(167)→(172)	/	(168)	(168)を削除
NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は、認知者でありがせんがよろしいですか」を表示する		(169-1)3.0審査へ	
YES	(170)→			受理
NO	(171)→			不受理
(172)認知者の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)		/		
YES	(173)メッセージ 「届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。」を表示する			受理照会 昭和49.7.25～26　徳島地方法務局管内連合戸協決議
NO	(174)→		(175)3.0審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)
処理名	3.2 審査

							備考
(1)被認知者の区分(1:胎児、2:未成年、3:成年)					/		
1							(2)～(10)削除
(11)認知の承諾者(0:無、1:胎児の母)					/		
0	(12)エラーメッセージ 「母の承諾がなければ胎児認知できません。」を表示する					(13)3.1審査へ	不受理
1	(14)→						
2,3	(15)被認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/		
0	(15-1)認知成立日≠スペース　かつ　認知成立日≧2022年4月1日　又は 審判/判決確定日≠スペース　かつ　審判/判決確定日≧2022年4月1日　又は 認知成立日=スペースかつ審判/判決確定日=スペース の場合、 受領日≧2022年4月1日(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける R2.1(認知111)
	YES	(15-2)認知成立日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>審判/判決確定日 認知成立日=スペース かつ 審判/判決確定日=スペースの場合、 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/		民法改正(2022年4月1日)後の審査 民731(改正後)　R2.1(認知111)
		YES	(15-3)2004年4月2日(17歳)≦被認知者の生年月日≦2006年4月1(16歳)日 (YES,NO)		/		民法改正(2022年4月1日)附則第3条第2項 →改正日に16歳以上18歳未満の女性は経過措置として改正前の民731が適用される ※被認知者の性別が分かる項目がないため、男女に関係なく16歳以上として審査を行う。 R2.1(認知
			YES	(15-4)確認メッセージ(YES,NO) 成年擬制ですか?」を表示する		(15-5)3.1審査へ	民753　R2.1(認知111)
				YES (15-6)→(24)へ	/		R2.1(認知111)
				NO (15-7)→		(15-8)3.1審査へ	R2.1(認知111)
			NO				
		NO	(15-9)→(24)へ		/		R2.1(認知111)
	NO	(16)認知成立日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>審判/判決確定日 認知成立日=スペースかつ審判/判決確定日=スペースの場合、 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>受領日				/		民法改正(2022年4月1日)前の審査

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(認知届)

処理名				3.2 審査			備考
			YES	(17)認知成立日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合、 被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦審判/判決確定日 認知成立日=スペースかつ審判/判決確定日=スペースの場合、 被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日	/		民731(改正前) ※被認知者の性別が分かる項目がないため、男女に関係なく16歳以上として審査を行う。 本籍人の年齢条件を削除(第13版)
				YES (18)確認メッセージ(YES,NO) 「成年擬制ですか?」を表示する		(19)3.1審査へ	民753
				YES (20)→(24)へ	/		
				NO (21)→		(22)3.1審査へ	
				NO			
			NO	(23)→(24)へ	/		
		(24)確認メッセージ(YES,NO) 「被認知者は成年被後見人ですか?」を表示する					
			YES	(25)認知の承諾者(0:無、2:成年者、3:その他)	/		民782、昭和18.12.3 民事甲 943回答
			0,2	(26)エラーメッセージ 「本人以外の承諾が必要です。」を表示する		(27)3.1審査へ	不受理
			3	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?」を表示する			昭和45.1.31 民事甲 464回答
				YES (29)→		(30)3.1審査へ	
				NO (31)→			不受理
			NO	(32)認知の承諾者(0:無、2:成年者、3:その他)	/		民782
			0,3	(33)エラーメッセージ 「成年者の承諾がなければ認知できません。」を表示する		(34)3.1審査へ	不受理
			2	(35)→			(36)～(47)削除
	1	(48)確認メッセージ(YES,NO) 「被認知者は成年者(成年擬制も含む)ですか?」を表示する					
			YES	(49)確認メッセージ(YES,NO) 「被認知者は成年被後見人ですか?」を表示する			
			YES	(50)認知の承諾者(0:無、2:成年者、3:その他)	/		民782、昭和18.12.3 民事甲 943回答
				0,2 (51)エラーメッセージ 「本人以外の承諾が必要です。」を表示する		(52)3.1審査へ	

要件定義ワークシート						作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(認知届)							
処理名				3.2 審査						備考	
				3	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?」 を表示する					昭和45.1.31 民事甲 464回答	
					YES (54)→						
					NO (55)→					不受理	
			NO	(56)認知の承諾者(0:無、2:成年者、3:その他)		/				戸782	
				0,3	(57)エラーメッセージ 「成年者の承諾がなければ認知できません。」を表示する			(58)3.1審査へ		不受理	
				2	(59)→						
		NO	(60)→								

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3

作業名	審査(認知届)
処理名	3.3　審査

										備考
(1)被認知者の本非区分(1:本籍、2:非本籍)								/		
1	(2)							/		(2)～(4)第8.3版により削除
		(3)							(4)	
		(5)被認知者は特別養子であるか(YES,NO)						/		戸817の9 等により嫡出子に準ずる
		YES	(6)エラーメッセージ 「特別養子を認知することはできません」を表示する						(7)3.1審査へ	不受理
		NO	(8)被認知者は既に認知されているか(YES,NO)					/		大正5.11.2　民事　1331回答
			YES	(9)エラーメッセージ 「既に認知されている子を認知することはできません」を表示する					(10)3.1審査へ	不受理
			NO	(11)被認知者の戸籍に父の氏名が記録されているか(YES,NO)				/		
				YES	(12)認知者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/		
					0	(13)エラーメッセージ 「父は既に存在します」を表示する			(14)3.1審査へ	不受理
					1	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者は父欄に記載されている父で本国法は事実主義ですか」を表示する				平成1.10.2　民事二　3900号通達3･2(2)
						YES	(16)→			
						NO	(17)→			不受理
				NO	(18)→					
2	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「嫡出子･特別養子･既に認知されている子ではありませんか」を表示する									戸779、明治32.3.24　民刑　2180号回答 大正5.11.2　民事　1331回答
	YES	(20)→								
	NO	(21)→								不受理

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(認知届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		認知届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							2(認知)を移送する
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時:1 在外送付区分 ＝ 1、2、3の時:2を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分			報告区分				
	渉外区分							被認知者の区分 ＝ 胎児の時 認知者･子の母が日本人 ＝ 0 認知者が日本人･子の母が外国人 ＝ 0 認知者が外国人･子の母が日本人 ＝ 1 認知者･子の母が外国人 ＝ 2 被認知者の区分 ≠ 胎児の時 認知者･被認知者のが日本人 ＝ 0 認知者･被認知者のいずれかが日本人 ＝ 1 認知者･被認知者のが外国人 ＝ 2 を移送する
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号		本籍人検索 サブシステム　インターフェース					認知者･被認知者(子の母)が本籍人の場合、選択戸籍番号を移送
	事件別内容		認知届入力画面					中間ファイル(届書)事件別内容参照

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する
	処分区分							審査結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理　又は　3 ＝ 受理照会 をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							受領番号 ＝ スペースの時、 0(未決裁)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送
中間ファイル (届書) 事件別内容	被認知者の区分		認知届入力画面	被認知者の区分				
	被認知者の外国人区分			被認知者の外国人区分				
	被認知者の本非区分			被認知者の本非区分				
	被認知者の生年月日			被認知者の生年月日				
	被認知者の生死区分			被認知者の生死区分				
	被認知者のカナ氏名			被認知者のカナ氏名				
	被認知者の漢字氏名			被認知者の漢字氏名				
	被認知者の住所コード			被認知者の住所				
	被認知者の住所							
	被認知者の世帯主			被認知者の世帯主				
	被認知者の本籍コード			被認知者の本籍地				
	被認知者の本籍地							
	被認知者の筆頭者			被認知者の筆頭者				
	被認知者の準正による訂正後の続柄			被認知者の準正による訂正後の続柄				
	認知者の外国人区分			認知者の外国人区分				
	認知者の本非区分			認知者の本非区分				
	認知者の生年月日			認知者の生年月日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

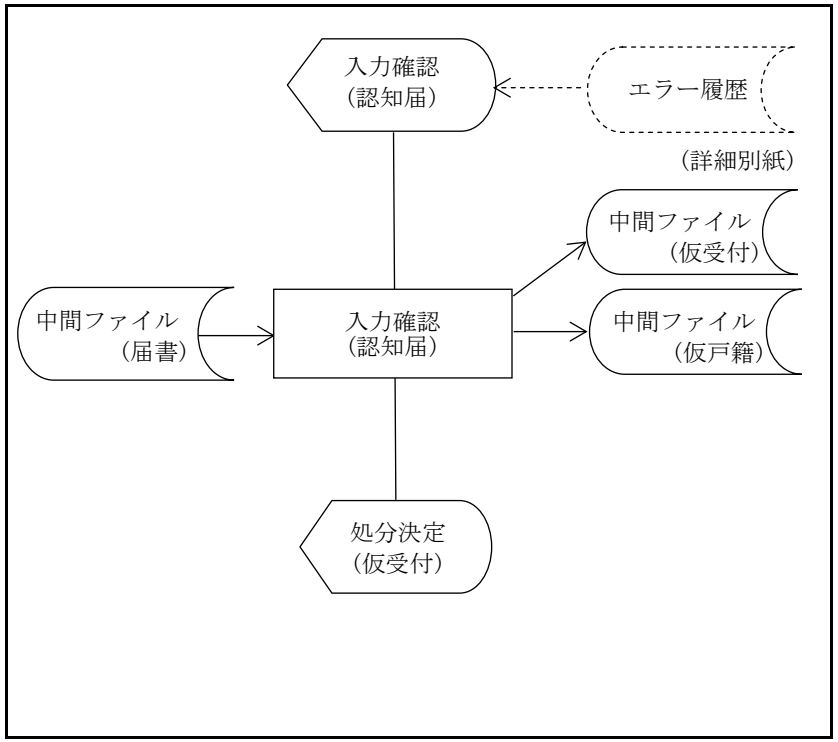
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	認知者の生死区分			認知者の生死区分				
	認知者のカナ氏名			認知者のカナ氏名				
	認知者の漢字氏名			認知者の漢字氏名				
	認知者の本籍コード			認知者の本籍				
	認知者の本籍地							
	認知者の筆頭者名			認知者の筆頭者				
	母の外国人区分			母の外国人区分				
	母の本非区分			母の本非区分				
	母の生年月日			母の生年月日				
	母のカナ氏名			母のカナ氏名				
	母の漢字氏名			母の漢字氏名				
	母の本籍コード			母の本籍地				
	母の本籍地							
	母の筆頭者			母の筆頭者				
	母の住所コード			母の住所地				
	母の住所地							
	母の認知者との婚姻日			母の認知者との婚姻日				
	認知種別			認知種別				
	審査の準拠法			審査の準拠法				
	認知成立日			認知成立日				
	証書提出日			受領日				
	認知の方式			認知の方式				
	裁判成立地			裁判成立地				
	審判/判決確定日			審判/判決確定日				
	裁判申立人			裁判訴提起者				
	外国の裁判所名			外国の裁判所名				
	認知を承諾した者			認知を承諾した者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 4年 9月30日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	入力確認(認知届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(認知届確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 戸籍編製マトリックス表
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 5.1 個人特定(変動なし)
  - 5.2 身分事項(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 6.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(認知届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]					/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)胎児認知であるか				/		
	YES	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [2.0]				(6)処分決定に制御を渡す	
							(5)削除 (R3版)
	NO	(7)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する [3.0]			/		
		(8)中間ファイル(仮受付[受付])を編集･出力する [4.0]			/		
							(9)削除 (R3版)
		(10)事件本人(被認知者)が本籍人である(YES,NO)			/		
		YES	(11)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/		
			個人特定(変動なし)	(12)個人特定(被認知者)の編集 [5.1]	/		
			身分事項(変動なし)	(13)身分事項(被認知者)の編集 [5.2]	/		
		NO	(14)→(15)		/		
		(15)事件本人(認知者)が本籍人である(YES,NO)			/		
		YES	(16)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/		
			身分事項(変動なし)	(17)身分事項(認知者)の編集 [6.1]		(22)処分決定に制御を渡す	
		NO	(18) →				
PF1	→					(24)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(25)届出選択に制御を渡す	
PF5	→					(26)審査に制御を渡す	
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/	(29)同画面を編集する	
	YES	(28)前ページ分の確認画面(認知届)を編集する					
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/		
	YES	(32)次ページ分の確認画面(認知届)を編集する					
	NO	(33)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する					
PF11	→					(34)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(35)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(36)同画面を編集する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	1.0　確認画面(認知届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
認知届確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			支所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	被認知者の区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	被認知者の区分				
	被認知者の外国人区分			被認知者の外国人区分				
	被認知者の本非区分			被認知者の本非区分				
	被認知者の生年月日			被認知者の生年月日				
	被認知者の生死区分			被認知者の生死区分				
	被認知者のカナ氏名			被認知者のカナ氏名				
	被認知者の漢字氏名			被認知者の漢字氏名				
	被認知者の住所			被認知者の住所コード		有		
				被認知者の住所				
	被認知者の世帯主			被認知者の世帯主				
	被認知者の本籍地			被認知者の本籍コード		有		
				被認知者の本籍地				
	被認知者の筆頭者			被認知者の筆頭者				
	被認知者の準正による訂正後の続柄			被認知者の準正による訂正後の続柄				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	1.0　確認画面(認知届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	認知者の外国人区分			認知者の外国人区分				
	認知者の本非区分			認知者の本非区分				
	認知者の生年月日			認知者の生年月日				
	認知者の生死区分			認知者の生死区分				
	認知者のカナ氏名			認知者のカナ氏名				
	認知者の漢字氏名			認知者の漢字氏名				
	認知者の本籍			認知者の本籍コード		有		
				認知者の本籍地				
	認知者の筆頭者			認知者の筆頭者名				
	母の外国人区分			母の外国人区分				
	母の本非区分			母の本非区分				
	母の生年月日			母の生年月日				
	母のカナ氏名			母のカナ氏名				
	母の漢字氏名			母の漢字氏名				
	母の本籍地			母の本籍コード		有		
				母の本籍地				
	母の筆頭者			母の筆頭者				
	母の住所地			母の住所コード		有		
				母の住所地				
	母の認知者との婚姻日			母の認知者との婚姻日				
	認知種別			認知種別				
	審査の準拠法			審査の準拠法				
	認知成立日			認知成立日				
	証書提出日			証書提出日				
	認知の方式			認知の方式				
	裁判成立地			裁判成立地				
	審判/判決確定日			審判/判決確定日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	1.0　確認画面(認知届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	裁判訴提起者			裁判申立人				
	外国の裁判所名			外国の裁判所名				
	認知を承諾した者			認知を承諾した者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0202(認知(胎児))を移送
	受付日			受領日				送付日≠空白の時、移送
				送付日				送付日=空白の時、移送
	事件発生日			認知成立日				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		
				届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				届出人資格1 ≠ 1、17の時に移送 届出人資格1 ＝ 99の時、届出人資格1名称を移送
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							認知成立日 ≠ 0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送
	届書送付目録区分							0を移送
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							胎児の時、54(胎児) 認知者の時、6(認知者)
	届出人区分							届出人が父　又は　母の時、1設定
	カナ氏名			カナ氏名				胎児の時、母のカナ氏名 認知者の時、認知者のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				胎児の時、母の漢字氏名 +〝の胎児〟 認知者の時、認知者の漢字氏名
	生年月日			生年月日				胎児の時、移送しない 認知者の時、認知者の生年月日
	本籍コード			本籍コード				胎児の時、母の本籍コード 認知者の時、認知者の本籍コード
	本籍			本籍地				胎児の時、母の本籍地 認知者の時、認知者の本籍地
	筆頭者			筆頭者				胎児の時、母の筆頭者 認知者の時、認知者の筆頭者
	送達確認2							0を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する ※出力順序 1.胎児 2.認知者								

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(認知届)
処理名	3.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件								戸籍の変動	
	被認知者				認知者				被認知者現戸籍	認知者現戸籍
	外国人区分		本非区分		外国人区分		本非区分			
	日本人	外国人	本籍	非本籍	日本人	外国人	本籍	非本籍	変動なし 5.1 5.2	変動なし 6.1
1	○		○		○		○		子	認知者
2	○		○		○			○	子	
3	○		○			○	－	－	子	
4	○			○	○		○			認知者
5	○			○	○			○		
6	○			○		○	－	－		
7		○	－	－	○		○			認知者
8		○	－	－	○			○		
9		○	－	－		○	－	－		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							認知種別 = 1の時、0201 認知種別 = 2の時、0204を移送
	受付日			受領日				送付日≠空白の時、移送
				送付日				送付日=空白の時、移送
	事件発生日			認知成立日 審判/判決確定日				認知種別 = 1　かつ 認知成立日 ≠ 0の時、認知成立日 認知種別 = 2の時、審判/判決日
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	4.0 中間ファイル(仮受付) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格区分1			届出人資格1				認知種別 = 1の場合、 届出人資格1 = 1、105以外ならば移送 認知種別 = 2の場合、 届出人資格1 = 1、105 かつ 届出人氏名1 = 裁判申立人ならば102を移送 届出人氏名1 ≠ 裁判申立人ならば101を移送 (届出人資格1 = 1 かつ 届出人氏名1に入力がない場合は、漢字氏名(認知者)で処理) 届出人資格1 ≠ 1、105 かつ 届出人氏名1 = 裁判申立人ならば102を移送 届出人氏名1 ≠ 裁判申立人ならば 届出人資格1を移送 (届出人資格1 = 17 かつ 届出人氏名1に入力がない場合は、 漢字氏名(母)で処理)
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		上記、届出人資格区分1に移送したコード変換して移送する
				届出人資格1名称				届出人資格1 = 99の時、移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				(認知種別 = 1 かつ 届出人資格1 = 1、105)以外の時、移送する 認知種別 = 2 かつ 届出人氏名1 = スペース かつ 届出人資格1 = 1の時、 漢字氏名(認知者)を移送 認知種別 = 2 かつ 届出人資格1 = 105の時、 漢字氏名(被認知者)を移送 届出人氏名1 = スペース かつ 届出人資格1 = 17の時、漢字氏名(母)を移送する(届出人氏名1は必須ではない為)
				認知者の漢字氏名				
				被認知者の漢字氏名				
				母の漢字氏名				
	届出人資格区分2			届出人資格2				認知種別 = 2 かつ 届出人資格2 ≠ スペースの場合に、移送する (届出人資格1に102を移送した場合は、 届出人資格2・名称2にも102を移送する) 届出人資格2 = 99の時、届出人資格名称2を移送 届出人氏名2 = スペース かつ 届出人資格名称2 = 17の時は漢字氏名(母)を移送
	届出人資格名称2			届出人資格2		有		
				届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
				母の漢字氏名				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							認知成立日 ≠ 0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	受領日			受領日				
	事件本人区分							被認知者の時、5(被認知者) 認知者の時、6(認知者)
	届出人区分							届出人が父　又は　子の時、1設定
	カナ氏名			カナ氏名				被認知者の時、被認知者のカナ氏名 認知者の時、認知者のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				被認知者の時、被認知者の漢字氏名 認知者の時、認知者の漢字氏名
	生年月日			先年月日				被認知者の時、被認知者の生年月日 認知者の時、認知者の生年月日
	本籍コード			本籍コード				被認知者の時、被認知者の本籍コード 認知者の時、認知者の本籍コード
	本籍			本籍地				被認知者の時、被認知者の本籍地 認知者の時、認知者の本籍地

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			筆頭者				被認知者の時、被認知者の筆頭者 認知者の時、認知者の筆頭者
	送達確認2							本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 = 0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.被認知者
2.認知者

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	5.1　個人特定(被認知者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父			漢字氏名(認知者)				
	母							
	父母との続柄			被認知者の準正による訂正後の続柄		有		被認知者の準正による訂正後の続柄≠ 0の時、移送
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	5.2 身分事項(被認知者) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	被認知者の個人番号				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0201を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日		認知種別 ＝ 1 かつ 認知成立日 ＝ 0の時、移送		
				認知成立日		認知種別 ＝ 1 かつ 認知成立日 ≠ 0の時、移送		
				審判/判決確定日		認知種別 ＝ 2の時、移送		
	認知 認知日			受領日		認知種別 ＝ 1 かつ 認知成立日 ＝ 0の時、移送		
				認知成立日		認知種別 ＝ 1 かつ 認知成立日 ≠ 0の時、移送		
	認知の裁判確定日			審判/判決確定日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	認知者氏名			認知者の漢字氏名				
	認知者の戸籍(本籍)			認知者の本籍地				認知者の外国人区分 ＝ 0の時、移送
	認知者の戸籍(筆頭者)			認知者の筆頭者				認知者の外国人区分 ＝ 0の時、移送
	認知者の国籍			認知者の本籍				認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知者の生年月日			認知者の生年月日				認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知の方式			認知の方式				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	裁判所			外国の裁判所名				裁判成立地 ＝ 1の時、移送
	届出 届出日			受領日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	証書提出日			証書提出日				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	届出人(資格1)			届出人資格1				認知種別 ＝ 2 かつ 届出人資格1 ≠ 105の時、移送
	届出人(資格1名称)			届出人資格1		有		認知種別 ＝ 2 かつ 届出人資格1 ≠ 105の時、移送
				届出人資格1名称				認知種別 ＝ 2 かつ 届出人資格1 ＝ 99の時、移送

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	入力確認(認知届)								
処理名	5.2 身分事項(被認知者) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		届出人(氏名1)			届出人氏名1				認知種別 ＝ 2 かつ 届出人資格1 ＝ 19、20、99の時、移送
		届出人(資格2)			届出人資格2				認知種別 ＝ 2の時、移送
		届出人(資格2名称)			届出人資格2		有		認知種別 ＝ 2の時、移送
					届出人資格2名称				認知種別 ＝ 2 かつ 届出人資格2 ＝ 99の時、移送
		届出人(氏名2)			届出人氏名2				認知種別 ＝ 2 かつ 届出人資格2 ＝ 19、20、99の時、移送
		証書提出者資格			届出人資格1				認知成立日 ≠ 0の時、移送
		証書提出者資格名称			届出人資格1		有		認知成立日 ≠ 0 かつ 届出人資格1 ≠ 99、105の時、届出人資格1を移送
					届出人資格1名称				認知成立日 ≠ 0 かつ 届出人資格1 ＝ 99の時、届出人資格名称1を移送
		証書提出者氏名			届出人氏名1				認知成立日 ≠ 0 かつ 届出人資格1 ＝ 19、20、99の時、移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	関連事項訂正	関連事項訂正							被認知者の準正による訂正後の続柄 ≠ 0の時、 ‘父母との続柄’と編集し移送
	従前の記録	父母との続柄							被認知者の準正による訂正後の続柄 ≠ 0の時、移送 訂正前の続柄を移送する
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	6.1　身分事項(認知者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	認知者の個人番号				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ＝ 0の時、移送		
				認知成立日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ≠ 0の時、移送		
				審判/判決確定日		認知種別 ＝ 2の時、移送		
	認知 認知日			受領日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ＝ 0の時、移送		
				認知成立日		認知種別 ＝ 1　かつ　認知成立日 ≠ 0の時、移送		
	認知の裁判確定日			審判/判決確定日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	認知した子の氏名			被認知者の漢字氏名				
	認知した子の戸籍			被認知者の本籍地				被認知者の外国人区分 ＝ 0の時、移送
	認知した子の筆頭者			被認知者の筆頭者				被認知者の外国人区分 ＝ 0の時、移送
	認知した子の国籍			被認知者の本籍地				被認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知した子の生年月日			被認知者の生年月日				被認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知した子の母の氏名			母の漢字氏名				被認知者の外国人区分 ＝ 1の時、移送
	認知の方式			認知の方式				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	届出 裁判所			外国の裁判所名				裁判成立地 ＝ 1の時、移送
	届出日			受領日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	証書提出日			証書提出日				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	届出人(資格1)			届出人資格1				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ≠ 1、105の時、移送
	届出人(資格1名称)			届出人資格1		有		認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ≠ 1、105の時、移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	入力確認(認知届)							
処理名	6.1　身分事項(認知者)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
					届出人資格1名称				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ＝ 99の時、移送
		届出人(氏名1)			届出人氏名1				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格1 ＝ 19、20、99、105の時、移送
		届出人(資格2)			届出人資格2				認知種別 ＝ 2の時、移送
		届出人(資格2名称)			届出人資格2		有		認知種別 ＝ 2の時、移送
					届出人資格2名称				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格2 ＝ 99の時、移送
		届出人(氏名2)			届出人氏名2				認知種別 ＝ 2　かつ 届出人資格2 ＝ 19、20、99の時、移送
		証書提出者資格			届出人資格1				認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ≠ 1の時、移送
		証書提出者資格名称			届出人資格1		有		認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ≠ 1、99の時、届出人資格1を移送
					届出人資格1名称				認知成立日 ≠ 0　かつ 屈出人資格1 ＝ 99の時、届出人資格1名称を移送
		証書提出者氏名			届出人氏名1				認知成立日 ≠ 0　かつ 届出人資格1 ≠ 1の時、移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	記録	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送

※データ編集表(5.2、6.1～6.2身分事項編集)の仮戸籍.身分事項は、ノーマル時の項目のみを記述している。

第7.2.(5)「異動」処理

3.養子縁組届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	117	「養子縁組届」	2020/8/28研究会指摘事項(FXSS)の指摘対応 №3:審査_3.3の審査(2)5、7行目の「縁組成立日」は「裁判確定日」の誤り。審査_3.4も同様。 →該当箇所を修正 2020/9/18研究会指摘事項(FXSS)の指摘対応 №1:審査_3.4.1.1の審査(197)(198)が記載されていない →該当箇所を修正 №1:審査_3.4の審査(207)の「18歳未満>」は「18歳以上≦」の誤り。 審査3.4.1の審査(211)も同様 →該当箇所を修正
2		－		・法令を通則法に変更 審査_3.2、審査3.2.1を修正 ・「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更 入力確認の該当仕様書を修正
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	R4	120	「養子縁組届」	システム処理の概要 3.その他の4点目の「20歳以上」を「成年」に修正
5		121		・審査_3.4 養子養親判定ルーチン_民法改正後 (203)の後に養父が20歳以上であるかの審査及び養母が20歳以上であるかの審査を追加 ・審査_3.4.1 養女養親判定ルーチン_民法改正後 (207)の後に上記と同じ審査を追加

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	養子縁組届

1.養子縁組業務処理範囲外の処理
・養子縁組取り消しの裁判が確定し、その届出があった場合
・追完届出された場合
・養子縁組の戸籍訂正
・届書受理後に届出人の死亡が明らかになった場合の記録
・養父母の在籍した戸籍が法務省令第27号第4条第2項の規定により改製されている場合
・無籍者の縁組の場合
・委託確認の裁判に基づく届出の場合
・配偶者(筆頭者)の死亡後に婚氏を称する婚姻で筆頭者となった者が養子となる縁組の場合
※養子の戸籍は変動なし(婚氏のまま)であるが、システムは新戸籍編製でなければ通らない(筆頭者がする夫婦縁組)。
・成年被後見人(又は禁治産者)と成年後見人(又は後見人)の縁組届の場合
・特別代理人、児童福祉施設の長、未成年後見人、未成年後見監督人が複数人の届出(代諾)は審査結果
・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合
※標準仕様書では養子が該当する場合関連チェック(NO.14)で、養親が該当する場合関連チェック(NO.17、18)でエラーとなる。

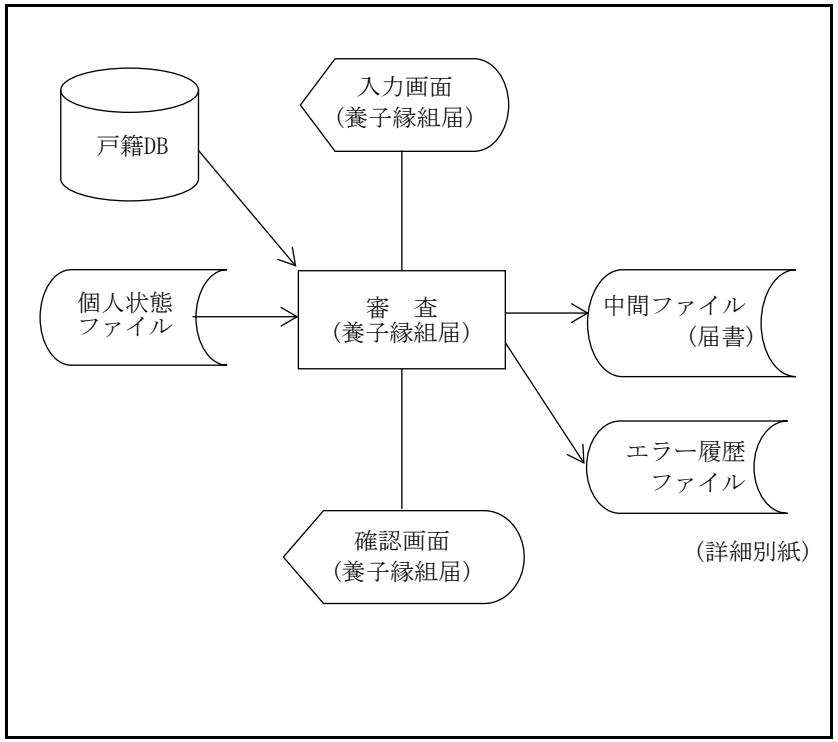
2.養子縁組入力画面の意義
・その1画面　養子となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その2画面　養親となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その3画面　縁組後の新本籍や届出人に関する各項目を入力する
・その4画面　養子となる者の配偶者の現在の状況の各項目を入力する
・縁組形態入力画面　縁組の形態を入力する

3.その他
・養子・養親両方に縁組をする意思の合致がある事(民第802条1号)
・養子は養親の尊属ではない事(民第793条)
・養子は養親の嫡出子、又は養子ではない事(昭和23.1.13民事甲第17号通達)
・証人の記録があり、成年である事(民第799条・第739条)
・証書提出者が3人以上の場合は審査結果入力で処理する
・養子縁組により、養子に共同親権に服する記録を要する場合は、移記処理で行う
・届出前の本籍が管内にあり、かつ、管内に新戸籍編製及び入籍する事件本人の父母欄及び養父母欄の氏名に変更がある場合は、移記処理で修正する
・養子(養女)が15歳未満の時、代諾者となる父母が外国人でその国に親権規定がない場合は、審査結果入力で処理する。
(注)日本人父母同様に届出人資格等を入力すると、代諾者が親権者父母となるので注意すること

その他:審査内部で使用している[縁組形態区分]は、前提入力画面の【縁組の形態】を数字で表したものである

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(養子縁組届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)養子縁組届の内容を入力する。
(2)養子縁組届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)養子縁組届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)養子縁組届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(養子縁組届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 国籍処理ルーチン(養子)
  - 3.1 要件具備証明書ルーチン(養子)
  - 3.2 保護要件ルーチン(養子)
  - 3.3 養子審査ルーチン
  - R2.1(縁組108)
    - 3.4 養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン(養子)
    - 3.4.0.1 養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン(養子)
    - 3.5 同意書ルーチン(養子)
    - 3.6 届出人ルーチン(養子)
- 3.0.1 国籍処理ルーチン(養女)
  - 3.1.1 要件具備証明書ルーチン(養女)
  - 3.2.1 保護要件ルーチン(養女)
  - 3.3.1 養女審査ルーチン
  - R2.1(縁組
    - 3.4.1 養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン(養女)
    - 3.4.1.1 養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン(養女)
  - 3.5.1 同意書ルーチン(養女)
  - 3.6.1 届出人ルーチン(養女)
- 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(養子縁組届)			
処理名	0.0 本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (17)前ページ分の入力画面(養子縁組届)を編集する		(18)同画面を編集する	
	NO (19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する			
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (21)次ページ分の入力画面(養子縁組届)を編集する		(22)同画面を編集する	
	NO (23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ	英字	(Y:縁組あり、スペース:縁組なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:縁組あり、スペース:縁組なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:縁組あり、スペース:縁組なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:縁組あり、スペース:縁組なし)であること			
5	養親配偶者氏名1		漢字				今回の縁組が単独縁組の場合、既に縁組済の養子の養親の氏名
6	養親配偶者氏名2		漢字				今回の縁組が単独縁組の場合、既に縁組済の養女の養親の氏名
7	出張所番号		数字				
8	受領番号		数字				
9	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	発送元		漢字				
12	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
13	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
15	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	届出区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
17	養子の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
18	養子の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
19	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
20	養子の婚姻区分		数字	(0:未婚、1:婚姻中)であること			
21	養子の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
22	養子のカナ氏名		カナ				
23	養子の漢字氏名		漢字				
24	養子の本･国籍		漢字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	養子の住所		漢字				
26	養子の筆頭者氏名		漢字				
27	養子の世帯主氏名		漢字				
28	養子の父氏名		漢字				
29	養子の母氏名		漢字				
30	養子の続柄コード		数字	10(男)～29(十九男)であること。			
31	養子の筆頭者区分		数字				
32	養子の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
33	養女の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
34	養女の本非区分		数字	(1:本籍2:非本籍)であること			
35	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
36	養女の婚姻区分		数字	(0:未婚、1:婚姻中)であること			
37	養女の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
38	養女のカナ氏名		カナ				
39	養女の漢字氏名		漢字				
40	養女の本･国籍		漢字				
41	養女の住所		漢字				
42	養女の筆頭者氏名		漢字				
43	養女の世帯主氏名		漢字				
44	養女の父氏名		漢字				
45	養女の母氏名		漢字				
46	養女の続柄コード		数字	30(女)～49(十九女)であること。			
47	養女の筆頭者区分		数字				
48	養女の配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
49	監護者の有無		英字	(Y:有、N:無)であること			
50	養父の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
51	養父の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
52	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
53	養父の筆頭者区分		数字				
54	養父の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
55	養父の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
56	養父のカナ氏名		カナ				
57	養父の漢字氏名		漢字				
58	養父の本･国籍		漢字				
59	養父の住所		漢字				
60	養父の筆頭者氏名		漢字				
61	養父の世帯主氏名		漢字				
62	養母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
63	養母の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
64	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
65	養母の筆頭者区分		数字				
66	養母の配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
67	養母の生死区分		数字	(0:生存、1:死亡)であること			
68	養母のカナ氏名		カナ				
69	養母の漢字氏名		漢字				
70	養母の本･国籍		漢字				
71	養母の住所		漢字				
72	養母の筆頭者氏名		漢字				
73	養母の世帯主氏名		漢字				
74	戸籍変動区分	○	数字	(1:養親の現在の戸籍に入る、2:養親の新しい戸籍に入る、3:養子夫婦で新しい戸籍を作る、4:養子の戸籍に変動がない、5:養子は全て外国人)であること			
75	入籍する戸籍または新しい戸籍		漢字	戸籍変動区分 ＝ 1、2、3の場合、必須 戸籍変動区分 ＝ 4、5の場合、入力不可			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
76	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者		漢字	戸籍変動区分 ＝ 1、2、3の場合、必須 戸籍変動区分 ＝ 4、5の場合、入力不可			
77	裁判確定日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
79	縁組成立日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
79	縁組方式		漢字				
80	同一戸籍縁組		数字	(1:同一戸籍内縁組、0:その他)であること			
81	後見人縁組区分		数字	(0:無、1:有)であること			
82	届出人資格コード1		数字	(01:父、02:母、03:母の親権者、10:養父、11:養母、13:養子、16:親権者父、17:親権者母、78:特別代理人、93:児童福祉施設の長、109:母の未成年後見人、110:未成年後見人、112:未成年後見監督人)であること			
83	届出人氏名1		漢字				
84	代諾者コード1		数字	(0:無、1:有)であること			
85	届出人国籍1		漢字				
86	届出人生年月日1		数字	「日付チェックサブルーチン」			
87	届出人資格コード2		数字	(01:父、02:母、03:母の親権者、10:養父、11:養母、13:養子、16:親権者父、17:親権者母、78:特別代理人、93:児童福祉施設の長、109:母の未成年後見人、110:未成年後見人、112:未成年後見監督人)であること			
88	届出人氏名2		漢字				
89	代諾者コード2		数字	(0:無、1:有)であること			
90	届出人国籍2		漢字				
91	届出人生年月日2		数字	「日付チェックサブルーチン」			
92	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
93	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
94	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
95	配偶者カナ氏名		カナ				
96	配偶者漢字氏名		漢字				
97	配偶者住所		漢字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
98	配偶者父氏名		漢字				
99	配偶者母氏名		漢字				
100	配偶者続柄コード		数字	「続柄変換サブルーチン」			
101	配偶者筆頭者区分		数字				

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.1 条件設定		入力画面(養子縁組届)					

No	内容	備考
	以降、審査内部で使用する縁組形態区分の設定について記述する ・(No.1)[養子と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 1とする ・(No.2)[養子と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 2とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.2)[養子と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 3とする ・(No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 4とする ・(No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 5とする ・(No.3)[養女と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 6とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 7とする ・(No.2)[養子と養母区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 8とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 9とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.3)[養女と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 10とする ・(No.2)[養子と養母区分] かつ (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 11とする ・(No.2)[養子と養母区分] かつ (No.3)[養女と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 12とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.2)[養子と養母区分] かつ (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 13とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.2)[養子と養母区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 14とする ・(No.1)[養子と養父区分] かつ (No.2)[養子と養母区分] かつ (No.3)[養女と養父区分] かつ (No.4)[養女と養母区分]に入力がある時、縁組形態区分 ＝ 15とする	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	1.1　入力画面(養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組画面	縁組形態名称			縁組形態区分		有		
	表示1							縁組形態区分 ＝ 1、4、7の時、 　養父の配偶者が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 2、5、8の時、 　養母の配偶者が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 9、10の時、 　養子と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 11、12の時、 　養子と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示
	表示2							縁組形態区分 ＝ 11、13の時、 　養女と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 9、14の時、 　養女と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	縁組形態区分 ＝ 1:養子と養父の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	縁組形態区分 ＝ 2:養子と養母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分、 (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			
3	縁組形態区分 ＝ 3:養子と養父母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　は入力が無いこと			
4	縁組形態区分 ＝ 4:養女と養父の場合、 (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと			
5	縁組形態区分 ＝ 5:養女と養母の場舎、 (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分、 (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			
6	縁組形態区分 ＝ 6:養女と養父母の場合、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか　かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　は入力が無いこと			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
7	縁組形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと			
8	縁組形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			
9	縁組形態区分 ＝ 9:養子と養父&養女と養母　又は　10:養子と養父&養女と養父母　又は 11:養子と養母&養女と養父　又は　12:養子と養母&養女と養父母　又は 13:養子と養父母&養女と養父　又は　14:養子と養父母&養女と養母　又は 15:養子と養父母&養女と養父母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか　かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか　かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有ること			
10	縁組形態区分 ＝ 1～3、6、10、12、15の時、(No.06)養親配偶者氏名2 ＝ スペースであり 縁組形態区分 ＝ 3～6、13～15の時、(No.05)養親配偶者氏名1 ＝ スペースであること			
11	縁組形態区分 ＝ 9、10でかつ　(No.05)養親配偶者氏名1　≠　スペースの時、 (No.05)養親配偶者氏名1 ＝ (No.69)の養母の漢字氏名であり 縁組形態区分 ＝ 11、12でかつ　(No.05)養親配偶者氏名1 ≠ スペースの時、 (No.05)養親配偶者氏名1 ＝ (No.57)の養父の漢字氏名であり 縁組形態区分 ＝ 9、14でかつ　(No.06)養親配偶者氏名2 ≠ スペースの時、 (No.06)養親配偶者氏名2 ＝ (No.57)の養父の漢字氏名であり 縁組形態区分 ＝ 11、13でかつ　(No.06)養親配偶者氏名2 ≠ スペースの時、 (No.06)養親配偶者氏名2 ＝ (No.69)の養母の漢字氏名であること			
12	縁組形態区分 ＝ 7～15の場合、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中、(No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中、 (No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1:夫、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2:妻であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
13	縁組形態区分 ＝ 7～15の時で、 (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.24)養子の本･国籍 ＝ (No.40)養女の本･国籍　かつ (No.26)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名であり　かつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1ならば、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であり　又は (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0ならば、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1であること			
14	縁組形態区分 ＝ 7～15の時で、 (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること　又は (No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人　かつ　(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
15	縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、 (No.54)養父の配偶者区分 ＝ 1:夫　でかつ　(No.66)養母の配偶者区分 ＝ 2:妻　であり (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.58)養父の本･国籍 ＝ (No.70)養母の本･国籍　かつ (No.60)養父の筆頭者氏名 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること			
16	縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者ならば (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であること　又は (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員ならば (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
17	縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
18	縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人　かつ　(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
19	(No.10)送付日 ＝ スペースの時、(No.11)発送元 ＝ スペースであること			
20	(No.10)送付日 ≠ スペースの時、(No.11)発送元 ≠ スペースであること			
21	(No.10)送付日 ≠ スペースの時、(No.10)送付日 ≧ (No.09)受領日であること			
22	(No.10)送付日 ＝ スペースの時、(No.12)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
23	(No.11)発送元 ≠ スペースの時、(No.12)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
24	(No.11)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.11)発送元の最終文字が｢市｣｢区｣｢町｣｢村｣｢長｣の時、 (No.12)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	(No.11)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.11)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.12)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.12)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
26	(No.13)処理日 ≠ スペースの時、(No.13)処理日 ＞ (No.09)受領日であること			
27	(No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.10)送付日 ＝ スペースであること			
28	(No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.15)郵送日 ≦ (No.09)受領日であること			
29	(No.14)本非区分 ＝ 1の場合、 (No.18)養子の本非区分･(No.34)養女の本非区分･(No.51)養父の本非区分･(No.63)養母の本非区分 のいずれか ＝ 1であるか (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (本籍地)であること			
30	(No.78)縁組成立日 ≠ スペース　かつ　(No.79)縁組方式 ≠ スペースの場合　あるいは (No.77)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.16)届出区分 ＝ 2:報告的届出であること			
30-1	(No.78)縁組成立日 ＝ スペース　かつ　(No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.16)届出区分 ＝ 1:創設的届出であること			
31	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.19)養子の生年月日 ＝ (和暦)、(No.24)養子の本･国籍 ≠ スペース、 (No.26)養子の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.31)養子の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
32	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.19)養子の生年月日 ＝ (西暦)、(No.24)養子の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.26)養子の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
33	(No.19)養子の生年月日+15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
34	(No.19)養子の生年月日+15年(15歳以上) ≦ 受領日でかつ (No.81)後見人縁組区分 ＝ 0:無の場合　又は　(No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.82)届出人資格コード1かつ2 ＝ スペースであること			※裁判による縁組の場合、養子の年齢に関係なく養親が届出人となる
35	(No.19)養子の生年月日 ≧ (No.52)養父の生年月日　かつ (No.19)養子の生年月日 ≧ (No.64)養母の生年月日であること			
36	(No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1の場合、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1であること			
37	(No.20)養子の婚姻区分 ＝ 0の場合、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 0又は3であること			
38	(No.25)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.27)養子の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
39	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ　(No.25)養子の住所 ＝ 日本の場合、 (No.27)養子の世帯主氏名 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
40	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
41	(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.23)養子の漢字氏名 ＝ (No.26)養子の筆頭者氏名であること			
--				
43	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.35)養女の生年月日 ＝ (和暦)、(No.40)養女の本･国籍 ≠ スペース、 (No.42)養女の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.47)養女の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
44	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.35)養女の生年月日 ＝ (西暦)、(No.40)養女の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.42)養女の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
45	(No.35)養女の生年月日+15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
46	(No.35)養女の生年月日+15年(15歳以上) ≦ 受領日でかつ (No.81)後見人縁組区分 ＝ 0:無の場合　又は　(No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.82)届出人資格コード1かつ2 ＝ スペースであること			※裁判による縁組の場合、養女の年齢に関係なく養親が届出人となる
47	(No.35)養女の生年月日 ≧ (No.52)養父の生年月日　かつ (No.35)養女の生年月日 ≧ (No.64)養母の生年月日であること			
48	(No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1の場合、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2であること			
49	(No.36)養女の婚姻区分 ＝ 0の場合、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 0又は3であること			
50	(No.41)養女の住所 ＝ スペースの場合、(No.43)養女の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
51	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ　(No.41)養女の住所 ＝ 日本の場合、 (No.43)養女の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
52	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
53	(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.39)養女の漢字氏名 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名であること			
--				
55	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.52)養父の生年月日 ＝ (和暦)、(No.58)養父の本･国籍 ≠ スペース、 (No.60)養父の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.53)養父の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
56	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.52)養父の生年月日 ＝ (西暦)、(No.58)養父の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.60)養父の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
57	(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.57)養父の漢字氏名 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名であること			
--				
59	(No.59)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.61)養父の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
60	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ (No.59)養父の住所 ＝ 日本の場合、 (No.61)養父の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
61	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.64)養母の生年月日 ＝ (和暦)、(No.70)養母の本･国籍 ≠ スペース、 (No.72)養母の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.65)養母の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
62	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.64)養母の生年月日 ＝ (西暦)、(No.70)養母の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.72)養母の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
63	(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.69)養母の漢字氏名 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること			
--				
65	(No.71)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.73)養母の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
66	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ (No.71)養母の住所 ＝ 日本の場合、 (No.73)養母の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
67	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1又は2の場合、 入力のある養父又は養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 入力のある養子かつ養女の婚姻区分 ＝ 0:未であること			
67-1	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1又は2の場合、 入力のある養子又は養女の筆頭者区分 ＝ 0:構成員 かつ 配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者以外であること			13版で69-1を移した
67-2	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1の場合、 入力のある養父又は養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者 又は 配偶者区分 ≠ 0:未以外であること			13版で68-1を移した

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
68	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1の時で、 縁組形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4又は 6でかつ (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、 (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍でかつ (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名であり、 縁組形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6でかつ (No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、 (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (No、70)養母の本・国籍でかつ (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること 縁組形態区分 ≠ 7～15であること			
69	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 2の時で、 縁組形態区分 ＝ 1 又は 4の場合、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.57)養父の漢字氏名、 (No.54)養父の配偶者区分 ＝ 0:未、(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であり、 縁組形態区分 ＝ 2 又は 5の場合、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.69)養母の漢字氏名、 (No.66)養母の配偶者区分 ＝ 0:未、(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であること 縁組形態区分 ≠ 3、6～15であること			
70	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3の時で、 縁組形態区分 ＝ 1、4、7の場合、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 縁組形態区分 ＝ 2、5、8の場合、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の場合、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人　又は (No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であること			
71	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3でかつ 縁組形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3の時、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ　(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること 縁組形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6の時、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ　(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
72	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 4でかつ　同一戸籍縁組 ≠ 1の場合、 縁組形態区分 ＝ 1、4、7の時、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であること　又は 縁組形態区分 ＝ 2、5、8の時、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること　又は 縁組形態区分 ＝ 3、6、9～15の時、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人　かつ (No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること　又は 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1又は3でかつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0であること　又は 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2又は3でかつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
73	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3の時、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者に入る筆頭者氏名は、 縁組形態区分 ＝ 1、2、4、5の時、 養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子(女)の漢字氏名の名であること 又は 縁組形態区分 ＝ 3、6の時、 養父母のうち日本人である方の漢字氏名の氏 + 養子(女)の漢字氏名の名であること 又は 縁組形態区分 ＝ 7、8の時、 養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子夫婦のうち筆頭者である方の漢字氏名の名であること 又は 縁組形態区分 ＝ 9～15の時、 養父母のうち日本人である方の漢字氏名の氏 + 養子夫婦のうち筆頭者である方の漢字氏名の名であること			
74	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 5でかつ 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人であること 又は 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人であること 又は 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人 かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人であること			
74-1	縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人 又は 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人 又は 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、 (No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人 かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.74)戸籍変動区分 ＝ 5であること			
75	(No.77)裁判確定日又は、(No.78)縁組成立日に入力がある時、 (No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.15)郵送日 ≧ (No.77)裁判確定日 又は (No.78)縁組成立日で (No.15)郵送日 ＝ スペースの時、(No.09)受領日 ≧ (No.77)裁判確定日 又は (No.78)縁組成立日であること			
76	(No.77)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人 又は (No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人でかつ (No.78)縁組成立日 ＝ スペース かつ (No.79)縁組方式 ＝ スペース かつ (No.82)届出人資格コード1のみ入力がある時、 10 又は 11 又は 13でかつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 0であり (No.82)届出人資格コード1 かつ 2に入力がある時、 10 かつ 11 又は 13でかつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 0 かつ (No.89)代諾者コード2 ＝ 0であること			※裁判による縁組の場合、養親が届出人となる
77	(No.78)縁組成立日 ≠ スペースの時、 (No.77)裁判確定日 ＝ スペース かつ (No.79)縁組方式 ≠ スペースでかつ (No.82)届出人資格コード1 ≠ 03、78、93、109、110、112であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
78	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の時、 縁組形態区分 ＝ 1の場合、(No.24)養子の本・国籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 2の場合、(No.24)養子の本・国籍 ＝ (No.70)養母の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 3の場合、(No.24)養子の本・国籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍 又は (No.70)養母の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 4の場合、(No.40)養女の本・国籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 5の場合、(No.40)養女の本・国籍 ＝ (No.70)養母の本・国籍であること 又は 縁組形態区分 ＝ 6の場合、(No.40)養女の本・国籍 ＝ (No.58)養父の本・国籍 又は (No.70)養母の本・国籍であること			
79	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の場合、 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 0でかつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0であること あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 0でかつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であること あるいは 縁組形態区分 ≠ 7～15であること			
80	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の時、 縁組形態区分 ＝ 1又は4でかつ (No.54)養父の配偶者区分 ＝ 0 かつ (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 2又は5でかつ (No.66)養母の配偶者区分 ＝ 0 かつ (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0の場合、(No.74)戸籍変動区分 ＝ 2であること 縁組形態区分 ＝ 1又は4でかつ (No.54)養父の配偶者区分 ≠ 0 又は (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 2又は5でかつ (No.66)養母の配偶者区分 ≠ 0 又は (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 3又は6の場合、(No.74)戸籍変動区分 ＝ 4であること			
81	(No.81)後見人縁組区分 ＝ 1の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3 かつ (No.19)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6 かつ (No.35)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ＝ 112:未成年後見監督人又は 78:特別代理人であること			民第851条4号 昭和23.12.22 民事甲 第3914号回答
82	(No.87)届出人資格コード2 ≠ スペースの時、(No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
83	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1、2、10、11、16、17の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ (No.87)届出人資格コード2であること			
84	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 78、93、110、112の場合、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 1でかつ 届出人氏名1 ≠ スペースでかつ (No.87)届出人資格コード2～(No.91)届出人生年月日2 に入力がないこと			未成年後見監督人複数人の届出は審査結果
85	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 03、109の場合、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 1でかつ (No.83)届出人氏名1 ≠ スペースであること			※資格人コード03で2人いる場合、氏名が同一の時には審

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
85-1	(No.87)届出人資格コード2 ＝ 03、109の場合、 (No.89)代諾者コード2 ＝ 1でかつ (No.88)届出人氏名2 ≠ スペースであること			場合、氏名が同一の時には審査でメッセージを出力する
86	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1、2、16又は17の場合、 (No.83)届出人氏名1 ≠ スペースでかつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 1であること			※届出人が外国人父母の場合 届出人氏名 ≠ スペース 日本人父母の場合も 届出人氏名 ≠ スペースとする。(16版対応)
86-1	(No.87)届出人資格コード2 ＝ 1、2、16又は17の場合、 (No.88)届出人氏名2 ≠ スペースでかつ (No.89)代諾者コード2 ＝ 1であること			
87				15版で審査に移行
88				15版で審査に移行
89	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1 又は 16の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3 かつ (No.18)養子の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6 かつ (No.34)養女の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 個人特定Fの養父氏名 ＝ スペースであること (No.82)届出人資格コード1 ＝ 2 又は 17の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3 かつ (No.18)養子の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6 かつ (No.34)養女の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 個人特定Fの養母氏名 ＝ スペースであること ※届出人2も1と同じ様にチェックする。			※本籍人の場合のチェック
90	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 10 又は 11でかつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 1の場合、(No.83)届出人氏名1 ≠ スペースであり (No.77)裁判確定日 ≠ スペース 又は (No.79)縁組の方式 ≠ スペースであること (No.87)届出人資格コード2 ＝ 10 又は 11でかつ (No.89)代諾者コード2 ＝ 1の場合、(No.88)届出人氏名2 ≠ スペースであり (No.89)代諾者コード2 ＝ 0の場合、(No.88)届出人氏名2 ＝ スペースでかつ (No.77)裁判確定日 ≠ スペース 又は (No.79)縁組の方式 ≠ スペースであること			※転縁組の場合前養親が届出人となり、届出人氏名に入力がなければならない※養親が届出人(代諾者ではない)となるには、裁判か外国の方式による場合
91				15版で審査に移行
91-1	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 13の場合、 (No.77)裁判確定日 ≠ スペース かつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 0 かつ (No.83)届出人氏名1 ＝ スペースであること ※届出人2も1と同じ様にチェックする。			
91-2	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 13の場合、 縁組形態区分 ＝ 1～6の時、届出人資格2 ＝ スペースであり、 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、届出人資格2 ＝ 13、スペースであること			
92	(No.85)届出人国籍1 ≠ スペースの時、 (No.85)届出人国籍1 ＝ 国籍であり (No.86)届出人生年月日1 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
93	(No.90)届出人国籍2 ≠ スペースの時、 (No.90)届出人国籍2 ＝ 国籍であり (No.91)届出人生年月日2 ≠ スペースであること			
94	(No.86)届出人生年月日1 ≠ スペースの時、 (No.85)届出人国籍1 ≠ スペース かつ (No.86)届出人生年月日1 ＝ (西暦)であること (No.91)届出人生年月日2 ≠ スペースの時、 (No.90)届出人国籍2 ≠ スペース かつ (No.91)届出人生年月日2 ＝ (西暦)であること			
95	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ (No.18)養子の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、 (No.92)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ (No.34)養女の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、 (No.92)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
96	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ (No.18)養子の本非区分 ＝ 2:非本籍でかつ (No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0である時、 (No.100)配偶者続柄コード、(No.93)配偶者生年月日、(No.94)配偶者配偶者区分、 (No.95)配偶者カナ氏名、(No.96)配偶者漢字氏名に入力があること 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ (No.34)養女の本非区分 ＝ 2:非本籍でかつ (No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0である時、 (No.100)配偶者続柄コード、(No.93)配偶者生年月日、(No.94)配偶者配偶者区分、 (No.95)配偶者カナ氏名、(No.96)配偶者漢字氏名に入力があること			
97	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合 (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 2:妻の時、 (No.100)配偶者続柄コード ＝ 30:女～49:十九女であること			
97-1	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
98	縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 1:夫の時、 (No.100)配偶者続柄コード ＝ 10:男～29:十九男であること			
98-1	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
99	縁組形態区分 ＝ 7～15の場合、 (No.92)配偶者の外国人区分～(No.101)配偶者筆頭者区分け、未入力であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
100	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.26)養子の筆頭者氏名の「氏」であること			
101	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名の「氏」であること			
102	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.39)養女の漢字氏名の「氏」であること			
103	(No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.96)配偶者漢字氏名の「氏」であること			
104	(No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.96)配偶者漢字氏名の「氏」であること			
105	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名の「氏」であること			
106	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.69)養母の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名の「氏」であること			
107	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.69)養母の漢字氏名の「氏」であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン

					備考	
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する				(0-2)本紙へ		
YES	(0-3)→(0-6)へ		/			R2.1(縁組116)
NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ		
(0-6)(養子の外国人区分=0:日本人 かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) 又は (養女の外国人区分=0:日本人 かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の外国人区分=0:日本人 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の外国人区分=0:日本人 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)			/			R2.1(縁組116)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-8)本紙へ		
	YES	(0-9)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-11)本紙へ	不受理	
	NO	(0-10)→			画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-12)→(1)へ		/			
(1)裁判確定日≠スペースである(YES,NO)			/			
YES	(2)裁判確定日<昭和25年7月1日である(YES,NO)		/			
	YES	(3)→(24)へ	/			
	NO	(4)裁判確定日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/			
		YES	(5)→(26)へ	/		
		NO	(6)→(30)へ	/		
NO	(7)縁組成立日≠スペースである(YES,NO)		/			
	YES	(8)縁組成立日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/			
		YES	(9)→(24)へ	/		
		NO	(10)縁組成立日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
			YES	(11)→(26)へ	/	
			NO	(12)→(30)へ	/	
	NO	(13)送付日≠スペースである(YES,NO)		/		
		YES	(14)送付日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/		
			YES	(15)→(24)へ	/	
			NO	(16)送付日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/	
				YES	(17)→(26)へ	/
				NO	(18)→(30)へ	/

現行国籍法施行(昭和25年7月1日)以前の有効な身分行為に関しては、現行法では処理できない。
但し、現行法施行以降でも対日平和条約発効(昭和27年4月28日)以前で、平和条約を締結している国に関しても同様に現行法では処理できない。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン

								備考
		NO	(19)受領日<昭和25年7月1日である(YES,NO)		/			
		YES	(20)→(24)へ		/			
		NO	(21)受領日<昭和27年4月28日である(YES,NO)		/			
			YES	(22)→(26)へ	/			
			NO	(23)→(30)へ	/			
(24)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						(25)本紙へ		
(26)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約発効に該当する国ですか。」を表示する						(27)本紙へ		
YES	(28)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する							
NO	(29)→(30)へ				/			
(30)養親かつ養子の生死区分が0:生存である(YES,NO)					/			
YES	(31)→(33-1)へ				/			
NO	(32)エラーメッセージ 「死亡者がいるので縁組はできません。」を表示する					(33)本紙へ		
(33-1)縁組成立日≠スペースである(YES,NO)					/			戸41
YES	(33-2)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により縁組が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか」を表示する					(33-3)本紙へ		
	YES	(33-4)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人のみからの証書提出ですか」を表示する						
		YES	(33-4-1)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					
		NO	(33-4-2)→(33-8)へ		/			R2.1(縁組115)
							(33-4-3)～(33-4-8)を削除	
	NO	(33-5)→				(33-6)本紙へ	不受理	
NO	(33-7)→(33-8)へ				/			
(33-8)同一縁組区分=0(その他) かつ 養子縁組区分=1～6 である(YES,NO)					/			
YES	(33-9)縁組形態区分=1～3である(YES,NO)				/			
	YES	(33-10)養子は日本人である(YES,NO)			/			
		YES	(33-11)(養子の本・国籍=養父の本・国籍 かつ 養子の筆頭者氏名=養父の筆頭者氏名) 又は (養子の本・国籍=養母の本・国籍 かつ 養子の筆頭者氏名=養母の筆頭者氏名) である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン

								備考
			YES	(33-12)確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内縁組ではありませんね?」を表示する		(33-13)本紙へ		
			YES	(33-14)→(34)へ		/		
			NO	(33-15)→			(33-16)本紙へ	
			NO	(33-17) → (34)へ		/		
		NO						
	NO			(33-18)養女は日本人である(YES,NO)				
		YES		(33-19)(養女の本・国籍=養父の本・国籍　かつ 養女の筆頭者氏名=養父の筆頭者氏名)　又は (養女の本・国籍=養母の本・国籍　かつ 養女の筆頭者氏名=養母の筆頭者氏名)　である(YES,NO)		/		
			YES	(33-20)確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内縁組ではありませんね?」を表示する			(33-21)本紙へ	
			YES	(33-22)→(34)へ		/		
			NO	(33-23)→			(33-24)本紙へ	
			NO	(33-25) → (34)へ		/		
		NO						
NO				(33-26)→(34)へ		/		
				(34)養子に入力がある(YES,NO)		/		
YES				(35)→(37-1)へ		/		
NO				(36)→			(37)3.0.1養女国籍処理へ	
				(37-1)養子の本・国籍＝本籍(日本人) である(YES,NO)		/		
YES				(37-2)養子の父氏名=スペース　又は　養子の母氏名=スペース(YES,NO)		/		
	YES			(37-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			(37-4)本紙へ	
		YES		(37-5)→(38)へ		/		
		NO		(37-6)→			(37-7)本紙へ	不受理
	NO			(37-8)養子の続柄コード=10(男)である(YES,NO)		/		
		YES		(37-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する			(37-10)本紙へ	
		YES		(37-11)→(38)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン			備考
	NO (37-12)→		(37-13)本紙へ	不受理
	NO (37-14)→(38)へ	/		
NO	(37-15)→(38)へ	/		
(38)縁組形態区分=1　又は　7　又は　9　又は　10である(YES,NO)		/		
YES	(39)養子は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(40)養父は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(41)養子要件具備へ [3.1]	/		
	(42)養子保護要件へ [3.2]	/		
	(43)縁組形態区分 ＝ 1である(YES,NO)	/		
	YES (44)→		(45)本紙へ	
	NO (46)→		(47)3.0.1養女国籍処理へ	
NO	(48)養子保護要件へ [3.2]	/		
	(49)→		(50)3.3養子審査へ	
NO	(51)養父は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(52)養子要件具備へ [3.1]	/		
	(53)→		(54)3.3養子審査へ	
NO	(55)→		(56)3.3養子審査へ	
NO	(57)縁組形態区分=2　又は　8　又は　11　又は　12である(YES,NO)	/		
YES	(58)養子は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(59)養母は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(60)養子要件具備へ [3.1]	/		
	(61)養子保護要件へ [3.2]	/		
	(62)縁組形態区分=2である(YES,NO)	/		
	YES (63)→		(64)本紙へ	
	NO (65)→		(66)3.0.1養女国籍処理へ	
NO	(67)養子保護要件へ [3.2]	/		
	(68)→		(69)3.3養子審査へ	
NO	(70)養母は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(71)養子要件具備へ [3.1]	/		
	(72)→		(73)3.3養子審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン

								備考
			NO	(73)→			(75)3.3養子審査へ	
	NO			(76)縁組形態区分=3　又は　13　又は　14　又は　15である(YES,NO)		/		
		YES		(77)→(80)へ		/		
		NO		(78)→			(79)本紙へ	
				(80)養子は外国人である(YES,NO)		/		
		YES		(81)養父は外国人である(YES,NO)		/		
			YES	(82)養子要件具備へ	[3.1]	/		
				(83)養子保護要件へ	[3.2]	/		
				(84)養母は外国人である(YES,NO)		/		
				YES	(85)縁組形態区分=3である(YES,NO)	/		
					YES (86)→		(87)本紙へ	
					NO (88)→		(89)3.0.1養女国籍処理へ	
				NO	(90)→		(91)3.3養子審査へ	
			NO	(92)養母は外国人である(YES,NO)		/		
				YES	(93)養子要件具備へ	[3.1]	/	
					(94)養子保護要件へ	[3.2]	/	
					(95)→		(96)3.3養子審査へ	
				NO	(97)養子保護要件へ	[3.2]	/	
					(98)→		(99)3.3養子審査へ	
		NO		(100)養父又は養母は外国人である(YES,NO)		/		
			YES	(101)養子要件具備へ	[3.1]	/		
				(102)→			(103)3.3養子審査へ	
			NO	(104)→			(105)3.3養子審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.0.1 養女国籍処理ルーチン

							備考
(0-1)養女の本・国籍=本籍(日本人)である(YES,NO)					/		
YES	(0-2)養女の父氏名=スペース　又は　養女の母氏名=スペース(YES,NO)				/		
	YES	(0-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				(0-4)本紙へ	
		YES	(0-5)→(1)へ		/		
		NO	(0-6)→			(0-7)本紙へ	不受理
	NO	(0-8)養女の続柄コード=30(女)である(YES,NO)			/		
		YES	(0-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する			(0-10)本紙へ	
			YES	(0-11)→(1)へ	/		
			NO	(0-12)→		(0-13)本紙へ	不受理
		NO	(0-14)→(1)へ		/		
NO	(0-15)→(1)へ				/		
(1)縁組形態区分=4　又は　7　又は　11　又は　13である(YES,NO)					/		
YES	(2)養女は外国人である(YES,NO)				/		
	YES	(3)養父は外国人である(YES,NO)			/		
		(4)養女要件具備へ [3.1.1]			/		
		(5)養女保護要件へ [3.2.1]			/		
		(6)→				(7)本紙へ	
		(8)養女保護要件へ [3.2.1]			/		
		(9)→				(10)3.3.1養女審査へ	
	NO	(11)養父は外国人である(YES,NO)			/		
		YES	(12)養女要件具備へ [3.1.1]		/		
			(13)→			(14)3.3.1養女審査へ	
		NO	(15)→			(16)3.3.1養女審査へ	
NO	(17)縁組形態区分=5　又は　8　又は　9　又は　14である(YES,NO)				/		
	YES	(18)養女は外国人である(YES,NO)			/		
		YES	(19)養母は外国人である(YES,NO)		/		
			YES	(20)養女要件具備へ [3.1.1]	/		
				(21)養女保護要件へ [3.2.1]	/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名				審査(養子縁組届)					
処理名				3.0.1 養女国籍処理ルーチン				備考	
				(22)→			(23)本紙へ		
			NO	(24)養女保護要件へ [3.2.1]		/			
				(25)→			(26)3.3.1養女審査へ		
		NO		(27)養母は外国人である(YES,NO)		/			
			YES	(28)養女要件具備へ [3.1.1]		/			
				(29)→			(30)3.3.1養女審査へ		
			NO	(31)→			(32)3.3.1養女審査へ		
	NO			(33)縁組形態区分=6 又は 10 又は 12 又は 15である(YES,NO)		/			
		YES		(34)→(37)へ		/			
		NO		(35)→			(36)本紙へ		
				(37)養女は外国人である(YES,NO)		/			
		YES		(38)養父は外国人である(YES,NO)		/			
			YES	(39)養女要件具備へ [3.1.1]		/			
				(40)養女保護要件へ [3.2.1]		/			
				(41)養母は外国人である(YES,NO)		/			
				YES (42)→			(43)本紙へ		
				NO (44)→			(45)3.3.1養女審査へ		
			NO	(46)養母は外国人である(YES,NO)		/			
				YES (47)養女要件具備へ [3.1.1]		/			
				(48)養女保護要件へ [3.2.1]		/			
				(49)→			(50)3.3.1養女審査へ		
				NO (51)養女保護要件へ [3.2.1]		/			
				(52)→			(53)3.3.1養女審査へ		
		NO		(54)養父又は養母は外国人である(YES,NO)		/			
			YES	(55)養女要件具備へ [3.1.1]		/			
				(56)→			(57)3.3.1養女審査へ		
			NO	(58)→			(59)3.3.1養女審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.1 養子要件具備証明書ルーチン

						備考
(1)養父と養母に入力があり(縁組形態区分=3、13～15)　かつ　養父と養母は外国人である(YES,NO)				/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父及び養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示する				(3)本紙へ	
	YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する				
		YES	(5)→		(6)3.0養子国籍処理へ	
		NO	(7)→		(8)本紙へ	不受理
	NO					
NO	(9)養父に入力があり(縁組形態区分=1、3、7、9、10、13～15)　かつ　外国人である(YES,NO)			/		
	YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか。」を表示する			(11)本紙へ	
		YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する			
			YES	(13)→	(14)3.0養子国籍処理へ	
			NO	(15)→	(16)本紙へ	不受理
		NO				
	NO	(17)→(18)へ			/	
	(18)養母に入力があり(縁組形態区分=2、3、8、11～15)　かつ　外国人である(YES,NO)				/	
	YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示する			(20)本紙へ	
		YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する			
			YES	(22) →	(23)3.0養子国籍処理へ	
			NO	(24) →	(25)本紙へ	不受理
		NO				
	NO	(26) →			(27)3.0養子国籍処理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.1.1 養女要件具備証明書ルーチン						備考	
(1)養父と養母に入力があり(縁組形態区分=6)　かつ　養父と養母は外国人である(YES,NO)				/				
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父及び養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示する				(3)本紙へ			
	YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する						
		YES	(5)→		(6)3.0.1養女国籍処理へ			
		NO	(7)→		(8)本紙へ		不受理	
	NO							
NO	(9)養父に入力があり(縁組形態区分=4、6、11、12)　かつ　外国人である(YES,NO)			/				
	YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか。」を表示する			(11)本紙へ			
		YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する					
			YES	(13)→	(14)3.0.1養女国籍処理へ			
			NO	(15)→	(16)本紙へ		不受理	
		NO						
	NO	(17)→(18)へ			/			
(18)養母に入力があり(縁組形態区分=5、6、9、10)　かつ　外国人である(YES,NO)					/			
	YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示する			(20)本紙へ			
		YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する					
			YES	(22)→	(23)3.0.1養女国籍処理へ			
			NO	(24)→	(25)本紙へ		不受理	
		NO						
	NO	(26)→			(27)3.0.1養女国籍処理へ			

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	3.2 養子保護要件ルーチン					備考	
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか。」を表示する				(2)本紙へ		通則法31I	
YES	(3)→(9)へ		/				
NO	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の本国法に養子制度がありませんか。」を表示する			(5)本紙へ			
YES	(6)→(9)へ		/				
NO	(7)→			(8)本紙へ		不受理	
(9)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の保護要件等は養子の本国法によります。保護要件等は審査済みですか。」を表示する							
YES	(10)→			(11)3.0養子国籍処理へ			
NO	(12)→			(13)本紙へ		不受理	

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	3.2.1 養女保護要件ルーチン					備考	
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか。」を表示する				(2)本紙へ		通則法31I	
YES	(3)→(9)へ		/				
NO	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の本国法に養子制度がありませんか。」を表示する			(5)本紙へ			
YES	(6)→(9)へ		/				
NO	(7)→			(8)本紙へ		不受理	
(9)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の保護要件等は養女の本国法によります。保護要件等は審査済みですか。」を表示する							
YES	(10)→			(11)3.0.1養女国籍処理へ			
NO	(12)→			(13)本紙へ		不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.3 養子審査ルーチン				備考	

(1)縁組形態区分=1　又は　2である(養親1人との縁組)							/		
YES	(2)縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペース　かつ　裁判確定日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 裁判確定日≠スペース　かつ　裁判確定日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日＝スペース　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日　又は 縁組成立日＝スペース　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)						/		民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満 で共同親権記録の要・不要を判定する 平成19年3月1日 成年後見法対応で削除した(1)～(9)を、第11版対応で(1)～(9)の数字を再利用。	R2.1(縁組108)
	YES	(3)同一戸籍内縁組である(YES,NO)					/		
		YES	(4)養子は本籍人である(YES,NO)				/		
			YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養子に単独親権の記録がありますか?」を表示する				(6)本紙へ	
				YES	(7)メッセージ 「養子に共同親権の記録をして下さい。」を表示する			(8)本紙へ	
				NO	(9)→(10)へ		/		
			NO						
		NO							
	NO								
NO									
(10)養子は婚姻している(YES,NO)							/		
YES	(10-1)配偶者外国人区分=0:日本人(YES,NO)						/		
	YES	(10-2)配偶者父氏名=スペース 又は 配偶者母氏名=スペース(YES,NO)					/		
		YES	(10-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					(10-4)本紙へ	
			(10-5)→(11)へ				/		
			(10-6)→					(10-7)本紙へ	不受理
		NO	(10-8)配偶者続柄コード=30(女)である(YES,NO)				/		
			YES	(10-89確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				(10-10)本紙へ	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(養子縁組届)						
処理名				3.3 養子審査ルーチン					備考	
			YES	(10-11)→(11)へ		/				
			NO	(10-12)→			(10-13)本紙へ		不受理	
		NO		(10-14)→(11)へ		/				
	NO			(10-15)→(11)へ		/				
	(11)縁組形態区分=13でかつ　養子と養母は外国人である　又は 縁組形態区分=14でかつ　養子と養父は外国人である(YES,NO)					/			縁組形態区分=14の審査漏れ対応(22版)	
	YES			(11-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
		YES		(12)養子養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ	[3.4]	/				
		NO		(12-1)養子養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ	[3.4.0.1]	/	2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
	NO			(13)養子同意書審査へ	[3.5]	/				
				(13-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
		YES		(14)養子養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ	[3.4]	/				
		NO		(14-1)養子養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ	[3.4.0.1]	/	2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
	(15)養女に入力があるか(YES,NO)					/				
	YES			(16)→			(17)3.0.1養女国籍処理へ			
	NO			(18)→			(19)3.6養子届出人審査へ			
NO	(19-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は、 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)					/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
	YES			(20)養子養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ	[3.4]	/				
		NO		(20-1)養子養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ	[3.4.0.1]	/	2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
	(21)→						(22)3.6養子届出人審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.3.1 養女審査ルーチン

						備考	
(1)縁組形態区分=4　又は　5である(養親1人との縁組)					/		
YES	(2)縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペース　かつ　裁判確定日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 裁判確定日≠スペース　かつ　裁判確定日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日＝スペース　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日　又は 縁組成立日＝スペース　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/	民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満 で共同親権記録の要・不要を判定する 平成19年3月1日 成年後見法対応で削除した(1)～(9)を、第11版対応で(1)～(9)の数字を再利用。	R2.1(縁組108)
	YES	(3)同一戸籍内縁組である(YES,NO)			/		
		YES	(4)養女は本籍人である(YES,NO)		/		
			YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養子に単独親権の記録がありますか?」を表示する		(6)本紙へ	
				YES	(7)メッセージ 「養子に共同親権の記録をして下さい。」を表示する		(8)本紙へ
				NO	(9)→(10)へ	/	
			NO				
		NO					
	NO						
NO							
(10)養女は婚姻している(YES,NO)					/		
YES	(10-1)配偶者外国人区分=0:日本人(YES,NO)				/		
	YES	(10-2)配偶者父氏名=スペース　又は　配偶者母氏名=スペース(YES,NO)			/		
		YES	(10-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			(10-4)本紙へ	
			(10-5)→(11)へ		/		
			(10-6)→			(10-7)本紙へ	不受理
		NO	(10-8)配偶者続柄コード=10(男)である(YES,NO)		/		
			YES	(10-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する		(10-10)本紙へ	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(養子縁組届)						
処理名				3.3.1 養女審査ルーチン					備考	
			YES	(10-11)→(11)へ		/				
			NO	(10-12)→			(10-13)本紙へ		不受理	
		NO		(10-14)→(11)へ		/				
	NO			(10-15)→(11)へ		/				
	(11)縁組形態区分=10でかつ　養女と養母は外国人である　又は 縁組形態区分=12でかつ　養女と養父は外国人である(YES,NO)					/			(13)の審査を(11)と統合(22版) ※(11)～(14)を養子審査ﾙｰﾁﾝと同様に修正する(22版)	
	YES	(11-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)					/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
		YES	(12)養女養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ		[3.4.1]	/				
		NO	(12-1)養女養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ		[3.4.1.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
	NO	(13)				/			養子の審査と同様、(11)で一緒に審査する(22版	
		(14)				/			(13)の変更に伴い削除(22版)	
		(15)養女同意書審査へ			[3.5.1]	/				
		(15-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)					/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
		YES	(16)養女養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ		[3.4.1]	/				
		NO	(16-1)養女養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ		[3.4.1.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
		(17)→					(18)3.6.1養女届出人審査へ			
NO	(18-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)					/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える	R2.1(縁組108)
	YES	(19)養女養親判定（2022年4月1日民法改正後）へ			[3.4.1]	/				
	NO	(19-1)養女養親判定（2022年4月1日民法改正前）へ			[3.4.1.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
	(20)→						(21)3.6.1養女届出人審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン			備考		

(1)～(18)						/		(1)～(18)までを削除
(19)縁組形態区分=1、7、9、10である(YES,NO)						/		
YES	(20)→(22)へ					/		
NO	(21)→(111)へ					/		
(22)養父は日本人である(YES,NO)						/		
YES	(22-1)縁組成立日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)					/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること) R2.1(縁組108)
	YES	(22-2)→(23)へ				/		
	NO	(23-3) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示する					(23-4)本紙へ	不受理
	(23)養父は婚姻している(YES,NO)					/		
						/		民法改正により(24)(25)削除 R2.1(縁組109)
						/		
	YES	(26)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)					/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された R2.1(縁組108)
								民法改正により(27)(28)削除 R2.1(縁組109)
		YES	(29)→(31)へ			/		
		NO	(30)→(101)へ			/		
		(31)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する					(32)本紙へ	民第795条
		YES	(33)→(101)へ			/		
		NO	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する				(35)本紙へ	民第795条
			YES	(36)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条
				YES	(37)→(101)へ	/		
				NO	(38)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(39)本紙へ	

要件定義ワークシート									作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名									審査(養子縁組届)					
処理名									3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン				備考	
					YES	(40)→(101)へ				/				
					NO	(41)→					(42)本紙へ		不受理	
			NO	(43)→							(44)本紙へ		不受理	
	NO	(45)→(87)へ								/			民法改正により(46)～(54)削除	R2.1(縁組109)
NO	(55)縁組形態区分=9、10である(YES,NO)									/				
	YES	(56)養母は日本人である(YES,NO)								/				
		YES	(57)→(101)へ							/				
		NO	(58)→(59)へ							/				
	NO													
	(59)養父は婚姻している(YES,NO)									/				
	YES									/			民法改正により(60)(61)(62)削除	R2.1(縁組109)
		(63)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)								/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
													民法改正により(64)(65)削除	R2.1(縁組109)
		YES	(66)→ (69)へ							/				
		NO	(67)→								(68)3.3養子審査へ			
		(63)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)								/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
													民法改正により(64)(65)削除	R2.1(縁組109)
		YES	(66)→ (69)へ							/				
		NO	(67)→								(68)3.3養子審査へ			
		(69)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する									(70)本紙へ		民第798条	
		YES	(71)→								(72)3.3養子審査へ			
		NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する								(74)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン

								備考	
			YES	(75)→		(76)3.3養子審査へ			
			NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(78)本紙へ			
				YES (79)→		(80)3.3養子審査へ			
				NO (81)→		(82)本紙へ		不受理	
	NO	(83)→(87)へ			/			民法改正により(84)(85)(86)削除	R2.1(縁組109)
					/				
(87)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)					/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
								民法改正により(88)削除	R2.1(縁組109)
YES	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する					(90)本紙へ		民第798条	
	YES	(91)→				(92)3.3養子審査へ			
	NO	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の直系卑属ですか。」を表示する				(94)本紙へ			
		YES	(95)→			(96)3.3養子審査へ			
		NO	(97)→			(98)本紙へ		不受理	
NO	(99)→					(100)3.3養子審査へ			R2.1(縁組109)
(101)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する						(102)本紙へ		民第796条	
YES	(103)→					(104)3.3養子審査へ			
NO	(105)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する					(106)本紙へ			
	YES	(107)→				(108)3.3養子審査へ			
	NO	(109)→				(110)本紙へ		不受理	
(111)縁組形態区分=2、8、11、12である(YES,NO)					/				
YES	(112)→(114)へ				/				
NO	(113)→(203)へ				/				
(114)養母は日本人である(YES,NO)					/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン

						備考	
YES	(114-1)縁組成立日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)			/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)
	YES	(114-2)→(115)へ		/			
	NO	(114-3) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示する			(114-4)本紙へ	不受理	
	(115)養母は婚姻している(YES,NO)			/			
						民法改正により(116)(117)削除	R2.1(縁組109)
	YES	(118)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ裁　判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)		/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
						民法改正により(119)(120)削除	R2.1(縁組109)
	YES	(121) → (123)へ		/			
	NO	(122) → (193)へ		/			
	(123)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(124)本紙へ	民第795条	
	YES	(125)→(193)へ		/			
	NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する			(127)本紙へ	民第795条	
		YES	(128)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示する			民第798条	
			YES (129)→(193)へ	/			
			NO (130)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(131)本紙へ		
			YES (132)→(193)へ	/			
			NO (133)→		(134)本紙へ	不受理	
		NO	(135)→		(136)本紙へ	不受理	
	NO	(137)→(179)へ		/		民法改正により(138)～(146)削除	R2.1(縁組109)
NO	(147)縁組形態区分=11、12である(YES,NO)			/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン

							備考	
YES	(148)養父は日本人である(YES,NO)				/			
	YES	(149)→(193)へ			/			
	NO	(150)→(151)へ			/			
NO								
(151)養母は婚姻している(YES,NO)					/			
							民法改正により (152)(153)(154)削除	R2.1(縁組109)
YES	(155)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
							民法改正により(156)(157)削除	R2.1(縁組109)
	YES	(158)→(161)へ			/			
	NO	(159)→				(160)3.3養子審査へ		
	(161)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する					(162)本紙へ	民第798条	
	YES	(163)→				(164)3.3養子審査へ		
	NO	(165)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(166)本紙へ		
		YES	(167)→			(168)3.3養子審査へ		
		NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する			(170)本紙へ		
			YES	(171)→		(172)3.3養子審査へ		
			NO	(173)→		(174)本紙へ	不受理	
NO	(175)→(179)へ				/		民法改正により (176)(177)(178)削除	R2.1(縁組109)
(179)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)					/			R2.1(縁組108)
							民法改正により(180)削除	R2.1(縁組109)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン					備考		
YES	(181)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				(182)本紙へ	民第798条		
	YES	(183)→			(184)3.3養子審査へ			
	NO	(185)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の直系卑属ですか。」を表示する			(186)本紙へ			
		YES	(187)→		(188)3.3養子審査へ			
		NO	(189)→		(190)本紙へ	不受理		
NO	(191)→				(192)3.3養子審査へ		R2.1(縁組109)	
(193)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する					(194)本紙へ	民第796条		
YES	(195)→				(196)3.3養子審査へ			
NO	(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する				(198)本紙へ			
	YES	(199)→			(200)3.3養子審査へ			
	NO	(201)→			(202)本紙へ	不受理		
(203)縁組形態区分=3である(YES,NO)				/				
YES	(203-1)養父は日本人である(YES,NO)			/				
	YES	(203-2)縁組成立日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)				民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R4(縁組121)	
		YES	(203-3)→(203-6)へ	/				
		NO	(203-4) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示する		(203-5)本紙へ	不受理		
	(203-6)養母は日本人である(YES,NO)			/				
	YES	(203-7)縁組成立日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)				民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R4(縁組121)	
		YES	(203-8)→(207)へ	/				
		NO	(203-9) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示する		(203-10)本紙へ	不受理		
						民法改正により (204)(205)(206)削除	R2.1(縁組109)	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン						備考		
	(207)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)				/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された		R2.1(縁組108)
	YES	(208)→				(209)3.3養子審査へ			
	NO						民法改正により(210)削除		R2.1(縁組109)
		(211)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				(212)本紙へ	民第798条		
		YES	(213)→			(214)3.3養子審査へ			
		NO	(215)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示する			(216)本紙へ			
			YES	(217)→		(218)3.3養子審査へ			
			NO	(219)→		(220)本紙へ	不受理		
NO	(221)→					(222)3.3養子審査へ			R2.1(縁組109)

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン				備考	

(1)～(18)						/		(1)～(18)までを削除
(19)縁組形態区分=1、7、9、10である(YES,NO)						/		
YES	(20)→(22)へ					/		
NO	(21)→(111)へ					/		
(22)養父は日本人である(YES,NO)						/		
YES	(23)養父は婚姻している(YES,NO)					/		
	YES	(24)養子は婚姻している(YES,NO)				/		
		YES	(25)→(101)へ			/		
		NO	(26)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)			/		
			YES	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(28)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(29)→(31)へ	/		
				NO	(30)→(101)へ	/		
			NO					
			(31)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(32)本紙へ	民第795条
			YES	(33)→(101)へ		/		
			NO	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する			(35)本紙へ	民第795条
				YES	(36)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する			民第798条
					YES	(37)→(101)へ	/	
					NO	(38)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(39)本紙へ
						YES	(40)→(101)へ	/
						NO	(41)→	(42)本紙へ	不受理
				NO	(43)→		(44)本紙へ	不受理

R2.1(縁組108)
※22版(平成31年3月31日) までの
3.4養子養親判定ルーチン
をそのままコピーした。

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

							備考
	NO	(45)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		民第792条
	YES	(46)→(84)へ		/		
	NO	(47)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		
		YES	(48)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は婚姻したことがありますか。」を表示する		(49)本紙へ	民第753条
			YES	(50)→(84)へ	/		
			NO	(51)→		(52)本紙へ	不受理
		NO	(53)エラーメッセージ　「養父は成年者ではありません。」を表示する		(54)本紙へ	不受理
NO	(55)縁組形態区分=9、10である(YES,NO)			/		
	YES	(56)養母は日本人である(YES,NO)		/		
		YES	(57)→(101)へ	/		
		NO	(58)→(59)へ	/		
	NO					
	(59)養父は婚姻している(YES,NO)			/		
	YES	(60)養子は婚姻している(YES,NO)		/		
		YES	(61)→		(62)3.3養子審査へ	
		NO	(63)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)		/	
			YES	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(65)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(66)→ (69)へ	/	
				NO	(67)→		(68)3.3養子審査へ
			NO				
			(69)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		(70)本紙へ	民第798条

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

								備考
			YES	(71)→		(72)3.3養子審査へ		
			NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する		(74)本紙へ		
				YES (75)→		(76)3.3養子審査へ		
				NO (77)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(78)本紙へ		
				YES (79)→		(80)3.3養子審査へ		
				NO (81)→		(82)本紙へ		不受理
	NO	(83)→(84)へ				/		
(84)養子は婚姻している(YES,NO)						/		
YES	(85)→					(86)3.3養子審査へ		
NO	(87)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)					/		
	YES	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する				(89)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
		YES	(90)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する					民第798条
		YES	(91)→			(92)3.3養子審査へ		
		NO	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の直系卑属ですか。」を表示する			(94)本紙へ		
			YES (95)→			(96)3.3養子審査へ		
			NO (97)→			(98)本紙へ		不受理
		NO	(99)→			(100)3.3養子審査へ		
	NO							
(101)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する						(102)本紙へ		民第796条
YES	(103)→					(104)3.3養子審査へ		
NO	(105)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する					(106)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

						備考
	YES	(107)→			(108)3.3養子審査へ	
	NO	(109)→			(110)本紙へ	不受理
(111)縁組形態区分=2、8、11、12である(YES,NO)				/		
YES	(112)→(114)へ			/		
NO	(113)→(203)へ			/		
(114)養母は日本人である(YES,NO)				/		
YES	(115)養母は婚姻している(YES,NO)			/		
	YES	(116)養子は婚姻している(YES,NO)		/		
		YES	(117)→(193)へ	/		
		NO	(118)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
			YES	(119)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(120)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(121) → (123)へ	/	
				NO	(122) → (193)へ	/	
			NO				
			(123)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する		(124)本紙へ	民第795条
			YES	(125)→(193)へ	/		
			NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する		(127)本紙へ	民第795条
				YES	(128)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示する		民第798条
					YES (129)→(193)へ	/	
					NO (130)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(131)本紙へ
					YES (132)→(193)へ	/	
					NO (133)→		(134)本紙へ	不受理
				NO	(135)→		(136)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

							備考
	NO	(137)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/			民第792条
		YES	(138)→(176)へ		/		
		NO	(139)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		
			YES	(140)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は婚姻したことがありますか。」を表示する		(141)本紙へ	民第753条
				YES	(142)→(176)へ	/	
				NO	(143)→		(144)本紙へ	不受理
			NO	(145)エラーメッセージ　「養母は成年者ではありません。」を表示する		(146)本紙へ	不受理
NO	(147)縁組形態区分=11、12である(YES,NO)				/		
	YES	(148)養父は日本人である(YES,NO)			/		
		YES	(149)→(193)へ		/		
		NO	(150)→(151)へ		/		
	NO						
	(151)養母は婚姻している(YES,NO)				/		
	YES	(152)養子は婚姻している(YES,NO)			/		
		YES	(153)→			(154)3.3養子審査へ	
		NO	(155)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)		/		
			YES	(156)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(157)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(158)→(161)へ	/	
				NO	(159)→		(160)3.3養子審査へ	
			NO					
			(161)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する			(162)本紙へ	民第798条

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

										備考
			YES	(163)→				(164)3.3養子審査へ		
			NO	(165)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(166)本紙へ		
				YES	(167)→			(168)3.3養子審査へ		
				NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する			(170)本紙へ		
					YES	(171)→		(172)3.3養子審査へ		
					NO	(173)→		(174)本紙へ		不受理
	NO	(175)→(176)へ					/			
(176)養子は婚姻している(YES,NO)							/			
YES	(177)→							(178)3.3養子審査へ		
NO	(179)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)						/			
	YES	(180)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する						(181)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
		YES	(182)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する							民第798条
			YES	(183)→				(184)3.3養子審査へ		
			NO	(185)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の直系卑属ですか。」を表示する				(186)本紙へ		
				YES	(187)→			(188)3.3養子審査へ		
				NO	(189)→			(190)本紙へ		不受理
		NO	(191)→					(192)3.3養子審査へ		
	NO									
(193)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する								(194)本紙へ		民第796条
YES	(195)→							(196)3.3養子審査へ		
NO	(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する							(198)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.1

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

						備考
	YES	(199)→			(200)3.3養子審査へ	
	NO	(201)→			(202)本紙へ	不受理
(203)縁組形態区分=3である(YES,NO)				/		
YES	(204)養子は婚姻している(YES,NO)			/		
	YES	(205)→			(206)3.3養子審査へ	
	NO	(207)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		
		YES	(208)→		(209)3.3養子審査へ	
		NO	(210)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(211)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
			YES	(212)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		民第798条
				YES (213)→	(214)3.3養子審査へ	
				NO (215)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示する	(216)本紙へ	
				YES (217)→	(218)3.3養子審査へ	
				NO (219)→	(220)本紙へ	不受理
			NO	(221)→	(222)3.3養子審査へ	
NO						

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)						
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン				備考		
(1)～(26)		/			(1)～(26)までを削除		
(27)縁組形態区分=4、7、11、13である(YES,NO)		/					
YES	(28)→(30)へ	/					
NO	(29)→(117)へ	/					
(30)養父は日本人である(YES,NO)		/					
YES	(30-1)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/			民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)	
YES	(30-2)→(31)へ	/					
NO	(30-3) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示する		(30-4)本紙へ		不受理		
(31)養父は婚姻している(YES,NO)		/					
					民法改正により(32)(33)削除	R2.1(縁組109)	
YES	(34)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)	
YES	(34-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)	
YES	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(36)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		
YES	(37)→(39)へ	/					
NO	(38)→(107)へ	/					
NO	(38-1)→(39)へ	/					
NO	(38-2)→(107)へ	/					
(39)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(40)本紙へ		民第795条		
YES	(41)→(107)へ	/					
NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する		(43)本紙へ		民第795条		
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン

									備考	
				YES	(45)→(107)へ	/				
				NO	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(47)本紙へ			
					YES (48)→(107)へ	/				
					NO (49)→		(50)本紙へ		不受理	
			NO	(51)→			(52)本紙へ		不受理	
	NO	(53)→(93)へ				/			民法改正により(54)～(61)削除	R2.1(縁組109)
NO	(62)縁組形態区分=11でかつ、養母は日本人である(YES,NO)					/				
	YES	(63)→(107)へ				/				
	NO	(64)→(65)へ				/				
	(65)養父は婚姻している(YES,NO)					/				
									民法改正により(66)(67)(68)削除	R2.1(縁組109)
	YES	(69)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)					/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
		YES	(69-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)			/		民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)
			YES	(70)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(71)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
				YES	(72)→ (75)へ	/				
				NO	(73)→		(74)3.3.1養女審査へ			
			NO	(74-1)→(75)へ		/				R2.1(縁組109)
		NO	(74-2)→				(74-3)3.3.1養女審査へ			
		(75)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する					(76)本紙へ		民第798条	
		YES	(77)→				(78)3.3養子審査へ			
		NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(80)本紙へ			
			YES	(81)→			(82)3.3.1養女審査へ			
			NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する			(84)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン			備考		
YES	(85)→		(86)3.3.1養女審査へ			
NO	(87)→		(88)本紙へ	不受理		
NO	(89)→(93)へ	/			R2.1(縁組109)	
				民法改正により(90)(91)(92)削		
(93)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)		/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)	
YES	(93-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/	民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)	
YES	(94)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(95)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		
YES	(95-1)→ (96)へ	/				
NO	(95-2)→		(95-3)3.3.1養女審査			
NO	(95-4)→(96)へ	/				
	(96)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		(96-1)本紙へ	民第798条		
YES	(97)→		(98)3.3.1養女審査へ			
NO	(99)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示する		(100)本紙へ			
YES	(101)→		(102)3.3.1養女審査			
NO	(103)→		(104)本紙へ	不受理		
NO	(105)→		(106)3.3.1養女審査			
(107)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する			(108)本紙へ	民第796条		
YES	(109)→		(110)3.3.1養女審査			
NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する		(112)本紙へ			
YES	(113)→		(114)3.3.1養女審査			
NO	(115)→		(116)本紙へ	不受理		
(117)縁組形態区分=5、8、9、14である(YES,NO)		/				
YES	(118)→(120)へ	/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン

					備考	
NO	(119)→(207)へ		/			
(120)養母は日本人である(YES,NO)			/			
YES	(120-1)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)
YES	(120-2)→(121)へ		/			
NO	(120-3) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示する			(120-4)本紙へ	不受理	
(121)養母は婚姻している(YES,NO)			/			
					民法改正により(122)(123)削除	R2.1(縁組109)
YES	(124)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)		/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
YES	(124-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)		/	民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)
YES	(125)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(126)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
YES	(127)→(129)へ		/			
NO	(128)→(197)へ		/			
NO	(128-1)→(129)へ		/			
NO	(128-2)→(197)へ		/			
(129)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(130)本紙へ	民第795条	
YES	(131)→(197)へ		/			
NO	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する			(133)本紙へ	民第795条	
YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条	
YES	(135)→(197)へ		/			
NO	(136)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する			(137)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン

												備考	
				YES	(138)→(197)へ		/						
				NO	(139)→			(140)本紙へ				不受理	
			NO	(141)→				(142)本紙へ				不受理	
	NO	(143)→(183)へ					/					民法改正により(144)～(151)削除	R2.1(縁組109)
NO	(152)縁組形態区分=9、14で かつ 、養父は日本人である(YES,NO)						/						
	YES	(153)→(197)へ					/						
	NO	(154)→(155)へ					/						
	(155)養母は婚姻している(YES,NO)						/						
												民法改正により (156)(157)(158)削除	R2.1(縁組109)
	YES	(159)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)						/					民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
		YES	(159-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項				R2.1(縁組109)
			YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する				(161)本紙へ				昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
				YES	(162)→(165)へ		/						
				NO	(163)→			(164)3.3.1養女審査へ					
			NO	(164-1)→(165)へ			/						
		NO	(164-2)→					(164-3)3.3.1養女審査へ					
		(165)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する						(166)本紙へ				民第798条	
		YES	(167)→					(168)3.3.1養女審査へ					
		NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する					(170)本紙へ					
			YES	(171)→				(172)3.3.1養女審査へ					
			NO	(173)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する				(174)本紙へ					
				YES	(175)→			(176)3.3.1養女審査へ					
				NO	(177)→			(178)本紙へ				不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン					備考		
NO	(179)→(183)へ		/			民法改正により (180)(181)(182)削除		R2.1(縁組109)
(183)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された		R2.1(縁組108)
YES	(183-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項			R2.1(縁組109)
YES	(184)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(185)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		
YES	(185-1)→ (186)へ		/					
NO	(185-2)→			(185-3)3.3.1養女審査へ				
NO	(185-4)→(186)へ		/					
(186)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				(186-1)本紙へ		民第798条		
YES	(187)→			(188)3.3.1養女審査へ				
NO	(189)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示する			(190)本紙へ				
YES	(191)→			(192)3.3.1養女審査へ				
NO	(193)→			(194)本紙へ		不受理		
NO	(195)→			(196)3.3.1養女審査へ				
(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する				(198)本紙へ		民第796条		
YES	(199)→			(200)3.3.1養女審査へ				
NO	(201)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する			(202)本紙へ				
YES	(203)→			(204)3.3.1養女審査へ				
NO	(205)→			(206)本紙へ		不受理		
(207)縁組形態区分=6である(YES,NO)			/					
YES	(207-1)養父は日本人である(YES,NO)		/					

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン					備考		
YES	(207-2)縁組成立日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)					民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)		R4(縁組121)
YES	(207-3)→(207-6)へ		/					
NO	(207-4) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示する			(207-5)本紙へ		不受理		
(207-6)養母は日本人である(YES,NO)			/					
YES	(207-7)縁組成立日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)					民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)		R4(縁組121)
YES	(207-8)→(211)へ		/					
NO	(207-9) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示する			(207-10)本紙へ		不受理		
						民法改正により (208)(209)(210)削除		R2.1(縁組109)
(211)縁組成立日≠スペースの場合　養女の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合　養女の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養女の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)			/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された		R2.1(縁組108)
YES	(212)→			(213)3.3.1養女審査へ				
NO	(213-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項			R2.1(縁組109)
YES	(214)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(215)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		
YES	(215-1)→(216)へ		/					
NO	(215-2)→			(215-3)3.3.1養女審査へ				
NO	(215-4)→(216)へ		/					
(216)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する						民第798条		
YES	(217)→			(218)3.3.1養女審査へ				
NO	(219)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示する			(220)本紙へ				
YES	(221)→			(222)3.3.1養女審査へ				
NO	(223)→			(224)本紙へ		不受理		

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名				審査(養子縁組届)						
処理名				3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン				備考		
										R2.1(縁組109)
NO	(225)→							(226)3.3.1養女審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

						備考	
(1)～(26)					/	(1)～(26)までを削除	R2.1(縁組108) ※22版(平成31年3月31日) までの 3.4.1養女養親判定ルーチンをそのままコピーした。
(27)縁組形態区分=4、7、11、13である(YES,NO)					/		
YES	(28)→(30)へ				/		
NO	(29)→(117)へ				/		
(30)養父は日本人である(YES,NO)					/		
YES	(31)養父は婚姻している(YES,NO)				/		
	YES	(32)養女は婚姻している(YES,NO)			/		
		YES	(33)→(107)へ		/		
		NO	(34)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)		/		
			YES	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(36)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(37)→(39)へ	/	
				NO	(38)→(107)へ	/	
			NO				
			(39)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(40)本紙へ	民第795条
			YES	(41)→(107)へ		/	
			NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する		(43)本紙へ	民第795条
				YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		民第798条
					YES	(45)→(107)へ	/
					NO	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する	(47)本紙へ
						YES	(48)→(107)へ	/
						NO	(49)→	(50)本紙へ	不受理
				NO	(51)→		(52)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

							備考
	NO	(53)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		民第792条
	YES	(54)→(90)へ		/		
	NO	(55)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		
		YES	(56)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は婚姻したことがありますか。」を表示する		(57)本紙へ	民第753条
			YES (58)→(90)へ	/		
			NO (59)→		(60)本紙へ	不受理
		NO	(61)エラーメッセージ　「養父は成年者ではありません。」を表示する			不受理
NO			(62)縁組形態区分=11でかつ、養母は日本人である(YES,NO)	/		
	YES		(63)→(107)へ	/		
	NO		(64)→(65)へ	/		
			(65)養父は婚姻している(YES,NO)	/		
	YES		(66)養女は婚姻している(YES,NO)	/		
		YES	(67)→		(68)3.3.1養女審査へ	
		NO	(69)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
			YES (70)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する		(71)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
			YES (72)→ (75)へ	/		
			NO (73)→		(74)3.3.1養女審査へ	
			NO			
			(75)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する		(76)本紙へ	民第798条
			YES (77)→		(78)3.3養子審査へ	

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

									備考
			NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(80)本紙へ		
			YES	(81)→			(82)3.3.1養女審査へ		
			NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する			(84)本紙へ		
				YES	(85)→		(86)3.3.1養女審査へ		
				NO	(87)→		(88)本紙へ		不受理
	NO	(89)→(90)へ				/			
(90)養女は婚姻している(YES,NO)						/			
YES	(91)→						(92)3.3.1養女審査へ		
NO	(93)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)					/			
	YES	(94)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する					(95)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
		YES	(96)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する						民第798条
			YES	(97)→			(98)3.3.1養女審査へ		
			NO	(99)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示する			(100)本紙へ		
				YES	(101)→		(102)3.3.1養女審査へ		
				NO	(103)→		(104)本紙へ		不受理
		NO	(105)→				(106)3.3.1養女審査へ		
	NO								
(107)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示する							(108)本紙へ		民第796条
YES	(109)→						(110)3.3.1養女審査へ		
NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する						(112)本紙へ		
	YES	(113)→					(114)3.3.1養女審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン				備考	

	NO	(115)→					(116)本紙へ	不受理
(117)縁組形態区分=5、8、9、14である(YES,NO)						/		
YES	(118)→(120)へ					/		
NO	(119)→(207)へ					/		
(120)養母は日本人である(YES,NO)						/		
YES	(121)養母は婚姻している(YES,NO)					/		
	YES	(122)養女は婚姻している(YES,NO)				/		
		YES	(123)→(197)へ			/		
		NO	(124)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)			/		
			YES	(125)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(126)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
				YES	(127) → (129)へ	/		
				NO	(128) → (197)へ	/		
			NO					
			(129)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する				(130)本紙へ	民第795条
			YES	(131)→(197)へ		/		
			NO	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示する			(133)本紙へ	民第795条
				YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示する			民第798条
					YES	(135)→(197)へ	/	
					NO	(136)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する		(137)本紙へ
						YES	(138)→(197)へ	/
						NO	(139)→	(140)本紙へ 不受理
				NO	(141)→		(142)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート			作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン						備考	
NO	(143)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)			/			民第792条	
YES	(144)→(180)へ			/				
NO	(145)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日(YES,NO)			/				
YES	(146)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は婚姻したことがありますか。」を表示する				(147)本紙へ		民第753条	
	YES	(148)→(180)へ		/				
	NO	(149)→			(150)本紙へ		不受理	
NO	(151)エラーメッセージ　「養母は成年者ではありません。」を表示する						不受理	
NO	(152)縁組形態区分=9、14で かつ 、養父は日本人である(YES,NO)			/				
YES	(153)→(197)へ			/				
NO	(154)→(155)へ			/				
(155)養母は婚姻している(YES,NO)				/				
YES	(156)養女は婚姻している(YES,NO)			/				
YES	(157)→				(158)3.3.1養女審査へ			
NO	(159)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 又は　裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 又は　縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)			/				
YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する				(161)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
	YES	(162)→(165)へ		/				
	NO	(163) →			(164)3.3.1養女審査へ			
NO								
(165)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する					(166)本紙へ		民第798条	
YES	(167)→				(168)3.3.1養女審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン

									備考
			NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示する			(174)本紙へ		
			YES	(171)→			(172)3.3.1養女審査へ		
			NO	(173)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示する			(174)本紙へ		
				YES	(175)→		(176)3.3.1養女審査へ		
				NO	(177)→		(178)本紙へ		不受理
		NO	(179)→(180)へ			/			
(180)養女は婚姻している(YES,NO)						/			
YES	(181)→						(182)3.3.1養女審査へ		
NO	(183)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)						/		
	YES	(184)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する					(185)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
		YES	(186)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する						民第798条
			YES	(187)→			(188)3.3.1養女審査へ		
			NO	(189)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の直系卑属ですか。」を表示する			(190)本紙へ		
				YES	(191)→		(192)3.3.1養女審査へ		
				NO	(193)→		(194)本紙へ		不受理
		NO	(195)→				(196)3.3.1養女審査へ		
	NO								
(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」							(198)本紙へ		民第796条
YES	(199)→						(200)3.3.1養女審査へ		
NO	(201)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する						(202)本紙へ		
	YES	(203)→					(204)3.3.1養女審査へ		

要件定義ワークシート				作成日付	令和 2年 3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン							備考	
	NO	(205)→				(206)本紙へ		不受理	
(207)縁組形態区分=6である(YES,NO)					/				
YES	(208)養女は婚姻している(YES,NO)				/				
	YES	(209)→				(210)3.3.1養女審査へ			
	NO	(211)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)			/				
		YES	(212)→			(213)3.3.1養女審査へ			
		NO	(214)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示する			(215)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
			YES	(216)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示する				民第798条	
				YES	(217)→		(218)3.3.1養女審査へ		
				NO	(219)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示する		(220)本紙へ		
					YES	(221)→		(222)3.3.1養女審査へ	
					NO	(223)→		(224)本紙へ	不受理
			NO	(225)→			(226)3.3.1養女審査へ		
NO									

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名	3.5 養子同意書ルーチン							備考	
(1)縁組形態区分=1～3、9、11、13、14である(YES,NO)					/				
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の配偶者の同意書がありますか。」を表示する					(3)本紙へ		民第796条	
	YES	(4)→				(5)3.3養子審査へ			
	NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する				(7)本紙へ			
		YES	(8)→			(9)3.3養子審査へ			
		NO	(10)→			(11)本紙へ		不受理	
NO	(12)→					(13)3.3養子審査へ			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名	3.5.1 養女同意書ルーチン							備考	
(1)縁組形態区分=4～6、9～12である(YES,NO)						/			
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の配偶者の同意書がありますか。」を表示する						(3)本紙へ	民第796条	
	YES	(4)→					(5)3.3.1養女審査へ		
	NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示する					(7)本紙へ		
		YES	(8)→				(9)3.3.1養女審査へ		
		NO	(10)→				(11)本紙へ	不受理	
NO	(12)→						(13)3.3.1養女審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.6 養子届出人ルーチン				備考	

(1)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+15年(15歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+15年(15歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+15年(15歳未満)>受領日(YES,NO)		/		
YES	(1-1)裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペースである(YES,NO)	/		
YES	(1-2)→(2)へ	/		
NO	(1-3)→(26-1)へ	/		
(2)後見人縁組区分=1である(YES,NO)		/		
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示する		(4)本紙へ	民第794条
YES	(5)→(20)へ	/		
NO	(6)→		(7)本紙へ	不受理
NO	(8)→(9)へ	/		
(9)縁組形態区分=1　かつ　養子の父氏名の名=養父の名　又は 縁組形態区分=2　かつ　養子の母氏名の名=養母の名　である(YES,NO)		/		【22版の修正】 養子の父の名と養父の名が同じ 又は 養子の母の名と養母の名が同じ場合、(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 養子の父の名と養父の名が異なるが養父が本籍人である 又は 養子の母の名と養母の名が異なるが養母が本籍人である場合、身分事項に名の変更、文字訂正、文字更正があれば(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 それ以外は(9-8)の審査を行う。
YES	(9-0-1)→(9-1)へ	/		
NO	(9-0-2)縁組形態区分=1　かつ　養父が本籍人である　又は 縁組形態区分=2　かつ　養母が本籍人である(YES,NO)	/		
YES	(9-0-3)養父　又は　養母の身分事項に、 名の変更(3201)　又は　文字訂正(5011)　又は　文字更正(7011)がある。(YES,NO)	/		
YES	(9-0-4)→(9-1)へ	/		
NO	(9-0-5)→(9-8)へ	/		
NO				
(9-1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。」を表示する			(9-2)本紙へ	昭和23.11.30民事甲第3186号回答
YES	(9-3)届出人資格1=78:特別代理人である(YES,NO)	/		
YES	(9-4)→(36)へ	/		
NO	(9-5)エラーメッセージ 「嫡出子でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。」を表示する		(9-6)本紙へ	不受理
NO	(9-7)→(9-8)へ	/		
(9-8)届出人に入力があり　かつ　特別代理人以外である(YES,NO)		/		民第797条

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6 養子届出人ルーチン

						備考
YES	(10)→(13)へ			/		
NO	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人が届出人になれるケースですか」を表示する				(11-1)本紙へ	
	YES	(11-2)→(36)へ		/		
	NO	(11-3)→			(12)本紙へ	不受理
(13)届出人資格コード1かつ2が03で、届出人氏名1=届出人氏名2である(YES,NO)				/		
YES	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示する				(15)本紙へ	
	YES	(16)→(20)へ		/		
	NO	(17)→			(18)本紙へ	不受理
NO	(19)→(20)へ			/		
(20)届出人は児童福祉施設の長である(YES,NO)				/		昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「都道府県知事の許可書が添付されていますか。」を表示する				(22)本紙へ	児童福祉法第47条 昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
	YES	(23)→(27)へ		/		
	NO	(24)→			(25)本紙へ	不受理
NO	(26)→(26-1)へ			/		
(26-1)届出人資格1=1　又は　16である(YES,NO)				/		
YES	(26-2)養子の父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)			/		
	YES	(26-3)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する			(26-4)本紙へ	
		YES	(26-5)→(26-9)へ	/		
		NO	(26-6)→		(26-7)本紙へ	不受理
	NO	(26-8)→(26-9)へ		/		
NO						
(26-9)届出人資格2=1　又は　16である(YES,NO)				/		
YES	(26-10)養子の父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)			/		
	YES	(26-11)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する			(26-12)本紙へ	
		YES	(26-13)→(26-17)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6 養子届出人ルーチン

						備考
		NO	(26-14)→		(26-15)本紙へ	不受理
	NO		(26-16)→(26-17)へ	/		
NO						
(26-17)届出人資格1=2　又は　17である(YES,NO)				/		
YES	(26-18)養子の母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)			/		
	YES		(26-19)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する		(26-20)本紙へ	
		YES	(26-21)→(26-25)へ	/		
		NO	(26-22)→		(26-23)本紙へ	不受理
	NO		(26-24)→(26-25)へ	/		
NO						
(26-25)届出人資格2=2　又は　17である(YES,NO)				/		
YES	(26-26)養子の母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)			/		
	YES		(26-27)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する		(26-28)本紙へ	
		YES	(26-29)→(26-33)へ	/		
		NO	(26-30)→		(26-31)本紙へ	不受理
	NO		(26-32)→(26-33)へ	/		
NO						
(26-33)養子は本籍人でかつ　届出人資格1=10　かつ　代諾者コード1=1である(YES,NO)				/		
YES	(26-34)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)			/		
	YES		(26-35)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-36)本紙へ	
		YES	(26-37)→(26-41)へ	/		
		NO	(26-38)→		(26-39)本紙へ	不受理
	NO		(26-40)→(26-41)へ	/		
NO						
(26-41)養子は本籍人でかつ　届出人資格2=10　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)				/		
YES	(26-42)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6 養子届出人ルーチン

					備考
YES	(26-43)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-44)本紙へ		
YES	(26-45)→(26-49)へ		/		
NO	(26-46)→		(26-47)本紙へ		不受理
NO	(26-48)→(26-49)へ		/		
NO			/		
(26-49)養子は本籍人でかつ　届出人資格1=11　かつ　代諾者コード1=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-50)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
YES	(26-51)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-52)本紙へ		
YES	(26-53)→(26-57)へ		/		
NO	(26-54)→		(26-55)本紙へ		不受理
NO	(26-56)→(26-57)へ		/		
NO			/		
(26-57)養子は本籍人でかつ　届出人資格2=11　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-58)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		
YES	(26-59)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-60)本紙へ		
YES	(26-61)→(27)へ		/		
NO	(26-62)→		(26-63)本紙へ		不受理
NO	(26-64)→(27)へ		/		
NO			/		
(27)養子は非本籍人でかつ、 届出人資格1=10　又は　11　かつ　代諾者コード1=1であるか　又は 届出人資格2=10　又は　11　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)			/		
YES	(28)養父氏名に入力がある場合、届出人資格が10の届出人氏名と異なり、 養母氏名に入力がある場合、届出人資格が11の届出人氏名と異なる(YES,NO)		/		
YES	(29)→(36)へ		/		
NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示する		(31)本紙へ		
YES	(32)→(36)へ		/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(養子縁組届)					
処理名				3.6 養子届出人ルーチン				備考	
			NO	(33)→		(34)本紙へ		不受理	
	NO			(35)→(36)へ	/				
	(36)養子を監護する者がいる(YES,NO)				/				
	YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者は養子の父又は母ですか。」を表示する				(38)本紙へ			
		YES	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者の同意書が添付されていますか。」を表示する					民第797条2項	
			YES	(40)→		(41)3.3養子審査へ			
			NO	(42)→		(43)本紙へ		不受理	
		NO		(44)→		(45)3.3養子審査へ			
	NO								
NO	(46)後見人縁組区分=1　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペース　である (YES,NO)				/				
	YES	(47)→(53)へ			/				
	NO	(47-1)裁判確定日≠スペース　又は　縁組成立日≠スペースである			/				
		YES	(47-2)→			(47-3)3.3養子審査へ			
		NO	(48)届出人資格＝スペースである(YES,NO)		/				
			YES	(49)→		(50)3.3養子審査へ			
			NO	(51)エラーメッセージ　「届出人は本人でなければなりません。」を表示する		(52)本紙へ			
	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は未成年後見を受けていますね。」を表示する								
	YES	(54)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人･未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付が ありますか。」を表示する						民第794条	
		YES	(55)→			(56)3.3養子審査へ			
		NO	(57)→			(58)本紙へ		不受理	
	NO	(59)エラーメッセージ　「未成年後見人･未成年被後見人の縁組はできません。」を表示する						不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子縁組届)					
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン				備考	

(1)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+15年(15歳未満)>縁組成立日　又は 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+15年(15歳未満)>裁判確定日　又は 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+15年(15歳未満)>受領日(YES,NO)			/			
YES	(1-1)裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペースである(YES,NO)		/			
	YES	(1-2)→(2)へ	/			
	NO	(1-3)→(26-1)へ	/			
	(2)後見人縁組区分=1である(YES,NO)		/			
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示する		(4)本紙へ	民第794条	
		YES (5)→(20)へ	/			
		NO (6)→		(7)本紙へ	不受理	
	NO	(8)→(9)へ	/			
	(9)縁組形態区分=4　かつ　養女の父氏名の名=養父の名　又は 縁組形態区分=5　かつ　養女の母氏名の名=養母の名　である(YES,NO)		/		【22版の修正】 養女の父の名と養父の名が同じ 又は養女の母の名と養母の名が同じ場合、(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 養女の父の名と養父の名が異なるが養父が本籍人である 又は 養女の母の名と養母の名が異なるが養母が本籍人である場合、身分事項に名の変更、文字訂正、文字更正があれば(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 それ以外は(9-8)の審査を行う。	R2.1 (誤修正)
	YES	(9-0-1)→(9-1)へ	/			
	NO	(9-0-2)縁組形態区分=4　かつ　養父が本籍人である　又は 縁組形態区分=5　かつ　養母が本籍人である(YES,NO)	/			
		YES (9-0-3)養父　又は　養母の身分事項に、 名の変更(3201)　又は　文字訂正(5011)　又は　文字更正(7011)がある。(YES,NO)	/			
		YES (9-0-4)→(9-1)へ	/			
		NO (9-0-5)→(9-8)へ	/			
		NO				
	(9-1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。」を表示する			(9-2)本紙へ	昭和23.11.30民事甲第3186号回答	
	YES	(9-3)届出人資格1=78:特別代理人である(YES,NO)	/			
		YES (9-4)→(36)へ	/			
		NO (9-5)エラーメッセージ 「嫡出子でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。」を表示する		(9-6)本紙へ	不受理	
	NO	(9-7)→(9-8)へ	/			
	(9-8)届出人に入力があり　かつ　特別代理人以外である(YES,NO)		/		民第797条	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン

					備考
YES	(10)→(13)へ		/		
NO	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人が届出人になれるケースですか」を表示する			(11-1)本紙へ	
	YES	(11-2)→(36)へ		/	
	NO	(11-3)→			(12)本紙へ	不受理
(13)届出人資格コード1かつ2が03で、届出人氏名1=届出人氏名2である(YES,NO)				/	
YES	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示する			(15)本紙へ	
	YES	(16)→(20)へ		/	
	NO	(17)→			(18)本紙へ	不受理
NO	(19)→(20)へ		/		
(20)届出人は児童福祉施設の長である(YES,NO)				/		昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「都道府県知事の許可書が添付されていますか。」を表示する			(22)本紙へ	児童福祉法第47条 昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
	YES	(23)→(27)へ		/	
	NO	(24)→			(25)本紙へ	不受理
NO	(26)→(26-1)へ		/		
(26-1)届出人資格1=1　又は　16　である(YES,NO)				/		
YES	(26-2)養女の父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)			/		
	YES	(26-3)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する			(26-4)本紙へ	
		YES	(26-5)→(26-9)へ		/	
		NO	(26-6)→			(26-7)本紙へ	不受理
	NO	(26-8)→(26-9)へ		/		
NO						
(26-9)届出人資格2=1　又は　16である(YES,NO)				/		
YES	(26-10)養女の父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)			/		
	YES	(26-11)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する			(26-12)本紙へ	
		YES	(26-13)→(26-17)へ		/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン

						備考
		NO	(26-14)→		(26-15)本紙へ	不受理
	NO		(26-16)→(26-17)へ	/		
NO						
(26-17)届出人資格1=2　又は　17である(YES,NO)				/		
YES	(26-18)養女の母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)			/		
	YES		(26-19)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する		(26-20)本紙へ	
		YES	(26-21)→(26-25)へ	/		
		NO	(26-22)→		(26-23)本紙へ	不受理
	NO		(26-24)→(26-25)へ	/		
NO						
(26-25)届出人資格2=2　又は　17である(YES,NO)				/		
YES	(26-26)養女の母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)			/		
	YES		(26-27)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」 を表示する		(26-28)本紙へ	
		YES	(26-29)→(26-33)へ	/		
		NO	(26-30)→		(26-31)本紙へ	不受理
	NO		(26-32)→(26-33)へ	/		
NO						
(26-33)養女は本籍人でかつ　届出人資格1=10　かつ　代諾者コード1=1である(YES,NO)				/		
YES	(26-34)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)			/		
	YES		(26-35)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-36)本紙へ	
		YES	(26-37)→(26-41)へ	/		
		NO	(26-38)→		(26-39)本紙へ	不受理
	NO		(26-40)→(26-41)へ	/		
NO						
(26-41)養女は本籍人でかつ　届出人資格2=10　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)				/		
YES	(26-42)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子縁組届)
処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン

					備考
YES	(26-43)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-44)本紙へ		
YES	(26-45)→(26-49)へ		/		
NO	(26-46)→		(26-47)本紙へ		不受理
NO	(26-48)→(26-49)へ		/		
NO			/		
(26-49)養女は本籍人でかつ　届出人資格1=11　かつ　代諾者コード1=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-50)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
YES	(26-51)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-52)本紙へ		
YES	(26-53)→(26-57)へ		/		
NO	(26-54)→		(26-55)本紙へ		不受理
NO	(26-56)→(26-57)へ		/		
NO			/		
(26-57)養女は本籍人でかつ　届出人資格2=11　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-58)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		
YES	(26-59)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、 よろしいですか。」を表示する		(26-60)本紙へ		
YES	(26-61)→(27)へ		/		
NO	(26-62)→		(26-63)本紙へ		不受理
NO	(26-64)→(27)へ		/		
NO			/		
(27)養女は非本籍人でかつ、 届出人資格1=10　又は　11　かつ　代諾者コード1=1であるか　又は 届出人資格2=10　又は　11　かつ　代諾者コード2=1である(YES,NO)			/		
YES	(28)養父氏名に入力がある場合、届出人資格が10の届出人氏名と異なり、 養母氏名に入力がある場合、届出人資格が11の届出人氏名と異なる(YES,NO)		/		
YES	(29)→(36)へ		/		
NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示する		(31)本紙へ		
YES	(32)→(36)へ		/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(養子縁組届)					
処理名				3.6.1 養女届出人ルーチン				備考	
			NO	(33)→		(34)本紙へ		不受理	
	NO			(35)→(36)へ	/				
	(36)養女を監護する者がいる(YES,NO)				/				
	YES			(37)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者は養子の父又は母ですか。」を表示する		(38)本紙へ			
		YES		(39)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者の同意書が添付されていますか。」を表示する				民第797条2項	
			YES	(40)→		(41)3.3養子審査へ			
			NO	(42)→		(43)本紙へ		不受理	
		NO		(44)→		(45)3.3養子審査へ			
	NO								
NO	(46)後見人縁組区分=1　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペース　である (YES,NO)				/				
	YES			(47)→(53)へ	/				
	NO			(47-1)裁判確定日≠スペース　又は　縁組成立日≠スペースである	/				
		YES		(47-2)→		(47-3)3.3養子審査へ			
		NO		(48)届出人資格＝スペースである(YES,NO)	/				
			YES	(49)→		(50)3.3養子審査へ			
			NO	(51)エラーメッセージ　「届出人は本人でなければなりません。」を表示する		(52)本紙へ			
	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は未成年後見を受けていますね。」を表示する								
	YES			(54)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付が ありますか。」を表示する				民第794条	
		YES		(55)→		(56)3.3養子審査へ			
		NO		(57)→		(58)本紙へ		不受理	
	NO			(59)エラーメッセージ「未成年後見人・未成年被後見人の縁組はできません。」を表示する				不受理	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号			養子縁組届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード								03(養子縁組届)
	出張所番号				出張所番号				
	受領日				受領日				
	送付日				送付日				
	発送元				発送元				
	在外送付区分				在外送付区分				
	処理日				処理日				
	指示日								
	許可日								
	受理送付区分								在外送付区分 ＝ 0の時1 在外送付区分 ＝ 1～3の時2
	本非区分				本非区分				
	郵送日				郵送日				
	動態区分								0:不要
	届区分				届出区分				
	渉外区分								事件本人全員が日本人の場合は0 事件本人のうち全員ではないが、1人以上外国人がいる場合は1 事件本人全員が外国人の場合は2を移送
	同時決裁受領番号								
	ロック戸籍番号			本籍人検索サブシステムインターフェース					養子、養親が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	事件別内容			養子縁組入力画面					中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分								本籍人で該当する不受理申出がある場合、'1'を移送する

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子縁組届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	処分区分								審査の結果によりセットする 審査において1つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分								0:未決裁
	届書排他区分								再入力の場合1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	縁組形態区分			養子縁組入力画面	養子と養父区分				1.1 条件設定を参照
					養子と養母区分				
					養女と養父区分				
					養女と養母区分				
	養親配偶者氏名1				養親配偶者氏名1				
	養親配偶者氏名2				養親配偶者氏名2				
	養子の個人番号								本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養子の外国人区分				養子の外国人区分				
	養子の本非区分				養子の本非区分				
	養子の生年月日				養子の生年月日				
	養子の婚姻区分				養子の婚姻区分				
	養子の生死区分				養子の生死区分				
	養子のカナ氏名				養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名				養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード				養子の本･国籍		有		
	養子の本籍								
	養子の住所コード				養子の住所		有		
	養子の住所								
	養子の筆頭者カナ氏名								
	養子の筆頭者氏名				養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名				養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名				養子の父氏名				
	養子の母氏名				養子の母氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養子の続柄コード			養子の続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養女の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の婚姻区分			養女の婚姻区分				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本籍コード			養女の本･国籍		有		
	養女の本籍							
	養女の住所コード			養女の住所		有		
	養女の住所							
	養女の筆頭者カナ氏名							
	養女の筆頭者氏名			養女の筆頭者氏名				
	養女の世帯主氏名			養女の世帯主氏名				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の続柄コード			養女の続柄コード				
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	監護者の有無			監護者の有無				
	養父の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本籍							
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の筆頭者カナ氏名							
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養母の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の筆頭者カナ氏名							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

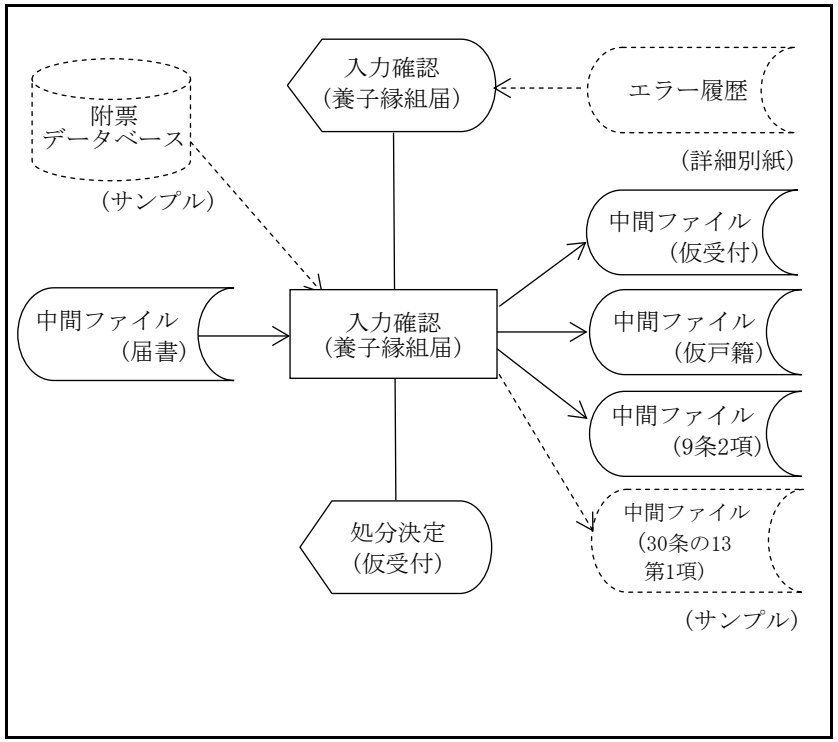
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	入籍する戸籍または新しい戸籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍		有		
	入籍する戸籍または新しい戸籍							
	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者カナ氏名							
	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組成立日			縁組成立日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組				
	後見人縁組区分			後見人縁組区分				
	届出人資格コード1			届出人資格コード1				代諾者コード1 ＝ 0の場合移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格コード2			届出人資格コード2				代諾者コード2 ＝ 0の場合移送
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	代諾者資格1			届出人資格コード1				代諾者コード1 ＝ 1の場合移送
	代諾者氏名1			届出人氏名1				
	代諾者コード1			代諾者コード1				
	代諾者国籍1			届出人国籍1				
	代諾者生年月日1			届出人生年月日1				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	代諾者資格2			届出人資格コード2				代諾者コード2 ＝ 1の場合移送
	代諾者氏名2			届出人氏名2				
	代諾者コード2			代諾者コード2				
	代諾者国籍2			代諾者国籍2				
	代諾者生年月日2			届出人生年月日2				
	配偶者個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	配偶者外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者住所			配偶者住所				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者続柄コード			配偶者続柄コード				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 4.1 養親(入籍)
  - 4.2 養親(除籍)
  - 4.3 養親(記録)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 5.1 養子(入籍)
  - 5.2 養子(除籍)
  - 5.3 養子(記録)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 養子(女)の配偶者(入籍)
  - 6.2 養子(女)の配偶者(除籍)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 養父
  - 7.2 養母
  - 7.3 養子
  - 7.4 養女
  - 7.5 養子(女)の配偶者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 8.1 養子
  - 8.1.1養子(戸籍の変動無し)
  - 8.2 養親&養子(女)の配偶者
- 9.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 9.1 養父
  - 9.2 養母
  - 9.3 養子
  - 9.4 養女
  - 9.5 養子(女)の配偶者

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する					[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する				[3.0]	/	
	(5)養父に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(6)養父の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/	
		(7)養父は事件本人である(YES,NO)				/	
		YES	(7-1)養父は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(7-1)(7-2)(7-3)(7-4)
			YES	(7-2)養父について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[9.1]	/	
				(7-3)→(8)へ		/	
			NO	(7-4)→(8)へ		/	
			(8)届書ファイルの戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)			/	
			YES	(9)身分事項:養親(除籍)の編集をする	[4.2]	/	
				(10)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/	
				YES	(11)身分事項:養親(入籍)の編集をする	[4.1]	/
				NO	(12)→(18)へ		/
			NO	(13)身分事項:養親(記録)の編集をする	[4.3]	/	
		NO	(14)届書ファイルの戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)			/	
			YES	(15)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/	
				YES	(16)身分事項:養親(入籍)の編集をする	[4.1]	/
				NO	(17)→(18)へ		/
			NO				
	NO						
	(18)養母に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(19)養母の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/	
		(20)養母は事件本人である(YES,NO)				/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)

処理名	0.0 本紙				備考
YES	(20-1)養母は在外選挙人である(YES,NO)		/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(20-1)(20-2)(20-3)(20-4)
YES	(20-2)養母について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [9.2]		/		
	(20-3)→(21)へ		/		
NO	(20-4)→(21)へ		/		
YES	(21)届書ファイルの戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)		/		
	(22)身分事項:養親(除籍)の編集をする [4.2]		/		
	(23)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
YES	(24)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]		/		
NO	(25)→(31)へ		/		
NO	(26)身分事項:養親(記録)の編集をする [4.3]		/		
NO	(27)届書ファイルの戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)		/		
YES	(28)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
YES	(29)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]		/		
NO	(30)→(31)へ		/		
NO					
NO					
(31)養子に入籍がある(YES,NO)			/		
YES	(32)養子の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/		
	(33)養子は本籍人である(YES,NO)		/		
YES	(33-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)		/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(33-1)(33-2)(33-3)(33-4)
YES	(33-2)養子について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [9.3]		/		
	(33-3)→(34)へ		/		
NO	(33-4)→(34)へ		/		
	(34)届書ファイルの戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)		/		
YES	(35)身分事項:養子(除籍)の編集をする [5.2]		/		
	(36)新戸籍または入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
YES	(37)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]		/		
	(38)→(48)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)
処理名	0.0 本紙

									備考
				NO	(39)→(48)へ	/			
			NO		(40)→(41)へ	/			
			(41)届書ファイルの戸籍変動区分が4である(YES,NO)			/			
			YES		(42)身分事項:養子(記録)の編集をする [5.3]	/			
			NO		(43)→(48)へ	/			
		NO	(44)届書ファイルの戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)			/			
			YES		(45)新戸籍または入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)	/			
				YES	(46)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]	/			
				NO	(47)→(48)へ	/			
			NO						
	NO								
(48)養女に入力がある(YES,NO)						/			
YES	(49)養女の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する					/			
	(50)養女は本籍人である(YES,NO)					/			
	YES	(50-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)				/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(50-1)(50-2)(50-3)(50-4)
		YES	(50-2)養女について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [9.4]			/			
			(50-3)→(51)へ			/			
		NO	(50-4)→(51)へ			/			
		(51)届書ファイルの戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)				/			
		YES	(52)身分事項:養子(除籍)の編集をする [5.2]			/			
			(53)新戸籍または入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)			/			
			YES		(54)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]	/			
			NO		(55)→(64)へ	/			
		NO	(56)→(57)へ			/			
		(57)届書ファイルの戸籍変動区分が4である(YES,NO)				/			
		YES	(58)身分事項:養子(記録)の編集をする [5.3]			/			
		NO	(59)→(64)へ			/			
		NO	(60)届書ファイルの戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)			/			
		YES	(61)新戸籍または入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)			/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(養子縁組届)

処理名	0.0 本紙						備考
		YES	(62)身分事項:養子(入籍)の編集をする。 [5.1]	/			
		NO	(63)→(64)へ	/			
	NO						
	(64)単独縁組でかつ 筆頭者である養子(女)には配偶者がいる(YES,NO)			/			
	YES	(65)配偶者の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/			
		(66)養子(女)の配偶者は本籍人である(YES,NO)		/			
		YES	(66-1)養子(女)の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)	/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合の処理(66-1)(66-2)(66-3)(66-4)
			YES	(66-2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条13第1項)を編集・出力する [9.5]	/		
				(66-3)→(67)へ	/		
			NO	(66-4)→(67)へ	/		
		(67)戸籍変動区分 ＝ 4(養子の戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
		YES	(67-1)→(68)へ		/		
		NO	(67-2)身分事項:配偶者(除籍)の編集をする。 [6.2]		/		
		(68)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)			/		
		YES	(69)身分事項:配偶者(入籍)の編集をする。 [6.1]		/		
		NO	(70)→(77)へ		/		
		NO	(71)養子(女)の配偶者は日本人である(YES,NO)		/		
		YES	(72)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/		
			YES	(73)身分事項:配偶者(入籍)の編集をする。 [6.1]	/		
			NO	(74)→(77)へ	/		
		NO	(75)→(77)へ		/		
	NO	(76)→(77)へ			/		
	(77)在外送付区分 ＝ 0 又は 2である(YES,NO)				/		
	YES	(78)			/		
		(79)養父に入力があり かつ 養父の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)			/		
		YES	(80)養父の編集 [7.1]		/		
		NO	(81)→(82)へ		/		
		(82)養母に入力があり かつ 養母の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			入力確認(養子縁組届)						
処理名			0.0 本紙					備考	
		YES	(83)養母の編集		/				
		NO	(84)→(85)へ		/				
			(85)養子に入力があり かつ 養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)		/				
		YES	(86)養子の編集 [7.3]		/				
		NO	(87) → (88)へ		/				
			(88)養女に入力があり かつ 養女の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)		/				
		YES	(89)養女の編集 [7.4]		/				
		NO	(90) → (91)へ		/				
			(91)養子(女)の配偶者に入力があり かつ 配偶者外国人区分 ＝ 0:日本人である (YES,NO)		/				
		YES	(92)配偶者の編集 [7.5]			(93)処分決定に制御を渡す			
		NO	(94) →						
	NO								
PF1	→					(95)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(96)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(97)審査(養子縁組)に制御を渡す			
PF7	(98)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/				
	YES	(99)前ページ分の確認画面(養子縁組届)を編集する				(100)同画面を編集する			
	NO	(101)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する							
PF8	(102)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)				/				
	YES	(103)次ページ分の確認画面(養子縁組届)を編集する				(104)同画面を編集する			
	NO	(105)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する							
PF11	→					(106)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(107)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する					(108)同画面を編集する			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
養子縁組届確認画面	画面ID							画面ID	
	システム日付							システム日付	
	養子と養父区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	縁組形態区分			1、3、7、9、10、13、14、15の時'Y'移送		
	養子と養母区分						2、3、8、11、12、13、14、15の時'Y'移送		
	養女と養父区分						4、6、7、10、11、12、13、15の時'Y'移送		
	養女と養母区分						5、6、8、9、10、12、14、15の時'Y'移送		
	縁組形態名称			縁組形態区分		有			
	養親配偶者氏名1			養親配偶者氏名1					
	養親配偶者氏名2			養親配偶者氏名2					
	表示1						縁組形態区分 ＝ 1、4、7の時、 '養父の配偶者が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 2、5、8の時、 '養母の配偶者が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 9、10の時、 '養子と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 11、12の時、 '養子と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示		
	表示2						縁組形態区分 ＝ 11、13の時、 '養女と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 9、14の時、 '養女と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示		
	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	受領日			受領日					
	送付日			送付日					
	発送元			発送元					
	在外送付区分			在外送付区分					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	養子の外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の婚姻区分			養子の婚姻区分				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の続柄コード			養子の続柄コード				
	養子の続柄					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者					有		
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養子の配偶者					有		
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の婚姻区分			養女の婚姻区分				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者氏名			養女の筆頭者氏名				
	養女の世帯主氏名			養女の世帯主氏名				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の続柄コード			養女の続柄コード				
	養女の続柄					有		
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の筆頭者					有		
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養女の配偶者					有		
	監護者の有無			監護者の有無				
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の筆頭者					有		
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の配偶者					有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の筆頭者					有		
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の配偶者					有		
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍する戸籍または新しい戸籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				
	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組成立日			縁組成立日				
	縁組方式			縁組方式				
	証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
	同一戸籍縁組			同一戸籍縁組区分				
	後見人縁組区分			後見人縁組区分				
	届出人資格コード1			届出人資格コード1				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名1			届出人氏名1				〃
	代諾者コード1							届出人資格コード1に入力がある時'0'をセットする
	届出人資格コード2			届出人資格コード2				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名2			届出人氏名2				〃
	代諾者コード2							届出人資格コード2に入力がある時'0'をセットする
	届出人資格コード1			代諾者資格1				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名1			代諾者氏名1				〃
	代諾者コード1							代諾者資格1に入力がある時'1'をセットする
	届出人国籍1			代諾者国籍1				項目に入力がある場合移送する
	届出人生年月日1			代諾者生年月日1				〃
	届出人資格コード2			代諾者資格2				〃
	届出人氏名2			代諾者氏名2				項目に入力がある場合移送する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	代諾者コード2							届出人資格コード2に入力がある時'1'をセットする
	届出人国籍2			代諾者国籍2				項目に入力がある場合移送する
	届出人生年月日2			代諾者生年月日2				〃
	配偶者の外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者の生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者の配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者の配偶者					有		
	配偶者のカナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者の漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者の住所			配偶者住所				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者続柄コード			配偶者続柄コード				
	配偶者続柄					有		
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者					有		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人				一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
		※1													※1													※2	※2		※3
1	○		○		－	－				○				－	－	○		○						養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
2	○		○		－	－				○				○		○			○					養親 4.2				養子 5.2		養親4.1 養子5.1
3	○		○		－	－				○				○			○		○									養子 5.2		養親4.1 養子5.1
4	○		○		－	－				○				－	－					○										養子 5.3	
5	○		○		－	－				○				－	－		○	○		－									養子 5.2		
6	○		○		－	－				○					○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
7	○		○		－	－			○					－	－	○		○					養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
8	○		○		－	－			○					○		○			○					養親 4.2			養子 5.2			養親4.1 養子5.1
8-1	○		○			○			○					○		○			○		○			養親 4.2 ※			養親 5.2 ※			養親4.1 養子5.1
																							※養子･養親は、同籍なので二人の他に在籍者無しの場合、全除							
9	○		○		－	－			○					○			○		○								養子 5.2			養親4.1 養子5.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
10	○		○		－	－			○					－	－					○									養子 5.3		
11	○		○		－	－			○					－	－		○	○		－								養子 5.2			
12	○		○		－	－			○						○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
13	○		○			○			○					－	－	○		○			○					養親 4.3			養子 5.3	
13-1	○		○			○			○					－	－	○		○		○	○					養親 4.3			養子 5.3	
14	○		○			○		○	－	－				－	－	○		○								養親 4.3			養子 5.3	
15	○		○			○		○	－	－				○		○			○							養親 4.3			養子 5.3	
16	○		○			○		○	－	－				○			○	－	－										養子 5.3	
17	○		○			○		○	－	－				－	－					○									養子 5.3	
18	○		○			○		○	－	－					○		○	○		－									養子 5.3	
19	○		○			○		○	－	－					○	○		○		○						養親 4.3			養子 5.3	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
20	○		○		○			○	○					－	－	○		○						養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
21	○		○		○			○	○					○		○			○						養親 4.2			養子 5.2			養親4.1 養子5.1
22	○		○		○			○	○					○			○		○									養子 5.2			養親4.1 養子5.1
23	○		○		○			○	○					－	－					○										養子 5.3	
24	○		○		○			○	○					－	－		○	○		－								養子 5.2			
25	○		○		○			○	○						○	○		○		○				養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
26	○		○		○			○		○				－	－	○		○						養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
27	○		○		○			○		○				○		○			○						養親 4.2				養子 5.2		養親4.1 養子5.1
28	○		○		○			○		○				○			○		○										養子 5.2		養親4.1 養子5.1
29	○		○		○			○		○				－	－					○										養子 5.3	
30	○		○		○			○		○				－	－		○	○		－									養子 5.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
31	○		○		○			○		○					○	○		○		○				養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
32	○		○		○		○		○				○	－	－	○		○									養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
33	○		○		○		○		○				○	○		○			○								養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
34	○		○		○		○		○				○	○			○	－	－									養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
35	○		○		○		○		○				○	－	－					○										養子 5.3	
36	○		○		○		○		○				○		○		○	○		－								養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
37	○		○		○		○		○				○		○	○		○		○							養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2			養子5.1 配偶者6.1
38	○		○		○		○			○			○	－	－	○		○									養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
39	○		○		○		○			○			○	○		○			○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
40	○		○		○		○			○			○	○			○	－	－										養子 5.2		養子 5.1
41	○		○		○		○			○			○	－	－					○										養子 5.3	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
42	○		○		○		○			○			○		○		○	○		−									養子 5.2		養子 5.1
43	○		○		○		○			○			○		○	○		○		○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
44	○		○			○	○		○				○	−	−		○	−	−	−							養親 4.3			養子 5.3	
45	○		○			○	○		○				○	−	−	○		−	−	−										養子 5.3	
46	○										−	−	−	−	−	○		○								養親 4.3					
47	○										−	−	−	○		○			○								養親 4.3					
48	○										−	−	−		○	○		○		○							養親 4.3					
49	○			○	−	−			−	−				−	−	○		○						養子 5.1			養親 4.3					
50	○			○	−	−			−	−				○		○			○					養親 4.2						養親4.1 養子5.1	
51	○			○	−	−			−	−					○	○		○		○				養子 5.1			養親 4.3					
52	○			○		○	○		○				○	−	−	○		−	−	−							養親 4.3					

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
53	○			○	○		○		○				○	－	－	○		○									養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
54	○			○	○		○		○				○	○		○			○								養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
55	○			○	○		○		○				○		○	○		○		○							養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
56	○			○		○		○	－	－				－	－	○		○									養親 4.3				
57	○			○		○		○	－	－				○		○			○								養親 4.3				
58	○			○		○		○	－	－					○	○		○		○							養親 4.3				
59	○			○	○			○	－	－				－	－	○		○						養子 5.1			養親 4.3				
60	○			○	○			○	－	－				○		○			○						養親 4.3						養親4.1 養子5.1
61	○			○	○			○	－	－					○	○		○		○				養子 5.1			養親 4.3				
62		○	○		○	○	○			○			○	－	－	○		○									養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
63		○	○		○	○	○			○			○	○		○			○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人				一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成														
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
		※1													※1									A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2 ※2	A.2 B.2 C.2 ※2	8.1. 1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
64		○	○		○	○	○			○			○	○			○	－	－										養子 5.2		養子 5.1
65		○	○		○	○	○			○			○	－	－					○										養子 5.3	
66		○	○		○	○	○			○			○		○		○	○		－									養子 5.2		養子 5.1
67		○	○		○	○	○			○			○		○	○		○		○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
68		○	○		○	○	○		○				○	－	－	○		○									養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
69		○	○		○	○	○		○				○	○		○			○								養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
70		○	○		○	○	○		○				○	○			○	－	－									養子 5.2			養子 5.1
71		○	○		○	○	○		○				○	－	－					○										養子 5.3	
72		○	○		○	○	○		○				○		○		○	○		－								養子 5.2			養子 5.1
73		○	○		○	○	○		○				○		○	○		○		○							養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
74		○	○		○		○			○	○		○	－	－	○		○									養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	日本人				外国人				一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成														
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
		※1													※1									A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2 ※2	A.2 B.2 C.2 ※2	8.1. 1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
75		○	○		○		○			○	○		○	○		○			○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
76		○	○		○		○			○	○		○	○			○	－	－									養子 5.2		養子 5.1
77		○	○		○		○			○	○		○	－	－					○									養子 5.3	
78		○	○		○		○			○	○		○		○		○	○		－								養子 5.2		養子 5.1
79		○	○		○		○			○	○		○		○	○		○		○						養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
80		○	○		○		○		○		○		○	－	－	○		○								養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
81		○	○		○		○		○		○		○	○		○			○							養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
82		○	○		○		○		○		○		○	○			○	－	－								養子 5.2			養子 5.1
83		○	○		○		○		○		○		○	－	－					○									養子 5.3	
84		○	○		○		○		○		○		○		○		○	○		－							養子 5.2			養子 5.1
85		○	○		○		○		○		○		○		○	○		○		○						養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
86		○		○	○	○	○		－	－			○	－	－	○		○								養親 4.3					養子 5.1
87		○		○	○	○	○		－	－			○	○		○			○							養親 4.3					養子 5.1
88		○		○	○	○	○		－	－			○		○	○		○		○						養親 4.3					養子 5.1
89		○		○	○		○		－	－	○		○	－	－	○		○								養親 4.3					養子 5.1
90		○		○	○		○		－	－	○		○	○		○			○							養親 4.3					養子 5.1
91		○		○	○		○		－	－	○		○		○	○		○		○						養親 4.3					養子 5.1
92		○									－	－	○	－	－	○		○								養親 4.3					
93		○									－	－	○	○		○			○							養親 4.3					
94		○									－	－	○		○	○		○		○						養親 4.3					

※1 夫婦縁組の場合、該当する戸籍編製に対応するデータ編集をおのおの夫と妻の2人分行う。
※2 配偶者はC.2のみ
※3 新戸籍編製の場所が管内の場合のみ新戸籍編製の処理を行う。又、配偶者は8.0、D.1のみ。
※4 養子が非本籍人の場合、入籍する戸籍又は新戸籍の編製場所が管外の場合は養子の戸籍編製を省き、なおかつ養親も非本籍人の場合は、養親の戸籍編製も省く。
※A.1、A.2、B.1、B.2、C.2、D.1はひな型のデータ編集を参照。それ以外はシステム環境仕様書(1頁目)の4.機能体系のデータ編集を参照(8.0は養子と養親で8.1と8.2に分かれる)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	受付事件コード							0301’	
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースの時、送付日 送付日 ＝ スペースの時、受領日	
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送	
	事件発生時分								
	事件発生日時								
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	渉外区分			渉外区分					
	発送日								
	郵送日			郵送日					
	発日								
	収日								
	指示日								
	許可日								
	関連受領番号							移送項目なし	
	届出人資格区分1			届出人資格コード1				①代諾者コード1 又は 2に入力がある場合	
	届出人資格名称1			届出人資格コード1		有		届出人資格コード1、2の編集方法 〈 代諾者国籍に入力が無い場合 〉 1→16、2→17、10→19、11→20、93→22に変換して移送する 〈 代諾者国籍に入力がある場合 〉 そのまま移送する	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人氏名1			届出人氏名1(備考欄参照)				届出人氏名1、2の編集方法 ①代諾者コード1 又は 2に入力がある場合 データ編集表の通り、それぞれ届出人氏名1、2を移送する。(代諾者国籍の有無に関係しない) ②代諾者コード1 かつ 2に入力がない場合 届出人資格コード1が10、11、13の場合、 届出人資格コードをそのまま移送する。 届出人資格コード1 ＝ 10の場合｢養父氏名｣ 届出人資格コード1 ＝ 11の場合｢養母氏名｣ 届出人資格コード1 ＝ 13の場合｢養子氏名｣ 又は｢養女氏名｣を移送する。
	届出人資格区分2			届出人資格コード2				
	届出人資格名称2			届出人資格コード2		有		
	届出人氏名2			届出人氏名2(備考欄参照)				
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1の場合'1'を移送 戸籍変動区分 ＝ 2 又は 3の場合、'2'を移送
	届後本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				
	届後本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				項目に入力がある場合移送
	届後戸籍の筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				〃
	送達確認1							届後本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時、1を移送 それ以外は0を移送
	証書提出区分							縁組成立日 ≠ スペースの時、1を移送 上記以外のとき、0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	事件本人区分							養父:08 養母:09 養子:10 養女:11
	届出人区分							養父、養母の場合 縁組方式 ≠ スペース　かつ 外国人の場合は'0'を移送する それ以外は'1'を移送する 養子、養女の場合 代諾者資格1、2に入力がある場合は'0'を移送する 代諾者資格1、2に入力がない場合 縁組方式 ≠ スペース　かつ 外国人の場合は'0'を移送する それ以外は'1'を移送する
	カナ氏名			カナ氏名				養父のカナ氏名 養母のカナ氏名 養子のカナ氏名 養女のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				養父の漢字氏名 養母の漢字氏名 養子の漢字氏名 養女の漢字氏名
	生年月日			生年月日				養父の生年月日 養母の生年月日 養子の生年月日 養女の生年月日
	本籍コード			本籍コード				養父の本籍コード 養母の本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード
	本籍			本籍				養父の本籍 養母の本籍 養子の本籍 養女の本籍

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			筆頭者氏名				養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名 養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名
	送達確認2							本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時1を移送、 それ以外は0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.養親の後に養子
2.夫婦縁組の場合は、1の順序でなおかつ養父、養母、養子、養女の順に出力する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	4.1　身分事項(養親･入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養父の個人番号 養母の個人番号				養父の時、養父の個人番号 養母の時、養母の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格							入籍では不使用
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子 養子の国籍							入籍では不使用
	養子 養子の生年月日							〃
	養女 養子氏名			養女の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養女 養子の国籍							入籍では不使用
	養女 養子の生年月日							〃
	養子の戸籍							〃
	外国の方式 縁組の方式							〃
	外国の方式 証書提出日							〃

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	4.1　身分事項(養親･入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格							〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名							〃
		代諾者の国籍							〃
		代諾者の生年月日							〃
	代諾者2	代諾者資格							〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名							〃
		代諾者の国籍							〃
		代諾者の生年月日							〃
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入籍日				処理日				〃
	入戸籍	従前戸籍(本籍)			養父の本籍 養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 1　又は　4の場合、養父の本籍と養父の筆頭氏名を移送
		従前戸籍(筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				縁組形態区分 ＝ 2　又は　5の場合、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
	養子の従前戸籍								入籍では不使用
	除戸籍	新本籍							〃
	養子の新本籍								〃
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	4.2　身分事項(養親･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養父の個人番号 養母の個人番号				養父の時、養父の個人番号 養母の時、養母の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格							除籍では不使用
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子の国籍							除籍では不使用
	養子の生年月日							〃
	養女 養子氏名			養女の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子の国籍							除籍では不使用
	養子の生年月日							〃
	養子の戸籍							〃
	外国の方式 縁組の方式							〃
	証書提出日							〃

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	4.2　身分事項(養親･除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格							〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名							〃
		代諾者の国籍							〃
		代諾者の生年月日							〃
	代諾者2	代諾者資格							〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名							〃
		代諾者の国籍							〃
		代諾者の生年月日							〃
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							除籍では不使用
	養子の従前戸籍								〃
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				
	養子の新本籍								除籍では不使用
	除籍日				処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項								

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	4.3　身分事項(養親･記録)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養父の個人番号 養母の個人番号				養父の時、養父の個人番号 養母の時、養母の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				裁判確定日 ≠ スペースの時移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースの場合、 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格 共同縁組者資格名称							縁組形態区分 ＝ 3、6、10、12～15の場合かつ、 養父の時、7:'妻'を移送 養母の時、6:'夫'を移送
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				養父の時、縁組形態区分が、3、7、9、10、13～15の時移送、 あるいは、 養母の時、縁組形態区分が2、3、8、11～15の時移送
	養子の国籍			養子の本籍				〃　でかつ、 養子が外国人の場合移送
	養子の生年月日			養子の生年月日				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	4.3 身分事項(養親・記録) 編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	養女	養子氏名			養女の漢字氏名				養父の時、縁組形態区分が4、6、7、10～13、15の時移送、 あるいは、 養母の時、縁組形態区分が5、6、8～10、12、14、15の時移送
		養子の国籍			養女の本籍				〃 でかつ、 養女が外国人の場合移送
		養子の生年月日			養女の生年月日				
	養子の戸籍	本籍			養子の本籍 養女の本籍				戸籍変動区分 ＝ 4の時で かつ、 同一戸籍縁組区分 ≠ 1で かつ、 養子に入力がある時 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 又は、養女に入力がある時、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送
		筆頭者			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送 (養子が外国人の時のみ設定)
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送 (養子が外国人の時のみ設定)
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1		有		養子が外国人の時のみ移送 養子が外国人で戸籍に記録されないため、代諾者情報は日本人養父母に記録する。 代諾者が帰化して日本人となっている場合でも「親権者父母」と統合せずに、そのまま代諾者1と2を移送する。(国籍が日本の場合、国籍欄と生年月日欄は空欄で構わない)。 代諾者氏名1、2の編集内容。 〈代諾者国籍に入力が無い場合〉 代諾者氏名は移送しない(記録不要)。 〈代諾者国籍に入力がある場合〉 データ編集表の通り、それぞれ代諾者氏名1と2を移送する。
		代諾者資格名称							
		代諾者氏名			代諾者氏名1(備考欄参照)				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2		有		
		代諾者資格名称							
		代諾者氏名			代諾者氏名2(備考欄参照)				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日							
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	4.3　身分事項(養親･記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1		有		裁判確定日に入力がある場合移送 届出人資格コード1が13　又は 届出人資格コード1、2が13の時のみ移送
		届出人資格名称							
	許可日								
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							記録では不使用
	養子の従前戸籍	本籍			養子の本籍 養女の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養子の本籍と養子の筆頭者氏名を移送、あるいは、 養女の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養女の本籍と養女の筆頭者氏名を移送
		筆頭者			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	除戸籍	新本籍							記録では不使用
	養子の新本籍				入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	記録日				処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項								

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.1　身分事項(養子･入籍)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載) 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子の個人番号 養女の個人番号				養子の時、養子の個人番号 養女の時、養女の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0301'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格 共同縁組者資格名称							縁組形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1、3、7、9、10、13、14、15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4、6、7、10～13、15の時移送
	養父の国籍			養父の本籍				〃 でかつ、 養父が外国人の場合移送
	養父の生年月日			養父の生年月日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.1　身分事項(養子･入籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		養母氏名			養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2、3、8、11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が5、6、8～10、12、14、15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃　でかつ、 養母が外国人の場合移送
		養母の生年月日			養母の生年月日				
		養親の戸籍 本籍			養父の本籍 養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養父に入力がある時、 養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 養父に入力がない時、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 筆頭者			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1、2と、証書提出者氏名1、2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1、2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1、2に氏名は移送しない
		証書提出者資格名称1			証書提出者資格1		有		
		証書提出者氏名1			届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者資格名称2			証書提出者資格2		有		
		証書提出者氏名2			届出人氏名2 代諾者氏名2				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.1　身分事項(養子･入籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する 代諾者資格1、2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16、2の時17、10の時19、11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)、2(母)、16(親権者父)、17(親権者母)のとき、代諾者氏名1、2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者資格名称			代諾者1 代諾者資格		有		
		代諾者氏名			代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称			代諾者2 代諾者資格		有		
		代諾者氏名			代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 ＋ 届出人資格コード2		有		裁判確定日に入力がある場合移送 (養子が届け出た場合は移送しない) 届出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称							
	許可日								
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入籍日				処理日				〃

データ編集表					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)									
処理名	5.1　身分事項(養子･入籍)　編集･出力									

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
	入戸籍	従前戸籍	本籍			養子の本籍 養女の本籍				縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 7～15でかつ、 養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 養女の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送
			筆頭者			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	除戸籍	新本籍								入籍では不使用
		入籍戸籍								〃
	特記事項									

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.2　身分事項(養子･除籍)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子の個人番号 養女の個人番号				養子の時、養子の個人番号 養女の時、養女の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0301'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格							縁組形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称							
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1、3、7、9、10、13、14、15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4、6、7、10～13、15の時移送
	養父の国籍			養父の本籍				〃　でかつ、 養父が外国人の場合移送
	養父の生年月日			養父の生年月日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.2　身分事項(養子･除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		養母氏名			養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2、3、8、11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 5、6、8～10、12、14、15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃　でかつ、 養母が外国人の時移送
		養母の生年月日			養母の生年月日				
		養親の戸籍 本籍			養父の本籍 養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養父に入力がある時、 　養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 養父に入力がない時、 　養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 筆頭者			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1、2と、証書提出者氏名1、2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1、2は 　届出人資格コード1かつ2、又は 　代諾者資格1かつ2が 　　1と 2の時→ 5:父母 　10と11の時→12:養父母 　16と17の時→18:親権者父母 　を証書提出者1に移送し、 　証書提出者氏名1と証書提出者2 　全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 　但し、届出人資格コード1かつ2、又は代諾者資格1かつ2が 　1(父)、2(母)、16(親権者父)、 　17(親権者母)の時、証書提出者氏名1、2に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1			証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1			届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2			証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2			届出人氏名2 代諾者氏名2				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.2　身分事項(養子･除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する 代諾者資格1、2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16、2の時17、10の時19、11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)、2(母)、16(親権者父)、17(親権者母)のとき、代諾者氏名1、2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者資格名称			代諾者1 代諾者資格				
		代諾者氏名			代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称			代諾者2 代諾者資格				
		代諾者氏名			代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 + 届出人資格コード2		有		裁判確定日に入力がある場合移送(養子が届け出た場合は移送しない) 届出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称							
	許可日								
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							除籍では不使用

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	5.2　身分事項(養子･除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍 新本籍				入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	除戸籍 入籍戸籍 本籍				入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1又は2の時移送
	除戸籍 入籍戸籍 筆頭者				入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1又は2の時移送
	除籍日				処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項								

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.3　身分事項(養子･記録)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載) 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子の個人番号 養女の個人番号				養子の時、養子の個人番号 養女の時、養女の個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0301'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	裁判 縁組の裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、 受領日を移送
	共同縁組者資格							縁組形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称							
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1、3、7、9、10、13、14、15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4、6、7、10～13、15の時移送
	養父の国籍			養父の本籍				〃　でかつ、 養父が外国人の場合移送
	養父の生年月日			養父の生年月日				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.3　身分事項(養子・記録)　編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		養母氏名			養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2、3、8、11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 5、6、8～10、12、14、15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃　でかつ、 養母が外国人の時移送
		養母の生年月日			養母の生年月日				
		養親の戸籍 本籍			養父の本籍 養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 1、3、4、6、7、9～15 かつ 養父の外国人区分 ＝ 0の場合、 養父の本籍と筆頭者氏名を移送 又は、 縁組形態区分 ＝ 2、3、5、6、8～15 かつ 養母の外国人区分 ＝ 0の場合、 養母の本籍と筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 筆頭者			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1、2と、証書提出者氏名1、2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1、2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1、2に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1			証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1			届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2			証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2			届出人氏名2 代諾者氏名2				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)						
処理名	5.3　身分事項(養子･記録)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する 代諾者資格1、2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16、2の時17、10の時19、11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父)、2(母)、16(親権者父)、17(親権者母)のとき、代諾者氏名1、2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者資格名称			代諾者1 代諾者資格				
		代諾者氏名			代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称			代諾者2 代諾者資格				
		代諾者氏名			代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 ＋ 届出人資格コード2		有		裁判確定日に入力がある場合移送(養子が届け出た場合は移送しない) 届出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称							
	許可日								
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							記録では不使用
	除戸籍	新本籍							〃
		入籍戸籍							〃

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	5.3　身分事項(養子･記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	記録日							項目に入力がある場合移送
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	6.1　身分事項(配偶者･入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0302'
	記録コード							'0303'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日 ≠ スペースの時、処理日を移送 処理日 ＝ スペース かつ 送付日 ≠ スペースの時、送付日を移送 処理日と送付日がどちらもスペースの時、受領日を移送
	入籍事由							縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 4:'夫の縁組'を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 5:'妻の縁組'を移送
	従前の戸籍 本籍			養子の本籍 養女の本籍				縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 養子の本籍と養子の筆頭者氏名を移送
	従前の戸籍 筆頭者			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 養女の本籍と養女の筆頭者氏名を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	6.2　身分事項(配偶者･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目(選択して記載)		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0302'
	記録コード							'0303'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、 裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、 縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	除籍日			処理日 送付日 受領日				処理日 ≠ スペースの時、処理日を移送 処理日 ＝ スペース かつ 送付日 ≠ スペースの時、送付日を移送 処理日と送付日がどちらもスペースの時、受領日を移送
	除籍事由							縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 1:'夫の縁組'を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 2:'妻の縁組'を移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				

※データ編集表(4.1～6.2身分事項編集)の仮戸籍.身分事項の項目は、ノーマルケース時の項目のみを記述している。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.1　9条2項(養父)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養父の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養父が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養父の筆頭者氏名				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.1　9条2項(養父)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主			養父の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.2　9条2項(養母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養母の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養母が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養母の筆頭者氏名				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.2　9条2項(養母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主			養母の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.3　9条2項(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.3　9条2項(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.4　9条2項(養女)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養女の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養女の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養女の筆頭者氏名				
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.4　9条2項(養女)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.5　9条2項(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者の住所		有		市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 配偶者漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧筆頭者							
	住所コード							
	住所			配偶者住所				
	方書							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	7.5　9条2項(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	8.1　個人特定(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			続柄コード		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時、0移送
	配偶者区分			配偶者区分				戸籍変動区分 ＝ 1、2でかつ 配偶者区分 ＝ 3の時、0を移送
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			続柄コード				
	養父			養親配偶者氏名1				縁組形態区分2、8、11、12で入力がある時移送(養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分5、8、9、14で入力がある時移送(養女の時のみの移送項目)
				養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1、3、7、9、10、13、14、15の時移送 養女の時、縁組形態区分が 4、6、7、10～13、15の時移送
	養母			養親配偶者氏名1				縁組形態区分1、7、9、10で入力がある時移送(養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分4、7、11、13で入力がある時移送(養女の時のみの移送項目)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	8.1　個人特定(養子)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
					養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 2、3、8、11～15の時移送 養女の時、縁組形態区分が 5、6、8～10、12、14、15の時移送
	養父母との続柄								養子の時51、養女の時52を移送
	前個人番号			戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号設定
	個人除区分								0:在籍者を設定
	審査不可区分								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	8.1.1 個人特定(養子) 編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号								
	戸籍番号								
	戸籍記録順位番号								
	入籍日								
	除籍日								
	性別								
	生年月日								
	筆頭者区分								
	配偶者区分								
	父								
	母								
	父母との続柄								
	養父		中間ファイル(届書)	養親配偶者氏名1				縁組形態区分2で入力がある時移送 (養子の時のみの移送項目)	
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分5で入力がある時移送 (養女の時のみの移送項目)	
				養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が1、3の時移送 養女の時、縁組形態区分が4、6の時移送	
	養母			養親配偶者氏名1				縁組形態区分1で入力がある時移送 (養子の時のみの移送項目)	
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分4で入力がある時移送 (養女の時のみの移送項目)	
				養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2、3の時移送 養女の時、縁組形態区分が5、6の時移送	
	養父母との続柄							養子の時51、養女の時52を移送	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	8.1.1　個人特定(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	8.2　個人特定(養親 OR 養子の配偶者)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			続柄コード		有		養父の場合:'男'、 養母の場合:'女' 養子(女)の配偶者の場合移送
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分							養親の場合'1'を移送 養子(女)の配偶者の場合'0'を移送
	配偶者区分			配偶者区分				
	父		従前戸籍の情報	父				本籍内異動のときに従前戸籍から情報を設定
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	9.1　30条の13第1項(養父)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード	
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定	
	新氏名			養父の漢字氏名					
	旧氏名			養父の漢字氏名					
	新生年月日			養父の生年月日					
	旧生年月日			養父の生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送	
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送	
	旧本籍コード			養父の本籍コード					
	旧本籍			養父の本籍					
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送	
	旧筆頭者			養父の筆頭者氏名					
	住所コード			養父の住所コード					
	住所			養父の住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.1　30条の13第1項(養父)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	9.2　30条の13第1項(養母)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード	
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定	
	新氏名			養母の漢字氏名					
	旧氏名			養母の漢字氏名					
	新生年月日			養母の生年月日					
	旧生年月日			養母の生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送	
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送	
	旧本籍コード			養母の本籍コード					
	旧本籍			養母の本籍					
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送	
	旧筆頭者			養母の筆頭者氏名					
	住所コード			養母の住所コード					
	住所			養母の住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.2　30条の13第1項(養母)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	9.3　30条の13第1項(養子)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード 市区町村コードを宛名に変換した項目	
	宛名								
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定	
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧氏名			養子の漢字氏名					
	新生年月日			養子の生年月日					
	旧生年月日			養子の生年月日					
	新性別							養子の続柄コードを性別に変換して性別コードを設定	
	旧性別								
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧本籍コード			養子の本籍コード					
	旧本籍			養子の本籍					
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名					
	住所コード			養子の住所コード					
	住所			養子の住所					
	方書								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.3　30条の13第1項(養子)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	転入届出日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	9.4　30条の13第1項(養女)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養女縁組届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定	
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養女の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧氏名			養女の漢字氏名					
	新生年月日			養女の生年月日					
	旧生年月日			養女の生年月日					
	新性別							養女の続柄コードを性別に変換して性別コードを設定	
	旧性別								
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧本籍コード			養女の本籍コード					
	旧本籍			養女の本籍					
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送	
	旧筆頭者			養女の筆頭者氏名					
	住所コード			養女の住所コード					
	住所			養女の住所					
	方書								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.4　30条の13第1項(養女)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	転入届出日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)								
処理名	9.5　30条の13第1項(養子の配偶者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード	
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:配偶者縁組届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定	
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 配偶者の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送	
	旧氏名			配偶者の漢字氏名					
	新生年月日			配偶者の生年月日					
	旧生年月日			配偶者の生年月日					
	新性別							配偶者続柄コードを性別に変換して性別コードを設定	
	旧性別								
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送	
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送	
	旧本籍コード								
	旧本籍								
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送	
	旧筆頭者								
	住所コード								
	住所								
	方書								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子縁組届)							
処理名	9.5　30条の13第1項(養子の配偶者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

4.養子離縁届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	離縁114	「養子離縁届」	15歳未満の養子離縁届の同時届出の仮受付の条件を変更 入力確認_3.2 中間ファイル(仮受付･親権) 入力確認_3.3 中間ファイル(仮受付･未成年後見) 　本非区分、カナ氏名、漢字氏名、本籍コード、本籍、筆頭者、送達確認2
2		－		「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正 審査_3.1 離縁の準拠法確定 「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	R4	離縁115	「養子離縁届」	・審査_3.2 離縁種別の確認 (86-1)の判定文にある「離縁確定日」は項目に無いため、(86-1)を削除し、(86-2)の判定から実施に変更
5		離縁116		・入力確認_3.2 中間ファイル(仮受付･親権) ・入力確認_3.3 中間ファイル(仮受付･未成年後見) R3.0版修正分の反映漏れ対応 事件本人のｶﾅ・漢字氏名の条件を変更 「届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、～」以降を追加
6		離縁118		・入力確認_3.3 中間ファイル(仮受付･未成年後見) 送達確認2の「管内　なら1(未到着)を設定」は「なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定」の誤りであるため修正
7		離縁119		・入力確認_システム環境仕様書　4.機能体系(要件定義書の構成) 10.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)から10.1 養父、10.2 養母を削除 ・入力確認_0.0　本紙 養父及び養母は戸籍に変動がなく、9条2項が不要なため、(94)～(99)を削除 ・データ編集表の入力確認_10.1 9条2項(養父)、入力確認_10.2 9条2項(養母)を削除

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16

作業名	養子離縁届

1.養子離縁業務処理範囲外の処理

・養子縁組取り消しの裁判が確定し、その届出があった場合
・追完届出された場合(追完の記録が必要な場合)
・養子離縁の戸籍訂正(職権記録他)
・協議離縁届で届書受理後に事件本人(養子及び養親)の死亡が明らかになった場合の記録
・無籍者の離縁
・旧法当時婿養子縁組婚姻をした養子と養親との離縁
・離縁により養子が従前の戸籍に復籍したときに三代戸籍となるため、養子の父又は母につき新戸籍を編製し養子が入籍する場合
・日本人養子夫婦の双方が死亡しているときで、同一戸籍にいない場合
・15歳未満の届出人が特別代理人のとき、特別代理人以外に届出人がいる場合
・15歳以上の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理は、離縁届の処理が終了後、親権又は未成年後見で処理する
・被後見人との報告的離縁で、後見人が届出た場合
・複数の未成年後見人から届出があった場合および、法人(未成年後見人)からの届出があった場合の記録
・転縁組をしている日本人養子が、外国人養親と離縁する場合

2.養子離縁入力画面の意義

・離縁形態入力画面　　養子と養親で離縁する者同士の情報を入力する
　　15歳未満の離縁届と同時に届出られた親権者指定届又は未成年後見開始届の情報を入力する
・その1入力画面　　養子の現在の状況の各項目を入力する
・その2入力画面　　養親の現在の状況の各項目を入力する
・その3入力画面　　離縁の種別及び離縁後の戸籍変動に関する各項目を入力する
・その4入力画面　　15歳未満の養子届出人に関する各項目を入力する
・その5入力画面　　養子の配偶者(事件本人以外)に関する各項目を入力する
　　離縁によって養子の養父母が変る場合(転縁組の離縁)、その養父及び養母氏名を入力する
　　離縁により従前の親権事項を移記(記録)する場合、離縁後の親権者区分を入力する(この記録は移記処理では行えないので、
　　当離縁入力で必ずすること)

3.その他

・15歳未満の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理を、離縁届の処理が終了後、親権又は未成年後見で処理して構わない
・離縁によって養子の養父母が変わる場合(転縁組の離縁)の養父及び養母氏名の入力は、移記事項処理で処理しても構わない

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16

作業名	養子離縁届

・養子、養女、養父、養母の年齢算出は算出の要件が明記されていない場合は、離縁成立時の年齢を算出すること
(裁判確定日に入力があれば裁判確定日での年齢、同様離縁成立日における年齢、双方入力がない場合は受領日の年齢)

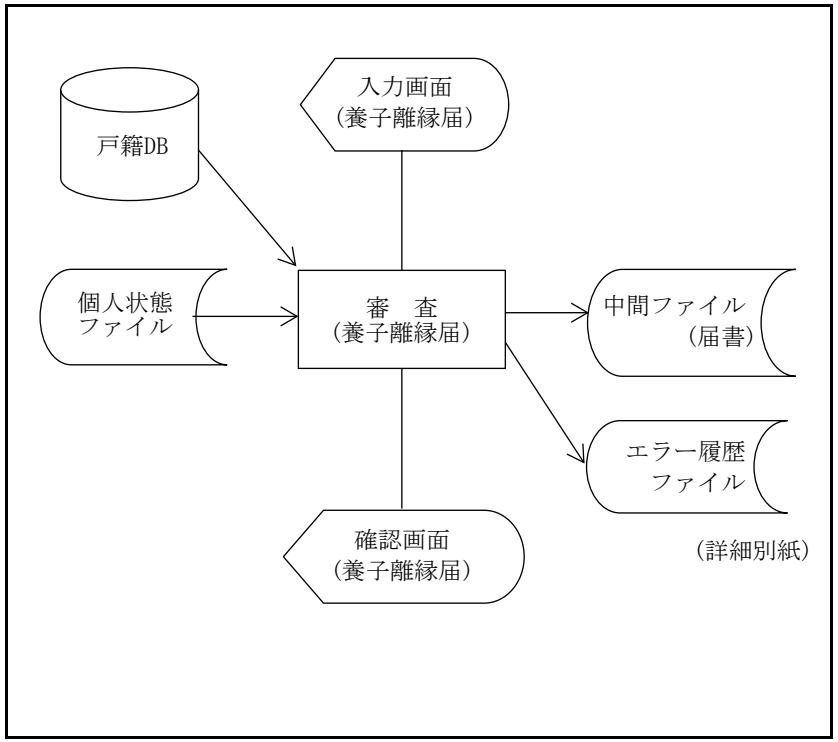
・外国人養子の離縁協議者(外国人父母)の記載では国により「親権者父母」と「父母」の場合があるため双方に対応すること

・受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う

システム環境仕様	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(養子離縁届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)養子離縁届の内容を入力する
(2)養子離縁届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)養子離縁届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)養子離縁届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(養子離縁届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

```
0.0 本紙 ┬ 1.0  単体チェック
         │  └ 1.1  単体チェック(条件設定表)
         ├ 2.0  関連チェック
         │  └ 2.1  関連チェック(表示設定後)
         ├ 3.0  審査(関連審査補完)
         │  ├ 3.1  離縁の準拠法確定
         │  │  ├ 3.1.1  日本法での離縁
         │  │  │  ├ 3.1.1.1  15歳未満の離縁
         │  │  │  └ 3.1.1.2  未成年の離縁
         │  │  └ 3.1.2  外国法での離縁
         │  │ 3.2  離縁種別の確認
         │  └ 3.3  戸籍異動の確認
         │     ├  3.3.1  養子-養親異動
         │     ├  3.3.2  養女-養親異動
         │     └  3.3.3  養子夫婦-養親異動
         └ 4.0データ編集表(中間ファイル/届書)
```

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁届)					
処理名	0.0 本紙					

キー	条件1	条件2	条件3	処理	参照		制御	備考
(1)届書内容を画面入力する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)						/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)				[1.0]	/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)			[2.0]	/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)		[3.0]	/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力	[4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/		
				審査エラー　(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認　(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する					
	NO							
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(養子離縁届)を編集する					(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する						
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(養子離縁届)を編集する					(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する						
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する							
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							

データチェック(単体表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年 4月 1日	版	8.1
作業名	審査(養子離縁届)							
処理名			画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表			入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ以上	英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
5	同時届区分	○	数字	(0:無、1:親権者指定届、2:未成年後見開始届)であること			
5-1	親権・未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
5-2	親権・未成年後見人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	親権・未成年後見人氏名		漢字				
7	親権・未成年後見人本籍		漢字				
8	親権・未成年後見人筆頭者		漢字				
9	同時親権届の種別		数字	(1:協議、2:調停、3:審判)であること			
10	同時親権者資格		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
11	同時親権届出人資格		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
11-1	同時親権届出人の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
11-2	同時親権届出人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	同時親権届出人氏名		漢字				
12-1	同時親権届出人本籍		漢字				
14	出張所番号		数字				
15	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	発送元		漢字				
18	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
19	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
21	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	報告区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年 4月 1日	版	8.1
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
23	養子の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
24	養子の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
25	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
26	養子の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
27	養子のカナ氏名		カナ				
28	養子の漢字氏名		漢字				
29	養子の本･国籍		漢字				
30	養子の住所		漢字				
31	養子の筆頭者		漢字				
32	養子の世帯主		漢字				
33	養子の父氏名		漢字				
34	養子の母氏名		数字				
35	養子の父母との続柄コード		数字	10(男)～29(十九男)であること			
36	養子の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
37	養子の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
38	養女の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
39	養女の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
40	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
41	養女の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
42	養女のカナ氏名		カナ				
43	養女の漢字氏名		漢字				
44	養女の本･国籍		漢字				
45	養女の住所		漢字				
46	養女の筆頭者		漢字				
47	養女の世帯主		漢字				
48	養女の父氏名		漢字				
49	養女の母氏名		漢字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年 4月 1日	版	8.1
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	養女の父母との続柄コード		数字	30(女)～49(十九女)であること			
51	養女の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
52	養女の配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
53	養父の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
54	養父の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
55	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
56	養父の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
57	養父のカナ氏名		カナ				
58	養父の漢字氏名		漢字				
59	養父の本･国籍		漢字				
60	養父の筆頭者		漢字				
61	養父の住所		漢字				
62	養父の世帯主		漢字				
63	養父の縁組成立法区分		数字	(0:日本法、1:日本法以外)であること			
64	養母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
65	養母の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
66	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
67	養母の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
68	養母のカナ氏名		カナ				
69	養母の漢字氏名		漢字				
70	養母の本･国籍		漢字				
71	養母の筆頭者		漢字				
72	養母の住所		漢字				
73	養母の世帯主		漢字				
74	養母の縁組成立法区分		数字	(0:日本法、1:日本法以外)であること			
75	養父母婚姻区分		数字	(0:婚姻中でない1:婚姻中である)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年 4月 1日	版	8.1
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
76	離縁の種別	○	数字	(1:協議、2:調停、3;審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること			
77	離縁の申立人区分		数字	(1:養子(法定代理人を含む)、2:養親)であること			
78	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
79	離縁許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
80	離縁成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
81	離縁の方式		漢字				
82	外国裁判所名		漢字				
83	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		数字	(010:養父、011:養母、012:養父母、013:養子、014:養子夫婦、077:(養子の離縁後の)法定代理人)であること			
84	戸籍変動区分	○	数字	(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍を編製する、3:戸籍に変動がない)であること			
85	氏区分		数字	(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏を兼ねる届)、3;新しい氏)であること			
86	届後本籍		漢字				
87	届後戸籍の筆頭者		漢字				
88	戻る戸籍での筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
89	届後戸籍での配偶者区分		数字	(0:未、3:生存配偶者)であること			
90	15歳未満の届出人資格1		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、023:親権者となるべき父、024:親権者となるべき母、026:親権者となるべき養父、027:親権者となるべき養母、078:特別代理人、110:未成年後見人、111:未成年後見人となるべき者)であること			
91	15歳未満の届出人資格2		数字	同上			
92	15歳未満の届出人氏名1		漢字				
93	15歳未満の届出人国籍1		漢字				
94	15歳未満の届出人生年月日1		英数	「日付チェックサブルーチン」			
95	15歳未満の届出人氏名2		漢字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年 4月 1日	版	8.1
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
96	15歳未満の届出人国籍2		漢字				
97	15歳未満の届出人生年月日2		英数	「日付チェックサブルーチン」			
98	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
99	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
100	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
101	配偶者カナ氏名		カナ				
102	配偶者漢字氏名		漢字				
103	配偶者父氏名		漢字				
104	配偶者母氏名		漢字				
105	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
106	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
107	配偶者住所		漢字				
108	離縁後変更養父氏名		漢字				
109	離縁後変更養母氏名		漢字				
110	親権移記親権者区分		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.1 条件設定		入力画面(離縁形態入力画面)					

No	内容	備考
	以降、審査内部で使用する離縁形態区分の設定および表示内容について記述する	
1	(No.1)〔養子と養父区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 1とする 「養子と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 1:養子と養父の離縁
2	(No.2)〔養子と養母区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 2とする 「養子と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 2:養子と養母の離縁
3	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 3とする 「養子と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 3:養子と養父母の離縁
4	(No.3)〔養女と養父区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 4とする 「養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 4:養女と養父の離縁
5	(No.4)〔養女と養母区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 5とする 「養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 5:養女と養母の離縁
6	(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 6とする 「養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 6:養女と養父母の離縁
7	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 7とする 「養子夫婦と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の離縁
8	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 8とする 「養子夫婦と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の離縁
9	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 9とする 「養子と養父及び養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 9:養子と養父　かつ　養女と養母の離縁
10	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 10とする 「養子と養父及び養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 10:養子と養父　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養女と養母の離縁)
11	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 11とする 「養子と養父及び養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 11:養子と義母　かつ　養女と養父の離縁
12	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 12とする	離縁形態区分 ＝ 12:養子と養母　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養女と養父の離縁)

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.1 条件設定		入力画面(離縁形態入力画面)					

No	内容	備考
	「養子と養母及び養女と養父母の離縁」と表示する	
13	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 13とする 「養子と養父母及び養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 13:養子と養父母　かつ　養女と養父の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養子と養母の離縁)
14	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 14とする 「養子と養父母及び養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 14:養子と養父母　かつ　養女と養母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養子と養父の離縁)
15	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.3)〔養女と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 15とする 「養子夫婦と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 15:養子夫婦と養父母の離縁

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	離縁形態区分 ＝ 1(養子と養父の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		入力がある場合に、外国人区分は必須入力項目
2	離縁形態区分 ＝ 2(養子と養母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
3	離縁形態区分 ＝ 3(養子と養父母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
4	離縁形態区分 ＝ 4(養女と養父の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
5	離縁形態区分 ＝ 5(養女と養母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
6	離縁形態区分 ＝ 6(養女と養母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
7	離縁形態区分 ＝ 7(養子夫婦と養父の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
8	離縁形態区分 ＝ 8(養子夫婦と養母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
9	離縁形態区分 ＝ 9 (養子と養父 かつ養女と養母の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 10(養子と養父 かつ養女と養父母の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 11(養子と養母 かつ養女と養父の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 12(養子と養母 かつ養女と養父母の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 13(養子と養父母 かつ養女と養父の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 14(養子と養父母 かつ養女と養母の離縁) 又は 離縁形態区分 ＝ 15(養子夫婦と養父母の離縁)の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
10	(No5)同時届区分 ＝ 0(無)の場合、 (No.6)親権・未成年後見人氏名～(No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
11	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) 又は 2(未成年後見開始届)の場合、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ≠ スペース かつ (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.92)15歳未満の届出人氏名1であること			
12	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) 又は 2(未成年後見開始届)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍であれば (No.8)親権・未成年後見人筆頭者 ≠ スペースであること			
13	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) 又は 2(未成年後見開始届)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍であれば(No.8)親権・未成年後見人筆頭者 ＝ スペース かつ			
14	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)の場合、 (No.9)同時親権届の種別 ≠ スペース かつ (No.10)同時親権者資格 ≠ スペースであること			
15	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ≠ スペース かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ≠ スペース かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ≠ スペース かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ≠ スペース かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ スペースであること			
16	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 2(調停) 又は 3(審判)の場合、 (No11)同時親権届出人資格 ＝ スペース かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ スペース かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ スペース かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ スペース かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ スペースであること			
17	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母) 又は 011(養母)であること			
18	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父) 又は 010(養父)であること			
19	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母) 又は 011(養母)であること			
20	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父) 又は 010(養父)であること			
21	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.33)養子の父氏名であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.34)養子の母氏名であること			
23	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.33)養子の父氏名であること			
24	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.34)養子の母氏名であること			
25	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.48)養女の父氏名であること			
26	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.49)養女の母氏名であること			
27	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.48)養女の父氏名であること			
28	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.49)養女の母氏名であること			
29	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父) 又は 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
30	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母) 又は 002(母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
31	(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父) 又は 010(養父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
32	(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母) 又は 011(養母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
33	(No.16)送付日 ＝ スペースの時、(No.17)発送元 ＝ スペースであること			
34	(No.16)送付日 ≠ スペースの時、(No.17)発送元 ≠ スペースであること			
35	(No.16)送付日 ≠ スペースの時、(No.16)送付日 ≧ (No15)受領日であること			
36	(No.16)送付日 ＝ スペースの時、(No.18)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
37	(No.17)発送元 ≠ スペースの時、(No.18)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
38	(No.17)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.17)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.18)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
39	(No.17)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.17)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.18)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は (No.18)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
40	(No.19)処理日 ≠ スペースの時、(No.19)処理日 ＞ (No15)受領日であること			
41	(No.21)郵送日 ≠ スペースの時、(No.16)送付日 ＝ スペースであること			
42	(No.21)郵送日 ≠ スペースの時、(No.21)郵送日 ≦ (No.15)受領日であること			
43	(No.20)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.24)養子の本非区分 ＝ 1　又は　(No.39)養女の本非区分 ＝ 1　又は (No.54)養父の本非区分 ＝ 1　又は　(No.65)養母の本非区分 ＝ 1　又は (No.86)届後本籍 ＝ 管内本籍地であること			(No.20)本非区分は養子離縁届の本非区分と位置付ける。 親権･未成年後見届は関係しない。
44	(No.20)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.24)養子の本非区分 ＝ 2　かつ(No.39)養女の本非区分 ＝ 2　かつ (No.54)養父の本非区分 ＝ 2　かつ(No.65)養母の本非区分 ＝ 2　かつ (No.86)届後本籍 ＝ 管外本籍地であること			
45	(No.22)報告区分 ＝ 1(創設的届出)の場合、 (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ(No80)離縁成立日 ＝ スペースであること			
45-1	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No80)離縁成立日 ＝ スペースの場合、 (No.22)報告区分 ＝ 1(創設的届出)であること			
45-2	(No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)の場合、 (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No80)離縁成立日 ≠ スペース)　又は (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は 6(認諾)であること			
46	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No80)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			外国の方式による離縁の入力チェック
47	(No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は　6(認諾)の場合、 (No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
48	養子に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分　かつ　(No.24)養子の本非区分　かつ　(No.25)養子の生年月日　かつ (No.26)養子の生死区分　かつ　(No.27)養子のカナ氏名　かつ　(No.28)養子の漢字氏名　かつ (No.29)養子の本･国籍　かつ　(No.35)養子の父母との続柄コードに入力があること			養子に入力がある場合の必須入力項目
49	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.25)養子の生年月日 ＝ (和暦)　かつ　(No.29)養子の本･国籍 ＝ 本籍　かつ (No.31)養子の筆頭者 ≠ スペース　かつ　(No.36)養子の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ (No.37)養子の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
50	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.24)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.25)養子の生年月日 ＝ (西暦)　かつ (No.29)養子の本･国籍 ＝ 国籍　かつ　(No.31)養子の筆頭者 ＝ スペース　かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
51	(No.24)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.29)養子の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
52	(No.24)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.29)養子の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
53	養父に入力がある場合、(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.26)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
54	養父に入力がある場合、(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.26)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停)又は3(審判)又は4(判決)又は5(和解)又は6(認諾)　かつ (No.83)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
55	(No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未以上) ≦ (No.14)受領日の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
56	(No.30)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.32)養子の世帯主 ＝ スペースであること			
57	(No.32)養子の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.30)養子の住所 ≠ スペースであること			
58				
59				単体ﾁｪｯｸと同じためｶｯﾄ

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
60	(No.36)養子の筆頭者区 ＝ 1(筆頭者)の場合、 (No.28)養子の漢字氏名 ＝ (No.31)養子の筆頭者であること			
60-1	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.28)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.31)養子の筆頭者氏名の「氏」であること			
61	養女に入力がある場合、 (No.38)養女の外国人区分 かつ (No.39)養女の本非区分 かつ (No.40)養女の生年月日 かつ (No.41)養女の生死区分 かつ (No.42)養女のカナ氏名 かつ (No.43)養女の漢字氏名 かつ (No.44)養女の本･国籍 かつ (No.50)養女の父母との続柄コードに入力があること			養女に入力がある場合の必須入力項目
62	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.40)養女の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.44)養女の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.46)養女の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.52)養女の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
63	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.39)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.40)養女の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.44)養女の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.46)養女の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
64	(No.39)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.44)養女の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
65	(No.39)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.44)養女の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
66	養父に入力がある場合、(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.41)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
67	養父に入力がある場合、(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.41)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停)又は3(審判)又は4(判決)又は5(和解)又は6(認諾) かつ (No.82)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
68	(No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ (No.14)受領日の場合、 (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
69	(No.45)養女の住所 ＝ スペースの場合、(No.47)養女の世帯主 ＝ スペースであること			
70	(No.47)養女の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.45)養女の住所 ≠ スペースであること			
71				
72				単体ﾁｪｯｸと同じためｶｯﾄ
73	(No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、 (No.43)養女の漢字氏名 ＝ (No.46)養女の筆頭者であること			
73-1	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.43)養女の漢字氏名の「氏」＝ (No.46)養女の筆頭者氏名の「氏」であること			
74	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) のとき (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)であること			
75	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) のとき (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
75-1				
76	養子又は養女の片方だけに入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ(No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) のとき (No.98)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
77	養子又は養女の片方だけに入力がある場合、 (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) のとき (No.98)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
78	養父に入力がある場合、 (No.53)養父の外国人区分 かつ (No.54)養父の本非区分 かつ (No.55)養父の生年月日 かつ (No.56)養父の生死区分 かつ (No.57)養父のカナ氏名 かつ (No.58)養父の漢字氏名 かつ (No.59)養父の本･国籍 かつ (No.63)養父の縁組成立法区分に入力があること			養父に入力がある場合の必須入力項目
79	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.55)養父の生年月日 ＝ (和暦) かつ(No.59)養父の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
80	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.54)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.55)養父の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.59)養父の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
80-1	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.58)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名の氏であること			
81	(No.54)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.59)養父の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
82	(No.54)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.59)養父の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
83	(No.61)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.62)養父の世帯主 ＝ スペースであること			
84	(No.62)養父の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.61)養父の住所 ≠ スペースであること			
85	養母に入力がある場合、 (No.64)養母の外国人区分 かつ (No.65)養母の本非区分 かつ (No.66)養母の生年月日 かつ (No.67)養母の生死区分 かつ (No.68)養母のカナ氏名 かつ (No.69)養母の漢字氏名 かつ (No.70)養母の本･国籍 かつ (No.74)養母の縁組成立法区分に入力があること			養母に入力がある場合の必須入力項目
86	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.66)養母の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.70)養母の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.71)養母の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
87	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.65)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.66)養母の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.70)養母の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.71)養母の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
87-1	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.69)養母の漢字氏名の氏 ＝ (No.71)養母の筆頭者氏名の氏であること			
88	(No.65)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.70)養母の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
89	(No.65)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.70)養母の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
90	(No.72)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.73)養母の世帯主 ＝ スペースであること			
91	(No.73)養母の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.72)養母の住所 ≠ スペースであること			
91-1				
92	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.77)離縁の申立人区分 ＝ スペース かつ (No.78)裁判確定日 ＝ スペースであること			
93	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.79)離縁許可日 ≠ スペースの場合、 (No.80)離縁成立日 ＝ スペース かつ (No.81)離縁の方式 ＝ スペース かつ (No.82)外国裁判所名 ＝ スペース かつ (No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ スペースであること			外国方式での離縁 外国の裁判所で協議された離縁

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
94				
95	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.80)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.81)離縁の方式 又は (No.82)外国裁判所名 のいずれか一方に入力があること			
95-1	(No.81)離縁の方式 ≠ スペースの場合、(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
95-2	(No.82)外国裁判所名 ≠ スペースの場合、(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
96				
97	(No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停) 又は 3(審判) 又は 4(判決) 又は 5(和解) 又は 6(認諾)の場合、 (No.77)離縁の申立人区分 ≠ スペース かつ (No.78)裁判確定日 ≠ スペース かつ (No.79)離縁許可日 ＝ スペース かつ (No.80)離縁成立日 ＝ スペース かつ (No.81)離縁の方式 ＝ スペース かつ (No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペースであること			
98				
99	(No.78)裁判確定日 ≦ (No.15)受領日であること			
100	(No.79)離縁許可日 ≦ (No.15)受領日であること			
101	(No.80)離縁成立日 ≦ (No.15)受領日であること			
102	(No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) かつ 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3の場合、 (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			15歳未満の届出人がいる場合は、資格1が必須入力項目
103	(No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) かつ 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6の場合、 (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
104	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)の場合、 (No.85)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏) 又は 2(実方の氏(復氏を兼ねる届)) かつ (No.86)届後本籍 ≠ スペース かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.88)戻る戸籍での筆頭者区分 ≠ スペースであること			
105	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍を編製する)の場合、 (No.85)氏区分 ≠ スペース かつ (No.86)届後本籍 ≠ スペース かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.88)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
106	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)の場合、 (No.85)氏区分 ＝ スペース かつ (No.86)届後本籍 ＝ スペース かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.88)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ スペースかつ (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ＝ スペースであること			
107	養子に入力がある場合、 (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未) 又は 3(生存配偶者) かつ (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る) 又は 2(新戸籍を編製する)の場合、 (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ≠ スペースであること			
108	養女に入力がある場合、 (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未) 又は 3(生存配偶者) かつ (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る) 又は 2(新戸籍を編製する)の場合、 (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ≠ スペースであること			
109	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2～ (No.97)15歳未満の届出人生年月日2までがすべてスペースであること			15歳未満の届出人がいる場合は、資格1が必須入力項目
110	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合、 (No.95)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース かつ (No.96)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペース かつ (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
111	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの場合、 (No.92)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
112	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの場合、 (No.95)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
113	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)～011(養母)の場合、 (No.93)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペース かつ (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
114	(No.93)15歳未満の届出人国籍1 ＝ スペースの場合、 (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ スペースであること			
115	(No.93)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペースの場合、 (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			
116	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)～011(養母)の場合、 (No.96)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペース かつ (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
117	(No.96)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペースの場合、 (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
118	(No.96)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペースの場合、 (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦であること			
119	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人) 又は 111(未成年後見人となるべき者)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
120	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 011(養母) 又は 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は 024(親権者となるべき母) 又は 027(親権者となるべき養母) 又は スペースであること			
121	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 010(養父) 又は 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は 023(親権者となるべき父) 又は 026(親権者となるべき養父) 又は スペースであること			
122	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 011(養母) 又は 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は 024(親権者となるべき母) 又は 027(親権者となるべき養母) 又は スペースであること			
123	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 010(養父) 又は 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は 023(親権者となるべき父) 又は 026(親権者となるべき養父) 又は スペースであること			
124	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は スペースであること			
125	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は スペースであること			
126	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は スペースであること			
127	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
128	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母) 又は 027(親権者となるべき養母) 又は スペースであること			
129	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父) 又は 026(親権者となるべき養父) 又は スペースであること			
130	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母) 又は 027(親権者となるべき養母) 又は スペースであること			
131	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父) 又は 026(親権者となるべき養父) 又は スペースであること			
132				
133				
134				
135				
136				
137				
138				
139				
140	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人) 又は 111(未成年後見人となるべき者)の場合、 (No.5)同時届区分 ＝ 0(無) 又は 2(未成年後見開始届)であること			
141	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.101)配偶者カナ氏名 ≠ スペース かつ (No.102)配偶者漢字氏名 ≠ スペースであること			
142	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.99) 配偶者筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ≠ スペース かつ (No.105)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース かつ (No.106)配偶者生年月日 ＝ 和暦であること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
143	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
144	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
145	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
146	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
147				
148	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
149				
150	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
151	(No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース 又は (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペースの場合、 (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る) 又は 2(新戸籍を編製する)であること			
152	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 ＝ 1 又は 2 又は 3の場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.25)養子の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁109) 改正前のチェック
153	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 ＝ 4 又は 5 又は 6の場合、 (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.40)養女の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁109) 改正前のチェック
154				No.213に変更
155	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 = 1 又は 2 又は 3の場合、 (No.23)養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.25)養子の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.37)養子の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁109) 改正後のチェック

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
156	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 = 4 又は 5 又は 6の場合、 (No.38)養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.40)養女の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.52)養女の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁109) 改正後のチェック
200	(No.5)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届) の場合、 (No.9)同時親権届の種別～ (No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			追加分はNo.200からスタートする No.14の後に挿入
201	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 管内本籍地であること			No.201～No.208はNo.16の後に挿入
202	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
203	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍の場合、 (No.5-2)親権・未成年後見人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
204	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍の場合、 (No.5-2)親権・未成年後見人生年 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
205	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 管内本籍地であること			
206	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
207	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 本籍の場合、 (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
208	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 国籍の場合、 (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
209	(No.26)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、 (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未) かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース かつ (No.110)親権移記親権者区分 ＝ スペースであること			No.54の後に挿入
210	(No.41)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、 (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未) かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース かつ (No.110)親権移記載権者区分 ＝ スペースであること			No.67の後に挿入

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
211	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.27)養子のカナ氏名の氏 ＝ (No.42)養女のカナ氏名の氏 かつ (No.28)養子の漢字氏名の氏 ＝ (No.43)養女の漢字氏名の氏であること			養子･養女が日本人のときは同一戸籍であること No.75の後に挿入
212	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.56)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) 又は (No.67)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の時、 (No.75)養母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)であること			No.212～No.213はNo.91の後に挿入
213	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.75)養母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中) の時、 (No.57)養父のカナ氏名の氏 ＝ (No.68)養母のカナ氏名の氏 かつ (No.58)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.69)養母の漢字氏名の氏 かつ (No.59)養父の本国籍 ＝ (No.70)養母の本国籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ＝ (No.71)養母の筆頭者であること			養父･養母が日本人で婚姻中のときは、同一戸籍であること
214	(No.10)同時親権者資格 ＝ 10(養父) 又は 11(養母)の場合、 (No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース 又は (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペースであること			
215	(No.110)親権移記親権区分 ＝ 10(養父) 又は 11(養母)の場合、 (No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース 又は (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.1 表示設定		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	備考
	以降、養子離縁画面(離縁形態入力画面)で表示する 同時親権届出人名称の内容について記述する	同時親権届出人名称をカットしたことにより、このページを削除する
1	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「父」と表示する	
2	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「母」と表示する	
3	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「養父」と表示する	
4	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「養母」と表示する	
5	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)の場合、 「父母」と表示する	
6	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「父及び養母」と表示する	
7	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 001(父)の場合、 「父母」と表示する	
8	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)の場合、 「養父及び母」と表示する	
9	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)の場合、 「養父及び母」と表示する	
10	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	
11	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	
12	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母) かつ (No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)の場合、 「養父母」と表示する	

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4

作業名	審査(養子離縁届)

処理名	画面名	画面ID	
2.1 表示設定	入力画面(養子離縁届)		

No	内容	備考
	以降、養子離縁画面(その4画面)で表示する 15歳未満の届出人資格名称の内容について記述する	
1	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合、 「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は、資格1のコード内容をそのまま表示 111は「未成年後見人となるべき者」と表示する
2	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の場合、 「父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合、 「父及び養母」と表示する	同上
4	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「父及び親権者母」と表示する	同上
5	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「父及び親権者養母」と表示する	同上
6	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
7	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
8	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 010(養父)の場合、 「養父及び母」と表示する	同上
9	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合、 「親権者父及び母」と表示する	同上
10	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び母」と表示する	同上
11	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 「親権者となるべき父及び母」と表示する	同上
12	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び母」と表示する	同上

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.1 表示設定		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	備考
13	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	同上
14	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「養父及び親権者母」と表示する	同上
15	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「養父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
17	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「養父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
18	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合、 「親権者父及び養母」と表示する	同上
19	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び養母」と表示する	同上
20	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 「親権者となるべき父及び養母」と表示する	同上
21	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び養母」と表示する	同上
22	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「親権者父母」と表示する	同上
23	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
24	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
25	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者養母)の場合、 「親権者養父母」と表示する	同上

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.1 表示設定		入力画面(養子離縁届)					

No	内容	備考
26	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「親権者となるべき父母」と表示する	同上
27	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「親権者となるべき父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
28	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
29	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「親権者となるべき養父母」と表示する	同上

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

					備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/		
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する				
	YES	(0-2)→(0-5)へ	/		
	NO	→		(0-3)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-4)→(0-5)へ		/		
(0-5)(養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) 又は (養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) である (YES,NO)			/		R2.1(離縁112)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」 を表示する				R2.1(離縁112)
	YES	(0-8)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」 を表示する		(0-10)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない) R2.1(離縁112)
	NO	(0-9)→			R2.1(離縁112)
NO	(0-11)→(1)		/		R2.1(離縁112)
(1)裁判確定日 ≠ スペースである(YES,NO)			/		離縁の成立した日が旧国籍法当時の場合は、国籍の得喪がからむので、審査結果入力で処理する 現行の国籍法の施行日は昭和25年7月1日 (ただし、平和条約の発効に伴う国の場合は 昭和27年4月28日が発効の日)
YES	(2)裁判確定日 < 昭和25年7月1日である (YES,NO)		/		
	YES	(3)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(4)本紙へ	
	NO	(5)裁判確定日 < 昭和27年4月28日である (YES,NO)	/		
		YES (6) → (21)へ	/		
		NO (7) → (25)へ	/		
NO	(8)離縁成立日 ≠ スペース である(YES,NO)		/		
	YES	(9)離縁成立日 < 昭和25年7月1日 である(YES,NO)	/		
		YES (10)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(11)本紙へ	
		NO (12)離縁成立日 < 昭和27年4月28日 である(YES,NO)	/		
		YES (13) → (21)へ	/		
		NO (14) → (25)へ	/		
	NO	(15)受領日 < 昭和25年7月1日 である(YES,NO)	/		
		YES (16)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(17)本紙へ	
		NO (18)受領日 < 昭和27年4月28日 である(YES,NO)	/		
		YES (19) → (21)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

								備考
			NO	(20) → (25)へ	/			
(21)確認メッセージ(YES,NO)「平和条約発効に該当する国ですか。」を表示する					/			
YES	(23)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					(22)本紙へ		
NO	(24) → (25)へ				/			
(25)離縁形態区分 ＝ 7～15 のいずれかである(YES,NO)					/			養子・養女の双方に入力がある場合、本システムで処理可能な条件。 ・片方又は双方が15歳未満でないこと ・双方生存者の場合は夫婦であること ・双方が死亡者の場合は、養子・養女は同一戸籍 であること(生存中は夫婦であったこと) 上記の条件に合わない離縁届で正当な届は、審
YES	(26)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/			
	YES	(27)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(28)本紙へ		
	NO	(29)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/			
		YES	(30)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(31)本紙へ		
		NO	(32)→ (33)へ		/			
		(33)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)			/			
		YES	(34)養子の本・国籍 ＝ 養女の本・国籍 かつ 養子の筆頭者 ＝ 養女の筆頭者 である(YES,NO)		/			養子と養女が双方日本人の場合 養子と養女は同一戸籍にいるか(本籍人であれば戸籍番号で確認可能)
			YES	(35)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/			
				YES	(36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)	/		
					YES	(37) → (49)へ	/		双方生存で夫婦であれば次の処理へ
					NO	(38)エラーメッセージ 「養子・養女が婚姻関係にありません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(39)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー
				NO	(40)確認メッセージ(YES,NO) 「養子と養女は婚姻していましたか」を表示する (応答後(49)へ)			養子養女の一方又は双方が死亡している場合、同一戸籍で婚姻していた事実があれば次の処理へ
			NO	(41)エラーメッセージ 「養子・養女が同一戸籍にいません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				双方日本人で別戸籍にいる場合はエラー
		NO	(42)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/			片方又は双方が外国人の場合

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

								備考
			YES	(43)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)		/		
			YES	(44) → (49)へ		/		双方生存で夫婦であれば次の処理へ
			NO	(45)エラーメッセージ 「養子･養女が婚姻関係にありません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(46)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー
			NO	(47)確認メッセージ(YES,NO) 「養子と養女は婚姻していましたか」を表示する (応答後(49)へ)			(47-1)本紙へ	養子養女の一方又は双方が死亡している場合、同一戸籍で婚姻していた事実があれば次の処理へ
NO	(48) → (49)へ					/		
(49)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 7 又は 9 又は 10 又は 13 又は 14 又は15 である(YES,NO)						/		
YES	(50)養子の生年月日 < 養父の生年月日 である(YES,NO)					/		
	YES	(51)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(54)へ)					(52)本紙へ	養子が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって、無効要件ではない)
	NO	(53) → (54)へ				/		
	(54)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)					/		
	YES	(55)エラーメッセージ 「養子と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する					(56)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
	NO	(57) → (59)へ				/		
NO	(58) → (59)へ					/		
(59)離縁形態区分 ＝ 4 又は 6 又は 7 又は 10 又は 11 又は 12 又は 13 又は15 である(YES,NO)						/		
YES	(60)養女の生年月日 < 養父の生年月日 である(YES,NO)					/		
	YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(64)へ)					(62)本紙へ	養女が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって、無効要件ではない)
	NO	(63) → (64)へ				/		
	(64)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)					/		
	YES	(65)エラーメッセージ 「養女と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する					(66)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
	NO	(67) → (69)へ				/		
NO	(68) → (69)へ					/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

					備考
(69)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 8 又は 11 又は 12 又は 13 又は 14 又は15 である(YES,NO)			/		
YES	(70)養子の生年月日 < 養母の生年月日 である(YES,NO)		/		
	YES	(71)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(74)へ)		(72)本紙へ	養子が養母より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって、無効要件ではない)
	NO	(73) → (74)へ	/		
	(74)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
	YES	(75)エラーメッセージ 「養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(76)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
	NO	(77) → (79)へ	/		
NO	(78) → (79)へ		/		
(79)離縁形態区分 ＝ 5 又は 6 又は 8 又は 9 又は 10 又は 12 又は 14 又は 15 である(YES,NO)			/		
YES	(80)養女の生年月日 < 養母の生年月日である(YES,NO)		/		
	YES	(81)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(85)へ)		(82)本紙へ	養女が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって、無効要件ではない)
	NO	(83)→(85)へ	/		(84)は欠番
	(85)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養母の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
	YES	(86)エラーメッセージ 「養女と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(87)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
	NO	(88)→(89)へ	/		
NO	(88)→(89)へ		/		
(89)離縁形態区分 ＝ 9～15のいずれかである(YES,NO)			/		
YES	(90)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
	YES	(91)養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/		
		YES (92)エラーメッセージ 「養子及び養親の片方同士が死亡している離縁届の1通処理は 審査結果入力で処理して下さい」を表示する		(93)本紙へ	養子の一方及び養親の一方が死亡者の離縁届が 1通処理可能な場合は審査結果入力とする
		NO (94)→(95)へ	/		
	NO				
NO					

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

							備考
(95)離縁形態区分 ＝ 1～3　又は　7～15のいずれかである(YES,NO)					/		
YES	(96)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)				/		
	YES	(97)養子の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)			/		
		YES	(98)→(106)へ		/		
		NO	(99)エラーメッセージ「養子の身分事項に縁組事項がありません」を表示する			(100)本紙へ	民811①
		(101)			/		(101)～(104)は削除
			(102)		/		
				(103)		(104)	
	NO	(105)→(106)へ			/		
NO							
(106)離縁形態区分 ＝ 4～15のいずれかである(YES,NO)					/		
YES	(107)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)				/		
	YES	(108)養女の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)			/		
		YES	(109)→(117)へ		/		
		NO	(110)エラーメッセージ「養女の身分事項に縁組事項がありません」を表示する			(111)本紙へ	民811①
		(112)			/		(112)～(115)は削除
			(113)		/		
				(114)		(115)	
	NO	(116)→(117)へ					
NO							
(117)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～1 5のいずれかである(YES,NO)					/		
YES	(118)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)				/		
	YES	(119)養父の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)			/		
		YES	(120)→(123)へ		/		
		NO	(121)確認メッセージ(YES,NO) 「養父と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(128)へ)			(122)本紙へ	民811①

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.0 関連審査補完

							備考
		(123)		/			(123)～(126)は削除
			(124)	/			
				(125)		(126)	
	NO	(127)→(128)へ		/			
NO							
(128)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6 又は 8～15 のいずれかである(YES,NO)				/			
YES	(129)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)			/			
	YES	(130)養母の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)		/			
		YES	(131)→(139)へ	/			
		NO	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「養母と養子は縁組していますね」を表示する (応答後(139)へ)		(133)本紙へ		民811①
		(134)		/			(134)～(137)は削除
			(135)				
			(136)		(137)		
	NO	(138)→(139)へ		/			
NO							
(139)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)				/			
YES	(140)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースである(YES,NO)			/			
	YES	(141)エラーメッセージ 「特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい」を表示する			(142)本紙へ		
	NO	(143)→(144)へ		/			
NO							
(144)離縁の準拠法確定 [3.1]				/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1 離縁の準拠法確定

							備考
(1)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15 のいずれかである(YES,NO)					/		離縁は縁組当時の養親の本国法が適用されるので、そのチェックを行う。(通則法31②) 養親の本国(外交)法で成立した縁組の離縁については、システム審査が出来ないので、目検で審査する。
YES	(2)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
	YES	(3)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/		
		YES	(4)→(12)へ		/		
		NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」 を表示する (応答後(12)へ)			(6)本紙へ	
	NO	(7)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/		
		YES	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」 を表示する (応答後(12)へ)			(9)本紙へ	
		NO	(10)→(12)へ		/		
NO	(11)→(12)へ				/		
(12)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6 又は 8～15 のいずれかである(YES,NO)					/		
YES	(13)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
	YES	(14)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/		
		YES	(15)→(23)へ		/		
		NO	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」 を表示する (応答後(23)へ)			(17)本紙へ	
	NO	(18)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/		
		YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」 を表示する (応答後(23)へ)			(20)本紙へ	
		NO	(22)→(23)へ		/		
NO							
(23)離縁形態区分?					/		
1	(24)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/		
	YES	(25)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)			/		
		YES	(26)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する			(27)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない
		NO	(28)→(58)へ		/		
	NO						

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1 離縁の準拠法確定						備考	
2	(29)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES,NO)			/				
	YES	(30)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)		/				
		YES	(31)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(32)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(32)→(58)へ	/				
	NO							
3	(33)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES,NO)			/				
	YES	(34)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)		/				
		YES	(35)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(36)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(37)→(58)へ	/				
	NO							
4	(38)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES,NO)			/				
	YES	(39)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)		/				
		YES	(40)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(41)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(42)→(58)へ	/				
	NO							
5	(43)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES,NO)			/				
	YES	(44)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)		/				
		YES	(45)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(46)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(47)→(58)へ	/				
	NO							
6	(48)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES,NO)			/				
	YES	(49)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)		/				
		YES	(50)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する		(51)本紙へ		事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1 離縁の準拠法確定						備考	
		NO	(52)→(58)へ		/			
	NO							
7 ～ 15	(53)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES,NO)				/			
	YES	(54)離縁の方式 ≠ スペース 又は 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)			/			
		YES	(55)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」 を表示する			(56)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない	
		NO	(57)→(58)へ		/			
	NO							
(58)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15 のいずれかである(YES,NO)					/			
YES	(59)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)				/			
	YES	(60)日本法での離縁		[3.1.1]	/			
	NO	(61)外国法での離縁		[3.1.2]	/			
NO	(62)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)				/			
	YES	(63)日本法での離縁		[3.1.1]	/			
	NO	(64)外国法での離縁		[3.1.2]	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1　日本法での離縁

							備考
(1)離縁形態区分?					/		
1～3	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		
YES	(3)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]				/		
NO	(3-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合、裁判確定日 ≧ 2022年4月1日　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、離縁成立日 ≧ 2022年4月1日　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)				/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁109)
	YES	(3-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/		R2.1(離縁109)
		YES	(3-3)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/		R2.1(離縁109)
			YES	(3-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁109)
			NO	(3-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年　R2.1(離縁109)
		NO	(3-6)離縁種別の確認 [3.2]		/		R2.1(離縁109)
	NO	(4)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/		
		YES	(5)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/		
			YES	(6)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		
			NO	(7)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年
		NO	(8)離縁種別の確認 [3.2]		/		
4～6	(9)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		
YES	(10)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]				/		
NO	(10-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合、裁判確定日 ≧ 2022年4月1日　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、離縁成立日 ≧ 2022年4月1日　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)				/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁109)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名			審査(養子離縁)						
処理名			3.1.1　日本法での離縁					備考	
		YES	(10-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/		R2.1(離縁109)
		YES	(10-3)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/		R2.1(離縁109)		
			YES	(10-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁109)		
			NO	(10-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年 R2.1(離縁109)		
		NO		(10-6)離縁種別の確認 [3.2]	/		R2.1(離縁109)		
		NO	(11)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/				
		YES	(12)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/				
			YES	(13)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/				
			NO	(14)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が妻又は生存配偶者は成年		
		NO		(15)離縁種別の確認 [3.2]	/				
7～15	(16)離縁種別の確認 [3.2]				/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁

						備考
(0)離縁形態区分?				/		
1,2,3	(0.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.2)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)		/		
		YES	(0.3)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES (0.4)→(0.8)へ	/		
			NO (0.5)→		(0.6)本紙へ	不受理
		NO	(0.7)→(0.8)へ	/		
	NO			/		
	(0.8)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.9)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)		/		
		YES	(0.9)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES (0.11)→(0.15)へ	/		
			NO (0.12)→		(0.13)本紙へ	不受理
		NO	(0.14)→(0.15)へ	/		
	NO			/		
	(0.15)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.16)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)		/		
		YES	(0.17)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES (0.18)→(0.22)へ	/		
			NO (0.19)→		(0.20)本紙へ	不受理
		NO	(0.21)→(0.22)へ	/		
	NO			/		
	(0.22)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁						備考	
	YES	(0.23)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/			
		YES	(0.24)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES	(0.25)→(1)へ		/		
			NO	(0.26)→			(0.27)本紙へ	不受理
		NO	(0.28)→(1)へ			/		
	NO					/		
4,5,6	(0.29)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父)　又は 023(親権者となるべき父) である(YES,NO)					/		
	YES	(0.30)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)				/		
		YES	(0.31)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES	(0.32)→(0.36)へ		/		
			NO	(0.33)→			(0.34)本紙へ	不受理
		NO	(0.35)→(0.36)へ			/		
	NO					/		
	(0.36)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父)　又は 023(親権者となるべき父) である(YES,NO)					/		
	YES	(0.37)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)				/		
		YES	(0.38)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES	(0.39)→(0.43)へ		/		
			NO	(0.40)→			(0.41)本紙へ	不受理
		NO	(0.42)→(0.43)へ			/		
	NO					/		
	(0.43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母) である(YES,NO)					/		
	YES	(0.44)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)				/		
		YES	(0.45)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁

								備考
			YES	(0.46)→(0.50)へ	/			
			NO	(0.47)→		(0.48)本紙へ		不受理
		NO		(0.49)→(0.50)へ	/			
	NO							
	(0.50)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/			
	YES	(0.51)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/			
		YES	(0.52)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES	(0.53)→(1)へ	/			
			NO	(0.54)→		(0.55)本紙へ		不受理
		NO		(0.56)→(1)へ	/			
	NO							
(1)離縁形態区分?					/			
1,4	(2)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍)　又は　養父の本非区分 ＝ 1(本籍)で 養父の配偶者区分は(夫)である(YES,NO)				/			養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)			/			
		YES	(5)→(8.1)へ		/			
		NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」 を表示する　(応答後(8.1)へ)			(7)本紙へ		
	NO	(8)→(8.1)へ			/			
	(8.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/	(8.2)本紙へ		死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる
	YES	(8.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)						
		YES	(8.3)→(19.5)へ		/			
		NO	(8.4)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する　(応答後(19.5)へ)			(8.4.1)本紙へ		
	NO	(8.5)→(19.5)へ			/			
2,5	(9)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍)又は養母の本非区分 ＝ 1(本籍)で 養母の配偶者区分は(妻)である(YES,NO)				/			養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁						備考	
	YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)		/				
		YES	(12)→(15.1)へ		/			
		NO	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」 を表示する　(応答後(15.1)へ)			(14)本紙へ		
	NO	(15)→(15.1)へ			/			
	(15.1)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる	
	YES	(15.2)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			/			
		YES	(15.3)→(19.5)へ		/			
		NO	(15.4)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する　(応答後(19.5)へ)			(15.4.1)本紙へ		
	NO	(15.5)→(19.5)へ			/			
3,6	(16)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)				/			
	YES	(17)→(19.5)へ			/			
	NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する　(応答後(19.1)へ)				(19)本紙へ		
	(19.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)　かつ　養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる。	
	YES	(19.2)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			/			
		YES	(19.3)→(19.5)へ		/			
		NO	(19.4)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する　(応答後(19.5)へ)			(19.4.1)本紙へ		
	NO	(19.4.2)→(19.5)へ			/			
(19.5)離縁の種別 ＝ 1(協議離縁)　かつ　離縁成立日 ＝ スペースである(YES,NO)					/			
YES	(19.6)養父の氏名 ＝ 届出人氏名1　又は　養父の氏名 ＝ 届出人氏名2　又は 養母の氏名 ＝ 届出人氏名1　又は　養母の氏名 ＝ 届出人氏名2である(YES,NO)				/		養子離縁の利益相反審査	
	YES	(19.7)確認メッセージ(YES,NO) 「協議者は特別代理人が原則です。届出人資格は正当ですか。」を表示する (応答後(20)へ)				(19.7.1)本紙へ		
	NO	(19.8)→(20)へ			/			
NO								

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
(20)15歳未満の届出人資格1 又は 15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) 又は 017(親権者母) 又は 019(親権者養父) 又は 020(親権者母)である(YES,NO)				/				
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の親権を行っている者に間違いないですね」を表示する (応答後(47)へ)				(22)本紙へ		現在の親権者が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
NO	(23)→(24)へ			/				
(24)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)				/				
YES	(25)離縁形態区分 ＝ 1又は2又は3である(YES,NO)			/				
	YES	(26)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/				
		YES	(27)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/				
			YES (28)→(47)へ	/				
			NO (29)エラーメッセージ 「養子には未成年後見人がいません」を表示する		(30)本紙へ		後見事項がなければエラー	
		NO	(31)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する (応答後(47)へ)				現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
	NO	(32)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/				
		YES	(33)養女の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/				
			YES (34)→(47)へ	/				
			NO (35)エラーメッセージ 「養子には後見人がいません」を表示する		(36)本紙へ		未成年後見事項がなければエラー	
		NO	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する (応答後(47)へ)				現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
NO	(38)→(39)へ			/				
(39)15歳未満の届出人資格1 ＝ 111(未成年後見人となるべき者)である(YES,NO)				/				
YES	(40)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する (応答後(47)へ)				(41)本紙へ		未成年後見人選任を証する書面があることが審査の要件となる	
NO	(42)→(43)へ			/				
(43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)				/				
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する (応答後(47)へ)				(45)本紙へ		特別代理人選任を証する書面があることが審査の要件となる	
NO	(46)→(47)へ			/				
(47)離縁形態区分 ＝ 3 又は 6 である(YES,NO)				/				
YES	(48)養母の縁組成立区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)			/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名		審査(養子離縁)						
処理名		3.1.1.1　15歳未満の離縁					備考	
	YES	(49)外国法での離縁	[3.1.2]	/			養母が外国人の場合は外国法での審査を行う	
	NO	(50)→(51)へ		/				
NO								
(51)離縁種別の確認			[3.2]	/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.1.2　未成年の離縁

							備考
(1)離縁形態区分?					/		
1,4	(2)養父の配偶者区分 ＝ 1(夫)　である(YES,NO)				/		養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する				(4)本紙へ	
		YES	(5)離縁種別の確認	[3.2]	/		
		NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する			(7)本紙へ	
			YES	(8)離縁種別の確認	[3.2]	/	
			NO	→　(応答後、離縁種別の確認[3.2]へ)	[3.2]		(9)本紙へ
	NO	(10)離縁種別の確認			[3.2]	/	
2,5	(11)養母の配偶者区分 ＝ 2(妻)　である(YES,NO)				/		養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する				(13)本紙へ	
		YES	(14)離縁種別の確認	[3.2]	/		
		NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する			(16)本紙へ	
			YES	(17)離縁種別の確認	[3.2]	/	
			NO	→　(応答後、離縁種別の確認[3.2]へ)	[3.2]		(18)本紙へ
	NO	(19)離縁種別の確認			[3.2]	/	
3,6	(20)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)				/		
	YES	(21) → (24)へ			/		養父母が日本人で夫婦の場合は無条件OK
	NO	(22)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する　(応答後(24)へ)				(23)本紙へ	
	(24)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)				/		
	YES	(25)外国法での離縁		[3.1.2]	/		養母が外国人の場合は外国法での審査を行う
	NO	(26)離縁種別の確認		[3.2]	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.1.2　外国法での離縁

					備考
(0)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は　養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/		
YES	(0.1)確認メッセージ(YES,NO)　「外国人からだけの証書提出ではないですね。」を表示する		/		
	YES	(0.2)→(0.6)へ	/		
	NO	(0.3)エラーメッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.4)本紙へ	
NO	(0.5)→(0.6)へ		/		
(0.6)離縁の種別 ＝ 1(協議)(YES,NO)			/		
YES	(0.7)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である。		/		
	YES	(0.8)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」		(0.9)本紙へ	
	NO	(0.10)→(0.11)へ	/		
	(0.11)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届)である。		/		
	YES	(0.12)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と未成年後見届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」を表示する		(0.13)本紙へ	
	NO	(0.14)→(1)へ	/		
NO	(0.15)→(1)へ		/		
(1)離縁形態区分 ＝ 1　又は　3　又は　4　又は　6　又は　7　又は　9 ～ 15　かつ 養父の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)			/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか」を表示する　(応答後(4)へ)			(3)本紙へ	
	(4)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)		/		
	YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する (応答後(8)へ)		(6)本紙へ	
	NO	(7)→(8)へ	/		報告的届出は確認メッセージ不要
	(8)離縁形態区分 ＝ 3　又は　6　又は　9 ～ 15 である(YES,NO)		/		
	YES	(9)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)	/		
		YES　(10)→(14)へ	/		
		NO　(11)日本法での離縁　[3.1.1]	/		
	NO	(12)離縁種別の確認　[3.2]	/		
NO	(13)→(14)へ		/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.1.2　外国法での離縁						備考	
(14)確認メッセージ(YES,NO)　「養母の要件具備証明書等がありますか」を表示する　(応答後(16)へ)						(15)本紙へ		
(16)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)					/			
YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する					(18)本紙へ		
	YES	(19)離縁種別の確認		[3.2]	/			
	NO	→(応答後、離縁種別の確認[3.2]へ)		[3.2]		(20)本紙へ		
NO	(21)離縁種別の確認			[3.2]	/		報告的届出は確認メッセージ不要	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.2 離縁種別の確認						備考	
(1)離縁の種別 ＝ 1(協議)である(YES,NO)				/				
YES	(2)離縁許可日 ≠ スペース である(YES,NO)			/				
YES	(3)離縁形態区分?			/				
1	(4)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)			/				
YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ				(6)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
NO	(7)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する							
2	(8)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)			/				
YES	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ				(10)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
NO	(11)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する							
3	(12)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)			/				
YES	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ				(14)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
NO	(15)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する							
4	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である (YES,NO)			/				
YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ				(18)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
NO	(19)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する							
5	(20)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である (YES,NO)			/				
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ				(22)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			審査(養子離縁)					
処理名			3.2 離縁種別の確認				備考	
		NO	(22)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する					
	6		(24)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/				
		YES	(25)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(26)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(27)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する					
	7		(28)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/				
		YES	(29)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(30)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(31)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する					
	8		(32)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/				
		YES	(33)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(34)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(35)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する					
	9～15		(36)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)	/				
		YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。 届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(38)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(39)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する					
	(40)戸籍異動の確認 [3.3]			/				
NO	(41)離縁成立日 ≠ スペース である(YES,NO)			/				
	YES	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の証書が添付されでいますか。」を表示する (応答後(48)へ)			(43)本紙へ		戸41	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子離縁)							
処理名	3.2 離縁種別の確認						備考	
							(44)～(47)削除	R2.1(離縁111)
								R2.1(離縁111)
								R2.1(離縁111)
	(48)戸籍異動の確認 [3.3]			/				
NO	(49)→(50)			/				
(50)離縁形態区分?				/				
1	(51)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)			/				
	YES	(52)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(53)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(54)本紙へ			
2	(55)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)			/				
	YES	(56)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(57)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(58)本紙へ			
3	(59)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)			/				
	YES	(60)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(61)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(62)本紙へ			
4	(63)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)			/				
	YES	(64)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
	NO	(65)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(66)本紙へ			
5	(67)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)			/				
	YES	(68)戸籍異動の確認 [3.3]		/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名				審査(養子離縁)					
処理名				3.2 離縁種別の確認				備考	
			NO	(69)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(70)本紙へ			
		6		(71)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/				
			YES	(72)戸籍異動の確認 [3.3]	/				
			NO	(73)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(74)本紙へ			
		7		(75)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/				
			YES	(76)戸籍異勤の確認 [3.3]	/				
			NO	(77)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(78)本紙へ			
		8		(79)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/				
			YES	(80)戸籍異動の確認 [3.3]	/				
			NO	(81)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(82)本紙へ			
		9～15		(83)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/				
			YES	(84)戸籍異動の確認 [3.3]	/				
			NO	(85)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(86)本紙へ			
NO					/			(86-1)削除 R4(離縁115)	
				(86-2)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/				
			YES	(86-3)エラーメッセージ 「死亡者との離縁は、創設的届です。離縁種別は協議です。 離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(86-4)本紙へ		死亡者との離縁は、死亡者に変わり裁判所が代行して協議する。審判書が添付されるため、報告的届出として処理することを防ぐための処理	
			NO	(86-5)→(87)へ	/				
								(86-1)削除 R4(離縁115)	

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.2　離縁種別の確認

							備考
(87)確認メッセージ(YES,NO) 「判決の謄本・確定証明書(調停・和解・認諾調書の謄本)が添付されていますね。」 を表示する　(応答後(90)へ)						(88)本紙へ	
					/		(89)削除　R2.1(離縁111)
(90)裁判確定日 + 10日 ＞ 受領日(YES,NO)					/		戸73(戸63①の準用)、戸43
YES	(91)→(100)へ				/		大4.1.14民事1805回答
NO	(92)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する(応答後(100)へ)					(93)本紙へ	戸規65
							(95)～(98)削除　R2.1(離縁111)
							R2.1(離縁111)
							R2.1(離縁111)
(100)離縁の申立人区分 ＝ 1(養子) である(YES,NO)					/		
YES	(101)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)　又は 014(養子夫婦)　又は　077(養子の離縁後の法定代理人) である(YES,NO)				/		
	YES	(102)戸籍異動の確認 [3.3]			/		
	NO	(103)裁判確定日 + 10日 ＞ 受領日(YES,NO)			/		戸73(戸63②の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答
		YES	(104)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する			(105)本紙へ	
			YES	(102)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(104)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する		(108)本紙へ	不受理
		NO	(109)戸籍異動の確認 [3.3]		/		
NO	(110)裁判及び外国式の離縁の届出入資格 ＝ 010(養父)　又は　011(養母)　又は 012(養父母) である(YES,NO)				/		
	YES	(111)戸籍異動の確認 [3.3]			/		
	NO	(112)裁判確定日 + 10日 ＞ 受領日　(YES,NO)			/		戸73(戸63②の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答
		YES	(113)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する			(114)本紙へ	
			YES	(115)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(116)エラーメッセージ　「発収簿処理して下さい。」を表示する		(117)本紙へ	不受理
		NO	(118)戸籍異動の確認 [3.3]		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3 戸籍異動の確認

						備考
(0)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)				/		
YES	(0-1)養子の父氏名 ＝ スペース 又は 養子の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(0-3)→(0-13)へ	/		
		NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	不受理
	NO	(0-6)義子の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)		/		
		YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			
			YES (0-8)→(0-13)へ	/		
			NO (0-9)		(0-10)本紙へ	不受理
		NO	(0-11)→(0→13)へ	/		
NO	(0-12)→(0-23)へ			/		
(0-13)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
YES	(0-14)養女の父氏名 ＝ スペース 又は 養女の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(0-15)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(0-16)→(0-26)へ	/		
		NO	(0-17)		(0-18)本紙へ	不受理
	NO	(0-19)養女の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)		/		
		YES	(0-20)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			
			YES (0-21)→(0-26)へ	/		
			NO (0-22)		(0-23)本紙へ	不受理
		NO	(0-25)→(0-26)へ	/		
NO	(0-25)→(0-26)へ			/		
(0-26)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)				/		
YES	(0-27)配偶者父氏名 ＝ スペース 又は 配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(0-28)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名			審査(養子離縁)						
処理名			3.3 戸籍異動の確認					備考	
		YES	(0-29)→(1)へ		/				
		NO	(0-30)			(0-31)本紙へ		不受理	
	NO		(0-32)配偶者父母との続柄 ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)		/				
		YES	(0-33)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する						
			YES	(0-34)→(1)へ		/			
			NO	(0-35)			(0-36)本紙へ	不受理	
		NO		(0-37)→(1)へ		/			
NO			(0-38)→(1)へ			/			
(1)離縁形態区分?						/			
1～3			(2)養子-養親異動	[3.3.1]		/			
4～6			(3)養女-養親異動	[3.3.2]		/			
7～15			(4)養子夫婦-養親異動	[3.3.3]		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.1 養子-養親異動

						備考
(1)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/		
YES	(2)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(3)本紙へ	養子が外国人の場合は戸籍異動なし
	NO	(4)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する				(審査終了)
NO	(5)→(6)へ			/		
(6)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		
YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(8)本紙へ	養子が死亡者の場合は戸籍異動なし
	NO	(9)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する				(審査終了)
NO	(10)→(10-1)へ			/		
(10-1)養子の身分事項に性同一性障害(7003)があり、戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である (YES,NO)				/		平成15年法律第111号3条
YES	(10-2)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害者の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する			/		
	YES	(10-3)→(11)へ		/		
	NO	→			(10-4)本紙へ	不受理
NO	(10-5)→(11)へ			/		
(11)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/		
YES	(12)配偶者区分?(0:未、1:夫、3:生存配偶者)			/		
	0	(13)→(34)へ		/		戸籍変動区分チェックへ
	1	(14)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)		/		養子夫婦の構成員は戸籍異動なし
		YES	(14-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/		
			YES (14-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて 入力して下さい。」を表示する		(15)本紙へ	(審査終了)
			NO →			
		NO	(16)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁で戸籍の異動はありません。」を表示する			(審査終了)
	3	(17)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動がない)		/		
		1	(18)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏届を兼ねる)、3:新しい氏)	/		
			1 (18-1)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		
			YES (18-2)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.1 養子-養親異動

							備考
				NO (18-3)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する		(18-4)本紙へ	
			2	(19)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
			3	(20)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する		(21)本紙へ	
		2		(22)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES,NO)	/		
			YES	(23)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、縁組前の氏に戻る新戸籍編製はできません」		(24)本紙へ	
			NO	(25)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
		3		(25-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/		
			YES	(25-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する		(26)本紙へ	審査終了
			NO	→			
NO				(27)配偶者区分?(0:未、1:夫、3:生存配偶者)	/		
	0			(28)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
	1			(29)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)	/		
		YES		(30)エラーメッセージ 「夫婦の筆頭者の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する		(31)本紙へ	
		NO		(32)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
	3			(33)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
(34)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動がない)					/		【戸籍変動区分チェック】
1				(35)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES,NO)	/		
	YES			(36)→(48)へ	/		戻る戸籍での筆頭者区分チェックへ
	NO			(37)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(48)へ)		(38)本紙へ	
2				(39)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名　である(YES,NO)	/		
	YES			(40)→(43)へ	/		
	NO			(41)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(42)本紙へ	
				(43)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏を兼ねる届)、3:新しい氏)	/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名		審査(養子離縁)						
処理名		3.3.1 養子−養親異動					備考	
	1	(44)→(70)へ		/			戸籍法30条3項チェックへ	
	2	(45)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(70)へ)			(46)本紙へ			
	3	(47)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は帰化者等、従前の戸籍がない者ですね。」を表示する(応答後(70)へ)						
3	(47-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)			/				
	YES	(47-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」			(47-3)本紙へ		審査終了	
	NO	→						
(48)元に戻る戸籍は管内にある戸籍である(YES,NO)				/			【戻る戸籍での筆頭者区分チェック】 戻る戸籍が管内にある場合は、その戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする 筆頭者がいれば、戻る戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない	
YES	(49)戸籍除区分 ＝ 0(現戸籍)である(YES,NO)			/				
YES	(50)戸籍DBに記録されている者について順次(51)～(56)の処理を繰り返す			/				
		(51)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)		/				
	YES	(52)戻る戸籍での筆頭者区分(画面項目) ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)		/				
		YES	(53)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(54)本紙へ			
		NO	(55)→(85)へ	/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
	NO	(56)→(50)へ		/				
	(57)→(61)へ			/				
	NO	(58)エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示する			(59)本紙へ			
NO	(60)→(61)へ			/				
(61)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/			養子の名と戻る戸籍の筆頭者のなで、筆頭者と成りうるか類推する	
YES	(62)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/				
	YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)			(64)本紙へ			
	NO	(65)→(85)へ		/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
NO	(66)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/				
	YES	(67)→(85)へ		/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
	NO	(68)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)			(69)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.1 養子−養親異動

						備考
(70)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母)である(YES,NO)				/		【戸籍法30条3項チェック】 養子本人以外から届出られた離縁で戸籍の異動がある場合、養子の申出がない限り、従前の戸籍に戻らなければならない。従前の戸籍に戻れず新戸籍を編製すべきときは、従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。
YES	(71)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は従前の戸籍には戻れませんね。」を表示する			/		
	YES	(72)→(75)へ		/		
	NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)			(74)本紙へ	
	(75)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏届を兼ねる)、3:新しい氏)			/		
	1,2	(76)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する			(77)本紙へ	(参考)S50.4.30民二2221号民事二課長回答
		YES	(78)→(85)へ	/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ
		NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)		(80)本紙へ	
	3	(81)養子の本・国籍 ＝ 届後本籍である(YES,NO)		/		
		YES	→		(82)本紙へ	審査終了
		NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する			
NO	(84)→(85)へ			/		
(85)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)である(YES,NO)				/		【届後戸籍での配偶者区分チェック】
YES	→				(86)本紙へ	審査終了
NO	(87)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(88)本紙へ	審査終了
	NO	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は異動後の戸籍で、生存配偶者に間違いありませんね。」を表示する				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.2 養女-養親異動

						備考
(1)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/		
YES	(2)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(3)本紙へ	養子が外国人の場合は戸籍異動なし (審査終了)
	NO	(4)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する				
NO	(5)→(6)へ			/		
(6)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		
YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(8)本紙へ	養子が死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
	NO	(9)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する				
NO	(10)→(10-1)へ			/		
(10-1)養子の身分事項に性同一性障害(7003)があり、戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)				/		平成15年法律第111号3条
YES	(10-2)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害者の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する			/		
	YES	(10-3)→(11)へ		/		
	NO	→			(10-4)本紙へ	不受理
NO	(10-5)→(11)へ			/		
(11)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/		
YES	(12)配偶者区分?(0:未、2:妻、3:生存配偶者)			/		
	0	(13)→(34)へ		/		戸籍変動区分チェックへ
	2	(14)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)		/		養子夫婦の構成員は戸籍異動なし
		YES	(14-1)養女の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/		
			YES (14-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて 入力して下さい。」を表示する		(15)本紙へ	(審査終了)
			NO →			
		NO	(16)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁で戸籍の異動はありません。」を表示する			(審査終了)
	3	(17)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動がない)		/		
		1	(18)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏届を兼ねる)、3:新しい氏)	/		
			1 (18-1)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		
			YES (18-2)→(34)へ			戸籍変動区分チェックへ

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.2 養女-養親異動

							備考
				NO (18-3)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する		(18-4)本紙へ	
			2	(19)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
			3	(20)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する		(21)本紙へ	
		2		(22)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES,NO)	/		
			YES	(23)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では、縁組前の氏に戻る新戸籍編製はできません」		(24)本紙へ	
			NO	(25)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
		3		(25-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/		
			YES	(25-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する		(26)本紙へ	審査終了
			NO	→			
NO				(27)配偶者区分?(0:未、2:妻、3:生存配偶者)	/		
	0			(28)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
	2			(29)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)	/		
		YES		(30)エラーメッセージ 「夫婦の筆頭者の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する		(31)本紙へ	
		NO		(32)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
	3			(33)→(34)へ	/		戸籍変動区分チェックへ
(34)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動がない)					/		【戸籍変動区分チェック】
1				(35)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES,NO)	/		
	YES			(36)→(48)へ	/		戸籍での筆頭者区分チェックへ
	NO			(37)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(48)へ)		(38)本紙へ	
2				(39)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名　である(YES,NO)	/		
	YES			(40)→(43)へ	/		
	NO			(41)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(42)本紙へ	
				(43)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏を兼ねる届)、3:新しい氏)	/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名		審査(養子離縁)						
処理名		3.3.2 養女-養親異動					備考	
	1	(44)→(70)へ		/			戸籍法30条3項チェックへ	
	2	(45)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(70)へ)			(46)本紙へ			
	3	(47)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は帰化者等、従前の戸籍がない者ですね。」を表示する(応答後(70)へ)						
3	(47-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)			/				
	YES	(47-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」			(47-3)本紙へ		審査終了	
	NO	→						
(48)元に戻る戸籍は管内にある戸籍である(YES,NO)				/			【戻る戸籍での筆頭者区分チェック】 戻る戸籍が管内にある場合は、その戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする 筆頭者がいれば、戻る戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない	
YES	(49)戸籍除区分 ＝ 0(現戸籍)である(YES,NO)			/				
YES	(50)戸籍DBに記録されている者について順次(51)～(56)の処理を繰り返す			/				
	(51)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)			/				
	YES	(52)戻る戸籍での筆頭者区分(画面項目) ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)		/				
		YES	(53)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(54)本紙へ			
		NO	(55)→(85)へ	/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
	NO	(56)→(50)へ		/				
	(57)→(61)へ			/				
	NO	(58)エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示する			(59)本紙へ			
NO	(60)→(61)へ			/				
(61)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/			養子の名と戻る戸籍の筆頭者のなで、筆頭者と成りうるか類推する	
YES	(62)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/				
	YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)			(64)本紙へ			
	NO	(65)→(85)へ		/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
NO	(66)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/				
	YES	(67)→(85)へ		/			届後戸籍での配偶者区分チェックへ	
	NO	(68)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)			(69)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.2 養女-養親異動

						備考
(70)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母)である(YES,NO)				/		【戸籍法30条3項チェック】 養子本人以外から届出られた離縁で戸籍の異動がある場合、養子の申出がない限り、従前の戸籍に戻らなければならない。従前の戸籍に戻れず新戸籍を編製すべきときは、従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。
YES	(71)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は従前の戸籍には戻れませんね。」を表示する			/		
	YES	(72)→(75)へ		/		
	NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)			(74)本紙へ	
	(75)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏届を兼ねる)、3:新しい氏)			/		
	1,2	(76)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する			(77)本紙へ	(参考)S50.4.30民二2221号民事二課長回答
		YES	(78)→(85)へ	/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ
		NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)		(80)本紙へ	
	3	(81)養子の本・国籍 ＝ 届後本籍である(YES,NO)		/		
		YES	→		(82)本紙へ	審査終了
		NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する			
NO	(84)→(85)へ			/		
(85)養子の配偶者区分 ＝ 2(妻)である(YES,NO)				/		【届後戸籍での配偶者区分チェック】
YES	→				(86)本紙へ	審査終了
NO	(87)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(88)本紙へ	審査終了
	NO	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は異動後の戸籍で、生存配偶者に間違いありませんね。」を表示する				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	審査(養子離縁)					
処理名	3.3.3 要旨夫婦-養親異動					

				内容	参照			備考
(1)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)						/		
YES	(2)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)					/		
	YES	(3)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)				/		
		YES	→				(4)本紙へ	養子夫婦双方が外国人の場合は戸籍異動なし(審査終了)
		NO	(5)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する					
	NO	(6)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		
		YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
			YES	→			(8)本紙へ	一方外国人他方死亡者の場合は戸籍異動なし(審査終了)
			NO	(9)エラーメッセージ 「養子の一方が外国人、他方が死亡者なので異動はありません。」を表示する				
		NO	(10)養女-養親異動		[3.3.2]	/		養子外国人の場合は養女だけの異動を考える
NO	(10)→(11)へ					/		
(11)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)						/		
YES	(12)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)					/		
	YES	(13)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)				/		
		YES	→				(14)本紙へ	一方外国人他方死亡者の場合は戸籍異動なし(審査終了)
		NO	(15)エラーメッセージ 「養子の一方が外国人、他方が死亡者なので異動はありません。」を表示する					
	NO	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		
		YES	(17)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/		
			YES	→			(18)本紙へ	養子夫婦双方が死亡者の場合は戸籍異動なし(審査終了)
			NO	(19)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する				
		NO	(20)養女-養親異動		[3.3.2]	/		養子死亡者の場合は養女だけの異動を考える
NO	(21)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)					/		
	YES	(22)養子-養親異動			[3.3.1]	/		養女外国人の場合は養子だけの異動を考える
	NO	(23)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		
		YES	(24)養子-養親異動		[3.3.1]	/		養女死亡者の場合は養子だけの異動を考える
		NO	(25) → (26)へ			/		
(26)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍を編製する、3:戸籍に変動がない)						/		日本人夫婦(双方生存者)の場合

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13

作業名	審査(養子離縁)
処理名	3.3.3 要旨夫婦-養親異動

					備考
1	(27)エラーメッセージ 「養子夫婦の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する		/	(28)本紙へ	
2	(29)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)		/		
	YES	(30)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名 である(YES,NO)	/		
		YES (31) → (38)へ	/		
		NO (32)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(33)本紙へ	
	NO	(34)養女の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)	/		
		YES (35) → (38)へ	/		
		NO (36)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(37)本紙へ	
	(38)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の氏(復氏を兼ねる届)、3:戸籍に変動がない)		/		
	1	(39) → (43)へ	/		
	2	(40)確認メッセージ(YES,NO) 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(43)へ)		(41)本紙へ	
	3	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は帰化者等、従前の戸籍がない者ですね。」を表示する(応答後(43)へ)			
	(43)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母)である(YES,NO)		/		【戸籍法30条3項チェック】 養子本人以外から届出られた離縁で新戸籍を編製すべきときは、従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。
	YES	(44)氏区分?(1:縁組前の氏、2:実方の民(復氏を兼ねる届)、3:新しい氏)	/		
		1,2 (45)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する		(46)本紙へ	
		YES →			審査終了
		NO (47)確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する			
		3 (48)養子の本・国籍 ＝ 届後本籍 である(YES,NO)	/		
		YES →		(49)本紙へ	審査終了
		NO (50)戻確認メッセージ(YES,NO) 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する			
	NO	→			審査終了
3	(51)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名			審査(養子離縁)						
処理名			3.3.3 要旨夫婦-養親異動					備考	
	YES		(52)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」			(53)本紙へ		審査終了	
	NO		(54)養女の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)		/				
		YES	(55)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する			(56)本紙へ		審査終了	
		NO	→						

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		養子離縁届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							04(養子離縁届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分			報告区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人のとき0 事件本人全員が外国人のとき2 上記以外のとき1 (親権者･後見人は含まない)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							養子、養親、届後戸籍が本籍分の場合、選択戸籍番号を設定
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする。 (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	決裁区分								何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分								
中間ファイル(届書) 事件別内容	養子と養父区分			養子離縁届入力画面	養子と養父区分				
	養子と養母区分				養子と養母区分				
	養女と養父区分				養女と養父区分				
	養女と養母区分				養女と養母区分				
	同時届区分				同時届区分				
	親権･未成年後見人の個人番号			本籍人検索	親権･未成年後見人の個人番号				本籍人の場合のみ設定
	親権･未成年後見人の本非区分			養子離縁届入力画面	親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人生年月日				親権･未成年後見人生年月日				
	親権･未成年後見人氏名				親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍コード				親権･未成年後見人本籍		有		
	親権･未成年後見人本籍								
	親権･未成年後見人筆頭者				親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別				同時親権届の種別				
	同時親権者資格				同時親権者資格				
	同時親権届出人資格				同時親権届出人資格				
	同時親権届出人の個人番号			本籍人検索	同時親権届出人個人番号				本籍人の場合のみ設定
	同時親権届出人の本非区分			養子離縁届入力画面	同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人生年月日				同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人の氏名				同時親権届出人氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	同時親権届出人本籍コード			同時親権届出人本籍		有		
	同時親権届出人本籍							
	養子の個人番号		本籍人検索	養子の個人番号				養子が本籍人の場合のみ設定
	養子の外国人区分		養子離縁届入力画面	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本･国籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養女の個人番号		本籍人検索	養女の個人番号				養女が本籍人の場合のみ設定
	養女の外国人区分		養子離縁届入力画面	養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	養女の本籍コード			養女の本･国籍		有			
	養女の本･国籍								
	養女の住所コード			養女の住所		有			
	養女の住所								
	養女の筆頭者			養女の筆頭者					
	養女の世帯圭			養女の世帯主					
	養女の父氏名			養女の父氏名					
	養女の母氏名			養女の母氏名					
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード					
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分					
	養女の配偶者区分			養女の配隅者区分					
	養父の個人番号		本籍人検索	養父の個人番号				養父が本籍人の場合のみ設定	
	養父の外国人区分		養子離縁届入力画面	養父の外国人区分					
	養父の本非区分			養父の本非区分					
	養父の生年月日			養父の生年月日					
	養父の生死区分			養父の生死区分					
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名					
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名					
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有			
	養父の本･国籍								
	養父の筆頭者			養父の筆頭者					
	養父の住所コード			養父の住所		有			
	養父の住所								
	養父の世帯主			養父の世帯主					
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分					
	養母の個人番号		本籍人検索	養母の個人番号				養母が本籍人の場合のみ設定	
	養母の外国人区分		養子離縁届入力画面	養母の外国人区分					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

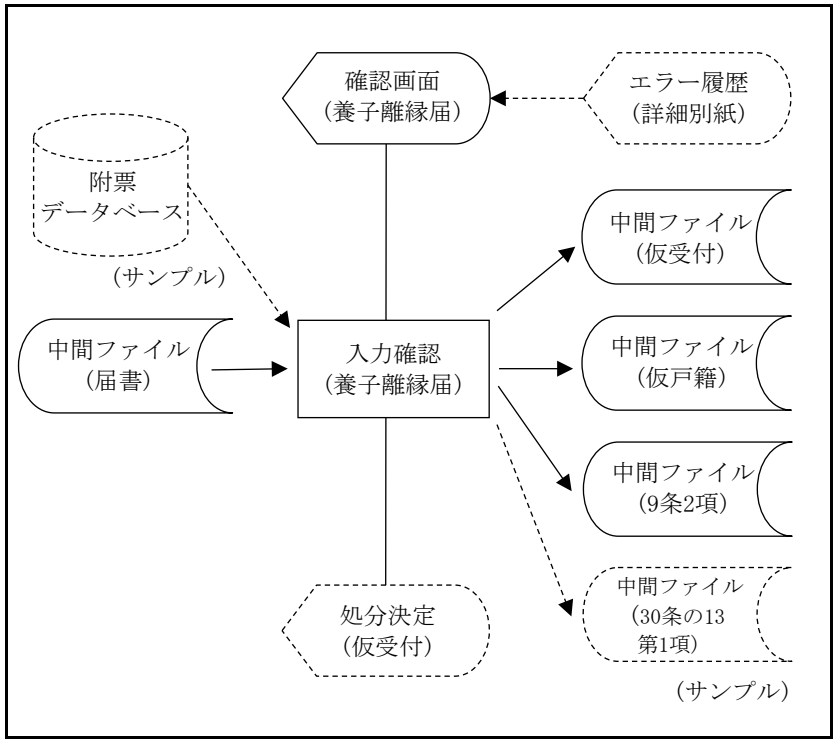
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本･国籍							
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の世帯主			養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分			養父母婚姻区分				
	離縁の種別			離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	氏区分			氏区分				
	届後本籍コード			届後本籍		有		
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	戻る戸籍での筆頭者区分				戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分				届後戸籍での配偶者区分				
	15歳未満の届出人資格1				15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2				15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人氏名1				15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍1				15歳未満の届出人国籍1				
	15歳未満の届出人生年月日1				15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2				15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍2				15歳未満の届出人国籍2				
	15歳未満の届出人生年月日2				15歳未満の届出人生年月日2				
	配偶者個人番号			本籍人検索	配偶者個人番号				配偶者が本籍人の場合のみ設定
	配偶者外国人区分			養子離縁届入力画面	配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分				配偶者筆頭者区分				
	配偶者配偶者区分				配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名				配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名				配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名				配偶者父氏名				
	配偶者母氏名				配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード				配偶者父母との続柄コード				
	配偶者生年月日				配偶者生年月日				
	離縁後住所コード				配偶者住所		有		
	配偶者住所								
	離縁後変更養父氏名				離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名				離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分				親権移記親権者区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要
(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 2.1 離縁マトリックス表
  - 2.2 親権マトリックス表
  - 2.3 未成年後見マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 離縁
  - 3.2 親権
  - 3.3 未成年後見
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 養子の戻る戸籍(記録) ※ひな形A.2と異なる場合
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 養子の新戸籍(入籍) ※ひな形C.1と異なる場合
  - 5.2 養子の戻る戸籍(入籍) ※ひな形C.1と異なる場合
  - 5.3 養子の戻る戸籍に変動無し(記録) ※ひな形C.2と異なる場合
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 養子(女)(入籍)
  - 6.2 養子(女)(除籍)
  - 6.3 養子(女)(記録)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 7.1 養親(記録)
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1 養子(女)の配偶者(入籍)
  - 8.2 養子(女)の配偶者(徐籍)
- 9.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 9.1 養子(女)の親権事項(記録) ※同時親権届の場合
  - 9.2 養子(女)の親権事項(移記) ※従前の親権事項の移記
  - 9.3 養子(女)の未成年後見事項(記録) ※同時後見届の場合
- 10.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項) ※10.1 養父、10.2 養母を削除(R4版)
  - 10.3 養子
  - 10.4 養女
  - 10.5 養子(女)の配偶者
- 11.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル表示)
  - 11.1 養子
  - 11.2 養女
  - 11.3 養子(女)の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0　本紙

								備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よろしければ実行キーを押下して下さい。」を表示する。							[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)								/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する						[2.0]	/	
	(4)離縁形態区分?							/	
	3	(4-1)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)						/	養父母のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-2)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
		NO	(4-3)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
			(4-4)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
	6	(4-5)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)						/	
		YES	(4-6)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
		NO	(4-7)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
			(4-8)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
	7	(4-9)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)						/	養子夫婦のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
		NO	(4-11)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
			(4-12)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
	8	(4-13)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)						/	
		YES	(4-14)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
		NO	(4-15)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
			(4-16)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				[3.1]	/	
	9	(4-17)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)						/	養父母のいずれか一方又は養子夫婦のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
	〜	YES	(4-18)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)					/	
	15		YES	(4-19)養父母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する			[3.1]	/	
			NO	(4-19-1)離縁形態区分?				/	
				9	(4-19-2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1]	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)

処理名							備考
0.0 本紙							
				(4-19-3)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
			10	(4-19-4)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
				(4-19-5)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
			11	(4-19-6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
				(4-19-7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
			12	(4-19-8)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
				(4-19-9)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
			13	(4-19-10)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
				(4-19-11)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
			14	(4-19-12)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
				(4-19-13)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
			15	(4-19-14)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
				(4-19-15)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	
		NO	(4-22-1)離縁形態区分?			/	
			9	(4-22-2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0 本紙

					備考
			(4-22-3)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		10	(4-22-4)農父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-5)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		11	(4-22-6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		12	(4-22-8)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-9)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		13	(4-22-10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-11)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		14	(4-22-12)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-13)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		15	(4-22-14)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-22-15)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	その他		(4-24)事件本人(養父、養母、養子、養女)で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			(4-25)同時届区分?	/	
	0		(4-26)→(5)へ	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)

処理名	0.0 本紙					備考
1	(4-27)中間ファイル(仮受付･親権)を編集･出力する [3.2]				/	
2	(4-28)中間ファイル(仮受付･未成年後見)を編集･出力する [3.3]				/	
(5)養子に入力がある(YES,NO)					/	
YES	(6)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動無し)				/	
	1	(7)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
		YES	(8)身分事項:養子(除籍)を編集する [6.2]		/	
			(8-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示
			YES	(8-2)養子について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [11.1]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(8-1)(8-2)
			NO	(9)→(10)へ	/	
		NO				
		(10)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)			/	
		YES	(10-1)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)かつ届後戸籍の筆頭者 ＝ 戻る戸籍の筆頭者氏名である(YES,NO)		/	戻る戸籍で筆頭者となる養子の名と戻る戸籍の筆頭者の名が異なる場合だけ[4.1]の編集を行う
			YES	(10-2)戸籍特定:養子の戻る戸籍(記録)を編集する [4.1]	/	
			NO	(10-3)→(10-4)へ	/	
				(10-4)個人特定:養子の戻る戸籍(入籍)を編集する [5.2]	/	
				(11)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]	/	
		NO	(12)→(24)へ		/	
	2	(7)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
		YES	(14)身分事項:養子(除籍)を編集する [6.2]		/	
			(14-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示
			YES	(14-2)養子について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [11.1]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(14-1)(14-2)
			NO	(15)→(16)へ	/	
		NO				
		(16)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/	
		YES	(16-1)離縁形態区分 ＝ 1、2、3 又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で、養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)		/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0 本紙

								備考
			YES	(16-2)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する	[5.1]	/		
				(17)身分事項:養子(入籍)を編集する	[6.1]	/		
			NO	(17-1)個人特定:養女の新戸籍(入籍)を編集する	[5.1]	/		養女が筆頭者であるため、養女を入籍させた後で養子を入籍させる
				(17-2)身分事項:養女(入籍)を編集する	[6.1]	/		
				(17-3)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する	[5.1]	/		
				(17-4)身分事項:養子(入籍)を編集する	[6.1]	/		
			NO	(18)→(24)へ		/		
		3		(19)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/		
			YES	(20)個人特定:養子の戸籍に変動無し(記録)を編集する	[5.3]	/		
				(21)身分事項:養子(記録)を編集する	[6.3]	/		
			NO	(22)→(24)へ		/		
	NO			(22)→(24)へ		/		
				(24)養女に入力がある(YES,NO)		/		
	YES			(25)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動無し)		/		
		1		(26)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/		
			YES	(27)身分事項:養子(除籍)を編集する	[6.2]	/		
				(27-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)		/		※サンプル提示
				YES (27-2)養女について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[11.2]	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
				NO (28)→(29)へ		/		処理(27-1)(27-2)
			NO					
				(29)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)		/		
			YES	(29-1)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ 届後戸籍の筆頭者 ＝ 戻る戸籍の筆頭者氏名である(YES,NO)		/		戻る戸籍で筆頭者となる養子の名と戻る戸籍の筆頭者の名が異なる場合だけ[4.1]の編集を行う
				YES (29-2)戸籍特定:養女の戻る戸籍(記録)を編集する	[4.1]	/		
				NO (29-3)→(10-4)へ		/		
				(29-4)個人特定:養女の戻る戸籍(入籍)を編集する	[5.2]	/		
				(30)身分事項:養子(入籍)を編集する	[6.1]	/		
			NO	(31)→(43)へ		/		
		2		(32)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)

処理名	0.0 本紙	備考
	YES (33)身分事項:養女(除籍)を編集する [6.2] /	
	(33-1)養女は在外選挙人である(YES,NO) /	※サンプル提示
	YES (33-2)養女について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [11.2] /	附票情報との連動により往外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
	NO (34)→(35)へ /	処理(33-1)(33-2)
	NO /	
	(35)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO) /	
	YES (35-1)離縁形態区分 ＝ 4、5、6 又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で、養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO) /	
	YES (35-2)個人特定:養女の新戸籍(入籍)を編集する [5.1] /	
	(36)身分事項:養女(入籍)を編集する [6.1] /	
	NO (36-1)個人特定:養女の新戸雑(入籍)を編集する [5.1] /	養子が筆頭者の場合は(16-2)～(17)で養子が入籍済みなので養女のみ入籍させる
	(36-2)身分事項;養女(入籍)を編集する [6.1] /	
	NO (37)→(43)へ /	
	3 (38)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO) /	
	YES (39)個人特定:養子の戸籍に変動無し(記録)を編集する [5.3] /	
	(40)身分事項:養子(記録)を編集する [6.3] /	
	NO (41)→(43)へ /	
	NO (42)→(43)へ /	
	(43)養父に入力がある(YES,NO) /	
	YES (44)養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO) /	
	YES (45)身分事項:養親(記録)を編集する [7.1] /	
	NO (46)→(48)へ /	
	NO (47)→(48)へ /	
	(48)養母に入力がある(YES,NO) /	
	YES (49)養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO) /	
	YES (50)身分事項:養親(記録)を編集する [7.1] /	
	NO (51)→(53)へ /	
	NO (52)→(53)へ /	
	(53)養子の配偶者に入力があり配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO) /	戸籍変動区分は2(新戸籍編製)だけである

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁届)					
処理名	0.0 本紙				備考	

YES	(61)養子の配偶者の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)					/	養子又は養女の本非区分で判断する
	YES	(62)身分事項:養子の配偶者(除籍)を編集する			[8.2]	/	(54)から(60)は欠番
		(62-1)養子の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示
		YES	(62-2)養子の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する		[11.3]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
		NO	(62-3)→(64)へ			/	処理(62-1)(62-2)
	NO	(63)→(64)へ				/	
	(64)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)					/	
	YES	(65)身分事項:養子の配偶者(入籍)を編集する			[8.1]	/	
	NO	(66)→(69)へ				/	
NO	(68)→(69)へ					/	
(69)同時届区分 ＝ 0(無)である(YES,NO)						/	
YES	(70)→(83)へ					/	
NO	(71)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動無し)					/	
	1	(72)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)				/	
		YES	(73)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である(YES,NO)			/	
			YES	(74)身分事項:養子(女)の親権事項(記録)	[9.1]	/	
			NO	(75)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録)	[9.3]	/	
		NO	(76)→(93)へ			/	
	2	(77)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)				/	
		YES	(78)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である(YES,NO)			/	
			YES	(79)身分事項:養子(女)の親権事項(記録)	[9.1]	/	
			NO	(80)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録)	[9.3]	/	
		NO	(81)→(93)へ			/	
	3	(82)養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)				/	
		YES	(82-1)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である(YES,NO)			/	
			YES	(82-2)身分事項:養子(女)の親権事項(記録)	[9.1]	/	
			NO	(82-3)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録)	[9.3]	/	
		NO	(82-4)→(93)へ			/	
(83)親権移記親権者区分に入力がある(YES,NO)						/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁届)
処理名	0.0　本紙

								備考
	YES		(84)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る、2:新戸籍編製、3:戸籍に変動無し)			/		
		1	(85)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)			/		
			YES	(86)身分事項:養子(女)の親権事項(移記)	[9.2]	/		
			NO	(87)→(93)へ		/		
		2	(88)新戸籍の編製地は管内にある(YES,NO)			/		
			YES	(89)身分事項:養子(女)の親権事項(移記)	[9.2]	/		
			NO	(90)→(93)へ		/		
		3	(91)養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/		
			YES	(91-1)身分事項:養子(女)の親権事項(移記)	[9.2]	/		
			NO	(91-2)→(93)へ		/		
	NO		(92)→(93)へ			/		
	(93)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					/		
	YES					/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		(94)～(99)削除　R4(離縁119)
		(100)養子に入力があり、養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
		YES	(101)養子について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[10.3]	/		
		NO	(102)→(103)へ			/		
		(103)養女に入力があり、養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
		YES	(104)養女について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する		[10.4]	/		
		NO	(105)→(106)へ			/		
		(106)養子の配偶者に入力があり、 養子の配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
		YES	(107)養子の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する		[10.5]		(108)処分決定に制御を渡す	
		NO	→					
	NO	→						
PF1	→						(109)業務選択に制御を渡す	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF2	→					(110)届出選択に制御を渡す		
PF5	→					(111)審査(養子離縁届)に制御を渡す		
PF7	(112)前ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(113)前ページ分の確認画面(養子離縁届)を編集する				(114)同画面を編集する		
	NO	(115)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する						
PF8	(116)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(117)次ページ分の確認画面(養子離縁届)を編集する				(118)同画面を編集する		
	NO	(119)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→					(119)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(120)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する					(121)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	養子と養父区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	養子離縁形態名称			養子離縁形態区分		有		審査の条件設定を参照
	同時届区分			同時届区分				
	親権･未成年後見人の本非区分		養子離縁届入力画面	親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人生年月日			親権･未成年後見人生年月日				
	親権･未成年後見人氏名			親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍			親権･未成年後見人本籍コード		有		
				親権･未成年後見人本籍				
	親権･未成年後見人筆頭者			親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人の本非区分			同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人氏名			同時親権届出人氏名				
	同時親権届出人本籍			同時親権届出人本籍コード		有		
				同時親権届出人本籍				
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	養子の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分		有		
	養子の生死区分名称							
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本･国籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード		有		
	養子の父母との続柄名称							
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分		有		
	養子の筆頭者区分名称							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分		有		
	養子の配偶者区分名称							
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分		有		
	養女の生死区分名称							
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本･国籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯主			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード		有		
	養女の父母との続柄名称							
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分		有		
	養女の筆頭者区分名称							
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分		有		
	養女の配偶者区分名称							
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養父の生死区分			養父の生死区分		有		
	養父の生死区分名称							
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本･国籍				
	養父の筆頭者			養父の筆頭者				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分		有		
	養母の生死区分名称							
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本･国籍				
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の世帯主			養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分			養父母婚姻区分				
	離縁の種別			離縁の種別				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	氏区分			氏区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格名称				15歳未満の届出人資格1と2の内容から変換 (審査の表示設定その2参照)
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍コード1		有		
				15歳未満の届出人国籍1				
	15歳未満の届出人生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍コード2		有		
				15歳未満の届出人国籍2				
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	1.0　確認画面(養子離縁届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分		有		
	配偶者筆頭者区分名称							
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分		有		
	配偶者配偶者区分名称							
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者筆頭者			配偶者筆頭者				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード		有		
	配偶者父母との続柄名称							
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
	あくまでも目安	養子･養女の入力がある場合は、同一戸籍であることが前提(外国人を除く)であるので、養子と養女で戸籍が異なることはない。				構成員の場合のみ、配偶者の随従入除籍が発生する。筆頭者の場合は、戸籍変動区分が変動なしである。			全部除籍か、一部除籍かの判断項目。		審査でチェックしているので、信頼に足る項目である。					養父母に関しては婚姻中であれば同一戸籍で処理するが、離婚していれば別々の戸籍であるので、養父と養母の2つに判断を分けた。但し、右表の戸籍の記録は、養親1つの戸籍で表している。別々の戸籍にいる場合は、各々の戸籍に記録があるので注意すること。						5.1はC.1の代わり	5.2はC.1の代わり				
1	1	○	×			-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	○	×			養子・養父ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
1.1	1	○	×			-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
2	1	○	×			-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
2.1	1	○	×			-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
3	1	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
3.1	1	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
4	1	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
4.1	1	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
5	1	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
5.1	1	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2 8.2			7.1
6	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養子)			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																					C.1/8.1(配)			8.2		
6.1	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2 8.2		7.1
7	1	○	×			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
8	1	○	×			－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	×	○			（養子だけに記録有（養父の記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
8.1	1	○	×			－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			
9	1	○	×			－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1		6.2		
9.1	1	○	×			－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
10	1	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			
10.1	1	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
11	1	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
11.1	1	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
12	1	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
12.1	1	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2 8.2			
13	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
13.1	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2 8.2		
14	1	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
15	1	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	○	×			養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
15.1	1	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
16	1	×				×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1					7.1
16.1	1	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
17	1	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
18	1	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
19	1	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	×	○			養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
19.1	1	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	×	○									
20	1	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸籍	5.1 6.1					
20.1	1	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×	○									

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
21	1	×	○			×	○	×	−	−	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					
21.1	1	×	○			×	○	×	−	−	×	×	×	○	×	×	○									
22	1	×	○			−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
22.1	1	×	○			−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	×	○									
23	2	○	×			−	−	−	○	×	○	×	×	×	×			○	×	養子・養母ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
23.1	2	○	×			−	−	−	○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
24	2	○	×			−	−	−	×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
24.1	2	○	×			−	−	−	×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
25	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
25.1	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
26	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
26.1	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
27	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
27.1	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2 8.2			7.1
28	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養子)			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																					C.1/8.1(配)			8.2		
28.1	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2 8.2		7.1
29	2	○	×			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
30	2	○	×			－	－	－	○	×	○	×	×	×	×			×	○	養子だけに記録有（養母の記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
30.1	2	○	×			－	－	－	○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
31	2	○	×			－	－	－	×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
31.1	2	○	×			－	－	－	×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		
32	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
32.1	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
33	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
33.1	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
34	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
34.1	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2 8.2			
35	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
35.1	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2 8.2		
36	2	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
37	2	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×			○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
37.1	2	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
38	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
38.1	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
39	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
40	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
41	2	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×			×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
41.1	2	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×			×	○							
42	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸籍	5.1 6.1					
42.1	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×			×	○							
43	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
44	2	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×			×	○							
44.1	2	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
44.2	2	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			×	○							
45	3	○	×			－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子・養父母ともに記録有（養父母別戸籍の場合注意）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
45.1	3	○	×			－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
46	3	○	×			－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
46.1	3	○	×			－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
47	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
47.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
48	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
48.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
49	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
49.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2 8.2			7.1
50	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×			5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2		7.1
50.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2 8.2		7.1
51	3	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
52	3	○	×			-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子・養父に記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
52.1	3	○	×			-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1
53	3	○	×			-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
53.1	3	○	×			-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
54	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
54.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
55	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
55.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
56	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
56.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																							8.2			
57	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
57.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2 8.2		7.1
58	3	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
59	3	○	×			-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子・養母に記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
59.1	3	○	×			-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
60	3	○	×			-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
60.1	3	○	×			-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
61	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
61.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
62	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
62.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
63	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
63.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1
64	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
64.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1
65	3	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
66	3	○	×			-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子だけに記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
66.1	3	○	×			-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
67	3	○	×			-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
67.1	3	○	×			-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
68	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
68.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
69	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
69.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
70	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
70.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																							8.2			
71	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
71.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2 8.2		
72	3	○	×			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
73	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
73.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
74	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
74.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
75	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
76	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
77	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
77.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
78	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
78.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
79	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養子)					7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
79	3	×	○			×	○	×			×	×	○	×	×	○	×	×		養父の記録	C.1/8.1(配)					
80	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
81	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
81.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
82	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
82.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
83	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
84	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
85	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
85.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
86	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸籍	5.1 6.1					
86.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
87	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					
88	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
88.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
88.2	3	×	○			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
88.3	3	×	○			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
88.4	3	×	○			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
89	4			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	○	×			養女・養父ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
89.1	4			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
90	4			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
90.1	4			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
91	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
91.1	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
92	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
92.1	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
93	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
93.1	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2 8.2			7.1
94	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
94.1	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2 8.2		7.1
95	4			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
96	4			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1	6.2			
96.1	4			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			
97	4			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1		6.2		
97.1	4			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
98	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			
98.1	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
99	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
99.1	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
100	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養女)		6.2			

養女だけに記録有（養父の記録無）

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
100	4			○		×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○				C.1/8.1(配)		8.2			
100.1	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2 8.2			
101	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
101.1	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2 8.2		
102	4			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
103	4			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×			養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
103.1	4			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
104	4			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1					7.1
104.1	4			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
105	4			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
106	4			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
107	4			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○			養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
107.1	4			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○									

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
108	4			×	○	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸籍	5.1 6.1					
108.1	4			×	○	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×	○									
109	4			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
110	4			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	×	○									
110.1	4			×	○	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
110.2	4			×	○	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○									
111	5			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×			○	×	養女・養母ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
111.1	5			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
112	5			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
112.1	5			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
113	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
113.1	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
114	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
114.1	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
115	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
115.1	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2 8.2			7.1
116	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
116.1	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2 8.2		7.1
117	5			○	×	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
118	5			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×			×	○	養女だけに記録有（養母の記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
118.1	5			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
119	5			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
119.1	5			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		
120	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
120.1	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
121	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
121.1	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
122	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
122.1	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
122.1	5			○		×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			×					8.2			
123	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
123.1	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2 8.2		
124	5			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
125	5			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×			○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
125.1	5			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
126	5			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
126.1	5			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
127	5			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
128	5			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
129	5			×	○	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×			×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
129.1	5			×	○	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×			×	○							
130	5			×	○	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸籍	5.1 6.1					
130.1	5			×	○	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×			×	○							
131	5			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
132	5			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×			×	○							
132.1	5			×	○	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
132.2	5			×	○	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			×	○							
133	6			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女・養父母ともに記録有（養父母別戸籍の場合注意）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
133.1	6			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
134	6			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
134.1	6			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
135	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
135.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
136	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
136.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
137	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
137.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2 8.2			7.1
138	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
138.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2 8.2		7.1
139	6			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
140	6			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女・養父に記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
140.1	6			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1
141	6			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
141.1	6			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
142	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
142.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
143	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																					6.1					
143.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
144	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
144.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2 8.2			7.1
145	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
145.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2 8.2		7.1
146	6			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
147	6			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女・養母の記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
147.1	6			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
148	6			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
148.1	6			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
149	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
149.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
150	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分				養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人・非本籍人・死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
150.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
151	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
151.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2 8.2			7.1
152	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
152.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1
153	6			○	×	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
154	6			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女だけに記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
154.1	6			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
155	6			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
155.1	6			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○					6.2		
156	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
156.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
157	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1			6.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																					6.1					
157.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2			
158	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
158.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2 8.2			
159	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
159.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2 8.2		
160	6			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
161	6			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
161.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
162	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
162.1	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
163	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸籍 養父母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
164	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
165	6			×	○	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
165.1	6			×	○	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
166	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1					7.1
166.1	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
167	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
168	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
169	6			×	○	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
169.1	6			×	○	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
170	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
170.1	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
171	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
172	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
173	6			×	○	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
173.1	6			×	○	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
174	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸籍	5.1 6.1					
174.1	6			×	○	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
175	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
176	6			×	○	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
176.1	6			×	○	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
176.2	6			×	○	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
176.3	6			×	○	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
176.4	6			×	○	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
177	7	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×			有 養子夫婦・養父とも記録	5.1 6.1		6.2			7.1
177.1	7	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
178	7	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
178.1	7	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
179	7	○	×	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
180	7	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養子夫婦だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
180.1	7	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
181	7	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
181.7	7	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
182	7	○	×	○	×				-	-	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
183	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	○	×			養子・養父とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
183.1	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
184	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
184.1	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
185	7	○	×	×	外国人				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
186	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養子だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
186.1	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
187	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
187.1	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
188	7	○	×	×	外国人				-	-	×	×	×	×	○	×	○								6.3	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
189	7	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	○	×			有 養子・養父とも記録		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
189.1	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
190	7	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
190.1	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
191	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
191.1	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
192	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
192.1	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
193	7	○	×	×	死亡者				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
194	7	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	×	○			養子だけ記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
194.1	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			
195	7	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1		6.2		
195.1	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
196	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1		6.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人のいずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人のいずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人のいずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人のいずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																					6.1					
196.1	7	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2				
197	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
197.1	7	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
198	7	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
199	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×			養女・養父とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
199.1	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
200	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
200.1	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
201	7	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
202	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
202.1	7	×	外国入	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
203	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
203.1	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
204	7	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
205	7	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×			有 養女・養父とも記録		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
205.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
206	7	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
206.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
207	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
207.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
208	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
208.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
209	7	×	死亡者	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
210	7	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
210.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
211	7	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○			母		4.1 5.2 6.1		6.2		
211.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
212	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			
212.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
213	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
213.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
214	7	×	死亡者	○	×				−	−	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
215	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	○	×			養子夫婦の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
215.1	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
215.2	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
216	7	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
216.1	7	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
216.2	7	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
217	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
217.1	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
217.2	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
					死亡者															養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1				7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人籍人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人籍人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人籍人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人籍人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
218	7	×	非本籍	×					−	−	○	×	×	×	×	○	×			養父の記録		5.2 6.1				
218.1	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
218.2	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
218.3	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
218.4	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
219	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	○	×	×	×	×	○	×			養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
219.1	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
219.2	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
219.3	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
219.4	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220	7	×	外国人	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.1	7	×	死亡者	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.2	7	×	外国人	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.3	7	×	死亡者	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
221	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
221.1	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
221.2	7	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
222	7	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸	5.1					

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
222	7	×	非本籍	×							×	×	○	×	×	×	○				6.1					
222.1	7	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
222.2	7	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
223	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸	5.1 6.1					
223.1	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
223.2	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
224	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	○	×	×	×	×	×	○			養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
224.1	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	○	×	×	×	×	○									
224.2	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸	5.1 6.1					
224.3	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
224.4	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
225	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	○	×	×	×	×	×	○			養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
225.1	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	○	×	×	×	×	○									
225.2	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸	5.1 6.1					
225.3	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
225.4	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
226	7	×	外国人	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○									

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
226.1	7	×	死亡者	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
226.2	7	×	外国人	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
226.3	7	×	死亡者	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
227	8	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×			○	×	有 養子夫婦・養母とも記録	5.1 6.1		6.2			7.1
227.1	8	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
228	8	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
228.1	8	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
229	8	○	×	○	×				−	−	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
230	8	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×			×	○	養子夫婦だけ記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			
230.1	8	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
231	8	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
231.1	8	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
232	8	○	×	○	×				−	−	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
233	8	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×			○	×	養子・養母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
233.1	8	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
234	8	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
234.1	8	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
235	8	○	×	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
236	8	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×			×	○	養子だけ記録有(養母記録無)	5.1 6.1		6.2			
236.1	8	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
237	8	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
237.1	8	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
238	8	○	×	×	外国人				-	-	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
239	8	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×			○	×	養子・養母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
239.1	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
240	8	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
240.1	8	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
241	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
241.1	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
242	8	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
242.1	8	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
243	8	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
244	8	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×			×	○	養子だけ記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
244.1	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
245	8	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
245.1	8	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		
246	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
246.1	8	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
247	8	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
247.1	8	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
248	8	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
249	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×			○	×	養女・養母とも	5.1 6.1		6.2			7.1
249.1	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
250	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				記録有	6.1					
250.1	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
251	8	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
252	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×			×	○	養女だけ記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			
252.1	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
253	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
253.1	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
254	8	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
255	8	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×			○	×	養女・養母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
255.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
256	8	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
256.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
257	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
257.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
258	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
258.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
259	8	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
260	8	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×			×	○	養女だけ記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
260.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
261	8	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
261.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		
262	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
262.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
263	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
263.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
264	8	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
265	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養子夫婦の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
265.1	8	×	非本籍	×	非本箱				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
265.2	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
266	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸	5.1					7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人籍人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人籍人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人籍人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人籍人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				養母の記録	6.1					
266.1	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
266.2	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
267	8	×	外国入	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
267.1	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
267.2	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
268	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×			○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
268.1	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
268.2	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
268.3	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
268.4	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
269	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×			○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
269.1	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
269.2	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
269.3	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
269.4	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						
270	8	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
270.1	8	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
270.2	8	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
270.3	8	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
271	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
271.1	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
271.2	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
272	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
272.1	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
272.2	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
273	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
273.1	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
273.2	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
274	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×			×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
274.1	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×			×	○							
274.2	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
274.3	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
274.4	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
275	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×			×	○	養女の復籍戸籍		4.1				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																						5.2 6.1				
275.1	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×			×	○							
275.2	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
275.3	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
275.4	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276	8	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.1	8	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.2	8	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.3	8	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
277	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子夫婦・養父母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
277.1	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
278	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
278.1	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
279	9～15	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
280	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子夫婦・養父とも記有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
280.1	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
281	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
281.1	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
282	9～15	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	録					6.3	7.1
283	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	有	5.1 6.1		6.2			7.1
283.1	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
284	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
284.1	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
285	9～15	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
286	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子夫婦だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
286.1	9～15	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
287	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
287.1	9～15	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
288	9～15	○	×	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
289	9～15 9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子・養父	5.1 6.1		6.2			7.1
289.1	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
290	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	母とも記録有	5.1 6.1			6.2		7.1
290.1	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
291	9～15	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
292	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子・養父とも記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
292.1	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
293	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
293.1	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
294	9～15	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
295	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子・養母とも記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
295.1	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
296	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
296.1	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
297	9～15	○	×	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
298	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
298.1	9～15	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
299	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
299.1	9～15	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
300	9～15	○	×	×	外国人				-	-	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
301	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子・養父母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
301.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
302	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
302.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
303	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
303.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
304	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
304.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
305	9～15	○	×	×	死亡者				-	-	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
306	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子・養父とも有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
306.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
307	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	記録		4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
307.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
308	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2			7.1
308.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2			7.1
309	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1				6.2		7.1
309.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○						6.2		7.1
310	9～15	○	×	×	死亡者				-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○							6.3	7.1
311	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子・養母とも記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
311.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
312	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
312.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
313	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
313.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
314	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子			養女				養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																									6.1					
314.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2				7.1
315	9～15	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×								6.3	7.1
316	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子だけ記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2				
316.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2				
317	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2			
317.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○					6.2			
318	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2				
318.1	9～15	○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2				
319	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2			
319.1	9～15	○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2			
320	9～15	○	×	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							6.3	
321	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女・養父母とも記	5.1 6.1		6.2				7.1
321.1	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2				7.1
322	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2			7.1
	9～15																										

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
322.1	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	記録有				6.2		7.1
323	9～15	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
324	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女・養父とも記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
324.1	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
325	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
325.1	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
326	9～15	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
327	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女・養母とも記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
327.1	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
328	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
328.1	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
329	9～15	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
330	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
330.1	9～15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
331	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
331.1	9～15	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
332	9～15	×	外国人	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
333	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女		4.1	6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				父・養父母とも記録有		5.2 6.1				
333.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
334	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
334.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
335	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
335.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
336	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
336.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
337	9～15	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
338	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女・養父とも有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
338.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
339	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	記録		4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
339.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
340	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
340.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
341	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
341.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
342	9～15	×	死亡者	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
343	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	有（養女・養母とも記録（養父記録無））		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
343.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
344	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
344.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
345	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
345.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
346	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1			6.2		7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																					6.1					
346.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
347	9～15	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
348	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女だけ記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
348.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
349	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
349.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○					6.2		
350	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
350.1	9～15	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
351	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
351.1	9～15	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
352	9～15	×	死亡者	○	×				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
353	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子夫婦の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
353.1	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
353.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
354	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸	5.1					7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍死亡者外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				養父母の記録	6.1					
354.1	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
354.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
355	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
355.1	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
355.2	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
356.1	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356.2	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
356.3	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356.4	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
357.1	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357.2	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
357.3	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357.4	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
358	9～15	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
358.1	9～15	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×		○	×	養父母の記録						7.1
358.2	9～15	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×		○	×	養父母の記録						7.1
358.3	9～15	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×		○	×	養父母の記録						7.1
359	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×		×	○	養子夫婦の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
359.1	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×		×	○	養父の記録						7.1
359.2	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×		×	○	養父の記録						7.1
360	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	○	×		×	○	養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
360.1	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	○	×		×	○	養父の記録						7.1
360.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×		×	○	養父の記録						7.1
361	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×		×	○	養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
361.1	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×		×	○	養父の記録						7.1
361.2	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×		×	○	養父の記録						7.1
362	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	○	×		×	○	養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.1 6.1				7.1
362.1	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	○	×		×	○	養父の記録						7.1
362.2	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	○	×		×	○	養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
362.3	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×	○	×		×	○	養父の記録						7.1
362.4	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×		×	○	養父の記録						7.1
363	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	○	×		×	○	養女の復籍戸籍		4.1				7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				養父の記録		5.1 6.1				
363.1	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
363.2	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
363.3	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
363.4	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364	9～15	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.1	9～15	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.2	9～15	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.3	9～15	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
365	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子夫婦の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
365.1	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
365.2	9～15	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
366	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
366.1	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
366.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
367	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
367.1	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
367.2	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
368	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子の復籍戸籍		4.1				7.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																				養母の記録		5.2 6.1				
368.1	9～15	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
368.2	9～15	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
368.3	9～15	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
368.4	9～15	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
369	9～15	×	死亡者	×	非本籍				−	−	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
369.1	9～15	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
369.2	9～15	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
369.3	9～15	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
369.4	9～15	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
370	9～15	×	外国人	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
370.1	9～15	×	死亡者	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
370.2	9～15	×	外国人	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
370.3	9～15	×	死亡者	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
371	9～15	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
371.1	9～15	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○	○	○							
371.2	9～15	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
372	9～15	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸	5.1					

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
																					6.1					
372.1	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
372.2	9～15	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
373	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
373.1	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
373.2	9～15	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
374	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子の復籍戸籍		4.1				
374.1	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
374.2	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
374.3	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
374.4	9～15	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
385	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
385.1	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
385.2	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
385.3	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
385.4	9～15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386	9～15	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386.1	9～15	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386.2	9～15	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							

補足説明書		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･養子離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人		新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	変動なし
			いずれか		いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍			いずれか		いずれか		A.1 B.1 C.1 D.1	C.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	5.3	
386.3	9～15	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成17年 3月 1日	版	9
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	2.2 戸籍編製マトリクス表･親権/未成年後見					備考	

項番	同時属区分			親権移記区分入力		戸籍変動区分							養子(女)の戸籍				
	無	親権者指定届	未成年後見開始届	無	有	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本	新戸籍を編製する 本籍	新戸籍を編製する 非本	戸籍変動なし 本籍	戸籍変動なし 非本		新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動無し
												あくまでも、養子(女)の離縁の身分事項の後に記録される身分事項である。 そのため、共通の身分事項については離縁参照のこと。					
1	×	○	×	-	-	○	×	×	×	×	×			9.1			
2	×	○	×	-	-	×	○	×	×	×	×						
3	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	×		9.1				
4	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	×						
5	×	×	○	-	-	○	×	×	×	×	×			9.3			
6	×	×	○	-	-	×	○	×	×	×	×						
7	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×		9.3				
8	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×						
9	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×			9.2			
10	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×						
11	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×		9.2				
12	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×						
12-1	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×						9.2
13	○	×	×	○	×	-	-	-	-	-	-						
14	×	○	×	-	-	×	×	×	×	○	×						9.1
15	×	○	×	-	-	×	×	×	×	×	○						
16	×	×	○	-	-	×	×	×	×	○	×						9.3
17	×	×	○	-	-	×	×	×	×	×	○						

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)養子離縁　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離縁の種別 1(協議)のとき 0401を設定 2(調停)のとき 0402を設定 3(審判) 又は 4(判定) 又は 5(和解) 又は 6(認諾)のとき 0403を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							裁判確定日があれば裁判確定日 離縁成立日があれば離縁成立日
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			・渉外区分 ＝ 0 又は 2 のとき、渉外区分を設定する ・渉外区分 ＝ 1 のとき 事件本人が全員日本人のときは 0 を設定する 事件本人が全員外国人のときは 2 を設定する 上記以外のときは 1 を設定する				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)養子離縁　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容	(補足説明書「養子離縁の受付ファイルの届出人編集」を参照)				
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分		(補足説明書「「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点」を参照)					戸籍変動区分 1 (元の戸籍に戻る)のとき1 2 (新戸籍を編製する)のとき2
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1							新本籍が非本籍 かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定
	証書提出区分							離縁の方式 ≠ 空白 のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			養父、養母、養子、養女の順に、入力がある者につき1から付番する。 (養子夫婦の一方又は養父母の一方が死亡している場合の受付件数に注意(本紙参照))				
	事件本人区分			養父:08、養母:09、養子:10、養女:11				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)養子離縁　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人区分			(補足説明書「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」を参照) 養父の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合、1を設定　又は 　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (010(養父)　又は　012(養父母))の場合、1を設定 養母の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合、1を設定　又は 　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき 養子の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、1を設定　又は 　養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子)　又は　014(養子夫婦))の場合、1を設定 養女の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、1を設定　又は 　養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子)　又は　014(養子夫婦))の場合、1を設定				
	カナ氏名			養父のカナ氏名　又は　養母のカナ氏名　又は　養子のカナ氏名　又は　養女のカナ氏名				
	漢字氏名			養父の漢字氏名　又は　養母の漢字氏名　又は　養子の漢字氏名　又は　養女の漢字氏名				
	生年月日			養父の生年月日　又は　養母の生年月日　又は　養子の生年月日　又は　養女の生年月日				
	本籍コード			養父の本籍コード　又は　養母の本籍コード　又は　養子の本籍コード　又は　養女の本籍コー				
	本籍			養父の本・国籍　又は　養母の本・国籍　又は　養子の本・国籍　又は　養女の本・国籍				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付)養子離縁　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			養父の筆頭者　又は　養母の筆頭者　又は　養子の筆頭者　又は　養女の筆頭者				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき、　※外国人は0を設定する 養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)					

「養子離縁の受付ファイルの届出人編集」

1.離縁種別 ＝ 1(協議)のときは、15歳未満の届出人を編集する(養子が15歳未満のときだけ編集有り)
15歳未満の届出人資格1、2 → 届出人資格区分1、2
→ 届出人資格名称1、2(資格を名称変換する)
15歳未満の届出人氏名1、2 → 届出人氏名1、2

2.離縁種別 ＝ 2(調停)で、申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
※ 申立人と届出人が同一とは、
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)、014(養子夫婦)、077(養子の離縁後の法定代理人)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)、011(養母)、012(養父母)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
100(申立人) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人1
(養子、養女、養父、義母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「申立人親権者となるべき父」等が編集される
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

3.離縁種別 ＝ 2(調停)で、申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
※ 申立人と届出人が異なるとは、
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)、011(養母)、012(養父母)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)、014(養子夫婦)、077(養子の離縁後の法定代理人)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
101(相手方) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁)					

4.離縁種別 ＝ 3(審判)又は4(裁判)又は5(和解)又は6(認諾)で、申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

102(訴提起者)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「訴提起者」＋15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1※「訴提起者親権者となるべき父」等が編集される
「訴提起者」＋15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

5.離縁種別 ＝ 3(審判)又は4(裁判)又は5(和解)又は6(認諾)で、申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

101(相手方)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」＋15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」＋15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点

1.離縁処理において離縁の受付帳が2件作成されるパターン(養子夫婦の一方が死亡している場合又は養親夫婦の一方が死亡している場合の離縁)のときは、届後本籍の編集を下記のようにする。

(1)養子夫婦の一方が死亡している場合

生存している養子の受付帳にしか届後本籍情報を設定しない(死亡養子には戸籍の異動が考えられないため)。

(2)養親夫婦の一方が死亡している場合

1件目の受付帳には届後本籍情報を設定せず、2件目の受付帳にのみ設定する。(1件目の受付帳だけ見ると他方との離縁が残っているように見えるため。)

※届後本籍情報に該当する項目は、「届後本籍区分」「届後本籍コード」「届後本籍」「届後戸籍の筆頭者」「送達確認1」の5項目である。

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	入力確認(養子離縁)

「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」

1.届出人区分の設定条件マトリックス

(1)養父の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	1
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

(2)養母の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	1
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	入力確認(養子離縁)

(3)養子の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

(4)養女の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)親権　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							同時親権届の種別 1(協議)のとき 1301を設定 2(調停)のとき 1302を設定 3(審判)のとき 1303を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	届後本籍≠スペースのとき、届後本籍 ＝ 管内　又は 届後本籍＝スペースのとき、養子（女）の本･国籍 ＝ 管内　又は 親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は 同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外のとき2を設定					
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　親権･未成年後見人の本籍 ＝ 国籍　かつ 同時親権届出人の本籍 ＝ 国籍のとき2を設定 上記以外のとき0を設定				
	発送日							
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日				
	発日		中間ファイル(届書) 事件別内容					
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)親権　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			01:未成年者(養子(女)) 02:親権者 03:親権協議者←同時親権届出人氏名に入力があるとき				
	事件本人区分			未成年者(養子(女)):15(子) 親権者:16(親権者) 親権協議者:49(親権協議者)				
	届出人区分			未成年者(養子(女)):0を設定 親権者:1を設定 親権協議者:1を設定				
	カナ氏名			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、 届後戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み ＋ 養子(女)のカナ氏名の「名」 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、 養子（女）の戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み				←未成年者(養子(女))

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)親権　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	漢字氏名			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、 届後戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 養子(女)の漢字氏名の「名」 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、 養子（女）の戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 親権･未成年後見人氏名				←未成年者(養子(女)) ←親権者
				同時親権届出人氏名				←親権協議者
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権･未成年後見人生年月日 同時親権届出人生年月日				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	本籍コード			届後本籍≠スペースのとき、 届後本籍コード 届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本籍コード				←未成年者(養子(女))
				親権･未成年後見人本籍コード				←親権者
				同時親権届出人本籍コード				←親権協議者
	本籍			届後本籍≠スペースのとき、 届後本籍 届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本･国籍				←未成年者(養子(女))
				親権･未成年後見人本籍				←親権者
				同時親権届出人本籍				←親権協議者
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、届後戸籍の筆頭者 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、養子（女）の戸籍の筆頭者				←未成年者(養子(女))
				親権･未成年後見人の筆頭者				←親権者

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)親権　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき　※外国人は0を設定する 未成年者(養子(女)) 　届後本籍≠スペースのとき、届後本籍 ＝ 管内　又は　届後本籍＝スペースのとき、 　養子（女）の本･国籍　＝　管内　なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定 親権者 　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1を設定 親権協議者 　同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1を設定				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.3 中間ファイル(仮受付)未成年後見　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4101(未成年者の後見開始)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	届後本籍≠スペースのとき、届後本籍 ＝ 管内　又は 届後本籍＝スペースのとき、養子（女）の本・国籍 ＝ 管内　又は 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は				
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ親権・未成年後見人の本籍 ＝ 国籍のとき2を設定 上記以外のとき0を設定				
	発送日							
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容					110を設定
	届出人資格名称1							未成年後見人を設定
	届出人氏名1			親権・未成人後見人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.3 中間ファイル(仮受付)未成年後見　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処理区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							01:未成年被後見人(養子(女)) 02:未成年後見人
	事件本人区分							未成年被後見人(養子(女)):55:(未成年被後見人) 未成年後見人:56(未成年後見人)
	届出人区分							未成年被後見人(養子(女)):0を設定 未成年後見人:1を設定
	カナ氏名			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、 届後戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み ＋ 養子(女)のカナ氏名の「名」 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、 養子（女）の戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み				←未成年披後見人(養子(女))

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	3.3 中間ファイル(仮受付)未成年後見　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	漢字氏名			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、 届後戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 養子(女)の漢字氏名の「名」 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、 養子（女）の戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 親権・未成年後見人氏名				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権・未成年後見人生年月日				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	本籍コード			届後本籍≠スペースのとき、 届後本籍コード 届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本籍コード 親権・未成年後見人本籍コード				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	本籍			届後本籍≠スペースのとき、 届後本籍 届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本・国籍 親権・未成年後見人本籍				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者≠スペースのとき、届後戸籍の筆頭者 届後戸籍の筆頭者＝スペースのとき、養子（女）の戸籍の筆頭者 親権・未成年後見人の筆頭者				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき　※外国人は0を設定する 未成年被後見人(養子(女)) 届後本籍≠スペースのとき、届後本籍 ＝ 管内　又は　届後本籍＝スペースのとき、 養子（女）の本・国籍　＝　管内　なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定 未成年後見人 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1を設定				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	4.1 戸籍特定(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日							
	改製日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者			「届後戸籍の筆頭者」の氏 ＋ 「養子の漢字氏名」の名 又は 「届後戸籍の筆頭者」の氏 ＋ 「養女の漢字氏名」の名				戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1 かつ養子に入力がある場合、「届後戸籍の筆頭者」の名 ≠ 「養子の漢字氏名」の名 のとき左記項目を移送 戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1 かつ養女に入力がある場合、「届後戸籍の筆頭者」の名 ≠ 「養女の漢字氏名」の名 のとき左記項目を移送
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	5.1 個人特定(入籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日があれば処理日、処理日がないときは送付日、送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード 養女の父母との続柄コード		有		←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日 養女の生年月日				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	筆頭者区分			･養子の個人特定の場合 養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、「養子の筆頭者区分」を移送 養子の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の場合、1(筆頭者)を設定 ･養女の個人特定の場合 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、「養女の筆頭者区分」を移送 養女の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の場合、1(筆頭者)を設定				
	配偶者区分			･養子の個人特定の場合 養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、「養子の配偶者区分」を移送 養子の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の場合、「届後戸籍での配偶者区分」を移送 ･養女の個人特定の場合 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、「養女の配偶者区分」を移送 養女の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)の場合、「届後戸籍での配偶者区分」を移送				
	父			養子の父氏名 養女の父氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	母			養子の母氏名 養女の母氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄 養女の父母との続柄				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				
	養母			離縁後変更養母氏名				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	5.1 個人特定(入籍) 編集･出力							
受取側			引渡側					
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目		コード 変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
	名称	記号名		名称	記号名			
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白　又は　「養母」≠ 空白　のとき、 「養子」　← 養子の個人特定の場合 「養女」　← 養女の個人特定の場合				
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	5.2 個人特定(入籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							戻る戸籍の戸籍番号を設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日があれば処理日、処理日がないときは送付日、送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード		有		← 養子の個人特定の場合
				養女の父母との続柄コード				← 養女の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日				← 養子の個人特定の場合
				養女の生年月日				← 養女の個人特定の場合
	筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			戻る戸籍での配偶者区分				
	父			養子の父氏名				← 養子の個人特定の場合
				養女の父氏名				← 養女の個人特定の場合
	母			養子の母氏名				← 養子の個人特定の場合
				養女の母氏名				← 養女の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄				← 養子の個人特定の場合
				養女の父母との続柄				← 養女の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				
	養母			離縁後変更養母氏名				
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白　又は 「養母」≠ 空白　のとき、				
				「養子」				← 養子の個人特定の場合
				「養女」				← 養女の個人特定の場合
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	5.3 個人特定(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父		中間ファイル(届書)	･養子の場合 離縁形態区分 ＝ 1、3、7、9、10、13、14、15　の場合、スペースを設定する ･養女の場合 離縁形態区分 ＝ 4、6、7、10、11、12、13、15　の場合、スペースを設定する				
	養母			･養子の場合 離縁形態区分 ＝ 2、3、8、11、12、13、14、15　の場合、スペースを設定する ･養女の場合 離縁形態区分 ＝ 5、6、8、9、10、12、14、15　の場合、スペースを設定する				
	養父母との続柄							「養父」＝ 空白　かつ 「養母」＝ 空白　の場合、 空白を設定する
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0401(養子離縁)
	記録コード							0401(養子の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁 離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
				受領日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
	離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
	離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
	離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
	離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
	離縁除籍日							
	共離同縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合　かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 　養子の身分事項であれば"007"「妻」を　養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
	共離同縁者 資格名称							
	養父 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				
	養父 氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
	養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ、養父の本･国籍を設定				
	養母 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				
	養母 氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		養母の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定				
		離縁の方式			離縁の方式				
		裁判所			外国裁判所名				
	協議者(1)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕 ※		有	離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は資格をｺｰﾄﾞ変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下のとおりとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)かつ 養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく、該当項目を届出人(1)(2)に設定	
		資格名称							
		氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者(2)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕 ※		有		
		資格名称							
		氏名			15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様
		届出人(1) 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(2)	資格					有	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)	
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)	
	証書提出者(2)	資格					有	裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023.024は未設定)	
	記録請求日								
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			養子の本･国籍 又は 養女の本･国籍				← 養子の身分事項の場合 ← 養女の身分事項の場合
		従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者 又は 養女の筆頭者				← 養子の身分事項の場合 ← 養女の身分事項の場合
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
					受領日				
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
		離縁除籍日							
		共離同縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合 かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 　養子の身分事項であれば"007"「妻」を 　養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
		共離同縁者 資格名称							
		養父 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				
		養父 氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ、養父の本･国籍を設定				
		養母 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				
	養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定				
	離縁の方式				離縁の方式				
	裁判所				外国裁判所名				
	協議者（1）	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕 ※		有	離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は資格をｺｰﾄﾞ変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下のとおりとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)かつ 養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定	
		資格名称							
		氏名			15歳未満の届出人氏名1				
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者（2）	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕 ※		有		
		資格名称							
		氏名			15歳未満の届出人氏名2				
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2				
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	届出人(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
	証書提出者(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023.024は未設定)
	記録請求日								

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力						

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
	送付	送村を受けた日			送付日					
		受理者			発送元					
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた日								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍 本籍								
		従前戸籍 筆頭者								
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍			届後本籍					戸籍変動区分 ＝ 2の場合に設定
		称する氏			「届後戸籍の筆頭者の氏					氏区分 ＝ 3の場合に設定
		復する氏			「届後戸籍の筆頭者」の氏					氏区分 ＝ 2 かつ 戸籍変動区分 ＝ 2の場合に設定
		入籍戸籍 本籍			届後本籍					戸籍変動区分 ＝ 1の場合に設定
		入籍戸籍 筆頭者			届後戸籍の筆頭者					戸籍変動区分 ＝ 1の場合に設定
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
		離縁除籍日							
		共離同縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 　養子の身分事項であれば"007"「妻」を 　養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
		共離同縁者 資格名称							
		養父 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				
		養父 氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ、養父の本･国籍を設定				
		養母 亡区分			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合、"亡"を設定				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				
	養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定				
	離縁の方式				離縁の方式				
	裁判所				外国裁判所名				
	協議者（1）	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕 ※		有		離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は資格ｺｰﾄﾞを変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下のとおりとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)かつ 養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定
		資格名称							
		氏名			15歳未満の届出人氏名1				
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者（2）	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕 ※		有		
		資格名称							
		氏名			15歳未満の届出人氏名2				
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2				
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁届)						
処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)	
	届出人(2)	資格					有	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)	
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)	
	証書提出者(2)	資格					有	裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様	
		資格名称							
		氏名						裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023.024は未設定)	
	記録請求日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送付	送村を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	7.1 養親(記録) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0402(養親の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 3、6、10、12～15　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 　養父の身分事項であれば 　養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の譜合"007"「妻」を 　養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合「養母氏名」を設定する(この場合資格は未設定) 　養母の身分事項であれば 　養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"006"「妻」を 　養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合「養父氏名」を設定する(この場合資格は未設定)				
			資格名称						
		養子	亡区分		養子に入力があるとき、　又は　養子養女双方に入力があるとき 養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定 養女だけに入力があるとき 養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				
			氏名		養子(女)の漢字氏名				条件は上記のとおり
			養子の国籍		養子(女)の本･国籍				条件は上記のとおり 養子(女)の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する

データ編集表					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁届)									
処理名	7.1 養親(記録) 編集･出力									

受取側					引渡側					コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名				
			亡区分			養父の身分事項の場合、離縁形態区分 ＝ 9、11、12、14のとき設定不要(氏名、国籍も同様) 養母の身分事項の場合、離縁形態区分 ＝ 9、10、11、13のとき設定不要(氏名、国籍も同様) 養子養女の双方に入力がある場合、養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定					
			氏名			養女の漢字氏名					条件は上記のとおり
			養子の国籍			養女の本･国籍					条件は上記のとおり 養女の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する
			離縁の方式			離縁の方式					
			裁判所			外国裁判所名					
	協議者（1）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格1			有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ 離縁成立日 ＝ スペースかつ 養子の外人区分　又は 養女の外人区分 ＝ 1のとき設定 資格名称には資格をコードに変換した名称を設定する
			資格名称								
			氏名			15歳未満の届出人氏名1					
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1					
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1					
	協議者（2）	協議者	資格			15歳未満の届出人資格2			有		
			資格名称								
			氏名			15歳未満の届出人民名2					
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2					
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2					
	届出	届出日				受領日					裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様
		届出人（1）	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合設定不要 013、014の場合左記項目を移送 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を移送
			資格名称								
			氏名								裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を移送 (届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	7.1 養親(記録) 編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		届出人(2)	資格					有	裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合「15歳未満の届出人資格2」を移送 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は、養子の身分事項の届出人と同様	
			資格名称							
			氏名						裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合「15歳未満の届出人氏名2」を移送 (届出人資格:001、002、016.017、023、024は未設定)	
		証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
		者証書1提出	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		条件は届出人(1)と同じ
			資格名称							
			氏名							条件は届出人(1)と同じ
		者証書2提出	資格							条件は届出人(2)と同じ
			資格名称							
			氏名							条件は届出人(2)と同じ
		記録請求日								
	送付	送付を受けた日				送付日				
		受理者				発送元				
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた日								
	記録	記録日				処理日				
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	8.1 養子の日本人配偶者(入籍) 編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0402(配偶者の離縁)
	記録コード								0403(養子の配縄者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 "妻の離縁"を設定 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 "夫の離縁"を設定
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	詩可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		評可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			養子の本・国籍 又は 養女の本・国籍				← 養子に入力がある場合 ← 養女に入力がある場合
		従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者 又は 養女の筆頭者				← 養子に入力がある場合 ← 養女に入力がある場合
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	8.2 養子の日本人配偶者(除籍) 編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0402(配偶者の離縁)
	記録コード								0403(養子の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					
		入籍事由							
	除籍	除籍日							処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		除籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 "妻の離縁"を設定 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 "夫の離縁"を設定
	許可	詩可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		評可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			届後本籍				
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	9.1 養子(親権・記録) 編集・出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定	
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード							1301(親権)	
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)	
	管掌者コード								
	事件発生日								
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)						
	親権者を定められた日								
	親権者となった日							裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定	
	親権者を定める裁判確定日								
	親権者を定める調停成立日								
	親権者変更の裁判確定日								
	親権者変更の調停成立日								
	共同親権に服した日								
	親権に服した日								
	親権に服さなくなった日								
	親権喪失宣告の裁判確定日								
	管理権喪失宣告の裁判確定日								
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日								
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日								
	親権辞任日								
	管理権辞任日								
	親権回復日								
	管理権回復日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.1 養子(親権･記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			同時親権者資格				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				同時親権者資格 ＝ 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				同時親権者資格 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							
	親権回復者	資格							
		資格名称							
	管理権回復者	資格							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	9.1 養子(親権・記録) 編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							
	届出日				受領日				
	届出人(1)	資格					同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 「同時親権者資格」と「同時親権届出人資格」が 001(父)と002(母)の組み合わせは「父母」を設定 010(養父)と011(養母)の組み合わせは「養父母」を設定 上記以外は「同時親権者資格」を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)又は3(審判)の場合、 「同時親権者資格」を移送		
		資格名称							
		氏名							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成25年 3月 1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	9.1 養子(親権･記録) 編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人(2)	資格					同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 「同時親権者資格」と「同時親権届出人資格」が 001(父)と002(母)の組み合わせは設定不要 010(養父)と011(養母)の組み合わせは設定不要 上記以外は「同時親権届出人資格」を移送 同時親権届の種別) ＝ 2(調停)又は3(審判)の場合、 設定不要		
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日				送付日				
	受理者				発送元				
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日								
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.2 養子(親権･移記) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)								
処理名	9.2 養子(親権･移記) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			親権移記親権者区分				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				親権移記親権者区分 = 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				親権移記親権者区分 = 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.2 養子(親権・移記) 編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							
	親権回復者	資格							
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	9.2 養子(親権・移記) 編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出日								
	届出人(1)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日								
	受理者								
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日				処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がなければ送付日を移送 送付日もなければ受領日を移送
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							4101(未成年後見)
	記録コード							4101(未成年後見を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	未成年後見人就職日		中間ファイル(届書)					裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	未成年後見人選任の裁判確定日							
	未成年後見監督人就職日							
	未成年後見監督人選任の裁判確定日							「親権を行う者がないため」を移送
	未成年後見開始事由							
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見終了日							
	未成年後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日							
	未成年者の後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁)						
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日								
	未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名			親権者･未成年後見人氏名				
	未成年後見人の戸籍	本籍			親権者･未成年後見人本籍				
		筆頭者			親権者･未成年後見人筆頭者				
	未成年後見人の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
	未成年後見人の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	未成年後見人の住所								
	辞任した未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見監督人の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督人の国籍								
	未成年後見監督人の生年月日								
	未成年後見監督人の住所								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								
	未成年後見監督代行者								
	未成年後見監督代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍								
	未成年後見監督代行者の生年月日								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	届出日				受領日				
	届出人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日				送付日				
	受理者				発送元				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁)							
処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	許可日							
	許可書謄本の送付を							
	受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日							
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.3 9条2項(養子) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「養子の漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「養子の漢字氏名」を移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養子の本･国籍				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本･国籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養子の筆頭者				←　届後戸籍の筆頭者に入力がある ←　届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養子の筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.3 9条2項(養子) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.4 9条2項(養女) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養女の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「養女の漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「養女の漢字氏名」を移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養女の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養女の本･国籍				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本･国籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養女の筆頭者				←　届後戸籍の筆頭者に入力がある ←　届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養女の筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.4 9条2項(養女) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.5 9条2項(養子(女)の配偶者) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「配偶者漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「配偶者漢字氏名」を移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 届後本籍に入力がない場合 ←　養子に入力がある場合 ←　養女に入力がある場合
	新本籍			届後本籍 養子の本・国籍 養女の本・国籍				←　届後本籍に入力がある場合 届後本籍に入力がない場合 ←　養子に入力がある場合 ←　養女に入力がある場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード 養女の本籍コード				←　養子に入力がある場合 ←　養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本・国籍 養女の本・国籍				←　養子に入力がある場合 ←　養女に入力がある場合

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成24年 3月 1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	10.5 9条2項(養子(女)の配偶者) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭考に入力がある
				養子の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合
				養女の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養女に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者				← 養子に入力がある場合
				養女の筆頭者				← 養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.1 30条の13第1項(養子) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「養子の漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「養子の漢字氏名」を移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新性別							養子の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養子の本･国籍				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本･国籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養子の筆頭者				←　届後戸籍の筆頭者に入力がある ←　届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養子の筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.1 30条の13第1項(養子) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.2 30条の13第1項(養女) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「養女の漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「養女の漢字氏名」を移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新性別							養女の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード 養女の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養女の本･国籍				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本･国籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養女の筆頭者				←　届後筆頭者に入力がある場合 ←　届後筆頭者に入力がない場合
	旧筆頭者			養女の筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.2 30条の13第1項(養女) 編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.3 30条の13第1項(養子(女)の配偶者) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 「届後戸籍の筆頭者」の氏 + 「配偶者漢字氏名」の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 「配偶者漢字氏名」を移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新性別							配偶者父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード				←　届後本籍に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がなく、養子に入力がある場合 ←　届後本籍に入力がなく、養女に入力がある場合

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁届)							
処理名	11.3 30条の13第1項(養子(女)の配偶者) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	新本籍			届後本籍				← 届後本籍に入力がある場合
				養子の本･国籍				← 届後本籍に入力がなく、養子に入力がある場合
				養女の本･国籍				← 届後本籍に入力がなく、養女に入力がある場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード				← 養子に入力がある場合
				養女の本籍コード				← 養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本･国籍				← 養子に入力がある場合
				養女の本･国籍				← 養女に入力がある場合
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がある
				養子の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合
				養女の筆頭者				← 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者				← 養子に入力がある場合
				養女の筆頭者				← 養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

5.特別養子縁組届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	45	「特別養子縁組届」	・準用条文ではなく特別養子縁組の条文を記載 審査_3.0 ・条文内容を審査3.0に合わせる 審査_3.1
2		46		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13

作業名	特別養子縁組届

1.特別養子縁組業務処理範囲外の処理

・養親が改正前国籍法(昭和59.12.31以前)で渉外婚姻をしている場合は、養親の新戸籍を編製した後特別養子縁組を行うようになる。

・養父母の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。
※標準仕様書では関連チェック(NO.41)でエラーとなる。

2.特別養子縁組入力画面の意義

・その1画面　養子となる者の現在の状況の各項目を入力する

・その2画面　養親となる者の現在の状況の各項目を入力する

・その3画面　縁組後の新本籍や届出人に関する各項目を入力する

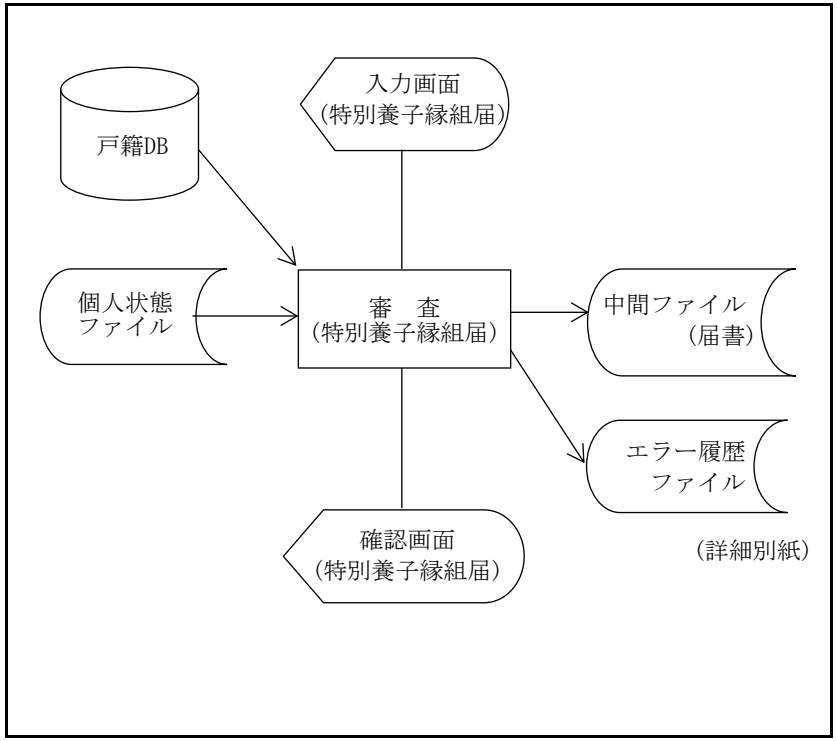
・縁組形態入力画面　縁組の形態を入力する

3.その他

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(特別養子縁組届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)特別養子縁組届の内容を入力する
(2)特別養子縁組届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)特別養子縁組届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)特別養子縁組届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(特別養子縁組届)に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 養子審査ルーチン
  - 3.1　日付審査ルーチン
  - 3.2　養親審査ルーチン
- 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(特別養子縁組届)					
処理名	0.0 本紙				備考	

(1)届書内容を画面入力する									/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)									/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]								/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]							/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする						/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]						/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]						(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)					/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する					(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する						メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→									(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→									(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)								/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(特別養子縁組届)を編集する								(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する									
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)								/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(特別養子縁組届)を編集する								(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する									
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する										入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する										審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する										
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	縁組形態区分	○	数字	(1:養子と養父、2:養子と養母、3:養子と養父母)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	出張所番号		数字				
3	受領番号		数字				
4	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	発送元		漢字				
7	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
8	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
10	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	報告区分	○	数字	(2:報告的届出)であること			
12	-----						
13	養子の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
14	養子の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
15	養子の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
16	養子の性別	○	数字	(1:男、2:女)であること			
17	養子のカナ氏名		カナ				
18	養子の漢字氏名	○	漢字				
19	養子の本･国籍	○	漢字				
20	養子の住所		漢字				
21	養子の筆頭者氏名		漢字				
22	養子の世帯主氏名		漢字				
23	養子の父氏名		漢字				
24	養子の母氏名		漢字				
25	父母との続柄		数字	10(男)～49(十九女)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	養父母との続柄	○	数字	11(長男)～29(十九男)、31(長女)～49(十九女)であること			
27	養子の筆頭者区分		数字				
28	養父の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
29	養父の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
30	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
31	養父のカナ氏名		カナ				
32	養父の漢字氏名		漢字				
33	養父の本･国籍		漢字				
34	養父の住所		漢字				
35	養父の筆頭者氏名		漢字				
36	養父の世帯主氏名		漢字				
37	養父の筆頭者区分		数字				
38	養父の配偶者区分		数字				
39	養母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
40	養母の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
41	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
42	養母のカナ氏名		カナ				
43	養母の漢字氏名		漢字				
44	養母の本･国籍		漢字				
45	養母の住所		漢字				
46	養母の筆頭者氏名		漢字				
47	養母の世帯主氏名		漢字				
48	養母の筆頭者区分		数字				
49	養母の配偶者区分		数字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	戸籍変動区分	○	数字	(1:本籍と同一の場所に新戸籍をつくった後養親の戸籍に入る 2:養子の戸籍に変動がない 3:本籍と同一の場所に新戸籍をつくる 4:その他(外国人の場合等))であること			
51	裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
52	縁組方式		漢字				
53	同一戸籍縁組		数字	(1:同一戸籍内縁組、0:その他)であること			
54	届出人資格コード	○	数字	(10:養父、11:養母、12:養父母)であること			
55	配偶者同一戸籍		数字	(1:配偶者と同一戸籍、0:その他)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1の場合、 (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分のいずれかに入力があり (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分は入力がないこと	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.01)縁組形態区分 ＝ 2の場合、 (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分のいずれかに入力があり (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分は入力がないこと			
3	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分のいずれかに入力があり　かつ (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分のいずれかに入力があること			
4	(No.05)送付日 ＝ スペースの時、(No.06)発送元 ＝ スペースであること			
5	(No.05)送付日 ≠ スペースの時、(No.06)発送元 ≠ スペースであること			
6	(No.05)送付日 ≠ スペースの時、(No.05)送付日 ≧ (No.04)受領日であること			
7	(No.05)送付日 ＝ スペースの時、(No.07)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
8	(No.06)発送元 ≠ スペースの時、(No.07)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
9	(No.06)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.06)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.07)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
10	(No.06)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.06)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.07)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.07)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
11	(No.08)処理日 ≠ スペースの時、(No.08)処理日>(No.04)受領日であること			
12				
13	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.05)送付日 ＝ スペースであること			
14	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.10)郵送日 ≦ (No.04)受領日であること			
15	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.51)裁判確定日 ≦ (No.10)郵送日であり、 (No.10)郵送日 ＝ スペースの時、(No.51)裁判確定日 ≦ (No.04)受領日であること			
16	(No.09)本非区分 ＝ 1の場合、 (No.14)養子の本非区分･(No.29)養父の本非区分･(No.40)養母の本非区分のいずれか ＝ 1 であること			
17	(No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.15)養子の生年月日 ＝ (和暦)、(No.19)養子の本･国籍 ≠ スペース、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0又は1、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 1～3であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(特別養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(特別養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.13)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.15)養子の生年月日 ＝ (西暦)、(No.19)養子の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ スペース、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 4であること			
19	(No.20)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.22)養子の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
20	(No.22)養子の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.20)養子の住所 ≠ スペースであること			
21	(No.16)養子の性別 ＝ 1:男 かつ (No.25)父母との続柄 ≠ スペースの時、 (No.25)父母との続柄 ＝ 10～29であること (No.16)養子の性別 ＝ 2:女 かつ (No.25)父母との続柄 ≠ スペースの時、 (No.25)父母との続柄 ＝ 30～49であること			
22	(No.16)養子の性別 ＝ 1:男の時、(No.26)養父母との続柄 ＝ 11～29であること (No.16)養子の性別 ＝ 2:女の時、(No.26)養父母との続柄 ＝ 31～49であること			
23	(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、 (No.18)養子の漢字氏名 ＝ (No.21)養子の筆頭者氏名であること			
24				18版で削除
24-1	(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.18)養子の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.21)養子の筆頭者氏名の｢氏｣であること			
25	(No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.30)養父の生年月日 ＝ (和暦)、(No.33)養父の本･国籍 ≠ スペース、 (No.35)養父の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0 又は 1であること			
26	(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.30)養父の生年月日 ＝ (西暦)、(No.33)養父の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.35)養父の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
27	(No.34)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.36)養父の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
28	(No.36)養父の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.34)養父の住所 ≠ スペースであること			
29	(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、 (No.32)養父の漢字氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名であること			
30				18版で削除
30-1	(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.32)養父の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名の｢氏｣であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(特別養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(特別養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.41)養母の生年月日 ＝ (和暦)、(No.44)養母の本･国籍 ≠ スペース、 (No.46)養母の筆頭者氏名 ≠ スペース、(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0又は1であること			
32	(No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.41)養母の生年月日 ＝ (西暦)、(No.44)養母の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.46)養母の筆頭者氏名 ＝ スペース、(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
33	(No.45)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.47)養母の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
34	(No.47)養母の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.45)養母の住所 ≠ スペースであること			
35	(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、 (No.43)養母の漢字氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名であること			
36				18版で削除
36-1	(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.43)養母の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名の｢氏｣であること			
37	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1、 3の場合、 (No.38)養父の配偶者区分 ＝ 1:夫であること			民第817条の3
38	(No.01)縁組形態区分 ＝ 2、 3の場合、 (No.49)養母の配偶者区分 ＝ 2:妻であること			民第817条の3
39	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0である場合、 (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1 かつ (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0であるか 又は (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0 かつ (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1であること			
40	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0である場合、 (No.33)養父の本･国籍 ＝ (No.44)養母の本･国籍 かつ (No.35)養父の筆頭者氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名であること			
41	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること 又は (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(特別養子縁組届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(特別養子縁組届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
42	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1でかつ (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1 かつ (No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合 又は (No.01)縁組形態区分 ＝ 2でかつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1 かつ (No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合 又は (No.01)縁組形態区分 ＝ 3でかつ (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1 かつ (No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 4:その他でかつ (No.52)縁組方式 ＝ スペースであること			ALL外人の時のチェック
43	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1～3の時、 (No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である			
44	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の場合、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人 かつ (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であること			
45	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の場合、 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人 かつ (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であること			
46	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0 又は (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0であり かつ (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であること			
47	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 2の時、 (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 1 かつ (No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であり かつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 1 かつ (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.33)養父の本･国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 2 かつ (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.44)養母の本･国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.33)養父の本･国籍 又は (No.44)養母の本･国籍であり (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名 又は (No.46)養母の筆頭者氏名であること			
48	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3の時、 (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であり かつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(特別養子縁組届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
49	(No.55)配偶者同一戸籍 ＝ 1:同一戸籍の場合、 (No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人 かつ (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であり (No.01)縁組形態区分 ≠ 3であること			
50	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 10であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 11であり (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 10 又は 11 又は 12であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(特別養子縁組届)					
処理名	3.0 養子審査ルーチン			備考		

(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する			(0-2)本紙へ			
YES	(0-3)→(0-6)へ		/			R2.1(特養42)
NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ		
(0-6)(養子の外国人区分=0:日本人 かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の外国人区分=0:日本人 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の外国人区分=0:日本人 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)			/			R2.1(特養42)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-8)本紙へ		
	YES (0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-11)本紙へ	不受理	
	NO (0-10)→				画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-12)→(1)へ		/			
(1)事件本人が外国人である(YES,NO)			/			
YES	(2)→			(3)本紙へ	受理	
NO	(4)→(5)へ		/			
(5)確認メッセージ(YES,NO) 「審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか。」を表示する				(6)本紙へ	戸68条の2・戸63条の1を準用	
YES	(7)→(9-1)へ		/			
NO	(8)→			(9)本紙へ	不受理	
(9-1)養子の外国人区分=0:日本人(YES, NO)			/			
YES	(9-2)養子の父氏名=スペース 又は 養子の母氏名=スペース(YES,NO)		/			
	YES (9-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			(9-4)本紙へ		
	YES (9-5)→(9-16)へ		/			R2.1(特養44)
	NO (9-6)→			(9-7)本紙へ	不受理	
	NO (9-8)父母との続柄=10(男) 又は 30(女)である(YES,NO)		/			R2.1(誤修正)
	YES (9-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する			(9-10)本紙へ		
	YES (9-11)→(9-16)へ		/			R2.1(特養44)
	NO (9-12)→			(9-13)本紙へ	不受理	
	NO (9-14)→(9-16)へ		/			R2.1(特養44)
NO	(9-15)→(9-16)へ		/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名	3.0 養子審査ルーチン					備考		
(9-16)養子の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)			/			R2.1で(9-16)～(9-19)を追加		R2.1(特養44)
YES	(9-17)エラーメッセージ「養子となる者は成立時に１８歳に達しています。」を表示する			(9-18)本紙へ		不受理、民第817条の5第1項後段		
NO	(9-19)→(10)へ		/					
(10)養子の生年月日+15年(15歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)			/					
YES	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「養子となる者は１５歳以上ですが、審判申立日現在は１５歳未満ですか。」を表示する			(12)本紙へ		民第817条の5第1項前段		
	YES	(13)→(24)へ	/		R2.1で(14)(15)を削除し、(17)を(15)に変更			
	NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「１５歳に達する前から養親に監護されており、申立ができなかった理由がありますか」を表示する		(16)本紙へ	文字制限が無い場合のメッセージ例「養子となる者は１５歳に達する前から養親となる者に監護されており、１５歳までに審判申立ができなかった事由がありますか。」	民第817条の5第2項		
		YES (18)→(24)へ	/			R2.1で(17)(19)を削除		
		NO (20)→		(21)本紙へ		不受理		
NO	(22)→			(23)3.1日付審査へ				
(24)確認メッセージ(YES,NO) 「養子となる者の同意はありますか。」を表示する				(25)本紙へ		R2.1で(24)～(29)を追加 民第817条の5第3項		
YES	(26)→			(27)3.1日付審査へ				
NO	(28)→			(29)本紙へ		不受理		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(特別養子縁組届)
処理名	3.1 日付審査ルーチン

				備考	
				R2.1版で(1)～(10)、(15)～(20)を削除	R2.1(特養43)
	(11)裁判確定日+10日>受領日(YES,NO)	/		戸68条の2・戸63条の1を準用	
	YES (12)→		(13)3.2養親審査へ		
	NO (14)メッセージ 「届出期間を過ぎています。」を表示する		(14-1)3.2養親審査へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(特別養子縁組届)
処理名	3.2 養親審査ルーチン

						備考
(1)縁組形態区分=1である(YES,NO)				/		
YES	(2)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)			/		民第817条の4
	YES	(3)→			(4)本紙へ	受理
	NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか。」を表示する				
		YES	(6)→			受理
		NO	(7)→			不受理
NO	(8)→(9)へ			/		
(9)縁組形態区分=2である(YES,NO)				/		
YES	(10)養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)			/		民第817条の4
	YES	(11)→			(12)本紙へ	受理
	NO	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか。」を表示する				
		YES	(14)→			受理
		NO	(15)→			不受理
NO	(16)→(17)へ			/		
(17)縁組形態区分=3である(YES,NO)				/		
YES	(18)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日　かつ 養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)			/		民第817条の4
	YES	(19)→			(20)本紙へ	受理
	NO	(21)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日　かつ 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)		/		民第817条の4
		YES	(22)→		(23)本紙へ	受理
		NO	(24)養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　かつ 養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)	/		民第817条の4
			YES (25)→		(26)本紙へ	受理
			NO (27)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は審判日に25歳(一方20歳以上で可)未満ですがよろしいですか。」 を表示する			
			YES (28)→			受理
			NO (29)→			不受理

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名	3.2 養親審査ルーチン				備考		
NO	(30)→				不受理		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		特別養子縁組入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							05(特別養子縁組届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0:不要
	届区分			報告区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人の場合は0を移送 事件本人のうち全員ではないが、1人以上外国人がいる場合は1を移送 事件本人全員が外国人の場合は2を移送
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号		本籍人検索サブシステムインターフェース					養子、養親が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分		特別養子縁組入力画面					審査の結果によりセットする 審査において1つでもエラーがある場合は不受理とする

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分							0:未決裁
	届書排他区分							再入力の場合1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	縁組形態区分		特別養子縁組入力画面	縁組形態区分				
	養子の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養子の外国人区分			養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の性別区分			養子の性別				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者カナ氏名							
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	養父母との続柄コード			養父母との続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養父の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(特別養子縁組届)						
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本籍							
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の筆頭者カナ氏名							
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養母の個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の筆頭者カナ氏名							
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	裁判確定日			裁判確定日				

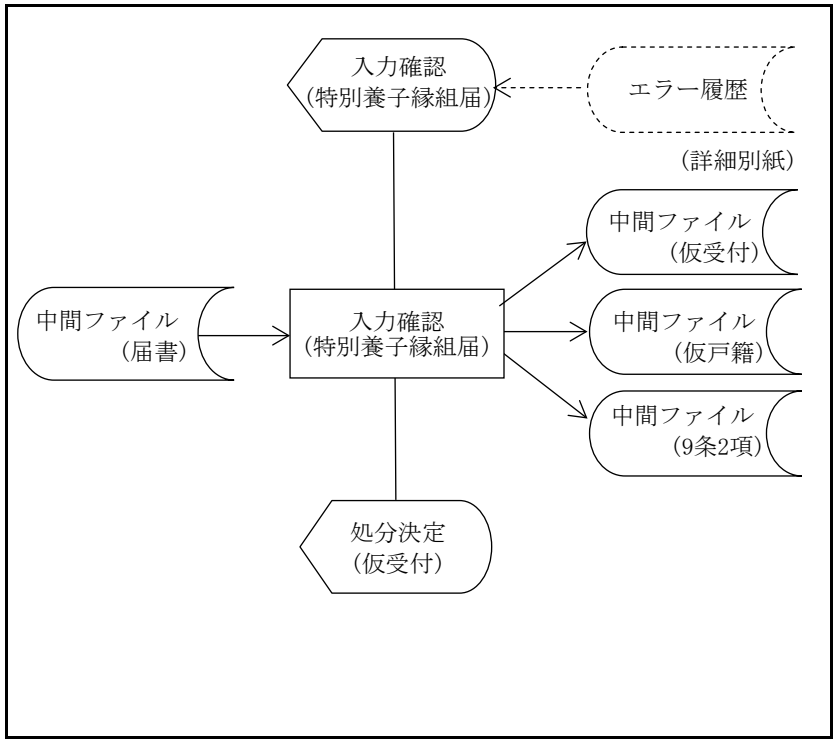
データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(特別養子縁組届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組				
	届出人資格コード			届出人資格コード				
	配偶者同一戸籍			配偶者同一戸籍				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(特別養子縁組届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 4.1 養子(除籍)
  - 4.2 養子(新戸)
  - 4.3 養子(入籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 5.1 養親(記録)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 養子(新戸)
  - 6.2 養子(入籍)
  - 6.3 養子(変動なし)
  - 6.4 養子(新戸のみ)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 7.1 養子(新戸)
  - 7.2 養子(入籍)
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19

作業名	入力確認(特別養子縁組届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]					/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の変動状況を決定する [2.0]				/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]				/		
	(5)養子の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/		
	(6)養子は本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(7)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 1である(YES,NO)			/		
		YES	(8)身分事項:養子(除籍)の編集をする [4.1]		/		
			(9)養子の身分事項で出生(0101)以外のものは新戸籍に移記しない		/		
			(10)身分事項:養子(新戸)の編集をする [4.2]		/		
			(11)入籍する養親の戸籍は管内である(YES,NO)		/		
			YES	(12)身分事項:養子(入籍)の編集をする [4.3]	/		
			NO	(13)→(33)へ	/		
		NO	(14)→(15)へ		/		
		(15)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)			/		
		YES	(16)身分事項:養子(除籍)の編集をする [4.1]		/		
			(17)身分事項:養子(入籍)の編集をする [4.3]		/		
		NO	(18)→(19)へ		/		
		(19)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 3である(YES,NO)			/		
		YES	(20)身分事項:養子(除籍)の編集をする [4.1]		/		
			(21)養子の身分事項で出生(0101)以外のものは新戸籍に移記しない		/		
			(22)身分事項:養子(新戸)の編集をする [4.2]		/		
		NO	(23)→(33)へ		/		
	NO	(24)養子は外国人である(YES,NO)			/		
		YES	(25)養父に入力がある(YES,NO)		/		
		NO	YES	(26)養父は本籍人である(YES,NO)	/		
				YES	(27)身分事項:養親(記録)の編集をする [5.1]	/	
				NO	(28)→(29)へ	/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19

作業名	入力確認(特別養子縁組届)

処理名	0.0 本紙				備考
	NO				
	(29)養母に入力がある(YES,NO)		/		
	YES	(30)養母は本籍人である(YES,NO)	/		
		YES (31)身分事項:養親(記録)の編集をする [5.1]	/		
		NO (32)→(33)へ	/		
	NO				
	NO				
	(33)在外送付区分 ＝ 0 又は 2である(YES,NO)		/		
	YES	(34)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.0]	/		
		(35)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/		
		YES (36)届書ファイル.戸籍変動区分	/		
		1 (37)養子の編集(新戸) [6.1]	/		
		(37-1)養子の編集(入籍) [6.2]		(37-2)処分決定に制御を渡す	
		2 (37-3)養子の編集(変動なし) [6.3]			
		3 (37-4)養子の編集(新戸のみ) [6.4]			
		NO (38)→			
	NO				
PF1	→			(39)業務選択に制御を渡す	
PF2	→			(40)届出選択に制御を渡す	
PF5	→			(41)審査(特別養子縁組)に制御を渡す	
PF7	(42)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	YES	(43)前ページ分の確認画面(特別養子縁組届)を編集する		(44)同画面を編集する	
	NO	(45)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する			
PF8	(46)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	YES	(47)次ページ分の確認画面(特別養子縁組届)を編集する		(48)同画面を編集する	
	NO	(49)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する			
PF11	→			(50)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(51)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(52)同画面を編集する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(特別養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
特別養子縁組届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	縁組形態区分		中間ファイル(届書) 事件別	縁組形態区分				
	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	養子の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の性別			養子の性別区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(特別養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード		有		
	父母との続柄							
	養父母との続柄コード			養父母との続柄コード		有		
	養父母との続柄							
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分		有		
	養子の筆頭者							
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分		有		
	養父の筆頭者							
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分		有		
	養父の配偶者							
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	1.0　確認画面(特別養子縁組届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の筆頭者					有		
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の配偶者					有		
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組			同一戸籍縁組区分				
	届出人資格コード			届出人資格コード				
	配偶者同一戸籍			配偶者同一戸籍				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	養子					養親					同一戸籍	配偶者同一戸籍		養子の戸籍		養子の新戸籍		養親の戸籍			
	本籍		他の在籍者		外国人	単身縁組	夫婦縁組	本籍		外国人				全部除籍	一部除籍	新戸籍編製	全部除籍	一部記録	変動なし	一部除籍	末尾記録
	本籍人	非本籍人	有	無				本籍人	非本籍人												
												※2		A.2 B.2 C.2	A.2 C.2	8.0 B.1 7.1 D.1 ※1	A.2 B.2 C.2	A.2 7.2 D.1		A.2 C.2	A.2 7.2 D.1
1	○		○				○	○		-					養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
2	○		○				○	○		-	○									養子 4.1	養子 4.3
3	○		○				○		○	-					養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2				
4	○		○				○			○					養子 4.1	養子 4.2					
5	○		○			○		○							養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
6	○		○			○			○						養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2				
7	○		○			○				○					養子 4.1	養子 4.2					
8	○		○			○		○			○									養子 4.1	養子 4.3
9	○		○			○				○		○								養子 4.1	養子 4.3

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	養子					養親					同一戸籍	配偶者同一戸籍		養子の戸籍		養子の新戸籍		養親の戸籍			
	本籍		他の在籍者		外国人	単身縁組	夫婦縁組	本籍		外国人				全部除籍	一部除籍	新戸籍編製	全部除籍	一部記録	変動なし	一部除籍	末尾記録
	本籍人	非本籍人	有	無				本籍人	非本籍人												
												※2		A.2 B.2 C.2	A.2 C.2	8.0 B.1 7.1 D.1 ※1	A.2 B.2 C.2	A.2 7.2 D.1		A.2 C.2	A.2 7.2 D.1
10	○			○			○	○		-				養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
--																					
12	○			○			○		○	-				養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2				
13	○			○			○			○				養子 4.1		養子 4.2					
14	○			○		○		○						養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
15	○			○		○			○					養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2				
16	○			○		○				○				養子 4.1		養子 4.2					
--																					
--																					

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	養子					養親					同一戸籍	配偶者同一戸籍		養子の戸籍		養子の新戸籍		養親の戸籍			
	本籍		他の在籍者		外国人	単身縁組	夫婦縁組	本籍		外国人				全部除籍	一部除籍	新戸籍編製	全部除籍	一部記録	変動なし	一部除籍	末尾記録
	本籍人	非本籍人	有	無				本籍人	非本籍人												
												※2		A.2 B.2 C.2	A.2 C.2	8.0 B.1 7.1 D.1 ※1	A.2 B.2 C.2	A.2 7.2 D.1		A.2 C.2	A.2 7.2 D.1
19					○		○	○											養親 5.1		
20					○		○	○		○									養親 5.1		
21					○	○		○											養親 5.1		
22		○	－	－			○	○										養子 4.3			
23		○	－	－			○	○		○								養子 4.3			
24		○	－	－		○		○										養子 4.3			

※1　実親の本籍地(従前の本籍地)に養親の氏 + 子の名、又は養子の氏名で、単身の新戸籍を編製する
※2　単身縁組した養親の配偶者と、養子が同じ戸籍に在籍している場合

※A.2、B.1、B.2、C.2、D.1はひな型のデータ編集を参照。それ以外はシステム環境仕様書(1頁目)の4.機能体系のデータ編集を参照。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							'0501'
	受付日			送付日 受領日				送付日≠空白の時、送付日 送付日=空白の時、受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							9.0版(事件本人が届出人であるため共通では不要) R2.1(誤修正)
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1の場合'1'を移送 戸籍変動区分 ＝ 3の場合'2'を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍コード			養父(母)の本籍コード 養子の本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1の時でかつ、 縁組形態区分 ＝ 1の時、 養父の項目を移送 縁組形態区分 ＝ 2の時、 養母の項目を移送 縁組形態区分 ＝ 3の時、 養父母どちらか筆頭者である方の項目を移送 戸籍変動区分 ＝ 2、3の時、 養子の項目を移送
	届後本籍			養父(母)の本籍 養子の本籍				
	届後戸籍の筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				戸籍変動区分 ＝ 1の時でかつ、 縁組形態区分 ＝ 1の時、 養父の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 2の時、 養母の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 3の時、 養父母どちらか筆頭者である方の筆頭者氏名を移送
				養子の筆頭者氏名				戸籍変動区分 ＝ 2の時移送
				養子の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	送達確認1							届後本籍が非本籍でかつ、 在外送付区分が0の時、1を移送 それ以外は0を移送
	証書提出区分							縁組方式 ≠ スペースの時、1を移送 それ以外は0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							養父:08 養母:09 養子:10

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届出人区分							縁組形態区分 ＝ 1の時、 　養父に1を移送、それ以外は0 縁組形態区分 ＝ 2の時、 　養母に1を移送、それ以外は0 縁組形態区分 ＝ 3の時、 　届出人資格に応じて移送 ･届出人資格 ＝ 1であれば、 　養父に1を移送、それ以外は0 ･届出人資格 ＝ 2であれば、 　養母に1を移送、それ以外は0 ･届出人資格 ＝ 3であれば、 　養父、養母に1を移送、 それ以外は0
	カナ氏名			カナ氏名				養父カナ氏名 養母のカナ氏名 養子のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				養父の漢字氏名 養母の漢字氏名 養子の漢字氏名
	生年月日			生年月日				養父の生年月日 養母の生年月日 養子の生年月日
	本籍コード			本籍コード				養父の本籍コード 養母の本籍コード 養子の本籍コード
	本籍			本籍				養父の本籍 養母の本籍 養子の本籍
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				養父の筆頭者 養母の筆頭者 養子の筆頭者
	送達確認2							本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時、1を移送 　それ以外は0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
　1.養親の後に養子
　2.夫婦縁組の場合は、1の順序でなおかつ筆頭者が先

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.1 身分事項(養子･除籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0501'
	記録コード							'0501'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	特別養子縁組の裁判確定日			裁判確定日				
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 1、3の時移送
	養親 養父の国籍			養父の本籍				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 1、3でかつ、養父が外国人の時移送
	養親 養父の生年月日			養父の生年月日				
	養親 養母氏名			養母の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 2、3の時移送
	養親 養母の国籍			養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 2、3でかつ、養母が外国人の時移送
	養親 養母の生年月日			養母の生年月日				
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外国の方式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	外国の方式 証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合移送 但し、戸籍変動区分 ＝ 2の時は、届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	外国の方式 証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日		中間ファイル(届書)	受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出人資格			届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合移送 但し、戸籍変動区分 ＝ 2の時は、届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.1　身分事項(養子･除籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		〃
	送付 送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				項目に入力がある場合移送
	送付 受理者			発送元				〃
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	除籍日			処理日				項目に入力がある場合移送
	新本籍			養子の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1、3の時移送
	縁組後の氏			養父(母)の漢字氏名の氏				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の氏
	特記事項							同一戸籍縁組区分 ＝ 1　又は 配偶者同一戸籍 ＝ 1の場合に '末尾記録につき消除'を移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.2 身分事項(養子･新戸) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0501'
	記録コード							'0502'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	特別養子縁組の裁判確定日			裁判確定日				
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				縁組形態区分 ＝ 1、3の時移送
	養親 養父の国籍			養父の本籍				縁組形態区分 ＝ 1、3でかつ、養父が外国人の時移送
	養親 養父の生年月日			養父の生年月日				
	養親 養母氏名			養母の漢字氏名				縁組形態区分 ＝ 2、3の時移送
	養親 養母の国籍			養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 2、3でかつ、養母が外国人の時移送
	養親 養母の生年月日			養母の生年月日				
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外国の方式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	外国の方式 証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合移送 届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	外国の方式 証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日		中間ファイル(届書)	受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	届出人資格			届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合で、 届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	送付 送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				項目に入力がある場合移送
	送付 受理者			発送元				〃

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.2　身分事項(養子･新戸)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍日			処理日				項目に入力がある場合移送
	従前戸籍 本籍			養子の本籍				
	従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	除籍日			処理日				戸籍変動区分 ＝ 1の場合に項目に入力がある場合移送
	入籍戸籍 本籍			養父(母)の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の本籍と筆頭者氏名を移送
	入籍戸籍 筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.3　身分事項(養子・入籍)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養子個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0502'
	記録コード							'0503'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	民法817条の2の裁判確定日			裁判確定日				
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外国の方式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	外国の方式 証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合で 届出人資格コード ＝ 10の時1、 11の時2、12の時5を移送
	外国の方式 証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日		中間ファイル(届書)	受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	届出人資格			届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合で、 届出人資格コード ＝ 10の時1、 11の時2、12の時5を移送
	届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	送付 送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				項目に入力がある場合移送
	送付 受理者			発送元				〃
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍日			処理日				項目に入力がある場合移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	4.3　身分事項(養子･入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	従前戸籍	本籍			養子の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送
		筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の氏
	特記事項								

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)						
処理名	5.1　身分事項(養親･記録)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	養父個人番号 養母個人番号				養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0502'
	記録コード							'0504'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	民法817条の2の裁判確定日			裁判確定日				
	共同縁組者資格							縁組形態区分 ＝ 3で、 養父の時7:'妻'を移送 養母の時6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子の氏名			養子の漢字氏名				
	養子 養子の国籍			養子の本籍				
	養子 養子の生年月日			養子の生年月日				
	式外国の方 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	式外国の方 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日			受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
	送付 受理者			発送元				〃
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	記録日			処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.1　9条2項(養子･新戸)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号(新戸の際の個人番号)を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.1　9条2項(養子・新戸)　編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.2　9条2項(養子・入籍)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号(入籍した時の個人番号)を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養父母との続柄コード				
	新本籍コード			養父(母)の本籍コード				
	新本籍			養父(母)の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				
	旧筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.2　9条2項(養子・入籍)　編集・出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.3　9条2項(養子･変動なし)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	6.4　9条2項(養子・新戸のみ)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名				
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	7.1　個人特定(養子･入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、1:筆頭者を移送
	配偶者区分							
	父			養父氏名				縁組形態区分 ＝ 1、3の場合移送
				父氏名				縁組形態区分 ＝ 2の場合移送
	母			養母氏名				縁組形態区分 ＝ 2、3の場合移送
				母氏名				縁組形態区分 ＝ 1の場合移送
	父母との続柄			養父母との続柄				
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(特別養子縁組届)							
処理名	7.2　個人特定(養子･新戸)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				戸籍変動区分 ＝ 1:の時 0:構成員を移送
	配偶者区分							
	父			養父氏名				縁組形態区分 ＝ 1、3の場合移送
				父氏名				縁組形態区分 ＝ 2の場合移送
	母			養母氏名				縁組形態区分 ＝ 2、3の場合移送
				母氏名				縁組形態区分 ＝ 1の場合移送
	父母との続柄			養父母との続柄				
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動の時に従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(特別養子縁組届)								
処理名	8.0　戸籍特定(養子)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							決裁処理で設定	
	編製日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定	
	改製日								
	消除日								
	回復日								
	本籍コード			養子の本籍コード					
	本籍			養子の本籍					
	筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1の時移送 養父母のいずれかが外国人の場合は 日本人養父母の方の氏 R2.1(誤修正)	
				養子の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送	
	記録者数		戸籍編製処理					戸籍に記録されている人数を設定 記録者数 ＝ 在籍者数	
	在籍者数							戸籍に在籍している人数を設定	
	除籍者数								
	戸籍除区分							0:現戸籍を設定	
	戸籍異動区分							0:解除を設定	

第7.2.(5)「異動」処理

6. 73条の2届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	43	「73条の2届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	73条の2届

1. 戸籍法73条の2業務処理範囲外の処理

・ 養子離縁届と同時に届出られた戸籍法73条の2の処理は、養子離縁同時73の2で処理を行う。

・ 戸籍法69条の2は審査結果入力処理で行う。

2. 戸籍法73条の2届出入力画面の意義

・ 縁氏続称者と縁氏続称者の配偶者は入力を分ける。

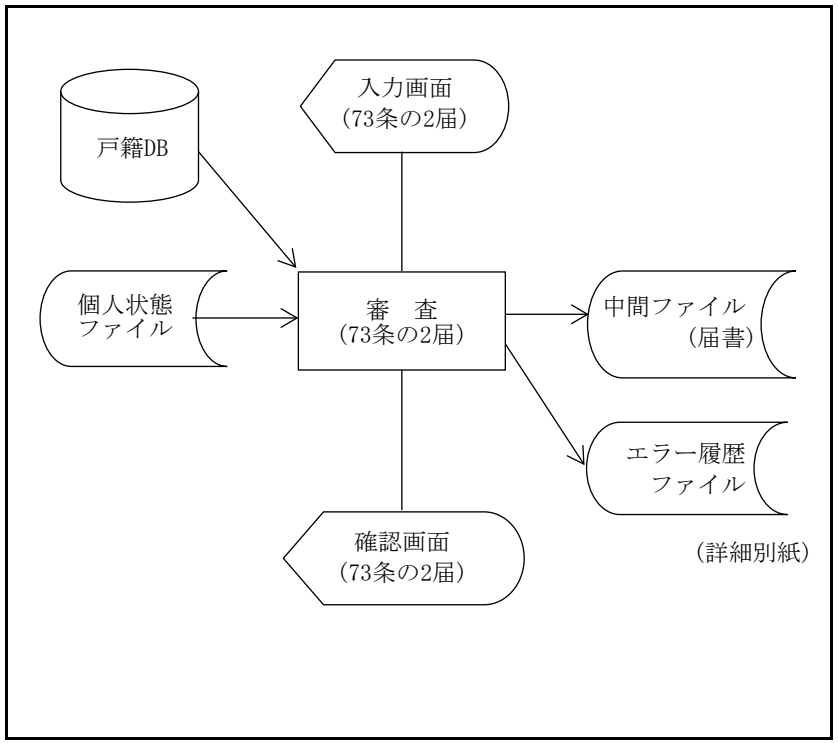
3. 戸籍法73条の2届の審査

・ 縁氏続称者に離縁復氏の記録がある場合はシステムで審査する。

・ 上記以外についてはすべて操作員の確認によるものとし、システムでは入力された項目を基に審査する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(73条の2届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)73条の2届の内容を入力する
(2)73条の2届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)73条の2届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)73条の2届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(73条の2届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック
　　├ 2.0 関連チェック
　　├ 3.0 審査
　　└ 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(73条の2届)					
処理名	0.0　本紙					備考
(1)届書内容を画面入力する					/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)					/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする		/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]		/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/	
				審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する メッセージをエラー履歴に出力する
				確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する			
	NO					
PF1	→					(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→					(15)届出選択に制御を渡す
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)				/	
	YES	(17)前ページ分の入力画面(73条の2届)を編集する				(18)同画面を編集する
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する				
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)				/	
	YES	(21)次ページ分の入力画面(73条の2届)を編集する				(22)同画面を編集する
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する				
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する					入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する					審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する					
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する					

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(73条の2届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	カナ氏名	○	カナ				
10	漢字氏名	○	漢字				
11	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員　1:筆頭者)であること			
13	配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者	○	漢字				
16	住所		漢字				
17	世帯主		漢字				
18	父氏名		漢字				
19	母氏名		漢字				
20	父母との続柄コード	○	数字	10(男)～49(十九女)であること			
21	離縁前の氏	○	漢字				
22	縁組年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
23	離縁年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	戸籍変動区分	○	数字	(1:変動無し、2:新戸籍編製)であること			
24	新本籍		漢字				
25	新戸籍の筆頭者		漢字				
26	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員　1:筆頭者)であること			
28	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
29	配偶者カナ氏名		カナ				
30	配偶者漢字氏名		漢字				
31	配偶者父氏名		漢字				
32	配偶者母氏名		漢字				
33	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
34	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	配偶者住所		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力してください。		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.22)縁組年月日 ≦ (No.23)離縁年月日 ≦ (No.2)受領日であること			
12	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ　(No.24)新本籍 ＝ スペースの時、 (No.14)本籍 ＝ 管内であること			
13	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ　(No.14)本籍 ＝ 管外の時、 (No.24)新本籍 ≠ スペースかつ管内であること			
14	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.14)本籍 ＝ 管外であること			
15	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.24)新本籍 ≠ スペースの時、 (No.24)新本籍 ＝ 管外であること			
15-1	(No.10)漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏であること			
16				
17	(No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.20)父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
18	(No.13)配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.20)父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
19				第8.3版により削除

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
20				第8.3版により削除
21				第8.3版により削除
22	(No.24)新本籍 ＝ スペースの時、(No.25)新戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
23	(No.24)新本籍 ≠ スペースの時、(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
24	(No.12)筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)の時、 (No.26)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
25	(No.26)配偶者外国人区分 ＝ スペースの時、 (No.27)配偶者筆頭者区分～(No.35)配偶者住所　までスペースであること			
26	(No.26)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.27)配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ　(No.28)配偶者配偶者区分 ≠ スペース　かつ (No.29)配偶者カナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.30)配偶者漢字氏名 ≠ スペース　かつ (No.33)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース　かつ (No.34)配偶者生年月日 ＝ 和暦であること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
27	(No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
28	(No.13)配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
29	(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.33)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
30	(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.33)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
31				第8.3版により削除
32				第8.3版により削除
33	(No.36)戸籍変動区分 ＝ 1(変動無し)の時、 (No.24)新本籍 ＝ スペース　かつ　(No.25)新戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
34	(No.36)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製)の時、 (No.24)新本籍 ≠ スペース　かつ　(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
35	(No.17)世帯主 ≠ スペースの時、(No.16)住所 ≠ スペースであること			
36	(No.16)住所 ＝ スペースの時の時、(No.17)世帯主 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.21)離縁前の氏 ＝ (No.25)新戸籍の筆頭者の「氏」であること			
38	(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.10)漢字氏名の「名」 ＝ (No.25)新戸籍の筆頭者の「名」であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(73条の2届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0-1)受領日=送付日である。				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/		
	NO	(0-4)			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			/		
(0-7)父氏名=スペース　又は　母氏名=スペース(YES,NO)				/		(0-1)→(0-6)を追加
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					上記の追加に伴い項番を変更(第11版) 修正前:(0-1)→(0-24)
	YES	(0-9)→(0-18)へ		/		修正後:(0-7)→(0-30)
	NO	(0-10)			(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-12)父母との続柄コード=10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)			/		
	YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する				
		YES	(0-14)→(0-18)へ	/		
		NO	(0-15)		(0-16)本紙へ	不受理
	NO	(0-17)→(0-18)へ		/		
(0-18)配偶者外国人区分=0(日本人)である(YES,NO)				/		
YES	(0-19)配偶者父氏名=スペース　又は　配偶者母氏名=スペース(YES,NO)			/		
	YES	(0-20)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(0-21)→(0-31)へ	/		R2.1(73-39)
		NO	(0-22)		(0-23)本紙へ	不受理
	NO	(0-24)父母との続柄コード=10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)		/		
		YES	(0-25)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する			
			YES	(0-26)→(0-31)へ	/	R2.1(73-39)
			NO	(0-27)		(0-28)本紙へ	不受理
		NO	(0-29)→(0-31)へ	/		R2.1(73-39)
NO	(0-30)→(0-31)へ			/		R2.1(73-39)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(73条の2届)					
処理名	3.0 審査				備考	

(0-31)事件本人の名が未入力 (YES,NO)			/		R2.1(73-39)
YES	(0-32)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する			(0-33)本紙へ	R2.1(73-39)
YES	(0-34)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-36)本紙へ	不受理 R2.1(73-39)
NO	(0-35)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(73-39)
NO	(0-37)→(1)へ		/		R2.1(73-39)
(1)本籍=管内			/		
YES					(2)～(5)削除
	(6)事件本人の身分事項に離縁(記録コード=0401)がある(YES,NO)		/		
YES	(7)→(11)へ		/		
NO	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「(確認)離縁復氏したことを別戸籍で確認して下さい。」を表示する(応答後(11)へ)			(9)本紙へ	
NO	(10)→(11)へ		/		
(11)事件本人の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日			/		昭62.10.1 民二5000号通達 第三の一
YES	(12)メッセージ「届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。」を表示する			(13)本紙へ	受理照会 平成27.3.9民一308号通知
NO	(14)→(15)へ		/		
(15)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 離縁年月日(YES,NO)			/		民816条2項
YES	(16)→(19)へ		/		
NO	(17)エラーメッセージ「縁氏続称の資格がないので受理できません」を表示する			(18)本紙へ	不受理
(19)(離縁年月日 + 1日) + 3箇月 > 受領日(YES,NO)			/		民816条2項
YES	(20)→(23)へ		/		
NO	(21)エラーメッセージ「届出期間を経過しているので受理できません」を表示する			(22)本紙へ	不受理
(23)漢字氏名の氏 ≠ 離縁前の氏(YES,NO)			/		
YES	(24)→(27)へ		/		
NO	(25)エラーメッセージ「縁氏続称の資格がないので受理できません」を表示する			(26)本紙へ	不受理
(27)筆頭者区分=0:構成員 である(YES,NO)			/		
YES	(28)配偶者区分=1:夫 又は 2:妻 である(YES,NO)		/		
YES	(29)エラーメッセージ「この事件本人は届出の資格がありません」を表示する			(30)本紙へ	不受理
NO	(31)→(41)へ		/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(73条の2届)							
処理名	3.0 審査						備考	
NO	(32)新本籍 ≠ スペース　である(YES,NO)			/				
YES	(33)確認メッセージ(YES,NO) 「縁氏続称者の他に在籍者はいませんね」を表示する				(33.1)本紙へ			
	YES	(34)エラーメッセージ「新本籍は作成できません」を表示する			(35)本紙へ		不受理	
	NO	(36)→(41)へ		/				
NO	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「縁氏続称者の他に在籍者はいませんね」を表示する				(37.1)本紙へ			
	YES	(38)→(41)へ		/				
	NO	(39)エラーメッセージ「新戸籍を作成しなければいけません」を表示する			(40)本紙へ		不受理	
(41)確認メッセージ(YES,NO) 「縁氏続称者は、離縁復氏から現在まで氏を変更していませんね」を表示する					(41.1)本紙へ			
YES	→				(42)本紙へ			
NO	(43)エラーメッセージ　「縁氏続称の資格がないので受理できません」を表示する						不受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		73条の2届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							07(戸籍法73条の2届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1～5)							本籍が管内の場合、戸籍番号を設定
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理又は2 ＝ 不受理をセットする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	縁氏続称者個人番号		73条の2届入力画面					
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	本籍コード			本籍		有		
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所		有		
	住所							
	世帯主名			世帯主				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	離縁前の氏			離縁前の氏				
	縁組年月日			縁組年月日				
	離縁年月日			離縁年月日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍		有		
	新本籍							
	新戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	配偶者個人番号							
	配偶者外人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				

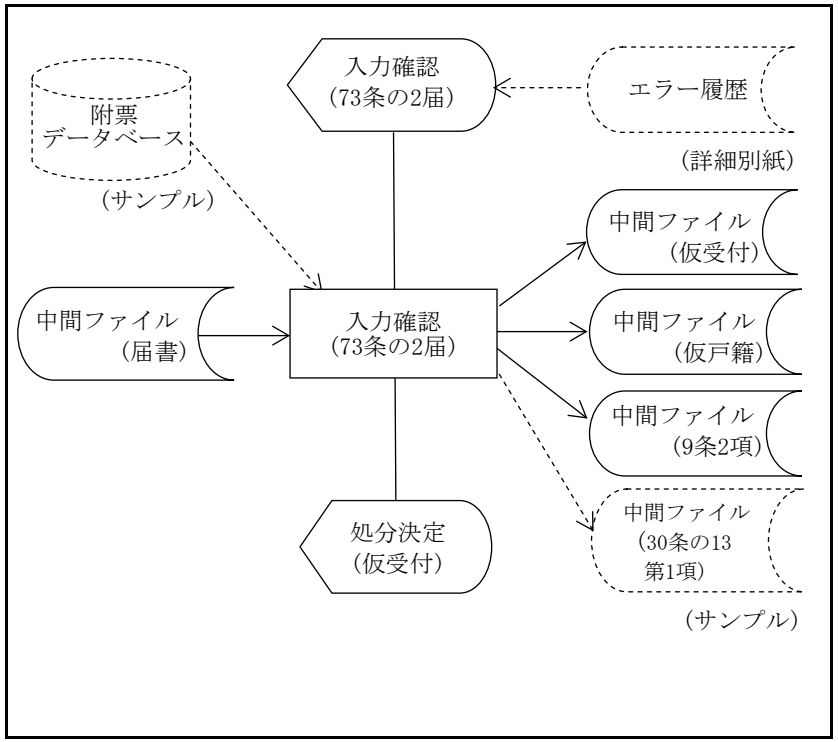
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所コード			配偶者住所		有		
	配偶者住所							

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(73条の2届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 戸籍特定(記録)
- 5.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 5.1 氏の変更(記録)
  - 5.2 氏の変更(新戸籍編製)
- 6.0 データ編集(中間ファイル/[氏名])
  - 6.1 氏名(記録)
- 7.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 7.1 縁氏続称者(記録)
  - 7.2 縁氏続称者(入籍)
  - 7.3 縁氏続称者(除籍)
- 8.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1 縁氏続称者の配偶者(入籍)
  - 8.2 縁氏続称者の配偶者(除籍)
- 9.0 データ編集(中間ファイル/9条2項)
  - 9.1 縁氏続称者
  - 9.2 縁氏続称者の配偶者
- 10.0 データ編集(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 10.1 縁氏続称者
  - 10.2 縁氏続称者の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(73条の2届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する					[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する				[3.0]	/	
	(5)縁氏続称者が本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(6)新本籍に入力がある(YES,NO)				/	
		YES	(7)身分事項:縁氏続称者(除籍)の編集をする		[7.3]	/	
		NO	(8)戸籍事項:縁氏続称者(記録)の編集をする		[5.1]	/	
			(9)身分事項:縁氏続称者(記録)の編集をする		[7.1]	/	
		(9-1)縁氏続称者は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(9-1)(9-2)
		YES	(9-2)縁氏続称者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する		[10.1]	/	
		NO	(10)→(11)へ			/	
	NO						
	(11)新本籍に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(14)新本籍は管内である(YES,NO)				/	
		YES	(15)戸籍事項:縁氏続称者(新戸籍編製)の編集をする		[5.2]	/	
			(16)身分事項:縁氏続称者(入籍)の編集をする		[7.2]	/	
		NO	(17)→(19)へ			/	
	NO	(18)→(19)へ				/	
	(19)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)					/	
	YES	(20)縁氏続称者は本籍人である(YES,NO)				/	
		YES	(21)身分事項:縁氏続称者の配偶者(除籍)の編集をする		[8.2]	/	
			(21-1)縁氏続称者の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(21-1)(21-2)
			YES	(21-2)縁氏続称者の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[10.2]	/	
			NO	(22)→(23)へ		/	
		NO					

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]					/				
			(23)新本籍人は管内である(YES,NO)		/				
		YES	(24)身分事項:縁氏続称者の配偶者(入籍)の編集をする [8.1]		/				
		NO	(25)→(26)へ		/				
	NO				/				
	(26)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/				
	YES		(27)縁氏続称者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [9.1]		/				
			(28)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/				
		YES	(29)縁氏続称者の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集出力する [9.2]			(30)処分決定に制御を渡す			
		NO	→						
	NO								
PF1	→					(31)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(32)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(33)審査(73条の2届)に制御を渡す			
PF7	(34)前ページがある(YES,NO)				/				
	YES		(35)前ページ分の確認画面(73条の2届)を編集する			(36)同画面を編集する			
	NO		(37)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する						
PF8	(38)次ページがある(YES,NO)				/				
	YES		(39)次ページ分の確認画面(73条の2届)を編集する			(40)同画面を編集する			
	NO		(41)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→					(42)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(43)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する					(44)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	1.0 確認画面(73条の2届)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
73条の2届確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	筆頭者名称					有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者名称					有		
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	父母との続柄名称					有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	1.0 確認画面(73条の2届)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	離縁前の氏			離縁前の氏				
	縁組年月日			縁組年月日				
	離縁年月日			離縁年月日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	新戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	配偶者外国人区分			配偶者外人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者区分名称					有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者父母との続柄名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	条件									縁氏続称者の戸籍				
	縁続氏称者 ○管内(1) ×管外(0)	縁氏続称者		日本人配偶者		他の在籍者		新編製戸籍地 ○管内(1) ×管外(0)		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 一部除籍 B.2 C.2	一部記載	変動なし 4.1 5.1 6.1	新戸籍編製 A.1 5.2 B.1 C.1 D.1
		筆頭者(1)	構成員(0)	無(1)	有(0)	無(1)	有(0)							
1	○	×	○	－	－	○	×	○			本人7.3			本人7.2
2	○	×	○	－	－	○	×	×			本人7.3			
3	×	×	○	－	－	－	－	○						本人7.2
4	○	×	○	－	－	×	○	○		本人7.3				本人7.2
5	○	×	○	－	－	×	○	×		本人7.3				
6	○	○	×	○	×	○	×	－					本人7.1	
7	○	○	×	○	×	×	○	○		本人7.3				本人7.2
8	○	○	×	○	×	×	○	×		本人7.3				
9	×	○	×	○	×	－	－	○						本人7.2
10	○	○	×	×	○	○	×	○			本人7.3 配偶者8.2			本人7.2 配偶者8.1
11	○	○	×	×	○	○	×	×			本人7.3 配偶者8.2			
12	×	○	×	×	○	－	－	○						本人7.2 配偶者8.1
13	○	○	×	×	○	×	○	○		本人7.3 配偶者8.2				本人7.2 配偶者8.1
14	○	○	×	×	○	×	○	×		本人7.3 配偶者8.2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0701
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							新本籍に入力がある場合2を設定
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	送達確認1							新本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							14(縁氏続称者)
	届出人区分							1(届出人)を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							本籍が非本籍　かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	4.1　戸籍特定(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日							
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	5.1　戸籍事項(記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号								取得済みの戸籍番号を設定
	行番号								前の戸籍事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701 (73条の2の氏の変更の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	従記前録の	従記前録の	氏		「漢字氏名」の氏				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)						
処理名	5.2 戸籍事項(新戸籍編製) 編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号								決裁処理で取得
	行番号								01
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701 (73条の2の氏の変更の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	従前記録の	従前記録の	氏						
	記録	記録日							
	特記	特記事項							
	戸籍番号								決裁処理で取得
	行番号								02
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0001(編製)
	記録コード								0001(戸籍編製事項の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	許可	許可日		中間ファイル(届書)					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	5.2　戸籍事項(新戸籍編製)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	編製	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	6.1　氏名　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号		中間ファイル(届書)					取得済みの個人番号を設定
	行番号							前の氏名DBの最終行番号 + 1
	カナ氏名							新戸籍の筆頭者のカナ
	漢字氏名			新戸籍の筆頭者				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	7.1　身分事項(縁氏続称者・記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従籍前戸 本籍							
		従籍前戸 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	7.2　身分事項(縁氏続称者・入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で取得
	行番号								
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従籍前戸 本籍			本籍				
		従籍前戸 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)								
処理名	7.3　身分事項(縁氏続称者・除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従籍前戸 本籍							
		従籍前戸 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				
		称する氏			「新戸籍の筆頭者」の氏				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	8.1　身分事項(縁氏続称者の配偶者・入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702 (縁氏続称者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	入籍	入籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 "妻の戸籍法73条の2の届出" 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 "夫の戸籍法73条の2の届出"
	除籍	除籍日							
	除籍	除籍事由							
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入戸籍	従籍前戸 本籍			本籍				
	入戸籍	従籍前戸 筆頭者			筆頭者				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	8.2　身分事項(縁氏続称者の配偶者・除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702 (縁氏続称者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		除籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 ″妻の戸籍法73条の2の届出″ 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 ″夫の戸籍法73条の2の届出″
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従籍前戸 本籍							
		従籍前戸 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	9.1　9条2項(縁氏続称者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領日				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							07(73条の2)
	受領日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「離縁前の氏」 + 「漢字氏名」の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	9.1　9条2項(縁氏続称者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	9.2　9条2項(縁氏続称者の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領日				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							07(73条の2)
	受領日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「離縁前の氏」＋「配偶者漢字氏名」の名				
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	9.2　9条2項(縁氏続称者の配偶者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	10.1　30条の13第1項(縁氏続称者)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					07(73条の2)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「離縁前の氏」 + 「漢字氏名」の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(73条の2届)							
処理名	10.2　30条の13第1項(縁氏続称者の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					07(73条の2)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「離縁前の氏」 + 「配偶者漢字氏名」の名				
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新性別							
	旧性別							配偶者父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

7.養子離縁届同時
73条の2届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	離縁同90	「養子離縁届同時73条の2届」	死亡者との離縁で報告的届出として処理することを防ぐための審査を追加 ◆審査_3.2 離縁種別の確認 (80-1)～(80-5)
2		離縁同91		「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正 審査_3.1 離縁の準拠法確定 「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更
3		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
4	R4	離縁同92	「養子離縁届同時73条の2届」	・入力確認_システム環境仕様書　4.機能体系(要件定義書の構成) 11.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)から11.1 養父、11.2 養母を削除 12.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)から12.1 養父、12.2 養母を削除 ・入力確認_0.0　本紙 ①公選法30条の13第1項は除籍で作成されるため、(10)～(53)の中で身分事項(除籍)の後に記載を移動 ②養父及び養母は戸籍に変動がないため、9条2項及び30条の13第1項出力の記載を削除 ・データ編集表の入力確認_11.1 9条2項(養父)、入力確認_11.2 9条2項(養母)、12.1 30条の13第1項(養父)、12.1 30条の13第1項(養母)を削除 ・戸籍記録の備考欄に、誰(養子、養女、養子(女)の配偶者)の記録であるかを記載
5		離縁同93		・審査_3.2 離縁種別の確認 ①(80-1)の判定文にある「離縁確定日」は項目に無いため、(80-1)を削除し、(80-2)の判定から実施に変更 ②(85)のメッセージを養子離縁に合わせて修正

システム処理の概要説明		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	養子離縁同時73条の2届						

1.養子離縁同時73の2業務処理範囲外の処理
・追完届出された場合(追完の記録が必要な場合)
・協議離縁届で届書受理後に事件本人(養子及び養親)の死亡が明らかになった場合の記録
・無籍者の離縁
・旧法当時婿養子縁組婚姻をした養子と養親との離縁
・養子夫婦の一方が生存、他方が死亡している場合
・15歳未満の届出人が特別代理人のとき、特別代理人以外に届出人がいる場合
・15歳以上の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理は、離縁同時73の2届の処理が終了後、親権又は未成年後見で処理する
・離縁届と同時に戸籍法73条の2の届をした者が、実方の氏の新戸籍編製を申し出た場合は、離縁届と戸籍法73条の2届を別に処理するか、審査結果入力で処理する
(離縁届と戸籍法73条の2届を別に処理しても結果は変らない)
・被後見人との報告的離縁で、後見人が届出た場合
・複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2.養子離縁同時73条の2入力画面の意義

・離縁形態入力画面　　養子と養親で離縁する者同士の情報を入力する
15歳未満の離縁届と同時に届出られた親権者指定届又は未成年後見開始届の情報を入力する

・その1入力画面　　養子の現在の状況の各項目を入力する

・その2入力画面　　養親の現在の状況の各項目を入力する

・その3入力画面　　縁組前の氏、縁組年月日、離縁の種別に関する各項目を入力する

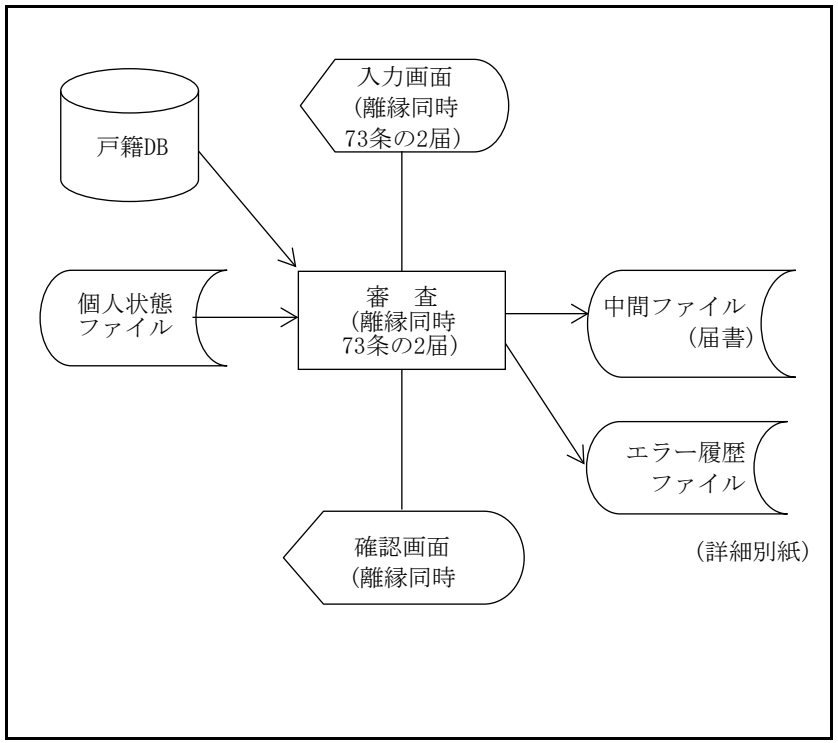
・その4入力画面　　15歳未満の養子の届出人に関する各項目を入力する

・その5入力画面　　養子の配偶者(事件本人以外)に関する各項目を入力する
離縁によって養子の養父母が変る場合(転縁組の離縁)、その養父及び養母氏名を入力する
離縁により従前の親権事項を移記(記録)する場合、離縁後の親権者区分を入力する

3.その他
・15歳未満の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理を、離縁同時73の2届の処理が終了後、親権又は未成年後見で処理して構わない
・離縁によって養子の養父母が変わる場合(転縁組の離縁)の養父及び養母氏名の入力は、移記事項処理で処理しても構わない
・養子、養女、養父、養母の年齢算出は算出の要件が明記されていない場合は、離縁成立時の年齢を算出すること
(裁判確定日に入力があれば裁判確定日での年齢、同様離縁成立日における年齢、双方入力がない場合は受領日の年齢)
・外国人養子の離縁協議者(外国人父母)の記載では国により「親権者父母」と「父母」の場合があるため双方に対応すること
・受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)離縁同時73条の2届の内容を入力する
(2)離縁同時73条の2届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)離縁同時73条の2届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)離縁同時73条の2届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(離縁同時73条の2届)に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
  - 1.1 単体チェック(条件設定表)
- 2.0 関連チェック
  - 2.1 関連チェック(条件設定表)
- 3.0 審査(関連審査補完)
  - 3.1 離縁の準拠法確定
    - 3.1.1 日本法での離縁
      - 3.1.1.1 15歳未満の離縁
      - 3.1.1.2 未成年の離縁
    - 3.1.2 外国法での離縁
  - 3.2 離縁種別の確認
    - 3.2.1 養子―養親異動
  - 3.3 戸籍異動の確認
    - 3.2.2 養女―養親異動
    - 3.3.3 養子夫婦―養親異動
- 4.0 データ編集票(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)							/			
	YES	(17)前ページ分の入力画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する							(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する									
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)							/			
	YES	(21)次ページ分の入力画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する							(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する									
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する										
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ以上	英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:離縁あり、スペース:離縁なし)であること			
5	同時届区分	○	数字	(0:無、1:親権者指定届、2:未成年後見開始届)であること			
5-1	親権・未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
5-2	親権・未成年後見人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	親権・未成年後見人氏名		漢字				
7	親権・未成年後見人本籍		漢字				
8	親権・未成年後見人筆頭者		漢字				
9	同時親権届の種別		数字	(1:協議、2:調停、3:審判)であること			
10	同時親権者資格		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
11	同時親権届出人資格		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
11-1	同時親権届出人の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
11-2	同時親権届出人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	同時親権届出人氏名		漢字				
12-1	同時親権届出人本籍		漢字				
13	出張所番号		数字				
14	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	発送元		漢字				
17	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
18	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
20	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	報告区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	養子の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
23	養子の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
24	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
25	養子の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
26	養子のカナ氏名		カナ				
27	養子の漢字氏名		漢字				
28	養子の本･国籍		漢字				
29	養子の住所		漢字				
30	養子の筆頭者		漢字				
31	養子の世帯主		漢字				
32	養子の父氏名		漢字				
33	養子の母氏名		数字				
34	養子の父母との続柄コード		数字	10(男)～29(十九男)であること			
35	養子の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
36	養子の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、3:生存配偶者)であること			
37	養女の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
38	養女の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
39	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
40	養女の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
41	養女のカナ氏名		カナ				
42	養女の漢字氏名		漢字				
43	養女の本･国籍		漢字				
44	養女の住所		漢字				
45	養女の筆頭者		漢字				
46	養女の世帯主		漢字				
47	養女の父氏名		漢字				
48	養女の母氏名		漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
49	養女の父母との続柄コード		数字	30(女)～49(十九女)であること			
50	養女の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
51	養女の配偶者区分		数字	(0:未、2:妻、3:生存配偶者)であること			
52	養父の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
53	養父の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
54	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
55	養父の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
56	養父のカナ氏名		カナ				
57	養父の漢字氏名		漢字				
58	養父の本･国籍		漢字				
59	養父の筆頭者		漢字				
60	養父の住所		漢字				
61	養父の世帯主		漢字				
62	養父の縁組成立法区分		数字	(0:日本法、1:日本法以外)であること			
63	養母の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
64	養母の本非区分		数字	(1:本籍人、2:非本籍人)であること			
65	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
66	養母の生死区分		数字	(0:生存者、1:死亡者)であること			
67	養母のカナ氏名		カナ				
68	養母の漢字氏名		漢字				
69	養母の本･国籍		漢字				
70	養母の筆頭者		漢字				
71	養母の住所		漢字				
72	養母の世帯主		漢字				
73	養母の縁組成立法区分		数字	(0:日本法、1:日本法以外)であること			
74	養父母婚姻区分		数字	(0:婚姻中でない　1:婚姻中である)であること			
75	縁組年月日	○	数字	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
76	縁組前の氏	○	数字				
77	離縁の種別	○	数字	(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること			
78	離縁の申立人区分		数字	(1:養子(法定代理人を含む)、2:養親)であること			
79	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
80	離縁許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
81	離縁成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
82	離縁の方式		漢字				
83	外国裁判所		漢字				
84	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		数字	(010:養父、011:養母、012:養父母、013:養子、014:養子夫婦、077:(養子の離縁後の)法定代理人)であること			
85	新本籍	○	漢字				
86	15歳未満の届出人資格1		数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、023:親権者となるべき父、024:親権者となるべき母、026:親権者となるべき養父、027:親権者となるべき養母、078:特別代理人、110:未成年後見人、111:未成年後見人となるべき者)であること			
87	15歳未満の届出人資格2		数字	同上			
88	15歳未満の届出人民名1		漢字				
89	15歳未満の届出人国籍1		漢字				
90	15歳未満の届出人生年月日1		英数	「日付チェックサブルーチン」			
91	15歳未満の届出人氏名2		漢字				
92	15歳未満の届出人国籍2		漢字				
93	15歳未満の届出人生年月日2		英数	「日付チェックサブルーチン」			
94	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
95	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
96	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
97	配偶者カナ氏名		カナ				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
98	配偶者漢字氏名		漢字				
99	配偶者父氏名		漢字				
100	配偶者母氏名		漢字				
101	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
102	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
103	配偶者住所		漢字				
104	離縁後変更養父氏名		漢字				
105	離縁後変更養母氏名		漢字				
106	親権移記親権者区分		数字	(001:父.002:母、010:養父、011:養母)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
	以降、審査内部で使用する離縁形態区分の設定および表示内容について記述する	
1	(No.1)〔養子と養父区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 1とする 「養子と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 1:養子と養父の離縁
2	(No.2)〔養子と養母区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 2とする 「養子と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 2:養子と養母の離縁
3	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 3とする 「養子と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 3:養子と養父母の離縁
4	(No.3)〔養女と養父区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 4とする 「養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 4:養女と養父の離縁
5	(No.4)〔養女と養母区分〕のみ入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 5とする 「養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 5:養女と養母の離縁
6	(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 6とする 「養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 6:養女と養父母の離縁
7	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 7とする 「養子夫婦と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の離縁
8	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 8とする 「養子夫婦と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の離縁
9	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 9とする 「養子と養父及び養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 9:養子と養父　かつ　養女と養母の離縁
10	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 10とする 「養子と養父及び養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 10:養子と養父　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養女と養母の離縁)
11	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 11とする 「養子と養父及び養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 11:養子と義母　かつ　養女と養父の離縁

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
12	(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 12とする 「養子と養母及び養女と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 12:養子と養母　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養女と養父の離縁)
13	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 13とする 「養子と養父母及び養女と養父の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 13:養子と養父母　かつ　養女と養父の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養子と養母の離縁)
14	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 14とする 「養子と養父母及び養女と養母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 14:養子と養父母　かつ　養女と養母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養子と養父の離縁)
15	(No.1)〔養子と養父区分〕　かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕　かつ (No.3)〔養女と養父区分〕　かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕の入力がある時、 離縁形態区分 ＝ 15とする 「養子夫婦と養父母の離縁」と表示する	離縁形態区分 ＝ 15:養子夫婦と養父母の離縁

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	離縁形態区分 ＝ 1(養子と養父の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		入力がある場合に、外国人区分は必須入力項目
2	離縁形態区分 ＝ 2(養子と養母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
3	離縁形態区分 ＝ 3(養子と養父母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
4	離縁形態区分 ＝ 4(養女と養父の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
5	離縁形態区分 ＝ 5(養女と養母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
6	離縁形態区分 ＝ 6(養女と養母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペースであること			
7	離縁形態区分 ＝ 7(養子夫婦と養父の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.94)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
8	離縁形態区分 ＝ 8(養子夫婦と養母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.94)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
9	離縁形態区分 ＝ 9 (養子と養父　かつ養女と養母の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 10(養子と養父　かつ養女と養父母の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 11(養子と養母　かつ養女と養父の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 12(養子と養母　かつ養女と養父母の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 13(養子と養父母　かつ養女と養父の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 14(養子と養父母　かつ養女と養母の離縁)　又は 離縁形態区分 ＝ 15(養子夫婦と養父母の離縁)の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.94)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること			
10	(No5)同時届区分 ＝ 0(無)の場合、 (No.6)親権･未成年後見人氏名～(No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
11	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)　又は　2(未成年後見開始届)の場合、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ≠ スペース　かつ (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.86)15歳未満の届出人氏名1であること			
12	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)　又は　2(未成年後見開始届)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3　又は　4　又は　5　又は　6であること			
13	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)　又は　2(未成年後見開始届)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍であれば (No.8)親権・未成年後見人筆頭者 ≠ スペースであること			
14	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)　又は　2(未成年後見開始届)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍であれば(No.8)親権・未成年後見人筆頭者 ＝ スペース　かつ			
15	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)の場合、 (No.9)同時親権届の種別 ≠ スペース　かつ (No.10)同時親権者の資格 ≠ スペースであること			
16	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ≠ スペース　かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ≠ スペース　かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ≠ スペース　かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ≠ スペース　かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ スペースであること			
17	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)の場合、 (No11)同時親権届出人資格 ＝ スペース　かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ スペース　かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ スペース　かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ スペース　かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ スペースであること			
18	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)　又は　011(養母)であること			
19	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)　又は　010(養父)であること			
20	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)　かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)　又は　011(養母)であること			
21	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)　かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合、 (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)　又は　010(養父)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.32)養子の父氏名であること			
23	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.33)養子の母氏名であること			
24	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.32)養子の父氏名であること			
25	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.33)養子の母氏名であること			
26	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.47)養女の父氏名であること			
27	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6であれば、 (No.6)親権・未成年後見人氏名 ＝ (No.48)養女の母氏名であること			
28	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.47)養女の父氏名であること			
29	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合、 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6であれば、 (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.48)養女の母氏名であること			
30	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　又は　001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
31	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)　又は　002(母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
32	(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)　又は　010(養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
33	(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母)　又は　011(養母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
34	(No.15)送付日 ＝ スペースの時、(No.16)発送元 ＝ スペースであること			
35	(No.15)送付日 ≠ スペースの時、(No.16)発送元 ≠ スペースであること			
36	(No.15)送付日 ≠ スペースの時、(No.15)送付日 ≧ (No14)受領日であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	(No.15)送付日 ＝ スペースの時、(No.17)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
38	(No.16)発送元 ≠ スペースの時、(No.17)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
39	(No.16)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.16)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.17)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
40	(No.16)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.16)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.17)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は (No.17)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
41	(No.18)処理日 ≠ スペースの時、(No.18)処理日 ＞ (No14)受領日であること			
42	(No.20)郵送日 ≠ スペースの時、(No.15)送付日 ＝ スペースであること			
43	(No.20)郵送日 ≠ スペースの時、(No.20)郵送日 ≦ (No.14)受領日であること			
43	(No.19)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.23)養子の本非区分 ＝ 1　又は　(No.38)養女の本非区分 ＝ 1　又は (No.53)養父の本非区分 ＝ 1　又は　(No.64)養母の本非区分 ＝ 1　又は (No.85)新本籍 ＝ 管内本籍地であること			(No.19)本非区分は養子離縁同時73の2届の本非区分と位置付ける。 親権・未成年後見届は関係しない。
44	(No.20)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.23)養子の本非区分 ＝ 2　かつ(No.38)養女の本非区分 ＝ 2　かつ (No.53)養父の本非区分 ＝ 2　かつ(No.64)養母の本非区分 ＝ 2　かつ (No.85)新本籍 ＝ 管外本籍地であること			
45	(No.21)報告区分 ＝ 1(創設的届出)の場合、 (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No81)離縁成立日 ＝ スペースであること			
46-1	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ(No80)離縁成立日 ＝ スペースの場合、 (No.21)報告区分 ＝ 1(創設的届出)であること			
46-2	(No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)の場合、 (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No81)離縁成立日 ≠ スペース)　又は (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は 6(認諾)であること			
47	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No81)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			外国の方式による離縁の入力チェック
48	(No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は　6(認諾)の場合、 (No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
49	養子に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分　かつ　(No.23)養子の本非区分　かつ　(No.24)養子の生年月日　かつ (No.25)養子の生死区分　かつ　(No.26)養子のカナ氏名　かつ　(No.27)養子の漢字氏名　かつ (No.28)養子の本･国籍　かつ　(No.34)養子の父母との続柄コードに入力があること			養子に入力がある場合の必須入力項目
50	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.24)養子の生年月日 ＝ (和暦)　かつ　(No.28)養子の本･国籍 ＝ 本籍　かつ (No.30)養子の筆頭者 ≠ スペース　かつ　(No.35)養子の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ (No.36)養子の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
51	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.23)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.24)養子の生年月日 ＝ (西暦)　かつ (No.28)養子の本･国籍 ＝ 国籍　かつ　(No.30)養子の筆頭者 ＝ スペース　かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
52	(No.23)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.28)養子の本･国籍 ＝ 管内本籍であること			
53	(No.23)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.28)養子の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
54	養父に入力がある場合、(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.25)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ　(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
55	養父に入力がある場合、(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.25)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は　6(認諾) かつ　(No.84)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
56	(No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未以上) ≦ (No.14)受領日の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
57	(No.29)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.31)養子の世帯主 ＝ スペースであること			
58				
59				
60				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
61	(No.35)養子の筆頭者区 ＝ 1(筆頭者)の場合、 (No.27)養子の漢字氏名 ＝ (No.30)養子の筆頭者であること			
61-1	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.27)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.30)養子の筆頭者氏名の「氏」であること			
62	養女に入力がある場合、 (No.37)養女の外国人区分 かつ (No.38)養女の本非区分 かつ (No.39)養女の生年月日 かつ (No.40)養女の生死区分 かつ (No.41)養女のカナ氏名 かつ (No.42)養女の漢字氏名 かつ (No.43)養女の本･国籍 かつ (No.49)養女の父母との続柄コードに入力があること			養女に入力がある場合の必須入力項目
63	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.39)養女の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.43)養女の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.45)養女の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.50)養女の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.51)養女の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
64	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.38)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.39)養女の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.43)養女の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.45)養女の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
65	(No.38)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.43)養女の本･国籍 ＝ 管内本籍であること			
66	(No.38)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.43)養女の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
67	養父に入力がある場合、(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.40)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
68	養父に入力がある場合、(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合、(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.40)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停) 又は 3(審判) 又は 4(判決) 又は 5(和解) 又は 6(認諾) かつ (No.84)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
69	(No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ (No.14)受領日の場合、 (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
70	(No.44)養女の住所 ＝ スペースの場合、(No.46)養女の世帯主 ＝ スペースであること			
71				
72				
73				
74	(No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、 (No.42)養女の漢字氏名 ＝ (No.45)養女の筆頭者であること			
74-1	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.42)養女の漢字氏名の「氏」＝ (No.45)養女の筆頭者氏名の「氏」であること			
75	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) のとき (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)であること			
76	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) のとき (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
76-1				
77	養子又は養女の片方だけに入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ(No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) のとき (No.94)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
78	養子又は養女の片方だけに入力がある場合、 (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ(No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) のとき (No.94)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
79	養父に入力がある場合、 (No.52)養父の外国人区分 かつ (No.53)養父の本非区分 かつ (No.54)養父の生年月日 かつ (No.55)養父の生死区分 かつ (No.56)養父のカナ氏名 かつ (No.57)養父の漢字氏名 かつ (No.58)養父の本･国籍 かつ (No.61)養父の縁組成立法区分に入力があること			養父に入力がある場合の必須入力項目
80	(No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.54)養父の生年月日 ＝ (和暦) かつ(No.58)養父の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.59)養父の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
81	(No.52)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.53)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.54)養父の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.58)養父の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.59)養父の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
81-1	(No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.59)養父の筆頭者氏名の氏であること			
82	(No.53)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.58)養父の本･国籍 ＝ 管内本籍であること			
83	(No.53)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.58)養父の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
84	(No.60)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.61)養父の世帯主 ＝ スペースであること			
85	(No.61)養父の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.60)養父の住所 ≠ スペースであること			
86	養母に入力がある場合、 (No.63)養母の外国人区分　かつ　(No.64)養母の本非区分　かつ　(No.65)養母の生年月日　かつ (No.66)養母の生死区分　かつ　(No.67)養母のカナ氏名　かつ　(No.68)養母の漢字氏名　かつ (No.69)養母の本･国籍　かつ　(No.73)養母の縁組成立法区分に入力があること			養母に入力がある場合の必須入力項目
87	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.65)養母の生年月日 ＝ (和暦)　かつ　(No.69)養母の本･国籍 ＝ 本籍　かつ (No.70)養母の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
88	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合、 (No.64)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.65)養母の生年月日 ＝ (西暦)　かつ (No.69)養母の本･国籍 ＝ 国籍　かつ　(No.70)養母の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
88-1	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.68)養母の漢字氏名の氏 ＝ (No.70)養母の筆頭者氏名の氏であること			
89	(No.64)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、(No.69)養母の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
90	(No.64)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.69)養母の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
91	(No.71)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.72)養母の世帯主 ＝ スペースであること			
92	(No.72)養母の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.71)養母の住所 ≠ スペースであること			
93				
94	(No.75)縁組年月日 ＜ (No.14)受領日、(No.79)裁判確定日、(No.80)離縁許可日、 (No.81)離縁成立日であること			
95	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合、 (No.78)離縁の申立人区分 ＝ スペース　かつ (No.79)裁判確定日 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
96	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.79)離縁許可日 ≠ スペースの場合、 (No.81)離縁成立日 ＝ スペース　かつ　(No.82)離縁の方式 ＝ スペース　かつ (No.83)外国裁判所名 ＝ スペース　かつ (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ スペースであること			死亡者との離縁
97	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.81)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.80)離縁許可日 ＝ スペースであること			
98	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.80)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.82)離縁の方式 ≠ スペースであれば (No.84)外国裁判所名 ＝ スペースであること			外国方式での離縁
99	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)　かつ　(No.80)離縁成立日 ≠ スペースの場合、 (No.84)外国裁判所名 ≠ スペースであれば (No.82)離縁の方式 ＝ スペースであること			外国の裁判所で協議された離縁
99-1	(No.82)離縁の方式 ≠ スペースの場合、(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
99-2	(No.84)外国裁判所名 ≠ スペースの場合、(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
100	(No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)　又は　4(判決)　又は　5(和解)　又は　6(認諾)の場合、 (No.78)離縁の申立人区分 ≠ スペース　かつ　(No.79)裁判確定日 ≠ スペース　かつ (No.80)離縁許可日 ＝ スペース　かつ　(No.81)離縁成立日 ＝ スペース　かつ (No.82)離縁の方式 ＝ スペース　かつ (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペースであること			裁判による離縁
101	(No.78)離縁の申立人区分 ≠ スペースの場合、 (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペースであること			
102	(No.79)裁判確定日 ≦ (No.14)受領日であること			
103	(No.80)離縁許可日 ≦ (No.14)受領日であること			
104	(No.81)離縁成立日 ≦ (No.14)受領日であること			
105	(No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)　かつ 離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3の場合、 (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
106	(No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)　かつ 離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6の場合、 (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
107	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2～ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2までがすべてスペースであること			15歳未満の届出人がいる場合は、資格1が必須入力項目
108	(No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合、 (No.91)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース　かつ (No.92)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペース　かつ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
109	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの場合、 (No.88)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
110	(No.87)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの場合、 (No.91)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
111	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)～011(養母)の場合、 (No.89)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペース　かつ (No.90)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
112	(No.89)15歳未満の届出人国籍1 ＝ スペースの場合、 (No.90)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ スペースであること			
113	(No.89)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペースの場合、 (No.90)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			
114	(No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)～011(養母)の場合、 (No.92)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペース　かつ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
115	(No.92)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペースの場合、 (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
116	(No.92)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペースの場合、 (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦であること			
117	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)　又は 111(未成年後見人となるべき者)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
118	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　又は　011(養母)　又は　017(親権者母)　又は 020(親権者養母)　又は　024(親権者となるべき母)　又は　027(親権者となるべき養母) 又は　スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
119	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)　又は　010(養父)　又は　016(親権者父)　又は 019(親権者養父)　又は　023(親権者となるべき父)　又は　026(親権者となるべき養父) 又は　スペースであること			
120	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　又は　011(養母)　又は　017(親権者母)　又は 020(親権者養母)　又は　024(親権者となるべき母)　又は　027(親権者となるべき養母) 又は　スペースであること			
121	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)の場合、 (No.97)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)　又は　010(養父)　又は　016(親権者父)　又は 019(親権者養父)　又は　023(親権者となるべき父)　又は　026(親権者となるべき養父) 又は　スペースであること			
122	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は スペースであること			
123	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は スペースであること			
124	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　又は　020(親権者養母)　又は スペースであること			
125	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は　019(親権者養父)　又は スペースであること			
126	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)　又は 027(親権者となるべき養母)　又は　スペースであること			
127	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)　又は 026(親権者となるべき養父)　又は　スペースであること			
128	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)　又は 027(親権者となるべき養母)　又は　スペースであること			
129	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)　又は 026(親権者となるべき養父)　又は　スペースであること			
130				
131				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
132				
133				
134				
135				
136				
137				
138	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)　又は 111(未成年後見人となるべき者) の場合、 (No.5)同時届区分 ＝　0(無)　又は　2(未成年後見開始届)であること			
141	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.97)配偶者カナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.98)配偶者漢字氏名 ≠ スペースであること			
142	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.95) 配偶者筆頭者区分 ≠ スペース　かつ　(No.96)配偶者配偶者区分 ≠ スペース　かつ (No.101)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース　かつ (No.102)配偶者生年月日 ＝ 和暦であること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
143	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.95) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
144	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.95) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ　(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ　(No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
145	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.95) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ　(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
146	(No.94) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.95) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ　(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ　(No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
147				
148	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
149				
150	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
152	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日　かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ　離縁形態区分 ＝ 1　又は　2　又は　3の場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ (No.24)養子の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正前のチェック
153	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日　かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ　離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6の場合、 (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ (No.39)養女の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正前のチェック
154	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日　かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ離縁形態区分 = 1　又は　2　又は　3の場合、 (No.22)養子の外国人区分 = 0(日本人)　かつ (No.24)養子の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.36)養子の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正後のチェック
155	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日　かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース　かつ　離縁形態区分 ＝ 4　又は　5　又は　6の場合、 (No.37)養女の外国人区分 = 0(日本人)　かつ (No.39)養女の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日　かつ (No.51)養女の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正後のチェック
200	(No.5)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届) の場合、 (No.9)同時親権届の種別～ (No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			追加分はNo.200からスタートする No.15の後に挿入
201	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 管内本籍地であること			No.201～No.208はNo.17の後に挿入
202	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 (No.7)親権・未成年後見人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
203	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍の場合、 (No.5-2)親権・未成年後見人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
204	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍の場合、 (No.5-2)親権・未成年後見人生年 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
205	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 管内本籍地であること			
206	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
207	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 本籍の場合、 (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
208	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 国籍の場合、 (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
209	(No.25)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、 (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 0(未) かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース かつ (No.106)親権移記親権者区分 ＝ スペースであること			No.55の後に挿入
210	(No.40)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、 (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 0(未) かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース かつ (No.106)親権移記載権者区分 ＝ スペースであること			No.68の後に挿入
211	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.26)養子のカナ氏名の氏 ＝ (No.41)養女のカナ氏名の氏 かつ (No.27)養子の漢字氏名の氏 ＝ (No.42)養女の漢字氏名の氏であること			養子･養女が日本人のときは同一戸籍であること No.76の後に挿入
212	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.55)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) 又は (No.66)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の時、 (No.74)養母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)であること			No.212～No.213はNo.92の後に挿入
213	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.74)養母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中) の時、 (No.56)養父のカナ氏名の氏 ＝ (No.67)養母のカナ氏名の氏 かつ (No.57)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.68)養母の漢字氏名の氏 かつ (No.58)養父の本国籍 ＝ (No.69)養母の本国籍 かつ (No.59)養父の筆頭者 ＝ (No.70)養母の筆頭者であること			養父･養母が日本人で婚姻中のときは、同一戸籍であること
214	(No.10)同時親権者資格 ＝ 10(養父) 又は 11(養母)の場合、 (No.104)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース 又は (No.105)離縁後変更養母氏名 ≠ スペースであること			
215	(No.106)親権移記親権区分 ＝ 10(養父) 又は 11(養母)の場合、 (No.104)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース 又は (No.105)離縁後変更養母氏名 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
	以降、養子離縁同時73条の2届で表示する 同時親権届出人名称の内容について記述する	同時親権届出人名称をカットしたことにより、このページを削除する
1	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「父」と表示する	
2	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「母」と表示する	
3	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「養父」と表示する	
4	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペースの場合、 「養母」と表示する	
5	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)の場合、 「父母」と表示する	
6	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「父及び養母」と表示する	
7	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 001(父)の場合、 「父母」と表示する	
8	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)の場合、 「養父及び母」と表示する	
9	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)の場合、 「養父及び母」と表示する	
10	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	
11	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	
12	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)の場合、 「養父母」と表示する	

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
	以降、養子離縁同時73条の2届画面で表示する 15歳未満の届出人資格名称の内容について記述する	
1	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合、 「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は、資格1のコード内容をそのまま表示 111は「未成年後見人となるべき者」と表示する
2	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の場合、 「父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合、 「父及び養母」と表示する	同上
4	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「父及び親権者母」と表示する	同上
5	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「父及び親権者養母」と表示する	同上
6	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
7	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
8	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 010(養父)の場合、 「養父及び母」と表示する	同上
9	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合、 「親権者父及び母」と表示する	同上
10	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び母」と表示する	同上
11	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 「親権者となるべき父及び母」と表示する	同上
12	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び母」と表示する	同上

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.1 条件設定		入力画面 (養子離縁同時73条の2届)					

No	内容	備考
13	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合、 「養父母」と表示する	同上
14	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「養父及び親権者母」と表示する	同上
15	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「養父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
17	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「養父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
18	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合、 「親権者父及び養母」と表示する	同上
19	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び養母」と表示する	同上
20	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 「親権者となるべき父及び養母」と表示する	同上
21	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び養母」と表示する	同上
22	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合、 「親権者父母」と表示する	同上
23	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合、 「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
24	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合、 「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
25	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者養母)の場合、 「親権者養父母」と表示する	同上

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

処理名	画面名	画面ID	
1.1 条件設定	入力画面 (養子離縁同時73条の2届)		

No	内容	備考
26	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 「親権者となるべき父母」と表示する	同上
27	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「親権者となるべき父及び親権者となるべき養母」と表示する	同上
28	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 「親権者となるべき養父及び親権者となるべき母」と表示する	同上
29	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 「親権者となるべき養父母」と表示する	同上

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	3.0 関連審査補完					備考	
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/				
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
YES	(0-2)→(0-5)へ		/				
NO	→			(0-3)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-4)→(0-5)へ		/				
(0-5)(養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) 又は (養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) である (YES,NO)			/			R2.1(離縁同88)	
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-7)本紙へ		R2.1(離縁同88)	
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-10)本紙へ		R2.1(離縁同88) 画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-9)→					R2.1(離縁同88)	
NO	(0-11)→(1)		/			R2.1(離縁同88)	
(1)離縁形態区分 ＝ 1～3のいずれかである(YES,NO)			/				
YES	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/			昭和62.10.1民二5000号通達第三の一	
YES	(3)エラーメッセージ 「15歳未満の養子は戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(4)本紙へ			
NO	(5)→(13)へ		/				
NO	(6)→(7)へ		/				
(7)離縁形態区分 ＝ 4～6のいずれかである(YES,NO)			/				
YES	(8)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/			昭和62.10.1民二5000号通達第三の一	
YES	(9)エラーメッセージ 「15歳未満の養子は戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(10)本紙へ			
NO	(11)→(13)へ		/				
NO	(12)→(13)へ		/				
(13)裁判確定日 ≠ スペースである(YES,NO)			/				
YES	(14)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 裁判確定日(YES,NO)		/			民816条2項	
YES	(15)→(18)へ		/				

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

NO	(16)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(17)本紙へ		
(18)(裁判確定日 + 1日) + 3ヶ月 > 受領日(YES,NO)		/		民816条2項	
YES	(19)→(37)へ	/			
NO	(20)エラーメッセージ 「離縁の日から3ヶ月経過しているので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(21)本紙へ		
NO	(22)→(23)へ	/			
(23)離縁成立日 ≠ スペースである(YES,NO)		/			
YES	(24)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 離縁成立日(YES,NO)	/		民816条2項	
YES	(25)→(28)へ	/			
NO	(26)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(27)本紙へ		
(28)(離縁成立日 + 1日) + 3ヶ月 > 受領日(YES,NO)		/		民816条2項	
YES	(29)→(37)へ	/			
NO	(30)エラーメッセージ 「離縁の日から3ヶ月を経過しているので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」		(31)本紙へ		
NO	(32)→(33)へ	/			
(33)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 受領日(YES,NO)		/		民816条2項	
YES	(34)→(37)へ	/			
NO	(35)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(36)本紙へ		
(37)離縁形態区分 = 1～3のいずれかである(YES,NO)		/			
YES	(38)養子の外国人区分 = 1(外国人)である(YES,NO)	/			
YES	(39)エラーメッセージ 「外国人は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(40)本紙へ		
NO	(41)→(42)へ	/			
(42)養子の生死区分 = 1(死亡者)である(YES,NO)		/			
YES	(43)エラーメッセージ 「死亡者は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(44)本紙へ		
NO	(45)→(46)へ	/			
(46)養子の氏 = 縁組前の氏である(YES,NO)		/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
	YES	(47)エラーメッセージ 「縁組前の氏と現在の氏が同じなので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する			(48)本紙へ			
	NO	(49)→(87)へ		/				
NO	(50)→(51)へ			/				
(51)離縁形態区分 ＝ 4～6のいずれかである(YES,NO)				/				
YES	(51)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)			/				
	YES	(53)エラーメッセージ 「外国人は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(54)本紙へ			
	NO	(55)→(56)へ		/				
	(56)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)			/				
	YES	(57)エラーメッセージ 「死亡者は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(58)本紙へ			
	NO	(59)→(60)へ		/				
	(60)養女の氏 ＝ 縁組前の氏　である(YES,NO)			/				
	YES	(61)エラーメッセージ 「縁組前の氏と現在の氏が同じなので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する			(62)本紙へ			
	NO	(63)→(87)へ		/				
NO	(64)→(65)へ			/				
(65)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)				/				
YES	(66)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/				
	YES	(67)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(68)本紙へ			
	NO	(69)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)　である(YES,NO)		/				
		YES	(70)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(71)本紙へ			
		NO	(72)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　である(YES,NO)	/				
			YES	(72.1)→(83)へ	/			
			NO	(72.2)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(72.3)本紙へ		
NO	(73)→(74)へ			/				
(74)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)				/				

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						

YES	(78)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者) である(YES,NO)			/			
	YES	(79)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する			(80)本紙へ		
	NO	(81)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) である(YES,NO)		/			
		YES	(81.1)→(83)へ	/			
		NO	(81.2)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する	/	(81.3)本紙へ		
NO	(82)→(83)へ						
(83)養子の氏 ＝ 縁組前の氏である (YES,NO)				/			
YES	(84)エラーメッセージ 「縁組前の氏と現在の氏が同じなので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する				(85)本紙へ		
NO	(86)→(87)へ			/			
(87)離縁形態区分 ＝ 1 又は 4 又は 7 である (YES,NO)				/			
YES	(88)養父の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である (YES,NO)			/			
	YES	(89)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)である (YES,NO)		/			
		YES	(90)エラーメッセージ 「外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。」 を表示する		(91)本紙へ		
		NO	(92)確認メッセージ(YES,NO) 「当時は外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出すことが できますね。」を表示する				
			YES (93)→(115)へ	/			
			NO →		(94)本紙へ	不受理	
	NO	(95)→(115)へ		/			
NO	(96)→(97)へ			/			
(97)離縁形態区分 ＝ 2 又は 5 又は 8 である (YES,NO)				/			
YES	(98)養母の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である (YES,NO)			/			
	YES	(99)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)である (YES,NO)		/			
		YES	(100)エラーメッセージ 「外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。」 を表示する		(101)本紙へ		
		NO	(102)確認メッセージ(YES,NO) 「当時は外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出すことが できますね。」を表示する				
			YES (103)→(115)へ	/			

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(養子離縁同時73条の2届)						
			NO	→		(104)本紙へ	不受理			
	NO	(105)→(115)へ			/					
NO	(106)→(107)へ				/					
(107)養父の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外) かつ 養母の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である (YES,NO)					/					
YES	(108)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/					
	YES	(109)エラーメッセージ 「外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。」 を表示する				(110)本紙へ				
	NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「当時は外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出すことができますね。」 を表示する								
		YES	(112)→(115)へ		/					
		NO	→			(113)本紙へ	不受理			
NO	(114)→(115)へ				/					
(115)離縁形態区分 ＝ 7～15のいずれかである(YES,NO)					/		養子・養女の双方に入力がある場合、本システムでの処理可能な条件。 ・双方生存者の場合は夫婦であること ・片方又は双方が死亡者の場合、養子・養女は同一戸籍であること (生存中は夫婦であったこと) 上記の条件に合わないもので正当な届は、審査結果入力で処理する。			
YES	(116)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/					
	YES	(117)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」表示する				(118)本紙へ				
	NO	(119)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/					
		YES	(120)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(121)本紙へ				
		NO	(122)→(123)へ		/	(104)本紙へ				
	(123)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/					
	YES	(124)養子の本・国籍 ＝ 養女の本・国籍 かつ 養子の筆頭者 ＝ 養女の筆頭者である (YES,NO)			/		養子と養女が双方日本人の場合 養子と養女は同一戸籍にいるか(本籍人であれば戸籍番号で確認可能)			
		YES	(125)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存)である (YES,NO)		/					
			YES	(126)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)である (YES,NO)	/					
				YES	(127)→(138)へ	/		双方生存で夫婦であれば次の処理へ		
				NO	(128)エラーメッセージ 「養子・養女が婚姻関係にありません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(128)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー		

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(養子離縁同時73条の2届)						
			NO	(129)確認メッセージ(YES,NO) 「養子と養女は婚姻していましたか。」を表示する(応答後(138)へ)				片方死亡の場合、婚姻していた事実があれば次の処理へ		
		NO		(130)エラーメッセージ 「養子・養女が同一戸籍にいません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				双方日本人で別戸籍にいる場合はエラー		
	NO			(131)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/			片方が外国人の場合		
		YES		(132)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)	/					
			YES	(133)→(138)へ	/			双方生存で夫婦であれば次の処理へ		
			NO	(134)エラーメッセージ 「養子・養女が婚姻関係にありません。 届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(133)本紙へ		双方生存で夫婦でなければエラー		
		NO		(136)確認メッセージ(YES,NO) 「養子と養女は婚姻していましたか。」を表示する				片方死亡の場合、婚姻していた事実があれば次の処理へ		
NO				(137)→(138)へ	/					
(138)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 7 又は 9 又は 10 又は 13 又は 14 又は 15 である(YES,NO)					/					
YES				(139)養子の生年月日 < 養父の生年月日 である(YES,NO)	/					
	YES			(140)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(143)へ)		(141)本紙へ		養子が養父より年上でも離縁は可能(民805)(取消し要件であって、無効要件ではない)		
	NO			(142)→(143)へ	/					
				(143)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/					
	YES			(144)エラーメッセージ 「養子と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(145)本紙へ		死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)		
	NO			(146)→(148)へ	/					
NO				(147)→(148)へ	/					
(148)離縁形態区分 ＝ 4 又は 6 又は 7 又は 10 又は 11 又は 12 又は 13 又は 15 である(YES,NO)					/					
YES				(149)養女の生年月日 < 養父の生年月日である(YES,NO)	/					
	YES			(150)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(153)へ)		(151)本紙へ		養女が養父より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって、無効要件ではない)		
	NO			(152)→(153)へ	/					
				(153)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/					

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
	YES	(154)エラーメッセージ 「養女と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する			(155)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)		
	NO	(156)→(158)へ		/				
NO	(157)→(158)へ			/				
(158)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 8 又は 11 又は 12 又は 13 又は 14 又は 15 である(YES,NO)				/				
YES	(159)養子の生年月日 ＜ 養母の生年月日である(YES,NO)			/				
	YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(163)へ)			(161)本紙へ	養子が養母より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって、無効要件ではない)		
	NO	(162)→(163)へ		/				
	(103)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)			/				
	YES	(164)エラーメッセージ 「養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する			(165)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)		
	NO	(166)→(168)へ		/				
NO	(167)→(168)へ			/				
(168)離縁形態区分 ＝ 5 又は 6 又は 8 又は 9 又は 10 又は 12 又は 14 又は 15 である(YES,NO)				/				
YES	(169)養女の生年月日 ＜ 養母の生年月日である(YES,NO)			/				
	YES	(170)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(173)へ)			(171)本紙へ	養女が養母より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって、無効要件ではない)		
	NO	(172)→(173)へ		/				
	(173)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)			/				
	YES	(174)エラーメッセージ 「養女と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する			(175)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)		
	NO	(176)→(178)へ		/				
NO	(177)→(178)へ			/				
(178)離縁形態区分 ＝ 9～15 のいずれかである(YES,NO)				/				
YES	(179)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)			/				
	YES	(180)養父の生死区分 ＝ 1(死亡)又は養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/				
		YES	(181)エラーメッセージ 「養子及び養新の片方同士が死亡している離縁届の1通処理は審査結果入力で処理して下さい」を表示する		(182)本紙へ	養子の一方及び養親一方が死亡者の離縁届が1通処理可能な場合は審査結果入力とする		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

	NO	(183)→(184)へ	/			
NO						
(184)離縁形態区分 ＝ 1～3　又は　7～15のいずれかである(YES,NO)			/			
YES	(185)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/			
YES	(186)養子の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)		/			
YES	(187)→(195)へ		/			
NO	(188)エラーメッセージ 「養子の身分事項に縁組事項がありません」を表示する			(189)本紙へ		民811①
(190)			/			(190)～(193)は削除
(191)						
(192)				(193)		
NO	(194)→(195)へ		/			
(195)離縁形態区分 ＝ 4～15のいずれかである(YES,NO)			/			
YES	(196)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/			
YES	(197)養女の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)		/			
YES	(198)→(206)へ		/			
NO	(199)エラーメッセージ 「養女の身分事項に縁組事項がありません」を表示する			(200)本紙へ		民811①
(201)			/			(201)、(202) は削除
(202)			/			
(203)				(204)		(203)、(204)は削除
NO	(205)→(206)へ		/			
(206)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15のいずれかである(YES,NO)			/			
YES	(207)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)

	YES	(208)養父の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)	/			
		YES (209)→(217)へ	/			
		NO (210)確認メッセージ(YES,NO) 「養父と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(217)へ)		(211)本紙へ	民811①	
		(212)	/		(212)～(215)は削除	
			(213)			
			(214)		(215)	
				/		
	NO	(216)→(217)へ				
NO						
(217)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6 又は 8～15のいずれかである(YES,NO)			/			
YES	(218)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/			
	YES	(219)養母の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)	/			
		YES (220)→(228)へ	/			
		NO (221)確認メッセージ(YES,NO) 「養母と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(228)へ)		(222)本紙へ	民811①	
		(223)	/		(223)は削除	
			(224)	/		(224)～(226)は削除
				(225)		(226)
					/	
	NO	(227)→(228)へ				
NO						
(228)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)			/			
YES	(229)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースである(YES,NO)		/			
	YES	(230)エラーメッセージ 「特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい」を表示する		(231)本紙へ		
	NO	(232)→(233)へ	/			
NO						
(233)離縁の準拠法確定 [3.1]			/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1 離縁の準拠法確定						備考	
(1)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15 のいずれかである (YES,NO)					/		離縁は縁組当時の養親の本国籍が適用されるので、そのチェックを行う。(通則法31②) 養親の本国(外国)法で成立した縁組の離縁については、システム審査ができないので、目検で審査する。	
YES	(2)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/			
	YES	(3)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/			
		YES	(4)→(12)へ		/			
		NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」を表示する(応答後(12)へ)		/			
	NO		(7)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)		/			
		YES	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」を表示する		/			
		NO	(10)→(12)へ		/			
NO	(11)→(12)へ				/			
(12)離縁形態区分 ＝ 2 又は 3 又は 5 又は 6 又は 8～15 のいずれかである(YES,NO)					/			
YES	(13)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/			
	YES	(14)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/			
		YES	(15)→(23)へ		/			
		NO	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」を表示する(応答後(23)へ)		/			
	NO		(18)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)					
		YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね」を表示する		/			
		NO	(21)→(23)へ		/			
NO	(22)→(23)へ				/			
(23)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15のいずれかである (YES,NO)					/			
YES	(24)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)				/			
	YES	(25)日本法での離縁 [3.1.1]			/			
	NO	(26)外国法での離縁 [3.1.2]			/			
NO	(27)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)				/			
	YES	(28)日本法での離縁 [3.1.1]			/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1 離縁の準拠法確定					備考		
	NO	(29)外国法での離縁	[3.1.2]	/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1 日本法での離縁						備考	
(1)離縁形態区分?					/			
1～3	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/			
YES	(3)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]				/			
NO	(3-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合、裁判確定日 ≧ 2022年4月1日 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、離縁成立日 ≧ 2022年4月1日 又は 裁判確定日 = スペースかつ離縁成立日 = スペースの場合、 受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)				/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁同87)	
YES	(3-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である 又は 裁判確定日 = スペース かつ 離縁成立日 = スペースの場合、 養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		R2.1(離縁同87)	
YES	(3-3)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)				/		R2.1(離縁同87)	
YES	(3-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]				/		R2.1(離縁同87)	
NO	(3-5)離縁種別の確認 [3.2]				/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年、R2.1(離縁同8	
NO	(3-6)離縁種別の確認 [3.2]				/		R2.1(離縁同87)	
NO	(4)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である 又は 裁判確定日 = スペース かつ 離縁成立日 = スペースの場合、 養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/			
YES	(5)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)				/			
YES	(6)未成年の離縁 [3.1.1.2]				/			
NO	(7)離縁種別の確認 [3.2]				/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年	
							R2.1(5)～(7)と重複のため削除	
							R2.1(5)～(7)と重複のため削除	
							R2.1(5)～(7)と重複のため削除	
NO	(8)離縁種別の確認 [3.2]				/			
4～6	(9)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/			
YES	(10)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]				/			
NO	(10-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合、裁判確定日 ≧ 2022年4月1日 又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、離縁成立日 ≧ 2022年4月1日 又は 裁判確定日 = スペースかつ離縁成立日 = スペースの場合、 受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)				/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁同87)	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名			審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名			3.1.1 日本法での離縁					備考	
		YES	(10-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/		R2.1(離縁同87)
		YES	(10-3)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/		R2.1(離縁同87)		
			YES	(10-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁同87)		
			NO	(10-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年、R2.1(離縁同8		
		NO	(10-6)離縁種別の確認 [3.2]		/		R2.1(離縁同87)		
		NO	(11)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　又は 離縁成立日 ≠ スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　又は 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合、 養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/				
		YES	(12)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/				
			YES	(13)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/				
			NO	(14)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫又は生存配偶者は成年		
		NO	(15)離縁種別の確認 [3.2]		/				
7～15	(16)離縁種別の確認 [3.2]				/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
(0)離縁形態区分?				/				
1,2,3	(0.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　又は　016(親権者父)　又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/				
YES	(0.2)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)			/				
YES	(0.3)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する							
YES	(0.4)→(0.8)へ			/				
NO	(0.5)→				(0.6)本紙へ		不受理	
NO	(0.7)→(0.8)へ			/				
NO								
(0.8)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)　又は　016(親権者父)　又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/				
YES	(0.9)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/				
YES	(0.10)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する							
YES	(0.11)→(0.15)へ			/				
NO	(0.12)→				(0.13)本紙へ		不受理	
NO	(0.14)→(0.15)へ			/				
NO								
(0.15)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　又は　017(親権者母)　又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/				
YES	(0.16)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1　である(YES,NO)			/				
YES	(0.17)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する							
YES	(0.18)→(0.22)へ			/				
NO	(0.19)→				(0.20)本紙へ		不受理	
NO	(0.21)→(0.22)へ			/				
NO								
(0.22)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　又は　017(親権者母)　又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
	YES	(0.23)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/			
		YES	(0.24)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES	(0.25)→(1)へ		/		
			NO	(0.26)→			(0.27)本紙へ	不受理
		NO	(0.28)→(1)へ			/		
	NO							
4,5,6	(0.29)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/			
	YES	(0.30)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)			/			
		YES	(0.31)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES	(0.32)→(0.36)へ		/		
			NO	(0.33)→			(0.34)本紙へ	不受理
		NO	(0.35)→(0.36)へ			/		
	NO							
	(0.36)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) 又は 016(親権者父) 又は 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/			
	YES	(0.37)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/			
		YES	(0.38)確認メッセージ(YES,NO) 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES	(0.39)→(0.43)へ		/		
			NO	(0.40)→			(0.41)本紙へ	不受理
		NO	(0.42)→(0.43)へ			/		
	NO							
	(0.43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/			
	YES	(0.44)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1 である(YES,NO)			/			
		YES	(0.45)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(養子離縁同時73条の2届)					
処理名				3.1.1.1 15歳未満の離縁				備考	
			YES	(0.46)→(0.50)へ	/				
			NO	(0.47)→		(0.48)本紙へ		不受理	
		NO		(0.49)→(0.50)へ	/				
	NO				/				
	(0.50)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) 又は 017(親権者母) 又は 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/				
	YES	(0.51)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2 である(YES,NO)			/				
		YES		(0.52)確認メッセージ(YES,NO) 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する					
			YES	(0.53)→(1)へ	/				
			NO	(0.54)→		(0.55)本紙へ		不受理	
		NO		(0.56)→(1)へ	/				
	NO				/				
(1)離縁形態区分?					/				
1,4	(2)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) 又は 養父の本非区分 ＝ 1(本籍)で 養父の配偶者区分は(夫)である(YES,NO)				/			養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)	
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)				(4)本紙へ			
		YES		(5)→(8.1)へ	/				
		NO		(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する (応答後(8.1)へ)		(7)本紙へ			
	NO	(8)→(8.1)へ			/				
	(8.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/			死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる	
	YES	(8.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			/				
		YES		(8.2)→(19.5)へ	/				
		NO		(8.3)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」を表示する(応答後(19.5)へ)		(8.4)本紙へ			
	NO	(8.5)→(19.5)へ			/				
2,5	(9)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) 又は 養母の本非区分 ＝ 1(本籍)で 養母の配偶者区分は(妻)である(YES,NO)				/			養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
	YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)				(11)本紙へ		
		YES	(12)→(15.1)へ		/			
		NO	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する (応答後(15.1)へ)			(14)本紙へ		
	NO	(15)→(15.1)へ			/			
	(15.1)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる	
	YES	(15.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			/			
		YES	(15.2)→(19.5)へ		/			
		NO	(15.3)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する(応答後(19.5)へ)			(15.4)本紙へ		
	NO	(15.5)→(19.5)へ			/			
3,6	(16)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)				/			
	YES	(17)→(19.5)へ			/			
	NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する(応答後(19.1へ)				(19)本紙へ		
	(19.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)かつ養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/		死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる。	
	YES	(19.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			/			
		YES	(19.2)→(19.5)へ		/			
		NO	(19.3)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが、よろしいですね」 を表示する(応答後(19.5)へ)			(19.4)本紙へ		
	NO	(19.4.1)→(19.5)へ			/			
(19.5)離縁の種別 ＝ 1(協議離縁)かつ離縁成立日 ＝ スペースである(YES,NO)					/			
YES	(19.6)養父の氏名 ＝ 届出人氏名1　又は　養父の氏名 ＝ 届出人氏名2　又は 養母の氏名 ＝ 届出人氏名1　又は　養母の氏名 ＝ 届出人氏名2である(YES,NO)				/		養子離縁の利益相反審査	
	YES	(19.7)確認メッセージ(YES,NO) 「協議者は特別代理人が原則です。届出人資格は正当ですか。」を表示する(応答後(20)へ)						
	NO	(19.8)→(20)へ			/			
NO								

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
(20)15歳未満の届出人資格1　又は　16歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　又は 017(親権者母)　又は　019(親権者養父)　又は　020(親権者母)である(YES,NO)				/				
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の親権を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)				(22)本紙へ		現在の親権者が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
NO	(23)→(24)へ			/				
(24)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)				/				
YES	(25)離縁形態区分 ＝ 1又は2又は3である(YES,NO)			/				
	YES	(26)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/				
		YES	(27)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/				
			YES	(28)→(47)へ	/			
			NO	(29)エラーメッセージ 「養子には未成年後見人がいません」を表示する		(30)本紙へ	後見事項がなければエラー	
		NO		(31)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する (応答後(47)へ)			現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
	NO	(32)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)			/			
		YES	(33)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)		/			
			YES	(34)→(47)へ	/			
			NO	(35)エラーメッセージ 「養子には後見人がいません」を表示する		(36)本紙へ	未成年後見事項がなければエラー	
		NO		(37)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)			現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする	
NO	(38)→(39)へ				/			
(39)15歳未満の届出人資格1 ＝ 111(未成年後見人となるべき者)である(YES,NO)					/			
YES	(40)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する(応答後(47)へ)				(41)本紙へ		未成年後見人選任を証する書面があることが審査の要件となる	
NO	(42)→(43)へ				/			
(43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)					/			
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する(応答後(47)へ)				(46)本紙へ		特別代理人選任を証する書面があることが審査の要件となる	
NO	(46)→(47)へ				/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁						備考	
(47)離縁形態区分 ＝ 3　又は　6である(YES,NO)					/			
YES	(48)養母の縁組成立区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)				/			
	YES	(49)外国法での離縁	[3.1.2]		/		養母が外国人の場合は外国法での審査を行う	
	NO	(50)→(51)へ			/			
NO								
(51)離縁種別の確認			[3.2]		/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.1.2 未成年の離縁						備考	
(1)離縁形態区分?					/			
1,4	(2)養父の配偶者区分 ＝ 1(夫)である(YES,NO)				/		養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)	
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する				(4)本紙へ		
		YES	(5)離縁種別の確認 [3.2]		/			
		NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する			(7)本紙へ		
			YES	(8)離縁種別の確認 [3.2]	/			
			NO	→　(応答後、離縁種別の確認へ) [3.2]	/			
	NO	(10)離縁種別の確認 [3.2]			/			
2,5	(11)養母の配偶者区分 ＝ 2(妻)である(YES,NO)				/		養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)	
	YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する				(13)本紙へ		
		YES	(14)離縁種別の確認 [3.2]		/			
		NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する			(16)本紙へ		
			YES	(17)離縁種別の確認 [3.2]	/			
			NO	→　(応答後、離縁種別の確認へ) [3.2]	/			
	NO	(19)離縁種別の確認 [3.2]			/			
3,6	(20)養父母離婚区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)				/			
	YES	(21)→(24)へ			/			
	NO	(22)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する　(応答後(24)へ)				(23)本紙へ		
	(24)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)				/			
	YES	(25)外国法での離縁 [3.1.2]			/		養母が外国人の場合は外国法での審査を行う	
	NO	(26)離縁種別の確認 [3.2]			/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)
処理名	3.1.2 外国法での離縁

					備考
(0)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は　養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)			/		
YES	(0.1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人からだけの証書提出ではないですね。」を表示する		/		
	YES	(0.2)→(0.6)へ	/		
	NO	(0.3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.4)本紙へ	
NO	(0.5)→(0.6)へ		/		
(0.6)離縁の種別 ＝ 1(協議)(YES,NO)			/		
YES	(0.7)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である。		/		
	YES	(0.8)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」		(9)本紙へ	
	NO	(0.10)→(0.11)へ	/		
	(0.11)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届)である。		/		
	YES	(0.12)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」		(0.13)本紙へ	
	NO	(0.14)→(1)へ	/		
NO	(0.15)→(1)へ		/		
(1)離縁形態区分 ＝ 1 又は 3 又は 4 又は 6 又は 7 又は 9～15　かつ 養父の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)			/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか」を表示する(応答後(4)へ)			(3)本紙へ	
	(4)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)		/		
	YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する (応答後(8)へ)		(6)本紙へ	
	NO	(7)→(8)へ	/		報告的届出は確認メッセージ不要
	(8)離縁形態区分 ＝ 3又は6又は9～15である(YES,NO)		/		
	YES	(9)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)	/		
		YES	(10)→(14)へ	/	
		NO	(11)日本法での離縁 [3.1.1]	/	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1.2 外国法での離縁						備考	
	NO	(12)離縁種別の確認	[3.2]	/				
NO	(13)→(14)へ			/				
(14)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書がありますか」を表示する(応答後(16)へ)					(15)本紙へ			
(16)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)				/				
YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する				(18)本紙へ			
	YES	(19)離縁種別の確認	[3.2]	/				
	NO	→ (応答後、離縁種別の確認へ)	[3.2]	/				
NO	(21)離縁種別の確認		[3.2]	/			報告的届出は確認メッセージ不要	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.2 離縁種別の確認						備考	
(1)離縁の種別 ＝ 1(協議)である(YES,NO)				/				
YES	(2)離縁許可日 ≠ スペースである(YES,NO)			/				
YES	(3)離縁形態区分?			/				
1	(4)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)			/				
YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)				(6)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
NO	(7)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する							
2				/				
2	(8)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)			/				
YES	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)				(10)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
NO	(11)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する							
3	(12)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)			/				
YES	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)				(14)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
NO	(15)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する							
4	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)			/				
YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)				(18)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
NO	(19)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する							
5	(20)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)			/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名			3.2 離縁種別の確認					備考	
		YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(22)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(23)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	6		(24)養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)		/				
		YES	(25)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(26)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(27)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	7		(28)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)		/				
		YES	(29)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(30)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(31)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	8		(32)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分～1(死亡) である(YES,NO)		/				
		YES	(33)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(34)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(35)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	9 ～ 15		(36)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡) である(YES,NO)						
		YES	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する(応答後(40)へ)			(38)本紙へ		民811⑥ 民812(民739②の準用)	
		NO	(39)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので、離縁許可日の入力は不要です。」を表示する						
	(40)戸籍異動の確認 [3.3]				/				
NO	(41)離縁成立日 ≠ スペースである(YES,NO)				/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.2 離縁種別の確認						備考	
YES	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「離縁の証書が添付されていますか。」を表示する (応答後、戸籍異動の確認)		[3.3]	/	(42.1)本紙へ			
NO	(43)→(44)へ							
(44)離縁形態区分?				/				
1	(45)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)			/				
	YES	(46)戸籍異動の確認	[3.3]	/				
	NO	(47)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(48)本紙へ			
2	(49)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)			/				
	YES	(50)戸籍異動の確認	[3.3]	/				
	NO	(51)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(52)本紙へ			
3	(53)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)			/				
	YES	(54)戸籍異動の確認	[3.3]	/				
	NO	(55)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(56)本紙へ			
4	(57)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)			/				
	YES	(58)戸籍異動の確認	[3.3]	/				
	NO	(59)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(60)本紙へ			
5	(61)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)			/				
	YES	(62)戸籍異動の確認	[3.3]	/				
	NO	(63)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(64)本紙へ			
6	(65)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)			/				
	YES	(66)戸籍異動の確認	[3.3]	/				
	NO	(67)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(68)本紙へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)
処理名	3.2 離縁種別の確認

							備考
		7	(69)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/		
			YES	(70)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(71)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(72)本紙へ	
		8	(73)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/		
			YES	(74)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(75)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(76)本紙へ	
		9 ～ 15	(77)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である (YES,NO)		/		
			YES	(78)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(79)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(80)本紙へ	
NO					/		(80-1)削除 R4(離縁同93)
			(80-2)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養女の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養父の生死区分 ＝ 1(死亡) 又は 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
			YES	(80-3)エラーメッセージ 「死亡者との離縁は、創設的届です。離縁種別は協議です。 離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(80-4)本紙へ	死亡者との離縁は、死亡者に変わり裁判所が代行して協議する。審判書が添付されるため、報告的届出として処理することを防ぐための処理
			NO	(80-5)→(81)へ	/		(80-1)削除 R4(離縁同93)
	(81)確認メッセージ(YES,NO) 「判決の謄本・確定証明書(調停・和解・認諾調書の謄本)が添付されていますね。」 を表示する (応答後、(82)へ)					(81.1)本紙へ	
	(82)外国の裁判所名 ＝ スペースである(YES,NO)				/		
	YES	(83)裁判確定日 + 10日 ＞ 受領日(YES,NO)			/		戸73(戸63①の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答
		YES	(84)→(89)へ		/		
		NO	(85)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する(応答後、(89)へ)			(86)本紙へ	戸規65 R4(離縁同93)
	NO	(88)→(89)へ			/		
	(89)離縁の申立人区分 ＝ 1(養子)である(YES,NO)				/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.2 離縁種別の確認							備考	
YES	(90)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)　又は　014(養子夫婦)　又は 077(養子の離縁後の法定代理人)である(YES,NO)				/				
	YES	(91)戸籍異動の確認 [3.3]			/				
	NO	(92)裁判確定日 + 10日 > 受領日(YES,NO)			/			戸73(戸63②の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答	
		YES	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する			(94)本紙へ			
			YES	(95)戸籍異動の確認 [3.3]	/				
			NO	(96)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する		(97)本紙へ		不受理	
		NO	(98)戸籍異動の確認 [3.3]		/				
NO	(99)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)　又は　011(養母)　又は 012(養父母)　である(YES,NO)				/				
	YES	(100)戸籍異動の確認 [3.3]			/				
	NO	(101)裁判確定日 + 10日 > 受領日　(YES,NO)			/			戸73(戸63②の準用)、戸43、大4.1.14民事1805回答	
		YES	(102)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する			(103)本紙へ			
			YES	(104)戸籍異動の確認 [3.3]	/				
			NO	(105)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する		(106)本紙へ		不受理	
		NO	(107)戸籍異動の確認 [3.3]		/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年11月1日	版	8.3
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3 戸籍異動の確認						備考	
(0)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/				
YES	(0-1)養子の父氏名 ＝ スペース　又は　養子の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/				
	YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する		/				
		YES	(0-3)→(0-13)へ	/				
		NO	(0-4)		(0-5)本紙へ		不受理	
	NO	(0-6)養子の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)		/				
		YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する	/				
			YES	(0-8)→(0-13)へ	/			
			NO	(0-9)		(0-10)本紙へ	不受理	
		NO	(0-11)→(0-13)へ	/				
NO	(0-12→(0-13)へ			/				
(0-13)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/				
YES	(0-14)養女の父氏名 ＝ スペース　又は　養女の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/				
	YES	(0-15)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する		/				
		YES	(0-16)→(0-26)へ	/				
		NO	(0-17)		(0-18)本紙へ		不受理	
	NO	(0-19)養女の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)		/				
		YES	(0-20)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する	/				
			YES	(0-21)→(0-26)へ	/			
			NO	(0-22)		(0-23)本紙へ	不受理	
		NO	(0-24)→(0-26)へ	/				
NO	(0-25)→(0-26)へ			/				
(0-26)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/				
YES	(0-27)配偶者父氏名 ＝ スペース　又は　配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/				
	YES	(0-28)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する		/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年11月1日	版	8.3
作業名			審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名			3.3 戸籍異動の確認					備考	
		YES	(0-29)→(1)へ		/				
		NO	(0-30)				(0-31)本紙へ	不受理	
	NO		(0-32)配偶者父母との続柄 ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)		/				
		YES	(0-33)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する		/				
			YES	(0-34}→(1)へ		/			
			NO	(0-35)				(0-36)本紙へ	不受理
		NO		(0-38)→(1)へ		/			
NO			(0-38)→(1)へ			/			
(1)離縁形態区分?						/			
1～3			(2)養子-養親異動		[3.3.1]	/			
4～6			(3)養女-養親異動		[3.3.2」	/			
7～15			(4)養子夫婦-養親異動		[3.3.3]	/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3.1 養子−養親異動						備考	
(1) 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/				
YES	(2) 配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/				
	YES	(3) → (7)へ		/				
	NO	(4)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁においては戸籍法73条の2の届出を出すことはできません。」 を表示する			(5)本紙へ			
NO	(6) → (7)へ			/				
(7) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母) である(YES,NO)				/				
YES	(8) 確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法73条の2の届は養子が届出人ですね。」を表示する			/				
	YES	→			(9)本紙へ		受理	
	NO	→					不受理	
NO	→						受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3.2 養女-養親異動						備考	
(1) 養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/				
YES	(2) 配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/				
	YES	(3) → (7)へ		/				
	NO	(4)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁においては戸籍法73条の2の届出を出すことはできません。」 を表示する			(5)本紙へ			
NO	(6) → (7)へ			/				
(7) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母) である(YES,NO)				/				
YES	(8) 確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法73条の2の届は養子が届出人ですね。」を表示する			/				
	YES	→			(9)本紙へ		受理	
	NO	→					不受理	
NO	→						受理	

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成13年 3月1日	版	5
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	3.3.3 養子夫婦-養親異動					備考	

(1) 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)		/			
YES	(2) 養女-養親異動 [3.3.2]	/			
NO	(3)→(4)へ	/			
(4) 養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)		/			
YES	(5)養女-養親異動 [3.3.2]	/			
NO	(6)→(7)へ	/			
(7) 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)		/			
YES	(8) 養子-養親異動 [3.3.1]	/			
NO	(9)→(11)へ	/			
(11) 養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)		/			
YES	(12) 養子-養親異動 [3.3.1]	/			
NO	(13)→(14)へ	/			
(14) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 012(養父母)である(YES,NO)		/			
YES	(15) 確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法73条の2は養子夫婦の筆頭者が届出人ですね。」を表示する	/			
	YES →		(16)本紙へ		受理
	NO →				不受理
NO	→				受理

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		養子離縁同時73の2 届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分			報告区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人のとき0 事件本人全員が外国人のとき2 上記以外のとき1 (親権者･後見人等は含まない)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							養子、養親が本籍分の場合、選択戸籍番号を設定
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理又は2 ＝ 不受理をセットする。

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	決裁区分								何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分								
中間ファイル (届書) 事件別内容	養子と養父区分			養子離縁同時73の2届入力画面	養子と養父区分				
	養子と養母区分				養子と養母区分				
	養女と養父区分				養女と養父区分				
	養女と養母区分				養女と養母区分				
	同時届区分				同時届区分				
	親権･未成年後見人の個人番号			本籍人検索	親権･未成年後見人の個人番号				本籍人の場合のみ設定
	親権･未成年後見人の本非区分			養子離縁同時73の2届入力画面	親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人の生年月日				親権･未成年後見人の生年月日				
	親権･未成年後見人氏名				親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍コード				親権･未成年後見人本籍コード		有		
	親権･未成年後見人本籍								
	親権･未成年後見人筆頭者				親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別				同時親権届の種別				
	同時親権者資格				同時親権者資格				
	同時親権届出人資格				同時親権届出人資格				
	同時親権届出人の個人番号			本籍人検索	同時親権届出人個人番号				本籍人の場合のみ設定
	同時親権届出人の本非区分				同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人の生年月日				同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人氏名				同時親権届出人氏名				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	同時親権届出人本籍コード			同時親権届出人本籍		有			
	同時親権届出人本籍								
	養子の個人番号		本籍人検索	養子の個人番号				養子が本籍人の場合のみ設定	
	養子の外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養子の外国人区分					
	養子の本非区分			養子の本非区分					
	養子の生年月日			養子の生年月日					
	養子の生死区分			養子の生死区分					
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名					
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名					
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有			
	養子の本･国籍								
	養子の住所コード			養子の住所		有			
	養子の住所								
	養子の筆頭者			養子の筆頭者					
	養子の世帯主			養子の世帯主					
	養子の父氏名			養子の父氏名					
	養子の母氏名			養子の母氏名					
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード					
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分					
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分					
	養女の個人番号		本籍人検索	養女の個人番号				養女が本籍人の場合のみ設定	
	養女の外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養女の外国人区分					
	養女の本非区分			養女の本非区分					
	養女の生年月日			養女の生年月日					
	養女の生死区分			養女の生死区分					
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名					
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	養女の本籍コード			養女の本･国籍		有			
	養女の本･国籍								
	養女の住所コード			養女の住所		有			
	養女の住所								
	養女の筆頭者			養女の筆頭者					
	養女の世帯主			養女の世帯主					
	養女の父氏名			養女の父氏名					
	養女の母氏名			養女の母氏名					
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード					
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分					
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分					
	養父の個人番号		本籍人検索	養父の個人番号				養父が本籍人の場合のみ設定	
	養父の外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養父の外国人区分					
	養父の本非区分			養父の本非区分					
	養父の生年月日			養父の生年月日					
	養父の生死区分			養父の生死区分					
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名					
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名					
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有			
	養父の本･国籍								
	養父の筆頭者			養父の筆頭者					
	養父の住所コード			養父の住所		有			
	養父の住所								
	養父の世帯主			養父の世帯主					
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分					
	養母の個人番号		本籍人検索	養母の個人番号				養母が本籍人の場合のみ設定	

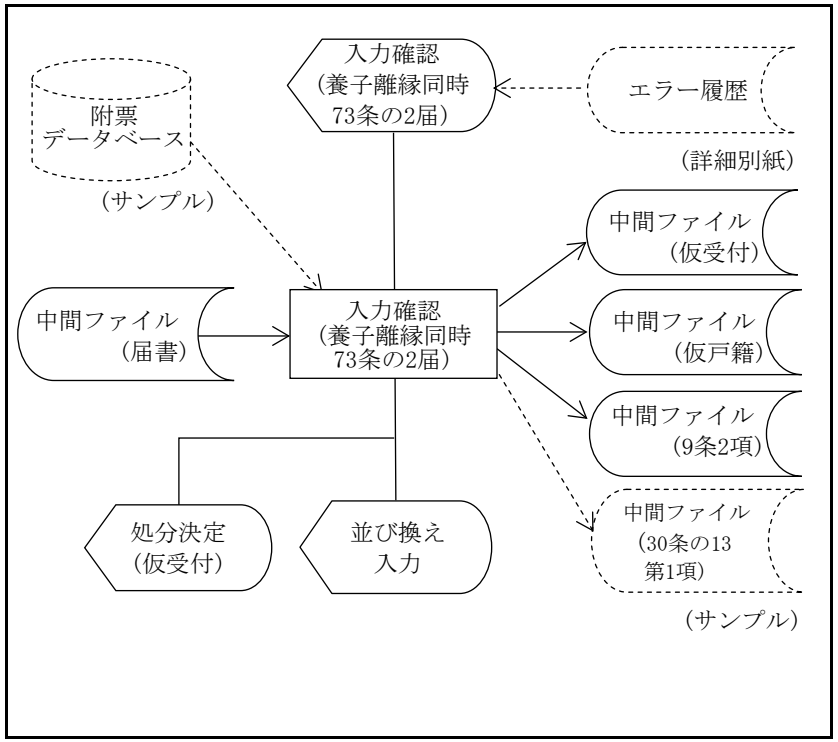
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養母の外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本･国籍							
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の世帯主			養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分			養父母婚姻区分				
	縁組年月日			縁組年月日				
	縁組前の氏			縁組前の氏				
	離縁の種別			離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	新本籍コード			新本籍		有		
	新本籍							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1					
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2					
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1					
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍1					
	15歳未満の届出人生年月日1			15歳未満の届出人生年月日1					
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2					
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍2					
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2					
	配偶者個人番号		本籍人検索	配偶者個人番号				配偶者が本籍人の場合のみ設定	
	配偶者外国人区分		養子離縁同時73の2届入力画面	配偶者外国人区分					
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分					
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分					
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名					
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名					
	配偶者父氏名			配偶者父氏名					
	配偶者母氏名			配偶者母氏名					
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード					
	配偶者生年月日			配偶者生年月日					
	離縁後住所コード			配偶者住所		有			
	配偶者住所								
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名					
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名					
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分					

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 2.1 離縁マトリックス表
  - 2.2 親権・未成年後見マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 離縁
  - 3.2 戸籍法73条の2
  - 3.3 親権
  - 3.4 未成年後見
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 養子の新戸籍(編製) ※ひな形A.1と異なる場合
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 5.1 養子の新戸籍(編製) ※73条の2の戸籍事項
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 6.1 養子の新戸籍(編製) ※ひな形C.1と異なる場合
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 7.1 養子(女)(入籍・離縁)
  - 7.2 養子(女)(入籍・法73条の2)
  - 7.3 養子(女)(除籍・離縁)
  - 7.4 養子(女)(除籍・法73条の2)
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1 養親(記録)
- 9.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 9.1 養子(女)の配偶者(入籍)
  - 9.2 養子(女)の配偶者(除籍)
- 10.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 10.1 養子(女)の親権事項(記録) ※同時親権届
  - 10.2 養子(女)の親権事項(移記) ※従前の親権事項の移記
  - 10.3 養子(女)の未成年後見事項(記録) ※同時後見届の場合
- 11.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項) ※10.1 養父、10.2 養母を削除(R4版)
  - 11.3 養子
  - 11.4 養女
  - 11.5 養子(女)の配偶者
- 12.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)
処理名	0.0　本紙

						備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する					[1.0] /	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0] /	
	(4)離縁形態区分?				/	
	3	(4-1)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)			/	養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-2)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
		NO	(4-3)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
			(4-4)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
	6	(4-5)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)			/	
		YES	(4-6)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
		NO	(4-7)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
			(4-8)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
	7	(4-9)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)			/	養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
		NO	(4-11)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
			(4-12)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
	8	(4-13)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)			/	
		YES	(4-14)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
		NO	(4-15)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
			(4-16)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		[3.1] /	
	9～15	(4-17)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)			/	養父母のいずれか一方又は養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
		YES	(4-18)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)		/	
			YES	(4-19)養父母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1] /	
			NO	(4-19-1)離縁形態区分?	/	
				9 (4-19-2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1] /	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	0.0 本紙								備考
				(4-19-3)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
			10	(4-19-4)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
				(4-19-5)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
			11	(4-19-6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
				(4-19-7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
			12	(4-19-8)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
				(4-19-9)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
			13	(4-19-10)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
				(4-19-11)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
			14	(4-19-12)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
				(4-19-13)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
			15	(4-19-14)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
				(4-19-15)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			
		NO	(4-22-1)離縁形態区分?			/			
			9	(4-22-2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する	[3.1]	/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
		(4-22-3)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
	10	(4-22-4)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
		(4-22-5)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
	11	(4-22-6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
		(4-22-7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
	12	(4-22-8)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
		(4-22-9)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
	13	(4-22-10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
		(4-22-11)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
	14	(4-22-12)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
		(4-22-13)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
	15	(4-22-14)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
		(4-22-15)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
	その他	(4-24-16)事件本人(養父、養母、養子、養女)で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/					
	(5)離縁形態区分 ＝ 1、2、3 又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)		/					

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)					
処理名	0.0　本紙					備考

YES	(5-1)養子で中間ファイル(仮受付・戸籍法73条の2)を編集する	[3.2]	/		筆頭者となる者だけが事件本人となる
NO	(5-2)養女で中間ファイル(仮受付・戸籍法73条の2)を編集する	[3.2]	/		
(6)同時届区分?			/		
0	(7)→(10)へ		/		
1	(8)中間ファイル(仮受付・親権)を編集・出力する	[3.3]	/		
2	(9)中間ファイル(仮受付・未成年後見)を編集・出力する	[3.4]	/		
(10)養子に入力がある(YES,NO)			/		
YES	(10-1)離縁形態区分 ＝ 1、2、3　又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)		/		
YES	(11)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/		養子が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
YES	(12)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する	[7.3]	/		養子の身分事項
	(13)身分事項:養子(女)(除籍・戸籍法73条の2)を編集する	[7.4]	/		養子の身分事項
	(13-1)養子(女)は在外選挙人である(YES,NO)		/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(13-1)(13-2)
YES	(13-2)養子(女)について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[12.3]	/		
NO	(14)→(15)へ		/		R4(離縁同92)
NO					
	(15)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)		/		
YES	(16)戸籍特定:養子の新戸籍(編製)	[4.1]	/		戸籍特定(養子筆頭者)
	(17)戸籍事項:養子の新戸籍(編製)	[5.1]	/		
	(18)個人特定:養子の新戸籍(入籍)	[6.1]	/		養子の個人特定
	(19)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する	[7.1]	/		養子の身分事項
	(20)身分事項:養子(女)(入籍・戸籍法73条の2)を編集する	[7.2]	/		養子の身分事項
					(20-1)～(20-2)削除　R4(離縁同92)
NO	(21)→(23)へ				
NO	(21-1)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/		養女が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
YES	(21-2)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する	[7.3]	/		養子の身分事項

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)

処理名	0.0 本紙		備考
	(21-3)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)を編集する [9.2]	/	養子の身分事項
	(21-3-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)	/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(21-3-1)(21-3-2)
	YES (21-3-2)養子(女)について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [12.3]	/	
	NO (21-4)→(21-5)へ	/	R4(離縁同92)
	NO		
	(21-5)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/	
	YES (21-6)戸籍特定:養子の新戸籍(編製) [4.1]	/	養女が筆頭者であるため、新戸籍を編製し、養女を入籍させた後に養子を入籍させる。
	(21-7)戸籍事項:養子の新戸籍(編製) [5.1]	/	
	(21-8)個人特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/	養女の個人特定
	(21-9)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1]	/	養女の身分事項
	(21-10)身分事項:養子(女)(入籍・戸籍法73条の2)を編集する [7.2]	/	養女の身分事項
			(21-10-1)～(21-10-3)削除 R4(離縁同92)
	(21-11)個人特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/	養子の個人特定
	(21-12)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1]	/	養子の身分事項
	(21-13)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)(離縁対象者)を編集する [9.3]	/	養子の身分事項
			(21-13-1)～(21-13-2)削除 R4(離縁同92)
	NO (21-14)→(23)へ	/	
NO	(22)→(23)へ	/	
(23)養女に入力がある(YES,NO)		/	
YES	(23-1)離縁形態区分 ＝ 4、5、6 又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)	/	
	YES (24)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/	養女が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)

処理名	0.0 本紙					備考
	YES		(25)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する [7.3]	/		養女の身分事項
			(26)身分事項:養子(女)(除籍・戸籍法73条の2)を編集する [7.4]	/		養女の身分事項
			(26-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(26-1)(26-2)
		YES	(26-2)養女について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [12.3]	/		
		NO	(27)→(28)へ	/		R4(離縁同92)
	NO					
	(28)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/		
	YES		(28-1)離縁形態区分 ＝ 4、5、6である(YES,NO)	/		
		YES	(29)戸籍特定:養子の新戸籍(編製) [4.1]	/		養女のみに入力ある場合 戸籍特定(養女筆頭者)
			(30)戸籍事項:養子の新戸籍(編製) [5.1]	/		
			(31)個人特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/		養女の個人特定
			(32)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1]	/		養女の身分事項
			(33)身分事項:養子(女)(入籍・戸籍法73条の2)を編集する [7.4]	/		養女の身分事項
						(33-1-1)～(33-1-2)削除 R4(離縁同92)
		NO	(33-1)→(36)へ	/		養女と養子の双方に入力があり、養女筆頭者の場合は(21-6)～(21-10)で処理済み
	NO		(33-2)→(36)へ	/		
	NO		(34)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/		養子が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
	YES		(34-1)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する [7.3]	/		養女の身分事項
			(34-2)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)を編集する [9.3]	/		養女の身分事項
			(34-2-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(34-2-1)(34-2-2)
		YES	(34-2-2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [12.3]	/		
		NO	(34-3)→(34-4)へ	/		R4(離縁同92)
	NO					
	(34-4)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/		(16)～(20)で養子は新戸籍に入籍済み

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)
処理名	0.0 本紙

					備考
		YES	(34-5)戸籍特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/	養女の個人特定
			(34-6)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1]	/	養女の身分事項
			(34-7)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)を編集する [9.1]	/	養女の身分事項
					(34-7-1)～(34-7-2)削除 R4(離縁同92)
		NO	(34-8)→(36)へ	/	
	NO		(35)→(36)へ	/	
	(36)養父に入力がある(YES,NO)			/	
	YES		(37)養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/	
		YES	(38)身分事項:養親(記録)を編集する [8.1]	/	
					(38-1)～(38-3)削除 R4(離縁同92)
		NO	(39)→(41)へ		
	NO		(40)→(41)へ	/	
	(41)養母に入力がある(YES,NO)			/	
	YES		(42)養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/	
		YES	(43)身分事項:養親(記録)を編集する [8.1]	/	
					(43-1)～(43-3)削除 R4(離縁同92)
		NO	(44)→(46)へ		
	NO		(45)→(46)へ	/	
	(46)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/	
	YES		(47)養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/	養子または養女の本非区分で判断する

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)

処理名	0.0 本紙			備考
YES	(48)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)(離縁対象者でない者)を編集する [9.2]	/		養子(女)の配偶者の身分事項
	(48-1)養子(女)の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(48-1)(48-2)
YES	(48-2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [12.4]	/		
NO	(49)→(50)へ	/		R4(離縁同92)
NO		/		
(50)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)		/		
YES	(50-1)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する [6.1]	/		養子(女)の配偶者の個人特定
	(51)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)(離縁対象者でない者)を編集する [9.1]	/		養子(女)の配偶者の身分事項
NO	(52)→(54)へ	/		
NO	(53)→(54)へ	/		
(54)同時届区分?		/		
0	(55)→(62)へ	/		
1	(56)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/		
YES	(57)身分事項:養子(女)の親権事項(記録)を編集する [10.1]	/		
NO	(58)→(67)へ	/		
2	(59)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/		
YES	(60)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録)を編集する [10.3]	/		
NO	(61)→(67)へ	/		
(62)親権移記親権者区分に入力がある(YES,NO)		/		
YES	(63)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/		
YES	(64)身分事項:養子(女)の親権事項(移記)を編集する [10.2]	/		
NO	(65)→(67)へ	/		
NO	(66)→(67)へ	/		
(67)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である(YES,NO)		/		
YES				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
							(68)～(73)削除	R4(離縁同92)
		(74)養子に入力があり、養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/				
	YES	(75)養子について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.3]		/				
	NO	(76)→(77)へ		/				
		(77)養女に入力があり、養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/				
	YES	(78)養女について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.4]		/				
	NO	(79)→(80)へ		/				
		(80)養子の配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/				
	YES	(81)養子の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.5]			(82)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
NO	→							
PF1	→				(83)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(84)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(85)審査(養子離縁届)に制御を渡す			
PF7	(86)前ページがある(YE、NO)			/				
	YES	(87)前ページ分の確認画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する			(88)同画面を編集する			
	NO	(89)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する						
PF8	(90)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(91)次ページ分の確認画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する			(92)同画面を編集する			
	NO	(93)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→				(94)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(95)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する				(96)同画面を編集する			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
養子離縁同時73条の2届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	養子と養父区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	養子離縁形態名称			養子離縁形態区分		有		審査の条件設定を参照
	同時届区分			同時届区分				
	親権･未成年後見人の本非区分		養子離縁同時73の2届入力画面	親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人の生年月日			親権･未成年後見人の生年月日				
	親権･未成年後見人氏名			親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍			親権･未成年後見人本籍コード		有		
				親権･未成年後見人本籍				
	親権･未成年後見人筆頭者			親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人の本非区分			同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人氏名			同時親権届出人氏名				
	同時親権届出人本籍			同時親権届出人本籍コード		有		
				同時親権届出人本籍				
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	養子の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子の生死区分名称					有		
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本･国籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の父母との続柄名称					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者区分名称					有		

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養子の配偶者区分名称					有		
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女の生死区分名称					有		
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本･国籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯主			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード				
	養女の父母との続柄名称					有		
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の筆順者区分名称					有		
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養女の配偶者区分名称					有		
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父の生死区分名称					有		
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本･国籍				
	養父の筆頭者			養父の筆頭名				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母の生死区分名称					有		
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本･国籍				
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の世帯主			養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母の婚姻区分			養父母の婚姻区分				
	縁組年月日			縁組年月日				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	縁組前の氏			縁組前の氏				
	離縁の種別			離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格名称				15歳未満の届出人資格1と2の内容から変換 (審査の表示設定その2参照)
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍コード1		有		
				15歳未満の届出人国籍1				
	15歳未満の届出人生年月日1			15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍コード2		有		
				15歳未満の届出人国籍2				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(同時73の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2				
	配偶者外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者区分名称					有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者父母との続柄名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
	あくまでも目安	養子･養女の入力がある場合は、同一戸籍であることが前提(外国人を除く)であるので、養子と養女で戸籍が異なることはない。						構成員の場合のみ、配偶者の随従入籍（除籍)が発生する		全部除籍か、一部除籍かの判断項目		養父と養母に関しては同一戸籍であれば、養親の戸籍で処理するが離婚していれば別々の戸籍も考えられるので、養父と養母の2つに判断を分けた。 但し、右表の戸籍の記録は、養親1つの戸籍で処理している。 別々の戸籍にいる場合は、各々の戸籍に記録があるので注意すること。										
1	1	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×				7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
2	1	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×				7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
3	1	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○				7.1 7.2		7.3 7.4			
4	1	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○				7.1 7.2			7.3 7.4		
5	1	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×				7.1　7.2 9.1(配偶者)		7.3　7.4 9.2(配偶者)			8.1
6	1	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×				7.1　7.2 9.1(配偶者)			7.3　7.4 9.2(配偶者)		8.1
7	1	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○				7.1　7.2 9.1(配偶者)		7.3　7.4 9.2(配偶者)			
8	1	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○				7.1　7.2 9.1(配偶者)			7.3　7.4 9.2(配偶者)		
9	1	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×						7.3 7.4			8.1
10	1	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×							7.3 7.4		8.1
11	1	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○						7.3 7.4			
12	1	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○							7.3 7.4		
13	1	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×						7.3　7.4 9.2(配偶者)			8.1
14	1	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×							7.3　7.4 9.2(配偶者)		8.1
15	1	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○						7.3　7.4 9.2(配偶者)			
16	1	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○							7.3　7.4 9.2(配偶者)		
17	1	×	○			○	×	○	×	－	－	○	×				7.1 7.2					8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
18	1	×	○			○	×	○	×	－	－	×	○				7.1 7.2					
19	1	×	○			○	×	×	○	－	－	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
20	1	×	○			○	×	×	○	－	－	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)					
21	1	×	○			×	○	－	－	－	－	○	×									8.1
22	1	×	○			×	○	－	－	－	－	×	○									
23	2	○	×			○	×	○	×	○	×			○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
24	2	○	×			○	×	○	×	×	○			○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
25	2	○	×			○	×	○	×	○	×			×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
26	2	○	×			○	×	○	×	×	○			×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
27	2	○	×			○	×	×	○	○	×			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
28	2	○	×			○	×	×	○	×	○			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
29	2	○	×			○	×	×	○	○	×			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
30	2	○	×			○	×	×	○	×	○			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
31	2	○	×			×	○	○	×	○	×			○	×				7.3 7.4			8.1
32	2	○	×			×	○	○	×	×	○			○	×					7.3 7.4		8.1
33	2	○	×			×	○	○	×	○	×			×	○				7.3 7.4			
34	2	○	×			×	○	○	×	×	○			×	○					7.3 7.4		
35	2	○	×			×	○	×	○	○	×			○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
36	2	○	×			×	○	×	○	×	○			○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
37	2	○	×			×	○	×	○	○	×			×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
38	2	○	×			×	○	×	○	×	○			×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
39	2	×	○			○	×	○	×	－	－			○	×		7.1 7.2					8.1
40	2	×	○			○	×	○	×	－	－			×	○		7.1 7.2					
41	2	×	○			○	×	×	○	－	－			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
42	2	×	○			○	×	×	○	－	－			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
43	2	×	○			×	○	－	－	－	－			○	×							8.1
44	2	×	○			×	○	－	－	－	－			×	○							
45	3	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
46	3	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
47	3	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
48	3	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
49	3	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
50	3	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
51	3	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
52	3	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
53	3	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
54	3	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
55	3	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
56	3	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
57	3	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
58	3	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
59	3	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
60	3	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
61	3	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4			8.1
62	3	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4			8.1
63	3	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4			8.1
64	3	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4			
65	3	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4		8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
66	3	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4		8.1
67	3	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4		8.1
68	3	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4		
69	3	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
70	3	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
71	3	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
72	3	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
73	3	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8、1
74	3	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8、1
75	3	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
76	3	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
77	3	×	○			○	×	○	×	－	－	○	×	○	×		7.1 7.2					8.1
78	3	×	○			○	×	○	×	－	－	○	×	×	○		7.1 7.2					8.1
79	3	×	○			○	×	○	×	－	－	×	○	○	×		7.1 7.2					8.1
80	3	×	○			○	×	○	×	－	－	×	○	×	○		7.1 7.2					
81	3	×	○			○	×	×	○	－	－	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
82	3	×	○			○	×	×	○	－	－	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
83	3	×	○			○	×	×	○	－	－	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
84	3	×	○			○	×	×	○	－	－	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
85	3	×	○			×	○	－	－	－	－	○	×	○	×							8.1
86	3	×	○			×	○	－	－	－	－	○	×	×	○							8.1
87	3	×	○			×	○	－	－	－	－	×	○	○	×							8.1
88	3	×	○			×	○	－	－	－	－	×	○	×	○							
89	4			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×				7.1 7.2		7.3 7.4			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
90	4			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×				7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
91	4			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○				7.1 7.2		7.3 7.4			
92	4			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○				7.1 7.2			7.3 7.4		
93	4			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
94	4			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
95	4			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
96	4			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
97	4			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×						7.3 7.4			8.1
98	4			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×							7.3 7.4		8.1
99	4			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○						7.3 7.4			
100	4			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○							7.3 7.4		
101	4			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×						7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
102	4			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×							7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
103	4			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○						7.3 7.4 9.2(配偶者)			
104	4			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○							7.3 7.4 9.2(配偶者)		
105	4			×	○	○	×	○	×	－	－	○	×				7.1 7.2					8.1
106	4			×	○	○	×	○	×	－	－	×	○				7.1 7.2					
107	4			×	○	○	×	×	○	－	－	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
108	4			×	○	○	×	×	○	－	－	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)					
109	4			×	○	×	○	－	－	－	－	○	×									8.1
110	4			×	○	×	○	－	－	－	－	×	○									
111	5			○	×	○	×	○	×	○	×			○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
112	5			○	×	○	×	○	×	×	○			○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
113	5			○	×	○	×	○	×	○	×			×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
114	5			○	×	○	×	○	×	×	○			×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
115	5			○	×	○	×	×	○	○	×			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
116	5			○	×	○	×	×	○	×	○			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
117	5			○	×	○	×	×	○	○	×			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
118	5			○	×	○	×	×	○	×	○			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
119	5			○	×	×	○	○	×	○	×			○	×				7.3 7.4			8.1
120	5			○	×	×	○	○	×	×	○			○	×					7.3 7.4		8.1
121	5			○	×	×	○	○	×	○	×			×	○				7.3 7.4			
122	5			○	×	×	○	○	×	×	○			×	○					7.3 7.4		
123	5			○	×	×	○	×	○	○	×			○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
124	5			○	×	×	○	×	○	×	○			○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
125	5			○	×	×	○	×	○	○	×			×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
126	5			○	×	×	○	×	○	×	○			×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
127	5			×	○	○	×	○	×	－	－			○	×		7.1 7.2					8.1
128	5			×	○	○	×	○	×	－	－			×	○		7.1 7.2					
129	5			×	○	○	×	×	○	－	－			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
130	5			×	○	○	×	×	○	－	－			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
131	5			×	○	×	○	－	－	－	－			○	×							8.1
132	5			×	○	×	○	－	－	－	－			×	○							
133	6			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
134	6			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
135	6			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
136	6			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
137	6			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
138	6			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
139	6			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
140	6			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
141	6			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
142	6			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
143	6			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
144	6			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
145	6			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
146	6			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
147	6			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
148	6			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
149	6			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4			8.1
150	6			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4			8.1
151	6			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4			8.1
152	6			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4			
153	6			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4		8.1
154	6			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4		8.1
155	6			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4		8.1
156	6			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4		
157	6			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
158	6			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
159	6			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
160	6			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
161	6			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
162	6			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	○				7.3　7.4 9.2(配偶者)			
163	6			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×					7.3　7.4 9.2(配偶者)		8.1
164	6			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○					7.3　7.4 9.2(配偶者)		
165	6			×	○	○	×	○	×	－	－	○	×	○	×		7.1 7.2					8.1
166	6			×	○	○	×	○	×	－	－	○	×	×	○		7.1 7.2					8.1
167	6			×	○	○	×	○	×	－	－	×	○	○	×		7.1 7.2					8.1
168	6			×	○	○	×	○	×	－	－	×	○	×	○		7.1 7.2					
169	6			×	○	○	×	×	○	－	－	○	×	○	×		7.1　7.2 9.1(配偶者)					8.1
170	6			×	○	○	×	×	○	－	－	○	×	×	○		7.1　7.2 9.1(配偶者)					8.1
171	6			×	○	○	×	×	○	－	－	×	○	○	×		7.1　7.2 9.1(配偶者)					8.1
172	6			×	○	○	×	×	○	－	－	×	○	×	○		7.1　7.2 9.1(配偶者)					
173	6			×	○	×	○	－	－	－	－	○	×	○	×							8.1
174	6			×	○	×	○	－	－	－	－	○	×	×	○							8.1
175	6			×	○	×	○	－	－	－	－	×	○	○	×							8.1
176	6			×	○	×	○	－	－	－	－	×	○	×	○							
177	7	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
178	7	○	×	○	×	○	×			×	○	○	×				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
179	7	○	×	○	×	○	×			○	×	×	○				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
180	7	○	×	○	×	○	×			×	○	×	○				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
181	7	○	×	○	×	×	○			○	×	○	×						7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
182	7	○	×	○	×	×	○			×	○	○	×							7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
183	7	○	×	○	×	×	○			○	×	×	○						7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
184	7	○	×	○	×	×	○			×	○	×	○							7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
185	7	○	×	×	○	○	×			○	×	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
186	7	○	×	×	○	○	×			×	○	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
187	7	○	×	×	○	○	×			○	×	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
188	7	○	×	×	○	○	×			×	○	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
189	7	○	×	×	○	×	○			○	×	○	×						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
190	7	○	×	×	○	×	○			×	○	○	×							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
191	7	○	×	×	○	×	○			○	×	×	○						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
192	7	○	×	×	○	×	○			×	○	×	○							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
193	7	×	○	○	×	○	×			○	×	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
194	7	×	○	○	×	○	×			×	○	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
195	7	×	○	○	×	○	×			○	×	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
196	7	×	○	○	×	○	×			×	○	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
197	7	×	○	○	×	×	○			○	×	○	×						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
198	7	×	○	○	×	×	○			×	○	○	×							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
199	7	×	○	○	×	×	○			○	×	×	○						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
200	7	×	○	○	×	×	○			×	○	×	○							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
201	7	×	○	×	○	○	×			−	−	○	×			※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
201-1	7	×	○	×	○	○	×			−	−	○	×			※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
202	7	×	○	×	○	○	×			−	−	×	○			※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					
202-1	7	×	○	×	○	○	×			−	−	×	○			※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
203	7	×	○	×	○	×	○			−	−	○	×									8.1
204	7	×	○	×	○	×	○			−	−	×	○									
205	8	○	×	○	×	○	×			○	×			○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
206	8	○	×	○	×	○	×			×	○			○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
207	8	○	×	○	×	○	×			○	×			×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
208	8	○	×	○	×	○	×			×	○			×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
209	8	○	×	○	×	×	○			○	×			○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
210	8	○	×	○	×	×	○			×	○			○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
211	8	○	×	○	×	×	○			○	×			×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
212	8	○	×	○	×	×	○			×	○			×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
213	8	○	×	×	○	○	×			○	×			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
214	8	○	×	×	○	○	×			×	○			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者)		8.1
215	8	○	×	×	○	○	×			○	×			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
216	8	○	×	×	○	○	×			×	○			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
217	8	○	×	×	○	×	○			○	×			○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
218	8	○	×	×	○	×	○			×	○			○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
219	8	○	×	×	○	×	○			○	×			×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
220	8	○	×	×	○	×	○			×	○			×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
221	8	×	○	○	×	○	×			○	×			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
222	8	×	○	○	×	○	×			×	○			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
223	8	×	○	○	×	○	×			○	×			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
224	8	×	○	○	×	○	×			×	○			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
225	8	×	○	○	×	×	○			○	×			○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
226	8	×	○	○	×	×	○			×	○			○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
227	8	×	○	○	×	×	○			○	×			×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
228	8	×	○	○	×	×	○			×	○			×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
229	8	×	○	×	○	○	×			−	−			○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
229-1	8	×	○	×	○	○	×			−	−			○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
230	8	×	○	×	○	○	×			−	−			×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
230-1	8	×	○	×	○	○	×			－	－			×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
231	8	×	○	×	○	×	○			－	－			○	×							8.1
232	8	×	○	×	○	×	○			－	－			×	○							
233	9～15	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
234	9～15	○	×	○	×	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
235	9～15	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
236	9～15	○	×	○	×	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
237	9～15	○	×	○	×	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
238	9～15	○	×	○	×	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
239	9～15	○	×	○	×	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
240	9～15	○	×	○	×	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
241	9～15	○	×	○	×	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
242	9～15	○	×	○	×	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
243	9～15	○	×	○	×	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
244	9～15	○	×	○	×	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
245	9～15	○	×	○	×	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
246	9～15	○	×	○	×	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
247	9～15	○	×	○	×	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
248	9～15	○	×	○	×	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
249	9～15	○	×	×	○	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
250	9～15	○	×	×	○	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
251	9～15	○	×	×	○	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
252	9～15	○	×	×	○	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
253	9～15	○	×	×	○	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
254	9～15	○	×	×	○	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
255	9～15	○	×	×	○	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
256	9～15	○	×	×	○	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
257	9～15	○	×	×	○	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
258	9～15	○	×	×	○	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
259	9～15	○	×	×	○	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
260	9～15	○	×	×	○	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
261	9～15	○	×	×	○	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
262	9～15	○	×	×	○	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
263	9～15	○	×	×	○	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
264	9～15	○	×	×	○	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
265	9～15	×	○	○	×	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
266	9～15	×	○	○	×	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
267	9～15	×	○	○	×	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
268	9～15	×	○	○	×	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
269	9～15	×	○	○	×	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
270	9～15	×	○	○	×	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
271	9～15	×	○	○	×	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
272	9～15	×	○	○	×	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
273	9～15	×	○	○	×	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
274	9～15	×	○	○	×	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
275	9～15	×	○	○	×	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
276	9～15	×	○	○	×	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
277	9～15	×	○	○	×	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁						

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
278	9～15	×	○	○	×	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
279	9～15	×	○	○	×	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
280	9～15	×	○	○	×	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
281	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×	○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
281-1	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×	○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
282	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×	×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
282-1	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×	×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8、1
283	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○	○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
283-1	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○	○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
284	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○	×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					
284-1	9～15	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○	×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
285	9～15	×	○	×	○	×	○			－	－	○	×	○	×							8.1
286	9～15	×	○	×	○	×	○			－	－	○	×	×	○							8.1
287	9～15	×	○	×	○	×	○			－	－	×	○	○	×							8.1
288	9～15	×	○	×	○	×	○			－	－	×	○	×	○							

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　－:その項目は不要

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	2.2　戸籍編製マトリクス表･親権/未成年後見						

項番	同時届区分			親権移記区分入力		新戸籍			養子(女)の戸籍				
	無	親権者指定届	未成年後見開始届	無	有	本籍	非本籍		新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動無し
									あくまでも、養子(女)の離縁移動後の戸籍の離縁の身分事項の後に記録される身分事項である。				
1	×	○	×			○	×		10.1				
2	×	○	×			×	○						
3	×	×	○			○	×		10.3				
4	×	×	○			×	○						
5	○	×	×	×	○	○	×		10.2				
6	○	×	×	×	○	×	○						
7	○	×	×	○	×	-	-						

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離縁)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離縁の種別 1(協議)のとき　0401を設定 2(調停)のとき　0402を設定 3(審判)　又は　4(判決) 5(和解)　又は　6(認諾)のとき 0403を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							裁判確定日があれば裁判確定日 離縁成立日があれば離縁成立日
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			･渉外区分 ＝ 0　又は　2　のとき、渉外区分を設定する ･渉外区分 ＝ 1　のとき 事件本人が全員日本人のときは　0　を設定する 事件本人が全員外国人のときは　2　を設定する 上記以外のときは　1　を設定する				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離縁)　編集･出力							

受取側			引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容	(補足説明書「養子離縁同時73の2における離縁の受付ファイルの届出人編集」を参照)					
	届出人資格名称1								
	届出人氏名1								
	届出人資格区分2								
	届出人資格名称2								
	届出人氏名2								
	届後本籍区分		(補足説明書「「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点」を参照)						2を設定
	届後本籍コード			新本籍コード					
	届後本籍			新本籍					
	届後戸籍の筆頭者			･離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合、「養子漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合、「養女漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 7～15の場合、 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養子漢字氏名」を設定 養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養女漢字氏名」を設定					
	送達確認1								新本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき0を設定
	証書提出区分								離縁の方式 ≠ 空白　のとき1を設定 上記以外のとき0を設定
	届書送付目録区分								「ファイル仕様書」参照
	処分区分								
	決裁区分								
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号					
	行番号			養父、養母、養子、養女の順に、入力がある者につき1から付番する。 (養子夫婦の一方又は養父母の一方が死亡している場合の受付件数に注意(本紙参照))					
	事件本人区分			養父:08、養母:09、養子:10、養女:11					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離縁)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	届出人区分				(補足説明書「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」を参照) 養父の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合、1を設定　又は 　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養父の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (010(養父)　又は　012(養父母))の場合、1を設定 養母の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合、1を設定　又は 　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 養子の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、1を設定　又は 　養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子)　又は　014(養子夫婦))の場合、1を設定 養女の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき、 　養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合、1を設定　又は 　養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　かつ　離縁成立日 ＝ スペースの場合、1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき、 　裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子)　又は　014(養子夫婦))の場合、1を設定				
	カナ氏名				養父のカナ氏名　又は　養母のカナ氏名　又は　養子のカナ氏名　又は　養女のカナ氏名				
	漢字氏名				養父の漢字氏名　又は　養母の漢字氏名　又は　養子の漢字氏名　又は　養女の漢字氏名				
	生年月日				養父の生年月日　又は　養母の生年月日　又は　養子の生年月日　又は　養女の生年月日				
	本籍コード				養父の本籍コード　又は　養母の本籍コード　又は　養子の本籍コード　又は　養女の本籍コー				
	本籍				養父の本･国籍　又は　養母の本･国籍　又は　養子の本･国籍　又は　養女の本･国籍				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離縁)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			養父の筆頭者　又は　養母の筆頭者　又は　養子の筆頭者　又は　養女の筆頭者				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき、 養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定、 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定				※外国人は0を設定する

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

「養子離縁同時73の2における離縁の受付ファイルの届出人編集」

1.離縁種別 ＝ 1(協議)のときは、15歳未満の届出人を編集する(養子が15歳未満のときだけ編集有り)
15歳未満の届出人資格1、2 → 届出人資格区分1、2
→ 届出人資格名称1、2(資格を名称変換する)
15歳未満の届出人氏名1、2 → 届出人氏名1、2

2.離縁種別 ＝ 2(調停)で、申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
※ 申立人と届出人が同一とは、
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)、014(養子夫婦)、077(養子の離縁後の法定代理人)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)、011(養母)、012(養父母)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
100(申立人) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人1
(養子、養女、養父、義母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「申立人親権者となるべき父」等が編集される
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

3.離縁種別 ＝ 2(調停)で、申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)
※ 申立人と届出人が異なるとは、
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)、011(養母)、012(養父母)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき、裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子)、014(養子夫婦)、077(養子の離縁後の法定代理人)
(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき
101(相手方) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母) → 届出人氏名2 (養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき
099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)					

4.離縁種別 ＝ 3(審判)又は4(裁判)又は5(和解)又は6(認諾)で、申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

102(訴提起者)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「訴提起者」＋15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1※「訴提起者親権者となるべき父」等が編集される
「訴提起者」＋15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

5.離縁種別 ＝ 3(審判)又は4(裁判)又は5(和解)又は6(認諾)で、申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

101(相手方)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子、養女、養父、養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦又は養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」＋15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」＋15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点

1.離縁処理において離縁の受付帳が2件作成されるパターン(養子夫婦の一方が死亡している場合又は養親夫婦の一方が死亡している場合の離縁)のときは、届後本籍の編集を下記のようにする。

(1)養子夫婦の一方が死亡している場合

生存している養子の受付帳にしか届後本籍情報を設定しない(死亡養子には戸籍の異動が考えられないため)。

(2)養親夫婦の一方が死亡している場合

1件目の受付帳には届後本籍情報を設定せず、2件目の受付帳にのみ設定する。(1件目の受付帳だけ見ると他方との離縁が残っているように見えるため。)

※届後本籍情報に該当する項目は、「届後本籍区分」「届後本籍コード」「届後本籍」「届後戸籍の筆頭者」「送達確認1」の5項目である。

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」

1.届出人区分の設定条件マトリックス

(1)養父の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	1
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

(2)養母の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	1
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						

(3)養子の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

(4)養女の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0701(戸籍法73条の2)
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は　新本籍 ＝ 管内本籍のとき1を設定 養親の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外は2を設定				
	渉外区分							0(日本人のみ)を設定
	発送日							
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							2を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届後本籍コード		中間ファイル(届書) 事件別内容						
	届後本籍								
	届後戸籍の筆頭者			･離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合、「養子漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合、「養女漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 7～15の場合、 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養子漢字氏名」を設定 養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養女漢字氏名」を設定					
	送達確認1								新本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定
	証書提出区分								
	届書送付目録区分								「ファイル仕様書」参照
	処理区分								
	決裁区分								
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分								従前の氏を称する者:14
	届出人区分								1を設定
	カナ氏名			養子(女)のカナ氏名					
	漢字氏名			養子(女)の漢字氏名					
	生年月日			養子(女)の生年月日					
	本籍コード			養子(女)の本籍コード					
	本籍			養子(女)の本･国籍					
	筆頭者			養子(女)の筆頭者					
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき、 養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0(不要)を設定 養子(女)の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定 養子(女)の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ生死区分 ＝ 1(死亡)なら0(不要)を設定					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	3.3　中間ファイル(仮受付･親権)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							同時親権届の種別 1(協議)のとき1301を設定 2(調停)のとき1302を設定 3(審判)のとき1303を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	新本籍 ＝ 管内　又は　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は 同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき、1を設定 上記以外のとき、2を設定				
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　親権･未成年後見人の本籍 ＝ 国籍　かつ 同時親権届出人の本籍 ＝ 国籍のとき、2を設定 上記以外のとき、0を設定				
	発送日							
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容					
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.3　中間ファイル(仮受付・親権)　編集・出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			01:未成年者(養子(女)) 02:親権者 03:親権協議者←同時親権届出人に入力があるとき				
	事件本人区分			未成年者(養子(女)):15(子) 親権者:16(親権者) 親権協議者:49(親権協議者)				
	届出人区分			未成年者(養子(女)):0を設定 親権者:1を設定 親権協議者:1を設定				
	カナ氏名			養子(女)のカナ氏名				←未成年者(養子(女))
	漢字氏名			養子(女)の漢字氏名 親権・未成年後見人氏名 同時親権届出人氏名				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権・未成年後見人生年月日 同時親権届出人生年月日				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	本籍コード			新本籍コード 親権・未成年後見人本籍コード 同時親権届出人本籍コード				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	本籍			新本籍 親権・未成年後見人本籍 同時親権届出人本籍				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.3　中間ファイル(仮受付･親権)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	筆頭者			新本籍の筆頭者 親権･未成年後見人の筆頭者				←未成年者(養子(女)) ←親権者	
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき、 未成年者(養子(女)) 　新本籍 ＝ 管内なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定 親権者 　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1(未到着)を設定 親権協議者 　同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1(未到着)を設定				※外国人は0を設定する	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.4　中間ファイル(仮受付･未成年後見)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	受付事件コード							4101(未成年者の後見開始)を設定	
	受付日			送付日 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日	
	事件発生日								
	事件発生時分								
	事件発生日時								
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	新本籍 ＝ 管内　又は　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき、1を設定 上記以外のとき、2を設定					
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　親権･未成年後見人の本籍 ＝ 国籍のとき、2を設定 上記以外のとき、0を設定					
	発送日								
	郵送日		中間ファイル(届書)共通	郵送日					
	発日								
	収日								
	指示日								
	許可日								
	関連受領番号1～5								
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容					110を設定	
	届出人資格名称1							未成年後見人を設定	
	届出人氏名1			親権･未成年後見人氏名					
	届出人資格区分2								
	届出人資格名称2								
	届出人氏名2								
	届後本籍区分								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.4　中間ファイル(仮受付･未成年後見)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届後本籍コード								
	届後本籍								
	届後戸籍の筆頭者								
	送達確認1								
	証書提出区分								
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照	
	処理区分								
	決裁区分								
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号					
	行番号							01:未成年被後見人(養子(女)) 02:未成年後見人	
	事件本人区分							未成年後見人(養子(女)):55:(未成年被後見人) 未成年後見人:56(未成年後見人)	
	届出人区分							未成年被後見人(養子(女)):0を設定 未成年後見人:1を設定	
	カナ氏名			養子(女)のカナ氏名				←未成年被後見人(養子(女))	
	漢字氏名			養子(女)の漢字氏名 親権･未成年後見人氏名				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年被後見人	
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権･未成年後見人生年月日				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人	
	本籍コード			新本籍コード 親権･未成年後見人本籍コード				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人	
	本籍			新本籍 親権･未成年後見人本籍				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人	
	筆頭者			新本籍の筆頭者 親権･未成年後見人の筆頭者				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人	

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	3.4　中間ファイル(仮受付･未成年後見)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受領分)のとき、 未成年被後見人(養子(女)) 　新本籍 ＝ 管内なら0(不要)を設定、管外なら1(未到着)を設定 未成年後見人 　親権･未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定、2(非本籍)なら1を設定				※外国人は0を設定する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	4.1　戸籍特定(編製)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード			新本籍コード				
	本籍			新本籍				
	筆頭者			･離縁形態区分 ＝ 1、2、3　又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合「養子漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4、5、6　又は 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合「養女漢字氏名」を設定				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	5.1　戸籍事項(編製)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0701(氏の変更)
	記録コード							0701(氏の変更者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	氏変の更 氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	許可 許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録 従前 氏の記録							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	6.1　個人特定(入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日があれば処理日、処理日がないときは送付日、送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード 養女の父母との続柄コード 配偶者父母との続柄コード		有		←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日 養女の生年月日 配偶者生年月日				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	筆頭者区分			･養子の個人特定の場合 離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、1(筆頭者)を設定 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき、1(筆頭者)を設定 上記以外は0(構成員)を設定 ･養女の個人特定の場合 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、1(筆頭者)を設定 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき、1(筆頭者)を設定 上記以外は0(構成員)を設定 ･配偶者の個人特定の場合、0(構成員)を設定				
	配偶者区分			養子の配偶者区分 養女の配偶者区分 配偶者配偶者区分				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	父			養子の父氏名 養女の父氏名 配偶者父氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	母			養子の母氏名 養女の母氏名 配偶者母氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄 養女の父母との続柄 配偶者父母との続柄				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				※配偶者の個人特定は設定不要
	養母			離縁後変更養母氏名				※配偶者の個人特定は設定不要
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白　又は　「義母」≠ 空白のとき、 「養子」(養子の個人特定の場合)、「養女」(養女の個人特定の場合)を設定する ※配偶者の個人特定は設定不要				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	6.1　個人特定(入籍)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.1　養子(入籍･離縁)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日 受領日				 離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合　かつ 養子の生死区分 ＝ 0(生存者)　かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養子の身分事項であれば"007"「妻」を 養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
			資格名称						
		養父	亡区分		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				
			氏名		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養父の本･国籍を設定				
		養母	亡区分		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.1 養子(入籍･離縁) 編集･出力								

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名			
		氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定					
	養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定					
	離縁の方式				離縁の方式					
	裁判所				外国裁判所名					
	協議者(1)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕					離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定資格名称は、資格をコード変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定
		資格名称			※			有		
		氏名			15歳未満の届出人氏名1					
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1					
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1					
	協議者(2)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕					
		資格名称			※			有		
		氏名			15歳未満の届出人氏名2					
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2					
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2					
	届出	届出日			受領日					裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様
		届出人(1) 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格					裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送
		資格名称						有		013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	7.1　養子(入籍･離縁)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	届出人(2)	資格							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定
		資格名称					有		15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、 024 は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送
		資格名称					有		013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
	証書提出者(2)	資格							裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定
		資格名称					有		15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.1 養子(入籍･離縁) 編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		2〜	氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
			記録請求日							
	送付		送付を受けた日							
			受理者							
	許可		許可日							
			許可書謄本の送付を受けた日							
			許可を受けた者							
	入籍		入籍日							
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍		除籍日							
	除戸籍		新本籍							
			称する氏							
			復する氏							
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録		記録日							
	特記		特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	7.2　養子(入籍･法73条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏を称する者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			養子の本･国籍又は 養女の本･国籍				←　養子の身分事項の場合 ←　養女の身分事項の場合
		従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者又は 養女の筆頭者				←　養子の身分事項の場合 ←　養女の身分事項の場合
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.3　養子(除籍･離縁)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日　又は　離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日 受領日				 離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 7、8、10、12～15の場合　かつ　養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ　養女の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 　養子の身分事項であれば"007"「妻」を 　養女の身分事項であれば"006"「夫」を設定する				
			資格名称						
		養父	亡区分		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				
			氏名		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、12のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、14のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養父の本･国籍を設定				
		養母	亡区分		養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、"亡"を設定				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.3 養子(除籍･離縁) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		氏名			養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9.10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				
	養母の国籍				養子の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 9、10のとき設定不要 養女の身分事項であれば、離縁形態区分 ＝ 11、13のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ、養母の本･国籍を設定				
	離縁の方式				離縁の方式				
	裁判所				外国裁判所名				
	協議者(1)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕			離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペースのとき設定資格名称は、資格をコード変換した名称を設定する ただし、協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定、協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定、協議者2は設定しない 氏名は、001(父)、002(母)、016(親権者父)、017(親権者母)、023(親権者となるべき父)、024(親権者となるべき母)、005(父母)、018(親権者父母)、 025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁)、かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定			
		資格名称			※		有		
		氏名			15歳未満の届出人氏名1				
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者(2)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕				
		資格名称			※		有		
		氏名			15歳未満の届出人氏名2				
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2				
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様
		届出人(1) 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送
		資格名称					有		013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.3　養子(除籍･離縁)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
		届出人(2)	資格							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
			資格名称					有		
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定(届出人資格:001、002、016、017、023、024は未設定)
		証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
		証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010、011、012の場合左記項目を移送 013、014の場合設定不要 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を設定
			資格名称					有		
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
		証書提出者(2)	資格							裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人資格2」を設定 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
			資格名称					有		

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	7.3　養子(除籍･離縁)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		2〜 氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名2」を設定 (届出人資格:001、002、016、017、023、024　は未設定)
		記録請求日							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	7.4　養子(除籍･法73条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏を称する者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	8.1 養親(記録) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0402(養親の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日 又は 離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日 受領日				 離縁成立日、裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3又は4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 3、6、10、12～15 かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養父の身分事項であれば 養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"007"「妻」を 養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合「養母氏名」を設定する(この場合資格は未設定) 養母の身分事項であれば 養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"006"「妻」を 養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合「養父氏名」を設定する				
			資格名称						
		養子	亡区分		･養子だけに入力がある 又は 養子･養女双方に入力がある場合 養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)であれば、"亡"を設定 ･養女だけに入力がある場合 養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)であれば、"亡"を設定				
			氏名		･養子だけに入力がある 又は 養子･養女双方に入力がある場合、「養子の漢字氏名」を移送 ･養女だけに入力がある場合、「養女の漢字氏名」を移送				
			養子の国籍		･養子だけに入力があり 又は 養子･養女双方に入力がある場合、「養子の本･国籍」を移送 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)であれば、「養子の本･国籍」を移送 ･養女だけに入力がある場合、養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)であれば、「養女の本･国籍」を移				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	8.1 養親(記録) 編集・出力								

受取側				引渡側					
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
		亡区分			養父の身分事項の場合、離縁形態区分 ＝ 9、11、12、14のとき設定不要(氏名、国籍も同様) 養父の身分事項の場合、離縁形態区分 ＝ 9、10、11、13のとき設定不要(氏名、国籍も同様) 養子・養女双方に入力があるとき、養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合、〝亡〟を設定				
		氏名			養女の漢字氏名				養子・養女双方に入力があるとき
	養子の国籍				養女の本・国籍				養子・養女双方に入力があるとき 養女の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する
	離縁の方式				離縁の方式				
	裁判所				外国裁判所名				
	協議者(1)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1				離縁種別 ＝ 1(協議) かつ 離縁成立日 ＝ スペース かつ 養子の外人区分 又は 養女の外人区分 ＝ 1のとき設定 資格名称には資格をコードに変換した名称を設定する
		資格名称					有		
		氏名			15歳未満の届出人氏名1				
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者(2)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2				
		資格名称					有		
		氏名			15歳未満の届出人氏名2				
	協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2				
	協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1)、(2)も同様
		届出人(1) 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010、011、012の場合設定不要 013、014の場合左記項目を移送 077の場合、「15歳未満の届出人資格1」を移送
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合、「15歳未満の届出人氏名1」を移送 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	8.1 養親(記録) 編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		届出人(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合「15歳未満の届出人資格2」を移送 15歳未満の届出人資格1、2の双方に入力がある場合の設定は、養子の身分事項の届出人と同様
			資格名称							
			氏名							裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合「15歳未満の届出人氏名2」を移送 (届出人資格:001、002、016、017、023、024 は未設定)
		証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
		証書1提出	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		条件は届出人(1)と同じ
			資格名称							
			氏名							条件は届出人(1)と同じ
		証書2提出	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		条件は届出人(2)と同じ
			資格名称							
			氏名							条件は届出人(2)と同じ
		記録請求日								
	送付	送付を受けた日				送付日				
		受理者				発送元				
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた日								
	記録	記録日				処理日				
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	9.1　養子の日本人配偶者(入籍)　編集･出力(離縁対象者でない者)							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由			離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、″夫の離縁及び戸籍法73条の2の届出″を設定 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、″妻の離縁及び戸籍法73条の2の届出″を設定				
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、「養子の本･国籍」を設定 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、「養女の本･国籍」を設定				
		従前戸籍 筆頭者			離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、「養子の筆頭者」を設定 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、「養女の筆頭者」を設定				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

※筆頭者である者だけが離縁届と戸籍法73条の2を届を同時に届出た場合に、随従で異動する配偶者(離縁対象者ではない)に記録される身分事項(入籍)である。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	9.2　養子の日本人配偶者(除籍)　編集･出力(離縁対象者でない者)							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		除籍事由			離縁形態区分 ＝ 1、2、3のとき、″夫の離縁及び戸籍法73条の2の届出″を設定 離縁形態区分 ＝ 4、5、6のとき、″妻の離縁及び戸籍法73条の2の届出″を設定				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	特記	特記事項							

※筆頭者である者だけが離縁届と戸籍法73条の2を届を同時に届出た場合に、随従で異動する配偶者(離縁対象者ではない)に記録される身分事項(除籍)である。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	9.3　養子の日本人配偶者(入籍)　編集･出力(離縁対象者･構成員)							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、"夫の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、"妻の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養子の記録				
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、「養子の本･国籍」を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、「養女の本･国籍」を設定　※養子の記録				
		従前戸籍 筆頭者			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、「養子の筆頭者」を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、「養女の筆頭者」を設定　※養子の記録				
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	特記	特記事項							

※養子と養女双方が養親と離縁をし、筆頭者である者が戸籍法73条の2届を出した場合、構成員である者(離縁対象者)に記録される身分事項(入籍)である。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	9.4　養子の日本人配偶者(除籍)　編集･出力(離縁対象者･構成員)							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		除籍事由			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合、"夫の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、"妻の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養子の記録				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	特記	特記事項							

※養子と養女双方が養親と離縁をし、筆頭者である者が戸籍法73条の2届を出した場合、構成員である者(離縁対象者)に記録される身分事項(除籍)である。

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.1　養子(親権･記録)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							裁判離縁の場合は裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.1 養子(親権･記録) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			同時親権者資格				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				同時親権者資格 ＝ 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				同時親権者資格 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.1 養子(親権･記録) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							
	親権回復者	資格							
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)						
処理名	10.1　養子(親権･記録)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							
	届出日				受領日				
	届出人(1)	資格					同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 「同時親権者資格」と「同時親権届出人資格」が 001(父)と002(母)の組み合わせは「父母」を設定 010(養父)と011(養母)の組み合わせは「養父母」を設定 上記以外は「同時親権者資格」を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)の場合、 「同時親権者資格」を移送		
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格					同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 「同時親権者資格」と「同時親権届出人資格」が 001(父)と002(母)の組み合わせは設定不要 010(養父)と011(養母)の組み合わせは設定不要 上記以外は「同時親権届出人資格」を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)　又は　3(審判)の場合、 設定不要		
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日				送付日				
	受理者				発送元				
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日								
	特記事項								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.2　養子(親権･移記)　編集･出力								
受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名			名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号									決裁処理で設定
	行番号									
	出力区分									
	タイトルコード									1301(親権)
	記録コード									1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード									
	事件発生日									
	親権者を定めた日			中間ファイル(届書)						
	親権者を定められた日									
	親権者となった日									
	親権者を定める裁判確定日									
	親権者を定める調停成立日									
	親権者変更の裁判確定日									
	親権者変更の調停成立日									
	共同親権に服した日									
	親権に服した日									裁判離縁の場合は裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権に服さなくなった日									
	親権喪失宣告の裁判確定日									
	管理権喪失宣告の裁判確定日									
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日									
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日									
	親権辞任日									
	管理権辞任日									
	親権回復日									
	管理権回復日									

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.2　養子(親権･移記)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			親権移記親権者区分				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				親権移記親権者区分 ＝ 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				親権移記親権者区分 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.2　養子(親権･移記)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							
	親権回復者	資格							
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.2　養子(親権･移記)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							
	届出日								
	届出人(1)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日								
	受理者								
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日				処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がなければ送付日を移送 送付日もなければ受領日を移送
	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3　養子(未成年後見･記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							4101(未成年後見)
	記録コード							4101(未成年後見を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	未成年後見人就職日		中間ファイル(届書)					裁判離縁の場合は裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	未成年後見人選任の裁判確定日							
	未成年後見監督人就職日							
	未成年後見監督人選任の裁判確定日							
	未成年後見開始事由							「親権を行う者がないため」を移送
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3 養子(未成年後見・記録) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見終了日							
	未成年後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日							
	未成年者の後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3　養子(未成年後見･記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	10.3　養子(未成年後見･記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名			親権者･未成年後見人氏名				
	未成年後見人の戸籍	本籍			親権者･未成年後見人本籍				
		筆頭者			親権者･未成年後見人筆頭者				
	未成年後見人の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
	未成年後見人の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	未成年後見人の住所								
	辞任した未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見監督人の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督人の国籍								
	未成年後見監督人の生年月日								
	未成年後見監督人の住所								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3　養子(未成年後見･記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								
	未成年後見監督代行者								
	未成年後見監督代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍								
	未成年後見監督代行者の生年月日								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	届出日				受領日				
	届出人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日				送付日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	10.3　養子(未成年後見･記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日							
	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.3　9条2項(養子)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			養子の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本･国籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合 ←離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	11.3　9条2項(養子)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	住民日								
	世帯主			養子の世帯主					
	世帯主との続柄								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.4　9条2項(養女)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養女の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養女の漢字氏名				
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			養女の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本･国籍				
	新筆頭者			養女の漢字氏名 養女の漢字氏名				←離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合 ←離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合
	旧筆頭者			養女の筆頭者				
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.4　9条2項(養女)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.5　9条2項(養子(女)の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			配偶者の漢字氏名				
	旧氏名			配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			配偶者の生年月日				
	旧生年月日			配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード 養女の本籍コード				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本･国籍 養女の本･国籍				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者 養女の筆頭者				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	11.5　9条2項(養子(女)の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	12.3　30条の13第1項(養子(女))　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養子(女)の漢字氏名				
	旧氏名			養子(女)の漢字氏名				
	新生年月日			養子(女)の生年月日				
	旧生年月日			養子(女)の生年月日				
	新性別							養子(女)の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			養子(女)の本籍コード				
	新本籍			養子(女)の本･国籍				
	旧本籍コード			養子(女)の本籍コード				
	旧本籍			養子(女)の本･国籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←離縁形態区分 ＝ 1、2、3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合 ←離縁形態区分 ＝ 4、5、6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合
	旧筆頭者			養子(女)の筆頭者				
	住所コード			養子(女)の住所コード				
	住所			養子(女)の住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)							
処理名	12.4　30条の13第1項(養子(女)の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			配偶者の漢字氏名				
	旧氏名			配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			配偶者の生年月日				
	旧生年月日			配偶者の生年月日				
	新性別							配偶者父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			養子(女)の本籍コード				
	新本籍			養子(女)の本･国籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード 養女の本籍コード				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本･国籍 養女の本･国籍				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者 養女の筆頭者				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(養子離縁同時73条の2届)								
処理名	12.4　30条の13第1項(養子(女)の配偶者)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	転入届出日								

第7.2.(5)「異動」処理

8.婚姻届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	144	「婚姻届」	2020/9/18研究会指摘事項(日立)の指摘対応 №1:届後本籍区分の設定条件を記載した方が良い →入力確認_3.0中間ファイル(仮受付)を修正
2		145		・法令を通則法に変更 3.0審査を修正 ・「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更 入力確認の該当仕様書を修正
3		147		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成20年 3月1日	版	12
作業名	婚姻届						

1.婚姻業務処理範囲外の処理

(1)「受理すべき旨の裁判」による婚姻届

(2) 旧国籍法(明治32年3月16日制定)施行中(明治32年4月1日～昭和25年6月30日)の婚姻届(報告的)

(3) 婚姻届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の婚姻届。

上記(1)～(3)は、審査結果入力で処理を行う。

2.婚姻届入力画面の意義

(1) その1画面、婚姻をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

(2) その2画面、婚姻後の氏の選択及び新本籍等の各項目を入力する。

3.その他

(1) 近親間の婚姻に関する審査(民734～736)はシステムで行わない

(2) 事件本人の成年擬制チェックはシステムで行わない

(3) 事件本人のみ届出の為、届出人資格は画面上にない

(4) 証人の有無及び資格チェックは画面上にない

(5) 婚姻届に伴う親権記録(共同親権、準正子)は移記処理又は訂正処理(市区町村長限りの職権)で記録する。

その際、婚姻届の受領番号を関連受領番号として付与し相互関係を明らかにしておくこと。

(同一人との再婚において、婚姻後の戸籍に子が在籍している場合など)

(6) 日本に在住する外国人が日本においてその外国の方式により日本に居住する日本人と婚姻した場合は、

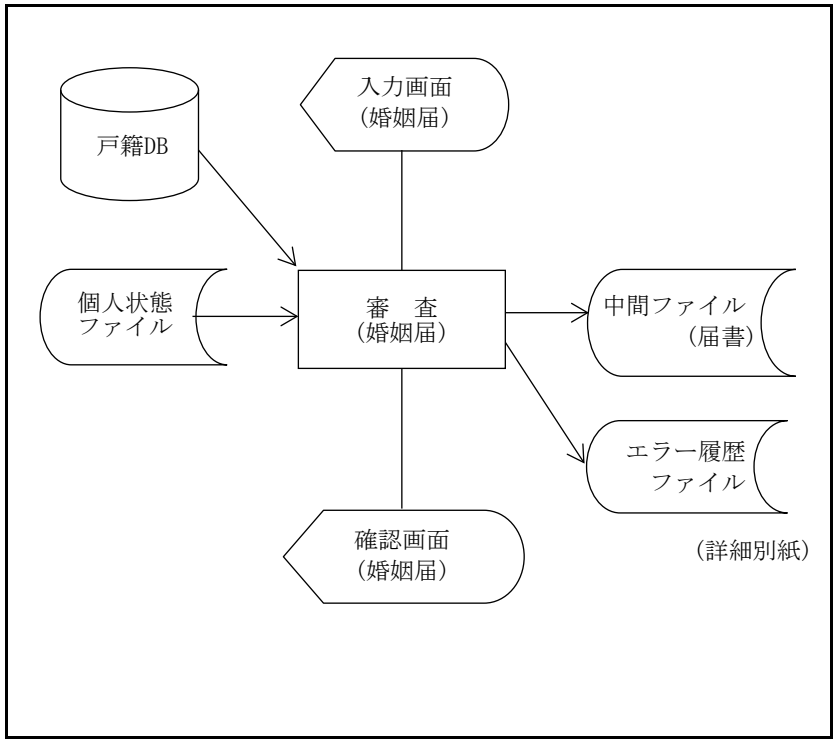
日本での創設的婚姻届が有効な届出であることから証書提出による報告的婚姻届は受理できない。

証書提出による報告的婚姻届出の場合、所在地の審査はシステムで行わないため、受理/不受理は窓口で判断する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(婚姻届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)婚姻届の内容を入力する
(2)婚姻届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)婚姻届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)婚姻届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(婚姻届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	審査(婚姻届)					
処理名	0.0 本紙					

処理						備考
(1)届書内容を画面入力する				/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)				/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)		[1.0]	/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)	[2.0]	/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
			YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO (9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
			審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
			確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する			
	NO					
PF1	→				(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→				(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)			/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(婚姻届)を編集する			(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する				
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)			/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(婚姻届)を編集する			(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する				
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する					入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する					審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する					
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する					

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成20年 3月1日	版	12

作業名	審査(婚姻届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(婚姻届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No.		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No.		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	動態区分	○	数字	(0:不要、1:要)であること			
11	届出区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
12	夫の外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
13	夫の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
14	夫の本･非本	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
15	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	夫のカナ氏名	○	カナ				
17	夫の漢字氏名	○	漢字				
18	夫の住所		漢字				
19	夫の本籍	○	漢字				
20	夫の世帯主		漢字				
21	夫の戸籍の筆頭者		漢字				
22	夫の父の氏名		漢字				
23	夫の母の氏名		漢字				
24	夫の父母との続柄コード	○	数字	(10:男、11:長男～29:十九男)であること			
25	妻の外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
26	妻の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成20年 3月1日	版	12
作業名	審査(婚姻届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(婚姻届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	妻の本･非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
28	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	妻のカナ氏名	○	カナ				
30	妻の漢字氏名	○	漢字				
31	妻の住所		漢字				
32	妻の本籍	○	漢字				
33	妻の世帯主		漢字				
34	妻の戸籍の筆頭者		漢字				
35	妻の父の氏名		漢字				
36	妻の母の氏名		漢字				
37	妻の父母との続柄コード	○	数字	(30:女、31:長女～49:十九女)であること			
38	氏区分	○	数字	(1:夫の氏、2:妻の氏、3:変動なし)であること			称する氏
39	新本籍		漢字				
40	夫の初･再婚区分	○	数字	(0:初婚、1:再婚(死別)、2:再婚(離別))であること			
41	夫の離死別日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	妻の初･再婚区分	○	数字	(0:初婚、1:再婚(死別)、2:再婚(離別))であること			
43	妻の離死別日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
44	同一人再婚区分		数字	(0:同一人以外、1:同一人)であること			
45	成立年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	証書提出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	婚姻の方式		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(婚姻届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(婚姻届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時、 (No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
10	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)の時、 (No.10)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	【空白】			
12	【空白】			
13	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
15	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
16	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.19)夫の本籍　又は　(No.32)妻の本籍　又は　(No.39)新本籍のいずれかが管内であること			
17	(No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.45)成立年月日 ＝ スペース　かつ　(No.46)証書提出日 ＝ スペース　かつ (No.47)婚姻の方式 ＝ スペースであること			
18	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時、 (No.45)成立年月日 ≠ スペース　かつ　(No.46)証書提出日 ≠ スペース　かつ (No.47)婚姻の方式 ≠ スペースであること			
19	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.13)夫の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ　(No.15)夫の生年月日 ＝ 和暦　かつ (No.19)夫の本籍=本籍　かつ　(No.21)夫の戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(婚姻届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(婚姻届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
20	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.13)夫の筆頭者区分 ＝ スペース　かつ　(No.15)夫の生年月日 ＝ 西暦　かつ (No.19)夫の本籍=国籍　かつ　(No.21)夫の戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
21	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.26)妻の筆頭者区分 ≠ スペース　かつ　(No.28)妻の生年月日 ＝ 和暦　かつ (No.19)妻の本籍=本籍　かつ　(No.34)妻の戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
22	(No.25)妻の外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペース　かつ　(No.28)妻の生年月日 ＝ 西暦　かつ (No.19)妻の本籍 ＝ 国籍　かつ　(No.34)妻の戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
23	(No.14)夫の本･非本 ＝ 1(本籍)の時、(No.19)夫の本籍 ＝ 管内であること			
24	(No.14)夫の本･非本 ＝ 2(非本籍)の時、(No.20)夫の本籍 ＝ 管外であること			
25	(No.27)妻の本･非本 ＝ 1(本籍)の時、(No.32)妻の本籍 ＝ 管内であること			
26	(No.27)妻の本･非本 ＝ 2(非本籍)の時、(No.32)妻の本籍 ＝ 管外であること			
26-1	(No.18)夫の住所 ＝ スペースの場合、(No.20)夫の世帯主 ＝ スペースであること			
26-2	(No.20)夫の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.18)夫の住所 ≠ スペースであること			
26-3	(No.31)妻の住所 ＝ スペースの場合、(No.33)妻の世帯主 ＝ スペースであること			
26-4	(No.33)妻の世帯主 ≠ スペースの場合、(No.31)妻の住所 ≠ スペースであること			
27	(No.40)夫の初･再婚区分 ＝ 0(初婚)の時、(No.41)夫の離死別日 ＝ スペースであること			
28	(No.40)夫の初･再婚区分 ＝ 1(再婚(死別))　又は　2(再婚(離別))の時、 (No.28)夫の離死別日 ≠ スペースであること			
29	(No.42)妻の初･再婚区分 ＝ 0(初婚)の時、(No.43)妻の離死別日 ＝ スペースであること			
30	(No.42)妻の初･再婚区分 ＝ 1(再婚(死別))　又は　2(再婚(離別))の時、 (No.28)妻の離死別日 ≠ スペースであること			
31	(No.44)同一人再婚区分 ＝ 1(同一人)の時、 (No.40)夫の初再婚区分 ＝ 2(再婚(離別))　かつ (No.42)妻の初再婚区分 ＝ 2(再婚(離別))であること			
32	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時、(No.45)成立年月日 ≦ (No.46)証書提出日であること			
33	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　(No.25)妻の外人区分 ＝ 1(外国人)　かつ (No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.38)氏区分 ＝ 3(変動なし)　かつ　(No.39)新本籍 ＝ スペースであること			
34	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.13)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.17)夫の漢字氏名 ＝ (No.21)夫の戸籍の筆頭者であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(婚姻届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(婚姻届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
35	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.13)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時、 (No.17)夫の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.21)夫の戸籍の筆頭者の「氏」であること			
36	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.30)妻の漢字氏名 ＝ (No.34)妻の戸籍の筆頭者であること			
37	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時、 (No.30)妻の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.34)妻の戸籍の筆頭者の「氏」であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

					備考	
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する				(0-2)本紙へ		
YES	(0-3)→(0-6)へ			/		R2.1(婚姻142)
NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	
(0-6)(夫の外人区分=0:日本人 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) 又は (妻の外人区分=0:日本人 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)				/		R2.1(婚姻142)
YES	(0-7)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-8)本紙へ	
	YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-11)本紙へ	不受理
	NO	(0-10)→				画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ			/		
(1)届出区分(1:創設、2:報告)				/		
1	(2)→(11)へ			/		
2	(3)成立年月日<昭和25年7月1日(YES,NO)			/		
	YES	(4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(5)本紙へ	
	NO	(6)成立年月日<昭和27年4月28日(YES,NO)		/		
		YES	(7)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約発行に該当する国ですか?」を表示する		(8)本紙へ	
			YES	(9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		
			NO	(10)→(11)へ	/	(10-1)～(10-7)を削除	R2.1(婚姻143)
		NO					
(11)届出区分(1:創設、2:報告)				/		
1	(12)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)			/		
	0	(13)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)		/		
		0	(14)→(18)へ	/		
		1	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「婚姻要件具備証明書等が添付されていますか?」を表示する		(16)本紙へ	通則法24I、昭和22.6.25民事甲595号回答 「N」の時、不受理
	1					
2	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「婚姻を証明する書類が添付されていますか?」を表示する				(17-1)本紙へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

							備考
	YES	(17-2)→(17-5)へ		/			
	NO	(17-3)→			(17-4)本紙へ		不受理
	(17-5)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)			/			
	0	(17-6)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)		/			
		0	(17-7)→(18)へ	/			
		1	(17-8)確認メッセージ(YES,NO) 「証書提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか?」を表示する		(17-9)本紙へ		
		YES	(17-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」を表示する				不受理
		NO	(17-11)→(18)へ	/			
	1	(17-12)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)		/			
		0	(17-13)確認メッセージ(YES,NO) 「証明提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか?」を表示する		(17-14)本紙へ		
		YES	(17-15)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」を表示する				不受理
		NO	(17-16)→(18)へ	/			
		1	(17-17)エラーメッセージ 「外国人同士の外国における婚姻届は受理できません」を表示する		(17-18)本紙へ		不受理
(18)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)				/			
0	(18-1)夫の父氏名=スペース 又は 夫の母氏名=スペース(YES,NO)			/			
	YES	(18-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			(18-3)本紙へ		
		YES	(18-4)→(19)へ	/			
		NO	(18-5)→		(18-6)本紙へ		不受理
	NO	(18-7)夫の父母との続柄=10(男)である(YES,NO)		/			
		YES	(18-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いは ありませんね?」を表示する		(18-9)本紙へ		
		YES	(18-10)→(19)へ	/			
		NO	(18-11)→		(18-12)本紙へ		不受理
		NO	(18-13)→(19)へ	/			
	(19)夫の本・非本(1:本籍、2:非本籍)			/			
	1	(20)夫の配偶者区分(1:夫、その他)		/			民732

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(婚姻届)					
処理名	3.0 審査				備考	

		1	(21)エラーメッセージ 「重婚です。婚姻届は受理できません。」を表示する				/	(22)本紙へ	不受理	
				(24-1)			/			
					(24-2)			(24-4)		
		その他	(24-3)→(30)へ				/		(25)～(29)を削除※未成年後見制度対応(平成12年3月1日第4版)	
	2									
	(30)成立年月日≠スペースの場合、成立年月日≧2022年4月1日 又は 成立年月日=スペースの場合、受領日≧2022年4月1日(YES,NO)						/		民法改正(2022年4月1日)以降か前かで審査を分ける	R2.1(婚姻144)
	YES	(31)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日 又は 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)					/		民法改正(2022年4月1日)以降の審査 民731(改正後)	
		YES	(32)エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する					(33)本紙へ	不受理	
		NO	(34)→(36)へ				/			
	NO	(34-1)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+20年(20歳未満)>成立年月日 又は 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)					/		民法改正(2022年4月1日)前の審査	
		YES	(34-2)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日 又は 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/		民731(改正前)	
			YES	(34-3)エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する				(34-4)本紙へ	不受理	
			NO	(34-5)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?」を表示する					民737、昭24.11.11民事甲2641号回答 戸38Iただし書き、 大6.7.13民事853号回答	
				YES	(34-6)→(36)へ		/			
				NO	(34-7)→			(34-8)本紙へ	不受理	
		NO	(35)→(36)へ				/			
1										
(36)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)							/			
0	(36-1)妻の父氏名=スペース 又は 妻の母氏名=スペース(YES,NO)						/			
	YES	(36-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する						(36-3)本紙へ		
		YES	(36-4)→(37)へ				/			
		NO	(36-5)→					(36-6)本紙へ	不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(婚姻届)					
処理名	3.0 審査				備考	

NO	(36-7)妻の父母との続柄=30(女)である(YES,NO)					/			
	YES	(36-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する					(36-9)本紙へ		
		YES	(36-10)→(37)へ				/		
		NO	(36-11)→					(36-12)本紙へ	不受理
	NO	(36-13)→(37)へ					/		
(37)妻の本・非本(1:本籍、2:非本籍)							/		
1	(38)妻の配偶者区分(2:妻、その他)						/		民732
	2	(39)エラーメッセージ 「重婚です。婚姻届は受理できません。」を表示する						(40)本紙へ	不受理
			(42-1)				/		
				(42-2)				(42-4)	
	その他	(42-3)→(48)へ					/		(43)～(47)を削除※未成年後見制度対応(平成12年3月1日第4版)
2									
(48)成立年月日≠スペースの場合、成立年月日≧2022年4月1日 又は 成立年月日=スペースの場合、受領日≧2022年4月1日(YES,NO)							/		民法改正(2022年4月1日)以降か前かで審査を分ける R2.1(婚姻144)
YES	(49)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日 又は 成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)						/		民法改正(2022年4月1日)以降の審査 民731(改正後)
	YES	(49-1) 2004年4月2日≦妻の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)					/	民法改正(2022年4月1日)附則第3条第2項 →改正日に16歳以上18歳未満の女性は経過措置として改正前の民731が適用される	
		YES	(49-2)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか？」を表示する					(49-3)本紙へ	民737、昭24.11.11民事甲2641号回答 戸38Iただし書き、 大6.7.13民事853号回答
			YES	(49-4)→(53-1)へ			/		
			NO	(49-5)→				(49-6)本紙へ	不受理
		NO	(50)エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する					(51)本紙へ	不受理
	NO	(51-1)→(53-1)へ					/		
NO	(51-2)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+20年(20歳未満)>成立年月日 又は 成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)						/		民法改正(2022年4月1日)前の審査

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

								備考
		YES	(51-3)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+16年(16歳未満)>成立年月日 又は　成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+16年(16歳未満)>受領日 (YES,NO)		/			民731(改正前)
		YES	(51-4)エラーメッセージ　「婚姻適齢に達していません。」を表示する			(51-5)本紙へ		不受理
		NO	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?」 を表示する				民737、昭24.11.11民事甲2641号回答 戸38Iただし書き、 大6.7.13民事853号回答	
			YES	(52-1)→(53-1)へ	/			
			NO	(52-2)→		(52-3)本紙へ		不受理
		NO	(53)→(53-1)へ		/			
	(53-1)届出区分(1:創設的届出、2:報告的届出)				/			
	1	(54)妻の初・再婚区分(0:初婚、1:再婚(死別)、2:再婚(離別))			/			
		1,2	(55)妻の離死別日+100日>婚姻日(YES,NO)		/			民733I　平成28年6月1日民法改正対応
		YES	(56)同一人再婚区分=0(同一人以外)　　又は　スペースである(YES,NO)		/			大元.11.25民事708号回答
			YES	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「待婚期間が100日を経過していません。再婚が可能か確認しましたか?」 を表示する			(57-1)本紙へ	
								民733Ⅱ　平成28年6月1日民法改正対応
				YES　(57-2)確認メッセージ(YES,NO) 「民法733条第2項に該当する再婚ですか?」を表示する。			(57-3)本紙へ	
								民733Ⅱ　平成28年6月1日民法改正対応
				YES　(57-4)民法733条フラグに'1'を移送　→(65)へ	/			身分事項の特記事項記録用フラグを追加(第20版)
				NO　(57-5)民法733条フラグに'0'を移送　→(65)へ	/			
				NO　(57-6)→			(58)本紙へ	不受理
			NO	(59)→(65)へ	/			
		NO	(60)妻の本・非本(1:本籍、2:非本籍)		/			
			1	(61)妻の現戸籍の入籍日+100日>婚姻日(YES,NO)	/			
				YES　(62)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍日から100日を超えていませんが、離死別日に間違いは ありませんね?」を表示する			(62-1)本紙へ	
				YES　(62-2)→(65)へ	/			
				NO　(62-3)→			(63)本紙へ	不受理
				NO　(64)→(65)へ	/			
			2					
		0						
	2							

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(婚姻届)					
処理名	3.0 審査					

							処理			備考
1							(64-1)届出区分(1:創設的届出、2:報告的届出)	/		民733I 平成28年6月1日民法改正対応
	1						(64-2)妻の初・再婚区分(0:初婚、1:再婚(死別)、2:再婚(離別))	/		外国人の場合も、創設的届出の時に待婚期間をチェックする。(第17版)
		1,2					(64-3)妻の離死別日+100日>婚姻日(YES,NO)	/		
			YES				(64-4)同一人再婚区分=0(同一人以外)　又は　スペースである(YES,NO)	/		
				YES			(64-5)確認メッセージ(YES,NO) 「待婚期間が100日を経過していません。再婚が可能か確認しましたか?」 を表示する		(64-6)本紙へ	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
					YES		(64-7)確認メッセージ(YES,NO) 「民法733条第2項に該当する再婚ですか?」を表示する。		(64-8)本紙へ	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
						YES	(64-9)民法733条フラグに'2'を移送　→(65)へ	/		身分事項の特記事項記録用フラグを追加(第20版) 妻が外国人のため、夫の身分事項に記録する
						NO	(64-10)民法733条フラグに'0'を移送　→(65)へ	/		
					NO		(64-11)→		(64-12)本紙へ	不受理
				NO			(64-13)→(65)へ	/		
			NO							
		0								
	2									
(65)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)								/		
0							(66妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
	0						(67)氏区分(1:夫の氏、2:妻の氏、3:変更なし)	/		民750、戸16
		1					(68)夫の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/		
			0				(69)新本籍に記録がある(YES,NO)	/		
				YES			(69-1)→(105)へ	/		
				NO			(70)エラーメッセージ　「新本籍を入力して下さい。」を表示する		(71)本紙へ	不受理
			1				(72)新本籍に記録がある(YES,NO)	/		
				YES			(73)エラーメッセージ　「新本籍には入力できません。」を表示する		(74)本紙へ	不受理
				NO			(74-1)→(105)へ	/		
		2					(75)妻の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/		
			0				(76)新本籍に記録がある(YES,NO)	/		
				YES			(77)→(105)へ	/		
				NO			(78)エラーメッセージ　「新本籍を入力して下さい。」を表示する		(79)本紙へ	戸16I　不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(婚姻届)
処理名	3.0 審査

									備考
			1	(80)新本籍に記録がある(YES,NO)		/			
				YES	(81)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示する		(82)本紙へ		不受理
				NO	(82-1)→(105)へ		/		
		3	(83)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示する				(83-1)本紙へ		不受理
	1	(84)氏区分(1:夫の氏、2:妻の氏、3:変更なし)				/			
		1	(85)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示する				(86)本紙へ		民750、戸16
		2							不受理
		3	(87)夫の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/			
			0	(88)新本籍に記録がある(YES,NO)		/			
				YES	(88-1)→(105)へ		/		
				NO	(89)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示する		(90)本紙へ		戸16I 不受理
			1	(91)新本籍に記録がある(YES,NO)		/			
				YES	(92)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示する		(93)本紙へ		不受理
				NO	(93-1)→(105)へ		/		
1	(94)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)					/			
	0	(95)氏区分(1:夫の氏、2:妻の氏、3:変更なし)				/			
		1	(96)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示する				(97)本紙へ		民750、戸16
		2							不受理
		3	(98)妻の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/			
			0	(99)新本籍に記録がある(YES,NO)		/			
				YES	(99-1)→(105)へ		/		
				NO	(100)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示する		(101)本紙へ		戸16I 不受理
			1	(102)新本籍に記録がある(YES,NO)		/			
				YES	(103)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示する		(104)本紙へ		不受理
				NO	(104-1)→(105)へ		/		
	1	(104-2)→(105)へ				/			
(105)同一人再婚区分=0(同一人以外) 又は スペースである(YES,NO)						/			
YES	(106)→						(107)本紙へ		
NO	(108)メッセージ 「子(養子)に共同親権の記録が必要か確認して下さい。」を表示する								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(婚姻届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		婚姻届入力画面	受領No.				
	選択事件コード							「09」をセット
	出張所番号			支所No.				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			届出区分				
	渉外区分			夫の外人区分 妻の外人区分				夫の外人区分 / 妻の外人区分 / 渉外区分 0 / 0 / 0 0 / 1 / 1 1 / 0 / 1 1 / 1 / 2
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の時、夫と妻の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号(2)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(婚姻届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
	ロック戸籍番号(5)									
	事件別内容									中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分									
	処分区分									審査の結果により、1=受理　又は 2=不受理をセットする　＊
	決裁区分									ZERO
	届書排他区分									0:未　1:排他
										＊審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の個人番号									本籍人のとき、戸籍個人番号を設定
	夫の外人区分			婚姻届入力画面	夫の外人区分					
	夫の筆頭者区分				夫の筆頭者区分					
	夫の本非区分				夫の本･非本					
	夫の生年月日				夫の生年月日					
	夫のカナ氏名				夫のカナ氏名					
	夫の漢字氏名				夫の漢字氏名					
	夫の本籍コード				夫の本籍					
	夫の本籍地番									
	夫の筆頭者				夫の戸籍の筆頭者					
	夫の父の氏名				夫の父の氏名					
	夫の母の氏名				夫の母の氏名					
	夫の父母との続柄コード				夫の父母との続柄コード					
	夫の住所コード				夫の住所					
	夫の住所地番									
	夫の世帯主				夫の世帯主					
	妻の個人番号									本籍人のとき、戸籍個人番号を設定
	妻の外人区分				妻の外人区分					

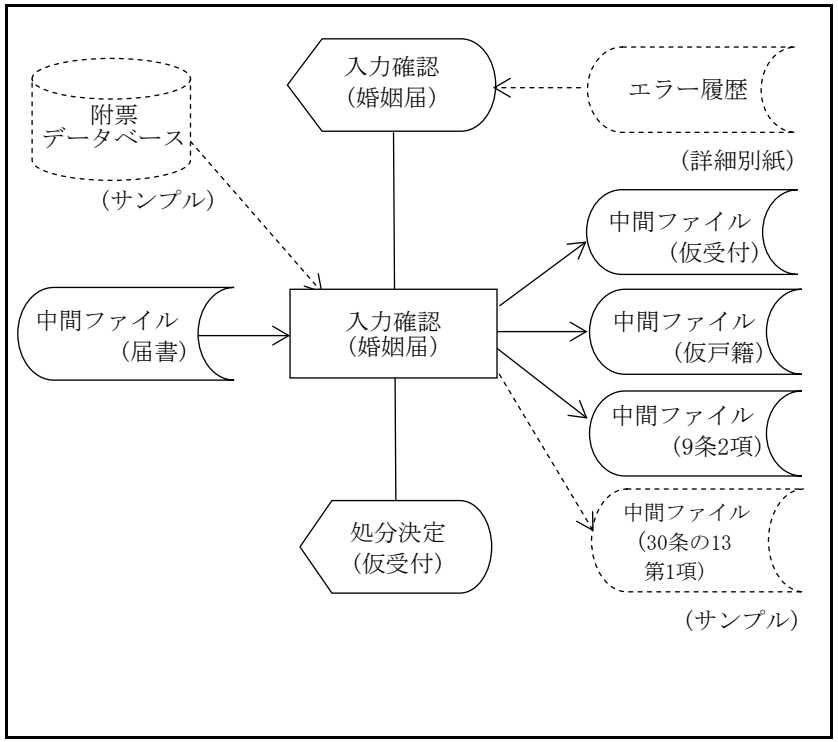
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(婚姻届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				
	妻の本非区分			妻の本･非本				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の本籍コード			妻の本籍				
	妻の本籍地番							
	妻の戸籍の筆頭者			妻の戸籍の筆頭者				
	妻の父の氏名			妻の父の氏名				
	妻の母の氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄コード			妻の父母との続柄コード				
	妻の住所コード			妻の住所				
	妻の住所地番							
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	氏区分			氏区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	夫の初再婚区分			夫の初･再婚区分				
	夫の離死別日			夫の離死別日				
	妻の初再婚区分			妻の初･再婚区分				
	妻の離死別日			妻の離死別日				
	同一人再婚区分			同一人再婚区分				
	婚姻成立年月日			成立年月日				
	証書提出日			証書提出日				
	婚姻の方式			婚姻の方式				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(婚姻届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(夫))
  - 4.1 身分事項(除籍)
  - 4.2 身分事項(入籍)
  - 4.3 身分事項(変動なし)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(妻))
  - 5.1 身分事項(除籍)
  - 5.2 身分事項(入籍)
  - 5.3 身分事項(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 夫
  - 6.2 妻
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 7.1 夫
  - 7.2 妻

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する				[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]	/				
	(5)夫は本籍人である(YES,NO)				/				
	YES	(6)夫の戸籍変動をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/				
		身分事項(除籍)	(7)夫の除籍事項の編集	[4.1]	/				
		身分事項(入籍)	(8)夫の入籍事項の編集	[4.2]	/				
		身分事項(変動なし)	(9)夫の変動なし事項の編集	[4.3]	/				
		(9-1)夫は在外選挙人である(YES,NO)			/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理　(9-1)(9-2)	
		YES	(9-2)夫について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[7.1]	/				
		NO	(10)→(11)		/				
	NO								
	(11)妻は本籍人である(YES,NO)				/				
	YES	(12)妻の戸籍変動をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/				
		身分事項(除籍)	(13)妻の除籍事項の編集	[5.1]	/				
		身分事項(入籍)	(14)妻の入籍事項の編集	[5.2]	/				
		身分事項(変動なし)	(15)妻の変動なし事項の編集	[5、3]	/				
		(15-1)妻は在外選挙人である(YES,NO)			/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理　(15-1)(15-2)	
		YES	(15-2)妻について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[7.2]	/				
		NO	(16)→(17)		/				
	NO								
	(17)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/				
	YES	(18)夫の外人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)			/				
		YES	(19)夫について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[6.1]	/				
		NO	(20)		/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
		(21)妻の外人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)		/				
	YES	(22)妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [6.2]			(23)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
	NO							
PF1	→				(24)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(25)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(26)審査に制御を渡す			
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(28)前ページ分の確認画面(婚姻届)を編集する			(29)同画面を編集する			
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(32)次ページ分の確認画面(婚姻届)を編集する			(33)同画面を編集する			
	NO	(34)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(35)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(36)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(37)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	1.0　確認画面(婚姻届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
婚姻届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No.		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No.			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届出区分			届区分				
	夫の外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の外人区分				
	夫の筆頭者区分			夫の筆頭者区分		有		
	夫の筆頭者区分名称							
	夫の本･非本			夫の本非区分				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	夫のカナ氏名			夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所			夫の住所コード				
				夫の住所地番				
	夫の本籍			夫の本籍コード				
				夫の本籍地番				
	夫の世帯主			夫の世帯主				
	夫の戸籍の筆頭者			夫の戸籍の筆頭者				
	夫の父の氏名			夫の父の氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	1.0　確認画面(婚姻届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	夫の母の氏名			夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄コード			夫の父母との続柄コード		有		
	夫の父母との続柄名称							
	妻の外人区分			妻の外人区分				
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分		有		
	妻の筆頭者区分名称							
	妻の本･非本			妻の本非区分				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の住所			妻の住所コード				
				妻の住所地番				
	妻の本籍			妻の本籍コード				
				妻の本籍地番				
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の戸籍の筆頭者			妻の戸籍の筆頭者				
	妻の父の氏名			妻の父の氏名				
	妻の母の氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄コード			妻の父母との続柄コード		有		
	妻の父母との続柄名称							
	氏区分			氏区分		有		
	氏区分名称							
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	夫の初･再婚区分			夫の初再婚区分		有		
	夫の初･再婚区分名称							
	夫の離死別日			夫の離死別日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	1.0　確認画面(婚姻届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	妻の初･再婚区分コード			妻の初再婚区分		有		
	妻の初･再婚区分名称							
	妻の離死別日			妻の離死別日				
	同一人再婚区分			同一人再婚区分		有		
	同一人再婚区分名称							
	成立年月日			婚姻成立年月日				
	証書提出日			証書提出日				
	婚姻の方式			婚姻の方式				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		夫の父母(養父母)の戸籍		妻の父母(養父母)の戸籍		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	A.1 B.1 C.1 D.1
1	○			○			○	○			○			○	○			○	○		夫(4.1) 妻(5.1)												夫(4.2) 妻(5.2)
2	○			○			○	○			○			○	○			○		○	夫(4.1) 妻(5.1)												
3	○			○			○		○		○			○		○		○	○			夫(4.1) 妻(5.1)											夫(4.2) 妻(5.2)
4	○			○			○		○		○			○		○		○		○		夫(4.1) 妻(5.1)											
5	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－			○														夫(4.2) 妻(5.2)
6	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－				○													
7		○		○			○	○			○			○	○			○	○		妻(5.1) 夫(4.1)												妻(5.2) 夫(4.2)
8		○		○			○	○			○			○	○			○		○	妻(5.1) 夫(4.1)												
9		○		○			○		○		○			○		○		○	○			妻(5.1) 夫(4.1)											妻(5.2) 夫(4.2)
10		○		○			○		○		○			○		○		○		○		妻(5.1) 夫(4.1)											
11		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－			○														妻(5.2) 夫(4.2)
12		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－				○													
13	○			○		○		－	－		○		○		○												妻(5.2)	夫(4.3)	妻(5.1)				

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		母の戸籍～（養父母）		母）の戸籍（養父母）		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	除籍	一部 C.2	記載	一部 C.1 D.1	変動なし	除籍	全部 A.2 B.2 C.2	記載	一部 C.1 D.1	変動なし	A.1 B.1 C.1 D.1
14	○			○		○		－	－		○		○			○													妻(5.2)	夫(4.3)		妻(5.1)			
15	○			○		○		－	－		○			○	○								妻(5.1)					妻(5.2)	夫(4.3)					
16	○			○		○		－	－		○			○		○								妻(5.1)				妻(5.2)	夫(4.3)					
17	○			○		○		－	－			○	－	－	－	－													妻(5.2)	夫(4.3)					
18	○			○			○	○			○		○		○				○		夫(4.1)			妻(5.1)										夫(4.2) 妻(5.2)
19	○			○			○	○			○		○		○					○	夫(4.1)		妻(5.1)											
20	○			○			○	○			○		○			○			○		夫(4.1)			妻(5.1)										夫(4.2) 妻(5.2)
21	○			○			○	○			○		○			○				○	夫(4.1)			妻(5.1)										
22	○			○			○		○		○		○		○				○			夫(4.1)	妻(5.1)											夫(4.2) 妻(5.2)
23	○			○			○		○		○		○		○					○		夫(4.1)	妻(5.1)											
24	○			○			○		○		○		○			○			○			夫(4.1)		妻(5.1)										夫(4.2) 妻(5.2)
25	○			○			○		○		○		○			○				○		夫(4.1)		妻(5.1)										
26	○			○			○	○			○			○	○				○		夫(4.1)		妻(5.1)											夫(4.2) 妻(5.2)
27	○			○			○	○			○			○	○					○	夫(4.1)		妻(5.1)											
28	○			○			○	○			○			○		○			○		夫(4.1)			妻(5.1)										夫(4.2) 妻(5.2)
29	○			○			○	○			○			○		○				○	夫(4.1)			妻(5.1)										

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		夫の父母(養父母)の戸籍		妻の父母(養父母)の戸籍		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	A.1 B.1 C.1 D.1
30	○			○			○		○		○			○	○				○			夫(4.1)	妻(5.1)										夫(4.2) 妻(5.2)
31	○			○			○		○		○			○	○					○		夫(4.1)	妻(5.1)										
32	○			○			○		○		○			○		○			○			夫(4.1)		妻(5.1)									夫(4.2) 妻(5.2)
33	○			○			○		○		○			○		○				○		夫(4.1)		妻(5.1)									
34	○			○			○	○				○	－	－	－	－			○		夫(4.1)												夫(4.2) 妻(5.2)
35	○			○			○	○				○	－	－	－	－				○	夫(4.1)												
36	○			○			○		○			○	－	－	－	－			○			夫(4.1)											夫(4.2) 妻(5.2)
37	○			○			○		○			○	－	－	－	－				○		夫(4.1)											
38	○				○	－	－	－	－		○			○	○				○				妻(5.1)										夫(4.2) 妻(5.2)
39	○				○	－	－	－	－		○			○	○					○			妻(5.1)										
40	○				○	－	－	－	－		○			○		○			○					妻(5.1)									夫(4.2) 妻(5.2)
41	○				○	－	－	－	－		○			○		○				○				妻(5.1)									
42		○		○		○		○			○		○		－	－									夫(4.1)						夫(4.2)	妻(5.3)	
43		○		○		○			○		○		○		－	－										夫(4.1)					夫(4.2)	妻(5.3)	
44		○		○			○	○			○		○		－	－					夫(4.1)										夫(4.2)	妻(5.3)	
45		○		○			○		○		○		○		－	－						夫(4.1)									夫(4.2)	妻(5.3)	
46		○			○	－	－	－	－		○		○		－	－															夫(4.2)	妻(5.3)	

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		夫の父母(養父母)の戸籍		妻の父母(養父母)の戸籍		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	A.1 B.1 C.1 D.1
47		○		○		○		○			○			○	○				○				妻(5.1)		夫(4.1)								妻(5.2) 夫(4.2)
48		○		○		○		○			○			○	○					○			妻(5.1)		夫(4.1)								
49		○		○		○			○		○			○	○				○				妻(5.1)			夫(4.1)							妻(5.2) 夫(4.2)
50		○		○		○			○		○			○	○					○			妻(5.1)			夫(4.1)							
51		○		○		○		○			○			○		○			○					妻(5.1)	夫(4.1)								妻(5.2) 夫(4.2)
52		○		○		○		○			○			○		○				○				妻(5.1)	夫(4.1)								
53		○		○		○			○		○			○		○			○					妻(5.1)		夫(4.1)							妻(5.2) 夫(4.2)
54		○		○		○			○		○			○		○				○				妻(5.1)		夫(4.1)							
55		○		○			○	○			○			○	○				○		夫(4.1)		妻(5.1)										妻(5.2) 夫(4.2)
56		○		○			○	○			○			○	○					○	夫(4.1)		妻(5.1)										
57		○		○			○		○		○			○	○				○			夫(4.1)	妻(5.1)										妻(5.2) 夫(4.2)
58		○		○			○		○		○			○	○					○		夫(4.1)	妻(5.1)										
59		○		○			○	○			○			○		○			○		夫(4.1)			妻(5.1)									妻(5.2) 夫(4.2)
60		○		○			○	○			○			○		○				○	夫(4.1)			妻(5.1)									
61		○		○			○		○		○			○		○			○			夫(4.1)		妻(5.1)									妻(5.2) 夫(4.2)

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		夫の戸籍						妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外	母の戸籍（養父母）		夫の父母の戸籍（養父母）								
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者						除籍	一部	除籍	全部	除籍	一部	除籍	全部	除籍	一部	変動なし	除籍	一部	除籍	全部	除籍	一部	変動なし	A.1 B.1 C.1 D.1
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無						C.2		A.2 B.2 C.2		C.2		A.2 B.2 C.2		C.1 D.1			A.2 B.2 C.2		C.1 D.1		
62		○		○			○		○		○			○		○				○		夫(4.1)		妻(5.1)												
63		○			○	－	－	－	－		○			○	○				○				妻(5.1)												妻(5.2) 夫(4.2)
64		○			○	－	－	－	－		○			○	○					○			妻(5.1)												
65		○			○	－	－	－	－		○			○		○			○					妻(5.1)										妻(5.2) 夫(4.2)
66		○			○	－	－	－	－		○			○		○				○				妻(5.1)											
67		○		○			○	○				○	－	－	－	－			○		夫(4.1)														妻(5.2) 夫(4.2)
68		○		○			○	○				○	－	－	－	－				○	夫(4.1)													
69		○		○			○		○			○	－	－	－	－			○			夫(4.1)												妻(5.2) 夫(4.2)
70		○		○			○		○			○	－	－	－	－				○		夫(4.1)												
71			○	○		○		－	－								○												夫(4.3)					
72			○	○			○	○									○		○			夫(4.1)												夫(4.2)
73			○	○			○	○									○			○		夫(4.1)												
74			○	○			○		○								○		○				夫(4.1)											夫(4.2)
75			○	○			○		○								○			○			夫(4.1)											
76			○		○	－	－	－	－								○		○															夫(4.2)
77			○		○	－	－	－	－								○			○														
78			○							○	○		○		－	－																		妻(5.3)
79			○							○	○			○	○				○				妻(5.1)											妻(5.2)
80			○							○	○			○	○					○			妻(5.1)											

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		夫の父母(養父)～母の戸籍				妻の父母(養父)～母の戸籍		夫の戸籍					妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外	除籍	一部	除籍	全部	除籍	一部	除籍	全部	除籍	一部	記載	なし変動	除籍	一部	除籍	全部	記載	一部	なし変動	A.1 B.1 C.1 D.1
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																						
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					C.2		A.2 B.2 C.2		C.2		C.2		A.2 B.2 C.2		C.1 D.1			C.2		A.2 B.2 C.2	C.1 D.1		
81			○							○	○			○		○			○					妻(5.1)												妻(5.2)
82			○							○	○			○		○				○				妻(5.1)												
83			○							○		○	－	－	－	－			○																	
84			○							○		○	－	－	－	－				○																	
85										○							○																			
86	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－																				
87		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－																				
88	○				○	－	－	－	－		○		○		○				○													妻(5.1)				夫(4.2) 妻(5.2)
89	○				○	－	－	－	－		○		○		○					○												妻(5.1)				
90	○				○	－	－	－	－		○		○			○			○														妻(5.1)			夫(4.2) 妻(5.2)
91	○				○	－	－	－	－		○		○			○				○													妻(5.1)			
92		○		○		○		○				○	－	－	－	－			○									夫(4.1)								妻(5.2) 夫(4.2)
93		○		○		○		○				○	－	－	－	－				○								夫(4.1)								
94		○		○		○			○			○	－	－	－	－			○										夫(4.1)							妻(5.2) 夫(4.2)
95		○		○		○			○			○	－	－	－	－				○									夫(4.1)							
96			○		○	－	－	－	－								○																			
97			○							○		○	－	－	－	－																				
98	○				○	－	－	－	－		○			○	○							妻(5.1)														
99	○				○	－	－	－	－		○			○		○							妻(5.1)													

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(婚姻届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製		夫の父母(養父母)の戸籍		妻の父母(養父母)の戸籍		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製
	夫	妻	変動なし	日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外													
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者																		
				本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無					除籍一部 C.2	除籍全部 A.2 B.2 C.2	除籍一部 C.2	除籍全部 A.2 B.2 C.2	除籍一部 C.2	除籍全部 A.2 B.2 C.2	記載一部 C.1 D.1	変動なし	除籍一部 C.2	除籍全部 A.2 B.2 C.2	記載一部 C.1 D.1	変動なし	A.1 B.1 C.1 D.1
100		○		○			○	○				○	－	－	－	－					夫(4.1)												
101		○		○			○		○			○	－	－	－	－						夫(4.1)											
102	○				○	－	－	－	－		○		○		○														妻(5.1)				
103	○				○	－	－	－	－		○		○			○														妻(5.1)			
104		○		○		○		○				○	－	－	－	－									夫(4.1)								
105		○		○		○			○			○	－	－	－	－										夫(4.1)							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							「0901」をセット
	受付日			送付日 受領日				送付日≠空白の時、送付日 送付日=空白の時、受領日
	事件発生日			婚姻成立年月日				報告区分=2の時、移送
	事件発生時分							ZERO
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				0:日本人 1:渉外 2:外国人
	証書提出区分							婚姻の方式≠スペースのとき、1 上記以外は、0(届出)
	発送日			送付日				
	郵送日			郵送日				
	発日							ZEROをセット
	収日							ZEROをセット
	指示日							ZEROをセット
	許可日							ZEROをセット
	関連受領番号							ZEROをセット
	届出人資格区分1							届出人資格区分には、「ZERO」 届出人資格名称には、「SPACE」 届出人氏名には、「SPACE」
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届後本籍区分							新本籍地番≠スペースの場合2(新戸籍編製)を設定 それ以外は設定不要
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者						新本籍地番 ＝ スペースの場合、未設定 新本籍地番 ≠ スペースの場合、	
							氏区分 / 夫の外人区分 / 妻の外人区分 / 設定内容	
							1 / － / － / 夫の漢字氏名	
							2 / － / － / 妻の漢字氏名	
							3 / 0 / 1 / 夫の漢字氏名	
							/ 1 / 0 / 妻の漢字氏名	
	送達確認1							届後本籍が非本　かつ 在外送付区分=0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分							本非区分=1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				該当データーは事件本人の人数分作成
	行番号							
	事件本人区分							夫の時、「12」を 妻の時、「13」をセット

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人区分							夫の時、届出区分=2:報告　かつ 夫の外人区分=1:外国人　かつ 妻の外人区分=0:日本人の場合、 「0:なし」を設定 妻の時、届出区分=2:報告　かつ 妻の外人区分=1:外国人　かつ 夫の外人区分=0:日本人の場合、 「0:なし」を設定 上記以外は「1:事件本人が届出人」を設定
	カナ氏名							夫の時、夫のカナ氏名 妻の時、妻のカナ氏名
	漢字氏名							夫の時、夫の漢字氏名 妻の時、妻の漢字氏名
	生年月日							夫の時、夫の生年月日 妻の時、妻の生年月日
	本籍コード							夫の時、夫の本籍コード 妻の時、妻の本籍コード
	本籍							夫の時、夫の本籍地番 妻の時、妻の本籍地番
	筆頭者							夫の時、夫の筆頭者 妻の時、妻の筆頭者
	送達確認2							事件本人の現本籍が、 (本非区分=2)　かつ (在外送付区分=0)の場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

*事件本人情報の出力順位は、氏を改めない者を先に出力する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	4.1　身分事項(夫･除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の死亡日							
		配偶者の国籍			妻の本籍地番				妻が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			妻の生年月日				妻が外国人の時、当該項目を移送
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所							
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日							
		届書提出者	資格						
			氏名						
		届書提出者	資格						
			氏名						
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(婚姻届)						
処理名	4.1　身分事項(夫･除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従戸前籍 本籍							
		従戸前籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍地番				新戸籍編製の時、セット
		称する氏			氏区分				
		入戸籍籍 本籍			妻の本籍地番				配偶者の戸籍に入籍する時、セット
		入戸籍籍 筆頭者			妻の筆頭者				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･妻死亡後受理、死亡後受理 ･妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 2のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	4.2 身分事項(夫･入籍) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の死亡日							
		配偶者の国籍			妻の本籍地番				妻が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			妻の生年月日				妻が外国人の時、当該項目を移送
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所							
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日							
		届書提出者	資格						
			氏名						
		届書提出者	資格						
			氏名						
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	4.2　身分事項(夫･入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			夫の本籍地番				
		従戸前籍 筆頭者			夫の筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		入戸籍籍 本籍							
		入戸籍籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･妻死亡後受理、死亡後受理 ･婚姻により国籍取得 (取得の際の国籍xxxxxx) ･妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 2のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	4.3　身分事項(夫･変動なし)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の死亡日							
		配偶者の国籍			妻の本籍地番				妻が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			妻の生年月日				妻が外国人の時、当該項目を移送。
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所							
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日							
		届書提出者	資格						
			氏名						
		届書提出者	資格						
			氏名						
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	4.3　身分事項(夫･変動なし)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従戸前籍 本籍							
		従戸前籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍				-			
		称する氏							
		入戸籍籍 本籍							
		入戸籍籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･妻死亡後受理、死亡後受理 ･妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 2のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	5.1　身分事項(妻･除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	妻の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日							
		配偶者氏名			夫の漢字氏名				
		配偶者の死亡日							
		配偶者の国籍			夫の本籍地番				夫が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			夫の生年月日				夫が外国人の時、当該項目を移送
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所							
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日							
		届書提出者	資格						
			氏名						
		届書提出者	資格						
			氏名						
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	5.1　身分事項(妻・除籍)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍地番				新戸籍編製の時、セット
		称する氏			氏区分				
		入戸籍籍 本籍			夫の本籍				配偶者の戸籍に入籍する時、セット
		入戸籍籍 筆頭者			夫の筆頭者				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							・(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・夫死亡後受理、死亡後受理 ・夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ・民法733条フラグ ＝ 1のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	5.2　身分事項(妻･入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	妻の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日							
		配偶者氏名			夫の漢字氏名				
		配偶者の死亡日							
		配偶者の国籍			夫の本籍地番				夫が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			夫の生年月日				夫が外国人の時、当該項目を移送
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所							
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日							
		届書提出者	資格						
			氏名						
		届書提出者	資格						
			氏名						
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)								
処理名	5.2　身分事項(妻･入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者			処理日				
	入籍	入籍日			妻の本籍地番				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			妻の筆頭者				
		従戸前籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		入戸籍籍 本籍							
		入戸籍籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･夫死亡後受理、死亡後受理 ･婚姻により国籍取得 (取得の際の国籍xxxxxx) ･夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 1のとき、 「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	5.3　身分事項(妻・変動なし)　編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	妻の個人番号				(決裁処理で付番)
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立年月日 受領日				婚姻成立年月日≠空白の時、 婚姻成立年月日 婚姻成立年月日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日							
		配偶者氏名			夫の漢字氏名				
		配偶者の死亡日							
		配偶者の国籍			夫の本籍地番				夫が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			夫の生年月日				夫が外国人の時、当該項目を移送
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所							
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日							
		届書提出者	資格						
			氏名						
		届書提出者	資格						
			氏名						
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

データ編集表					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)									
処理名	5.3　身分事項(妻・変動なし)　編集・出力									
受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目				DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		入戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日				処理日				
	特記	特記事項								・(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・夫死亡後受理、死亡後受理 ・夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ・民法733条フラグ ＝ 1のとき、「民法第733条第2項」を記録する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	6.1　9条2項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			夫の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							09(婚姻届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 妻の氏+夫の名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の氏+夫の名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			夫の本籍コード				
	旧本籍			夫の本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の筆頭者				
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			夫の世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	6.1　9条2項(夫)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	6.2　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			妻の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							09(婚姻届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 夫の氏+妻の名				氏区分=1の時、夫の氏 + 妻の名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍ち				
	旧本籍コード			妻の本籍コード				
	旧本籍			妻の本籍ち				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧筆頭者			妻の筆頭者				
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			妻の世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	6.2　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル表示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	7.1　30条の13第1項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					09(婚姻届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 妻の氏+夫の名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の氏+夫の名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							
	旧性別							夫の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			夫の本籍コード				
	旧本籍			夫の本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の筆頭者				
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル表示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(婚姻届)							
処理名	7.2　30条の13第1項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					09(婚姻届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 夫の氏+妻の名				氏区分=1の時、夫の氏 + 妻の名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							
	旧性別							妻の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			妻の本籍コード				
	旧本籍			妻の本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧筆頭者			妻の筆頭者				
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

9.離婚届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	－	「離婚届」	条文等の見直し等による修正 ・法令を通則法に変更 3.0審査を修正 ・「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更 入力確認の該当仕様書を修正
2		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13

作業名	離婚届

1.離婚業務処理範囲外の処理

(1)改正国籍法施行中(昭和60年1月1日より前)外国人と婚姻しかつ(養)親の戸籍に往籍する者の離婚届。

(2)離婚事件本人と同一戸籍でない未成年者の親権指定処理。

(3)離婚届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の離婚届。

(4)実方の戸籍が法107条1項等により氏の変更を行っていた時に、その戸籍には復籍せずに申出により新戸籍を編製する場合。

(5)渉外婚姻の場合に外国人のみから証書提出された離婚届。

(6)外国の方式で離婚したときに未成年者の親権が外国法で共同親権となる場合。

(7)離婚と同時に法77条の2届出をした場合。

(8)事件本人の成年後見人から報告的離婚届出がされた場合。

(9)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。
※標準仕様書では戸籍変動区分が「変動無し」以外の場合関連チェック(No.18)で、戸籍変動区分が「変動無し」の場合は戸籍編製エラーとなる。

上記(1)～(6)、(8)、(9)は、審査結果入力で処理を行う。
上記(7)は、別届書番号(別メニュー)で処理を行う。

2.離婚届入力画面の意義

(1)その1画面:離婚をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

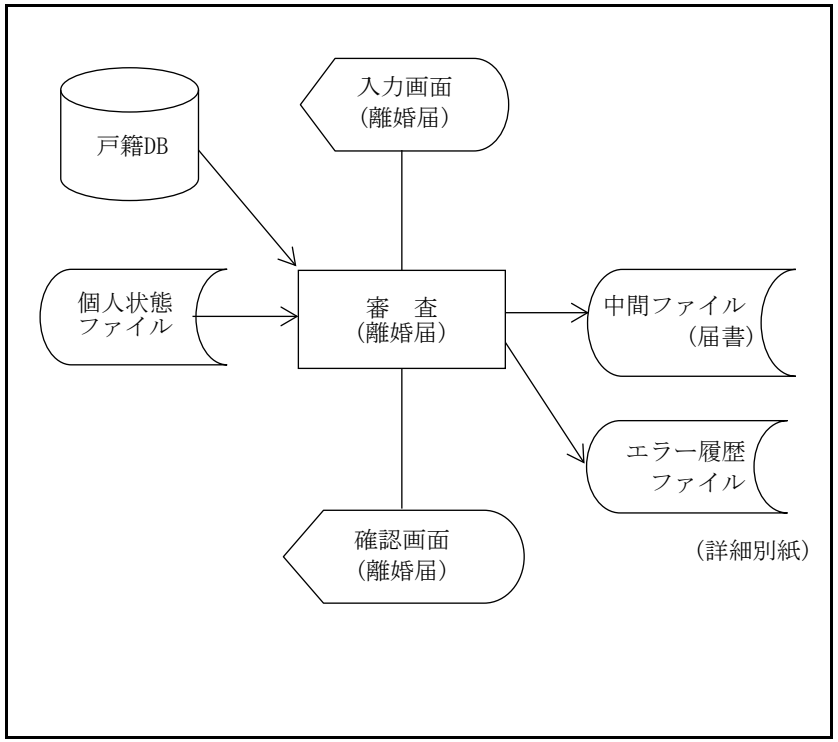
(2)その2画面:離婚種別及び婚前に戻る者等の各項目を入力する。

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	2021/3/31	版	R2.1
作業名	審査(離婚届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)離婚届の内容を入力する
(2)離婚届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)離婚届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)離婚届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(離婚届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出期間について
・離婚の成立日･確定日+10が閉庁日の場合は、翌開庁日とする。

R2.1(離婚118)

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(離婚届)									

処理名	0.0　本紙							備考
(1)届書内容を画面入力する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)						/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)				[1.0]	/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)			[2.0]	/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)		[3.0]	/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力	[4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/		
				審査エラー (10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する					
	NO							
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(離婚届)を編集する					(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する						
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(離婚届)を編集する					(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する						
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する							
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(離婚届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No.		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No.		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	動態区分	○	数字	(0:不要、1:要)であること			
11	届出区分	○	数字	(1:創設的届出、2:報告的届出)であること			
12	夫の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
13	夫の国籍		漢字				
14	夫の筆頭者区分		英数	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
15	夫のカナ氏名	○	カナ				
16	夫の漢字氏名	○	漢字				
17	夫の住所		漢字				
18	夫の世帯主		漢字				
19	夫の父の氏名		漢字				
20	夫の母の氏名		漢字				
21	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男、11:長男～29:十九男)であること			
22	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
23	夫の転婚区分		数字	(0:無、1:有)であること			
24	妻の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
25	妻の国籍		漢字				
26	妻の筆頭者区分		英数	(0:構成員、1:筆頭者)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(離婚届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(離婚届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	妻のカナ氏名	○	カナ				
28	妻の漢字氏名	○	漢字				
29	妻の住所		漢字				
30	妻の世帯主		漢字				
31	妻の父の氏名		漢字				
32	妻の母の氏名		漢字				
33	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女、31:長女～49:十九女)であること			
34	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	妻の転婚区分		数字	(0:無、1:有)であること			
36	本籍		漢字				
37	筆頭者		漢字				
38	離婚の種別区分	○	数字	(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
39	離婚の申立人区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
40	離婚の成立･確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
41	戸籍変動区分	○	数字	(1:元の戸籍に戻る(夫)、2:新戸籍編製(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻)、4:新戸籍編製(妻)、5:変動なし)であること			
42	新本籍		漢字				
43	新筆頭者		漢字				
43-2	戻る戸籍の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
43-3	届後の戸籍の配偶者区分		数字	(0:未、3:生存配偶者)であること			
44	称する氏		漢字				
45	外国離婚方式		漢字				
46	裁判所所在国		漢字				
47	外国裁判所名		漢字				
48	親権指定者の有無	○	数字	(0:無し、1:有り)であること			
49	未成年の子の人数		数字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(離婚届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(離婚届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	届出人資格1		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
51	届出人資格2		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
52	未成年者nのカナ氏名		カナ				No.52～No.61の項目は複数存在する
53	未成年者nの漢字氏名		漢字				
54	未成年者nの父の氏名		漢字				
55	未成年者nの母の氏名		漢字				
56	未成年者nの父母との続柄		数字	(10:男、11:長男～29:十九男、30:女、31:長女～49:十九女)であること			
57	未成年者nの生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
58	未成年者nの養父の氏名		漢字				
59	未成年者nの養母の氏名		漢字				
60	未成年者nの養父母との続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			
61	未成年者nの親権者区分		数字	(1:父、2:母、3:養父、4:養母)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時、 (No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
10	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)の時、 (No.10)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
12	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
14	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.13)夫の国籍 ＝ スペース　かつ　(No.22)夫の生年月日 ＝ 和暦であること			
14-1	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.16)夫の漢字氏名 ＝ (No.37)筆頭者であること			
15	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.13)夫の国籍 ≠ スペース　かつ　(No.22)夫の生年月日 ＝ 西暦であること			
16	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.25)妻の国籍 ＝ スペース　かつ　(No.34)妻の生年月日 ＝ 和暦であること			
16-1	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.28)妻の漢字氏名 ＝ (No.37)筆頭者であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.25)妻の国籍 ≠ スペース　かつ　(No.34)妻の生年月日 ＝ 西暦であること			
18	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人)　又は　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.41)戸籍変動区分 ＝ 5(変動なし)　かつ　(No.42)新本籍 ＝ スペース　かつ (No.43)新筆頭者 ＝ スペースであること			
18-1	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.36)本籍 ＝ スペース　かつ　(No.37)筆頭者 ＝ スペースであること			
18-2	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人)　又は　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.36)本籍 ≠ スペース　かつ　(No.37)筆頭者 ≠ スペースであること			
19	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)　かつ　(No.45)外国離婚方式 ＝ スペースの時、 (No.39)離婚の申立人区分 ＝ スペース　かつ　(No.40)離婚の成立･確定日 ＝ スペース　かつ (No.50)届出人資格1 ≠ スペース　かつ　(No.51)届出人資格2 ≠ スペースであること			
19-2	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)　かつ　(No.45)外国離婚方式 ≠ スペースの時、 (No.39)離婚の申立人区分 ＝ スペース　かつ　(No.40)離婚の成立･確定日 ≠ スペース　かつ (No.50)届出人資格1、(No.51)届出人資格2いずれかに入力があること			
20	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)の時、 ((No.39)離婚の申立人区分 ≠ スペース　かつ　(No.40)離婚の成立･確定日 ≠ スペース)　かつ ((No.50)届出人資格1、(No.51)届出人資格2一方が ≠ ZERO　かつ　他方が ＝ ZERO)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
21	(No.42)新本籍 ＝ スペースの時、(No.43)新筆頭者 ＝ スペースであること			
22	(No.48)親権指定者の有無 ＝ 1(有り)の時、(No.49)未成年の子の人数 ＞ 0であること			
23	(No.49)未成年の子の人数 ＝ 0の時、 (No.48)親権指定者の有無 ＝ 0(無し)　かつ (No.52)未成年者のカナ氏名n～(No.61)未成年者の親権者区分nが全てスペースであること			22版で見直し
24	(No.49)未成年の子の人数 ＞ 0の時、 (No.52)未成年者のカナ氏名n ≠ スペース　かつ　(No.53)未成年者の漢字氏名n ≠ スペース　かつ (No.56)未成年者の父母との続柄n ≠ スペース　かつ (No.57)未成年者の生年月日n ≠ スペースであること			22版で見直し
24-1				22版で削除
24-2				22版で削除
24-3				22版で削除
25	(No.60)未成年者の養父母との続柄n ≠ スペースの時、 (No.58)未成年者の養父氏名n ≠ スペース　又は (No.59)未成年者の養母氏名n ≠ スペースであること			22版で見直し

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	(No.60)未成年者の養父母との続柄n ＝ スペースの時、 (No.58)未成年者の養父氏名n ＝ スペース　かつ (No.59)未成年者の養母氏名n ＝ スペースであること			
27	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 1の時、(No.54)未成年者の父氏名n ≠ スペースであること			
28	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 2の時、(No.55)未成年者の母氏名n ≠ スペースであること			
29	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 3の時、(No.58)未成年者の養父氏名n ≠ スペースであること			
30	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 4の時、(No.59)未成年者の養母氏名n ≠ スペースであること			
31	(No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.45)外国離婚方式 ＝ スペースであること			
31-1	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時、 (No.38)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)　又は (No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.45)外国離婚方式 ≠ スペースであること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
32	(N0.12)夫の外国人区分 ＝ 0の時、(No.14)夫の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
33	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0の時、(No.26)妻の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
34	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.12)夫の外国人区分 ＝ 0　又は　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)であること			
35				
35-1	(No.46)裁判所所在国 ＝ スペースの時、 (No.47)外国裁判所名 ＝ スペースであること			
35-2	(No.46)裁判所所在国 ≠ スペースの時、 (No.47)外国裁判所名 ≠ スペースであること			
35-3	(No.45)外国離婚方式 ≠ スペースの時、 (No.46)裁判所所在国 ＝ スペース　かつ　(No.47)外国裁判所名 ＝ スペースであること			
35-4	(No.46)裁判所所在国 ≠ スペース　かつ　(No.47)外国裁判所名 ≠ スペースの時、 (No.45)外国離婚方式 ＝ スペースであること			
36	(No.44)称する氏 ≠ スペースの時、 (No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製　(夫))　又は　4(新戸籍編製　(妻))であること			
37	(No.44)称する氏 ≠ スペースの時、 (No.44)称する氏 ＝ (No.43)新筆頭者(氏のみ)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(離婚届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
38	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る （夫)) 又は 3(元の戸籍に戻る （妻)) かつ (No.42)新本籍 ＝ 管内の時、 (No.43-2)戻る戸籍の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.43-3)届後の戸籍の配偶者区分 ≠ スペースであること			
39	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製（夫)) 又は 4(新戸籍編製（妻)) 又は 5(変動なし)の時、 (No.43-2)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ スペース かつ			
40	(No.40)離婚の成立･確定日 ≦ (No.3)受領日であること			
41	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
42	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ (No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
43	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24) 妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) 又は (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
43-1	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.16)夫の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.28)妻の漢字氏名の｢氏｣であること			(No.37)筆頭者の｢氏｣とのチェックは No.14-1、No.16-1
43-2	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ (No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ スペース かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
44	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製(夫))の時、 (No.16)夫の漢字氏名の｢名｣ ＝ (No.43)新筆頭者の｢名｣であること			
45	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 4(新戸籍編製(妻))の時、 (No.28)妻の漢字氏名の｢名｣ ＝ (No.43)新筆頭者の｢名｣であること			
46	(No.17)夫の住所 ＝ スペースの時、(No.18)夫の世帯主 ＝ スペースであること			
47	(No.18)夫の世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)夫の住所 ≠ スペースであること			
48	(No.29)妻の住所 ＝ スペースの時、(No.30)妻の世帯主 ＝ スペースであること			
49	(No.30)妻の世帯主 ≠ スペースの時、(No.29)妻の住所 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考	
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する						(0-2)本紙へ		
YES (0-3)→(0-6)へ					/			R2.1(離婚119)
NO (0-4)→						(0-5)本紙へ		
(0-6)(夫の外国人区分=0:日本人 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) 又は (妻の外国人区分=0:日本人 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力) (YES,NO)					/			R2.1(離婚119)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-8)本紙へ		
	YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(0-11)本紙へ	不受理	
	NO	(0-10)→			/		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-12)→(1)へ				/			
(1)離婚の種別(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)					/		人事訴訟法(H16.4)により、種別:5、6を追加	
1	(1-1)離婚の成立・確定日≠スペースである(YES,NO)				/			
	YES	(1-2)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により離婚が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」 を表示する				(1-3)本紙へ		
		YES	(1-3-1)→(1-11)へ		/			R2.1(離婚117)
		NO	(1-3-2)→			(1-3-3)本紙へ	不受理	
							R2.1版で(1-4)～(1-10)を削除	R2.1(離婚117)
	(1-11)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/			
	0	(1-12)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/			
		0	(1-13)→(43)へ		/			
		1	(1-14)確認メッセージ(YES,NO) 「証書提出は外国人のみからの届出ですか?」を表示する			(1-14-1)本紙へ		
			YES	(1-15)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(1-16)本紙へ	審査結果入力へ	
			NO	(1-17)→(43)へ	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)

処理名	3.0 審査			備考
1	(1-18)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(1-19)確認メッセージ(YES,NO) 「証書提出は外国人のみからの届出ですか?」を表示する		(1-19-1)本紙へ	
YES	(1-20)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(1-21)本紙へ	審査結果入力へ
NO	(1-22)→(43)へ	/		
1	(1-23)エラーメッセージ 「外国人同士が国外で協議離婚した旨の届出は受理できません。」を表示する		(1-24)本紙へ	不受理
NO	(2)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		通則法27・25の規定を準用
0	(3)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		平元.10.2民二3900号通達第2の1・第8の1(1)
0	(4)→(43)へ	/		
1	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「夫の住民票の写が添付されていますか?」を表示する		(6)本紙へ	
YES	(7)→(43)へ	/		
NO	(8)確認メッセージ(YES,NO) 「妻の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?」を表示する		(9)本紙へ	
YES	(10)→(43)へ	/		
NO	(11)エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」を表示する		(12)本紙へ	不受理
1	(13)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「妻の住民票の写が添付されていますか?」を表示する		(15)本紙へ	
YES	(16)→(43)へ	/		
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「夫の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?」を表示する		(18)本紙へ	
YES	(19)→(43)へ	/		
NO	(20)エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」を表示する		(20-1)本紙へ	不受理
1	(21)夫の国籍 ＝ 妻の国籍 である。(YES,NO)	/		
YES	(22)確認メッセージ(YES,NO) 「夫婦の本国法により協議離婚を日本法に従って行えますか?」を表示する		(23)本紙へ	
YES	(23-1)→(43)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)

処理名	3.0 審査		備考
	NO (23-2)エラーメッセージ 「日本法の方式に従って協議離婚はできません。」を表示する	(23-3)本紙へ	不受理
	NO (23-4)確認メッセージ(YES,NO) 「夫婦の住所の登録が明らかになる書類が添付され、常居所が日本ですか?」を表示する	(23-5)本紙へ	
	YES (23-6)→(43)へ	/	
	NO (24)エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」を表示する	(25)本紙へ	不受理
2,3,4,5,6	(26)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/	
0	(27)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/	
0	(28)→(38)へ	/	
1	(29)確認メッセージ(YES,NO) 「妻の国籍を証明するものがありますか?」を表示する	(30)本紙へ	Nのとき、不受理
1	(31)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/	
0	(32)確認メッセージ(YES,NO) 「夫の国籍を証明するものがありますか?」を表示する	(33)本紙へ	Nのとき、不受理
1	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「日本国内で行われた裁判離婚ですか?」を表示する		
YES	(35)→(38)へ	/	
NO	(36)エラーメッセージ 「外国人同士の国外で行われた裁判離婚届は受理できません。」を表示する	(37)本紙へ	通則法27･25の規定を準用
	(38)離婚の種別(2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)	/	
2	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「調停･和解･認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する	(40)本紙へ	戸77･63の規定を準用 Nのとき、不受理 C04013
3	(41)確認メッセージ(YES,NO) 「審判書及び確定証明書がありますか?」を表示する	(41-1)本紙へ	戸77･63の規定を準用 Nのとき、不受理 C03025
4	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「判決の謄本及び確定証明書がありますか?」を表示する	(42-1)本紙へ	戸77･63の規定を準用 Nのとき、不受理 C06011
5	(42-2)確認メッセージ(YES,NO) 「調停･和解･認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する	(42-3)本紙へ	人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
6	(42-4)確認メッセージ(YES,NO) 「調停･和解･認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する	(42-5)本紙へ	人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考
(43)本非区分(1:本籍、2:非本籍)					/		
1	(44)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/		
	0	(45)夫の身分事項に婚姻がある(YES,NO)			/		
		YES	(46)→(54)へ		/		
		NO	(47)エラーメッセージ 「夫に婚姻事項がありません。」を表示する			(48)本紙へ	不受理
		(49)			/		(49)～(52)は削除
			(50)		/		
				(51)		(52)	
	1	(53)→(54)へ			/		
	(54)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/		
	0	(55)妻の身分事項に婚姻がある(YES,NO)			/		
		YES	(56)→(63-1)へ		/		
		NO	(57)エラーメッセージ 「妻に婚姻事項がありません。」を表示する			(58)本紙へ	不受理
		(59)			/		(59)～(62)は削除
			(60)		/		
				(61)		(62)	
	1	(63)→(63-1)へ			/		
2							
(63-1)夫の外国人区分 ＝ 0:日本人(YES,NO)					/		
YES	(63-2)夫の父の氏名 ＝ スペース 又は 夫の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)				/		
	YES	(63-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				(63-4)本紙へ	
		YES	(63-5)→(63-16)へ		/		
		NO	(63-6)→			(63-7)本紙へ	不受理
	NO	(63-8)夫の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考
		YES	(63-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			(63-10)本紙へ	
		YES	YES	(63-11)→(63-16)へ		/	
			NO	(63-12)→		(63-13)本紙へ	不受理
		NO	(63-14)→(63-16)へ			/	
NO	(63-15)→(63-16)へ					/	
(63-16)妻の外国人区分 ＝ 0:日本人(YES,NO)						/	
YES	(63-17)妻の父の氏名 ＝ スペース　又は　妻の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)					/	
	YES	(63-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				(63-19)本紙へ	
		YES	(63-20)→(63-31)へ			/	
		NO	(63-21)→			(63-22)本紙へ	不受理
	NO	(63-23)妻の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)				/	
		YES	(63-24)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			(63-25)本紙へ	
			YES	(63-26)→(63-31)へ		/	
			NO	(63-27)→		(63-28)本紙へ	不受理
		NO	(63-29)→(63-31)へ			/	
NO	(63-30)→(63-31)へ					/	
(63-31)離婚の届出人が夫のみ　かつ　戸籍変動区分 ＝ 4(新戸籍編製(妻))である(YES,NO)						/	【戸籍法30条3項チェック】
YES	(63-32)確認メッセージ(YES,NO) 「妻から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」を表示する					(63-33)本紙へ	(参考)S53.7.22民二第4184号通達 (参考)S55.1.18民二第680号通達
	YES	(63-34)→(64)へ				/	
	NO	(63-35)確認メッセージ(YES,NO)　「妻は従前の戸籍に戻れませんね。」を表示する				(63-36)本紙へ	
		YES	(63-37)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍は妻の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する			(63-38)本紙へ	(参考)S50.4.30民二第2221号民事二課長回答
			YES	(63-39)→(64)へ		/	
			NO	(63-40)→		(63-41)本紙へ	不受理
		NO					
NO	(63-42)→(63-43)へ					/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

									備考
(63-43)離婚の届出人が妻のみ　かつ　戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製(夫))である(YES,NO)							/		【戸籍法30条3項チェック】
YES	(63-44)確認メッセージ(YES,NO) 「夫から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」を表示する							(63-45)本紙へ	(参考)S53.7.22民二第4184号通達 (参考)S55.1.18民二第680号通達
	YES	(63-46)→(64)へ					/		
	NO	(63-47)確認メッセージ(YES,NO)　「夫は従前の戸籍に戻れませんね。」を表示する						(63-48)本紙へ	
		YES	(63-49)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍は夫の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する					(63-50)本紙へ	(参考)S50.4.30民二第2221号民事二課長回答
			YES	(63-51)→(64)へ			/		
			NO	(63-52)→				(63-53)本紙へ	不受理
		NO							
NO	(63-54)→(64)へ						/		
(64)戸籍変動区分 (1:元の戸籍に戻る(夫)、2:新戸籍編製(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻)、4:新戸籍編製(妻)、 5:変動なし)							/		
1,2	(65)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)						/		
	0	(66)夫の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)					/		
		0	(67)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)				/		
			YES	(68)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫)、2:新戸籍編製(夫))			/		
				1	(68-1)審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)へ [3.1]		/		R2.1(誤修正)
					(68-2)→(86)へ		/		
				2	(68-3)→(86)へ		/		
			NO	(69)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する				(70)本紙へ	
		1							
	1								
3,4	(71)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)						/		
	0	(72)妻の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)					/		
		0	(73)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)				/		
			YES	(74)戸籍変動区分(3:元の戸籍に戻る(妻)、4:新戸籍編製(妻))			/		
				3	(74-1)審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)へ [3.1]		/		R2.1(誤修正)
					(74-2)→(86)へ		/		
				4	(74-3)→(86)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考	
			NO	(75)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する		(76)本紙へ		
		1						
	1							
5	(77)夫の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/			
	0	(78)妻の外国人区分(0:日本人、1:外国人)			/			
		0		(79)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する		(80)本紙へ		
		1		(81)→(86)へ	/			
	1							
(86)親権指定処理(未成年の子の人数分繰り返す)					/		民819I	
	(87)親権者指定の有無(0:無、1:有)				/			
	0	(88)離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)> 離婚の成立･確定日　又は、 離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)> 離婚の成立･確定日　又は、 離婚の成立･確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)>受領日　又は、 離婚の成立･確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/		民法改正(2022年4月１日)前は 20歳未満、 民法改正(2022年4月１日)後は 18歳未満で 親権者指定の有無を判定する。	R2.1(離婚116)
		YES	(89)未成年者の親権者区分n=スペース(YES,NO)		/			
			YES	(91)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示する		(92)本紙へ	(90)(93)を削除	R2.1(離婚116)
				YES (93-1)→(86)	/			
				NO (93-2)→		(93-3)本紙へ	不受理	
			NO	(94)エラーメッセージ 「親権者指定の有無に誤りがあります。」を表示する				
		NO	(95)未成年者の親権者区分n ＝ スペース(YES,NO)		/			
			YES	(96)→(86)へ	/			
			NO	(97)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する		(97-1)本紙へ		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.0 審査

							備考	
	1		(98)離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)> 離婚の成立･確定日　又は、 離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)> 離婚の成立･確定日　又は、 離婚の成立･確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)>受領日　又は、 離婚の成立･確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月１日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月１日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する。	R2.1(離婚116)
		YES	(99)未成年者の親権者区分n ＝ スペース(YES,NO)	/				
			YES (101)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示する		(102)本紙へ	(100)(103)を削除	R2.1(離婚116)
			YES (103-1)→(86)	/				
			NO (103-2)→					
		NO	(103-4)(夫の漢字氏名 ＝ 未成年者の父氏名　又は　未成年者の養父氏名) かつ　(妻の漢字氏名 ＝ 未成年者の母氏名　又は　未成年者の養母氏名) (YES,NO)	/				
			YES (104)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1→(86)へ	/				
			NO (104-1)確認メッセージ(YES,NO) 「親権区分nの親権指定は必要ですか?」を表示する		(104-2)本紙へ		R2.1(誤修正)	
			YES (104-3)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1 →(86)へ	/				
			NO (104-4)→		(104-5)本紙へ	不受理※入力誤りであるため。	R2.1(誤修正)	
		NO	(105)未成年者の親権者区分n ＝ スペース(YES,NO)	/				
			YES (106)→(86)へ	/				
			NO (107)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する		(108)本紙へ			
(109)親権指定者の有無(0:無、1:有)				/				
0	(110)→(115)へ			/				
1	(111)未成年者カウント(内部)>0(YES,NO)			/				
	YES	(112)→(115)へ		/				
	NO	(113)エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります(親権指定なし)。」を表示する			(114)本紙へ			
(115)届出区分(1:創設、2:報告)				/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)

処理名	3.0 審査			備考
1	(116)届出人資格1(006:夫、007:妻)	/		創設的届出の場合届出人資格1は必須入力
				標準仕様書第10版で(116-1)～(116-7)を削除
006	(117)届出人資格2(006:夫、007:妻)	/		創設的届出の場合届出人資格2は必須入力
				標準仕様書第10版で(117-1)～(117-4)を削除
006	(118)エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示する		(119)本紙へ	
007	(120)→(152)へ	/		
007	(121)届出人資格2(006:夫、007:妻)	/		創設的届出の場合届出人資格2は必須入力
		/		標準仕様書第10版で(121-1)～(121-4)を削除
006	(122)→(152)へ	/		
007	(123)エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示する		(124)本紙へ	
2		/		(124-1)、(124-8)～(124-11)を削除 R2.1(離婚117)
	(124-2)外国離婚方式=スペースである(YES,NO)	/		日本及び外国の裁判離婚のケース※証書提出は審査不要
YES	(124-3)受領日<離婚の成立・確定日+10日(YES,NO)	/		
YES	(124-4)→(125)へ	/		
NO	(124-5)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する		(124-6)本紙へ	審査続行(応答後(125)へ)
NO	(124-7)→(125)へ	/		
	(125)離婚の申立人区分(1:夫、2:妻、スペース)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(離婚届)

処理名	3.0 審査				備考
1	(126)届出人資格1又は届出人資格2(006:夫、007:妻)		/		
006	(127)→(152)へ				
007	(131)受領日 < 離婚の成立･確定日 + 10日(YES,NO)		/		
	YES	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示する		(133)本紙へ	
		YES (134)→(152)へ	/		
		NO (135)エラーメッセージ 「発収簿処理をして下さい。」を表示する		(136)届出メニューへ	不受理
	NO	(137)→(152)へ	/		NO.138欠番
2	(139)届出人資格1又は届出人資格2(006:夫、007:妻)		/		
006	(140)受領日 < 離婚の成立･確定日 + 10日(YES,NO)		/		
	YES	(141)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示する		(142)本紙へ	
		YES (143)→(152)へ	/		
		NO (144)エラーメッセージ 「発収簿処理をして下さい。」を表示する		(145)届出メニューへ	不受理
	NO	(146)→(152)へ	/		NO.147欠番
007	(148)→(152)へ		/		
スペース	(151)→(152)へ		/		
(152)称する氏 ＝ スペース(YES,NO)			/		
YES	(153)→			(154)届出メニューへ	
NO	(155)確認メッセージ(YES,NO) 「帰化等により、復籍すべき戸籍がないですね。」を表示する				Nのとき、不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.1 復籍先の筆頭者区分･配偶者区分の審査

						備考
(1)新本籍 ＝ 管内である(YES,NO)				/		
YES	(2)戸籍除区分(復籍先) ＝ 0(現戸籍)である。(YES,NO)			/		
	YES	(3)戸籍DB(復籍先)に記録されている者について順次(4)～(9)の処理を繰り返す。		/		
		(4)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である。(YES,NO)		/		
		YES	(5)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である。(YES,NO)	/		
			YES (6)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者がいます。」を表示する		(7)本紙へ	不受理
			NO (8)→(14)へ	/		
		NO	(9)→(3)へ	/		
		(10)→(14)へ		/		
	NO	(11)エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示する			(12)本紙へ	不受理
NO	(13)→(43)へ			/		
(14)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である。(YES,NO)				/		
YES	(15)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻))			/		
	1	(16)新筆頭者の名 ＝ 夫の漢字氏名の名である。(YES,NO)		/		
		YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「夫は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?」を表示する		(18)本紙へ	Nのとき、不受理
		NO	(19)→(32)へ	/		
	3	(20)新筆頭者の名 ＝ 妻の漢字氏名の名である。(YES,NO)		/		
		YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「妻は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?」を表示する		(22)本紙へ	Nのとき、不受理
		NO	(23)→(32)へ	/		
NO	(24)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻))			/		
	1	(25)新筆頭者の名 ＝ 夫の漢字氏名の名である。(YES,NO)		/		
		YES	(26)→(32)へ	/		
		NO	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「夫は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?」を表示する		(28)本紙へ	Nのとき、不受理
	3	(28-1)新筆頭者の名 ＝ 妻の漢字氏名の名である。(YES,NO)		/		
		YES	(29)→(32)へ	/		
		NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「妻は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?」を表示する		(31)本紙へ	Nのとき、不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(離婚届)
処理名	3.1 復籍先の筆頭者区分･配偶者区分の審査

						備考
(32)戸籍除区分(復籍先) ＝ 0(現戸籍)である。(YES,NO)				/		
YES	(33)戸籍DB(復籍先)に記録されている者について順次(34)～(39)の処理を繰り返す。			/		
	(34)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ (配偶者区分 ＝ 1(夫) 又は 2(妻) 又は 3(生存配偶者)である。(YES,NO)			/		
	YES	(35)届後の戸籍の配偶者区分(0:未、3:生存配偶者)		/		
		0	(36)→(33)へ	/		
		3	(37)エラーメッセージ 「戻る戸籍には夫･妻又は生存配偶者が既にいます。」を表示する		(38)本紙へ	
	NO	(39)→(33)へ		/		
	(40)→(43)へ			/		
NO	(41)エラーメッセージ 「戻る戸籍が除籍です。」を表示する				(42)本紙へ	不受理
(43)本籍 ＝ 管内(YES,NO)				/		
YES	(44)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫)、3:元の戸籍に戻る(妻))			/		
	1	(45)夫の身分事項欄に性同一性障害(7003)がある。		/		
		YES	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害の記録があります。戸籍変動分は正しいですか?」を表示する		(47)本紙へ	平成15年法律111号3条により元の戸籍には戻れない Nのとき、不受理
		NO	(47-1)→			
	3	(48)妻の身分事項欄に性同一性障害(7003)がある。		/		
		YES	(49)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害の記録があります。戸籍変動分は正しいですか?」を表示する		(50)本紙へ	平成15年法律111号3条により元の戸籍には戻れない Nのとき、不受理
		NO	(50-1)→			
NO	(50-2)→					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(離婚届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		離婚届入力画面	受領No				
	選択事件コード							「10」を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態				
	届区分			報告				
	渉外区分			夫の外人区分 妻の外人区分				夫の外人区分 / 妻の外人区分 / 渉外区分 0 / 0 / 0 0 / 1 / 1 1 / 0 / 1 1 / 1 / 2
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の場合、夫婦の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(離婚届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は　2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未　1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の個人番号							本籍人の場合、夫の個人番号
	レコード番号		離婚届入力面面					
	夫の外国人区分			夫の外国人区分				
	夫の国籍			夫の国籍				
	夫の筆頭者区分			夫の筆頭者区分				
	夫のカナ氏名			夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所コード			夫の住所				
	夫の住所地番							
	夫の世帯主			夫の世帯主				
	夫の父の氏名			夫の父の氏名				
	夫の母の氏名			夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄コード			夫の父母との続柄				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	夫の転婚区分			夫の転婚区分				
	妻の個人番号							本籍人の場合、妻の個人番号
	妻の外国人区分			妻の外国人区分				
	妻の国籍			妻の国籍				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(離婚届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の住所コード			妻の住所				
	妻の住所地番							
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の父の氏名			妻の父の氏名				
	妻の母の氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄コード			妻の父母との続柄				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	妻の転婚区分			妻の転婚区分				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	離婚の成立確定日			離婚の成立･確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	新筆頭者カナ氏名							
	新筆頭者			新筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍の筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後の戸籍の配偶者区分				
	称する氏			称する氏				
	外国離婚方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				

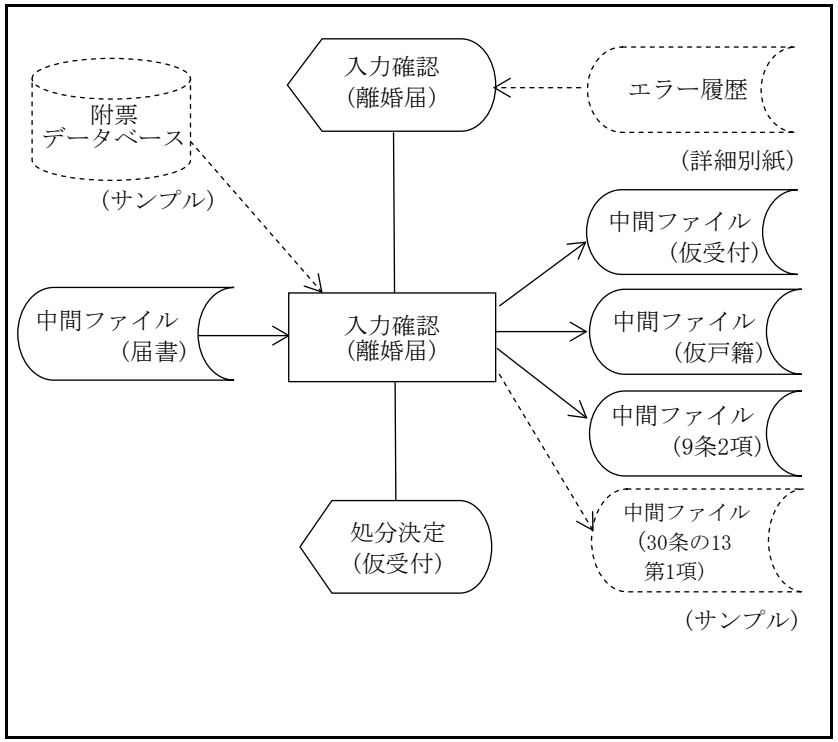
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(離婚届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	未成年者項目 未成年者nのカナ氏名			未成年者項目 未成年者nのカナ氏名				未成年者項目については、複数件数存在する場合がある。
	未成年者nの漢字氏名			未成年者nの漢字氏名				
	未成年者nの父の氏名			未成年者nの父の氏名				
	未成年者nの母の氏名			未成年者nの母の氏名				
	未成年者nの父母との続柄コード			未成年者nの父母との続柄				
	未成年者nの生年月日			未成年者nの生年月日				
	未成年者nの養父の氏名			未成年者nの養父の氏名				
	未成年者nの養母の氏名			未成年者nの養母の氏名				
	未成年者nの養父母との続柄コード			未成年者nの養父母との続柄				
	未成年者nの親権者区分			未成年者nの親権者区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(離婚届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(夫))
  - 4.1 身分事項(除籍)
  - 4.2 身分事項(入籍)
  - 4.3 身分事項(変動なし)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(妻))
  - 5.1 身分事項(除籍)
  - 5.2 身分事項(入籍)
  - 5.3 身分事項(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(子))
  - 6.1 身分事項(変動なし)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 夫
  - 7.2 妻
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 夫
  - 妻

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]					/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合届出ファイルから画面編集をおこなう	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]				/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。 [3.0]				/			
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/			
	YES	(6)夫の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。			/			
		身分事項(除籍)	(7)夫の除籍事項の編集 [4.1]		/			
		身分事項(入籍)	(8)夫の入籍事項の編集 [4.2]		/			
		身分事項(変動なし)	(9)夫の変動なし事項の編集 [4.3]		/			
		(9-1)夫は在外選挙人である(YES,NO)			/			
		YES	(9-2)夫について中間ﾌｧｲﾙ(30条の13第1項)を編集・出力する。 [8.1]		/			
		NO	(9-3)→(10)		/			
		(10)妻の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。			/			
		身分事項(除籍)	(11)妻の除籍事項の編集 [5.1]		/			
		身分事項(入籍)	(12)妻の入籍事項の編集 [5.2]		/			
		身分事項(変動なし)	(13)妻の変動なし事項の編集 [5.3]		/			
		(13-1)妻は在外選挙人である(YES,NO)			/			
		YES	(13-2)妻について中間ﾌｧｲﾙ(30条の13第1項)を編集・出力する。 [8.2]		/			
		NO	(13-3)→(14)		/			
		(14)子の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。			/			
		身分事項(変動なし)	(15)子の変動なし事項の編集 [6.1]		/			
	NO	(16)→(17)			/			
	(17)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/			
	YES	(18)夫の外人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)			/			
		YES	(19)夫について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。 [7.1]		/			
		NO	(20)→(21)		/			
		(21)妻の外人区分 ＝ 0 :日本人である(YES,NO)			/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			入力確認(離婚届)						
処理名			0.0　本紙					備考	
		YES	(22)妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。 [7.2]			(23)処分決定に制御を渡す			
		NO	→						
	NO								
PF1	→					(24)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(25)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(26)審査に制御を渡す			
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/					
	YES	(28)前ページ分の確認画面(離婚届)を編集する				(29)同画面を編集する			
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/					
	YES	(32)次ページ分の確認画面(離婚届)を編集する				(33)同画面を編集する			
	NO	(34)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する							
PF11	→					(35)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(36)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(37)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
離婚届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本･非本			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態			動態区分				
	報告			届出区分				
	夫の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の外国人区分				
	夫の国籍			夫の国籍				
	夫の筆頭者区分			夫の筆頭者区分				
	夫のカナ氏名			夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所			夫の住所コード				
	夫の世帯主			夫の住所地番				
				夫の世帯主				
	夫の父の氏名			夫の父の氏名				
	夫の母の氏名			夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	夫の転婚区分			夫の転婚区分				
	妻の外国国人区分			妻の外国人区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	妻の国籍			妻の国籍				
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の住所			妻の住所コード				
				妻の住所地番				
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の父の氏名			妻の父の氏名				
	妻の母の氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	妻の転婚区分			妻の転婚区分				
	本籍			本籍コード				
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者				
	戻る戸籍の筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後の戸籍の配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	称する氏			称する氏				
	離婚の成立･確定日			離婚の成立確定日				
	外国離婚方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚届)　表示							

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
	外国裁判所名				外国裁判所名					
	親権指定者の有無				親権指定者の有無					
	未成年の子の人数				未成年の子の人数					
	届出人資格1				届出人資格1					
	届出人資格2				届出人資格2					
	未成年者項目n件	未成年者nのカナ氏名			未成年者項目n件	未成年者nのカナ氏名				
		未成年者nの漢字氏名				未成年者nの漢字氏名				
		未成年者nの父の氏名				未成年者nの父の氏名				
		未成年者nの母の氏名				未成年者nの母の氏名				
		未成年者nの父母との続柄				未成年者nの父母との続柄				
		未成年者nの生年月日				未成年者nの生年月日				
		未成年者nの養父の氏名				未成年者nの養父の氏名				
		未成年者nの養母の氏名				未成年者nの養母の氏名				
		未成年者nの養父母との続柄				未成年者nの養父母との続柄				
		未成年者nの親権者区分				未成年者nの親権者区分				

補足説明書			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表							

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人		外国人	日本人		外国人				元の戸籍へ		新戸籍					一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	
	管内	管外	構成			構成			夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無					
			筆頭者	構成員		筆頭者	構成員															
1	○		○				○			○		○					○		妻(5.1)	夫(4.3)	妻(5.2)	
2	○		○				○			○			○				○		妻(5.1)	夫(4.3)		
3	○		○				○			○				○			○		妻(5.1)	夫(4.3)		妻(5.2)
4	○		○				○			○					○		○		妻(5.1)	夫(4.3)		
5	○		○					○			○	－	－	－	－		○			夫(4.3)		
6	○			○		○			○			○					○		夫(4.1)	妻(5.3)	夫(4.2)	
7	○			○		○			○				○				○		夫(4.1)	妻(5.3)		
8	○			○		○			○					○			○		夫(4.1)	妻(5.3)		夫(4.2)
9	○			○		○			○						○		○		夫(4.1)	妻(5.3)		
10	○				○	○					○	－	－	－	－		○			妻(5.3)		
11	－	－			○			○			○	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－
12		○	○				○			○		○					○				妻(5.2)	
13		○	○				○			○			○				○		－	－	－	－
14		○	○				○			○				○			○					妻(5.2)
15		○	○				○			○					○		○		－	－	－	－
16		○	○					○			○	－	－	－	－		○		－	－	－	－
17		○		○		○			○			○					○				夫(4.2)	
18		○		○		○			○				○				○		－	－	－	－
19		○		○		○			○					○			○					夫(4.2)
20		○		○		○			○						○		○		－	－	－	－
21		○			○	○					○	－	－	－	－		○		－	－	－	－
22	○		○				○			○		○				○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)	妻(5.2)	

補足説明書			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表							

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人		外国人	日本人		外国人				元の戸籍へ		新戸籍					一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	
	管内	管外	構成			構成			夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無					
			筆頭者	構成員		筆頭者	構成員															
23	○		○				○			○			○			○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		
24	○		○				○			○				○		○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		妻(5.2)
25	○		○				○			○					○	○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		
26	○		○					○			○	－	－	－	－	○				夫(4.3) 子(6.1)		
27	○			○		○			○			○				○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)	夫(4.2)	
28	○			○		○			○				○			○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		
29	○			○		○			○					○		○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		夫(4.2)
30	○			○		○			○						○	○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		
31	○				○	○					○	－	－	－	－	○				妻(5.3) 子(6.1)		
32		○	○				○			○		○				○					妻(5.2)	
33		○	○				○			○			○			○			－	－	－	－
34		○	○				○			○				○		○						妻(5.2)
35		○	○				○			○					○	○			－	－	－	－
36		○	○					○			○	－	－	－	－	○			－	－	－	－
37		○		○		○			○			○				○					夫(4.2)	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人		外国人	日本人		外国人				元の戸籍へ		新戸籍								
	管内	管外	構成			構成			夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無		一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	
			筆頭者	構成員		筆頭者	構成員															
38		○		○		○			○				○			○			－	－	－	－
39		○		○		○			○					○		○						夫(4.2)
40		○		○		○			○						○	○			－	－	－	－
41		○			○	○					○	－	－	－	－	○			－	－	－	－

ひな型使用時の補足説明
(1)C1:個人特定(入籍)編集
・戸籍変動区分 ＝ 1 OR 3(元の戸籍に戻る)の場合、戻る戸籍での筆頭者区分　→　筆頭者区分
　　届後戸籍での配偶者区分　→　配偶者区分　をそれぞれ設定する
・戸籍変動区分 ＝ 2 OR 4(新戸籍編製)の場合、　1(筆頭者)　→　筆頭者区分
　　0(未)　→　配偶者区分　をそれぞれ設定する
(2)C2:個人特定(記録)編集
・夫および妻の配偶者区分は 0(未)を設定する
　(元の戸籍に戻る場合や新戸籍編製で除籍となる者についても、配偶者区分を設定すること)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成27年 3月1日	版	18
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				離婚届の受領番号
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離婚の種別 ＝ 1の時は、「1001」 離婚の種別 ＝ 2の時は、「1002」 上記以外は、「1003」
	受付日			受領日　又は　送付日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日
	事件発生日			離婚の成立確定日				届出区分 ＝ 2の場合、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							離婚の方式≠スペースの時、 1(証書提出) 以外は0(届出)
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							受領番号 + 1(77条の2届の受領番号)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成27年 3月1日	版	18
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分1			届出人資格1	条件(1-1)離婚の種別＝1(協議)の場合、スペース			
	届出人資格名称1			届出人資格2	(2)離婚の種別≠1(協議)の場合			
	届出人氏名1			夫の漢字氏名	届出人資格1及び届出人氏名1に以下の項目を設定			
	届出人資格区分2			妻の漢字氏名				
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1、3のとき「1」、 2、4のとき「2」、 その他はスペース
	届後本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1、2、3、4の場合に設定する 上記以外はスペース
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							

申立人区分	届出人資格1 or 2	離婚の種別	届出人資格	届出人氏名
1	006	2	「申立人」	夫の氏名
		3、4、5、6	「訴提起者」	夫の氏名
	007	-	「相手方」	妻の氏名
2	006	-	「相手方」	夫の氏名
	007	2	「申立人」	妻の氏名
		3、4、5、6	「訴提起者」	妻の氏名

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成27年 3月1日	版	18
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	事件本人区分							夫の場合、12(夫) 妻の場合、13(夫)
	届出人区分			離婚の種別 ＝ 1の場合、 夫及び妻の場合は1を設定。 但し、離婚の成立確定日 ≠ 0の場合、夫、妻が外国人であれば、0を設定		離婚の種別 ≠ 1で 夫の場合、 届出人資格1又は2 ＝ 006(夫)のとき1を設定 それ以外は0を設定 妻の場合、 届出人資格1又は2 ＝ 007(妻)のとき1を設定 それ以外は0を設定		
	カナ氏名			夫　又は　妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫　又は　妻の漢字氏名				
	生年月日			夫　又は　妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	送達確認2							事件本人の現戸籍が(本非区分 ＝ 2)かつ　(在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

※事件本人情報の出力順位は、氏を改めない者を先に出力する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	4.1　夫(除籍･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			妻の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	4.1　夫(除籍・離婚)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出	届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人 資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合、 「妻」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
		証書提出者 資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に 「妻」を設定
		証書提出者 資格名称							
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍地番				戸籍変動区分 ＝ 2のときのみ
		称する氏			称する氏				
		離婚後の氏			新筆頭者の氏名 (氏のみ)				戸籍変動区分 ＝ 2　かつ 夫の転婚区分 ＝ 1の場合のみ
		入籍戸籍 本籍			新本籍地番				戸籍変動区分 ＝ 1のときのみ
		入籍戸籍 筆頭者			新筆頭者				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	4.2　夫(入籍･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			妻の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	4.2　夫(入籍･離婚)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
	届出	届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ	
		届出人 資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「妻」を設定	
		届出人 資格名称								
		証書提出日			受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ	
		証書提出者 資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定	
		証書提出者 資格名称								
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者			発送元					
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日			処理日					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍地番					
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者					
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		離婚後の氏								
		入籍戸籍 本籍								
		入籍戸籍 筆頭者								
	記録	記録日								
	特記	特記事項							妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	4.3　夫(変動無し･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			妻の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	4.3　夫(変動無し･離婚)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
	届出	届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ	
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「妻」を設定	
			資格名称								
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ	
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定	
			資格名称								
	送付	送付を受けた日				送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者				発送元					
	許可	許可日									
		許可書謄本の送付を受けた日									
		許可を受けた者									
	入籍	入籍日									
	入戸籍	従前戸籍	本籍								
			筆頭者								
	除籍	除籍日									
	除戸籍	新本籍									
		称する氏									
		離婚後の氏									
		入籍戸籍	本籍								
			筆頭者								
	記録	記録日				処理日					
	特記	特記事項								妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	5.1　妻(除籍・離婚)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	5.1　妻(除籍・離婚)　編集・出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
	届出	届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ	
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合、 「夫」を設定	
			資格名称								
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ	
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に 「夫」を設定	
			資格名称								
	送付	送付を受けた日				送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者				発送元					
	許可	許可日									
		許可書謄本の送付を受けた日									
		許可を受けた者									
	入籍	入籍日									
	入戸籍	従前戸籍	本籍								
			筆頭者								
	除籍	除籍日				処理日					
	除戸籍	新本籍				新本籍地番				戸籍変動区分 ＝ 4のときのみ	
		称する氏				称する氏					
		離婚後の氏				新筆頭者の氏名 (氏のみ)				戸籍変動区分 ＝ 4　かつ 妻の転婚区分 ＝ 1の場合のみ	
		入籍戸籍	本籍			新本籍地番				戸籍変動区分 ＝ 3のときのみ	
			筆頭者			新筆頭者					
	記録	記録日									
	特記	特記事項								夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	5.2 妻(入籍・離婚) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	5.2 妻(入籍・離婚) 編集・出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
	届出	届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ	
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1 かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合、「夫」を設定	
			資格名称								
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 離婚の方式 ≠ スペースのときのみ	
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 離婚の方式 ≠ スペース かつ 届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定	
			資格名称								
	送付	送付を受けた日				送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者				発送元					
	許可	許可日									
		許可書謄本の送付を受けた									
		許可を受けた者									
	入籍	入籍日				処理日					
	入戸籍	従前戸籍	本籍			本籍地番					
			筆頭者			筆頭者					
	除籍	除籍日									
	除戸籍	新本籍									
		称する氏									
		離婚後の氏									
		入籍戸籍	本籍								
			筆頭者								
	記録	記録日									
	特記	特記事項								夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	5.3 妻(変動無し･離婚) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、 離婚の成立確定日を設定 以外は、スペース
	離婚の調停成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	5.3　妻(変動無し･離婚)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出	届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合、 「夫」を設定
			資格名称							
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 離婚の方式 ≠ スペースのときのみ
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 離婚の方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に 「夫」を設定
			資格名称							
	送付	送付を受けた日				送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ
		受理者				発送元				
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		離婚後の氏								
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日				処理日				
	特記	特記事項								夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	6.1　子(変動無し･親権)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	未成年者nの個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1301」を移送
	記録コード							「1301」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立確定日を設定
	親権 親権者を定めた日			受領日 離婚の成立確定日				離婚の種別＝1(協議)　かつ 外国離婚方式＝ スペースの場合、 受領日を設定 離婚の種別＝1(協議)　かつ 外国離婚方式≠スペースの場合、 離婚の成立確定日を設定 上記以外は、未設定
	親権者を定められた日			離婚の成立確定日				離婚種別≠1(協議以外)の場合、 離婚の成立確定日を設定 上記以外は、未設定
	親権者となった日～親権停止の審判取消しの裁判確定日は省略							
	親権者 資格							未成年者nの親権者指定区分が 1の場合:「父」 2の場合:「母」 3の場合:「養父」 4の場合:「養母」を設定
	資格名称							
	氏名			未成年者nの養父の氏名 未成年者nの養母の氏名				未成年者nの親権者指定区分が 3の場合:未成年者nの養父の氏名 4の場合:未成年者nの養母の氏名 その他の場合:スペースを設定
	親権喪失～親権停止取消　は省略							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	入力確認(離婚届)								
処理名	6.1　子(変動無し･親権)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1(協議以外)のときのみ
		届出人1 資格							離婚の種別＝1(協議)の場合、次頁の編集条件を参照 離婚の種別≠1(協議以外)の場合、スペースを設定
		届出人1 資格名称							
		届出人1 氏名							
		届出人2 資格							離婚の種別＝1(協議)の場合、次頁の編集条件を参照 離婚の種別 ≠ 1(協議以外)の場合、スペースを設定
		届出人2 資格名称							
		届出人2 氏名							
		記録嘱託日							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録	従前の記録							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(離婚届)						
処理名	補足説明(親権事項の届出人の資格編集条件)						

☆親権事項中、届出人資格を以下の条件により設定する。

親権者指定区分	養父母欄の条件*1		届出人資格1	届出人氏名1	届出人資格2	届出人氏名2
1 (父)	養母 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【父】		【養母】	未成年者nの養母の氏名
2 (母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【養父】	未成年者nの養父の氏名	【母】	
3 (養父)	養母 ＝ スペース?	YES	【養父】	未成年者nの養父の氏名	【母】	
		NO	【養父】	未成年者nの養父の氏名	【養母】	未成年者nの養母の氏名
4 (養母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父】		【養母】	未成年者nの養母の氏名
		NO	【養父】	未成年者nの養父の氏名	【養母】	未成年者nの養母の氏名

*1:未成年者の子側の養父母欄を示す

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	7.1　9条2項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			夫の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							10(離婚届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+夫の名				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時 新筆頭者の氏 + 夫の名 戸籍変動区分 ≠ 1、2の時 夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 1、2の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時 新筆頭者 上記以外の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	7.1　9条2項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住民日							
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	7.2　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			妻の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							10(離婚届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+妻の名				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時 新筆頭者の氏 + 妻の名 戸籍変動区分 ≠ 3、4の時 妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 3、4の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時 新筆頭者 上記以外の時　妻の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	住定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	7.2　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住民日							
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル表示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					10(離婚)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+夫の名				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時 新筆頭者の氏 + 夫の名 戸籍変動区分 ≠ 1、2の時 夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							夫の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 1、2の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者　又は 夫の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 1、2の時 新筆頭者 上記以外の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							

データ編集表(サンプル表示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(夫)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	転入届出日							

データ編集表(サンプル表示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					10(離婚)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+妻の名				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時 新筆頭者の氏 + 妻の名 戸籍変動区分 ≠ 3、4の時 妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							妻の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 3、4の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者　又は 妻の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3、4の時 新筆頭者 上記以外の時　妻の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							

データ編集表(サンプル表示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(妻)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

10.77条の2届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	婚氏39	「77条の2届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_7.1 30条の13第1項(婚氏続称者)
2		婚氏38		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	77条の2届					

1.77条の2届処理範囲外の処理

(1)離婚の届出と同時に77条の2の届出をした場合

(2)非本籍地から本籍地における配偶者の随従入籍を伴う場合

(3)構成員の父母(養父母)欄更正処理

上記(1)～(3)は、別に処理方法を考慮する。

2.77条の2届入力画面の意義

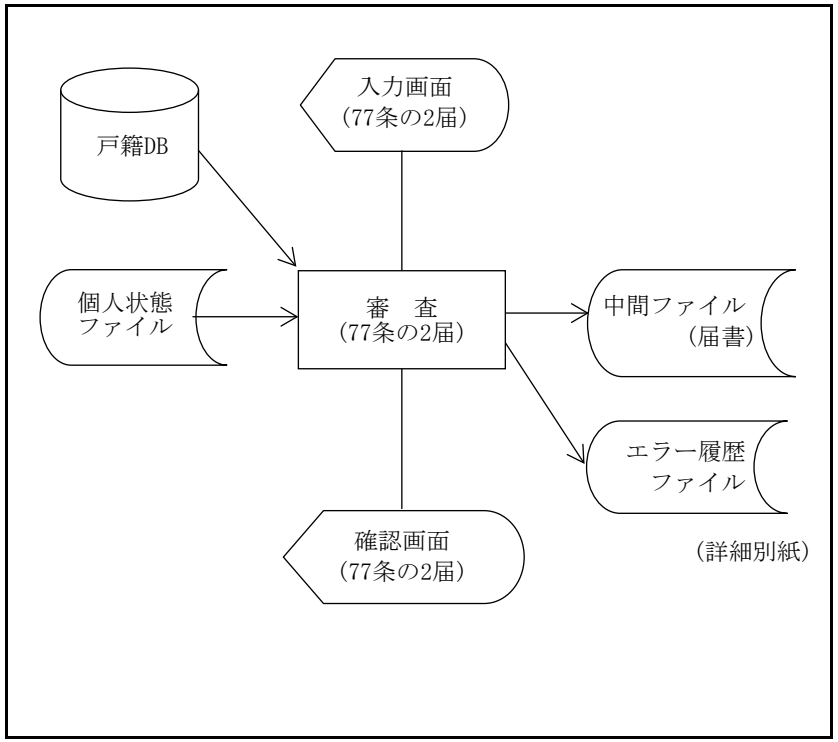
(1)婚氏続称当事者の各項目を入力する。

3.その他

(1)配偶者の随従入籍を伴う場合は配偶者の9条2項ファイルに住所及び世帯主は設定されない。
9条2項通知は運用で対処する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	77条の2届					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)77条の2届届の内容を入力する
(2)77条の2届届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)77条の2届届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)77条の2届届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(77条の2届届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック
　　├ 2.0 関連チェック
　　├ 3.0 審査
　　└ 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出有効期間について
　離婚年月日 + 3箇月が閉庁日の場合は、翌開庁日として判定

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(77条の2届)
処理名	0.0　本紙

											備考
(1)届書内容を画面入力する									/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)									/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]								/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]							/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする						/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]						/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]						(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)					/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する					(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する						メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→									(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→									(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する									(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する										審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(77条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(77条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	現カナ氏名	○	カナ				
11	現漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
14	配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
15	同籍者区分	○	数字	(0:無、1:配偶者のみ、2:配偶者 + 他構成員、3:他構成員のみ)であること			
16	離婚年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	住所		漢字				
18	世帯主		漢字				
19	本籍	○	漢字				
20	筆頭者	○	漢字				
21	変更後カナ氏	○	カナ				
22	変更後漢字氏	○	漢字				
23	変更後本籍		漢字				
24	変更後筆頭者		漢字				

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(77条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(77条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.16)離婚年月日であること			
10-1	(No.3)受領日 ≧ (No.16)離婚年月日であること			
10-2	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.19)本籍 ＝ 管内　又は　(No.23)変更後本籍 ＝ 管内であること			
10-3	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.19)本籍 ＝ 管外　かつ　(No.23)変更後本籍 ＝ 管外であること			
11	(No.23)変更後本籍 ＝ スペースの時、(No.24)変更後筆頭者 ＝ スペースであること			
12	(No.23)変更後本籍 ≠ スペースの時、(No.24)変更後筆頭者 ≠ スペースであること			
13	(No.14)配偶者区分 ＝ 1　又は　2の時、(No.15)同籍者区分 ＝ 1　又は　2であること			
14	(No.18)世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)住所 ≠ スペースであること			
14-1	(No.17)住所 ＝ スペースの時、(No.18)世帯主 ＝ スペースであること			
15	(No.24)変更後筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.22)変更後氏 ＝ (No.24)変更後筆頭者の「氏」であること			
16	(No.24)変更後筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.11)現漢字氏名の「名」 ＝ (No.24)変更後筆頭者の「名」であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(77条の2届)

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)	/			
YES (0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する				
YES (0-3)→(0-7)へ	/			R2.1(婚氏34)
NO (0-4)→		(0-5)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)
NO (0-6)→(0-7)へ	/			R2.1(婚氏34)
(0-7)現漢字氏名の名が未入力(YES,NO)	/			R2.1(婚氏34)
YES (0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		(0-9)本紙へ		R2.1(婚氏34) R2.1(婚氏34)
YES (0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-12)本紙へ		R2.1(婚氏34)
NO (0-11)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(婚氏34)
NO (0-13)→(1)へ	/			R2.1(婚氏34)
(1)(離婚年月日 + 1日) + 3箇月 ＞ 受領日である(YES,NO)	/			民767Ⅱ、民140～143
YES (2)現在の氏 ≠ 変更後の氏である(YES,NO)	/			
YES (3)筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/			(3-1)～(3-7)は削除
0 (3-1)	/			
(3-2)	/			
(3-3)				
(3-4)				
(3-5)				
(3-6)		(3-7)		
(4)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/			
YES (5)→		(6)本紙へ		
NO (7)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する				
1 (8)事件本人の本籍は管内である(YES,NO)	/			(8-1)～(8-6)は削除
YES (8-1)	/			
(8-2)				
(8-3)				
(8-4)				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(77条の2届)
処理名	3.0 審査

									備考
				(8-5)			/	(8-6)	
				(9)同籍者区分(0:無、1:配偶者のみ、2:配偶者 + 他構成員、3:他構成員のみ)			/		※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者は含まない。(筆頭者区分 ＝ 0のみ)
			1	(10)配偶者-個人除区分(0:在籍者、その他)			/		
				0	(11)変更後本籍に記録がある(YES,NO)		/		
					YES	(12) →		(13)本紙へ	
					NO	(14)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
				その他	(15)変更後本籍に記録がある(YES,NO)		/		
					YES	(16)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(17)本紙へ	
					NO	(18) →			
			2	(19)配偶者-個人除区分(0:在籍者、その他)			/		
				0	(20)変更後本籍に記録がある(YES,NO)		/		
					YES	(21) →		(22)本紙へ	
					NO	(23)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
				その他	(24)構成員-個人除区分(0:在籍者、その他)		/		
					0	(25)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES	(26) →		(27)本紙へ
						NO	(28)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する		
					その他	(29)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES	(30)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(31)本紙へ
						NO	(32) →		
			3	(33)構成員-個人除区分(0:在籍者、その他)			/		
				0	(34)変更後本籍に記録がある(YES,NO)		/		
					YES	(35) →		(36)本紙へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(77条の2届)
処理名	3.0 審査

										備考
						NO	(37)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
					その他		(38)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES	(39)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(40)本紙へ	
						NO	(41)→			
				0			(42)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES	(43)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(44)本紙へ	
						NO	(45) →			
			NO				(46)同籍者区分(0:無、1:配偶者のみ、2:配偶者 + 他構成員、3:他構成員のみ)	/		※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者は含まない。(筆頭者区分 ＝ 0のみ)
				0			(47)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES	(48)エラーメッセージ 「新しい本籍は作れません。」を表示する		(49)本紙へ	
						NO	(50) →			
				1,2			(50-1)変更後本籍 ≠ スペース かつ 変更後の本籍＝管内 (YES,NO)	/		
						YES	(51)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(51-1)本紙へ	
						NO	(51-2) →			
				3			(52)変更後本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES	(53) →		(54)本紙へ	
						NO	(55)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示する			
		NO	(56)エラーメッセージ 「変更後の氏に誤りがあります。再入力して下さい。」を表示する						(57)本紙へ	
NO	(58)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示する									

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		77条の2届入力画面	受領No				
	選択事件コード							「11」をセット
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の時、婚氏続称者の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする。*

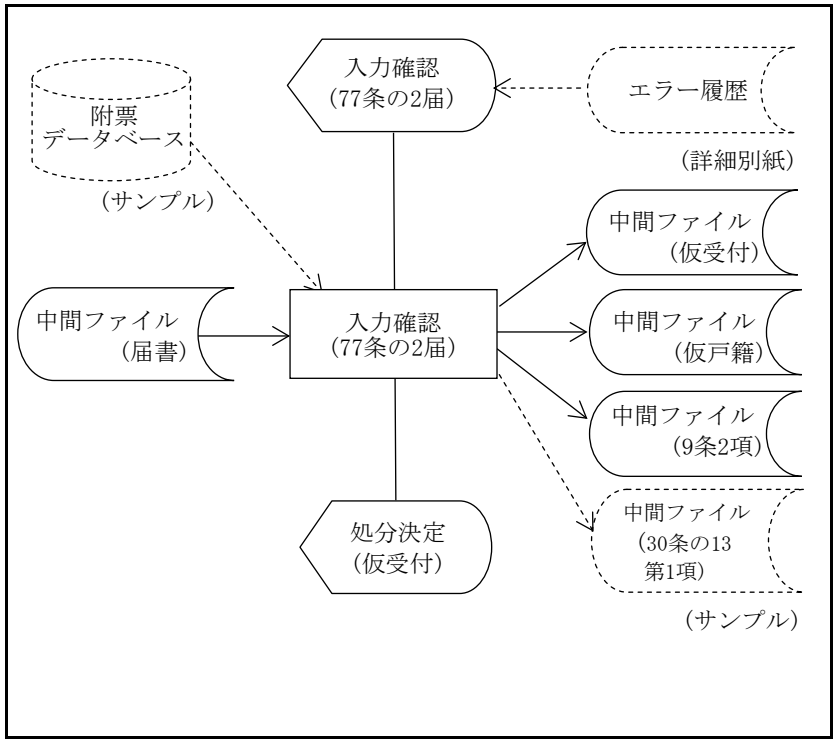
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分							ZERO
	届書排他区分							0:未　1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	婚氏続称者個人番号		77条の2届入力画面					本籍人の時、個人番号を設定
	現カナ氏名			現カナ氏名				
	現漢字氏名			現漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	同籍者区分			同籍者区分				
	離婚年月日			離婚年月日				
	住所コード			住所				
	住所地番							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	変更後本籍コード			変更後本籍				
	変更後本籍地番							
	変更後筆頭者カナ氏名							氏名変換等の入力画面から引用する
	変更後筆頭者			変更後筆頭者				

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(77条の2届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(婚氏続称者))
  - 4.1 身分事項(除籍)
  - 4.2 身分事項(入籍)
  - 4.3 身分事項(変動なし)
  - 4.4 戸籍事項(77条の2)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(配偶者))
  - 5.1 身分事項(除籍)
  - 5.2 身分事項(入籍)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 9条2項(婚氏続称者)
  - 6.2 9条2項(配偶者)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 7.1 婚氏続称者

5. 備考(特記事項含む)

(1)戸籍事項(77条の2)[4.4]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(77条の2届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]					/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)					/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]				/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]				/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/				
	YES	(6)事件本人の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/				
		身分事項(除籍)	(7)事件本人の除籍事項の編集 [4.1]		/				
		身分事項(入籍)	(8)事件本人の入籍事項の編集 [4.2]		/				
		身分事項(変動なし)	(9)事件本人の変動なし事項の編集 [4.3]		/				
		戸籍事項(77条の2)	(10)事件本人の戸籍事項の編集 [4.4]		/				
		(10-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10-1)	
		YES	(10-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [7.1]		/				
		NO	(10-3)→(11)		/				
		(11)配偶者の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/				
		身分事項(除籍)	(12)配偶者の除籍事項の編集 [5.1]		/				
		身分事項(入籍)	(13)配偶者の入籍事項の編集 [5.2]		/				
	NO	(14)→(15)			/				
	(15)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/				
	YES	(16)同籍者区分(0:無、3:他構成員のみ、1:配偶者のみ、2:配偶者＋他構成員)			/				
		0 or 3	(17)事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.1]			(18)処分決定に制御を渡す			
		1 or 2	(19)事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.1]						
			(20)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.2]						
	NO	→							
PF1	→					(21)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(22)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(23)審査に制御を渡す			
PF11	→					(24)エラー履歴表示に制御を渡す			

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(77条の2届)						
処理名	0.0 本紙				備考		
その他	(25)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(26)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(77条の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
77条の2届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	現カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	現カナ氏名				
	現漢字氏名			現漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		
	筆頭者区分名称							
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	配偶者区分名称							
	同籍者区分			同籍者区分		有		
	同籍者区分							
	離婚年月日			離婚年月日		有		
	住所			住所コード		有		
				住所地番				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(77条の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	変更後本籍			変更後本籍コード		有		
				変更後本籍地番				
	変更後筆頭者			変更後筆頭者				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	条件													戸籍の変動			
	婚氏続称者													婚氏続称者の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 4.4 C.1 D.1
	本籍		構成		同籍者区分							新戸籍編製		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.4 D.2	
						配偶者			他構成員								
						有り	個人除区分		有り	個人除区分							
	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	無		在籍者	除籍者		在籍者	除籍者	管内	管外				
1	○		○		○											婚氏続称者(4.3)	
2	○		○			○	○					○			婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
3	○		○			○		○								婚氏続称者(4.3)	
4	○		○			○	○						○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		
5	○		○			○	○		○	○		○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)			婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
6	○		○			○		○	○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)
7	○		○			○	○		○		○	○			婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
8	○		○			○		○	○		○					婚氏続称者(4.3)	
9	○		○			○	○		○	○			○	婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)			
10	○		○			○		○	○	○			○	婚氏続称者(4.1)			
11	○		○			○	○		○		○		○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		
12	○		○						○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)
13	○		○						○		○					婚氏続称者(4.3)	
14	○		○						○	○			○	婚氏続称者(4.1)			
15	○			○	○							○			婚氏続称者(4.1)		婚氏続称者(4.2)
16	○			○	○								○		婚氏続称者(4.1)		
17	○			○					○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)

補足説明書															作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名				入力確認(77条の2届)																
処理名				2.0　戸籍編製マトリックス表																
18	○			○					○		○	○				婚氏続称者(4.1)		婚氏続称者(4.2)		
19	○			○					○	○			○		婚氏続称者(4.1)					
20	○			○					○		○		○			婚氏続称者(4.1)				
21		○	○		○							○						婚氏続称者(4.2)		
22		○	○			○						○						*審査結果入力		
23		○	○			○							○							
24		○	○						○			○						婚氏続称者(4.2)		
25		○	○						○				○							
26		○	○			○			○			○						*審査結果入力		
27		○	○			○			○				○							
28		○		○	○							○						婚氏続称者(4.2)		
29		○		○	○								○							
30		○		○					○			○						婚氏続称者(4.2)		
31		○		○					○				○							

(注)新戸籍編製の場合.B.1は4.4編集後作成する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領審号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							「1101」を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースのとき送付日 上記以外のとき受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							ZEROを移送
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							本人なので移送しない
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							変更後本籍 ≠ スペースの時、2を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届後本籍コード			変更後本籍コード				
	届後本籍			変更後本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			変更後筆頭者				
	送達確認1							編子後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							「14」を移送
	届出人区分							「1」を移送
	カナ氏名			現カナ氏名				
	漢字氏名			現漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							婚氏続称者の現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ　(在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	4.1　身分事項(婚氏続称者・除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	婚氏続称者個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
		受理者			送付元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従戸前籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			変更後本籍地番				
		称する氏			変更後漢字氏				氏のみ移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	4.2　身分事項(婚氏続称者・入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	婚氏続称者個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目あれば移送
		受理者			送付元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			本籍地番				
		筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	4.3　身分事項(婚氏続称者・変動無し)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	婚氏続称者個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目あれば移送
		受理者			送付元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従戸前籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	4.4　戸籍事項(77条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								「0」を設定
	タイトルコード								「1101」を設定
	記録コード								「1101」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従記前録の	従記前録の	氏		現漢字氏名				戸籍の変動無しの場合のみ、氏を移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	5.1　身分事項(配偶者･除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	配偶者個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1102」を移送
	記録コード								「1102」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日、送付日、受領日				処理日 ≠ スペースのとき、処理日 送付日 ≠ スペースのとき、送付日 上記以外は、受領日を移送
		除籍事由							配偶者区分が 1の場合、「夫の戸籍法77条の2の届出」 2の場合、「妻の戸籍法77条の2の届出」
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除戸籍	新本籍			変更後本籍地番				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	5.2　身分事項(配偶者・入籍)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」ゼロを移送
	タイトルコード							「1102」を移送
	記録コード							「1102」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	入籍 入籍日			処理日、送付日、受領日				処理日 ≠ スペースのとき、処理日 送付日 ≠ スペースのとき、送付日 上記以外のとき、受領日を移送
	入籍 入籍事由							配偶者区分が 1の場合、「夫の戸籍法77条の2の届出」 2の場合、「妻の戸籍法77条の2の届出」
	除籍 除籍日							
	除籍 除籍事由							
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	入戸籍 従前籍 本籍			本籍地番				
	入戸籍 従前籍 筆頭者			現漢字氏名				
	除戸籍 新本籍							
	特記 特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(77条の2届)								
処理名	6.1　9条2項(婚氏続称者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード							11(77条の2)	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名			変更後漢字氏 + 現漢字氏名の名					
	旧氏名			現漢字氏名					
	新生年月日			生年月日					
	旧生年月日			生年月日					
	新父母との続柄								
	旧父母との続柄								
	新本籍コード			変更後本籍コード					
	新本籍			変更後本籍地番					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍地番					
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 現漢字氏名の名					
	旧筆頭者			筆頭者					
	住所コード			住所コード					
	住所			住所地番					
	方書								
	住定日								
	住民日								
	世帯主			世帯主					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(77条の2届)								
処理名	6.1　9条2項(婚氏続称者)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	世帯主との続柄								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(77条の2届)								
処理名	6.2　9条2項(配偶者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード	
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード							11(77条の2)	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号		戸籍DB	配偶者個人番号				本籍人の場合のみ該当項目を戸籍DBから引用して設定する	
	新氏名			変更後漢字氏 + 配偶者漢字氏名の名					
	旧氏名			配偶者漢字氏名					
	新生年月日			配偶者生年月日					
	旧生年月日			配偶者生年月日					
	新父母との続柄								
	旧父母との続柄								
	新本籍コード		中間ファイル(届書)	変更後本籍コード					
	新本籍			変更後本籍地番					
	旧本籍コード			本籍コード					
	旧本籍			本籍地番					
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名の名					
	旧筆頭者			筆頭者					
	住所コード								
	住所								
	方書								
	住定日								
	住民日								
	世帯主								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	6.2　9条2項(配偶者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(77条の2届)							
処理名	7.1　30条の13第1項(婚氏続称者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					11(77条の2)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 現漢字氏名の名				
	旧氏名			現漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			変更後本籍コード				
	新本籍			変更後本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 現漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所地番				
	方書							
	転入届出日							

(注意)婚氏続称者の配偶者については、「在外選挙人異動者リスト作成処理」にて別途対応する。

第7.2.(5)「異動」処理

11.離婚同時77条の2届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	69	「離婚同時77条の2届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		68		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	70	「離婚同時77条の2届」	指摘による修正 R2.1版で修正した箇所について、離婚と異なる箇所があったため、離婚と同様の修正を行う。
4				「届書入力処理誤記一覧_様式統一」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13

作業名	離婚同時77条の2届

1.離婚同時77条の2業務処理範囲外の処理

(1)改正国籍法施行中(昭和60年1月1日より前)外国人と結婚しかつ親の戸籍に在籍する者の離婚届。

(2)離婚事件本人と同一戸籍でない未成年の親権指定処理。

(3)離婚届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の離婚届。

(4)外国の方式で離婚したときに来成年者の親権が外国法で共同親権となる場合

(5)転婚者が、離婚同時77条の2届を届出た場合。

(6)事件本人の成年後見人から届出がされた場合。

(7)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。

上記(1)～(4)、(6)～(7)は、審査結果入力で処理を行う。
上記(5)は、離婚届と77条の2届をそれぞれ別処理を行う。

2.離婚同時77条の2届入力画面の意義

(1)その1画面.離婚をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

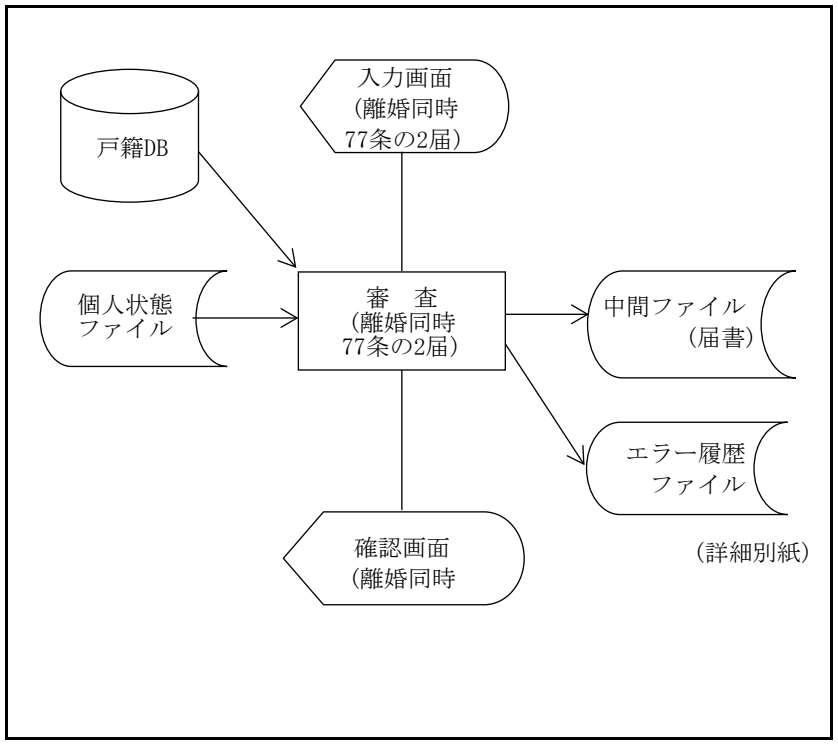
(2)その2画面.離婚種別及び婚前に戻る者等の各項目を入力する。

(3)その3画面.離婚後、未成年者の親権指定の各項目を入力する。

3.その他

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(離婚同時77条の2届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)離婚同時77条の2届の内容を入力する
(2)離婚同時77条の2届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)離婚同時77条の2届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)離婚同時77条の2届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(離婚同時77条の2届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック
　　├ 2.0 関連チェック
　　├ 3.0 審査
　　└ 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・協議離婚時:受領日
・裁判離婚時:離婚の成立日･確定日　を基準日として計算する。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(離婚同時77条の2届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)届書内容を画面入力する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す		
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(17)前ページ分の入力画面(離婚同時77条の2届)を編集する					(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する							
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/			
	YES	(21)次ページ分の入力画面(離婚同時77条の2届)を編集する					(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する								

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 4月1日	版	8.1
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(離婚同時77条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国外からの送付、2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本･非本	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態	○	数字	(0:不要、1:要)であること			
10	報告	○	数字	(1:創設、2:報告)であること			
11	夫のカナ氏名	○	カナ				
12	夫の漢字氏名	○	漢字				
13	夫の住所		漢字				
14	夫の世帯主		漢字				
15	夫の父の氏名		漢字				
16	夫の母の氏名		漢字				
17	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男、11:長男～29:十九男)であること			
18	夫の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
19	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	妻のカナ氏名	○	カナ				
21	妻の漢字氏名	○	漢字				
22	妻の住所		漢字				
23	妻の世帯主		漢字				
24	妻の父の氏名		漢字				
25	妻の母の氏名		漢字				
26	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女、31:長女～49:十九女)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 4月1日	版	8.1
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名		画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表		入力画面(離婚同時77条の2届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	妻の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
28	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	本籍	○	漢字				
30	筆頭者	○	漢字				
31	離婚の種別区分	○	数字	(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
32	離婚の申立人区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
33	離婚の成立･確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	戸籍変動区分	○	数字	(2:新戸籍編製(夫)、4:新戸籍編製(妻))であること			
35	新本籍	○	漢字				
36	新筆頭者	○	漢字				
37	外国離婚方式		漢字				
38	裁判所所在国		漢字				
39	外国裁判所名		漢字				
40	親権指定者の有無	○	数字	(0:無し、1:有り)であること			
41	未成年の子の人数		数字				
42	届出人資格1		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
43	届出人資格2		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
44	未成年者nのカナ氏名		カナ				NO.44～NO.53の項目は複数件存在する
45	未成年者nの漢字氏名		漢字				
46	未成年者nの父の氏名		漢字				
47	未成年者nの母の氏名		漢字				
48	未成年者nの父母との続柄		数字	(10:男、11:長男～29:十九男、30:女、31～49:十九女)であること			
49	未成年者nの生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
50	未成年者nの養父の氏名		漢字				
51	未成年者nの養母の氏名		漢字				

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 4月1日	版	8.1
作業名	審査(離婚同時77条の2届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表				入力画面(離婚同時77条の2届)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
52	未成年者nの養父母との続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること					
53	未成年者nの親権者区分		数字	(1:父、2:母、3:養父、4:養母)であること					

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(離婚同時77条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚同時77条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.9)動態区分 ＝ 1(要)であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0(受理分)であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
8	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
9	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時、 (No.9)動態区分 ＝ 1(要)であること			
10	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　((No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由))の時、 (No.9)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
13-1	(No.2)受領日 ≧ (No.33)離婚の成立･確定日であること			
14	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)であること			
14-1	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、(No.12)夫の漢字氏名 ＝ (No.30)筆頭者であること			
15	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時、(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
15-1	(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、(No.21)妻の漢字氏名 ＝ (No.30)筆頭者であること			
15-2	(No.12)夫の漢字氏名の氏 ＝ (No.21)妻の漢字氏名の氏であること			
16	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)　かつ　(No.37)外国離婚方式 ＝ スペースの時、 (No.32)離婚の申立人区分 ＝ スペース　かつ　(No.33)離婚の成立･確定日 ＝ スペース　かつ (No.42)届出人資格1 ≠ スペース　かつ　(No.43)届出人資格2 ≠ スペースであること			
16-2	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)　かつ　(No.37)外国離婚方式 ≠ スペースの時、 (No.32)離婚の申立人区分 ＝ スペース　かつ　(No.33)離婚の成立･確定日 ≠ スペース　かつ (No.42)届出人資格1、(No.43)届出人資格2　いずれかに入力があること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(離婚同時77条の2届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(離婚同時77条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)の時、 ((No.32)離婚の申立人区分 ≠ スペース　かつ　(No.33)離婚の成立･確定日 ≠ スペース)　かつ ((No.42)届出人資格1、(No.43)届出人資格2　一方が ≠ ZERO)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
18	(No.40)親権指定者の有無 ＝ 1(有)の時、(No.46)未成年の子の人数 ＞ ZEROであること			
19	(No.41)未成年の子の人数 ＝ 0の時、未成年者の欄(No.44～No.53) × n件 ＝ スペースであること			
20	(No.45)未成年者nの漢字氏名 ≠ スペースの時、 (No.44)未成年者nのカナ氏名 ≠ スペース　かつ (No.49)未成年者nの生年月日 ≠ スペースであること			
21	(No.48)未成年者nの父母との続柄 ＝ スペースの時、 (No.46)未成年者nの父の氏名 ＝ スペース　かつ (No.47)未成年者nの母の氏名 ＝ スペースであること			
22	(No.52)未成年者nの養父母との続柄 ＝ スペースの時、 (No.50)未成年者nの養父の氏名 ＝ スペース　かつ (No.51)未成年者nの養母の氏名 ＝ スペースであること			
23	(No.53)未成年者nの親権者区分 ＝ 1の時、(No.46)未成年者nの父の氏名 ≠ スペースであること			
24	(No.53)未成年者nの親権者区分 ＝ 2の時、(No.47)未成年者nの母の氏名 ≠ スペースであること			
25	(No.53)未成年者nの親権者区分 ＝ 3の時、(No.50)未成年者nの養父の氏名 ≠ スペースであること			
26	(No.53)未成年者nの親権者区分 ＝ 4の時、(No.51)未成年者nの養母の氏名 ≠ スペースであること			
27	(No.10)報告区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.37)外国離婚方式 ＝ スペースであること			
27-2	(No.10)報告区分 ＝ 2(報告)の時、 (No.31)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)　又は (No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.37)外国離婚方式 ≠ スペースであること			人事訴訟法(H16.4)により、5、6を追加
28	(No.37)外国離婚方式 ≠ スペース　かつ　(No.38)裁判所所在国 ≠ スペース　かつ (No.39)外国裁判所所名 ≠ スペースの場合、エラー			
29	(No.44)未成年者nのカナ氏名 ≠ スペースの時、 (No.45)未成年者nの漢字氏名 ≠ スペースかつ(No.49)未成年者nの生年月日 ≠ スペースであること			
30	(No.44)未成年者nのカナ氏名 ＝ スペースの時、 (No.45)未成年者nの漢字氏名～(No.53)未成年者nの親権者区分　全てスペースであること			
31	(No.45)未成年者nの漢字氏名 ＝ スペースの時、 (No.44)未成年者nのカナ氏名 ＝ スペース　かつ (No.46)未成年者nの父の氏名～(No.53)未成年者nの親権者区分　全てスペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.0 関連チェック表		入力画面(離婚同時77条の2届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	(No.34)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製(夫))の時、 (No.12)夫の漢字氏名 ＝ (No.36)新筆頭者であること			
33	(No.34)戸籍変動区分 ＝ 4(新戸籍編製(妻))の時、 (No.21)妻の漢字氏名 ＝ (No.36)新筆頭者であること			
34	(No.13)夫の住所 ＝ スペースの時、(No.14)夫の世帯主 ＝ スペースであること			
35	(No.14)夫の世帯主 ≠ スペースの時、(No.13)夫の住所 ≠ スペースであること			
36	(No.22)妻の住所 ＝ スペースの時、(No.23)妻の世帯主 ＝ スペースであること			
37	(No.23)妻の世帯主 ≠ スペースの時、(No.22)妻の住所 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名	3.0 審査					備考	
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)		/					
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
YES	(0-2)→(0-5)へ	/					
NO	→		(0-3)本紙へ				
NO	(0-4)→(0-5)へ	/					
(0-5)夫の漢字氏名の名が未入力 又は 妻の漢字氏名の名が未入力(YES,NO)		/				R2.1(離婚同時77の2-67)	
YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		(0-7)本紙へ			R2.1(離婚同時77の2-67)	
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-10)本紙へ			不受理、R2.1(離婚同時77の2-67)	
NO	(0-9)→					画面項目修正(審査完了しない) R2.1(離婚同時77の2-67)	
NO	(0-11)→(1)へ	/				R2.1(離婚同時77の2-67)	
(1)離婚の種別(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)		/				人事訴訟法(H16.4)により、種別:5、6を追加	
1	(1-1)外国離婚方式 ≠ スペース(YES,NO)	/					
YES	(1-2)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により離婚が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」を表示する		(1-3)本紙へ			戸41 Nのとき、不受理	
NO	(2)→(7)へ	/					
2	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する		(4)本紙へ			戸77・63 Nのとき、不受理 C04013	
3	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「審判書及び確定証明書がありますか?」を表示する					戸77・63 Nのとき、不受理 C03025	
4	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「判決の謄本及び確定証明書がありますか?」を表示する					戸77・63 Nのとき、不受理 C06011	
5	(6)-1 確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する					人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013	
6	(6)-2 確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示する					人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013	
(7)本非区分(1:本籍、2:非本籍)		/					
1	(8)夫の身分事項に婚姻がある(YES,NO)	/					
YES	(9)→(17)へ	/					

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(離婚同時77条の2届)
処理名	3.0 審査

					備考
NO	(10)エラーメッセージ 「夫に婚姻事項がありません。」を表示する		(11)本紙へ		
(12)		/			(12)～(16)削除
	(13)	/			
	(14)		(15)		
	(16)	/			
(17)妻の身分事項に婚姻がある(YES,NO)		/			
YES	(18)→(27)へ	/			
NO	(19)エラーメッセージ 「妻に婚姻事項がありません。」を表示する		(20)本紙へ		
(21)		/			(21)～(25)削除
	(22)	/			
	(23)		(24)		
	(25)	/			
2	(26)→(26-1)	/			
(26-1)夫の父の氏名 ＝ スペース 又は 夫の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)		/			
YES	(26-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
YES	(26-3)→(26-12)	/			
NO	(26-4)		(26-5)本紙へ		不受理
NO	(26-6)夫の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)	/			
YES	(26-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				
YES	(26-8)→(26-12)	/			
NO	(26-9)		(26-10)本紙へ		不受理
NO	(26-11)→(26-12)	/			
(26-12)妻の父の氏名 ＝ スペース 又は 妻の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)		/			
YES	(26-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
YES	(26-14)→(27)	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(離婚同時77条の2届)
処理名	3.0 審査

						備考
	NO	(26-15)		(26-16)本紙へ		不受理
NO	(26-17)妻の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)		/			
	YES	(26-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(26-19)→(27)	/		
		NO	(26-20)		(26-21)本紙へ	不受理
	NO	(26-22)→(27)		/		
(27)戸籍変動区分(2:新戸編製(夫)、4:新戸編製(妻))				/		
2	(28)夫の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/		No.29欠番
	0	(30)→(38)へ		/		
	1	(31)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する		(32)本紙へ		
4	(33)妻の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/		No.34欠番
	0	(35)→(38)へ		/		
	1	(36)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示する		(37)本紙へ		
(38)親権指定処理(未成年の子の人数分繰り返す)				/		民819Ⅰ
	(39)親権指定者の有無(0:無、1:有)			/		
	0	(40)離婚の成立・確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立・確定日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 又は、 離婚の成立・確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立・確定日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 又は、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 受領日 又は、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 受領日 (YES,NO)		/		民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する R2.1(離婚同時77の2-64)
	YES	(41)未成年者nの親権者区分 ＝ スペース(YES, NO)		/		
		YES	(42)	/		(42)(43)を削除(民法改正修正で削除) R2.1(離婚同時77の2-64)
			(43)		(44)本紙へ	
			(45)確認メッセージ(YES, NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示する			R2.1(離婚同時77の2-64)
			YES (45-1)→(38)	/		R2.1(離婚同時77の2-64)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(離婚同時77条の2届)

処理名							3.0 審査			備考
				NO		(45-2)→		(45-3)本紙へ		不受理、R2.1(離婚同時77の2-64)
		NO				(46)エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります。」を表示する				
	NO					(47)未成年者nの親権者区分 ＝ スペース(YES, NO)	/			
	YES					(48)→(38)	/			
	NO					(49)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する		(50)本紙へ		R2.1(離婚同時77の2-64)
1						(51)離婚の成立・確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立･確定日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 又は、 離婚の成立･確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立･確定日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 離婚の成立･確定日 又は、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 受領日 又は、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 受領日 (YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する R2.1(離婚同時77の2-64)
	YES					(52)未成年者nの親権者区分 ＝ スペース(YES,NO)	/			
		YES				(53)	/			(53)(54)を削除(民法改正修正で削除) R2.1(離婚同時77の2-64)
						(54)		(55)本紙へ		
						(56)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示する				R2.1(離婚同時77の2-64)
				YES		(56-1)→(38)	/			R2.1(離婚同時77の2-64)
				NO		(56-2)→		(56-3)本紙へ		不受理、R2.1(離婚同時77の2-64)
		NO				(56-4)(夫の漢字氏名 ＝ 未成年者nの父の氏名 又は 未成年者nの養父の氏名) かつ (妻の漢字氏名 ＝ 未成年者nの母の氏名 又は 未成年者nの養母の氏	/			
			YES			(57)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1	/			
			NO			(57-1)確認メッセージ(YES,NO) 「親権区分nの親権指定は必要ですか?」を表示する	/	(57-2)本紙へ		応答内容は処分区分に影響させない
				YES		(57-3)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1	/			
				NO		(57-4)→		(57-5)本紙へ		不受理 ※入力誤りであるため。R4(離婚同時77の2-70)
	NO					(58)未成年者nの親権者区分 ＝ スペース(YES,NO)	/			
	YES					(59)→(38)	/			
	NO					(60)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する		(61)本紙へ		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(離婚同時77条の2届)								
処理名	3.0 審査							備考	
				「親権区分Hに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示する					
(62)親権指定者の有無(0:無、1:有)						/			
0	(63)→(68)					/			
1	(64)未成年者カウント(内部) > 0(YES,NO)					/			
	YES	(65)→(68)				/			
	NO	(66)エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります(親権指定なし)。」を表示する					(67)本紙へ		
(68)届出区分(1:創設、2:報告)						/			
1	(69)届出人資格1(000:未、006:夫、007:妻)					/			
	000	(69-1)外国離婚方式 ＝ スペース(YES,NO)				/			
		YES	(69-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示する				(69-3)本紙へ		
		NO	(69-5)届出人資格2(000:未、006:夫、007:妻)			/			
			000	(69-6)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」			(69-7)本紙へ		
			006 007	(69-8)→(107)		/			
	006	(70)届出人資格2(000:未、006:夫、007:妻)				/			
		000	(70-1)外国離婚方式 ＝ スペース(YES,NO)			/			
			YES	(70-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」			(70-3)本紙へ		
			NO	(70-4)→(107)		/			
		006	(71)エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示する				(72)本紙へ		
		007	(73)→(107)			/			
	007	(74)届出人資格2(000:未、006:夫、007:妻)				/			
		000	(74-1)外国離婚方式 ＝ スペース(YES,NO)			/			
			YES	(74-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示する			(74-3)本紙へ		
			NO	(74-4)→(107)		/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名				審査(離婚同時77条の2届)					
処理名				3.0 審査				備考	
		006		(75)→(107)	/				
		007		(76)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示する		(77)本紙へ		Nのとき、不受理	
2				(77-0-1)受領日 < (離婚の成立･確定日 + 1日) + 3箇月 である(YES,NO)	/			民767-2 R2.1(離婚同時77の2-66)	
	YES			(77-0-2)→(77-1)	/				
	NO			(77-0-3)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示する		(77-0-4)本紙へ			
				(77-1)外国離婚方式 = スペース である(YES,NO)	/			R2.1(離婚同時77の2-66)	
	YES			(77-2)受領日 < 離婚の成立･確定日 + 10日 である(YES,NO)	/			戸43:離婚届の届出期間審査	
		YES		(77-3)→(82)	/				
		NO		(77-4)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する		(77-5)本紙へ		R2.1(離婚同時77の2-66)	
								審査続行	
				(78)	/			R2.1(離婚同時77の2-66)	
				(79)	/				
				(80)		(81)		R2.1(離婚同時77の2-66)	
								R2.1版で(78)～(81)を削除	
	NO			(81.1)→(82)	/			R2.1(離婚同時77の2-66)	
				(82)離婚の申立人区分(1:夫、2:妻、スペース)	/				
	1			(83)届出人資格1 又は 届出人資格2(006:夫、007:妻)	/				
		006		(84)→(107)	/			(84)～(87)第12版で削除	
				(85)	/				
				(86)		(87)			
		007		(88)受領日 又は 処理日 < 離婚の成立･確定日 + 10日(YES,NO)	/			処理日がある場合には、処理日で判定	
			YES	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示する		(90)本紙へ			
				YES (91)→(107)	/				
				NO (92)エラーメッセージ 「発収簿処理をしてください。」を表示する		(93)			
			NO	(94)→(107)	/				
	2			(95)届出人資格1 又は 届出人資格2(006:夫、007:妻)	/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			審査(離婚同時77条の2届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		006	(96)受領日　又は　処理日 < 離婚の成立･確定日 + 10日(YES,NO)			/		処理日がある場合には、処理日で判定	
			YES	(97)確認メッセージ(YES,NO) 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する			(98)本紙へ		
				YES	(99)→(107)		/		
				NO	(100)エラーメッセージ 「発収簿処理をしてください。」を表示する		(101)		
			NO	(102)→(107)			/		
		007	(103)→(107)				/		(103)～(106)第12版で削除
				(104)			/		
				(105)			(106)		
	スペース	→(107)							
(107)→							(108)本紙へ		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		離婚同時77条の2届 入力画面	受領NO				
	選択事件コード							「12」を引き渡す
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分			送付日				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態				
	届区分			報告				
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の場合、夫婦の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は　2 ＝ 不受理　をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未　1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の個人番号		離婚同時77条の2届 入力画面					本籍人の場合、妻の個人番号
	夫の筆頭者区分			夫の筆頭者区分				
	夫のカナ氏名			夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所コード			夫の住所				
	夫の住所地番							
	夫の世帯主			夫の世帯主				
	夫の父氏名			夫の父の氏名				
	夫の母氏名			夫の母の氏名				
	夫の父母との続柄コード			夫の父母との続柄				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				
	妻の個人番号							本籍人の場合、妻の個人番号
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				
	妻の住所コード			妻の住所				
	妻の住所地番							
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の父氏名			妻の父の氏名				
	妻の母氏名			妻の母の氏名				
	妻の父母との続柄コード			妻の父母との続柄				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(離婚同時77条の2届)						
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力						

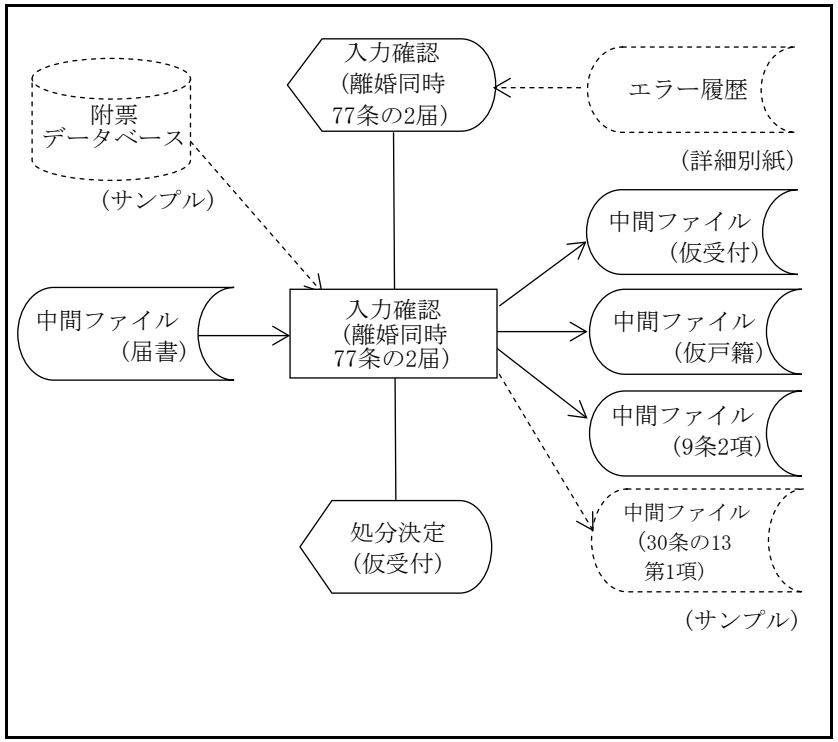
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	離婚の成立･確定日			離婚の成立･確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	新筆頭者カナ氏名							本籍人の場合設定
	新筆頭者			新筆頭者				
	外国離婚方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格1			届出人資絡1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	未成年者項目 未成年者nカナ氏名			未成年者項目 未成年者nのカナ氏名				未成年者項目については、複数件数存在する場合がある。
	未成年者n漢字氏名			未成年者nの漢字氏名				
	未成年者n父の氏名			未成年者nの父の氏名				
	未成年者n母の氏名			未成年者nの母の氏名				
	未成年者n父母との続柄コード			未成年者nの父母との続柄				
	未成年者n生年月日			未成年者nの生年月日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名			
		未成年者n養父の氏名				未成年者nの養父の氏名				
		未成年者n養母の氏名				未成年者nの養母の氏名				
		未成年者n 養父母との続柄コード				未成年者nの養父母との続柄				
		未成年者n親権者区分				未成年者nの親権者区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 仮受付(離婚)
  - 3.2 仮受付(77条の2)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(夫))
  - 4.1 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(離婚))
  - 4.2 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(77条の2))
  - 4.3 身分事項(新戸籍･入籍(離婚))
  - 4.4 身分事項(新戸籍･入籍(77条の2))
  - 4.5 身分事項(夫婦の戸籍･変動なし)
  - 4.6 戸籍事項(新戸籍･入籍77条の2))
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(妻))
  - 5.1 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(離婚))
  - 5.2 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(77条の2))
  - 5.3 身分事項(新戸籍･入籍(離婚))
  - 5.4 身分事項(新戸籍･入籍(77条の2))
  - 5.5 身分事項(夫婦の戸籍･変動なし)
  - 5.6 戸籍事項(新戸籍･入籍(77条の2))
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(子))
  - 6.1 身分事項(変動なし)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 夫
  - 7.2 妻
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 夫
  - 8.2 妻

5. 備考(特記事項含む)

※戸籍事項(77条の2)(4.6、5.6)を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B1を作成する。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する				[1.0]				「届出メニュー」で受領番号が入力された場合届書ファイルから画面編集を行う。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)									
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]					
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する								
	仮受付(離婚)	(5)離婚届による仮受付ファイルの編集		[3.1]					
	仮受付(77条の2)	(6)77条の2届による仮受付ファイルの編集		[3.2]					
	(7)事件本人が本籍人である(YES,NO)								
	YES	(8)夫の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する							
		身分事項(除籍)	(11)夫の除籍事項の編集(夫婦の戸籍)	[4.1]				離婚の記載	
		身分事項(除籍)	(12)夫の除籍事項の編集(夫婦の戸籍)	[4.2]				77条の2の記載	
		身分事項(入籍)	(13)夫の入籍事項の編集(新戸籍)	[4.3]				離婚の記載	
		身分事項(入籍)	(14)夫の入籍事項の編集(新戸籍)	[4.4]				77条の2の記載	
		身分事項(変動なし)	(15)夫の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍)	[4.5]					
		身分事項(入籍)	(16)夫の77条の2事項の編集(新戸籍)	[4.6]					
		(16-1)夫は在外選挙人である(YES,NO)						※サンプル提示　処理(16-1)～(16-3) 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合	
		YES	(16-2)夫について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・入力する	[8.1]					
		NO	(16-3)→(17)						
		(17)妻の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・入力する							
		身分事項(除籍)	(20)妻の除籍事項の編集(夫婦の戸籍)	[5.1]				離婚の記載	
		身分事項(除籍)	(21)妻の除籍事項の編集(妻婦の戸籍)	[5.2]				77条の2の記載	
		身分事項(入籍)	(22)妻の入籍事項の編集(新戸籍)	[5.3]				離婚の記載	
		身分事項(入籍)	(23)妻の入籍事項の編集(新戸籍)	[5.4]				77条の2の記載	
		身分事項(変動なし)	(24)妻の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍)	[5.5]					
		身分事項(入籍)	(25)妻の77条の2事項の編集(新戸籍)	[5.6]					
		(25-1)妻は在外選挙人である(YES,NO)						※サンプル提示　処理(25-1)～(25-3) 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合	
		YES	(25-2)妻について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・入力する	[8.2]					
		NO	(25-3)→(26)						
		(26)子の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
		身分事項(変動なし)	(27)子の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍) [6.1]	/				
	NO	(28) → (29)		/				
	(29)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である (YES,NO)			/				
	YES	(30) 夫について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]		/				
		(31) 妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.2]			(32)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(34)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(35)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(36)審査に制御を渡す			
PF7	(37)前ページがあるか (ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(38)前ページ分の確認画面(離婚同時77条の2届)を編集する			(39)同画面を編集する			
	NO	(40)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(41)次ページがあるか (ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(42)次ページ分の確認画面(離婚同時77条の2届)を編集する			(43)同画面を編集する			
	NO	(44)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(45)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(46)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました。」を表示する				(47)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚同時77条の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
離婚同時77条の2届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本･非本			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態			動態区分				
	報告			届出区分				
	夫の筆頭者区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の筆頭者区分				
	夫のカナ氏名			夫のカナ氏名				
	夫の漢字氏名			夫の漢字氏名				
	夫の住所			夫の住所コード				
				夫の住所地番				
	夫の世帯主			夫の世帯主				
	夫の父の氏名			夫の父氏名				
	夫の母の氏名			夫の母氏名				
	夫の父母との続柄			夫の父母との続柄				
	夫の生年月日			夫の生年月日				
	妻の筆頭者区分			妻の筆頭者区分				
	妻のカナ氏名			妻のカナ氏名				
	妻の漢字氏名			妻の漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	1.0　確認画面(離婚同時77条の2届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	妻の住所			妻の住所コード				
				妻の住所地番				
	妻の世帯主			妻の世帯主				
	妻の父の氏名			妻の父氏名				
	妻の母の氏名			妻の母氏名				
	妻の父母との続柄			妻の父母との続柄				
	妻の生年月日			妻の生年月日				
	本籍			本籍コード				
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者				
	離婚の成立･確定日			離婚の成立･確定日				
	外国離婚方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)						
処理名	1.0　確認画面(離婚同時77条の2届)　表示						

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
	未成年者項目 n件	未成年者nのカナ氏名			未成年者項目 n件	未成年者nカナ氏名				
		未成年者nの漢字氏名				未成年者n漢字氏名				
		未成年者nの父の氏名				未成年者n父の氏名				
		未成年者nの母の氏名				未成年者n母の氏名				
		未成年者nの父母との続柄				未成年者n父母との続柄				
		未成年者nの生年月日				未成年者n生年月日				
		未成年者nの養父の氏名				未成年者n養父の氏名				
		未成年者nの養母の氏名				未成年者n養母の氏名				
		未成年者nの養父母との続柄				未成年者n養父母との続柄				
		未成年者nの親権者区分				未成年者n親権者区分				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件												戸籍の変動			
	現在の夫婦の戸籍		夫		妻		婚前に戻る者		戻る者の本籍		親権指定		夫婦の戸籍		新　A.1 戸　B.1 籍　C.1 編　D.1 製	
			構成		構成				新戸籍		有無					
	管内	管外	筆頭者	構成員	筆頭者	構成員	夫	妻	管内	管外	有	無	一部除籍　C.2	変動なし　C.2		(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.6又は5.6編集後作成する。
1	○		○			○		○	○		○		妻(5.1)、(5.2)	夫(4.5)、子(6.1)	妻(5.3)、(5.4)、(5.6)	
2	○		○			○		○	○			○	妻(5.1)、(5.2)	夫(4.5)	妻(5.3)、(5.4)、(5.6)	
3	○		○			○		○		○	○		妻(5.1)、(5.2)	夫(4.5)、子(6.1)		
4	○		○			○		○		○		○	妻(5.1)、(5.2)	夫(4.5)		
5		○	○			○		○	○		－	－			妻(5.3)、(5.4)、(5.6)	
6		○	○			○		○		○	－	－				
7	○			○	○		○		○		○		夫(4.1)、(4.2)	妻(5.5)、子(6.1)	夫(4.3)、(4.4)、(4.6)	
8	○			○	○		○		○			○	夫(4.1)、(4.2)	妻(5.5)	夫(4.3)、(4.4)、(4.6)	
9	○			○	○		○			○	○		夫(4.1)、(4.2)	妻(5.5)、子(6.1)		
10	○			○	○		○			○		○	夫(4.1)、(4.2)	妻(5.5)		
11		○		○	○		○		○		－	－			夫(4.3)、(4.4)、(4.6)	
12		○		○	○		○			○	－	－				

ひな型使用時の補足説明

(1)C2:個人特定(記録)編集

・夫および妻の配偶者区分は0(未)を設定する

(新戸籍編製で除籍となる者についても、配偶者区分を設定すること)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				離婚届の受領番号
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離婚の種別が 1の場合、1001(離婚) 2の場合、1002(調停) 3の場合、1003(裁判) 4の場合、1003(裁判) 5の場合、1003(裁判) 6の場合、1003(裁判)
	受付日			受領日　又は　送付日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日
	事件発生日			離婚の成立･確定日				報告区分 ＝ 2の場合、移送
	事件発生時分							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							0:日本人
	証書提出区分							外国離婚方式≠スペースの時、 1(証書提出) 以外は0(届出)
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							受領番号 + 1(77条の2届の受領番号)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離婚)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格区分1			届出人資格1	条件(1-1)離婚の種別＝1(協議)の場合、スペース			
	届出人資格名称1			届出人資格2	(2)離婚の種別≠1(協議)の場合			
	届出人氏名1			夫の漢字氏名	届出人資格1及び届出人氏名1に以下の項目を設定			
	届出人資格区分2			妻の漢字氏名				
	届出人資格名称2							
	届出人氏名1							
	届後本籍区分							「2:新戸籍編製」を移送
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							夫の場合、12(夫) 妻の場合、13(妻)

申立人区分	届出人資格1 or 2	離婚の種別	届出人資格	届出人氏名
1	006	2	「申立人」	夫の氏名
		3、4、5、6	「訴提起者」	夫の氏名
	007	-	「相手方」	妻の氏名
2	006	-	「相手方」	夫の氏名
	007	2	「申立人」	妻の氏名
		3、4、5、6	「訴提起者」	妻の氏名

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付･離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届出人区分				離婚の種別 ＝ 1　かつ　外国離婚方式 ＝ スペースの場合 夫及び妻の場合、1を設定 離婚の種別 ＝ 1　かつ　外国離婚方式 ≠ スペースの場合 夫の場合、届出人資格1　又は　2 ＝ 006:夫の時、1を設定 妻の場合、届出人資格1　又は　2 ＝ 007:妻の時、1を設定 離婚の種別 ≠ 1の場合 夫の場合、届出人資格1　又は　2 ＝ 006:夫の時、1を設定 妻の場合、届出人資格1　又は　2 ＝ 007:妻の時、1を設定 上記以外は0を設定			
	カナ氏名			夫　又は　妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫　又は　妻の漢字氏名				
	生年月日			夫　又は　妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	筆頭者							夫の筆頭者区分が1のとき、 夫の漢字氏名 上記以外、妻の漢字氏名
	送達確認2							現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (存外送付区分 ＝ 0)の場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

※事件本人情報の出力順位は、筆頭者を先に出力する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付･戸籍法77条の2)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)					受領番号 + 1(77条の2届の受領番号)
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							1101(77条の2届)を設定
	受付日			受領日　又は　送付日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日
	事件発生日							10版にて修正
	事件発生時分							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							0:日本人
	証書提出区分							0:届出
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号			受領番号				離婚届の受領番号
	届出人資格区分1							事件本人なので設定しない
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							「2:新戸籍編製」を移送
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付･戸籍法77条の2)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							「14」(氏続称者(従前の氏を称する者))を移送
	届出人区分							1を設定
	カナ氏名			夫　又は　妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫　又は　妻の漢字氏名				
	生年月日			夫　又は　妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				R4(誤記修正)
	送達確認2							現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

*夫、妻の筆頭者区分を判定し、筆頭者区分 ＝ 0(構成員)のどちらか一方を作成する。

(例)妻の筆頭者区分が0の場合、妻のカナ氏名、生年月日等のデータを編集する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.1　身分事項(除籍・夫・離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
	離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			妻の漢字氏名				
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	4.1 身分事項(除籍・夫・離婚) 編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1 かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合、 「妻」を設定
			資格名称							
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ≠ スペース かつ 届出人が妻から一方のみの場合に 「妻」を設定
			資格名称							
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		離婚後の氏								
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.2　身分事項(除籍・夫・77条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍コード				
					新本籍地番				
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)						
処理名	4.3　身分事項(入籍・夫・離婚)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」を移送
	タイトルコード								「1001」を移送
	記録コード								「1001」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の国籍							
		離婚の方式			外国離婚方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	4.3　身分事項(入籍・夫・離婚)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
		届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合、 「妻」を設定
			資格名称							
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が妻から一方のみの場合に 「妻」を設定
			資格名称							
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		離婚後の氏								
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.4　身分事項(入籍・夫・77条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			本籍地番				
		従戸前籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)						
処理名	4.5　身分事項(変動無し・夫・夫婦の戸籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	夫の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」を移送
	タイトルコード								「1001」を移送
	記録コード								「1001」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日							
		配偶者氏名			妻の漢字氏名				
		配偶者の国籍							
		離婚の方式			外国離婚方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	4.5 身分事項(変動無し・夫・夫婦の戸籍) 編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1 かつ 届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「妻」を設定
			資格名称							
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議) かつ 外国離婚方式 ≠ スペース かつ 届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定
			資格名称							
	送付	送付を受けた日				送付日				項目があれば移送
		受理者				発送元				
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		離婚後の氏								
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日				処理日				
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	4.6　戸籍事項(編製・夫)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								「0」を設定
	タイトルコード								「1101」を設定
	記録コード								「1101」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録								
		氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.1　身分事項(除籍・妻・離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
	離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				R4(誤記修正)
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	5.1　身分事項(除籍・妻・離婚)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
		届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合、 「夫」を設定
			資格名称							
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に 「夫」を設定
			資格名称							
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		離婚後の氏								
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.2　身分事項(除籍・妻・77条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍コード				
					新本籍地番				
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.3　身分事項(入籍・妻・離婚)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
	離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				R4(誤記修正)
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	5.3　身分事項(入籍・妻・離婚)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
		届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合、 「夫」を設定
			資格名称							
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に 「夫」を設定
			資格名称							
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		離婚後の氏								
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.4　身分事項(入籍・妻・77条の2)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1101」を移送
	記録コード								「1101」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			本籍地番				
		筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.5　身分事項(変動無し・妻・夫婦の戸籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	妻の個人番号				
	行番号							
	出力区分							「0」を移送
	タイトルコード							「1001」を移送
	記録コード							「1001」を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立･確定日を設定
	離婚 離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定 以外は、スペース		
	離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3、4のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、 離婚の成立･確定日を設定
	離婚除籍日							
	配偶者氏名			夫の漢字氏名				R4(誤記修正)
	配偶者の国籍							
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	5.5　身分事項(変動無し・妻・夫婦の戸籍)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
		届出日				受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格							離婚の種別 ≠ 1　かつ 届出人資格1or2 ＝ 006の場合、 「夫」を設定
			資格名称							
		証書提出日				受領日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペースのときのみ
		証書提出者	資格							離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ≠ スペース　かつ 届出人が夫から一方のみの場合に 「夫」を設定
			資格名称							
	送付	送付を受けた日				送付日				項目があれば移送
		受理者				発送元				
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		離婚後の氏								
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日				処理日				
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	5.6　戸籍事項(編製・妻)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								「0」を設定
	タイトルコード								「1101」を設定
	記録コード								「1101」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録								
		氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	6.1　子(変動無し・親権)　編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	未成年者n個人番号				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「1301」を移送
	記録コード								「1301」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、 受領日を設定 上記以外は離婚の成立・確定日を設定
	親権	親権者を定めた日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ 外国離婚方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)　かつ　外国離婚方式 ≠ スペースの時、離婚の成立・確定日を設定　上記以外は未設定		
		親権者を定められた日			離婚の成立日・確定日				離婚の種別 ≠ 1の場合、 離婚の成立日・確定日 上記以外は未設定
		親権者	資格						未成年n親権者区分が 1の場合:「父」 2の場合:「母」 3の場合:「養父」 4の場合:「養母」
			資格名称						
			氏名		未成年者n養父の氏名 未成年者n養母の氏名				未成年n親権者区分が 3の場合:未成年者n養父の氏名 4の場合:未成年者n養母の氏名 その他の場合:スペース
	届出	届出人1	資格						離婚の種別 ＝ 1の場合 次頁の編集条件を参照 離婚の種別 ≠ 1の場合 スペースを設定
			資格名称						
			氏名						
		届出人2	資格						離婚の種別 ＝ 1の場合 次頁の編集条件を参照 離婚の種別 ≠ 1の場合 スペースを設定
			資格名称						
			氏名						

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)								
処理名	6.1　子(変動無し･親権)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13

作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)
処理名	補足説明(親権事項の届出人資格編集条件)

☆親権事項中、届出人資格を以下の条件により設定する

親権者指定区分	養父母欄の条件*1		届出人資格1	届出人氏名1	届出人資格2	届出人氏名2
1 (父)	養母 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【父】		【養母】	未成年者n養母の氏名
2 (母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【養父】	未成年者n養父の氏名	【母】	
3 (養父)	養母 ＝ スペース?	YES	【養父】	未成年者n養父の氏名	【母】	
		NO	【養父】	未成年者n養父の氏名	【養母】	未成年者n養母の氏名
4 (養母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父】		【養母】	未成年者n養母の氏名
		NO	【養父】	未成年者n養父の氏名	【養母】	未成年者n養母の氏名

*1: 未成年者の子側の養父母欄を示す

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	7.1　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			夫の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							12(離婚同時戸籍法77条の2届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			夫の漢字氏名				
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 2の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	7.2　9条2項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			妻の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							12(離婚同時戸籍法77条の2届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			妻の漢字氏名				
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 4の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 4の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(夫)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					12:離婚同時77条の2届(届出選択番号)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名				
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							夫の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 2の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所地番				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(離婚同時77条の2届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(妻)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					12:離婚同時77条の2届(届出選択番号)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名				
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							妻の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 4の時　新本籍 戸籍変動区分 ≠ 4の時　本籍
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所地番				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

12.親権(管理権)届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	親権80	「親権(管理権)届」	3.0審査 ・(2-1)成人年齢引下げの改修にける不要条件の削除 ・(20-1)成人年齢引下げの改修にける不要条件の削除
2		親権81		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	親権・管理権届					

1.親権(管理権)業務処理範囲外の処理

(1)裁判所書記官から戸籍の記録嘱託

(2)同一人再婚、同籍内縁組等による共同親権の記録や父母離婚の際親権者を父又は母と定められた子が養子となった後離縁したため復籍戸籍に記録する
親権に関する記録等、親権届が出ない各届に付随して記録される親権事項は、各届での移記処理により記録する

(3)親権者を父又は母の一方に定められた子が成年に達したため、婚姻したため親権に服さなくなった旨記録の申出があった場合の記録

(4)取消に関する処理

2.親権(管理権)届入力画面の意義

(1)その1入力画面:未成年者及び親権者の入力

(2)その2入力画面:届出事項及び届出人の入力

(3)ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3.その他

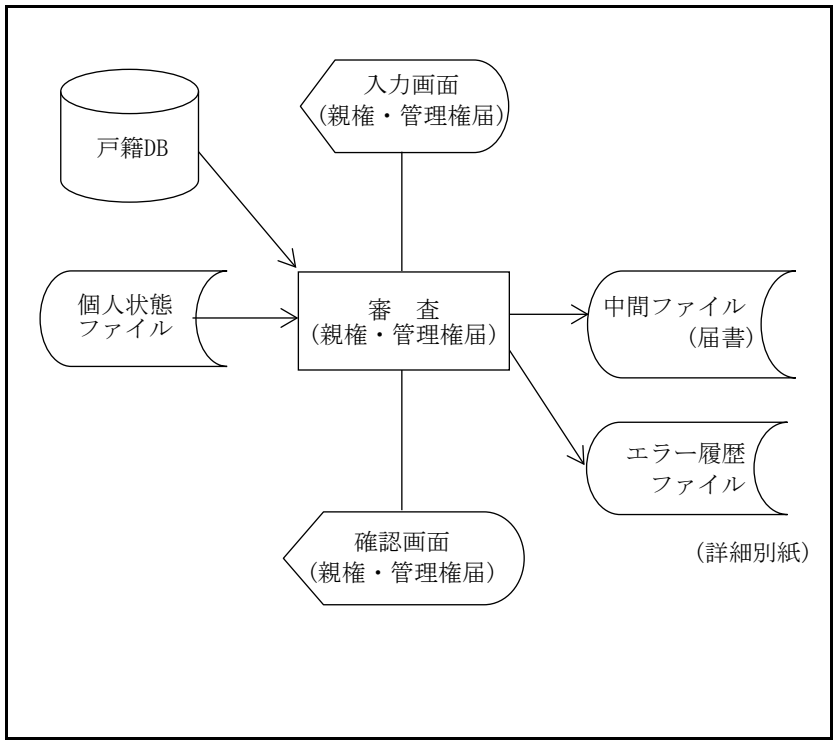
(1)協議による親権者指定届は、未成年者の共同親権者である父(養父)と母(養母)により行われること。

(2)親権者変更届は、親権者をどちらか一方に定めた後、もう一方に変えるときに行われること。

(3)受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(親権・管理権届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)親権(管理権)届の内容を入力する
(2)親権(管理権)届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)親権(管理権)届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)親権(管理権)届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(親権(管理権)届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(親権・管理権届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する							/			「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)							/				
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/				
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/				
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/				
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す			
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/				
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する		メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す			
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)						/				
	YES	(17)前ページ分の入力画面(親権・管理権届)を編集する						(18)同画面を編集する			
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する									
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)						/				
	YES	(21)次ページ分の入力画面(親権・管理権届)を編集する						(22)同画面を編集する			
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する									
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する										
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	審査(親権・管理権届)								
処理名				画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表				入力画面(親権・管理権届)					

1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	報告区分	○	数字	(1:創設、2:報告)であること			
11	未成年者の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
12	未成年者の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
13	未成年者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	未成年者のカナ氏名	○	カナ				
15	未成年者の漢字氏名	○	漢字				
16	未成年者の本籍	○	漢字				
17	未成年者の筆頭者名		漢字				
18	親権者の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
19	親権者の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
20	親権者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	親権者のカナ氏名	○	カナ				
22	親権者の漢字氏名	○	漢字				
23	親権者の本籍	○	漢字				
24	親権者の筆頭者名		漢字				
25	親権者資格	○	数字	(1:父、2:母、10:養父、11:養母)であること			
26	届出事件	○	数字	(1:親権者指定～8:管理権回復)であること (3:親権喪失、6:管理権喪失を除く)			

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	審査(親権・管理権届)								
処理名				画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表				入力画面(親権・管理権届)					
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。　正しく入力して下さい。」				
27	種別区分	○	漢字	(1:協議　～　4:審判(確定))であること					
28	審判/調停日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
29	関連事件発生日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
30	届出人資格1	○	数字	(1:父、2:母、10:養父、11:養母、82:親族)であること					
31	届出人氏名1		漢字						
32	届出人･協議者資格		数字	(1:父、2:母、10:養父、11:養母)であること					
33	届出人･協議者の外国人区分		数字	(0:日本人、2:外国人)であること					
34	届出人･協議者の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること					
35	届出人･協議者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」					
36	届出人･協議者のカナ氏名		カナ						
37	届出人･協議者の漢字氏名		漢字						
38	届出人･協議者の本籍		漢字						

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(親権・管理権届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(親権･管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館からの直接送付)　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
12	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.13)未成年者の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.13)未成年者の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.17)未成年者の筆頭者名が入力されていること			
17	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.17)未成年者の筆頭者名は未入力であること			
18	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 管内であること			
19	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 管外であること			
19-1	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.15)未成年者の漢字氏名の氏 ＝ (No.17)未成年者の筆頭者名の氏であること			
20	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
21	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.20)親権者の生年月日 ＝ 和暦であること			
22	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.20)親権者の生年月日 ＝ 西暦であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(親権・管理権届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(親権･管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
23	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 本籍であること			
24	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 国籍であること			
25	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.24)親権者の筆頭者名が入力されていること			
26	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.24)親権者の筆頭者名は未入力であること			
27	(No.19)親権者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 管内であること			
28	(No.19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 管外であること			
28-1	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.22)親権者の漢字氏名の氏 ＝ (No.24)親権者の筆頭者名の氏であること			
29	(No.10)届出区分 ＝ 1(創設的届出)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 4、5、7、8(親権者辞任、親権者回復、管理権辞任、管理権回復)　又は (No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)で(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)であること			
30	(No.10)届出区分 ＝ 2(報告的届出)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 2、(親権者変更)　又は (No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)で(No.27)種別区分 ＝ 2、4(調停、審判)であること			
31	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時、(No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)であること			
32	(No.27)種別区分 ＝ 2(調停)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 1、2(親権者指定、親権者変更)であること			
33	(No.27)種別区分 ＝ 3(許可の審判)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 4、5、7、8(親権者辞任、親権者回復、管理権辞任、管理権回復)であること			
34	(No.27)種別区分 ＝ 4(審判)の時、 (No.26)届出事件 ＝ 1、2(親権者指定、親権者変更)であること			
35	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時、(No.28)審判/調停日は入力されていないこと			
36	(No.27)種別区分 ＝ 2、3、4(調停、許可の審判、審判)の時、 (No.28)審判/調停日は必須入力であり　かつ (No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.28)審判/調停日であり、 (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≧ (No.28)審判/調停日であること			
37	(No.25)親権者区分 ＝ (No.30)届出人資格1かつ(No.31)届出人氏名1 ≠ スペースの時、 (No.22)親権者の漢字指名 ＝ (No.31)届出人氏名1であること			
38	(No.25)親権者区分 ≠ (No.30)届出人資格1の時、(No.31)届出人氏名1は必須入力であること			

データチェック （関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(親権・管理権届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(親権･管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
39	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時、 (No.32)届出人･協議者資格～(No.38)届出人･協議者の本籍は必須入力であること			
40	(No.27)種別区分 ≠ 1(協議)の時、 (No.32)届出人･協議者資格～(No.38)届出人･協議者の本籍は未入力であること			
42	(No.32)届出人･協議者資格に入力がある時、 (No.30)届出人資格1 ＝ 1　又は　10(父、養父)の場合は、 (No.32)届出人･協議者資格 ＝ 2　又は　11(母、養母)であること			
43	(No.32)届出人･協議者資格に入力がある時、 (No.30)届出人資格1 ＝ 2　又は　11(母、養母)の場合は、 (No.32)届出人･協議者資格 ＝ 1　又は　10(父、養父)であること			
44	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
45	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.35)届出人･協議者の生年月日 ＝ 和暦であること			
46	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.35)届出人･協議者の生年月日 ＝ 西暦であること			
47	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.38)届出人･協議者の本籍 ＝ 本籍であること			
48	(No.33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.38)届出人･協議者の本籍 ＝ 国籍であること			
49	(No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.38)届出人･協議者の本籍 ＝ 管内であること			
50	(No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.38)届出人･協議者の本籍 ＝ 管外であること			
51	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は　(No.19)親権者の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は (No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 1(本籍)ならば (No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
52	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ (No.34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)ならば (No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(親権・管理権届)

処理名	3.0 審査			備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)	/			
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する			
YES	(0-2)→(0-5)へ	/		
NO	→		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ	/		
(0-5)(未成年者の外国人区分 = 0(日本人) かつ 未成年者の漢字氏名の名が未入力) 又は 親権者の外国人区分 = 0(日本人) かつ 親権者の漢字氏名の名が未入力) 又は (届出人・協議者の外国人区分 = 0(日本人) かつ 届出人・協議者の漢字氏名の名が未入	/		名未定の審査 R2.1(親権79)	
YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		(0-7) 本紙へ	R2.1(親権79)
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-10) 本紙へ	R2.1(親権79) 画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-9)→			R2.1(親権79)
NO	(0-11)→(1)	/		R2.1(親権79)
(1)届出種別(1:協議、2:調停、3:許可審判、4:審判)	/			
1	(2)未成年者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
0	(2-1)受領日 ≧ 2022年4月1日(YES,NO)	/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R3.0(親権80)
YES	(2-2)未成年者の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		民818の1 R2.1(親権77)
YES	(2-3)→(7)	/		R2.1(親権77)
NO	(2-4)エラーメッセージ 「未成年者の年齢は18歳以上です」を表示する		(2-5)本紙へ	不受理 R2.1(親権77)
NO	(3)未成年者の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		民818の1
YES	(4)→(7)	/		
NO	(5)エラーメッセージ 「未成年者の年齢は20歳以上です」を表示する		(6)本紙へ	不受理
(7)未成年者の本非区分(1:本籍、2:非本籍)	/			
1	(8)	/		(8)～(11)削除
	(9)		(10)	
	(11)→(12)	/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			審査(親権・管理権届)						
処理名			3.0 審査					備考	
			(12)未成年者の父(養父)母(養母)の氏名欄のいずれかに親権者の氏名があるか (YES,NO)	/					
		YES	(13)→(20)	/					
		NO	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「親権者名は正しいですか」を表示する		(15)本紙へ				
		YES	(16)→(20)	/					
		NO	(17)→		(18)本紙へ			不受理	
	2		(19)→(20)	/					
1				/					
(20)親権者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/					
0			(20-1)受領日 ≧ 2022年4月1日(YES,NO)	/				民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ)	
								(2022年4月1日)	R3.0(親権80)
	YES		(20-2)親権者の生年月日 + 18年(18歳未満) ≦ 受領日である(YES,NO)	/				明治33.11.16 民刑第1451号回答	R2.1(親権77)
		YES	(20-3)→(28)	/					R2.1(親権77)
		NO	(20-4)確認メッセージ(YES,NO) 「親権者は未成年ですがよろしいですか」を表示する		(20-5)本紙へ			昭和26.3.6 民事甲第412号回答	R2.1(親権77)
		YES	(20-6)→(28)	/					R2.1(親権77)
		NO	(20-7)→		(20-8)本紙へ			不受理	R2.1(親権77)
	NO		(21)親権者の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 受領日である(YES,NO)	/				民818の1	
		YES	(22)→(7)	/					
		NO	(23)確認メッセージ(YES,NO) 「親権者は未成年ですがよろしいですか」を表示する		(24)本紙へ			昭和26.3.6 民事甲第412号回答	
		YES	(25)→(28)	/					
		NO	(26)→		(27)本紙へ			不受理	
	(28)親権者の本非区分(1:本籍、2:非本籍)			/					
	1		(29)	/				(29)～(32)削除	
			(30)		(31)				
			(32)→(34)	/					
	2		(33)→(34)	/					
1									

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(親権・管理権届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は未成年者の父(養父)、母(養母)の双方ですか」を表示する				(35)本紙へ		戸78	
	YES	(36)→(89)		/				
	NO	(37)→			(38)本紙へ		不受理	
2	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか」を表示する						戸63、人事訴訟法によりメッセージを変更	
	YES	(40)→(43)		/				
	NO	(41)→			(42)本紙へ		不受理	
	(43)審判/調停日 + 10日 > 受領日(YES,NO)			/			戸63	
	YES	(44)→(50)		/				
	NO	(45)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示する			(46)本紙へ			
		YES	(47)→(50)	/				
		NO	(48)→		(49)本紙へ		不受理	
	(50)届出人は新たに親権者となった者であるか(YES,NO)			/			戸79	
	YES	(51)→(89)		/				
	NO	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は正しいですか」を表示する			(53)本紙へ			
		YES	(54)→(89)	/				
		NO	(55)→		(56)本紙へ		不受理	
3	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「許可審判書の謄本の添付がありますか」を表示する							
	YES	(58)→(61)		/				
	NO	(59)→			(60)本紙へ		不受理	
	(61)届出人は辞任(回復)しようとする親権者か(YES,NO)			/			戸80	
	YES	(62)→			(63)本紙へ		受理	
	NO	(64)確認メッセージ(YES,NO)「届出人は正しいですか」を表示する						
		YES	(65)→				受理	
		NO	(66)→				不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(親権・管理権届)
処理名	3.0 審査

						備考
4	(67)確認メッセージ(YES,NO) 「審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか」を表示する					戸63
	YES	(68)→(71)		/		
	NO	(69)→			(70)本紙へ	不受理
	(71)審判/調停日 + 10日 > 受領日(YES,NO)			/		戸79
	YES	(72)→(78)		/		
	NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示する			(74)本紙へ	
		YES	(75)→(78)	/		
		NO	(76)→		(77)本紙へ	不受理
	(78)届出事件は1(親権者指定)、2(親権者変更)であるか(YES,NO)			/		
	YES	(79)届出人は親権(管理権)をそれぞれ指定・変更する親権者本人であるか(YES,NO)		/		戸79
		YES	(80)→(89)	/		
		NO	(81)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間正しいですか」を表示する		(82)本紙へ	
			YES (83)→(89)	/		
			NO (84)→		(85)本紙へ	不受理
	NO	(86)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は喪失宣告を受けないもう一方の親権者ですか」を表示する				戸79
		YES	(87)→			受理
		NO	(88)→			不受理
(89)届出事件は1(親権者指定)であるか(YES,NO)				/		
YES	(90)関連事件発生日に入力があるか(YES,NO)			/		
	YES	(91)確認メッセージ(YES,NO) 「既に養子離縁は成立しており、事件発生日と養子離縁届出日は同じですか」を表示する			(92)本紙へ	
		YES	(93)→			受理
		NO	(94)→			不受理
	NO	(95)→				受理
NO						

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(親権・管理権届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		親権･管理権届 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							13(親権･管理権届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時:1 在外送付区分 ＝ 1、2、3の時:2 を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分			報告区分				
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム･インターフェース	戸籍番号				未成年者が本籍人の場合、選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(親権・管理権届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	処分区分							審査結果により、1 ＝ 受理、又は、2 ＝ 不受理、又は、3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未設定)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送
中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年者の個人番号		親権･管理権届 入力画面					
	未成年者の外国人区分			未成年者の外国人区分				
	未成年者の本非区分			未成年者の本非区分				
	未成年者の生年月日			未成年者の生年月日				
	未成年者のカナ氏名			未成年者のカナ氏名				
	未成年者の漢字氏名			未成年者の漢字氏名				
	未成年者の本籍コード			未成年者の本籍				
	未成年者の本籍							
	未成年者の筆頭者			未成年者の筆頭者名				
	親権者の個人番号							
	親権者の外国人区分			親権者の外国人区分				
	親権者の本非区分			親権者の本非区分				
	親権者の生年月日			親権者の生年月日				
	親権者のカナ氏名			親権者のカナ氏名				
	親権者の漢字氏名			親権者の漢字氏名				
	親権者の本籍コード			親権者の本籍				
	親権者の本籍							
	親権者の筆頭者名			親権者の筆頭者名				

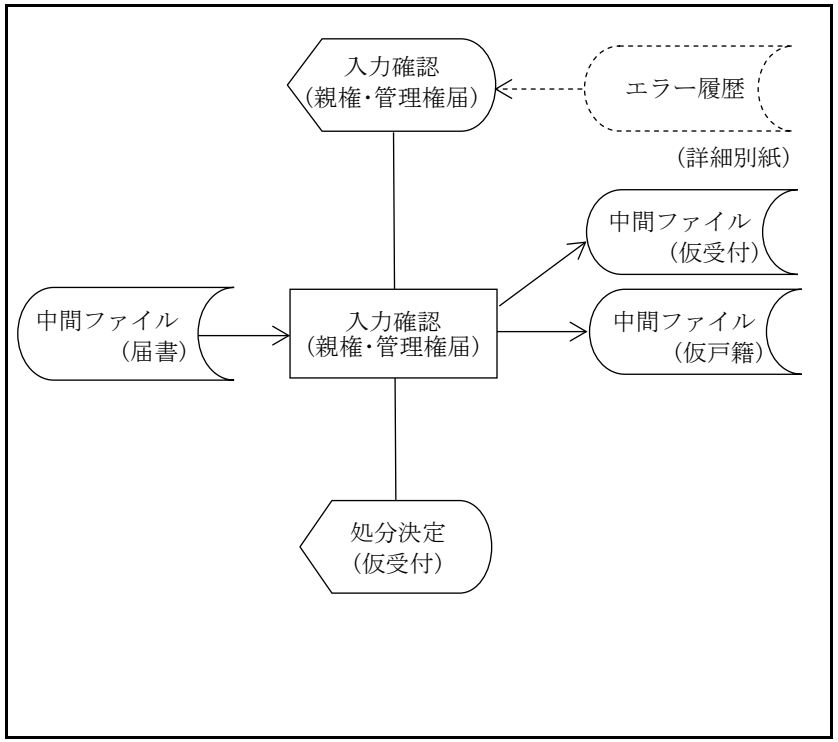
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(親権・管理権届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権者資格			親権者資格				
	届出事件コード			届出事件				
	届出事件種別区分			種別区分				
	審判/調停日			審判/調停日				
	関連事件発生日			関連事件発生日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人･協議者資格			届出人･協議者資格				
	届出人･協議者の個人番号							
	届出人･協議者の外国人区分			届出人･協議者の外国人区分				
	届出人･協議者の本非区分			届出人･協議者の本非区分				
	届出人･協議者の生年月日			届出人･協議者の生年月日				
	届出人･協議者のカナ氏名			届出人･協議者のカナ氏名				
	届出人･協議者の漢字氏名			届出人･協議者の漢字氏名				
	届出人･協議者の本籍コード			届出人･協議者の本籍				
	届出人･協議者の本籍							

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(親権・管理権届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(親権･管理権届確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	0.0 本紙						根拠法令(マニュアル処理)	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する [1.0]				/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する [2.0]			/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.0]			/				
	(5)							
	(6)事件本人(未成年者)が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/	(9)処分決定に制御を渡す			
		身分事項(変動なし)	(8)現戸籍(未成年者)に親権･管理権事項の編集 [4.1]	/				
	NO	→						
PF1	→				(10)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(11)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(12)審査に制御を渡す			
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/	(15)同画面を編集する			
	YES	(14)前ページ分の確認画面(親権・管理権届)を編集する						
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(18)次ページ分の確認画面(親権・管理権届)を編集する						
	NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(20)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(22)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	1.0　確認画面(親権･管理権届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
親権･管理権届確認画面	画面ID		中間ファイル(届書)共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	未成年者の外国人区分		中間ファイル(届書)事件別内容	未成年者の外国人区分		有		
	未成年者の外国人区分名称							
	未成年者の本非区分			未成年者の本非区分		有		
	未成年者の本非区分名称							
	未成年者の生年月日			未成年者の生年月日				
	未成年者のカナ氏名			未成年者のカナ氏名				
	未成年者の漢字氏名			未成年者の漢字氏名				
	未成年者の本籍			未成年者の本籍コード				
				未成年者の本籍				
	未成年者の筆頭者名			未成年者の筆頭者				
	親権者の外国人区分			親権者の外国人区分		有		
	親権者の外国人区分名称							
	親権者の本非区分			親権者の本非区分		有		
	親権者の本非区分名称							
	親権者の生年月日			親権者の生年月日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	1.0　確認画面(親権･管理権届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	親権者のカナ氏名			親権者のカナ氏名				
	親権者の漢字氏名			親権者の漢字氏名				
	親権者の本籍			親権者の本籍コード				
				親権者の本籍				
	親権者の筆頭者名			親権者の筆頭者				
	親権者資格			親権者資格				
	届出事件			届出事件コード				
	種別区分			届出事件種別区分				
	審判/調停日			審判/調停日				
	関連事件発生日			関連事件発生日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人･協議者資格			届出人･協議者資格				
	届出人･協議者の外国人区分			届出人･協議者の外国人区分				
	届出人･協議者の本非区分			届出人･協議者の本非区分				
	届出人･協議者の生年月日			届出人･協議者の生年月日				
	届出人･協議者のカナ氏名			届出人･協議者のカナ氏名				
	届出人･協議者の漢字氏名			届出人･協議者の漢字氏名				
	届出人･協議者の本籍			届出人･協議者の本籍コード				
				届出人･協議者の本籍				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(親権・管理権届)
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件				未成年者の現在戸籍
	未成年者				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		未成年者(4.1)
2	○			○	
3		○	-	-	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							届出事件コード ＝ 1(親権者指定)の時、 届出事件種別区分 ＝ 協議ならば 1301(親権者指定) 届出事件種別区分 ＝ 調停ならば 1302(親権者指定(調停)) 届出事件種別区分 ＝ 審判(確定)ならば 1303(親権者指定(裁判)) 届出事件コード ＝ 2(親権者変更)の時、 届出事件種別区分 ＝ 調停ならば 1304(親権者変更(調停)) 届出事件種別区分 ＝ 審判(確定)ならば 1305(親権者変更(裁判)) 届出事件コード ＝ 4(親権辞任)の時、 1310(親権辞任) 届出事件コード ＝ 7(管理権辞任)の時、 1311(管理権辞任) 届出事件コード ＝ 5(親権回復)の時、 1312(親権回復) 届出事件コード ＝ 8(管理権回復)の時、 1313(管理権回復)を移送
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ 0の時、移送 送付日 ≠ 0の時、移送
	事件発生日			審判/調停日				届出事件種別区分 ＝ 調停、審判(確定)　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							日本人のみ届のため設定不要
	発送日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	届出人資格区分1			届出人資格1				親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送 ただし届出人資格 ＝ 1、2の場合は移送しない
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	事件本人区分							未成年者 ＝ 15 親権者 ＝ 16～25 16:届出事件コードが親権者指定、親権者変更 19:届出事件コードが親権辞任 20:届出事件コードが親権回復 24:届出事件コードが管理権辞任 25:届出事件コードが管理権回復 親権協議者 ＝ 49
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				未成年者 ＝ 未成年者のカナ氏名 親権者 ＝ 親権者のカナ氏名 親権協議者 ＝ 届出人･協議者のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				未成年者 ＝ 未成年者の漢字氏名 親権者 ＝ 親権者の漢字氏名 親権協議者 ＝ 届出人･協議者の漢字氏名
	生年月日			生年月日				未成年者 ＝ 未成年者の生年月日 親権者 ＝ 親権者の生年月日 親権協議者 ＝ 届出人･協議者の生年月日
	本籍コード			本籍コード				未成年者 ＝ 未成年者の本籍コード 親権者 ＝ 親権者の本籍コード 親権協議者 ＝ 届出人･協議者の本籍コード
	本籍			本籍				未成年者 ＝ 未成年者の本籍 親権者 ＝ 親権者の本籍 親権協議者 ＝ 届出人･協議者の本籍
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				未成年者 ＝ 未成年者の筆頭者 親権者 ＝ 親権者の筆頭者名
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0の時、1を移送(未成年者のみ設定) 上記以外は、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1. 未成年者
2. 親権者
3. 親権協議者(但し、親権協議者は、協議による親権者指定届の時のみ出力する)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							1301(親権者指定)
	記録コード							1301(親権者指定)
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				届出事件種別区分 ＝ 協議　かつ 関連事件発生日 ＝ 0　又は 届出事件種別区分 ＝ 許可の審判の時、移送
				関連事件発生日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 関連事件発生日 ≠ 0の時、移送
				審判/調停日				届出事件種別区分 ＝ 調停(成立)、審判(確定) かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定めた日			受領日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 届出事件種別区分 ＝ 協議　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定められた日							
	親権者となった日			関連事件発生日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 関連事件発生日 ≠ 0の時、移送
	親権者を定める裁判確定日			審判/調停日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 届出事件種別区分 ＝ 審判(確定)　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定める調停成立日			審判/調停日				届出事件コード ＝ 親権者指定　かつ 届出事件種別区分 ＝ 調停(成立)　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者変更の裁判確定日			審判/調停日				届出事件コード ＝ 親権者変更　かつ 届出事件種別区分 ＝ 審判(確定)の時、移送
	親権者変更の調停成立日			審判/調停日				届出事件コード ＝ 親権者変更　かつ 届出事件種別区分 ＝ 調停(成立)の時、移送
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日			受領日			届出事件コード ＝ 親権辞任の時、移送	
	管理権辞任日			受領日			届出事件コード ＝ 管理権辞任の時、移送	
	親権回復日			受領日			届出事件コード ＝ 親権回復の時、移送	
	管理権回復日			受領日			届出事件コード ＝ 管理権回復の時、移送	
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	親権者職務執行停止の裁判失効日							
	管理権執行停止の裁判失効日							
	親権代行者改任の裁判発効日							
	管理権代行者改任の裁判発効日							
	親権喪失の審判確定日							
	管理権喪失の審判確定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 親権者指定、親権者変更の時、移送
		資格名称							
		氏名			親権者の漢字氏名				届出事件コード ＝ 親権者指定、親権者変更 かつ 親権者資格 ＝ 10、11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 親権辞任の時、移送
		資格名称							
	管理権辞任者	資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 管理権辞任の時、移送
		資格名称							
	親権回復者	資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 親権回復の時、移送
		資格名称							
	管理権回復者	資格			親権者資格		有		届出事件コード ＝ 管理権回復の時、移送
		資格名称							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)						
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							
	届出日				受領日			届出事件種別区分 ＝ 協議　かつ 関連事件発生日 ＝ 0の時　又は 届出事件種別区分 ＝ 許可の審判の時、 上記以外の時、移送	
	届出人(資格)				届出人資格1 届出人･協議者資格			届出事件種別区分 ＝ 協議の時、 届出人資格1、届出人･協議者資格が、1、2の時、5(父母)に変換して移送 上記以外は、届出人資格1を移送 (但し、届出事件種別区分 ＝ 許可の審判の時は、移送しない)	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人(資格名称)			届出人資格1 届出人･協議者資格		有		上記、届出人資格に移送した資格をコード変換後に移送
	届出人(氏名)			届出人氏名1				届出人(資格)の備考に基づき、 届出人資格1 ＝ 1、2以外は移送する
	届出人(資格)			届出人･協議者資格				届出事件種別区分 ＝ 協議で、 届出人資格1 ＝ 1 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 11 又は 届出人資格1 ＝ 10 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 2 又は 届出人資格1 ＝ 2 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 10 又は 届出人資格1 ＝ 11 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 1 又は 届出人資格1 ＝ 10 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 11 又は 届出人資格1 ＝ 11 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 10の時 移送する
	届出人(資格名称)			届出人･協議者資格		有		
	届出人(氏名)			届出人･協議者の漢字氏名				届出事件種別区分 ＝ 協議で、 届出人資格1 ＝ 1 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 11 又は 届出人資格1 ＝ 2 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 10 又は 届出人資格1 ＝ 10 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 11 又は 届出人資格1 ＝ 11 かつ 届出人･協議者資格 ＝ 10の時 移送する
	記載嘱託日							
	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	入力確認(親権・管理権届)							
処理名	4.1 未成年者(記録) 編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日			処理日				送付日 ≠ 0の時、移送
	特記事項							
データ編集表(4.1身分事項編集)の仮戸籍･身分事項の項目は、ノーマルケース時の項目のみを記述している。								

第7.2.(5)「異動」処理

13.未成年者の後見届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	後見48	「未成年者の後見届」	審査_3.0　審査 ・未成年被後見人の未成年判定式を修正 (33-2)(33-6) ・確認メッセージ後の(YES、NO)の段落を修正 (34-8)(34-9)(39)(40) 入力確認_4.1　未成年者(記録) ・誤記を修正 ・届出日の移送条件を追加
2		後見47		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	後見51	「未成年者の後見届」	・審査_3.0　審査 (33-1)～(33-6)の「開始日」は入力必須項目でないことから、届出原因が開始事由の場合入力が必須になる「就職日」に変更

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	未成年者の後見届

1. 未成年者の後見業務処理範囲外の処理

(1) 裁判所書記官からの戸籍の記載嘱託(未成年後見人の選任,未成年後見監督人の選任を除く)

(2) 成年に達したため及び婚姻したため等,申出による未成年者の後見終了の記録

(3) 養子縁組,養子離縁,婚姻等,各届出のその他欄に「未成年者の後見終了事項を記録されたい」旨記録して届出があった場合の後見終了の記録

(4) 未成年者からの届出があった場合の記録

(5) 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

(6) 複数の未成年後見人事項が記載されている人がいる戸籍に届出があった場合の記録

(7) 未成年後見人が地位を失った旨の届出があった場合の記録

2. 未成年者の後見終了届入力画面の意義

(1) その1画面:未成年被後見人及び未成年後見人の入力

(2) その2画面:届出事項及び届出人の入力

(3) ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3. その他

(1) 添付書類
- 未成年者の後見開始届については,指定未成年後見人の場合には遺言の謄本,選定未成年後見人の場合には,選定審判の謄本の添付を要する。
  親権・管理権の喪失宣告による未成年者の後見開始の場合には,その審判の謄本のほか,確定証明書の添付を要する。
- 未成年者の後見終了届については,親権・管理権の喪失宣告取消等による後見終了の場合には,それぞれの審判の謄本の添付を要する。
- 未成年後見監督人就職届については,未成年者の後見開始と同様である。
- 未成年後見監督人任務終了届については,終了の原因を証する書面(未成年後見監督人が未成年後見人と婚姻した時は,婚姻事項の記録のある戸籍謄(抄)本が該当する)を添付する。

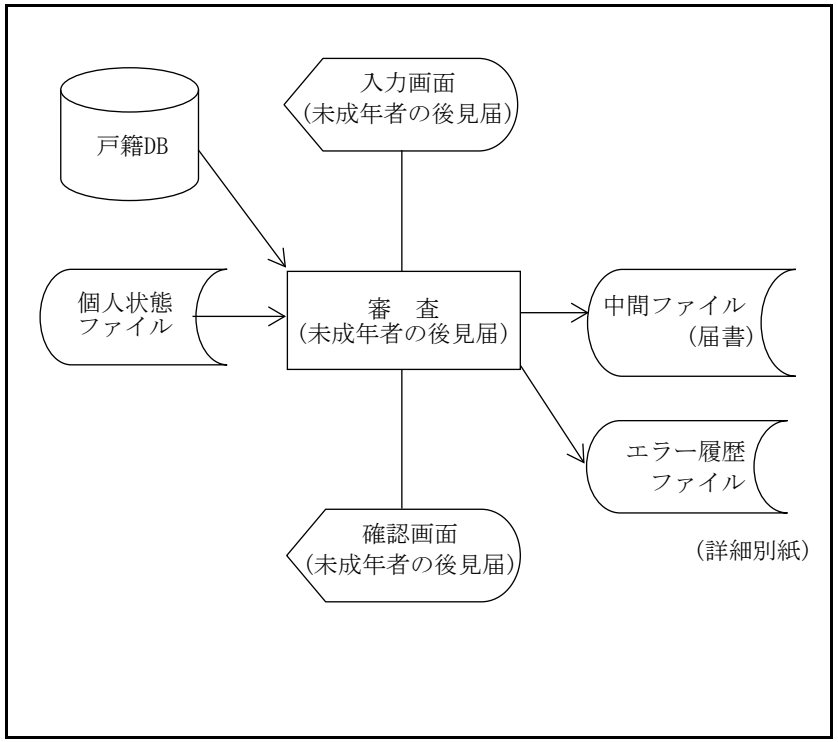
(2) 未成年者,家庭裁判所で免ぜられた法定代理人,保佐人又は補助人,破産者,未成年被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族,行方の知れない者は,未成年後見人(未成年後見監督人)となることができない。

(3) 未成年後見人の配偶者,直系血族及び兄弟姉妹は,未成年後見監督人となることができない。(民法850条)

(4) 未成年後見監督人は,未成年後見人が就職してからでなければ就職できない。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(未成年者の後見届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)未成年者の後見届の内容を入力する
(2)未成年者の後見届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)未成年者の後見届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)未成年者の後見届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(未成年者の後見届)に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(未成年者の後見届)										
処理名	0.0 本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)							/			
	YES	(17)前ページ分の入力画面(未成年者の後見届)を編集する							(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する									
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)							/			
	YES	(21)次ページ分の入力画面(未成年者の後見届)を編集する							(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する									
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する										
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	未成年被後見人の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	未成年被後見人の本非区分	○	漢字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
12	未成年被後見人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	(削除)						
14	未成年被後見人のカナ氏名	○	カナ				
15	未成年被後見人の漢字氏名	○	漢字				
16	未成年被後見人の本籍	○	漢字				
17	未成年被後見人の筆頭者名		漢字				
18	未成年被後見人の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
19	未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
20	未成年後見人の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	未成年後見人区分	○	数字	(3:未成年後見人、4:未成年後見監督人)であること			
22	未成年後見人のカナ氏名		カナ				
23	未成年後見人の漢字氏名	○	漢字				
24	未成年後見人の本籍		漢字				
25	未成年後見人の筆頭者名		漢字				
26	未成年後見人の資格		数字	(1:父、2:母)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(未成年者の後見届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(未成年者の後見届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26-1	未成年後見人の住所		漢字				
27	届出原因区分	○	数字	(11:親権行使者不在、12:親権行使者管理権喪失、 16:未成年後見監督人就職、 32:親権者親権回復、33:親権者管理権回復、 37:未成年後見人成年、38:未成年被後見人親権に服する、 39:未成年後見監督人任務終了、51:未成年後見人選任、 52:未成年後見人選任親権者不在、 53:未成年後見人選任管理権喪失、 54:未成年後見監督人選任)であること。			
28	開始日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	就職日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	終了日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31-1	記録嘱託日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
32	届出人資格		数字	(110:未成年後見人、112:未成年後見監督人、113:後任未成年後見人、114:後任未成年後見監督人、)であること。			
33	届出人氏名		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.4)発送日 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分以外であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館からの直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日>(No.2)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍であること			
12	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.12)未成年被後見人の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.12)未成年被後見人の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.16)未成年被後見人の本･国籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.16)未成年被後見人の本･国籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.17)未成年被後見人の筆頭者名が入力 されていること			
17	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.17)未成年被後見人の筆頭者名は未入力であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17-1	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.15)未成年被後見人の漢字氏名の氏 ＝ (No.17)未成年被後見人の筆頭者名の氏であること			
18	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)未成年被後見人の本籍 ＝ 管内であること			
19	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.16)未成年被後見人の本籍 ＝ 管外であること			
20	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍であること			
21	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.20)未成年後見人の生年月日 ＝ 和暦であること			
22	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.20)未成年後見人の生年月日 ＝ 西暦であること			
23	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.24)未成年後見人の本籍 ＝ 本籍であること			
24	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.24)未成年後見人の本籍 ＝ 国籍であること			
25	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.25)未成年後見人の筆頭者名が入力されていること			
26	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.25)未成年後見人の筆頭者名は未入力であること			
26-1	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0又は1の時、(No.22)未成年後見人のカナ氏名が入力されていること			
27	(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.24)未成年後見人の本籍 ＝ 管内であること			
28	(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.24)未成年後見人の本籍 ＝ 管外であること			
28-1	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.18)未成年後見人の外国人区分が未入力であること			
28-2	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.18)未成年後見人の外国人区分が入力されていること			
28-3	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.19)未成年後見人の本非区分が未入力であること			
28-4	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.19)未成年後見人の本非区分が入力されていること			
28-5	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.20)未成年後見人の生年月日が未入力であること			
28-6	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.20)未成年後見人の生年月日が入力されていること			
28-7	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.24)未成年後見人の本籍が未入力であること			
28-8	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.24)未成年後見人の本籍が入力されていること			
28-9	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.25)未成年後見人の筆頭者名が未入力であること			
28-10	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.26)未成年後見人の資格が未入力であること			
29	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.23)未成年後見人の漢字氏名の氏 ＝ (No.25)未成年後見人の筆頭者名の氏であること			
30	(削除)			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.27)届出原因区分 ＝ 11、12、16:開始事由の時、(No.29)就職日は必須入力であること			
32	(No.27)届出原因区分 ＝ 11、12、16:開始事由の時、 (No.30)終了日、(No.31)裁判確定日、(No.31-1)記録嘱託日に入力がないこと			
33	(削除)			
34	(削除)			
35	(No.27)届出原因区分 ＝ 32、33、37、38、39:終了事由の時、(No.30)終了日は必須入力であること			
36	(No.27)届出原因区分 ＝ 32、33、37、38、39:終了事由の時、 (No.28)開始日、(No.29)就職日、(No.31)裁判確定日、(No.31-1)記録嘱託日に入力がないこと			
36-1	(No.27)届出原因区分 ＝ 51、52、53、54:嘱託事由の時、 (No.31)裁判確定日、(No.31-1)記録嘱託日は必須入力であること			
36-2	(No.27)届出原因区分 ＝ 51、52、53、54:嘱託事由の時、 (No.28)開始日、(No.29)就職日、(No.30)終了日に入力がないこと			
37	(No.28)開始日 ≦ (No.29)就職日であること			
37-1	(No.29)就職日 ≠ スペースの場合、 (No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.29)就職日　であり (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≧ (No.29)就職日であること			
37-2	(No.30)終了日 ≠ スペースの場合、 (No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.30)終了日　であり (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≧ (No.30)終了日であること			
37-3	(No.31)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.4)送付日 ＝ スペース　かつ　(No.9)郵送日 ＝ スペースであること			
37-4	(No.31)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.31)裁判確定日 ≦ (No.3)受領日 ≦ (No.31-1)記録嘱託日であること			
38	(削除)			
39	(削除)			
40	(No.21)未成年後見人区分 ＝ 3:未成年後見人の時、 (No.27)届出原因区分 ＝ 16:未成年後見監督人就職、39:未成年後見監督人任務終了、 54:未成年後見監督人選任以外であること			
41	(No.21)未成年後見人区分 ＝ 4:未成年後見監督人の時、 (No.27)届出原因区分 ＝ 16:未成年後見監督人就職、39:未成年後見監督人任務終了、 54:未成年後見監督人選任であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(未成年者の後見届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
42	(No.21)未成年後見人区分 ＝ 3:未成年後見人　かつ　(No.27)届出原因区分 ＝ 11:親権行使者不在、12:親権行使者管理権喪失、32:親権者親権回復、33:親権者管理権回復、37:未成年後見人成年、38:未成年被後見人親権に服するの時、 (No.32)届出人資格 ＝ 110:未成年後見人、113:後任未成年後見人であること			
43	(No.21)未成年後見人区分 ＝ 4:未成年後見監督人　かつ　(No.27)届出原因区分 ＝ 16:未成年後見監督人就職、39:未成年後見監督人任務終了の時、 (No.32)届出人資格 ＝ 112:未成年後見監督人、114:後任未成年後見監督人であること			
43-1	(No.27)届出原因区分 ＝ 51、52、53、54:嘱託事由の時、 (No.32)届出人資格、(No.33)届出人氏名 に入力がないこと			
44	(No.32)届出人資格 ＝ 110:未成年後見人 又は 112:未成年後見監督人　かつ (No.33)届出人氏名 ≠ スペースの時、 (No.23)未成年後見人の漢字氏名 ＝ (No.34)届出人氏名であること			
45	(No.32)届出人資格 ＝ 113:後任未成年後見人 又は 114:後任未成年後見監督人の時、 (No.27)届出原因区分 ＝ 11、12、16:開始事由であること			
46	(No.32)届出人資格 ＝ 113:後任未成年後見人 又は 114:後任未成年後見監督人の時、 (No.33)届出人氏名は必須入力であること			
47	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 1:本籍　又は (No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 1:本籍の時、 (No.8)本非区分 ＝ 1:本籍であること			
48	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍　かつ　(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍 又は　(No.19)未成年後見人の本非区分が未入力の時、			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(未成年者の後見届)
処理名	3.0 審査

							備考
(0-0-1)届出原因区分は51、52、53、54:嘱託事由であるか(YES,NO)					/		22版追加
YES	(0-0-2)→					(0-0-3)審査終了	※嘱託記載の場合は審査不要のため
NO	(0-0-4)→(0)へ				/		
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
	YES	(0-2)→(0-5)へ			/		
	NO	→				(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ				/		
(0-5)(未成年被後見人の外国人区分 = 0(日本人) かつ 未成年被後見人の漢字氏名の名が未入力) 又は (未成年後見人の外国人区分 = 0(日本人) かつ 未成年後見人の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)					/		名未定の審査 R2.1(後見45)
YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-7) 本紙へ	R2.1(後見45)
	YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(0-10) 本紙へ	R2.1(後見45) 画面項目修正(審査完了しない)
	NO	(0-9)→					R2.1(後見45)
NO	(0-11)→(1)				/		R2.1(後見45)
(1)	(削除)						
	(2)未成年被後見人の外国人区分(0:日本人、1:外国人)				/		
	0	(3)未成年被後見人の本非区分(1:本籍、2:非本籍)			/		
		1	(4)未成年被後見人は婚姻しているか(YES,NO)		/		
		YES	(5)エラーメッセージ 「未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。」を表示する			(6)本紙へ	不受理
		NO	(7)届出原因区分は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか(YES,NO)		/		
			YES	(7-1)終了日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)	/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ)、R2.1(後見43)
				YES	(7-2)未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) - 1日 = 終了日(YES,NO)	/	民4 ※年齢18歳をもって成年とする。R2.1(後見43) 終了日は18歳の誕生日の前日
					YES	(7-3)→(34)	/	R2.1(後見43)
					NO	(7-4)エラーメッセージ 「終了日は18歳の誕生日の前日でなければなりません。」を表示する		(7-5)本紙へ	不受理 R2.1(後見43)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(未成年者の後見届)
処理名	3.0 審査

										備考
					NO	(8)未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) - 1日 = 終了日 (YES,NO)	/			民4 ※年齢20歳をもって成年とする。 終了日は20歳の誕生日の前日
					YES	(9)→(34)	/			
					NO	(10)エラーメッセージ 「終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。」 を表示する		(11)本紙へ		不受理
				NO		(12)→(33-1)	/			R2.1(12/6議2)
		2		(13)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年被後見人は婚姻していますか」を表示する						
			YES	(14)エラーメッセージ 「未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。」 を表示する				(15)本紙へ		不受理
			NO	(16)届出原因区分は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか(YES,NO)			/			
				YES	(16-1)終了日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)		/			民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ)、R2.1(後見43)
					YES	(16-2)未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) - 1日 = 終了日 (YES,NO)	/			民4 ※年齢18歳をもって成年とする。R2.1(後見43) 終了日は18歳の誕生日の前日
						YES	(16-3)→(34)	/		R2.1(後見43)
						NO	(16-4)エラーメッセージ 「終了日は18歳の誕生日の前日でなければなりません。」 を表示する		(16-5)本紙へ	不受理 R2.1(後見43)
					NO	(17)未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) - 1日 = 終了日 (YES,NO)	/			民4 ※年齢20歳をもって成年とする。 終了日は20歳の誕生日の前日
						YES	(18)→(34)	/		
						NO	(19)エラーメッセージ 「終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。」 を表示する		(20)本紙へ	不受理
				NO		(21)→(33-1)	/			R2.1(12/6議2)
		1		(21-1)→(34)			/			
(22)	(削除)						/			
	(23)	(削除)					/			
		(24)	(削除)				/			
			(25)	(削除)			/			
				(26)	(削除)		/	(27)	(削除)	
				(28)	(削除)		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(未成年者の後見届)
処理名	3.0 審査

								備考
			(29) (削除)		/			
			(30) (削除)		/			
			(31) (削除)			(32) (削除)		
		(33) (削除)			/			
(33-1)就職日 ≧ 2022年4月1日 又は 終了日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)					/			民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ)、R2.1(後見43)
YES	(33-2)未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) > 就職日 又は 未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) > 終了日 であるか(YES,NO)				/			R2.1(後見43) R4(後見51)
	YES	(33-3)→(34)			/			R2.1(後見43)
	NO	(33-4)エラーメッセージ 「未成年被後見人は未成年者ではありません。」を表示する				(33-5)本紙へ		不受理 R2.1(後見43)
NO	(33-6)未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) > 就職日 又は 未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) > 終了日 であるか(YES,NO)				/			R2.1(12/6議2) R4(後見51)
	YES	(33-7)→(34)			/			R2.1(12/6議2)
	NO	(33-8)エラーメッセージ 「未成年被後見人は未成年者ではありません。」を表示する				(33-9)本紙へ		不受理 R2.1(12/6議2)
(34)届出原因区分は11、12、16:開始事由であるか(YES,NO)					/			
YES	(34-1)就職日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)				/			民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ)、R2.1(後見43)
	YES	(34-2)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日 + 18年(18歳以上) ≦ 就職日である(YES,NO)			/			民847、民852、民4 R2.1(後見43)
		YES	(34-3)→(42)へ		/			R2.1(後見43)
		NO	(34-4)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日は空欄か(YES,NO)		/			法人を判定 R2.1(後見43)
			YES	(34-5)→(42)へ	/			R2.1(後見43)
			NO	(34-6)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人(未成年後見監督人)は18歳未満ですが、よろしいですか。」を表示する		(34-7)本紙へ		R2.1(後見43)
				YES (34-8)→(42)へ	/			R2.1(後見43)
				NO (34-9)→		(34-10)本紙へ		不受理 R2.1(後見43)
	NO	(35)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 就職日である(YES,NO)			/			民847、民852、民4
		YES	(36)→(42)へ		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(未成年者の後見届)
処理名	3.0 審査

								備考
	NO		(36-1)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日は空欄か(YES,NO)		/			法人を判定
		YES	(36-2)→(42)へ		/			
		NO	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人(未成年後見監督人)は20歳未満ですが、よろしいですか。」 を表示する			(38)本紙へ		
				YES	(39)→(42)へ	/		
				NO	(40)→		(41)本紙へ	不受理
(42)未成年後見人(未成年後見監督人)の外国人区分 0:日本人か(YES,NO)						/		
YES	(43)未成年後見人(未成年後見監督人)の本非区分(1:本籍、2:非本籍)					/		
	1	(44) (削除)				/		
			(45) (削除)				(46) (削除)	
			(47) (削除)			/		
				(48) (削除)			(49) (削除)	
				(50)未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けているか(YES,NO)		/		民847、民852
				YES	(51)エラーメッセージ 「未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けています。」 を表示する		(52)本紙へ	不受理
				NO	(53)→(66)へ	/		
	2	(54)→(66)へ				/		
NO								
(55) (削除)								
	(56) (削除)					/		
		(57) (削除)				/		
			(58) (削除)			/		
			(59) (削除)				(60) (削除)	
		(61) (削除)						
			(62) (削除)			/		
			(63) (削除)				(64) (削除)	
	(65) (削除)					/		
(66)未成年後見人(未成年後見監督人)の就職日 + 10日 > 受領日(YES,NO)						/		戸81、戸82、戸85
YES	(67)→(80)へ					/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			審査(未成年者の後見届)						
処理名			3.0 審査					備考	
	NO		(68)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する			(69)本紙へ			
		YES	(70)→(80)へ		/				
		NO	(71)→			(72)本紙へ		不受理	
NO	(72-1)届出原因区分は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか(YES,NO)				/				
	YES		(72-2)終了日 + 11日 > 受領日(YES,NO)		/			未成年被後見人が成年に達した場合翌日起算	
		YES	(72-3)→(80)へ		/				
		NO	(72-4)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する			(72-5)本紙へ			
		YES	(72-6)→(80)へ		/				
		NO	(72-7)→			(72-8)本紙へ		不受理	
	NO		(72-9)届出原因区分は32、33、38、39であるか(YES,NO)		/				
		YES	(73)終了日 + 10日 > 受領日(YES,NO)		/			戸84、戸85	
			YES	(74)→(80)へ	/				
			NO	(75)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する		(76)本紙へ			
			YES	(77)→(80)へ	/				
			NO	(78)→		(79)本紙へ		不受理	
		NO		(79-1)→(80)	/				
(80)届出人は未成年後見人(未成年後見監督人)か(YES,NO)					/			戸81、戸82、戸84、戸85	
YES	(81)→					(82)本紙へ		受理	
NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は、未成年後見人(未成年後見監督人)ではありませんがよろしいですか。」を表示する								
	YES	(84)→						受理	
	NO	(85)→						不受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(未成年者の後見届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		未成年者の後見届 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							41(未成年者の後見届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき:1 在外送付区分 ≠ 0のとき:2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分							2(報告)を移送
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム･インターフェース	戸籍番号				未成年被後見人が本籍人の場合選択 戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査結果により、 1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理　又は 3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(未成年者の後見届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未設定)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送
中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年被後見人の個人番号		未成年者の後見届 入力画面					
	未成年被後見人の外国人区分			未成年被後見人の外国人区分				
	未成年被後見人の本非区分			未成年被後見人の本非区分				
	未成年被後見人の生年月日			未成年被後見人の生年月日				
	未成年被後見人のカナ氏名			未成年被後見人のカナ氏名				
	未成年被後見人の漢字氏名			未成年被後見人の漢字氏名				
	未成年被後見人の本籍コード			未成年被後見人の本籍				
	未成年被後見人の本籍							
	未成年被後見人の筆頭者			未成年被後見人の筆頭者名				
	未成年後見人の個人番号							
	未成年後見人の外国人区分			未成年後見人の外国人区分				
	未成年後見人の本非区分			未成年後見人の本非区分				
	未成年後見人の生年月日			未成年後見人の生年月日				
	未成年後見人の区分			未成年後見人区分				
	未成年後見人のカナ氏名			未成年後見人のカナ氏名				
	未成年後見人の漢字氏名			未成年後見人の漢字氏名				
	未成年後見人の本籍コード			未成年後見人の本籍				
	未成年後見人の本籍							
	未成年後見人の筆頭者			未成年後見人の筆頭者名				
	未成年後見人資格			未成年後見人の資格				
	未成年後見人の法人住所コード			未成年後見人の住所				
	未成年後見人の法人住所							
	届出事件種別区分			届出原因区分				

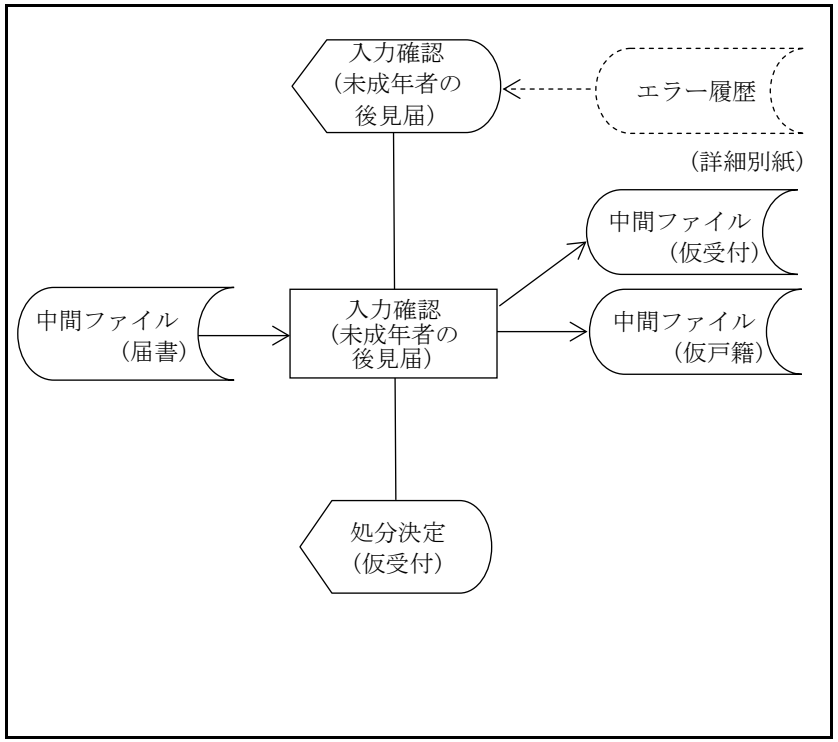
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(未成年者の後見届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	裁判確定日			裁判確定日				
	記録嘱託日			記録嘱託日				
	前任者氏名							
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4

作業名	入力確認(未成年者の後見届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(未成年者の後見届確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		[3.0]	/				
	(5)							
	(6)事件本人(未成年者被後見人)が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/				
		身分事項(変動なし)	(8)現戸籍(未成年者被後見人)に未成年者の後見事項を編集・出力する [4.1]		(9)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(10)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(11)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(12)審査に制御を渡す			
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/	(15)同画面を編集する			
	YES	(14)前ページ分の確認画面(未成年者の後見届)を編集する						
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(18)次ページ分の確認画面(未成年者の後見届)を編集する						
	NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(20)エラー表示に制御を渡す			
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(22)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	1.0　確認画面(未成年者の後見届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
未成年者の後見届 確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	未成年被後見人の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年被後見人の外国人区分		有		
	未成年被後見人の外国人区分名称							
	未成年被後見人の本非区分			未成年被後見人の本非区分		有		
	未成年被後見人の本非区分名称							
	未成年被後見人の生年月日			未成年被後見人の生年月日				
	未成年被後見人のカナ氏名			未成年被後見人のカナ氏名				
	未成年被後見人の漢字氏名			未成年被後見人の漢字氏名				
	未成年被後見人の本籍			未成年被後見人の本籍コード				
				未成年被後見人の本籍				
	未成年被後見人の筆頭者名			未成年被後見人の筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	1.0　確認画面(未成年者の後見届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見人の外国人区分			未成年後見人の外国人区分		有		
	未成年後見人の外国人区分名称							
	未成年後見人の本非区分			未成年後見人の本非区分		有		
	未成年後見人の本非区分名称							
	未成年後見人の生年月日			未成年後見人の生年月日				
	未成年後見人区分			未成年後見人の区分				
	未成年後見人のカナ氏名			未成年後見人のカナ氏名				
	未成年後見人の漢字氏名			未成年後見人の漢字氏名				
	未成年後見人の本籍			未成年後見人の本籍コード				
				未成年後見人の本籍				
	未成年後見人の筆頭者名			未成年後見人の筆頭者				
	未成年後見人の資格			未成年者の後見人資格				
	未成年後見人の住所			未成年後見人の法人住所コード				
				未成年後見人の法人住所				
	届出原因区分			届出事件種別区分				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	裁判確定日			裁判確定日				
	記録嘱託日			記録嘱託日				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	入力確認(未成年者の後見届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	条件				未成年被後見人の現在戸籍
	未成年被後見人				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		未成年者被後見人(4.1)
2	○			○	
3		○	——	——	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード							未成年後見人の区分 ＝ 3(未成年後見人)の時 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始) 4101(未成年者の後見開始) 届出事件種別区分 ＝ 32、33、37、38(終了) 4102(未成年者の後見終了) 届出事件種別区分 ＝ 51、52、53(嘱託) 4117:(未成年後見人選任(嘱託)) 未成年後見人の区分 ＝ 4(未成年後見監督人)の時 届出事件種別区分 ＝ 16(開始) 4110(未成年者の後見監督開始) 届出事件種別区分 ＝ 39(終了) 4111(未成年者の後見監督終了) 届出事件種別区分 ＝ 54(嘱託) 4119:(未成年後見監督人選任(嘱託))
	受領日			送付日　又は 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			就職日				届出事件種別区分 ＝ 11、12、16の時、移送
				終了日				届出事件種別区分 ＝ 32、33、37、38、39 の時、移送
				裁判確定日				届出事件種別区分 ＝ 51、52、53、54 の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格区分1			届出人資格		有		届出人資格 ＝ 未成年後見人　又は未成年後見監督人以外の時に移送する
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							未成年被後見人 ＝ 55 未成年後見人 ＝ 56 未成年後見監督人 ＝ 57
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	カナ氏名			カナ氏名				未成年被後見人　又は 未成年後見人の受付を作成する際に、該当項目を移送する
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	(削除)							
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0の時、1を移送(未成年被後見人のみ設定) 上記以外は、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.未成年被後見人
2.未成年後見人(未成年後見監督人)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	未成年被後見人の個人番号				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							4101(未成年者の後見)
	記録コード							4101(未成年被後見人の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			就職日			届出事件種別区分 ＝ 11、12、16の時、移送	
				終了日			届出事件種別区分 ＝ 32、33、37、38、39 の時、移送	
				裁判確定日			届出事件種別区分 ＝ 51、52、53、54 の時、移送	
	未成年後見人就職日			就職日			未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由) の時、移送	
	未成年後見人選任の裁判確定日			裁判確定日			未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 51、52、53 の時、移送	
	未成年後見監督人就職日			就職日			未成年後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人) かつ　届出事件種別区分 ＝ 16(後見監督人就職)の時、移送	
	未成年後見監督人選任の裁判確定日			裁判確定日			未成年後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人) かつ　届出事件種別区分 ＝ 54 の時、移送	
	未成年者の後見開始事由						未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)の時 届出事件種別区分 ＝ 11(親権行使者不在)、 52(未成年後見人選任親権者不在(嘱託))ならば 「親権を行う者がないため」 届出事件種別区分 ＝ 12(親権行使者管理権喪失)、 53(未成年後見人選任管理権喪失(嘱託))ならば 「親権を行う者が管理権を有しないため」を移送	
	未成年後見人更迭事由の発生日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日			終了日				未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 32、33、37、38(終了事由)の時、移送
	未成年者の後見監督終了日			終了日				未成年後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 39(監督人任務終了)の時、移送
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人	資格		未成年後見人資格			未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由)、 51、52、53(嘱託事由)の時、 未成年後見人資格 ＝ スペースの時、 未成年後見人の漢字氏名 未成年後見人資格 ≠ スペース時、 未成年後見人資格を移送	
		資格名称						
		氏名		未成年後見人の漢字氏名				
	未成年後見人の戸籍	本籍		未成年後見人の本籍			未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の外国人区分 ＝ 日本人　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由)、 51、52、53(嘱託事由)の時移送	
		筆頭者		未成年後見人の筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見人の国籍				未成年後見人の本籍				未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の外国人区分 ＝ 外国人　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由)、 51、52、53(嘱託事由)の時移送
	未成年後見人の生年月日				未成年後見人の生年月日				
	未成年後見人の住所	住所			未成年後見人の法人住所				未成年後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の法人住所 ≠ スペース　かつ 届出事件種別区分 ＝ 11、12(開始事由)、 51、52、53(嘱託事由)の時移送
	辞任した未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見監督人	資格			未成年後見人資格				未成年後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人) かつ　届出事件種別区分 ＝ 16(開始事由)、 54(嘱託事由)の時、 　未成年後見人資格 ＝ スペースの時、 　未成年後見人の漢字氏名を移送 　未成年後見人資格 ≠ スペースの時、 　未成年後見人の資格を移送
		資格名称							
		氏名			未成年後見人の漢字氏名				
	未成年後見監督人の戸籍	本籍			未成年後見人の本籍				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の外国人区分 ＝ 日本人　かつ 届出事件種別区分 ＝ 16(開始事由)、 54(嘱託事由)の時移送
		筆頭者			未成年後見人の筆頭者				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)						
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見監督人の国籍				未成年後見人の本籍				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の外国人区分 ＝ 外国人　かつ 届出事件種別区分 ＝ 16(開始事由)、 54(嘱託事由)の時移送
	未成年後見監督人の生年月日				未成年後見人の生年月日				
	未成年後見監督人の住所	住所			未成年後見人の法人住所				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)　かつ 未成年後見人資格 ＝ スペース　かつ 未成年後見人の法人住所 ≠ スペース　かつ 届出事件種別区分 ＝ 16(開始事由)、 54(嘱託事由)の時移送
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								
	未成年後見監督代行者								
	未成年後見監督代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍								
	未成年後見監督代行者の生年月日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(未成年者の後見届)							
処理名	3.0　未成年者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	届出日			受領日				記録嘱託日=0の時、移送
	届出人 資格			届出人資格				届出人資格 ＝ 113(後任未成年後見人)　又は 114(後任未成年後見監督人)の時に移送
	資格名称							
	氏名			届出人氏名				
	記録嘱託日			記録嘱託日				記録嘱託日 ≠ 0の時、移送
	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送
	特記事項						届出事件種別区分 ＝ 37(未成年被後見人成年)の時、 「成年に達したため」 ＝ 32(親権者親権回復)の時、 「親権喪失の審判取消しの裁判確定のため」 ＝ 33(親権者管理権回復)の時、 「管理権喪失の審判取消しの裁判確定のため」 ＝ 38(未成年被後見人親権に服する)の時、 「親権を行う者があるに至ったため」 ＝ 39(未成年被後見監督人任務終了)の時、 「未成年後見監督人」+漢字氏名(未成年後見人)+「に欠格事由が生じたため」を編集し移送	

第7.2.(5)「異動」処理

14.保佐届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4

作業名	保佐届

1.保佐業務処理範囲外の処理

・裁判所書記官からの戸籍の記録嘱託

・保佐開始届(法改正後は不要となるため)

2.保佐届書入力画面の意義

(1)その1画面:被保佐人及び保佐人の入力

(2)その2画面:届出事項及び届出人の入力

(3)ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3.その他

(1)添付書類

・保佐人更迭届については、法定保佐人が届出をするときには、準禁治産者の配偶者であることを証するため戸籍謄本の添付を要する。(本籍地に届出の場合は不要)
選定保佐人が届出をするときは、保佐人選任の審判の謄本を添付する。

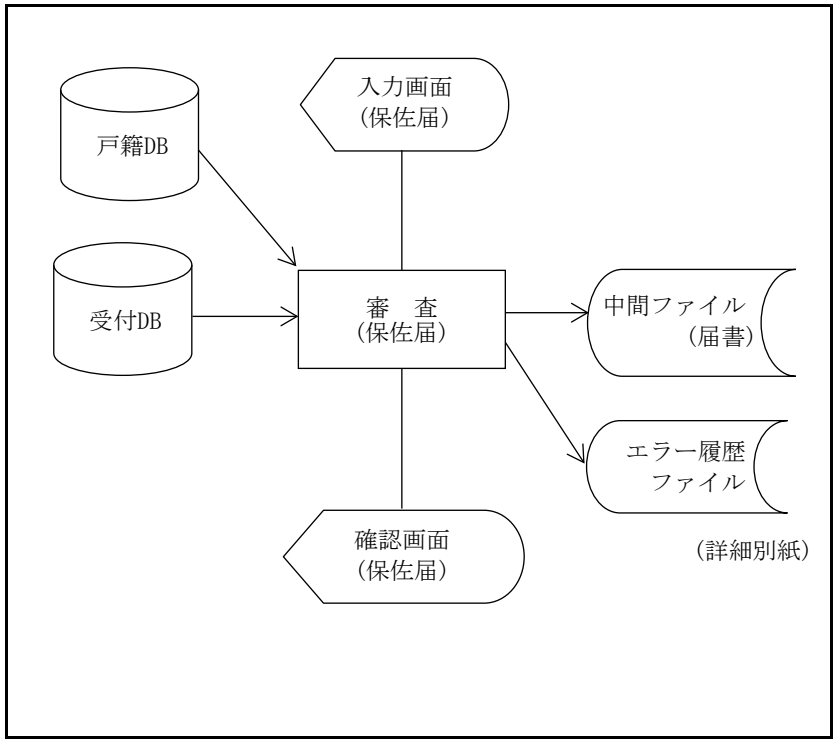
・保佐終了届については、準禁治産者宣告取消の審判の謄本の添付を要する。

(2)保佐人は1人でなければならない。

(3)未成年者、家庭裁判所で免ぜられた法定代理人又は保佐人、補助人、破産者、被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族、行方の知れないものは、保佐人となることはできない。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(保佐届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)保佐届の内容を画面入力する。
(2)保佐届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)保佐届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)保佐届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(保佐届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(保佐届)
処理名	0.0 本紙

													備考
(1)届書内容を画面入力する											/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)											/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]										/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]									/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする								/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]								/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]								(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)							/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する							(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する								メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する										
	NO												
PF1	→											(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→											(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)										/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(保佐届)を編集する										(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する											
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)										/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(保佐届)を編集する										(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する											
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する												入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する												審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する												
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する												

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(保佐届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(保佐届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	在外送付区分	○	漢字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	発送元		漢字				
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	被保佐人の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	被保佐人の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
12	被保佐人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	被保佐人のカナ氏名	○	カナ				
14	被保佐人の漢字氏名	○	漢字				
15	被保佐人の本籍	○	漢字				
16	被保佐人の筆頭者名		漢字				
17	保佐人の外国人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
18	保佐人の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
19	保佐人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	保佐人のカナ氏名	○	カナ				
21	保佐人の漢字氏名	○	漢字				
22	保佐人の本籍	○	漢字				
23	保佐人の筆頭者名		漢字				
24	保佐人資格		数字	(1:父、2:母、6:夫、7:妻)であること			
25	届出原因区分	○	数字	(21:前任者死亡、22:前任者辞任、23:前任者解任、24:前任者資格喪失、31:準禁治産取消確定)であること			

データチェック（単体表）			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(保佐届)							
処理名			画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表			入力画面(保佐届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	開始日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	就職日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
28	終了日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	前任者氏名		数字				
30	届出人資格	○	英数	(63:保佐人)であること			
31	届出人氏名		数字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(保佐届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(保佐届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.4)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき、(No.7)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき、(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
12	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.12)被保佐人の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.12)被保佐人の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.15)被保佐人の本籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.15)被保佐人の本籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.16)被保佐人の筆頭者名が入力されていること			
17	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.16)被保佐人の筆頭者名は未入力であること			
18	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.15)被保佐人の本籍 ＝ 管内であること			
19	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.15)被保佐人の本籍 ＝ 管外であること			
20	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
21	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.19)保佐人の生年月日 ＝ 和暦であること			
22	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.19)保佐人の生年月日 ＝ 西暦であること			
23	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(NO.22)保佐人の本籍 ＝ 本籍であること			
24	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(NO.22)保佐人の本籍 ＝ 国籍であること			
25	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(NO.23)保佐人の筆頭者名が入力されていること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(保佐届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(保佐届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(N0.23)保佐人の筆頭者名は未入力であること			
27	(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(N0.22)保佐人の本籍 ＝ 管内であること			
28	(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(N0.22)保佐人の本籍 ＝ 管外であること			
29	(No.24)保佐人資格 ＝ 6、7(夫、妻)かつ、 (No.10)被保佐人の外国人区分、(No.18)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.15)被保佐人の本籍 ＝ (No.22)保佐人の本籍 かつ、 (No.16)被保佐人の筆頭者名 ＝ (No.23)保佐人の筆頭者名 であること			
30	【削除】			
31	【削除】			
32	(No.25)届出原因区分 ＝ 21～24(更迭事由)の時、 (No.26)開始日、(No.27)就職日、(No.29)前任者氏名は必須入力であること			
33	(No.25)届出原因区分 ＝ 21～24(更迭事由)の時、(No.28)終了日には入力がないこと			
34	(No.25)届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、(No.8)終了日は必須入力であること			
35	(No.25)届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、 (No.26)開始日、(No.27)就職日、(No.29)前任者氏名には、入力がないこと			
36	(No.26)開始日 ≦ (No.27)就職日であること			
36-1	(No.27)就職日 ≠ スペースの場合、(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、 (No.9)郵送日 ≦ (No.27)就職日であり、 (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≦ (No.27)就職日であること			
36-2	(No.28)終了日 ≠ スペースの場合、(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、 (No.9)郵送日 ≦ (No.28)終了日であり、 (No.9)郵送日 ＝ スペースの時、(No.2)受領日 ≦ (No.28)終了日であること			
37	(No.31)届出人氏名 ≠ スペースの時、(No.21)届出人氏名 ＝ (No.21)保佐人の漢字氏名であること			
38	【削除】			【削除】
39	【削除】			
40	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)　又は　(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)ならば (No. 8)本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
41	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)ならば (No. 8)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(保佐届)
処理名	3.0 審査

								備考
(1)被保佐人の外国人区分(0:日本人、1:外国人)						/		
0	(2)被保佐人の本非区分(1:本籍、2:非本籍)					/		
	1	(3)被保佐人は準禁治産者であるか				/		審査(4)～(6)削除
		YES	(7) → (13)			/		審査(8)(9)削除
		NO	(10)エラーメッセージ 「準禁治産者ではありません」を表示する				(11)本紙へ	不受理
	2	(12) → (13)				/		
1						/		
(13)届出原因区分は21～24(更迭事由)であるか						/		
YES	(14)保佐人の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 就職日					/		民847、平11改正前 民847
	YES	(15) → (21)				/		
	NO	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「保佐人は20歳未満ですが、よろしいですか」を表示する					(17)本紙へ	
		YES	(18) → (21)			/		
		NO	(19) →				(20)本紙へ	不受理
	(21)保佐人の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/		
	0	(22)保佐人の本非区分(0:本籍、1:非本籍)				/		審査(23)～(28)削除
		1	(29)保佐人は破産宣告を受けているか			/		民847、平11改正前 民847
			YES	(30)エラーメッセージ 「保佐人は破産宣告を受けています」を表示する			(31)本紙へ	不受理
			NO	(32) → (34)		/		
		2	(33) → (34)			/		
	1					/		
	(34)届出原因区分 ＝ 24(資格喪失) かつ 保佐人資格 ＝ 6(夫)、7(妻) かつ 届出人資格 ＝ 63(保佐人)である(YES,NO)					/		平11改正前 民847、平11改正前 民840
	YES	(35)保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍人)(YES,NO)				/		
		YES	(36)保佐人と被保佐人の婚姻日 ＝ 就職日(YES,NO)			/		
			YES	(36) → (44)		/		
			NO	(37)エラーメッセージ 「保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日でなければなりません」を表示する			(38)本紙へ	
		NO	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日であるものとして処理を続行しますか。」					

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(保佐届)

			YES	(40) → (44)	/		
			NO	(41)→		(42)本紙へ	不受理
	NO	(43) → (44)			/		
	(44)就職日 + 10日 > 受領日				/		平11改正前 戸81、平11改正前 戸82
	YES	(45) → (58)			/		平11改正前 戸85
	NO	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示する				(47)本紙へ	
		YES	(48) → (58)		/		
		NO	(49) →			(50)本紙へ	不受理
NO	(51)終了日 + 10日 > 受領日				/		平11改正前 戸84、平11改正前 戸85
	YES	(52) → (58)			/		
	NO	(53)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示する				(54)本紙へ	
		YES	(55) → (58)		/		
		NO	(56) →			(57)本紙へ	不受理
(58)届出人は保佐人本人であるか					/		平11改正前 戸81・戸82・戸84・戸85
YES	(59)→					(60)本紙へ	受理
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は、保佐人ではありませんがよろしいですか」を表示する						
	YES	(62) →					受理
	NO	(63) →					不受理

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		保佐届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							15(保佐届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき:1 在外送付区分 ＝ 1、2、3のとき:2を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分							2(報告)を移送
	渉外区分							0(日本人)を移送
	同時決裁受領番号(1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索サブシステム インターフェース	戸籍番号				被保佐人が本籍人の場合、選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査結果により、1 ＝ 受理、又は、2 ＝ 不受理、又は、3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集						

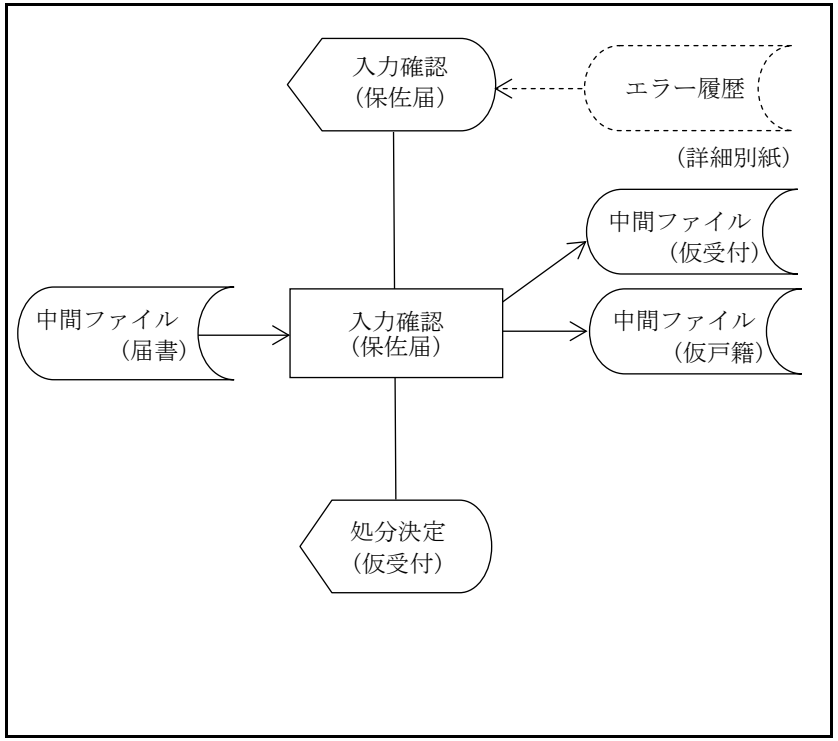
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未決裁)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送
中間ファイル(届書) 事件別内容	被保佐人の個人番号		保佐届入力画面					
	被保佐人の外国人区分			被保佐人の外国人区分				
	被保佐人の本非区分			被保佐人の本非区分				
	被保佐人の生年月日			被保佐人の生年月日				
	被保佐人のカナ氏名			被保佐人のカナ氏名				
	被保佐人の漢字氏名			被保佐人の漢字氏名				
	被保佐人の本籍コード			被保佐人の本籍				
	被保佐人の本籍							
	被保佐人の筆頭者			被保佐人の筆頭者名				
	保佐人の個人番号							
	保佐人の外国人区分			保佐人の外国人区分				
	保佐人の本非区分			保佐人の本非区分				
	保佐人の生年月日			保佐人の生年月日				
	保佐人のカナ氏名			保佐人のカナ氏名				
	保佐人の漢字氏名			保佐人の漢字氏名				
	保佐人の本籍コード			保佐人の本籍				
	保佐人の本籍							
	保佐人の筆頭者名			保佐人の筆頭者名				
	保佐人資格			保佐人資格				
	届出原因区分			届出原因区分				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	前任者氏名			前任者氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(保佐届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 補足説明書(戸籍編製マトリックス表)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(保佐届)

処理名	0.0 本紙	備考

(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、誤りがなければ実行キーを押してください。」を表示する		[1.0]	/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)			/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する	[2.0]	/			
	(4)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する	[3.0]	/			
	(5)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する	[3.0]	/			
	(6)事件本人(被保佐人)が本籍人である(YES,NO)		/			
	YES (7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	[4.0]	/	(9)処分決定に制御を渡す		
	身分事項(変動なし) (8)現戸籍(被保佐人)に保佐事項の編集	[4.1]				
	NO →					
PF1	→			(10)業務選択に制御を渡す		
PF2	→			(11)届出選択に制御を渡す		
PF5	→			(12)審査に制御を渡す		
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)		/	(15)同画面を編集する		
	YES (14)前ページ分の確認画面(保佐届)を編集する					
	NO (16)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する					
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)		/			
	YES (18)次ページ分の確認画面(保佐届)を編集する					
	NO (19)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する					
PF11	→			(20)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(22)同画面を編集する		

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	1.0 確認画面編集(保佐届)						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
保佐届確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	被保佐人の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	被保佐人の外国人区分		有		
	被保佐人の外国人区分名称							
	被保佐人の本非区分			被保佐人の本非区分		有		
	被保佐人の本非区分名称							
	被保佐人の生年月日			被保佐人の生年月日				
	被保佐人のカナ氏名			被保佐人のカナ氏名				
	被保佐人の漢字氏名			被保佐人の漢字氏名				
	被保佐人の本籍			被保佐人の本籍コード				
				被保佐人の本籍				
	被保佐人の筆頭者名			被保佐人の筆頭者				
	保佐人の外国人区分			保佐人の外国人区分		有		
	保佐人の外国人区分名称							
	保佐人の本非区分			保佐人の本非区分		有		
	保佐人の本非区分名称							
	保佐人の生年月日			保佐人の生年月日				
	保佐人のカナ氏名			保佐人のカナ氏名				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	1.0 確認画面編集(保佐届)						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	保佐人の漢字氏名			保佐人の漢字氏名				
	保佐人の本籍			保佐人の本籍コード				
				保佐人の本籍				
	保佐人の筆頭者名			保佐人の筆頭者名				
	保佐人資格			保佐人資格				
	届出原因区分			届出原因区分				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	前任者氏名			前任者氏名				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(保佐届)
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件				被保佐人の現在戸籍
	被保佐人				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		被保佐人(4.1)
2	○			○	
3		○	-	-	

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							届出原因区分 ＝ 21～24(更迭事由) 1503(保佐人更迭) 届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消) 1502(保佐終了)を移送
	受付日			受領日				送付日 ＝ 0の時、移送
				送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	事件発生日			就職日				届出原因区分 ＝ 21～24の時
				終了日				届出原因区分 ＝ 31の時
	事件発生時分							
	事件発生日							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			【削除】				【削除】
	届出人資格名称1			【削除】		【削除】		
	届出人氏名1			【削除】				【削除】
	届出人資格区分2							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)						
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							被保佐人 ＝ 29 保佐人 ＝ 30
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				被保佐人 ＝ 被保佐人のカナ氏名 保佐人 ＝ 保佐人のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				被保佐人 ＝ 被保佐人の漢字氏名 保佐人 ＝ 保佐人の漢字氏名
	生年月日			生年月日				被保佐人 ＝ 被保佐人の生年月日 保佐人 ＝ 保佐人の生年月日
	本籍コード			本籍コード				被保佐人 ＝ 被保佐人の本籍コード 保佐人 ＝ 保佐人の本籍コード
	本籍			本籍				被保佐人 ＝ 被保佐人の本籍 保佐人 ＝ 保佐人の本籍

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成15年 3月1日	版	7
作業名	審査(保佐届)							
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	筆頭者			筆頭者				被保佐人 ＝ 被保佐人の筆頭者 保佐人 ＝ 保佐人の筆頭者名
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0の時、1を移送(被保佐人のみ設定) 上記以外の時、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.被保佐人
2.保佐人

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(保佐届)						
処理名	4.1 身分事項 被保佐人編集						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	被保佐人の個人番号				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							1501を移送
	記録コード							1501を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			就職日				届出原因区分 ＝ 21～24の時、移送
				終了日				届出原因区分 ＝ 31の時、移送
	準禁治産宣告の裁判確定日			【削除】				【削除】
	保佐人更迭事由の発生日			開始日				届出原因区分 ＝ 21、24(前任者死亡、前任者資格喪失)の時、移送
	更迭事由							届出原因区分 ＝ 21(前任者死亡)の時、「保佐人の死亡」 届出原因区分 ＝ 24(前任者資格喪失)の時、 保佐人資格 ＝ 6、7(夫、妻)ならば「任務完了」 保佐人資格 ≠ 6、7(夫、妻以外)ならば 「欠格事由が生じたため」を移送
	前任の保佐人			前任者氏名				届出原因区分 ＝ 21、24(前任者死亡、前任者資格喪失)の時、移送
	保佐人就職日			【削除】				【削除】
	後任の保佐人就職日			就職日				届出原因区分 ＝ 21～24の時、移送
	保佐終了日			終了日				届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、移送

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(保佐届)						
処理名	4.1 身分事項 被保佐人編集						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	保佐人			保佐人の漢字氏名 保佐人資格		有		届出原因区分 ＝ 21～24(開始、更迭事由)の時、保佐人資格 ＝ スペースならば保佐人の漢字氏名 保佐人資格 ≠ スペースならば保佐人資格 を移送
	保佐人の戸籍(本籍)			保佐人の本籍				保佐人資格 ＝ スペース かつ 保佐人の外国人区分 ＝ 日本人 かつ 届出原因区分 ＝ 21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の戸籍(筆頭者)			保佐人の筆頭者名				保佐人資格 ＝ スペース かつ 保佐人の外国人区分 ＝ 日本人 かつ 届出原因区分 ＝ 21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の国籍			保佐人の本籍				保佐人資格 ＝ スペース かつ 保佐人の外国人区分 ＝ 日本人 かつ届出原因区分 ＝ 21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の生年月日			保佐人の生年月日				保佐人資格 ＝ スペース かつ 保佐人の外国人区分 ＝ 日本人 かつ届出原因区分 ＝ 21～24 (開始、更迭事由)の時、移送
	届出日			受領日				
	届出人(資格)			【削除】				【削除】
	届出人(資格名称)			【削除】		【削除】		【削除】
	届出人(氏名)			【削除】				【削除】
	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送
	特記事項							届出原因区分 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、「準禁治産宣告取消しの裁判確定のため」を移送

※データ編集表(4.1身分事項編集)の仮戸籍、身分事項は、ノーマルケース時の項目のみ記述している。

第7.2.(5)「異動」処理

15.死亡届(含本籍分明)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	107	「死亡届」	2020/8/28研究会指摘事項(FXSS)の誤記対応 №5:システム処理の概要説明書で「107:任意後見受任者」が記載されていない №6:入力確認3.0中間ファイル(仮受付)の受付事件コードの備考欄の誤り
2		108		・「30条の12第1項」→「30条の13第1項」に変更 入力確認の該当仕様書を修正
3		109		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
1	R4	111	「死亡届」	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力 R2.1版で修正した受付事件コードの編集内容に誤りがあった。 →本籍不分明区分=2のとき、受理送付区分=1　かつ　関連受領番号が未入力(ゼロ又はヌル)であれば1601(死亡)、それ以外であれば4402(その他(本籍分明))を設定
2		―		(2021.12.24 日立システムズ指摘対応) 4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力 法第92条第1項報告と同第2項報告が同時にされた場合に、双方の報告を1件で処理する場合は、本籍不分明区分を92条第2項で入力するが、この場合人口動態区分が0(不要)に設定される。 1件処理の場合は人口動態区分が1(要)となるよう修正する。

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	死亡届

1.死亡業務処理範囲外の処理

(1) 100歳以上の高齢者について市区町村長が監督局の長の許可を得て消除する場合の記録〔高齢者消除〕

(2) 非本籍地の死亡届が本籍地へ未着のため近親者から提出のあった資料及び受附帳の写しに基づき監督局の長に許可を得てする死亡事項の記録
〔24条2項による職権記録〕

(3) 失踪宣告により除籍された者の属していた戸籍が他の市区町村に転籍により除籍された後に失踪宣告者の死亡届があった場合の死亡事項の記録

(4) 出生届出前に死亡したものにつき死亡届が先に提出された場合の死亡事項の記録

(5) 外国人の死亡における日本人配偶者の婚姻解消事項の記録(生存配偶者が本籍人の場合)〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕

(6) 正当な届出義務者以外からの届出により監督局の長に許可を得てする死亡事項の記録〔24条2項による職権記録〕

(7) 同時死亡と推定される場合(複数人の審査、記録)〔民882条〕

①(1) :バッチ(高齢者消除)で一括処理する

②(2)、(3)、(4)、(6)、(7):別途、審査結果入力で処理を行う

③(5) :「死亡届」の異動処理終了(志望者の死亡の記録)後、日本人配偶者の婚姻解消事項の記録を行う
⇒ 日本人配偶者の婚姻解消事項の記録については、別途、審査結果入力で処理を行う

2.死亡届入力画面の意義

(1) 本籍不分明者・認識不能者の死亡(92条Ⅰの報告、身元不明の死亡届)について各項目(漢字氏名、本籍、住所等)を「不詳」として入力を行う

(入力面面で「不詳」と入力されることにより受付帳の氏名、本籍は「不詳」と記録される)

(2) 本籍不分明者・認識不能者の身元が判明した際(92条Ⅱの報告、92条Ⅲの届出、本籍分明)についても各項目(本籍、筆頭者、住所等)の入力を行う

①先の死亡報告・死亡届との関連付けの入力(関連受領番号入力)を行う

②本籍分明(先の身元不明の死亡届に対する追完)の際の届出人資格、届出人氏名の入力は先の身元不明の死亡届と同様の資格氏名を入力する
(本籍人と判明した場合、戸籍の記録で表記を要するため)

(3) 死亡日、死亡時分について推定あるいは不詳がある場合、「死亡日時」を直接日本語で入力を行い、それを戸籍の記録とする

ただし、「死亡日」(年・月)については死亡者の戸籍の事件発生日の設定及び生存配偶者の婚姻解消事項の配偶者死亡日の記録を要するため、必須入力である

(4)死亡地の入力は「市区町村名」と「町丁目以降」に分けて入力を行う

①「市区町村名」 → 「戸籍」への記録(例外:北緯○○度東経○○○度等もあり得る)

②「市区町村名」+「町丁目以降」 → 「死体埋火葬許可書」「相続税法58条通知書」への記録

(5) 「死亡区分」は届出人資格が92(取調官庁及び公署の報告)で戦争による死亡(戦死、戦傷死)の際に入力も行う(戦病死は通常の死亡)

システム処理の概要説明		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	死亡届						

3.その他

(1)　受付帳には「死亡地」を登載しない(出生における出生地も同様)

(2)　本籍不分明者・認識不能者の死亡(92条Ⅰの報告、身元不明の死亡届)の受付帳の氏名・本籍は基本的に「不詳」となっているが、この者の身元が判明した場合でも、先の受付帳の氏名・本籍は訂正しない

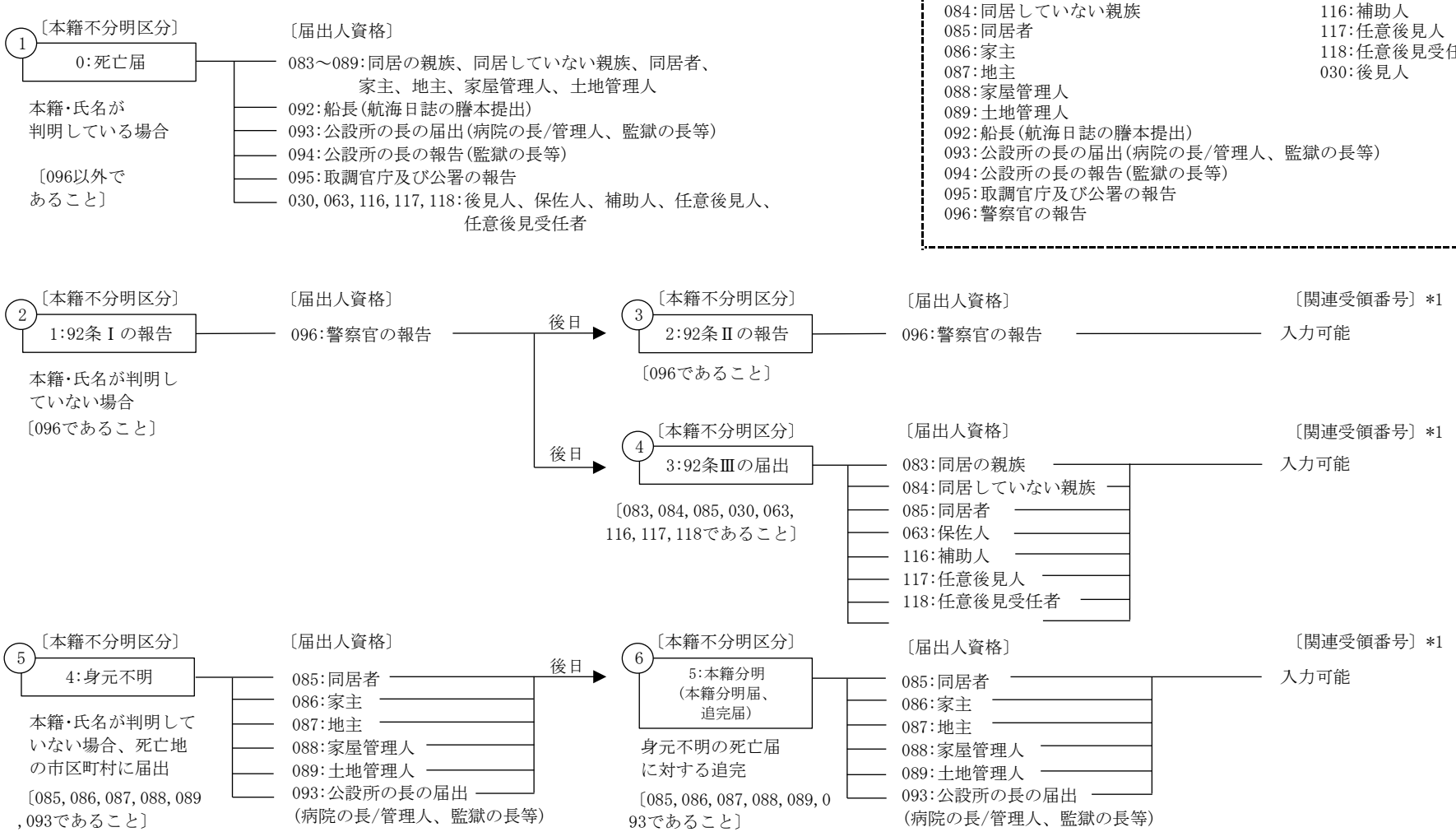
システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	死亡届					

(3)死亡の入力の流れとチェックについて[本籍不分明区分、届出資格、関連受領番号]

死亡で使用する「資格区分」の一覧

R2.1(死亡104)で118:任意後見受任者を追加 ※この頁全体

083:同居の親族	063:保佐人
084:同居していない親族	116:補助人
085:同居者	117:任意後見人
086:家主	118:任意後見受任者
087:地主	030:後見人
088:家屋管理人	
089:土地管理人	
092:船長(航海日誌の謄本提出)	
093:公設所の長の届出(病院の長/管理人、監獄の長等)	
094:公設所の長の報告(監獄の長等)	
095:取調官庁及び公署の報告	
096:警察官の報告	

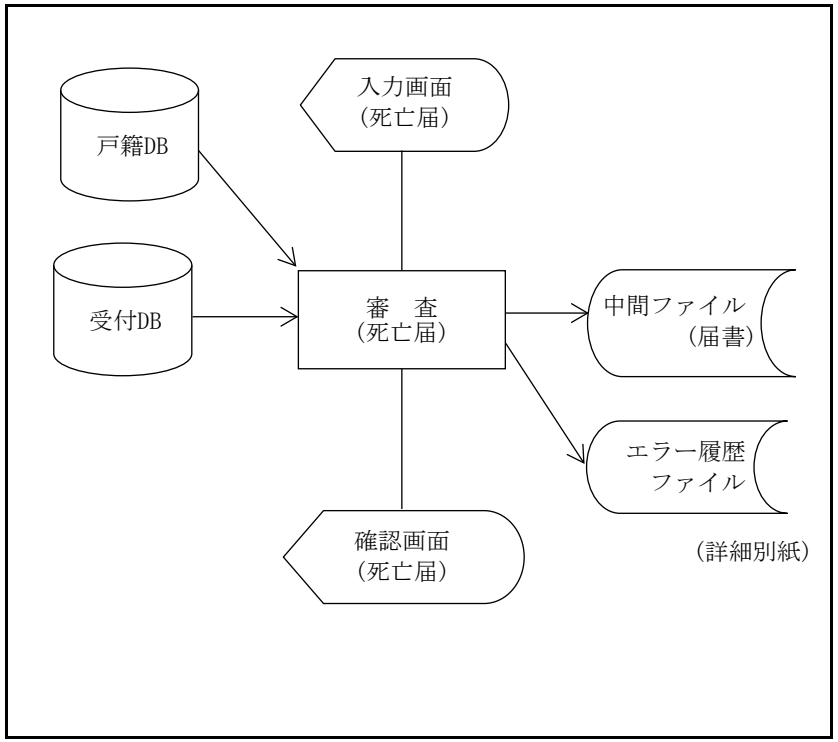


「先の死亡届の届出人が追完を行うこと」:システムでチェックは行わない

*1:「関連受領番号」が入力された場合、
-存在する場合、「処分決定処理」で当該受付の「関連受領番号」に当届書の「受領番号」を設定する(当届書の受付に対しても同様)
-存在しない場合、「審査」で確認メッセージを表示する

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(死亡届)					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
受付DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)死亡届の内容を入力する
(2)死亡届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)死亡届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)死亡届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(死亡届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(死亡届)										
(1)届書内容を画面入力する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)						/					
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/					
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/					
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/					
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/					
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す				
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/					
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する			
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する			
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す				
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す				
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効			
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効			
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(死亡届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(死亡届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態区分	○	数字	(0:不要、1:要)			
10	外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	性別	○	数字	(1:男、2:女、3:不詳)であること			
13	本籍不分明区分	○	数字	(0:死亡届、1:92条Ⅰ報告、2:92条Ⅱ報告、3:92条Ⅲ届出、4:身元不明の死亡届、5:本籍分明)であること			
14	関連受領番号		数字				
15	カナ氏名		カナ				
16	漢字氏名	○	漢字				
17	死亡の年	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	死亡の月	○	英数				
19	死亡の日		英数				
20	死亡時間推定区分		英数	(スペース又は、1:推定)であること			
21	死亡の午前午後区分		英数	(スペース又は、1:午前、2:午後)であること			
22	死亡の時分		英数	12時間表示の入力であること(0～11)			
23	終期の死亡の午前午後区分		英数	(スペース又は、1:午前、2:午後)であること			
24	終期の死亡の時分		英数	12時間表示の入力であること(0～11)			
25	死亡区分		英数	(スペース又は、1:戦死、2:戦傷死)であること			

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1

作業名	審査(死亡届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(死亡届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	死亡日時		漢字				
27	死亡場所市町村	○	漢字				
28	死亡場所町丁目		漢字				
29	住所		漢字				
30	世帯主		漢字				
31	本籍	○	漢字				
32	筆頭者		漢字				
33	届出人資格	○	数字	(083:同居の親族　084:同居していない親族 085:同居者　086:家主 087:地主　088:家屋管理者 089:土地管理者　092:船長(航海日誌の謄本提出) 093:公設所の長の届出(病院の長/管理人、監獄の長等) 094:公設所の長の報告(監獄の長等) 095:取調官庁又は公署の報告　096:警察官の報告 030:後見人　063:保佐人　116:補助人 117:任意後見人　118:任意後見受任者)であること			R2.1(死亡104)
34	届出人資格名称		漢字				
35	届出人の氏名	○	漢字				
36	届出人の住所		漢字				
37	配偶者有無区分		数字	(0:無、1:有)であること			
38	配偶者外人区分		英数	(0:日本人、1:外国人)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(死亡届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.9)動態区分 ＝ 1:要であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
8	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
9	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付の時、 (No.8)動態区分 ＝ 1:要であること			
10	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由の時、 (No.8)動態区分 ＝ 0:不要であること			
11	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
14	(No.10)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.30)本籍 ＝ 本籍であること			
14-1	(No.10)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.31)筆頭者 ≠ 空白であること			
15	(No.10)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.30)本籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.10)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.31)筆頭者が未入力であること			
17	(No.36)配偶者有無区分 ＝ 1:有の場合、(No.37)配偶者外人区分 ≠ 空白であること			
18	(No.13)本籍不分明区分が0:死亡届、2:92Ⅱ報告、3:92Ⅲ届出、5:本籍分明の場合、 (No.36)配偶者有無区分 ≠ 空白であること			
18-1	(No.31)本籍 ＝ 管内の時、(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
18-2	(No.31)本籍 ≠ 管内の時、(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(死亡届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18-3	(No.13)本籍不分明区分が1:92I報告、4:身元不明の死亡届の場合、 (No.5)在外送付区分 ＝ 0(受理分)　かつ　(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
18-4	(No.29)住所 ＝ スペースの時、(No.30)世帯主 ＝ スペースであること			
18-5	(No.30)世帯主 ≠ スペースの時、(No.29)住所 ≠ スペースであること			
18-6	(No.16)漢字氏名 ≠ スペース　かつ　(No.32)筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.16)漢字氏名の氏 ＝ (No.32)筆頭者の氏であること。			日本人 かつ 本籍不分明区分が死亡届、92Ⅱ、92Ⅲ、本籍分明の場合実施する
19	(No.17)死亡の年～(No.24)終期の死亡の時分、(No.26)死亡日時は以下のパターンであること			

審査(死亡届)入力画面

種別	No.	現行記録例	No.17	No.18	No.19	No.20	No.21	No. 22		終期			No.26
			死亡の年	死亡の月	死亡の日	死亡時間 推定区分	午前午後 区分	死亡の時	死亡の分	No.23 区分	No. 24 時	No. 24 分	死亡日時
通常入力処理	1	平成7年2月1日午後1時	●	●	●	×	●	●	×	×	×	×	×
			平成7年2月1日				午後	1時					
	2	平成7年2月1日午後1時30分	●	●	●	×	●	●	●	×	×	×	×
			平成7年2月1日				午後	1時30分					
	3	平成7年2月1日 推定午後1時	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×
			平成7年2月1日			1	午後	1時					
	4	平成7年2月1日 推定午後1時30分	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×
			平成7年2月1日			1	午後	1時30分					
	5	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	●	●	●	●	●	●	×	●	●	×	×
			H7	2	1	1	午	1		午	2		
			平成7年2月1日			推定	後	時		後	時		
	6	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	×
			H7	2	1	1	午	1		午	2	30	
			平成7年2月1日			推定	後	時		後	時	分	

データチェック（関連表）			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(死亡届)							
処理名		画面名	画面ID					
2.0　関連チェック表		入力画面(死亡届)						

No			内容												出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
		7	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	● 30 分	● 午 後	● 2 時	× 	× 		
		8	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	● 30 分	● 午 後	● 2 時	● 30 分	×		
	レア入力処理	9	死亡時期が昭和30年3月上旬の場合 ↓ 「昭和30年3月1日から10日までの間」を死亡日時に入力する	● S30 昭和30年3月10日	● 3	● 10	×	×	×	×	×	×	×	●		
		10	死亡時期が昭和30年春頃の場合 ↓ 「昭和30年推定4月」を死亡日時に入力する(月の前に「推定」を補記)	● S30 昭和30年4月	● 4	×	×	×	×	×	×	×	×	●		
20	((No.23)終期の死亡の午前午後区分 + (No.24)終期の死亡の時分)≠ 空白の場合、 ((No.21)死亡の午前午後区分 + (No.22)死亡の時分)≦ ((No.23)終期の死亡の午前午後区分 + (No.24)終期の死亡の時分) であること															

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(死亡届)
処理名	3.0 審査

					備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する			(0-2)本紙へ		
YES	(0-3)→(0-6)へ		/		
NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	
(0-6)死亡日+1ヶ月≦受領日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「死亡日から届出日まで1ヶ月を経過しています。処理をしてよろしいですか。」を表示する					
YES	(0-7)→(0-10)へ		/		R2.1(死亡102)
NO	(0-8)→			(0-9)本紙へ	
(0-10)(外人区分=0:日本人 かつ 漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)			/		R2.1(死亡102)
YES	(0-11)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-12)本紙へ	
YES	(0-13)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-15)本紙へ	不受理
NO	(0-14)→				画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-16)→(1)へ		/		
(1)外人区分は何か? (0:日本人、1:外国人)			/		
0	(2)本非区分は何か? (1:本籍、2:非本籍)		/		
1	(3)届書の死亡者が除籍となっているか?(YES,NO)		/		[除籍者でないこと]
YES	(4)エラーメッセージ 「届書の死亡者は既に除籍となっています。」を表示する			(5)本紙へ	
NO	(6)→(7)へ		/		
(7)死亡者の身分事項DBの最初の「身分事項」を検索する			/		[死亡後に発生した事件が記録されていないこと]
(8)身分事項DBが終了するまで(9)～(15)を繰り返す			/		
(9)死亡日:身分事項DB・事件発生日は? (<、＝ 、>、事件発生日未設定)			/		
<	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡の記録前に死亡日後発生した身分事項が記録されています。」を表示する			(11)本紙へ	応答する
＝	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡の記録前に死亡日当日に発生した身分事項が記録されています。」を表示する			(13)本紙へ	応答する
>	(14)→(16)へ		/		
事件発生日未設定	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「事件発生日が不明の身分事項があります」を表示する			(15-1)本紙へ	応答する

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(死亡届)

処理名	3.0 審査			備考
	(16)次の身分事項を検索する	/		
	(17)死亡者に配偶者が存在する場合、配偶者有無区分(画面)が　1:有　となっていない (YES,NO)	/		戸規36Ⅰ 昭和23.1.13民事甲第17号通達:配偶欄消除
	YES (18)エラーメッセージ「配偶者の有無区分を'有'として下さい。」を表示する		(19)本紙へ	[死亡者に配偶者がいる場合画面の配偶者の有無区分が有となっていること]
	NO (20)→(21)へ	/		
2				
1				
(21)本籍不分明区分は何か? (0:死亡届、1:92Ⅰ報告、2:92Ⅱ報告、3:92Ⅲ報告、4:身元不明の死亡届、5:本籍分明)		/		
0	(22)届出人資格は[(096:警察官報告)以外]であるか?(YES,NO)	/		[死亡届]　戸87:届出義務者・資格者 戸93(戸55):船長 戸93(戸56):公設所の長等 戸89:取調官庁又は公署報告 戸90:公設所の長報告
	YES (23)→(46)へ	/		
	NO (24)エラーメッセージ「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する		(25)本紙へ	
1	(26)届出人資格は(096:警察官報告)であるか?(YES,NO)	/		[92条Ⅰの報告]戸92Ⅰ
	YES (27)→(46)へ	/		
	NO (28)エラーメッセージ「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する		(29)本紙へ	
2	(30)届出人資格は(096:警察官報告)であるか?(YES,NO)	/		[92条Ⅱの報告]戸92Ⅱ
	YES (31)→(46)へ	/		
	NO (32)エラーメッセージ「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する		(33)本紙へ	
3	(34)届出人資格は[(083:同居の親族)　又は　(084:同居していない親族)　又は (085:同居者)又は(030:後見人)　又は　(063:保佐人)又は(116:補助人)　又は (117:任意後見人)又は(118:任意後見受任者)　]であるか?(YES,NO)	/		[92条Ⅲの報告]戸92Ⅲ 第21版で(107:成年後見人)を削除　R2.1 (死亡104) R2.1版で(118:任意後見受任者)を追加
	YES (35)→(46)へ	/		
	NO (36)エラーメッセージ「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する		(37)本紙へ	
4	(38)届出人資格は[(085:同居者)　又は　(086:家主)　又は　(087:地主)　又は (088:家屋管理人)　又は　(089:土地管理人)　又は　(093:公設所の長の届出)] であるか?(YES,NO)	/		[身元不明の死亡届]

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(死亡届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	YES	(39)→(46)へ		/				
	NO	(40)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する			(41)本紙へ			
5	(42)届出人資格は[(085:同居者)又は(086:家主) 又は (087:地主) 又は (088:家屋管理人) 又は (089:土地管理人) 又は (093:公設所の長の届出)]であるか?(YES,NO)			/			[本籍分明]戸26	
	YES	(43)→(46)へ		/				
	NO	(44)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」を表示する			(45)本紙へ			
(46)本籍不分明区分が(0:死亡届) 又は (1:92Ⅰ報告) 又は (4:身元不明の死亡届)の場合、関連受領番号は入力されたか?(YES,NO)				/			[本籍不分明者・認識不能者等の身元不明者の身元が判明した場合のみ関連受領番号の入力を可能とする]	
YES	(47)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分の場合、関連受領番号は入力できません。」を表示する				(48)本紙へ			
NO	(49)→(50)へ			/				
(50)画面に関連受領番号の入力があるか? (入力、未入力)				/			[本籍不分明者・認識不能者等の身元不明の受付帳の関連受領番号に身元不明の受領番号を設定するための受付帳の存在チェックを行う] 本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱの報告)のとき、【報告日】の編集を行うために受付日を届書ファイルに移送する。 本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)のとき、【届出日】の編集を行うために受付日を、【特記事項】の編集を行うために届出人資格(コード、名称)と届出人氏名を届書ファイルに移送する。	
入力	(51)関連受領番号をキーに受付ファイルを読み(有り、無し)			/				
	有り	(53)受付ファイルの受付事件コードが(1601:死亡)か?(YES,NO)		/				
		YES	(54)受付ファイルの受付日を、身元不明届出時受付日に移送する。	/				
			(54-1)受付ファイルの届出人資格コード1を、身元不明届出時届出人資格コードに移送する。	/				
			(54-2)受付ファイルの届出人資格名称1を、身元不明届出時届出人資格名称に移送する。	/				
			(54-3)受付ファイルの届出人氏名を身元不明届出時届出人氏名に移送する。	/				
		NO	(55)エラーメッセージ 「関連受領番号の受付帳は「死亡」の受付帳ではありませんので処理できません。」を表示する		(56)本紙へ			
	無し	(57)エラーメッセージ 「関連受領番号の受付帳は削除済ですので、手処理で記録して下さい。」を表示する			(58)本紙へ			
未入力	(58-1)本籍不分明区分は(2:92Ⅱ報告)か?(YES,NO)			/				
	YES	(58-1-1)確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法第92条2項の報告は、戸籍法第92条1項と同時に報告されていますか?」を表示する			(58-1-2)本紙へ			
		YES	(58-1-3)→(60)へ	/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(死亡届)

処理名	3.0 審査			備考
NO	(58-2)エラーメッセージ 「関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。 審査結果業務より処理してください。」を表示する		(58-3)本紙へ	
NO	(59)本籍不分明区分は(5:本籍分明)か?(YES,NO)	/		
YES	(59-1)エラーメッセージ 「関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。 審査結果業務より処理して下さい。」を表示する		(59-2)本紙へ	
NO	(59-3)→(60)へ	/		
(60)届出人資格が(095:取調官庁及び公署の長の報告)以外　の場合、死亡区分はスペースか?(YES,NO)		/		[知事からの戦時死亡(戦死、戦病死)の入力のチェック]
YES	(61)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分では、死亡区分の入力はできません。」を表示する		(62)本紙へ	
NO	(63)→(63-1)へ	/		
(63-1)届出人資格が　030:後見人、063:保佐人、116:補助人、117:任意後見人、 118:任意後見受任者　であるか?(YES,NO)		/		第21版で107:成年後見人を削除 R2.1版で(118:任意後見受任者)を追加 R2.1 (死亡104)
YES	(63-2)確認メッセージ(YES,NO) 「後見人等の資格を証明する登記事項証明書又は裁判所の謄本が添付されていますか?」 を表示する		(63-3)本紙へ	
YES	(63-4)→(64)へ	/		
NO	(63-5)→		(63-6)本紙へ	
NO	(63-7)→(64)へ	/		
(64)外人区分が(1:外国人)で　配偶者有無区分が(1:有) かつ　配偶者の外国人区分が(0:日本人) であるか?(YES,NO)		/		[外国人死亡者の日本人生存配偶者の処理]
YES	(65)メッセージ(YES,NO) 「日本人生存配偶者に対する婚姻解消記録事項の手続きが必要です。」を表示する		(66)本紙へ	
NO	(67)→			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(死亡届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		死亡届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							16(死亡届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				本籍不分明区分 ＝ 0、1、4のときは入力画面で設定された値を設定する 本籍不分明区分 ＝ 2のときは関連受領番号が未入力の場合は入力画面で設定された値を、入力がある場合は0を設定する 本籍不分明区分 ＝3、5のときは0を設定する
	届区分							
	渉外区分							外人区分が0(日本人)の場合、0(日本人)を設定する 外人区分が1(外国人)の場合、2(外国人)を設定する 本籍不分明区分 ＝ 1、4の場合も、0(日本人)を設定する
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(死亡届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							
中間ファイル(届書) 事件別内容	死亡者個人番号		死亡届入力画面					
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	本籍不分明区分			本籍不分明区分				
	関連受領番号			関連受領番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	性別			性別				
	死亡日			死亡日				(画面)死亡の年 (画面)死亡の月 (画面)死亡の日
	推定区分			死亡時間推定区分				
	死亡の午前午後区分			死亡の午前午後区分				
	死亡の時分			死亡の時分				
	終期の死亡の午前午後区分			終期の死亡の午前午後区分				
	終期の死亡の時分			終期の死亡の時分				
	死亡区分			死亡区分				
	死亡日時			死亡日時				
	死亡場所市町村			死亡場所市町村				
	死亡場所町丁目			死亡場所町丁目				

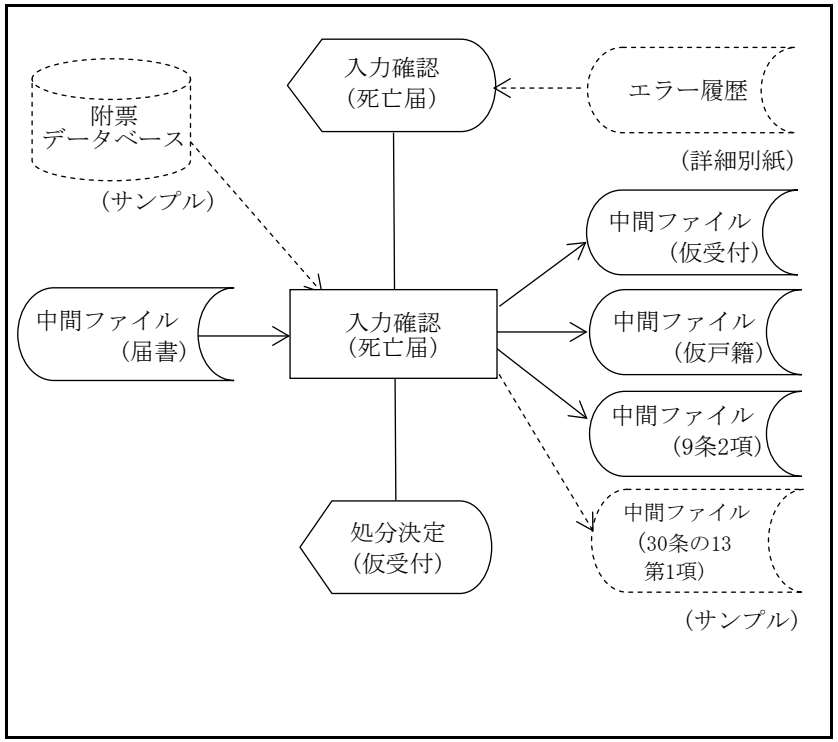
データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(死亡届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人の氏名				
	届出人住所コード			届出人の住所				
	届出人住所							
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	身元不明届出時受付日		審査処理					
	身元不明届出時届出人資格コード							
	身元不明届出時届出人資格名称							
	身元不明届出時届出人資格氏名							

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(死亡届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する・・・(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 個人特定　死亡者(配偶者区分)
  - 4.2 身分事項　死亡者(除籍)
  - 4.3 個人特定　生存配偶者(配偶者区分)
  - 4.4 身分事項　生存配偶者(記録)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 5.1 死亡者
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条13第1項)・・・(サンプル提示)
  - 6.1 死亡者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する				[1.0]	/				
(2) キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)					/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、 死亡者の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]	/				
	(5)死亡者が本籍人である(YES,NO)				/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/			非本籍人及び外国人は記録不要	
		個人特定 (死亡者の配偶者区分)	(7)死亡者の配偶者区分の編集	[4.1]	/				
		身分事項 (死亡者の除籍)	(8)死亡者の除籍事項の編集	[4.2]	/				
		個人特定 (生存配偶者の配偶者区分)	(9)生存配偶者の配偶区分の編集	[4.3]	/			死亡者に配偶者がいる場合記録	
		身分事項 (生存配偶者の記録)	(10)生存配偶者の記録事項の編集	[4.4]	/			死亡者に配偶者がいる場合記録	
		(10-2)死亡者は在外選挙人である(YES,NO)						※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10-2) (10-	
		YES	(10-3)死亡者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[6.1]	/				
		NO	(10-4) → (11)		/				
	NO								
	(11)(在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付 である) かつ (外人区分 ＝ 0:日本人 である)(YES,NO)				/				
	YES	(12)死亡者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[5.0]		(13)処分決定に制御を渡す			
	NO	→							
PF1	→					(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(15)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(16)審査(死亡届)に制御を渡す			
PF11	→					(17)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(19)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	1.0　確認画面(死亡届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
死亡届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	動態区分			動態区分				
	外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍不分明区分			本籍不分明区分				
	本籍不分明区分名称					有		
	関連受領番号			関連受領番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	性別			性別				
	性別名称					有		
	死亡の年			死亡日				
	死亡の月							
	死亡の日							
	死亡時間推定区分			推定区分				
	死亡の午前午後区分			死亡の午前午後区分				
	死亡の時分			死亡の時分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	1.0　確認画面(死亡届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	終期の死亡の午前午後区分			終期の死亡の午前午後区分				
	終期の死亡の時分			終期の死亡の時分				
	死亡区分			死亡区分				
	死亡日時			死亡日時				
	死亡場所市町村			死亡場所市町村				
	死亡場所町丁目			死亡場所町丁目				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人の氏名			届出人氏名				
	届出人の住所			届出人住所コード		有		
				届出人住所				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	条件						死亡者の戸籍		
	死亡者		日本人生存配偶者が在籍する		死亡者以外に在籍者が存在する		一部除外 C.2	全部除外 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	本籍以外人	有	無	有	無			
1	○			○	○		死亡者 (4.1、4.2)		
2	○			○		○		死亡者 (4.1、4.2)	
3 *3	○		○		○		死亡者 (4.1、4.2)		生存配偶者 (4.3、4.4)
4 *1		○		○	－	－	－	－	－
5 *2		○	○		－	－	－	－	－

A.2:戸籍特定(記録) ⇒ 戸籍の消除
B.2:戸籍事項(消除) ⇒ 消除事項の記録
C.2:個人特定(記録) ⇒ 個人の除籍

*1:戸籍の処理は不要
*2:戸籍の処理は不要。生存配偶者の婚姻解消事項の記録は「死亡届」の異動処理終了後(死亡者の除籍記録)後、別途、審査結果入力で処理を行う。
〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕
*3:「死亡者以外に在籍者が存在する」場合、その在籍者が生存配偶者とならない場合、死亡者の戸籍の記載で婚姻解消事項の記録は行わない。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	受付事件コード					・本籍不分明区分=0、1、4のとき、 1601(死亡)を設定 ・本籍不分明区分=2のとき、関連受領番号が 未入力(ゼロ又はヌル)であれば1601(死亡)、 それ以外であれば4402(その他(本籍分明)) を設定 ・本籍不分明区分=3のとき、受理送付区分=1 であれば4404(その他(死亡))、 それ以外であれば1601(死亡)を設定 ・上記以外のとき、受理送付区分=1であれば 4402(その他(本籍分明))、それ以外であれば		R2.1(死亡106) R4(死亡111)
	受領日			送付日　又は 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日	
	事件発生日			死亡日				中段の補足説明参照	
	事件発生時分			死亡の午前午後区分 死亡の時分					
	事件発生日時								
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	渉外区分			渉外区分					
	発送日								
	郵送日			郵送日					
	発日								
	収日								
	指示日								
	許可日								
	関連受領番号			関連受領番号					
	届出人資格区分1			届出人資格		資格区分083、084のとき、 082を設定、名称は「親族」 093～096、030、063、116、117、118の時は設定不要			R2.1 (死亡104)
	届出人資格名称1			届出人資格名称					

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							中段の補足説明参照
	届後本籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

審査(死亡届)　入力画面

種別	No.	現行記録例	①死亡の年	②死亡の月	③死亡の日	④死亡時間	推定区分	始期 ⑤午前午後区分	始期 ⑥死亡の時	始期 ⑦死亡の分	終期 ⑧⑤と同じ	終期 ⑨死亡の時	終期 ⑩死亡の分	⑪死亡日時
通常入力処理	1	平成7年2月1日午後1時	●	●	●	×		●	●	×	×	×	×	×
			平成7年2月1日					午後	1時					
	2	平成7年2月1日午後1時30分	●	●	●	×		●	●	●	×	×	×	×
			平成7年2月1日					午後	1時30分					
	3	平成7年2月1日 推定午後1時	●	●	●	●		●	●	×	×	×	×	×
			平成7年2月1日			1		午後	1時					

受付帳

種別	事件発生日	事件発生時分 *1	届出後本籍 *2	備考
通常	1995.2.1	13:00	―	①②③を転送 ④⑤⑥から 編集転送
	1995.2.1	13:30	―	
レア	―	―	平成7年2月1日 推定午後1時	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側						引渡側									コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称		項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称		項目 名称					記号名				
	4	平成7年2月1日 推定午後1時30分	● 平成7年2月1日	●	●	● 1	● 午後	● 1時30分	●	×	×	×	×		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時30分	①～⑩から 編集転送
	5	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	×	● 午 後	● 2 時	×	×		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	
	6	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	×	● 午 後	● 2 時	● 30 分	×		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	
	7	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	● 30 分	● 午 後	● 2 時	×	×		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	
	8	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	● H7 平成7年2月1日	● 2	● 1	● 1 推定	● 午 後	● 1 時	● 30 分	● 午 後	● 2 時	● 30 分	×		－	－	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	
レア入力処理	1	死亡時期が昭和30年3月上旬の場合 ↓ 「昭和30年3月1日から10日までの間」を⑪死亡日時に入力する	● S30 昭和30年3月10日	● 3	● 10	×	×	×	×	×	×	×	●		－	－	昭和30年3月1日から10日までの間	⑪を転送
	2	死亡時期が昭和30年春頃の場合 ↓ 「昭和30年推定4月」を⑪死亡日時に入力する(月の前に「推定」を補記)	● S30 昭和30年4月	● 4	×	×	×	×	×	×	×	×	●		－	－	昭和30年推定4月	

*1:24時間で格納

*2:日本語編集で格納

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							31(死亡者)
	届出人区分							0(事件本人が届出人ではない)
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.1　死亡者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							0:未を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							1:除籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.2　死亡者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1601(死亡)
	記録コード								1601(死亡者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				死亡日				*1
	死亡	死亡日			死亡日				死亡日時 ＝ スペースのとき設定
		死亡時分	推定区分		推定区分				
			午前午後区分		死亡の午前午後区分				
			死亡時分		死亡の時分				
			午前午後区分(終期)		終期の死亡の午前午後区分				
			死亡時分(終期)		終期の死亡の時分				
		死亡日時			死亡日時				
		死亡地			死亡場所市町村				
		死亡区分			死亡区分				
	届出	届出日			受領日　又は 身元不明届出時受付日	本籍不分明区分=5(本籍分明)で、身元不明届出時受付日≠スペースの場合、それぞれ身元不明届出時受付日、身元不明届出時届出人資格コード、身元不明届出時届出人資格名称、身元不明届出時届出人氏名を設定する。それ以外は右記指示に従う。			届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)、093(公設所の長の届出)、030、063、116、117、118のとき、受領日を設定する	R2.1(死亡104)
		届出人	資格		届出人資格　又は 身元不明届出時届出人資格コード				届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)のとき、届出人(資格、名称)を設定する 083(同居の親族)～084(同居していない親族)のときは082(親族)を設定する
			資格名称		届出人資格名称　又は 身元不明届出時届出人資格名称				
			氏名		届出人氏名　又は 身元不明届出時届出人資格氏名			届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)、093(公設所の長の届出)、030、063、116、117、118のとき、届出人氏名を設定する	R2.1(死亡104)
		航海日誌謄本提出日			受領日				届出人資格が、092(船長)のとき設定する

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.2　死亡者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	届出	報告日			受領日　又は 身元不明届出時受付日				本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱ)で、 身元不明届出時受付日 ≠ スペースの場合、身元不明届出時受付日を設定する。 上記以外で、届出人資格が、094(公設所の長の報告)～096(警察官の報告)のとき、受領日を設定する。
		報告者			届出人氏名				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の 送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	除籍	除籍日			処理日　又は　受領日				処理日 ≠ スペースの場合、 処理日を設定する。 本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱ)で、 在外送付区分 ＝ 0:受理分の場合、 受領日を設定する。 本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)で、 送付日 ＝ スペースの場合、 受領日を設定する。
	特記	特記事項			受領日 届出人資格名称 届出人氏名				本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)の場合、以下の編集後移送。 受領日 + 届出人資格名称 + 届出人氏名 + ″本籍追完(本籍分明)届出″
									*1死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終年月日を事件発生日とする。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.3　生存配偶者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							3:生存配偶者区分を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	4.4　生存配偶者(記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								1を設定(RDBのみ)
	出力区分								
	タイトルコード								1602(配偶者の死亡)
	記録コード								1602(死亡者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	死亡日				*1
	配偶者の死亡	配偶者の死亡日			死亡日				
	婚姻	配偶者氏名							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							
									*1死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終年月日を事件発生日とする。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	5.1　9条2項(死亡者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 死亡者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							16(死亡届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)							
処理名	6.1　30条の13第1項(死亡者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項) 死亡者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					16:(死亡届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	届出人コード一覧(死亡)	［職権記載は審査結果入力で行う］					

届出事件細別	届出義務者・届出人	届出入力 資格区分		氏名	その他	受付帳 資格	受付帳 氏名	身分事項DB 届出資格	届出人	報告資格	報告者	航海日誌の謄本提出	項目化記載例	備考
死亡届 平成20年 5月 1日 法施行による届出人資格の追加分は次頁に記載	同居の親族、その他の同居者、家主、地主、家屋若しくは土地管理人、同居の親族以外の親族	83	同居の親族	○	×	○	○	○	○	×	×		【届出日】平成4年... 【届出人】親族[氏名]	
		84	同居していない親族	○	×	82 親族		82 親族		ファイル項目にない。		×		
		85	同居者	○	×	○同居者	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】同居者[氏名]	
		86	家主	○	×	○家主	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】家主[氏名]	
		87	地主	○	×	○地主	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】地主[氏名]	
		88	家屋管理人	○	×	○家屋管理人	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】家屋管理人[氏名]	
		89	土地管理人	○	×	○土地管理人	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】土地管理人[氏名]	
航海中の死亡につき航海日誌の謄本の送付	船長	92	船長	○	×	○船長	○	×	×	×	×	○	【航海日誌の謄本提出日】 平成4年...	戸93条(戸56条) 「～丸船長」の形にはしない。
病院、その他の公設所において死亡した場合の死亡届	公設所の長	93	公設所の長の届出	○ *1	×	×	○	×	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】[氏名]	戸93条(戸56条) *1:公設所長名(個人名)を入力する
・公設所で死亡した者につき、戸87条に規定する届出義務者が届出をすることができないため、戸93条・戸56条の規定により当該公設所の長又は管理人から死亡地の市区町村長から届出た死亡届 ・刑務所又は拘置所で死亡した者につき、戸87条に規定する届出義務者が届出をすることができないため、戸93条・戸56条の規定により当該公設所の長又は管理人から死亡地の市区町村長から届出た死亡届														

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	届出人コード一覧(死亡)		［職権記載は審査結果入力で行う］				

在監者の死亡及び死刑執行による死亡報告	監獄の長 ［在監者の死亡の場合は引取人がいないとき］	94	公設所の長の報告	○ *2	×	×	○	×	×	×	○	×	【報告日】平成4年... 【報告者】［氏名］	戸90条 *2:監獄長名(個人名)を入力する
・死刑の執行があった者につき、戸90条1項の規定により監獄の長(刑務所長)から所在地の市区町村になされた死亡報告書 ・在監中の死亡者につき、戸90条2項の規定に監獄の長(刑務所長)から所在地の市区町村になされた死亡報告書														
水難、火災その他の事変による死亡報告	取調官庁及び公署	95	取調官庁及び公署の報告	○*3 ［警察署長］	×	×	○ ［警察署長］	×	×	×	○ ［警察署長］	×	【報告日】平成4年... 【報告者】［○○署長］	戸89条 *3:「○○署長」と入力する　※直接入力
本籍不分明者及び認識不能者の死亡報告又は分明報告	警察官	96	警察官の報告	○*4 ［警察署長］	×	×	○ ［警察署長］	×	×	×	○ ［警察署長］	×	【報告日】平成4年... 【報告者】［○○署長］	戸92条1項、2項 *4:「○○署長」と入力する　※直接入力
職権記載 (届出資格/届出人がいない)		—	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	—	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(死亡届)						
処理名	届出人コード一覧(死亡)		[職権記載は審査結果入力で行う]				

届出事件細別	届出義務者・届出人	届出入力 資格区分		氏名	その他	受付帳 資格	受付帳 氏名	身分事項DB 届出資格	身分事項DB 届出人	身分事項DB 報告資格	身分事項DB 報告者	謄本提出 航海日誌出	項目化記載例	備考
死亡届 平成20年 5月 1日 法施行による届出人資格の追加分	保佐人、 補助人、 任意後見人、 任意後見受任者、 後見人													
		63	保佐人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		
		116	補助人	○	×	×	○	×	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】[氏名]	
		117	任意後見人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		
		118	任意後見受任者	○	×	×	○	×	○	×	×	×		令和2年5月1日法施行による届出人資格の追加
		30	後見人	○	×	×	○	×	○	×	×	×		

ファイル項目にない。

第7.2.(5)「異動」処理

16.失踪宣告届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	36	「失踪宣告届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		35		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	失踪宣告届

1.失踪業務処理範囲外の処理

(1)海難による行方不明者につき戸籍法第89条に規定する死亡があり戸籍に記録した後、同人につき失踪宣告の届出があり死亡とみなされた日が死亡報告と異なる日の記録

→ 別途、審査結果入力(失踪宣告者)及び訂正(先の死亡事項)で処理を行う

(2)戦時死亡宣告(未帰還者に対する特別措置法)による記録

→ 別途、審査結果入力で処理を行う

2.失踪宣告届出入力画面の意義

(1)生死不明となった年月日のうち月日が明示されていない失踪宣告の審判書を添付して失踪宣告の届出があった場合、「死亡とみなされる日」には失踪期間の始期を基に失踪期間満了日をもとめた後、入力を行う

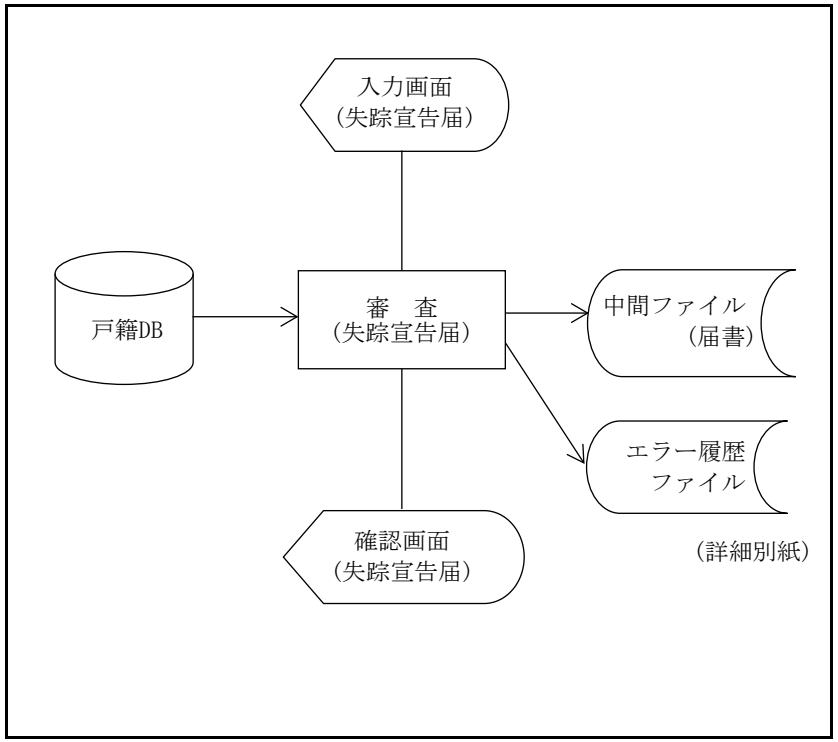
3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(失踪宣告届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)失踪宣告届の内容を入力する
(2)失踪宣告届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)失踪宣告届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)失踪宣告届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(失踪宣告届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック
　　├ 2.0 関連チェック
　　├ 3.0 審査
　　└ 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(失踪宣告届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する								(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(失踪宣告届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(失踪宣告届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
10	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	カナ氏名	○	カナ				
12	漢字氏名	○	漢字				
13	死亡とみなされる日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	住所		漢字				
16	世帯主		漢字				
17	本籍	○	漢字				
18	筆頭者		漢字				
19	届出人資格	○	数字	(006:夫、007:妻、001:父、002:母、099:その他)であること			
20	その他の届出人資格名称		漢字				
21	届出人の氏名	○	漢字				
22	配偶者有無区分	○	数字	(0:無、1:有)であること			
23	配偶者外人区分		英数	(0:日本人、1:外国人)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(失踪宣告届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(失踪宣告届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.9)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.16)筆頭者が入力されていること			
12	(No.9)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.17)本籍 ＝ 本籍であること			
13	(No.9)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.17)本籍 ＝ 国籍であること			
14	(No.9)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.16)筆頭者が未入力であること			
15	(No.22)配偶者有無区分 ＝ 1:有の場合、(No.23)配偶者外人区分 ≠ 空白であること			
16	(No.22)配偶者有無区分 ＝ 0:無の場合、(No.23)配偶者外人区分 ＝ 空白であること			
17	(No.10)生年月日 ≦ (No.13)死亡とみなされる日 ≦ (No.14)確定日 ≦ (No.2)受領日であること			
18	(No.15)住所 ＝ スペースの時、(No.16)世帯主 ＝ スペースであること			
18-1	(No.16)世帯主 ≠ スペースの時、(No.15)住所 ≠ スペースであること			
19	(No.12)漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.18)筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.12)漢字氏名の氏 ＝ (No.18)筆頭者の氏であること。			日本人の場合、実施する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(失踪宣告届)

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する			(0-1-1)本紙へ	
YES	(0-2)→(0-4)へ		/	
NO	(0-3)→		(0-3-1)本紙へ	
(0-4)失踪者の外人区分＝0：日本人　かつ　失踪者の漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)			/	R2.1(失踪宣告-34)
YES	(0-4-1)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		(0-4-2)本紙へ	R2.1(失踪宣告-34)
YES	(0-4-3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-4-5)本紙へ	不受理、R2.1(失踪宣告-34)
NO	(0-4-4)→			画面項目修正(審査完了しない) 、R2.1(失踪宣告-34)
NO	(0-4-6)→(0-5)へ		/	R2.1(失踪宣告-34)
(0-5)届出人資格は(001:父　002:母　006:夫　007:妻)であるか?(YES,NO)			/	
YES	(0-6) → (1)へ		/	
NO	(0-14)その他の届出人資格名称は「親族」か?(YES,NO)		/	
YES	(0-8) → (1)へ		/	
NO	(0-9)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人資格名称が親族以外です。よろしいですか?」を表示する		(0-9-1)本紙へ	
YES	(0-10) → (1)へ		/	
NO	(0-11) →		(0-12)本紙へ	
(1)外人区分は何か?(0:日本人、1:外国人)			/	
0	(2)本非区分は何か?(1:本籍、2:非本籍)		/	
1	(3)届書の死亡者が除籍となっているか?(YES,NO)		/	[除籍者でないこと]
YES	(4)エラーメッセージ 「届書の死亡者は既に除籍となっています。」を表示する		(5)本紙へ	
NO	(6) → (7)へ		/	
(7)失踪者の身分事項DBの最初の「身分事項」を検索する			/	[失踪宣告確定後に発生した事件が記録されていないこと]
(8)身分事項DBが終了するまで(9)～(16)を繰り返す			/	
(9)確定日:身分事項DB・事件発生日は? (<、＝、>、事件発生日未設定)			/	
<	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「失踪の記録前に失踪確定日後発生した身分事項が記録されています。」を表示する		(11)本紙へ	応答する
＝	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「失踪の記録前に失踪確定日当日に発生した身分事項が記録されています。」を表示する		(13)本紙へ	応答する

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(失踪宣告届)							
処理名	3.0 審査					備考		
			>	(14) → (16)へ	/			

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(失踪宣告届)									
処理名	3.0　審査								備考	
			事件 発生日 未設定	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「事件発生日が不明の身分事項があります」を表示する		(15-1)本紙へ			応答する	
				(16)次の身分事項を検索する		/				
		(17)失踪者に配偶者が存在する場合、配偶者有無区分(画面)が1:有となっていない (YES,NO)				/			[失踪者に配偶者がいる場合画面の配偶者の有無区分が有となっていること]	
		YES	(18)エラーメッセージ　「配偶者の有無区分を'有'として下さい。」を表示する			(19)本紙へ				
		NO	→							
	2									
1										
(20)外人区分が(1:外国人)で　配偶者有無区分が(1:有)　かつ　配偶者外人区分が(0:日本人) であるか?(YES,NO)						/			[外国人失踪者の日本人生存配偶者の処理]	
YES	(21)メッセージ(YES,NO) 「日本人生存配偶者に対する婚姻解消記録事項の手続きが必要です。」を表示する					(22)本紙へ			応答する	
NO	→									

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(失踪宣告届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

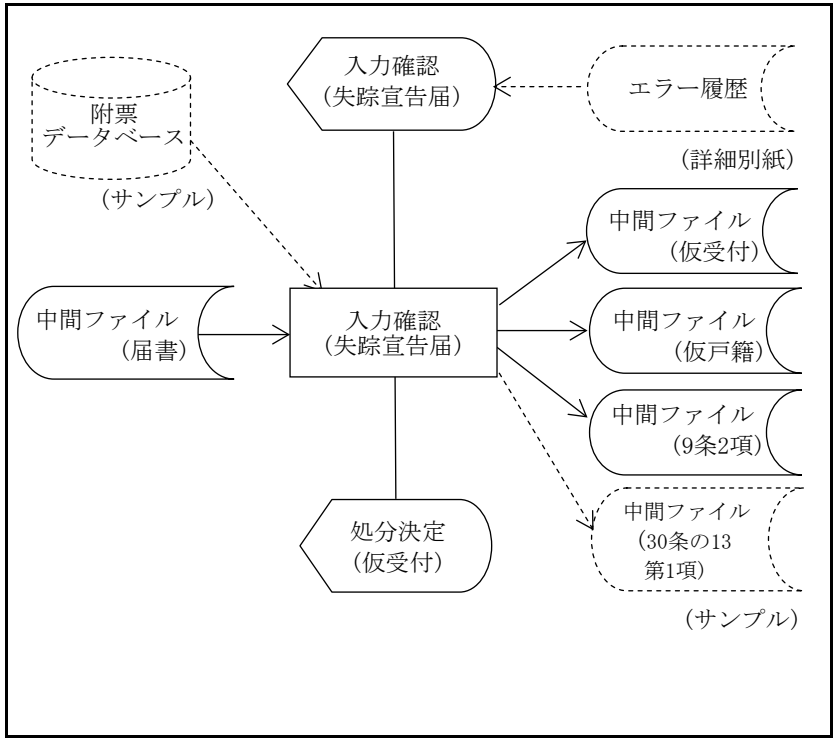
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		失踪宣告届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							17(失踪宣告届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							外人区分が0(日本人)の場合、 0を設定する 外人区分が1(外国人)の場合、 2(外国人)を設定する
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(失踪宣告届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							
中間ファイル(届書) 事件別内容	失踪者個人番号							
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡日			死亡とみなされる日				
	審判確定日			確定日				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	その他の届出人資格名称			その他の届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人の氏名				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(失踪宣告届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する・・・(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 個人特定　失踪宣告者(配偶者区分)
  - 4.2 身分事項　失踪宣告者(除籍)
  - 4.3 個人特定　生存配偶者(配偶者区分)
  - 4.4 身分事項　生存配偶者(記録)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 5.1 失踪宣告者
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条13第1項)・・・(サンプル提示)
  - 6.1 失踪宣告者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(失踪宣告届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する				[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、失踪者の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]			
	(5)失踪者が本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/		非本籍人及び外国人は記録不要
		個人特定(失踪者の配偶者区分)	(7)失踪者の配偶者区分の編集	[4.1]	/		
		身分事項(失踪者の除籍)	(8)失踪者の除籍事項の編集	[4.2]	/		
		個人特定(生存配偶者の配偶者区分)	(9)生存配偶者の配偶区分の編集	[4.3]	/		失踪者に配偶者がいる場合
		身分事項(生存配偶者の記録)	(10)生存配偶者の記録事項の編集	[4.4]	/		失踪者に配偶者がいる場合
		(10.1)失踪者は在外選挙人である(YES,NO)			/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理 (10.1)(10.2)
		YES	(10.2)失踪者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[6.1]	/		
		NO	(10.3) → (11)		/		
	NO						
	(11)(在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付 である)　かつ(外人区分 ＝0:日本人 である)(YES,NO)				/		
	YES	(12)失踪者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[5.1]		(13)処分決定に制御を渡す	
	NO	→					
PF1	→					(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(15)届出選択に制御を渡す	
PF5	→					(16)審査(失踪宣告届)に制御を渡す	
PF11	→					(17)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(17)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(18)同画面を編集する	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	1.0　確認画面(失踪宣告届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
失踪宣告届 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡とみなされる日			死亡日		有		
	確定日			審判確定日		有		
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称					有		
	その他の届出人資格名称			その他の届出人資格名称				
	届出人の氏名			届出人氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	1.0　確認画面(失踪宣告届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(失踪宣告届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						失踪者の戸籍　*1		
	失踪者		日本人	生存配偶者	失踪者以外に在籍者が存在する		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	本籍以外人	有	無	有	無			
1	○			○	○		失踪者 (4.1、4.2)		
2	○			○		○		失踪者 (4.1、4.2)	
3	○		○		○		失踪者 (4.1、4.2)		生存配偶者 (4.3、4.4)
4 *2		○		○	－	－	－	－	－
5 *3		○	○		－	－	－	－	－

A.2:戸籍特定(記録) ⇒ 戸籍の消除
B.2:戸籍事項(消除) ⇒ 消除事項の記録
C.2:個人特定(記録) ⇒ 個人の除籍

*1:本籍の場合のみ処理し、非本籍の場合は処理しない。
*2:戸籍の処理は不要
*3:戸籍の処理は不要。生存配偶者の婚姻解消事項の記録は「失踪宣告届」の異動処理終了後(失踪者の除籍記録)後、別途、審査結果入力で処理を行う。
［申し出による市区町村長限りの職権記録］

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード							1701(失踪)
	受領日			送付日　又は　受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			審判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1			届出人資格				
	届出人資格名称1			届出人資格名称				
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							32(失踪者)
	届出人区分							0(事件本人が届出人ではない)
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	4.1　失踪宣告者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							0:未を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							1:除籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(失踪宣告届)								
処理名	4.2 失踪宣告者(除籍) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1701(失踪宣告)
	記録コード								1701(失踪宣告者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				審判確定日				
	失宣踪告	死亡とみなされる日			死亡日				
		失踪宣告の裁判確定日			審判確定日				
	届出	届出日			受領日				
		届出人	資格		届出人資格				
			資格名称		届出人資格名称				
			氏名		届出人氏名				届出人資格 ＝ 99(その他)の時、移送
	送付	送付を受けた日			発送日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	除籍	除籍日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	4.3　生存配偶者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							3;生存配偶者区分を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	4.4　生存配偶者(記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1702(配偶者の失踪宣告)
	記録コード								1702(失踪宣告者の生存配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	配偶者の失踪宣告	配偶者の死亡とみなされる日			死亡日				
	婚姻	配偶者氏名							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	除籍	除籍日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	5.1　9条2項(失踪宣告者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 失踪者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							17(失踪宣告届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(失踪宣告届)							
処理名	6.1　30条の13第1項(失踪宣告者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条13第1項) 失踪者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					17(失踪宣告届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

17.復氏届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	復氏31	「復氏届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_7.1 30条の13第1項(復氏者) ・入力確認_7.2 30条の13第1項(復氏者の配偶者)

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	復氏届

1.復氏届の審査結果入力

・失踪宣告届の配偶者が再婚後に、失踪宣告の取消しを受けた者がする復氏届は審査結果入力処理で行う。

2.復氏届の審査

・夫婦の一方が死亡(失踪宣告を含む)し、生存配偶者が婚姻の際に氏を改めた者であることのシステム審査は、事件本人の配偶者区分、及び筆頭者区分で行う.

・事件本人が生存配偶者である場合以外は、すべて操作員の確認に依るものとする.

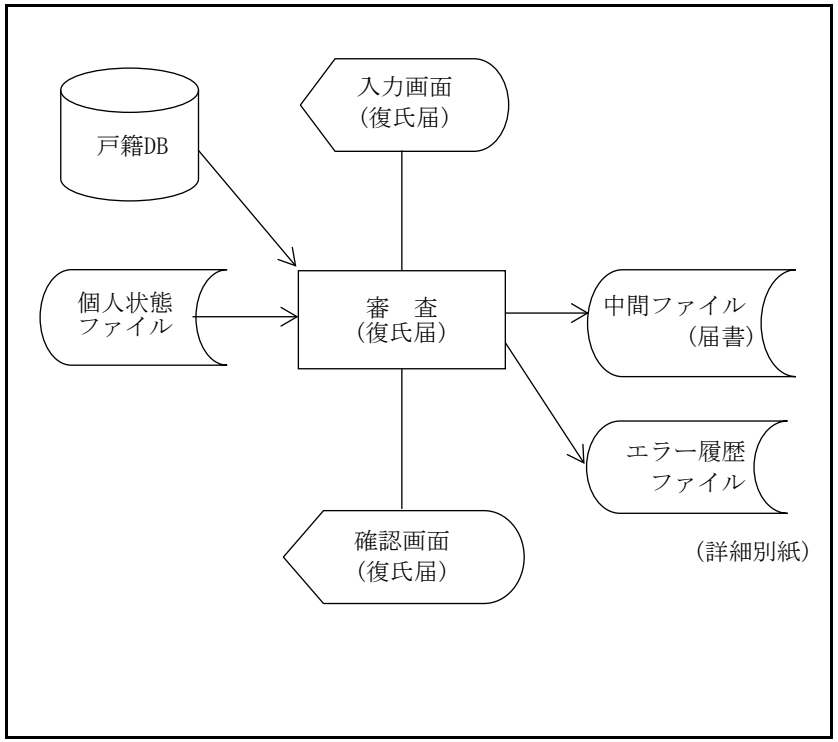
・復氏しようとする者の氏の妥当性は一部システムで審査するが、一般に操作員の確認に依るものとする.

3.その他

・帰化者等で復する氏がない場合は、入力画面の氏区分で[3:新しい氏]を選択する.

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(復氏届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)復氏届の内容を入力する
(2)復氏届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)復氏届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)復氏届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(復氏届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(復氏届)

(1)届書内容を画面入力する					/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)					/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする		/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]		/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
				審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO						
PF1	→					(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)				/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(復氏届)を編集する				(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する					
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)				/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(復氏届)を編集する				(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する					
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する						
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する						

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(復氏届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(復氏届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	カナ氏名	○	カナ				
11	漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
14	配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
15	住所		漢字				
16	世帯主		漢字				
17	本籍	○	漢字				
18	筆頭者	○	漢字				
19	父氏名		漢字				
20	母氏名		漢字				
21	父母との続柄コード	○	数字	10～29、30～49であること			
22	復籍区分	○	英数	(1:もとの戸籍へ戻る、2:新戸籍編製)であること			
23	届後本籍	○	漢字				
24	届後戸籍の筆頭者	○	漢字				
25	氏区分	○	数字	(1:婚姻前の氏、2:転婚前の氏、3:新しい氏)であること			
26	復籍戸籍での筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(復氏届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(復氏届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26-2	異動後戸籍での配偶者区分		数字	(0:未、1:生存配偶者)であること			
27	死亡配偶者カナ氏名	○	カナ				
28	死亡配偶者漢字氏名	○	漢字				
29	死亡配偶者死亡日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」　年月までが必須入力			
30	現在配偶者カナ氏名		カナ				
31	現在配偶者漢字氏名		漢字				
32	現在配偶者外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
33	現在配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
34	現在配偶者配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
35	現在配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	現在配偶者父氏名		漢字				
37	現在配偶者母氏名		漢字				
38	現在配偶者父母との続柄コード		数字	10～29、30～49であること			
39	現在配偶者住所		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(復氏届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(復氏届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.18)本籍 ＝ 管内　又は　(No.24)　届後本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、 (No.18)本籍 ＝ 管外　かつ　(No.24)　届後本籍 ＝ 管外であること			
13	(No.12)漢字氏名 ≠ スペース　かつ　(No.19)筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.12)漢字氏名の氏 ＝ (No.19)筆頭者の氏であること。			
14				第8.3版により削除
15	(No.14)筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　＝ 2(妻)の時、 (No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース　かつ　(No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)であること			
16	(No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)の時、 (No.12)漢字氏名の名 ＝ (No.25)届後戸籍の筆頭者の名であること			
17	(No.26)氏区分 ＝ 3(新しい氏)の時、 (No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)であること			
18	(No.14)筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時、(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(復氏届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(復氏届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ スペース　の時、 (No.30)現在配偶者カナ氏名 ＝ スペース　かつ　(No.31)現在配偶者漢字氏名 ＝ スペース　かつ (No.33)現在配偶者筆頭者区分 ＝ スペース　かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ スペース　かつ　(No.35)現在配偶者生年月日 ＝ スペース　かつ (No.36)現在配偶者父氏名 ＝ スペース　かつ　(No.37)現在配偶者母氏名 ＝ スペース　かつ (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ スペース　かつ (No.39)現在配偶者住所 ＝ スペースであること			配偶者外人区分がスペースであれば、現在の配偶者欄は全部スペースであること
20	(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.30)現在配偶者カナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.31)現在配偶者漢字氏名 ≠ スペース　かつ (No.33)現在配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ≠ スペース　かつ　(No.35)現在配偶者生年月日 ≠ スペース　かつ (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ≠ スペースであること			
21	(No.36)現在配偶者父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.37)現在配偶者母氏名 ≠ スペース　かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			第21版で一部条件を削除
22	(No.36)現在配偶者父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.37)現在配偶者母氏名 ≠ スペース　かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			第21版で一部条件を削除
23				第8.3版により削除
24				第8.3版により削除
25	(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.12)漢字氏名の「氏」 ＝ (No.31)現在配偶者漢字氏名の「氏」であること			
26	(No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース　かつ　(No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
27	(No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース　かつ　(No.15)配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
28	(No.33)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)の時、 (No.26-1)復籍戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
29	(No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)の時、 (No.26-2)異動後戸籍での配偶者区分 ＝ スペースであること			
30	(No.16)住所 ＝ スペースの時、(No.17)世帯主 ＝ スペースであること			
30-1	(No.17)世帯主 ≠ スペースの時、(No.16)住所 ≠ スペースであること			第21版で追加

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(復氏届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(復氏届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.24)届後本籍 ＝ 管内の時、(No.26-1)復籍戸籍での筆頭者区分 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(復氏届)							
処理名	3.0　審査						備考	
(0-0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する。							第11版により、(0-0-1)～(0-0-4)追加	
YES	(0-0-2)→(0-0-5)へ			/			R2.1(復氏29)	
NO	(0-0-3)→				(0-0-4)本紙へ			
(0-0-5)漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/			R2.1(復氏29)	
YES	(0-0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-0-7)本紙へ		R2.1(復氏29)	
							R2.1(復氏29)	
	YES	(0-0-8)エラーメッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-0-10)本紙へ		R2.1(復氏29)	
	NO	(0-0-9)→					画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(復氏29)	
NO	(0-0-11)→(0-1)へ			/			R2.1(復氏29)	
(0-1)(復氏者の)父氏名 ＝ スペース　又は　母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)				/			第8.3版(続柄記載更正(申出))により、(0)～(0-20)を追加	
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する							
	YES	(0-3)→(0-10)へ		/	(0-4)本紙へ			
	NO	→					不受理	
NO	(0-5)(復氏者の)父母との続柄コード ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)			/				
	YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			(0-8)本紙へ			
		YES	(0-7)→(0-10)へ	/				
		NO	→				不受理	
	NO	(0-9)→(0-10)へ		/				
(0-10)現在配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である。(YES,NO)				/				
YES	(0-11)現在配偶者父氏名 ＝ スペース　又は　現在配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/				
	YES	(0-12)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する						
		YES	(0-13)→(1)へ	/	(0-14)本紙へ			
		NO	→				不受理	
	NO	(0-15)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)		/	(0-18)本紙へ			
		YES	(0-16)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する					

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(復氏届)

処理名	3.0 審査		備考
	YES	(0-17)→(1)へ	
	NO	→	不受理
NO	(0-19)→(1)へ		
NO	(0-20)→(1)		
(1)筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)			
YES	(2)配偶者区分(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)		
0	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は復氏できますか?」を表示する	(4)本紙へ	
	YES	(5) → (20)へ	
	NO	→	不受理
1,2	(6)エラーメッセージ 「復氏することができません」を表示する		
3	(7)本籍が管内である(YES,NO)		
	YES	(8)身分事項DBに婚姻事項がある(YES,NO)	
		YES	(9)氏区分 ＝ 1(婚姻前の氏に復する)である(YES,NO)	
			YES	(10)届後戸籍の筆頭者の「氏」 ＝ 婚姻事項の「従前戸籍の筆頭者」項目の「氏」である(YES,NO)	
				YES	(11)→(17)へ	
				NO	(11-1)復籍区分(1:元の戸籍へ戻る、2:新戸籍編製)	
					1	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「復籍する戸籍に間違いはありませんか?」を表示する	(13)本紙へ
						YES	(14)→(20)へ	
						NO	→	不受理
					2	(14.1)確認メッセージ(YES,NO) 「復する氏に間違いはありませんか?」を表示する	(14.2)本紙へ
						YES	(14.3)→(20)へ	
						NO	→	不受理
				NO	(14.4)→(20)へ	
			NO	(15)→(20)へ	
		NO	(16)→(20)へ	
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は復氏できますか?」を表示する	(18)本紙へ	
	YES	(19)→(20)へ	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(復氏届)
処理名	3.0　審査

						備考
	NO	→				不受理
(20)復籍区分 ＝ 1(もとの戸籍に戻る)である(YES,NO)				/		
YES	(20.1)本籍が管内である(YES,NO)			/		平成15年法律第111号3条
	YES	(20.2)身分事項DBに性同一性障害(7003)がある(YES,NO)		/		
		YES	(20.3)確認メッセージ(YES,NO) 「性同一性障害の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する。			
			YES (20.4)→(21)へ	/		
			NO →		(20.5)本紙へ	不受理
		NO	(20.6)→(21)へ	/		
	NO	(20.7)→(21)へ		/		
	(21)届後本籍 ＝ 管内である(YES,NO)			/		
	YES	(22)戻る戸籍は全部除籍になっている(YES,NO)		/		
		YES	(23)エラーメッセージ 「もとの戸籍が除籍になっています」を表示する		(24)本紙へ	戸19I
		NO	(25)戸籍DBに記録されている者について順次(25.1)～(25.6)の処理を繰り返す	/		【復籍戸籍での筆頭者区分のチェック】
			(25.1)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		戻る戸籍が管内にある場合は、戻る戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする
			YES (25.2)復籍戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		筆頭者がいれば、復籍戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない
			YES (25.3)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(25.4)本紙へ	
			NO (25.5)→(26)へ	/		
			NO (25.6)→(25)へ	/		
			(25.7)→(26)へ	/		
	NO	(25.8)→(26)へ		/		
NO						
(26)→本紙へ						第8.3版(続柄記載更正(申出))により、(27)～(29)はロジックが削除されているため削除

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(復氏届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		復氏届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							18(復氏届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0(日本人のみ)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされている場合に設定
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする.)
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(復氏届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届書排他区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(復氏届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

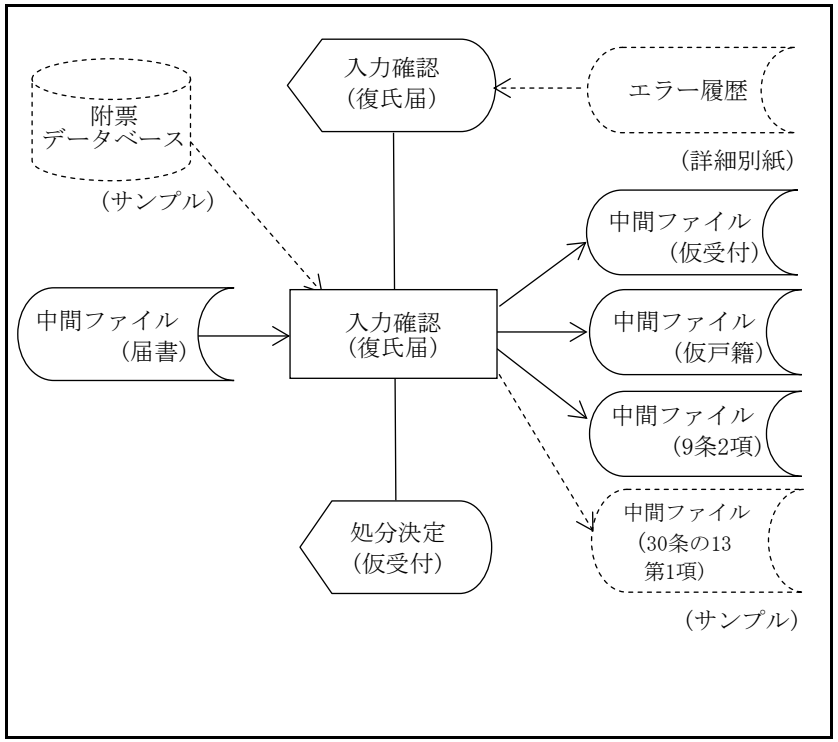
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 事件本人	復氏者個人番号							本籍人のとき個人番号を設定
	カナ氏名		復氏届入力画面	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	復籍区分			復籍区分				
	届後本籍コード			届後本箱				
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者カナ氏名							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	氏区分			氏区分				
	復籍戸籍での筆頭者区分			復籍戸籍での筆頭者区分				
	異動後戸籍での配偶者区分			異動後戸籍での配偶者区分				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者死亡日			死亡配偶者死亡日				
	現在配偶者個人番号							本籍人のとき個人番号を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(復氏届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	現在配偶者カナ氏名			現在配偶者カナ氏名				
	現在配偶者漢字氏名			現在配偶者漢字氏名				
	現在配偶者外人区分			現在配偶者外人区分				
	現在配偶者筆頭者区分			現在配偶者筆頭者区分				
	現在配偶者配偶者区分			現在配偶者配偶者区分				
	現在配偶者生年月日			現在配偶者生年月日				
	現在配偶者父氏名			現在配偶者父氏名				
	現在配偶者母氏名			現在配偶者母氏名				
	現在配偶者父母との続柄コード			現在配偶者父母との続柄コード				
	現在配偶者住所コード			現在配偶者住所				
	現在配偶者住所							

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(復氏届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 4.1 復氏者(入籍)
  - 4.2 復氏者(除籍)
- 5.0データ 編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 5.1 復氏者の配偶者(入籍)
  - 5.2 復氏者の配偶者(除籍)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 復氏者
  - 6.2 復氏者の配偶者
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 7.1 復氏者
  - 7.2 復氏者の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(復氏届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認面面に出力し、 メッセージ 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する				[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)					/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、 事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する			[3.0]	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する			/		
		身分事項(入籍)	(7)事件本人の入籍事項の編集	[4.1]	/		
		身分事項(除籍)	(8)事件本人の除籍事項の編集	[4.2]	/		
		身分事項(配偶者の入籍)	(9)事件本人の配偶者の入籍事項の編集	[5.1]	/		
		身分事項(配偶者の除籍)	(10)事件本人の配偶者の除籍事項の編集	[5.2]	/		
		(10-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理 (10-1)～(10-6)
		YES	(10-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[7.1]	/		
		NO	(10-3)　→　(10-4)へ		/		
		(10-4)現在配偶者外人区分 ＝ 0 (日本人) である (YES,NO)			/		
		YES	(10-5)復氏者の配偶者は在外選挙人である (YES,NO)		/		
			YES	(10-6)復氏者の配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[7.2]	/	
			NO	(11)→(12)へ		/	
		NO					
	NO						
	(12)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である (YES,NO)				/		
	YES	(13)復氏者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する		[6.1]	/		
		(14)現在配偶者外人区分 ＝ 0 (日本人)である (YES,NO)			/		
		YES	(15)復氏者の配偶者ついて中間ファイル(9条2項)を編集･出力する	[6.2]		(16)処分決定に制御を渡す	
		NO	→				
	NO	→					
PF1	→					(17)業務選択に制御を渡す	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF2	→					(18)届出選択に制御を渡す		
PF5	→					(19)審査(復氏届)に制御を渡す		
PF7	(20)前ページがある (YES,NO)			/				
	YES	(21)前ページ分の確認画面(復氏届)を編集する				(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する						
PF8	(24)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(25)次ページ分の確認画面(復氏届)を編集する				(26)同画面を編集する		
	NO	(27)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する						
PF11	→					(28)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(29)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する					(30)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	1.0　確認画面(復氏届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
復氏届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		
	筆頭者名称							
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	配偶者名称							
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	1.0　確認画面(復氏届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	父母との続柄コード			父母との続柄コード		有		
	父母との続柄名称							
	復籍区分			復籍区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	氏区分			氏区分				
	復籍戸籍での筆頭者区分			復籍戸籍での筆頭者区分				
	異動後戸籍での配偶者区分			異動後戸籍での配偶者区分				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者死亡日			死亡配偶者死亡日		有		
	現在配偶者カナ氏名			現在配偶者カナ氏名				
	現在配偶者漢字氏名			現在配偶者漢字氏名				
	現在配偶者外人区分			現在配偶者外人区分				
	現在配偶者筆頭者区分			現在配偶者筆頭者区分		有		
	現在配偶者筆頭者名称							
	現在配偶者配偶者区分			現在配偶者配偶者区分		有		
	現在配偶者配偶者名称							
	現在配偶者生年月日			現在配偶者生年月日		有		
	現在配偶者父氏名			現在配偶者父氏名				
	現在配偶者母氏名			現在配偶者母氏名				
	現在配偶者父母との続柄コード			現在配偶者父母との続柄コード		有		
	現在配偶者続柄名称							
	現在配偶者注所			現在配偶者住所コード		有		
				現在配偶者住所				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(復氏届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	条件														復氏者の現在の戸籍		復籍する戸籍	
	復氏者の本籍		筆頭者区分		配偶者区分		復籍区分				*1					*2	*2	*3
	本籍	非本籍	構成員	筆頭者	夫 OR 妻	未生存配偶者 OR	もとの戸籍に戻る		新戸籍を編製する		日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記録 C.1 D.1	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
							本	非	本	非	有	無	有	無				
1	○	×	○	×	×	○	○				－	－	○	×	本人(4.2)		本人(4.1)	
1-1	○	×	○	×	×	○		○			－	－	○	×	本人(4.2)			
1-2	×	○	○	×	×	○	○				－	－	－	－			本人(4.1)	
1-3	×	○	○	×	×	○		○			－	－	－	－				
2	○	×	○	×	×	○	○				－	－	×	○		本人(4.2)	本人(4.1)	
2-1	○	×	○	×	×	○		○			－	－	×	○		本人(4.2)		
3	○	×	○	×	×	○			○		－	－	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
3-1	○	×	○	×	×	○				○	－	－	○	×	本人(4.2)			
3-2	×	○	○	×	×	○			○		－	－	－	－				本人(4.1)
3-3	×	○	○	×	×	○				○	－	－	－	－				
4	○	×	○	×	×	○			○		－	－	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
4-1	○	×	○	×	×	○				○	－	－	×	○		本人(4.2)		
5	○	×	×	○	×	○	○				－	－	○	×	本人(4.2)		本人(4.1)	
5-1	○	×	×	○	×	○		○			－	－	○	×	本人(4.2)			
5-2	×	○	×	○	×	○	○				－	－	－	－			本人(4.1)	
5-3	×	○	×	○	×	○		○			－	－	－	－				
6	○	×	×	○	×	○	○				－	－	×	○		本人(4.2)	本人(4.1)	
6-1	○	×	×	○	×	○		○			－	－	×	○		本人(4.2)		
7	○	×	×	○	×	○			○		－	－	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
7-1	○	×	×	○	×	○				○	－	－	○	×	本人(4.2)			
7-2	×	○	×	○	×	○			○		－	－	－	－				本人(4.1)
7-3	×	○	×	○	×	○				○	－	－	－	－				
8	○	×	×	○	×	○			○		－	－	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
8-1	○	×	×	○	×	○				○	－	－	×	○		本人(4.2)		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(復氏届)						
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表						

項番	条件														復氏者の現在の戸籍		復籍する戸籍	
	復氏者の本籍		筆頭者区分		配偶者区分		復籍区分				*1 日本人配偶者		配偶者の在籍者以外		一部除籍 C.2	*2 全部除籍 A.2 B.2 C.2	*2 一部記録 C.1 D.1	*3 新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	本籍	非本籍	構成員	筆頭者	夫 OR 妻	未成年 OR 生存配偶者	もとの戸籍に戻る		新戸籍を編製する									
							本	非	本	非	有	無	有	無				
9	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	本人(4..2) 配偶者(5.2)			本人(4.1) 配偶者(5.1)
9-1	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	本人(4.2) 配偶者(5.2)			
9-2	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	-	-				本人(4.1) 配偶者(5.1)
9-3	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	-	-				
10	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○		本人(4.2) 配偶者(5.2)		本人(4.1) 配偶者(5.1)
10-1	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○		本人(4.2) 配偶者(5.2)		
11	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
12	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	本人(4.2)			
13	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	-	-				本人(4.1)
14	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	-	-				
15	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
16	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○		本人(4.2)		

*1　日本人配偶者がある場合、配偶者は事件本人とともに随従除籍、随従入籍となる。
*2　配偶者についてはA.2、B.2は行わずC.2、5.2のみを行う。
*3　配偶者についてはA.1、B.1は行わずC.1、D.1、5.1のみを行う。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							1801(復氏)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							復籍区分 ＝ 1のとき1を設定 復籍区分 ＝ 2のとき2を設定
	届後本籍コード			届後本籍コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成16年 3月1日	版	8
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1							届後戸籍が非本籍なら　1　を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							34(生存配偶者)
	届出人区分							1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	送達確認2							本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	4.1　復氏者(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1801(復氏)
	記録コード								1801(復氏者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	復氏	婚姻前の氏に復した日			受領日				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍コード		有		
					本籍				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	4.2　復氏者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								本籍人の場合個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1801(復氏)
	記録コード								1801(復氏者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	復氏	婚姻前の氏に復した日			受領日				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			届後本籍コード		有		復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)のとき
					届後本籍				
		復する氏				･婚姻前の氏(氏区分 ＝ 1)のとき、設定不要 ･転婚前の氏(氏区分 ＝ 2)で新戸籍編製(復籍区分 ＝ 2)のとき、届後戸籍の筆頭者の「氏」を設定 ･新しい氏(氏区分 ＝ 3)のとき (1)漢字氏名の「氏」 ≠ 届後戸籍の筆頭者の「氏」なら、届後戸籍の筆頭者の「氏」を設定 (2)漢字氏名の「氏」 ＝ 届後戸籍の筆頭者の「氏」なら、設定不要				

データ編集表					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(復氏届)									
処理名	4.2　復氏者(除籍)　編集･出力									

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
	入籍戸籍		本籍			届後本籍コード		有		復籍区分 ＝ 1(もとの戸籍に戻る)のとき
						届後本籍				
			筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(復氏届)								
処理名	5.1　復氏者の配偶者(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1802(配偶者の復氏)
	記録コード								1802(復氏者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がない場合は送付日を設定 送付日がない場合は受領日を設定
		入籍事由							″夫(妻)の復氏届出″
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍コード		有		
					本籍				
		筆頭者			筆頭者				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成18年 3月1日	版	10
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	5.2　復氏者の配偶者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1802(配偶者の復氏)
	記録コード								1802(復氏者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がない場合は送付日を設定 送付日がない場合は受領日を設定
		除籍事由							″夫(妻)の復氏届出″
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			届後本籍コード		有		
					届後本籍				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	6.1　9条2項(復氏者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 復氏者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							18(復氏届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(復氏届)								
処理名	6.2　9条2項(復氏者の配偶者)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 復氏者の配偶者	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号				出張所番号				
	市区町村コード				現在配偶者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名								市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード								18(復氏届)
	受理日				送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号								
	新氏名				届後戸籍の筆頭者の氏 + 現在配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名				現在配偶者漢字氏名				
	新生年月日				現在配偶者生年月日				
	旧生年月日				現在配偶者生年月日				
	新父母との続柄				現在配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄				現在配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード				届後本籍コード				
	新本籍				届後本籍				
	旧本籍コード				本籍コード				
	旧本籍				本籍				
	新筆頭者				届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者				筆頭者				
	住所コード				現在配偶者住所コード				
	住所				現在配偶者住所				
	方書								
	住定日								
	住民日								
	世帯主				世帯主				
	世帯主との続柄								

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	7.1　30条の13第1項(復氏者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					18(復氏届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(復氏届)							
処理名	7.2　30条の13第1項(復氏者の配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					18(復氏届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 現在配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名			現在配偶者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			現在配偶者生年月日				
	新性別							
	旧性別							現在配偶者父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			現在配偶者住所コード				
	住所			現在配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

18.姻族関係終了届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	24	「姻族関係終了届」	「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	姻族関係終了届

1.姻族関係終了届の審査結果入力

2.姻族関係終了届の審査

・事件本人が生存配偶者でない場合、死亡配偶者と婚姻していたことは、操作員に確認してもらう.

・姻族関係終了届が受理できるか、最後に確認メッセージを表示し、操作員に必ず確認してもらう.

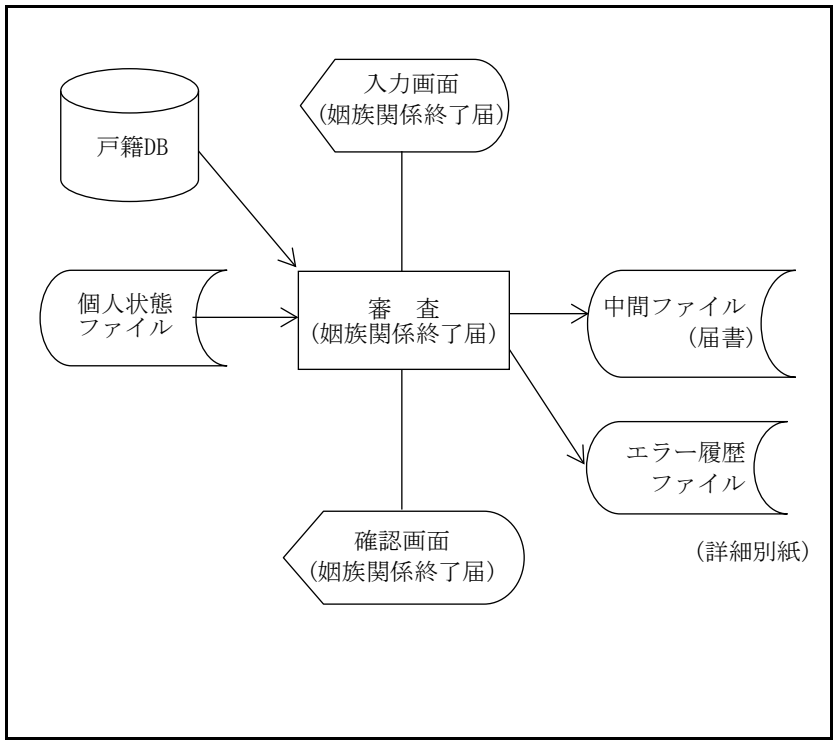
3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(姻族関係終了届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)姻族関係終了届の内容を入力する
(2)姻族関係終了届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)姻族関係終了届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)姻族関係終了届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(姻族関係終了届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(姻族関係終了届)									
処理名	0.0　本紙								備考	
(1)届書内容を画面入力する							/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)							/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)					[1.0]	/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)				[2.0]	/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)			[3.0]	/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力		[4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す		
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する									
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(姻族関係終了届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		入力画面(姻族関係終了届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	カナ氏名	○	カナ				
11	漢字氏名	○	漢字				
12	外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
13	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者		漢字				
16	死亡配偶者カナ氏名	○	カナ				
17	死亡配偶者漢字氏名	○	漢字				
18	死亡配偶者外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
19	死亡年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」年月まで必須入力			
20	同籍区分		数字	(0:同一戸籍、1:他戸籍)であること			
21	死亡配偶者本籍		漢字				
22	死亡配偶者筆頭者		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(姻族関係終了届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	入力画面(姻族関係終了届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.14)本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.14)本籍 ＝ 管外であること			
13	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.14)本籍 ＝ 国籍であること			
14	(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.15)筆頭者 ≠ スペースであること			
15	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.15)筆頭者 ＝ スペースであること			
16	(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)　かつ　(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.20)同籍区分 ≠ スペースであること			
16-1	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)　又は　(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.20)同籍区分 ＝ スペースであること			
17	(No.20)同籍区分 ＝ 0(同一戸籍) の時、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ スペース　かつ　(No.22)死亡配偶者筆頭者 ＝ スペース　又は (No.14)本籍 ＝ (No.21)死亡配偶者本籍　かつ　(No.15)筆頭者 ＝ (No.22)死亡配偶者であること			
18	(No.20)同籍区分 ＝ 1(他戸籍) の時、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ 本籍　かつ　(No.22)死亡配偶者筆頭者 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(姻族関係終了届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		入力画面(姻族関係終了届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人) の時、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ 国籍　かつ　(No.22)死亡配偶者筆頭者 ＝ スペースであること			
20	(No.11)漢字氏名 ≠ スペース　かつ　(No.15) 筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.11)漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏であること。			日本人の場合、実施する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(姻族関係終了届)

処理名	3.0 審査		備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示する		(0-2)本紙へ	
YES	(0-3)→(0-6)へ	/		R2.1(姻族21)
NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	
(0-6)外人区分=0:日本人 かつ 漢字氏名の名が未入力(YES,NO)		/		R2.1(姻族21)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		(0-8)本紙へ	
YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-10)→			画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ	/		
(1)外人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)		/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「姻族関係終了を認めたその国の証明書が添付されていますか」を表示する		(3)本紙へ	
YES	(4) → (6)へ	/		
NO	(4-1) →		(4-2)本紙へ	不受理
NO	(5) → (6)へ	/		
(6)死亡配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/		
YES	(7)死亡配偶者本籍 ＝ 管内である(YES,NO)	/		
YES	(7-1)死亡配偶者はシステム化後の戸籍にいる(YES,NO)	/		システム化前に死亡している者(構成員)はセットアップ対象外であるため、審査できない
YES	(8)個人除区分 ≠ 0(在籍者以外)である(YES,NO)	/		
YES	(9) → (21)へ	/		
NO	(10)エラーメッセージ 「姻族関係を終了する配偶者は死亡(失踪)していません」を表示する		(11)本紙へ	
NO	(12) → (21)へ	/		
NO	(12-1) → (21)へ	/		
NO	(13) → (21)へ	/		
(14)		/		(14)～(20)は削除
	(15)	/		
	(16)	/	(17)	
	(18)	/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(姻族関係終了届)								
処理名	3.0　審査							備考	
			(19)		/				
			(20)		/				
(21)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡(失踪)した者と婚姻していたことを確認しましたか?」を表示する						(22)本紙へ			
YES	(22-1) →								
NO	(22-2) →							不受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(姻族関係終了届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		姻族関係終了届 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							19(姻族関係終了届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							外国人区分 ＝ 0なら0(日本人のみ) 外国人区分 ＝ 1なら2(外国人のみ)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされている場合に設定
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする.)
	決裁区分							何も設定されていない場合に0:未決裁を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(姻族関係終了届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届書排他区分							

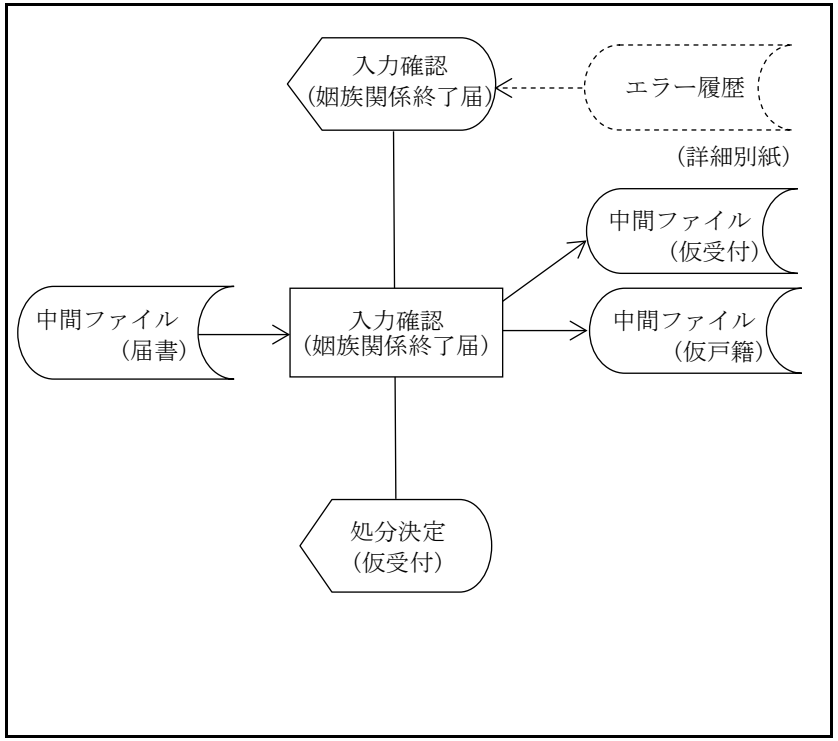
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(姻族関係終了届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件本人	個人番号			個人番号				本籍人の場合個人番号を設定
	カナ氏名		姻族関係終了届 入力画面	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者外人区分			死亡配偶者外人区分				
	死亡年月日			死亡年月日				
	同籍区分			同籍区分				
	死亡配偶者本籍コード			死亡配偶者本籍				
	死亡配偶者本籍							
	死亡配偶者筆頭者			死亡配偶者筆頭者				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(姻族関係終了届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(4)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 3.1 身分事項(一部記録)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[2.0]	/				
	(4)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(5)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/			非本籍人及び外国人は記録不要	
		(6)身分事項を編集する(一部記録)	[3.1]		(7)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(9)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(10)審査(姻族関係終了届)に制御を渡す			
PF11	→				(11)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(12)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する				(13)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	1.0　確認画面(姻族関係終了届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
姻族関係終了届 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者外人区分			死亡配偶者外人区分				
	死亡年月日			死亡年月日		有		
	同籍区分			同籍区分				
	死亡配偶者本籍			死亡配偶者本籍コード		有		
				死亡配偶者本籍				
	死亡配偶者筆頭者			死亡配偶者筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							1901(姻族関係終了)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(姻族関係終了届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							34(生存配偶者)
	届出人区分							1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき) 外国人の場合は0を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(姻族関係終了届)								
処理名	3.1　姻族関係終了者(一部記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								本籍人の場合個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1901(姻族関係終了)
	記録コード								1901(姻族関係の終了した生存配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	死亡配偶者の親族との姻族関係終了日				受領日				
	姻族関係終了	死亡配偶者氏名			死亡配偶者漢字氏名				
		死亡配偶者の戸籍 本籍			死亡配偶者本籍コード		有		死亡配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の場合に設定 (同籍区分 ＝ 0の場合は設定不要)
					死亡配偶者本籍				
		筆頭者			死亡配偶者筆頭者				同上
		死亡配偶者の国籍			死亡配偶者本籍				死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の場合に設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

第7.2.(5)「異動」処理

19.推定相続人廃除届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	-	「推定相続人廃除届」	「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	推定相続人廃除届						

1.推定相続人廃除届の審査結果入力

・届出がない場合(管轄局の許可を得て記録する場合等)は、審査結果入力で処理を行う。

2.推定相続人廃除届の審査

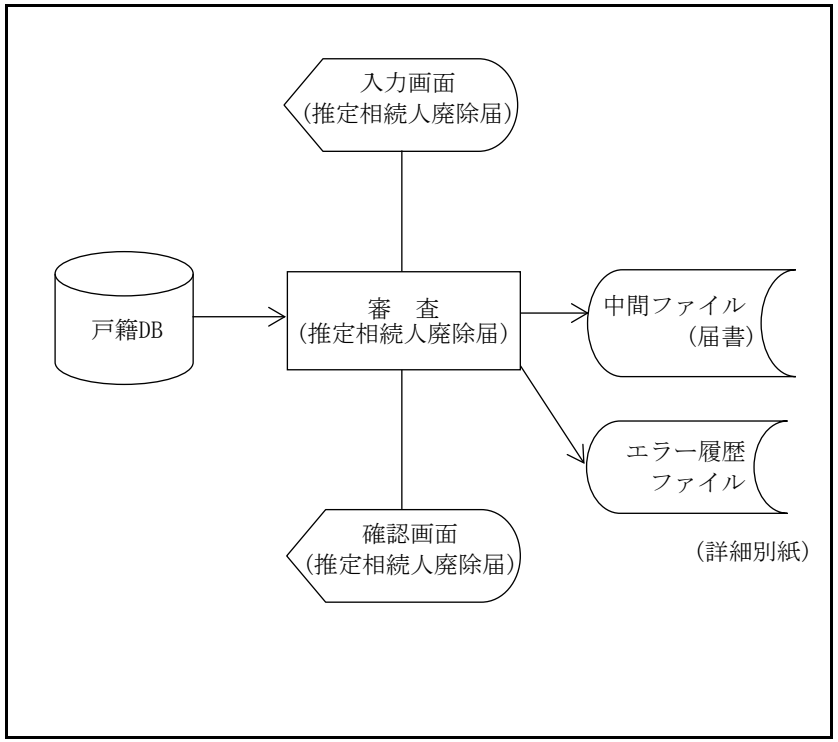
・審判確定(調停成立)の日から10日以内の届出であることの審査を行う。

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(推定相続人廃除届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)推定相続人廃除届の内容を入力する
(2)推定相続人廃除届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)推定相続人廃除届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)推定相続人廃除届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(推定相続人廃除届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(推定相続人廃除届)									
処理名	0.0　本紙								備考	
(1)届書内容を画面入力する							/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)							/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す		
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する									
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する									

データチェック（単体表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16

作業名	審査(推定相続人廃除届)

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	入力画面(推定相続人廃除届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	被廃除者外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	被廃除者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	被廃除者カナ氏名	○	カナ				
13	被廃除者漢字氏名	○	漢字				
14	被廃除者本籍	○	漢字				
15	被廃除者筆頭者		漢字				
16	廃除者外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
17	廃除者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	廃除者資格区分	○	数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母、099:その他)であること			
19	廃除者資格名称		漢字				
20	廃除者カナ氏名	○	カナ				
21	廃除者漢字氏名	○	漢字				
22	廃除者本籍	○	漢字				
23	廃除者筆頭者		漢字				16版修正 No24:裁判区分 1:調停を削除 →家事事件手続法第244条により
24	裁判種別	○	数字	(2:審判)であること			
25	裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成25年 3月1日	版	16
作業名	審査(推定相続人廃除届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　単体チェック表				入力画面(推定相続人廃除届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	届出人資格	○	数字	(090:廃除した人、091:遺言執行者、098:廃除された人、099:その他)であること			
27	届出人資格名称		数字				
28	届出人氏名	○	漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成27年 3月1日	版	18

作業名	審査(推定相続人廃除届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(推定相続人廃除届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本籍区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.14)被廃除者本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本籍区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.14)被廃除者本籍 ＝ 管外であること			
13	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.8)本籍区分 ＝ 2(非本籍)　かつ　(No.14)被廃除者本籍 ＝ 国籍であること			
14	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.15)被廃除者筆頭者 ≠ スペースであること			
15	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.15)被廃除者筆頭者 ＝ スペースであること			
15-1	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.13)被廃除者漢字氏名の氏 ＝ (No.15)被廃除者筆頭者の氏であること			
16	(No.18)廃除者資格区分 ＝ 099の時、(No.19)廃除者資格名称 ≠ スペース であること			
17	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.22)廃除者本籍 ＝ 本籍　かつ　(No.23)廃除者筆頭者 ≠ スペース であること			
18	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.22)廃除者本籍 ＝ 国籍　かつ　(No.23)廃除者筆頭者 ＝ スペース であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成27年 3月1日	版	18
作業名	審査(推定相続人廃除届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(推定相続人廃除届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18-1	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.21)廃除者漢字氏名の氏 ＝ (No.23)廃除者筆頭者の氏であること			
19	(No.26)届出人資格 ＝ 090(廃除した人)の時、 (No.28)届出人氏名 ＝ (No.21)廃除者漢字氏名であること			
19-1	(No.26)届出人資格 ＝ 098(廃除された人)の時、 (No.28)届出人氏名 ＝ (No.13)被廃除者漢字氏名であること			
20	(No.26)届出人資格 ＝ 099(その他)の時、(No.27)届出人資格名称 ≠ スペースであること			
20-1	(No.26)届出人資格 ＝ 091(遺言執行者) 又は (No.26)届出人資格 ＝ 099(その他)の時、 (No、28)届出人氏名 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(推定相続人廃除届)

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)		/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する			
YES	(0-3)→(0-7)へ	/		R2.1(推相廃14)
NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ	/		R2.1(推相廃14)
(0-7)被廃除者外人区分=0:日本人 かつ 被廃除者漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)		/		R2.1(推相廃14)
YES	(0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示する		(0-9)本紙へ	R2.1(推相廃14)
YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-12)本紙へ	不受理 R2.1(推相廃14)
NO	(0-11)→			画面項目修正(審査完了しない) R2.1(推相廃14)
NO	(0-13)→(1)へ	/		R2.1(推相廃14)
(1)被廃除者は本籍人である。(YES,NO)		/		
YES	(2)廃除者資格区分(001:父、002:母、010:養父、011:養母)	/		
001:父	(3)廃除者漢字氏名 ＝ 被廃除者の戸籍の父氏名(YES,NO)	/		
YES	(4)→(24)へ	/		
NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する		(6)本紙へ	
YES	(7)→(24)へ	/		
NO	→			不受理
002:母	(8)廃除者漢字氏名 ＝ 被廃除者の戸籍の母氏名(YES,NO)	/		
YES	(9)→(24)へ	/		
NO	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する		(11)本紙へ	
YES	(12)→(24)へ	/		
NO	→			不受理
010:養父	(13)廃除者漢字氏名 ＝ 被廃除者の戸籍の養父氏名(YES,NO)	/		
YES	(14)→(24)へ	/		
NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する		(16)本紙へ	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			審査(推定相続人廃除届)							
処理名			3.0 審査						備考	
			YES	(17)→(24)へ		/				
			NO	→					不受理	
	011:養母		(18)廃除者漢字氏名 ＝ 被廃除者の戸籍の養母氏名(YES,NO)			/				
		YES	(19)→(24)へ			/				
		NO	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する				(21)本紙へ			
			YES	(22)→(24)へ		/				
			NO	→					不受理	
NO	(23)→(24)へ					/				
(24)届出人資格(090:廃除した人、091:遺言執行者、098:廃除された人、099:その他)						/				
090	(25)→(38)へ					/				
091	(26)廃除者は本籍人である(YES,NO)					/				
	YES	(26.1)廃除者はシステム化後の戸籍にいる(YES,NO)				/			システム化前に死亡している者(構成員)はセットアップ対象外であるため、審査できない	
		YES	(27)個人除区分 ≠ 0(在籍者以外)である(YES,NO)			/				
			YES	(28) → (38)へ		/				
			NO	(29)エラーメッセージ 「廃除者は死亡(失踪)していないので、遺言執行者は届出人になれません。」を表示する			(30)本紙へ		民893	
		NO	(29.1) → (38)へ			/				
	NO	(31) → (38)へ				/				
098	(32)確認メッセージ(YES,NO) 「本来、廃除される者が届出人になることはできません。よろしいですか?」を表示する								法97(法63①の準用)、法63②の準用はない 裁判請求者:民892、893 本例(S35.1.7民事甲第17号民事局長回答)	
	YES	(33) → (38)へ				/				
	NO	→					(34)本紙へ		不受理	
099	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「通常、廃除者か、遺言執行者しか届出人になることはできません。よろしいですか?」を表示する								民892、893 本例は民895①の適用である (S36.7.3民事甲第1578号民事局長回答)	
	YES	(36) → (38)へ				/				
	NO	→					(37)本紙へ		不受理	
(38)裁判確定日から10日以内の届出である(YES,NO)						/			法97(法63①の準用)	
YES	→						(39)本紙へ			
NO	(40)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する								審査続行	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(推定相続人廃除届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

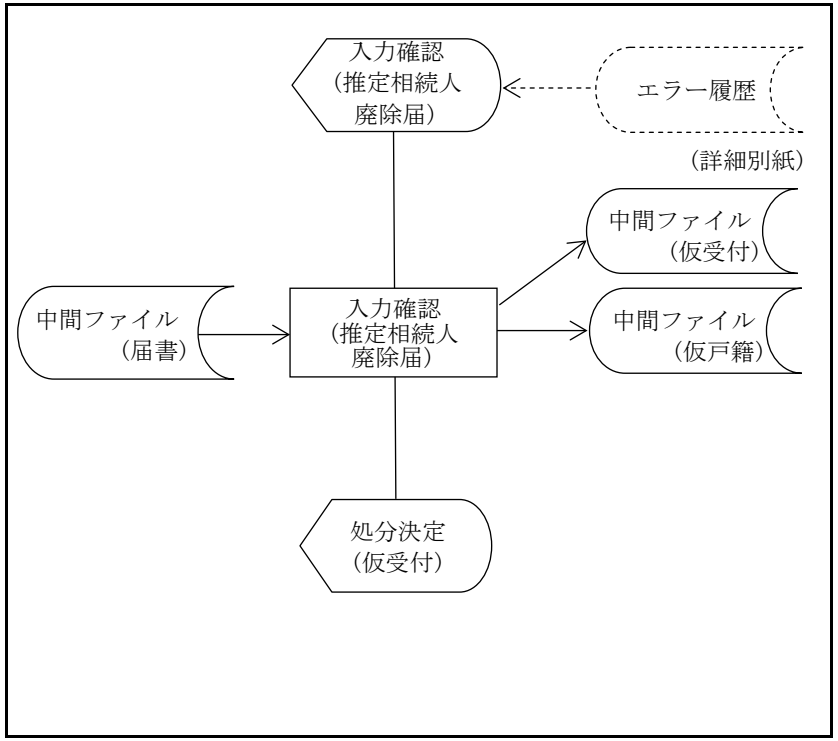
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		推定相続人廃除届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							20(推定相続人廃除届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の場合、0を設定 被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の場合、2(外国人のみ)を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする.)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(推定相続人廃除届)								
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
	決裁区分							何も設定されていない場合に0:未決済を設定	
	届書排他区分								
中間ファイル(届書) 事件本人	被廃除者個人番号							本籍人の場合個人番号を設定	
	被廃除者外人区分		推定相続人廃除届 入力画面	被廃除者外人区分					
	被廃除者生年月日			被廃除者生年月日					
	被廃除者カナ氏名			被廃除者カナ氏名					
	被廃除者漢字氏名			被廃除者漢字氏名					
	被廃除者本籍コード			被廃除者本籍					
	被廃除者本籍								
	被廃除者筆頭者			被廃除者筆頭者					
	廃除者個人番号			廃除者個人番号				本籍人の場合個人番号を設定	
	廃除者外人区分			廃除者外人区分					
	廃除者生年月日			廃除者生年月日					
	廃除者資格区分			廃除者資格区分					
	廃除者資格名称			廃除者資格名称					
	廃除者カナ氏名			廃除者カナ氏名					
	廃除者漢字氏名			廃除者漢字氏名					
	廃徐者本籍コード			廃除者本籍					
	廃除者本籍								
	廃除者筆頭者			廃除者筆頭者					
	裁判種別			裁判種別					
	裁判確定日			裁判確定日					
	届出人資格			届出人資格					
	届出人資格名称			届出人資格名称					
	届出人氏名			届出人氏名					

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(推定相続人廃除届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(4)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 3.1 身分事項(一部記録)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[2.0]	/				
	(4)被廃除者が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(5)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/			非本籍人及び外国人は記録不要	
		(6)身分事項を編集する(一部記録)	[3.1]		(7)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(8)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(9)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(10)審査(推定相続人廃除届)に制御を渡す			
PF11	→				(11)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(12)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する				(13)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	1.0　確認画面(推定相続人廃除届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
推定相続人廃除届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	被廃除者外人区分		中間ファイル(届書)事件別内容	被廃除者外人区分				
	被廃除者生年月日			被廃除者生年月日		有		
	被廃除者カナ氏名			被廃除者カナ氏名				
	被廃除者漢字氏名			被廃除者漢字氏名				
	被廃除者本籍			被廃除者本籍コード		有		
				被廃除者本籍				
	被廃除者筆頭者			被廃除者筆頭者				
	廃除者外人区分			廃除者外人区分				
	廃除者生年月日			廃除者生年月日		有		
	廃除者資格区分			廃除者資格区分				
	廃除者資格名称			廃除者資格名称				
	廃除者カナ氏名			廃除者カナ氏名				
	廃除者漢字氏名			廃除者漢字氏名				
	廃除者本籍			廃除者本籍コード		有		
				廃除者本籍				
	廃除者筆頭者			廃除者筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	1.0　確認画面(推定相続人廃除届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	裁判種別			裁判種別				
	裁判確定日			裁判確定日		有		
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				098のとき「廃除された者」を表示
	届出人氏名			届出人氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							裁判種別 ＝ 1(調停)であれば 2001(推定相続人廃除(調停)) 裁判種別 ＝ 2(審判)又は3(判決)であれば2002(推定相続人廃除(裁判))
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							届出人資格 ＝ 090であれば 入力された廃除者資格区分を設定 届出人資格 ＝ 091であれば 091(遺言執行者)を設定 届出人資格 ＝ 098であれば 届出人資格区分1は未設定 届出人資格 ＝ 099であれば 099(その他)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人資格名称1							届出人資格 ＝ 090であれば 入力された廃除者資格名称を設定 届出人資格 ＝ 091であれば 「遺言執行者」を設定 届出人資格 ＝ 098であれば 届出人資格名称1は未設定 届出人資格 ＝ 099であれば 入力された届出人資格名称を設定
	届出人氏名1			届出人氏名				届出人資格 ＝ 098であれば未設定
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)の場合 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)の場合 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							35(推定相続人)
	届出人区分							届出人資格 ＝ 098であれば1(届出人)を設定
	カナ氏名			被廃除者カナ氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)							
処理名	2.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	漢字氏名			被廃除者漢字氏名				
	生年月日			被廃除者生年月日				
	本籍コード			被廃除者本籍コード				
	本籍			被廃除者本籍				
	筆頭者			被廃除者筆頭者				
	送達確認2							本非区分 ＝ 2(非本籍)　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合 1を設定 上記以外は0を設定 外国人は0を設定

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)						
処理名	3.1　被推定相続人廃除者(一部記録)　編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								被廃除者が本籍人の場合個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2001(推定相続人廃除)
	記録コード								2001(推定相続人廃除をされた者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	裁判確定日				
	推定相続人廃除	推定相続人廃除の裁判確定日			裁判確定日				裁判種別 ＝ 2(審判) 又は 3(判決)のとき
		推定相続人廃除の調停成立日			裁判確定日				裁判種別 ＝ 1(調停)のとき
		被続相人 続柄			廃除者資格名称				
		被続相人 氏名			廃除者漢字氏名				
	届出	届出日			受領日				
		届出人 資格			届出人資格				届出人資格 ＝ 098であれば移送しない
		届出人 資格名称							届出人資格 ＝ 090(廃除した者)であれば、「廃除者資格名称」を設定 届出人資格 ＝ 098(廃除された者)であれば、未設定 届出人資格が上記以外のであば、「届出人資格名称」を設定
		届出人 氏名							届出人資格 ＝ 090、098であれば未設定 届出人資格が上記以外であれば、「届出人氏名」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(推定相続人廃除届)								
処理名	3.1　被推定相続人廃除者(一部記録)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	許可	許可日							
		許可証謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

第7.2.(5)「異動」処理

20.入籍届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	74	「入籍届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		73		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	75		審査3.3(従前の氏を称する入籍) 成年年齢引下げの審査について修正

システム処理の概要説明		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	入籍届						

1.入籍届による入籍業務処理範囲外の処理

(1) 過去に氏の変更届(107条4項)を入籍人が届出。

(2) (養)父母欄の更正処理は、入籍人及びその配偶者:本籍、入籍先:本籍(本籍→本籍の異動)の場合のみ行う。
上記以外の異動パターンについては、更正処理で行う。

(3) 事件本人の成年後見人から届出された場合。

(4) 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2.入籍届入力画面の意義

(1) 入籍人当事者の各項目を入力する。

3.その他

(1) 添付書類

・父又は母と氏を異にする子が、父又は母の氏を称しようとする場合(戸98I、民791I・III)、
裁判所において「子の氏を父又は母の氏に変更する」旨の許可の審判書の謄本

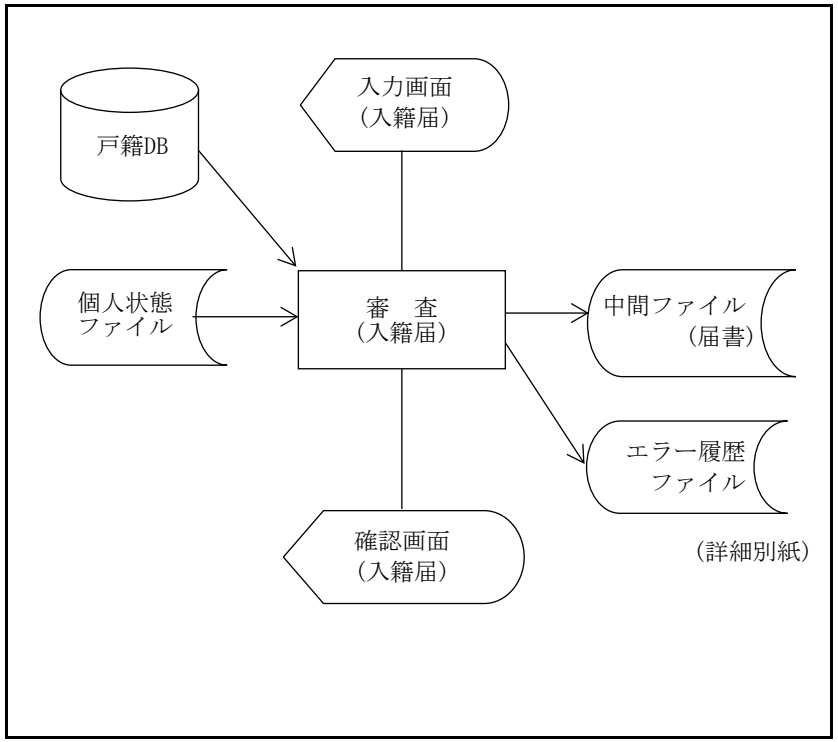
(2) 入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)を選択した場合の処理範囲

・届出人資格は、同一人であること(入籍人単位に指定できない。異なる場合は処理を別けて行う)

・入籍人の対象は、構成員とする。(筆頭者と構成員を同時に入籍できない)

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(入籍届)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)入籍届の内容を入力する
(2)入籍届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)入籍届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)入籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(入籍届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(氏を称する入籍)
  - 3.2 審査(同籍する入籍)
  - 3.3 審査(従前の氏を称する入籍)
  - 4.1 審査(届出人資格)
  - 4.2 審査(入籍人更正区分)
  - 4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)
  - 4.4 審査(父母関連)
  - 4.5 審査(父又は母の新戸籍)
  - 4.6 審査(入籍先･入籍相手)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)入籍者の年齢計算について
･受領日を基準日として計算する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(入籍届)					
処理名	0.0　本紙					

キー	条件			処理		制御	備考
(1)届書内容を画面入力する					/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)					/		
実行キー				(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
	YES			(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
		YES		(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
				(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [5.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
			審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
			確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO		(13)エラーメッセージを表示する			
	NO						
PF1	→					(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(15)届出選択に制御を渡す	
PF7				(16)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES			(17)前ページ分の入力画面(入籍届)を編集する		(18)同画面を編集する	
	NO			(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する			
PF8				(20)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES			(21)次ページ分の入力画面(入籍届)を編集する		(22)同画面を編集する	
	NO			(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する			
PF10				(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11				(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12				(26)入力画面を初期化する			
その他				(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する			

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付		版	1
作業名	審査(入籍届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表				入力画面(入籍届種別入力画面)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
1	入籍者種別	○	数字	(1:入籍人単独、2:配偶者同時、3:入籍人複数)であること		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」			
2	同時入籍者数		数字						

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(入籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
3	支所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
4	受領NO		数字				
5	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	発送元		漢字				
8	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
9	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
11	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	入籍事由	○	数字	(1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍)であること			
13	入籍相手	○	数字	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母)であること			
14	従前の氏を改めた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	許可の審判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	戸籍変動区分	○	数字	(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)であること			
17	入籍先の本非区分		数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
18	入籍先の個人除区分		数字	(0:在籍者、1:除籍者、2:戸籍消除者、3:消除者、4:消除及び除籍者)であること			
19	入籍先の筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
20	入籍先の配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
21	入籍先の本籍		漢字				
22	入籍先の筆頭者		漢字				
23	入籍先のカナ氏名		カナ				
24	入籍先の漢字氏名		漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(入籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	入籍先の住所		漢字				
26	入籍先の世帯主		漢字				
27	入籍先の父の氏名		漢字				
28	入籍先の母の氏名		漢字				
29	入籍先の父母続柄		数字	(10:男～49:十九女)であること			
30	入籍先の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31	新本籍		漢字				
32	新筆頭者		漢字				
33	入籍人の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
34	入籍人nの筆頭者区分	○	英数	(0:構成員、1:筆頭者)であること			(注1)複数人存在する場合あり
35	入籍人nの配偶者区分	○	英数	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			(注1)
36	入籍人nの更正区分	○	数字	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父及び養母、9:養父及び母)であること			(注1)
37	入籍人nの生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			(注1)
38	入籍人nのカナ氏名		カナ				(注1)
39	入籍人nの漢字氏名	○	漢字				(注1)
40	入籍人nの住所		漢字				(注1)
41	入籍人nの世帯主		漢字				(注1)
42	入籍人nの父の氏名		漢字				(注1)
43	入籍人nの母の氏名		漢字				(注1)
44	入籍人nの父母続柄	○	数字	(10:男～49:十九女)であること			(注1)
45	入籍人nの養父の氏名		漢字				(注1)
46	入籍人nの養母の氏名		漢字				(注1)
47	入籍人nの養父母続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			(注1)
48	入籍人の本籍	○	漢字				
49	入籍人の筆頭者	○	漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(入籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	届出人資格1		数字	(009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			
51	届出人氏名1		漢字				
52	届出人資格2		数字	(009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			
53	届出人氏名2		漢字				
54	入籍人配偶者のカナ氏名		カナ				
55	入籍人配偶者の漢字氏名		漢字				
56	入籍人配偶者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
57	入籍人配偶者の父の氏名		漢字				
58	入籍人配偶者の母の氏名		漢字				
59	入籍人配偶者の父母続柄		数字	(10:男～49:十九女)であること			
60	入籍人配偶者の養父の氏名		漢字				
61	入籍人配偶者の養母の氏名		漢字				
62	入籍人配偶者の養父母続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			
63	入籍人配偶者の住所		漢字				
64	入籍人配偶者の世帯主		漢字				
65	入籍人配偶者の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
66	入籍人配偶者の配偶者区分		英数	(1:夫、2:妻)であること			
67	入籍人配偶者の更正区分		数字	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父及び養母、9:養父及び母)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(入籍届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.6)送付日 ＝ スペースの時、(No.7)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.6)送付日 ≠ スペースの時、(No.7)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.6)送付日 ≠ スペースの時、(No.6)送付日 ≧ (No.5)受領日であること			
4	(No.6)送付日 ＝ スペースの時、(No.8)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.7)発送元 ≠ スペースの時、(No.8)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.7)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.7)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.8)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.7)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.7)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.8)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は (No.8)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.9)処理日 ≠ スペースの時、(No.9)処理日 ＞ (No.5)受領日であること			
9	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.6)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.11)郵送日 ≦ (No.5)受領日であること			
11	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、(No.2)同時入籍者数 ＝ 未入力であること			
12	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、 (No.35)入籍人の配偶者区分 ＝ 0(未)　又は　3(生存配偶者)であること			
13	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.67)入籍人配偶者の更正区分が未入力であること			
13-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)　かつ ((No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)　又は　2(同籍する入籍))の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)　又は　2(父又は母の新戸籍に入る)であること			
14	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、(No.2)同時入籍者数 ＝ 未入力であること			
15	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる)であること			
16	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.34)入籍人の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ (No.35)入籍人の配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)であること			
17-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(入籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17-2	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.56)入籍人配偶者の生年月日 と (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 および (No.65)入籍人配偶者の外国人区分～(No.67)入籍人配偶者の更正区分がスペースでないこと			
17-3	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫)又は2(妻)であること			
17-4	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.64)入籍人配偶者の世帯主 および (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分～(No.67)入籍人配偶者の更正区分がスペースであること			
18	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、(No.2)同時入籍者数 ≧ 2であること			
19-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)であること			
19-2	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.38)入籍人nのカナ氏名～(No.39)入籍人nの漢字氏名 および (No.44)入籍人nの父母続柄がスペースでないこと			
20	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.34)入籍人nの筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.35)入籍人nの配偶者区分 ＝ 0(未) 又は 3(生存配偶者)であること			
21	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.67)入籍人配偶者の更正区分が未入力であること			
22	(No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ＝ スペースであること			
23	(No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父) 又は 3(母) 又は 4(父母) 又は 5(養父) 又は 6(養母) 又は 7(養父母)であること			
24	(No.12)入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ＝ スペースであること			
25	(No.12)入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父) 又は 3(母) 又は 4(父母) 又は 5(養父) 又は 6(養母) 又は 7(養父母)であること			
26	(No.12)入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ≠ スペースであること			
27	(No.12)入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時、			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(入籍届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	(No.13)入籍相手 ＝ 1(無)であること			
28-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、 ((No.17)入籍先の本非区分～(No.24)入籍先の漢字氏名 ≠ スペース) かつ ((No.31)新本籍、(No.32)新筆頭者 ＝ スペースであること			
28-2	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、 ((No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者)) 又は ((No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者)) かつ (No.20)入籍先の配偶者区分 ≠ 0(未))であること			
29-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、 (No.17)入籍先の本非区分～(No.24)入籍先の漢字氏名が ≠ スペースであること			
29-1-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る) かつ (No.17)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍) 又は (No.31)新本籍 ＝ 管内の時、 (No.29)入籍先の父母続柄～(No.30)入籍先の生年月日が ≠ スペースであること			
29-2	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、 (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ (No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ			
29-3	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父) 又は 3(母) 又は 5(養父) 又は 6(養母)であること			
29-4	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る) かつ (No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.39)入籍先の漢字氏名 ＝ (No.32)新筆頭者であること			
29-5	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る) かつ ((No.8)在外送付区分 ＝ 0(受理分) 又は 2(在外公館の直接送付))の時、 (No.25)入籍先の住所 ≠ スペースであること			
29-6				
30	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 管内本籍の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
31	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 管外本籍の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
32	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 未入力の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 未入力であること			
33	(No.48)入籍人の本籍 ＝ 管内本籍の時、(No.33)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
34	(No.48)入籍人の本籍 ＝ 管外本籍の時、(No.33)入籍人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
35	(No.36)入籍人nの更正区分 ＝ 2(父) 又は 4(父母) 又は 8(父及び養母)の時、 (No.42)入籍人nの父の氏名 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(入籍届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
36	(No.36)入籍人nの更正区分 ＝ 3(母)　又は　4(父母)　又は　9(養父及び母)の時、 (No.43)入籍人nの母の氏名 ≠ スペースであること			
37	(No.36)入籍人nの更正区分 ＝ 5(養父)　又は　7(養父母)　又は　9(養父及び母)の時、 (No.45)入籍人nの養父の氏名 ≠ スペースであること			
38	(No.36)入籍人nの更正区分 ＝ 6(養母)　又は　7(養父母)　又は　8(父及び養母)の時、 (No.46)入籍人nの養母の氏名 ≠ スペースであること			
39	(No.20)入籍先の配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ　(No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
40	(No.20)入籍先の配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ　(No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
41	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.44)入籍人1の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
42	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.44)入籍人1の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
43	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
44	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
45	(No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
46	(No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(入籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
47	(削除)			
48	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の時、 (No.42)入籍人nの父の氏名 ≠ スペースであること			
49	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 (No.43)入籍人nの母の氏名 ≠ スペースであること			
50	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の時、 (No.45)入籍人nの養父の氏名 ≠ スペースであること			
51	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 (No.46)入籍人nの養母の氏名 ≠ スペースであること			
52	(No.50)届出人資格1　又は　(No.52)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.51)届出人氏名1　又は　(No.53)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
53	(No.31)新本籍 ≠ スペースの時、 (No.32)新筆頭者 ≠ スペースであること			
54	(No.31)新本籍 ＝ スペースの時、 (No.32)新筆頭者 ＝ スペースであること			
55	(No.15)許可の審判確定日 ≠ スペースの時、 (No.15)許可の審判確定日 ≦ (No.5)受領日であること			
56	(No.1) 入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)　かつ　(No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.39)入籍人1の漢字氏名の氏 ＝ (No.55)入籍人配偶者の漢字氏名の氏であること			
57	(No.1) 入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)　かつ　(No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.39)入籍人1の漢字氏名の名 ＝ (No.32)新筆頭者の名であること			
58	(No.49)入籍人の筆頭者の氏 ＝ (No.39)入籍人nの漢字氏名の氏であること			
58-1	(No.22)入籍先の筆頭者の氏 ≠ スペース　かつ　(No.24)入籍先の漢字氏名 ≠ スペースの時、 (No.22)入籍先の筆頭者の氏 ＝ (No.24)入籍先の漢字氏名の氏であること			
59	(No.67)入籍人配偶者の更正区分 ＝ 2(父)　又は　4(父母)　又は　8(父及び養母)の時、 (No.57)入籍人配偶者の父の氏名 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(入籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
60	(No.67)入籍人配偶者の更正区分 ＝ 3(母) 又は 4(父母) 又は 9(養父及び母)の時、 (No.58)入籍人配偶者の母の氏名 ≠ スペースであること			
61	(No.67)入籍人配偶者の更正区分 ＝ 5(養父) 又は 7(養父母) 又は 9(養父及び母)の時、 (No.60)入籍人配偶者の養父の氏名 ≠ スペースであること			
62	(No.67)入籍人配偶者の更正区分 ＝ 6(養母) 又は 7(養父母) 又は 8(父及び養母)の時、 (No.61)入籍人配偶者の養母の氏名 ≠ スペースであること			
63	(No.24)入籍先漢字氏名 ≠ スペースかつ(No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.24)入籍先漢字氏名の氏 ＝ (No.32)新筆頭者の氏であること			
64	(No.13)入籍相手 ＝ 2(父)の時、 (No.42)入籍人nの父氏名 ≠ スペースであること			
65	(No.13)入籍相手 ＝ 3(母)の時、 (No.43)入籍人nの母氏名 ≠ スペースであること			
66	(No.13)入籍相手 ＝ 4(父母)の時、 (No.42)入籍人nの父氏名 ≠ スペース かつ (No.43)入籍人nの母氏名 ≠ スペースであること			
67	(No.13)入籍相手 ＝ 5(養父)の時、 (No.45)入籍人nの養父氏名 ≠ スペースであること			
68	(No.13)入籍相手 ＝ 6(養母)の時、 (No.46)入籍人nの養母氏名 ≠ スペースであること			
69	(No.13)入籍相手 ＝ 7(養父母)の時、 (No.45)入籍人nの養父氏名 ≠ スペース かつ (No.46)入籍人nの養母氏名 ≠ スペースであること			
70	(No.26)入籍先の世帯主 ≠ スペースの時、 (No.25)入籍先の住所 ≠ スペースであること			
71	(No.41)入籍人nの世帯主 ≠ スペースの時、 (No.40)入籍人nの住所 ≠ スペースであること			
72	(No.64)入籍人配偶者の世帯主 ≠ スペースの時、 (No.63)入籍人配偶者の住所 ≠ スペースであること			
73	(No.25)入籍先の住所 ＝ スペースの時、			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(入籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(入籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
73	(No.26)入籍先の世帯主 ＝ スペースであること			
74	(No.40)入籍人nの住所 ＝ スペースの時、 (No.41)入籍人nの世帯主 ＝ スペースであること			
75	(No.63)入籍人配偶者の住所 ＝ スペースの時、 (No.64)入籍人配偶者の世帯主 ＝ スペースであること			
76	(No.27)入籍先の父の氏名　又は　(No.28)入籍先の母の氏名 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(入籍届)

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)同時入籍者数分繰り返す		/		
(0-2)入籍人の本籍 ＝ 管内(YES,NO)		/		
YES	(0-3)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、その他)	/		
1,2	(0-4)入籍人nの身分事項に性同一性障害(7003)がある。(YES,NO)	/		
YES	(0-5)確認メッセージ (YES,NO) 「性同一性障害の記録があります。入力した戸籍に入籍できますか?」 を表示する			平成15年法律第111号3条
YES	(0-6) → (0-1)	/		
NO	(0-7)		(0-8)本紙へ	「N」の時、不受理
NO	(0-9) → (0-1)	/		
その他	(0-10) → (0-1)	/		
NO	(0-11) → (0-1)	/		
(0-12)入籍先の父の氏名 ＝ スペース 又は 入籍先の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES	(0-12-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			
YES	(0-14) → (0-23)	/		
NO	(0-15) →		(0-16)本紙へ	不受理
NO	(0-16-1) → (0-23)	/		
NO	(0-17)入籍先の父母続柄 ＝ 10(男) 又は 30(女)である(YES,NO)	/		
YES	(0-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」 を表示する			
YES	(0-19) → (0-23)	/		
NO	(0-20) →		(0-21)本紙へ	不受理
NO	(0-22) → (0-23)	/		
(0-23)同時入籍者数分繰り返す		/		
(0-24)入籍人nの父の氏名 ＝ スペース 又は 入籍人nの母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES	(0-25)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			
YES	(0-26) → (0-23)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(入籍届)

処理名	3.0 審査			備考
NO	(0-27) →		(0-28)本紙へ	不受理
NO	(0-29)入籍人nの父母続柄 ＝ 10(男) 又は 30(女) である(YES,NO)	/		
YES	(0-30)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する			
YES	(0-31) → (0-23)	/		
NO	(0-32) →		(0-33)本紙へ	不受理
NO	(0-34) → (0-23)	/		
(0-35)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/		
YES	(0-36)入籍人配偶者の配偶者父の氏名 ＝ スペース 又は 入籍人配偶者の母の氏名 ＝ スペース (YES,NO)	/		
YES	(0-37)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			
YES	(0-38) → (0-48)	/		
NO	(0-39) →		(0-40)本紙へ	不受理
NO	(0-41)入籍人配偶者の父母続柄コード ＝ 10(男) 又は 30(女) である(YES,NO)	/		
YES	(0-42)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する			
YES	(0-43) → (0-48)	/		
NO	(0-44) →		(0-45)本紙へ	不受理
NO	(0-46) → (0-48)	/		
NO	(0-47) → (0-48)	/		
(0-48)受領日 ＝ 送付日である		/		
YES	(0-49)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する			
YES	(0-50) → (0-54)へ	/		R2.1(入籍70)
NO	(0-51) →		(0-52)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-53) → (0-54)へ	/		R2.1(入籍70)
(0-54)同時入籍者数分繰り返す		/		R2.1(入籍70)
(0-55)入籍人nの漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)		/		R2.1(入籍70)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(入籍届)
処理名	3.0 審査

							備考
	YES	(0-56)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する				(0-57)本紙へ	R2.1(入籍70)
	YES	(0-58)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(0-60)本紙へ	不受理 R2.1(入籍70)
	NO	(0-59) →					画面項目修正(審査完了しない) R2.1(入籍70)
	NO	(0-61) → (1)へ			/		R2.1(入籍70)
(1)許可の審査確定日 ≠ スペース(YES,NO)					/		
YES	(2)入籍事由(1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍)				/		
	1	(2-1)入籍相手(4:父母、7:養父母、その他)			/		
	4,7	(2-2)確認メッセージ(YES,NO) 「許可の審判確定日に入力がありますがよろしいですか?」を表示する				(2-3)本紙へ	民791Ⅱ
		YES	(2-4)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]		/		
			(2-5) → (23)		/		
		NO	(2-6) →			(2-7)本紙へ	不受理
	その他	(3)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]			/		
	その他	(4) → (23)			/		
	その他	(5)エラーメッセージ 「入籍事由に誤りがあります。」を表示する				(6)本紙へ	不受理 昭和62.10.1 民二5000号通達第5の1(1)
NO	(7)入籍事由(1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍)				/		
	1	(8)入籍先の配偶者区分(1:夫、2:妻、その他)			/		民791Ⅱ
	1,2	(8-1)入籍相手(4:父母、7:養父母、その他)			/		
		4,7	(9)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]		/		
			(10) → (23)		/		
		その他	(10-1)確認メッセージ(YES,NO) 「許可の審判確定日に入力がありませんがよろしいですか?」を表示する			(10-2)本紙へ	
			YES	(10-3)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]	/		
				(10-4) → (23)	/		
			NO	(10-5) →		(10-6)本紙へ	不受理
	その他	(11)エラーメッセージ 「家庭裁判所の許可が必要な入籍です。」を表示する				(12)本紙へ	不受理
	2	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「民法上の氏は同じですか?」を表示する					

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名			審査(入籍届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		YES	(14)審査(同籍する入籍)処理 [3.2]		/				
			(15) → (23)		/				
		NO	(16)エラーメッセージ 「民法上の氏が異なるため、同籍する入籍はできません。」を表示する			(17)本紙へ		不受理	
	3	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「従前に称していた氏ですか?」を表示する						民791Ⅳ	
		YES	(19)審査(従前の氏を称する入籍)処理 [3.3]		/				
			(20) → (23)		/				
		NO	(21)エラーメッセージ 「従前の氏を称する入籍はできません。」を表示する			(22)本紙へ		不受理	
(23) →						(24)本紙へ			

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(入籍届)						
処理名	3.1　審査(氏を称する入籍)					備考	
(0)戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる)(YES,NO)							
YES	(0-1) → (5)						
NO	(1)入籍先の個人除区分(0:在籍者、その他)		/				
0	(2) → (5)		/				
その他	(3)エラーメッセージ 「入籍届けは受理出来ません。」を表示する			(4)3.0審査へ		昭23.7.1民甲1676回答 不受理	
(5)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)			/				
1	(6) → (15)		/				
2	(7)入籍先の本籍に入力がある(YES,NO)		/				
YES	(8) → (15)		/				
NO	(9)エラーメッセージ 「入籍先の本籍に入力がありません。」を表示する			(10)3.0審査へ		不受理	
3	(11)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)		/				
YES	(12) → (15)		/				
NO	(13)エラーメッセージ 「新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。」を表示する			(14)3.0審査へ		不受理	
(15)同時入籍者数分繰り返す							
(15-1)入籍人nの養父母続柄 ＝ スペース(YES,NO)			/				
YES	(15-2) → (15-5)		/				
NO	(15-3)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組継続中ですが、よろしいですか」を表示する			(15-4)3.0審査へ		S26.9.4 民事甲第1787号通達 「N」の時、不受理	
(15-5)審査(入籍先・入籍人相手)処理		[4.6]	/				
(16)審査(届出人資格)処理		[4.1]	/				
(17)審査(入籍人更正区分)処理		[4.2]	/				
(17-1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、 3:新しい戸籍をつくる)			/				
2	(17-2)審査(父又は母の新戸籍)処理	[4.5]	/				
その他	(17-3) → (15)		/				
(18)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)			/				
YES	(19)審査(入籍人配偶者更正区分)処理	[4.3]	/				
NO	(20) → (21)		/				

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(入籍届)						
処理名	3.1　審査(氏を称する入籍)					備考	
(21) →				(22)3.0審査へ			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(入籍届)							
処理名	3.2　審査(同籍する入籍)						備考	
(1)入籍先の個人除区分(0:在籍者、その他)				/				
0	(2) → (5)			/				
その他	(3)エラーメッセージ 「入籍届は受理出来ません。」を表示する				(4)3.0審査へ		昭23.7.1民甲1676回答 不受理	
(5)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)				/				
1	(6) → (12)			/				
2	(7)入籍先の本籍に入力がある(YES,NO)			/				
	YES	(8) → (12)		/				
	NO	(9)エラーメッセージ 「入籍先の本籍に入力がありません。」を表示する			(9-1)3.0審査へ		不受理	
3	(10)エラーメッセージ 「戸籍変動区分が正しくありません。再入力して下さい。」を表示する				(11)3.0審査へ		不受理	
(12)同時入籍者数分繰り返す				/				
	(12-1)審査(入籍先・入籍人相手)処理 [4.6]			/				
	(13)審査(届出人資格)処理 [4.1]			/				
	(14)審査(入籍人更正区分)処理 [4.2]			/				
	(15)審査(父母関連)処理 [4.4]			/				
	(15-1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、 3:新しい戸籍をつくる)			/				
	2	(15-2)審査(父又は母の新戸籍)処理 [4.5]		/				
	その他	(15-3) → (12)		/				
(16) →					(17)3.0審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(入籍届)
処理名	3.3　審査(従前の氏を称する入籍)

						備考
(1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)					/	
1	(2) → (9)へ				/	
2	(3)エラーメッセージ 「戸籍変動区分が正しくありません。再入力して下さい。」を表示する					(4)3.0審査へ　不受理
3	(5)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)				/	
	YES	(6) → (9)へ			/	戸19、戸20
	NO	(7)エラーメッセージ 「新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。」を表示する				(8)3.0審査へ　不受理
(9)同時入籍者数分繰り返す					/	
	(10)受領日≧2022年4月1日(YES,NO)				/	民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける　R2.1(入籍69)
	YES	(10-1)入籍人nの生年月日+18年(18歳以上)≦受領日である(YES,NO)			/	民法改正(2022年4月1日)後の審査　R2.1(入籍69)
		YES	(11)入籍人nの生年月日+19年(19歳未満)＞受領日である(YES,NO)		/	民791条4項　R2.1(入籍69)
			YES	(12)従前の氏を改めた日の入力がある(YES,NO)	/	R2.1(入籍69)
				YES　(13)入籍人nの生年月日+17年(17歳以上)≦従前の氏を改めた日　かつ 2022年3月31日≧従前の氏を改めた日である　(YES,NO)	/	民791条4項　R4(入籍75)
				YES　(14) → (20)へ		R2.1(入籍69)
				NO　(14-1)入籍人nの生年月日+18年(18歳未満)＞従前の氏を改めた日である(YES,NO)	/	R4(入籍75)
				YES　(14-2) → (20)へ		R4(入籍75)
				NO　(15)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日を再度入力して下さい。」を表示する		(16)3.0審査へ　不受理　R2.1(入籍69)
				NO　(17)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日の入力をして下さい。」を表示する		不受理　R2.1(入籍69)
			NO	(17-1)受領日≦2023年3月31日　かつ 入籍人nの生年月日+21年(21歳未満)＞受領日である(YES,NO)	/	R4(入籍75)
				YES　(17-2)従前の氏を改めた日の入力がある(YES,NO)	/	R4(入籍75)
				YES　(17-3)入籍人nの生年月日+20年(20歳未満)＞従前の氏を改めた日 かつ　2022年3月31日≧従前の氏を改めた日である　(YES,NO)	/	R4(入籍75)
				YES　(17-4) → (20)へ	/	R4(入籍75)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(入籍届)
処理名	3.3　審査(従前の氏を称する入籍)

											備考
						NO	(17-5)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日を再度入力して下さい。」を表示する		(17-6)3.0審査へ	不受理	R4(入籍75)
					NO		(17-7)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日の入力をして下さい。」を表示する			不受理	R4(入籍75)
				NO			(18)エラーメッセージ 「成年に達してから1年を経過しています。」を表示する			不受理	R2.1(入籍69)
		NO					(19)エラーメッセージ 「入籍人は未成年です(成年擬制の時は審査結果入力処理です)。」を表示する				R2.1(入籍69)
	NO						(19-1)入籍人nの生年月日+20年(20歳以上)≦受領日である(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)前の審査	R2.1(入籍69)
	YES						(19-2)入籍人nの生年月日+21年(21歳未満)＞受領日である(YES,NO)	/		民791条4項	R2.1(入籍69)
		YES					(19-3)従前の氏を改めた日の入力がある(YES,NO)	/			R2.1(入籍69)
			YES				(19-4)入籍人nの生年月日+20年(20歳未満)＞従前の氏を改めた日である (YES,NO)	/		民791条4項	R2.1(入籍69)
				YES			(19-5) → (20)へ	/			R2.1(入籍69)
				NO			(19-6)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日を再度入力して下さい。」を表示する		(19-7)3.0審査へ	不受理	R2.1(入籍69)
			NO				(19-8)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日の入力をして下さい。」を表示する			不受理	R2.1(入籍69)
		NO					(19-9)エラーメッセージ 「成年に達してから1年を経過しています。」を表示する			不受理	R2.1(入籍69)
	NO						(19-10)エラーメッセージ 「入籍人は未成年です(成年擬制の時は審査結果入力処理です)。」を表示する				R2.1(入籍69)
	(20)審査(届出人資格)処理 [4.1]							/			
	(21)審査(入籍人更正区分)処理 [4.2]							/			
(22)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)								/			
YES	(23)審査(入籍人配偶者更正区分)処理 [4.3]							/			
NO	(24) → (25)へ							/			
(25) →									(26)3.0審査へ		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.1 審査(届出人資格)処理							備考	
(1)入籍人nの生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日(YES,NO)					/				
YES	(2)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/			民791Ⅲ	
	000	(3)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/			民791Ⅲ	
		016,017,019,020	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(5)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
		110	(6)入籍人の本非区分(1:本籍分届、2:非本籍分届)		/				
			1	(7)入籍人nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/			
				YES	(8) → (76)		/		
				NO	(9)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見人事項がありません。 未成年後見人は届出人になれません。」を表示する		(10)3.0審査へ	不受理	
			2	(10) → (76)		/			
		その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(13)3.0審査へ		不受理	
	016,019	(14)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
		000	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(18)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
		017,020	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
		その他	(17)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	017,020	(19)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
		000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(23)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
		016,019	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
		その他	(22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	110	(24)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
		000	(25)入籍人の本非区分(1:本籍、2:非本籍)		/				
			1	(26)入籍人nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/			
				YES	(27) → (76)		/		
				NO	(28)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見人事項がありません。 未成年後見人は届出人になれません。」を表示する		(29)3.0審査へ	不受理	
			2	(30) → (76)		/			
		その他	(31)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(33)3.0審査へ		不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.1　審査(届出人資格)処理

							備考
	その他	(32)エラーメッセージ　「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理
NO	(34)入籍人nの配偶者区分(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)				/		戸98Ⅱ、戸99Ⅱ
	0	(35)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、その他)			/		
		000	(36)届出人資格2(098:事件本人、その他)		/		
			098	(37) → (76)	/		
			その他	(38)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(39)3.0審査へ	不受理
		098	(40)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		
			000	(41) → (76)	/		
			その他	(42)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(44)3.0審査へ	不受理
		その他	(43)エラーメッセージ　「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理
	1,2	(45)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、009:配偶者、その他)			/		
		000	(46)届出人資格2(098:事件本人、その他)		/		
			098	(47)許可の審判確定日 ＝ スペース　かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)			
				YES	(48)エラーメッセージ 「配偶者とともに届出が必要です。」を表示する		(49)3.0審査へ	不受理
				NO	(50)許可の審判確定日 ＝ スペース　かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)	/		
					YES	(50-1)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人欄に外国人配偶者の署名がありますか?」 を表示する	/		
						YES	(50-2)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する	/	(50-3)3.0審査へ	不受理
						NO	(50-4) → (76)	/		
					NO	(50-5) → (76)	/		
			その他	(51)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(52)3.0審査へ	不受理
		098	(53)届出人資格2(000:未入力、009:配偶者、その他)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.1 審査(届出人資格)処理

								備考
			000	(54)許可の審判確定日 ＝ スペース かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)		/		
			YES	(55)エラーメッセージ 「配偶者とともに届出が必要です。」を表示する			(56)3.0審査へ	不受理
			NO	(57)許可の審判確定日 ＝ スペース かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)		/		
				YES	(57-1)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人欄に外国人配偶者の署名がありますか?」 を表示する	/		
					YES	(57-2)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(57-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(57-4) → (76)	/		
				NO	(57-4) → (76)		/		
			009	(58) → (76)		/		
			その他	(59)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する			(60)3.0審査へ	不受理
		009	(61)届出人資格2(098:事件本人、その他)			/		
			098	(62) → (76)		/		
			その他	(63)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する			(65)3.0審査へ	不受理
		その他	(64)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する					不受理
	3	(66)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、その他)				/		
		000	(67)届出人資格2(098:事件本人、その他)			/		
			098	(68)→(76)		/		
			その他	(64)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する			(70)3.0審査へ	不受理
		098	(71)届出人資格2(000:未入力、その他)			/		
			000	(72) → (76)		/		
			その他	(73)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する			(75)3.0審査へ	不受理
		その他	(74)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する					不受理
(76) →							(77)3.1 又は 3.2 又は	

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(入籍届)						
処理名	4.1　審査(届出人資格)処理					備考	
				3.2　次は 3.3審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理

								備考
(1)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍) である(YES,NO)							/	
YES	(2)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍) である(YES,NO)						/	
	YES	(3)入籍人nの更正区分					/	
		2,4,8	(3-1)入籍先の配偶者区分				/	
			1,2	(4)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名 (YES,NO)			/	
				YES	(5) → (7-2)		/	(6)(削除)	(6)を削除(14版修正により)
				NO	(7)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		/	(7-1)削除	(7-1)を削除(16版修正により)
					YES	(8-1)エラーメッセージ 「父の名が違います。入籍届を処理する前に父欄の更正を 行ってください。」を表示する		(8-2)本紙へ	(8)(7-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
					NO	(9)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(10)3.0審査へ	不受理
				(7-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏 ＝ 入籍人nの父の氏名の氏 (YES,NO)			/		
				YES	(7-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。			(7-4)3.0審査へ	不受理
				NO	(7-5) → (12)		/		
			0	(10-1)入籍相手 ＝ 2(父)(YES,NO)			/		
				YES	(10-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(10-3-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を 行ってください。」を表示する		(10-3-2)本紙へ	(10-3)(10-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
					NO	(10-4)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する	/	(10-5)削除	(10-5)を削除(16版修正により)
						YES	(10-4-1) → (10-5-1)	/		
						NO	(10-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(10-4-3)3.0審査へ	不受理
					(10-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父の氏名の氏(YES,NO)			/		
					YES	(10-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(10-5-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(10-5-4) → (12)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理

									備考
				NO		(10-6)確認メッセージ(YES,NO) 「父の情報が特定できないため、移記処理で父欄の更正を行って下さい。」を表示する		(10-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない
			3			(10-7)入籍先の父母続柄が男性系(10～29、51)(YES,NO)	/		
				YES		(10-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)	/		
					YES	(10-9) → (10-11-1)	/		
					NO	(10-10)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する	/	(10-11)削除	(10-11)を削除(16版修正により)
						YES (10-10-1-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する		(10-10-1-2)本紙へ	(10-10-1)(10-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO (10-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(10-10-3)3.0審査へ	不受理
						(10-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父の氏名の氏(YES,NO)	/		
						YES (10-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(10-11-3)3.0審査へ	不受理
						NO (10-11-4) → (12)	/		
				NO		(10-12)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)	/		
						YES (10-13) → (10-15-1)	/		
						NO (10-14)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する	/	(10-15)削除	(10-15)を削除(16版修正により)
						YES (10-14-1-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する		(10-14-1-2)本紙へ	(10-14-1)(10-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO (10-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(10-14-3)3.0審査へ	不受理
						(10-15-1)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父の氏名の氏(YES,NO)	/		
						YES (10-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。		(10-15-3)3.0審査へ	不受理
						NO (10-15-4) → (12)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.2　審査(入籍人更正区分)処理

							備考
		その他	(11) → (12)		/		
			(12)入籍人nの更正区分		/		
		3,4,9	(12-1)入籍先の配偶者区分		/		
			1,2	(13)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)	/		
				YES	(14) → (16-2)	/	(15)(削除)	(15)を削除(14版修正により)
				NO	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する	/	(16-1)削除	(16-1)を削除(16版修正により)
					YES	(17-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する		(17-2)本紙へ	(17)(16-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
					NO	(18)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
				(16-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏 ＝ 入籍人nの母の氏名の氏(YES,NO)	/		
				YES	(16-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(16-4)3.0審査へ	不受理
				NO	(16-5) → (21)	/		
			0	(19-1)入籍相手 ＝ 3(母)(YES,NO)	/		
				YES	(19-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)	/		
					YES	(19-3) → (19-5-1)	/		
					NO	(19-4)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する	/	(19-5)削除	(19-5)を削除(16版修正により)
						YES	(19-4-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する		(19-4-1-2)本紙へ	(19-4-1)→(19-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(19-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(19-4-3)3.0審査へ	不受理
					(19-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母の氏名の氏(YES,NO)	/		
					YES	(19-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(19-5-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(19-5-4)→(21)	/		
				NO	(19-6)確認メッセージ(YES,NO) 「母の情報が特定できないため、移記処理で母欄の更正を	/		応答内容は、処分区分には影響させない

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理							備考	
					「母の情報が特定できないため、移記処理で母欄の更正を行って下さい。」を表示する				

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名				審査(入籍届)					
処理名				4.2 審査(入籍人更正区分)処理				備考	
			3	(19-7)入籍先の父母続柄が女性系(30～49、52)(YES,NO)		/			
				YES	(19-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)	/			
					YES (19-9) → (19-11-1)	/			
					NO (19-10)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する	/	(19-11)削除	(19-11)を削除(16版修正により)	
						YES (19-10-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する		(19-10-1-2)本紙へ	(19-10-1)(19-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO (19-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(19-10-3)3.0審査へ	不受理
					(19-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母の氏名の氏(YES,NO)	/			
					YES (19-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(19-11-3)3.0審査へ	不受理	
					NO (19-11-4) → (21)	/			
				NO	(19-12)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)	/			
					YES (19-13) → (19-15-1)	/			
					NO (19-14)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する	/	(19-15)削除	(19-15)を削除(16版修正により)	
						YES (19-14-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する		(19-14-1-2)本紙へ	(19-14-1)(19-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO (19-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(19-14-3)3.0審査へ	不受理
					(19-15-1)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母の氏名の氏(YES,NO)	/			
					YES (19-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(19-15-3)3.0審査へ	不受理	
					NO (19-15-4) → (21)	/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.2　審査(入籍人更正区分)処理

							備考
		その他		(20) → (21)	/		
				(21)入籍人nの更正区分	/		
		5,7,9		(21-1)入籍先の配偶者区分	/		
			1,2	(22)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)	/		
				YES (23)→(25-2)	/	(24)削除	(24)を削除(14版修正により)
				NO (25)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する	/	(25-1)削除	(25-1)を削除(16版修正により)
				YES (27-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する		(27-2)本紙へ	(27)(25-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
				NO (28)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(29)3.0審査へ	
				(25-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏名の氏(YES,NO)	/		
				YES (25-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(25-4)3.0審査へ	不受理
				NO (25-5) → (31)	/		
			0	(29-1)入籍相手 ＝ 5(養父)(YES,NO)	/		
				YES (29-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)	/		
				YES (29-3) → (29-5-1)	/		
				NO (29-4)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する		(29-5)3.0審査へ	Nの時、不受理
				YES (29-4-1-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する		(29-4-1-2)本紙へ	(29-4-1)(29-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
				NO (29-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(29-4-3)3.0審査へ	不受理
				(29-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏名の氏(YES,NO)	/		
				YES (29-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(29-5-3)3.0審査へ	不受理
				NO (29-5-4) → (31)	/		
				NO (29-6)確認メッセージ 「養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を		(29-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理							備考	
				「養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を行って下さい。」を表示する		/			
	3			(29-7)入籍先の父母続柄が男性系(10～29、51)(YES,NO)		/			
		YES		(29-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)		/			
			YES	(29-9) → (29-11-1)		/			
			NO	(29-10)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する		/	(29-11)削除	(29-11)を削除(16版修正により)	
				YES	(29-10-1-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する		(29-10-1-2)本紙へ	(29-10-1)(29-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
				NO	(29-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(29-10-3)3.0審査へ	不受理	
			(29-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏名の氏(YES,NO)			/			
			YES	(29-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する			(29-11-3)3.0審査へ	不受理	
			NO	(29-11-4) → (31)		/			
		NO		(29-12)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)		/			
			YES	(29-13) → (29-15-1)		/			
			NO	(29-14)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する		/	(29-15)削除	(29-15)を削除(16版修正により)	
				YES	(29-14-1-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する		(29-14-1-2)本紙へ	(29-14-1)(29-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
				NO	(29-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(29-14-3)3.0審査へ	不受理	
			(29-15-1)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏名の氏(YSE,NO)			/			
			YES	(29-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する			(29-15-3)3.0審査へ	不受理	
			NO	(29-15-4) → (31)		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.2　審査(入籍人更正区分)処理

							備考
その他	(30) → (31)			/			
	(31)入籍人nの更正区分			/			
6,7,8	(31-1)入籍先の配偶者区分			/			
6,7,8	1,2	(32)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)		/			
6,7,8	1,2	YES	(33) → (35-2)	/	(34)削除	(34)を削除(14版修正により)	
6,7,8	1,2	NO	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する	/	(35-1)削除		
6,7,8	1,2	NO	YES	(36-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する		(36-2)本紙へ	(36)(35-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
6,7,8	1,2	NO	NO	(37)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(38)3.0審査へ	不受理
6,7,8	1,2	(35-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏名の氏(YES,NO)			/		
6,7,8	1,2	YES	(35-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(35-4)3.0審査へ	不受理	
6,7,8	1,2	NO	(35-5) → (42)	/			
6,7,8	0	(38-1)入籍相手 ＝ 6(養母)(YES,NO)		/			
6,7,8	0	YES	(38-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)	/			
6,7,8	0	YES	YES	(38-3) → (38-5-1)	/		
6,7,8	0	YES	NO	(38-4)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する	/	(38-5)削除	(38-5)を削除(16版修正により)
6,7,8	0	YES	NO	YES	(38-4-1-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する		(38-4-1-2)本紙へ	(38-4-1)(38-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
6,7,8	0	YES	NO	NO	(38-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する		(38-4-3)3.0審査へ	不受理
6,7,8	0	YES	(38-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏名の氏(YES,NO)		/		
6,7,8	0	YES	YES	(38-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(38-5-3)3.0審査へ	不受理
6,7,8	0	YES	NO	(38-5-4) → (42)	/		
6,7,8	0	NO	(38-6)確認メッセージ 「養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を		(38-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)							
処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理						備考	
	「養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を行って下さい。」を表示する				/			
3	(38-7)入籍先の父母続柄が女性系(30～49、52)(YES,NO)				/			
YES	(38-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)				/			
	YES	(38-9) → (38-11-1)			/			
	NO	(38-10)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する			/	(38-11)削除	(38-11)を削除(16版修正により)	
		YES	(38-10-1-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する			(38-10-1-1)本紙へ	(38-10-1)(38-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
		NO	(38-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(38-10-3)3.0審査へ	不受理	
	(38-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏名の氏(YES,NO)				/			
	YES	(38-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(38-11-3)3.0審査へ	不受理	
	NO	(38-11-4) → (42)			/			
NO	(38-12)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)				/			
	YES	(38-13) → (38-15-1)			/			
	NO	(38-14)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する			/	(38-15)削除	(38-15)を削除(16版修正により)	
		YES	(38-14-1-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する			(38-14-1-2)本紙へ	(38-14-1)(38-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。	
		NO	(38-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する			(38-14-3)→3.0審査へ	不受理	
	(38-15-1)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏名の氏(YES,NO)				/			
	YES	(38-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する				(38-15-3)3.0審査へ	不受理	
	NO	(38-15-4) → (42)			/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.2　審査(入籍人更正区分)処理							備考	
		その他	(39) → (42)		/				
	NO		(40) → (42)		/				
NO	(41) → (42)				/				
(42) →						(43)3.1　又は 3.2　又は 3.3審査へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.3　審査(入籍人配偶者更正区分)処理

									備考
(1)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)(YES,NO)							/		
YES	(2)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)						/		
	YES	(3)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)かつ入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)					/		
		YES	(4)入籍人配偶者の更正区分				/		
			2,4,8	(5)入籍先の配偶者区分			/		
				1,2	(6)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名(YES,NO)		/		
					YES	(7)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(8)3.0審査へ	不受理
					NO	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する	/		
						YES (10) → (15)	/		
						NO (11)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する		(12)3.0審査へ	不受理
				0	(13)入籍相手 ＝ 2(父)(YES,NO)		/		
					YES	(13-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名の名(YES,NO)	/		
						YES (13-2) → (15)	/		
						NO (13-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		(13-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(13-5)確認メッセージ 「父の情報が特定できないため、移記処理で父欄の更正を行って下さい。」を表示する			応答内容は、処分区分には影響させない
				3	(13-6)入籍先の父母続柄が男性系(10～29、51)(YES,NO)		/		
					YES	(13-7)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名の名(YES,NO)	/		
						YES (13-8) → (15)	/		
						NO (13-19)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		(13-10)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(13-11)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名の名(YES,NO)	/		
						YES (13-12) → (15)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.3　審査(入籍人配偶者更正区分)処理

								備考
				NO	(13-13)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」 を表示する		(13-14)3.0審査へ	Nの時、不受理
		その他	(14) → (15)			/		
			(15)入籍人配偶者の更正区分			/		
		3,4,9	(16)入籍先の配偶者区分			/		
			1,2	(17)入籍先戸籍の内、 配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名(YES,NO)		/		
				YES	(18)エラーメッセージ　「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(19)3.0審査へ	不受理
				NO	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する			
					YES	(21) → (26)	/	
					NO	(22)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する		(23)3.0審査へ	不受理
			0	(24)入籍相手 ＝ 3(母)(YES,NO)			/		
				YES	(24-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名の名 (YES,NO)		/		
					YES	(24-2) → (26)	/	
					NO	(24-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」 を表示する		(24-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
				NO	(24-5)確認メッセージ 「母の情報が特定できないため、移記処理で母欄の更正を 行って下さい。」を表示する			応答内容は、処分区分には影響させない
			3	(24-5-1)入籍先の父母続柄が女性系(30～49、52)(YES,NO)			/		
				YES	(24-6)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名の名 (YES,NO)		/		
					YES	(24-7) → (26)	/	
					NO	(24-8)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」 を表示する		(24-9)3.0審査へ	Nの時、不受理
				NO	(24-10)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名の名 (YES,NO)		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.3　審査(入籍人配偶者更正区分)処理

										備考
						YES	(24-11) → (26)	/		
						NO	(24-12)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する		(24-13)3.0審査へ	Nの時、不受理
			その他	(25) → (26)				/		
			(26)入籍人配偶者の更正区分					/		
			5,7,9	(27)入籍先の配偶者区分				/		
				1,2	(28)入籍先戸籍の内、 配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の養父の氏名(YES,NO)			/		
					YES	(29)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する			(30)3.0審査へ	不受理
					NO	(31)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する			(31-1)3.0審査へ	
						YES	(32) → (37)	/		
						NO	(33)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する		(34)3.0審査へ	不受理
				0	(35)入籍相手 ＝ 5(養父)(YES,NO)			/		
					YES	(35-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養父の氏名の名 (YES,NO)		/		
						YES	(35-2) → (37)	/		
						NO	(35-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」 を表示する		(35-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(35-5)確認メッセージ 「養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を 行って下さい。」を表示する				応答内容は、処分区分には影響させない
				3	(35-6)入籍先の父母続柄が男性系(10～29、51)(YES,NO)			/		
					YES	(35-7)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養父の氏名の名 (YES,NO)		/		
						YES	(35-8) → (37)	/		
						NO	(35-9)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」 を表示する		(35-10)3.0審査へ	Nの時、不受理

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名				審査(入籍届)					
処理名				4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理				備考	
				NO	(35-10)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母の氏名の名 (YES,NO)	/			
				YES	(35-11) → (37)	/			
				NO	(35-12)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する		(35-13)3.0審査へ	Nの時、不受理	
			その他	(36) → (37)		/			
			(37)入籍人配偶者の更正区分			/			
			6,7,8	(38)入籍先の配偶者区分		/			
				1,2	(39)入籍先戸籍の内、 配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の養母の氏名(YES,NO)	/			
				YES	(40)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する		(41)3.0審査へ	不受理	
				NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する		(43)3.0審査へ		
				YES	(44) → (48)	/			
				NO	(45)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する		(46)3.0審査へ	不受理	
				0	(47)入籍相手 ＝ 6(養母)(YES,NO)	/			
				YES	(47-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養母の氏名の名 (YES,NO)	/			
				YES	(47-2) → (48)	/			
				NO	(47-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」 を表示する		(47-4)3.0審査へ	Nの時、不受理	
				NO	(47-5)確認メッセージ 「養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を 行って下さい。」を表示する			応答内容は、処分区分には影響させない	
				3	(47-5-1)入籍先の父母続柄が女性系(30～49、52)(YES,NO)				
				YES	(47-5-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養母の氏名の名 (YES,NO)	/			
				YES	(47-5-3) → (48)	/			

要件定義ワークシート								作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名				審査(入籍届)									
処理名				4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理								備考	
						NO	(47-5-4)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」 を表示する		(47-5-5)3.0審査へ	Nの時、不受理	
					NO		(47-5-6)入籍先戸籍の内、 死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父の氏名の名 (YES,NO)	/			
						YES	(47-5-7) → (48)	/			
						NO	(47-5-8)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する		(47-5-9)3.0審査へ	Nの時、不受理	
			その他	(48) →					(49)3.1 又は 3.2 又は 3.3審査へ				
		NO											
	NO												
NO													

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(入籍届)							
処理名	4.4　審査(父母関連)						備考	
(1)入籍相手(2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母)				/				
2	(2)入籍人nの父の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(3) → (26)		/				
	NO	(4)確認メッセージ 「入籍人の父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(5)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
3	(6)入籍入nの母の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(7) → (26)		/				
	NO	(8)確認メッセージ 「入籍人の母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示			(9)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
4	(10)入籍人nの父の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名　又は 入籍人nの母の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(11) → (26)		/				
	NO	(12)確認メッセージ 「入籍人の父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(18)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
5	(14)入籍人nの養父の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(15) → (26)		/				
	NO	(16)確認メッセージ 「入籍人の養父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(17)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
6	(18)入籍人nの養母の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(19) →(26)		/				
	NO	(20)確認メッセージ 「入籍人の養母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(21)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
7	(22)入籍人nの養父の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名　又は 入籍人nの養母の氏名の名 ＝ 入籍先の漢字氏名の名である(YES,NO)			/				
	YES	(23) → (26)		/				
	NO	(24)確認メッセージ 「入籍人の養父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(25)3.2審査へ		「N」の時、不受理	
(26) →								

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(入籍届)								
処理名	4.5 審査(父又は母の新戸籍)							備考	
(1)新本籍 ≠ スペース(YES,NO)					/				
YES	(2)入籍先の本籍 ≠ 新本籍(YES,NO)				/				
	YES	(3)入籍人nの生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日(YES,NO)			/				
		YES	(4)入籍相手(2:父、3:母、5:養父、6:養母)		/				
			2	(5)届出人1又は2(016:親権者父、110:未成年後見人、その他)	/			戸30条3項	
				016	(6) → (38)	/			
				110	(7)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示する		(8)3.0審査へ		
					YES (9) → (38)	/			
					NO (10)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する		(11)3.0審査へ	「N」の時、不受理	
				その他	(12)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する			「N」の時、不受理	
			3	(13)届出人1又は2(017:親権者母、110:未成年後見人、その他)	/			戸30条3項	
				017	(14) → (38)	/			
				110	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示する		(16)3.0審査へ		
					YES (17) → (38)	/			
					NO (18)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する		(19)3.0審査へ	「N」の時、不受理	
				その他	(20)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する			「N」の時、不受理	
			5	(21)届出人1又は2(019:親権者養父、110:未成年後見人、その他)	/			戸30条3項	
				019	(22) → (38)	/			
				110	(23)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示する		(24)3.0審査へ		
					YES (25) → (38)	/			
					NO (26)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する		(27)3.0審査へ	「N」の時、不受理	

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名				審査(入籍届)							
処理名				4.5 審査(父又は母の新戸籍)						備考	
				その他	(28)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する					「N」の時、不受理	
			6	(29)届出人1又は2(020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)		/				戸30条3項	
				020	(30) → (38)	/					
				110	(31)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示する		(32)3.0審査へ				
				YES	(33) → (38)	/					
				NO	(34)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する		(35)3.0審査へ			「N」の時、不受理	
				その他	(36)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」 を表示する					「N」の時、不受理	
		NO	(37)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示する							「N」の時、不受理	
	NO	(38) →					(39)3.1審査 又は 3.2審査へ				
NO											

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.6　審査(入籍先･入籍相手区分)

									備考
(1)入籍先の本非区分(1:本籍、2:非本籍)							/		
1	(2)入籍相手(4:父母、7:養父母、その他)						/		
	4	(3)入籍先の配偶者区分(1:夫、2:妻、その他)					/		
		1	(4)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)				/		
			YES	(5)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか(YES,NO)			/		
				YES	(6)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名		/		
					YES	(7) → (95)	/		
					NO	(8)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」 を表示する		(9)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				NO	(10)確認メッセージ 「入籍先に母が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する				「N」の時、不受理
			NO	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する					
				YES	(12)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか(YES,NO)		/		
					YES	(13)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)	/		
						YES (14) → (95)	/		
						NO (15)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」 を表示する		(16)3.0審査へ	「N」の時、不受理
					NO	(17)確認メッセージ 「入籍先に母が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する			「N」の時、不受理
				NO	(18) →				不受理
		2	(19)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)				/		
			YES	(20)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか(YES,NO)			/		
				YES	(21)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(22) → (95)	/		
					NO	(23)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」 を表示する		(24)3.0審査へ	「N」の時、不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.6　審査(入籍先･入籍相手区分)

								備考
			NO	(25)確認メッセージ 「入籍先に父が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する				「N」の時、不受理
		NO		(26)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する				
			YES	(27)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか(YES,NO)		/		
				YES	(28)入籍先戸籍中のに配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(29) → (95)		/		
					NO	(30)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する		(31)3.0審査へ		「N」の時、不受理
				NO		(32)確認メッセージ 「入籍先に父が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する				「N」の時、不受理
			NO			(33) →				不受理
		その他		(34)エラーメッセージ 「入籍相手に誤リがあります」を表示する						
	7			(35)入籍先の配偶者区分(1:夫、2:妻、その他)			/			
		1		(36)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)			/			
			YES	(37)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか(YES,NO)			/			
				YES	(38)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)			/			
					YES	(39) → (95)			/			
					NO	(40)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(41)3.0審査へ		「N」の時、不受理
				NO		(42)確認メッセージ 「入籍先に養母が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する					「N」の時、不受理
			NO			(43)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する					
				YES		(44)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか(YES,NO)			/			
					YES	(45)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)			/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(入籍届)
処理名	4.6 審査(入籍先･入籍相手区分)

											備考
					YES	(46) → (95)		/			
					NO	(47)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますが よろしいですか?」を表示する			(48)3.0審査へ		「N」の時、不受理
				NO		(49)確認メッセージ 「入籍先に養母が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する					「N」の時、不受理
			NO			(50) →					不受理
		2				(51)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)		/			
			YES			(52)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか(YES,NO)		/			
				YES		(53)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)		/			
					YES	(54) → (95)		/			
					NO	(55)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」 を表示する			(56)3.0審査へ		「N」の時、不受理
				NO		(57)確認メッセージ 「入籍先に養父が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する					「N」の時、不受理
			NO			(58)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(59)3.0審査へ		
				YES		(60)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか(YES,NO)		/			
					YES	(61)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)		/			
						YES	(62) → (95)		/		
						NO	(63)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますが よろしいですか?」を表示する			(64)3.0審査へ	「N」の時、不受理
					NO		(65)確認メッセージ 「入籍先に養父が在籍していませんがよろしいですか?」を表示する				「N」の時、不受理
				NO			(66) →				
			その他			(67)エラーメッセージ 「入籍相手に誤りがあります」を表示する					
		その他				(68) → (70)		/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(入籍届)							
処理名	4.6 審査(入籍先･入籍相手区分)						備考	
2	(69) → (70)				/			
(70)入籍相手(2:父、3:母、5:養父、6:養母、その他)					/			
2	(71)入籍先の父母続柄 ＝ 10～29(男～十九男)(YES,NO)							
	YES	(72)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父の氏名の名(YES,NO)			/			
		YES	(73) → (95)		/			
		NO	(74)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(75)3.0審査へ	「N」の時、不受理	
	NO	(75-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース(YES,NO)			/			
		YES	(76)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」を表示する			(76-1)3.0審査へ	不受理	
		NO	(76-2) → (95)		/			
3	(77)入籍先の父母続柄 ＝ 30～49(女～十九女)(YES,NO)				/			
	YES	(78)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母の氏名の名(YES,NO)			/			
		YES	(79) → (95)		/			
		NO	(80)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(81)3.0審査へ	「N」の時、不受理	
	NO	(81-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース(YES,NO)			/			
		YES	(82)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」を表示する			(82-1)3.0審査へ	不受理	
		NO	(82-2)→(95)		/			
5	(83)入籍先の父母続柄 ＝ 10～29(男～十九男)(YES,NO)				/			
	YES	(84)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父の氏名の名(YES,NO)			/			
		YES	(85) → (95)		/			
		NO	(86)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」を表示する			(87)3.0審査へ	「N」の時、不受理	
	NO	(87-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース(YES,NO)			/			
		YES	(88)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」を表示する			(88-1)3.0審査へ	不受理	
		NO	(88-2) → (95)		/			
6	(89)入籍先の父母続柄 ＝ 30～49(女～十九女)(YES,NO)				/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(入籍届)							
処理名	4.6 審査(入籍先･入籍相手区分)						備考	
YES	(90)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母の氏名の名(YES,NO)			/				
	YES	(91) → (95)		/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名			審査(入籍届)						
処理名			4.6　審査(入籍先･入籍相手区分)					備考	
		NO	(92)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」を表示する		(93)3.0審査へ			「N」の時、不受理	
	NO		(93-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース		/				
		YES	(94)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」を表示する		(94-1)3.0審査へ			不受理	
		NO	(94-2) → (95)		/				
その他	(95) →				(96)3.1　又は 3.2審査へ				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(入籍届)							
処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		入籍届入力画面	受領NO				
	選択事件コード							「21」をセット
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	存外送付区分			存外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							「0:無」をセット
	届出区分							「1:創設」をセット
	渉外区分							「0:日本人」をセット
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1							入籍先が本籍人の時、入籍先の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号2							入籍人が本籍人の時、入籍人の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(入籍届)							
処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする。*
	決裁区分							ZERO
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル (届書) 事件本人	入籍者種別		入籍届入力画面	入籍者種別				
	同時入籍者数			同時入籍者数				
	入籍事由			入籍事由				
	入籍相手			入籍相手				
	従前の氏を改めた日			従前の氏を改めた日				
	許可の審判確定日			許可の審判確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	入籍先の本非区分			入籍先の本非区分				
	入籍先の個人除区分			入籍先の個人除区分				
	入籍先の筆頭者区分			入籍先の筆頭者区分				
	入籍先の配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	入籍先の本籍コード			入籍先の本籍				
	入籍先の本籍							
	入籍先の筆頭者			入籍先の筆頭者				
	入籍先の個人番号							本籍人の場合設定
	入籍先のカナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	入籍先の漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	入籍先の住所コード			入籍先の住所				
	入籍先の住所							
	入籍先の世帯主			入籍先の世帯主				
	入籍先の父の氏名			入籍先の父の氏名				
	入籍先の母の氏名			入籍先の母の氏名				
	入籍先の父母との続柄			入籍先の父母続柄				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(入籍届)							
処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍先の生年月日			入籍先の生年月日				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	入籍人の本非区分			入籍人の本非区分				
	入籍人の本籍コード			入籍人の本籍				
	入籍人の本籍							
	入籍人の筆頭者			入籍人の筆頭者				
	入籍人nの筆頭者区分			入籍人nの筆頭者区分				
	入籍人nの配偶者区分			入籍人nの配偶者区分				
	入籍人nの更正区分			入籍人nの更正区分				
	入籍人nの個人番号							本籍人の場合、設定
	入籍人nのカナ氏名			入籍人nのカナ氏名				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの漢字氏名			入籍人nの漢字氏名				
	入籍人nの生年月日			入籍人nの生年月日				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの住所コード			入籍人nの住所				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの住所							
	入籍人nの世帯主			入籍人nの世帯主				
	入籍人nの父の氏名			入籍人nの父の氏名				
	入籍人nの母の氏名			入籍人nの母の氏名				
	入籍人nの父母続柄			入籍人nの父母続柄				
	入籍人nの養父の氏名			入籍人nの養父の氏名				
	入籍人nの養母の氏名			入籍人nの養母の氏名				
	入籍人nの養父母続柄			入籍人nの養父母続柄				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				

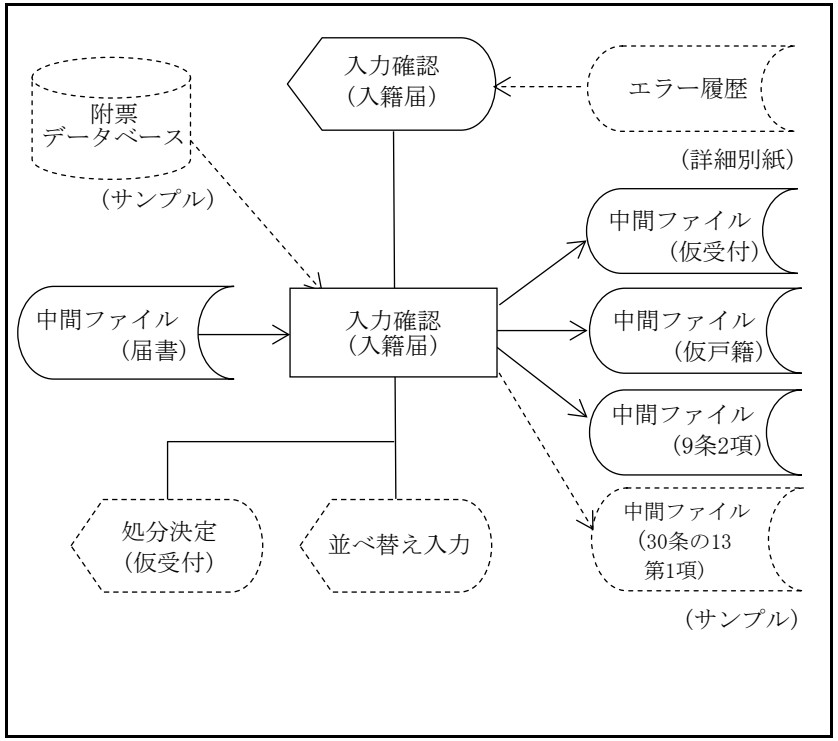
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(入籍届)							
処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	入籍人配偶者のカナ氏名			入籍人配偶者のカナ氏名				
	入籍人配偶者の漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	入籍人配偶者の生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	入籍人配偶者の父氏名			入籍人配偶者の父の氏名				
	入籍人配偶者の母氏名			入籍人配偶者の母の氏名				
	入籍人配偶者の父母との続柄			入籍人配偶者の父母続柄				
	入籍人配偶者の養父氏名			入籍人配偶者の養父の氏名				
	入籍人配偶者の養母氏名			入籍人配偶者の養母の氏名				
	入籍人配偶者の養父母との続柄			入籍人配偶者の養父母続柄				
	入籍人配偶者の住所コード			入籍人配偶者の住所				
	入籍人配偶者の住所							
	入籍人配偶者の世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	入籍人配偶者の外国人区分			入籍人配偶者の外国人区分				
	入籍人配偶者の配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	入籍人配偶者の更正区分			入籍人配偶者の更正区分				
	入籍人配偶者の個人番号							本籍人の場合、設定

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(入籍届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する・・・(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認面面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 入籍人のデータ編集
  - 3.2 その他(除籍父又は母(送付・除籍のみ))のデータ編集
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 父又は母の個人特定(入籍)
  - 4.2 父又は母の身分事項(除籍)
  - 4.3 父又は母の身分事項(入籍)
- 5.1 入籍人の個人特定(入籍)
- 5.2 入籍人の身分事項(除籍)
- 5.3 入籍人の身分事項(入籍)
- 6.1 入籍人配偶者の個人特定(入籍)
- 6.2 入籍人配偶者の身分事項(除籍)
- 6.3 入籍人配偶者の身分事項(入籍)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 父又は母
  - 7.2 入籍人
  - 7.3 入籍人配偶者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)・・・(サンプル提示)
  - 8.1 父又は母
  - 8.2 入籍人
  - 8.3 入籍人配偶者

5. 備考(特記事項含む)

(1)配偶者同時の場合は、仮受付レコードを入籍人と同時に作成する(同一受領番号)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(入籍届)
処理名	0.0 本紙

									備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]							/		※受付けファイルは入籍者だけに作成する ただし、入籍先の(養)父・母のみ除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 2)において、入籍人の本籍が管外で、(養)父・母の本籍が管内であるが、新戸籍編製地が管外の場合かつ、(養)父・母の本籍地への除籍の届書送付があった時に限り(養)父・母を本籍人として受付ファイルを作成する。[3.2] 配偶者同時の場合は、入籍人配偶が日本人の場合に限り作成する。[3.1]
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)							/		
実行キー	(3)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る、2:父又は母の新戸籍に入る、3:新しい戸籍をつくる)						/		
	1	(3-1)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.1]					/		
		(3-2)入籍人配偶者の外国人区分(0:日本人、1:外国人)					/		
		0	(3-3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.1]				/		
		1	(3-4)→(12)				/		
	2	(4)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES,NO)					/		
		YES	(5)入籍人の本籍 ＝ 管外である(YES,NO)				/		
			YES	(6)入籍先の本籍 ＝ 管内である(YES,NO)			/		
				YES	(7)新本籍 ＝ 管外である(YES,NO)		/		
					YES	(8-2)中間ファイル(仮受付)を編集出力する [3.2]	/		
					NO	(9)中間ファイル(仮受付)を編集出力する [3.1]	/		
				NO					
			NO						
		NO							
	3	(10)入籍人の人数分繰り返す					/		
		(11)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.1]					/		
	(12)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]						/		
	(13)入籍人は父又は母の新戸籍に入る(YES,NO)						/		
	YES	(14)父又は母は本籍人である(YES,NO)					/		
		YES	(15)父又は母の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/		
			個人特定(入籍)	(16)父又は母の入籍の編集 [4.1]			/		
			身分事項(除籍)	(17)父又は母の除籍事項の編集 [4.2]			/		
			身分事項(入籍)	(18)父又は母の入籍事項の編集 [4.3]			/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(入籍届)

処理名	0.0 本紙				備考
	(18-1)父又は母は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(18-1)、(18-2)
	YES	(18-2)父又は母について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [8.1]		/	
	NO	(19)→(21)		/	
NO					
NO	(20)→(21)			/	
(21)入籍人は本籍人である(YES,NO)				/	
YES	(22)入籍人の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/	
	(23)入籍人の人数分繰り返す			/	
	個人特定(入籍)	(24)入籍人の入籍の編集 [5.1]		/	
	身分事項(除籍)	(25)入籍人の除籍事項の編集 [5.2]		/	
	身分事項(入籍)	(26)入籍人の入籍事項の編集 [5.3]		/	
	(27)入籍人は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(27)、(28)、(29)
	YES	(28)入籍人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [8.2]		/	
	NO	(29)→(30)		/	
	(30)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)			/	
	YES	(31)入籍人配偶者の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/	
		個人特定(入籍)	(32)入籍人の入籍の編集 [6.1]	/	
		身分事項(除籍)	(33)入籍人の除籍事項の編集 [6.2]	/	
		身分事項(入籍)	(34)入籍人の入籍事項の編集 [6.3]	/	
		(35)入籍人配偶者は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(35)、(36)、(37)
		YES	(36)入籍人配偶者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [8.3]	/	
		NO	(37)→(40)	/	
	NO	(38)→(40)		/	
NO	(39)→(40)			/	
(40)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/	
YES	(41)入籍人は父又は母の新戸籍に入る(YES,NO)			/	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			入力確認(入籍届)						
処理名			0.0 本紙					備考	
		YES	(42)父又は母について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]	/					
		NO	(43)→(44)	/					
			(44)入籍人の人数分繰り返す	/					
			(45)入籍者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.2]						
			(46)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/					
		YES	(47)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.3]		(48)処分決定に制御を渡す				
		NO	→						
	NO		→						
PF1	→				(49)業務選択に制御を渡す				
PF2	→				(50)届出選択に制御を渡す				
PF5	→				(51)審査に制御を渡す				
PF7	(52)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/	(55)同画面を編集する				
	ある	(53)前ページ分の確認画面(入籍届)を編集する							
	なし	(54)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(56)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/	(59)同画面を編集する				
	ある	(57)次ページ分の確認画面(入籍届)を編集する							
	なし	(58)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する							
PF11	→				(60)エラー履歴表示に制御を渡す				
その他	(61)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(62)同画面を編集する				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
入籍届 種別入力確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	入籍者種別		中間ファイル(届書) 事件別内容	入籍者種別				
	同時入籍者数			同時入籍者数				
入籍届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	入籍事由		中間ファイル(届書) 事件別内容	入籍事由				
	入籍相手			入籍相手				
	入籍相手名称					有		
	従前の氏を改めた日			従前の氏を改めた日				
	許可の審判確定日			許可の審判確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	戸籍変動区分名称					有		
	入籍先の本非区分			入籍先の本非区分				
	入籍先の本非区分名称					有		
	入籍先の個人除区分			入籍先の個人除区分				
	入籍先の個人除区分名称					有		

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)						
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍先の筆頭者区分			入籍先の筆頭者区分				
	入籍先の筆頭者区分名称					有		
	入籍先の配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	入籍先の配偶者区分名称					有		
	入籍先の本籍			入籍先の本籍コード		有		
				入籍先の本籍				
	入籍先の筆頭者			入籍先の筆頭者				
	入籍先のカナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	入籍先の漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	入籍先の住所			入籍先の住所コード		有		
				入籍先の住所				
	入籍先の世帯主			入籍先の世帯主				
	入籍先の父の氏名			入籍先の父の氏名				
	入籍先の母の氏名			入籍先の母の氏名				
	入籍先の父母続柄			入籍先の父母との続柄				
	入籍先の父母続柄名称					有		
	入籍先の生年月日			入籍先の生年月日				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	入籍人の本非区分			入籍人の本非区分				
	入籍人の本非区分名称					有		
	入籍人nの筆頭者区分			入籍人nの筆頭者区分				
	入籍人nの筆頭者区分名称					有		
	入籍人nの配偶者区分			入籍人nの配偶者区分				
	入籍人nの配偶者区分名称					有		
	入籍人nの更正区分			入籍人nの更正区分				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)						
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入籍人nのカナ氏名			入籍人nのカナ氏名				
	入籍人nの漢字氏名			入籍人nの漢字氏名				
	入籍人nの生年月日			入籍人nの生年月日				
	入籍人nの住所			入籍人nの住所コード		有		
				入籍人nの住所				
	入籍人nの世帯主			入籍人nの世帯主				
	入籍人nの父の氏名			入籍人nの父の氏名				
	入籍人nの母の氏名			入籍人nの母の氏名				
	入籍人nの父母続柄			入籍人nの父母続柄				
	入籍人nの父母続柄名称					有		
	入籍人nの養父の氏名			入籍人nの養父の氏名				
	入籍人nの養母の氏名			入籍人nの養母の氏名				
	入籍人nの養父母続柄			入籍人nの養父母続柄				
	入籍人nの養父母続柄名称					有		
	入籍人の本籍			入籍人の本籍コード		有		
				入籍人の本籍				
	入籍人の筆頭者			入籍人の筆頭者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	入籍人配偶者のカナ氏名			入籍人配偶者のカナ氏名				
	入籍人配偶者の漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	入籍人配偶者の生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	入籍人配偶者の父の氏名			入籍人配偶者の父氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	入籍人配偶者の母の氏名			入籍人配偶者の母氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	1.0　確認画面(入籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入籍人配偶者の父母続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	入籍人配偶者の父母続柄名称					有		
	入籍人配偶者の養父の氏名			入籍人配偶者の養父氏名				
	入籍人配偶者の養母の氏名			入籍人配偶者の養母氏名				
	入籍人配偶者の養父母続柄			入籍人配偶者の養父母との続柄				
	入籍人配偶者の養父母続柄名称					有		
	入籍人配偶者の住所			入籍人配偶者の住所コード		有		
				入籍人配偶者の住所				
	入籍人配偶者の世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	入籍人配偶者の外国人区分			入籍人配偶者の外国人区分				
	入籍人配偶者の外国人区分名称					有		
	入籍人配偶者の配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	入籍人配偶者の配偶者区分名称					有		
	入籍人配偶者の更正区分			入籍人配偶者の更正区分				

補足説明書				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(入籍届)								
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表								

項番	戸籍編製区分			入籍人					入籍人配偶者		入籍先				新戸籍		入籍人の従前戸籍		入籍先の現在戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	すでにある戸籍に入る	父又は母の新戸籍に入る	新しい戸籍を作る	本・非区分		他の在籍者			外国人区分		本・非区分		他の在籍者の有無									
				本籍人	非本籍人	有		無	日本人	外国人	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 D.1	
						配偶者	その他															
1	○			○			○				○		—	—			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
2	○			○			○					○	—	—			入籍人(5.2)					
3	○			○				○			○		—	—				入籍人(5.2)			入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
4	○			○				○				○	—	—				入籍人(5.2)				
5	○				○		—	—			○		—	—							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
6	○				○		—	—				○	—	—								
7		○		○			○				○		○		○		入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
8		○		○			○				○			○	○		入籍人(5.2)			父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
9		○		○			○				○		○			○	入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			
10		○		○			○				○			○		○	入籍人(5.2)			父又は母(4.2)		
11		○		○			○					○	—	—	○		入籍人(5.2)					父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
12		○		○			○					○	—	—		○	入籍人(5.2)					

13		○		○				○			○		○		○			入籍人(5.2)	父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
14		○		○				○			○			○	○			入籍人(5.2)		父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
15		○		○				○			○		○			○		入籍人(5.2)	父又は母(4.2)				
16		○		○				○			○			○		○		入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			
17		○		○				○				○	—	—	○			入籍人(5.2)				父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
18		○		○				○				○	—	—		○		入籍人(5.2)					
19		○			○		—	—			○		○		○				父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
20		○			○		—	—			○		○			○			父又は母(4.2)				
21		○			○		—	—			○			○	○					父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
22		○			○		—	—			○			○		○				父又は母(4.2)			
23		○			○		—	—				○	—	—	○							父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
24		○			○		—	—				○	－	—		○							
25			○	○		○		○	○		—	—	－	—	○			入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者(6.1) 入籍人配偶者(6.3)	※1
26			○	○		○		○	○		—	—	—	—		○		入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)					※1

27			○	○		○	○		○		—	—	—	—	○		入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者(6.1) 入籍人配偶者(6.3)	※1
28			○	○		○	○		○		—	—	—	—		○	入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)						※1
29			○	○			○			○	—	—	—	—	○		入籍人(5.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
29-1			○	○			○			○	—	—	—	—		○	入籍人(5.2)						
29-2			○	○				○		○	—	—	—	—	○			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
30			○	○				○		○	—	—	—	—		○		入籍人(5.2)					
31			○	○			○				—	—	—	—	○		入籍人(5.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
32			○	○			○				—	—	—	—		○	入籍人(5.2)						
33			○	○				○			—	—	—	—	○			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
34			○	○				○			—	—	—	—		○		入籍人(5.2)					
35			○		○	○	—	—	○		—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者(6.1) 入籍人配偶者(6.3)	※1
36			○		○	○	—	—	○		—	—	－	—		○							
37			○		○		—	—		○	—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
38			○		○		—	—		○	—	—	—	—		○							
39			○		○		—	—			—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
40			○		○		—	—			—	—	—	—		○							

※1 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、入籍人と入籍人配偶者の編集を行う。
上記以外(配偶者が外国人)の場合は、入籍人の編集のみを行う。

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(入籍届)						
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・入籍)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2101:入籍を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分							入籍人の本籍　又は　新本籍(新本籍＝ スペースの時は入籍先の本籍)が管内本籍であれば1(本籍)を設定 それ以外は2(非本籍)を設定
	渉外区分							0:日本人のみを設定
	証書提出区分							0:届出
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							移送データなし
	許可日							移送データなし
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格1 又は 2が、098、009の時は、設定しない。 ただし、009で入籍人配偶者の外国人区分が1:外国人の時は、配偶者を設定する。 上記以外の場合は、引渡し項目をそれぞれ設定する。
	届出人資格区分1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格区分2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1のとき、 1:入籍を設定 戸籍変動区分 ＝ 2、3のとき、 2:新戸籍編製を設定
	届後本籍コード							新本籍コード ≠ スペース: 新本籍コードを移送 新本籍コード ＝ スペース: 入籍先本籍コードを移送
	届後本籍							新本籍 ≠ スペース:新本籍を移送 新本籍 ＝ スペース: 入籍先本籍を移送
	届後本籍の筆頭者					新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者を移送 新筆頭者 ＝ スペース:戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、入籍先の筆頭者を移送 戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、入籍先の漢字氏名を移送		
	送達確認区分1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)場合、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分					本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、 戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時、 入籍人の本籍又は入籍先の本籍又は新本籍が管内本籍であれば1(送付要)を設定。 それ以外は0(不要)を設定。 戸籍変動区分 ≠ 2(父又は母の新戸籍に入る)の時は、 0(不要)を設定。 ※本非区分は、共通部の項目を用いる。		
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							36:入籍者

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人区分							資格区分1 又は 2 ＝ 098のとき、1:届出人を設定 それ以外のとき、0:を設定
	カナ氏名			入籍人のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍人の漢字氏名				
	生年月日			入籍人の生年月日				
	本籍コード			入籍人の本籍コード				
	本籍			入籍人の本籍				
	筆頭者			入籍人の筆頭者				
	送達確認2					入籍人の本籍が、非本籍　かつ (在外送付区分 ＝ 0:受理)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。		
中間ファイル (仮受付) 事件本人(配偶者)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							45:配偶者
	届出人区分							許可の審判確定日 ＝ スペースのとき、1:届出人を設定 それ以外のとき、0を設定
	カナ氏名			入籍人配偶者のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	本籍コード			入籍人の本籍コード				
	本籍			入籍人の本籍				
	筆頭者			入籍人の筆頭者				
	送達確認2					入籍人の本籍が、非本籍　かつ (在外送付区分 ＝ 0:受理　又は 2:在外公館から直接送付)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。		

(注)　入籍人配偶者の情報を編集する。入籍人の事件本人レコードに続けて入籍人配偶者の事件本人レコードを出力する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	3.2 中間ファイル(仮受付・その他) 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4401(その他)を設定
	受付日			送付日				
	事件発生日							
	事件発生時分							
	受理送付区分							「送付」を設定
	本非区分							「本籍」を設定
	渉外区分							0:日本人のみ
	証書提出区分							0:届出
	発送日							移送データなし
	郵送日							移送データなし
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							移送データなし
	許可日							移送データなし
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格区分1							
	届出人資格区分1名称							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格区分2名称							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							2:新戸籍編製を設定
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				
	届後本籍の筆頭者			新筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付・その他)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送達確認区分1							0:不要を設定
	届書送付目録区分							1(送付要)を設定。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							99:事件本人
	届出人区分							0:を設定
	カナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	生年月日			入籍先の生年月日				
	本籍コード			入籍先の本籍コード				
	本籍			入籍先の本籍				
	筆頭者			入籍先の筆頭者				
	送達確認2							0:不要を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	4.1　入籍人の父又は母(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							2.0 戸籍編製マトリックス表で示した順で順次番号を付番する
	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別					有		入籍先の父母との続柄より設定
	生年月日			入籍先の生年月日				
	筆頭者区分							1:筆頭者を設定
	配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	父			入籍先の父の氏名				
	母			入籍先の母の氏名				
	父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							入籍先の父又は母が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定

※養父、養母、養父母との続柄は、移記処理で入力する

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)						
処理名	4.2　入籍人の父又は母(除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2102:「子の入籍」を設定
	記録コード								2102:「子の入籍による父又は母の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由							「子の入籍届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従戸前籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍							新本籍 ≠ スペース:新本籍を移送 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍を移送
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	4.3　入籍人の父又は母(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2102:「子の入籍」を設定
	記録コード								2102:「子の入籍による父又は母の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日 ≠ スペース:処理日、 送付日 ≠ スペース:送付日 他は受領日
		入籍事由							「子の入籍届出」を移送
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従戸前籍 本籍			入籍先の本籍				
		従戸前籍 筆頭者			入籍先の筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	5.1　入籍人(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号					2.0 戸籍編製ﾏﾄﾘｯｸｽ表で示した順で順次番号を付番する		
	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別					有		入籍人nの父母続柄より設定
	生年月日			入籍人nの生年月日				
	筆頭者区分					戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、0を移送 戸籍変動区分 ＝ 2(父又は母の新戸に入る)の時、0を移送 戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる)の時、 1を移送(1:筆頭者、0:構成員)		
	配偶者区分			入籍人nの配偶者区分				
	父			入籍人nの父の氏名		入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ 入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ 入籍人の更正区分 ≠ 1(無)の場合に父母欄更正を行う		
	母			入籍人nの母の氏名				
	父母との続柄			入籍人nの父母続柄				
	養父			入籍人nの養父の氏名				
	養母			入籍人nの養母の氏名				
	養父母との続柄			入籍人nの養父母続柄				

1.入籍先の配偶者区分が「0:未」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先の漢字氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先の漢字氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先の漢字氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先の漢字氏名

2.入籍先の配偶者区分が「1:夫」または「2:妻」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名

3.入籍先の配偶者区分が「3:生存配偶者」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	5.1　入籍人(個人特定)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	前個人番号							入籍人が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(入籍届)						
処理名	5.2　入籍人(除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2101:「入籍」を設定
	記録コード								2101:「入籍する者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	届出日			受領日				
		入籍事由							
		除籍事由							入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍):入籍相手名称と「の氏を称する入籍」を結合し、設定 入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍):入籍相手名称と「と同籍する入籍」を結合し、設定 入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍):「従前の氏に復する入籍」を設定
	届出	届出人(1)	資格(1)		届出人資格1				届出人資格1 又は 2が、098、009の時は、設定しない。 上記以外は、引渡し項目をそれぞれ設定する。但し、(019、020、110)以外は資格項目のみ設定すること。(019、020、110の時のみ、資格と氏名が設定される) また、以下に示す組合せの場合は、個別編集する。
			資格名称(1)				有		
			氏名(1)		届出人氏名1				
		届出人(2)	資格(2)		届出人資格2				
			資格名称(2)				有		
			氏名(2)		届出人氏名2				
		共同届出人	資格						届出人資格1 又は 2 ＝ 009　かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 1:夫 の場合「妻」を設定 届出人資格1 又は 2 ＝ 009　かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 2:妻 の場合「夫」を設定
			資格名称						

届出人資格	資格(1)	資格名称(1)
016　親権者父		
017　親権者母	018	親権者父母

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(入籍届)								
処理名	5.2　入籍人(除籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合のみ
		称する氏							入籍事由 ＝ 1 かつ 戸籍変動区分 ＝ 3の場合に 新筆頭者の氏を移送
		復する氏							入籍事由 ＝ 3 かつ 戸籍変動区分 ＝ 3 かつ 入籍者種別 ＝ 2 かつ 入籍人nの漢字氏名の氏 ≠ 新筆頭者の氏の場合に新筆頭者の氏を移送
		入籍戸籍 本籍			新本籍　又は 入籍先の本籍				戸籍変動区分 ≠ 3の場合のみ 新本籍 ≠ スペース:新本籍、 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍を移送
		入籍戸籍 筆頭者			新筆頭者　又は 入籍先の筆頭者　又は 入籍先の漢字氏名				戸籍変動区分 ≠ 3の場合のみ 新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者 戸籍変動区分 ＝ 1の時:入籍先の筆頭者 戸籍変動区分 ＝ 2の時:入籍先の漢字氏名
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	5.3　入籍人(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2101:「入籍」を設定
	記録コード								2101:「入籍する者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	届出日			受領日				
		入籍事由							入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍):入籍相手名称と「の氏を称する入籍」を結合し、設定 入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍):入籍相手名称と「と同籍する入籍」を結合し、設定 入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍):「従前の氏に復する入籍」を設定
		除籍事由							
	届出	届出人(1)	資格(1)		届出人資格1				届出人資格1 又は 2が、098、009の時は、設定しない。 上記以外は、引渡し項目をそれぞれ設定する。但し、(019、020、110)以外は資格項目のみ設定すること。(019、020、110の時のみ、資格と氏名が設定される) また、以下に示す組合せの場合は、個別編集する。
			資格名称(1)				有		
			氏名(1)		届出人氏名1				
		届出人(2)	資格(2)		届出人資格2				
			資格名称(2)				有		
			氏名(2)		届出人氏名2				
		共同届出人	資格						届出人資格1 又は 2 ＝ 009　かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 1:夫 の場合「妻」を設定 届出人資格1 又は 2 ＝ 009　かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 2:妻 の場合「夫」を設定
			資格名称						

届出人資格	資格(1)	資格名称(1)
016　親権者父		
017　親権者母	018	親権者父母

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(入籍届)								
処理名	5.3　入籍人(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			入籍人の本籍				
		従前戸籍 筆頭者			入籍人の筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							
		入戸籍籍 本籍							
		入戸籍籍 筆頭者							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	6.1　入籍人配偶者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号					2.0 戸籍編製ﾏﾄﾘｯｸｽ表で示した順で順次番号を付番する		
	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別					有		入籍人配偶者の父母との続柄より設定
	生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	筆頭者区分							0:構成員を設定
	配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	父			入籍人配偶者の父氏名		入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ 入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)　かつ 入籍人配偶者の更正区分 ≠ 1(無)の場合に父母欄更正を行う		
	母			入籍人配偶者の母氏名				
	父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	養父			入籍人配偶者の養父氏名				
	養母			入籍人配偶者の養母氏名				
	養父母との続柄			入籍人配偶者の養父母との続柄				

1.入籍先の配偶者区分が「0:未」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先の漢字氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先の漢字氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先の漢字氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先の漢字氏名

2.入籍先の配偶者区分が「1:夫」または「2:妻」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名

3.入籍先の配偶者区分が「3:生存配偶者」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	6.1　入籍人配偶者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	前個人番号							入籍人配偶者が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	6.2 入籍人配偶者(除籍) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2103:「配偶者の入籍」を設定
	記録コード								2103:「入籍する者の配偶者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	届出による入籍日							
		入籍事由							
	除籍	届出による除籍日			処理日 又は 送付日 又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
		除籍事由					入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時 入籍相手名称と「の氏を称する入籍」 を結合し設定 入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時 入籍相手名称と「と同籍する入籍」 を結合し設定 入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時 「従前の氏に復する入籍」 を設定 上記編集した後、入籍人の配偶者区分を名称に変えて先頭に付加する。EX)夫が父の氏を称する入籍		
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍							新本籍 ≠ スペース:新本籍、 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍を移送
		称する氏							入籍事由 ＝ 1の時、新筆頭者の氏
		復する氏							入籍事由 ＝ 3の時、新筆頭者の氏
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	6.3　入籍人配偶者(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2103:「配偶者の入籍」を設定
	記録コード								2103:「入籍する者の配偶者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	入籍	届出による入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
		入籍事由					入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時 入籍相手名称と「の氏を称する入籍」を結合し設定 入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時 入籍相手名称と「と同籍する入籍」を結合し設定 入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時 「従前の氏に復する入籍」を設定 上記編集した後、入籍人の配偶者区分を名称に変えて先頭に付加する。EX)夫が父の氏を称する入籍		
	除籍	届出による除籍日							
		除籍理由							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前籍	本籍		入籍人の本籍				
			筆頭者		入籍人の筆頭者				
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		復する氏							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(入籍届)								
処理名	6.3　入籍人配偶者(入籍)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	7.1　9条2項(入籍人の父又は母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			入籍先の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍先の漢字氏名				
	旧氏名			入籍先の漢字氏名				
	新生年月日			入籍先の生年月日				
	旧生年月日			入籍先の生年月日				
	新父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	新本籍コード			入籍先の本籍コード 又は 新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード
	新本籍			入籍先の本籍 又は 新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペス:新本籍
	旧本籍コード			入籍先の本籍コード				
	旧本籍			入籍先の本籍				
	新筆頭者			入籍先の漢字氏名				
	旧筆頭者			入籍先の筆頭者				
	住所コード			入籍先の住所コード				
	住所			入籍先の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍先の世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	7.1　9条2項(入籍人の父又は母)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	7.2　9条2項(入籍人)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			入籍人nの住所コード		有		市区町村部分だけのコード 市区町村コードを宛名に変換した項目
	宛名							
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人nの漢字氏名(名) 新筆頭者(氏) 入籍先の筆頭者(氏)				戸籍変動区分 ＝ 1 又は 2の場合、 入籍先の筆頭者の氏 + 入籍人nの 漢字氏名の名 戸籍変動区分 ＝ 3の場合、 新筆頭者の氏 + 入籍人nの 漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人nの漢字氏名				
	新生年月日			入籍人nの生年月日				
	旧生年月日			入籍人nの生年月日				
	新父母との続柄			入籍人nの父母続柄				
	旧父母との続柄			入籍人nの父母続柄				
	新本籍コード			新本籍コード 入籍先の本籍コード				新本籍コード ≠ スペース:新本籍コード移送 新本籍コード ＝ スペース:入籍先の本籍コード移送
	新本籍			新本籍 入籍先の本籍				新本籍 ≠ スペース:新本籍移送 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍移送
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者 入籍先の漢字氏名				新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者移送 新筆頭者 ＝ スペース:入籍先の漢字氏名移送
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人nの住所コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	7.2　9条2項(入籍人)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			入籍人nの住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍人nの世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	7.3　9条2項(入籍人配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			入籍人配偶者の住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人配偶者の漢字氏名(名) 新頭者(氏)				新筆頭者の氏 + 入籍人配偶者の漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	旧生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人配偶者の住所コード				
	住所			入籍人配偶者の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)								
処理名	8.1　30条の13第1項(入籍人の父又は母)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード	
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					21(入籍届)	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名			入籍先の漢字氏名					
	旧氏名			入籍先の漢字氏名					
	新生年月日			入籍先の生年月日					
	旧生年月日			入籍先の生年月日					
	新性別							入籍先の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定	
	旧性別								
	新本籍コード			入籍先の本籍コード 又は 新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード	
	新本籍			入籍先の本籍 又は 新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペース:新本籍	
	旧本籍コード			入籍先の本籍コード					
	旧本籍			入籍先の本籍					
	新筆頭者			入籍先の漢字氏名					
	旧筆頭者			入籍先の筆頭者					
	住所コード			入籍先の住所コード					
	住所			入籍先の住所					
	方書								
	転入届出日								

データ編集表(サンプル提示)		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)						
処理名	8.2　30条の13第1項(入籍人)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の13第1項) 入籍人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人nの漢字氏名(名) 新筆頭者(氏) 入籍先の筆頭者(氏)				戸籍変動区分 ＝ 1 又は 2の場合、 入籍先の筆頭者の氏 + 入籍人nの 漢字氏名の名 戸籍変動区分3の場合、 新筆頭者の氏 + 入籍人nの 漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人nの漢字氏名				
	新生年月日			入籍人nの生年月日				
	旧生年月日			入籍人nの生年月日				
	新性別							入籍人nの父母続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			入籍先の本籍コード 又は 新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード
	新本籍			入籍先の本籍 又は 新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペース:新本籍
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者 入籍先の漢字氏名				新筆頭者 ＝ スペース:入籍先の漢字氏名 新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人nの住所コード				

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(入籍人)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			入籍人nの住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(入籍届)							
処理名	8.3　30条の13第1項(入籍人配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					21(入籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人配偶者の漢字氏名(名) 新筆頭者(氏)				新筆頭者の氏 + 入籍人配偶者の漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	旧生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	新性別							入籍人配偶者の父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人配偶者の住所コード				
	住所			入籍人配偶者の住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

21.分籍届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	25	「分籍届」	審査3.0（15-3） 「(0-9)→(0-18)へ」に修正
2		27		「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
3		26		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	分籍届

1. 分籍届による分籍業務処理範囲外の処理

(1) 昭和60年1月1日より前に渉外婚姻をした者で、現在父母又は養父母の戸籍にいる者からの届。

(2) 成年擬制者からの届出。

上記(1)、(2)は、審査結果入力で処理を行う。

2. 分籍届入力画面の意義

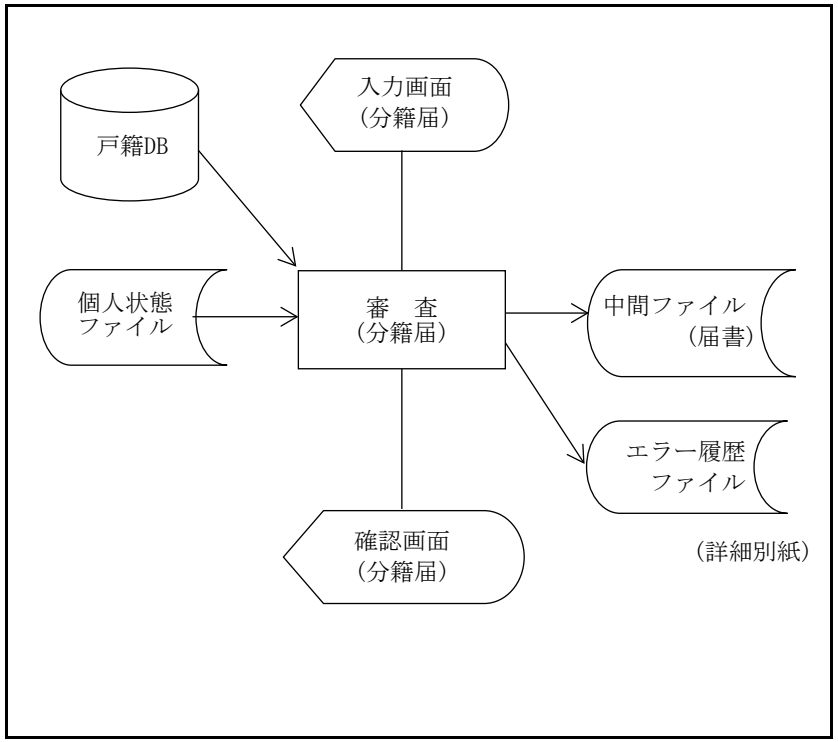
(1) 分籍人当事者の各項目を入力する。

3. その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(分籍届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)分籍届の内容を入力する
(2)分籍届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)分籍届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)分籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(分籍届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(分籍届)					
処理名	0.0　本紙					

				処理		チェック	遷移	備考
(1)届書内容を画面入力する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)						/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)				[1.0]	/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)			[2.0]	/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)		[3.0]	/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力	[4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する					
	NO							
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する							
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(分籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(分籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		英数				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	分籍人の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
11	分籍人の配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
12	分籍人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	分籍人の婚姻事項の有無	○	数字	(0:無、1:有)であること			
14	分籍人の渉外区分		数字	(0:日本人のみ、1:渉外)であること			
15	分籍人の婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	分籍人のカナ氏名	○	カナ				
17	分籍人の漢字氏名	○	漢字				
18	分籍人の住所		漢字				
19	分籍人の世帯主		漢字				
20	分籍人の本籍	○	漢字				
21	分籍人の筆頭者	○	漢字				
22	分籍人の父の氏名		漢字				
23	分籍人の母の氏名		漢字				
24	分籍人の父母との続柄	○	数字	(10:男～49:十九女)であること			
25	分籍人の新本籍	○	漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(分籍届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(分籍届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力してください。		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本籍区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.20)分籍人の本籍　又は　(No.25)分籍人の新本籍の何れかが管内であること			
12	(No.13)分籍人の婚姻事項の有無 ＝ 0(無)の時、 (No.14)分籍人の渉外区分 ＝ スペース　かつ　(No.15)分籍人の婚姻日 ＝ スペースであること			
13	(No.13)分籍人の婚姻事項有無 ＝ 1(有)の時、 (No.14)分籍人の渉外区分 ≠ スペース　かつ　(No.15)分籍人の婚姻日 ≠ スペースであること			
14	(No.24)分籍人の父母との続柄 ≠ スペースの時、 (No.22)分籍人の父の氏名 ≠ スペース　又は　(No.23)分籍人の母の氏名 ≠ スペースであること			
15	(No.17)分籍人の漢字氏名の氏 ＝ (No.21)分籍人の筆頭者の氏であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(分籍届)
処理名	3.0 審査

						備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/		
	NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			/		
(0-7)分籍人の父の氏名 ＝ スペース　又は　分籍人の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)				/		
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する					
	YES	(0-9)→(0-18)へ		/		
	NO	(0-10)			(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-12)分籍人の父母との続柄 ＝ 10(男)　又は　30(女)である(YES,NO)			/		
	YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」を表示する				
		YES	(0-14)→(0-18)へ	/		
		NO	(0-15)		(0-16)本紙へ	不受理
	NO	(0-17)→(0-18)へ		/		
(0-18)分籍人の漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/		
YES	(0-19)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する				(0-20)本紙へ	
	YES	(0-21)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(0-23)本紙へ	不受理
	NO	(0-22)→				画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-24)→(1)へ			/		
(1)2022年4月1日≦受領日(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月1日)後か前で審査を分ける
YES	(1-1)分籍人の生年月日＋18年(18歳以上)≦受領日である(YES,NO)			/		戸21Ⅰ 民法改正(2022年4月1日)後の審査
	YES	(2)分籍人の婚姻事項の有無(0:無、1:有)		/		
	1	(3)婚姻の渉外区分(1:渉外、その他)		/		
		1	(4)分籍人の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/		
			0 (5)分籍人の婚姻日＜昭和60年1月1日である(YES,NO)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(分籍届)
処理名	3.0 審査

									備考
					YES	(6)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(7)本紙へ	
					NO	(8)エラーメッセージ 「分籍届は受理できません。」を表示する			
				1		(9)エラーメッセージ 「分籍人は筆頭者です。分籍届は受理出来ません。」を表示する			
			その他			(10)エラーメッセージ 「分籍人は婚姻中です。分籍届は受理出来ません。」を表示する			
		0				(11)分籍人の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/		戸21Ⅰ
			0			(12)分籍人の配偶者区分(0:未、その他)	/		
				0		(13)→		(16)本紙へ	
				その他		(17)エラーメッセージ 「分籍人は配偶者(生存配偶者)です。」を表示する			
			1			(18)エラーメッセージ　「分籍人は筆頭者です。」を表示する			
	NO					(19)エラーメッセージ　「分籍人は未成年者です。」を表示する		(20)本紙へ	
NO						(21)分籍人の生年月日＋20年(20歳以上)≦受領日である(YES,NO)	/		戸21Ⅰ 民法改正(2022年4月1日)前の審査
	YES					(22)分籍人の婚姻事項の有無(0:無、1:有)	/		
		1				(23)分籍人の渉外区分(1:渉外、その他)	/		
			1			(24)分籍人の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/		
				0		(25)分籍人の婚姻日＜昭和60年1月1日である(YES,NO)	/		
					YES	(26)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(27)本紙へ	
					NO	(28)エラーメッセージ 「分籍届は受理できません。」を表示する			
				1		(29)エラーメッセージ 「分籍人は筆頭者です。分籍届は受理出来ません。」を表示する			
			その他			(30)エラーメッセージ 「分籍人は婚姻中です。分籍届は受理出来ません。」を表示する			
		0				(31)分籍人の筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)	/		戸21Ⅰ

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				審査(分籍届)						
処理名				3.0 審査					備考	
			0	(32)分籍人の配偶者区分(0:未、その他)			/			
				0	(33)→			(34)本紙へ		
				その他	(35)エラーメッセージ 「分籍人は配偶者(生存配偶者)です。」を表示する					
			1	(36)エラーメッセージ 「分籍人は筆頭者です。」を表示する						
	NO			(37)エラーメッセージ 「分籍人は未成年者です。」を表示する				(38)本紙へ		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(分籍届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		分籍届入力画面	受領番号				
	選択事件コード							「22」を引き渡す
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)をセット
	届区分							1(創設)をセット
	渉外区分							ZEROをセット
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)							本籍人の時、分籍者の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は項目がない場合は、0

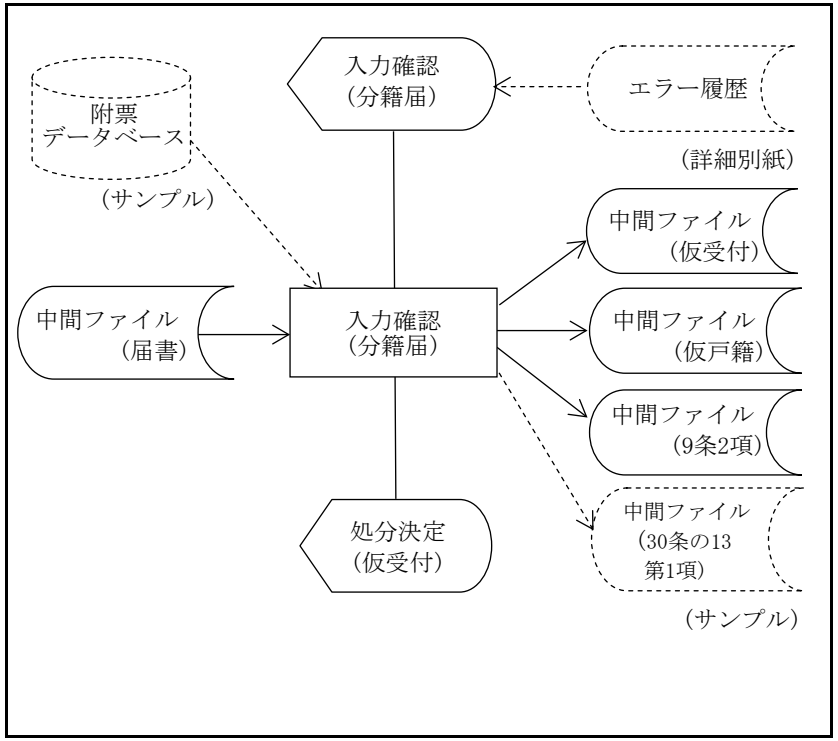
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(分籍届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	決裁区分							
	届書排他区分							0:未　1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者区分		分籍届入力画面	分籍人の筆頭者区分				
	配偶者区分			分籍人の配偶者区分				
	生年月日			分籍人の生年月日				
	婚姻事項の有無			分籍人の婚姻事項の有無				
	渉外区分			分籍人の渉外区分				
	婚姻日			分籍人の婚姻日				
	個人番号							本籍人の場合、分籍人の個人番号
	カナ氏名			分籍人のカナ氏名				
	漢字氏名			分籍人の漢字氏名				
	住所コード			分籍人の住所				
	住所地番							
	世帯主			分籍人の世帯主				
	本籍コード			分籍人の本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			分籍人の筆頭者				
	父の氏名			分籍人の父の氏名				
	母の氏名			分籍人の母の氏名				
	父母との続柄コード			分籍人の父母との続柄				
	新本籍コード			分籍人の新本籍				
	新本籍地番							

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(分籍届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する・・・(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(除籍)
  - 4.2 身分事項(入籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)・・・(サンプル提示)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する				[1.0]	/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)					/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する			[3.0]	/			
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/			
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/			
		身分事項(除籍)	(7)事件本人の除籍事項の編集	[4.1]	/			
		身分事項(入籍)	(8)事件本人の入籍事項の編集	[4.2]	/			
		(8-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			/			
		YES	(8-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[6.0]	/			
		NO	(8-3)→(9)		/			
	NO	→			/			
	(9)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/			
	YES	(10)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[5.0]		(11)処分決定に制御を渡す		
	NO	→						
PF1	→					(12)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(13)届出選択に制御を渡す		
PF5	→					(14)審査に制御を渡す		
PF11	→					(15)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(16)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(17)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	1.0　確認画面(分籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
分籍届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	分籍人の筆頭者区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者区分				
	分籍人の筆頭者区分名称					有		
	分籍人の配偶者区分			配偶者区分				
	分籍人の配偶者区分名称					有		
	分籍人の生年月日			生年月日		有		
	分籍人の婚姻事項の有無			婚姻事項の有無				
	分籍人の渉外区分			渉外区分				
	分籍人の渉外区分名称					有		
	分籍人の婚姻日			婚姻日		有		
	分籍人のカナ氏名			カナ氏名				
	分籍人の漢字氏名			漢字氏名				
	分籍人の住所			住所コード		有		
				住所地番				
	分籍人の世帯主			世帯主				
	分籍人の本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	1.0　確認画面(分籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	分籍人の筆頭者			筆頭者				
	分籍人の父の氏名			父の氏名				
	分籍人の母の氏名			母の氏名				
	分籍人の父母との続柄			父母との続柄コード				
	分籍人の父母との続柄名称					有		
	分籍人の新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍地番				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(分籍届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	条件						戸籍の変動				
	現本籍		他の在籍者		新本籍		父母(養父母)の戸籍				
	本籍	非本籍	有	無	管内	管外	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
1	○		○		○		本人 4.1				本人 4.2
2	○		○			○	本人 4.1	本人 4.1			
3	○			○	○			本人 4.1			本人 4.2
4	○			○		○					
5		○	－	－	○						本人 4.2
6		○	－	－		○					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							「2201」をセット
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							ZEROをセット
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							「1:日本人のみ」をセット
	証書提出区分							
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日							ZEROをセット
	収日							ZEROをセット
	指示日							ZEROをセット
	許可日							ZEROをセット
	関連受領番号							ZEROをセット
	届出人資格区分1							届出人資格区分には、ZERO 届出人資格名称、届出人氏名には、SPACE
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							「2:新戸籍編製」をセット
	届後本籍コード			新本籍コード				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			漢字氏名				
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							「37」を設定
	届出人区分							「1」(事件本人)を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							事件本人の現本籍が、(非本籍) かつ　(在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	4.1　分籍人(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可　を設定
	タイトルコード								2201:「分籍」を設定
	記録コード								2201:「分籍者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	分籍	分籍日			受領日				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸	新本籍			新本籍地番				
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(分籍届)								
処理名	4.2　分籍人(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可　を設定
	タイトルコード								2201:「分籍」を設定
	記録コード								2201:「分籍者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	分籍	分籍日			受領日				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍地番				
		筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸	新本籍							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	5.0　9条2項　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							22(分籍届)を設定
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			漢字氏名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所地番				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(分籍届)							
処理名	6.0　30条の13第1項　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					22(分籍届)を設定
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍地番				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			漢字氏名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所地番				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

22.国籍取得届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	53	「国籍取得届」	「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	国籍取得届

1.国籍取得業務処理範囲外の処理

・国籍取得者が一の戸籍に入った後除籍となり、他の戸籍入籍する場合(国籍取得者が複数の戸籍に入除籍を繰り返す場合)は、審査結果入力で処理する
したがって、本処理では国籍取得者が一の戸籍に入籍した後、異動がないものしか取り扱わない
なお、非嫡出子が国籍法3条により国籍取得した場合の、以下の記録も審査結果入力で処理する

①配偶者の記録

②新戸籍編製以外の子の異動(養親、配偶者の戸籍へ入籍する場合など)

・国籍取得者が一の戸籍に入ったとき、その戸籍に在籍する者の身分事項に記録が必要な場合(下記条件)は一部(戸籍編製マトリックス参照)を除き訂正・更正処理で記録する。

①認知している子が国籍取得した場合:子の国籍取得事項の記録

②養子が国籍取得した場合:養子の国籍取得事項の記録

③親が国籍取得した場合:親の国籍取得事項の記録

④養親が国籍取得した場合:養親の国籍取得事項の記録

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・非嫡出子が国籍法3条により国籍取得した場合の、認知した父の記録

・附則(昭和59年5月25日法律第四五号)及び(平成20年12月12日法律第八八号)により国籍取得する場合

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

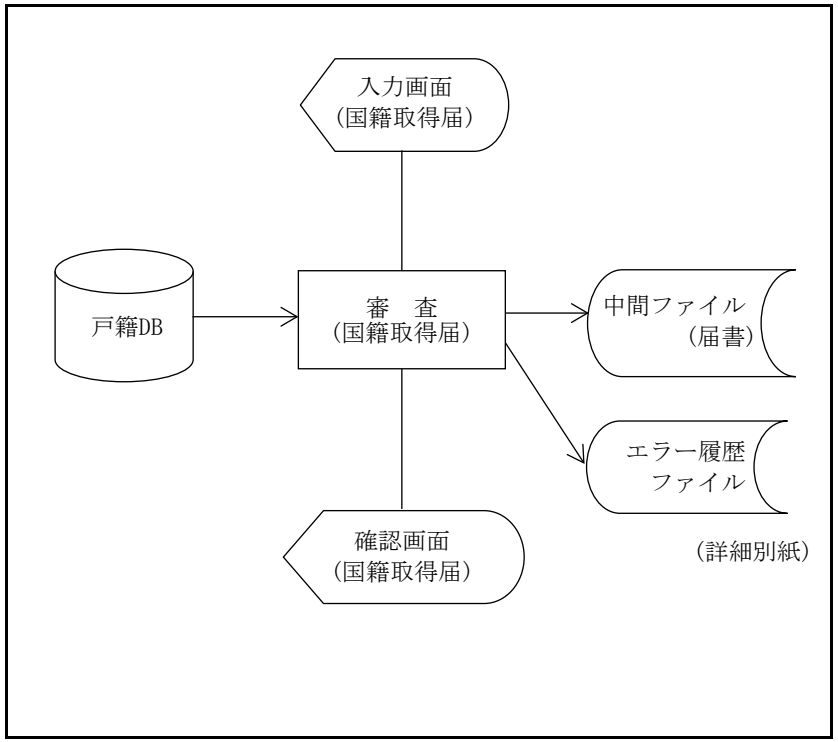
2.国籍取得の処理

・国籍取得は報告的届出であるので、届書ならびに国籍取得証明書の内容をそのまま入力すればよい

・審査は入力ミスを防ぐ目的のものであり、法令審査は行わない(確認メッセージのみの出力)
したがって、法令で不受理となることはない(入力ミスと思われるものをそのまま放置した場合にシステムでは不受理とする)

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(国籍取得届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)国籍取得届の内容を入力する
(2)国籍取得届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)国籍取得届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)国籍取得届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(国籍取得届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
  - 2.1 表示設定
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(国籍取得届)
処理名	0.0　本紙

													備考
(1)届書内容を画面入力する											/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)											/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]										/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]									/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする								/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]								/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]								(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)							/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する							(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する								メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する										
	NO												
PF1	→											(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→											(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)										/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(国籍取得届)を編集する										(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する											
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)										/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(国籍取得届)を編集する										(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する											
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する												入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する												審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する												
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する												

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	審査(国籍取得届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(国籍取得届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	カナ氏名	○	カナ				
10	漢字氏名	○	漢字				
11	従前氏名	○	漢字				
12	従前国籍	○	漢字				
13	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	父氏名		漢字				
15	母氏名		漢字				
16	父母との続柄コード	○	数字	(11:長男 ～ 29:十九男) 又は (31:長女 ～ 49:十九女) であること			
17	国籍取得年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	国籍取得区分	○	数字	(1:国籍法3条、2:国籍法17条1項、3:国籍法17条2項)であること			
19	戸籍変動区分	○	数字	(1:父母の戸籍に入籍する、2:父の戸籍に入籍する、 3:母の戸籍に入籍する、4:国籍喪失時の戸籍に入籍する、			
20	届後本籍	○	漢字				
21	届後戸籍の筆頭者	○	漢字				
22	届後戸籍での筆頭者区分		数字				
23	届後戸籍での配偶者区分		数字				

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	審査(国籍取得届)								
処理名				画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表				入力画面(国籍取得届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	住所		漢字				
25	住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	世帯主区分		数字	(1:世帯主、2:世帯員)であること			
28	世帯主名		漢字				
29	世帯主との続柄コード		数字				
30	15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
31	15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
32	15歳未満の届出人氏名1		漢字				
33	15歳未満の届出人氏名2		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(国籍取得届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(国籍取得届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.4)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.4)発送元 ≠ スペースの時、(No.5)在外送付区分 ≠ 0:(受理分以外)であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 1:(国内からの送付)であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は (No.5)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースの時、(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時、(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日			
11	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.20)届後本籍 ＝ 管内本籍であること			
12	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.20)届後本籍 ＝ 管外本籍であること			
13	(No.10)漢字氏名の氏 ＝ (No.21)届後戸籍の筆頭者の氏であること			
14	(No.13)生年月日から15歳未満の時、(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			受領日から年齢を算出する
15	(No.13)生年月日から15歳以上の時、(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
16				
17				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
18	(No.17)国籍取得年月日 ≦ (No.2)受領日であること			
19	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍)　又は　2(父の戸籍に入籍)　又は 3(母の戸籍に入籍)の時、 (No.22)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員)　かつ (No.23)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)であること			
19-1	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍)の時、 (No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.14)父氏名　又は　(No.15)母氏名であること			
19-2	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 2(父の戸籍に入籍)の時、			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(国籍取得届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(国籍取得届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19-2	(No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.14)父氏名であること			
19-3	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 3(母の戸籍に入籍)の時、 (No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.15)母氏名であること			
20	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 5(新戸籍を編製)の時、 (No.22)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
21	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍する)の時、 (No.14)父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.15)母氏名 ≠ スペース　かつ (No.14)父氏名の氏 ＝ (No.15)母氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏であること			
22	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 2(父の戸籍に入籍する)の時、 (No.14)父氏名 ≠ スペース　かつ　(No.14)父氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏であること			
23	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 3(母の戸籍に入籍する)の時、 (No.15)母氏名 ≠ スペース　かつ　(No.15)母氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏であること			
24	(No.22)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.10)漢字氏名 ＝ (No.21)届後戸籍の筆頭者であること			
25	(No.27)世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、(No.28)世帯主名 ＝ (No.10)漢字氏名であること			
26	(No.27)世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、 (No.29)世帯主との続柄コード ＝ スペース　又は　世帯主(に当たるコード)であること			
27	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.23)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)であること			
28	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
29	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.32)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
30	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.32)15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(国籍取得届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(国籍取得届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの時、 (No.33)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
32	(No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの時、 (No.33)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
33	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は 001(父) 又は 010(養父)の時、 (No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース であれば (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は 002(母) 又は 011(養母)であること			
34	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母) 又は 020(親権者養母) 又は 002(母) 又は 011(養母)の時、 (No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース であれば (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) 又は 019(親権者養父) 又は 001(父) 又は 010(養父)であること			
35	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.33)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
36	(No.24)住所 ＝ スペースの時、(No.28)世帯主名 ＝ スペースであること			
37	(No.28)世帯主名 ≠ スペースの時、(No.24)住所 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(国籍取得届)

処理名	画面名	画面ID	
2.1 表示設定(届出人資格名称の編集)	入力画面(国籍取得届)		

No	内容	備考
1	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　の場合、 15歳未満の届出人資格名称は「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は、資格1のコード内容をそのまま表示 017(親権者母)以降省略
2	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
4	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び母」と表示する	同上
5	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び養母」と表示する	同上
6	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
7	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父母」と表示する	同上
8	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び母」と表示する	同上
9	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び養母」と表示する	同上
10	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者母」と表示する	同上
11	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者養母」と表示する	同上
12	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「父母」と表示する	同上
13	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「父及び養母」と表示する	同上

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(国籍取得届)						

処理名	画面名	画面ID	
2.1 表示設定(届出人資格名称の編集)	入力画面(国籍取得届)		

No	内容	備考
14	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者母」と表示する	同上
15	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び母」と表示する	同上
17	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき、 15歳未満の届出人資格名称は「養父母」と表示する	同上

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(国籍取得届)
処理名	3.0 審査

					備考
(0.01)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/		
YES	(0.02)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する				
	YES	(0.03)→(0.06-1)へ	/		
	NO	→		(0.04)本紙へ	
NO	(0.05)→(0.06-1)へ		/		
(0.06-1)漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)			/		R2.1(国籍取得-52)
YES	(0.06-2)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0.06-3)本紙へ	R2.1(国籍取得-52)
	YES	(0.06-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.06-6)本紙へ	不受理、R2.1(国籍取得-52)
	NO	(0.06-5)→			画面項目修正(審査完了しない)、R2.1(国籍取得-52)
NO	(0.06-7)→(0.1)へ		/		R2.1(国籍取得-52)
(0.1)受領日 < 国籍取得年月日 + 3箇月(YES,NO)			/		戸102
YES	(0.2) → (1)へ		/		
NO	(0.3)エラーメッセージ 「届出期間を経過しています」を表示する			(0.4)審査3.0へ	
(1)国籍取得区分?(1:国籍法3条、2:国籍法17条1項、3:国籍法17条2項)			/		4:改正法附則5条1項、5:改正法附則6条1項を第13版で削除
1	(2)戸籍変動区分?		/		
	1	(3)確認メッセージ 「父の配偶者は国籍取得者の母と同じですね。」を表示する(YESなら(8)へ)		(4)本紙へ	国籍法3条は、実質日本人父認知による国籍取得であるので、出生当時は母外国人である
	2	(5)確認メッセージ 「子は準正嫡出子(父母が婚姻している)ですね。」を表示する(YESなら(8)へ)		(5-1)本紙へ	
	3～4	(6)エラーメッセージ 「戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理してください。」を表示する		(7)本紙へ	
	5	(6-1)確認メッセージ(YES,NO) 「子は非嫡出子(父母が婚姻していない)ですね。」を表示する			国籍法3条の改正対応(H21.1.1)
		YES (6-2)メッセージ 「父に子の国籍取得事項の記録が必要です。父が本籍人であれば、審査結果入力処理			
		NO (6-3)→		(7-1)本紙へ	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(国籍取得届)								
処理名	3.0 審査							備考	
	(8)2022年4月1日 ≦ 国籍取得年月日(YES,NO)			/				民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける	R2.1(国籍取得-50)
	YES	(8-1)生年月日 + 18年(18歳未満) > 国籍取得年月日(YES,NO)		/				民法改正(2022年4月1日)後の審査生年月日と国籍取得年月日で年齢を算出する	R2.1(国籍取得-50)
		YES	(9)→(55)へ	/					R2.1(国籍取得-50)
		NO	(10)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が18歳を超えていますが、問題ありませんね。」を表示する (YESなら(55)へ)		(11)本紙へ				R2.1(国籍取得-50)
	NO	(11-1)生年月日 + 20年(20歳未満) > 国籍取得年月日(YES,NO)		/				民法改正(2022年4月1日)前の審査生年月日と国籍取得年月日で年齢を算出する	R2.1(国籍取得-50)
		YES	(11-2)→(55)へ	/					R2.1(国籍取得-50)
		NO	(11-3)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が20歳を超えていますが、問題ありませんね。」を表示する (YESなら(55)へ)		(11-4)本紙へ				R2.1(国籍取得-50)
2	(12)戸籍変動区分?			/					
	1～3	(13)→(16)へ		/					
	4～5	(14)エラーメッセージ 「戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(15)本紙へ				
	(16)2022年4月1日 ≦ 国籍取得年月日(YES, NO)			/				民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける	R2.1(国籍取得-50)
	YES	(16-1)生年月日 + 18年(18歳未満) > 国籍取得年月日(YES, NO)		/				民法改正(2022年4月1日)後の審査生年月日と国籍取得年月日で年齢を算出する	R2.1(国籍取得-50)
		YES	(17)→(20)へ	/					R2.1(国籍取得-50)
		NO	(18)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が18歳を超えていますが、問題ありませんね。」を表示する (YESなら(20)へ)		(19)本紙へ				R2.1(国籍取得-50)
	NO	(19-1)生年月日 + 20年(20歳未満) > 国籍取得年月日(YES, NO)		/				民法改正(2022年4月1日)前の審査生年月日と国籍取得年月日で年齢を算出する	R2.1(国籍取得-50)
		YES	(19-2)→(20)へ	/					R2.1(国籍取得-50)
		NO	(19-3)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が20歳を超えていますが、問題ありませんね。」を表示する (YESなら(20)へ)		(19-4)本紙へ				R2.1(国籍取得-50)
	(20)住所は日本国内である(住所に入力がある場合)(YES,NO)			/				国籍法17条1項は、日本に住所を有していないといけない	
	YES	(21) → (55)へ		/					
	NO	(22)確認メッセージ 「住所を日本に有していませんが、問題ありませんね。」を表示する(YESなら(55)へ)			(23)本紙へ				
3	(24)戸籍変動区分?			/					

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(国籍取得届)
処理名	3.0 審査

						備考
	1～3	(25)エラーメッセージ 「戸籍変動区分が間違っています。」を表示する		(26)本紙へ		
	4	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「国籍取得者は国籍を喪失した者ですね。」を表示する(YES,NO)				
		YES (28)→(55)へ	/			
		NO (29)エラーメッセージ 「国籍法17条2項は国籍喪失者の国籍取得です。再度内容を確認して下さい。」 を表示する		(30)本紙へ		
	5	(31)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　(妻)である(YES,NO)	/			
		YES (32)エラーメッセージ 「届後戸籍での配偶者区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。」 を表示する		(33)本紙へ		国籍喪失後の婚姻であれば審査結果入力処理。 国籍喪失前の婚姻であれば区分入力間違い
		NO (34) → (35)へ	/			
		(35)確認メッセージ 「国籍取得者は国籍喪失時の戸籍に戻れない理由がありますね。」を表示する (YESなら(55)へ)		(36)本紙へ		
		(37)		(38)		(37)～(54)第13版で削除
		(39)	/			
		(40) → (43)	/			
		(41)		(42)		
		(43)	/			
		(44)		(45)		
		(46) → (55)	/			
		(47)		(48)		
		(49)		(50)		
		(51)	/			
		(52) → (55)		(53)		
		(54)				
(55)届後本籍は管内本籍である(YES,NO)			/			
YES	(56)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)		/			
	YES	(57)届後の戸籍の在籍者で筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の者はいない(YES,NO)	/			
		YES →		(58)本紙へ		審査終了
		NO (59)エラーメッセージ 「入籍戸籍には筆頭者が在籍しています」を表示する				
	NO	→				
NO						

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(国籍取得届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		国籍取得届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							23(国籍取得)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							2(報告的届出)
	渉外区分							1(渉外)を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1:受理 又は 2:不受理をセットする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(国籍取得届)						
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名		国籍取得届入力画面	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	従前氏名			従前氏名				
	従前国籍			従前国籍				
	生年月日			生年月日				
	父個人番号		本籍人検索					父が本籍人の場合設定
	父氏名		国籍取得届入力画面	父氏名				
	母個人番号		本籍人検索					母が本籍人の場合設定
	母氏名		国籍取得届入力画面	母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	国籍取得年月日			国籍取得年月日				
	国籍取得区分			国籍取得区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍コード			届後本籍		有		
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	届後戸籍での筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	住所コード			住所		有		
	住所							
	住民日			住民日				
	住定日			住定日				
	世帯主区分			世帯主区分				
	世帯主名			世帯主名				
	世帯主との続柄コード			世帯主との続柄コード				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				

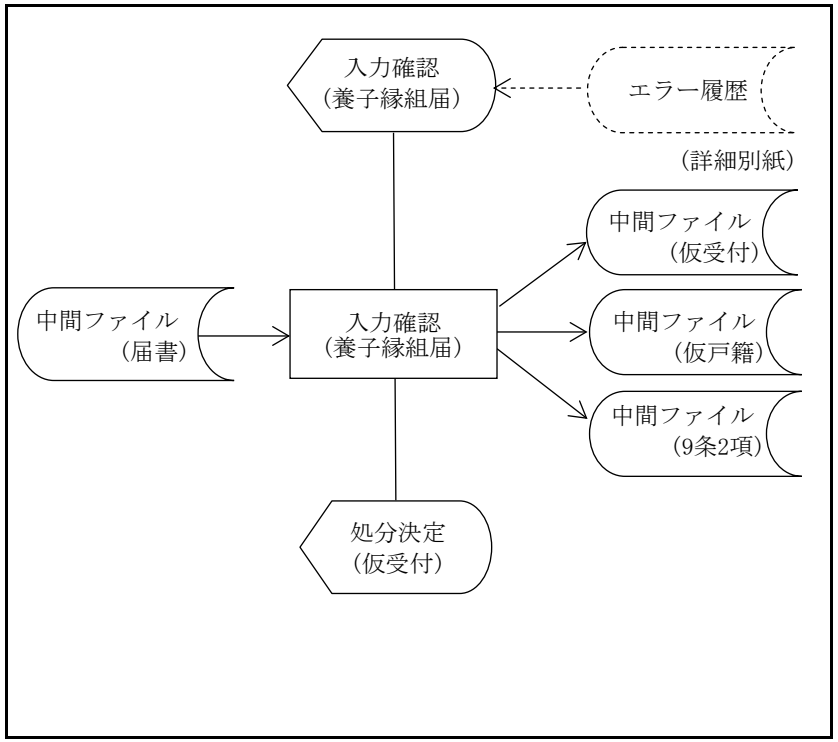
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(国籍取得届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(国籍取得届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 戸籍特定(新戸籍編製)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定(入籍)
  - 5.2 個人特定(新戸籍編製)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 国籍取得者(入籍)
  - 6.2 国籍取得者の配偶者(記録)
  - 6.3 国籍取得者の父(記録)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 国籍取得者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(国籍取得届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する					[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する				[3.0]	/	
	(5)本非区分 ＝ 1(本籍分届)である(YES,NO)					/	
	YES	(6)戸籍変動区分?				/	
		1	(7)国籍取得者の個人特定を編集･出力する		[5.1]	/	
			(8)国籍取得者の身分事項を編集･出力する		[6.1]	/	
			(9)国籍取得者の父母の身分事項に子の国籍取得事項を編集･出力する		[6.3]	/	国籍法3条による国籍取得の場合のみ
		2	(10)国籍取得者の個人特定を編集･出力する		[5.1]	/	
			(11)国籍取得者の身分事項を編集･出力する		[6.1]	/	
			(12)国籍取得者の父の身分事項に子の国籍取得事項を編集･出力する		[6.3]	/	国籍法3条による国籍取得の場合のみ
		3	(13)国籍取得者の個人特定を編集･出力する		[5.1]	/	
			(14)国籍取得者の身分事項を編集･出力する		[6.1]	/	
		4	(15)国籍取得者の個人特定を編集･出力する		[5.1]	/	
			(16)国籍取得者の身分事項を編集･出力する		[6.1]	/	
			(17)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 1(夫)又は2(妻)である(YES,NO)			/	
			YES	(18)国籍取得者の配偶者の身分事項に配偶者の国籍取得事項を編集･出力する	[6.2]	/	
			NO	(19)→(24)へ		/	
		5	(20)国籍取得者の戸籍特定を編集･出力する		[4.1]	/	
			(21)国籍取得者の個人特定を編集･出力する		[5.2]	/	
			(22)国籍取得者の身分事項を編集･出力する		[6.1]	/	
	NO	(23)→(24)へ				/	
	(24)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付　である(YES,NO)					/	
	YES	(25)国籍取得者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する			[7.1]	/	
	NO	→(26)処分決定に制御を渡す					
PF1	→(27)業務選択に制御を渡す						

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF2	→					(28)届出選択に制御を渡す		
PF5	→					(29)審査(国籍取得届)に制御を渡す		
PF7	(30)前ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(31)前ページ分の確認画面(国籍取得届)を編集する				(32)同画面を編集する		
	NO	(33)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する						
PF8	(34)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(35)次ページ分の確認画面(国籍取得届)を編集する				(36)同画面を編集する		
	NO	(37)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する						
PF11	→					(38)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(39)エラーメッセージ　「無効なキーが押下されました」を表示する					(40)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍取得届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
国籍取得届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	カナ氏名		中間ファイル(届書)事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	従前氏名			従前氏名				
	従前国籍			従前国籍				
	生年月日			生年月日				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	父母との続柄名称					有		
	国籍取得年月日			国籍取得年月日				
	国籍取得区分			国籍取得区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	届後戸籍での筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍取得届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			住所コード		有		
				住所				
	住民日			住民日				
	住定日			住定日				
	世帯主区分			世帯主区分				
	世帯主名			世帯主名				
	世帯主との続柄コード			世帯主との続柄コード				
	世帯主との続柄名称					有		
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格1 + 15歳未満の届出人資格2		有		審査2.1「表示設定」を参照
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(国籍取得届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	戸籍変動区分					本非区分		国籍取得区分		国籍取得者の配偶者区分					国籍取得者の戸籍				
	入籍する父母の戸籍に	入籍する父の戸籍に	入籍する母の戸籍に	戸籍に入籍する国籍喪失時の	編製する新戸籍を	本籍分届	非本籍分届	国籍法3条	以外国籍法3条	未	夫	妻	生存配偶者		新戸籍編製 4.1 B.1 5.2 D.1	一部記載 5.1 D.1	一部除籍	全部除籍	変動なし
1	○	×	×	×	×	○	×	○	×	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			6.3 父
2	○	×	×	×	×	○	×	×	○	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			
3	×	○	×	×	×	○	×	○	×	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			6.3 父
4	×	○	×	×	×	○	×	×	○	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			
5	×	×	○	×	×	○	×	－	－	－	－	－	－			6.1 国籍取得者			
6	×	×	×	○	×	○	×	－	－	○	×	×	×			6.1 国籍取得者			
7	×	×	×	○	×	○	×	－	－	×	○	×	×			6.1 国籍取得者			6.2 妻
8	×	×	×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×			6.1 国籍取得者			6.2 妻
9	×	×	×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○			6.1 国籍取得者			
10	×	×	×	×	○	○	×	－	－	－	－	－	－		6.1 国籍取得者				
11	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－						

国籍取得者がある戸籍に入籍するときに、その戸籍に在籍していた者に身分事項が記録される場合はあるが(下記条件)、上記マトリックスの記録以外は訂正・更正で処理する。
①認知している子が国籍取得により入籍してきた場合:子の国籍取得事項を記録
②養子が国籍取得により入籍してきた場合:養子の国籍取得事項を記録
③親が国籍取得により入籍してきた場合:親の国籍取得事項を記録(漢字氏名 ＝ 従前氏名)、又は父母欄の更正及び更正事項の記録(漢字氏名 ≠ 従前氏名)
④養親が国籍取得により入籍してきた場合:養親の国籍取得事項を記録(漢字氏名 ＝ 従前氏名)、又は養父母欄の更正及び更正事項の記録(漢字氏名 ≠ 従前氏名)

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成13年 3月1日	版	5
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2301(国籍取得)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			国籍取得年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1			15歳未満の届出人資格1				
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	届出人資格区分2			15歳未満の届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1～4のとき1 ＝ 5のとき2を設定
	届後本籍コード							
	届後本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成13年 3月1日	版	5
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							本非区分 ＝ 2:非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)
	証書提出区分							0を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき ①父母の本籍 ＝ 管内本籍であれば 1(送付要)を設定 ②国籍喪失時の戸籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 上記以外は0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							38(国籍取得者)
	届出人区分							15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースのとき1を設定 上記以外は0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認2							0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	4.1　国籍取得者(戸籍特定・新戸籍編製)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数							1を設定
	在籍者数							1を設定
	除籍者数							0を設定
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	5.1　国籍取得者(個人特定・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							入籍する戸籍の戸籍番号を設定
	個人記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄コード		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	5.2　国籍取得者(個人特定・新戸籍編製)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	個人記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 送付日　又は 受領日　又は				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄コード		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	入力確認(国籍取得届)								
処理名	6.1　国籍取得者(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2301(国籍取得)
	記録コード								2301(国籍取得者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	国籍取得年月日				
	国籍取得	国籍取得日			国籍取得年月日				
	届出	届出日			受領日				
	届出人(1)	資格			15歳未満の届出人資格1		有		届出人資格1、2が(親権者)父と(親権者)母の場合は「(親権者)父母」を届出人(1)に編集し、届出人(2)はスペース 届出人資格1、2が(親権者)養父　又は(親権者)養母の場合、対応する氏名1、2をそれぞれ設定 届出人資格1が未成年後見人の場合、氏名1を設定
		資格名称							
		氏名			15歳未満の届出人氏名1				
	届出人(2)	資格			15歳未満の届出人資格2		有		
		資格名称							
		氏名			15歳未満の届出人氏名2				
	従前記録	取得の際の国籍			従前国籍				
		従前の氏名			従前氏名				従前氏名 ＝ 漢字氏名　でも設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成26年 3月1日	版	17
作業名	入力確認(国籍取得届)								
処理名	6.1　国籍取得者(入籍)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
		除籍事由								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		入戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	6.2　国籍取得者の配偶者(記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2304(配偶者の国籍取得)
	記録コード								2304(国籍取得者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	配偶者の国籍取得日	配偶者の国籍取得日			国籍取得年月日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名				
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入戸籍	従前籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(国籍取得届)								
処理名	6.3　国籍取得者の父(記録)　編集･出力								

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号									決裁処理で設定
	行番号									
	出力区分									
	タイトルコード									2302(子の国籍取得)
	記録コード									2302(国籍取得者の父母の記録)
	管掌者コード									
	事件発生日				中間ファイル(届書)					
	子の国籍取得	子の国籍取得日				国籍取得年月日				
		子の氏名	続柄			父母との続柄コード		有		
			氏名			漢字氏名				
		子の新本籍	本籍							
			筆頭者							
	入籍	入籍日								
		入籍事由								
	届出	届出日								
		除籍日								
		除籍事由								
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた日								
	入戸籍	従前	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成22年 3月1日	版	13
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	6.3　国籍取得者の父(記録)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍	新本籍							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(国籍取得届)							
処理名	7.1　9条2項(国籍取得者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							23(国籍取得届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名							
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日							
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄							
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者							
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主名				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

第7.2.(5)「異動」処理

23.帰化届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	55	「帰化届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		56		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4		「帰化届」	「届書入力処理誤記一覧_様式統一」による修正 入力確認_2.0 戸籍編製マトリックス表 №29　新戸籍編製欄の記載を修正 「6.1帰化者(夫婦)(配偶者)」→「6.1帰化者(夫婦)(複数)」

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	帰化届

1. 帰化業務処理範囲外の処理

・(養)親に子帰化の記録を行う時、以下に挙げる場合は、審査結果入力で処理を行う

(1)実子と養子が同時に帰化する場合

(2)筆頭者父が死亡している時、養母へ記録を行う場合

(3)配偶者養母が死亡している時、養母へ記録を行う場合

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・15歳以上の未成年者について、本人以外から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2. 帰化の処理

(1)帰化は報告的届出であるので、届書ならびに帰化者の身分証明の内容をそのまま入力すればよい

(2)審査は入力ミスを防ぐ目的のものであり、法令審査は行わない(確認メッセージのみ出力)

したがって、法令で不受理となることはない(入力ミスと思われるものをそのまま放置した場合にシステムでは不受理とする)

(3)一家で帰化する場合が相当数あるので、同一戸籍に入る場合は一処理で行えるようにした

3.その他

・(養)父母の戸籍に入るとき、(養)父母の身分事項欄に記録する子の帰化事項はシステムで自動記録する

但し、以下の(1)、(2)の処理(戸籍変動が異なる処理を同時に行う処理)は除く

(1) (養)父・母につき新戸籍編製で同時帰化者がある場合は別々に処理を行う

戸籍変動が異なる帰化者は同時に処理は行えません

以下の①と②の処理を別々に入力してください。

①一人目の帰化者で(養)父・母で新戸籍編製

②2人目以降の帰化者が①の新戸籍に入籍

(2) 夫婦の片方(日本人配偶者有り)で夫(妻)の氏で新戸籍編製となる届で、同時帰化者がある場合(配偶者と子の同時帰化)、別々に処理を行う

戸籍変動が異なる帰化者は同時に処理は行えません

以下の①と②を別々に入力して下さい

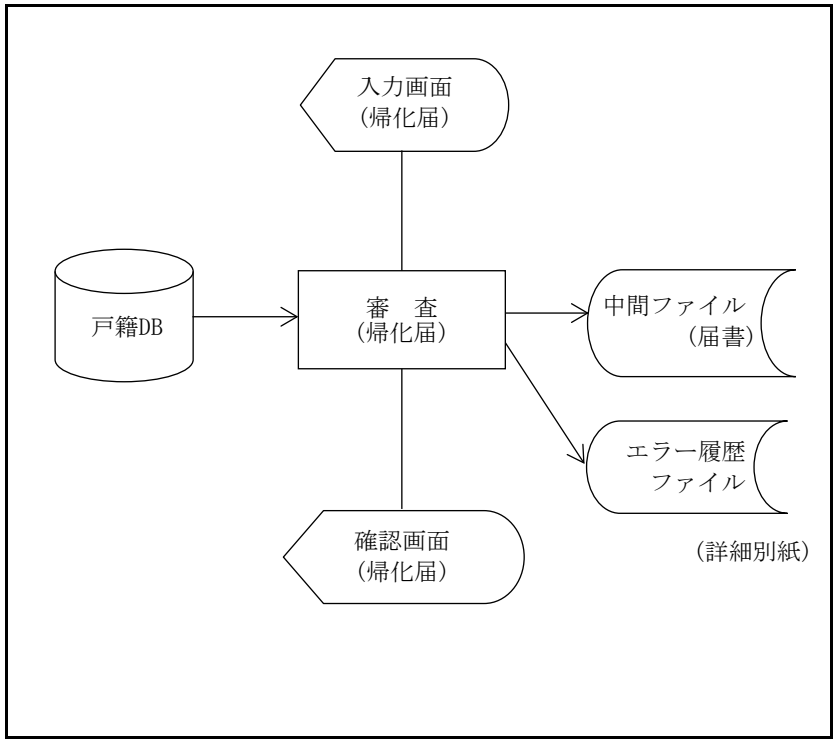
①夫(妻)の氏で新戸籍編製

②同時帰化者が①の戸籍に入籍

・他戸籍にいる(養)父母の身分事項欄に記録する子の帰化事項は、審査結果入力で処理する

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)帰化届の内容を入力する
(2)帰化届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)帰化届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)帰化届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(帰化届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
  - 2.1 表示設定
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(帰化届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)届書内容を画面入力する					/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)					/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする		/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]		/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
				審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO						
PF1	→					(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)				/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(帰化届)を編集する				(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する					
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)				/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(帰化届)を編集する				(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する					
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する						
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する						

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
3	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
4	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	発送元		漢字				
7	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
9	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
11	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	帰化者カナ氏名	○	カナ				
13	帰化者漢字氏名	○	漢字				
14	帰化者従前氏名	○	漢字				
15	帰化者従前国籍	○	漢字				
16	帰化者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	帰化者配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻)であること			生存配偶者は無い
18	公示年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	帰化者父氏名		漢字				
20	帰化者父の本･国籍		漢字				
21	帰化者母氏名		漢字				
22	帰化者母の本･国籍		漢字				
23	帰化者父母との続柄コード	○	数字	11(長男)～29(十九男)又は31(長女)～49(十九女)であること			
24	帰化者住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
25	帰化者住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	帰化者住所		漢字				
27	帰化者世帯主区分		数字	(1:世帯主、2:世帯員)であること			
28	帰化者世帯主との続柄コード		数字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
29	帰化者世帯主名		漢字				
30	帰化者15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
31	帰化者15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
32	帰化者15歳未満の届出人氏名1		漢字				
33	帰化者15歳未満の届出人氏名2		漢字				
34	帰化者妻カナ氏名		カナ				
35	帰化者妻漢字氏名		漢字				
36	帰化者妻従前氏名		漢字				
37	帰化者妻住前国籍		漢字				
38	帰化者妻生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
39	帰化者妻父氏名		漢字				
40	帰化者妻父の本･国籍		漢字				
41	帰化者妻母氏名		漢字				
42	帰化者妻母の本･国籍		漢字				
43	帰化者妻父母との続柄コード		数字	31(長女)～49(十九女)であること			
44	帰化者妻住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
45	帰化者妻住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	帰化者妻住所		漢字				
47	帰化者妻世帯主区分		数字	(1:世帯主、2:世帯員)であること			
48	帰化者妻世帯主との続柄コード		数字				
49	帰化者妻世帯主名		漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	戸籍変動区分	○	数字	(1:帰化者だけで新戸籍編製、 2:(養)父・母の戸籍に入籍、 3:(養)父・母で新戸籍編製、 4:日本人配偶者の戸籍に入籍、 5:日本人配偶者で新戸籍編製、 6:夫の氏の新戸籍編製、 7:妻の氏の新戸籍編製)であること			
51	届後本籍	○	漢字				
52	届後戸籍の筆頭者	○	漢字				
53	帰化記載者資格1		数字	(001:父、010:養父、011:養母)であること			
54	帰化記載者資格2		数字	(001:父、010:養父、011:養母)であること			
55	養/父母カナ氏名		カナ				
56	養/父母漢字氏名		漢字				
57	養/父母本籍		漢字				
58	養/父母筆頭者		漢字				
59	養/父母父氏名		漢字				
60	養/父母母氏名		漢字				
61	養/父母父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
62	養/父母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
63	養/父母住所		漢字				
64	連署人筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
65	連署人配偶者区分		漢字	(1:夫、2:妻)であること			
66	連署人カナ氏名		カナ				
67	連署人漢字氏名		漢字				
68	連署人本籍		漢字				
69	連署人筆頭者		漢字				
70	連署人父氏名		漢字				
71	連署人母氏名		漢字				
72	連署人父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
73	連署人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
74	連署人住所		漢字				
75	同時帰化者nカナ氏名		カナ				
76	同時帰化者n漢字氏名		漢字				
77	同時帰化者n従前氏名		漢字				
78	同時帰化者n従前国籍		漢字				
79	同時帰化者n生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
80	同時帰化者n父氏名		漢字				
81	同時帰化者n父の本・国籍		漢字				
82	同時帰化者n母氏名		漢字				
83	同時帰化者n母の本・国籍		漢字				
84	同時帰化者n父母との続柄コード		数字	11(長男)～29(十九男)又は 31(長女)～49(十九女)であること			
85	同時帰化者n住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
86	同時帰化者n住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
87	同時帰化者n住所		漢字				
88	同時帰化者n世帯主区分		数字	(1:世帯主、2:世帯員)であること			
89	同時帰化者n世帯主との続柄コード		数字				
90	同時帰化者n世帯主名		漢字				
91	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			
92	同時帰化者n15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、001:父、002:母、010:養父、011:養母)であること			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(帰化届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
93	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1		漢字				
94	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2		漢字				
95	同時帰化者n帰化記載者資格1		数字	(001:父、010:養父、011:養母)であること			
96	同時帰化者n帰化記載者資格1		数字	(001:父、010:養父、011:養母)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(帰化届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.5)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.5)送付日 ≠ スペースの時、(No.6)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.5)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)送付日 ≧ (No.4)受領日であること			
4	(No.5)送付日 ＝ スペースの時、(No.7)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.6)発送元 ≠ スペースの時、(No.7)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.6)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.7)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.6)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.7)在外送付区分 ＝ 2(在外公館からの直接送付)　又は (No.7)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.9)処理日 ≠ スペースの時、(No.9)処理日 ＞ (No.4)受領日であること			
9	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.5)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.11)郵送日≦(No.4)受領日であること			
11	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)の時、 (No.34)帰化者妻のカナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　がスペースであること			
12	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)の時、 (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　がスペースであること			
13	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)の時、(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 0(未)であること			
14	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)　又は　2((養)父･母の戸籍に入籍)　又は 3((養)父･母で新戸籍編製)であること			
15	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)の時、 (No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　がスペースであること			
16	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)の時、 (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　のいずれかに入力があること			
17	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)の時、 (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)　又は　2(妻)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(帰化届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有) かつ (No.7)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.65)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
19	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有) かつ (No.7)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.65)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
20	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 4(日本人配偶者の戸籍に入籍) 又は 6(夫の氏の新戸籍編製) 又は 7(妻の氏の新戸籍編製)であること			
21	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)の時、 (No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名 がスペースであること			
22	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)の時、 (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所 がスペースであること			
23	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)の時、 (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫) 又は 2(妻)であること			
24	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)であること			
25	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名 のいずれかに入力があること			
26	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所 がスペースであること			
27	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
28	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) 又は 7(妻の氏の新戸籍編製)であること			
29	(No.2)同時帰化者 ＝ 0の時、 (No.75)同時帰化者nカナ氏名～(No.96)同時帰化者n帰化記載者資格2 がスペースであること			
30	(No.2)同時帰化者 ＞ 0の時、 (No.75)同時帰化者nカナ氏名～(No.96)同時帰化者n帰化記載者資格2 のいずれかに入力があること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.2)同時帰化者>0の時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父・母の戸籍に入籍)　又は 4(日本人配偶者の戸籍に入籍)であること			10版にて追加
32	(No.16)帰化者生年月日から年齢が15歳未満の時、 (No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)　かつ (No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
33	(No.16)帰化者生年月日から年齢が15歳以上の時、 (No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
34	(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)の時、 (No.23)帰化者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
35	(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)の時、 (No.23)帰化者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
36	(No.19)帰化者父氏名 ＝ スペースの時、(No.20)帰化者父の本・国籍 ＝ スペースであること			
37	(No.19)帰化者父氏名 ≠ スペースの時、(No.20)帰化者父の本・国籍 ≠ スペースであること			
38	(No.21)帰化者母氏名 ＝ スペースの時、(No.22)帰化者母の本・国籍 ＝ スペースであること			
39	(No.21)帰化者母氏名 ≠ スペースの時、(No.22)帰化者母の本・国籍 ≠ スペースであること			
40				8.3版　続柄の記載更正(申出)により削除
41				
42	(No.27)帰化者世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、 (No.29)帰化者世帯主名 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
43	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　かつ (No.32)帰化者15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペース　かつ (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
44	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.32)帰化者15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
45	(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの時、 (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
45-1	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.32)届出人資格氏名1 ≠ スペース　かつ　(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
45-1	(No.32)届出人資格氏名1 ≠ スペース　かつ　(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース かつ　(No.33)届出人資格氏名2 ＝ スペースであること			
46	(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの時、 (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
47	(No.34)帰化者妻カナ氏名 ≠ スペースの時、 (No.35)帰化者妻漢字氏名 ≠ スペース　かつ　(No.36)帰化者妻従前氏名 ≠ スペース　かつ (No.37)帰化者妻従前国籍 ≠ スペース　かつ　(No.38)帰化者妻生年月日 ≠ スペース　かつ (No.43)帰化者妻父母との続柄コード ≠ スペースであること			
48	(No.39)帰化者妻父氏名 ＝ スペースの時、(No.40)帰化者妻父の本･国籍 ＝ スペースであること			
49	(No.39)帰化者妻父氏名 ≠ スペースの時、(No.40)帰化者妻父の本･国籍 ≠ スペースであること			
50	(No.41)帰化者妻母氏名 ＝ スペースの時、(No.42)帰化者妻母の本･国籍 ＝ スペースであること			
51	(No.41)帰化者妻母氏名 ≠ スペースの時、(No.42)帰化者妻母の本･国籍 ≠ スペースであること			
52				8.3版　続柄の記載更正(申出)により削除
53				
54	(No.47)帰化者妻世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、 (No.52)帰化者妻世帯主名 ＝ (No.35)帰化者妻漢字氏名であること			
55	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)の時、 (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
56				
56-1	(No.53)帰化記載者資格1 ≠ スペースの時、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父･母の戸籍に入籍)　又は 3((養)父･母で新戸籍編製)であること			
56-2	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)～6(夫の氏の新戸籍編製)の時、 (No.13)帰化者漢字氏名の氏 ＝ (No.52)届後戸籍の筆頭者の氏であること			
56-3	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)～6(夫の氏の新戸籍編製)の時、 (No.35)帰化者妻漢字氏名の氏 ＝ (No.52)届後戸籍の筆頭者の氏であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(帰化届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
56-4	(No.76)同時帰化者n漢字氏名 ≠ スペース　の時、 (No.76)同時帰化者n漢字氏名 ＝ (No.52)届後戸籍の筆頭者の氏であること			
57	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)の時、 (No.55)養/父母カナ氏名 ≠ スペース　かつ　(No.56)養/父母漢字氏名 ≠ スペース　かつ (No.57)養/父母本籍 ≠ スペース　かつ　(No.58)養/父母筆頭者 ≠ スペース　かつ (No.61)養/父母父母との続柄コード ≠ スペース　かつ (No.62)養/父母生年月日 ≠ スペースであること			
57-1	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)の時、 (No.53)帰化記載者資格1 ＝ スペース　又は　011(養母)であれば (No.61)養/父母父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
57-2	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)の時、 (No.53)帰化記載者資格1 ＝ 001(父)　又は　010(養父)であれば (No.61)養/父母父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
58	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 4(日本人配偶者の戸籍に入籍)の時、 (No.61)連署人筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　かつ　(No.51)届後本籍 ＝ (No.68)連署人本籍　かつ (No.52)届後戸籍の筆頭 ＝ (No.67)連署人漢字氏名であること			
59				
60	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)　かつ (No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方(日本人配偶者有))の時、 (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)　かつ (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
61	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)　かつ (No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
62	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製)　かつ (No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方(日本人配偶者有))の時、 (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)　かつ (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名であること			
63	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製)　かつ (No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)の時、 (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.35)帰化者妻漢字氏名であること			
64	(No.50)戸籍変動区分 ≠ 3((養)父･母で新戸籍編製)の時、 (No.55)養/父母カナ氏名～(No.63)養/父母住所　がスペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
65	(No.50)戸籍変動区分 ≠ 2((養)父・母の戸籍に入籍) かつ 3((養)父・母で新戸籍編製)の時、 (No.53)帰化記載者資格1～(No.54)帰化記載者資格2 がスペースであること			
66				審査(37)に移行
67				審査(37)に移行
68	(No.64)連署人筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時、 (No.67)連署人漢字氏名 ＝ (No.69)連署人筆頭者であること			
69				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
70	(No.65)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.70)連署人父氏名 ≠ スペース かつ (No.71)連署人母氏名 ≠ スペースの時、 (No.72)連署人父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
71				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
72	(No.65)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.70)連署人父氏名 ≠ スペース 又は (No.71)連署人母氏名 ≠ スペースの時、 (No.72)連署人父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
73	(No.2)同時帰化者数>0の時、 (No.75)同時帰化者nカナ氏名 ≠ スペース かつ (No.76)同時帰化者n漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.77)同時帰化者n従前氏名 ≠ スペース かつ (No.78)同時帰化者n従前国籍 ≠ スペース かつ (No.79)同時帰化者n生年月日 ≠ スペース かつ			
74	(No.16)帰化者生年月日 ≦ (No.79)同時帰化者n生年月日であること			同時帰化者は年少者
75	(No.2)同時帰化者数 > 1の時、 (No.79)同時帰化者n生年月日 ≧ 同時帰化者(n-1)生年月日であること			同時帰化者は戸籍に記録される順番に入力する(年長順)
76	(No.79)同時帰化者n生年月日 から 同時帰化者nの年齢が15歳未満の時、 (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
77	(No.79)同時帰化者n生年月日 から 同時帰化者nの年齢が15歳未満の時、 (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
78	(No.80)同時帰化者n父氏名 ＝ スペースの時、 (No.81)同時帰化者nの父の本･国籍 ＝ スペースであること			
79	(No.80)同時帰化者n父氏名 ≠ スペースの時、 (No.81)同時帰化者nの父の本･国籍 ≠ スペースであること			
80	(No.82)同時帰化者n母氏名 ＝ スペースの時、 (No.83)同時帰化者nの母の本･国籍 ＝ スペースであること			
81	(No.82)同時帰化者n母氏名 ≠ スペースの時、 (No.83)同時帰化者nの母の本･国籍 ≠ スペースであること			
82				8.3版 続柄の記載更正 (申出)により削除
83				
84	(No.88)同時帰化者n世帯主区分 ＝ 1(世帯主)の時、 (No.90)同時帰化者n世帯主名 ＝ (No.76)同時帰化者n漢字氏名であること			
85	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの時、 (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　かつ (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペース　かつ (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
86	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの時、 (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
86-1	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペース　かつ (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　かつ (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
87	(No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの時、 (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペースであること			
88	(No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの時、 (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			
89				
90	(No.95)同時帰化者n帰化記載者資格1 ＝ スペースの時、			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(帰化届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
90	(No.96)同時帰化者n帰化記載者資格2 ＝ スペースであること			
91	(No.26)帰化者住所 ＝ スペースの時、(No.29)帰化者世帯主名 ＝ スペースであること			
92	(No.29)帰化者の世帯主名 ≠ スペースの時、(No.26)帰化者住所 ≠ スペースであること			
93	(No.46)帰化者妻住所 ＝ スペースの時、(No.49)帰化者妻世帯主名 ＝ スペースであること			
94	(No.49)帰化者妻世帯主名 ≠ スペースの時、(No.26)帰化者妻住所 ≠ スペースであること			
95	(No.87)同時帰化者n住所 ＝ スペースの時、(No.90)同時帰化者n世帯主名 ＝ スペースであること			
96	(No.90)同時帰化者n世帯主名 ≠ スペースの時、(No.87)同時帰化者n住所 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(帰化届)

処理名	画面名	画面ID	
2.1 条件設定(届出人資格名称の編集)	入力画面(帰化届)		

No	内容	備考
1	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は、資格1のコード内容をそのまま表示 017(親権者母)以降省略 (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1　と (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2　による 同時帰化者m15歳未満の届出人資格名称　も 左記と同じ変換･表示を行う
2	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
4	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び母」と表示する	同上
5	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び養母」と表示する	同上
6	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
7	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父母」と表示する	同上
8	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び母」と表示する	同上
9	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び養母」と表示する	同上
10	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者母」と表示する	同上
11	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者養母」と表示する	同上
12	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父母」と表示する	同上
13	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時	同上

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.1 条件設定(届出人資格名称の編集)		入力画面(帰化届)					

No	内容	備考
13	(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「父及び養母」と表示する	
14	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者母」と表示する	同上
15	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「養父及び母」と表示する	同上
17	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の時、 帰化者15歳未満の届出人資格名称は「養父母」と表示する	同上

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(帰化届)
処理名	3.0審査

						備考
(0.001)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0.002)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0.003)→(0.006-1)へ		/		
	NO	→			(0.004)本紙へ	
NO	(0.005)→(0.006-1)へ			/		
(0.006-1)(帰化者の漢字氏名≠未入力 かつ 帰化者の漢字氏名の名が未入力) 又は (夫の漢字氏名≠未入力 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) 又は (妻の漢字氏名≠未入力 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力) 又は (養父の漢字氏名≠未入力 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) 又は (養母の漢字氏名≠未入力 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) 又は (連署人の漢字氏名≠未入力 かつ 連署人の漢字氏名の名が未入力) 又は (同時帰化者nの漢字氏名≠未入力 かつ 同時帰化者nの漢字氏名の名が未入力) (YES,NO)				/		R2.1(帰化-53)
YES	(0.006-2)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			/	(0.006-3)本紙へ	R2.1(帰化-53)
	YES	(0.006-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0.006-6)本紙へ	不受理 R2.1(帰化-53)
	NO	(0.006-5)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(帰化-53)
NO	(0.006-7)→(0.01)へ			/		R2.1(帰化-53)
(0.01)受領日 < 公示年月日 + 1 箇月(YES,NO)				/		戸102の2
YES	(0.02)→(0.1)へ			/		
NO	(0.03)確認メッセージ(YES,NO) 「告知日から1箇月を経過していますが、交付日から1箇月は経過していませんね?」を表示する					
	YES	(0.04)→(0.1)へ		/		
	NO	→			(0.05)本紙へ	不受理
(0.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)である(YES,NO)				/		
YES	(0.2)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.3)同時帰化者数 > 0(同時に帰化する者がいる)である(YES,NO)		/		
		YES	(0.4)確認メッセージ(YES,NO) 「同時に帰化する者は帰化者と(養)親子関係にありますね?」を表示する		(0.5)本紙へ	
		YES	(0.6)→(25.1)へ	/		
		NO	→		(0.7)本紙へ	不受理
	NO		(0.8)→(25.1)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(帰化届)
処理名	3.0審査

						備考
	NO	(0.9)→(25.1)へ		/		
NO		(0.10)→(1)へ		/		
(1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES,NO)				/		
YES		(2)連署人筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)		/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「連署人が構成員なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(4)本紙へ	連署人は外国人と婚姻中であるので筆頭者のはずであるが、改正国籍法前の婚姻であれば父母の戸籍にいる可能性もある
	NO	(5)→(25.1)へ		/		
	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「連署人は帰化者と婚姻していますね。」を表示する				(7)本紙へ	
	YES	(8)→(25.1)へ		/		
	NO	(9)エラーメッセージ 「帰化種別か連署人指定に間違いがあります。」を表示する			(10)本紙へ	
	(10.1-1)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 連署人父氏名 ＝ スペース 又は 連署人母氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(10.1-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(10.1-3)→(25.1)	/		
		NO	(10.1-4)		(10.1-5)本紙へ	不受理
	NO	(10.1-6)連署人父母との続柄コード ＝ 10(男)である(YES,NO)		/		
		YES	(10.1-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する			
			YES (10.1-8)→(25.1)	/		
			NO (10.1-9)		(10.1-10)本紙へ	不受理
		NO	(10.1-11)→(25.1)	/		
	(10.2-1)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ 連署人父氏名 ＝ スペース 又は 連署人母氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(10.2-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する				
		YES	(10.2-3)→(25.1)	/		
		NO	(10.2-4)		(10.2-5)本紙へ	不受理

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(帰化届)
処理名	3.0審査

						備考
	NO	(10.2-6)連署人父母との続柄コード ＝ 30(女)である(YES,NO)		/		
		YES (10.2-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」を表示する				
		YES (10.2-8)→(25.1)		/		
		NO (10.2-9)			(10.2-10)本紙へ	不受理
		NO (10.2-11)→(25.1)		/		
NO	(11)→(12)へ			/		
(12)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)である(YES,NO)				/		
YES	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「帰化者の配偶者は同時に帰化していませんね。」を表示する				(14)本紙へ	
	YES	(15)→(25.1)		/		
	NO	(16)エラーメッセージ 「夫婦の帰化を選択して下さい。」を表示する			(17)本紙へ	
NO	(18)→(25.1)へ			/		
(19)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)である(YES,NO)				/		
YES	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「帰化者同士婚姻してますね。」を表示する				(21)本紙へ	
	YES	(22)→(25.1)		/		
	NO	(23)エラーメッセージ 「帰化種別が間違っています。」を表示する			(24)本紙へ	
NO	(25)→(25.1)へ			/		
(25.1)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父母の戸籍に入る)である(YES,NO)				/		
YES	(26)帰化記載者資格1 ＝ 001(父) 又は 帰化記載者資格2 ＝ 001(父)である(YES,NO)			/		
	YES	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「父は帰化者を認知していますね。」を表示する			(28)本紙へ	
		YES (29)→(32)へ		/		
		NO (29.1)エラーメッセージ 「帰化記載者資格に父を入力する必要はありません。」を表示する			(30)本紙へ	
	NO	(31)→(32)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(帰化届)
処理名	3.0審査

							備考
	(32)同時帰化者n帰化記載者資格1 ＝ 001(父)　又は 同時帰化者n帰化記載者資格2 ＝ 001(父)である(YES,NO)				/		
	YES	(33)確認メッセージ(YES,NO) 「父は帰化者を認知していますね。」を表示する				(34)本紙へ	
		YES	(34.0)→(37)へ		/		
		NO	(34.1)エラーメッセージ 「帰化記載者資格に父を入力する必要はありません。」を表示する				
	NO	(35)→(37)へ			/		
NO	(36)→(37)へ				/		
(37)届後本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)					/		
YES	(38)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)				/		
	YES	→					審査終了
	NO	(39)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する				(40)本紙へ	
NO	(41)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES,NO)				/		
	YES	(42)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)　かつ (養)父/母本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)			/		
		YES	(43)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)		/		
			YES	→			審査終了
			NO	(44)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する		(45)本紙へ	
		NO	(46)→(47)へ		/		
		(47)(戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)　又は　7(妻の氏の新戸籍編製)) かつ　帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有) かつ　連署人本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)			/		
		YES	(48)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)		/		
			YES	→			審査終了
			NO	(49)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する		(50)本紙へ	
		NO	(51)本非区分 ＝ 2(非本籍分届出)である(YES,NO)		/		
			YES	→			審査終了

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名				審査(帰化届)						
処理名				3.0審査					備考	
			NO	(52)エラーメッセージ 「本非区分は2(非本籍)でなければなりません」を表示する		(53)本紙へ				
	NO			(54)本非区分 ＝ 2(非本籍分届出)である(YES,NO)	/					
		YES	→						審査終了	
		NO		(55)エラーメッセージ 「本非区分は2(非本籍)でなければなりません」を表示する		(56)本紙へ				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		帰化届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							24(帰化届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1(受理) 在外送付区分 ≠ 0のとき2(送付)
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							連署人本籍が管内本籍のとき、その戸籍番号を設定 養/父母本籍が管内本籍のとき、その戸籍番号を設定
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							
中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化種別		帰化届入力画面	帰化種別				
	同時帰化者数			同時帰化者数				
	帰化者カナ氏名			帰化者カナ氏名				
	帰化者漢字氏名			帰化者漢字氏名				
	帰化者従前氏名			帰化者従前氏名				
	帰化者従前国籍			帰化者従前国籍				
	帰化者生年月日			帰化者生年月日				
	帰化者配偶者区分			帰化者配偶者区分				
	公示年月日			公示年月日				
	帰化者父氏名			帰化者父氏名				
	帰化者父の本籍コード			帰化者父の本・国籍		有		
	帰化者父の本・国籍							
	帰化者母氏名			帰化者母氏名				
	帰化者母の本籍コード			帰化者母の本・国籍		有		
	帰化者母の本・国籍							
	帰化者父母との続柄コード			帰化者父母との続柄コード				
	帰化者住民日			帰化者住民日				
	帰化者住定日			帰化者住定日				
	帰化者住所コード			帰化者住所		有		
	帰化者住所							
	帰化者世帯主区分			帰化者世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄コード			帰化者世帯主との続柄コード				
	帰化者世帯主名			帰化者世帯主名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	帰化者15歳未満の届出人資格1			帰化者15歳未満の届出人資格1				
	帰化者15歳未満の届出人資格2			帰化者15歳未満の届出人資格2				
	帰化者15歳未満の届出人氏名1			帰化者15歳未満の届出人氏名1				
	帰化者15歳未満の届出人氏名2			帰化者15歳未満の届出人氏名2				
	帰化者妻カナ氏名			帰化者妻カナ氏名				
	帰化者妻漢字氏名			帰化者妻漢字氏名				
	帰化者妻従前氏名			帰化者妻従前氏名				
	帰化者妻従前国籍			帰化者妻従前国籍				
	帰化者妻生年月日			帰化者妻生年月日				
	帰化者妻父氏名			帰化者妻父氏名				
	帰化者妻父の本籍コード			帰化者妻父の本・国籍		有		
	帰化者妻父の本・国籍							
	帰化者妻母氏名			帰化者妻母氏名				
	帰化者妻母の本籍コード			帰化者妻母の本・国籍		有		
	帰化者妻母の本・国籍							
	帰化者妻父母との続柄コード			帰化者妻父母との続柄コード				
	帰化者妻住民日			帰化者妻住民日				
	帰化者妻住定日			帰化者妻住定日				
	帰化者妻住所コード			帰化者妻住所		有		
	帰化者妻住所							
	帰化者妻世帯主区分			帰化者妻世帯主区分				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	帰化者妻世帯主との続柄コード			帰化者妻世帯主との続柄コード				
	帰化者妻世帯主名			帰化者妻世帯主名				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍コード			届後本籍		有		
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	帰化記載者資格1			帰化記載者資格1				
	帰化記載者資格2			帰化記載者資格2				
	養/父母カナ氏名			養/父母カナ氏名				
	養/父母漢字氏名			養/父母漢字氏名				
	養/父母本籍コード			養/父母本籍		有		
	養/父母本籍							
	養/父母筆頭者			養/父母筆頭者				
	養/父母父氏名			養/父母父氏名				
	養/父母母氏名			養/父母母氏名				
	養/父母父母との続柄コード			養/父母父母との続柄コード				
	養/父母生年月日			養/父母生年月日				
	養/父母住所コード			養/父母住所		有		
	養/父母住所							
	連署人筆頭者区分			連署人筆頭者区分				
	連署人配偶者区分			連署人配偶者区分				
	連署人カナ氏名			連署人カナ氏名				
	連署人漢字氏名			連署人漢字氏名				
	連署人本籍コード			連署人本籍		有		
	連署人本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	連署人筆頭者			連署人筆頭者				
	連署人父氏名			連署人父氏名				
	連署人母氏名			連署人母氏名		有		
	連署人父母との続柄コード			連署人父母との続柄コード				
	連署人生年月日			連署人生年月日				
	連署人住所コード			連署人住所		有		
	連署人住所							
	同時帰化者nカナ氏名			同時帰化者nカナ氏名				
	同時帰化者n漢字氏名			同時帰化者n漢字氏名				
	同時帰化者n従前氏名			同時帰化者n従前氏名				
	同時帰化者n従前国籍			同時帰化者n従前国籍				
	同時帰化者n生年月日			同時帰化者n生年月日				
	同時帰化者n父氏名			同時帰化者n父氏名				
	同時帰化者n 父の本籍コード			同時帰化者n父の本・国籍		有		
	同時帰化者n父の本・国籍							
	同時帰化者n母氏名			同時帰化者n母氏名				
	同時帰化者n 母の本籍コード			同時帰化者n母の本・国籍		有		
	同時帰化者n母の本・国籍							
	同時帰化者n 父母との続柄コード			同時帰化者n 父母との続柄コード				
	同時帰化者n住民日			同時帰化者n住民日				
	同時帰化者n住定日			同時帰化者n住定日				
	同時帰化者n住所コード			同時帰化者n住所		有		
	同時帰化者n住所							
	同時帰化者n世帯主区分			同時帰化者n世帯主区分				

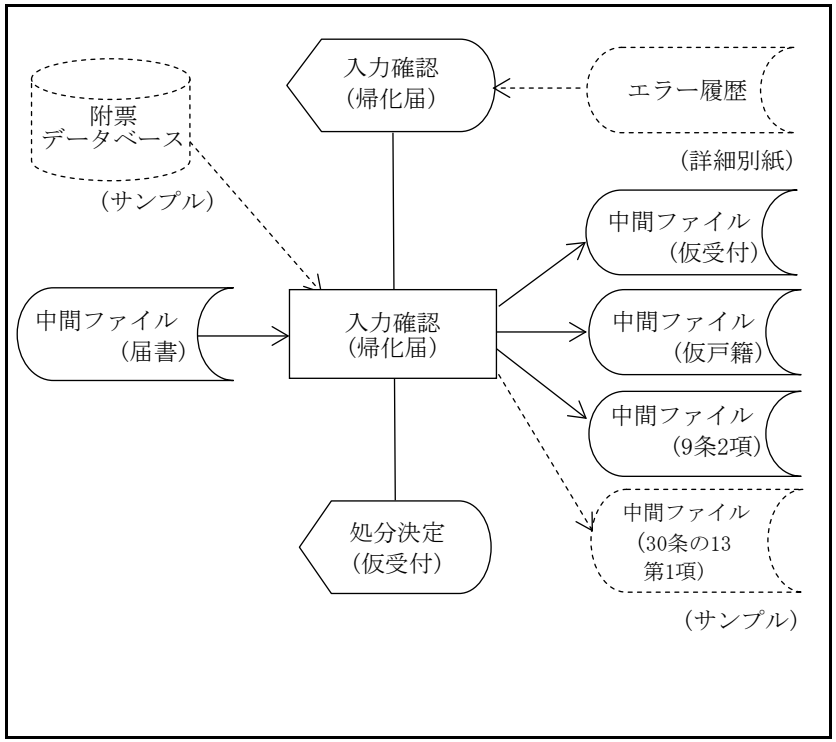
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同時帰化者n 世帯主との続柄コード			同時帰化者n 世帯主との続柄コード				
	同時帰化者n世帯主名			同時帰化者n世帯主名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(帰化届)							
処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格1			同時帰化者n 15歳未満の届出人資格1				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格2			同時帰化者n 15歳未満の届出人資格2				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名1			同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名1				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名2			同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名2				
	同時帰化者n 帰化記載者資格1			同時帰化者n 帰化記載者資格1				
	同時帰化者n 帰化記載者資格2			同時帰化者n 帰化記載者資格2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(帰化届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 帰化(3.2の条件以外)
  - 3.2 その他(除籍配偶者(送付･除籍のみ)) 又は (除籍(養)父母(送付･除籍のみ))
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 戸籍特定(新戸籍編製) ※ひな型A.1に対応
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定 ※ひな型C.1に対応
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 帰化者
  - 6.2 帰化者の日本人配偶者(入籍)
  - 6.3 帰化者の日本人配偶者(除籍)
  - 6.4 帰化者の日本人配偶者(記録)
  - 6.5 帰化者の父又は母(入籍)
  - 6.6 帰化者の養父又は養母(入籍)
  - 6.7 帰化者の父又は母(除籍)
  - 6.8 帰化者の養父又は養母(除籍)
  - 6.9 帰化者の父(記録)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 帰化者
  - 7.2 帰化者の日本人配偶者
  - 7.3 帰化者の(養)父母
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 帰化者の日本人配偶者
  - 8.2 帰化者の(養)父母

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(帰化届)					
処理名	0.0　本紙					

					備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」	[1.0]	/			
(2)キー選択(実行キー、 PF1、 PF2、 PF5、 PF7、 PF8、 PF11、 その他)		/			
実行キー (3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する	[2.0]	/			
(4)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)である(YES, NO)		/			※1 受付ファイルは帰化者だけに作成する 作成順序は ･夫婦の帰化の場合 ①帰化後筆頭者になる者 ②帰化後の筆頭者の配偶者 ③同時に処理した帰化者 (年上順:チェックにより入力順で構わない) ･夫婦の帰化以外の場合 ①主たる帰化者 ②同時に処理した帰化者 ※2 連署人に入力があり、連署人が除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 6、 7の一部)において、連署人の本籍地と新戸籍編製地が異なる場合、連署人の本籍地へ除籍の届出書送付があったときに限り、連署人を本籍人として受付ファイルを作成する([3.2]のデータ編集表) 上記の事例で連署人の本籍地へ帰化届出があった場合はこの限りでない(帰化者についてのみ受付ファイルを作成する) 同様、(養)父母が除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 3)において(養)父･母の本籍地と新戸籍編製地が異なる場合、(養)父･母の本籍地へ除籍の届書送付があったときに限り、(養)父･母を本籍人として受付ファイルを作成する([3.2]のデータ編集表) 上記の事例で(養)父･母の本籍地へ帰化届出があった場合はこの限りでない(帰化者についてのみ受付ファイルを作成する)
YES (5)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES, NO)		/			
YES (6)届後本籍 ＝ 管外本籍である(YES, NO)		/			
YES (7)養/父母本籍 ＝ 管内本籍である(YES, NO)		/			
YES (8)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する	[3.2] ※2	/			
NO → (18) へ		/			
NO					
NO					
NO (10)→(18)へ		/			
(18)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) 又は 7(妻の氏の新戸籍編製) である(YES, NO)		/			
YES (19)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)		/			
YES (20)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES, NO)		/			
YES (21)届後本籍 ＝ 管外本籍である(YES, NO)		/			
YES (22)連署人本籍 ＝ 管内本籍である(YES, NO)		/			
YES (23)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する	[3.2] ※2	/			
NO (24)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する	[3.1]	/			
NO					
NO					
NO					
NO					
(25)本非区分 ＝ 1(本籍分届)である(YES, NO)		/			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(帰化届)
処理名	0.0　本紙

							備考
	YES		(26)戸籍変動区分?(1:帰化者で新戸籍編製、2:(養)父・母の戸籍に入籍、3:(養)父・母で新戸籍編製、4:日本人配偶者の戸籍に入籍、6:夫の氏の新戸籍編製、7:妻の氏の新戸籍編製)		/		
		1	(27)戸籍特定を編集・出力する [4.1]		/		
			(28)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
			(29)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
		2	(30)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
			(31)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
			(32)帰化者記録者資格1　又は　2?(001:父、010:養父、011:養母)		/		
			001	(33)帰化者の父の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.9]	/		配偶者区分 ＝ 夫に記録、いなければ筆頭者に記録する 配偶者区分 ＝ 妻に記録、いなければ筆頭者に記録する
			010	(34)帰化者の養父の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.10]	/		
			011	(35)帰化者の養母の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.10]	/		
		3	(36)戸籍特定を編集・出力する [4.1]		/		
			(37)帰化者の(養)父母の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
			(37.1)帰化記録者資格1 ＝ 001(父)　又は　スペース(母)である(YES, NO)		/		
			YES	(38)帰化者の父又は母(入籍)の身分事項を編集・出力する [6.5]	/		
			NO	(38.1)帰化者の養父又は養母(入籍)の身分事項を編集・出力する [6.6]	/		
			(39)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
			(40)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
			(41)養父母本籍 ＝ 管内である(YES, NO)		/		
			YES	(41.1)帰化記録者資格1 ＝ 001(父)　又は　スペース(母)である(YES, NO)	/		
				YES	(42)帰化者の父又は母(除籍)の身分事項を編集・出力する [6.7]	/	
				NO	(42.1)帰化者の養父又は養母(除籍)の身分事項を編集・出力する [6.8]	/	
			NO	(42.2)→(75)へ		/	
		4	(43)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
			(44)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		
			(45)連署人の身分事項(記録)を編集・出力する [6.4]		/		
		6	(53)戸籍特定を編集・出力する [4.1]		/		
			(54)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1]		/		
			(55)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1]		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(帰化届)
処理名	0.0　本紙

								備考
			(56)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)			/		
			YES	(57)連署人の個人特定を編集･出力する [5.1]		/		
				(58)連署人の身分事項(入籍)を編集･出力する [6.2]		/		
				(59)連署人本籍 ＝ 管内である(YES, NO)		/		
				YES	(60)連署人の身分事項(除籍)を編集･出力する [6.3]	/		
				NO	(60.1)→(75)へ	/		
			NO	(61)帰化者妻の個人特定を編集･出力する [5.1]		/		
				(62)帰化者妻の身分事項を編集･出力する [6.1]		/		
		7	(63)戸籍特定を編集･出力する [4.1]			/		
			(64)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)			/		
			YES	(65)帰化者の個人特定を編集･出力する [5.1]		/		
				(66)帰化者の身分事項を編集･出力する [6.1]		/		
				(67)連署人の個人特定を編集･出力する [5.1]		/		
				(68)連署人の身分事項(入籍)を編集･出力する [6.2]		/		
				(69)連署人本籍 ＝ 管内である(YES, NO)		/		
				YES	(70)連署人の身分事項(除籍)を編集･出力する [6.3]	/		
				NO	(70.1)→(75)へ	/		
			NO	(71)帰化者妻の個人特定を編集･出力する [5.1]		/		
				(72)帰化者妻の身分事項を編集･出力する [6.1]		/		
				(73)帰化者の個人特定を編集･出力する [5.1]		/		
				(74)帰化者の身分事項を編集･出力する [6.1]		/		
		(75)同時帰化者数 > 0である(YES, NO)				/		
		YES	(76)同時帰化者の数だけ(77)～(82)の処理を繰り返す			/		
				(77)同時帰化者nの個人特定を編集･出力する [5.1]		/		
				(78)同時帰化者nの身分事項を編集･出力する [6.1]		/		
				(78.1)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父･母の戸籍に入籍)?(YES, NO)		/		
				YES	同時帰化者n帰化記録者資格1　又は　2(001:父、010:養父、011:養母)	/		
					001 (80)帰化者の父の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.9]	/		配偶者区分 ＝ 夫に記録、 いなければ筆頭者に記録する

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(帰化届)

処理名	0.0 本紙		備考
	010 (81)帰化者の養父の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.10]	/	配偶者区分 ＝ 夫に記録、いなければ筆頭者に記録する
	011 (82)帰化者の養母の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.10]	/	配偶者区分 ＝ 妻に記録、いなければ筆頭者に記録する
	NO (82.1)→(83)へ	/	
	(83)→(85)へ	/	
NO	(84.1)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父母で新戸籍編製)である(YES, NO)	/	
YES	(84.2)在外送付区分 ≠ 0(受理以外)である(YES, NO)	/	
YES	(84.3)養/父母本籍 ＝ 管内である(YES, NO)	/	
YES	(84.4)帰化記録者資格1 ＝ 001(父) 又は スペース(母)である(YES, NO)	/	受53、帰化11の対応
YES	(84.5)帰化者の父又は母(除籍)の身分事項を編集･出力する [6.7]	/	
NO	(84.6)帰化者の養父又は養母(除籍)の身分事項を編集･出力する [6.8]	/	
NO	(84.7)→(85)へ	/	
NO			
NO			
NO			
(85)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES, NO)		/	
YES	(86)帰化者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]	/	
	(87)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)である(YES, NO)	/	
YES	(88)(養)父母について中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)編集･出力する [7.3]	/	
NO	(89)→(93)	/	
	(93)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) 又は 7(妻の氏の新戸籍編製)である(YES, NO)	/	
YES	(94)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)	/	
YES	(95)連署人について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.2]	/	
NO	(96)→(97)	/	
	(97)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)である(YES, NO)	/	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名					入力確認(帰化届)					
処理名					0.0 本紙				備考	
			YES		(98)帰化者妻について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [7.1]	/				
			NO		(99)→(101)へ	/				
		NO			(100)→(101)へ	/				
		(101)同時帰化者数 > 0である(YES, NO)				/				
		YES			(102)同時帰化者の数だけ、同時帰化者のnについて中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [7.1]		(103)処分決定に制御を渡す			
		NO			→					
	NO	→								
PF1	→						(104)業務選択に制御を渡す			
PF2	→						(105)届出選択に制御を渡す			
PF5	→						(106)審査(帰化届)に制御を渡す			
PF7	(107)前ページがある(YES, NO)					/				
	YES	(108)前ページ分の確認画面(帰化届)を編集する					(109)同画面を編集する			
	NO	(110)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する								
PF8	(111)次ページがある(YES, NO)					/				
	YES	(112)次ページ分の確認画面(帰化届)を編集する					(113)同画面を編集する			
	NO	(114)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する								
PF11	→						(115)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(116)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました」を表示する						(117)同画面を編集する			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
帰化届確認画面	画面ID							画面ID	
	システム日付							システム日付	
	帰化種別		中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化種別					
	同時帰化者数			同時帰化者数					
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号					
	受領番号			受領番号					
	受領日			受領日					
	送付日			送付日					
	発送元			発送元					
	在外送付区分			在外送付区分					
	処理日			処理日					
	本非区分			本非区分					
	郵送日			郵送日					
	帰化者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化者カナ氏名					
	帰化者漢字氏名			帰化者漢字氏名					
	帰化者従前氏名			帰化者従前氏名					
	帰化者従前国籍			帰化者従前国籍					
	帰化者生年月日			帰化者生年月日					
	帰化者配偶者区分			帰化者配偶者区分					
	帰化者配偶者区分名称					有			
	公示年月日			公示年月日					
	帰化者父氏名			帰化者父氏名					
	帰化者父の本･国籍			帰化者父の国籍コード		有			
				帰化者父の本･国籍					
	帰化者母氏名			帰化者母氏名					
	帰化者母の本･国籍			帰化者母の国籍コード		有			
				帰化者母の本･国籍					

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	帰化者父母との続柄コード			帰化者父母との続柄コード				
	帰化者父母との続柄名称					有		
	帰化者住民日			帰化者住民日				
	帰化者住定日			帰化者住定日				
	帰化者住所			帰化者住所コード		有		
				帰化者住所				
	帰化者世帯主区分			帰化者世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄コード			帰化者世帯主との続柄コード				
	帰化者世帯主との続柄名称					有		
	帰化者世帯主名			帰化者世帯主名				
	帰化者15歳未満の届出人資格1			帰化者15歳未満の届出人資格1				
	帰化者15歳未満の届出人資格2			帰化者15歳未満の届出人資格2				
	帰化者15歳未満の届出人資格名称			帰化者15歳未満の届出人資格1 + 帰化者15歳未満の届出人資格2				名称変換は、審査(帰化) 2.1表示設定を参照
	帰化者15歳未満の届出人氏名1			帰化者15歳未満の届出人氏名1				
	帰化者15歳未満の届出人氏名2			帰化者15歳未満の届出人氏名2				
	帰化者妻カナ氏名			帰化者妻カナ氏名				
	帰化者妻漢字氏名			帰化者妻漢字氏名				
	帰化者妻従前氏名			帰化者妻従前氏名				
	帰化者妻従前国籍			帰化者妻従前国籍				
	帰化者妻生年月日			帰化者妻生年月日				
	帰化者妻父氏名			帰化者妻父氏名				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	帰化者妻父の本･国籍			帰化者妻父の本籍コード		有		
				帰化者妻父の本･国籍				
	帰化者妻母氏名			帰化者妻母氏名				
	帰化者妻母の本･国籍			帰化者妻母の本籍コード		有		
				帰化者妻母の本･国籍				
	帰化者妻父母との続柄コード			帰化者妻父母との続柄コード				
	帰化者父母との続柄名称					有		
	帰化者妻住民日			帰化者妻住民日				
	帰化者妻住定日			帰化者妻住定日				
	帰化者妻住所			帰化者妻住所コード		有		
				帰化者妻住所				
	帰化者妻世帯主区分			帰化者妻世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄コード			帰化者世帯主との続柄コード				
	帰化者妻世帯主との続柄名称					有		
	帰化者妻世帯主名			帰化者妻世帯主名				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	帰化記載者資格1			帰化記載者資格1				
	帰化記載者資格2			帰化記載者資格2				
	養/父母カナ氏名			養/父母カナ氏名				
	養/父母漢字氏名			養/父母漢字氏名				

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養/父母本籍			養/父母本籍コード		有		
				養/父母本籍				
	養/父母筆頭者			養/父母筆頭者				
	養/父母父氏名			養/父母父氏名				
	養/父母母氏名			養/父母母氏名				
	養/父母との続柄コード			養/父母との続柄コード				
	養/父母との続柄名称					有		
	養/父母生年月日			養/父母生年月日				
	養/父母住所			養/父母住所コード		有		
				養/父母住所				
	連署人筆頭者区分			連署人筆頭者区分				
	達署人筆頭者名称					有		
	連署人配偶者区分			連署人配偶者区分				
	連署人配偶者名称					有		
	連署人カナ氏名			連署人カナ氏名				
	連署人漢字氏名			連署人漢字氏名				
	連署人本籍			連署人本籍コード		有		
				連署人本籍				
	連署人筆頭者			連署人筆頭者				
	連署人父氏名			連署人父氏名				
	連署人母氏名			連署人母氏名				
	連署人父母との続柄コード			連署人父母との続柄コード				
	連署人父母との続柄名称					有		
	連署人生年月日			連署人生年月日				
	連署人住所			連署人住所コード		有		
				連署人住所				
	同時帰化者nカナ氏名			同時帰化者nカナ氏名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同時帰化者n漢字氏名			同時帰化者n漢字氏名				
	同時帰化者n従前氏名			同時帰化者n従前氏名				
	同時帰化者n従前国籍			同時帰化者n従前国籍				
	同時帰化者n生年月日			同時帰化者n生年月日				
	同時帰化者n父氏名			同時帰化者n父氏名				
	同時帰化者n父の本･国籍			同時帰化者n父の本籍コード		有		
				同時帰化者n父の本･国籍				
	同時帰化者n母氏名			同時帰化者n母氏名				
	同時帰化者n母の本･国籍			同時帰化者n母の本籍コード		有		
				同時帰化者n母の本･国籍				
	同時帰化者n父母との続柄コード			同時帰化者n父母との続柄コード				
	同時帰化者n父母との続柄名称					有		
	同時帰化者n住民日			同時帰化者n住民日				
	同時帰化者n住定日			同時帰化者n住定日				
	同時帰化者n住所			同時帰化者n住所コード		有		
				同時帰化者n住所				
	同時帰化者n世帯主区分			同時帰化者n世帯主区分				
	同時帰化者n世帯主との続柄コード			同時帰化者n世帯主との続柄コード				
	同時帰化者n世帯主との続柄名称					有		
	同時帰化者n世帯主名			同時帰化者n世帯主名				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	1.0　確認画面(帰化届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格1			同時帰化者n 15歳未満の届出人資格1				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格2			同時帰化者n 15歳未満の届出人資格2				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人資格名称			同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 + 同時帰化者n15歳未満の届出人資格2				名称変換は、審査(帰化) 2.1表示設定を参照
	同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名1			同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名1				
	同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名2			同時帰化者n 15歳未満の届出人氏名2				
	同時帰化者n 帰化記載者資格1			同時帰化者n 帰化記載者資格1				
	同時帰化者n 帰化記載者資格2			同時帰化者n 帰化記載者資格2				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
1	○	×	×	×	×	×	×	○	×							○	×		6.1帰化者				
2	○	×	×	×	×	×	×	○	×							×	○		6.1帰化者(複数)				
3	○	×	×	×	×	×	×	×	○							-	-						
4	×	○	×	×	×	×	×	○	×							○	×			6.1帰化者			※1
5	×	○	×	×	×	×	×	○	×							×	○			6.1帰化者(複数)			※1
6	×	○	×	×	×	×	×	×	○							-	-						
7	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×				○	×		6.1帰化者 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母		6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母		
8	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×				○	×		6.1帰化者 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母			6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母	
9	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○				○	×		6.1帰化者 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母				
10	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母		6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母		
11	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母			6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
12	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父 又は 母 6.6養父 又は 養母				
13	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×				-	-				6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母		
14	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×				-	-					6.7父 又は 母 6.8養父 又は 養母	
15	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○				-	-						
16	×	×	×	○	×	×	×	○	×				-	-	-	○	×			6.1帰化者			6.4日本人配偶者
17	×	×	×	○	×	×	×	○	×				-	-	-	×	○			6.1帰化者(複数)			6.4日本人配偶者 ※1
18	×	×	×	○	×	×	×	×	○				-	-	-	-	-						
19																							
20																							
21																							
22																							
23																							
24																							
25																							
26																							
27																							
28	×	×	×	×	×	○	×	○	×							○	×		6.1帰化者(夫婦)				
29	×	×	×	×	×	○	×	○	×							×	○		6.1帰化者(夫婦)(複				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分								届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製	一部記録	一部除籍	全部除籍	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を		本籍	非本籍	本籍		非本籍	本籍		非本籍	無	有						
											他在籍者有	他在籍者無		他在籍者有	他在籍者無					4.1 B.1 5.1 D.1	5.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	
23	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	○	ハ		○	ハ							ハ	○		(夫婦)(複数)				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
30	×	×	×	×	×	○	×	×	○							-	-						
31	×	×	×	×	×	○	×	○	×				○	×	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		
32	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	○	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	
33	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	×	○	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者				
34	×	×	×	×	×	○	×	○	×				○	×	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		※1
35	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	○	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	※1
36	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	×	○	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者				※1
37	×	×	×	×	×	○	×	×	○				○	×	×	-	-				6.3日本人配偶者		
38	×	×	×	×	×	○	×	×	○				×	○	×	-	-					6.3日本人配偶者	
39	×	×	×	×	×	○	×	×	○				×	×	○	-	-						
40	×	×	×	×	×	×	○	○	×							○	×		6.1帰化者(夫婦)				
41	×	×	×	×	×	×	○	○	×							×	○		6.1帰化者(夫婦)(複数)				
42	×	×	×	×	×	×	○	×	○							-	-						
43	×	×	×	×	×	×	○	○	×				○	×	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人		6.3日本人		

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
43	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	×	×	○	×		6.2日本人配偶者		配偶者		
44	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	○	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	
45	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	×	○	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者				
46	×	×	×	×	×	×	○	○	×				○	×	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		※1
47	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	○	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	※1
48	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	×	○	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者				※1
49	×	×	×	×	×	×	○	×	○				○	×	×	-	-				6.3日本人配偶者		
50	×	×	×	×	×	×	○	×	○				×	○	×	-	-					6.3日本人配偶者	
51	×	×	×	×	×	×	○	×	○				×	×	○	-	-						

※1　(養)父母に子の帰化事項の記録する編集表は、本紙を参照のこと([6.9]、養父 又は 養母[6.10])

(参考)
(1)　※1で帰化者の帰化事項を記録すべき条件は次のとおり
①帰化者の父:帰化者を認知していること
②帰化者の養父母
・システムでの記録
帰化者が上記①②の戸籍に入籍する場合(①②で新戸籍を編製する場合は(養)子の帰化で除籍となるため、新戸籍には(養)子の帰化事項は記録しない)
帰化者が上記①②の戸籍に入籍しない場合は審査結果入力処理で処理すること
・同時帰化者がいる場合
(養)子の帰化事項を必ず記録する

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製	一部記録	一部除籍	全部除籍	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍		非本籍	本籍		非本籍	無	有						
										他在籍者有	他在籍者無		他在籍者有	他在籍者無									
																			4.1 B.1 5.1 D.1	5.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製	一部記録	一部除籍	全部除籍	変動なし
	新戸籍を編製する	入籍する(養)父・母の戸籍に	新戸籍を編製する(養)父・母で	入籍する日本人配偶者の戸籍に	新戸籍を編製する日本人配偶者で	編製する夫の氏の新戸籍を	編製する妻の氏の新戸籍を	本籍	非本籍	本籍		非本籍	本籍		非本籍	無	有						
										他在籍者有	他在籍者無		他在籍者有	他在籍者無									
																			4.1 B.1 5.1 D.1	5.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	

※　(複数)は同時帰化者数の数だけ記録すること
夫(又は妻)の氏の新戸籍編製の場合、帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)は連署人の戸籍に入力がある

帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)は連署人の戸籍に入力がない

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・帰化)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2401(帰化)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			公示年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1			･単身者の場合 「帰化者15歳未満の届出人資格1」を設定　名称は変換して設定 ･同時に帰化する者の場合 「同時帰化者n15歳未満の届出人資格1」を設定　名称は変換して設定				
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1			帰化者15歳未満の届出人氏名1 同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1				←単身者 ←同時に帰化する者
	届出人資格区分2			･単身者の場合 「帰化者15歳未満の届出人資格2」を設定　名称は変換して設定 ･同時に帰化する者の場合 「同時帰化者n15歳未満の届出人資格2」を設定　名称は変換して設定				
	届出人資格名称2							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・帰化)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人氏名2			帰化者15歳未満の届出人氏名2 同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2				←　単身者 ←　同時に帰化する者
	届後本籍区分							･帰化者及び帰化者妻 戸籍変動区分 ＝ 1、3、6、7 のとき2を設定 上記以外のとき1を設定 ･同時に帰化する者 1を設定
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき ①連署人の本籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 ②養/父母の本籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 上記以外は0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							39(帰化者)
	届出人区分			･単身者の場合 「帰化者15歳未満の届出人資格1」に入力があれば0を設定 ･同時に帰化する者の場合 「同時帰化者nの15歳未満の届出人資格1」に入力があれば0を設定 ･上記以外は1を設定				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.1　中間ファイル(仮受付・帰化)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	カナ氏名			帰化者カナ氏名 帰化者妻カナ氏名 同時帰化者nカナ氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	漢字氏名			帰化者漢字氏名 帰化者妻漢字氏名 同時帰化者n漢字氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認2							届後本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付・その他)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4401(その他)
	受付日			送付日				
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							2(送付)を設定
	本非区分							1(本籍)を設定
	渉外区分							0を設定
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							2を設定
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	3.2　中間ファイル(仮受付・その他)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							1(送付要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							99(事件本人以外)
	届出人区分							0を設定
	カナ氏名			養/父母カナ氏名 連署人カナ氏名				←養/父母 ←日本人配偶者
	漢字氏名			養/父母漢字氏名 連署人漢字氏名				←養/父母 ←日本人配偶者
	生年月日			養/父母生年月日 連署人生年月日				←養/父母 ←日本人配偶者
	本籍コード			養/父母本籍コード 連署人本籍コード				←養/父母 ←日本人配偶者
	本籍			養/父母本籍 連署人本籍				←養/父母 ←日本人配偶者
	筆頭者			養/父母筆頭者 連署人筆頭者				←養/父母 ←日本人配偶者
	送達確認2							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	4.1　帰化者(戸籍特定・新戸籍編製)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	5.1　帰化者(個人特定・入籍)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定	
	戸籍番号							新戸籍編製の場合は決裁処理で設定 他は入籍する戸籍の戸籍番号を設定	
	戸籍記録順位番号								
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日	
	除籍日								
	性別			帰化者父母との続柄コード 帰化者養父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード 養/父母父母との続柄コード 連署人父母との続柄コード		有		←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人	
	生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日 養/父母生年月日 連署人生年月日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人	
	筆頭者区分			同時に帰化する者は全員「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 1の場合、帰化者が「筆頭者」 戸籍変動区分 ＝ 2の場合、帰化者は「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 3の場合、養/父･母が「筆頭者」、帰化者は「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 4の場合、帰化者は「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 6の場合、帰化者が「筆頭者」、それ以外は「構成員」 戸籍変動区分 ＝ 7の場合、帰化種別 ＝ 2のとき、帰化者が「筆頭者」、それ以外は「構成員」 帰化種別 ＝ 4のとき、帰化者妻(その2画面入力者)が「筆頭者」、それ以外は「構成員」					
	配偶者区分			帰化者配偶者区分 「妻」 「未」 「未」 連署人配偶者区分				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	5.1　帰化者(個人特定・入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	父			帰化者父氏名 帰化者妻父氏名 同時帰化者n父氏名 養/父母父氏名 連署人父氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	母			帰化者母氏名 帰化者妻母氏名 同時帰化者n母氏名 養/父母母氏名 連署人母氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	父母との続柄			帰化者父母との続柄コード 帰化者妻父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード 養/父母父母との続柄コード 連署人父母との続柄コード		有		←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							連署人又は(養)父･母が本籍人で、新戸籍を編製する場合に、従前戸籍の個人番号を設定する
	個人番号							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.1　帰化者(入籍・帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2401(帰化)
	記録コード								2401(帰化者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	公示年月日				
	帰化	帰化日			公示年月日				
	届出	届出日			受領日				
		届出人(1)	資格		単身者の場合 通常は　届出人(1)←帰化者15歳未満の届出人資格1、資格名称1(資格1を名称変換) 届出人(2)←帰化者15歳未満の届出人資格2、資格名称2(資格2を名称変換) ただし、資格1 ＝ 016(親権者父)、資格2 ＝ 017(親権者母)の場合 資格1 ＝ 018(親権者父母)、資格2は未設定と置き換える(資格1、2が逆も同様) 同様、資格1 ＝ 001(父)、資格2 ＝ 002(母)の場合 資格1 ＝ 005(父母)、資格2は未設定と置き換える(資格1、2が逆も同様) 同時帰化者の場合 上記(単身者)を「同時帰化者n15歳未満の届出人～」に読みかえる ※氏名の設定は不要 ただし、資格1 ＝ 110(未成年後見人)の場合は、氏名1を設定 資格1、2が010(養父) 又は 011(養母) 又は 019(親権者養父) 又は 020(親権者養母)の場合は、対応する氏名1、2をそれぞれ設定					
			資格名称						
			氏名						
		届出人(2)	資格						
			資格名称						
			氏名						
	従前記録	帰化の際の国籍			帰化者従前国籍 帰化者妻従前国籍 同時帰化者n従前国籍				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
		従前の氏名			帰化者従前氏名 帰化者妻従前氏名 同時帰化者n従前氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.1　帰化者(入籍・帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.2　帰化者の配偶者(入籍・配偶者の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2404(配偶者の帰化)
	記録コード								2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					ファイル仕様書の通り
	配偶者の帰化	配偶者の帰化日							
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由			･帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき、「夫の帰化届出」を設定 ･帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき、「妻の帰化届出」を設定				
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	婚姻	配偶者氏名							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍		連署人本籍				
			筆頭者		連署人筆頭者				
	除籍	除籍日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成19年 3月1日	版	11
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.2　帰化者の配偶者(入籍・配偶者の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.3　帰化者の配偶者(除籍・配偶者の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2404(配偶者の帰化)
	記録コード								2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様書の通り
	配偶者の帰化	配偶者の帰化日		中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由			･帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき、「夫の帰化届出」を設定 ･帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき、「妻の帰化届出」を設定				
	婚姻	配偶者氏名			帰化者漢字氏名				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日			処理日				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.3　帰化者の配偶者(除籍・配偶者の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍	新本籍			届後本籍				
		称する氏			･戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)のとき、「夫の氏」を設定 ･戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製)のとき、「妻の氏」を設定				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.4　帰化者の配偶者(記録・配偶者の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2404(配偶者の帰化)
	記録コード								2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	配偶者の帰化	配偶者の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	婚姻	配偶者氏名			帰化者漢字氏名				
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.4　帰化者の配偶者(記録・配偶者の帰化)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.5　帰化者の父又は母(入籍・子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日							
		子氏の名	続柄						
			氏名						
		子新の本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由							「子の帰化届出」を設定
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍		養/父母本籍				
			筆頭者		養/父母筆頭者				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.5　帰化者の父又は母(入籍・子の帰化)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	除籍 除籍日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.5　帰化者の父又は母(入籍・子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.6　帰化者養父又は養母(入籍・養子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2403(養子の帰化)
	記録コード								2403(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)					
		養子の氏名							
		養新子本の籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		入籍事由							「子の帰化届出」を設定
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍		養/父母本籍				
			筆頭者		養/父母筆頭者				
	除籍	除籍日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.6　帰化者養父又は養母(入籍・養子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	除戸籍	新本籍							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	6.7　帰化者の父又は母(除籍・子の帰化)　編集･出力						

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号									決裁処理で設定
	行番号									
	出力区分									
	タイトルコード									2402(子の帰化)
	記録コード									2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード									
	事件発生日									ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日		中間ファイル(届書)						
		子氏の名	続柄							
			氏名							
		子新本籍の	本籍							
			筆頭者							
	入籍	入籍日								
		入籍事由								
	届出	届出日			受領日					
		除籍日								
		除籍事由								「子の帰化届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日					
		受理者			発送元					
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.7　帰化者の父又は母(除籍・子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	除戸籍	新本籍			届後本籍				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)						
処理名	6.8　帰化者養父又は養母(除籍・養子の帰化)　編集･出力						

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号									決裁処理で設定
	行番号									
	出力区分									
	タイトルコード									2403(養子の帰化)
	記録コード									2403(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード									
	事件発生日									ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)						
		養子の氏名								
		養新子本の籍	本籍							
			筆頭者							
	入籍	入籍日								
		入籍事由								
	届出	届出日			受領日					
		除籍日								
		除籍事由								「子の帰化届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日					
		受理者			発送元					
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.8　帰化者養父又は養母(除籍・養子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	除戸籍	新本籍			届後本籍				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	6.9　帰化者の父(記録・子の帰化)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日				
		子の氏名	続柄		･単身者の場合、「帰化者父母との続柄コード」を変換し設定 ･同時に帰化処理する者の場合、「同時帰化者n父母との続柄コード」を変換し設定				
			氏名		･単身者の場合、「帰化者漢字氏名」を移送 ･同時に帰化する者の場合、「同時帰化者n漢字氏名」を移送				
		子新の本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.9　帰化者の父(記録・子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.10　帰化者養父又は養母(記録・養子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(養子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日				
		養子の氏名			･単身者の場合、「帰化者漢字氏名」を移送 ･同時に帰化する者の場合、「同時帰化者n漢字氏名」を移送				
		養子の新本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除籍	除籍日							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	6.10　帰化者養父又は養母(記録・養子の帰化)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	除戸籍	新本籍							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	7.1　9条2項(帰化者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			帰化者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			帰化者漢字氏名 帰化者妻漢字氏名 同時帰化者n漢字氏名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧氏名							
	新生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧生年月日							
	新父母との続柄			帰化者父母との続柄コード 帰化者妻父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード		有		←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	7.1　9条2項(帰化者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所コード			帰化者住所コード 帰化者妻住所コード 同時帰化者n住所コード				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	住所			帰化者住所 帰化者妻住所 同時帰化者n住所				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	方書							
	住定日			帰化者住定日 帰化者妻住定日 同時帰化者n住定日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	住民日			帰化者住民日 帰化者妻住民日 同時帰化者n住民日				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	世帯主			帰化者世帯主名 帰化者妻世帯主名 同時帰化者n世帯主名				←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	世帯主との続柄			帰化者世帯主との続柄コード 帰化者妻世帯主との続柄コード 同時帰化者n世帯主との続柄コード		有		←単身者、夫婦片方、夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	7.2　9条2項(帰化者の日本人配偶者)　編集・出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			連署人住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合、個人番号を設定
	新氏名			「届後戸籍の筆頭者」の氏 +「連署人漢字氏名」の名				
	旧氏名			連署人漢字氏名				
	新生年月日			連署人生年月日				
	旧生年月日			連署人生年月日				
	新父母との続柄			連署人父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			連署人父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			連署人本籍コード				
	旧本籍			連署人本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			連署人筆頭者				
	住所コード			連署人住所コード				
	住所			連署人住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(帰化届)								
処理名	7.3　9条2項(帰化者の(養)父母)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養/父母住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養/父母漢字氏名				
	旧氏名			養/父母漢字氏名				
	新生年月日			養/父母生年月日				
	旧生年月日			養/父母生年月日				
	新父母との続柄			養/父母父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			養/父母父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			養/父母本籍コード				
	旧本籍			養/父母本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			養/父母筆頭者				
	住所コード			養/父母住所コード				
	住所			養/父母住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(帰化者の日本人配偶者)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「届後戸籍の筆頭者」の氏 +「連署人漢字氏名」の名				
	旧氏名			連署人漢字氏名				
	新生年月日			連署人生年月日				
	旧生年月日			連署人生年月日				
	新性別							連署人父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			連署人本籍コード				
	旧本籍			連署人本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			連署人筆頭者				
	住所コード			連署人住所コード				
	住所			連署人住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(帰化届)							
処理名	8.2　30条の13第1項(帰化者の(養)父母)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					24(帰化届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養/父母漢字氏名				
	旧氏名			養/父母漢字氏名				
	新生年月日			養/父母生年月日				
	旧生年月日			養/父母生年月日				
	新性別							養/父母父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			養/父母本籍コード				
	旧本籍			養/父母本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			養/父母筆頭者				
	住所コード			養/父母住所コード				
	住所			養/父母住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

24.国籍喪失届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	30	「国籍喪失届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2	R4	32	「国籍喪失届」	指摘による修正 15歳以上の未成年で届出人が親権者父、親権者母、親権者養父、親権者養母だった場合の審査を修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15

作業名	国籍喪失届

1.国籍喪失業務処理範囲外の処理
・通常有り得ない特異な組み合わせの届出義務者によって届出された国籍喪失届
・事件本人の成年後見人から届出がされた場合
・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合
・複数の未成年後見人から届出がされた場合
・法務大臣の催告、宣告による国籍喪失届
上記の場合は、審査結果入力で処理を行う。

2.国籍喪失届入力画面の意義
・国籍喪失を行う者の各項目を入力する。

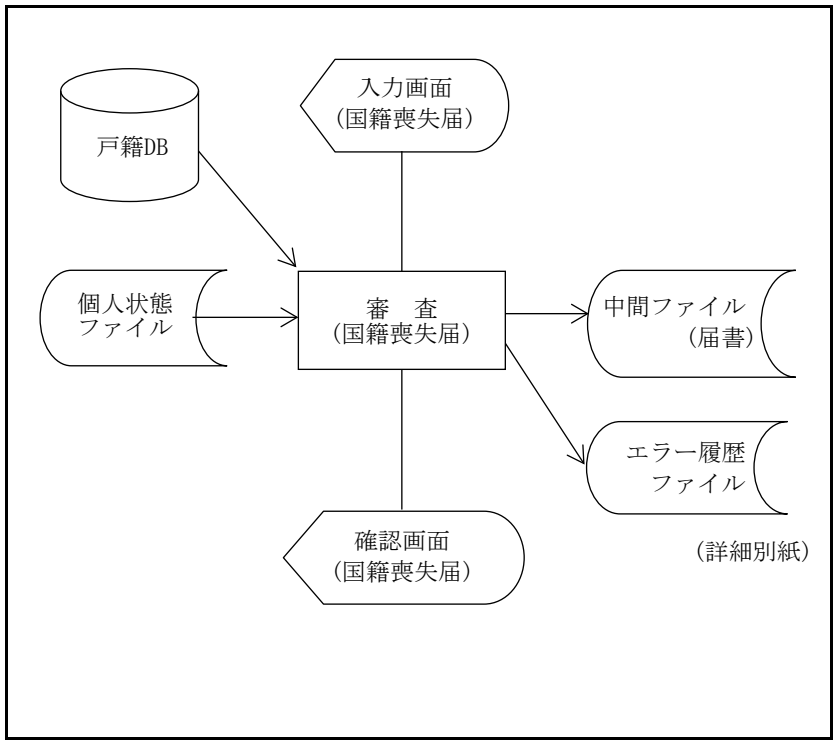
3.その他
添付書類
・外国への帰化を証する書面(又はその写し)、在外公館長の発給する帰化事実証明書など国籍喪失を証すべき書面(戸103-II)
・上記の書面が外国語によって作成されている場合はその訳文(規63の2)

届出期間の審査処理(戸103-I、大3.12.28民1125号回答)
・国籍喪失の事実を知った日及びその際に国内、国外に在ることが届書からはわからない為システム化後は喪失年月日を起算日とし、その日から3箇月以内であるか否かを確認メッセージでの対応とする。

法務省・在外公館からの国籍喪失の報告
・国籍喪失の報告の場合には届出人資格「099:その他」として、届出人資格欄に届出人資格名称を入力する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(国籍喪失届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)国籍喪失届の内容を入力する
(2)国籍喪失届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)国籍喪失届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)国籍喪失届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(国籍喪失届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック
　　├ 2.0 関連チェック
　　├ 3.0 審査
　　└ 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出期間について
　･喪失年月日を基準日として計算する。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(国籍喪失届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する								(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(国籍喪失届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(国籍喪失届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	国籍喪失者カナ氏名	○	カナ				
11	国籍喪失者氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	喪失年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	住所		漢字				
15	世帯主		漢字				
16	本籍	○	漢字				
17	筆頭者	○	漢字				
18	配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
19	配偶者の外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
20	喪失原因(区分)	○	数字	(1:志望により外国国籍を取得したため、2:日本国籍の離脱、3:外国国籍の選択)であること			国11 国13･憲法22 国11-Ⅱ
21	喪失原因(国名)	○	漢字	国籍であること			
22	届出人資格1		数字	(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族、099:その他、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			戸103-I
23	届出人氏名1		漢字				

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(国籍喪失届)								
処理名				画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表				入力画面(国籍喪失届)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
24	届出人資格2		数字	(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族、099:その他、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること				戸103-I	
25	届出人氏名2		漢字						

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(国籍喪失届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(国籍喪失届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)本籍　が管内であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
12	(No.3)受領日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
14	(No.11)国籍喪失者氏名の氏 ＝ (No.17)筆頭者の氏であること			
15	(No.18)配偶者区分 ＝ 0:未、3:生存配偶者の時、 (No.19)配偶者の外人区分 ＝ スペースであること			
15-1	(No.18)配偶者区分 ＝ 1:夫、2:妻の時、 (No.19)配偶者の外人区分 ≠ スペースであること			
16	(No.22)届出人資格1 ≠ (No.24)届出人資格2であること (但し、届出人資格が　082:親族　の時を除く)			
17	(No.22)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.23)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
18	(No.22)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.23)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
19	(No.24)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.25)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
20	(No.24)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.25)届出人氏名2 ＝ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(国籍喪失届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(国籍喪失届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
21	(No.23)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.23)届出人氏名1 ≠ (No.25)届出人氏名2であること			
22	(No.14)住所 ＝ スペースの時、(No.15)世帯主 ＝ スペースであること			
23	(No.15)世帯主 ≠ スペースの時、(No.14)住所 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/			
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する							
	YES	(0-2)→(0-6)へ			/			
	NO	→				(0-3)本紙へ		
NO	(0-4)→(0-6)へ				/			
(0-6)国籍喪失者氏名の名が未入力(YES,NO)					/		R2.1(国籍喪失-27)	
YES	(0-7)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-8)本紙へ	R2.1(国籍喪失-27)	
	YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示				(0-11)本紙へ	不受理	R2.1(国籍喪失-27)
	NO	(0-10)→					画面項目修正(審査完了しない	R2.1(国籍喪失-27)
NO	(0-12)→(1)へ				/			R2.1(国籍喪失-27)
(1)受領日 ＜ 喪失年月日 ＋ 3箇月(YES,NO)					/		戸103I	
YES	(2)→(8)へ				/			
NO	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間を経過していますがよろしいですか?」を表示する					(4)本紙へ	大3.12.28民1125号回答	
	YES	(5)→(8)			/			
	NO	(6)→				(7)本紙へ	不受理	
(8)生年月日 ＋ 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)					/		戸31I、国18	
YES	(9)届出人資格1(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、 098:事件本人、082:親族、099:その他、110:未成年後見人、016:親権者父、017:親権者母、 019:親権者養父、020:親権者養母)				/		R4(国籍喪失-32)	
	000	(10)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、 098:事件本人、082:親族、099:その他、110:未成年後見人、016:親権者父、 017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)			/		R4(国籍喪失-32)	
		000	(11)審査メッセージ 「届出人資格２の入力に誤りがあります。」を表示する			(11-1)本紙へ	不受理	R4(国籍喪失-32)
		006,007,001,002,010,011,098,099	(12)→			(12-1)本紙へ	受理	R4(国籍喪失-32)
		082	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」 を表示する				民725～729	
			YES (14)→				受理	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(国籍喪失届)								
処理名	3.0 審査							備考	
			NO	(15)→				不受理	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			審査(国籍喪失届)						
処理名			3.0 審査					備考	
	110		(16)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			(16-1)本紙へ			
		YES	(16-2)生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)					R4(国籍喪失-32)	
			YES (16-3)→(110)					R4(国籍喪失-32)	
			NO (16-4)審査メッセージ 「事件本人は２０歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。」を表示する					不受理 R4(国籍喪失-32)	
		NO	(16-5)→					不受理 R4(国籍喪失-32)	
			(17)			(18)		(17)(18)を削除、R4(国籍喪失-32)	
	016,017,019,020		(18-1)→			(18-2)本紙へ		R4(国籍喪失-32)	
6007			(19)届出人資格2(000:未入力、001:父、002:母、010:養父、011:養母、082:親族、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、その他)		/			R4(国籍喪失-32)	
	000		(20)→			(21)本紙へ			
	001,002,010,011,082,016,017,019,020		(22)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					受理 R4(国籍喪失-32)	
	その他		(23)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						
1010			(24)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、002:母、011:養母、082:親族、017:親権者母、020:親権者養母、その他)		/			R4(国籍喪失-32)	
	000,002,011		(25)→			(26)本紙へ		受理	
	006,007,082,017,020		(27)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					R4(国籍喪失-32)	
	その他		(28)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
2011	(29)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、010:養父、082:親族、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/			R4(国籍喪失-32)	
	000,001,010	(30)→			(31)本紙へ		受理	
	006,007,082,016,019	(32)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					R4(国籍喪失-32)	
	その他	(33)審査メッセージ「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
082	(34)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、082:親族、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、その他)			/			R4(国籍喪失-32)	
	000	(35)確認メッセージ(YES,NO)「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」を表示する			(36)本紙へ		民725～729	
		YES	→				受理	
		NO	→				不受理	
	006,007,001,002,010,011,082,016,017,019,020	(37)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					R4(国籍喪失-32)	
	その他	(38)審査メッセージ「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
098,099	(39)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(40)→			(41)本紙へ		受理	
	その他	(42)審査メッセージ「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
110	(43)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(44)確認メッセージ(YES,NO)「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			(44-1)本紙へ			
		YES	(44-2)生年月日＋20年(20歳未満) ＞ 受領日(YES,NO)				受理	R4(国籍喪失-32)
			YES	(44-3)→(110)				R4(国籍喪失-32)
			NO	(44-4)審査メッセージ「事件本人は２０歳以上です。未成年後見人は届出人に			不受理	R4(国籍喪失-32)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
			「事件本人は２０歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。」を表示する					
			NO (44-5)→				不受理	R4(国籍喪失-32)
		その他	(45)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(45-1)本紙へ		不受理	R4(国籍喪失-32)
		(47)						
								(47)を削除、R4(国籍喪失-32)
	016,019	(47-1)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、002:母、011:養母、082:親族、017:親権者母、020:親権者養母、その他)		/				R4(国籍喪失-32)
		000,017,020	(47-2)→		(47-3)本紙へ			R4(国籍喪失-32)
		006,007,002,011,082	(47-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					R4(国籍喪失-32)
		その他	(47-5)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理	R4(国籍喪失-32)
	017,020	(47-6)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、010:養父、082:親族、016:親権者父、019:親権者養父、その他)		/				R4(国籍喪失-32)
		000,016,019	(47-7)→		(47-8)本紙へ			R4(国籍喪失-32)
		006,007,001,010,082	(47-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					R4(国籍喪失-32)
		その他	(47-10)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理	R4(国籍喪失-32)
NO	(48)届出人資格1(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族、099:その他、110:未成年後見人、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)			/				
	000	(49)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、098:事件本人、082:親族、099:その他、110:未成年後見人、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母)		/				R4(国籍喪失-32)
		000	(50)審査メッセージ　「届出人資格２の入力に誤りがあります。」を表示する		(50-1)本紙へ		不受理	R4(国籍喪失-32)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	006,007,001,002,010,011,098,099	(51)→				(51-1)本紙へ	受理	R4(国籍喪失-32)
	082	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」 を表示する					民725～729	
		YES (53)→					受理	
		NO (54)→					不受理	
	110	(55)→(110)		/				
	016,017,019,020	(56)→				(57)本紙へ		R4(国籍喪失-32)
		(58)						(58)(59)を削除、R4(国籍喪失-32)
		(59)						R4(国籍喪失-32)
006,007	(60)届出人資格2(000:未入力、001:父、002:母、010:養父、011:養母、082:親族、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(61)→				(62)本紙へ		
	001,002,010,011,082,016,017,019,020	(63)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
	その他	(64)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
001,010	(65)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、002:母、011:養母、082:親族、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000,002,011	(66)→				(67)本紙へ	受理	
	006,007,082,017,020	(68)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
	その他	(69)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
002,011	(70)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、010:養父、082:親族、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
	000,001,010	(71)→				(72)本紙へ	受理	
	006,007,082,016,019	(73)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
	その他	(74)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
082	(75)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、002:母、010:養父、011:養母、082:親族、016:親権者父、017:親権者母　019:親権者養父、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(76)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」 を表示する				(77)本紙へ	民725～729	
		YES	(78)→				受理	
		NO	(79)→				不受理	
	006,007,001,002,010,011,082,016,017,019,020	(80)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
	その他	(81)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
098,099	(82)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(83)→				(84)本紙へ	受理	
	その他	(85)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
110	(86)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(87)→(110)		/				
	その他	(88)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(89)本紙へ	不受理	
016,019	(90)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、002:母、011:養母、082:親族、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000,017,020	(91)→				(92)本紙へ	R4(国籍喪失-32)	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			審査(国籍喪失届)						
処理名			3.0 審査					備考	
			(93)					(93)(94)を削除、R4(国籍喪失-32)	
			(94)					R4(国籍喪失-32)	
			(95)					(95)(96)(97)を削除、R4(国籍喪失-32)	
			(96)					R4(国籍喪失-32)	
			(97)					R4(国籍喪失-32)	
		006,007,002,011,082	(98)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
		その他	(99)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	017,020		(100)届出人資格2(000:未入力、006:夫、007:妻、001:父、010:養父、082:親族、016:親権者父、019:親権者養父、その他)		/				
		000,016,019	(101)→				(102)本紙へ	R4(国籍喪失-32)	
			(103)					(103)(104)を削除、R4(国籍喪失-32)	
			(104)					R4(国籍喪失-32)	
			(105)					(105)(106)(107)を削除、R4(国籍喪失-32)	
			(106)					R4(国籍喪失-32)	
			(107)					R4(国籍喪失-32)	
		006,007,001,010,082	(108)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						
		その他	(109)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
(110)本非区分(1:本籍、2:非本籍)					/				
1	(111)国籍喪失者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)				/				
	YES	(112)→					(113)本紙へ	受理	
	NO	(114)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する						不受理	
2	(115)→							受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

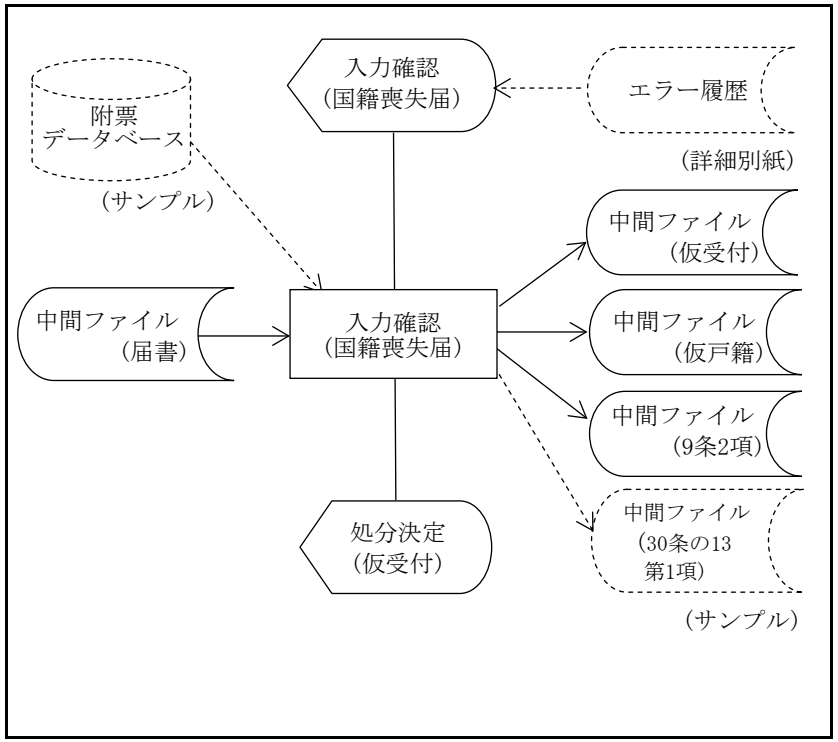
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		国籍喪失届入力画面	受領No				
	選択事件コード							25を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、国籍喪失者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(国籍喪失届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							再入力の場合に1:排他を設定
中間ファイル(届書) 事件別内容	国籍喪失者個人番号							
	カナ氏名		国籍喪失届入力画面	国籍喪失者カナ氏名				
	漢字氏名			国籍喪失者氏名				
	生年月日			生年月日				
	喪失年月日			喪失年月日				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者の外人区分			配偶者の外人区分				
	喪失原因区分			喪失原因(区分)				
	国名コード			喪失原因(国名)				
	喪失原因国名							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(国籍喪失届)						

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[国籍喪失者])
  - 4.1 身分事項(除籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[国籍喪失者の配偶者])
  - 5.1 身分事項(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 国籍喪失者
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル表示)
  - 7.1 国籍喪失者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(6)国籍喪失者の戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	[4.0]	/				
		身分事項(除籍) (7)国籍喪失者の除籍事項の編集	[4.1]	/				
		(7-1)国籍喪失者は在外選挙人である(YES,NO)		/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(7-1)	
		YES (7-2)国籍喪失者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[7.1]	/				
		NO (7-3)→(8)		/				
		(8)国籍喪失者の配偶者の戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。	[5.0]	/				
		身分事項(変動なし) (9)国籍喪失者の配偶者の変動なし事項の編集	[5.1]	/				
	NO	(10)→(11)		/				
	(11)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)			/				
	YES	(12)国籍喪失者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[6.1]		(13)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(14)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(15)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(16)審査に制御を渡す			
PF11	→				(17)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(19)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍喪失届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
国籍喪失届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	国籍喪失者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	国籍喪失者氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	喪失年月日			喪失年月日		有		
	住所			住所コード				
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称					有		
	配偶者の外人区分			配偶者の外人区分				
	配偶者の外人区分名称					有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍喪失届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	喪失原因(区分)			喪失原因区分				
	喪失原因(区分)名称					有		
	喪失原因(国名)			国名コード				
				喪失原因国名				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍喪失届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	条件							戸籍の変動		
	国籍喪失者							国籍喪失者の戸籍		
	本籍		配偶者の有無			有の配偶者の在籍者以外の無		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	非本籍人	有		無	有	無			
			日本人	外国人						
1	○		○			-	-	本人 4.1		配偶者 5.1
2	○			○		○		本人 4.1		
3	○			○			○		本人 4.1	
4	○				○	○		本人 4.1		
5	○				○		○		本人 4.1	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							喪失原因(区分) ＝ 2 →　2502を設定 上記以外　→　2501を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送 送付日 ＝ スペース:受領日を移送
	事件発生日			喪失年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格1区分			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、 届出人資格及び氏名は、未設定 届出人資格 ＝ 099のときは、 届出人資格、届出人資格名称を移送 その他は、届出人資格及び氏名を移送する (但し、届出人資格1 ＝ 000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2区分			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍喪失届)						
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							40(国籍喪失届)を設定
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(国籍喪失届)						
処理名	4.1　国籍喪失者(除籍)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人の時、国籍喪失者の個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								2501(国籍喪失)
	記録コード								2501(国籍喪失者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				喪失年月日				
	国籍喪失	国籍喪失日			喪失年月日				必須項目
		喪失時の外国籍			喪失原因国名				喪失原因区分:2のとき移送
		喪失事由			喪失原因国名				喪失原因区分により、移送項目を決定する 移送項目については、*1参照
					喪失原因区分				
	婚姻	配偶者氏名							旧国籍法当時の記録
	届出	届出日			受領日				届出人資格 ＝ 099 のとき、未設定
		届出人	資格		届出人資格1	届出人資格1 又は 2 ＝ 098(事件本人)、099(その他)のとき、未設定 届出人資格1 又は 2 ＝ 010(養父) 又は 011(養母) 又は 019(親権者養父) 又は 020(親権者養母) 又は 110(未成年後見人) 又は 082(親族) のとき、対応する届出人氏名を移送する 上記以外は、*2参照。 (届出人資格1･2の組み合わせにより資格及び資格名称を統合する必要がある場合は、統合した内容を届出人資格1、届出人資格1名称に設定する)				
			資格名称		届出人資格1名称				
			氏名		届出人氏名1				
		届出人	資格		届出人資格2				
			資格名称		届出人資格2名称				
			氏名		届出人氏名2				
		報告日			受領日				届出人資格 ＝ 099 のとき、移送
		報告者			届出人資格名称1 又は 2				届出人資格 ＝ 099 のとき、移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	4.1　国籍喪失者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	除籍	除籍日			処理日				
	特記	特記事項							

*1:喪失事由及び喪失時の外国籍の編集内容

喪失原因		身分事項	
区分	国名	喪失事由	喪失時の外国籍
1	○	国名 +「の国籍取得」	―
2	○	喪失原因区分の内容	喪失原因国名
3	○	国名 +「の国籍選択」	―

*2:届出人資格の編集内容

入力された届出人資格1･2の組み合わせにより、以下に示す資格内容を移送する。届出人資格1 ＝ 000:未入力の場合は、届出人資格2の内容を1へ詰めて移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	006 (夫)	007 (妻)	001 (父)	002 (母)	010 (養父)	011 (養母)	082 (親族)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫	妻	父	母	養父	養母	親族	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
006(夫)	夫			★	★	★	★	★	★	★	★	★	
007(妻)	妻			★	★	★	★	★	★	★	★	★	
001(父)	父	★	★		父母		父･養母*1	★		★		★	
002(母)	母	★	★	父母		養父･母*1		★	★		★		
010(養父)	養父	★	★		養父･母*1		養父･養母*1	★		★		★	
011(養母)	養母	★	★	父･養母*1		養父･養母*1		★	★		★		
082(親族)	親族	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
016(親権者父)	親権者父	★	★		★		★	★		親権者父母		親権者父･親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	★	★	★		★		★	親権者父母		親権者養父･親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父	★	★		★		★	★		親権者養父･親権者母*1		親権者養父･親権者養母*1	
020(親権者養母)	親権者養母	★	★	★		★		★	親権者父･親権者養母*1		親権者養父･親権者養母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人												

但し、「★」については審査結果入力で対応する。

*1 届出人資格にそれぞれの資格を移送する。(資格名称の統合は行わない)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成24年 3月1日	版	15
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	5.1　国籍喪失者の配偶者(変動無し)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					本籍人の時、国籍喪失者の配偶者の個人番号を設定
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							2502(配偶者の国籍喪失)
	記録コード							2502(国籍喪失者の配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			喪失年月日				
	配偶者の国籍喪失 配偶者の国籍			喪失原因国名				
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	6.1　9条2項(国籍喪失者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							25:国籍喪失届
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成11年 3月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(国籍喪失届)							
処理名	7.1　30条の13第1項(国籍喪失者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					25(国籍喪失届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				個人番号を設定
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

25.国籍選択届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	国籍選択届						

1.国籍選択業務処理範囲外の処理

・現に有する外国の国籍の全てが届書に記載されているか否かの審査

・届出期限の審査

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.国籍選択届入力画面の意義

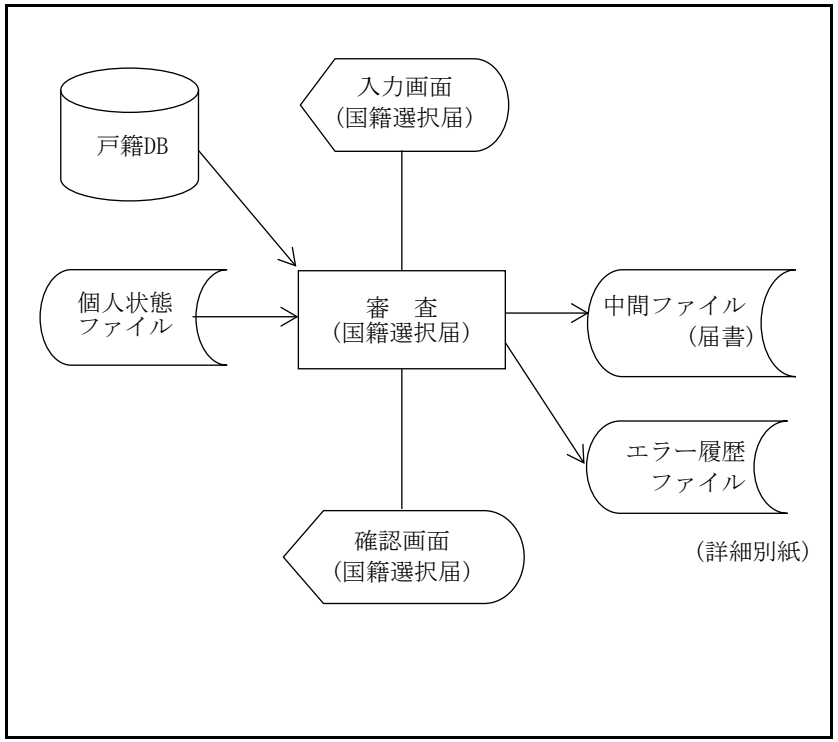
・国籍選択を行う者の各項目を入力する。

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(国籍選択届)					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要
(1)国籍選択届の内容を入力する
(2)国籍選択届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)国籍選択届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)国籍選択届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(国籍選択届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック
　　├ 2.0 関連チェック
　　├ 3.0 審査
　　│　└ 3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理
　　└ 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)
(1)国籍選択者の年齢計算について
・受領日を基準日として計算する。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(国籍選択届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する								(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(国籍選択届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(国籍選択届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	国籍選択者カナ氏名	○	カナ				
11	国籍選択者漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	本籍	○	漢字				
14	筆頭者	○	漢字				
15	現有外国国籍1	○	漢字				戸104の2-Ⅱ
16	現有外国国籍2		漢字				
17	現有外国国籍3		漢字				
18	届出人資格1		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、110:未成年後見人、019:親権者養父、020:親権者養母、098:事件本人)であること			国18
19	届出人氏名1		漢字				
20	届出人資格2		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、110:未成年後見人、019:親権者養父、020:親権者養母、098:事件本人)であること			国18
22	届出人氏名2		漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(国籍選択届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(国籍選択届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.13)本籍 が管内であること			
11-1	(No.11)国籍選択者漢字氏名の氏 ＝ (No.14)筆頭者の氏であること			
12	(No.18)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.19)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
13	(No.18)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.19)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
14	(No.18)届出人資格1 ≠ (No.20)届出人資格2であること			
15	(No.20)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.21)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
16	(No.20)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.21)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
17	(No.19)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.19)届出人氏名1 ≠ (No.21)届出人氏名2であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1

作業名	審査(国籍選択届)
処理名	3.0 審査

					備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/		
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する				
YES	(0-2)→(0-5)へ		/		
NO	→			(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ		/		
(0-5)国籍選択者漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)			/		R2.1(国籍選択-20)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-7)本紙へ	R2.1(国籍選択-20)
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-10)本紙へ	不受理、R2.1(国籍選択-20)
NO	(0-9)→				画面項目修正(審査完了しない R2.1(国籍選択-20)
NO	(0-11)→(1)へ		/		R2.1(国籍選択-20)
(1)生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)			/		国18
YES	(2)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、110:未成年後見人、その他)		/		
000	(3)届出人資格2(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)		/		
098	(4)		/		(4)～(11)削除
	(5)		/		
	(6)			(7)	
	(8)				
	(9)				
	(10)				
	(11)				
	(11-1) →			(11-2)本紙へ	受理
110	(11-3)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する				
YES	(11-4) →				受理
NO	(11-5) →				不受理
その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理
098	(13)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名			審査(国籍選択届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		000	(14)		/			(14)～(21)削除	
			(15)		/				
			(16)			(17)			
			(18)						
			(19)						
			(20)						
			(21)						
			(21-1) →			(21-2)本紙へ		受理	
		その他	(22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	110		(22-1)届出人資格2(000:未入力、その他)		/				
		000	(22-2)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			(22-3)本紙へ			
			YES (22-4) →					受理	
			NO (22-5) →					不受理	
		その他	(22-6)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	その他		(23)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
NO			(24)審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3.1]		/				
			(25) →			(26)本紙へ			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(国籍選択届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/				
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/				
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(4)3.0審査へ			
		YES	(5)→				受理	
		NO	(6)→				不受理	
	110	(7)→(33)		/				
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(9)3.0審査へ		不受理	
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(12)3.0審査へ			
		YES	(13)→				受理	
		NO	(14)→				不受理	
	017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する						
		YES	(16)→				受理	
		NO	(17)→				不受理	
	その他	(18)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
	000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(21)3.0審査へ			
		YES	(22)→				受理	
		NO	(23)→				不受理	
	016,019	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する						
		YES	(25)→				受理	
		NO	(26)→				不受理	
	その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
110	(28)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(29)→(33)		/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(国籍選択届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理						備考	
	その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(31)3.0審査へ		不受理	
その他		(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
(33)国籍選択者は本籍人である(YES,NO)				/				
YES	(34)国籍選択者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)			/				
	YES	(35)→			(36)3.0審査へ		受理	
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に来成年後見人事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					不受理	
NO	(38)→						受理	

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(国籍選択届)						
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力						

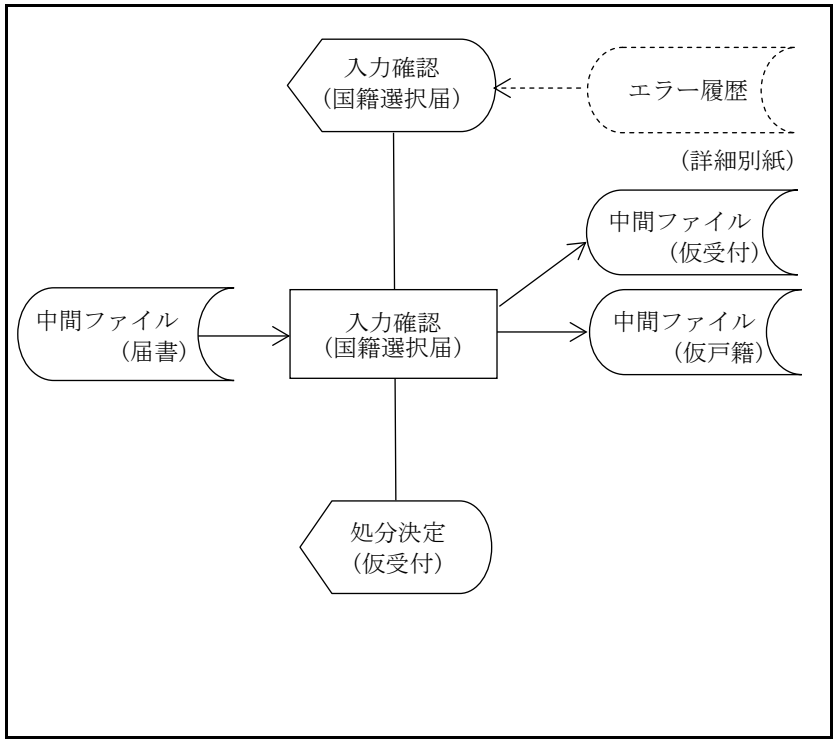
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		国籍選択届入力画面	受領NO				
	選択事件コード							26を引き渡す
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、国籍選択者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(国籍選択届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	国籍選択者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名		国籍選択届入力画面	国籍選択者カナ氏名				
	漢字氏名			国籍選択者漢字氏名				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	国名コード1			現有外国国籍1				
	現有外国国籍1							
	国名コード2			現有外国国籍2				
	現有外国国籍2							
	国名コード3			現有外国国籍3				
	現有外国国籍3							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍選択届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[国籍選択者])
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を入力確認画面に出力し、 メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である。(YES,NO)			/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する	[4.0]		(7)処分決定に制御を渡す。			
		身分事項(変動なし) (8)国籍選択者の変動なし事項の編集	[4.1]					
	NO	→						
PF1	→				(9)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(10)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(11)審査に制御を渡す			
PF11	→				(12)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(14)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍選択届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
国籍選択届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	国籍選択者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	国籍選択者漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	現有外国国籍1			国名コード1				
				現有外国国籍1				
	現有外国国籍2			国名コード2				
				現有外国国籍2				
	現有外国国籍3			国名コード3				
				現有外国国籍3				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	1.0　確認画面(国籍選択届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(国籍選択届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件		戸籍の変動
	本籍		国籍選択者の戸籍
	本籍人	非本籍人	変動なし
1	○		本人 4.1
2		○	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2601(国籍選択)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペース:受領日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1 届出人資格区分1名称			届出人資格1		 有		届出人資格 ＝ 098のときは、未設定 その他は資格及び氏名を移送する (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2 届出人資格区分2名称			届出人資格2		 有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							
	届後本籍							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							「0:不要」を移送
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							41:国籍選択者
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2) かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(国籍選択届)						
処理名	4.1　国籍選択者(記録)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人の時、国籍選択者の個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2601(国籍選択)
	記録コード								2601(国籍選択者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	国籍選択	国籍選択の宣言日			受領日				
	届出	届出日							
		届出人 資格			届出人資格1				届出人資格1･2の何れかが、 098(事件本人)の場合は、 移送しない 上記以外は、*1参照 但し、届出人資格1が000:未入力の場合は、 届出人資格2、届出人氏名2を1の方に詰めて移送する
		資格名称			届出人資格1名称				
		氏名			届出人氏名1				
		届出人 資格			届出人資格2				
		資格名称			届出人資格2名称				
		氏名			届出人氏名2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(国籍選択届)							
処理名	4.1　国籍選択者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

*1:届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父、親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		親権者養父、親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父		親権者養父、親権者母*1		親権者養父、親権者養母*1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父、親権者養母*1		親権者養父、親権者養母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

(2)届出人氏名
届出人資格1、2が019(親権者養父)　又は　020(親権者養母)　又は　110(未成年後見人)の場合、
対応する届出人氏名1、2をそれぞれ移送する。

第7.2.(5)「異動」処理

26.外国国籍喪失届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	外国国籍喪失届

1.外国国籍喪失業務処理範囲外の処理

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.外国国籍喪失届入力画面の意義

・外国国籍喪失者の各項目を入力する。

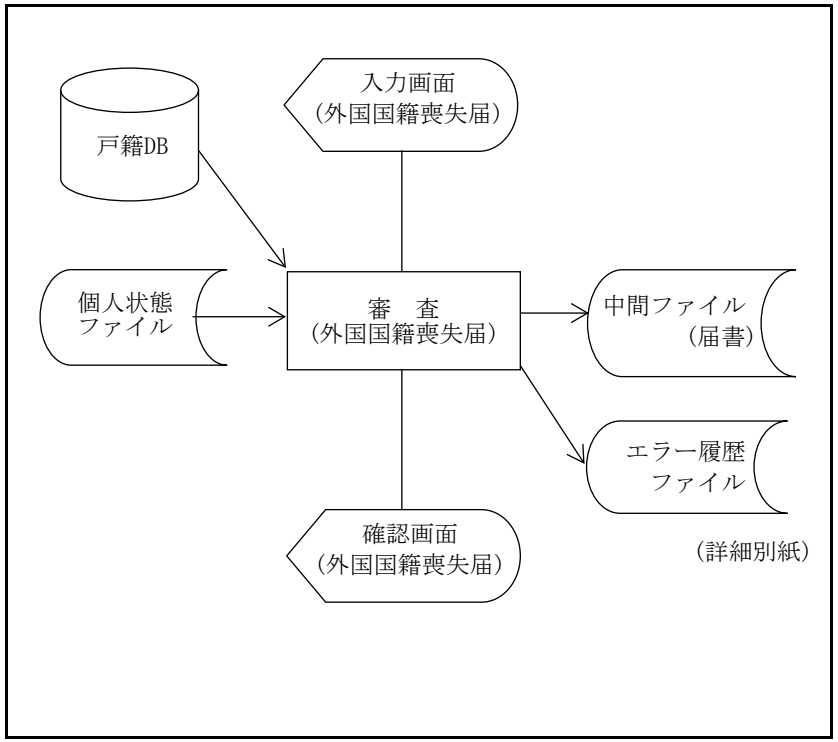
3.その他

添付書類
・外国官公署の発行する国籍離脱証明書、国籍を喪失した旨の記載のある外国の戸籍謄本、その他、外国の国籍を喪失したことを証する書面
(戸106-II・昭59.11.1民二5500号通達第3の6の(1))

届出期間の審査処理(戸106-I、大3.12.28民1125号回答)
・外国国籍喪失の事実を知った日及びその際に国内、国外に在ることが届書からはわからない為システム化後は喪失年月日を起算日とし、その日から3箇月以内であるか否かを確認メッセージでの対応とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(外国国籍喪失届)					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)外国国籍喪失届の内容を入力する
(2)外国国籍喪失届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)外国国籍喪失届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)外国国籍喪失届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(外国国籍喪失届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

(1)外国国籍喪失者の年齢計算について
・受領日を基準日として計算する。
(2)届出期間について
・喪失年月日を基準日として計算する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(外国国籍喪失届)			
処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
NO	(13)エラーメッセージを表示する			
NO				
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する		(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する			
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する			

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(外国国籍喪失届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(外国国籍喪失届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	外国国籍喪失者カナ氏名	○	カナ				
11	外国国籍喪失者漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	喪失年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者	○	漢字				
16	国籍喪失国名	○	漢字	国名であること			戸106-Ⅱ
17	届出人資格1		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、110:来成年後見人、019:親権者養父、020:親権者養母、098:事件本人)であること			戸31
18	届出人氏名1		漢字				
19	届出人資格2		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、110:未成年後見人、019:親権者養父、020:親権者養母、098:事件本人)であること			戸31
20	届出人氏名2		漢字				

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20

作業名	審査(外国国籍喪失届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(外国国籍喪失届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
12	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
13	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)本籍が管内であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.13)喪失年月日であること			
14-1	(No.11)外国国籍喪失者漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏であること			
15	(No.17)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.18)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
16	(No.17)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.18)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
17	(No.17)届出人資格1 ≠ (No.19)届出人資格2であること			
18	(No.19)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.20)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
19	(No.19)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.20)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
20	(No.18)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.18)届出人氏名1 ≠ (No.20)届出人氏名2であること			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(外国国籍喪失届)							
処理名	3.0 審査						備考	
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/				
YES	(0-1)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する							
	YES	(0-2)→(0-5)へ		/				
	NO	→			(0-3)本紙へ			
NO	(0-4)→(0-5)へ			/				
(0-5)外国国籍喪失者漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/			R2.1(外国国籍喪失-20)	
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-7)本紙へ		R2.1(外国国籍喪失-20)	
	YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-10)本紙へ		不受理 R2.1(外国国籍喪失-20)	
	NO	(0-9)→					画面項目修正(審査完了しない)、R2.1(外国国籍喪失-20)	
NO	(0-11)→(1)へ			/			R2.1(外国国籍喪失-20)	
(1)受領日 < 喪失年月日 + 3箇月(YES,NO)				/			戸106I、戸43	
YES	(2)→(8)へ			/				
NO	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間を経過していますがよろしいですか?」を表示する				(4)本紙へ		大3.12.28民1125号回答	
	YES	(5)→(8)		/				
	NO	(6)→			(7)本紙へ		不受理	
(8)生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)				/			戸31	
YES	(9)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、110:未成年後見人、その他)			/				
	000	(10)届出人資格2(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)		/				
		098	(11)→		(12)本紙へ		受理	
		110	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する		(13-1)本紙へ			
			YES (13-2)→				受理	
			NO (13-3)→				不受理	
		その他	(14)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(15)本紙へ		不受理	
	098	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)		/				
		000	(17)→		(18)本紙へ		受理	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名			審査(外国国籍喪失届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		その他	(19)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	110		(20)届出人資格2(000:未入力、その他)		/				
		000	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			(21-1)本紙へ			
			YES (21-2)→					受理	
			NO (21-3)→					不受理	
		その他	(22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(23)本紙へ		不受理	
	その他		(24)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
NO			(25)審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3.1]		/				
			(26)→			(27)本紙へ			
(28)								(28)削除	
	(29)							(29)～(33)削除	
		(30)				(31)			
		(32)							
	(33)								

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(外国国籍喪失届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/				
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/				
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(4)3.0審査へ			
		YES	(5)→				受理	
		NO	(6)→				不受理	
	110	(7)→(33)		/				
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(9)3.0審査へ		不受理	
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(12)3.0審査へ			
		YES	(13)→				受理	
		NO	(14)→				不受理	
	017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する						
		YES	(16)→				受理	
		NO	(17)→				不受理	
	その他	(18)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
	000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(21)3.0審査へ			
		YES	(22)→				受理	
		NO	(23)→				不受理	
	016,019	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する						
		YES	(25)→				受理	
		NO	(26)→				不受理	
	その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
110	(28)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(29)→(33)		/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(外国国籍喪失届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理						備考	
	その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(31)3.0審査へ		不受理	
その他		(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
(33)外国国籍喪失者は本籍人である(YES,NO)				/				
YES	(34)外国国籍喪失者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)			/				
	YES	(35)→			(36)3.0審査へ		受理	
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見人事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					不受理	
NO	(38)→						受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(外国国籍喪失届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		外国国籍喪失届入力画面	受領No				
	選択事件コード							27を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、外国国籍喪失者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(外国国籍喪失届)								
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
									場合は不受理とする

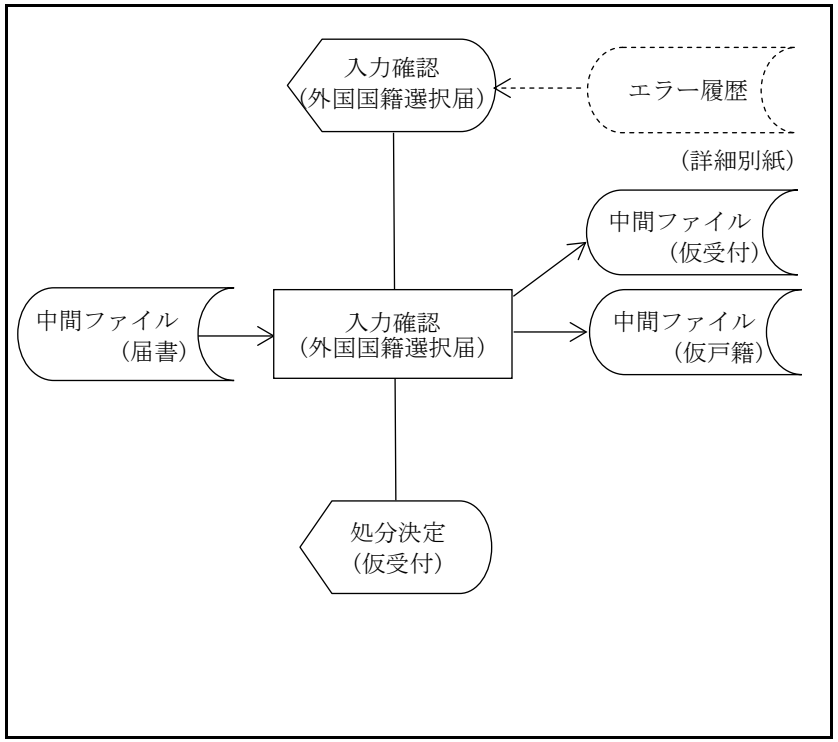
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(外国国籍喪失届)							
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決済を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	外国国籍喪失者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名		外国国籍喪失届入力画面	外国国籍喪失者カナ氏名				
	漢字氏名			外国国籍喪失者漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	喪失年月日			喪失年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	国名コード			国籍喪失国名				
	国籍喪失国名							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(外国国籍喪失届)

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[外国国籍喪失者])
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する				[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)					/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する			[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		[4.0]		(7)処分決定に制御を渡す			
		身分事項(変動なし)	(8)外国国籍喪失者の変動なし事項の編集	[4.1]					
	NO	→							
PF1	→					(9)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(10)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(11)審査に制御を渡す			
PF11	→					(12)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(14)同画面を編集する			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)								
処理名	1.0　確認画面(外国国籍喪失届)　表示								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
外国国籍喪失届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	本非区分名称							
	郵送日			郵送日		有		
	外国国籍喪失者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	外国国籍喪失者漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	喪失年月日			喪失年月日		有		
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	国籍喪失国名			国名コード				
				国籍喪失国名				
	届出人資格1			届出人資格1		有		
	届出人資格1名称							
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2		有		
	届出人資格2名称							
	届出人氏名2			届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(外国国籍喪失届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件		戸籍の変動
	本籍		外国国籍喪失者の戸籍
	本籍人	非本籍人	変動なし
1	○		本人 4.1
2		○	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2701(外国国籍喪失)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペース:受領日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	事件発生日			喪失年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、 未設定 その他は資格及び氏名を移送する (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							「0:不要」を移送
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							42:外国国籍喪失者
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2) かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)						
処理名	4.1　外国国籍喪失者(記録)　編集･出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人の時、外国国籍喪失者の個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2701(外国国籍喪失)
	記載コード								2701(外国国籍喪失者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				喪失年月日				
	外国国籍喪失	外国国籍喪失日			喪失年月日				必須移送項目
		喪失国籍			国籍喪失国名				必須移送項目
	届出	届出日			受領日				
		届出人	資格		届出人資格1				届出人資格1･2の何れかが、 098(事件本人)の場合は、 移送しない 上記以外は、*1参照 但し、届出人資格1が000:未入力の場合は、 届出人資格2、届出人氏名2を 1の方に詰めて移送する
			資格名称		届出人資格1名称				
			氏名		届出人氏名1				
		届出人	資格		届出人資格2				
			資格名称		届出人資格2名称				
			氏名		届出人氏名2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(外国国籍喪失届)							
処理名	4.1　外国国籍喪失者(記録)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

*1:届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父、親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		親権者養父、親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父		親権者養父、親権者母*1		親権者養父、親権者養母*1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父、親権者養母*1		親権者養父、親権者養母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

(2)届出人氏名
届出人資格1、2が019(親権者養父)又は020(親権者養母)又は110(未成年後見人)の場合、
対応する届出人氏名1、2をそれぞれ移送する。

第7.2.(5)「異動」処理

27.氏の変更届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	氏変43	「氏の変更届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_7.1 30条の13第1項(筆頭者) ・入力確認_7.2 30条の13第1項(配偶者) ・入力確認_7.3 30条の13第1項(他の構成員)
				「3.3 審査(届出人資格 筆頭者、配偶者双方)」(3)(7)の備考欄「戸1081」は「戸108Ⅰ」の誤りのため修正
2		氏変42		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	氏の変更届

1.氏の変更業務処理範囲外の処理

(1)異籍の子の(養)父母欄の更正処理

(2)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(3)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

(4)複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.氏の変更届入力画面の意義

(1)その1画面:氏の変更を行う当事者(筆頭者及び配偶者)の各項目を入力する。

(2)その2画面:上記以外の構成員の各項目を入力する。

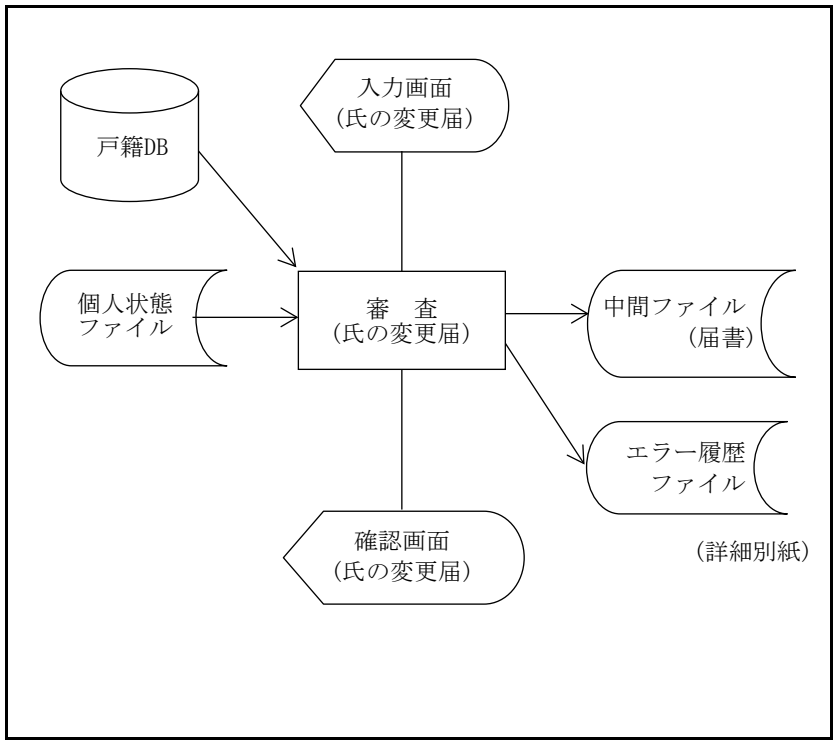
3.その他

(1)除籍になっている者の氏名DB中の漢字氏名の氏(カナ氏名も含む)も変更後の氏に変更する。

(2)配偶者の9条2項ファイルに生年月日は設定されない。9条2項通知は運用にて対処する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	審査(氏の変更届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)氏の変更届の内容を入力する
(2)氏の変更届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)氏の変更届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)氏の変更届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(氏の変更届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1審査(届出人資格:筆頭者単独)
  - 3.2審査(届出人資格:配偶者単独)
  - 3.3審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)
  - 3.4審査(届出人資格:法定代理人)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・年齢計算基準日:受領日を基準として計算する。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(氏の変更届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)							/			
	YES	(17)前ページ分の入力画面(氏の変更届)を編集する							(18)同画面を編集する		
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する									
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)							/			
	YES	(21)次ページ分の入力画面(氏の変更届)を編集する							(22)同画面を編集する		
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する									
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する									入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(26)入力画面を初期化する										
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(氏の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者氏名	○	漢字				
12	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者-個人除区分	○	数字	(0:在籍者、1:除籍者)であること			
14	筆頭者-配偶者区分		数字	(0:未、1:夫、2:妻、3;生存配偶者)であること			
15	筆頭者本籍	○	漢字				
16	筆頭者住所		漢字				住基8･9Ⅱ
17	筆頭者世帯主		漢字				
18	配偶者氏名		漢字				住基8･9Ⅱ
19	配偶者-外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
20	配偶者-配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
21	配偶者住所		漢字				
22	配偶者世帯主		漢字				
23	変更前カナ氏	○	カナ				
24	変更前氏	○	漢字				
25	変更後カナ氏	○	カナ				
26	変更後氏	○	漢字				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(氏の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	審判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			戸38Ⅱ
28	届出人資格1		数字	(008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、000:未入力)であること			戸107Ⅰ
29	届出人氏名1		漢字				
30	届出人資格2		数字	(008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、000:未入力)であること			戸107Ⅰ
31	届出人氏名2		漢字				
32	名義使用区分		数字	(0:未使用、1:夫、2;妻)であること			
33	構成員人数		数字				
34	構成員n氏名		漢字				住基8･9II
35	構成員nの父の氏名		漢字				
36	構成員nの母の氏名		漢字				
37	構成員nの養父の氏名		漢字				
38	構成員nの養母の氏名		漢字				住基8･9II
39	構成員n住所		漢字				
40	構成員nの世帯主		漢字				
41	構成員n更正区分		数字	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父+養母、9:母+養父)であること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(氏の変更届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)受領日 ≧ (No.27)審判確定日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
3	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.27)審判確定日であること			
6	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
10	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
11	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.27)審判確定日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.15)筆頭者本籍 ＝ 本籍地であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.27)審判確定日であること			
15	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 0:在籍者の時、 (No.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0:未婚、1:夫、2:妻、3:生存配偶者であること			
16				住所と世帯主はNo.19-1、19-2でチェックを実施するため削除
17	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 0:在籍者の時、 (No.20)配偶者-配偶者区分 ≠ 3:生存配偶者であること			
18	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 (No.14)筆頭者-配偶者区分、(No.16)筆頭者住所、(No.17)筆頭者世帯主、 (No.32)名義使用区分 ＝ スペースであること			
19	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 (No.20)配偶者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者であること			
19-1	(No.17)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.16)筆頭者住所 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(氏の変更届)						
処理名		画面名		画面ID			
2.0 関連チェック表		入力画面(氏の変更届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19-2	(No.16)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.17)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
19	(No.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 (No.18)配偶者氏名 ≠ スペースであること			
20	(No.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0:未婚の時、 (No.19)配偶者-外人区分、(No.20)配偶者-配偶者区分、(No.18)配偶者氏名、(No.21)配偶者住所、 (No.22)配偶者世帯主、(No.32)名義使用区分 ＝ スペースであること			
21	(No.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者の時、 (No.19)配偶者-外人区分、(No.20)配偶者-配偶者区分、(No.18)配偶者氏名、(No.21)配偶者住所、 (No.22)配偶者世帯主、(No.32)名義使用区分 ＝ スペースであること			
22	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.20)配偶者-配偶者区分、(No.18)配偶者氏名 ≠ スペースであること			
23-1	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.22)配偶者世帯主 ≠ スペースの時、 (No.21)配偶者住所 ≠ スペースであること			
23-2	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 0:日本人　かつ　(No.21)配偶者住所 ＝ スペースの時、 (No.22)配偶者世帯主 ＝ スペースであること			
24	(No.19)配偶者-外人区分 ＝ 1:外国人の時、 (No.18)配偶者氏名、(No.21)配偶者住所、(No.22)配偶者世帯主 ＝ スペースであること			
24-1	(No.19)筆頭者-個人除区分 ＝ 0:在籍者　かつ (No.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 1:夫　又は　2:妻の時、 (No.19)配偶者-外人区分 ≠ スペースであること			
25	(No.28)届出人資格1 ≠ (No.30)届出人資格2であること			
26	(No.33)構成員人数 ＝ 0の時、[氏の変更届その2]は未表示であること			
27	(No.28)届出人資格1 ＝ 000(未入力)の時、(No.29)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
28	(No.30)届出人資格2 ＝ 000(未入力)の時、(No.31)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
29	(No.28)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の時、(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
30	(No.30)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の時、(No.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
31	(No.28)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の時、(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
32	(No.30)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、(No.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
33	(No.28)届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
34	(No.30)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(氏の変更届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(氏の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
35	(No.28)届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
36	(No.30)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
37	(No.28)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.29)届出人氏名1 ≠ スペース　かつ　(No.30)届出人資格2 ＝ 000(未入力)　かつ (No.31)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
38	(No.30)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、 (No.31)届出人氏名2 ≠ スペース　かつ　(No.28)届出人資格1 ＝ 000(未入力)　かつ (No.29)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
39	(No.29)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.29)届出人氏名1 ≠ (No.31)届出人氏名2であること			
40	(No.24)変更前氏 ≠ (No.26)変更後氏であること			
41	※構成員n共通関連チェック ①:構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、構成員nの父の氏名 ≠ スペースであること ②:構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、構成員nの母の氏名 ≠ スペースであること ③:構成員n更正区分 ＝ 4:父母の時、（構成員nの父の氏名、構成員nの母の氏名） ≠ スペースであること ④:構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、構成員nの養父の氏名 ≠ スペースであること ⑤:構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、構成員nの養母の氏名 ≠ スペースであること ⑥:構成員n更正区分 ＝ 7:養父母の時、（構成員nの養父の氏名、構成員nの養母の氏名） ≠ スペースであること ⑦:構成員n更正区分 ＝ 8:父＋養母の時、（構成員nの父の氏名、構成員nの養母の氏名） ≠ スペースであること ⑧:構成員n更正区分 ＝ 9:母＋養父の時、（構成員nの母の氏名、構成員nの養父の氏名） ≠ スペースであること ⑨:構成員nの世帯主 ≠ スペースの時、構成員n住所 ≠ スペースであること ⑩:構成員n住所 ＝ スペースの時、構成員nの世帯主 ＝ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(氏の変更届)
処理名	3.0 審査

							備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示する						
	YES	(0-3)→(0-7)へ			/		
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ				/		
(0-7)筆頭者氏名の名が未入力　または (配偶者外人区分 = 0(日本人)　かつ 配偶者氏名の名が未入力) (YES,NO)					/		R2.1(氏変40)
YES	(0-8)確認メッセージ　(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-9)本紙へ	R2.1(氏変40)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示				(0-12)本紙へ	R2.1(氏変40)
	NO	(0-11)→					画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(氏変40)
NO	(0-13)→(1)へ				/		R2.1(氏変40)
(1)筆頭者-配偶者区分(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)					/		
0	(2)筆頭者-個人除区分(0:在籍、その他)				/		
	0	(3)筆頭者生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)			/		
		YES	(4)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]		/		
			(5)→(49)		/		
		NO	(6-1)審査(届出人資格:法定代理人)処理 [3.4]		/		
			(6-2)→(49)		/		
	その他	(6-3)配偶者-外人区分(0:日本人、その他)			/		
		0	(6-4)配偶者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者(YES,NO)		/		
			YES	(6-5)名義使用区分(0:未使用、その他)	/		
				0	(6-6)審査(届出人資格:配偶者単独)処理 [3.2]	/		
					(6-7)→(49)	/		
				その他	(6-8)エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する		(6-9)本紙へ	
			NO		(6-10)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			審査(氏の変更届)						
処理名			3.0 審査					備考	
		その他	(6-11)エラーメッセージ 「届出資格を有していません。」を表示する						
1	(7)配偶者-外人区分(0:日本人、その他)					/			
	0	(8)配偶者-配偶者区分 ＝ 2:妻(YES,NO)				/			
		YES	(9)名義使用区分(1:夫、2:妻、その他)			/			
			1	(10)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理	[3.1]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(11)→(49)		/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答	
			2	(13)審査(届出人資格:配偶者単独)処理	[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(14)→(49)		/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答	
			その他	(16)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理	[3.3]	/			
				(17)→(49)		/			
		NO	(18)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。				(15)本紙へ		
	その他	(20)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理			[3.1]	/			
		(21)→(49)				/			
2	(23)配偶者-外人区分(0:日本人、その他)					/			
	0	(24)配偶者-配偶者区分 ＝ 1:夫(YES,NO)				/			
		YES	(25)名義使用区分(1:夫、2:妻、その他)			/			
			1	(26)審査(届出人資格:配偶者単独)処理	[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(27)→(49)		/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答	
			2	(29)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理	[3.1]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(30)→(49)		/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答	
			その他	(32)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理	[3.3]	/			
				(33)→(49)		/			
		NO	(34)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。				(35)本紙へ		
	その他	(36)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理			[3.1]	/			
		(37)→(49)				/			
3	(38)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]				[3.1]	/			
	(39)→(49)					/		NO.40～48欠番	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(氏の変更届)
処理名	3.0 審査

							備考
(49)構成員の更正区分審査処理(構成員が無くなるまで繰り返す)					/		
(50)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)					/		
1	(51)→(49)				/		
上記以外	(52)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)				/		
					/		
	2、4、8	(53)構成員nの父の氏名 ＝ 筆頭者氏名(YES,NO)			/		
		YES	(54)→(60)		/		
		NO	(55)構成員nの父の氏名 ＝ 配偶者氏名(YES,NO)		/		
			YES	(56)→(60)	/		
			NO	(57)エラーメッセージ 「構成員の更正区分に誤りがあります。」を表示する		(58)本紙へ	
	上記以外	(59) → (60)			/		
	(60)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)				/		
	3、4、9	(61)構成員nの母の氏名 ＝ 筆頭者氏名(YES,NO)			/		
		YES	(62) → (68)		/		
		NO	(63)構成員nの母の氏名 ＝ 配偶者氏名(YES,NO)		/		
			YES	(64) → (68)			
			NO	(65)エラーメッセージ 「構成員の更正区分に誤りがあります。」を表示する		(66)本紙へ	
	上記以外	(67) → (68)			/		
	(68)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父)				/		
	5、7、9	(69)構成員nの養父の氏名 ＝ 筆頭者氏名(YES,NO)					
		YES	(70) → (76)				
		NO	(71)構成員nの養父の氏名 ＝ 配偶者氏名(YES,NO)				
			YES	(72) → (76)			

要件定義ワークシート								作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名					審査(氏の変更届)								
処理名					3.0 審査							備考	
				NO	(73)エラーメッセージ 「構成員の更正区分に誤りがあります。」を表示する				(74)本紙へ				
		上記以外			(75) → (76)				/				
		(76)構成員n更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、 8:父 + 養母、9:母 + 養父)							/				
		6、7、8	(77)構成員nの養母の氏名 ＝ 筆頭者氏名(YES,NO)										
			YES	(78) → (49)									
			NO	(79)構成員nの養母の氏名 ＝ 配偶者氏名(YES,NO)									
				YES	(80) → (49)								
				NO	(81)エラーメッセージ 「構成員の更正区分に誤りがあります。」を表示する				(82)本紙へ				
		上記以外	(83) → (49)						/				

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	審査(氏の変更届)
処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)

						備考
(1)届出人資格1(000:未入力、008:筆頭者、110:未成年後見人、その他)				/		
000	(2)届出人資格2(008:筆頭者、110:未成年後見人、その他)			/		
	008	(3)→		/		(3)、(4)、(5)、(7)、(8)は削除
			(4)	/		
				(5)		(6)本紙へ
				(7)	/	
			(8)	/		
	110	(9)		/		(9)、(10)、(11)、(12)、(14)は削除
			(10)	/		
				(11)	/	
				(12)		(13)本紙へ
			(14)			
		(12-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する				「N」の時、不受理
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理
008	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)			/		
	000	(17)→		/		(17)、(18)、(19)、(21)、(22)は削除
			(18)	/		
				(19)		(20)本紙へ
				(21)	/	
			(22)	/		
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(24)本紙へ	不受理
110	(25)届出人資格2(000:未入力、その他)			/		
	000	(26)		/		(26)、(27)は削除
			(27)	/		
				(28)	/	(28)、(29)、(31)は削除
				(29)		(30)本紙へ
			(31)			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)						備考	
		(29-1)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
その他		(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)					
処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独)				備考	

(1)届出人資格1(000:未入力、009:配偶者、その他)				/		
000	(2)届出人資格2(009:配偶者、その他))			/		
	009	(3)→		/		(4)、(5)、(7)、(8)は削除
			(4)	/		
				(5)		(6)本紙へ
				(7)	/	
			(8)		/	
		(9) →			/	(10)、(11)、(12)、(14)は削除
			(10)		/	
				(11)	/	
				(12)		(13)本紙へ
			(14)			
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理
009	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)			/		
	000	(17) →		/		(18)、(19)、(21)、(22)は削除
			(18)	/		
				(19)		(20)本紙へ
				(21)	/	
			(22)		/	
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(24)本紙へ	不受理
	(25)				/	(25)、(26)、(27)は削除
		(26) →			/	
			(27)		/	
				(28)	/	(28)、(29)、(31)(32)は削除
				(29)		(30)本紙へ
			(31)			
		(32)				不受理

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)						
処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独)				備考		
その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、008:筆頭者、009:配偶者、その他				/				
008	(2)届出人資格2(009:配偶者、その他)			/				
	009	(3) → (11)		/			戸108 I	
	その他	(4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(5)本紙へ			
009	(6)届出人資格2(008:筆頭者、その他)			/				
	008	(7) → (11)		/			戸108 I	
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(10)本紙へ			
その他	(9)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する							
(11)→				/	(11-1)3.0審査へ		(12)～(19)は削除	
	(12)			/				
		(13)			(14)			
		(15)		/				
	(16)			/				
		(17)			(18)			
					(19)			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	3.4 審査(届出人資格:法定代理人)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)					/			
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/			
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(4)本紙へ	「N」の時、不受理	
	110	(5)本非区分(1:本籍、2:非本籍)			/			
		1	(6)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/			
			YES	(7) →		(8)3.0審査へ		
			NO	(9)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する		(10)本紙へ		
		2	(11) →			(12)3.0審査へ		
	その他	(13)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(14)本紙へ		
016,019	(15)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)				/			
	000	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(17)本紙へ	「N」の時、不受理	
	017,020	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(19)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						
017,020	(20)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)				/			
	000	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(22)本紙へ	「N」の時、不受理	
	016,019	(23)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						
110	(25)届出人資格2(000:未入力、その他)				/			
	000	(26) → (29)			/			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成12年 3月1日	版	4
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	3.4 審査(届出人資格:法定代理人)						備考	
その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(28)本紙へ			
	(29)本非区分(1:本籍、2:非本籍)			/				
1	(30)事件本人の身分事項に後見人事項がある(YES,NO)			/				
	YES	(31) →			(32)3.0審査へ			
	NO	(33)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する			(34)本紙へ			
2	(35) →				(36)3.0審査へ			
その他	(37)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する				(38)本紙へ			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		氏の変更届入力画面	受領No				
	選択事件コード							28を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者及び配偶者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

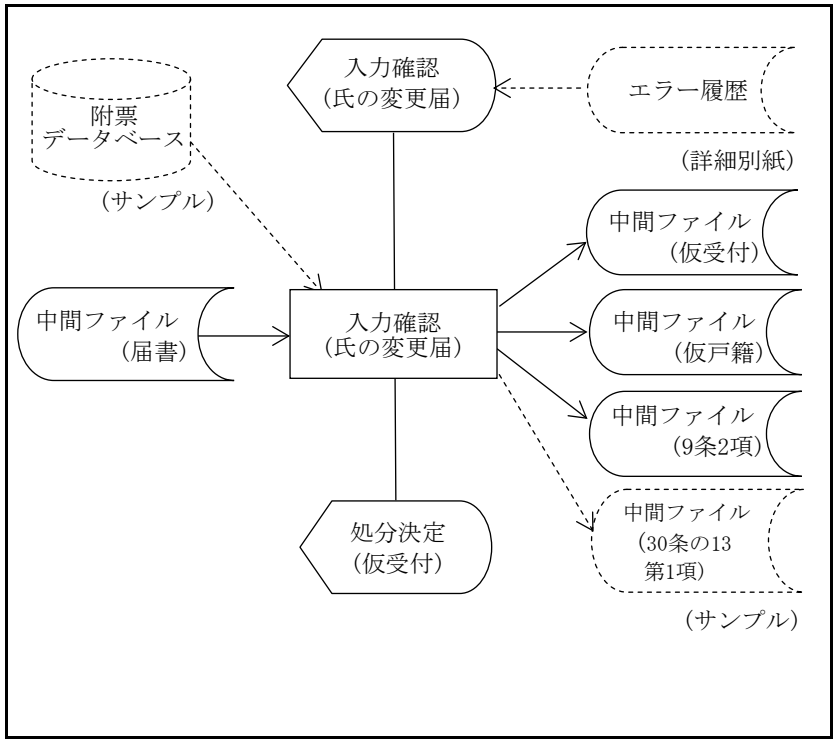
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
								2 ー 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決済を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者個人番号							本籍人の場合、筆頭者の個人番号
	筆頭者カナ氏名		氏の変更届入力画面	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名			筆頭者氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者個人除区分			筆頭者-個人除区分				
	筆頭者配偶者区分			筆頭者-配偶者区分				
	筆頭者本籍コード			筆頭者本籍				
	筆頭者本籍							
	筆頭者住所コード			筆頭者住所				
	筆頭者住所コード							
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	配偶者個人番号							本籍人の場合、配偶者の個人番号
	配偶者氏名			配偶者氏名				
	配偶者外人区分			配偶者-外人区分				
	配偶者配偶者区分			配偶者-配偶者区分				
	配偶者住所コード			配偶者住所				
	配偶者住所							
	配偶者世帯主			配偶者世帯主				
	変更前カナ氏			変更前カナ氏				
	変更前漢字氏			変更前氏				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後氏				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(氏の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	審判確定日			審判確定日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	構成員人数			構成員人数				
	構成員nの個人番号							本籍人の場合、構成員の個人番号
	構成員nの漢字氏名			構成員n氏名				構成員の明細については、複数件(n件)出力する。 (入力されたデータ分)
	構成員nの父の氏名			構成員nの父の氏名				
	構成員nの母の氏名			構成員nの母の氏名				
	構成員nの養父の氏名			構成員nの養父の氏名				
	構成員nの養母の氏名			構成員nの養母の氏名				
	構成員n住所コード			構成員n住所				
	構成員n住所							
	構成員nの世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(氏の変更届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍事項(変動なし)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(更正者))
  - 5.1 個人特定(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 筆頭者
  - 6.2 配偶者
  - 6.3 他の構成員
- 7.0 データ編集表(中間ファィル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 7.1 筆頭者
  - 7.2 配偶者
  - 7.3 他の構成員

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(氏の変更届)
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する					[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2.PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する				[3.0]	/	
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(6)戸籍変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/	
		戸籍変動(変動なし)	(7)氏の変更事項の編集		[4.1]	/	
		身分事項(変動なし)	(8)更正者の身分(更正)事項の編集		[5.1]	/	
		(8-1)在籍している筆頭者、配偶者、他の構成員全員について下記の処理を行う				/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(8-1)～(8-4)
		(8-2)当該在籍者は在外選挙人である(YES,NO)				/	
		YES	(8-3)当該在籍者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	筆頭者の編集	[7.1]	/	
				配偶者の編集	[7.2]		
				他の構成員の編集	[7.3]		
		NO	(8-4)→(10)			/	
	NO	(9)→(10)				/	
	(10)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					/	
	YES	(11)筆頭者個人除区分 ＝ 0:在籍者である(YES,NO)				/	
		YES	(12)筆頭者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[6.1]	/	
		NO	(13)→(14)			/	
		(14)配偶者配偶者区分 ＝ 1:夫、2:妻又は3:生存配偶者である(YES,NO)				/	
		YES	(15)配偶者外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)			/	
			YES	(16)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[6.2]	/
			NO	(17)→(18)			/
			(18)構成員人数 ≠ スペース(ZERO)である(YES,NO)				/
			YES	(19)構成員について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[6.3]		(20)処分決定に制御を渡す	※除籍者に対する9条2項通知の作成は不要である
			NO	→				
		NO	→					
	NO	→						

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF1	→				(21)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(22)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(23)審査(氏の変更届)に制御を渡す			
PF7	(24)前ページがあるか(ある、なし)		/					
	ある	(25)前ページ分の確認画面(氏の変更届)を編集する			(27)同画面を編集する			
	なし	(26)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(28)次ページがあるか(ある、なし)		/					
	ある	(29)次ページ分の確認画面(氏の変更届)を編集する			(31)同画面を編集する			
	なし	(30)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(32)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(34)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
氏の変更届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者生年月日		中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者生年月日				
	筆頭者-個人除区分			筆頭者個人除区分				
	筆頭者-個人除区分名称					有		
	筆頭者-配偶者区分			筆頭者配偶者区分				
	筆頭者-配偶者区分名称					有		
	筆頭者本籍			筆頭者本籍コード				
				筆頭者本籍				
	筆頭者カナ氏名			筆頭者カナ氏名				
	筆頭者氏名			筆頭者漢字氏名				
	筆頭者住所			筆頭者住所コード				
				筆頭者住所				
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	配偶者-外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者-外人区分名称					有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者-配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者-配偶者区分名称					有		
	配偶者氏名			配偶者氏名				
	配偶者住所			配偶者住所コード				
				配偶者住所				
	配偶者世帯主			配偶者世帯主				
	変更前カナ氏			変更前カナ氏				
	変更前漢字氏			変更前漢字氏				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	審判確定日			審判確定日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	名義使用区分名称					有		
	構成員人数			構成員人数				
	構成員n氏名			構成員nの漢字氏名				構成員の明細については、複数件(n件)含まれている。
	構成員nの父の氏名			構成員nの父の氏名				
	構成員nの母の氏名			構成員nの母の氏名				
	構成員nの養父の氏名			構成員nの養父の氏名				
	構成員nの養母の氏名			構成員nの養母の氏名				
	構成員n住所			構成員n住所コード				
				構成員n住所				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(氏の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	構成員nの世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(氏の変更届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				戸籍の変動
	氏変更者				氏変更者の戸籍
	本籍		構成員の更正区分 *2		変動なし　A.2 C.2 D.2　*1
	本籍人	非本籍人	有 (2,3,4,5,6,7,8,9)	無 (1)	
1	○		○		戸籍事項編集　4.1
					更正者　5.1
2	○			○	戸籍事項編集　4.1
3		○	○		
4		○		○	

*1:在籍者の人数分作成。

*2:構成員の人数分それぞれ判定し、更正者の身分事項を作成する。(父母欄更正)

(注)　・A.2(戸籍特定事項)は、筆頭者について更新を行う。

・D.2(氏名情報)は、カナ氏名と漢字氏名について変更後(氏の変更)氏名で作成する。
(筆頭者が除籍されている場合についても作成する。)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成17年 3月1日	版	9
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							28を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							ZEROを移送
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							「0:日本人のみ」を移送
	証書提出日							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							ZEROを移送
	許可日							
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 008、009、000の場合は、未設定(資格1、2及び氏名1、2) 上記以外の場合は、資格および氏名を移送する。 (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							移送データなし
	届後本籍コード							移送データなし

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成17年 3月1日	版	9
作業名	入力確認(氏の変更届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届後本籍							移送データなし	
	届後戸籍の筆頭者							移送データなし	
	送達確認1							「0:不要」を移送	
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる	
	処分区分			処分区分					
	決裁区分			決裁区分					
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 008:44(筆頭者)で1件作成 届出人資格1 又は 2 ＝ 009:45(配偶者)で1件作成 届出人資格1 又は 2 ＝ 008又は009以外の時、44(筆頭者)で1件作成	
	届出人区分							届出人資格1、2が008 又は 009の場合1(届出人)を設定。 上記以外は、0(届出人以外)を設定	
	カナ氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者カナ氏名移送 45の場合、配偶者カナ氏名移送	
	漢字氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者漢字氏名移送 45の場合、配偶者漢字氏名移送	
	生年月日							事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送	
	本籍コード			筆頭者本籍コード					
	本籍			筆頭者本籍					
	筆頭者			筆頭者漢字氏名					
	送達確認2					事件本人の現本籍が、(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。			

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(氏の変更届)						
処理名	4.1 （戸籍事項・変動なし） 編集･出力						

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)						
	行番号									
	出力区分									「0」を設定
	タイトルコード									2801:「氏の変更」を設定
	記録コード									2801:「107条1項の氏の変更者の氏の変更の記録」を設定
	管掌者コード									
	事件発生日				受領日					
	氏の変更	氏変更日			受領日					
		氏変更の事由								「戸籍法107条1項の届出」を設定
	届出人(1)	資格			届出人資格1、2					届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次頁参照(2/2)
		資格名称								
		氏名								
	届出人(2)	資格								
		資格名称								
		氏名								
	送付	送付を受けた日			送付日					送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元					発送元 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	従前記録	従前の記録								
		氏			変更前漢字氏					
	記録	記録日								処理日 ≠ スペース:処理日を移送
	特記	特記事項								名義使用区分が1 又は 2の場合「夫婦名義で届出」を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成23年 3月1日	版	14
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	4.1 (戸籍事項・変動なし) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			

届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫 又は 妻*1	夫 又は 妻*1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫又は妻 *1				親権者父母			
009(配偶者)	夫又は妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父、養母*2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		養父、親権者母*2		
019(親権者養父)	親権者養父				養父、親権者母*2		養父、養母*2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父、養母*2		養父、養母*2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1、2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

EX. 親権者養父 と 親権者養母 の場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	5.1　更正者(身分事項・変動なし、個人特定)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								7001:「更正」を設定
	記録コード								7001:「更正事項の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	更正	更正日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日 ≠ スペース:処理日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送 上記以外　:受領日を移送
		更正事項							更正区分に該当する [(養)父、(養)母]を移送
		更正事由							更正区分に該当する [(養)父、(養)母]+「氏変更」
	記従録前	従前の記録			構成員nの父の氏名、母の氏名、養父の氏名、養母の氏名				該当項目を移送

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成11年 3月10日	版	3
作業名	入力確認(氏の変更届)						
処理名	5.1　更正者(身分事項・変動なし、個人特定)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

(1)更正事項･更正事由について

更正区分	変換文字
2	「父」
3	「母」
4	「父母」
5	「養父」
6	「養母」
7	「養父母」
8	「父及び養母」
9	「養父及び母」

上記の表に従い、更正区分を判定し事項及び事由を作成する。
更正事項:変換文字 + の氏名　　(例)養父母の氏名
更正事由:変換文字 + 氏変更　　(例)養父母氏変更

(2)従前の記録について
更正区分に従い、該当する従前の氏名を作成する。

更正区分	従前の記録	(移送する従前氏名)
2	【父】　KKK～KKK	←構成員nの父の氏名
3	【母】　KKK～KKK	←構成員nの母の氏名
4	【父】　KKK～KKK	←構成員nの父の氏名
	【母】　KKK～KKK	←構成員nの母の氏名
5	【養父】　KKK～KKK	←構成員nの養父の氏名
6	【養母】　KKK～KKK	←構成員nの養母の氏名
7	【養父】　KKK～KKK	←構成員nの養父の氏名
	【養母】　KKK～KKK	←構成員nの養母の氏名
8	【父】　KKK～KKK	←構成員nの父の氏名
	【養母】　KKK～KKK	←構成員nの養母の氏名
9	【母】　KKK～KKK	←構成員nの母の氏名
	【養父】　KKK～KKK	←構成員nの養父の氏名

(例)【従前の記録】
【養父】甲野義太郎
【養母】甲野梅子

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.1　9条2項(筆頭者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			筆頭者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			筆頭者個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧氏名			筆頭者漢字氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			筆頭者世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.1　9条2項(筆頭者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.2　9条2項(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			配偶者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			配偶者個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 + 配偶者氏名の名				
	旧氏名			配偶者氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			配偶者世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.2　9条2項(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.3　9条2項(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			構成員n住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			構成員nの個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 + 構成員nの漢字氏名の名				
	旧氏名			構成員nの漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			構成員n住所コード				
	住所			構成員n住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			構成員nの世帯主				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	6.3　9条2項(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無 (ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.1　30条の13第1項(筆頭者)　編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			筆頭者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧氏名			筆頭者漢字氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.2　30条の13第1項(配偶者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			配偶者個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 配偶者氏名の名				
	旧氏名			配偶者氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(氏の変更届)							
処理名	7.3　30条の13第1項(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			構成員nの個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 + 構成員nの漢字氏名の名				
	旧氏名			構成員nの漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			構成員n住所コード				
	住所			構成員n住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

28.107条2項届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	107-2の27	「107条2項届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_8.1 30条の13第1項(氏の変更者)
2		107-2の28		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	－	「107条2項届」	「届書入力処理誤記一覧_様式統一」による修正 ・入力確認_6.1 氏の変更者(除籍) ・入力確認_6.2 氏の変更者(入籍) ・入力確認_6.3 氏の変更者(変動なし) 記録コード「2901」名称修正 「107条2項の変更者の記録」→「107条2項の氏変更の変更者の記録」
4		－		「届書入力処理誤記一覧_様式統一」による修正 ・8.1　30条の13第1項(氏の変更者) ①項目名修正 「新父母との続柄」→「新性別」 「旧父母との続柄」→「旧性別」 ②「転入届出日」を追加

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13

作業名	107条2項届

1.107条2項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・氏を変更する者の子について、(養)父母欄の氏を更正する場合は、更正処理

・非本籍地に届出し、その管内に新戸籍編製する場合の個人特定(入籍)の編集は、移記処理

・変更後の氏に子に承継する部分が含まれているか否かの審査
但し、上記についての外国法制の調査は実際に困難であるため、特段の事情がない限り届出の通り受理されることになる

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

2.107条2項届入力画面の意義

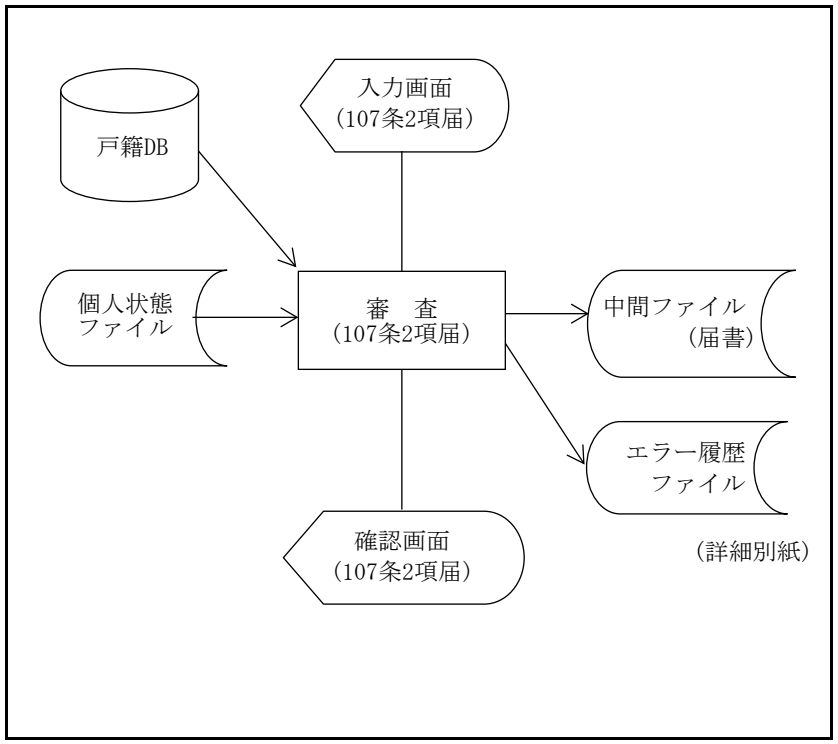
・氏の変更を行う当事者(筆頭者)の各項目を入力する。

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(107条2項届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)107条2項届の内容を入力する
(2)107条2項届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)107条2項届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)107条2項届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(107条2項届)に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

(1)届出期間は、婚姻日～受領日で計算する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(107条2項届)			
処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
NO	(13)エラーメッセージを表示する			
NO				
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する		(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する			
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する			

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(107条2項届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(107条2項届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	筆頭者本籍	○	漢字				
15	筆頭者住所		漢字				
16	筆頭者世帯主		漢字				
17	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	筆頭者婚姻年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	筆頭者 - 配偶者区分	○	数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
20	配偶者氏	○	漢字				
21	配偶者名	○	漢字				
22	配偶者 - 外人区分	○	数字	(1:外国人)であること			
23	同籍者区分	○	数字	(0:無、3:他構成員のみ)であること			戸20の2 I
24	新本籍		漢字				戸20の2 I

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(107条2項届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(107条2項届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻年月日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)筆頭者本籍　又は　(No.24)新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻年月日であること			
14	(No.23)同籍者区分 ＝ 0:無の時、(No.24)新本籍 ＝ スペースであること			
15	(No.23)同籍者区分 ≠ 0:無の時、(No.24)新本籍 ≠ スペースであること			
16	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏 ≠ (No.13)変更後漢字氏であること			
17	(No.16)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.15)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
17-1	(No.15)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.16)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
18	(削除)			R2.1(107の2の25)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(107条2項届)							
処理名	3.0 審査						備考	
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/			
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する							
	YES	(0-3)→(0-7)へ			/			
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-6)→(0-7)へ				/			
(0-7)筆頭者漢字氏名の名が未入力(YES,NO)					/		R2.1(107の2の23)	
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-9)本紙へ	R2.1(107の2の23)	
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示				(0-12)本紙へ	R2.1(107の2の23)	
	NO	(0-11)→					画面項目修正(審査完了しない) R2.1(107の2の23)	
NO	(0-13)→(1)へ				/		R2.1(107の2の23)	
(1)筆頭者婚姻年月日 + 6箇月 > 受領日である(YES,NO)					/		戸107Ⅱ、戸43、民143	
YES	(2)筆頭者 - 配偶者区分(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)				/			
	1、2	(3)→				(3-1)本紙へ		
	3	(4)エラーメッセージ 「外国人配偶者が死亡しています。」を表示する				(5)本紙へ	不受理 昭和59.11.1 民二5500号通達	
NO	(6)エラーメッセージ 「届出有効期間(6箇月以内)を経過しています。」を表示する						不受理	
(7)					/		(7)～(13)欠番	
	(8)				/			
		(9)				(10)		
			(11)					
			(12)					
	(13)							
(14) 変更後漢字氏 ＝ 配偶者氏(YES,NO)							R2.1(107の2の25)	
YES	(15)→					(16)本紙へ	R2.1(107の2の25)	
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏と配偶者の氏が異なりますが、よろしいですか?」を表示する						R2.1(107の2の25)	
	YES	(18)→				(19)本紙へ	R2.1(107の2の25)	
	NO	(20)→				(21)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない) R2.1(107の2の25)	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(107条2項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		107条2項届入力画面	受領No				
	選択事件コード							29を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							1:渉外
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(107条2項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

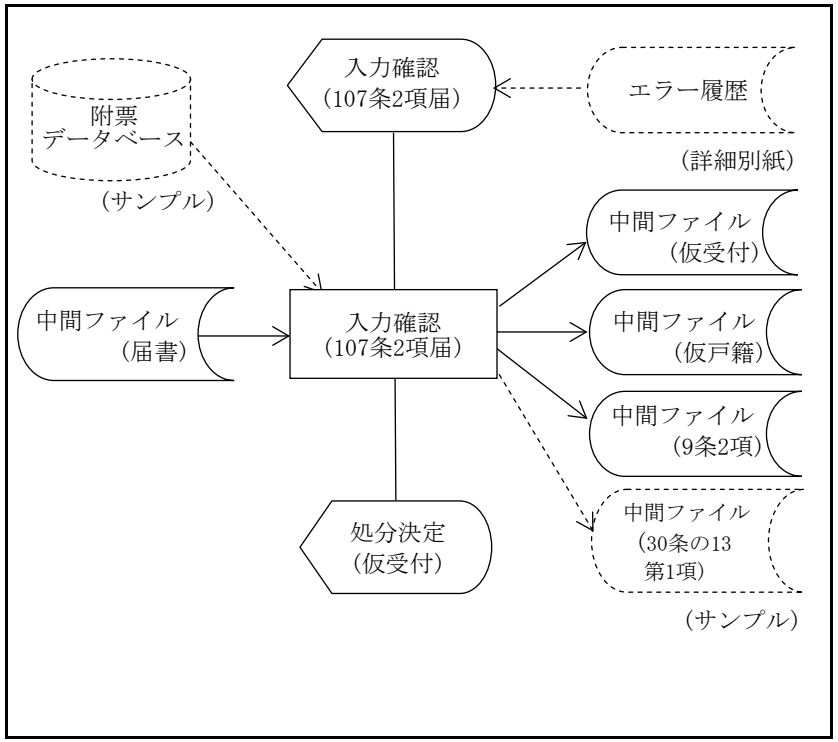
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理　又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							再入力の場合に 1:排他 を設定
中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定
	筆頭者カナ氏名		107条2項届入力画面	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名			筆頭者漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	筆頭者本籍コード			筆頭者本籍				
	筆頭者本籍							
	筆頭者住所コード			筆頭者住所				
	筆頭者住所							
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者婚姻年月日			筆頭者婚姻年月日				
	配偶者区分			筆頭者-配偶者区分				
	配偶者氏			配偶者氏				
	配偶者名			配偶者名				
	配偶者外人区分			配偶者-外人区分				
	同籍者区分			同籍者区分				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名							新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏 + 筆頭者カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者氏名							新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(107条2項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.、	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条2項届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍事項(107条2項)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定(入籍)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 身分事項(除籍)
  - 6.2 身分事項(入籍)
  - 6.3 身分事項(変動なし)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 氏の変更者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 氏の変更者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条2項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/				
		戸籍事項	(7)戸籍法107条2項届の編集	[4.1]	/			
		個人特定(入籍)	(8)事件本人の個人特定情報の編集	[5.1]	/			
		身分事項(除籍)	(9)事件本人の除籍事項の編集	[6.1]	/			
		身分事項(入籍)	(10)事件本人の入籍事項の編集	[6.2]	/			
		身分事項(変動なし)	(11)事件本人の変動なし事項の編集	[6.3]	/			
		(11-1)氏変更者は在外選挙人である(YES,NO)			/		※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(11-1)(11-2)	
		YES	(11-2)氏変更者について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する	[8.1]	/			
		NO	(12) → (13)		/			
	NO				/			
	(13)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/			
	YES	(14)氏変更者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[7.1]		(15)処分決定に制御を渡す		
	NO	→						
PF1	→					(16)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(17)届出選択に制御を渡す		
PF5	→					(18)審査に制御を渡す		
PF11	→					(19)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(20)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(21)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条2項届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条2項届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書)共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者カナ氏名		中間ファイル(届書)事件別内容	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名			筆頭者漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	筆頭者本籍			筆頭者本籍コード				
				筆頭者本籍				
	筆頭者住所			筆頭者住所コード				
				筆頭者住所				
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日		有		
	筆頭者婚姻年月日			筆頭者婚姻年月日		有		
	筆頭者-配偶者区分			配偶者区分				
	筆頭者-配偶者区分名称					有		
	配偶者氏			配偶者氏				
	配偶者名			配偶者名				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条2項届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者-外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者-外人区分名称					有		
	同籍者区分			同籍者区分				
	同籍者区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

補足説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条2項届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	条件						戸籍の変動		
	氏変更者						氏変更者の戸籍		新戸籍編製　A.1 4.1 B.1 5.1 D.1
	本籍		同籍者区分		新戸籍編製		一部除籍　A.2 C.2	変動なし　A.2 4.1 D.2	
	本籍人	非本籍人	無	他構成員のみ	管内	管外			
1	○		○					氏変更者(6.3)	
2	○			○	○		氏変更者(6.1)		氏変更者(6.2)
3	○			○		○	氏変更者(6.1)		
4		○		○	○				民変更者(6.2)

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2901(戸籍法107条2項)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ 空白の時、受領日 送付日 ≠ 空白の時、送付日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							本人であるので移送しない
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							新本籍 ≠ スペースの時、2を移送

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条2項届)								
処理名	3.0 中間ファイル(仮受付) 編集・出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届後本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	届後本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	届後戸籍の筆頭者							新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏+ 筆頭者漢字氏名の名」を移送	
	送達確認1							(届後本籍が非本籍) かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定	
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用	
	処分区分			処分区分					
	決裁区分			決裁区分					
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分							53:氏変更者 を設定	
	届出人区分							1:事件本人 を設定	
	カナ氏名			筆頭者カナ氏名					
	漢字氏名			筆頭者漢字氏名					
	生年月日			筆頭者生年月日					
	本籍コード			筆頭者本籍コード					
	本籍			筆頭者本籍					
	筆頭者			筆頭者漢字氏名					
	送達確認2							事件本人の現本籍が、(本非区分 ＝ 2) かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	4.1 (戸籍事項・変動なし) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	行番号							
	出力区分							0:可を設定
	タイトルコード							2901:を設定
	記録コード							2901:を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を設定
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた日							
	従前記録の 従前の記録							新本籍 ＝ スペースのとき、 「筆頭者漢字氏名の氏」を移送 上記以外は移送しない。
	従前記録の 従前の記録 氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	5.1　氏の変更者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別							配偶者区分より判定し、設定
	生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者区分							1:筆頭者を設定
	配偶者区分			配偶者区分				
	父							移記処理で設定
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者 を設定

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年 3月31日	版	R4
作業名	入力確認(107条2項届)								
処理名	6.1 氏の変更者(除籍) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2901:「氏の変更」を設定
	記録コード								2901:「107条2項の氏変更の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							除籍では不使用
	入戸籍	従戸前籍 本籍							除籍では不使用
		筆頭者							除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				該当項目を移送
		変更後の氏			変更後漢字氏				該当項目を移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年 3月31日	版	R4
作業名	入力確認(107条2項届)								
処理名	6.2 氏の変更者(入籍) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2901:「氏の変更」を設定
	記録コード								2901:「107条2項の氏変更の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従戸前籍 本籍			筆頭者本籍				該当項目を移送
		従戸前籍 筆頭者			筆頭者漢字氏名				該当項目を移送
	除籍	除籍日							入籍では不使用
	除戸籍	新本籍							入籍では不使用
		変更後の氏							入籍では不使用
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年 3月31日	版	R4
作業名	入力確認(107条2項届)								
処理名	6.3　氏の変更者(変動なし)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								2901:「氏の変更」を設定
	記録コード								2901:「107条2項の氏変更の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							変動なしでは不使用
	入戸籍	従戸前籍 本籍							変動なしでは不使用
		従戸前籍 筆頭者							変動なしでは不使用
	除籍	除籍日							変動なしでは不使用
	除戸籍	新本籍							変動なしでは不使用
		変更後の氏							変動なしでは不使用
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条2項届)								
処理名	7.1 9条2項(氏の変更者) 編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号				出張所番号				
	市区町村コード				筆頭者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名								市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード								29:107条2項届
	受理日				受領日 又は 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号								本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名								「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧氏名				筆頭者漢字氏名				
	新生年月日				筆頭者生年月日				
	旧生年月日				筆頭者生年月日				
	新父母との続柄								
	旧父母との続柄								
	新本籍コード				新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新本籍				新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍コード				筆頭者本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍				筆頭者本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新筆頭者								「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧筆頭者				筆頭者漢字氏名				
	住所コード				筆頭者住所コード				
	住所				筆頭者住所				
	方書								
	住定日								
	住民日								
	世帯主				筆頭者世帯主				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条2項届)							
処理名	7.1 9条2項(氏の変更者) 編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年 3月31日	版	R4
作業名	入力確認(107条2項届)								
処理名	8.1　30条の13第1項(氏の変更者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード	
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					29:107条2項届	
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定	
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名							「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送	
	旧氏名			筆頭者漢字氏名					
	新生年月日			筆頭者生年月日					
	旧生年月日			筆頭者生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	新本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	旧本籍			筆頭者本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	新筆頭者							「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送	
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名					
	住所コード			筆頭者住所コード					
	住所			筆頭者住所					
	方書								
	転入届出日								

第7.2.(5)「異動」処理

29.107条3項届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	－	「107条3項届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_8.1 30条の13第1項(氏の変更者)
2		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成22年 3月 1日	版	13

作業名	107条3項届

1.107条3項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・氏を変更する者の子について、(養)父母欄の氏を更正する場合(更正処理)

・事件本人が当該届出前に婚姻していた場合は審査結果入力処理で対応する。

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

2.107条3項届入力画面の意義

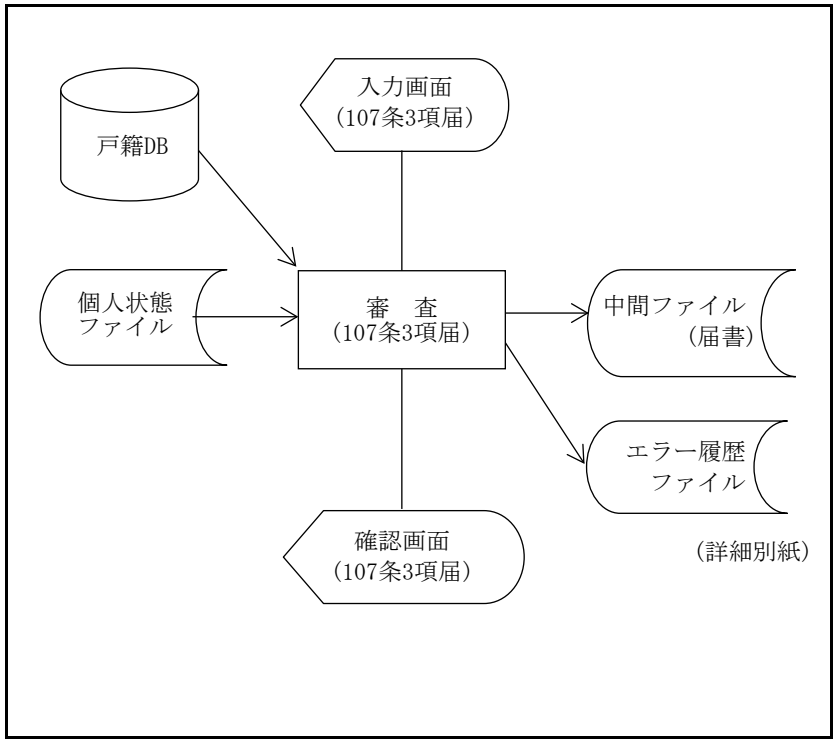
・氏の変更を行う当事者(筆頭者)の各項目を入力する。

3.その他

特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(107条3項届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)107条3項届の内容を入力する
(2)107条3項届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)107条3項届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)107条3項届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(107条3項届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック
　　├ 2.0 関連チェック
　　├ 3.0 審査
　　└ 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート						作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	3
作業名	審査(107条3項届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する								(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(107条3項届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(107条3項届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	筆頭者本籍	○	漢字				
15	筆頭者住所		漢字				
16	筆頭者世帯主		漢字				
17	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	筆頭者婚姻解消日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	107条3項原因	○	数字	(1:離婚、2:婚姻取消、3:配偶者死亡)であること			
20	外人配偶者氏名	○	漢字				
21	同籍者区分	○	数字	(0:無、1:配偶者のみ、2:配偶者+他構成員、3:他構成員のみ)であること			戸20の2I
22	新本籍		漢字				戸20の2I

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(107条3項届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(107条3項届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日>(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻解消日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)筆頭者本籍　又は　(No.22)新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻解消日であること			
14	(No.21)同籍者区分 ≠ 0:の時、(No.22)新本籍 ≠ スペースであること			戸20の2I
15	(No.21)同籍者区分 ＝ 0:の時、(No.22)新本籍 ＝ スペースであること			戸20の2I
16	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏 ≠ (No.13)変更後漢字氏であること			
17	(No.16)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.15)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
17-1	(No.15)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.16)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
18	(削除)			R2.1(107条3項18)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(107条3項届)							
処理名	3.0　審査						備考	
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					/			
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する							
	YES	(0-3)→(0-6-1)へ			/		R2.1(107条3項19)	
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-6)→(0-6-1)へ				/		R2.1(107条3項19)	
(0-6-1)筆頭者漢字氏名の名が未入力(YES,NO)					/		R2.1(107条3項19)	
YES	(0-6-2)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する					(0-6-3)本紙へ	R2.1(107条3項19)	
	YES	(0-6-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示				(0-6-6)本紙へ	R2.1(107条3項19)	
	NO	(0-6-5)→					画面項目修正(審査完了しない)R2.1(107条3項19	
NO	(0-6-7)→(0-7)へ				/		R2.1(107条3項19)	
(0-7)同籍者区分(1:配偶者のみ、2:配偶者 + 他構成員、その他)					/			
1,2	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					(0-10)本紙へ		
その他	(0-9)→(1)				/			
(1)本非区分(1:本籍、2:非本籍)					/		戸107Ⅲ	
1	(2)戸籍事項に107条2項届の記録がある(YES,NO)				/		戸107Ⅲ	
	YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏は当該届書で変更可能な氏ですか?」を表示する				(4)本紙へ	戸107Ⅲ	
		YES	(5)→(8)		/			
		NO	(6)エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示する			(7)本紙へ	不受理	
		(8)筆頭者婚姻解消日 + 3箇月 > 受領日である(YES,NO)			/		戸43、戸107Ⅲ、民143	
		YES	(9)→		/		(10)、(13)、(14)欠番	
			(10)			(11)本紙へ		
			(12)				受理	
			(13)					
			(14)					
		NO	(15)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示する				不受理　16、17欠番	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	審査(107条3項届)							
処理名	3.0　審査						備考	
	NO	(18)エラーメッセージ　「当該届書は受理できません。」を表示する					不受理	
2	(19)筆頭者婚姻解消日 + 3箇月 > 受領日である(YES,NO)			/			戸43、戸107Ⅲ、民143	
	YES	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法107条2項届で氏の変更をしていますか?」を表示する			(21)本紙へ		戸107Ⅲ	
		YES	(22)→(25)		/			
		NO	(23)エラーメッセージ　「当該届書は受理できません。」を表示する			(24)本紙へ	不受理	
		(25)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏は当該届書で変更可能な氏ですか?」を表示する			(30)本紙へ		戸107	
		YES	(26)→				受理　27欠番	
		NO	(28)エラーメッセージ　「当該届は受理できません。」を表示する				不受理	
	NO	(29)エラーメッセージ　「届出有効期間(3箇月)を経過しています。」を表示する					不受理	

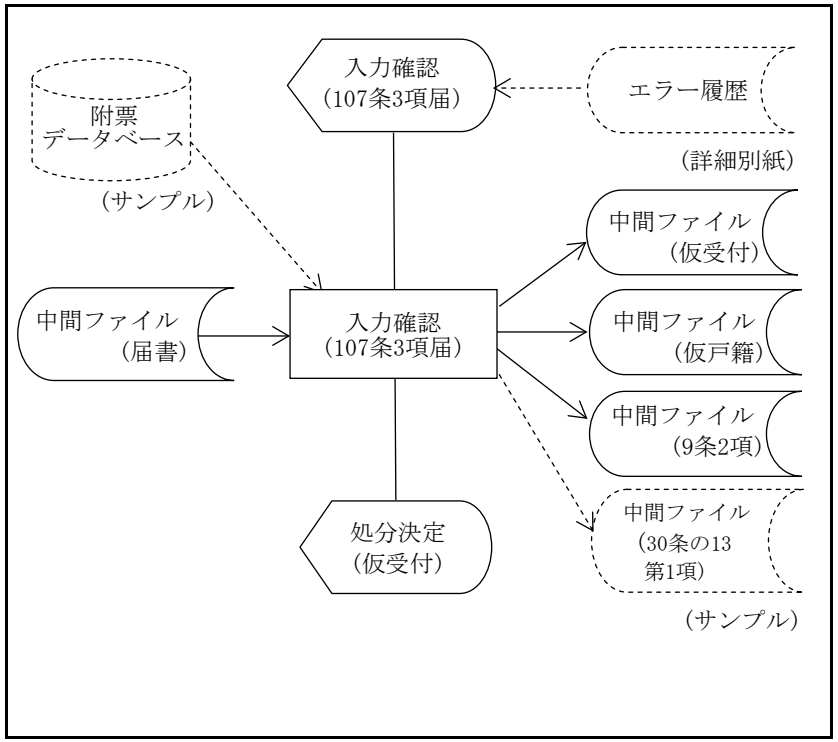
データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(107条3項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		107条3項届入力画面	受領No				
	選択事件コード							30を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1:(創設)
	渉外区分							1:渉外
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(107条3項届)								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	処分区分								審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分								何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分								再入力の場合に　1:排他　を設定
中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者個人番号								本籍人のとき、個人番号を設定
	筆頭者カナ氏名			107条3項届入力画面	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名				筆頭者漢字氏名				
	変更後カナ氏				変更後カナ氏				
	変更後漢字氏				変更後漢字氏				
	筆頭者本籍コード				筆頭者本籍				
	筆頭者本籍								
	筆頭者住所コード				筆頭者住所				
	筆頭者住所								
	筆頭者世帯主				筆頭者世帯主				
	筆頭者生年月日				筆頭者生年月日				
	筆頭者婚姻解消日				筆頭者婚姻解消日				
	107条3項原因				107条3項原因				
	配偶者氏名				外人配偶者氏名				
	同籍者区分				同籍者区分				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名								新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏+筆頭者カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者氏名								新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード				新本籍				
	新本籍								

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条3項届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍事項(107条3項)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定(入籍:氏の変更者)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 身分事項(除籍:氏の変更者)
  - 6.2 身分事項(入籍:氏の変更者)
  - 6.3 身分事項(変動なし:氏の変更者)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 氏の変更者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 氏の変更者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条3項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を碗認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する				[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)					/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する			[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する			[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する			/				
		戸籍事項	(7)戸籍法107条3項届の編集	[4.1]	/				
		個人特定(入籍)	(8)事件本人の個人特定情報の編集	[5.1]	/				
		身分事項(除籍)	(9)事件本人の除籍事項の編集	[6･1]	/				
		身分事項(入籍)	(10)事件本人の入籍事項の編集	[6･2]	/				
		身分事項(変動なし)	(11)事件本人の変動なし事項の編集	[6.3]	/				
		(11-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(11-1)(11-2)	
		YES	(11-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する	[8.1]	/				
		NO			/				
	NO	(16)→(17)						No.12～25欠番	
	(17)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/				
	YES	(18)氏変更者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する		[7.1]		(21)処分決定に制御を渡す		No.19、20欠番	
	NO	→							
PF1	→					(22)業務選択に制御を渡す			
PF2	→					(23)届出選択に制御を渡す			
PF5	→					(24)審査に制御を渡す			
PF11	→					(25)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(26)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(27)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条3項届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条3項届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外迭付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名			筆頭者漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	筆頭者本籍			筆頭者本籍コード				
				筆頭者本籍				
	筆頭者住所			筆頭者住所コード				
				筆頭者住所				
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日		有		
	筆頭者婚姻解消日			筆頭者婚姻解消日		有		
	107条3項原因			107条3項原因				
	107条3項原因名称					有		
	外人配偶者氏名			配偶者氏名				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条3項届)　表示							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	同籍者区分			同籍者区分				
	同籍者区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

補足説明書		作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条3項届)						
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表						

項番	条件									戸籍の変動			
	氏変更者									氏変更者の戸籍			新戸籍編製 A.1 4.1 B.1 D.1
	本籍		同籍者区分					新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.1 D.2	
	本籍人	非本籍人	無	配偶者 有	配偶者 無	他構成員 有	他構成員 無	管内	管外				
1	○		○									氏変更者(6.3)	
2	○			○		○		○		*審査結果入力			*審査結果入力
3	○			○		○			○	*審査結果入力			
4	○			○			○	○			*審査結果入力		*審査結果入力
5	○			○			○		○		*審査結果入力		
6	○				○	○		○		氏変更者(6.1)			氏変更者(6.2) (5.1)
7	○				○	○			○	氏変更者(6.1)			
8		○		○		○		○					*審査結果入力
9		○		○			○	○					*審査結果入力
10		○			○	○		○					氏変更者(6.2) (5.1)

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							3001を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							ZEROを移送
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格区分1							本人であるので移送しない
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							新本籍 ≠ スペースの時 (2:新戸籍編製)を移送 上記以外、移送しない

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届後本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	届後本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送	
	届後戸籍の筆頭者							新本籍 ≠ スペースの時、「変更後氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送 上記以外、移送しない	
	送達確認1							(届後本籍が非本籍)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定	
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍) の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用	
	処分区分			処分区分					
	決裁区分			決裁区分					
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分							53:氏変更者を設定	
	届出人区分							1:事件本人を設定	
	カナ氏名			筆頭者カナ氏名					
	漢字氏名			筆頭者漢字氏名					
	生年月日			筆頭者生年月日					
	本籍コード			筆頭者本籍コード					
	本籍			筆頭者本籍					
	筆頭者			筆頭者漢字氏名					
	送達確認2							事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2) かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成14年 3月 1日	版	6
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	4.1 （戸籍事項・変動なし） 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3001:を設定
	記録コード								3001:を設定
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条3項の届出」を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	従前記の録	従前の記録							新本籍 ＝ スペースのとき、「筆頭者漢字氏名の氏」を移送 上記以外は移送しない。
		氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	5.1　氏の変更者(個人特定)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届審)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別							移記処理で設定
	生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者区分							1:筆頭者 を設定
	配偶者区分							0:未 を設定
	父							移記処理で設定
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者 を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	6.1　氏の変更者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:を設定
	タイトルコード								3001:「氏の変更」を設定
	記録コード								3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							除籍では不使用
	入戸籍	従戸前籍 本籍							除籍では不使用
		従戸前籍 筆頭者							除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				該当項目を移送
		変更後の氏			変更後漢字氏				該当項目を移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	6.2　氏の変更者(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3001:「氏の変更」を設定
	記録コード								3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			筆頭者本籍				該当項目を移送
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者漢字氏名				該当項目を移送
	除籍	除籍日							入籍では不使用
	除戸籍	新本籍							入籍では不使用
		変更後の氏							入籍では不使用
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	6.3　氏の変更者(変動なし)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3001:「氏の変更」を設定
	記録コード								3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース ＝ 送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							変動なしでは不使用
	入戸籍	従戸前籍 本籍							変動なしでは不使用
		従戸前籍 筆頭者							変動なしでは不使用
	除籍	除籍日							変動なしでは不使用
	除戸籍	新本籍							変動なしでは不使用
		変更後の氏							変動なしでは不使用
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	7.1　9条2項(氏の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			筆頭者住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							30:107条3項届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧氏名			筆頭者漢字氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード				
	旧本籍			筆頭者本籍				
	新筆頭者							「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード				
	住所			筆頭者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			筆頭者世帯主				

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条3項届)							
処理名	7.1　9条2項(氏の変更者)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条3項届)								
処理名	8.1　30条の13第1項(氏の変更者)　編集･出力								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード	
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目	
	事件コード		中間ファイル(届書)					30:107条3項届	
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受預日を設定	
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定	
	新氏名							「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送	
	旧氏名			筆頭者漢字氏名					
	新生年月日								
	旧生年月日			筆頭者生年月日					
	新性別								
	旧性別								
	新本籍コード			新本籍コード					
	新本籍			新本籍					
	旧本籍コード			筆頭者本籍コード					
	旧本籍			筆頭者本籍					
	新筆頭者							「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送	
	旧筆頭者			筆頭者漢字氏名					
	住所コード			筆頭者住所コード					
	住所			筆頭者住所					
	方書								
	転入届出日								

第7.2.(5)「異動」処理

30.107条4項届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	107-4の30	「107条4項届」	中間ファイル30条の13第1項(氏の変更者)の編集･出力処理を追加 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_8.1 30条の13第1項(氏の変更者)
2	R4	107-4の32	「107条4項届」	・審査_3.0　審査 ①15歳未満の審査の飛び先と備考欄の記載に誤りがあったため修正 ②(20)の備考欄の記載に誤りがあったため修正

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	107条4項届

1.107条4項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.107条4項届入力画面の意義

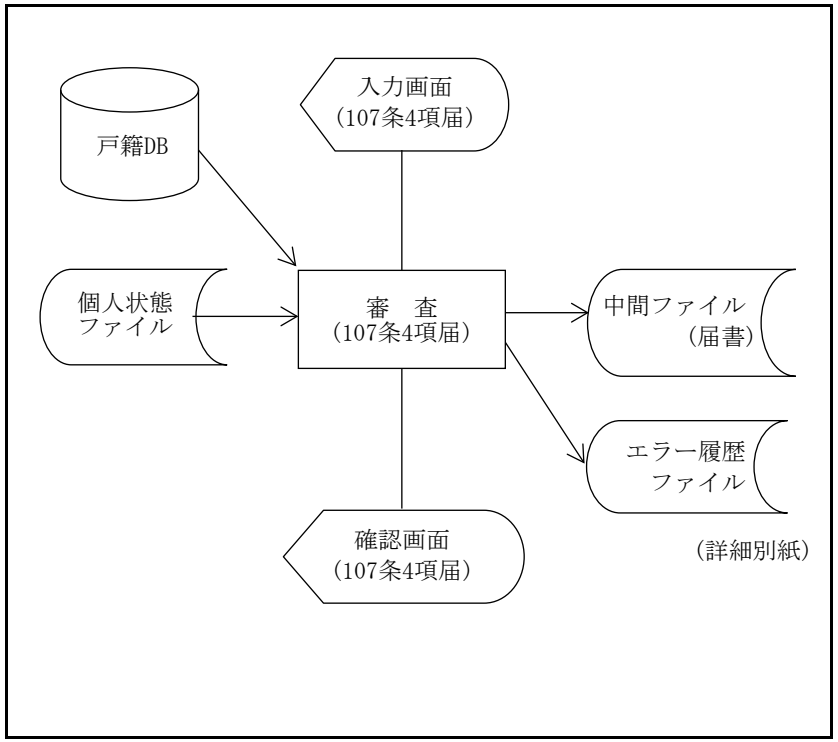
・氏の変更を行う当事者(氏変更人)の各項目を入力する。

3.その他

・添付資料
　氏変更許可の審判書の謄本および審判確定証明書

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(107条4項届)					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)107条4項届の内容を入力する
(2)107条4項届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)107条4項届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)107条4項届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(107条4項届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1 審査(届出人資格:事件本人15歳以上)
  - 3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満)(法定代理人)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・年齢計算基準日:受領日を基準日として計算する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(107条4項届)
処理名	0.0　本紙

								備考
(1)届書内容を画面入力する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)						/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する					
	NO							
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する							
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(107条4項届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(107条4項届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	氏変更人カナ氏名	○	カナ				
11	氏変更人漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	氏変更人住所		漢字				
15	氏変更人世帯主		漢字				
16	氏変更人本籍	○	漢字				
17	氏変更人筆頭者	○	漢字				
18	氏変更人筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
19	氏変更人配偶者区分	○	数字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
20	氏変更人生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	審判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	外国人父母区分	○	数字	(0:父、1:母、2:養父、3:養母)であること			
23	外国人父母氏名	○	漢字				
24	新本籍	○	漢字				戸20の2II

データチェック(単体表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(107条4項届)							
処理名			画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表			入力画面(107条4項届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	届出人資格1		数字	(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、 110:未成年後見人、 017:親権者母、020:親権者養母、098:事件本人)であるこ			
26	届出人資格2		数字	(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、 110:未成年後見人、 017:親権者母、020:親権者養母、098:事件本人)であるこ			
27	届出人氏名1		漢字				
28	届出人氏名2		漢字				

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(107条4項届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(107条4項届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.21)審判確定日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)氏変更人本籍 又は (No.24) 新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.21)審判確定日であること			
13-1	(No.15)氏変更人世帯主 ≠ スペースの時、(No.14)氏変更人住所 ≠ スペースであること			
13-2	(No.14)氏変更人住所 ＝ スペースの時、(No.15)氏変更人世帯主 ＝ スペースであること			
14	(No.25)届出人資格1 ≠ (No.26)届出人資格2であること			
15	(No.25)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.27)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
16	(No.25)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.27)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
17	(No.27)届出人資格1 ≠ スペースの時、(No.27)届出人氏名1 ≠ (No.28)届出人氏名2であること			
18	(No.25)届出人資格1 ＝ 098:事件本人の時、 (No.27)届出人氏名1 ＝ (No.11)氏変更人漢字氏名であること			
19	(No.26)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.28)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
20	(No.26)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.28)届出人氏名2 ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 2年 3月31日	版	R2.1
作業名	審査(107条4項届)						
21	(No.26)届出人資格2 ＝ 098:事件本人の時、 (No.28)届出人氏名2 ＝ (No.11)氏変更人漢字氏名であること						
22	(No.11) 氏変更人漢字氏名の氏 ≠ (No.13) 変更後の漢字氏であること						
23	(No.25) 届出人資格1 ＝ 110:未成年後見人の時、 (No.27) 届出人氏名1 ≠ スペース　かつ　(No.26) 届出人資格2 ＝ 000:未入力　かつ (No.28) 届出人氏名2 ＝ スペース であること						
24	(No.26) 届出人資格2 ＝ 110:未成年後見人の時、 (No.28) 届出人氏名2 ≠ スペース　かつ　(No.25) 届出人資格1 ＝ 000:未入力　かつ (No.27) 届出人氏名1 ＝ スペース であること						
25	(削除)						R2.1(107条4項28)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和 4年 3月31日	版	R4

作業名	審査(107条の4届)
処理名	3.0　審査

						備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/		R2.1(107条4項25)
	NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			/		R2.1(107条4項25)
(0-7)氏変更人漢字氏名の名が未入力(YES,NO)				/		R2.1(107条4項25)
YES	(0-8)確認メッセージ　(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する				(0-9)本紙へ	R2.1(107条4項25)
	YES	(0-10)エラーメッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-12)本紙へ	R2.1(107条4項25)
	NO	(0-11)→		/		画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(107条4項25)
NO	(0-13)→(1)へ			/		R2.1(107条4項25)
(1)氏変更人生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)				/		昭和59.11.1民事5500号通達第2の4の(3)のウ
YES	(2)氏変更人筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/		
	0	(3)氏変更人配偶者区分(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)		/		
		0	(4)審査(届出人資格:事件本人15歳以上)処理 [3.1]	/		
			(5)→(14)へ	/		R2.1(107条4項28)
		1,2	(6)エラーメッセージ　「配偶者は届出できません。」を表示する			不受理　R2.1(107条4項28)
		3	(7)エラーメッセージ　「生存配偶者は届出できません。」を表示する			不受理　R2.1(107条4項28)
	1	(8)エラーメッセージ　「筆頭者は届出できません。」を表示する				不受理　R2.1(107条4項28)
NO	(9)氏変更人筆頭者区分(0:構成員、1:筆頭者)			/		R2.1(107条4項28)
	0	(10)審査(届出人資格:事件本人15歳未満)処理 [3.2]		/		
		(11)→(14)へ		/		(12)削除　R4(107条4項32)
	1	(13)エラーメッセージ　「筆頭者は届出できません。」を表示する				不受理　R4(107条4項32)
(14)変更後漢字氏 ＝ 外国人父母氏名の氏(YES,NO)				/		R2.1(107条4項28)
YES	(15)→				(16)本紙へ	R2.1(107条4項28)
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏と外国人父母の氏が異なりますが、よろしいですか?」を表示する					R2.1(107条4項28)
	YES	(18)→			(19)本紙へ	R2.1(107条4項28)
	NO	(20)→			(21)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない) R4(107条4項32)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(107条の4項届)							
処理名	3.1 審査(届出人資格:事件本人15歳以上)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、110:未成年後見人、その他)				/				
000	(2)届出人資格2(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)			/				
	098	(3)→(11)		/				
	110	(3-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する			(5)3.0審査へ		「N」のとき不受理	
	その他	(4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
098	(6)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(7)→(11)		/				
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(9)3.0審査へ		不受理	
110	(9-1)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(9-2)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する			(9-4)3.0審査へ		「N」のとき不受理	
	その他	(9-3)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
その他	(10)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
(11)→					(11-1)3.0審査へ			
	(12)			/			(12)～(18)は削除	
		(13)			(14)			
		(15)						
		(16)						
		(17)						
	(18)							

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(107条の4項届)							
処理名	3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/				
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/				
016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(4)3.0審査へ			
	YES	(5)→					受理	
	NO	(6)→					不受理	
110	(7)→(33)			/				
その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(9)3.0審査へ		不受理	
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(12)3.0審査へ			
	YES	(13)→					受理	
	NO	(14)→					不受理	
017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する							
	YES	(16)→					受理	
	NO	(17)→					不受理	
その他	(18)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(21)3.0審査へ			
	YES	(22)→					受理	
	NO	(23)→					不受理	
016,019	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する							
	YES	(25)→					受理	
	NO	(26)→					不受理	
その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
110	(28)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
000	(29)→(33)			/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(107条の4項届)							
処理名	3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満)						備考	
	その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			(31)3.0審査へ		不受理	
その他		(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
(33)氏の変更者は本籍人である(YES,NO)				/				
YES	(34)氏の変更者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)			/				
	YES	(35)→			(36)3.0審査へ		受理	
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					不受理	
NO	(38)→						受理	

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(107条4項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		107条4項届入力画面	受領No				
	選択事件コード							31を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1:(創設)
	渉外区分							1:渉外
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、氏の変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(107条4項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

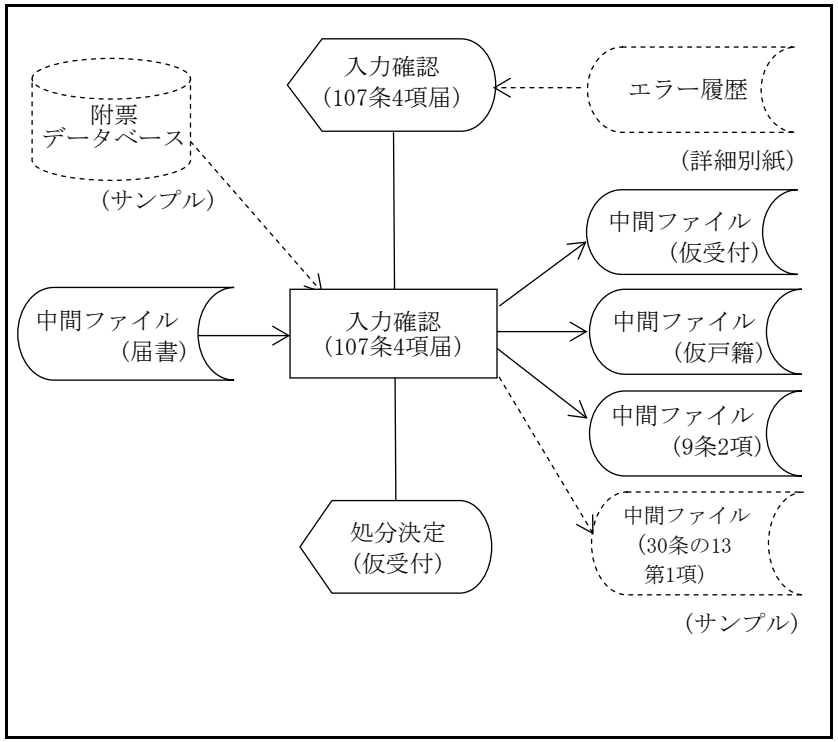
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							再入力の場合に1:排他を設定
中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者個人番号							本籍人のときは、個人番号を設定
	氏変更者カナ氏名		107条4項届入力画面	氏変更人カナ氏名				
	氏変更者漢字氏名			氏変更人漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	氏変更者住所コード			氏変更人住所				
	氏変更者住所							
	世帯主			氏変更人世帯主				
	氏変更者本籍コード			氏変更人本籍				
	氏変更者本籍							
	筆頭者			氏変更人筆頭者				
	筆頭者区分			氏変更人筆頭者区分				
	配偶者区分			氏変更人配偶者区分				
	生年月日			氏変更人生年月日				
	審判確定日			審判確定日				
	外国人父母区分			外国人父母区分				
	外国人父母氏名			外国人父母氏名				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名							新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏+氏変更人カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者氏名							新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏+氏変更人漢字氏名の名」を移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(107条4項届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	新本籍コード			新本籍				
	氏変更者新本籍							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(107条4項届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍事項(107条4項)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 5.1 個人特定(入籍)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 6.1 身分事項(除籍)
  - 6.2 身分事項(入籍)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 7.1 氏の変更者
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 8.1 氏の変更者

5. 備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条4項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(107条4項届)
処理名	0.0　本紙

							備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する		[3.0]	/			
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/			
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/			
		戸籍事項	(7)戸籍法107条4項届の編集 [4.1]	/			
		個人特定(入籍)	(8)氏変更人の個人特定情報の編集 [5.1]	/			
		身分事項(除籍)	(9)氏変更人の除籍事項の編集 [6･1]	/			
		身分事項(入籍)	(10)氏変更人の入籍事項の編集 [6･2]	/			
		(10-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)		/			※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10-1)(10-2)
		YES	(10-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する [8.1]	/			
		NO	(11)→(12)	/			
	NO						
	(12)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付 である(YES,NO)			/			
	YES	(13)氏の変更者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]			(14)処分決定に制御を渡す		
	NO	→					
PF1	→				(15)業務選択に制御を渡す		
PF2	→				(16)届出選択に制御を渡す		
PF5	→				(17)審査に制御を渡す		
PF11	→				(18)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(19)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(20)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条4項届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条4項届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受頭No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	本非区分名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	氏変更人カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者カナ氏名				
	氏変更人漢字氏名			氏変更者漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	氏変更人住所			氏変更者住所コード				
				氏変更者住所				
	氏変更人世帯主			世帯主				
	氏変更人本籍			氏変更者本籍コード				
				氏変更者本籍				
	氏変更人筆頭者			筆頭者				
	氏変更人筆頭者区分			筆頭者区分				
	氏変更人筆頭者区分名称					有		
	氏変更人配偶者区分			配偶者区分				
	氏変更人配偶者区分名称					有		
	氏変更人生年月日			生年月日		有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	1.0　確認画面(107条4項届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	審判確定日			審判確定日		有		
	外国人父母区分			外国人父母区分				
	外国人父母区分名称					有		
	外国人父母氏名			外国人父母氏名		有		
	新本籍			新本籍コード				
				氏変更者新本籍				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

補足説明書	作成日付	平成6年 2月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(107条4項届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						戸籍の変動		
	氏変更者						氏変更者の戸籍		新　A.1 戸　4.1 籍　B.1 編　5.1 製　D.1
	本籍		他の在籍者		新戸籍編製		一部除籍　A.2 C.2	全部除籍　A.2 B.2 C.2	
	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外			
1	○		○		○		氏変更者 6.1		氏変更者 6.2
2	○		○			○	氏変更者 6.1		
3	○			○	○			氏変更者 6.1	氏変更者 6.2
4	○			○		○		氏変更者 6.1	
5		○	○		○				氏変更者 6.2
6		○		○	○				氏変更者 6.2

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード							3201を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペースのとき　受領日 送付日 ≠ スペースのとき　送付日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、 未設定 その他は資格及び氏名を移送する (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							2:新戸籍編製

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条4項届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	届後本籍コード				新本籍コード				
	届後本籍				氏変更者新本籍				
	届後戸籍の筆頭者								変更後漢字氏 + 氏変更者漢字氏名の名を移送
	送達確認1								(届後本籍が非本籍)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分								本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を使用
	処分区分				処分区分				
	決裁区分				決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号								
	事件本人区分								53:氏変更者を設定
	届出人区分								届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名				氏変更者カナ氏名				
	漢字氏名				氏変更者漢字氏名				
	生年月日				生年月日				
	本籍コード				氏変更者本籍コード				
	本籍				氏変更者本籍				
	筆頭者				筆頭者				
	送達確認2								事件本人の現本籍が (本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成14年 3月1日	版	6
作業名	入力確認(107条4項届)								
処理名	4.1 （戸籍事項・変動なし） 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3101:を設定
	記録コード								3101:を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条4項の届出」を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	従前記録	従前の記録							
		氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	5.1　氏の変更者(個人特定)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別							移記処理で設定
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分							1:筆頭者 を設定
	配偶者区分							0:未 を設定
	父							移記処理で設定
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者 を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	6.1　氏の変更者(除籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3101:「氏の変更」を設定
	記録コード								3101: 「107条4項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条4項の届出」を移送
	届出	届出人	届出人資格		届出人資格1･2				届出人資格1･2の何れかが、098 (事件本人)の場合は、移送しない 上記以外は、*1を参照
			届出人氏名		届出人氏名1･2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							除籍では不使用
	入戸籍	従前戸籍	本籍						除籍では不使用
			筆頭者						除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				該当項目を移送
		変更後の氏			変更後漢字氏				該当項目を移送
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	6.2　氏の変更者(入籍)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								3101:「氏の変更」を設定
	記録コード								3101: 「107条4項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由							「戸籍法107条4項の届出」を移送
	届出	届出人	届出人資格		届出人資格1･2				届出人資格1･2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない 上記以外は、*1を参照
			届出人氏名		届出人氏名1･2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍	本籍		氏変更者本籍				該当項目を移送
			筆頭者		筆頭者				該当項目を移送
	除籍	除籍日							入籍では不使用
	除戸籍	新本籍							入籍では不使用
		変更後の氏							入籍では不使用
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14

作業名	入力確認(107条4項届)
処理名	*1 届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父、養母 *1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		養父、親権者母 *1		
019(親権者養父)	親権者養父		養父、親権者母 *1		養父、養母 *1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父、養母 *1		養父、養母 *1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 親権者養父 と 親権者養母 の 場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	7.1　9条2項(氏の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			氏変更者住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							31:107条4項届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍筆頭者氏名				
	旧氏名			氏変更者漢字氏名				
	新生年月日			氏変更者生年月日				
	旧生年月日			氏変更者生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			氏変更者本籍コード				
	旧本籍			氏変更者本籍				
	新筆頭者			届後戸籍筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			氏変更者住所コード				
	住所			氏変更者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	入力確認(107条4項届)							
処理名	8.1　30条の13第1項(氏の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					31:107条4項届
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍筆頭者氏名				
	旧氏名			氏変更者漢字氏名				
	新生年月日			氏変更者生年月日				
	旧生年月日			氏変更者生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			氏変更者本籍コード				
	旧本籍			氏変更者本籍				
	新筆頭者			届後戸籍筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			氏変更者住所コード				
	住所			氏変更者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

31.名の変更届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	名変24	「名の変更届」	「30条の12第1項」を「30条の13第1項」に修正 ・入力確認_システム環境仕様書 ・入力確認_0.0 本紙 ・入力確認_6.1 30条の13第1項(名の変更者)
2		名変23		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	名の変更届

1.名の変更業務処理範囲外の処理

(1)名の変更に伴う異籍者の父母、又は養父母欄の更正

(2)同一戸籍内において、事件本人と構成員の(養)父母欄が一致していない場合の(養)父母欄更正処理

(3)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(4)複数の未成年後見人から届出がされた場合

上記(1)(2)は更正処理で行い、(3)(4)は審査結果入力処理で行う。

2.名の変更届入力画面の意義

(1)その1画面:名の変更届を行う事件本人の各項目を入力する画面である。

(2)その2画面:同籍する筆頭者、配偶者および除籍者以外の構成員を画面表示し、筆頭者又は配偶者の名の変更に伴う父母又は養父母欄の更正を行う。

起動条件　下記の条件が全て成立した場合のみ画面表示し、それ以外は表示しない。

・名の変更者が本籍人　　:(1)名の変更者は筆頭者区分が1(筆頭者)であるか、又は配偶者区分が0(未)以外であること。

(2)(1)以外の者でかつ除籍者以外の同籍者が存在すること。

・名の変更者が非本籍人　:名の変更者は筆頭者であること(9条2項ファイルを出力するために画面を表示する)

表示内容　名の変更者が本籍人の場合、下記の条件が成立する同籍者構成員の内容を画面表示する。

(1)筆頭者区分が0(構成員)であり、かつ配偶者区分が0(未)の者

(2)除籍されていない者

住所欄、世帯主欄について

名の変更者が筆頭者の場合、入力必須。それ以外は入力されても無視する。

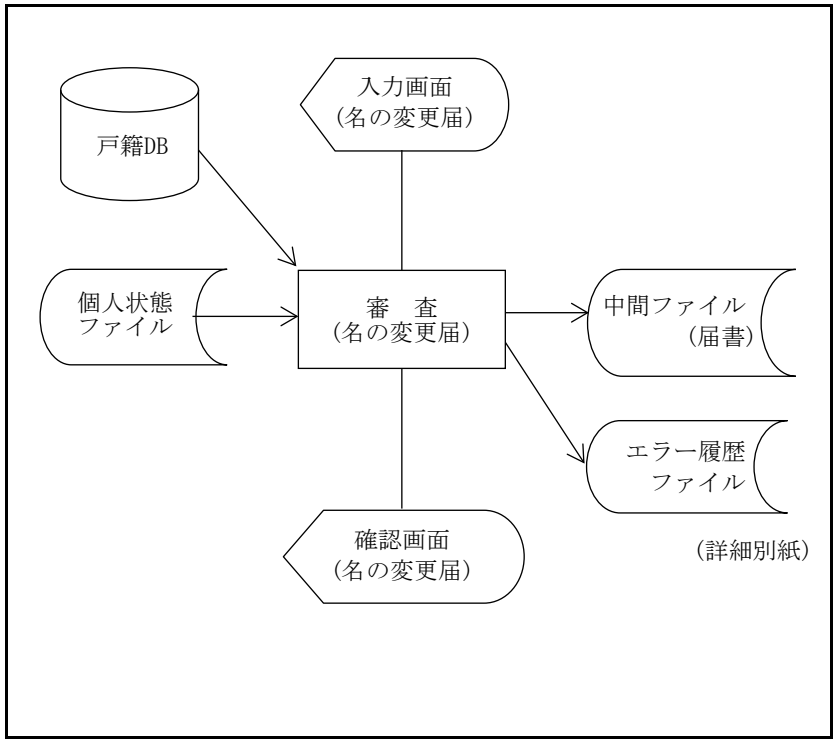
3.その他

筆頭者が名の変更者で配偶者が在籍する場合、入力画面に配偶者の入力項目が存在しないため、配偶者の9条2項ファイルは作成されない。

配偶者の9条2項ファイルは9条2項メンテナンスで作成する。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(名の変更届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		
	出力		

3.処理概要

(1)名の変更届の内容を入力する
(2)名の変更届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)名の変更届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)名の変更届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(名の変更届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(名の変更届)			
処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (17)前ページ分の入力画面(名の変更届)を編集する		(18)同画面を編集する	
	NO (19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する			
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (21)次ページ分の入力画面(名の変更届)を編集する		(22)同画面を編集する	
	NO (23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(名の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(名の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	名の変更者のカナ氏名	○	カナ				
11	名の変更者の漢字氏名	○	漢字				
12	変更後のカナ名	○	カナ				戸50、戸規60
13	変更後の漢字名	○	漢字				戸50、戸規60
14	名の変更者の住所		漢字				住基8･9II
15	名の変更者の世帯主		漢字				
16	名の変更者の本籍	○	漢字				
17	名の変更者の筆頭者	○	漢字				
18	名の変更者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	審判日	○	英数				戸38II
20	届出人資格1		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			戸107の2
21	届出人氏名1		漢字				
22	届出人資格2		数字	(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			戸107の2
23	届出人氏名2		漢字				
24	構成員n氏名		漢字				

データチェック(単体表)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(名の変更届)							
処理名			画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表			入力画面(名の変更届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	構成員nの父の氏名		漢字				
26	構成員nの母の氏名		漢字				
27	構成員nの養父の氏名		漢字				
28	構成員nの養母の氏名		漢字				
29	構成員n住所		漢字				住基8･9II
30	構成員nの世帯主		漢字				住基8･9II
31	構成員n更正区分		数字	(1:無、2:父、3:母、5:養父、6:養母)であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(名の変更届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(名の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:(受理分)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.11)名の変更者の漢字氏名の名 ≠ (No.13)変更後の漢字名であること			
12	(No.3)受領日 ≧ (No.19)審判日であること			
13	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.19)審判日であること			
14	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.19)審判日であること			
15	(No.20)届出人資格1 ＝ 000:(未入力)の時、(No.21)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
16	(No.22)届出人資格2 ＝ 000:(未入力)の時、(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
17	(No.20)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
18	(No.22)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
19	(No.20)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
20	(No.22)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
21	(No.20)届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
22	(No.22)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
23	(No.20)届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
24	(No.22)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
25	(No.20)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	審査(名の変更届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(名の変更届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	(No.22)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
27	(No.20)届出人資格1 ＝ 098(事件本人)の時、(No.21)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
28	(No.22)届出人資格2 ＝ 098(事件本人)の時、(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
29	(No.20)届出人資格1 ＝ 098(事件本人)の時、(No.22)届出人資格2 ＝ スペースであること			
30	(No.22)届出人資格2 ＝ 098(事件本人)の時、(No.20)届出人資格1 ＝ スペースであること			
31	(No.20)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.22)届出人資格2 ＝ スペースであること			
32	(No.22)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、(No.20)届出人資格1 ＝ スペースであること			
33	(No.20)届出人資格1 ≠ (No.22)届出人資格2であること			
34	(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.21)届出人氏名1 ≠ (No.23)届出人氏名2であること			
35	(No.11)名の変更者の漢字氏名(氏のみ) ＝ (No.17)名の変更者の筆頭者(氏のみ)であること			
35-1	(No.15)名の変更者の世帯主 ≠ スペースの時、(No.14)名の変更者の住所 ≠ スペースであること			
35-2	(No.14)名の変更者の住所 ＝ スペースの時、(No.15)名の変更者の世帯主 ＝ スペースであること			
36	※構成員n共通関連チェック ①:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、(No.25)構成員nの父の氏名 ≠ スペースであること ②:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、 (No.25)構成員nの父の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ③:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、(No.26)構成員nの母の氏名 ≠ スペースであること ④:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、 (No.26)構成員nの母の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑤:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、(No.27)構成員nの養父の氏名 ≠ スペースであること ⑥:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、 (No.27)構成員nの養父の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑦:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、(No.28)構成員nの養母の氏名 ≠ スペースであること ⑧:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、 (No.28)構成員nの養母の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑨:(削除) (A):(削除)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	審査(名の変更届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(名の変更届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	(B):(No.24)構成員n氏名 ＝ スペースの時、 (No.25)構成員nの父の氏名～(No.31)構成員n更正区分 ＝ スペースであること			
	(C):(No.24)構成員n氏名 ≠ スペースの時、(No.31)構成員n更正区分 ≠ スペースであること			
	(D):(No.30)構成員nの世帯主 ≠ スペースの時、(No.29)構成員n住所 ≠ スペースであること			
	(E):(No.29)構成員n住所 ＝ スペースの時、(No.30)構成員nの世帯主 ＝ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(名の変更届)
処理名	3.0 審査

			処理	/		備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/		
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する					
	YES	(0-3)→(1)へ		/		
	NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(1)へ			/		
(1)名の変更者の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)				/		戸32
YES	(2)届出人資格1(000:未入力、098:事件本人、110:未成年後見人、その他)			/		
	000	(3)届出人資格2(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)		/		
		098	(4)→	/		(5)、(6)、(8)、(9)欠番
			(5)	/		
			(6)		(7)本紙へ	
			(8)			
			(9)			
		110	(10)	/		(10)、(11)、(12)、(14)、(15)欠番
			(11)	/		
			(12)		(13)本紙へ	
			(14)			
			(15)			
			(12-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する			「N」の場合、不受理
		その他	(16)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
	110	(17)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		不受理
		000	(18)	/		(18)、(19)、(20)、(22)、(23)欠番
			(19)	/		
			(20)		(21)本紙へ	
			(22)			
			(23)			

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(名の変更届)
処理名	3.0 審査

						備考
			(20-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する			「N」の場合、不受理
		その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
	098		(25)届出人資格2(000:未入力、その他)	/		
		000	(26)	/		(27)、(28)、(30)、(31)は削除
			(27)	/		
			(28)		(29)本紙へ	
			(30)			
			(31)			
		その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			
	その他		(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する			
NO			(34)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、0020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)	/		
	000		(35)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)	/		
		016,017,019,020	(36)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する		(37)本紙へ	「N」の場合、不受理
		110	(38)本非区分(1:本籍、2:非本籍)	/		
			1 (39)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)	/		
			YES (40)→		(41)本紙へ	
			NO (42)エラーメッセージ 「事件本人に来成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する			
			2 (43)→			
		その他	(44)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(名の変更届)								
処理名	3.0 審査							備考	
	016,019	(45)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)				/			
		000	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(47)本紙へ	「N」の場合、不受理	
		017,020	(48)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する				(49)本紙へ	「N」の場合、不受理	
		その他	(50)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	017,020	(51)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)				/			
		000	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する				(53)本紙へ	「N」の場合、不受理	
		016,019	(54)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の場合、不受理	
		その他	(55)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	110	(56)届出人資格2(000:未入力、その他)				/			
		000	(57)本非区分(1:本籍、2:非本籍)			/			
			1	(58)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/			
				YES	(59)→		(60)本紙へ		
				NO	(61)エラーメッセージ 「事件本人に来成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する			不受理	
			2	(62)→					
		その他	(63)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
	その他	(64)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(名の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書)共通	受領番号		名の変更届入力画面	受領No				
	選択事件コード							32:名の変更届
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0:日本人のみ
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、名の変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(名の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

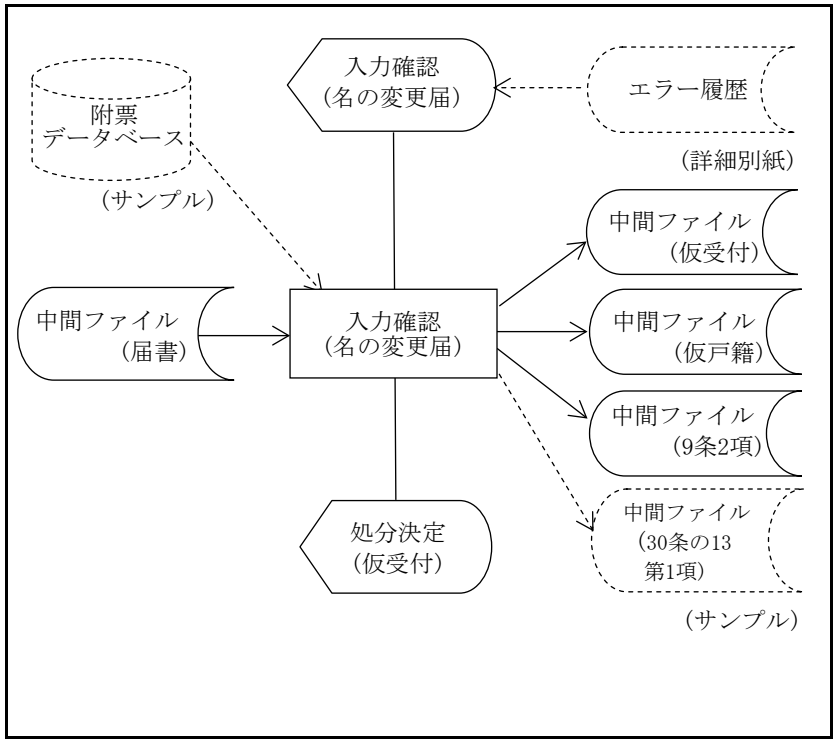
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	名の変更者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定
	名の変更者のカナ氏名		名の変更届入力画面	名の変更者のカナ氏名				
	名の変更者の漢字氏名			名の変更者の漢字氏名				
	変更後カナ名			変更後のカナ名				
	変更後漢字名			変更後の漢字名				
	住所コード			名の変更者の住所				
	住所							
	世帯主			名の変更者の世帯主				
	本籍コード			名の変更者の本籍				
	本籍							
	筆頭者			名の変更者の筆頭者				
	生年月日			名の変更者の生年月日				
	審判日			審判日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	筆頭者区分							本籍人の場合のみ 変更前氏名 ＝ 筆頭者のとき、1:筆頭者をセットする 変更前氏名 ≠ 筆頭者のとき、0:構成員をセットする

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(名の変更届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	構成員n漢字氏名			構成員n氏名				構成員の明細については、複数件(n件)出力する。
	構成員n父氏名			構成員nの父の氏名				
	構成員n母氏名			構成員nの母の氏名				
	構成員n養父氏名			構成員nの養父の氏名				
	構成員n養母氏名			構成員nの養母の氏名				
	構成員n住所コード			構成員n住所				
	構成員n住所							
	構成員n世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(名の変更届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
  - 4.1 身分事項(事件本人)
  - 4.2 身分事項(父母欄更正者)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 5.1 事件本人
  - 5.2 更正者･構成員
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 6.1 事件本人

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	入力確認(名の変更届)
処理名	0.0 本紙

								備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する						[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)							/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する					[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する					[3.0]	/	
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)						/	
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する					/	
		身分事項(変動なし)	(7)事件本人の身分事項の編集			[4.1]	/	
		身分事項(変動なし)	(8)更正者の身分事項の編集			[4.2]		
		(8-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)					/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(8-1)(8-2)
		YES	(8-2)事件本について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する			[6.1]	/	
		NO	(9)→(10)				/	
	NO							
	(10)在外送付区分 ＝ 0:受領分 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)						/	
	YES	(11)事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集出力する				[5.1]		(13)処分決定に制御を渡す
		(12)事件本人は筆頭者である(YES,NO)					/	
		YES	(12-1)事件本人は本籍人である(YES,NO)					
			YES	(12-2)構成員全員の中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[5.2]	/	配偶者に関しても処理する
			NO	(12-3)更正者についての中間ファイル(9条2項)を編集・出力する		[5.2]		更正の有無に係わらず入力者全員分処理する
		NO	→				/	
	NO							
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す
PF5	→							(16)審査に制御を渡す
PF7	(17)前ページがあるか(ある、なし)						/	
	ある	(18)前ページ分の確認画面(名の変更届)を編集する						(20)同画面を編集する
	なし	(19)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF8	(21)次ページがあるか(ある、なし)			/				
	ある	(22)次ページ分の確認画面(名の変更届)を編集する			(24)同画面を編集する			
	なし	(23)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF11	→				(25)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(26)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(27)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(名の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
名の変更届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	処理日			処理日		有		
	在外送付区分			在外送付区分				
	本非区分コード			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	名の変更者のカナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	名の変更者カナ氏名				
	名の変更者の漢字氏名			名の変更者漢字氏名				
	変更後のカナ氏名			変更後カナ氏名				
	変更後の漢字氏名			変更後漢字氏名				
	名の変更者の住所			住所コード		有		
				住所				
	名の変更者の世帯主			世帯主				
	名の変更者の本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	名の変更者の筆頭者			筆頭者				
	名の変更者の生年月日			生年月日		有		
	審判日			審判日		有		
	届出人資格1 届出人資格1名称			届出人資格1		有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	1.0　確認画面(名の変更届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人資格2 届出人資格2名称			届出人資格2		有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	構成員n番号							1～n
	構成員n氏名			構成員n漢字氏名				構成員の明細については、複数件(n件)含まれている。
	構成員nの父の氏名			構成員n父氏名				
	構成員nの母の氏名			構成員n母氏名				
	構成員nの養父の氏名			構成員n養父氏名				
	構成員nの養母の氏名			構成員n養母氏名				
	構成員n住所			構成員n住所コード		有		
				構成員n住所				
	構成員nの世帯主			構成員n世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(名の変更届)					
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表					

項番	条件						名の変更者の戸籍	
	本籍人	非本籍人	筆頭者区分		構成員の更正区分 *1		変動 A.2 なし C.2 D.2	変動 C.2 なし D.2
			筆頭者	構成員	有 (2,3,5,6)	無 (1)		
1	○		○		○		本人　(4.1) 更正者(4.2)	
2	○		○			○	本人　(4.1)	
3	○			○	○			本人　(4.1) 更正者(4.2)
4	○			○		○		本人　(4.1)
5		○	○		○			
6		○	○			○		
7		○		○	○			
8		○		○		○		

*1:構成員の人数分それぞれ判定し、更正者の身分事項を作成する。(父母欄更正)

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							3201(名の変更)を設定
	受付日			受領日　又は　送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ送付日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届出」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、未設定 その他は、資格および氏名を移送する(但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							「0:不要」を移送
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							43:名の変更者を設定
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 098:1を設定 上記以外:0を設定
	カナ氏名			名の変更者カナ氏名				
	漢字氏名			名の変更者漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							事件本人の現本籍が (本非区分 ＝ 2)かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	4.1 名の変更者(記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:(可)を設定
	タイトルコード								3201:「名の変更」を設定
	記録コード								3201:「名の変更者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	名の変更	名の変更日			受領日				受領日を移送
	届出人(1)	資格			届出人資格1、2				届出人資格1、2のいずれかが、098(事件本人)の場合は、移送しない 上記以外は、次頁(*1)参照
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	従前記の録	従前の記録			名の変更者漢字氏名の名				氏名から名のみを移送する
		名							
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 3月 1日	版	14
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	4.1 名の変更者(記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			

*1:届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父、養母 *1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		養父、親権者母 *1		
019(親権者養父)	親権者養父		養父、親権者母 *1		養父、養母 *1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父、養母 *1		養父、養母 *1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

EX. 親権者養父 と 親権者養母 の 場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	4.2　更正者(身分事項・変動なし、個人特定)　編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可を設定
	タイトルコード								7001:「更正」を設定
	記録コード								7001:「更正」を設定
	管挙者コード								
	事件発生日				受領日				
	更正	更正日			送付日　又は　受領日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送 送付日 ＝ スペース:受領日を移送
		更正事項							名更正区分に該当する[(養)父、(養)母]を移送
		更正事由							名更正区分に該当する[(養)父、(養)母] +「名変更」
	従前記の録	従前の記録			構成員n父氏名、母氏名、養父氏名、養母氏名				該当項目を移送

(1)更正事項･更正事由について

更正区分	変換文字
2	「父」
3	「母」
5	「養父」
6	「養母」

上記の表に従い、更正区分を判定し事項及び事由を作成する。
更正事項:変換文字 + の氏名　　(例)養父の氏名
更正事由:変換文字 + 名変更　　(例)養父名変更

(2)従前の記録について
更正区分に従い該当する従前の氏名を作成する。

更正区分	従前の記録		移送する従前氏名
2	【父】	KKK～KKK	←構成員n父氏名
3	【母】	KKK～KKK	←構成員n母氏名
5	【養父】	KKK～KXK	←構成員n養父氏名
6	【養母】	KKK～KKK	←構成員n養母氏名

(例)【従前の記録】
【養父】甲野義太郎

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	5.1　9条2項(名の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							32(名の変更届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者の氏 + 変更後漢字名				
	旧氏名			名の変更者漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者						名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき 筆頭者の氏 + 変更後漢字名を移送する 上記以外は、筆頭者を移送する	
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	5.2　9条2項(他の構成員)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			構成員n住所コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							32(名の変更届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			構成員n漢字氏名				
	旧氏名			構成員n漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者						名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき 筆頭者の氏 + 変更後漢字名を移送する 上記以外は、筆頭者を移送する	
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			構成員n住所コード				
	住所			構成員n住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			構成員n世帯主				
	世帯主との続柄							

データ編集表(サンプル提示)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(名の変更届)							
処理名	6.1　30条の13第1項(名の変更者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード		有		市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					32(名の変更届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者の氏 + 変更後漢字名				
	旧氏名			名の変更者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者						名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき 筆頭者の氏 + 変更後漢字名を移送する 上記以外は、筆頭者を移送する	
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

32.転籍届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	62	「転籍届」	「条文等R3版における変更一覧_届書入力処理」による修正
2		60		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」及び「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
3	R4	65		審査3.0 事件本人が名未定の場合に審査結果入力に遷移する審査について修正

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1

作業名	転籍届

1. 転籍業務処理範囲外の処理
   (1) 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2. 転籍届入力画面の意義

   (1) その1画面.転籍を行う当事者(筆頭者又は配偶者)の各項目を入力する。

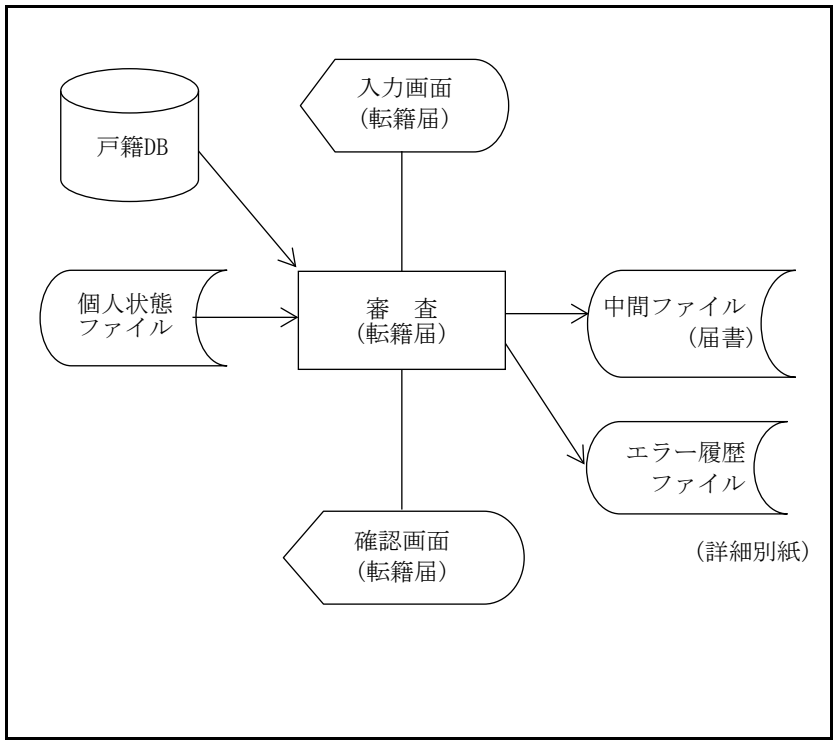
   (2) その2画面.転籍を行う上記以外の構成員の各項目を入力する。

3. その他

   特になし

システム環境仕様書	作成日付	平成3年11月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(転籍届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)転籍届の内容を入力する
(2)転籍届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)転籍届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)転籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(転籍届)に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
  - 3.1審査(届出人資格:筆頭者単独)
  - 3.2審査(届出人資格:配偶者単独)
  - 3.3審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)
  - 3.4審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

(1)筆頭者の年齢計算について
・受領日を基準日として計算する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	審査(転籍届)

処理名	0.0　本紙							備考
(1)届書内容を画面入力する						/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)						/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]			(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する					
	NO							
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)					/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(転籍届)を編集する					(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ　「先頭ページです」を表示する						
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)					/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(転籍届)を編集する					(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ　「最終ページです」を表示する						
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する							入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する							
その他	(27)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する							

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(転籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本籍	○	漢字				
11	新本籍	○	漢字				
12	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
13	筆頭者氏名	○	漢字				
14	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	筆頭者個人除区分	○	数字	(0:在籍者、1:除籍者)であること			
16	筆頭者-配偶者区分		漢字	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
17	筆頭者住所		漢字				
18	筆頭者世帯主		漢字				
19	配偶者-配偶者区分		数字	(1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			
20	配偶者外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
21	配偶者カナ氏名		カナ				
22	配偶者氏名		漢字				
23	配偶者住所		漢字				
24	配偶者世帯主		漢字				
25	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	届出人資格1コード		数字	(000:未入力、008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(転籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	届出人資格2コード		数字	(000:未入力、008:筆頭者、009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人)であること			
28	届出人氏名1		漢字				
29	届出人氏名2		漢字				
30	名義使用区分		数字	(0:未使用、1:夫、2:妻)であること			
31	構成員人数		数字				
32	構成員カナ氏名(その1)		カナ				
33	構成員氏名(その1)		漢字				
34	構成員住所(その1)		漢字				
35	構成員の世帯主(その1)		漢字				
36	構成員生年月日(その1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
37	構成員カナ氏名(その2)		カナ				
38	構成員氏名(その2)		漢字				
39	構成員住所(その2)		漢字				
40	構成員の世帯主(その2)		漢字				
41	構成員生年月日(その2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	構成員カナ氏名(その3)		カナ				
43	構成員氏名(その3)		漢字				
44	構成員住所(その3)		漢字				
45	構成員の世帯主(その3)		漢字				
46	構成員生年月日(その3)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	構成員カナ氏名(その4)		カナ				
48	構成員氏名(その4)		漢字				
49	構成員住所(その4)		漢字				
50	構成員の世帯主(その4)		漢字				
51	構成員生年月日(その4)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(転籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)送付元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)送付元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:(受理分)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.10)本籍 ＝ 本籍地　または　(No.11)新本籍 ＝ 本籍地であること			
12	(No.10)本籍 ≠ (No.11)新本籍であること			
13	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍)の時、 (No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)、1(夫)、2(妻)、3(生存配偶者)であること			
14	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)の時、 (No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)　かつ (No.17)筆頭者住所、(No.18)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
15	(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)の時、 (No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)　または　スペース(未入力)であること			
16				(No.16)欠番
17	(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)の時、 (No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ スペース(未入力)　または　0(未)であること			
17-1	(No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)の時、(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)であること			

データチェック(関連表)	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	審査(転籍届)

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表	入力画面(転籍届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ スペース(未入力)の時、 (No.20)配偶者外人区分、(No.21)配偶者カナ氏名、(No.22)配偶者氏名、(No.23)配偶者住所、 (No.24)配偶者世帯主、(No.25)配偶者生年月日全て ＝ スペース(未入力)であること			
19	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.21)配偶者カナ氏名、(No.22)配偶者漢氏名、 (No.25)配偶者生年月日全て ≠ スペース(未入力)であること			
19-1	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.21)配偶者カナ氏名～(No.25)配偶者生年月日全て ＝ スペース(未入力)であること			
20	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力) かつ (No.20)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.12)筆頭者カナ氏名の氏 ＝ (No.21)配偶者カナ氏名の氏 かつ (No.13)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.22)配偶者漢字氏名の氏であること			
21	(No.20)配偶者外人区分 ＝ スペース(未入力)の時、(No.30)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
22	(No.20)配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.30)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
23	(No.26)届出人資格1コード ≠ 000(未入力) または (No.27)届出人資格2コード ≠ 000(未入力)であること			
24	(No.26)届出人資格1コード ＝ 016、017、019、020、110の時、 (No.28)届出人氏名1 ≠ スペース(未入力)であること			
25	(No.27)届出人資格2コード ＝ 016、017、019、020、110の時、 (No.29)届出人氏名2 ≠ スペース(未入力)であること			
26	構成員番号(その1) ＝ スペースの時、 (No.32)構成員カナ氏名(その1)、(No.33)構成員氏名(その1)、(No.34)構成員住所(その1)、 (No.35)構成員の世帯主(その1)、(No.36)構成員生年月日(その1)が全て ＝ スペースであること			
27	構成員番号(その1) ≠ スペースの時、 (No.32)構成員カナ氏名(その1)、(No.33)構成員氏名(その1)、 (No.36)構成員生年月日(その1)が全て ≠ スペースであること			
28	構成員番号(その2) ＝ スペースの時、 (No.37)構成員カナ氏名(その2)、(No.38)構成員氏名(その2)、(No.39)構成員住所(その2)、 (No.40)構成員の世帯主(その2)、(No.41)構成員生年月日(その2)が全て ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(転籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
29	構成員番号(その2) ≠ スペースの時、 (No.37)構成員カナ氏名(その2)、(No.38)構成員氏名(その2)、 (No.41)構成員生年月日(その2)が全て ≠ スペースであること			
30	構成員番号(その3) ＝ スペースの時、 (No.42)構成員カナ氏名(その3)、(No.43)構成員氏名(その3)、(No.44)構成員住所(その3)、 (No.45)構成員の世帯主(その3)、(No.46)構成員生年月日(その3)が全て ＝ スペースであること			
31	構成員番号(その3) ≠ スペースの時、 (No.42)構成員カナ氏名(その3)、(No.43)構成員氏名(その3)、 (No.46)構成員生年月日(その3)が全て ≠ スペースであること			
32	構成員番号(その4) ＝ スペースの時、 (No.47)構成員カナ氏名(その4)、(No.48)構成員氏名(その4)、(No.49)構成員住所(その4)、 (No.50)構成員の世帯主(その4)、(No.51)構成員生年月日(その4)が全て ＝ スペースであること			
33	構成員番号(その4) ≠ スペースの時、 (No.47)構成員カナ氏名(その4)、(No.48)構成員氏名(その4)、 (No.51)構成員生年月日(その4)が全て ≠ スペースであること			
34	構成員番号(その1) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.33)構成員氏名(その1)の氏であること			
35	構成員番号(その2) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.38)構成員氏名(その2)の氏であること			
36	構成員番号(その3) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.43)構成員氏名(その3)の氏であること			
37	構成員番号(その4) ≠ スペースの時、 (No.12)筆頭者氏名の氏 ＝ (No.48)構成員氏名(その4)の氏、であること			
38	(No.30)名義使用区分 ≠ 0(未使用)の時、 (No.26)届出人資格1コード ≠ 110(未成年後見人) かつ (No.27)届出人資格2コード ≠ 110(未成年後見人)であること			
39	(No.17)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.18)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
40	(No.18)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
41	(No.23)配偶者住所 ＝ スペースの時、(No.24)配偶者世帯主 ＝ スペースであること			
42	(No.24)配偶者世帯主 ≠ スペースの時、(No.23)配偶者住所 ≠ スペースであること			
43	(No.34)構成員住所(その1) ＝ スペースの時、(No.35)構成員の世帯主(その1) ＝ スペースであること			
44	(No.35)構成員の世帯主(その1) ≠ スペースの時、(No.34)構成員住所(その1) ≠ スペースであること			
45	(No.39)構成員住所(その2) ＝ スペースの時、(No.40)構成員の世帯主(その2) ＝ スペースであること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(転籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(転籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
46	(No.40)構成員の世帯主(その2) ≠ スペースの時、(No.39)構成員住所(その2) ≠ スペースであること			
47	(No.44)構成員住所(その3) ＝ スペースの時、(No.45)構成員の世帯主(その3) ＝ スペースであること			
48	(No.45)構成員の世帯主(その3) ≠ スペースの時、(No.44)構成員住所(その3) ≠ スペースであること			
49	(No.49)構成員住所(その4) ＝ スペースの時、(No.50)構成員の世帯主(その4) ＝ スペースであること			
50	(No.50)構成員の世帯主(その4) ≠ スペースの時、(No.49)構成員住所(その4) ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成16年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	審査(転籍届)

処理名	3.0　審査			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)	/			
YES (0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する				
YES (0-3)→(0-7)へ	/			
NO (0-4)→		(0-5)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)
NO (0-6)→(0-7)へ	/			
(0-7)構成員カナ氏審査処理(構成員が無くなるまで繰り返す)	/			
(0-8)筆頭者カナ氏名の氏 ≠ 構成員カナ氏名の氏(YES,NO)	/			
YES (0-9)メッセージ 「構成員のカナ氏が筆頭者のカナ氏と異なりますがよろしいですか?」を表示する				
NO (0-11)→(0-7)へ	/			
(0-12)筆頭者氏名の名が未入力　又は　(配偶者-配偶者区分≠スペース　かつ 配偶者氏名の名が未入力　かつ　配偶者外人区分が日本人)(YES,NO)	/			R4(転籍64)
YES (0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示する		(0-14)本紙へ		R2.1(転籍59)
YES (0-15)エラーメッセージ　「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-17)本紙へ		不受理　R2.1(転籍59)
NO (0-16)→				画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(転籍59)
NO (0-18)→(1)へ	/			R2.1(転籍59)
(1)筆頭者-配偶者区分(0:未婚、1:夫、2:妻、3:生存配偶者、その他)	/			
0、その他 (1-1)筆頭者個人除区分(0:在籍、その他)	/			
0 (2)筆頭者生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日である(YES,NO)	/			
YES (3)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]	/			
(4)→		(5)本紙へ		
NO (6)審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)処理 [3.4]	/			
(7)→		(8)本紙へ		
その他 (8-1)配偶者外人区分(0:日本人、その他)	/			
0 (8-2)配偶者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者(YES,NO)	/			
YES (8-3)名義使用区分(0:未使用、その他)	/			
0 (8-4)審査(届出人資格:配偶者単独)処理 [3.2]	/			
(8-5)→		(8-6)本紙へ		

要件定義ワークシート					作成日付	平成16年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名				審査(転籍届)						
処理名				3.0　審査					備考	
			その他	(8-7)エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する						
			NO	(8-8)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する						
		その他		(8-9)エラーメッセージ 「届出資格を有していません。」を表示する						
1	(9)配偶者外人区分(0:日本人、その他)				/					
	0	(10)配偶者-配偶者区分　＝　2:妻(YES,NO)			/					
		YES	(11)名義使用区分(1:夫、2:妻、その他)		/					
			1	(12)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]	/				昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(13)→		(14)本紙へ			昭和23.5.6 民事甲 1131号回答	
			2	(15)審査(届出人資格:配偶者単独)処理 [3.2]	/				昭和23.4.15 民事甲　926号回答	
				(16)→		(17)本紙へ			昭和23.5.6 民事甲 1131号回答	
			その他	(18)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理 [3.3]	/					
				(19)→		(21)本紙へ				
		NO		(20)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する	/					
	その他	(22)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]			/					
		(23)→				(24)本紙へ				
2	(25)配偶者外人区分(0:日本人、その他)									
	0	(26)配偶者-配偶者区分 ＝ 1:夫(YES,NO)			/					
		YES	(27)名義使用区分(1:夫、2:妻、その他)		/					
			1	(28)審査(届出人資格:配偶者単独)処理 [3.2]	/				昭和23.4.15 民事甲 926号回答	
				(29)→		(30)本紙へ			昭和23.5.6 民事甲 1131号回答	
			2	(31)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]	/				昭和23.4.15 民事甲 926号回答	
				(32)→		(33)本紙へ			昭和23.5.6 民事甲 1131号回答	
			その他	(34)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理 [3.3]	/					
				(35)→		(36)本紙へ				
		NO		(37)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する					NO.38欠番	

要件定義ワークシート			作成日付	平成16年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.0　審査						備考	
	その他	(39)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]		/				
		(40)→			(41)本紙へ			
3	(42-1)名義使用区分(0:未使用、その他)			/				
	0	(42-2)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理 [3.1]		/				
		(43)→			(44)本紙へ			
	その他	(45)エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する						

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4

作業名	審査(転籍届)
処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)

					備考
(1)届出人資格1(000:未入力、008:筆頭者、110:未成年後見人、その他)			/		
000	(2)届出人資格2(008:筆頭者、110:未成年後見人、その他)		/		
	008	(3)→(34)	/		
					(4)～(8)削除
	110	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する			
		YES (10)→		(11)3.0審査へ	
		NO (12)→			不受理
					(13)、(14)削除
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
008	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		
	000	(17)→(34)	/		
					(18)～(22)削除
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(24)3.0審査へ	不受理
110	(25)届出人資格2(000:未入力、その他)		/		
	000	(26)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示する	/		
		YES (27)→		(28)3.0審査へ	
		NO (29)→			不受理
					(30)、(31)削除
	その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する			不受理
その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する				不受理
(34)→					

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、009:配偶者、その他)					/			
000	(2)届出人資格2(009:配偶者、その他)				/			
	009	(3)→(34)			/			
							(4)～(14)削除	
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(15-1)3.0審査へ	不受理	
009	(16)届出人資格2(000:未入力、その他)				/			
	000	(17)→(34)			/			
							(18)～(22)削除	
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(24)3.0審査へ	不受理	
							(25)～(32)削除	
その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する					(33-1)3.0審査へ	不受理	
(34)→								

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、008:筆頭者、009:配偶者、その他)					/			
008	(2)届出人資格2(009:配偶者、その他)				/			
	009	(3)→					戸108Ⅰ	
	その他	(4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する				(5)3.0審査へ	不受理	
009	(6)届出人資格2(008:筆頭者、その他)				/			
	008	(7)→				(10)3.0審査へ	戸108Ⅰ	
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
その他	(9)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する						不受理	
							(11)～(18)削除	

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名	審査(転籍届)							
処理名	3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)						備考	
(1)届出人資格1(000:未入力、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)				/			昭和23.10.15民事甲660号通達	
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、その他)			/				
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(4)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
	110	(5)筆頭者は本籍人である(YES,NO)		/				
		YES	(6)筆頭者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/				
			YES →		(8)3.0審査へ			
			NO (7)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する					
		NO →						
	その他	(8-1)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
016,019	(9)届出人資格2(000:未入力、017:親権者母、020:親権者養母、その他)			/				
	000	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(13)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
	017,020	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する						
017,020	(14)届出人資格2(000:未入力、016:親権者父、019:親権者養父、その他)			/				
	000	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示する			(18)3.0審査へ		「N」の時、不受理	
	016,019	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示する					「N」の時、不受理	
	その他	(17)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する					不受理	
110	(19)届出人資格2(000:未入力、その他)			/				
	000	(20)筆頭者は本籍人である(YES,NO)		/				
		YES	(21)筆頭者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/				

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成29年 3月31日	版	20
作業名				審査(転籍届)						
処理名				3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)					備考	
			YES	→		(25)3.0審査へ				
			NO	(22)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する						
		NO		→						
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する							不受理	
その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する								不受理	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(転籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		転籍届入力画面	受領NO				
	選択事件コード							「33」をセット
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							「0:不要」をセット
	届区分							「1:創設」をセット
	渉外区分							「0」をセット
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1							本籍人の時、転籍者の戸籍番号をｾｯﾄ
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							中間ファイル(届書)事件別内容参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする ＊

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(転籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分							ZERO
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイ(届書) 事件別内容	本籍コード		転籍届入力画面	本籍				
	本籍							
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	筆頭者個人番号							本籍人の時、筆頭者の個人番号をｾｯﾄ
	筆頭者カナ氏名			筆頭者カナ氏名				
	筆頭者漢字氏名			筆頭者氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日				
	筆頭者個人除区分			筆頭者個人除区分				
	筆頭者配偶者入力区分			筆頭者-配偶者区分				
	筆頭者住所コード			筆頭者住所				
	筆頭者住所							
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	配偶者配偶者入力区分			配偶者-配偶者区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者個人番号							本籍人の時、配偶者の個人番号をｾｯﾄ
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者氏名				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所コード			配偶者住所				
	配偶者住所							
	配偶者世帯主			配偶者世帯主				
	届出人資格1			届出人資格1コード				
	届出人資格2			届出人資格2コード				
	届出人氏名1			届出人氏名1				

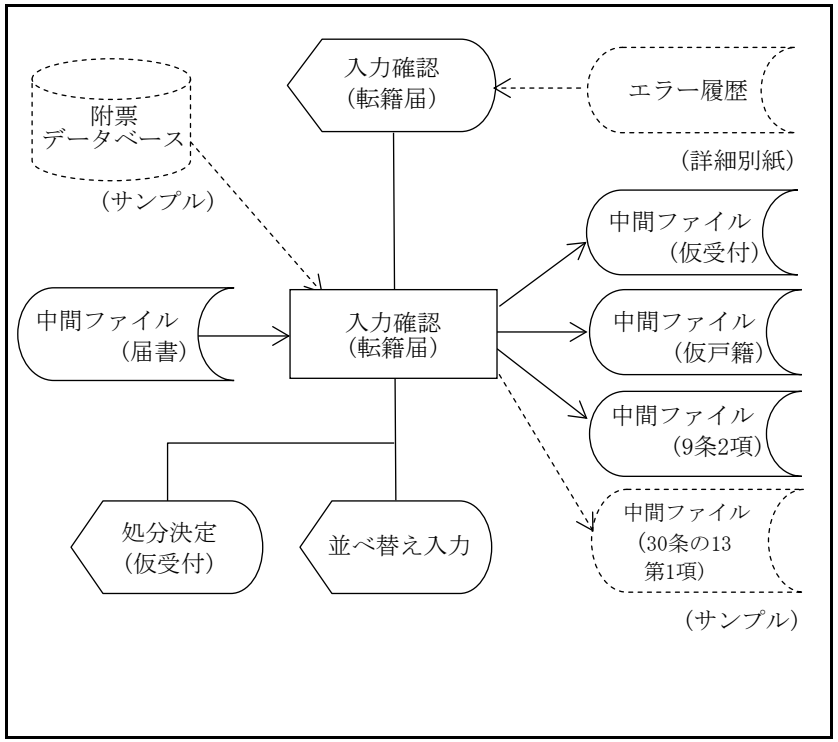
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(転籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	構成員人数			構成員人数				
	構成員n個人番号							本籍人の時、構成員の個人番号をｾｯﾄ
	構成員nカナ氏名			構成員カナ氏名				構成員の明細について 画面では、4人/画面 ファイルでは、3人/レコード です
	構成員n漢字氏名			構成員氏名				
	構成員n住所コード			構成員住所				
	構成員n住所							
	構成員n世帯主			構成員の世帯主				
	構成員n生年月日			構成員生年月日				

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(転籍届)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル (30条の13第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)中間ファイル(30条の13第1項)を編集･出力する･･･(サンプル提示)
(7)下記に制御を渡す
　処分決定処理
　並び換え処理

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 4.1 戸籍特定情報
    - 4.1.1 戸籍特定(新戸)
    - 4.2.1 戸籍特定(記録)
  - 4.2 戸籍事項情報
    - 4.2.1 戸籍事項(編製)
    - 4.2.2 戸籍事項(記録)
    - 4.2.3 戸籍事項(消除)
  - 4.3 個人特定情報
    - 4.3.1 個人特定(入籍)
    - 4.3.2 個人特定(記録)
  - 4.4 氏名情報
    - 4.4.1 氏名(入籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 5.1 転籍者
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条の13第1項)･･･(サンプル提示)
  - 6.1 転籍者

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(転籍届)								
処理名	0.0　本紙							備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]						/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/			
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]					/			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]					/			
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)					/			
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/			
		(7)戸籍特定情報				/			
		戸籍特定(新戸)	(8)戸籍特定(新戸)の編集 [4.1.1]			/			
		戸籍特定(記録)	(9)戸籍特定(記録)の編集 [4.1.2]			/			
		(10)戸籍事項情報				/			
		戸籍事項(編製)	(11)戸籍事項(編製)の編集 [4.2.1]			/			
		戸籍事項(記録)	(12)戸籍事項(記録)の編集 [4.2.2]			/			
		戸籍事項(消除)	(13)戸籍事項(消除)の編集 [4.2.3]			/			
		(14)個人特定情報				/		転籍人数分行う	
		個人特定(入籍)	(15)個人特定(入籍)の編集 [4.3.1]			/			
		個人特定(記録)	(16)個人特定(記録)の編集 [4.3.2]			/			
		(17)氏名情報				/		転籍人数分行う	
		氏名(入籍)	(18)氏名(入籍)の編集 [4.4.1]			/			
		(17-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)				/		転籍人数分行う、※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(17-1)、(17-2)	
		YES	(17-2)事件本人について中間ファイル(30条の13第1項)を編集・出力する [6.1]			/			
		NO	(19)→(20)			/			
	NO								
	(20)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					/			
	YES	(21)転籍者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [7.1]				/			
	NO	(22)→(23)				/			
	(23)新戸編製である(YES,NO)					/			
	YES	(24)筆頭者、配偶者を除く構成員数は2名以上である(YES,NO)				/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			入力確認(転籍届)						
処理名			0.0　本紙					備考	
		YES	(25)構成員(筆頭者、配偶者を除く)同生年月日者がいる(YES,NO)		/				
			YES	(26)戸籍法14条により並べ換えし並び換え処理へ			(27)並べ換えに制御を渡す		
			NO	→			(28)処分決定に制御を渡す		
		NO							
	NO								
PF1	→						(29)業務選択に制御を渡す		
PF2	→						(30)届出選択に制御を渡す		
PF5	→						(31)審査に制御を渡す		
PF7	(32)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)				/				
	ある	(33)前ページ分の確認画面(転籍届)を編集する					(34)同画面を編集する		
	なし	(35)エラーメッセージ　「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(36)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)				/				
	ある	(37)次ページ分の確認画面(転籍届)を編集する					(38)同画面を編集する		
	なし	(39)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する							
PF11	→						(40)エラー履歴表示に制御を渡す		
その他	(41)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する						(42)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	1.0　確認画面(転籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
転籍届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	本籍		中間ファイル(届書) 事件別内容	本籍コード		有		
				本籍				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	筆頭者カナ氏名			筆頭者カナ氏名				
	筆頭者氏名			筆頭者漢字氏名				
	筆頭者生年月日			筆頭者生年月日		有		
	筆頭者個人除区分			筆頭者個人除区分		有		
	筆頭者個人除区分名称							
	筆頭者-配偶者区分			筆頭者配偶者区分		有		
	筆頭者-配偶者区分名称							
	筆頭者住所			筆頭者住所コード		有		
				筆頭者住所				
	筆頭者世帯主			筆頭者世帯主				
	配偶者-配偶者区分			配偶者配偶者区分		有		
	配偶者-配偶者区分名称							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	1.0　確認画面(転籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者外人区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日		有		
	届出人資格1コード			届出人資格1				
	届出人資格1コード名称					有		
	届出人資格2コード			届出人資格2				
	届出人資格2コード名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	名義使用区分表示					有		
	構成員人数			構成員人数				
	構成員番号							構成員を一連番号で設定
	構成員カナ氏名			構成員nカナ氏名				構成員人数について 画面では、4人/画面 ファイルでは、3人/レコードです
	構成員氏名			構成員n漢字氏名				
	構成員住所			構成員n住所コード		有		
				構成員n住所				
	構成員の世帯主			構成員n世帯主				
	構成員生年月日			構成員n生年月日		有		
	現在頁							現在表示している画面の出現番号を表示する
	最大頁							構成員人数より必要な画面数の最大頁数を表示する

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(転籍届)
処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				戸籍の変動		
	現本籍		新本籍				
	本籍	非本籍	管内	管外	全部除籍　4.1.2　4.2.3　4.3.2　*1	新戸籍編製　4.1.1　4.2.1　4.3.1　4.4.1　*2	変動なし　4.1.2　4.2.2
1	○		○				○
2	○			○	○		
3		○	○			○	
4		○		○			

*1　4.3.2は画面入力した筆頭者、配偶者、構成員の全ての戸籍が除籍の対象とする。
　　ただし、筆頭者が除籍(個人除区分 ＝ 1)の場合、筆頭者の戸籍の変動は行わない。
*2　4.3.1、4.4.1は画面入力した転籍者(筆頭者、配偶者、構成員)は、以下の順で記録する。
　　第1順位　筆頭者区分　(1:筆頭者、0:構成員の順)
　　第2順位　配偶者区分　(1:夫、2:妻、3:生存配偶者、0:未婚の順)
　　第3順位　生年月日　　(和暦年号は西暦換算で上昇順、年、月、日の順)
　　第4順位　入力順　　(構成員番号の順)

※管外から管内へ転籍する場合、外国人配偶者の戸籍(個人特定)は作成しないこと

データ編集表		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(転籍届)						
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							「33」を設定
	受付日			送付日　又は　受領日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日 送付日 ＝ スペースの場合、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							0:日本人
	証書提出区分							0:届出
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							移送データなし
	収日							移送データなし
	指示日							移送データなし
	許可日							移送データなし
	関連受領番号							移送データなし
	届出人資格区分1			届出人資格1 又は 2				資格区分 ＝ 008:筆頭者　又は 009:配偶者　以外の時設定
	届出人資格区分1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1 又は 2				
	届出人資格区分2							
	届出人資格区分2名称					有		
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							戸籍編製マトリックスから設定 (1:入籍、2:新戸籍編製)

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				
	届後本籍の筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認区分1							届後本籍が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、 1(未到達)を設定 上記以外は、0(不要)を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮戸籍) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							名義使用区分 ≠ 1(夫) 又は 2(妻)の場合 　届出人資格1 又は 2 ＝ 008の時、 　44(筆頭者)で1件作成 　届出人資格1 又は 2 ＝ 009の時、 　45(配偶者)で1件作成 　届出人資格1 又は 2 ＝ 008 又は 　009以外の時、 　44(筆頭者)で1件作成 名義使用区分 ＝ 1(夫)　又は 2(妻)の場合 　届出人資格1 又は 2 ＝ 008 又は 　009の時、 　44(筆頭者)、45(配偶者)で 　1件ずつ作成
	届出人区分							届出人資格1 又は 2 ＝ 008 又は 009:1を設定 それ以外:0設定
	カナ氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者カナ氏名移送 45の場合、配偶者カナ氏名移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	漢字氏名							事件本人区分 44の場合、筆頭者漢字氏名移送 45の場合、配偶者漢字氏名移送

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成26年 3月 1日	版	17
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	生年月日							事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認2							現本籍が(本非区分 ＝ 2)　かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.1.1 (戸籍特定・新戸籍編製) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			新本籍コード				
	本籍			新本籍				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	記録者数							在籍者数+除籍者数
	在籍者数							筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍)の場合 1+構成員人数 上記以外は、構成員人数
	除籍者数							筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)の場合 1を設定 上記以外は、0を設定
	戸籍除区分							0:現戸籍を設定
	戸籍異動区分							0:解除を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.1.2 （戸籍特定・記録） 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日							
	改製日							
	消除日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				全部除籍のとき設定 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	回復日							
	本籍コード			新本籍コード				管内転籍のとき設定
	本籍			新本籍				同上
	筆頭者							
	記録者数							
	在籍者数							全部除籍のとき、0を設定
	除籍者数							全部除籍のとき、記録者数を設定
	戸籍除区分							全部除籍のとき1:除籍を設定
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.2.1 (戸籍事項・新戸籍編製) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で決定
	行番号								
	出力区分								0を設定
	タイトルコード								3301を設定
	記録コード								3301を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	転籍日				受領日				
	入戸籍	従前本籍			本籍				
	除戸籍	新本籍							
	届出	資格			届出人資格1 又は 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する 詳細編集内容は、「届出人資格･氏名の編集内容1」参照
		資格名称							
		氏名			届出人氏名1 又は 届出人氏名2				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録								
		本籍							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							名義使用区分が1 又は 2の場合 '夫婦名義で届出'を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.2.1 (戸籍事項・新戸籍編製) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

届出人資格･氏名の編集内容1

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫 又は 妻 *1	夫 又は 妻 *1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫 又は 妻 *1							
009(配偶者)	夫 又は 妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父、養母*2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		親権者母、養父*2		
019(親権者養父)	親権者養父				親権者母、養父*2		養父、養母*2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父、養母*2		養父、養母*2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1、2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 019(親権者養父)と017(親権者母)の場合
【届出人(1)】親権者養父 甲野義太郎
【届出人(2)】親権者母

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.2.2 (戸籍事項・記録) 編集･出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0を設定
	タイトルコード								3301を設定
	記録コード								3301を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	転籍日				受領日				
	入戸籍	従前本籍							
	除戸籍	新本籍							
	届出	資格			届出人資格1 又は 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する 詳細編集内容は、「届出人資格･氏名の編集内容2」参照
		資格名称							
		氏名			届出人氏名1 又は 届出人氏名2				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録								
		本籍			本籍				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							名義使用区分が1 又は 2の場合 '夫婦名義で届出'を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.2.2 (戸籍事項・記録) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

届出人資格･氏名の編集内容2

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫 又は 妻 *1	夫 又は 妻 *1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫 又は 妻 *1							
009(配偶者)	夫 又は 妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父、養母*2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		親権者母、養父*2		
019(親権者養父)	親権者養父				親権者母、養父*2		養父、養母*2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父、養母*2		養父、養母*2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1、2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 019(親権者養父)と017(親権者母)の場合
【届出人(1)】親権者養父 甲野義太郎
【届出人(2)】親権者母

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	入力確認(転籍届)								
処理名	4.2.3 (戸籍事項・消除) 編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	個人番号			中間ファイル(届書)					
	行番号								
	出力区分								0を設定
	タイトルコード								3301を設定
	記録コード								3301を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	転籍日				受領日				
	入戸籍	従前本籍							
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	届出	資格			届出人資格1 又は 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する 詳細編集内容は、「届出人資格･氏名の編集内容2」参照
		資格名称							
		氏名			届出人氏名1 又は 届出人氏名2				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	従前の記録								
		本籍							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							名義使用区分が1 又は 2の場合 '夫婦名義で届出'を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.3.1 (個人特定・新戸籍編製) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							2.0戸籍編製マトリックス表*2で示した順で順次番号を付番する
	入籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				筆頭者個人除区分 ＝ 0の時、設定しない 筆頭者個人除区分 ≠ 0の時、上記入籍日と同一日を設定する
	性別							
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分							筆頭者の場合:1を設定 その他:0を設定
	配偶者区分			配偶者入力区分				筆頭者、配偶者の場合:配偶者入力区分を移送 その他:0を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定 但し、筆頭者　かつ　筆頭者個人除区分 ≠ 0の場合には入力された区分を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.3.2 （個人特定・記録） 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日			処理日　又は 送付日　又は 受領日				筆頭者個人除区分 ≠ 0の場合は、既存区分を移送(変更なし) 筆頭者個人除区分 ＝ 0の場合は、 処理日 ≠ スペース:処理日 送付日 ≠ スペース:送付日 他は受領日
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							既存の区分が0の場合、2(戸籍消除)を設定 上記以外は、既存区分内容を移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	4.4.1 (氏名・入籍) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	カナ氏名			カナ氏名 (事件者のカナ氏名)				
	漢字氏名			漢字氏名 (事件者の漢字氏名)				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	5.1　9条2項(転籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							33(転籍届)
	受理日			受領日　又は　送付日				送付日がない場合に受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者氏名、 配偶者氏名、 構成員n氏名				
	旧氏名			筆頭者氏名、 配偶者氏名、 構成員n氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日、 配偶者生年月日、 構成員n生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日、 配偶者生年月日、 構成員n生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母と続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード、 配偶者住所コード、 構成員n住所コード				項目がある場合移送
	住所			筆頭者住所、 配偶者住所、 構成員n住所				項目がある場合移送

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	5.1 9条2項(転籍者) 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

データ編集表（サンプル提示）			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	6.1　30条の13第1項(転籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の13第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名					有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					33(転籍届)
	受理日			送付日　又は　受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者氏名、 配偶者氏名、 構成員n氏名				
	旧氏名			筆頭者氏名、 配偶者氏名、 構成員n氏名				
	新生年月日			筆頭者生年月日、 配偶者生年月日、 構成員n生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日、 配偶者生年月日、 構成員n生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者氏名				
	旧筆頭者			筆頭者氏名				
	住所コード			筆頭者住所コード、 配偶者住所コード、 構成員n住所コード				項目がある場合移送

データ編集表（サンプル提示）			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	6.1　30条の13第1項(転籍者)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住所			筆頭者住所、 配偶者住所、 構成員n住所				項目がある場合移送
	方書							
	転入届出日							

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	並び換え(転籍届)

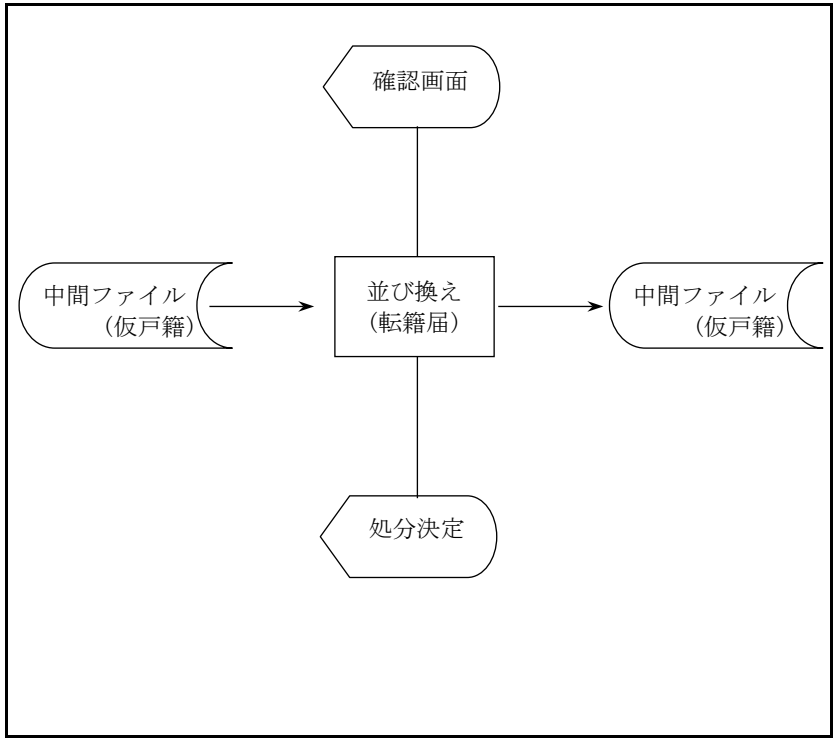
1. 並び換え(転籍届)処理範囲外の処理

2. 並び換え(転籍届)入力画面の意義
(1)転籍を行う当事者(筆頭者及び配偶者を除く)の新記録順位を入力する

3. その他
(1)中間ファイル(仮戸籍:個人特定、氏名)を以下の順に分類し新順位で中間ファイル(仮戸籍:個人特定、氏名)を作成してあること
第1順位　筆頭者区分　(1:筆頭者、0:構成員の順)
第2順位　配偶者区分　(1:夫、2:妻、3:生存配偶者、0:未の順)
第3順位　生年月日　　(上昇順:年号は西暦換算で上昇順になること)
第4順位　入力順　　(画面入力順)

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	並び換え(転籍届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(仮戸籍)	入出力		

3.処理概要

(1)新記録順位のチェック
(2)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 新記録順位チェック
　　　　└ 2.0 データ編集表(並び換え(転籍届)画面)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	並び換え(転籍届)							
処理名	0.0　本紙						備考	
(1)中間ファイル(仮戸籍:個人特定)を画面表示する ただし筆頭者、配偶者の新記録順位項目は入力禁止にする				/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF11、PF12、その他)				/				
実行キー	(3)新記録順位チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]			/				
	YES	(4)中間ファイル(仮戸籍:個人特定)を構成員新記録順位で分類し編集出力		/				
		(5)面面の入力項目を全て入力禁止とする		/				
		(6)構成員新記録順位で「並び換え(転籍届)」画面を編集			(8)同画面を編集する			
	NO	(7)エラーメッセージを表示する						
PF1	→				(9)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(10)届出選択に制御を渡す			
PF5	「中間ファイル(仮戸籍:個人特定)の順序を記録順位とする。」				(11)入力確認に制御を渡す			
PF7	(12)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	ある	(13)前ページ分の入力画面「並び換え(転籍届)」を編集する			(15)同画面を編集する			
	なし	(14)エラーメッセージ　「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(16)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	ある	(17)次ページ分の入力画面「並び換え(転籍届)」を編集する			(20)同画面を編集する			
	なし	(18)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する						
PF10	(19)画面の入力項目の入力禁止を解除する ただし筆頭者、配偶者の新記録順位項目は入力禁止にする						入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	「中間ファイル(仮戸籍:個人特定)の順序を記録順位とする。」				(21)処分決定処理に制御を渡す			
PF12	(22)入力画面を初期化する				(24)同画面を編集する			
その他	(23)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する							

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	並び換え(転籍届)

処理名	1.0　新記録順位チェック			備考
(1)構成員分繰り返す			(2)本紙へ	
	(3)構成員新記録順位が入力されている(YES,NO)	/		
YES	(4)構成員新記録順位は00 ＜ 構成員新記録順位 ≦ 在籍数である(YES,NO)	/		
YES	(5)構成員新記録順位は同生年月日者の番号である(YES,NO)	/		戸14
YES	(6) → (12)	/		
NO	(7)エラーメッセージ 「同生年月日者どうしの記録順位の変更しか出来ません。」を表示する		(9)本紙へ	
NO	(8)エラーメッセージ 「新記録順位は設定可能範囲を超えています。」を表示する			
NO	(10)構成員番号を構成員新記録順位に移送	/		
	(11) → (12)	/		
	(12)構成員新記録順位は重複している(YES,NO)	/		構成員新記録順位を新たな構成員番号として移送する前に、既に新構成員番号が他の構成員にて設定されているか判定する まだ未設定ならば、新たな構成員番号として移送する
YES	(13)エラーメッセージ 「新記録順位が重複しています。」を表示する		(14)本紙へ	
NO	(15)構成員新記録順位を構成員番号(新)へ移送する	/		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(転籍届)							
処理名	2.0　並び換え(転籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
並び換え(転籍届)画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書)	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	NO							仮戸籍(個人特定、氏名)の格納順を一連番号として設定
	漢字氏名		仮戸籍(氏名)	漢字氏名				仮戸籍(個人特定、氏名)を順次表示する 1画面/6件
	筆頭者区分		仮戸籍(個人特定)	筆頭者区分		有		
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	生年月日			生年月日		有		

第7.2.(5)「異動」処理

33.就籍届

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1			「就籍届」	

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4

作業名	就籍届

1.就籍業務処理範囲外の処理

・親子関係存在確認の確定判決に基づく親子同時の就籍を行う場合の処理
個々の届書に分けた上でそれぞれ審査を行う。

・樺太又は千島に本籍を有していた者が内地に就籍を行う場合の処理
就籍原因については特記事項として記録する為

・死亡した者について就籍許可の審判がなされ、これに基づいて就籍届があっても受理しない(昭31.3.6民2発91第二課長回答)

・本籍不明又は無籍のまま婚姻した者が離婚して除籍された後、就籍を行う場合の処理(昭和31.5.2民甲838通達)
別途届出にて審査する

・就籍届により、父又は母について新戸籍を作成する場合

・事件本人の成年後見人から届出された場合

2.就籍届入力画面の意義

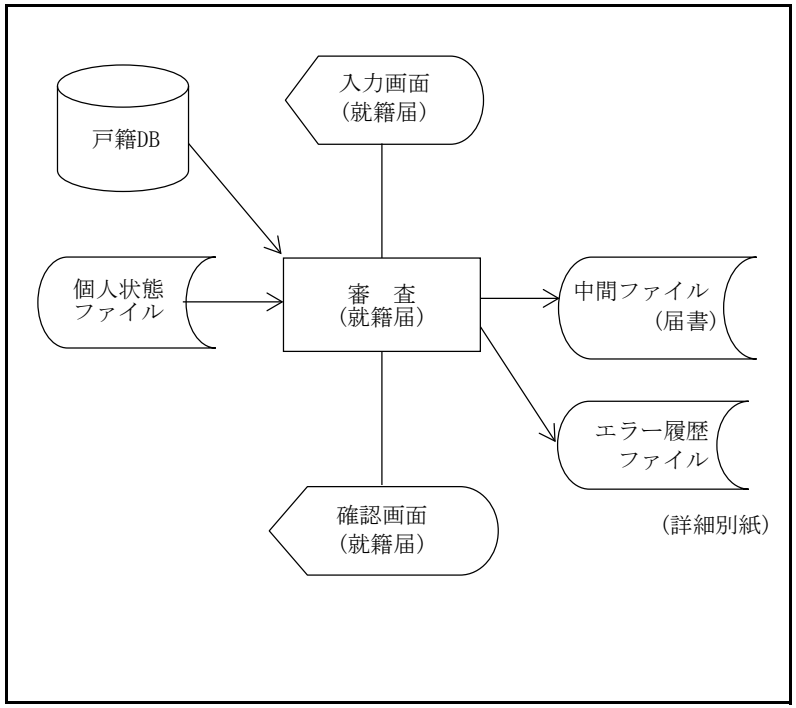
・就籍届を行う事件本人の各項目を入力する。

3.その他

添付書類
・家庭裁判所からの就籍許可審判書の謄本(戸38Ⅱ)又は確定判決(審判)による判決(審判)書の謄本及び判決(審判)確定証明書(戸111)

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(就籍届)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要
(1)就籍届の内容を入力する
(2)就籍届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)就籍届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)就籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)入力確認(就籍届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)
(1)就籍人の年齢計算について
受領日を基準日として計算する。

要件定義ワークシート						作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	審査(就籍届)										
処理名	0.0　本紙									備考	
(1)届書内容を画面入力する								/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)								/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]							/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]						/			
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする					/			
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]					/			
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力 [4.0]					(8)入力確認画面に制御を渡す		
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)				/			
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する	
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					メッセージと応答をエラー履歴に出力する	
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→								(14)業務選択に制御を渡す		
PF2	→								(15)届出選択に制御を渡す		
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する								(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効	
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する									審査エラー発生時のみ有効	
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ　「無効なキーが押されました」を表示する										

データチェック(単体表)		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	審査(就籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
1.0 単体チェック表		入力画面(就籍届)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	就籍人カナ氏名	○	カナ				
11	就籍人漢字氏名	○	漢字				
12	就籍人住所		漢字				住基8、9Ⅱ
13	就籍人世帯主		漢字				住基8、9Ⅱ
14	就籍人本籍	○	漢字				
15	就籍人筆頭者	○	漢字				
16	就籍人父の氏名		漢字				
17	就籍人母の氏名		漢字				
18	就籍人生年月日	○	数字				
19	就籍人戸籍変動区分	○	英数	(1:新戸籍編製、2:父母の現在戸籍に入る、3:配偶者の戸籍に入る)であること			
20	就籍人住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	就籍人裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	就籍人父母続柄	○	英数	(11:長男～29:十九男、31:長女～49:十九女)であること			
23	就籍人就籍原因		英数	(スペース:家庭裁判断の許可、1:国籍存在確認の審判確定、2:親子関係存在確認の審判確定)であること			
24	届出人資格	○	英数	(098:事件本人、110:未成年後見人、029:親権代行者、			戸110Ⅰ

データチェック(単体表)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	審査(就籍届)								
処理名				画面名		画面ID			
1.0 単体チェック表				入力画面(就籍届)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
24	届出人資格	○	英数	016:親権者父、017:親権者母)であること				ｱﾘ:1101	
25	届出人氏名		漢字						

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	審査(就籍届)						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 関連チェック表		入力画面(就籍届)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)発送元 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　又は (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日 ≠ (No.21)就籍人裁判確定日であること			
12	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.21)就籍人裁判確定日であること			
13	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ≧ (No.21)就籍人裁判確定日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.21)就籍人裁判確定日であること			
15	(No.24)届出人資格 ＝ 098の時、(No.25)届出人氏名 ＝ スペースであること			
16	(No.24)届出人資格 ≠ 098の時、(No.25)届出人氏名 ≠ スペースであること			
17	(No.11)就籍人漢字氏名の氏 ＝ (No.15)就籍人筆頭者の氏であること			
18	(No.12)就籍人住所 ＝ スペースの時、(No.13)就籍人世帯主 ＝ スペースであること			
19	(No.13)就籍人世帯主 ≠ スペースの時、(No.12)就籍人住所 ≠ スペースであること			

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(就籍届)							
処理名	3.0 審査						備考	
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/				
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」を表示する							
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/				
	NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ		画面項目修正(審査完了しない)	
NO	(0-6)→(0-7)へ			/				
(0-7)就籍人漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)				/			R2.1(就籍20)	
YES	(0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示する				(0-9)本紙へ		R2.1(就籍20)	
	YES	(0-10)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(0-12)本紙へ		不受理 R2.1(就籍20)	
	NO	(0-11)→					画面項目修正(審査完了しない) R2.1(就籍20)	
NO	(0-13)→(1)へ			/			R2.1(就籍20)	
(1)就籍人戸籍変動区分(1:新戸籍編製、その他)				/				
1	(2)就籍人漢字氏名と就籍人筆頭者は同じである(YES,NO)			/				
	YES	(3)→(10)		/				
	NO	(4)エラーメッセージ 「氏名と筆頭者が一致していません。」を表示する			(5)本紙へ			
その他	(6)就籍人漢字氏名の氏と就籍人筆頭者の氏は同じである(YES,NO)			/				
	YES	(7)→(10)		/				
	NO	(8)エラーメッセージ 「氏名と筆頭者が一致していません。」を表示する			(9)本紙へ			
(10)就籍人生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日である(YES,NO)				/			戸32	
YES	(11)届出人資格(098:事件本人、110:未成年後見人、その他)			/				
	110	(12-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示する						
		YES	(12-2)→(19)	/				
		NO	(12-3)→	/			不受理	
	098	(12)→(19)		/	(13)本紙へ			
	その他	(14)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示する						

要件定義ワークシート		作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	審査(就籍届)						
処理名	3.0 審査					備考	
NO	(15)届出人資格(098:事件本人、その他)		/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名		審査(就籍届)						
処理名		3.0 審査					備考	
	098	(16)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示する			(17)本紙へ			
	その他	(18)→(19)		/				
(19)就籍人裁判確定日 + 10日 > 受領日　である				/			戸110、戸111	
YES		(20)→			(21)本紙へ			
NO		(22)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間を経過していますがよろしいですか。」を表示する						
	YES	(23)→						
	NO	(24)→					不受理	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(就籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		就籍届入力画面	受領No				
	選択事件コード							34:就籍届
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0:日本人
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人 かつ 新戸籍編製以外の場合 筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3							
	ロック戸籍番号4							
	ロック戸籍番号5							
	事件別内容							本籍人の時、転籍者の戸籍番号をｾｯﾄ
	不受理申出処分区分							

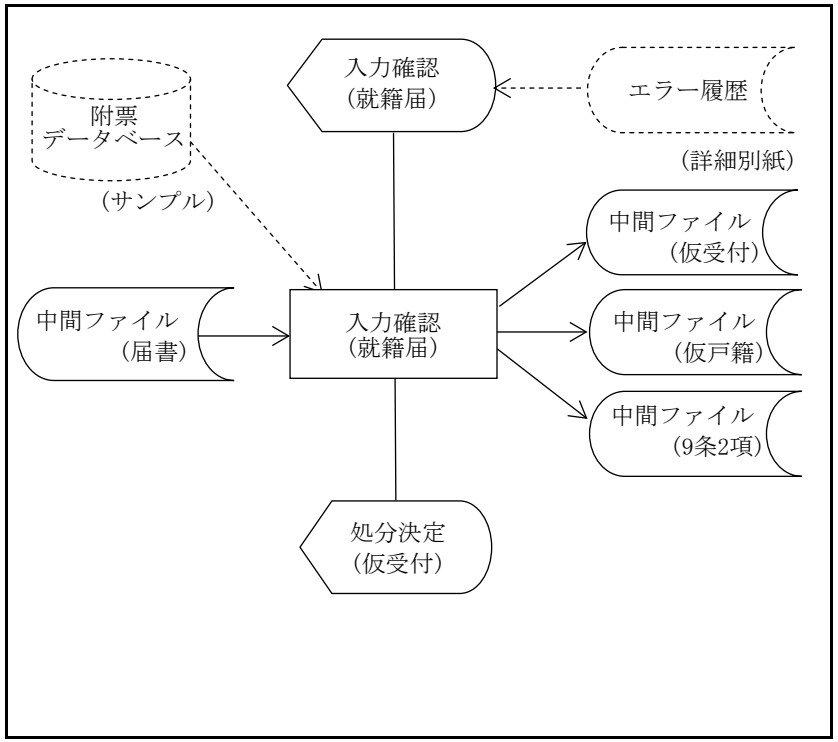
データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	審査(就籍届)							
処理名	4.0　中間ファイル(届書)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理 又は 2 ＝ 不受理をセットする 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未、1:排他
中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名		就籍届入力画面	就籍人カナ氏名				
	漢字氏名			就籍人漢字氏名				
	住所コード			就籍人住所				
	住所							
	生年月日			就籍人生年月日				
	世帯主			就籍人世帯主				
	本籍コード			就籍人本籍				
	本籍							
	筆頭者カナ氏名							
	筆頭者			就籍人筆頭者				
	父の氏名			就籍人父の氏名				
	母の氏名			就籍人母の氏名				
	父母続柄コード			就籍人父母続柄				
	父母続柄					有		
	審判日			就籍人裁判確定日				
	住定日			就籍人住定日				
	戸籍変動区分コード			就籍人戸籍変動区分				
	就籍原因コード			就籍人就籍原因				
	届出人資格コード			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	入力確認(就籍届)

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動情報を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(入力確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 4.1 身分事項(入籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年2月25日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する			[1.0]	/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)				/				
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する		[2.0]	/				
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		[3.0]	/				
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/				
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	[4.0]	/				
		(7)身分事項の編集	[4.1]	/				
	NO	→		/				
	(8)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である(YES,NO)			/				
	YES	(9)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[5.0]		(10)処分決定に制御を渡す			
	NO	→						
PF1	→				(11)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(12)届出選択に制御を渡す			
PF5	→				(13)審査(就籍届)に制御を渡す			
PF11	→				(14)エラー履歴表示に制御を渡す			
その他	(15)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(16)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	1.0　確認画面(就籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
就籍届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	就籍人カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	就籍人漢字氏名			漢字氏名				
	就籍人住所			住所コード		有		
				住所				
	就籍人生年月日			生年月日		有		
	就籍人世帯主			世帯主				
	就籍人本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	就籍人筆頭者			筆頭者				
	就籍人父の氏名			父の氏名				
	就籍人母の氏名			母の氏名				
	就籍人父母続柄			父母続柄コード				
	就籍人父母続柄名称			父母続柄				
	就籍人裁判確定日			審判日		有		
	就籍人住定日			住定日		有		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	1.0　確認画面(就籍届)　表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	就籍人戸籍変動区分			戸籍変動区分コード		有		
	就籍人戸籍変動区分名称							
	就籍人就籍原因			就籍原因コード		有		
	就籍人就籍原因名称							
	届出人資格			届出人資格コード		有		
	届出人資格名称							
	届出人氏名			届出人氏名				

補足説明書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2

作業名	入力確認(就籍届)
処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	戸籍変動区分		新本籍		戸籍の変動	
	父母もしくは配偶者の現在戸籍に入る	新戸籍編製	管内	管外	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1
1	○		○			○4.1
2	○			○		
3		○	○		○4.1	
4		○		○		

*1:就籍人の筆頭者区分の設定条件
・戸籍変動区分 ＝ 1(新戸籍編製)のとき、1(筆頭者)を設定
・戸籍変動区分 ≠ 1(新戸籍編製)のとき、0(筆頭者)を設定
*2:就籍人の配偶者区分の設定条件
・戸籍変動区分 ＝ 1(新戸籍編製)のとき、0(未)を設定
・戸籍変動区分 ＝ 2(父母の現在の戸籍に入る)のとき、0(未)を設定
・戸籍変動区分 ＝ 3(配偶者の戸籍に入る)のとき、
就籍人父母続柄 ＝ 男～十九男(男属性)の場合、1(夫)を設定
就籍人父母続柄 ＝ 女～十九女(女属性)の場合、2(妻)を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領No				
	出張所番号			支所No				
	受付事件コード							3401(就籍)を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースのとき、送付日 送付日 ＝ スペースのとき、受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分							「0:届書」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格コード				届出人資格 ＝ 098のとき移送しない
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)								
処理名	3.0　中間ファイル(仮受付)　編集･出力								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	届後本籍の筆頭者							
	送達確認1							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							46:就籍者を設定
	届出人区分							届出人資格コード ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							本箱が非本籍　かつ 在外送付区分 ＝ 0:受理分　の場合 1:未到着　を設定 上記以外は0:不要　を設定

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成23年9月30日	版	14.1
作業名	入力確認(就籍届)								
処理名	4.1　就籍者(入籍)　編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								3401:「就籍」を設定
	記録コード								3401:「就籍者の記録」を設定
	管掌者コード								
	事件発生日				審判日				
	就籍	就籍許可の裁判発効日							
		就籍許可の裁判確定日			審判日				就籍原因コードの内容で審判日を何れかの項目に設定する 就籍原因コード ＝ スペース:就籍許可の裁判確定日 ＝ 1:国籍存在確認の裁判確定日 ＝ 2:親子関係存在確認の裁判確定日
		国籍存在確認の裁判確定日							
		親子関係存在確認の裁判確定日							
	届出	届出日			受領日				就籍原因 ＝ スペースの場合、届出日に受領日を移送 上記以外は、就籍届出日に移送
		就籍届出日							
		届出人 資格			届出人資格コード				届出人資格コード＝098のときは移送しない　上記以外は、*1を参照 届出人資格コード ＝ 029、110のとき、届出人氏名を移送する
		届出人 資格名称							
		届出人 氏名			届出人氏名				
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			送付元				項目がある場合移送
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

データ編集表			作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成23年9月30日	版	14.1
作業名	入力確認(就籍届)							
処理名	4.1　就籍者(入籍)　編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

*1:届出人資格の編集内容

届出人資格(届書)	資格名称(身分事項)
016(親権者父)	親権者父
017(親権者母)	親権者母
029(親権代行者)	親権を行う者
110(未成年後見人)	未成年後見人

データ編集表				作成日付	平成6年12月1日	改訂日付	平成10年 2月27日	版	2
作業名	入力確認(就籍届)								
処理名	5.0　9条2項(就籍者)　編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名		DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号			中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号				出張所番号				
	市区町村コード				住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名						有		市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード								34(就籍届)
	受理日				受領日　又は　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号								
	新氏名				漢字氏名				
	旧氏名				漢字氏名				
	新生年月日				生年月日				
	旧生年月日				生年月日				
	新父母との続柄				父母続柄				
	旧父母との続柄				父母続柄				
	新本籍コード				本籍コード				
	新本籍				本籍				
	旧本籍コード								
	旧本籍								
	新筆頭者								
	旧筆頭者								
	住所コード				住所コード				
	往所				住所				
	方書								
	住定日								
	住民日								
	世帯主				世帯主				
	世帯主との続柄								

第7.2.(6)

「処分決定」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「処分決定」処理	システム処理の概要説明 ・留意点を追加 処分決定(仮受付) ・参照戸籍ファイル作成に係る処理を追加
2	R3	B04	「処分決定」処理	処分決定(仮受付) ・届書処理通番ファイル作成に係る処理を追加 ・送付先市区町村情報ファイル作成に係る処理を追加
3		－		法律条項の見直しにより下記仕様書を修正 ・処分決定(仮受付)
4	R4	B01	「処分決定」処理	個人状態ファイルに注意喚起区分を追加する場合の対処を追加 ①処分決定(仮受付) 11.0 個人状態ファイル更新処理
5		B04		処分区分が「取下げ」であった場合の処理を追加 ①処分決定(仮受付) 5.0 処理テーブル表（処分区分での処理内容表）
6				送達確認書の郵送事務が残るため修正 ①処分決定(仮受付) 8.0 受付DB作成･更新処理、19.0 送付先市区町村情報ファイル作成処理
7				F0050に[TR02]～[TR05]に規則第四一条処理区分が追加されたことによる修正 ①処分決定(仮受付) 18.0 届書処理通番ファイル作成処理
8		申し送り事項一覧№9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ①処分決定(仮受付) システム環境仕様書、18.0 届書処理通番ファイル作成処理 ②処分決定(受付･確認) システム環境仕様書

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2

作業名	処分決定･確認処理

(1)処分決定処理

･処分決定処理では、各届で審査･確認された内容をもとにシステムで処分内容を出力する。
表示された処分内容に誤りがある場合、職員が処分内容を修正する。

･死亡届の受理分については埋火葬許可証区分を表示し、埋火葬許可証の要、不要を決定する。

(2)処分決定確認処理

･処分決定により取得された受領番号を表示･確認する。

2.処分決定･確認画面でのPFキー

画面 / PFキー	処分決定画面	処分決定確認画面
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2	届出選択メニュー	届出選択メニュー
PF3	処分決定処理開始	移記事項入力処理
PF4		
PF5	届書入力処理	本人届出確認台帳処理
PF6		
PF7	前頁表示	前頁表示
PF8	次頁表示	次頁表示
PF9		
PF10	仮戸籍表示	
PF11	エラー履歴表示	
PF12	画面の初期化	
実行キー	処分区分の確定	

3.処分決定処理で入力可能な処分区分の意味

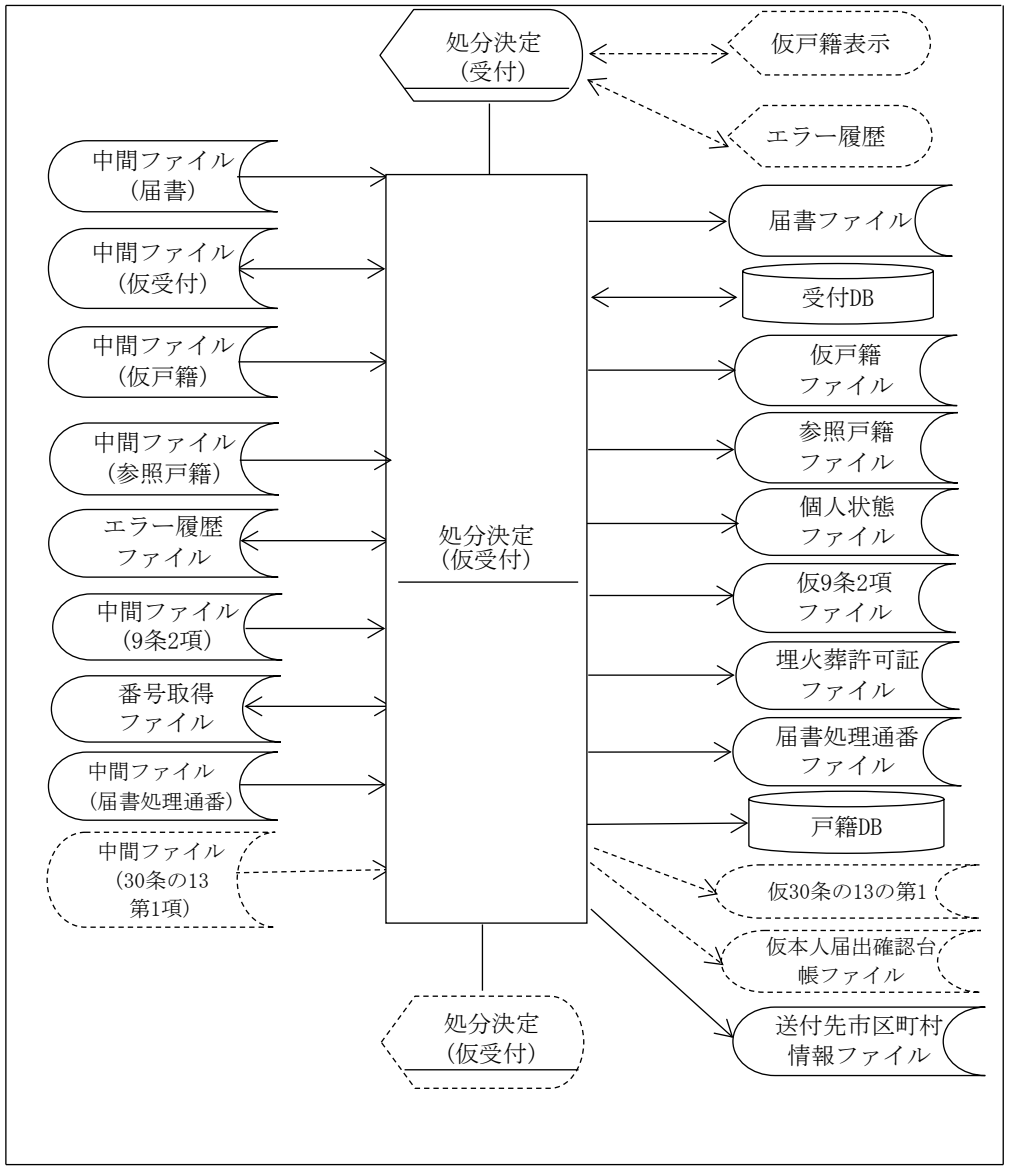
処分区分	意味
受理	届出が適法であるとする行政処分。
不受理	届出が不適法(法律上の要件を欠いている、届書の重要部分に記載遺漏･錯誤がある　他)であり、受理を拒否する行政処分。
受理照会	届出を審査するにあたって法律の解釈運用上に疑義が生じた場合、その届出を受理すべきかどうかについて管轄法務局に指示を求めること。
処理照会	受理または送付された届出の処理について疑義が生じた場合、その処理の方法について管轄法務局に指示を求めること。
返戻	送付された届出で戸籍の記載ができないものを送付された市区町村へ返送すること。
取下げ	提出した届書をお客が取り下げること。
保留	受理するか、不受理にするかの決定を延ばすこと。
受理処分の撤回	受理処分した後届書の審査内容に誤りがあり、正しい審査において無効要件のエラーがあった場合、従前の受理処分を取り消すこと。 取消要件のエラーでは受理処分を撤回することはできない。 (受理後、送付地でその届出に当たる不受理申出が出されていて、送付地から受理が不当と返戻された場合がこの一例である。)

4.留意点

･届書入力処理～処分決定処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	仮戸籍ファイル	出力
中間ファイル(仮受付)	入出力	参照戸籍ファイル	出力
中間ファイル(仮戸籍)	入力	戸籍DB	出力
中間ファイル(参照戸籍)	入力	個人状態ファイル	出力
中間ファイル(9条2項)	入力	仮9条2項ファイル	出力
番号取得ファイル	入出力	エラー履歴ファイル	入出力
届書ファイル	出力	埋火葬許可証ファイル	出力
受付DB	入出力	中間ﾌｧｲﾙ(30条の13第1項)	入力
仮本人届出確認台帳ファイル	出力	仮30条の13第1項ファイル	出力
中間ファイル(届書処理通番)	入力	届書処理通番ファイル	出力
		送付先市区町村情報ファイル	出力

3. 処理概要

(1)処理区分および埋火葬許可証発行区分(死亡届のみ)を決定する(実行キー)
(2)必要に応じ仮戸籍画面を表示する(PF10)
(3)必要に応じエラー履歴画面を表示する(PF11)
(4)処理区分の内容に従って各々ファイルを処理する(PF3)
(5)処分決定(受付･確認)画面に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 初期審査表
  - 1.1 データ編集表(中間ファイル(仮受付))
  - 1.2 データ編集表(中間ファイル(届書))
- 2.0 データ編集表(処分決定(受付)画面)
- 3.0 単体チェック表
- 4.0 審査表
- 5.0 処理テーブル表(処分区分での処理内容表)
- 6.0 データ編集表(番号取得ファイル)
- 7.0 データ編集表(届書ファイル)
- 8.0 データ編集表(受付DB:受付DB作成更新処理)
- 9.0 データ編集表(仮戸籍ファイル)
- 10.0 データ編集表(戸籍DB)
- 11.0 データ編集表(個人状態ファイル)
- 12.0 データ編集表(仮9条2項ファイル)
- 13.0 データ編集表(エラー履歴ファイル)
- 14.0 データ編集表(埋火葬許可証ファイル)
- 15.0 データ編集表(仮30条の13第1項ファイル)･････(サンプル提示)
- 16.0 データ編集表(仮本人届出確認台帳ファイル)･･･(サンプル提示)
- 17.0 データ編集表(参照戸籍ファイル)
- 18.0 データ編集表(届書処理通番ファイル)

5. 備考(特記事項含む)

処分決定(仮受付)画面の「発送日」の名称は、戸籍情報連携システム運用後は「送信日」に変更する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)初期審査(別紙1へ)(OK:YES,NG:NO)			[1.0]	/		既に受付DBが作成されている場合のチェック
YES	(2)→(16)へ			/		
NO	(3)キー選択(PF1、PF2、PF5、その他)			/		初期審査でｴﾗｰがあるときは以降の処理へは行けない
PF1	(4)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
	YES	(5)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する	[7.0]	/		届書レコードの排他の解除を行う
	NO	→		/		
	(6)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する				(7)業務選択に制御を渡す	
PF2	(8)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
	YES	(9)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する	[7.0]	/		届書レコードの排他の解除を行う
	NO	→		/		
	(10)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する				(11)届出選択に制御を渡す	
PF5	(12)中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)にスペースを設定する			/		
	(13)中間ファイル(届書)以外の中間ファイルをすべて削除する				(14)届書入力処理に制御を渡す	
その他	(15)キー選択を無効とする(画面内容は変わらず) → (3)へ			/		
(16)中間ファイル(仮受付)の1レコード目の内容で処分決定(仮受付)画面を編集する			[2.0]	/		
受付事件コード=「死亡」 かつ 在外送付区分=1:受理分 かつ 受領番号=スペースのとき埋火葬許可証メッセージ「埋･火葬許可証をプリントしますか?(0:不要、1:火葬、2:埋葬)」を表示する 処分決定(受付)画面の処分区分には中間ファイル(届書)の処分区分、在外送付区分、不受理申出処分区分の内容から該当する処分内容([4.0]審査での「表示する処分区分」を参照)を表示し、変更処分区分にはその該当コードを設定する。変更処分名称は空白のまま(初期設定のみ)						
(17)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF3、PF5、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)				/		
実行キー	(18)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)		[3.0]	/		
	YES	(19) → (22)へ		/		
	NO	(20)エラーメッセージを表示する			(21)同画面を編集する→(16)へ	
	(22)処分区分が変更された(YES,NO)			/		
	YES	(23)処分区分変更の審査(別紙2)(OK:YES,NG:NO)	[4.0]	/		
		YES	(24)変更後の処分区分と処分名称を処分決定(受付)画面の変更処分区分と変更処分名称に設定する → (28)へ		/	
		NO	(25)エラーメッセージを表示する		(26)同画面を編集する→(16)へ	
	NO	(27)処分決定(受付)画面の変更処分区分をコード変換し、変更処分名称に設定する →(28)へ		/		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	0.0 本紙						備考	
	(28)発日が入力された(YES,NO)			/				
	YES	(29)変更処分区分=3又は4である(YES,NO)		/			受理照会、処理照会のときだけ発日入力可能	
		YES	→		(30)同画面を編集する→(16)へ			
		NO	(31)エラーメッセージ 「発日は入力できません。」を表示する。					
	NO	(32) → (33)へ		/			発日入力がないときはｼｽﾃﾑ日付をｼｽﾃﾑで設定	
	(33)中間ファイル(届書)の選択事件は「受理指示」又は「不受理指示」である(YES,NO)			/				
	YES	(34)指示日がある(入力された)(YES,NO)		/			法務局からの回答による処理で提示日は必要入力項目	
		YES	→		(35)同画面を編集する→(16)へ		収日は入力されたデータを、入力がない場合はシステム日付をシステムで設定	
		NO	(36)エラーメッセージ 「指示日を入力して下さい。」を表示する					
	NO	(37)指示日が入力された(YES,NO)		/				
		YES	(38)エラーメッセージ 「指示日は入力できません。」を表示する		(39)同画面を編集する→(16)へ			
		NO	(40) → (41)へ	/				
		(41)収日が入力された(YES,NO)		/				
		YES	(42)エラーメッセージ 「収日は入力できません。」を表示する		(43)同画面を編集する→(16)へ			
		NO	→					
PF1	(44)中間ファイル(届書)の受領番号があれば届書ファイルを検索する(ある：YES,ない：NO)			/				
	YES	(45)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する [7.0]		/			届書レコードの排他の解除を行う	
	NO	→						
	(46)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する				(47)業務選択に制御を渡す			
PF2	(48)中間ファイル(届書)の受領番号があれば届書ファイルを検索する(ある：YES,ない：NO)			/				
	YES	(49)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する [7.0]		/			届書レコードの排他の解除を行う	
	NO	→		/				
	(50)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する				(51)抽出選択に制御を渡す			
PF3	(52)処分決定(受付)画面の変更処分名称がコード変換(表示)されている(YES,NO)			/	実行ｷｰを押してからでないとPF3キー(処分決定)処理は行えない 画面項目を入力したら実行キーを押さなければならない			
	YES	(53)入力項目がチェック済みである(YES,NO)		/				
		YES	(54)処分区分、入力処理方式、受付件数の各条件により以下の処理を行う(処理テーブル表を参照) [5.0]	/				
		処理内容	(55)受領番号確保処理 [6.0]	/				
			(56)届書ファイル処理 [7.0]	/				
			(57)受付DB処理 [8.0]	/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			処分決定(仮受付)						
処理名			0.0 本紙					備考	
			(58)仮戸籍ファイル処理 [9.0]	/					
			(59)戸籍DB処理 [10.0]	/					
			(60)個人状態ファイル処理 [11.0]	/					
			(61)9条2項ファイル処理 [12.0]	/					
			(62)エラー履歴ファイル処理 [13.0]	/					
			(63)埋火葬許可証処理処理 [14.0]	/					
			(63-1)仮30条の13第1項ファイル処理 [15.0]	/					
			(63-2)仮本人届出確認台帳ファイル [16.0]	/					
			(63-3)参照戸籍ファイル処理 [17.0]	/					
			(63-4)届書処理通番ファイル処理 [18.0]	/				中間ファイル(仮受付)の件数分作成する	
			(63-5)送付先市区町村情報ファイル処理 [19.0]	/					
			(64)中間ファイルをすべて削除する		(65)処分決定(受付・確認)処理に制御を渡す				
		NO	(66)エラーメッセージ 「実行キーを押さないと処分決定(PF3)処理はできません。」表示する		(67)同画面を編集する→(16)へ				
	NO								
PF5	(68)中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)にスペースを設定する			/					
	(69)中間ファイル(届書)以外の中間ファイルをすべて削除する				(70)届書入力処理に制御を渡す				
PF7	(71)受付件数>1である(YES,NO)			/				PF7、PF8は1つの届で複数の受付帳が作成されるときのみ使用可 (事件本人が3名以上いる場面の画面スクロールとは異なる	
	YES	(72)現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより前のレコードがある(YES,NO)		/					
		YES	(73)前の中間ファイル(仮受付)の内容を編集・表示する		(74)同画面を編集する→(16)へ				
		NO	(75)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です。」を表示する						
	NO	(76)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです。」を表示する							
PF8	(77)受付件数>1である(YES,NO)			/					
	YES	(78)現在画面表示している中間ﾌｧｲﾙ(仮受付)のﾚｺｰﾄﾞより後のﾚｺｰﾄﾞがある(YES,NO)		/					
		YES	(79)次の中間ファイル(仮受付)の内容を編集・表示する		(80)同画面を編集する→(16)へ				
		NO	(81)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です。」を表示する						
	NO	(82)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです。」を表示する							
PF10	→				(83)仮戸籍表示に制御を渡す				
PF11	→				(84)エラー履歴表示に制御を渡す				
PF12	(85)入力画面を初期化する				(86)同画面を編集する→(16)へ				

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	処分決定(仮受付)						
処理名	0.0 本紙				備考		
その他	(87)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました。」を表示する			(88)同画面を編集する→(16)へ			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	1.0 初期審査:別紙1

					備考
(1)中間ファイル(仮受付)を読み、受付件数(レコード数)をカウントする			/		
(2)中間ファイル(届書)の受領番号が空白である(YES,NO)			/		
YES	→			(3)本紙へ	
NO	(4) → (5)		/		
(5)中間ファイル(届書)の受領番号をキーとして受付DBを検索する			/	受付DBで履歴がある場合は最新の受付DBが検索対象となる	
(6)受付DBの処分区分=スペースである(YES,NO)			/		
YES	(7)受付件数=1である(YES,NO)		/		受領番号確保処理での審査：(7)～(18)まで
	YES	(8)中間ファイル(仮受付)の受領番号に、中間ファイル(届書)の受領番号を設定する [1.1]		(9)本紙へ	
	NO	(10)(受付件数-1)の回数(10)～(15)の処理を繰り返す	/		受付件数分連続した受付ファイルが取得できるかのチェック
		(11)次の受付DBを検索する	/		
		(12)受付DBがある(YES,NO)	/		
		YES (13)受付DBの処分区分=スペースである(YES,NO)	/		
		YES (14) → (10) へ	/		
		NO (15)エラーメッセージ「連続して受付帳を確保することができません」を表示する		(16)本紙へ	受領番号取得処理で確保した数を超えて受付帳が作成される場合はエラーとし、審査結果入力で処理する
		NO			
	→				
	(17)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの受領番号に中間ファイル(届書)の受領番号を設定する。以下順次1を加えた数を次レコードの受領番号に設定し、最後のレコードまで処理する 各々のレコードの関連受領番号(1～5)には今回の処理で作成された他のレコードの受領番号を設定する [1.1]		/		中間ファイル(仮受付)の受領番号と関連受領番号(1～5)へのデータ設定
		(18)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの関連受領番号(1～5)を中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)に設定する [1.2]		(19)本紙へ	中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)へのデータ設定
NO	(20)受付DBの決裁区分は「未決裁」又は「修正」又は処分区分が「誤処理」である(YES,NO)		/		受領番号確保処理以外での再入力処理の審査決裁区分が「決裁」以外 又は 処分区分が「誤処理」のものが対象となる
	YES	(21)受付DBの関連受領番号のデータ数をカウントする	/		
		(22)受付件数 = 関連受領番号の数 + 1 である(YES,NO)	/		
		YES (23)受付DBの関連受領番号(1～5)を中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)に設定する [1.2]	/		中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)へのデータ設定
		(24)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの受領番号と関連受領番号(1～5)に、受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)を設定する [1.1]	/		作成済みの受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)のデータを、中間ファイル(仮受付)の最初のレコードに移記する

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	1.0 初期審査:別紙1

					備考
(25)受付DBの決裁区分は「修正」である(YES,NO)		/			
YES	(26)受付DBの決裁区分を中間ファイル(届書)の決裁区分に設定する [1.2]	/			
	(27)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの決裁区分に、受付DBの決裁区分を設定する [1.1]	/			
NO	(28) → (29)へ	/			
(29)中間ファイル(届書)の選択事件は「受理指示」又は「不受理指示」である(YES,NO)		/			
YES	(30)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの発日に、受付DBの発日を設定する [1.1]	/			法務局からの回答入力のとき、受付ＤＢの発日を中間ファイル(仮受付)の最初のレコードに移記する
NO	(31) → (32)へ	/			
(32)関連受領番号の数だけ(33)～(43)の処理を繰り返す		/			
	(33)関連受領番号をキーとして受付DBを検索する	/			
	(34)受付DBの決裁区分は「未決裁」又は「修正」又は処分区分は「誤処理」である (YES,NO)	/			
	YES (35)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの受領番号と関連受領番号(1～5)に、検索した受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)を設定する [1.1]	/			次の受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)のデータを、中間ファイル(仮受付)の次のレコードに移記する
	(36)受付DBの決裁区分は「修正」である(YES,NO)	/			
	YES (37)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの決裁区分に、検索した受付DBの決裁区分を設定する → (32)へ [1.1]	/			
	NO (38) → (39)へ	/			
	(39)中間ファイル(届書)の選択事件は「受理指示」又は「不受理指示」である(YES,NO)	/			
	YES (40)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの発日に、検索した受付DBの発日を設定する→(32)へ [1.1]	/			法務局からの回答入力のとき、受付DBの発日を中間ファイル(仮受付)の次のレコードに移記する
	NO (41) → (32)へ	/			
	NO (42)エラーメッセージ「前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています」を表示する		(43)本紙へ		関連受領番号に該当する受付DBが既に決裁済みになっている場合はエラーとし、審査結果入力で処理する
→					

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	1.0 初期審査:別紙1

					備考
	NO	(44)エラーメッセージ 「前回の届書審査で作成された受付帳の数と今回の受付帳の数が異なります」を表示する			今回作成される受付帳の数が前回と異なる場合はエラーとし、審査結果入力で処理する
	NO	(45)エラーメッセージ 「前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています」を表示する			

初期審査での審査事項
・既に受付レコードが作成されている届に対して、再入力処理を行ったとき
(決裁区分は「決裁」以外である)
(1)届出選択で入力された受領番号に該当する受付レコードが、受領番号確保処理で取得されたものの場合、入力審査で作成された中間ファイル(仮受付)のレコード件数分、受領番号確保処理で作成された受付レコードが存在すること。

この場合、作成された中間(仮受付)の各々のレコードに、記録される情報は次のものである。
①受領番号
②関連受領番号(複数レコード作成される場合) この場合は併せて、中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号に、関連受領番号を設定する。

(2)届出選択で入力された受領番号に該当する受付レコードが、処分決定処理で作成されたものの場合、以前の処分決定時に作成した受付レコードの件数と、今回作成した中間ファイル(仮受付)のレコード件数が同じであること。
この場合、既に作成済みの受付レコードから、新たに作成されるレコードへ受け渡す情報は次のものである。
①関連受領番号(1～5)
②発日(ただし、届出選択事件が「受理指示」または「不受理指示」のときのみ)
③決裁区外(ただし、従前の受付レコードの決裁区分が「修正」のときのみ)

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	1.1 中間ファイル(仮受付)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	受領番号		受付DB(受付)	受領番号				
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日			発日				「受理指示」「不受理指示」のとき
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)				
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	1.1 中間ファイル(仮受付)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							
	処分区分							
	決裁区分			決裁区分				「修正」のとき

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	1.2 中間ファイル(届書)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書)	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1～5)		受付DB(受付)	関連受領番号(1～5)				
	ロック戸籍番号(1～5)							
	事件本人個人番号(1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分		受付DB(受付)	決裁区分				
	届書排他区分							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	2.0 処分決定(仮受付)表示								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
処分決定 (仮受付)画面	画面ID								
	システム日付						有		システム日付
	現ページ、総ページ								
	受領番号			中間ファイル (仮受付) 受付	受領番号				
	受理送付の別				受理送付区分		有		
	受付日				受付日		有		
	処分名称			処分決定 (仮受付)処理	表示の処分名称				最初の処分内容を表示(変化なし)
	事件名				事件コード		有		
	事件発生日			中間ファイル (仮受付) 受付	事件発生日		有		
	事件発生時分				事件発生時分		有		
	決裁内容				決裁区分		有		
	出張所番号				出張所番号				
	発送日				発送日		有		
	郵送日				郵送日		有		
	本籍非本籍の別				本非区分		有		
	発日				発日		有		
	収日				収日		有		
	指示日				指示日		有		
	許可日				許可日		有		
	渉外内容				渉外区分		有		
	関連受領番号(1～5)				関連受領番号(1～5)				
	事件本人区分内容(1～4)			中間ファイル (仮受付) 事件本人	事件本人区分		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している (1) ← 事件本人の1レコード目 (2) ← 事件本人の2レコード目 (3) ← 事件本人の3レコード目 (4) ← 事件本人の4レコード目
	届出人表示(1～4)				届出人区分		有		
	カナ氏名(1～4)				カナ氏名				
	漢字氏名(1～4)				漢字氏名				
	生年月日(1～4)				生年月日		有		
	送達確認2(1～4)				送達確認2				
	送達確認1			中間F(仮受付)受付	送達確認1				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	2.0 処分決定(仮受付)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	本籍(1～4)		中間ファイル (仮受付) 事件本人	本籍コード		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している
				本籍				
	戸籍の筆頭者(1～4)			戸籍の筆頭者				
	届出人資格1		中間ファイル (仮受付) 受付	届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍 (*1)			届後本籍コード				(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡　又は 「4402」:その他(本籍分明)又は 「4404」:その他(死亡)のとき、 「届後本籍」に設定があれば、その内容を表示する。なお、このときに画面のタイトルを「死亡日時」に変更する。
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	変更処分区分		処分決定 (仮受付)処理					当初は処分決定(仮受付)処理での「表示する処分区分」を設定
	変更処分名称					有		当初はスペース
	埋火葬許可証発行ﾒｯｾｰｼﾞ							死亡の受理地届出分のみ
	埋火葬許可証発行区分							

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成28年 3月31日	版	19
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名				画面名	画面ID				
3.0 単体チェック				処分決定(受付)					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処分区分	○	数字	(1:受理、2:不受理、3:受理照会、4:処理照会、 5:返戻、6:取下げ、7:保留、 8:受理処分の撤回)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	埋火葬許可証発行区分	○	数字	(0:不要、1:火葬許可証、2:埋葬許可証)であること			死亡届(受理)のみその場合必須表示
3	発日		数字	日付チェックサブルーチン (システム日付≦発日であること)			処分区分が「受理照会」「処理照会」のときのみ入力可
4	収日		数字	日付チェックサブルーチン (システム日付≧収日であること)			届出選択番号が「受理指示」「不受理指示」のときのみ入力可
5	指示日		数字	日付チェックサブルーチン (発日≦指示日≦収日(システム日付)であること)			届出選択番号が「受理指示」「不受理指示」のときのみこの場合必須入力

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	4.0 審査:別紙2

1 通常入力での処分の変更(複数回修正された場合:最初に表示された処分区分(画面の処分名称)と変更処分区分を比較する)

審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分							
				受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤
受理	受理	受理	受理	-	○*1	○	×	×	○	○	×
		不受理	受理照会	×	○*1	-	×	×	○	○	×
	送付	受理	受理	-	×	×	○	○*2	×	○	×
		不受理	処理照会	×	×	×	-	○*2	×	○	×
不受理	受理	-	不受理	×	-	○	×	×	○	○	×
	送付	-	処理照会	×	×	×	-	○*2	×	○	×
受理照会	受理	-	受理照会	×	○*1	-	×	×	○	○	×
	送付	-	処理照会	○*3	×	×	-	○*2	×	○	×

*1:システムで審査できない要件で法令エラーがある場合に変更可能。(例:近親婚 等)
*2:送付された届書で重大な法令エラーがあった場合は、ただちに受理地へ返送する「返戻」として処分区分を変更できる。
*3:送付された届書で「受理照会」要件の審査があった場合は、受理した自治体で法務局への照会が完了しているケースが殆どと考える。
そこで、「処理照会」の処分区分を「受理」に変更できるように変更する。ただし、下記メッセージを表示し、YESの場合のみ変更を許可する。
確認メッセージ「処理照会要件は、法務局に照会済ですね。」(YES、NO)
YES→「受理」の変更を許可する。NO→メッセージ「法務局に照会して下さい。」を表示し、「受理」への変更を許可しない。
変更結果が「○」または「-」のときはそのまま「本紙へ」
変更結果が「×」のときは、エラーメッセージ「XXXXには変更できません」を編集して「本紙へ」
↑変更した処分区分名

2 受領番号確保処理後の入力処理での処分の変更(受付帳の処分区分はスペース)
1の通常入力と同じ

3 処分区分が「受理照会」*1「保留」となっていたものの再入力処理での処分の変更
1の通常入力と同じ
*1:法務局へ問い合わせる前に「受理且」「不受理」が分かった場合

備考

下記仕様参照(平成6年10月6日提示)
・受付ファイルでの処分区分と決裁区分について
・受付ファイルの作成経過

18.0版の出生届、19.0版の73条の2届に伴う修正。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21
作業名	処分決定(仮受付)					
処理名	4.0 審査:別紙2					

備考

4 処分区分が「処理照会」*1となっていたものの再入力処理での処分の変更
*1:法務局へ問い合わせる前に処理の方法が分かった場合

審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分							
				受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤回
受理	受理	受理	受理	-	×	×	○	×	×	×	○*
		不受理	受理照会	×	×	×	○	×	×	×	○*
	送付	受理	受理	-	×	×	○	○	×	×	×
		不受理	処理照会	×	×	×	-	○	×	×	×
不受理・受理照会	受理	-	処理照会	×	×	×	-	×	×	×	○*
	送付	-	処理照会	×	×	×	-	○	×	×	×

*:受理処分した後届出の入力内容に誤りが発見され、正しい情報を入力した結果、無効要件のエラーがあった場合だけ「受理処分の撤回」に変更できる。ただし、メッセージ「無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。」を表示させる。

5 処分区分が「受理照会」となっていた届で法務局から回答があった場合の処分区分の変更

法務局からの指示	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	
受理	-	-	-	受理*	⇒処分区分の変更はできない
不受理	入力・審査は行わない			不受理	

*:受理指示で審査の結果「不受理」となった場合でも処分区分は「受理」以外を選択することができない。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので、メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成30年 3月31日	版	21

作業名	処分決定(仮受付)
処理名	4.0 審査:別紙2

備考

6 処分区分が「処理照会」となっていた届で法務局から回答があった場合の処分区分の変更

法務局からの指示	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分
受理	−	−	−	受理*
不受理	入力・審査は行わない	受理	−	受理処分の撤回
		送付		返戻

⇒処分区分の変更はできない

*:受理指示で審査の結果「不受理」となった場合でも処分区分は「受理」以外を選択することができない。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので、メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

7 決裁区分が「修正」または「未決裁」となっていたものの再入力処理での処分の変更

前処分区分	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分							
					受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤
受理	−*1	受理	−*1	受理*1	−	×	×	×	×	×	×	○*2
		送付			−	×	×	×	×	×	×	×
受理以外	−*1	−	−*1	前処分区分*1	前処分区分と同じ処分区分でなければいけない(修正不可)							

*1:前回の処分区分が受理のとき、再入力処理において審査の結果が「不受理」となった場合でも処分区分を変更することはできない(一部を除く)。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので、メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

*2:受理処分した後届出の入力内容に誤りが発見され、正しい情報を入力した結果、無効要件のエラーがあった場合だけ「受理処分の撤回」に変更できる。ただし、メッセージ「無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。」を表示させる。

8 処分区分が「誤処理」*1(決裁で誤処理とされたもの)となっていたものの再入力処理での処分の変更
1の通常入力と同じ
*1:前回の処分区分が「誤処理」であれば、処分決定で作成する受付ファイルは、同一受領番号で新しいレコードを作成する。
前データ(処分区分が「誤処理」となっているデータ)は履歴となる。

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)						
処理名	5.0 処理テーブル表 (処分区分での処理内容表)						

※上段:受領番号未確保　　下段:受領番号確保済(受理処分の撤回はこの処理のみ)

処分区分 / 処理内容	受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ *2	保留	受理処分の撤回
受領番号取得	取得処理	取得処理	取得処理	取得処理	取得処理	取得処理	取得処理	－
	－	－	－	－	－	－	－	
届書ファイル	作成処理	作成処理	－	－	作成・更新処理	－	作成処理	更新処理
	作成・更新処理	作成・更新処理	削除処理	削除処理		削除処理	作成・更新処理	
受付ＤＢ	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	追加処理
	作成・追加処理*1	作成・追加処理*1	作成・追加処理*1	作成・追加処理*1	作成・追加処理*1	作成・追加処理*1	作成・追加処理*1	
仮戸籍ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－
	作成処理	－	－	－	－	－	－	
戸籍ＤＢ	－	－	更新処理	更新処理	－	更新処理	更新処理	－
	－	－	更新処理	更新処理	－	更新処理	更新処理	
個人状態ファイル	－	－	作成・更新処理	作成・更新処理	－	－	作成・更新処理	－
	－	－	作成・更新処理	作成・更新処理	－	－	作成・更新処理	
9条2項ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－
	作成処理	－	－	－	－	－	－	
エラー履歴ファイル	更新処理	更新処理	－	更新処理	更新処理	－	－	更新処理
	更新処理	更新処理	－	更新処理	更新処理	－	－	
埋火葬許可証ファイル	作成処理	－	作成処理	－	－	－	作成処理	－
	－	－	－	－	－	－	－	
30条の13第1項ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－
	作成処理	－	－	－	－	－	－	
本人届出確認台帳ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	更新処理
	更新処理	－	－	－	－	－	－	
参照戸籍ファイル	作成処理	－	－	－	－	－	－	－
	作成処理	－	－	－	－	－	－	

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)						
処理名	5.0 処理テーブル表 (処分区分での処理内容表)						

届書処理通番ファイル	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	作成処理	−
	−	−	−	−	−	−	−	
送付先市区町村情報ファイル	作成処理	−	−	−	−	−	−	−
	作成処理	−	−	−	−	−	−	

*1:前回の処分区分が「誤処理」(決裁で誤処理されたもの)の場合は、同一受領番号で新しいレコードを追加する。
*2:取下げの場合、送信情報(管理情報)[TR01:届書等情報送信(法務省宛)]、送信情報(受付)、送信情報(事件本人)を作成する(7-2-(11)「決裁」処理　送信用届書等情報ファイル　参照)。

【受領番号取得処理】:再入力処理でない場合
番号ファイルを読み、受領番号を取得する
受領番号に受付件数を足した数を番号ファイルの受領番号にセットしファイルを更新する

【届書ファイル処理】
(1)作成処理:再入力処理でない場合
① 受付件数=1件の場合:中間ファイル(届書)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、届書ファイルを作成する。
② 受付件数>1件の場合:中間ファイル(届書)の受領番号に受領番号取得処理で取得した最初の受領番号をセットする。
次の受領番号から取得した最後の受領番号までを、順次同時決裁受領番号(1～5)にセットする。
届書ファイルを作成する。
(2)更新処理:再入力処理の場合
中間ファイル(届書)の受領番号に該当する届書ファイルを更新する。
(3)削除処理:処分区分が「受理照会」又は「処理照会」又は「取下げ」の場合でかつ再入力処理の場合
中間ファイル(届書)に受領番号があれば、それに該当する届書ファイルを検索し、あった場合にその届書ファイルを削除する。

【受付DB処理】
(1)作成処理:再入力処理でない場合
処分区分が「取下げ」の場合、決裁区分に「決裁」を設定する(それ以外は「未決裁」)。
① 受付件数=1件の場合:中間ファイル(仮受付)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、受付DBを作成する。
② 受付件数>1件の場合:中間ファイル(仮受付)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した最初の受領番号を順番にセットする。
(1レコード目:取得の受領番号、2レコード目:取得の受領番号＋1、3レコード目:取得の受領番号＋2…。)
中間フィイル(仮受付)の各レコードの関連受領番号(1～5)に他のレコードの受領番号を順次セットする。
各々のレコード毎に受付DBを作成する。
(2)更新処理:再入力処理の場合(決裁区分が「未決裁」「修正」である)
中間ファイル (仮受付)の受領番号に該当する受付DBを更新する(複数件数ある場合は各々のレコード毎に受付DBを更新する)。
(3)追加処理:処分区分が「受理処分の撤回」又は前回の処分区分が「誤処理」(決裁で誤処理されたもの)の場合(再入力処理しかない)
中間ファイル(仮受付)の受領番号と枝番をカウントアップし、該当する受付DBにレコードを追加する。
(複数件数ある場合は各々の受領番号毎の受付DBにレコードを追加する)。

【仮戸籍ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
中間ファイル(仮戸籍)の各レコード(仮戸籍が複数ある場合)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし(受付件数が複数ある場合は最初の受領番号)、仮戸籍ファイルを作成する。

【戸籍DB処理】:処分区分が「受理照会」「処理照会」「取下げ」「保留」の場合
中間ファイル(届書)のロック戸籍番号(1～5)に記載のある戸籍DBを検索する。
戸籍特定DBの戸籍異動処分に"0"をセットし、戸籍DBを更新する(届書審査でロックをかけた戸籍のロック解除処理)。

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)						
処理名	5.0 処理テーブル表 (処分区分での処理内容表)						

【個人状態ファイル処理】
(1)処分区分が「受理照会」「処理照会」の場合:中間ファイル(届書)の事件本人の個人番号に記載のある個人状態ファイルを検索する。
個人状態ファイルがあれば、受理処理照会区分に"1"をセットし、個人状態ファイルを更新する(更新処理)。
個人状態ファイルがなければ、個人番号をキーとして個人状態ファイルを作成し、受理処理照会区分に"1"をセットする(作成処理)。
(2)処分区分が「保留」:中間ファイル(届書)の事件本人の個人番号に記載のある個人状態ファイルを検索する。
個人状態ファイルがあれば、保留区分に"1"をセットし、個人状態ファイルを更新する(更新処理)。
個人状態ファイルがなければ、個人番号をキーとして個人状態ファイルを作成し、保留区分に"1"をセットする(作成処理)。

【9条2項ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
中間ファイル(9条2項)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、仮9条2項ファイルを作成する。

【エラー履歴処理】:処分区分が「受理」「不受理」「返戻」「受理処分の撤回」
エラー履歴ファイルの受領番号に受領番号所得処理で取得した受領番号をセットし、エラー履歴ファイルを更新する。

【埋火葬許可証処理】:事件が「死亡」かつ処分区分が「受理」「受理照会」「保留」かつ1回目の処理(再入力でない)の場合
埋火葬許可証発行区分=0(不要):許可証発行不要(処理としては何もしない)。
埋火葬許可証発行区分=1(火葬):火葬許可証の内容で埋火葬ファイルを作成する(受領番号取得処理で取得した受領番号をセットする)。
埋火葬許可証発行区分=2(埋葬):埋葬許可証の内容で埋火葬ファイルを作成する(受領番号取得処理で取得した受領番号をセットする)。

【30条の13第1項ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
中間ファイル(30条の13第1項)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、仮30条の13第1項ファイルを作成する。

【本人届出確認台帳ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
・ファイル作成件数は、受付DBの作成件数と同じ(上記【受付DB処理】参照)。
・創設的届出のものだけ作成する(創設的届出一覧は【第7.2.(22)本人届出確認台帳管理】を参照。)
「受理処分の撤回」の場合、本人届出確認台帳の「処分区分」を変更する。この処分区分の場合、本人届出確認台帳の検索対象としないこと。
※「受理」で作成したファイルを削除しても構わない。

【参照戸籍ファイル処理】:処分区分が「受理」の場合
中間ファイル(参照戸籍)の各レコード(参照戸籍が複数ある場合)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし(受付件数が複数ある場合は最初の受領番号)、参照戸籍ファイルを作成する。

【届書処理通番ファイル処理】
在外送付区分=0(受理分)又は2(在外公館の直接送付)の場合に作成する。
中間ファイル(仮受付)の件数分作成する。
本籍人検索又は非本籍人検索で作成した中間ファイル(届書処理通番)と、受付DBに記録された受領番号をセットして届書処理通番ファイルを作成する。
届書処理通番は1処理で1つの番号であるため、決裁が完了するまで同じ番号を使用する(処分区分「取下げ」は処分決定で完了)。
※障害等で戸籍情報連携システムとの連携ができない場合、連携前と同様非本籍人の情報は手入力で行うことになる。処理通番が取得されない場合は、処理通番ファイルを作成しない。 ※0102版で処理通番を戸籍情報システムで採番する改訂が行われることから、届書処理通番ファイルは常に作成される

【送付先市区町村情報ファイル処理】
在外送付区分=0(受理分)又は2(在外公館の直接送付)の場合に作成する。
中間ファイル(仮受付)の件数分処理する。
処分決定で作成された受付DBから送付先市区町村情報を作成し、届書処理通番単位で送付先市区町村情報を作成する。
仕様は、戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書_別紙２－３_電文設計書（ファイル連携）_F0050-C02:管理情報及びF0050-R04:送付先情報とする。

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	6.0 受領番号更新処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
番号取得ファイル	番号種別		処分決定 (仮受付)処理	番号種別				3:受領番号
	西暦年			西暦年				
	受領番号			受領番号				最新の受領番号をセットする

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	7.0 届書ファイル更新処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
届書ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	選択事件コード		中間ファイル(届書)	選択事件コード				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			届区分				
	渉外区分			渉外区分				
	同時決裁受領番号(1～5)		処分決定(仮受付)処理	同時決裁受領番号(1～5)				
	ロック戸籍番号(1～5)		中間ファイル(届書)	ロック戸籍番号(1～5)				
	事件別内容			事件別内容				届出事件により異なる
	不受理申出処分区分			不受理申出処分区分				
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分				
	決裁区分		中間ファイル(届書)	決裁区分				
	届書排他区分		処分決定 (仮受付)処理					0:未 を設定(排他の解除のみの場合はこの項目だけを修正する)

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	8.0 受付DB作成・更新処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
受付DB(受付)	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする	
	出張所番号		中間ファイル (仮受付)	出張所番号					
	受付事件コード			受付事件コード					
	受付日			受付日					
	事件発生日			事件発生日					
	事件発生時分			事件発生時分					
	事件発生日時								
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	渉外区分			渉外区分					
	発送日			発送日					
	郵送日			郵送日					
	発日		処分決定 (仮受付)処理	発日					
	収日			収日					
	指示日			指示日					
	許可日		中間ファイル (仮受付)	許可日					
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)					
	届出人資格区分1			届出人資格区分1					
	届出人資格名称1			届出人資格名称1					
	届出人氏名1			届出人氏名1					
	届出人資格区分2			届出人資格区分2					
	届出人資格名称2			届出人資格名称2					
	届出人氏名2			届出人氏名2					
	届後本籍区分			届後本籍区分					
	届後本籍コード			届後本籍コード					
	届後本籍			届後本籍					
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	8.0 受付DB作成･更新処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
	送達確認1			送達確認1				1(未到着)の場合は4(送信済)を設定	
	証書提出区分			証書提出区分					
	届書送付目録区分			届書送付目録区分					
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分					
	決裁区分		中間ファイル(仮受付)	決裁区分					
受付DB(事件本人)	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする	
	行番号							複数レコードを管理する(RDB)	
事件本人が複数人いる場合は複数件のレコードが作成される	事件本人区分		中間ファイル (仮受付)	事件本人区分					
	届出人区分			届出人区分					
	カナ氏名			カナ氏名					
	漢字氏名			漢字氏名					
	生年月日			生年月日					
	本籍コード			本籍コード					
	本籍			本籍					
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者					
	送達確認2			送達確認2				1(未到着)の場合は4(送信済)を設定	

第7-2-(6) 「処分決定」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	9.0 仮戸籍ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	その他の項目は省略		中間ファイル(仮戸籍)	その他の項目は省略				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	10.0 戸籍DB更新処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
戸籍DB(戸籍特定)	戸籍番号							
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	記載者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分		処分決定(仮受付)処理					0:解除を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	11.0 個人状態ファイル更新処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
個人状態ファイル	個人番号							
	禁治産者区分							
	準禁治産者区分							
	破産宣告人区分							
	裁判所通知区分							
	犯歴区分							
	胎児認知区分							
	受理処理照会区分		処分決定 (仮受付)処理					処分が「受理照会」「処理照会」のとき1を設定
	保留区分							処分が「保留」のとき1を設定
	注意喚起区分							
	メモ							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	12.0 仮9条2項ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
仮9条2項ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号		中間ファイル (9条2項)	出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	13.0 エラー履歴ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
エラー履歴ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	エラーコード							
	メッセージコード(1～20)							
	確認(1～20)							
	審査完了区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日		改訂日付	令和 年 月 日		版	1
作業名	処分決定(仮受付)									
処理名	14.0 埋火葬許可証ファイル作成処理									
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考		
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目						
	名称	記号名		名称	記号名					
埋火葬許可証 ファイル	書類名		処分決定(受付)画面			有		埋火葬許可証発行区分 1:死体火葬許可証 2:死体埋葬許可証		
	進行番号									
	死亡者の本籍		中間ファイル(届書)	本籍コード		有				
				本籍						
	死亡者の住所			住所コード		有				
				住所						
	死亡者の氏名			漢字氏名						
	死亡者の性別									
	死亡者の生年月日			生年月日		有				
	死因									
	死亡年月日時		中間ファイル(届書)	死亡日		有		中間ファイル(受付)の「届後本籍」に設定されている場合は、その設定内容を移送する		
				死亡時分		有				
	死亡の場所			死亡場所						
	埋火葬の場所									
	申請者の住所		中間ファイル(届書)	届出人住所コード		有				
				届出人住所						
	申請者の氏名			届出人氏名						
	申請者と死亡者の続柄									
	発行日			システム日付		有		自治体、メーカに一任		
	交付市区町村名									
	首長名									

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	15.0 仮30条の13第1項ファイル								
受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名			名称	記号名				
仮30条の13第1項ファイル	受領番号			処分決定 (仮受付)処理	受領番号					最新の受領番号をセットする
	出張所番号			中間ファイル (30条の13第1項)	出張所番号					
	市区町村コード				市区町村コード					
	宛名				宛名					
	事件コード				事件コード					
	受理日				受理日					
	新氏名				新氏名					
	旧氏名				旧氏名					
	新生年月日				新生年月日					
	旧生年月日				旧生年月日					
	新性別				新性別					
	旧性別				旧性別					
	新本籍コード				新本籍コード					
	新本籍				新本籍					
	旧本籍コード				旧本籍コード					
	旧本籍				旧本籍					
	新筆頭者				新筆頭者					
	旧筆頭者				旧筆頭者					
	住所コード				住所コード					
	住所				住所					
	方書				方書					
	転入届出日				転入届出日					

データ編集表				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	受付事件コード		中間ファイル(仮受付)	受付事件コード					
	受付日			受付日					
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分					
	台帳対象区分							受付事件コードに応じて「1:対象」「2:対象外」を初期設定	
	漢字氏名(1)		中間ファイル(事件本人)	漢字氏名(1)				中間ファイル(仮受付)の1レコード目	
	住所(1)								
	本人区分(1)			事件本人区分(1)					
	来庁者区分(1)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定	
	確認区分(1)								
	確認方法1(1)								
	確認手段1(1)								
	確認方法2(1)								
	確認手段2(1)								
	確認担当者(1)								
	通知要否(1)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定	
	通知日(1)								
	通知担当者(1)								
	漢字氏名(2)		中間ファイル(事件本人)	漢字氏名(2)				中間ファイル(仮受付)の2レコード目	
	住所(2)								
	本人区分(2)			事件本人区分(2)					
	来庁者区分(2)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	確認区分(2)							
	確認方法1(2)							
	確認手段1(2)							
	確認方法2(2)							
	確認手段2(2)							
	確認担当者(2)							
	通知要否(2)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(2)							
	通知担当者(2)							
	漢字氏名(3)		中間ファイル(仮受付)	漢字氏名(3)				中間ファイル(仮受付)の3レコード目
	住所(3)							
	本人区分(3)			事件本人区分(3)				
	来庁者区分(3)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(3)							
	確認方法1(3)							
	確認手段1(3)							
	確認方法2(3)							
	確認手段2(3)							
	確認担当者(3)							
	通知要否(3)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(3)							
	通知担当者(3)							
	漢字氏名(4)		中間ファイル(仮受付)	漢字氏名(4)				中間ファイル(仮受付)の4レコード目
	住所(4)							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	本人区分(4)			事件本人区分(3)				
	来庁者区分(4)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(4)							
	確認方法1(4)							
	確認手段1(4)							
	確認方法2(4)							
	確認手段2(4)							
	確認担当者(4)							
	通知要否(4)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知担当者(4)							
	届出人氏名(1)		中間ファイル(仮受付)	届出人氏名1				
	届出人住所(1)							
	届出人本人区分(1)			届出人資格名称1				
	届出人来庁者区分(1)							「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	届出人確認区分(1)							
	届出人確認方法1(1)							
	届出人確認手段1(1)							
	届出人確認方法2(1)							
	届出人確認手段2(1)							
	届出人確認担当者(1)							
	届出人通知要否(1)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	届出人通知日(1)							
	届出人通知担当者(1)							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人氏名(2)		中間ファイル (仮受付)	届出人氏名2				
	届出人住所(2)							
	届出人本人区分(2)			届出人資格名称2				
	届出人来庁者区分(2)							「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	届出人確認区分(2)							
	届出人確認方法1(2)							
	届出人確認手段1(2)							
	届出人確認方法2(2)							
	届出人確認手段2(2)							
	届出人確認担当者(2)							
	届出人通知要否(2)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	届出人通知日(2)							
	届出人通知担当者(2)							
	使者氏名(1)							
	使者住所(1)							
	使者確認区分(1)							
	使者確認方法1(1)							
	使者確認手段1(1)							
	使者確認方法2(1)							
	使者確認手段2(1)							
	使者確認担当者(1)							
	使者氏名(2)							
	使者住所(2)							
	使者確認区分(2)							
	使者確認方法1(2)							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	使者確認手段1(2)							
	使者確認方法2(2)							
	使者確認手段2(2)							
	使者確認担当者(2)							
	備考							

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	43915	版	R2.2
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	17.0　参照戸籍ファイル作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
参照戸籍ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする	
	その他の項目は省略		中間ファイル (参照戸籍)	その他の項目は省略					

第7-2-(6) 「処分決定」処理

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)								
処理名	18.0 届書処理通番ファイル作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
届書処理通番ファイル	届書処理通番		中間ファイル(届書処理通番)	受領番号					
	行番号			行番号					
	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号					
	在外送付区分		中間ファイル(届書)	在外送付区分					
	追完届有無フラグ								
	規則第四十一条処理区分								
	届書等情報送信区分								

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	処分決定(仮受付)							
処理名	19.0 送付先市区町村情報ファイル作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送付先市区町村情報ファイル	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	送付先市区町村コード		中間ファイル(仮受付)	届後本籍コード又は(事件本人の)本籍コード				
	市区町村内送付先情報管理番号							1を設定 ※処分決定では送付先市区町村情報は最大1件だけである
	事件対象区分							欄外の【項目設定仕様】参照
	送付先区分							
	遺漏追加区分							
	送信区分							「1:未送信」を設定
	発信日(発送日)							

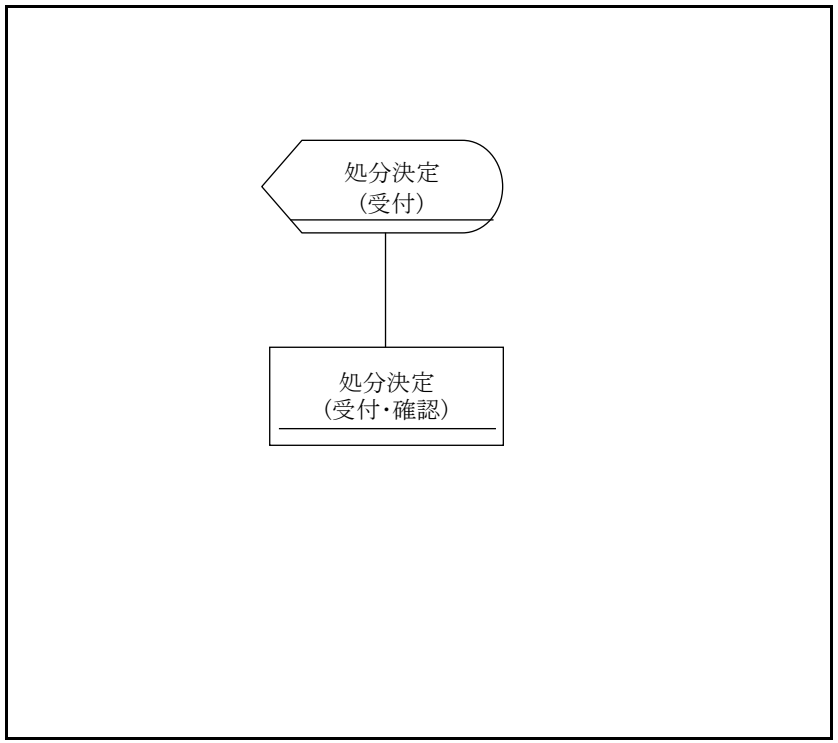
【項目設定仕様】

・届書ファイルの在外送付区分=1(国内からの送付)又は3(在外公館の国内経由)の場合は作成しない。
・受付DBの受付ファイルの届後本籍コードが非本籍(外国を除く)である場合、作成する。
・受付DBの事件本人ファイルの事件本人の本籍コードが非本籍(外国を除く)である場合、作成する。
・事件対象区分は「1:事件対象」を設定する。
　※「2:事件対象以外」(認知準正又は婚姻準正による子の父母との続柄訂正等)は、非本籍人で受付DBが作成されないため、その設定はない。
・送付先区分は、胎児認知届又は死産届を父の本籍地に送付する場合は「2:参考送付先」を設定し、それ以外は「1:送付先」を設定する。
・送付先市区町村が同一である場合は、一つの情報だけ作成する。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	処分決定(受付・確認)

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3. 処理概要

(1)受付DB内容、取得受領番号を確認する。
(2)業務選択画面に制御を渡す(PF1)、
　または届出選択画面に制御を渡す(PF2)、
　また移記事項入力画面に制御を渡す(PF3)。
　または本人届出確認台帳画面に制御を渡す(PF5)。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ― 1.0 データ編集表(処分決定(受付)画面)

5. 備考(特記事項含む)

処分決定(受付)画面の「発送日」の名称は、戸籍情報連携システム運用後は「送信日」に変更する。

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成 15年 5月 30日	版	7.1
作業名	処分決定(受付･確認)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)処分決定(受付)画面を編集する、「内容を確認して下さい」のメッセージ出力 [1.0]				/				
(2)キー選択(PF1、PF2、PF3、PF5、PF7、PF8、その他)				/				
PF1	→				(3)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(4)届出選択に制御を渡す			
PF3	(5)仮戸籍ファイルが存在する(YES,NO)			/				
	YES	→			(6)移記事項処理に制御を渡す			
	NO	(7)エラーメッセージ 「仮戸籍がありませんので移動事項処理は行えません」を表示する			(8)同画面を編集する			
PF5	(8.1)仮本人届出確認台帳ファイルが存在する(YES,NO)			/				
	YES	→			(8.2)本人届出確認台帳処理に制御を渡す			
	NO	(8.3)エラーメッセージ 「本人届出確認台帳がありませんので本人届出確認台帳処理は行えません」 を表示する			(8.4)同画面を編集する			
PF7	(9)受付件数>1である(YES,NO)						PF7、PF8は1つの届で複数の受付帳が作成されるときにのみ使用可 (事件本人が3名以上いる場合の画面スクロールとは異なる)	
	YES	(10)現在表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより前のレコードがある(YES,NO)		/				
		YES	(11)前の中間ファイル(仮受付)の内容を編集、表示する		(12)同画面を編集する			
		NO	(13)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する					
	NO	(14)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです」を表示する						
PF8	(15)受付件数>1である(YES,NO)			/				
	YES	(16)現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより後のレコードがある(YES,NO)		/				
		YES	(17)次の中間ファイル(仮受付)の内容を編集、表示する		(18)同画面を編集する			
		NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する					
	NO	(20)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです」を表示する						
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する				(22)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成 18年 3月 1日	版	10
作業名	処分決定(受付・確認)							
処理名	1.0 処分決定(受付)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
処分決定(受付)画面	画面ID		前画面から項目を引き継ぐ					
	システム日付							
	現ページ、総ページ							
	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				再入力の場合は前画面から項目を引き継ぐ
	受理送付の別		前画面から項目を引き継ぐ					
	受付日							
	処分名称					有		処分決定した名称を表示
	事件名							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	決裁内容							
	出張所番号							
	発送日							
	郵送日							
	本籍非本籍の別							
	発日		処分決定 (仮受付)処理	発日				仮受付処理で入力がある場合はその日付を表示 システムで設定した日付も表示
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日		前画面から項目を引き継ぐ					
	渉外内容							
	関連受領番号(1～5)							
	事件本人区分内容(1～4)							
	届出人表示(1～4)							
	カナ氏名(1～4)							
	漢字氏名(1～4)							
	生年月日(1～4)							

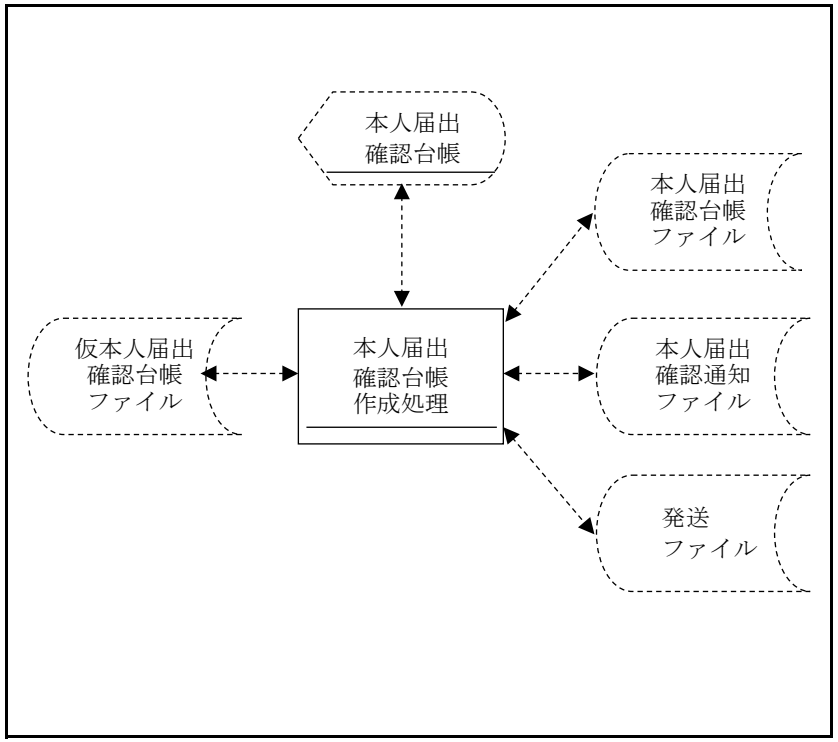
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成 18年 3月 1日	版	10
作業名	処分決定(受付･確認)							
処理名	1.0 処分決定(受付)表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送達確認2(1～4)							
	送達確認1							
	本籍(1～4)							
	戸籍の筆頭者(1～4)							
	届出人資格1							
	届出人氏名1							
	届出人資格2							
	届出人氏名2							
	届後本籍 (*1)							(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡 又は 「4402」:その他(本籍分明) のときに注意する
	届後戸籍の筆頭者							
	変更処分区分		処分決定 (仮受付)処理	変更処分区分				変更処分区分、その名称を表示する
	変更処分名称					有		
	埋火葬許可証発行ﾒｯｾｰｼﾞ							死亡の受理地届出のとき表示する
	埋火葬許可証発行区分			埋火葬許可証発行区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1

作業名	処分決定(本人届出確認台帳作成)

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
仮本人届出確認台帳ファイル	入力		
本人届出確認台帳ファイル	出力		
本人届出確認通知ファイル	出力		
発送ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)本人届出確認台帳を確認する。
(2)業務選択画面に制御を渡す(PF1)、
　または届出選択画面に制御を渡す(PF2)。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(本人届出確認台帳画面)
- 2.0 単体チェック表
- 3.0 関連チェック表
- 4.0 データ編集表(本人届出確認台帳ファイル)
- 5.0 データ編集表(本人届出確認通知ファイル)
- 6.0 データ編集表(発送ファイル)

5. 備考(特記事項含む)

サンプル提示

要件定義ワークシート						作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	処分決定(本人届出確認台帳作成)										
処理名	0.0 本紙									備考	
(1)本人届出確認台帳画面を編集する [1.0]						/					
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)						/					
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/					
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/					
		YES	(5)本人届出確認台帳ファイルを編集・出力する [4.0]			/					
			(6) 通知要否(全項目)に「1:通知要」がある(ある:YES,ない:NO)			/				事件本人及び届出人の全てが対象	
			YES	(7)本人届出確認通知ファイルを編集・出力する [5.0]		/					
				(8)発送ファイルを編集・出力する [6.0]			(9)同画面を編集する				
		NO	(10)エラーメッセージを表示する								
	NO										
PF1	→						(11)業務選択に制御を渡す				
PF2	→						(12)届出選択に制御を渡す				
PF7	(13)仮本人届出確認台帳件数>1である(YES,NO)					/				PF7、PF8は1つの届で複数の仮本人届出確認台帳が作成されるときにのみ使用可(画面スクロールとは異なる)	
	YES	(14)現在表示している仮本人届出確認台帳ファイルより前のファイルがある(YES,NO)				/					
		YES	(15)前の仮本人届出確認台帳ファイルの内容を編集、表示する				(16)同画面を編集する				
		NO	(17)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する								
	NO	(18)エラーメッセージ 「作成された本人届出確認台帳は1件だけです」を表示する									
PF8	(19)仮本人届出確認台帳件数>1である(YES,NO)					/					
	YES	(20)現在表示している仮本人届出確認台帳ファイルより後のファイルがある(YES,NO)				/					
		YES	(21)次の仮本人届出確認台帳ファイルの内容を編集、表示する				(22)同画面を編集する				
		NO	(23)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する								
	NO	(24)エラーメッセージ 「作成された本人届出確認台帳は1件だけです」を表示する									
PF12	(25)入力画面を初期化する						(26)同画面を編集する				
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが押されました」を表示する										

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出 確認台帳画面	受領番号		仮本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分		有		
	受付事件			受付事件		有		
	台帳対象区分			台帳対象区分		有		
	漢字氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)				
	確認方法1(1)			確認方法1(1)				
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)				
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	漢字氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)				
	確認方法1(2)			確認方法1(2)				
	確認手段1(2)			確認手段1(2)				
	確認方法2(2)			確認方法2(2)				
	確認手段2(2)			確認手段2(2)				

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	確認担当者(2)			確認担当者(2)				
	通知要否(2)			通知要否(2)		有		
	通知日(2)			通知日(2)				
	通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	漢字氏名(3)			漢字氏名(3)				
	住所(3)			住所(3)				
	本人区分(3)			本人区分(3)		有		
	来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
	確認区分(3)			確認区分(3)				
	確認方法1(3)			確認方法1(3)				
	確認手段1(3)			確認手段1(3)				
	確認方法2(3)			確認方法2(3)				
	確認手段2(3)			確認手段2(3)				
	確認担当者(3)			確認担当者(3)				
	通知要否(3)			通知要否(3)		有		
	通知日(3)			通知日(3)				
	通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	漢字氏名(4)			漢字氏名(4)				
	住所(4)			住所(4)				
	本人区分(4)			本人区分(4)		有		
	来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
	確認区分(4)			確認区分(4)				
	確認方法1(4)			確認方法1(4)				
	確認手段1(4)			確認手段1(4)				
	確認方法2(4)			確認方法2(4)				
	確認手段2(4)			確認手段2(4)				
	確認担当者(4)			確認担当者(4)				

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	通知要否(4)			通知要否(4)		有		
	通知日(4)			通知日(4)				
	通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人氏名(1)			届出人氏名(1)				
	届出人住所(1)			届出人住所(1)				
	届出人本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
	届出人来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
	届出人確認区分(1)			届出人確認区分(1)				
	届出人確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)				
	届出人確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
	届出人確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)				
	届出人確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
	届出人確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
	届出人通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
	届出人通知日(1)			届出人通知日(1)				
	届出人通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人氏名(2)			届出人氏名(2)				
	届出人住所(2)			届出人住所(2)				
	届出人本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
	届出人来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
	届出人確認区分(2)			届出人確認区分(2)				
	届出人確認方法1(2)			届出人確認方法1(2)				
	届出人確認手段1(2)			届出人確認手段1(2)				
	届出人確認方法2(2)			届出人確認方法2(2)				
	届出人確認手段2(2)			届出人確認手段2(2)				
	届出人確認担当者(2)			届出人確認担当者(2)				
	届出人通知要否(2)			届出人通知要否(2)		有		

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	1.0 本人届出確認台帳画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人通知日(2)			届出人通知日(2)				
	届出人通知担当者(2)			届出人通知担当者(2)				
	使者氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者住所(1)			使者住所(1)				
	使者確認区分(1)			使者確認区分(1)				
	使者確認方法1(1)			使者確認方法1(1)				
	使者確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者確認方法2(1)			使者確認方法2(1)				
	使者確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者住所(2)			使者住所(2)				
	使者確認区分(2)			使者確認区分(2)				
	使者確認方法1(2)			使者確認方法1(2)				
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認方法2(2)			使者確認方法2(2)				
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

データチェック(単体表)		作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 単体チェック表		本人届出確認台帳画面					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	台帳対象区分	○	数字	(1:対象、2:対象外)であること。	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	漢字氏名(1)	○	漢字				
3	住所(1)		漢字				
4	本人区分(1)	○	数字	※コード一覧参照			修正可能
5	来庁者区分(1)	○	数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。			
6	確認区分(1)	○	数字	(0:未確認、1:確認)であること。			
7	確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
8	確認手段1(1)		漢字				
9	確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
10	確認手段2(1)		漢字				
11	確認担当者(1)		漢字				
12	通知要否(1)	○	数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。			
13	通知日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	通知担当者(1)		漢字				
15	漢字氏名(2)		漢字				
16	住所(2)		漢字				
17	本人区分(2)		数字	※コード一覧参照			修正可能
18	来庁者区分(2)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。			
19	確認区分(2)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。			
20	確認方法1(2)		数字				
21	確認手段1(2)		漢字				
22	確認方法2(2)		数字				
23	確認手段2(2)		漢字				
24	確認担当者(2)		漢字				
25	通知要否(2)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。			
26	通知日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	通知担当者(2)		漢字				

データチェック(単体表)					作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成									
28	漢字氏名(3)		漢字							
29	住所(3)		漢字							
30	本人区分(3)		数字	※コード一覧参照					修正可能	
31	来庁者区分(3)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。						
32	確認区分(3)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。						
33	確認方法1(3)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照						
34	確認手段1(3)		漢字							
35	確認方法2(3)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照						
36	確認手段2(3)		漢字							
37	確認担当者(3)		漢字							
38	通知要否(3)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。						
39	通知日(3)		英数	「日付チェックサブルーチン」						
40	通知担当者(3)		漢字							
41	漢字氏名(4)		漢字							
42	住所(4)		漢字							
43	本人区分(4)		数字	※コード一覧参照					修正可能	
44	来庁者区分(4)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。						
45	確認区分(4)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。						
46	確認方法1(4)		数字							
47	確認手段1(4)		漢字							
48	確認方法2(4)		数字							
49	確認手段2(4)		漢字							
50	確認担当者(4)		漢字							
51	通知要否(4)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。						
52	通知日(4)		英数	「日付チェックサブルーチン」						
53	通知担当者(4)		漢字							
54	届出人氏名(1)		漢字							
55	届出人住所(1)		漢字							
56	届出人本人区分(1)		数字	※コード一覧参照					修正可能	
57	届出人来庁者区分(1)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。						
58	届出人確認区分(1)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。						

データチェック(単体表)			作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
59	届出人確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
60	届出人確認手段1(1)		漢字					
61	届出人確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
62	届出人確認手段2(1)		漢字					
63	届出人確認担当者(1)		漢字					
64	届出人通知要否(1)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。				
65	届出人通知日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」				
66	届出人通知担当者(1)		漢字					
67	届出人氏名(2)		漢字					
68	届出人住所(2)		漢字					
69	届出人本人区分(2)		数字	※コード一覧参照				修正可能
70	届出人来庁者区分(2)		数字	(1:来庁者、2:郵送)であること。				
71	届出人確認区分(2)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。				
72	届出人確認方法1(2)		数字					
73	届出人確認手段1(2)		漢字					
74	届出人確認方法2(2)		数字					
75	届出人確認手段2(2)		漢字					
76	届出人確認担当者(2)		漢字					
77	届出人通知要否(2)		数字	(0:通知不要、1:通知要)であること。				
78	届出人通知日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」				
79	届出人通知担当者(2)		漢字					
80	使者氏名(1)		漢字					
81	使者住所(1)		漢字					
82	使者確認区分(1)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。				
83	使者確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
84	使者確認手段1(1)		漢字					
85	使者確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
86	使者確認手段2(1)		漢字					
87	使者確認担当者(1)		漢字					
88	使者氏名(2)		漢字					
89	使者住所(2)		漢字					

データチェック(単体表)			作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
90	使者確認区分(2)		数字	(0:未確認、1:確認)であること。				
91	使者確認方法1(2)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
92	使者確認手段2(2)		漢字					
93	使者確認方法2(2)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照				
94	使者確認手段2(2)		漢字					
95	使者確認担当者(2)		漢字					
96	備考		漢字					

データチェック(関連表)	作成日付	平成15年 5月 30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1

作業名	本人届出確認台帳作成

処理名	画面名	画面ID	
3.0 関連チェック表	本人届出確認台帳画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.5)来庁者区分(1)=2(郵送)の場合、(No.6)確認区分(1)=0(未確認)であること。	「関連エラーがあります。確認して下さい。」 ※ワーニングレベルのエラーでも構わない。		他の事件本人、届出人も同様
2	(No.6)確認区分(1)＝0(未確認)の場合、 (No.7)確認方法1(1)=スペースかつ(No.11)確認担当者(1)=スペースであること。			他の事件本人、届出人、使者も同様
3	(No.6)確認区分(1)=1(確認)の場合、 (No.7)確認方法1(1)≠スペースかつ(No.11)確認担当者(1)≠スペースであること。			
4	(No.7)確認方法1(1)＝1～4の場合、(No.8)確認手段1(1)=スペースであること。			
5	(No.7)確認方法1(1)=5(その他)の場合、(No.8)確認手段1(1)≠スペースであること。			
6	(No.9)確認方法2(1)≠スペースの場合、(No.7)確認方法1(1)≠スペースであること。			
7	(No.9)確認方法2(1)=1～4の場合、(No.10)確認手段2(1)=スペースであること。			
8	(No.9)確認方法2(1)=5(その他)の場合、(No.10)確認手段2(1)≠スペースであること。			
9	(No.12)通知要否(1)=0(通知不要)の場合、 (No.13)通知日(1)=スペースかつ(No.14)通知担当者(1)=スペースであること。			他の事件本人、届出人も同様
10	(No.12)通知要否(1)=1(通知要)の場合、(No.3)住所(1)≠スペースであること。			
11	(No.15)漢字氏名(2)、(No.17)本人区分(2)、(No.18)来庁者区分(2)、(No.19)確認区分(2)、 (No.25)通知要否(2)のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
12	(No.15)漢字氏名(2)、(No.17)本人区分(2)、(No.18)来庁者区分(2)、(No.19)確認区分(2)、 (N0.25)通知要否(2)の全てが未入力である場合、 (No.15)漢字氏名(2)～(No.27)通知担当者(2)の全てが未入力であること。			
13	(No.28)漢字氏名(3)≠スペースの場合、(No.15)漢字氏名(2)≠スペースであること。			
14	(No.41)漢字氏名(4)≠スペースの場合、(No.28)漢字氏名(3)≠スペースであること。			
15	(No.67)届出人氏名(2)≠スペースの場合、(No.54)届出人氏名(1)≠スペースであること。			
16	(No.80)使者氏名(1)、(No.82)使者確認区分(1)のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
17	(No.80)使者氏名(1)、(No.82)使者確認区分(1)の全てが未入力である場合、 (No.80)使者氏名(1)～(No.87)使者確認担当者(1)の全てが未入力であること。			
18	(No.88)使者氏名(2)≠スペースの場合、(No.80)使者氏名(1)≠スペースであること。			
19	(No.88)使者氏名(2)、(No.90)使者確認区分(2)のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
20	(No.88)使者氏名(2)、(No.90)使者確認区分(2)の全てが未入力である場合、 (No.88)使者氏名(2)～(No.95)使者確認担当者(2)の全てが未入力であること。			

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
本人届出確認台帳ファイル	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分				
	台帳対象区分		本人届出確認台帳画面	台帳対象区分		有		
	漢字氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)		有		
	確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	漢字氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)		有		
	確認方法1(2)			確認方法1(2)		有		
	確認手段1(2)			確認手段1(2)				
	確認方法2(2)			確認方法2(2)		有		

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
	確認手段2(2)			確認手段2(2)				
	確認担当者(2)			確認担当者(2)				
	通知要否(2)			通知要否(2)		有		
	通知日(2)			通知日(2)				
	通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	漢字氏名(3)			漢字氏名(3)				
	住所(3)			住所(3)				
	本人区分(3)			本人区分(3)		有		
	来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
	確認区分(3)			確認区分(3)		有		
	確認方法1(3)			確認方法1(3)		有		
	確認手段1(3)			確認手段1(3)				
	確認方法2(3)			確認方法2(3)		有		
	確認手段2(3)			確認手段2(3)				
	確認担当者(3)			確認担当者(3)				
	通知要否(3)			通知要否(3)		有		
	通知日(3)			通知日(3)				
	通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	漢字氏名(4)			漢字氏名(4)				
	住所(4)			住所(4)				
	本人区分(4)			本人区分(4)		有		
	来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
	確認区分(4)			確認区分(4)		有		
	確認方法1(4)			確認方法1(4)		有		
	確認手段1(4)			確認手段1(4)				
	確認方法2(4)			確認方法2(4)		有		
	確認手段2(4)			確認手段2(4)				

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	確認担当者(4)			確認担当者(4)				
	通知要否(4)			通知要否(4)		有		
	通知日(4)			通知日(4)				
	通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人氏名(1)			届出人氏名(1)				
	届出人住所(1)			届出人住所(1)				
	届出人本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
	届出人来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
	届出人確認区分(1)			届出人確認区分(1)		有		
	届出人確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)		有		
	届出人確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
	届出人確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)		有		
	届出人確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
	届出人確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
	届出人通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
	届出人通知日(1)			届出人通知日(1)				
	届出人通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人氏名(2)			届出人氏名(2)				
	届出人住所(2)			届出人住所(2)				
	届出人本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
	届出人来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
	届出人確認区分(2)			届出人確認区分(2)		有		
	届出人確認方法1(2)			届出人確認方法1(2)		有		
	届出人確認手段1(2)			届出人確認手段1(2)				
	届出人確認方法2(2)			届出人確認方法2(2)		有		
	届出人確認手段2(2)			届出人確認手段2(2)				
	届出人確認担当者(2)			届出人確認担当者(2)				

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	4.0 本人届出確認台帳ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人通知要否(2)			届出人通知要否(2)		有		
	届出人通知日(2)			届出人通知日(2)				
	届出人通知担当者(2)			届出人通知担当者(2)				
	使者氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者住所(1)			使者住所(1)				
	使者確認区分(1)			使者確認区分(1)		有		
	使者確認方法1(1)			使者確認方法1(1)		有		
	使者確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者確認方法2(1)			使者確認方法2(1)		有		
	使者確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者住所(2)			使者住所(2)				
	使者確認区分(2)			使者確認区分(2)		有		
	使者確認方法1(2)			使者確認方法1(2)		有		
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認方法2(2)			使者確認方法2(2)		有		
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	5.0 本人届出確認通知ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
本人届出確認通知ファイル	作成年月日		本人届出確認台帳画面					システム編集
	事件本人氏名			漢字氏名(1)～(4)、届出人氏名(1)～(2)				通知要の者が対象
	発行市区町村名							システム編集
	受理年月日		仮本人届出確認台帳ファイル	受付日				
	事件名			受付事件コード		有		
	届出人氏名1		本人届出確認台帳画面	漢字氏名(1)～(4)、届出人氏名(1)～(2)				事件本人で届出人である者及び届出人が対象
	届出人氏名2							
	届出人氏名3							
	届出人氏名4							
	届出事件本人氏名1			漢字氏名(1)				
	届出事件本人氏名2			漢字氏名(2)				
	届出事件本人氏名3			漢字氏名(3)				
	届出事件本人氏名4			漢字氏名(4)				
	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				

データ編集表			作成日付	平成15年 5月30日	改訂日付	令和 年 月 日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳作成							
処理名	6.0 発送ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
発送ファイル	受領番号		仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							システム編集
	郵便番号		本人届出確認台帳画面	住所(1)～(4), 届出人住所(1)～(2)				住所からシステム編集
	住所							通知要の者
	宛名							
	送付書類区分			本人届出確認通知				

第7.2.(7)

「仮戸籍表示」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	仮戸籍表示					

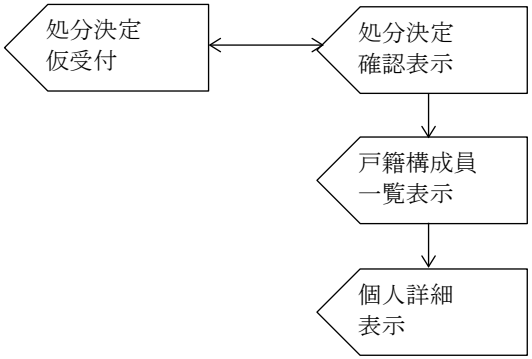
1.仮戸籍表示

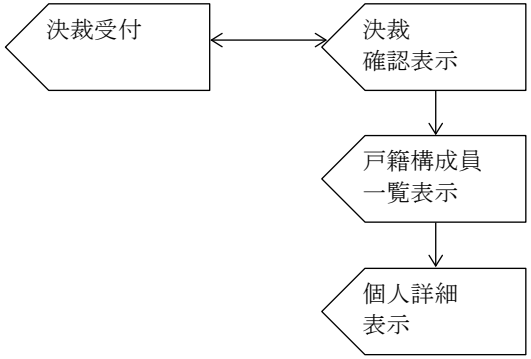
システムが入力審査確認後に、身分事項等の記載を、戸籍DBに仮に記載したり、新戸籍を仮に編製したりし、決裁処理で戸籍DBとして反映するまでのものを「仮戸籍」と呼ぶ。これらは、システムが自動的に作成するので、これらを確認する手段として「仮戸籍表示」を設ける。
「仮戸籍」は、あくまで仮の戸籍であり、システムが「受理」と判断した本籍分しか作成されないので、「仮戸籍表示」としては、移記処理の表示方法と同様とする。
よって、ここでは概略を述べるに留めるので、詳細は移記処理の要件定義書を参照されたい。(画面は、単独提示)

「仮戸籍表示」としては、次の3画面を使用する。
(1)確認表示画面(該当戸籍表示)
(2)戸籍構成員一覧画面
(3)個人詳細表示画面

2.仮戸籍表示箇所

確認として表示されるのは、処分決定処理前と決裁処理前の2ヶ所である。
それぞれ、処分決定･決裁を行おうとする処理に該当する戸籍すべてを確認表示で表示させる。ここで、移記処理での表示との違いとしては、処分決定前においては、まだ受領番号が確保されていないのでシステムにては注意を要する。





第7.2.(8)

「エラー履歴表示」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

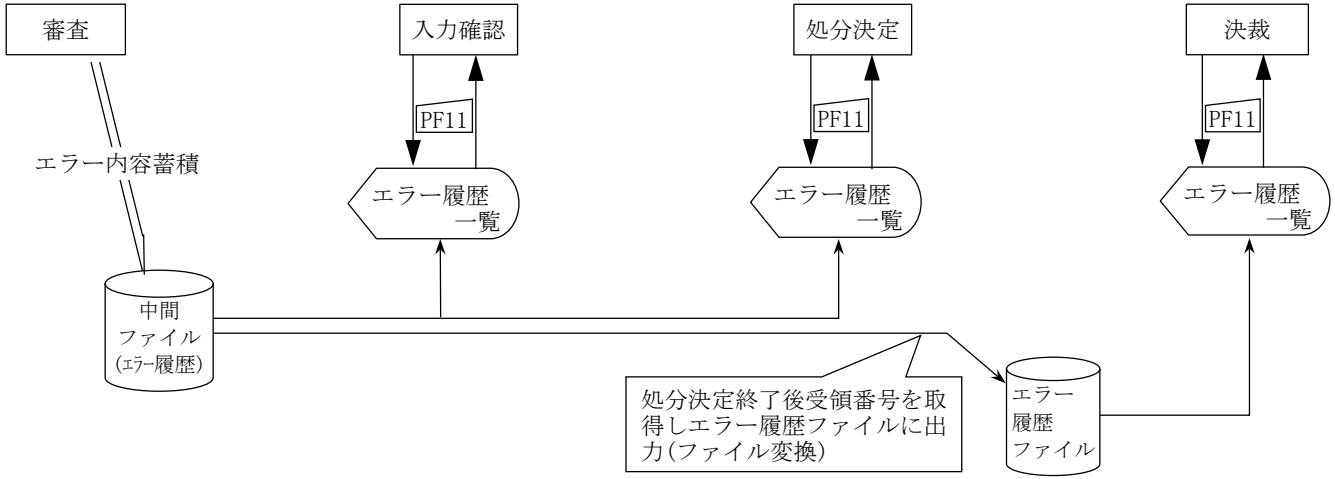
システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	エラー履歴表示

1. 処理概要

異動業務処理において届書入力時の審査処理で発生したエラー内容(項目･関連チェック以外)を、エラー履歴として以降の処理で参照できるよう、共通仕様として以下に示す。

エラー履歴ファイルでは、受領番号がキーとなるため、受領番号を取得するまでは、一時的ファイル:中間ファイル(エラー履歴)に対して入出力を行う。処分決定処理で受領番号を取得し、完了した時点で、中間ファイル(エラー履歴)から、エラー履歴ファイルに出力する。



2. 届書入力処理におけるエラー処理について

審査処理で発生したエラー内容を、中間ファイル(エラー履歴)へ出力する。
但し、項目チェック、関連チェックによるエラーは除外し、法令審査による、重大エラー及び確認エラーを対象とする。

(1) 重大エラー
　法令等で定めた条件に明らかに反している場合、画面上にエラーメッセージを表示する。
エラーコードを、中間ファイル(エラー履歴)に出力する。

(2) 確認エラー
　システム上で判断不能なエラーを、画面上に確認メッセージとして表示し、判断結果を応答する。
確認エラーコード及び、応答結果を中間ファイル(エラー履歴)に出力する。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	エラー履歴表示

3.エラー履歴一覧表示について

(1)入力確認
・届書入力項目の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・中間ファイル(エラー履歴)からエラー情報を入力し、画面編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

(2) 処分決定
・処分決定の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・中間ファイル(エラー履歴)からエラー情報を入力し、画面編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。
・処分決定し受領番号を取得した後、中間ファイル(エラー履歴)からエラー履歴ファイルへ出力する。(ファイル変換)

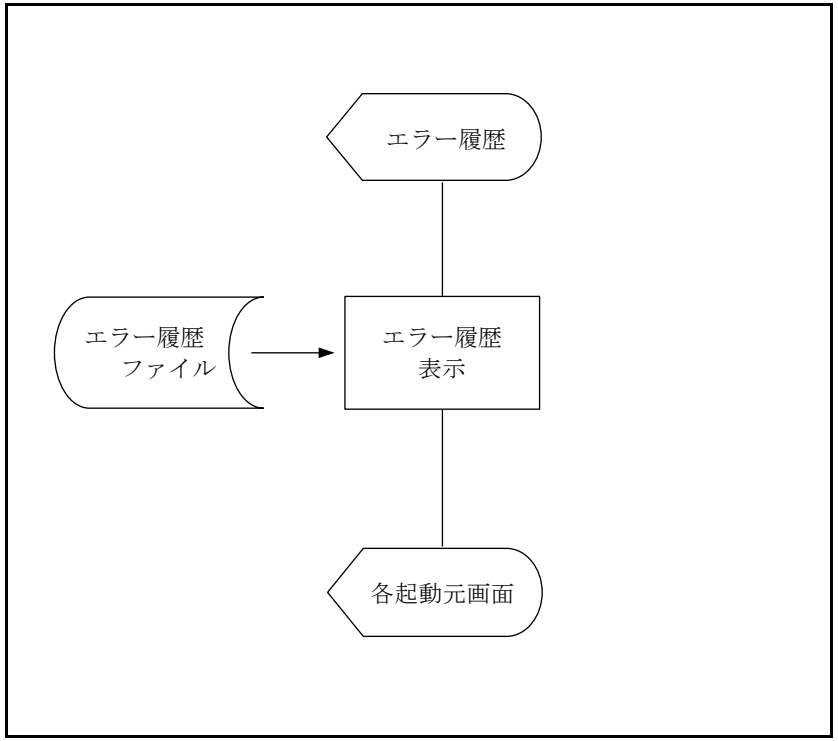
(3) 決裁
・決裁の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・エラー履歴ファイルからエラー情報を入力し、画画編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

4.その他

(1) エラー履歴一覧のエラー情報は、エラー発生順に表示する。
(2) エラー履歴として収容可能なエラー数は、MAX99個とし同一エラーは重複しないものとする。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	エラー履歴一覧表示					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1) 検索キー(受領番号)でエラー履歴ファイルを検索検索
(2) エラー履歴情報の編集･表示
(3) 起動元画面に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(中間ファイル作成(エラー履歴一覧))
　　└ 2.0 データ編集表(エラー履歴一覧画面作成)

5.備考(特記事項含む)

エラー履歴ファイルに対して入出力する場合、処理(入力確認･処分決定･決裁)によって状態が異なるため、データ出力と画面表示する場合に分けて以下の表に示す。

項番	処理区分	データ出力	画面表示
1	審　査　処　理	△	-
2	入 力 確 認 処 理	-	△
3	処 分 決 定 処 理	○	△
4	決　裁　処　理	-	○

△:中間ファイル(エラー履歴)
○:エラー履歴ファイル
- :該当せず

※取り扱うファイルとして、中間ファイル(エラー履歴)とエラー履歴ファイルが存在するが、本仕様書では「エラー履歴ファイル」で表現する。処理区分により識別し、それぞれのケースに合わせて置き換えること。

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	エラー履歴一覧表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)検索キー(受領番号)でエラー履歴ファイルを検索する				/				
(2)該当データはあるか(YES,NO)				/				
YES	(3)エラー数 ＝ 0			/				
	YES	(4)エラーメッセージ 「エラー履歴情報が存在しません。」を表示する			(5)同画面を編集する			
	NO	(6)中間ファイル(エラー履歴一覧)に編集･出力する [1.0]		/				
		(7)エラー履歴一覧画面を編集する [2.0]		/				
	(8)キー選択(PF7、PF8、P11、その他)			/				
	PF7	(9) 前ページがあるか?(YES,NO)		/				
		YES	(10)前ページ分のエラー履歴一覧画面編集		(11)同画面を編集する			
		NO	(12)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する					
	PF8	(13)次ページがあるか?(YES,NO)		/				
		YES	(14)次ページ分のエラー履歴一覧画面編集					
		NO	(15)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する					
	PF11	(16) →			(17)起動元画面に制御を渡す			
	その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(19)同画面を編集する			
NO	(20)エラーメッセージ 「エラー履歴情報が存在しません」を表示する							
	(21)キー選択(PF11、その他)			/				
	PF11	(22) →			(23)起動元画面に制御を渡す			
	その他	(24)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(25)同画面を編集する			

第7-2-(8) 「エラー履歴表示」処理

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	エラー履歴一覧表示								
処理名	1.0 中間ファイル(エラー履歴一覧)								

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (エラー履歴一覧)	受領番号			エラー履歴ファイル	受領番号					
	届出選択番号				届出選択番号					
	エラー数				エラー数					
	メッセージ	メッセージコード			メッセージ	メッセージコード				99のテーブル
		応答内容				応答内容				

第7-2-(8) 「エラー履歴表示」処理

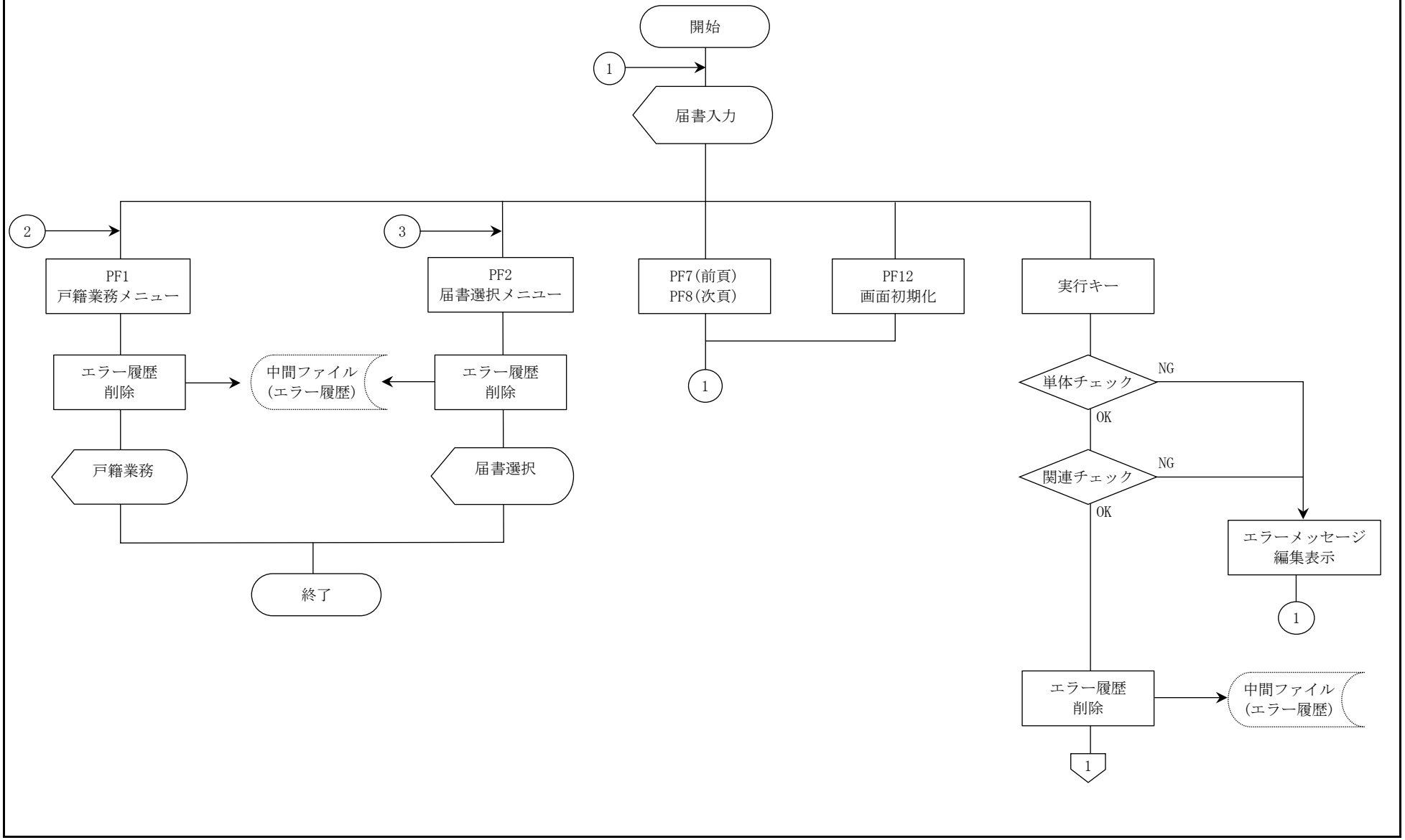
データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	エラー履歴一覧表示								
処理名	2.0 エラー履歴一覧画面								

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
エラー履歴一覧画面	画面ID				画面ID					
	システム日付				システム日付					
	ページ								Z9/Z9	
	受領番号			中間ファイル (エラー履歴一覧)	受領番号					
	届出名				届出選択番号			有		届出選択番号に対応する届出名称
	エラー履歴詳細情報									
		一連番号								シーケンス番号を付番
		メッセージコード			メッセージ	メッセージコード				
		応答内容				応答内容				
		メッセージ内容			(メッセージコード)					ﾒｯｾｰｼﾞｺｰﾄﾞに対応するﾒｯｾｰｼﾞ内容

第7-2-(8) 「エラー履歴表示」処理

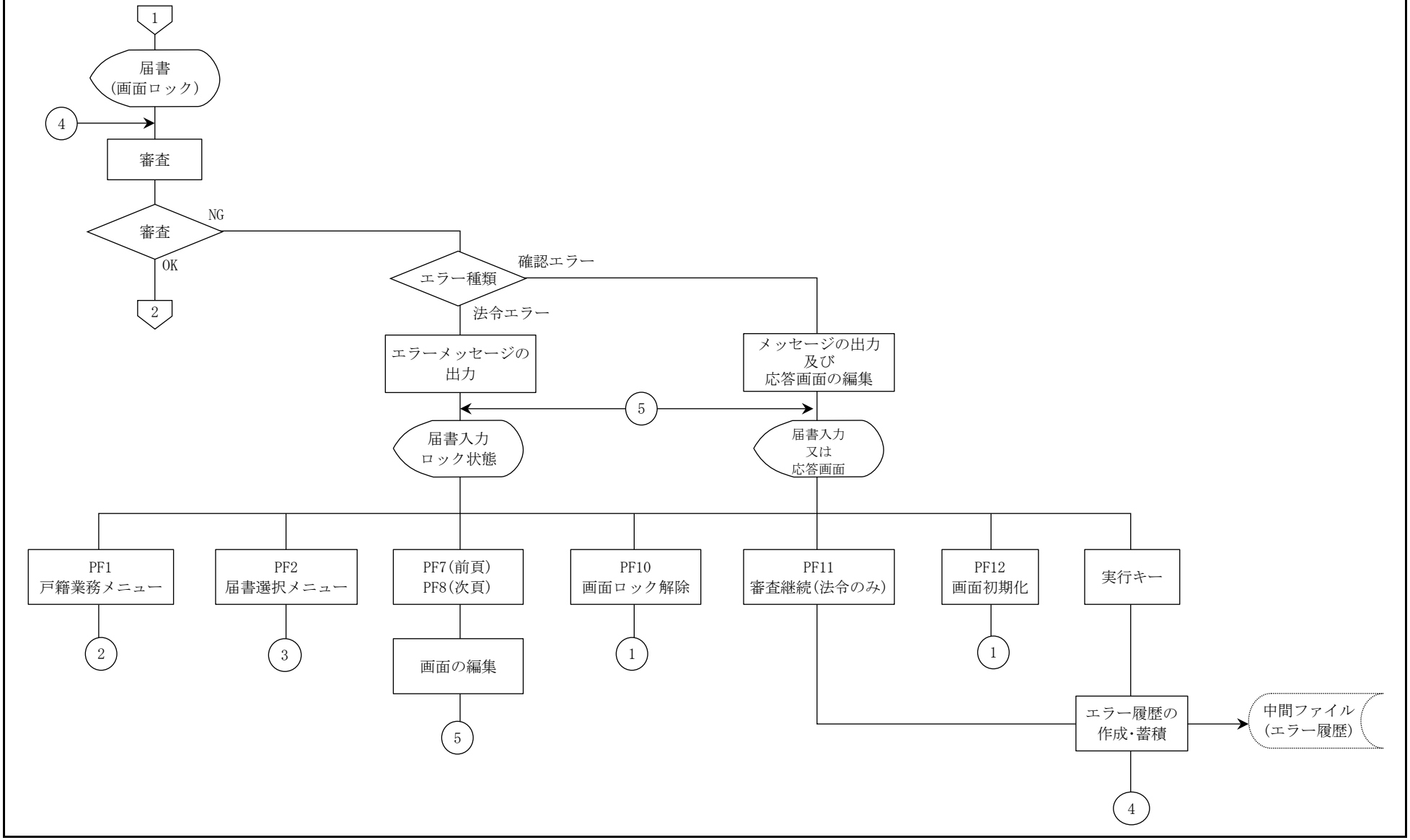
補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



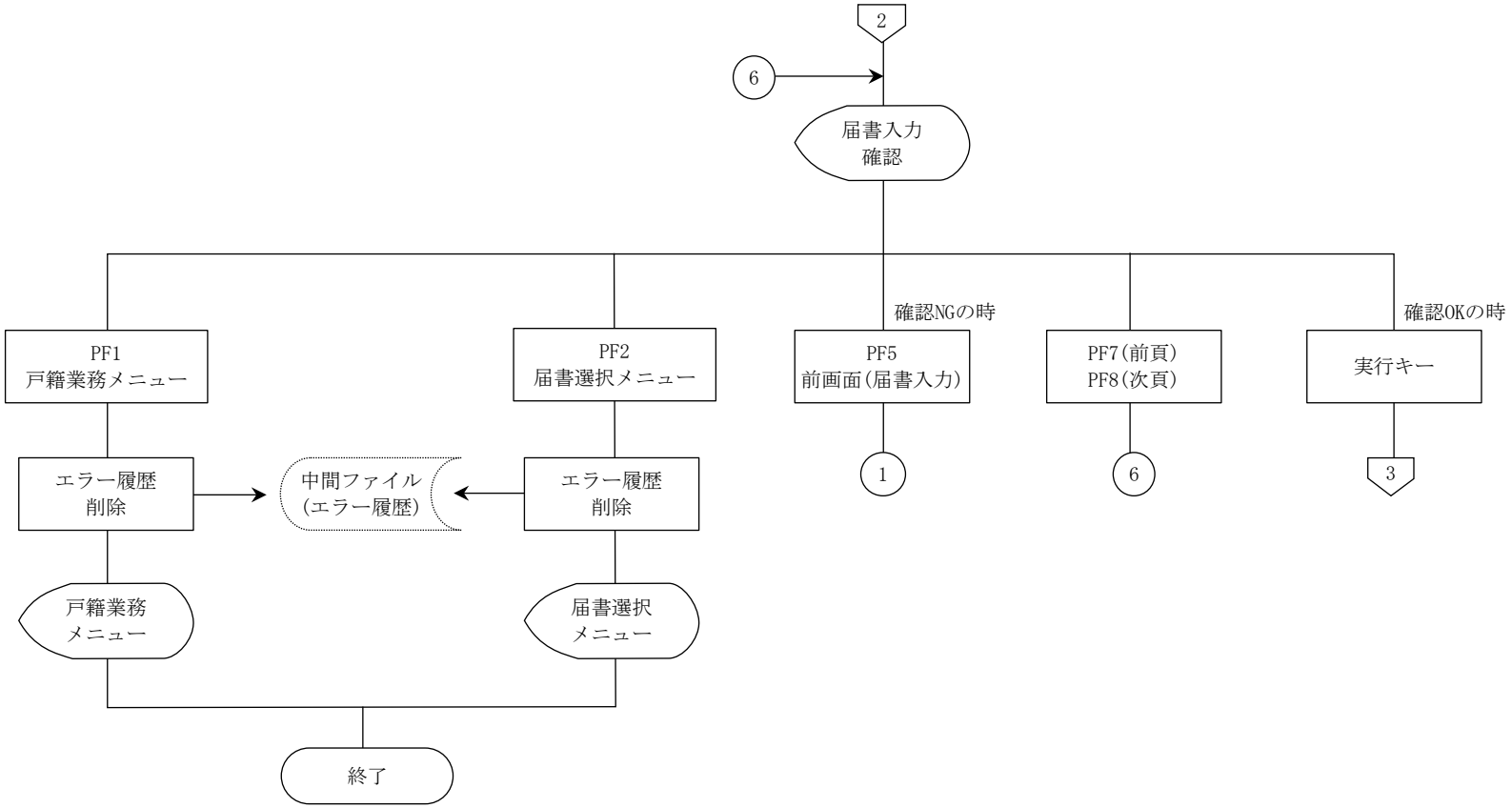
補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



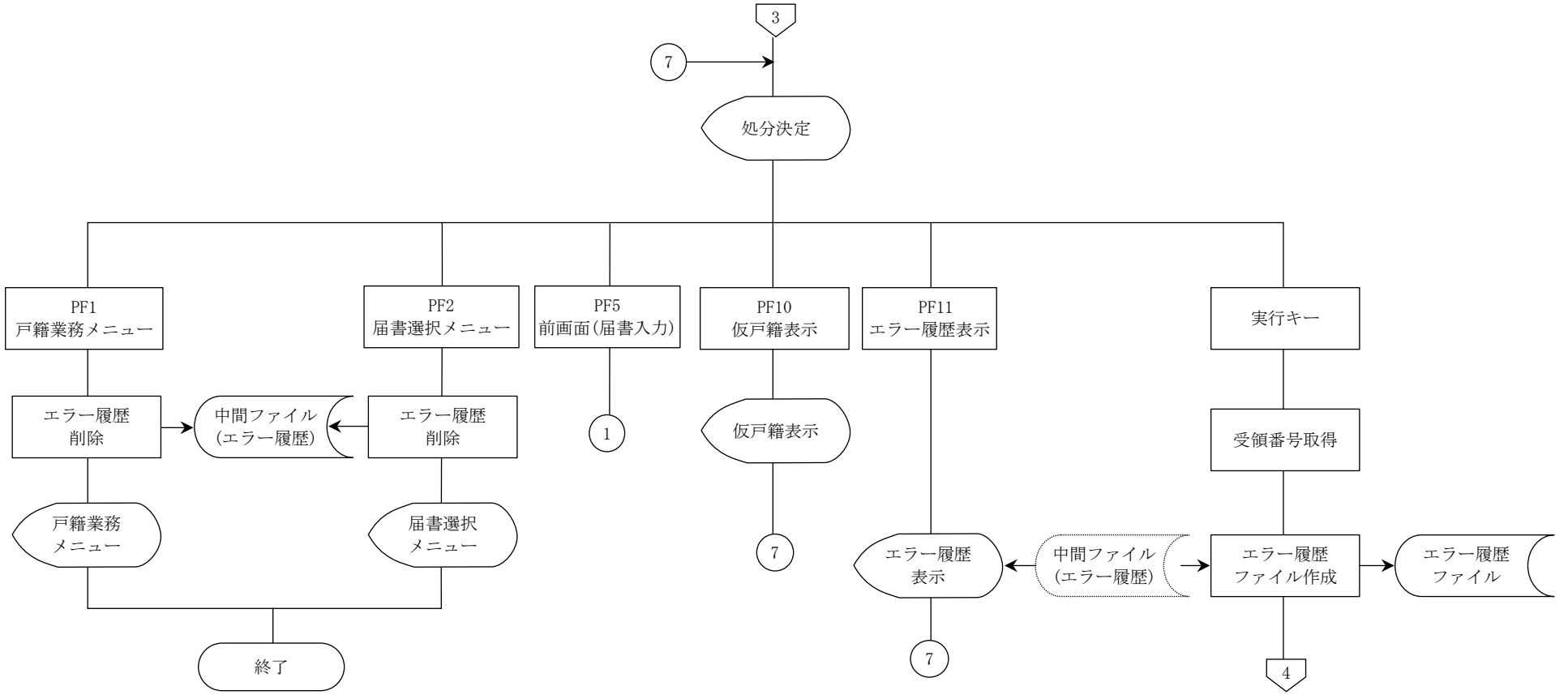
補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

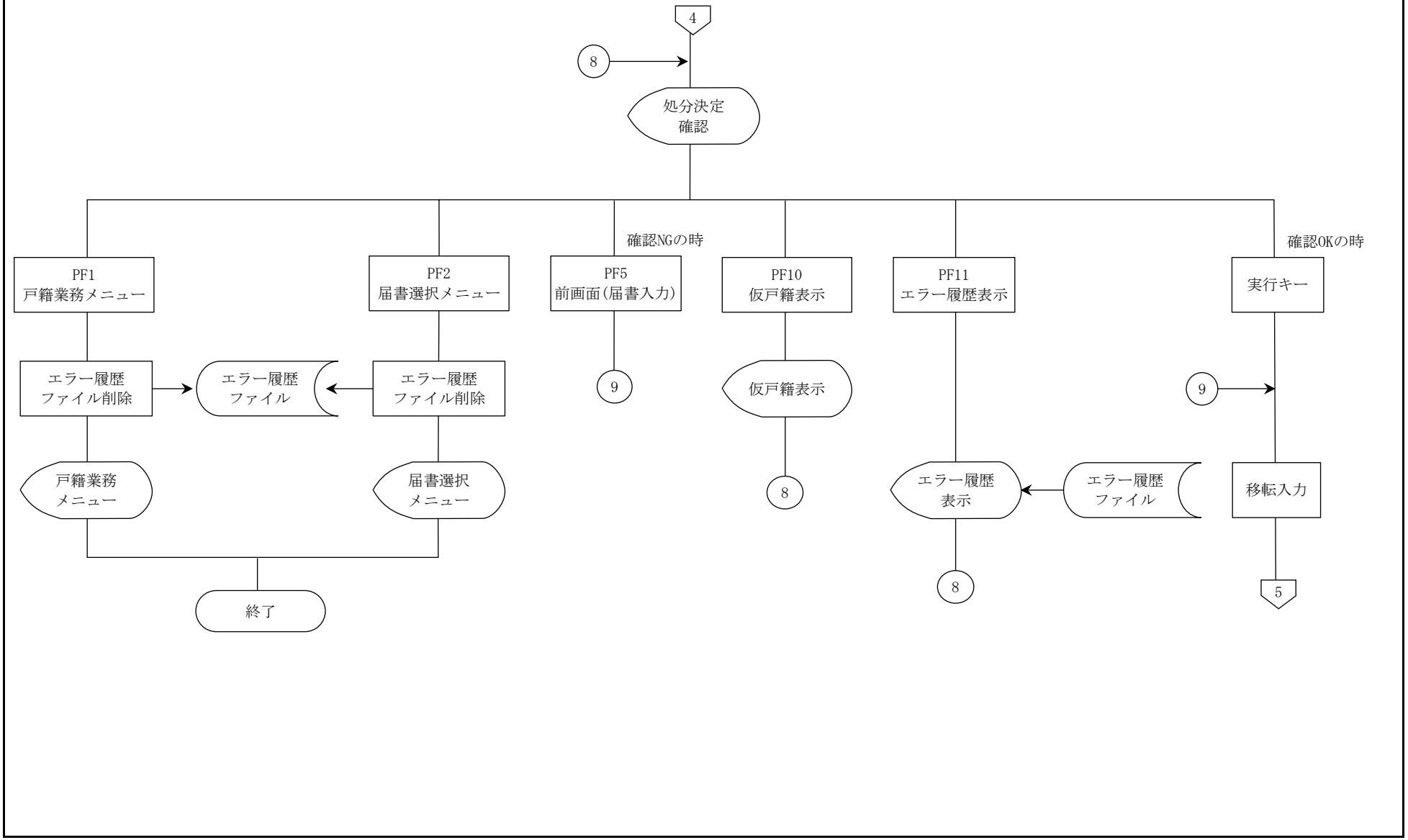
作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



第7-2-(8) 「エラー履歴表示」処理

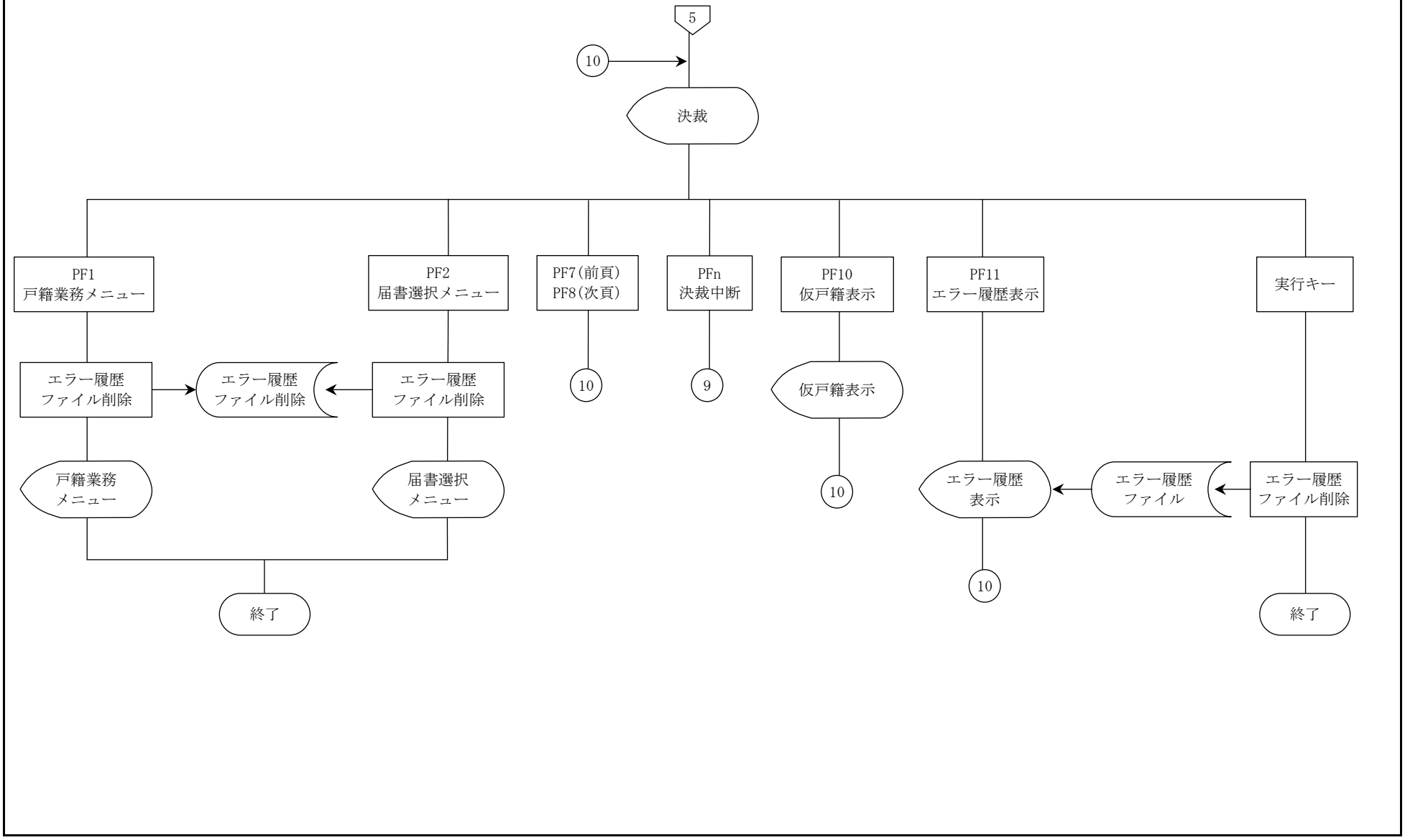
補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	エラー履歴処理
処理名	エラー履歴処理フロー



第7.2.(9)

「移記事項入力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「移記事項入力」処理	システム処理の概要説明書 ・非本籍人の移記事項の複写について説明を追加
2	R2.1		「移記事項入力」処理	「管理情報」を正しい名称に修正 ・移記戸籍選択_2.0 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力 ・移記戸籍選択_6.1 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(戸籍事項情報) ・移記戸籍選択_6.2　仮戸籍ﾌｧｲﾙ(個人情報情報)編集･出力 ・移記戸籍選択_6.3　仮戸籍ﾌｧｲﾙ(身分事項情報)編集･出力 ・個人情報表示_5.1　中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)個人特定編集･出力
3	R3		「移記事項入力」処理	R2.1版で修正を行った以下の「管理情報」について正しい名称に修正 ・「戸籍編製区分」→「戸籍事項記録区分」 ・「個人情報情報」→「個人特定情報」

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2

作業名	移記事項入力処理

1. 仮戸籍ファイル及び中間ファイル(仮戸籍)の管理情報

①戸籍特定情報

・戸籍編製区分(届出による戸籍の動き) ⇒ ・「移記戸籍選択」:編製状態の表示
・「移記:戸籍事項表示」:新戸籍編製かどうかの判定
1:新戸籍編製
2:全部除籍
3:変動なし
4:新戸籍編製・全部除籍

②戸籍事項情報

・戸籍事項記録区分 ⇒ 「移記:戸籍事項表示」:処理できるかどうかの判定
0:既存の記録
1:審査処理で記録
2:移記処理で記録

③個人特定情報

・個人異動区分(届出による個人の動き) ⇒ ・「移記戸籍構成員一覧」:変動状態の表示
・「移記:戸籍事項表示」:処理できるのかどうかの判断
0:(記録なし)
1:記録
2:入籍
3:除籍
4:入籍除籍

・個人異動形態区分 ⇒ 未使用
0:異動なし
1:本→本の異動
2:非→本の異動
3:本→非の異動

個人異動区分 と 個人異動形態区分 の関係

2:入籍 ┬ 1:本→本の異動
└ 2:非→本の異動
3:除籍 ┬ 2:非→本の異動
└ 3:本→非の異動

④身分事項情報

・身分事項記録区分 ⇒ 「移記:身分事項表示」:処理できるかどうかの判定
0:既存の記録
1:審査処理で記録
2:移記処理で記録

2. 副本記録情報の利用

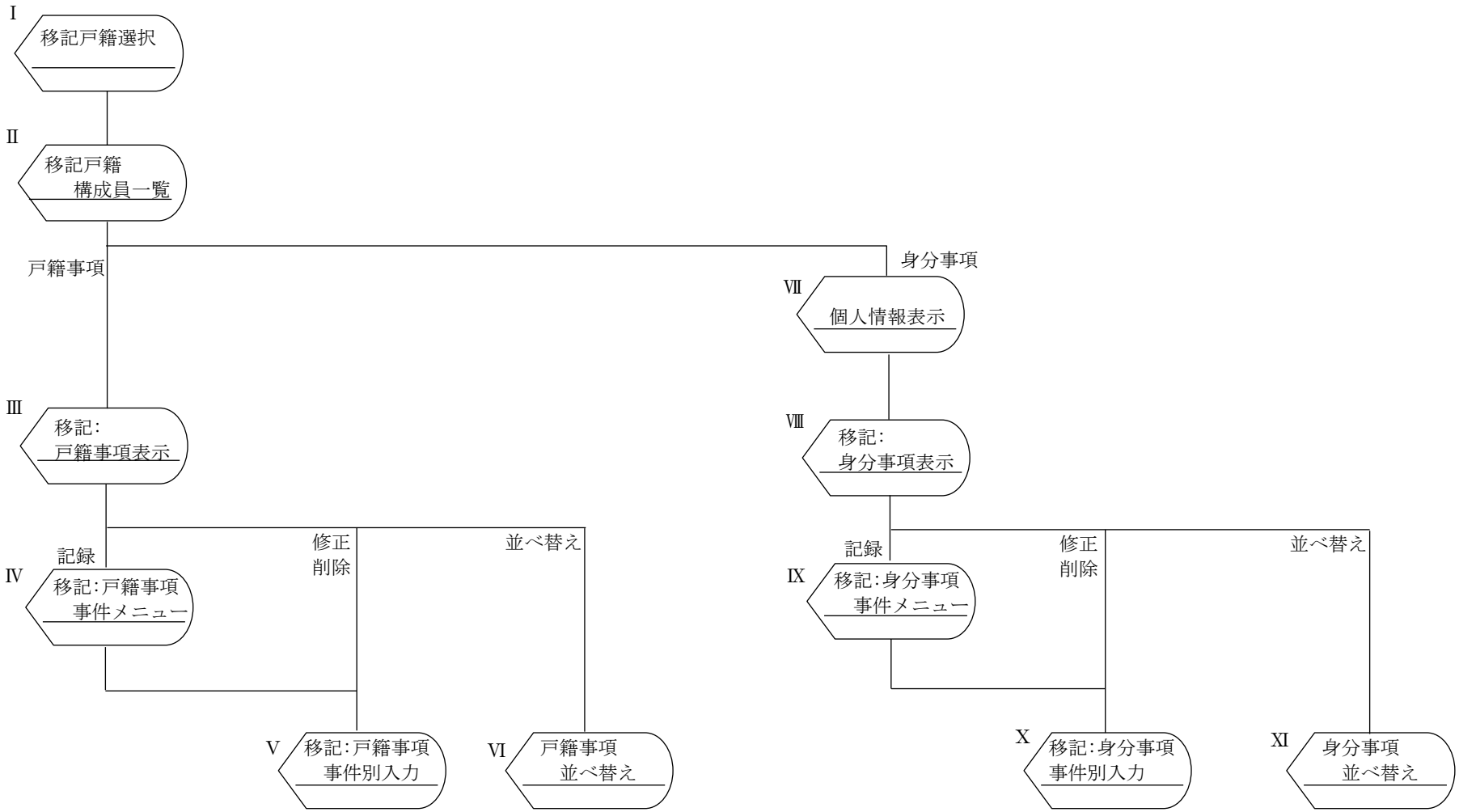
入籍戸籍又は新戸籍の仮戸籍が存在(届後本籍が管内)し従前戸籍が管外であるとき、副本記録情報から事件本人を選択して参照戸籍ファイルを作成した場合は、該当者の参照戸籍より移記する可能性のある戸籍事項及び身分事項を自動的に複写する。自動複写機能は移記事項入力の補助機能として定義するものであり、その実現方法及び複写の時点は任意設計とするが、複写した事項の記録区分は「2:移記処理で記録」とすること。

3. 留意点

・移記事項入力処理で作成又は利用した中間ファイルについては、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	移記事項入力処理					

2. 画面展開図



システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2

作業名	移記事項入力処理

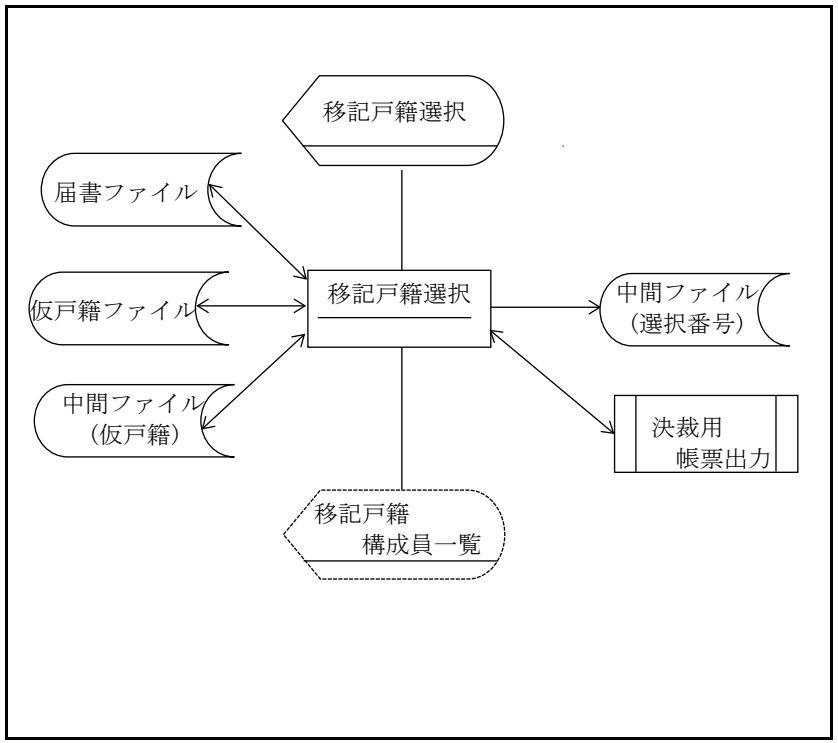
1.PFキー一覧

画面名 / PFキー	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	備考
	移記戸籍選択	移記構成員戸籍一覧	移記:戸籍事項 表示	移記:戸籍事項 事件メニュー	移記:戸籍事項 事件別入力	移記:戸籍事項 並べ替え	個人情報表示	移記:身分事項 表示	移記:身分事項 事件メニュー	移記:身分事項 事件別入力	移記:身分事項 並べ替え	
PF1	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	処理中止
PF2		Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	処理中止
PF3												
PF4				Ⅱ移記戸籍構成員一覧		Ⅱ移記戸籍構成員一覧		Ⅱ移記戸籍構成員一覧				各処理終了
PF5		Ⅰ移記戸籍選択	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	Ⅲ移記:戸籍事項表示	・記録:Ⅳ事件ﾒﾆｭｰ ・訂正:Ⅲ表示	Ⅲ移記:戸籍事項表示	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	Ⅶ個人情報表示	Ⅷ移記:身分事項表示	・記録:Ⅸ事件ﾒﾆｭｰ ・訂正:Ⅷ表示	Ⅷ移記:身分事項表示	前画面へ
PF6												
PF7	前頁	前頁	前頁		前頁	前頁		前頁		前頁	前頁	
PF8	次頁	次頁	次頁		次頁	次頁		次頁		次頁	次頁	
PF9	処理後業務選択又はⅠ				処理後Ⅳ又はⅢ	処理後Ⅲ表示	処理後Ⅷ表示			処理後Ⅸ又はⅧ	処理後Ⅷ表示	処理後次処理
PF10		戸籍事項前頁										
PF11												
PF12	入力画面初期化				記録:入力画面初期化					記録:入力画面初期化		画面初期化
実行キー	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	・戸籍:Ⅲ戸籍事項 ・身分:Ⅶ個人事項表示	・Ⅳﾒﾆｭｰ ・Ⅴ入力 ・Ⅵ並べ替え	Ⅴ移記:戸籍事項事件別入力	記録、訂正:入力項目チェック	並べ替えチェック	更正(訂正)項目チェック	・Ⅸﾒﾆｭｰ ・Ⅹ入力 ・Ⅺ並べ替え	Ⅹ移記:身分事項事件別入力	記録、訂正:入力項目チェック	並べ替えチェック	入力チェック等

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	移記戸籍選択

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
届書ファイル	入出力		
仮戸籍ファイル	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	出力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	出力		

3. 処理概要

(1)戸籍業務メニューから制御が渡ってきた場合(2線式)
(1)-1 入力された受領番号から移記戸籍の一覧を画面に表示する
(1)-2 処理する移記戸籍の明細番号を選択入力する
(1)- 3 移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
〔仮戸籍ファイルから中間ファイル(仮戸籍)を作成する〕

(2)処分決定処理から制御が渡ってきた場合(1線式)
(2)-1 渡ってきた受領番号を画面に表示する
(2)-2 実行キーにより移記戸籍の一覧を画面に表示する
(2)-3 処理する移記戸籍の明細番号を選択入力する
(2)-4 移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
〔仮戸籍ファイルから中間ファイル(仮戸籍)を作成する〕

(3)(1)または(2)以外で移記事項入力処理の各処理から制御が渡ってきた場合
(3)-1 決裁用帳票出力区分が『要(1)』の場合,決裁用帳票を出力する
(3)-2 移記事項入力処理の各処理で更新を行った中間ファイル(仮戸籍)から
仮戸籍ファイルを更新する
(3)-3 戸籍業務メニューに制御を渡す又は移記戸籍選択処理の当初画面を表示する

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(届書ファイル)
- 2.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍)
- 3.0 データ編集(移記戸籍一覧画面)
- 4.0 単体チェック
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)〔作成〕
- 6.0 データ編集(仮戸籍ファイル)
  - 6.1 戸籍事項情報
  - 6.2 個人特定情報
  - 6.3 身分事項情報

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記戸籍選択
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)処分決定処理から制御が渡って来たか?(YES,NO)					/	処分決定処理からの場合(1線式)も、一度受領番号のみを表示する。その後、実行キーにより検索を開始する
YES	(2) 処分決定処理からの受領番号を画面に表示する			(3)同画面を編集する		
NO	→					
(4) キー選択(実行キー、PF1、PF12、その他)					/	
実行キー	(5) 戸籍業務選択処理または処分決定処理から制御が渡って来た、または移記事項入力処理内の各プロセスからPF2(処理中止)により制御が渡って来たか?(YES,NO)				/	各プロセスからのPF2による処理中止の場合は、画面を初期化し、中間ファイルをすべて削除後、当プロセスの最初から処理を開始する
	YES	(6)受領番号に該当する仮戸籍ファイルを読む			/	
		(7)仮戸籍ファイルはあるか?(YES,NO)			/	(中間ファイル(仮戸籍)がない場合)
		YES	(8)受領番号に該当する届書ファイルを読む		/	
			(9)届書ファイルはあるか?(YES,NO)		/	
			YES	(10)「届書排他区分」は'0'となっているか? また、「審査結果入力」処理及び「訂正・更正・追完」処理で作成された届書ファイルでないこと(YES,NO)	/	:「審査結果入力」処理及び「訂正・校正・追完」処理で作成された仮戸籍ファイルは、移記処理では、更新できない
				YES (11)届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'1'を設定する [1.0]	/	:届書ファイルに排他制御をかける
				NO (12)エラーメッセージ 「入力された受領番号の届書は他の業務で処理中となっています。」を表示する		(13)同画面を編集する
			NO	(14)エラーメッセージ 「届書が存在しません。受領番号を確認して下さい。」を表示する		(15)同画面を編集する
			(16)受領番号に該当する仮戸籍ﾌｧｲﾙを中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)に複写する [2.0]		/	
			(17)受領番号に該当する戸籍の「戸籍特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む		/	
				(18)移記戸籍選択画面を編集する [3.0]		(19)同画面を編集する :複数画面を考慮する
		NO	(20)エラーメッセージ 「表示する移記戸籍は有りません。」を表示する			(21)同画面を編集する
	NO	(22)メッセージ 「決裁用帳票が必要ならば出力区分を入力し仮戸籍を更新して下さい。」を表示する 画面「決裁用帳票出力区分」に'1'(要)を表示する				(23)同画面を編集する(メッセージ表示) 移記事項処理内の各画面から制御が渡って来た場合、終了処理を行う (中間ファイル(仮戸籍)がある場合)
	(24)キー選択(実行キー、PF1、PF7、PF8、PF9、PF12、その他)				/	
	実行キー	(25)選択番号のチェックをする(OK:YES,NG:NO) [4.0]			/	
		YES	(26)選択した番号を中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [5.0]			(27)移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
		NO	(28)単体チェックで編集したメッセージを表示する			(29)同画面を編集する

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
	PF1	(30)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する				(31)業務選択に制御を渡す		「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF7	(32)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)			/	(33)同画面を編集する			
		YES	(34)前ページ分の移記戸籍選択を表示する						
		NO	(35)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する						
	PF8	(36)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)			/	(37)同画面を編集する			
		YES	(38)次ページ分の移記戸籍選択を表示する						
		NO	(39)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する						
	PF9	(40)中間ファイル(仮戸籍)から仮戸籍ファイルを更新する [6.1][6.2][6.3]			/				
		(41)中間ファイル(仮戸籍)を削除する			/				
		(42)届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			/				
		(43)決裁用帳票出力区分が'1'か? (YES,NO)			/				
		YES	(44)「決裁用帳票出力処理」に帳票出力指示する			(45)決裁用帳票出力処理に制御を依頼する			
			→			(46) ①戸籍業務選択処理から制御が渡って来た場合、当プロセスの初期画面を表示する ②処分決定処理から制御が渡って来た場合戸籍業務選択処理に制御を渡す		:①画面を初期化し、中間ファイルをすべて削除する 当初どこから制御が渡ってきたかにより処理後の表示画面が異なる	
		NO	→						
	PF12	(47)入力画面を初期化し、中間ファイルをすべて削除する				(48)同画面を編集する			
	その他	(49)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する							
PF1	(50)当業務処理前に既に届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'1'が設定されていた					(51)業務選択に制御を渡す		(14)のエラー時、区分は解除しない	
	YES	(52)中間ファイルをすべて削除する						「処理中止」	
	NO	(53)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する						「処理中止」「届書ロック解除」	
PF12	(54)入力画面を初期化し、中間ファイルをすべて削除する					(55)同画面を編集する			
その他	(56)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択							
処理名	1.0 届書ファイル 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
届書ファイル(共通)	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	更正区分							
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							項目省略
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書排他区分			「1」				0:未、1;排他 届書ファイルにロックをかける

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	移記戸籍選択							
処理名	2.0 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	戸籍編製区分		仮戸籍ファイル 戸籍特定情報	戸籍編製区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	戸籍持定DB内容			戸籍特定DB内容				
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分		仮戸籍ファイル 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	戸籍事項DB内容			戸籍事項DB内容				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	個人異動区分		仮戸籍ファイル 個人特定情報	個人異動区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	個人持定DB内容			個人特定DB内容				
中間ファイル (仮戸籍) 氏名情報	氏名DB内容		仮戸籍ファイル 氏名情報	氏名DB内容				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報	身分事項記録区分		仮戸籍ファイル 身分事項情報	身分事項記録区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	身分事項DB内容			身分事項DB内容				

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択							
処理名	3.0 移記戸籍選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記戸籍選択画面	受領番号		中間ファイル (仮戸籍)	受領番号				
	事件名			事件コード		有		
	明細件数1～5 明細番号							1移記戸籍毎に+1して表示する
	筆頭者			筆頭者				
	編製日			編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	戸籍編製区分名称			戸籍編製区分		有		1:新戸籍編製 2:全部除籍 3:変動なし 4:新戸全除 （新戸籍編製･全部除籍）
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	選択番号							移記戸籍の選択入力
	決裁用帳票出力区分							0:不要、1:要の入力

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択								
処理名				画面名	画面ID				
4.0 単体チェック表				移記戸籍選択画面					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	表示している移記戸籍のNo.であること(MAX05)		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍選択								
処理名	5.0 中間ファイル(選択番号)編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号			移記戸籍選択画面	受領番号				
	選択事件コード			届書ファイル	選択事件コード				
	在外送付区分				在外送付区分				
	戸籍	戸籍管理番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報管理	戸籍管理番号				移記戸籍選択画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の戸籍管理番号を設定する
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	移記戸籍選択							
処理名	6.1 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(戸籍事項情報)編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分				R2.1(移記事項入力-14) ″管理情報″を具体的項目名に修正
	戸籍事項DB情報			戸籍事項DB情報				

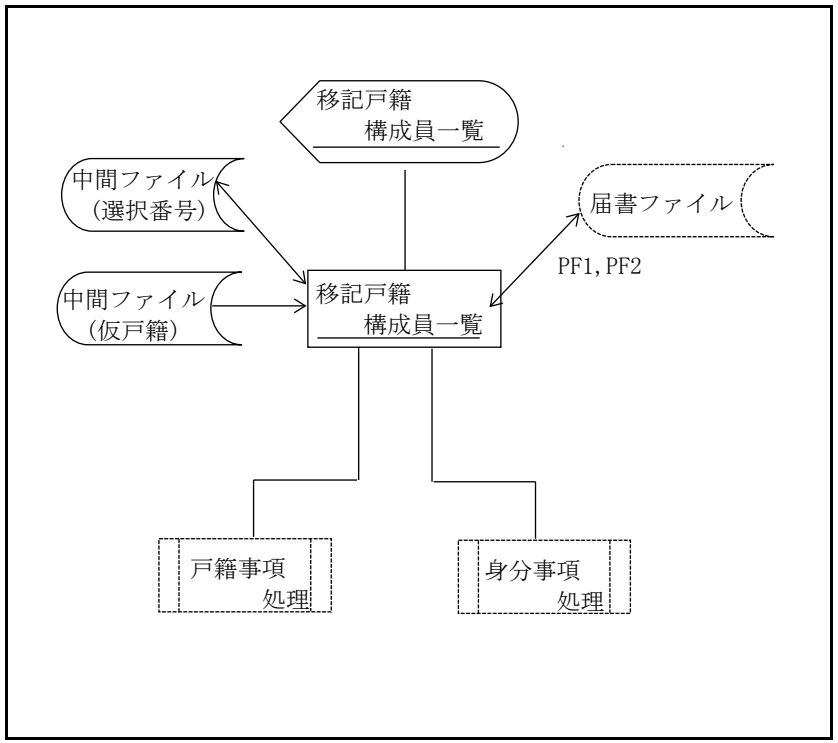
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	移記戸籍選択							
処理名	6.2 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(個人特定情報)編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル 個人特定情報	個人異動区分		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	個人異動区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	個人情報DB情報			個人情報DB情報				

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	移記戸籍選択								
処理名	6.3 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(身分事項情報)編集･出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
仮戸籍ファイル 身分事項情報	身分事項記録区分			中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報	身分事項記録区分				R2.1(移記事項入力-14) "管理情報"を具体的項目名に修正
	身分事項DB情報				身分事項DB情報				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記戸籍構成員一覧

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号をキーに、中間ファイル(仮戸籍)を読み、
戸籍事項/身分事項等を編集する
(2)移記戸籍構成員一覧の表示及び選択番号の入力
(3)「戸籍事項移記」が選択された場合
(3)-1 戸籍事項処理に制御を渡す
(4)「身分事項移記」が選択された場合
(4)-1 身分事項処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記戸籍構成員一覧画面)
- 2.0 別紙(記載事項チェック)
- 3.0 単体チェック
- 4.0 関連チェック
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記戸籍構成員一覧
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む			/		(参)中間ファイル(選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 ●戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 -戸籍事項明細番号 -戸籍事項記録コード ～
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む 該当戸籍の「戸籍事項」「個人特定」「氏名」情報を全件読む			/		
(3)移記戸籍構成員一覧画面を編集する [1.0]					
(4)「戸籍事項情報」「身分事項情報」の記録チェックを行う(OK:YES,NG:NO) 別紙[2.0]			/		別紙[2.0]で画面を出力する 複数画面を考慮する
YES	(5) → (7)		/		
NO	(6)FP2を無効とする		/		正しい選択を行った後でないと、「移記戸籍選択画面」への戻りは不可とする
(7)キー選択(実行キー、PF1、PF5、PF7、PF8、PF10、PF11、その他)			/		
実行キー	(8)入力項目のチェックをする(OK:YES,NG:NO) [3.0][4.0]		/		
	YES	(9)移記処理区分は何か?(1:戸籍事項移記、 2:身分事項移記)	/		
		1 →		(10)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す	
		2 (11)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [5.0]		(12)個人情報表示処理に制御を渡す	
	NO	(13)各チェックで編集したメッセージを表示する			
PF1	(14)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(15)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(16)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(17)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(18)前画面へ				「当プロセスのみ処理中止」
PF7	(19)戸籍構成員の前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/	(20)同画面を編集する	
	YES	(21)前ページ分の構成員欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	NO	(22)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(23)戸籍構成員の次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/		
	YES	(24)次ページ分の構成員欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	NO	(25)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(26)戸籍事項の前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/		
	YES	(27)前ページ分の戸籍事項欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	NO	(28)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF11	(29)戸籍事項の次のページがあるか?(ある:YES,ない:NO)			/	(30)同画面を編集する			
	YES	(31)次ページ分の戸籍事項欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する						
	NO	(32)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する。						
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する。							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧							
処理名	1.0 移記戸籍構成員一覧画面 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記戸籍構成員一覧画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細1～6件数 戸籍事項ﾀｲﾄﾙ		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	タイトルコード		有		戸籍事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は、複数明細で表示する)
	戸籍事項			記録コード		有		
				戸籍事項項目				
	明細件数1～7 明細番号							個人毎に+1して表示する
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 氏名情報	漢字氏名				
	生年月日		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	異動区分		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報管理	漢字氏名		有		「入籍」「除籍」「記録」、 「入除」(入籍除籍)、空白の別で表示
	移記処理区分							1:戸籍事項移記 2:身分事項移記 の選択入力
	選択番号							明細番号の入力

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記戸籍構成員一覧
処理名	2.0 別紙

					備考
(1)「身分事項処理」の各移記事項入力処理から制御が渡って来たか? (YES,NO) (個人情報表示、移記:身分事項表示、事件メニュー、事件別入力、並べ替えの各移記事項入力処理)		/			(参) 中間ﾌｧｲﾙ (選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 ～ ●個人管理番号 -身分事項処理区分 -身分事項明細番号 -身分事項記録コード
YES	(2)個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む	/			
	(3)出生事項(子の記録)〔記録コード0101〕が2件以上ないこと または認知事項(被認知者の記録)[記録コード0201]が2件以上ないこと(YES,NO)	/		同一事項が記録されていないこと	
	YES (4)→(9)	/			
	NO (5)確認メッセージ 「出生または認知の記録が2件以上あります。不要な記録を削除して下さい。」を表示する		(6)同画面を編集する(確認メッセージ表示)		
	YES (7)→(9)	/			
	NO →		(8)同画面を編集する(確認メッセージ表示) 本紙へ	エラー処理 (NG)	
	(9)個人管理番号に該当する者は異動者か? (YES,NO)	/			
	YES (10)個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む	/	(11)同画面を編集する 本紙へ		
		(12)移記不要事項がないこと (YES,NO)	/		[移記不要事項]については 「移記:身分事項表示」1.1を参照
		YES (13)→(15)	/		
		NO (14)エラーメッセージ 「移記不要の身分事項があります。不要な記録を削除して下さい。」を表示する			
		(15)「配偶者区分」が1:夫、2:妻の場合、「婚姻事項」[0901]があること(YES,NO)	/		
		YES (16)→(18)	/		
		NO (17)エラーメッセージ 「配偶者区分が夫又は妻なっているにも係わらず、婚姻事項がありません。」を表示する。			
		(18)「配偶者区分」が1:夫、2:妻以外の場合、「婚姻事項」[0901]がないこと(YES,NO)	/		
		YES (19)→(21)	/		
		NO (20)エラーメッセージ 「配偶者区分が夫又は妻以外にも係わらず、婚姻事項があります。」を表示する			
		(21)「義父氏名」または「義母氏名」が記録されている場合、「縁組事項」があること [0301:養子の記録](YES,NO)	/	(22)同画面を編集する 本紙へ	
		YES (23)→(25)	/		

要件定義ワークシート					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名				移記戸籍構成員一覧						
処理名				2.0 別紙					備考	
			NO	(24)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が記録されているにも係わらず、縁組事項がありません。」						
				(25)「養父氏名」または「養母氏名」が記録されていない場合、「縁組事項」がないこと [0301:養子の記録](YES,NO)	/					
			YES	→						
			NO	(26)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が記録されていないにも係わらず、縁組事項があります。」						
	NO	→								
NO	→									

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧								
処理名				画面名	画面ID				
3.0　単体チェック				移記戸籍構成員一覧画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	移記処理区分	○	数字	1(戸籍事項移記)または2(身分事項移記)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している移記戸籍の構成員のNo.であること　(MAX07)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧						
処理名		画面名	画面ID				
4.0 関連チェック		移記戸籍構成員一覧画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)移記処理区分=1(戸籍事項移記)のとき、(No.2)選択番号=スペースであること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1)移記処理区分=2(身分事項移記)のとき、(No.2)選択番号≠スペースであること			

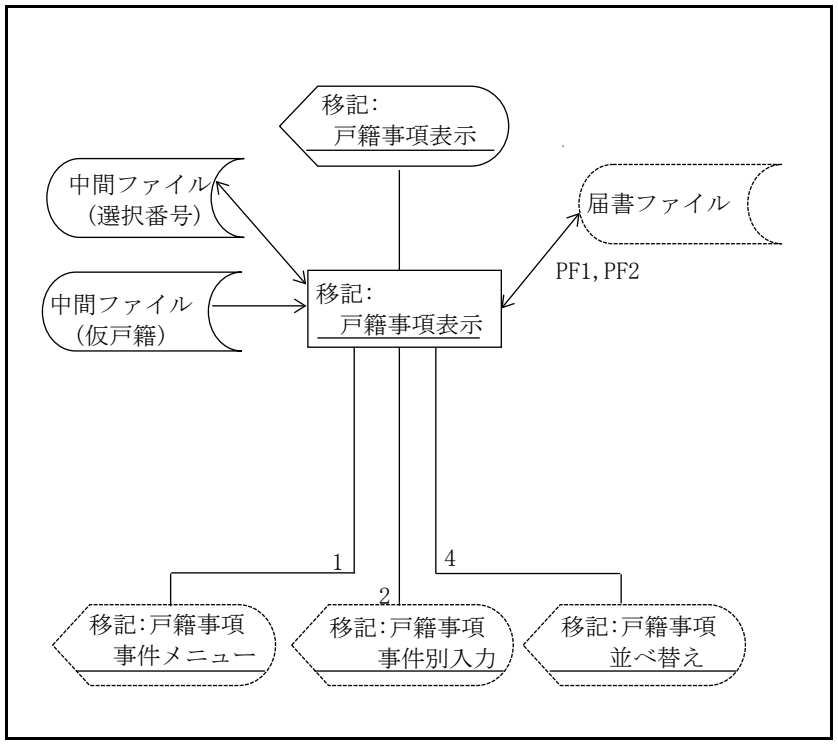
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記戸籍構成員一覧							
処理名	5.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	届出事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報管理	個人管理番号				移記戸籍構成員一覧で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の個人管理番号を設定する
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項表示

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)移記戸籍構成員一覧で入力された「明細番号」(戸籍管理番号) を中間ファイル(仮戸籍) を検索し、該当戸籍の戸籍事項をすべて画面に表示する
(2)選択された「処理番号」から各処理に振り分ける
(2)-1「記録」が選択された場合
移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す
(2)-2「修正」が選択され、「明細番号」が入力された場合
移記:戸籍事項事件別入力処理に「明細番号」と制御を渡す
(2)-3「消除」が選択され、「明細番号」が入力された場合
消除された戸籍事項を高輝度等で表示する
(2)-4「並べ替え」が選択された場合
移記:戸籍事項並べ替え処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記:戸籍事項表示画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 審査
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項表示
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む					/		(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件ｺｰﾄﾞ －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード ～
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報をファイル（仮戸籍）から読む					/	画面ヘッド部表示	
(3)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍事項」情報をファイル（仮戸籍）から全件読む							
(4)移記:戸籍事項表示画面を編集する [1.0]						(5)同画面を編集する	複数画面を考慮する
(6)キー選択（実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、その他）					/		
実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0] [3.0]				/		
	YES	(8) 審査 (OK:YES,NG:NO) [4.0]			/		
		YES	(9) 処理区分は何か?（1、2、3、4）		/		
			1:記録	(10)中間ファイル（選択番号）を編集･出力する [5.0]		(11)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す	
			2:修正	(12)中間ファイル（選択番号）を編集･出力する [5.0]		(13)移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す	
			3:削除	(14)該当の「戸籍事項」のインデックスを高輝度表示する		(15)同画面を表示する	:中間ファイル（仮戸籍）から削除せず処理終了時(PF5) 等で削除する :当プロセスで｢削除｣した戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除後、制御を渡す
			4: 並べ替え	→		(16)移記:戸籍事項並べ替え処理に制御を渡す	
		NO	(17)メッセージを表示する			(18)同画面を編集する	
	NO	(19)各チェックで編集したメッセージを表示する					
PF1	(20)中間ファイルをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する					(21)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(22)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する					(23)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(24)前画面へ					(25)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」 :当プロセスで「削除」した戸籍事項を中間ファイル（仮戸籍）から削除する
PF7	(26)前ページがあるか?（ある:YES,ない:NO)				/	(27)同画面を編集する	
	YES	(28)前ページ分の移記:戸籍事項表示画面を表示する					
	NO	(29)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF8	(30)次ページがあるか? (ある:YES, ない:NO)			/				
	YES	(31)次ページ分の移記:戸籍事項表示画面を表示する						
	NO	(32)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示							
処理名	1.0 移記:戸籍事項表示画面 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記: 戸籍事項表示画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数 1〜13 明細番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報					戸籍事項毎に+1して表示する
	戸籍事項タイトル			タイトルコード		有		戸籍事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は複数明細で表示する)
	戸籍事項			記録コード		有		
				戸籍事項項目				
				氏変更の種別		有		
	処理区分							1:記録〜4:並べ替え の選択入力
	選択番号							明細番号の入力

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示								
処理名				画面名	画面ID				
2.0 単体チェック				移記:戸籍事項表示画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	1 (記録) または 2 (修正) または 3 (削除) または 4 (並べ替え)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している戸籍事項のNo.であること (MAX13)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示						
処理名		画面名	画面ID				
3.0 関連チェック		移記:戸籍事項表示画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)処理区分=1 (記録)のとき または (No.1)処理区分=4(並べ替え)のとき (No.2)選択番号=スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1)処理区分=2 (修正) のとき または (No.1)処理区分=3 (削除)のとき (No.2)選択番号≠スペース であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成19年 3月 1日	版	11

作業名	移記:戸籍事項表示
処理名	4.0 審査

1.処理区分の審査1

	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	中間ファイル (選択番号)	処理区分	
	戸籍編製区分	選択事件コード	1:記録	4:並べ替え
Ⅰ	1:新戸籍編製	3301:転籍	○	○
		上記以外	× ①	× ①
Ⅱ	2:全部除籍	-	× ①	× ①
Ⅲ	3:変動なし	-	× ①	× ①
Ⅳ	4:新戸籍編製 ・全部除籍	-	× ①	× ①

2.処理区分の審査2

	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	中間ファイル (選択番号)	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	処理区分	
	戸籍編製区分	選択事件コード	戸籍事項記録区分	2:修正	3:削除
Ⅰ	1:新戸籍編製	3301:転籍	0:既存の記録 *1	-	-
			1:審査処理で記録	× ①	× ①
			2:移記処理 (事件別)で記録	○	○
		上記以外	-	× ②	× ②
Ⅱ	2:全部除籍	-	-	× ②	× ②
Ⅲ	3:変動なし	-	-	× ②	× ②
Ⅳ	4:新戸籍編製 ・全部除籍	-	-	× ②	× ②

備考

[処理手順]
(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む →戸籍編製区分の取得
(2) (1)で取得した区分と移記:戸籍事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
(2)-1「○」の場合
本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す
(2)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「この届出では仮戸籍に移記の処理はできません。」を表示する

[処理手順]
(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む →戸籍編製区分の取得
(2)移記:戸籍事項表示画面で入力された明細番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む →戸籍事項記録区分の取得
(3) (1)及び(2)で取得した区分と移記:戸籍事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
(3)-1「○」の場合
本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す
(3)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「審査処理で記録した転籍事項ですので修正・消除の処理はできません。」を表示する
②「この届出では仮戸籍に移記の処理はできません。」を表示する
*1:従前が非本籍の戸籍のため、従前の記録は実際はないパターン

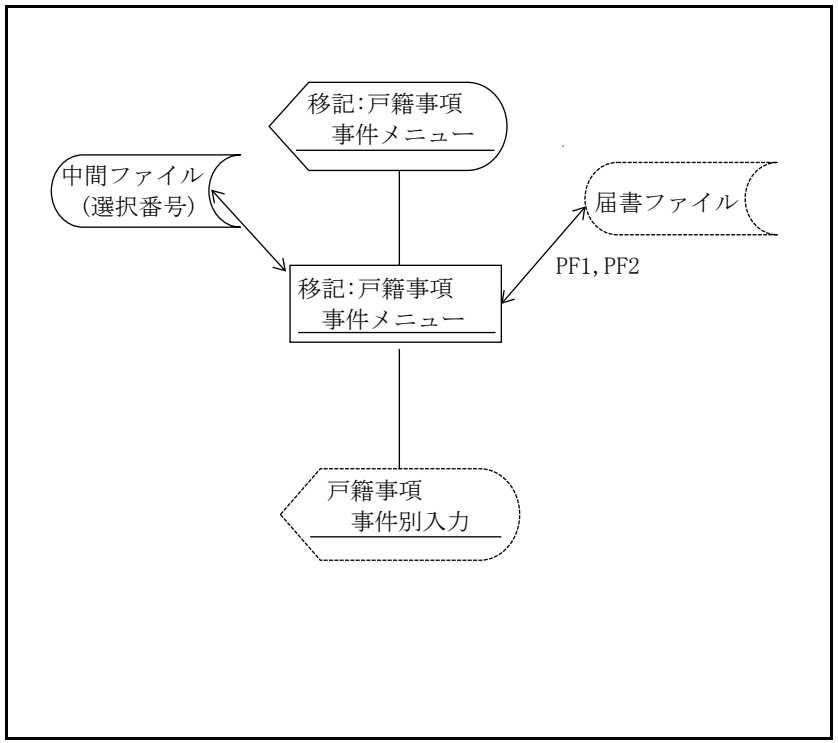
データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項表示								
処理名	5.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分		移記: 戸籍事項表示画面	処理区分				
		明細番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	明細番号				処理区分が2:修正、3:削除の場合に、移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の明細番号を設定する
		記録コード			記録コード				処理区分が2:修正、3:削除の場合に、移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の記録コードを設定する
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項事件メニュー

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)移記:戸籍事項事件メニュー画面を表示する
(2)入力された「選択番号」から移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集(移記:戸籍事項事件メニュー画面)
├ 2.0 単体チェック
└ 3.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

<table>
<tr><td colspan="3">要件定義ワークシート</td><td>作成日付</td><td>平成6年12月 1日</td><td>改訂日付</td><td>令和 年 月 日</td><td>版</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">作業名</td><td colspan="7">移記:戸籍事項事件メニュー</td></tr>
<tr><td colspan="2">処理名</td><td colspan="5">0.0 本紙</td><td colspan="2">備考</td></tr>
<tr><td colspan="4">(1)中間ファイル(選択番号)を読む</td><td>/</td><td></td><td></td><td rowspan="5">(参)中間ファイル(選択番号)
-受領番号
-選択事件コード
-在外送付区分
-戸籍管理番号
-戸籍事項処理区分
-戸籍事項明細番号
-戸籍事項記録コード
～</td></tr>
<tr><td colspan="4">(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む</td><td>/</td><td></td><td>画面ヘッド部
表示</td></tr>
<tr><td colspan="4">(3)移記:戸籍事項事件メニュー画面を出力する [1.0]</td><td></td><td>(4)同画面を編集する</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">(5)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、その他)</td><td>/</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">実行キー</td><td colspan="3">(6)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]</td><td>/</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>YES</td><td colspan="2">(7)中間ファイル(選択番号)を編集･出力する [3.0]</td><td></td><td>(8)移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>NO</td><td colspan="2">(9)チェックで編集したメッセージを表示する</td><td></td><td colspan="3">(10)同画面を編集する</td></tr>
<tr><td>PF1</td><td colspan="3">(11)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する</td><td></td><td>(12)業務選択に制御を渡す</td><td colspan="2">「処理中止」「届書ロック解除」</td></tr>
<tr><td>PF2</td><td colspan="3">(13)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する</td><td></td><td>(14)移記戸籍選択処理に制御を渡す</td><td colspan="2">「処理中止」「届書ロック解除」</td></tr>
<tr><td>PF4</td><td colspan="3">→</td><td></td><td>(15)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す</td><td colspan="2">「処理終了」</td></tr>
<tr><td>PF5</td><td colspan="3">(16)前画面へ</td><td></td><td>(17)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す</td><td colspan="2">「当プロセスのみ処理中止」</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="3">(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件メニュー							
処理名	1.0 移記:戸籍事項事件メニュー編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:戸籍事項 事件メニュー画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	選択番号							明細番号の入力

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件メニュー								
処理名				画面名		画面ID			
2.0 単体チェック				移記:戸籍事項事件メニュー画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1(氏の変更) または 2(107条2項) または 3(107条3項) または 4(107条4項) または 5(73条の2) または 6(69条の2) または 7(77条の2) または 8(75条の2)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

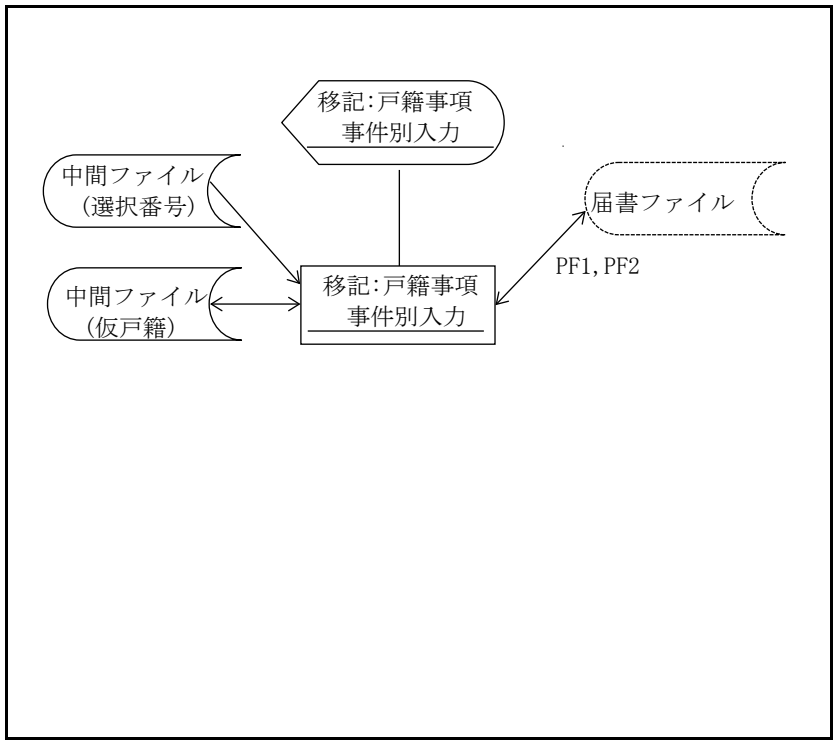
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項届出メニュー							
処理名	3.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							移記:戸籍事項表示画面で設定済 (1:記録)
		明細番号							
		記録コード		移記:戸籍事項 届出メニュー画面	(選択番号)				-選択番号=1(氏の変更)の場合、'2801'を設定 -選択番号=2(107条2項)の場合、'2901'を設定 -選択番号=3(107条3項)の場合、'3001'を設定 -選択番号=4(107条4項)の場合、'3101'を設定 -選択番号=5(73条の2)の場合、'0701'を設定 -選択番号=6(69条の2)の場合、'0801'を設定 -選択番号=7(77条の2)の場合、'1101'を設定 -選択番号=8(75条の2)の場合、'1201'を設定
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項事件別入力

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル（選択番号）を読み込む
(2)「戸籍事項処理区分」から記録、修正、削除の処理を行う
(3)「戸籍事項処理区分」が「記録」の場合
  (3)-1「戸籍事項記録コード」から該当事件の入力画面を出力する
  (3)-2入力項目のチェックを行う
  (3)-3中間ファイル(仮戸籍)の戸籍事項情報に入力した戸籍事項を追加する
(4)「戸籍事項処理区分」が「修正」の場合
  (4)-1「戸籍事項明細番号」「戸籍事項記録コード」から該当事件の修正画面を出力する
  (4)-2入力項目のチェックを行う
  (4)-3中間ファイル（仮戸籍）の該当戸籍事項情報の更新を行う

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1 (記録)
  - 1.1.2801 事件別 入力画面の表示
  - 1.2.2801 事件別 入力項目のチェック
  - 1.3.2801 事件別 中間ファイル(仮戸籍)への追加
- 2.0 別紙2 (修正)
  - 2.1.2801 事件別 修正画面の表示
  - (1.2.2801) 事件別 修正項目のチェック
  - (1.3.2801) 事件別 中間ファイル(仮戸籍)の修正

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力						
処理名	0.0 本紙			備考			
(1)中間ファイル(選択番号)読む		/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード ～		
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む		/		画面ヘッド部表示			
(3)戸籍事項処理区分は何か？ (1:記録、2:修正)		/					
1	(4)戸籍事項の「記録」の処理を行う 別紙 [1.0]	/					
2	(5)戸籍事項の「修正」の処理を行う 別紙 [2.0]	/					

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	1.0 別紙1(記録)					備考		
(1)戸籍事項記録番号は何か?(2801、2901、3001、3101、0701、0801、1101、1201)			/				(参)中間ファイル(選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 -戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 -戸籍事項明細番号 ●戸籍事項記録コード ～	
2801 氏の変更 (107条1項)	(2)戸籍事項事件別入力画面を編集する(入力画面) [1.1.2801]		/					
	(3)キー選択 (実行キー、PF1、PF2、PF5、PF9、PF12、その他)		/					
	実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.2801]	/					
		YES →		(5)同画面を編集する				
		NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する						
	PF1	(7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す		「処理中止」「届書ロック解除」		
	PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する、 届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す		「処理中止」「届書ロック解除」		
	PF5	(11)前画面へ		(12)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す		「当プロセスのみ処理中止」		
	PF9	(13)入力項目が、すべてチェックされているか?(YES,NO)	/			※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと :転籍事項の1つ前に格納する		
		YES (14)入力画面から戸籍事項を編集し、 中間ファイル(仮戸籍)に[戸籍事項情報]を追加する [1.3.2801]		(15)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す				
		NO (16)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(17)同画面を編集する				
	PF12	(18)画面を初期化する		(19)同画面を編集する				
	その他	(20)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
2901	※と同様の処理を行う		/			107条2項の処理		
3001	※と同様の処理を行う		/			107条3項の処理		
3101	※と同様の処理を行う		/			107条4項の処理		
0701	※と同様の処理を行う		/			73条の2の処理		
0801	※と同様の処理を行う		/			69条の2の処理		
1101	※と同様の処理を行う		/			77条の2の処理		
1201	※と同様の処理を行う		/			75条の2の処理		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	2.0 別紙2(修正)						備考	
(1)戸籍事項記録番号は何か?(2801、2901、3001、3101、0701、0801、1101、1201)			/					(参)中間ファイル(選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 -戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 ●戸籍事項明細番号 ●戸籍事項記録コード ～
2801 氏の変更 (107条1項)	(2)戸籍事項明細番号に該当する戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)の戸籍事項情報から取得し、戸籍事項事件別入力画面を編集する(修正画面) [2.1.2801]		/					
	(3)キー選択 (実行キー、PF1、PF2、PF5、PF9、その他)		/					
	実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) ([1.2.2801])	/					
		YES →		(5)同画面を編集する				
		NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する						
	PF1	(7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する、 届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF5	(11)前画面へ		(12)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す			「当プロセスのみ処理中止」	
	PF9	(13)入力項目はすべてチェックされているか?(YES,NO)	/					
		YES (14)中間ファイル(仮戸籍)の[戸籍事項情報]を修正する ([1.3.0101])		(15)移記:戸籍事項表示処理に			※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと :身分事項情報の管理部、共通部は更新しない	
		NO (16)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(17)同画面を編集する				
	その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
2901	※と同様の処理を行う		/				107条2項の処理	
3001	※と同様の処理を行う		/				107条3項の処理	
3101	※と同様の処理を行う		/				107条4項の処理	
0701	※と同様の処理を行う		/				73条の2の処理	
0801	※と同様の処理を行う		/				69条の2の処理	
1101	※と同様の処理を行う		/				77条の2の処理	
1201	※と同様の処理を行う		/				75条の2の処理	

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力						
処理名	1.1.2801 移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)編集・出力						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,Z9	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項 事件別入力画面 (氏の変更)	現ページ/総ページ						Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏変更日							
	氏変更の事由		中間ファイル (選択番号)	(戸籍事項記録コード)				出力項目 - 2801(氏の変更)の場合、'1'を設定 - 2901(107条2項)の場合、'2'を設定 - 3001(107条3項)の場合、'3'を設定 - 3101(107条4項)の場合、'4'を設定 - 0701(73条の2)の場合、'5'を設定 - 0801(69条の2)の場合、'6'を設定 - 1101(77条の2)の場合、'7'を設定 - 1201(75条の2)の場合、'8'を設定
	届出人1資格区分							
	届出人1資格名称							
	届出人1氏名							
	届出人2資格区分							
	届出人2資格名称							
	届出人2氏名							
	送付を受けた日							氏変更の種別が1(107条1項)以外の場合、入力不可(プロテクト)
	受理者							
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	1.1.2801 移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	従前の記録(氏)							入力不可(プロテクト)
	記録日							
	特記事項							

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力						
処理名		画面名	画面ID				
1.2.2801 単体チェック		移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	氏変更日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	氏変更の事由	○	数字	1～9であること 2801の場合、1、または9であること 2801以外の場合、入力不可			
3	届出人1資格区分		数字				
4	届出人1氏名		漢字				
5	届出人2資格区分		数字				
6	届出人2氏名		漢字				
7	送付を受けた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	受理者		漢字	「住所変換サブルーチン」			
9	許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	許可書謄本の送付を受けた日		漢字	「日付チェックサブルーチン」			
11	許可を受けた者		漢字				
12	従前の記録(氏)		漢字				
13	記録日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	特記事項		漢字				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	1.3.2801 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報管理	戸籍管理番号		中間ファイル (選択番号)	戸籍管理情報				:その他の「管理」情報は省略
	戸籍事項記録区分			「2」 移記処理(事件別)で記録				戸籍事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理で記録 2:移記処理で記録
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報共通	戸籍番号							決裁処理で戸籍DB反映時に設定する
	行番号							決裁処理で戸籍DB反映時に設定する
	出力区分							
	タイトルコード		中間ファイル (選択番号)	(戸籍事項記録コード)				- 2801(氏の変更)の場合、'2801'【氏の変更】を設定 - 2901(107条2項)の場合、'2901'【氏の変更】を設定 - 3001(107条3項)の場合、'3001'【氏の変更】を設定 - 3101(107条4項)の場合、'3101'【氏の変更】を設定 - 0701(73条の2)の場合、'0701'【氏の変更】を設定 - 0801(69条の2)の場合、'0801'【氏の変更】を設定 - 1101(77条の2)の場合、'1101'【氏の変更】を設定 - 1201(75条の2)の場合、'1201'【氏の変更】を設定
	記録コード			戸籍事項記録コード				同上
	管掌者コード							
	戸籍事項項目							次ページ以降に記録

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力						
処理名	1.3.2801 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	氏変更	氏変更日		移記:戸籍事項 事件別入力画面 (氏の変更)	氏変更日		有		
		氏変更の事由			(氏変更の事由)				- 1(氏の変更)の場合、 【戸籍法107条1項の届出】設定 - 2(107条2項)の場合、 【戸籍法107条2項の届出】設定 - 3(107条3項)の場合、 【戸籍法107条3項の届出】設定 - 4(107条4項)の場合、 【戸籍法107条4項の届出】設定 - 5(73条の2)の場合、 【戸籍法73条の2の届出】設定 -6(69条の2)の場合、 【戸籍法69条の2の届出】設定 -7(77条の2)の場合、 【戸籍法77条の2の届出】設定 - 8(75条の2)の場合、 【戸籍法75条の2の届出】設定 - 9(氏の変更〔事由なし〕)の場合、 空白を設定
	届出	届出人 資格			届出人1資格区分				
		届出人 資格名称			届出人1資格名称				
		届出人 氏名			届出人1氏名				
		届出人 資格			届出人2資格区分				
		届出人 資格名称			届出人2資格名称				
		届出人 氏名			届出人2氏名				
	送付	送付を受けた日*1			送付を受けた日		有		107条1項以外の画面では入力不可
		受理者 *1			受理者				107条1項以外の画面では入力不可
	許可	許可日			許可日				
		許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
		許可を受けた者			許可を受けた者				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	1.3.2801 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	従記前録	従前の記録(氏)*2							画面では入力不可
	記録	記録日			記録日				
	特記	特記事項			特記事項				
	*1:107条1項以外のファイルにはないので注意 *2:107条4項のファイルにはないので注意								
	※ ①一番左の項目:グループ名 ②次の項目:インデックス名								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	2.1.2801 移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:戸籍事項 事件別入力画面 (氏の変更)	現ページ/総ページ						Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏変更日		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報	氏変更日		有		
	氏変更の事由			氏変更の種別				- 2801(氏の変更)の場合、 '1'を設定 - 2901(107条2項)の場合、 '2'を設定 - 3001(107条3項)の場合、 '3'を設定 - 3101(107条4項)の場合、 '4'を設定 - 0701(73条の2)の場合、 '5'を設定 - 0801(69条の2)の場合、 '6'を設定 - 1101(77条の2)の場合、 '7'を設定 - 1201(75条の2)の場合、 '8'を設定 - 2801(氏の変更)で、 氏変更の事由が空白の場合、 '9'を設定
	届出人1資格区分			届出人 資格				
	届出人1資格名称			資格名称				
	届出人1氏名			氏名				

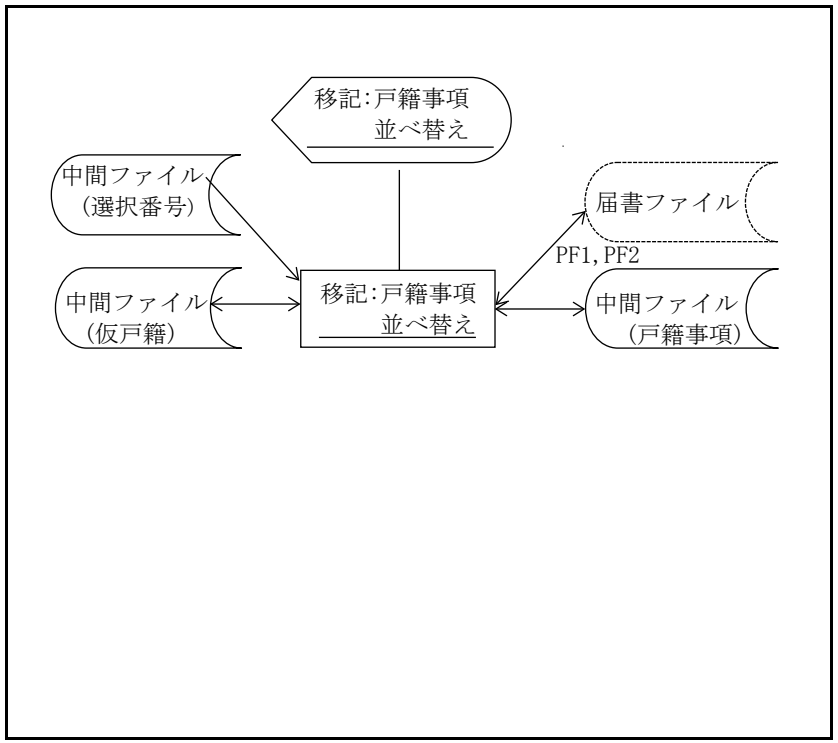
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項事件別入力							
処理名	2.1.2801 移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届出人2資格区分			届出人 資格				
	届出人2資格名称			資格名称				
	届出人2氏名			氏名				
	送付を受けた日			送付を受けた日*1				氏変更の種別が1(107条1項)以外の場合、入力不可(プロテクト)
	受理者			受理者*1				
	許可日			許可日				
	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
	許可を受けた者			許可を受けた者				
	従前の記録(氏)			従前の記録(氏)*2				入力不可(プロテクト)
	特記事項			特記事項				
				*1:107条1項以外のファイルにはないので注意 *2:107条4項のファイルにはないので注意				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項並べ替え

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(戸籍事項)	入出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)1戸籍事項のタイトルを1明細として一覧で表示する
(3)戸籍事項の並べ替えを指示する
(4)戸籍事項表示に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(中間ファイル/戸籍事項)
- 2.0 データ編集(移記:戸籍事項並べ替え画面)
- 3.0 審査

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:戸籍事項並べ替え
処理名	0.0 本紙

					備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む		/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項1録コード ～
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む		/			
(3)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍事項」情報を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む		/		当プロセスのWORKファイル	
(4)中間ファイル(戸籍事項)を編集・出力する [1.0]		/			
(5)中間ファイル(戸籍事項)から移記:戸籍事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]			(6)同画面を編集する	複数画面を考慮する	
(7)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、PF7、PF8、PF9、その他)		/			
実行キー	(8)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/			
	YES (9)中間ファイル(戸籍事項)を新明細番号に従って並べ替えを行う	/			
	(10)中間ファイル(戸籍事項)から移記:戸籍事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]		(11)同画面を編集する		
	NO (12)審査で編集したメッセージを表示する				
PF1	(13)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(14)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」	
PF2	(15)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(16)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」	
PF4	(17)中間ファイル(戸籍事項)を削除する		(18)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」	
PF5	(19)前画面へ、中間ファイル(戸籍事項)を削除する		(20)移記:戸籍事項事項表示に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」	
PF7	(21)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/	(22)同画面を編集する		
	YES (23)前ページ分の移記:戸籍事項並べ替え画面を表示する				
	NO (24)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する				
PF8	(25)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/			
	YES (26)次ページ分の移記:戸籍事項並べ替え画面を表示する				
	NO (27)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する				
PF9	(28)中間ﾌｧｲﾙ(戸籍事項)を基に中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)の戸籍事項情報の並べ替えを行う	/		当PFキーにより中間ファイル(仮戸籍)に並べ替えの処理結果が反映される	
	(29)中間ファイル(戸籍事項)を削除する		(30)移記:戸籍事項事項表示処理に制御を渡す		
その他	(31)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する		(32)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項並べ替え							
処理名	1.0中間ファイル(戸籍事項)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (戸籍事項)	明細件数							戸籍事項の記録件数を格納する
	明細番号							:1戸籍事項毎に+1を付加する
	戸籍事項記録区分		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報管理	戸籍事項記録区分				:戸籍事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理での記録 2:移記処理(事件別)で記録
	戸籍事項コード		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報共通	タイトルコード				複数明細あり (107条1項等、同一記録コードの明細が複数あり得るので注意すること)
	戸籍事項名称			タイトルコード		有		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項並べ替え							
処理名	2.0 移記:戸籍事項並べ替え画面編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項並べ替え画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数(1〜13) 明細番号		中間ファイル(戸籍事項)					1戸籍事項毎に+1して表示する 入力項目、表示する戸籍事項の戸籍事項記録区分が1［審査処理で記録］の場合(転籍の記録事項)、新明細番号を入力不可(プロテクト)する → 転籍事項は必ず戸籍事項の最後に記録されている(移記:戸籍事項事件別入力を参照)
	新明細番号							
	戸籍事項 ※			戸籍事項名称				
				氏変更種別				
	(exp.) 氏変更種別が107条2項の場合「氏の変更(107条2項)」と表示する							

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:戸籍事項並べ替え							
処理名	3.0 審査						備考	
(1)中間ファイル(戸籍事項)の明細件数の数だけ(3)～(17)の処理を繰り返す					/	(2)本紙へ		
	(3)新明細番号が入力されているか?(YES,NO)				/			
	YES	(4)新明細番号:中間ファイル(戸籍事項)の明細件数?(>,=,<)			/			
		>	(7)エラーメッセージ 「入力された明細番号は戸籍事項件数を超えています。」を表示する			(8)本紙へ		
		=	(9)エラーメッセージ 「入力された明細番号の事項は転籍事項ですので、並べ替えできません。」 を表示する			(10)本紙へ		
		<	(11)→(12) へ		/			
	NO	(12)明細番号を新明細番号に転送する			/		新明細番号が入力されていない場合も、中間ファイル(戸籍事項)の並べ替えは、新明細番号を基に行うため、同一番号を設定する	
		(13)→(14)へ			/			
	(14)新明細番号は重複しているか?(YES,NO)				/		チェック済[(3)～(13)]の新明細番号のすべてと比較し、判断する	
	YES	(15)エラーメッセージ 「入力されてた明細番号は重複して入力されています。」を表示する				(16)本紙へ		
	NO	(17)→			/			

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	個人情報表示

Ⅰ.処理概要

(1)父母氏名、続柄の入力チェック

			父氏名	母氏名	父母との続柄
◇「父母との続柄」が設定されている ※ ・異動者でない ・除籍者である ・届書入力処理で審査済である ・移記事項入力処理で設定済である	入籍者である {・入籍者または入籍除籍者である	父/母氏名に記載がある	②	□	□	×
		父/母氏名に記載がない	③	×	×	×
	上記以外 {・記録のない者、記録のある者または除籍者である		②	×	×	×
◇「父母との続柄」が設定されていない ・届書入力処理で審査していない入籍者である (管外からの転籍における構成員等)			④	○	○	◎

(2)養父母氏名、続柄の入力チェック

			養父氏名	養母氏名	養父母との続柄
◇「養父母との続柄」が設定されている※ ・届書入力処理で審査済である (養子縁組の養子) ・移記事項入力処理で設定済である	記録者または入籍者である {・記録のある者、入籍者または入籍除籍者である		①	△	△	×
	上記以外である {・記録のない者または除籍者である		②	×	×	×
◇「養父母との続柄」が設定されていない	入籍者である {・入籍者または入籍除籍者である		②	○	○	○
				*1	*1	*1
	上記以外である {・記録のない者、記録のある者または除籍者である		③	×	×	×

◎:入力可能(必須入力)
○:入力可能(任意入力)
×:入力不可(プロテクト)
□:更正可能
△:更正または記録可能

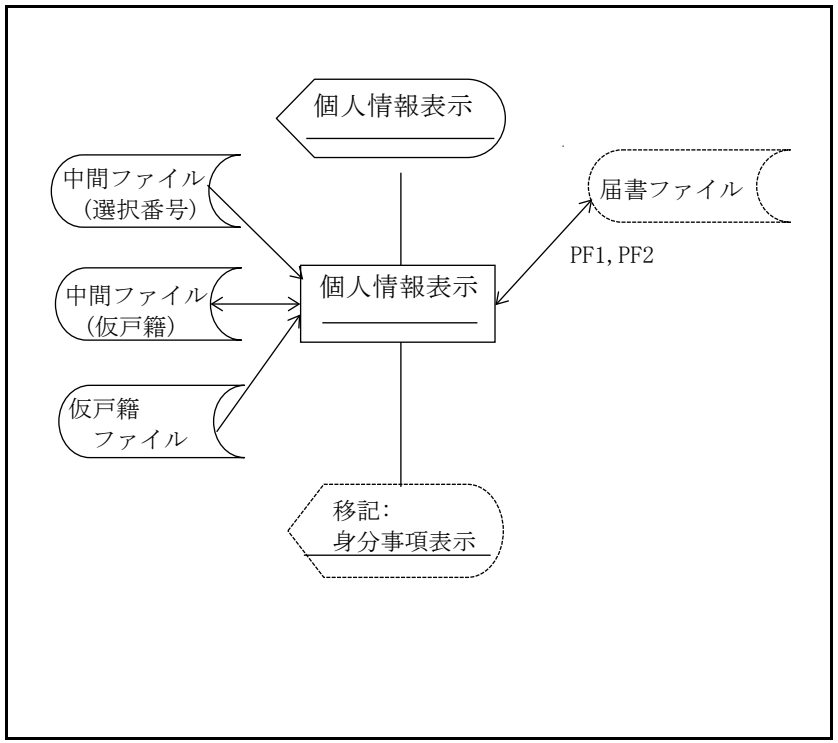
*1:関連チェック⇒「養父母との続柄」が記録されている場合、「養父氏名」または「養母氏名」が記録されていること
(参考)「父母との続柄」が記録されている場合、「父氏名」または「母氏名」が記録されていることの関連チェックは行わない⇒棄児の場合がある

※　続柄が設定されているか、設定されていないかにより、処理を振り分けている
→　基準書を記録する上で
「一度、移記入力処理で続柄が設定してしまうと、再び修正、削除はできない」仕様としているので注意を要する。
(「審査入力」で設定済の場合、修正・削除は不可であるが、「移記事項入力」で設定した場合であれば、修正・削除の処理は特に制限しない。:メーカー任。)

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	個人情報表示

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
仮戸籍ファイル	入力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)更正(訂正)できない項目にプロテクトをかける
(3)入力された項目のチェックを行う
(4)個人特定事項が更正(訂正)された場合,中間ファイル(仮戸籍)の個人特定情報を更新する
(5)個人特定事項が入力された場合,中間ファイル(仮戸籍)に身分事項情報を作成する
(6)移記:身分事項表示処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(個人情報表示画面)
- 2.0 別紙1 [画面プロテクト]
- 3.0 単体チェック
- 4.0 別紙2 [入力審査]
- 5.0 別紙3 [中間ファイル(仮戸籍)の更新･作成]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	個人情報表示
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む				/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(2)個人管理番号に該当する者の「個人特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読み 個人情報表示画面を編集する [1.0]					(3)同画面を編集する		
(4)入力項目のプロテクトを行う 別紙[2.0]							
(5)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF9、その他)				/			
実行キー	(6)入力項目の単体チェック(OK;YES,NG:NO) [3.0]			/			
	YES	(7)入力項目の審査を行う(OK:YES,NG;NO) 別紙[4.0]		/			
		YES	→		(8)同画面を編集する		:メッセージが表示される場合がある[4.0]
		NO	(9)審査で編集したエラーメッセージを表示する				
	NO	(10)単体チェックで編集したメッセージを表示する			(11)同画面を編集する		
PF1	(12)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する				(13)業務選択に制御を渡す		「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(14)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する				(15)移記戸籍選択処理に制御を渡す		「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(16)前画面へ				(17)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す		「当プロセスのみ処理中止」
PF9	(18)入力項目がすべてチェックされているか?(YES,NO)			/			入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと
	YES	(19)中間ファイル(仮戸籍)の更新・追加 別紙[5.0]		/	(20)身分事項表示処理に制御を渡す		
	NO	(21)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する			(22)同画面を編集する		
その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人情報表示							
処理名	1.0 個人情報表示画面 編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人情報表示画面	カナ氏名		中間ファイル (仮戸籍) 氏名情報	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	生年月日				
	性別					有		中間ファイル(仮戸籍)/個人特定情報の「父母との続柄」に項目があれば、それを基に翻訳する
	性別名称							
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		
	父氏名			父氏名				入力可能項目
	母氏名			母氏名				入力可能項目
	父母との続柄			父母との続柄				入力可能項目
	父母との続柄名称			父母との続柄		有		
	養父氏名			養父氏名				入力可能項目
	養母氏名			養母氏名				入力可能項目
	養父母との続柄			養父母との続柄				入力可能項目
	養父母との続柄名称			養父母との続柄		有		
	個人除区分			個人除区分				
	個人除区分名称			個人除区分		有		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人情報表示							
処理名	1.0 別紙1 ［画面プロテクト］						備考	
(1)「父母との続柄」が設定されているか?(YES,NO)					/			
YES	(2)「父母との続柄」を入力不可(プロテクト)とする				/	(3)本紙へ		
	(4)個人異動区分は何か?(0:記録なし、1:記録、2:入籍、3:除籍、4:入籍除籍)				/		中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報/管理で判断	
	2,4 入籍除籍	(5)「父氏名」が設定されているか?(YES,NO)			/		入籍者等に関して父母欄の更正を可能とする.(更正が可能の際には父母欄にプロテクトがかかっていないため、父母氏名の消除が可能となるが、業務的にあり得ない)	
		YES	(6)→(8)		/			
		NO	(7)「父氏名」を入力不可(プロテクト)とする		/			
		(8)「母氏名」が設定されているか?(YES,NO)			/			
		YES	(9)→(13)		/			
		NO	(10)「母氏名」を入力不可(プロテクト)とする		/			
	0,1,3	(11)→「父氏名」「母氏名」を入力不可(プロテクト)とする			/			
NO	(12)→(13)				/			
(13)「養父母との続柄」が設定されているか?(YES,NO)					/			
YES	(14)「養父母との続柄」を入力不可(プロテクト)とする				/			
	(15)個人異動区分は何か?(0:記録なし、1:記録、2:入籍、3:除籍、4:入籍除籍)				/		身分事項(離縁)を記録した者に関して養父母欄の記録を可能とする. 入籍者等に関して養父母欄の更正を可能とする.(更正が可能の際には父母欄にプロテクトがかかっていないため、養父母氏名の消除が可能となるが、業務的にあり得ない)	
	1,2,4	(16)→						
	0,3	(17)「養父氏名」「養母氏名」を入力不可(プロテクト)とする						
NO	(18)個人異動区分は何か?(0:記録なし、1:記録、2:入籍、3:除籍、4:入籍除籍)				/			
	2,4	(19)→					入籍者等に関して養父母事項の記録(氏名、続柄)の記録を可能とする.	
	0,1,3	(20)「養父氏名」「養母氏名」「養父母との続柄」を入力不可(プロテクト) とする						

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人情報表示								
処理名				画面名	画面ID				
3.0 単体チェック				個人情報表示画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	父氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	母氏名		漢字				
3	父母との続柄	○	漢字	(10:男,11:長男～29:十九男,30:女,31:長女～49:十九女,99:空欄)であること			
4	養父氏名		漢字				
5	養母氏名		漢字				
6	養父母との続柄		漢字	(51:養子,52:養女)であること			

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人情報表示							
処理名	4.0 別紙1 ［入力審査］						備考	
(1)「養父母との続柄」が入力されたか?(YES,NO)				/				
YES	(2)「養父氏名」≠空白 または 「養母氏名」≠空白か? (YES,NO)			/				
	YES	→			(3)本紙へ			
	NO	(4)エラーメッセージ 「続柄が入力してあるにも係わらず,養父又は養母氏名が入力されていません。」 を表示する						
NO	(5)「養父氏名」=空白 かつ 「養母氏名」=空白か? (YES,NO)			/				
	YES	→			(6)本紙へ			
	NO	(7)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が入力されているにも係わらず,続柄が記録されていません。」 を表示する						

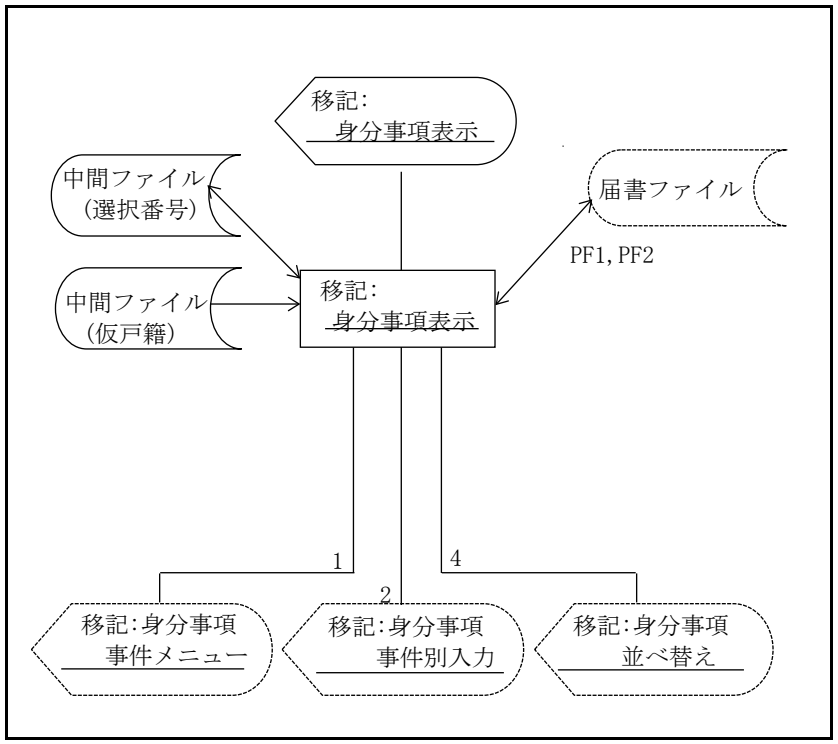
要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人情報表示						
処理名	5.0 別紙3 ［中間ファイル(仮戸籍)の更新･作成］					備考	
(1)従前「父氏名」≠「父氏名」 または 従前「母氏名」≠「母氏名」 または 従前「父母との続柄」≠「父母との続柄」 または 従前「養父氏名」≠「養父氏名」 または 従前「養母氏名」≠「養母氏名」 または 従前「養父母との続柄」≠「養父母との続柄」であるか?			/			従前:当画面表示当初の記録内容	
YES	(2)中間ファイル(仮戸籍)の個人特定情報を更新する [5.1]			(3)本紙へ			
NO	→						

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和2年3月31日	版	R2.1
作業名	個人情報表示							
処理名	5.1 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)個人特定編集･出力							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報管理	個人異動区分							R2.1(移記事項入力-14) ″管理情報″を具体的項目名に修正
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	個人番号		個人情報表示画面					
	戸籍番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父氏名				
	養母			養母氏名				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号							
	住所							
	個人除区分							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項表示

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)移記戸籍構成員一覧で入力された「明細番号」(個人管理番号)で中間ファイル(仮戸籍)を検索し,該当者の身分事項をすべて画面に表示する
(2)選択された「処理番号」から各処理に振り分ける
(2)-1「移記」が選択された場合
移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す
(2)-2「修正」が選択され,「明細番号」が入力された場合
移記:身分事項事件別入力処理に「明細番号」と制御を渡す
(2)-3「消除」が選択され,「明細番号」が入力された場合
消除された身分事項を高輝度等で表示する
(2)-4「並べ替え」が選択された場合
移記:身分事項並べ替え処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記:身分事項表示画面)
  - 1.1 画面表示
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 審査
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項表示
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む				/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード
(2)個人管理番号に該当する者の「個人特定情報」「氏名情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む				/		画面ヘッド部表示	
(3)個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む				/			
(4)移記:身分事項表示画面を編集する [1.0]、別紙[1.1]					(5)同画面を編集する	複数画面を考慮する	
(6)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、PF7、PF8、その他)				/			
実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/			
	YES	(8)審査(OK:YES,NG:NO) [4.0]		/			
		YES	(9)処理区分は何か?(1,2,3,4)	/			
			1:記載	(10)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [5.0]		(11)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す	
			2:修正	(12)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する ([5.0])		(13)移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す	
			3:削除	(14)該当の「身分事項」のインデックスをすべて高輝度表示する		(15)同画面を編集する	:中間ファイル(仮戸籍)から削除からは削除せず画面上で対応し、処理終了時(PF4、PF5)の際に削除する
			4: 並べ替え	→		(16)移記:身分事項並べ替え処理に制御を渡す	:当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除し、制御を渡す
		NO	(17)エラーメッセージを表示する			(18)同画面を編集する	
	NO	(19)各チェックで編集したメッセージを表示する					
PF1	(20中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する					(21)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(22)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する					(23)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→					(24)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」 :当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除する
PF5	(25)前画面へ					(26)個人情報表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」 :当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除する
PF7	(27)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)			/		(28)同画面を編集する	
	YES	(29)前ページ分の移記:身分事項表示画面を表示する					
	NO	(30)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する					

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF8	(31)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)			/	(32)同画面を編集する			
	YES	(33)次ページ分の移記:身分事項表示画面を表示する						
	NO	(34)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(35)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示							
処理名	1.0 移記:身分事項表示画面 編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記: 身分事項表示画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍			本籍コード 本籍		有		
	明細1〜件数3 明細番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項情報					身分事項毎に+1して表示する
	身分事項ﾀｲﾄﾙ			タイトルコード		有		身分事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は複数明細で表示する)
	身分事項			記録コード		有		
				身分事項項目				
	処理区分							1:記録〜4:並べ替え の選択入力
	選択番号							明細番号の入力

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示					
処理名	1.1 別紙(身分事項の分類)				備考	

1.身分事項の分類(従前本籍人が入籍する場合,システム上,従前の戸籍からその者の身分事項をすべて移記し,下記の表に従い画面表示を行う)〔入籍者のみ〕
〔移記不要事項〕:無条件に削除可能な身分事項 〔審査要事項〕:移記が必要かどうかの判断を必要とする身分事項

	中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報/共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件(記録コード)		〔移記要事項〕	〔移記不要事項〕 明細番号を 高輝度表示する	〔審査要事項〕 身分事項タイトルを 高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
1	養子離縁事項がある ・養子の記録(0401)	1-1 養子縁組事項がない ・養子の記録(0301)	―	養子離縁事項 ・養子の記録(0401)	―	養子縁組事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0303)は移記不要 養子離縁事項 ・養親の記録(0402)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0403)は移記不要
		1-2 養子縁組事項がある ・養子の記録(0301)	―	―	養子縁組事項 ・養子の記録(0301) 養子離縁事項 ・養子の記録(0401)	
2	養子縁組取消事項がある ・養子の記録(3501)	2-1 養子縁組事項がない ・養子の記録(0301)	―	養子縁組取消事項 ・養子の記録(3501)	―	養子縁組事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0303)は移記不要 養子縁組取消事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(3503)は移記不要
		2-2 養子縁組事項がある ・養子の記録(0301)	―	―	養子縁組事項 ・養子の記録(0301) 養子縁組取消事項 ・養子の記録(3501)	
3	特別養子離縁事項がある ・養子の記録(0601)	3-1 特別養子縁組事項がない ・養子の入籍戸籍の記録(0503)	―	特別養子離縁事項 ・養子の記録(0601)	―	特別養子縁組事項 ・養子の従前戸籍の記録(0501)は移記不要 ・養子の新戸籍の記録(0502)は移記不要 ・養親の記録(0504)は移記不要 特別養子離縁事項 ・養親の記録(0602)は移記不要 3-2:養親が外国人の場合,養子には変動がないので,特別養子縁組事項は記録されている
		3-2 特別養子縁組事項がある ・養子の入籍戸籍の記録(0503)	―	特別養子縁組事項 ・養子の入籍戸籍の記録(0503) 特別養子離縁事項 ・養子の記録(0601)	―	
4	離婚事項がある(1001)	4-1 婚姻事項がない(0901)	―	離婚事項(1001)	―	
		4-2 婚姻事項がある(0901)	―	―	婚姻事項(0901) 離婚事項(1001)	
5	配偶者死亡による婚姻解消事項がある ・死亡/死亡者の生存配偶者の記録(1602)		―	婚姻事項(0901) 死亡事項 ・死亡者の生存配偶者の記録(1602)	―	*婚姻事項(0901)は必ずある 死亡事項 ・死亡者の記録(1601)は移記不要 ・高齢者消除の記録(1603)は移記不要
6	配偶者失踪による婚姻解消事項がある ・失踪/失踪者の生存配偶者の記録(1702)		―	婚姻事項(0901) 失踪事項 ・失踪者の生存配偶者の記録(1702)	―	*婚姻事項(0901)は必ずある 死亡事項 ・失踪者の記録(1701)は移記不要

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項表示
処理名	1.1 別紙(身分事項の分類)

	中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報/共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件(記録コード)		〔移記要事項〕	〔移記不要事項〕 明細番号を 高輝度表示する	〔審査要事項〕 身分事項タイトルを 高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
7	婚姻取消事項がある (3701)	7-1 婚姻事項がない(0901)	−	婚姻取消事項(3701)	−	−
		7-2 婚姻事項がある (0901)	−	−	婚姻事項(0901) 婚姻取消事項(3701)	
8	親権(管理権)事項がある(1301)		−	−	親権(管理権)事項 (1301)	※
9	後見事項がある(1401)		−	−	後見事項(1401)	※
9-1	未成年後見事項がある(4101)		−	−	未成年後見事項(4101)	※
10	保佐事項がある(1501)		−	−	保佐事項(1501)	※
11	認知事項がある ・被認知者の記録(0201)		−	−	認知事項 ・被認知者の記録 (0201)	婚姻準正となっている者の場合、移記不要であるが、システムで判断できないため、[審査要事項]とする
12	特別養子縁組事項がある ・養子の新戸籍編製の記録(0502)		−	−	特別養子縁組事項 ・養子の新戸籍編製 の記録(0502)	養親が共に外国人の場合、養子の入籍戸籍の記録がないので新戸籍編製の記録を移記する必要があるが、システムで判断できない為、[審査要事項]とする
13	1～12の要件以外の場合で ・出生/子の記録(0101) ・認知/親に対する認知の記録(0203) ・養子縁組/養子の記録(0301) ・特別養子縁組/養子の入籍戸籍の記録(0503) ・婚姻(0901) ・推定相続人廃除(1901) ・国籍喪失/国籍喪失の配偶者の記録(2502) ・国籍選択(2601) ・外国国籍喪失(2701) ・名の変更(3201) ・外国人配偶者の国籍変更(9001) ・外国人配偶者の氏名変更(9101) ・平成15年法律第111号3条(7003)		出生/子の記録(0101) 認知/親に対する認知の記録(0203) 養子縁組/養子の記録(0301) 特別養子縁組/養子の入籍戸籍の記録 (0503) 婚姻(0901) 推定相続人廃除(1901) 国籍喪失/国籍喪失の配偶者の記録(2502) 国籍選択(2601) 外国国籍喪失(2701) 名の変更(3201) 外国人配偶者の国籍変更(9001) 外国人配偶者の氏名変更(9101) 平成15年法律第111号3条(7003)			
14	1～12の要件以外の場合及び13の要件以外の場合		−	＜該当事項＞	−	

※移記が必要かどうかは、インデックスの記録有無及び他の者のすべての身分行為(戸籍が複数の場合もある)で判断が必要な為、無条件に[審査要事項]とする。

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示								
処理名				画面名	画面ID				
2.0 単体チェック				移記:身分事項表示画面					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	1 (記録) または 2 (修正)または 3 (削除) または 4 (並べ替え) であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している身分事項のNo.であること(MAX13)			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示						
処理名		画面名	画面ID				
3.0 関連チェック		移記:身分事項表示画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1) 処理区分=1 (記録) のとき　または　(No.1) 処理区分=4 (並べ替え) のとき (No.2) 選択番号=スペース　であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1) 処理区分=2 (修正) のとき　または　(No.1) 処理区分=3 (消除) のとき (No.2) 選択番号≠スペース　であること			

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項表示	
処理名	4.0 審査 (1:記録、4:並べ替え)	備考

1. 処理区分の審査1

	中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報/管理 個人異動区分	処理区分 1:記録	 4:並べ替え
Ⅰ	0:(記録なし)	○	○
Ⅱ	1:記録 (異動なし記録のみ)	×①	×①
Ⅲ	2:入籍	○	○
Ⅳ	3:除籍	×②	×②
Ⅴ	4:入籍除籍	○	○

〔処理手順〕

(1)中間ファイル(選択番号)の個人管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報を読む
→ 個人異動区分
個人異動形態区分(未使用)の取得

(2) (1)で取得した区分と移記:身分事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
(2)-1「○」の場合
本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す

(2)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「指定した該当者に対して移記の処理はできません。」
②「除籍者に対して移記の処理はできません。」

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項表示	
処理名	4.0 審査 (2:修正、3:削除)	備考

2. 処理区分の審査2

中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報/管理		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報/管理	処理区分	
	個人異動区分	身分事項記録区分	2:修正	3:削除
Ⅰ	0:(記録なし)	0:既存の記録	× ①	× ②
		1:審査処理で記録	× ③	× ④
		2:移記処理(事件別)で記録	○	○
Ⅱ	1:記録 (異動なし記録のみ)	0:既存の記録	× ①	× ②
		1:審査処理で記録	× ③	× ④
		2:移記処理(事件別)で記録	−	−
Ⅲ	2:入籍	0:既存の記録	○	○
		1:審査処理で記録	× ③	× ④
		2:移記処理(事件別)で記録	○	○
Ⅳ	3:除籍	0:既存の記録	× ⑤	× ⑤
		1:審査処理で記録	× ⑤	× ⑤
		2:移記処理(事件別)で記録	−	−
Ⅴ	4:入籍除籍	0:既存の記録	○	○
		1:審査処理で記録	× ③	× ④
		2:移記処理(事件別)で記録	○	○

〔処理手順〕

(1)中間ファイル(選択番号)の個人管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報を読む
→ 個人異動区分
個人異動形態区分(未使用)の取得

(2)移記:身分事項表示画面で入力された明細番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報を読む
→ 身分事項記録区分の取得

(3) (1)及び(2)で取得した区分と移記:身分事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
(3)-1「○」の場合
本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す

(3)-2「×」の場合
本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「従前からある記録事項ですので修正できません。」
②「従前からある記録事項ですので削除できません。」
③「審査で記録した事項ですので修正できません。」
④「審査で記録した事項ですので削除できません。」
⑤「除籍者に対して移記の処理はできません。」

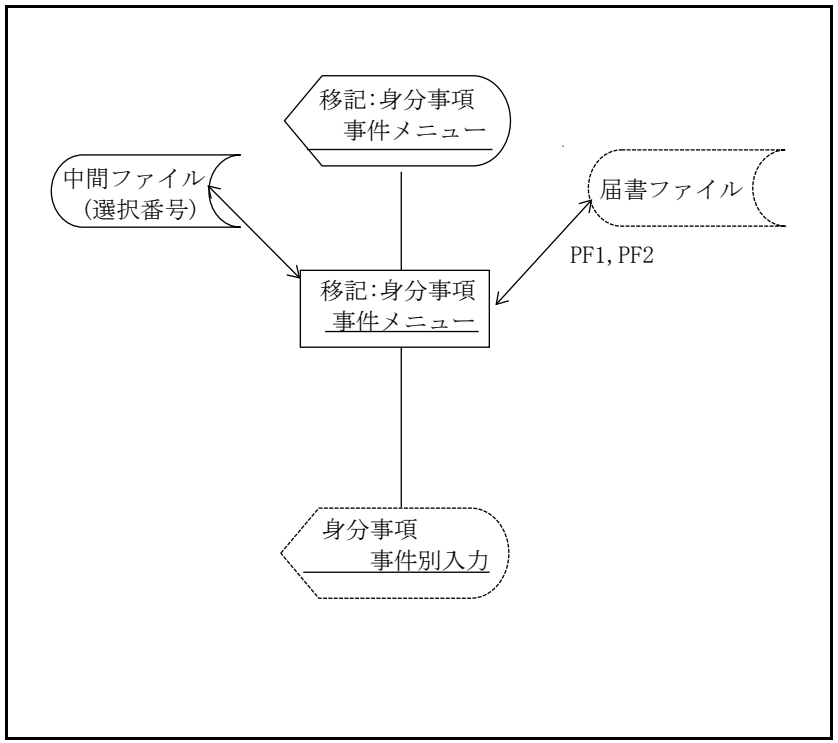
データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項表示								
処理名	5.0 中間ファイル（選択番号）編集･出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分		移記: 身分事項表示画面	処理区分				
		明細番号		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報	明細番号				処理区分が 2:修正の場合に、移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）の明細番号を設定する
		記録コード			記録コード				処理区分が 2:修正の場合に、移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）の明細番号を設定する

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項事件メニュー

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3. 処理概要

(1)移記:身分事項事件メニュー画面を表示する
(2)入力された「選択番号」から移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集(移記:身分事項事件メニュー画面)
├ 2.0 単体チェック
└ 3.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)[更新]

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件メニュー							
処理名	0.0 本紙					備考		
(1)中間ファイル(選択番号)を読む				/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード	
(2)個人管理番号に該当する者の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）から読む				/		画面ヘッド部表示		
(3)移記:身分事項事件メニュー画面を出力する [1.0]				/	(4)同画面を編集する			
(5)キー選択（実行キー、PF1、PF2、PF4、FF5、その他）				/				
実行キー	(6)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/				
	YES	(7) 中間ファイル（選択番号）を編集･出力する [3.0]			(8) 移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す			
	NO	(9) チェックで編集したメッセージを表示する			(10)同画面を編集する			
PF1	(11)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの｢届書排他区分｣に'0'を設定する				(12)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」		
PF2	(13)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの｢届書排他区分｣に'0'を設定する				(14)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」		
PF4	→				(15)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」		
PF5	(16)前画面へ				(17)移記:身分事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」		
その他	(18)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

第7-2-(9) 「移記事項入力」処理

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件メニュー							
処理名	1.0 移記:身分事項事件ﾒﾆｭｰ画面編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:身分事項 事件メニュー画面	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分			配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	選択番号							明細番号の入力

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 7月16日	版	8.2
作業名	移記:身分事項事件メニュー						
処理名		画面名	画面ID				
2.0 単体チェック		移記:身分事項事件メニュー画面					

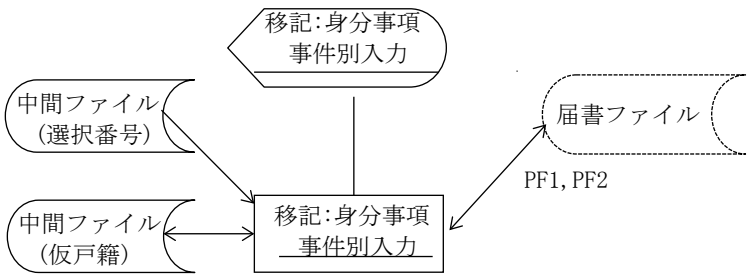
No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1(出生) または 20(認知:被認知者の記録) または 21(認知:親に対する認知の記録) または 3(養子縁組) または 40(特別養子縁組:養子の新戸籍編製の記録) または 41(特別養子縁組:養子の入籍戸籍の記録) または 5(婚姻) または 6(親権(管理権)) または 70(後見) または 71(未成年後見) または 8(保佐) または 9(推定相続人廃除) または 10(国籍選択) または 11(配偶者の国籍喪失) または 12(外国国籍喪失) または 13(名の変更) または 90(外国人配偶者の国籍変更) または 91(外国人配偶者の氏名変更) または 92(平成15年法律第111号3条)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		41の番号が使われているため、後見の番号修正と共に、未成年後見を追加

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 7月16日	版	8.2
作業名	移記:身分事項事件メニュー							
処理名	3.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号							移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード							移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍 戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項 処理区分							
	戸籍事項 明細番号							
	戸籍事項 記録コード							
	個人 個人管理番号							移記戸籍構成員一覧画面で設定済
	身分事項 処理区分							移記:身分事項表示画面で設定済
	身分事項 明細番号							
	身分事項 記録コード		移記:身分事項 事件メニュー画面	(選択番号)	-選択番号=1(出生)の場合 '0101'を設定 -選択番号=20(認知:被認知者の記録)の場合 '0201'を設定 -選択番号=21(認知:親に対する認知)の場合 '0203'を設定 -選択番号=3(養子縁組)の場合 '0301'を設定 -選択番号=40(特別養子縁組:養子の新戸籍編製)の場合 '0502'を設定 -選択番号=41(特別養子縁組:養子の入籍戸籍)の場合 '0503'を設定 -選択番号=5(婚姻)の場合 '0901'を設定 -選択番号=6(親権(管理権))の場合 '1301'を設定 -選択番号=70(後見)の場合 '1401'を設定	-選択番号=71(未成年後見)の場合 '4101'を設定 -選択番号=8(保佐)の場合 '1501'を設定 -選択番号=9(推定相続人廃除)の場合 '1901'を設定 -選択番号=10(国籍選択)の場合 '2601'を設定 -選択番号=11(配偶者の国籍喪失)の場合 '2502'を設定 -選択番号=12(外国国籍喪失)の場合 '2701'を設定 -選択番号=13(名の変更)の場合 '3201'を設定 -選択番号=90(配偶者の国籍変更)の場合 '9001'を設定 -選択番号=91(配偶者の氏名変更)の場合 '9101'を設定 -選択番号=92(平成15年法律第111号3条)の場合 '7003'を設定	

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)「身分事項処理区分」から記録、修正、削除の処理を行う
(3)「身分事項処理区分」が「記録」の場合
　(3)-1「身分事項記録番号」から該当事件の入力画面を出力する
　(3)-2入力項目のチェックを行う
　(3)-3中間ファイル(仮戸籍)の身分事項情報に入力した身分事項を追加する
(4)「身分事項処理区分」が「修正」の場合
　(4)-1「身分事項明細番号」「身分事項記録番号」から該当事件の修正画面を出力する
　(4)-2入力項目のチェックを行う
　(4)-3中間ファイル(仮戸籍)の該当身分事項情報の更新を行う

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1 (記録)
  - 1.1.0101 ～ 1.1.9101　事件別 入力画面の表示
  - 1.2.0101 ～ 1.2.9101　事件別 入力項目のチェック
  - 1.3.0101 ～ 1.3.9101　事件別 中間ファイル(仮戸籍)への追加
- 2.0 別紙2 (修正)
  - 2.1.0101 ～ 1.2.9101　事件別 修正画面の表示
  - (1.2.0101) ～ (1.2.9101)　事件別 修正項目のチェック
  - (1.3.0101) ～ (1.3.9101)　事件別 中間ファイル(仮戸籍)の修正

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	0.0 本紙				備考		

(1)中間ファイル(選択番号)を読む		/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●個人管理番号 ●身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(2)個人管理番号に該当する者の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む		/		画面ヘッド部表示	
(3)身分事項処理区分は何か？(1:記録、2:修正)		/			
1	(4)身分事項の「記録」の処理を行う 別紙[1.0]	/			
2	(5)身分事項の「修正」の処理を行う 別紙[2.0]	/			

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 7月16日	版	8.2
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	1.0 別紙1(記録)				備考		
(1)身分事項記録番号は何か？ (0101,0201,0203,0301,0502,0503,0901,1301,1401,1501,2001,2502,2601,2701,3201,4101,9001,9101,7003)		/				(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ －個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 ●身分事項記録コード	
0101 出生/子	(2)身分事項事件別入力画面を編集する(入力画面) [1.1.0101]	/		*1			
	(3)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF9、PF12、その他)	/					
	実行キー (4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.0101][1.3.0101]	/		*2,*3			
	YES →		(5)同画面を編集する				
	NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する						
	PF1 (7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す		「処理中止」「届書ロック解除」		
	PF2 (9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す		「処理中止」「届書ロック解除」		
	PF5 (11)前画面へ		(12)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す		「当プロセスのみ処理中止」		
	PF7 (13)前ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/	(14)同画面を編集する				
	YES (15)前ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する						
	NO (16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
	PF8 (17)次ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/					
	YES (18)次ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する						
	NO (19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
	PF9 (20)入力項目が、すべてチェックされているか？(YES,NO)	/		*4	※	入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと 入籍者⇒審査で記録された事項の1つ前に格納する 変動なし者⇒一番最後に格納する	
	YES (21)入力画面から身分事項を編集し、中間ファイル(仮戸籍)に[身分事項情報]を追加する [1.4.001]		(22)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す				
	NO (23)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する。		(24)同画面を編集する				
	PF12 (25)画面を初期化する		(26)同画面を編集する				
	その他 (27)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
0201	※と同様の処理を行う *1[1.1.0201]*2[1.2.0201]*3[1.3.0201]*4[1.4.0201]	/		認知の処理/被認知者			
0203	※と同様の処理を行う *1[1.1.0203]*2[1.2.0203]*3[1.3.0203]*4[1.4.0203]	/		認知の処理/認知を受けた親の直系卑属			
0301	※と同様の処理を行う *1[1.1.0301]*2[1.2.0301]*3[1.3.0301]*4[1.4.0301]	/		養子縁組の処理/養子			
0502	※と同様の処理を行う *1[1.1.0502]*2[1.2.0502]*3[1.3.0502]*4[1.4.0502]	/		特別養子縁組の処理/養子の新戸籍編製			

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 7月16日	版	8.2
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	1.0 別紙1(記録)					備考	
0503	※と同様の処理を行う *1[1.1.0503]*2[1.2.0503]*3[1.3.0503]*4[1.4.0503]	/				特別養子縁組の処理/養子の入籍戸籍	
0901	※と同様の処理を行う *1[1.1.0901]*2[1.2.0901]*3[1.3.0901]*4[1.4.0901]	/				婚姻の処理	
1301	※と同様の処理を行う *1[1.1.1301]*2[1.2.1301]*3[1.3.1301]*4[1.4.1301]	/				親権(管理権)の処理	
1401	※と同様の処理を行う *1[1.1.1401]*2[1.2.1401]*3[1.3.1401]*4[1.4.1401]	/				後見の処理	
1501	※と同様の処理を行う *1[1.1.1501]*2[1.2.1501]*3[1.3.1501]*4[1.4.1501]	/				保佐の処理	
2001	※と同様の処理を行う *1[1.1.2001]*2[1.2.2001]*3[1.3.2001]*4[1.4.2001]	/				推定相続人廃除の処理	
2502	※と同様の処理を行う *1[1.1.2502]*2[1.2.2502]*3[1.3.2502]*4[1.4.2502]	/				国籍喪失の処理/国籍喪失者の配偶者	
2601	※と同様の処理を行う *1[1.1.2601]*2[1.2.2601]*3[1.3.2601]*4[1.4.2601]	/				国籍選択の処理	
2701	※と同様の処理を行う *1[1.1.2701]*2[1.2.2701]*3[1.3.2701]*4[1.4.2701]	/				外国国籍喪失の処理	
3201	※と同様の処理を行う *1[1.1.3201]*2[1.2.3201]*3[1.3.3201]*4[1.4.3201]	/				名の変更の処理	
4101	※と同様の処理を行う *1[1.1.4101]*2[1.2.4101]*3[1.3.4101]*4[1.4.4101]	/				未成年後見の処理	
9001	※と同様の処理を行う *1[1.1.9001]*2[1.2.9001]*3[1.3.9001]*4[1.4.9001]	/				外国人配偶者の国籍変更の処理	
9101	※と同様の処理を行う *1[1.1.9101]*2[1.2.9101]*3[1.3.9101]*4[1.4.9101]	/				外国人配偶者の氏名変更の処理	
7003	※と同様の処理を行う *1[1.1.7003]*2[1.2.7003]*3[1.3.7003]*4[1.4.7003]	/				平成15年法律第111号3条の処理	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 7月16日	版	8.2
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	2.0 別紙2(修正)						備考	
(1)身分事項記録番号は何か？ (0101,0201,0203,0301,0502,0503,0901,1301,1401,1501,2001,2502,2601,2701,3201,4101,9001,9101,7003)			/				(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ －個人管理番号 －身分事項処理区分 ●身分事項明細番号 ●身分事項記録コード	
0101 出生/子	(2)身分事項明細番号に該当する身分事項を中間ファイル(仮戸籍)の身分事項情報から取得し、身分事項事件別入力画面を編集する(修正画面) [2.1.0101]		/		*1			
	(3)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF9、その他)		/		*2,*3			
	実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.0101][1.3.0101]	/					
		YES →		(5)同画面を編集する				
		NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する						
	PF1	(7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す			「処理中止」「届書ロック解除」	
	PF5	(11)前画面へ		(12)移記:身分事項表示処理に制御を渡す			「当プロセスのみ処理中止」	
	PF7	(13)前ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/	(14)同画面を編集する				
		YES (15)前ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する						
		NO (16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
	PF8	(17)次ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/					
		YES (18)次ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する						
		NO (19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
	PF9	(20)入力項目が、すべてチェックされているか？(YES,NO)	/		*4	※	入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと:身分事項情報の管理部、共通部は更新しない	
		YES (21)中間ファイル(仮戸籍)の[身分事項情報]を修正する [1.4.001]		(22)移記:身分事項表示処理に制御を渡す				
		NO (23)エラーメッセージ 「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」 を表示する。		(24)同画面を編集する				
	その他	(25)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
0201	※と同様の処理を行う *1[1.1.0201]*2[1.2.0201]*3[1.3.0201]*4[1.4.0201]		/		認知の処理/被認知者			
0203	※と同様の処理を行う *1[1.1.0203]*2[1.2.0203]*3[1.3.0203]*4[1.4.0203]		/		認知の処理/認知を受けた親の直系卑属			
0301	※と同様の処理を行う *1[1.1.0301]*2[1.2.0301]*3[1.3.0301]*4[1.4.0301]		/		養子縁組の処理/養子			
0502	※と同様の処理を行う *1[1.1.0502]*2[1.2.0502]*3[1.3.0502]*4[1.4.0502]		/		特別養子縁組の処理/養子の新戸籍編製			

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年 7月16日	版	8.2
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	2.0 別紙2(修正)					備考	
0503	※と同様の処理を行う *1[1.1.0503]*2[1.2.0503]*3[1.3.0503]*4[1.4.0503]	/				特別養子縁組の処理/養子の入籍戸籍	
0901	※と同様の処理を行う *1[1.1.0901]*2[1.2.0901]*3[1.3.0901]*4[1.4.0901]	/				婚姻の処理	
1301	※と同様の処理を行う *1[1.1.1301]*2[1.2.1301]*3[1.3.1301]*4[1.4.1301]	/				親権(管理権)の処理	
1401	※と同様の処理を行う *1[1.1.1401]*2[1.2.1401]*3[1.3.1401]*4[1.4.1401]	/				後見の処理	
1501	※と同様の処理を行う *1[1.1.1501]*2[1.2.1501]*3[1.3.1501]*4[1.4.1501]	/				保佐の処理	
2001	※と同様の処理を行う *1[1.1.2001]*2[1.2.2001]*3[1.3.2001]*4[1.4.2001]	/				推定相続人廃除の処理	
2502	※と同様の処理を行う *1[1.1.2502]*2[1.2.2502]*3[1.3.2502]*4[1.4.2502]	/				国籍喪失の処理/国籍喪失者の配偶者	
2601	※と同様の処理を行う *1[1.1.2601]*2[1.2.2601]*3[1.3.2601]*4[1.4.2601]	/				国籍選択の処理	
2701	※と同様の処理を行う *1[1.1.2701]*2[1.2.2701]*3[1.3.2701]*4[1.4.2701]	/				外国国籍喪失の処理	
3201	※と同様の処理を行う *1[1.1.3201]*2[1.2.3201]*3[1.3.3201]*4[1.4.3201]	/				名の変更の処理	
4101	※と同様の処理を行う *1[1.1.4101]*2[1.2.4101]*3[1.3.4101]*4[1.4.4101]	/				未成年後見の処理	
9001	※と同様の処理を行う *1[1.1.9001]*2[1.2.9001]*3[1.3.9001]*4[1.4.9001]	/				外国人配偶者の国籍変更の処理	
9101	※と同様の処理を行う *1[1.1.9101]*2[1.2.9101]*3[1.3.9101]*4[1.4.9101]	/				外国人配偶者の氏名変更の処理	
7003	※と同様の処理を行う *1[1.1.7003]*2[1.2.7003]*3[1.3.7003]*4[1.4.7003]	/				平成15年法律第111号3条の処理	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	1.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:身分事項事件別入力画面(出生)	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	出生日			生年月日				
	出生地							
	父の国籍							
	父の生年月日							
	母の国籍							
	母の生年月日							
	届出日							
	航海日誌謄本提出日							
	届出人資格区分							
	届出人資格名称							
	届出人氏名							
	届出人の戸籍の本籍							
	届出人の戸籍の筆頭者							
	届出人の国籍							
	届出人の生年月日							
	父の氏名							
	父の戸籍の本籍							
	父の戸籍の筆頭者							
	母の氏名							
	母の戸籍の本籍							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	1.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	母の戸籍の筆頭者							
	国籍留保の届出日							
	国籍留保の届出人							
	国籍留保の届出人資格区分							
	国籍留保の届出人資格名称							
	国籍留保の届出人氏名							
	国籍留保の届出人国籍							
	国籍留保の届出人生年月日							
	送付を受けた日							
	受理者							
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍日							
	従前戸籍の本籍							
	従前戸籍の筆頭者							
	除籍日							
	新本籍							
	入籍戸籍の戸籍							
	入籍戸籍の筆頭者							
	記録日							
	特記事項							

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名		画面名	画面ID				
1.2.0101 単体チェック		移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出生日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」 中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報の生年月日と異なる場合高輝度表示する。	「項目エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	出生地		漢字	「住所変換サブルーチン」			
3	父の国籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
4	父の生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
5	母の国籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
6	母の生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
7	届出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	航海日誌謄本提出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	届出人資格区分		英数				
10	届出人氏名		漢字				
11	届出人の戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
12	届出人の戸籍の筆頭者		漢字				
13	届出人の国籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
14	届出人の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	父の氏名		漢字				
16	父の戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
17	父の戸籍の筆頭者		漢字				
18	母の氏名		漢字				
19	母の戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
20	母の戸籍の筆頭者		漢字				
21	国籍留保の届出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	国籍留保の届出人資格区分		英数				
23	国籍留保の届出人氏名		漢字				

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名		画面名	画面ID				
1.2.0101 単体チェック		移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)					

No	内容				出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	国籍留保の届出人の国籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
25	国籍留保の届出人の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	送付を受けた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	受理者		漢字	「住所変換サブルーチン」			
28	許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	許可書謄本の送付を受けた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	許可を受けた者		漢字	「住所変換サブルーチン」			
31	入籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
32	従前戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
33	従前戸籍の筆頭者		漢字				
34	除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	新本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
36	入籍戸籍の本籍		漢字	「住所変換サブルーチン」			
37	入籍戸籍の筆頭者		漢字				
38	記録日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
39	特記事項		漢字				

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名		画面名	画面ID				
1.3.0101 関連チェック		移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)父の国籍≠空白のとき (No.4)父の生年月日≠空白であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.5)母の国籍≠空白のとき (No.6)母の生年月日≠空白であること			
3	(No.12)届出人の戸籍の筆頭者≠空白のとき (No.11)届出人の戸籍の本籍≠空白であること			
4	(No.24)国籍留保の届出人の国籍≠空白のとき (No.25)国籍留保の届出人の生年月日≠空白であること			
5	(No.32)従前戸籍の筆頭者≠空白のとき (No.33)従前戸籍の本籍≠空白であること			
6	(No.36)入籍戸籍の筆頭者≠空白のとき (No.37)入籍戸籍の本籍≠空白であること			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報管理	個人管理番号			中間ファイル (選択番号)	個人管理番号				:その他の「管理」情報は省略
	身分事項記録区分				「2」 移記処理(事件別)で記録				身分事項記録区分 1:既存の記録 2:審査処理で記録 3:移記処理(事件別)で記録 4:移記処理(個人情報)で記録
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報共通	個人番号								
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード			移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子)	「0101」				【出生】
	記録コード				「0101」				出生(子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				出生日				
	身分事項項目								次ページ以降に記録
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報	出生	出生日			出生日		有		
		出生地			出生地				
	外国人父母	父の国籍			父の国籍				
		父の生年月日			父の生年月日		有		
		母の国籍			母の国籍				
		母の生年月日			母の生年月日		有		
	届出	届出日			届出日		有		
		航海日誌の謄本提出日			航海日誌謄本提出日		有		
		届出人 資格			届出人資格区分				
		届出人 資格名称			届出人資格名称				
		届出人 氏名			届出人氏名				
		戸籍の届出人 本籍			届出人の戸籍の本籍				
		戸籍の届出人 筆頭者			届出人の戸籍の筆頭者				

データ編集表		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力						
処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報 (出生/子の記録)編集・出力						

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	届出人の国籍				届出人の国籍				
	届出人の生年月日				届出人の生年月日				
日本人父母	父の氏名				父の氏名				
	父の戸籍	本籍			父の戸籍の本籍				
		筆頭者			父の戸籍の筆頭者				
	母の氏名				母の氏名				
	母の戸籍	本籍			母の戸籍の本籍				
		筆頭者			母の戸籍の筆頭者				
国籍留保	国籍留保の届出日				国籍留保の届出日		有		
	国籍留保の届出人	資格			国籍留保の届出資格区分				
		資格名称			国籍留保の届出資格名称				
		氏名			国籍留保の届出人氏名				
	国籍留保の届出人の国籍				国籍留保の届出人の国籍				
	国籍留保の届出人の生年月日				国籍留保の届出人の生年月日		有		
送付	送付を受けた日				送付を受けた日		有		
	受理者				受理者				
許可	許可日				許可日		有		
	許可書謄本の送付を受けた日				許可書謄本の送付を受けた日		有		
	許可を受けた者				許可を受けた日		有		
入籍	入籍日				入籍日		有		
入戸籍	従前戸籍	本籍			従前戸籍の本籍				
		筆頭者			従前戸籍の筆頭者				
除籍	除籍日				除籍日		有		

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力								
処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報 (出生/子の記録)編集・出力								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	除戸籍	新本籍			新本籍				
		入籍戸籍 本籍			入籍戸籍の本籍				
		入籍戸籍 筆頭者			入籍戸籍の筆頭者				
	記録	記録日			記録日				
	特記	特記事項			特記事項				
	※ ①一番左の項目:グループ名 ②次の項目:インデックス名								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	2.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:身分事項 事件別入力画面 (出生/子の記録)	現ページ/総ページ						Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分			配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	出生日		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報 (出生/子の記録)	出生日		有		
	出生地			出生地				
	父の国籍			父の国籍				
	父の生年月日			父の生年月日		有		
	母の国籍			母の国籍				
	母の生年月日			母の生年月日		有		
	届出日			届出日		有		
	航海日誌謄本提出日			航海日誌謄本提本提出日		有		
	届出人資格区分			届出人資格区分				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人氏名				
	届出人の戸籍の本籍			届出人の戸籍の本籍				
	届出人の戸籍の筆頭者			届出人の戸籍の筆頭者				
	届出人の国籍			届出人の国籍				
	届出人の生年月日			届出人の生年月日		有		
	父の氏名			父の氏名				
	父の戸籍の本籍			父の戸籍の本籍				
	父の戸籍の筆頭者			父の戸籍の筆頭者				
	母の氏名			母の氏名				
	母の戸籍の本籍			母の戸籍の本籍				

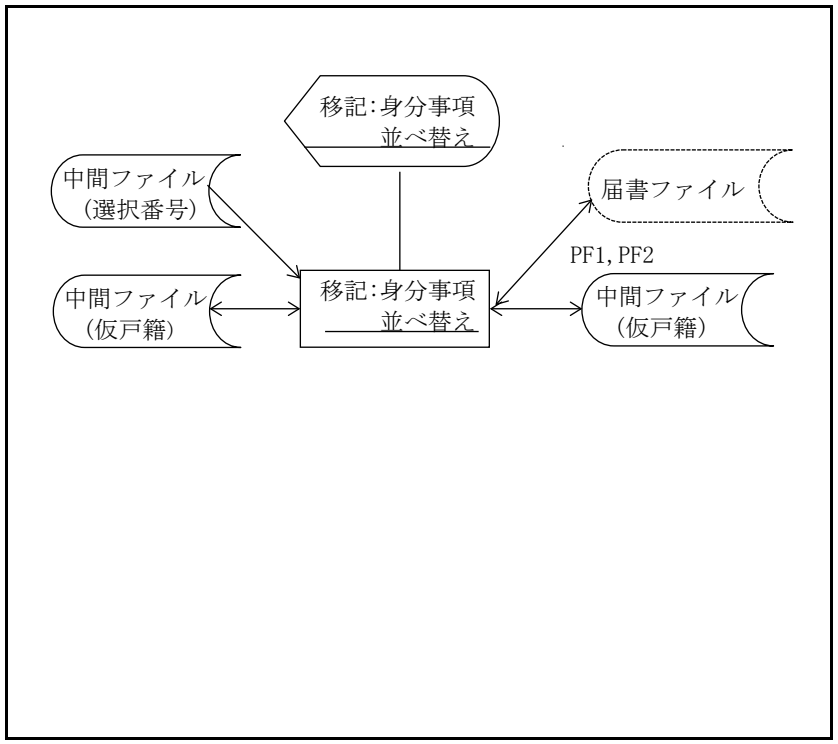
データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項事件別入力							
処理名	2.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	母の戸籍の筆頭者			母の戸籍の筆頭者				
	国籍留保の届出日			国籍留保の届出日		有		
	国籍留保の届出人資格区分			国籍留保の届出人資格区分				
	国籍留保の届出人資格名称			国籍留保の届出人資格名称				
	国籍留保の届出人の国籍			国籍留保の届出人の国籍				
	国籍留保の届出人の生年月日			国籍留保の届出人の生年月日		有		
	送付を受けた日			送付を受けた日		有		
	受理者			受理者				
	許可日			許可日		有		
	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日		有		
	許可を受けた者			許可を受けた者				
	入籍日			入籍日		有		
	従前戸籍			従前戸籍の本籍				
	従前筆頭者			従前戸籍の筆頭者				
	除籍日			除籍日		有		
	新本籍			新本籍				
	入籍戸籍の本籍			入籍戸籍の本籍				
	入籍戸籍の筆頭者			入籍戸籍の筆頭者				
	記録日			記録日		有		
	特記事項			特記事項				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項並べ替え

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(身分事項)	入出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)1身分事項のタイトルを1明細として一覧で表示する
(3)身分事項の並べ替えを指示する
・異動のない者で、従前からある身分事項は並べ替えの対象外
(4)身分事項表示に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集(中間ファイル/身分事項)
├ 2.0 データ編集(移記:身分事項並べ替え画面)
└ 3.0 審査

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項並べ替え						
処理名	0.0 本紙				備考		
(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む			/			(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ ●戸籍管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード	
(2)個人管理番号に該当する戸籍の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)を読む			/				
(3)個人管理番号に該当する戸籍の「身分事項」情報を中間ファイル(仮戸籍)を読む			/		当ﾌﾟﾛｾｽのWORKﾌｧｲﾙ		
(4)中間ファイル(身分事項)を編集・出力する [1.0]			/				
(5)中間ファイル(身分事項)から移記:身分事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]				(6)同画面を編集する	複数画面を考慮する		
(7)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、PF7、PF8、PF9、その他)			/				
実行キー	(8)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]		/				
	YES (9)中間ファイル(身分事項)を新明細番号に従って並べ替えを行う		/				
	(10)中間ファイル(身分事項)から移記:身分事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]			(11)同画面を編集する			
	NO (12)チェックで編集したメッセージを表示する						
PF1	(13)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(14)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」		
PF2	(15)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(16)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」		
PF4	→			(17)移記戸籍構成員一覧に制御を渡す	「処理終了」		
PF5	(18)前画面へ、中間ファイル(身分事項)を削除する			(19)移記:身分事項表示一覧に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」		
PF7	(20)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/	(21)同画面を編集する			
	YES (22)前ページ分の移記:身分事項並べ替え画面を出力する						
	NO (23)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(24)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)		/				
	YES (25)次ページ分の移記:身分事項並べ替え画面を出力する						
	NO (26)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF9	(27)中間ファイル(身分事項)を基に中間ファイル(仮戸籍)の身分事項の並べ替えを行う		/		当PFキーにより中間ファイル(仮戸籍)に並べ替えの処理結果が反映される		
	(28)中間ファイル(身分事項)を削除する			(29)身分事項表示処理に制御を渡す			
その他	(30)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(31)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項並べ替え							
処理名	1.0中間ファイル(身分事項)編集・出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (身分事項)	明細件数							身分事項の記録件数を格納する
	明細番号							:1身分事項毎に+1を付加する
	身分事項記録区分		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報管理	身分事項記録区分				:身分事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理で記録 2:移記処理(事件別)で記録 3:移記処理(個人情報)で記録
	身分事項コード		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項情報共通	タイトルコード				複数明細あり (認知等、同一記録コードの明細が複数あり得る野で注意すること)
	身分事項名称			タイトルコード		有		

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	移記:身分事項並べ替え								
処理名	2.0 移記:身分事項並べ替え画面編集・出力								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:身分事項並べ替え画面	現ページ/総ページ							Z9/Z9	
	漢字氏名			中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日				生年月日		有		
	筆頭者区分				筆頭者区分		有		「筆頭者」
	配偶者区分				配偶者区分		有		「夫」「妻」「生存配偶者」
	本籍				本籍コード		有		
					本籍				
	明細件数1〜13	明細番号		中間ファイル(身分事項)					1身分事項毎に+1して表示する
		新明細番号							入力項目、表示する身分事項の身分事項処理区分が0[既存の記録]の場合、その者が戸籍に変動がなければ、新明細番号を入力不可(プロテクト)する →戸籍に変動がない者の従前の記録は並べ替えできない
		身分事項			身分事項名称				

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	移記:身分事項並べ替え
処理名	3.0 審査

							備考
(1)中間ファイル(身分事項)の明細件数の数だけ(3)～(19)の処理を繰り返す						(2)本紙へ	
	(3)新明細番号が入力されているか?(YES,NO)				/		
	YES	(4)新明細番号≦中間ファイル(身分事項)の明細件数であるか?(YES,NO)			/		
		YES	(5) → (8)へ		/		
		NO	(6)エラーメッセージ 「入力された明細番号が身分事項件数を超えています。」を表示する			(7)本紙へ	
		(8)該当者は『戸籍に入籍する者』か『戸籍に変動のない者』か?			/		:中間ファイル(仮戸籍)の個人特定情報/管理で判断する
		入籍	(9) → (16)へ		/		
		変動なし	(10)既存の記録(従前からある記録)の明細の明細番号を新明細番号としているか?		/		戸籍に変動ない者の既存の記録(従前からある記録)の並べ替えは不可
			YES	(11)エラーメッセージ 「入力された明細番号は既存の記録ですので、並べ替えできません。」 を表示する		(12)本紙へ	
			NO	(13) → (16)へ	/		
	NO	(14)明細番号を新明細番号に転送する			/		新明細番号が入力されていない場合も、中間ファイル(身分事項)の並べ替えは、新明細番号を基に行うため、同一番号を設定する
		(15) → (11)へ			/		
	(16)新明細番号は重複しているか?(YES,NO)				/		チェック済[(3)～(15)]の新明細番号のすべてと比較し、判断する
	YES	(17)エラーメッセージ 「入力されている明細番号が重複しています。」を表示する				(18)本紙へ	
	NO	(19)→					

第7.2.(10)

「決裁用帳票出力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

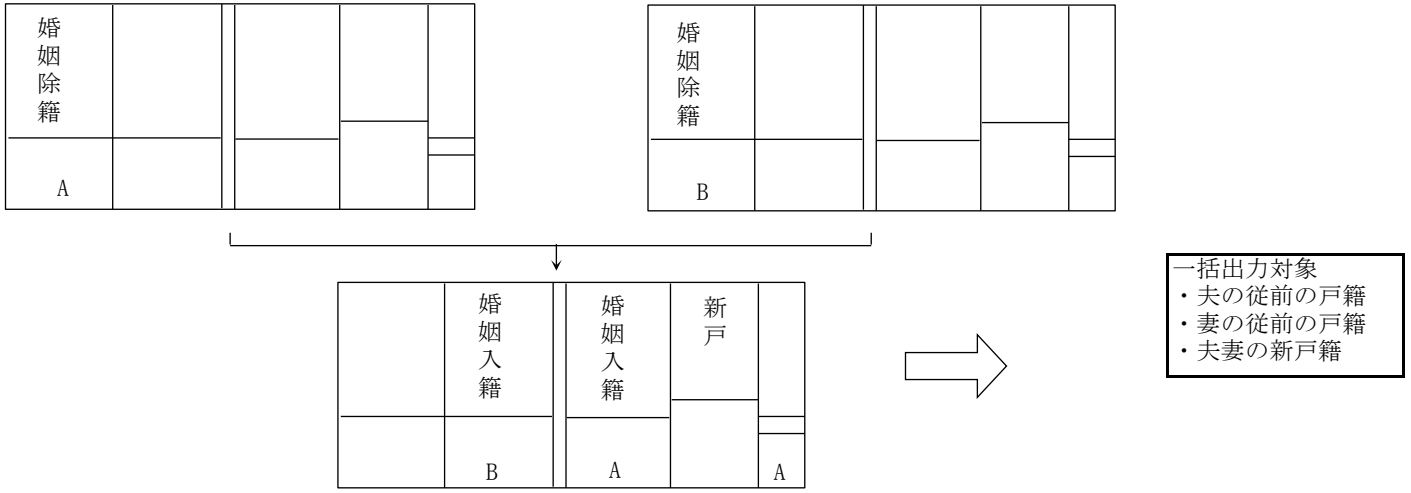
項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	決裁用帳票出力処理					

決裁処理において、戸籍の記載確認を行うための補助資料出力処理であり、仮戸籍表示と同様に『受理』の届のもののみが、出力対象である。
この処理は、単独での処理の形態をとらず、他の処理の中で出力処理を行う。

1. 出力様式
　様式は、「全部事項証明」に準じる。
　但し、表題を「決裁用帳票」とし、認証文・認印の出力は行わない。又、記録事項は、訂正事項も含め、すべて出力させる。

2. 出力対象
　異動を伴う戸籍(記載のみも含む)すべてを一括出力する。又、各戸籍別にも選択できるようにする。
　例示)夫(A)及び妻(B)となる者が、本籍人である婚姻で、夫の氏を称して新戸籍を管内に編製する場合



3. 出力処理業務
　運用に依存される処理のため、次の3つの処理で出力可能とする。(出力及び出力後の取扱いには、細心の注意を要する。)
(1)処分決定処理‥処分決定(「受理」)後で、出力可。移記処理を要しない事件等。
(2)移記処理……移記前後で、出力可。
(3)決裁処理……決裁前で、出力可。

第7.2.(11)

「決裁」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「決裁」処理	システム処理の概要説明書 ・「(2)決裁処理」に管掌者親族に係る事件であるかを確認することを追加 決裁･受付 ・参照戸籍ファイル削除に係る処理を追加
2	R3	B04	「決裁」処理	届書イメージ表示機能について、以下の処理を修正 ・未決裁一覧･決裁処理_システム処理の概要説明書 ・決裁･受付 ・決裁･届書等イメージ表示
				決裁後に戸籍情報連携システムに送信する情報作成機能について、以下の処理を修正 ・未決裁一覧･決裁処理 ・決裁･受付 ・送信用届書等情報ファイル
				胎児認知届画像登録機能について、以下の処理を修正 ・個人状態ファイル 不受理申出画像登録機能について、以下の処理を修正 ・不受理申出ファイル
3		-		条文の見直しで以下の処理を修正(修正後の名称) ・公選法30条の13第1項通知
4		-		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
5	R4	B01	「決裁」処理	個人状態ファイルに注意喚起区分が追加されたことによる修正 ①個人状態ファイル 5.0 個人状態ファイル更新(区分変更)
6		B04		完全渉外事件は届書等情報を送信しないことによる修正 ①未決裁一覧･決裁処理 システム処理の概要説明 ②送信用届書等情報ファイル 0.0 本紙
7				届書等情報の送信漏れ防止や送信状況を管理するファイルの作成は任意実装であることを追加 ①未決裁一覧･決裁処理 システム処理の概要説明
8				在外公館から送付を受けた届書等情報は[TR01]で送信することによる修正 ①送信用届書等情報ファイル 0.0 本紙
9		申し送り事項一覧No.9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分ける修正 ①未決裁一覧･決裁処理 システム処理の概要説明 ②決裁･受付 システム環境仕様書 ③送信用届書等情報ファイル システム環境仕様書

システム処理の概要説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	未決裁一覧･決裁処理						

1. 処理概要

(1) 未決裁一覧処理
･受領番号が入力されたときは、その受領番号の届書の決裁画面を表示する。
･支所番号が入力されたときは、その支所番号で受け付けた届書の一覧を表示し、その一覧から決裁する届書を選択する。

(2) 決裁処理
･届書の処理内容が「各種ファイル更新」処理の「管掌者親族情報更新」処理で登録した管掌者本人及びその親族の情報に関するものでないかを確認し、管掌者が誤って本人又はその親族に関する事件を取り扱わないよう警告表示等の処理を行うこと。なお、この要件の実現方法については任意設計とする。
･決裁区分にしたがって処理を行う。

2. 未決裁一覧･決裁(受付)画面でのPFキー

画面 / PFキー	未決裁一覧画面	決裁(受付)画面
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2		
PF3		決裁処理開始
PF4		
PF5		
PF6		届書等イメージ表示
PF7	前頁表示(一覧表示内)	前頁表示
PF8	次頁表示(一覧表示内)	次頁表示
PF9		仮9条2項表示
PF10		決裁戸籍表示
PF11		エラー履歴表示
PF12	画面の初期化	
実行キー	決裁番号選択	決裁内容確定

3. 決裁処理で入力可能な区分の意味

決裁区分	意味
決裁	届書の処理内容に誤りがない場合、処分区分に応じた処理を行わせ、届書の処理を完結させること。
修正	処分区分に変更が生じない、届書の処理内容の誤りを修正するときは、本決裁区分を指定する。 例外として処分区分「受理」が「受理処分の撤回」に変更になる場合は、本決裁区分を指定する。

処分区分	意味
誤処理	人違いによる届書の入力誤りがあった場合に限り、本処分区分を指定して、正しい事件本人に対する入力を再度行う。

4. その他の決裁区分(決裁処理では入力不可)

決裁区分	意味
欠番	休日･夜間受領番号取得処理で取得した受付帳で、未使用の受付帳を無効にする区分。 受付帳の決裁区分を欠番に変更する処理は、受付ファイルメンテ処理で行う(決裁処理では行わない)

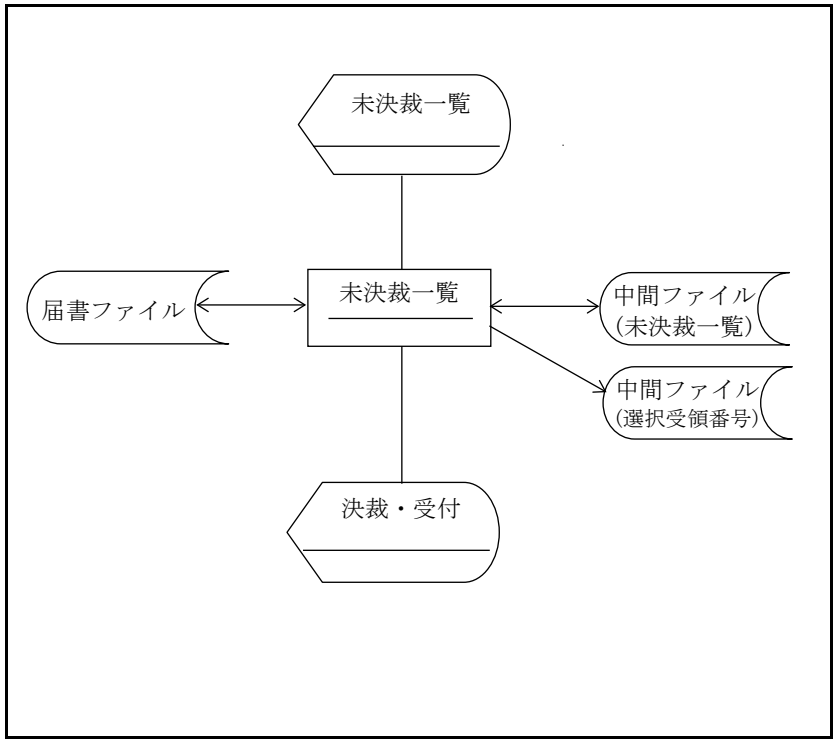
システム処理の概要説明書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	未決裁一覧･決裁処理						

5.留意点

･受理地(在外公館からの直接送付を含む)での届書等の処理(受理、不受理、受理処分の撤回)において、当該決裁処理によって確定した送信情報(F0050-C02:管理情報)、送信情報(F0050-R01:届書記載事項)、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)、送信情報(F0050-R04:送付先情報)、送信情報(F0050-R05:届書補正情報)、届書画像情報、添付書面画像情報及び届書補正画像情報をバッチ処理での送信対象とすること。
　なお、決裁処理時に届書画像情報が登録されている場合にのみ届書等情報をバッチ処理で送信するよう制御すること。
　但し、完全渉外事件(受付ファイルの渉外区分=2(外国人))の場合は、送信情報(F0050-C02:管理情報)、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)だけを送信すること。
　なお、この要件の実装方法については任意設計とする。
･受理地(在外公館からの直接送付を含む)での届書等の処理(受理)において送信情報(F0050-R04:送付先情報)を送信した場合、受付ファイルの発送日に送信した日を設定し、届書処理通番ファイルの届書等情報送信区分に1(届書送信)を設定すること。この要件の実装方法については任意設計とする。
･届書補正が決裁前に登録された場合、届書補正画像情報[TR04]は他の画像[TR01]と一緒に送信できないため、届書補正情報、届書補正画像情報は次の送信情報で送信すること。
･送付地(在外公館からの直接送付を含まない)での届書等の処理において、当該決裁処理によって確定した送信情報(F0050-C02:管理情報)、送信情報(F0050-R02:受付(受付)情報)、送信情報(F0050-R03:受付(事件本人)情報)をバッチ処理での送信対象とすること。
･決裁処理時に届書画像情報が未登録のため届書等情報を戸籍情報連携システムへ送信していないものを抽出し、未送信状況を把握できるようにすること。
　なお、この要件の実装方法については任意設計とする。
　この対応のため、届書等情報データを管理するファイルの作成は任意実装機能とする。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	未決裁一覧					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入出力		
中間ファイル (未決裁一覧)	入出力		
中間ファイル (選択受領番号)	出力		

3.処理概要

(1)未決裁届書の受領番号を入力する
　ア.受領番号の入力チェックを行う
　イ.決裁･受付に制御を渡す
(2)支所番号を入力する
　ア.支所番号入力のチェックを行う
　イ.支所番号から未決裁届書の抽出･表示をする
(3)選択番号を入力する
　ア.選択番号の入力チェックを行う
　イ.決裁･受付に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0　データ編集表(中間ファイル(未決裁一覧))
　　├ 2.0　データ編集表(未決裁一覧画面)
　　├ 3.0　データ編集表(中間ファイル(選択受領番号))
　　└ 4.0　データ編集表(届書ファイル)

5.備考(特記事項含む)

(1)中間ファイル(未決裁一覧)の機能
　　決裁を要する届書を指定された支所で抽出した後、未決裁一覧画面を表示する
(2)中間ファイル(受領番号)の機能
　　選択した受領番号又は入力した受領番号を次機能に受け渡す

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	未決裁一覧
処理名	0.0　本紙

処理			備考
(1)届書ファイルが存在する(YES,NO)	/		
YES (2)　→　(4)へ	/		
NO (3)メッセージ「未決裁の届は存在しません(全て決裁済みです)」を表示する		メッセージは業務選択画面で表示	
(4)未決裁一覧画面を表示する(選択番号は入力不可とする)	/		
(5)キー選択(実行キー、PF1、PF12、その他)	/		
実行キー (6)受領番号の入力がある(YES,NO)	/		
> YES (7)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する	/		
> (8)届書ファイルは存在する(YES,NO)	/		
> > YES (9)届書ファイルの処分区分は保留以外である(YES,NO)	/		決裁できる処分区分は「受理」「不受理」「返戻」「受理処分の撤回」である
> > > YES (10)届書ファイルの届書排他区分は0である(YES,NO)	/		
> > > > YES (11)中間ファイル(選択受領番号)を作成する [3.0]	/		
> > > > (12)届書ファイルの届書排他区分に1をセットする [4.0]		(13)決裁･受付へ制御を渡す:届書レコードの排他処理	
> > > > NO (14)エラーメッセージ「該当の受領番号の届書は現在処理中です。決裁は行えません。」を表示する		(15)同画面を編集する→(4)へ	
> > > NO (16)エラーメッセージ「該当の受領番号で未決裁の届は有りません」を表示する			
> > NO (17)エラーメッセージ「該当の受領番号で未決裁の届は有りません」を表示する			
> NO (18)　→　(19)へ	/		
> (19)支所番号の入力がある(YES,NO)	/		
> YES (20)支所番号=99である(YES,NO)	/		
> > YES (21)　→　(31)へ	/		
> > NO (22)届書ファイルを読み、最後になるまで(23)～(29)の処理を繰り返す	/		
> > > (23)入力の支所番号=届書ファイルの出張所番号である(YES,NO)	/		
> > > YES (24)届書ファイルの処分区分は保留以外である(YES,NO)	/		
> > > > YES (25)届書ファイルの届書排他区分は0である(YES,NO)	/		
> > > > > YES (26)中間ファイル(未決裁一覧)を作成し、件数をカウントする　→　(22)へ [1.0]	/		
> > > > > NO (27)　→　(22)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	未決裁一覧

処理名	0.0 本紙					備考
			NO	(28) → (22)へ	/	
			NO	(29) → (22)へ	/	
		(30) → (38)へ			/	
	NO	(31)届書ファイルを読み、最後になるまで(32)～(36)の処理を繰り返す			/	
		(32)届書ファイルの処分区分は保留以外である(YES,NO)			/	
		YES	(33)届書ファイルの届書排他区分は0である(YES,NO)		/	
			YES	(34)中間ファイル(未決裁一覧)を作成し、 [1.0] 件数をカウントする → (31)へ	/	
			NO	(35) → (31)へ	/	
		NO	(36) → (31)へ		/	
		(37) → (38)へ			/	
	(38)件数は1件以上ある(YES,NO)				/	
	YES	(39)中間ファイル(未決裁一覧)から未決裁一覧画面を編集する [2.0] メッセージ 「決裁する届の番号を選択して下さい」を表示する (選択番号の入力を可とし、受領番号の入力を不可とする)			/	
		(40)キー選択(実行キー、PF1、PF7、PF8、PF12、その他)			/	
		実行キー	(41)選択番号の入力がある(YES,NO)		/	
			YES	(42)選択番号に該当する届書ファイルを検索する (ある:YES,ない:NO)	/	
				YES	(43)届書ファイルの排他区分は0である(YES,NO)	/	未決裁一覧で選択中に、他で処理された場合の確認
				YES	(44)中間ファイル(選択受領番号)を作成する [3.0]	/	
					(45)該当の届書ファイルの届書排他区分に 1をセットする [4.0]		(46)決裁・受付へ制御を渡す	届書レコードの排他処理
				NO	(47)エラーメッセージ 「選択番号が誤っています。正しく入力して下さい」を表示する		(48)同画面を編集する→(40)へ	
				NO	(49)エラーメッセージ 「選択した届書ファイルは他で処理中です.決裁処理することはできません」を表示する			
			NO	(50)メッセージ 「決裁する届の番号を選択して下さい」を表示する				
		PF1	(51)中間ファイル(未決裁一覧)を削除する				(52)業務選択へ制御を渡す	

要件定義ワークシート					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名		未決裁一覧								
処理名		0.0 本紙							備考	
		PF7	(53)前ページがあるか(YES,NO)			/				
			YES	(54)前ページ分の未決裁一覧画面を編集する		/				
			NO	(55)エラーメッセージ 「先頭ページです」を表示する			(56)同画面を編集する→(40)へ			
		PF8	(57)次ページがあるか(YES,NO)			/				
			YES	(58)次ページ分の未決裁一覧画面を編集する		/				
			NO	(59)エラーメッセージ 「最終ページです」を表示する			(60)同画面を編集する→(10)へ			
		PF12	(61)中間ファイル(未決裁一覧)を削除し、入力画面を初期化する				(62)同画面を編集する→(4)へ			
		その他	(63)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する				(64)同画面を編集する→(40)へ			
	NO	(65)メッセージ 「未決裁の届は存在しません(全て決裁済みです)」を表示する					(66)同画面を編集する→(4)へ			
PF1	→						(67)業務選択に制御を渡す			
PF12	(68)入力画面を初期化する						(69)同画面を編集する→(4)へ			
その他	(70)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する									

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	未決裁一覧							
処理名	1.0 中間ファイル(未決裁一覧)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (未決裁一覧)	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	処分区分			処分区分				
	選択事件コード			選択事件コード				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	受付日			送付日 または 受領日				送付日があれば送付日を設定 送付日がなければ受領日を設定
	支所番号			出張所番号				
	事件本人			事件本人1				届書での代表事件本人
	他受領番号			同時決裁受領番号(1)				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	未決裁一覧							
処理名	2.0 未決裁一覧画面表示処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
未決裁一覧画面	システム日付							システム日付
	現ページ、総ページ							未決裁一覧画面表示処理で設定
	入力支所番号							
	入力受領番号							
	一連番号							システムで設定
最大1画面6明細	受領番号1～6		中間ファイル (未決裁一覧)	受領番号				
	処分区分名称1～6			処分区分		有		
	事件名1～6			選択事件コード		有		
	受理送付区分名称1～6			受理送付区分		有		
	本非区分名称1～6			本非区分		有		
	渉外区分名称1～6			渉外区分		有		
	受付日1～6			受付日		有		
	支所番号1～6			支所番号				
	事件本人1～6			事件本人				
	他受領番号1～6							他受領番号にデータがあれば、「*」を表示する
	選択番号							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	未決裁一覧							
処理名	3.0 中間ファイル(選択受領番号)作成処理							

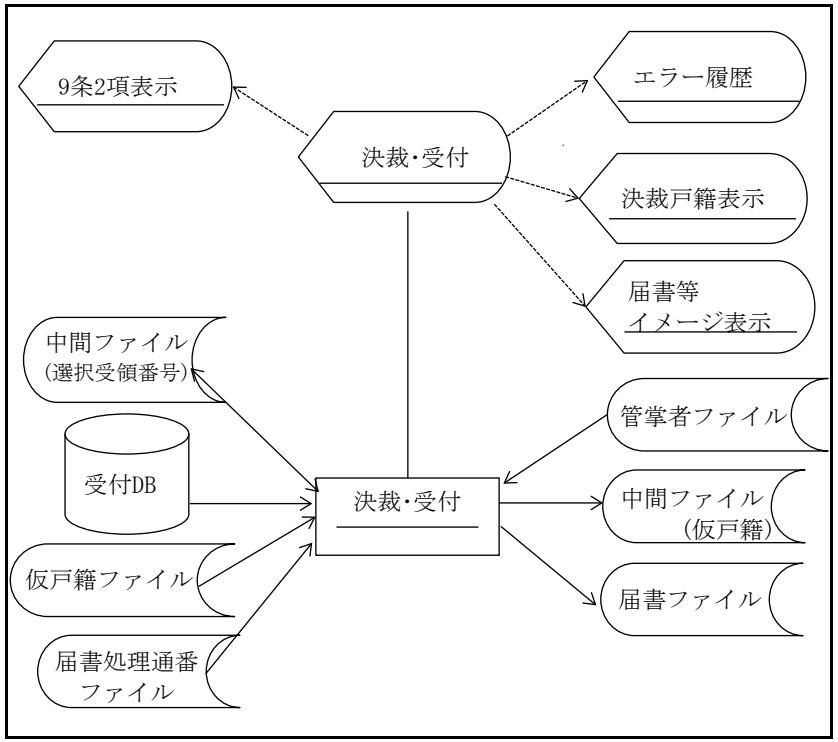
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (選択受領番号)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	処分区分			処分区分				
	選択事件コード			選択事件コード				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	出張所番号			出張所番号				
	動態区分			動態区分				
	他受領番号			同時決裁受領番号(1)				
	ロック戸籍番号(1～5)			ロック戸籍番号(1～5)				
	決裁区分							

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	未決裁一覧								
処理名	4.0 届書ファイル更新処理								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
届書ファイル	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書排他区分		未決裁一覧処理					1:排他を設定する

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	決裁･受付					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	出力
仮戸籍ファイル	入力	届書ファイル	出力
中間ファイル (選択受領番号)	入出力		
管掌者ファイル	入力		
届書処理通番 ファイル	入力		

3. 処理概要

(1)決裁･受付画面を編集する
(2)必要に応じ9条2項画面を表示する(PF9)
(3)必要に応じ決裁戸籍画面を表示する(PF10)
(4)必要に応じエラー履歴画面を表示する(PF11)
(5)必要に応じ届書等イメージ表示画面を表示する(PF6)
(6)管掌者が修正された場合はそのチェックを行う
(7)決裁区分の入力チェックを行う
(8)決裁区分により決裁または修正または誤処理の処理をした後、業務選択に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(決裁･受付画面)
- 2.0 単体チェック表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(選択受領番号))
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
- 5.0 データ編集表(届書ファイル)

5. 備考(特記事項含む)

決裁・受付画面の「発送日」の名称は、戸籍情報連携システム運用後は「送信日」に変更する。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	決裁・受付
処理名	0.0 本紙

							備考
(1) 中間ファイル(選択受領番号)を読む					/		
(2) 中間ファイル(選択受領番号)の受領番号と他受領番号をキーとして受付データベースを検索する					/		
(3) 決裁・受付画面を編集する [1.0]					/		
(4) キー選択(実行キー、PF1、PF3、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、その他)					/		
実行キー	(5) 入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/		
	YES	(6) 管掌者コードが入力された(YES,NO)			/		
		YES	(7) 入力された管掌者コードに対応するコードがあるまで、管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)		/		
			YES	(8) 管掌者名称を決裁・受付画面号に設定する → (12)へ	/		
			NO	(9) エラーメッセージ 「管掌者コードが間違っています。」を表示する		(10)同画面を編集する	
		NO	(11) → (12)へ		/		
		(12)入力された決裁区分と決裁名称を決裁・受付画面号に設定する				(13)同画面を編集する	
	NO	(14)エラーメッセージを表示する					
PF1	(15)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する				/		
	(16)届書ファイルの届書排他区分に0:(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]				/		
	(17)中間ファイル(選択受領番号)を削除する					(18)業務選択に制御を渡す	
PF3	(19)入力項目がチェック済みである(YES,NO)				/		
	YES	(20) → (23)へ			/		
	NO	(21)エラーメッセージ 「実行キーを押下しないと決裁(PF3)処理はできません。」を表示する				(22)同画面を編集する	
	(23)決裁区分を中間ファイル(選択受領番号)に設定し更新する [3.0]				/		
	(24)受付データベース処理 →				/	「受付データベース」の要件定義書を参照	
	(25)決裁区分(1:「決裁」、2:「誤処理」、3:「修正」)				/		「誤処理」は決裁区分ではないが、名称を変更すると修正が広範囲に及ぶため、決裁処理中においては「決裁処理で入力する区分」という意味で、決裁区分の名称をそのまま使用する。
	1	(26)中間ファイル(選択受領番号)の処分区分は受理である(YES,NO)			/		
		YES	(27)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮戸籍ファイルを検索する		/		
			(28)該当の仮戸籍ファイルが存在する(YES,NO)		/		
			YES	(29)該当の仮戸籍ファイルについて(30)～(40)の処理を繰り返す	/		仮戸籍ﾌｧｲﾙから決裁する仮戸籍を抽出する

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	決裁・受付

処理名	0.0 本紙			備考
	(30)仮戸籍の戸籍事項の数だけ(31)～(33)の処理を繰り返す	/		
	(31)戸籍事項は届出または移記で作成されたものである(YES,NO)	/		仮戸籍管理情報で判断する
	YES (32)管掌者コードを設定する → (30)へ	/		
	NO (33) → (30)へ	/		
	(34)→(35)へ	/		
	(35)仮戸籍の身分事項の数だけ(36)～(38)の処理を繰り返す	/		
	(36)身分事項は届出または移記で作成されたものである(YES,NO)	/		仮戸籍管理情報で判断する
	YES (37)管掌者コードを設定する → (35)へ	/		
	NO (38) → (35)へ	/		
	(39)→(40)へ	/		
	(40)中間ファイル(仮戸籍)を作成する → (29)へ [4.0]	/		
	(41) → (42)へ	/		
	(42)戸籍データベース処理 →	/	「戸籍データベース」の要件定義書を参照	
	(43)個人状態ファイル処理 →	/	「個人状態ファイル」要件定義書を参照	
	(44)不受理申出ファイル処理 →	/	「不受理申出ファイル」の要件定義書を参照	
	(45)附票データベース処理 →	/	「附票データベース」の要件定義書を参照	
	(46)民刑異動ファイル処理 →	/	「民刑異動ファイル」の要件定義書を参照	
	NO (47) → (48)へ	/		
	(48)中間ファイル(選択受領番号)の選択事件コードは認知届である(YES,NO)	/		
	YES (49)個人状態ファイル処理 →	/	「個人状態ファイル」要件定義書を参照	
	NO (50)→(51)へ	/		
	(51)住基法9条2項処理 →	/	「住基法9条2項」の要件定義書を参照	

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			決裁・受付						
処理名			0.0 本紙					備考	
			(52)中間ファイル(選択受領番号)の選択事件コードは死亡届 又は 失踪届 である(YES,NO)		/				
		YES	(53)相続税法58条通知処理 →		/	「相続税法58条通知」の要件定義書を参照			
		NO	(54) → (55)へ		/				
			(55)中間ファイル(選択受領番号)の動態区分=1:要である(YES,NO)		/				
		YES	(56)人口動態ファイル処理 →		/	「人口動態ファイル」の要件定義書を参照			
		NO	(57)→(58)へ		/				
			(58)発送ファイル処理 →		/	「発送ファイル」の要件定義書を参照			
			(59)統計処理 →		/	「統計」の要件定義書を参照			
			(59-1)送信用届書等情報ファイル処理 →		/	「送信用届書等情報ファイル」の要件定義書を参照			
		NO	(60)中間ファイル(選択受領番号)のロック戸籍番号がある(YES,NO)		/				
		YES	(61)戸籍データベース処理 →		/	「戸籍データベース」の要件定義書を参照			
		NO	(62) → (63)へ		/				
			(63)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、仮戸籍ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する		/				
			(64)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、エラー履歴ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する		/				
			(65)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、仮9条2項ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する		/				
			(65-1)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、参照戸籍ファイルを検索し、該当のレコードがあれば削除する		/				
			(66)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号に該当の届書ファイルを削除する		/				
			(67)中間ファイル(選択受領番号)を削除する			(68)業務選択へ制御を渡す			

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名		決裁・受付						
処理名		0.0 本紙					備考	
	2	(69)届書ファイルの処分区分に9(誤処理)を、届書排他区分に0(未)を設定して、届書ファイルを更新する [5.0]	/				届書ファイルの排他を解除する ※処分区分における誤処理は9である	
		(70)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして、仮戸籍ファイル、エラー履歴ファイル、仮9条2項ファイル及び参照戸籍ファイルを各々検索し、該当のレコードがあれば削除する	/					
		(71)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(72)業務選択へ制御を渡す				
	3	(73)届書ファイルの決裁区分に3(修正)を、届書排他区分に0(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]	/				届書ファイルの排他を解除する	
		(74)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(75)業務選択へ制御を渡す				
PF5		(76)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する	/					
		(77)届書ファイルの届書排他区分に0:(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]	/					
		(78)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(79)未決裁一覧処理に制御を渡す				
PF6		→		(79-1)決裁等届書イメージ表示画面に制御を渡す				
PF7		(80)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)	/				PF7、PF8は1つの届の処理で複数の受付帳が作成されるときに別の受付帳を表示するためのファンクションキー (事件本人が3名以上いる場合の画面スクロールとは異なる)	
	YES	(81)現在表示の受領番号-1の受領番号で受付DBを検索する	/					
		(82)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)	/					
		YES (83)検索した受付DBの内容を表示する [1.0]		(84)同画面を編集する				
		NO (85)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です。」を表示する						
	NO	(86)エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです。」を表示する						
PF8		(87)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)	/					
	YES	(88)現在表示の受領番号+1の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)	/					
		YES (89)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号 である(YES,NO)	/					

要件定義ワークシート					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	決裁･受付									
処理名	0.0 本紙								備考	
			YES	(90)検索した受付DBの内容を表示する	[1.0]		(91)同画面を編集する			
			NO	(92)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です。」を表示する						
		NO								
	NO	(93)エラーメッセージ 「作成された受付帳は1件だけです。」を表示する								
PF9	→						(94)9条2項表示処理に制御を渡す			
PF10	→						(95)決裁戸籍表示処理に制御を渡す			
PF11	→						(96)エラー履歴表示画面に制御を渡す			
その他	(97)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する						(98)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	決裁・受付							
処理名	1.0 決裁・受付画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
決裁・受付画面	画面ID							
	システム日付					有		システム日付
	現ページ、総ページ							
	受領番号		受付DB(受付)	受領番号				
	受理送付の別			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分内容			処分区分		有		
	事件名			受付事件コード		有		
	事件発生日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	決裁内容			決裁区分		有		
	出張所番号			出張所番号		有		
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍非本籍の別			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	指示日			指示日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外内容			渉外区分		有		
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)				
	事件本人区分内容(1～4)		受付DB(事件本人)	事件本人区分		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している (1) ← 事件本人の1レコード目 (2) ← 事件本人の2レコード目 (3) ← 事件本人の3レコード目 (4) ← 事件本人の4レコード目
	届出人表示(1～4)			届出人区分		有		
	カナ氏名(1～4)			カナ氏名				
	漢字氏名(1～4)			漢字氏名				
	生年月日(1～4)			生年月日		有		
	送達確認2(1～4)			送達確認2				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	決裁･受付							
処理名	1.0　決裁･受付画面編集							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認1		受付DB(受付)	送達確認1				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	決裁･受付							
処理名	1.0 決裁･受付画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	本籍(1～4)		受付DB(事件本人)	本籍コード		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している
				本籍				
	届出人資格1		受付DB(受付)	届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資絡2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍(*1)			届後本籍コード		有		(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡　又は 「4402」:その他(本籍分明)　又は 「4404」:その他(死亡)のとき、 「届後本籍」≠空白　であれば その内容を表示する。 なお、このとき画面のタイトルを 「死亡日時」に変更する。
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	管掌者コード		システム処理					管掌者コードを出力
	管掌者					有		管掌者コードの内容を表示
	決裁区分		受付DB(受付)	決裁区分				
	決裁内容					有		決裁区分の内容を表示

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	決裁･受付								
処理名				画面名	画面ID				
2.0 単体チェック表				決裁･受付					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
1	決裁区分	○	数字	(1:決裁、2:誤処理、3:修正)であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
2	管掌者コード		数字						

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	決裁･受付								
処理名	3.0 中間ファイル(選択受領番号)更新								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (選択受領番号)	受領番号								
	処分区分								
	選択事件コード								
	受理送付区分								
	本非区分								
	出張所番号								
	動態区分								
	他受領番号								
	ロック戸籍番号(1～5)								
	決裁区分		決裁･受付処理	決裁区分					

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	決裁･受付							
処理名	4.0 中間ファイル(仮戸籍)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (戸籍特定)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	戸籍番号			戸籍番号				
	編製日			編製日				
	改製日			改製日				
	回復日			回復日				
	消除日			消除日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	記録者数			記録者数				
	在籍者数			在籍者数				
	除籍者数			除籍者数				
	戸籍除区分			戸籍除区分				
	戸籍異動区分			戸籍異動区分				
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (戸籍事項)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	戸籍番号			戸籍番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	戸籍事項項目			戸籍事項項目				
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (個人特定)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	決裁･受付							
処理名	4.0 中間ファイル(仮戸籍)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	個人番号			個人番号				
	戸籍番号			戸籍番号				
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号				
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	性別			性別				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	個人除区分			個人除区分				
	審査不可区分			審査不可区分				
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (氏名)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	個人番号			個人番号				
	行番号			行番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (身分事項)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	個人番号			個人番号				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	決裁･受付							
処理名	4.0 中間ファイル(仮戸籍)作成							

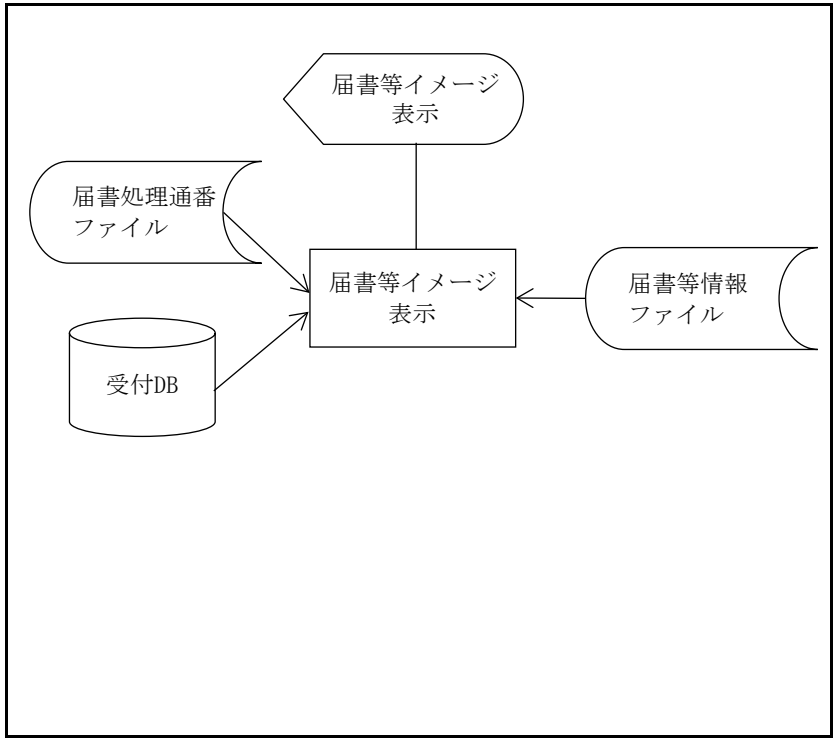
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	身分事項項目			身分事項項目				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	決裁･受付							
処理名	5.0 届書ファイル更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
届書ファイル	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分		決裁･受付処理	9(誤処理)				決裁区分が「誤処理」のとき設定
	決裁区分			決裁区分:3(修正)				決裁区分が「修正」のとき設定
	届書排他区分							0:未を設定

システム環境仕様書		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	決裁･届書等イメージ表示						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
届書処理通番 ファイル	入力		
受付DB	入力		
届書等情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)届書処理通番に該当する届書等情報ファイルを検索する
(2)届書等イメージ表示画面を編集し、表示する
(3)指定により届書イメージ、添付書面イメージ、届書補正イメージ及び申入書イメージを表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(決裁・届書等イメージ表示画面編集)
　　├ 2.0 データチェック(単体表)
　　└ 3.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	決裁･届書等イメージ表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)決裁・受付の受領番号から処理通番ファイルを読み、処理通番を取得する					/		決裁・受付画面で受付帳が複数作成された場合、どの受付帳からも同じイメージ表示となる(処理通番が同じため)	
(1-1)処理通番ファイルがある(YES,NO)					/		障害等で戸籍情報連携システムとの連携ができない場合、連携前と同様非本籍人の情報は手入力で行うことになる。この場合受領番号に該当する処理通番ファイルは作成されない。	
YES	(2)処理通番で届書等情報ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)				/		届書等画像情報を全て検索する	
	YES	(3)検索・受付の画面情報から届書等イメージ表示画面を編集・出力する	[1.0]		/			
	NO	(4)検索・受付の画面情報から届書等イメージ表示画面を編集・出力する	[1.0]		/			
		(5)メッセージ 「画像情報はありません。」を表示する 応答後(7)へ				(6)同画面を編集する		
NO	(6-1)検索・受付の画面情報から届書等イメージ表示画面を編集・出力する		[1.0]		/			
	(6-2)メッセージ 「戸籍情報連携システムと連携していない処理です。届書等は郵送で対応して下さい。」 を表示する 応答後(7)へ					(6-3)同画面を編集する		
(7)キー選択(PF1、PF5、PF10、その他)					/			
PF1	→					(8)業務選択に制御を渡す		
PF5	→					(9)決裁･受付に制御を渡す		
PF10	(10)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO)		[2.0][3.0]		/			
	YES	(11)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する				(12)同画面を編集する		
	NO	(13)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
その他	(14)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	決裁･届書等イメージ表示								
処理名	1.0　決裁・届書等イメージ表示画面編集								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
決裁・届書等イメージ表示画面	受領番号			決裁・受付画面	受領番号				
	受理送付の別				受理送付区分				
	受付日				受付日				
	処分内容				処分区分				
	決裁内容				決裁区分				
	事件名				受付事件コード				
	事件日				事件発生日				
	事件発生時分				事件発生時分				
	出張所番号				出張所番号				
	発送日				発送日				
	郵送日				郵送日				
	本籍非本籍の別				本非区分				
	発日				発日				
	収日				収日				
	許可日				許可日				
	渉外内容				渉外区分				
	指示日				指示日				
	関連受領番号1				関連受領番号1				
	関連受領番号2				関連受領番号2				
	関連受領番号3				関連受領番号3				
	関連受領番号4				関連受領番号4				
	関連受領番号5				関連受領番号5				
	届書イメージ更新日			届書等情報ファイル	届書PDF更新年月日		有		登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)のデータを表示する 各情報を別ファイルに分けることも可
	届書イメージ更新時間				届書PDF更新時分秒				
	届書イメージ最終履歴番号				届書画像情報履歴番号				
	届書添付書面イメージ更新日				届書添付書面PDF更新年月日		有		

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	決裁･届書等イメージ表示								
処理名	1.0　決裁・届書等イメージ表示画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
	届書添付書面イメージ時間			届書添付書面PDF更新時分秒					
	届書補正イメージ更新日			届書補正PDF更新年月日		有			
	届書補正イメージ更新時間			届書補正PDF更新時分秒					
	申入書イメージ更新日			申入書PDF更新年月日		有			
	申入書イメージ更新時間			申入書PDF更新時分秒					
	届書補正内容			届書補正情報					
	イメージ種別番号								
	表示履歴番号								

データチェック(単体表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	決裁･届書等イメージ表示						

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目のチェック	決裁･届書等イメージ表示		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				

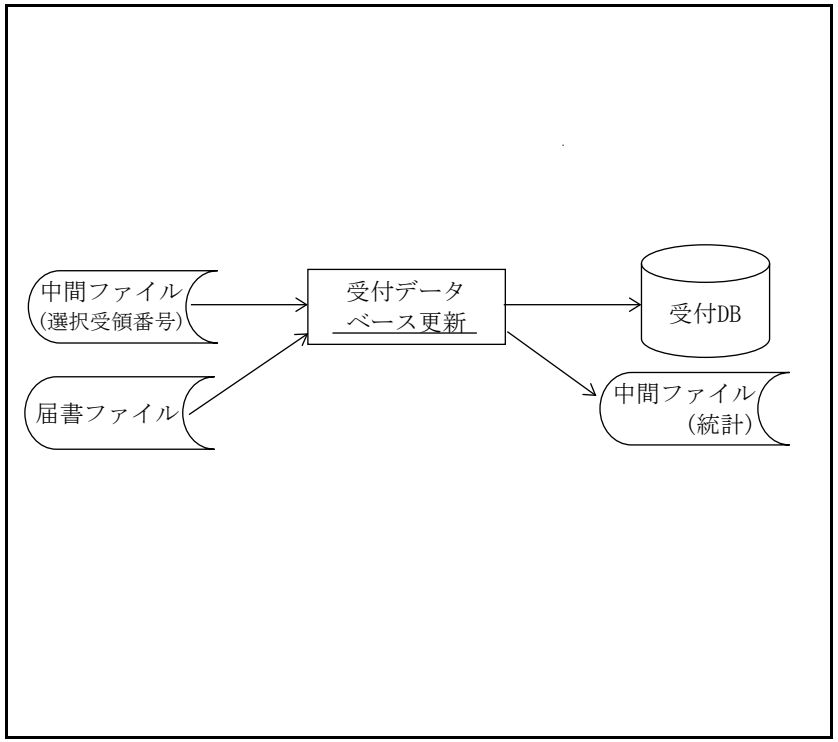
データチェック(関連表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	決裁･届書等イメージ表示						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　入力項目のチェック	決裁･届書等イメージ表示		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(届書)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦届書イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面) 又は　3(届書補正)　又は　4(申入書)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付データベース					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
受付DB	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(選択受領番号)の内容を基に受付データベースを更新する
(2)受理の場合は事件の統計を取る

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(受付データベース)
　　└ 2.0 データ編集表(中間ファイル(統計))

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	受付データベース
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む					/	
(2)受領番号で受付DBを検索する					/	
(3)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)					/	
YES	(4)決裁区分が1:「決裁」又は3:「修正」のとき、受付DBの決裁区分に設定し更新する 決裁区分が2:「誤処理」のとき、受付DBの処分区分に設定し履歴をとる [1.0]				/	決裁区分を受付DBに設定する 誤処理は処分区分に設定し、受領番号の枝番をカウントアップし履歴処理とする
	(5)(6)～(9)の処理を繰り返す				/	
		(6)次の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)			/	
		YES	(7)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である (YES,NO)		/	
			YES	(8)決裁区分が1:「決裁」又は3:「修正」のとき、検索した受付DBの決裁区分に設定し更新する 決裁区分が2:「誤処理」のとき、検索した受付DBの処分区分に設定し履歴をとる→(6)へ [1.0]	/	同一処理で作成された受付DBにも決裁区分を設定する(誤処理も同様)
			NO	(9)→(19)へ	/	
		NO				
	(10)→(19)へ				/	
NO	(11)中間ファイル(選択受領番号)の決裁区分は1:「決裁」である				/	
	YES	(12)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する			/	
		(13)届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)にデータがある(YES,NO)			/	・胎児認知の届出がなされている出生届 ・身元不明の死亡(法91条1項)に対する本籍分明届(法91条2項、3項) ・既に受付帳に記載のある追完届　　他 上記に関して、各々の受付データベースに関連受領番号を記載しなければいけない ※1つの届書入力処理で複数の受付データベースが作成されるときの、関連受領番号の記録は処分決定でされるので、決裁では決裁区分又は処分区分の設定だけでよい (6)～(8)がその処理である ・決裁区分を受付DBに設定する
		YES	(14)受付DBの関連受領番号(1～5)の空いている項目に届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)を、決裁区分に1を設定し、受付DBを更新する [1.0]		/	
			(15)関連受領番号をキーとして受付データベースを検索する(ある:YES,ない:NO)		/	
			YES	(16)受付DBの関連受領番号(1～5)の空いている項目に、届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)を設定し、受付DBを更新する [1.0]	/	
			NO	(17)→(19)へ	/	
		NO		(18)決裁区分が1:「決裁」又は3:「修正」のとき、検索した受付DBの決裁区分に設定し更新する 決裁区分が2:「誤処理」のとき、検索した受付DBの処分区分に設定し履歴をとる [1.0]	/	
	NO					
(19)中間ファイル(選択受領番号)決裁区分は1:「決裁」である(YES,NO)					/	
YES	(20)中間ファイル(選択受領番号)の処分区分は1:「受理」である(YES,NO)				/	以降、統計処理を行う

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	受付データベース

処理名	0.0 本紙			備考
YES	(21)中間ファイル(選択受領番号)の出張所番号で中間ファイル(統計)を作成し、 受理送付区分と本非区分を設定する [2.0]	/		
	(22)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号で受付DBを検索する	/		
	(23)受付DBの発日と収日にデータがある(YES,NO)	/		
	YES (24)中間ファイル(統計)の照会数に1を加える [2.0]	/		照会の統計をとる
	NO (25)→(26)へ	/		
	(26)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)	/		
	YES (27)以下の処理((28)～(32))を繰り返す	/		
	(28)次の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (29)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)	/		
	YES (30)受付データベースの発日と収日にデータがある(YES,NO)	/		
	YES (31)中間ファイル(統計)の照会数に1を加える [2.0]	/		照会の統計をとる
	NO (32)→(28)へ	/		
	NO →		(33)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る
	NO →			
	→			
	NO →			
NO	→			
NO	→			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付データベース							
処理名	1.0 受付データベース更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付DB(受付)	受領番号							誤処理のとき枝番をカウントアップし履歴処理とする
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)		届書ファイル	関連受領番号				事件別内容にあるデータ
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付データベース							
処理名	1.0 受付データベース更新							

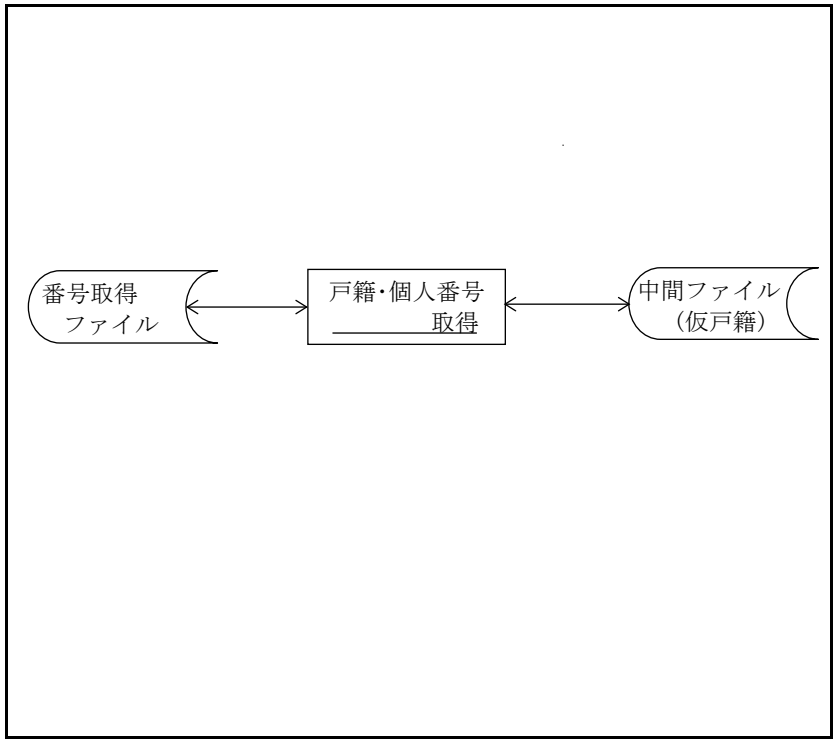
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送達確認1							
	届書送付目録区分							
	処分区分		受付データベース処理	決裁区分				決裁区分が2:「誤処理」のとき設定
	決裁区分			決裁区分				決裁区分が1:「決裁」または 3:「修正」 のとき設定する

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	受付データベース							
処理名	2.0 中間ファイル(統計)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号		中間ファイル (選択受領番号)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	増減戸籍数							
	増減本籍人数							
	新戸籍編製数							
	全部除籍数							
	照会数		受付データベース 処理	照会数				
	附票一部記載数							
	附票全部記載数							
	附表一部消除数							
	附表全部消除数							
	附票通知作成数							
	住民票通知作成数							
	住民票異動作成数							
	相続税法58条通知作成数							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
番号取得ファイル	入出力		

3.処理概要
(1)仮戸籍ファイルを基に以下の処理を行う
(2)戸籍編製が新戸籍編製の場合、戸籍番号を取得し、仮戸籍ファイルに付加する
(3)戸籍に入籍者がいる場合、個人番号を取得し、仮戸籍ファイルに付加する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定更新)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項更新)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):個人特定更新)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):氏名更新)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):身分事項更新)
- 6.0 データ編集表(戸籍番号更新)
- 7.0 データ編集表(個人番号更新)

5.備考(特記事項含む)
(1)仮戸籍ファイルについて
ア.本籍人の戸籍に関してファイルが作成される(処分区分が受理のみ)
本籍人:従前の戸籍が本籍地にあるまたは異動後の戸籍が本籍地に編製される
※非本籍人、外国人に関してはファイルを作成しない
イ.仮戸籍ファイルは異動後の戸籍の形態で作成される
(異動前の情報を持つ必要はない)
ウ.異動者だけでなく、戸籍の全構成員について作成される

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	戸籍･個人番号取得
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)番号取得ファイルを読み戸籍番号を取得する				/		
(2)番号取得ファイルを読み個人番号を取得する				/		
(3)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(4)～(23)の処理を繰り返す				/		
	(4)戸籍編製区分は新戸籍編製である(YES,NO)			/		
	YES	(5)「戸籍番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の戸籍番号に設定する		/		新戸籍編製であれば戸籍番号を付加する
		(6)戸籍番号に1をたす		/		
		(7)構成員の数だけ(8)～(9)の処理を繰り返す		/		新戸籍編製のときの構成員は全員新しい戸籍に入籍するので、個人番号を各々に取得する
			(8)「個人番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の個人番号に設定する	/		
			(9)個人番号に1をたす→(7)へ	/		
		(10)中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定を更新する [1.0]		/		
		(11)中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項を更新する [2.0]		/		
		(12)中間ファイル(仮戸籍):個人特定を更新する [3.0]		/		
		(13)中間ファイル(仮戸籍):氏名を更新する [4.0]		/		
		(14)中間ファイル(仮戸籍):身分事項を更新する→(3)へ [5.0]		/		
	NO	(15)構成員の数だけ(16)～(22)の処理を繰り返す		/		
			(16)個人異動区分は入籍である(YES,NO)	/		
			YES (17)「個人番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の個人番号に設定する	/		既存の戸籍に入籍するときは、個人番号を取得する
			(18)個人番号に1をたす	/		
			(19)中間ファイル(仮戸籍):個人特定を更新する [3.0]	/		
			(20)中間ファイル(仮戸籍):氏名を更新する [4.0]	/		
			(21)中間ファイル(仮戸籍):身分事項を更新する→(15)へ [5.0]	/		
			NO (22)→(15)へ	/		
		(23)→(3)へ		/		
(24)戸籍番号を番号取得ファイルの戸籍番号にセットして番号取得ファイルを更新する [6.0]				/		
(25)個人番号を番号取得ファイルの個人番号にセットして番号取得ファイルを更新する [7.0]					(26)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	1.0 中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	戸籍番号		番号取得ファイル (戸籍番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を設定する
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	2.0 中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	戸籍番号		番号取得ファイル (戸籍番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を設定する
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							
	記録コード							
	管掌者コード							
	事件発生日							
	戸籍事項項目							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	3.0 中間ファイル(仮戸籍):個人特定更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ファイル (個人番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を設定する
	戸籍番号		番号取得ファイル (戸籍番号)					番号取得ファイル･戸籍番号+1を設定する
	個人記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	4.0 中間ファイル(仮戸籍):氏名更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 氏名	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ファイル (個人番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を 設定する
	行番号							
	カナ氏名							
	漢字氏名							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	5.0 中間ファイル(仮戸籍):身分事項更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ファイル (個人番号)					番号取得ファイル･個人番号+1を設定する
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							
	記録コード							
	管掌者コード							
	事件発生日							
	身分事項項目							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	6.0 戸籍番号更新							

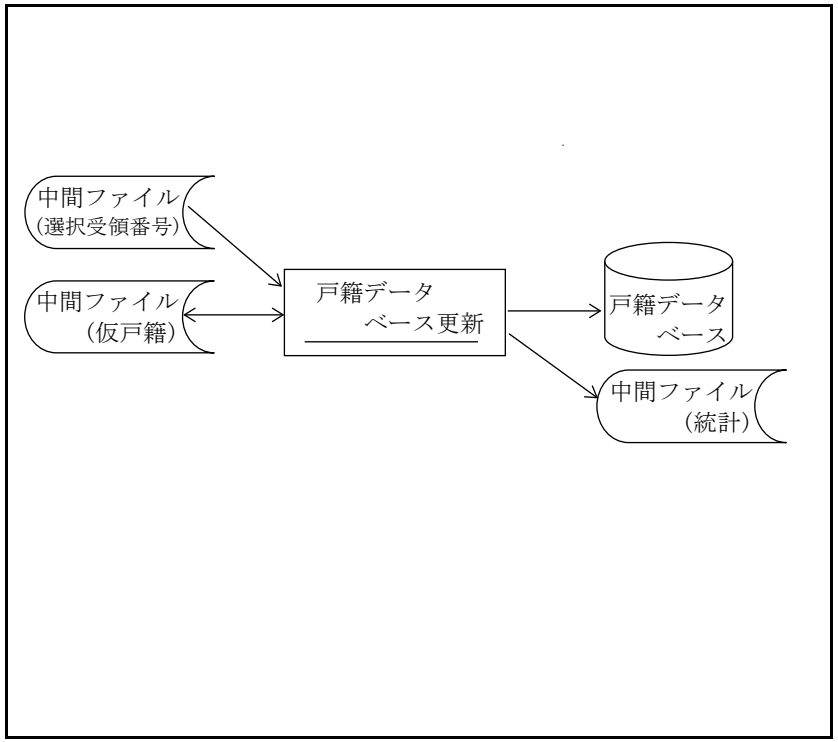
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
番号取得ファイル (戸籍番号)	番号種別							1:戸籍番号
	戸籍番号		戸籍･個人番号 取得処理	戸籍番号				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍･個人番号取得							
処理名	7.0 個人番号更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
番号取得ファイル (個人番号)	番号種別							2:個人番号
	個人番号		戸籍･個人番号 取得処理	個人番号				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	戸籍データベース					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
戸籍データベース	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3.処理概要

(1)仮戸籍ファイルを基に以下の処理を行う

(2)処分区分が受理であれば、中間ファイル(仮戸籍)の更新情報(DB更新･追加)に従って、
戸籍データベース(戸籍特定、戸籍事項、氏名、個人特定、身分事項)の更新･追加を行う

(3)処分区分が受理以外であれば、戸籍DBのロックを解除する(戸籍特定DBの更新)

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(戸籍特定:処分区分が受理の場合)
- 2.0 データ編集表(戸籍事項)
- 3.0 データ編集表(氏名)
- 4.0 データ編集表(個人特定)
- 5.0 データ編集表(身分事項)
- 6.0 データ編集表(戸籍特定:処分区分が受理以外の場合)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル(統計))

5.備考(特記事項含む)

(1)仮戸籍ファイルについて

ア.本籍人の戸籍に関してファイルが作成される(処分区分が受理のみ)
本籍人:従前の戸籍が本籍地にあるまたは異動後の戸籍が本籍地に編製される
※非本籍人、外国人に関してはファイルを作成しない

イ.仮戸籍ファイルは異動後の戸籍の形態で作成される
(異動前の情報を持つ必要はない)

ウ.異動者だけでなく、戸籍の全構成員について作成される

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	戸籍データベース

処理名	0.0 本紙			備考
	(1)中間ファイル(仮戸籍)があるか(YES,NO)	/		
YES	(2)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(3)～(39)の処理を繰り返す	/		
	(3)戸籍編製区分は新戸籍編製または新戸・全除である(YES,NO)	/		
	YES (4)中間ファイル(統計)の増減戸籍数、新戸籍編製数、附票全部記載数に1を加える [7.0]	/		統計処理
	(5)戸籍特定情報を戸籍特定DBに追加する [1.0]	/		新戸籍が編製された場合は仮戸籍の全部の情報を戸籍データベースに追加する
	(6)戸籍事項の数だけ(7)の処理を繰り返す	/		
	(7)戸籍事項情報を戸籍事項DBに追加する→(6)へ [2.0]	/		
	(8)構成員の数だけ(9)～(14)の処理を繰り返す	/		
	(9)中間ファイル(統計)の増減本籍人数に1を加える [7.0]	/		
	(10)個人特定情報を個人特定DBに追加する [3.0]	/		
	(11)氏名情報を氏名DBに追加する [4.0]	/		
	(12)身分事項の数だけ(13)の処理を繰り返す	/		
	(13)身分事項情報を身分事項DBに追加する→(12)へ [5.0]	/		
	(14) → (8)へ	/		
	(15) → (2)へ	/		
	NO (16)戸籍編製区分は全部除籍または新戸・全除である(YES,NO)	/		
	YES (17)中間ファイル(統計)の増減戸籍数から1を引き、全部除籍数、附票全部消除数に1を加える。 [7.0]	/		統計処理
	NO (18) → (18.1)へ	/		
	(18.1)戸籍編製区分は新戸・全除である(YES,NO)	/		
	YES (18.2)戸籍事項の数だけ(18.3)の処理を繰り返す	/		統計処理
	(18.3)中間ファイル(統計)の増減本籍人数から1を引く [7.0]	/		
	NO (18.4) → (19)へ	/		
	(19)戸籍特定情報で該当の戸籍特定DBを更新する [1.0]	/		
	(20)戸籍事項の数だけ(21)～(23)の処理を繰り返す	/		
	(21)戸籍事項は今回の処理で作成されたものか(YES,NO)	/		
	YES (22)戸籍事項情報を戸籍事項DBに追加する→(20)へ [2.0]	/		
	NO (23) → (20)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22

作業名	戸籍データベース

処理名	0.0 本紙				備考
	(24)構成員の数だけ(25)～(39)の処理を繰り返す		/		
	(25)個人異動区分(入籍、除籍、その他)		/		
	入籍	(26)中間ファイル(統計)の増減本籍人数と附票一部記載数に1を加える [7.0]	/		統計処理
	除籍	(27)中間ファイル(統計)の増減本籍人数から1を引く [7.0]	/		統計処理
		(28)戸籍編製区分は全部除籍である(YES,NO)	/		
		YES (29) ～ (32)へ	/		
		NO (30)中間ファイル(統計)の附票一部消除数に1を加える [7.0]	/		統計処理
	その他	(31) → (32)へ	/		
	(32)個人特定情報で該当の個人特定DBを更新する [3.0]		/		
	(33)今回の処理で氏名が変更になったか(YES,NO)		/		氏の変更・名の変更があった場合、氏名DBに追加する
	YES	(34)氏名情報を氏名DBに追加する [4.0]	/		
	NO	(35) ～ (36)へ	/		
	(36)身分事項の数だけ(37～(39)の処理を繰り返す		/		
		(37)身分事項は今回の処理で作成されたものか(YES,NO)	/		
		YES (38)身分事項の数だけ身分事項DBに追加する [5.0]	/		
		NO (39) → (36)へ	/		
	(40) → (24)へ		/		
	(41) → (2)へ		/		
→				(42)次の処理を行う	「決裁・受付」の要件定義書に戻る
NO	(43)中間ファイル(選択受領番号)を読む		/		「受理」以外のときは、届書入力審査でロックした戸籍を解除する
	(44)ロック戸籍番号に戸籍番号が格納してあるか(YES,NO)		/		
	YES	(45)ロック戸籍番号(1～5)に戸籍番号があるだけ(46)～(47)の処理を繰り返す	/		
		(46)戸籍番号をキーとして戸籍特定DBを検索する	/		
		(47)戸籍特定DBの戸籍異動区分に0をセットして戸籍特定DBを更新する [6.0] (戸籍ロックの解除) → (45)へ	/		
	→			(48)次の処理を行う	「決裁・受付」の要件定義書に戻る
	NO	→			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース							
処理名	1.0 戸籍DB(戸籍特定)更新/受理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍特定)	戸籍番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号				
	編製日			編製日				
	改製日			改製日				
	回復日			回復日				
	消除日			消除日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	記録者数			記録者数				
	在籍者数			在籍者数				
	除籍者数			除籍者数				
	戸籍除区分			戸籍除区分				
	戸籍異動区分			戸籍異動区分				0:ロック解除が設定されている

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース							
処理名	2.0 戸籍DB(戸籍事項)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍事項)	戸籍番号		中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	戸籍事項項目			戸籍事項項目				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース							
処理名	3.0 戸籍DB(個人特定)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (個人特定)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号				
	戸籍番号			戸籍番号				
	個人記録順位番号			個人記録順位番号				
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	性別			性別				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	個人除区分			個人除区分				
	審査不可区分			審査不可区分				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース							
処理名	4.0 戸籍DB(氏名)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (氏名)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 氏名	個人番号				
	行番号			行番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース							
処理名	5.0 戸籍DB(身分事項)更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (身分事項)	個人番号		中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	身分事項項目			身分事項項目				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース							
処理名	6.0 戸籍DB(戸籍特定)更新/不受理							

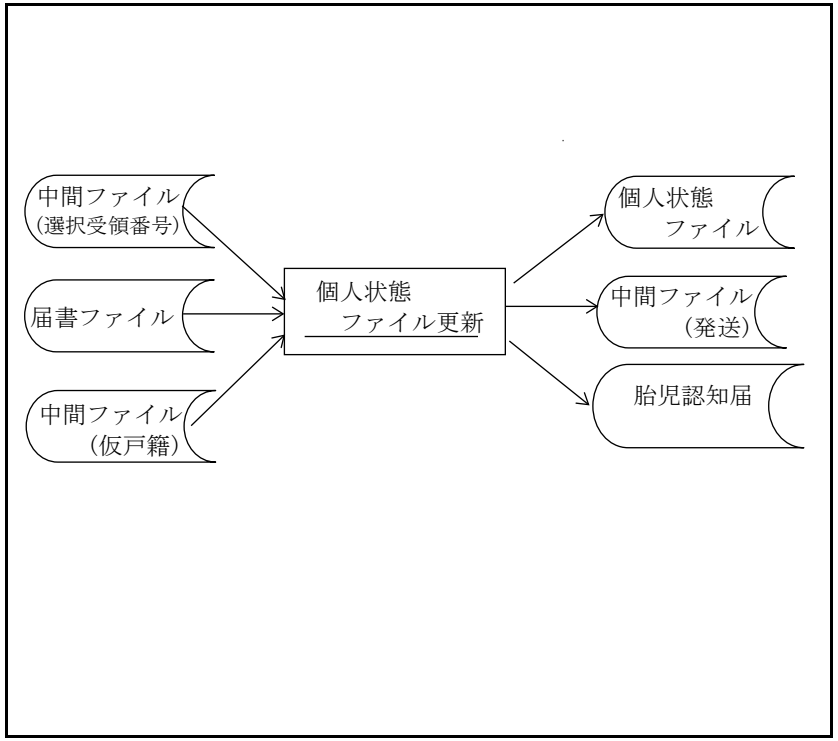
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍特定)	戸籍番号							
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分		戸籍データベース処理					0:戸籍ロック解除を設定

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	戸籍データベース								
処理名	7.0 中間ファイル(統計)更新								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数		戸籍データベース処理	増減戸籍数				
	増減本籍人数			増減本籍人数				
	新戸籍編製数			新戸籍編製数				
	全部除籍数			全部除籍数				
	照会数							
	附票一部記載数		戸籍データベース処理	附票一部記載数				
	附票全部記載数			附票全部記載数				
	附票一部消除数			附票一部消除数				
	附票全部消除数			附票全部消除数				
	附票通知作成数							
	住民票通知作成数							
	住民票異動作成数							
	相続税法58条通知作成数							

システム環境仕様書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力	胎児認知届情報 ファイル	出力
届書ファイル	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	出力		
個人状態ファイル	出力		
中間ファイル(発送)	出力		

3.処理概要

(1)後見届、保佐届、胎児認知届、胎児認知区分のある出生届の各届出の場合、個人状態ファイルを更新する
胎児認知区分のある出生届の場合、胎児認知届情報ファイルから当該画像を削除する
(2)個人状態ファイルを持っている者が本籍地の他の戸籍に異動したとき、従前の内容を異動先の個人状態ファイルに移す
胎児認知区分のある者は胎児認知届画像情報も移す
(3)胎児認知区分のある者が他市区町村の戸籍に異動したとき、中間ファイル(発送)の送付書類区分の胎児認知フラグを設定する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙(後見届)
- 2.0 別紙(保佐届)
- 3.0 別紙(認知届〔胎児認知〕)
- 4.0 別紙(出生届)
- 5.0 データ編集表(個人状態ファイル:区分の更新)
- 6.0 データ編集表(個人状態ファイル:作成)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル					
処理名	0.0 本紙				備考	

(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む				/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する				/		
(3)届書の事件名(後見届、保佐届、認知届、出生届、その他)				/		
後見届	(4)				(7)次の処理を行う	「受付･決裁」の要件定義書に戻る (4)削除
保佐届	(5)保佐届の処理を行う(別紙「保佐届」を参照)		[2.0]			
認知届	(6)認知届の処理を行う(別紙「認知届」を参照)		[3.0]			
出生届	(8)出生届の処理を行う(別紙「出生届」を参照)		[4.0]			
その他	(9) → (10)へ			/		
(10)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(11)～(34)の処理を繰り返す				/		
(11)構成員の数だけ(12)～(33)の処理を繰り返す				/		
(12)中間ファイル(仮戸籍)の個人異動区分(入籍、除籍、その他)				/		
入籍	(13)個人特定DBの前個人番号に個人番号がある(YES,NO)			/		個人状態ファイルを有している者が他の戸籍(同一本籍地)に異動したときは、異動後も同じ個人状態ファイルを作成する
YES	(14)前個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する			/		
	(15)個人状態ファイルがある(YES,NO)			/		
	YES	(16)この個人状態ファイルと同じ内容で異動後の個人に個人状態ファイルを作成する → (11)へ	[6.0]	/		
		(16-1)胎児認知区分=1:有である(YES,NO)		/		
		YES	(16-2)胎児認知届画像情報を異動後の個人にコピーする	/		画像のコピーは任意(他での実施も可)
		NO	(16-3) → (11)へ	/		
	NO	(17) → (11)へ		/		
NO	(18) → (11)へ			/		
除籍	(19)除籍者は他市町村への異動である(YES,NO)			/		
YES	(20)除籍者の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する			/		
	(21)個人状態ファイルがある(YES,NO)			/		
	YES	(22)胎児認知区分=1:有である(YES,NO)		/		
		YES	(23)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/		
			YES	(24)中間ファイル(発送)の数だけ(25)～(27)の処理を繰り返す	/	
				(25)中間ファイル(発送)の市区町村コードと異動先の市区町村が同じ(YES,NO)	/	

要件定義ワークシート										作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				個人状態ファイル											
処理名				0.0 本紙										備考	
							YES	(26)中間ファイル(発送)の送付書類区分の胎児認知フラグに1を設定する→ (11)へ		/			胎児認知の届出をしている者が他の市区町村に異動した場合は、その旨の発送ファイルを作成する
							NO	(27) → (24)へ		/			
						(28) → (29)へ				/			
					NO	(29)受領番号と異動先の市区町村(本籍コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の胎児認知フラグに1を設定する → (11)へ			[7.0]	/			
				NO	(30) → (11)へ					/			
			NO	(31) → (11)へ						/			
		NO	(32) → (11)へ							/			
	その他	(33) → (11)へ								/			
	(34) → (10)へ									/			
→											(35)次の処理を行う	「受付･決裁」の要件定義書に戻る	

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	個人状態ファイル								
処理名	1.0 別紙(後見届)							備考	
(1)						/		(1)～(17)まで削除	
13: 禁治産宣告の裁判確定	(2)					/			
		(3)				/			
		YES	(4)			/			
			(5)			/			
			YES	(6)			(8)		
			NO	(7)					
		NO	(9) → (2)へ			/			
34: 禁治産宣告取消の裁判確定	(10)					/			
		(11)				/			
		YES	(12)			/			
			(13)			/			
			YES	(14)			(15)		
			NO	→					
		NO	(16) → (10)へ			/			
その他	→						(17)		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成12年 3月 1日	版	4
作業名	個人状態ファイル								
処理名	2.0 別紙(保佐届)							備考	
(1)届書ファイルの届出原因区分(11、31、その他)						/			
11: 準禁治産宣告の裁判確定	(2)					/		(2)～(9)まで削除	
		(3)				/			
		YES	(4)			/			
			(5)			/			
			YES	(6)			(8)		
			NO	(7)					
		NO	(9) → (2)へ			/			
31: 準禁治産宣告取消の裁判確定	(10)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の構成員の数だけ(11)～(16)の処理を繰り返す					/			
		(11)個人異動区分は記載である(YES,NO)				/			
		YES	(12)個人番号で個人状態ファイルを検索する			/			
			(13)個人状態ファイルがある(YES,NO)			/			
			YES	(14)準禁治産者区分:0を設定し、個人状態ﾌｧｲﾙを更新する	[5.0]		(15)本紙へ戻る	個人状態ファイルがある場合だけ更新する	
			NO	→					
		NO	(16) → (10)へ			/			
その他	→						(17)本紙へ戻る		

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人状態ファイル							
処理名	3.0 別紙(認知届)						備考	
(1)届書ファイルの認知区分=1:胎児認知届である(YES,NO)					/			
YES	(2)母の個人番号がある(YES,NO)				/		母が本籍人の場合に限り胎児認知区分を設定する	
	YES	(3)個人番号で個人状態ファイルを検索する			/			
		(4)個人状態ファイルは存在するか(YES,NO)			/			
		YES	(5)胎児認知区分:1を設定し、個人状態ファイルを更新する	[5.0]		(7)本紙へ戻る	個人状態ファイルがあれば更新、なければ作成する	
		NO	(6)個人状態ファイルを作成し、胎児認知区分:1を設定する	[5.0]				
	NO	→						
NO	→							

要件定義ワークシート						作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル										
処理名	4.0 別紙(出生届)									備考	
(1)届書ファイルの事件別内容に母の個人番号がある(YES,NO)								/		母に胎児認知区分がある場合は、出生により無条件で区分を削除する	
YES	(2)個人番号で個人状態ファイルを検索する							/			
	(3)個人状態ファイルは存在するか(YES,NO)							/			
	YES	(4)胎児認知区分は1である(YES,NO)						/			
		YES	(5)胎児認知区分:0を設定し、個人状態ファイルを更新する [5.0]					/		個人状態ファイルがある場合だけ更新する	
			(5-1)該当の胎児認知届書画像を胎児認知届書情報ファイルから削除する						(6)本紙へ戻る		
		NO	→								
	NO	→									
NO	→										

データ編集表(補足説明)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人状態ファイル							
処理名	5.0 個人状態ファイル更新(区分変更)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号		個人状態ファイル処理					作成の場合は個人番号を設定
	禁治産者区分							
	準禁治産者区分							準禁治産取消:「0」を設定する
	破産宣告人区分							
	裁判所通知区分							
	犯歴区分							
	胎児認知区分		個人状態ファイル処理					胎児認知届:「1」を設定する 出生届:「0」を設定する
	受理処理照会区分							
	保留区分							
	注意喚起区分							
	メモ							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	個人状態ファイル							
処理名	6.0 個人状態ファイル作成							

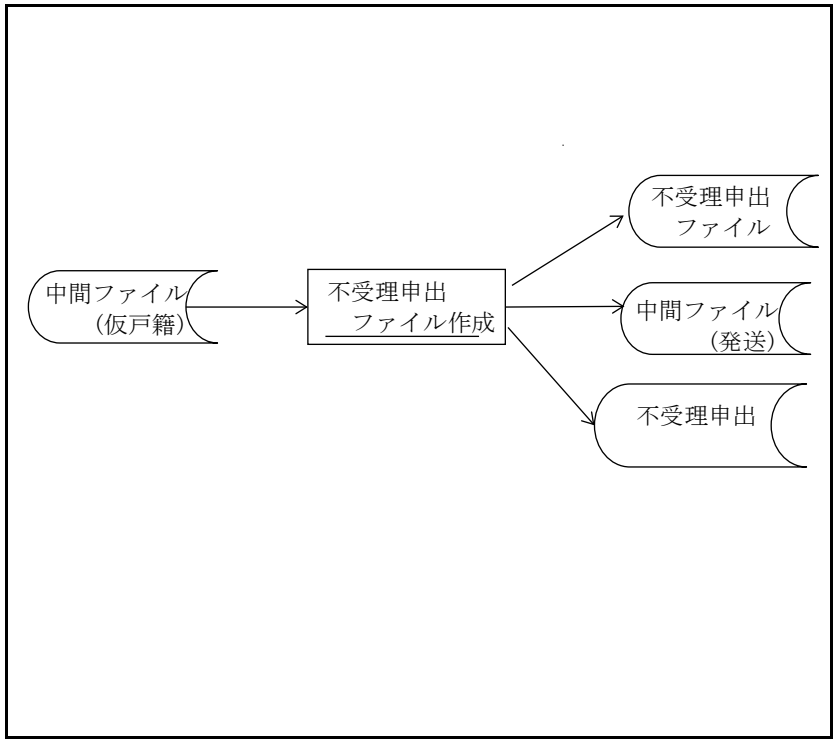
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号							システムで新しい個人番号を設定
	禁治産者区分		(前個人番号の) 個人状態ファイル	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	犯歴区分			犯歴区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理処理伺い区分			受理処理伺い区分				
	保留区分			保留区分				
	注意喚起区分			注意喚起区分				
	メモ			メモ				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人状態ファイル							
処理名	7.0 中間ファイル(発送)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		中間ファイル (選択受領番号)	受領番号				更新の場合は胎児認知フラグのみを設定
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		仮戸籍ファイル	本籍地				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名がわかればよい) 本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号、住所、宛名を設定する
	郵便番号					有		
	住所					有		
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知		個人状態ﾌｧｲﾙ処理					有:「1」を設定する
	住民票通知							
	附票通知							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
不受理申出ファイル	出力		
中間ファイル(発送)	出力		
不受理申出情報 ファイル	出力		

3.処理概要

(1)不受理申出ファイルを持っている者が本籍地の他の戸籍に異動したとき、従前の内容(有効な情報のみ)を異動先の不受理申出ファイルに移す
このとき画像情報も同様に不受理申出情報ファイルに移す
(2)不受理申出ファイルを持っている者が他市区町村の戸籍に異動したとき、
中間ファイル(発送)の送付書類区分の不受理申出フラグに1を設定する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0データ編集表(不受理申出ファイル)
└ 2.0データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	不受理申出ファイル

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(2)～(23)の処理を繰り返す			/	
(2)構成員の数だけ(3)～(22)の処理を繰り返す			/	
(3)中間ファイル(仮戸籍)の個人異動区分(入籍、除籍、その他)?			/	
入籍	(4)個人特定DBの前個人番号にデータがある(YES,NO)		/	不受理申出ファイルを有している者が他の戸籍(同一本籍地)に異動したときは、異動後も同じ不受理申出ファイルを作成する
YES	(5)前個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する		/	
	(6)不受理申出ファイルがある(YES,NO)		/	
	YES	(7)この不受理申出ファイルと同じ内容で異動後の個人に不受理申出ファイルを作成する(有効な情報のみ) [1.0]	/	
		(7-1)不受理申出画像情報を異動後の個人にコピーする(有効な情報のみ) → (2)へ	/	画像のコピーは任意(他での実施も可)
	NO	(8) → (2)へ	/	
NO	(9) → (2)へ		/	
除籍	(10)除籍者は他市区町村へ異動する(YES,NO)		/	
YES	(11)除籍者の個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する		/	不受理申出ファイルを有している者が他の市区町村に異動した場合は、その旨の発送ファイルを作成する
	(12)不受理申出ファイルがある(YES,NO)		/	
	YES	(13)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/	
		YES	(14)中間ファイル(発送)の数だけ(15)～(17)の処理を繰り返す	/	
			(15)中間ファイル(発送)の市区町村コードと異動先の市区町村が同じ(YES,NO)	/	
			YES	(16)中間ファイル(発送)の送付書類区分の不受理申出フラグに1を設定する → (2)へ [2.0]	/	
			NO	(17) → (14)へ	/	
			(18) → (19)へ		/	
		NO	(19)受領番号と異動先の市区町村(本籍コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の不受理申出フラグに1を設定する → (2)へ [2.0]	/	
	NO	(20) → (2)へ		/	
NO	(21) → (2)へ			/	
その他	(22) → (2)へ			/	
(23) → (1)へ				/	

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル						
処理名	0.0 本紙					備考	
→				(24)次の処理を行う		「受付･決裁」の要件定義書に戻る	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	不受理申出ファイル							
処理名	1.0 不受理申出ファイル作成							

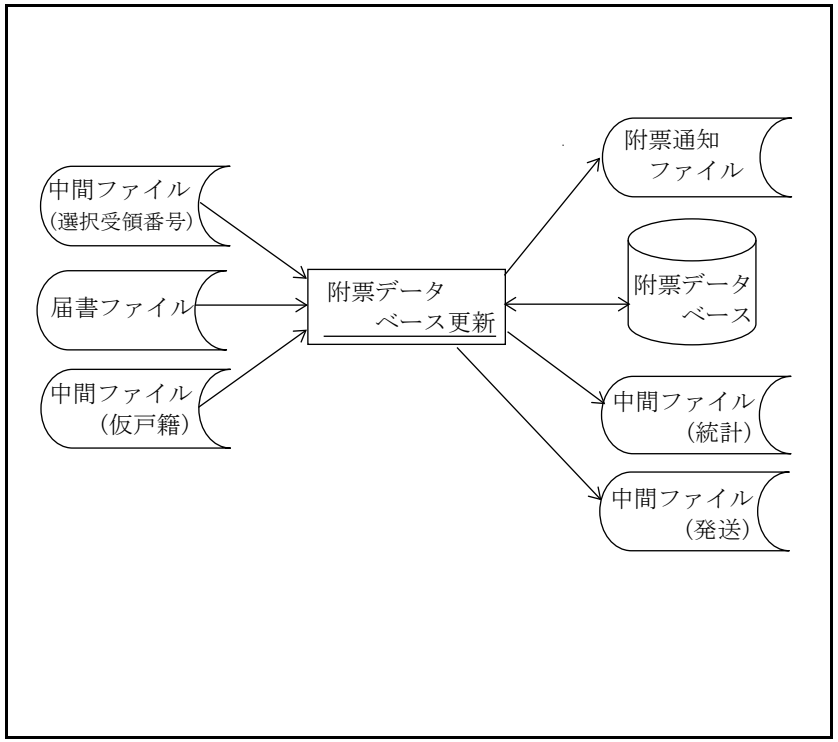
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
不受理申出ファイル	個人番号							システムで新しい個人番号を設定
	行番号		(前個人番号の) 不受理申出ファイル	行番号				
	出張所番号			出張所番号				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件コード				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	作成日			作成日				
	相手方氏名1			相手方氏名1				
	相手方氏名2			相手方氏名2				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	不受理申出ファイル							
処理名	2.0 中間ファイル(発送)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		中間ファイル (選択受領番号)	受領番号				更新の場合は不受理申出フラグのみを設定
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		仮戸籍ファイル	本籍地				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名が分かればよい) 本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号、住所、宛名を設定する
	郵便番号					有		
	住所					有		
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出		不受理申出ﾌｧｲﾙ処理					有:「1」を設定する
	胎児認知							
	住民票通知							
	附票通知							

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	附票データベース					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力	中間ファイル(発送)	出力
届書ファイル	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
附票データベース	入出力		
附票通知ファイル	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイル･仮戸籍ファイル、附票データベースを基に以下の処理を行う
(2)非本籍地から本籍地へ入籍した場合、出生等データを作成するだけの処理の場合に附票データベースを作成する(住所、住定日は除く)
(3)本籍地から本籍地へ異動した場合、従前の附票の最終住所とその住定日で異動後の附票データベースを作成する
(4)本籍地から非本籍地へ異動した場合、附票通知ファイルと発送ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(附票:個人番号登録のみ)
- 2.0 データ編集表(附票:作成)
- 3.0 データ編集表(附票通知ファイル)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(統計))
- 5.0 データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

サンプル

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	附票データベース更新					
処理名	0.0 本紙					備考

(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む							/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する							/		
(3)戸籍の届は何か(出生、国籍取得(帰化)、就籍、その他)							/		
出生	(4)戸籍の中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(5)～(36)の処理を繰り返す						/		
	(5)棄児発見調書による処理か(YES,NO)						/		棄児は住所と住定日のない附票を作成する(住基法19-1通知で処理する)
	YES	(6)中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (4)へ				[1.0]	/		
	NO	(7) → (8)へ					/		
	(8)構成員の数だけ(9)～(35)の処理を行う						/		
		(9)個人異動区分(入籍、除籍、その他)?					/		
		入籍	(10)入籍者は出生子である(YES,NO)				/		
			YES	(11)届書の住所は日本国内である			/		
				YES	(12)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号、住所･方書←届書の住所･方書、住定日←届書	[2.0]	/		出生子は届書の情報で附票を作成する
				NO	(13)中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (8)へ	[1.0]	/		出生子の住所が外国の場合は住所、住定日のない附票を作成する
			NO	(14) → (15)へ			/		
			(15)異動者は前個人番号を持っている(YES,NO)				/		非嫡出子の出生で母につき新戸籍編製をする場合の母の処理
			YES	(16)前個人番号で附票DBを検索する			/		
				(17)附票DBに住所が記載されている(YES,NO)			/		管内→管内の異動は従前の附票から最新の住所を新附票へ移記する
				YES	(18)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号、住所･方書･住定日←前附票DBの最終の住所･方書･住定日 で附票を作成する	[2.0]	/		
				NO	(19)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号 で附票を作成する → (8)へ	[1.0]	/		
			NO	(20)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (8)へ		[1.0]	/		管外→管内は住所情報を除く附票を作成し、19-3通知を待って処理する
		除籍	(21)除籍者は他市区町村へ異動する(YES,NO)				/		
			YES	(22)除籍者の個人番号をキーとして附票DBを検索する			/		
				(23)附票DBに住所が記載されている(YES,NO)			/		
				YES	(24)附票DBの最終住所、住定日で附票通知ファイルを 作成する	[3.0]	/		管内→管外は附票から19-3通知を作成する

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	附票データベース更新

処理名	0.0 本紙							備考
				(25)中間ファイル(統計)の附票通知作成数に1を加える [4.0]		/		
				(26)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)		/		
				YES	(27)中間ファイル(発送)の数だけ(28)～(30)の処理を繰り返す	/		
					(28)除籍者の異動先市区町村と発送ファイルの市区町村が同じ(YES,NO)	/		
					YES (29)中間ファイル(発送)の送付書類区分の附票通知フラグに1を設定する → (8)へ [5.0]	/		
					NO (30) → (27)へ	/		
				(31) → (32)へ		/		
				NO	(32)受領番号と異動先の市区町村(本籍コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の附票通知フラグに1を設定する → (8)へ [5.0]	/		
			NO	(33) → (8)へ		/		
		NO		(34) → (8)へ		/		
	その他			(35) → (8)へ		/		
	(36) → (4)へ					/		
→							(37)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る
国籍取得帰化	(38)戸籍の中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(39)～(48)の処理を繰り返す					/		
	(39)構成員の数だけ(40)～(47)の処理を行う					/		
	(40)個人異動区分(入籍、除籍、その他)?					/		
	入籍	(41)入籍者は国籍取得者(帰化者)である(YES,NO)				/		
		YES	(42)届書の住所は日本国内である			/		
			YES	(43)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号、住所･方書←届書の住所･方書、住定日←届書 [2.0]		/		国籍取得者(帰化者)は届書の情報で附票を作成する
			NO	(44)中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (39)へ [1.0]		/		
		NO		(44) → (45)へ		/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	附票データベース更新

処理名	0.0 本紙			備考
	(45)入籍者の以降の処理は出生届の(15)～(20)と同じであるので省略	/		
	除籍 (46)除籍の処理は出生届の(21)～(34)と同じであるので省略	/		
	その他 (47) → (8)へ	/		
	(48) → (4)へ	/		
	→		(49)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る
就籍	(50)戸籍の中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(51)～(58)の処理を繰り返す	/		
	(51)構成員の数だけ(52)～(57)の処理を行う	/		
	(52)個人異動区分(入籍、その他)?	/		
	入籍 (53)入籍者は就籍者である(YES,NO)	/		
	YES (54)届書の住所は日本国内である	/		
	YES (55)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号、住所･方書←届書の住所･方書、住定日←届書 [2.0]	/		国籍取得者(帰化者)は届書の情報で附票を作成する
	NO (56)中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (51)へ [1.0]	/		
	NO (56-1) → (51)へ	/		
	その他 (57) → (8)へ	/		
	(58) → (4)へ	/		
	→		(59)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る
その他	(60)戸籍の中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(61)～(66)の処理を繰り返す	/		
	(61)構成員の数だけ(62)～(65)の処理を行う	/		
	(62)個人異動区分(入籍、除籍、その他)?	/		
	入籍 (63)入籍の処理は出生届の(15)～(20)と同じであるので省略	/		
	除籍 (64)除籍の処理は出生届の(21)～(34)と同じであるので省略	/		
	その他 (65) → (8)へ	/		
	(66) → (4)へ	/		
	→		(67)次の処理を行う	「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	附票データベース							
処理名	1.0 附票DB作成(個人番号)							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
附票データベース	戸籍個人番号		中間ファイル (仮戸籍)	戸籍個人番号				
	住記個人番号							
	履歴番号							
	現除区分							
	作成日							
	住所登録事由コード							
	住所							
	方書							
	住定日							
	消除日							
	住所消除事由コード							
	修正確定日							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	附票データベース							
処理名	2.0 附票DB作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
附票データベース	戸籍個人番号		中間ファイル (仮戸籍)	戸籍個人番号				
	住記個人番号							
	履歴番号		附票データベース処理 (届書ファイル等)	履歴番号				1を設定(1から連番で取得)
	現除区分			現除区分				0:現住所を設定
	作成日			作成日				
	住所登録事由コード			住所登録事由コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	消除日							
	住所消除事由コード							
	修正確定日							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	附票データベース							
処理名	3.0 附票通知ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
附票通知ファイル	受領番号		中間ファイル (選択受領番号) 届書ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				入籍先の自治体コードを設定
	宛名			宛名		有		入籍先の自治体の宛名を設定
	事件コード			事件コード				
	受理日			受領日				
	新本籍			新本籍				各届書毎に項目が異なる 新本籍→異動後の本籍 旧本籍→届出前の本籍 新筆頭者→異動後の筆頭者 旧筆頭者→届出前の筆頭者 ※事件別内容部分
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	氏名			事件本人氏名				※事件別内容部分
	住所		附票データベース	住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	附票データベース								
処理名	4.0 中間ファイル(統計)更新								

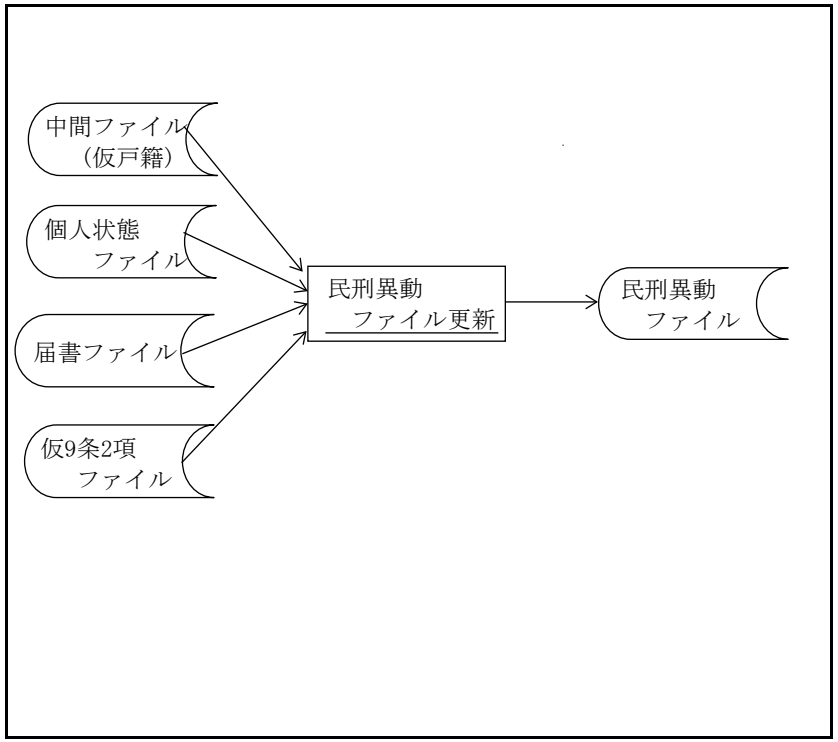
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数							
	増減本籍人数							
	新戸籍編製数							
	全部除籍数							
	照会数							
	附票一部記載数							
	附票全部記載数							
	附票一部消除数							
	附票全部消除数							
	附票通知作成数		附票データベース処理	附票通知作成数				
	住民票通知作成数							
	住民票異動作成数							
	相続税法58条通知作成数							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	附票データベース							
処理名	5.0 中間ファイル(発送)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		中間ファイル (選択受領番号)	受領番号				更新の場合は附票通知フラグのみを設定
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		仮戸籍ファイル	届後本籍				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名が分かればよい)
	郵便番号					有		
	住所					有		本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号、住所、宛名を設定する
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知							
	附票通知		附票データベース処理					有:「1」を設定する

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	民刑異動ファイル					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
個人状態ファイル	入力		
届書ファイル	入力		
仮9条2項ファイル	入力		
民刑異動ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(仮戸籍)を読み以下の処理を行う
(2)異動者が禁治産者、準禁治産者、破産者、犯歴者の場合、民刑異動ファイルを作成する

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　―　1.0　データ編集表(民刑異動ファイル)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	民刑異動ファイル

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(2)～(31)の処理を繰り返す		/		
(2)構成員の数だけ(3)～(30)の処理を行う		/		
(3)個人異動区分は除籍又は記載である(YES,NO)		/		異動者だけ処理を行うが、入籍者については ・(本→本異動)は除籍者で作成する ・(非本→本異動)は作成不要 ・(出生等入籍のみ)も作成不要であるので入籍は処理不要
YES	(4)個人番号で個人状態ファイルを検索する	/		
	(5)個人状態ファイルが存在する(YES,NO)	/		
	YES (6)禁治産者区分、準禁治産者区分、破産宣告人区分、犯歴区分のいずれかの区分=1:有である(YES,NO)	/		
	YES (7)中間ファイル(仮戸籍)の受領番号をキーとして仮9条2項ファイルを検索する	/		仮9条2項ファイルがある場合は、その新旧情報で民刑異動ファイルを作成する
	(8)仮9条2項ファイルが存在する(YES,NO)	/		
	YES (9)該当受領番号の仮9条2項ファイルがなくなるまで(10)～(24)の処理を繰り返す	/		
	(10)中間ファイル(仮戸籍)の個人番号=仮9条2項ファイルの個人番号である(YES,NO)	/		仮9条2項ファイルの新旧情報を比較し、同じ項目は旧のみを登録する
	YES (11)仮9条2項ファイルの新氏名=旧氏名である(YES,NO)	/		
	YES (12)旧氏名を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/		
	NO (13)旧氏名と新氏名を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/		
	(14)仮9条2項ファイルの新本籍=旧本籍である(YES,NO)	/		
	YES (15)旧本籍を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/		
	NO (16)旧本籍と新本籍を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/		
	(17)仮9条2項ファイルの新筆頭者=旧筆頭者である(YES,NO)	/		
	YES (18)旧筆頭者を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/		
	NO (19)旧筆頭者と新筆頭者を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/		
	(20)仮9条2項ファイルの新生年月日=旧生年月日である(YES,NO)	/		

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

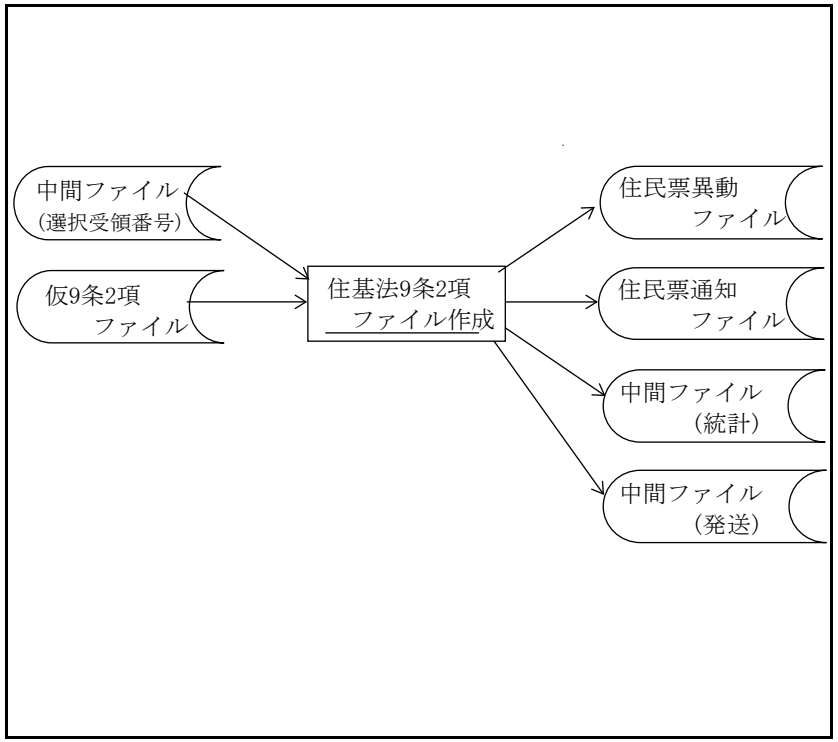
作業名	民刑異動ファイル

処理名	0.0　本紙								備考
				YES	(21)旧生年月日を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/			
				NO	(22)旧生年月日と新生年月日を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/			
					(23)その他の項目を設定して民刑異動ファイルを作成する → (2)へ [1.0]	/			
				NO	(24) → (9)へ	/			
			(25) → (26)へ			/			
		NO	(26)中間ファイル(仮戸籍)の受領番号で届書ファイルを検索する			/			仮9条2項ファイルがない場合は、新旧情報が存在しないので、届書ファイルの現情報で民刑異動ファイルを作成する
			(27)届書ファイルの内容で民刑異動ファイルを作成する → (2)へ [1.0]			/			
	NO	(28) → (2)へ				/			
	NO	(29) → (2)へ				/			
NO	(30) → (2)へ					/			
(31) → (1)へ						/			
→							(32)次の処理を行う		「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	民刑異動ファイル								
処理名	1.0 民刑異動ファイル作成								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
民刑異動ファイル	処理日							処理日 又は 送付日 又は 受領日	
	出張所番号		届書ファイル 仮9条2項ファイル	出張所番号					
	事件コード			選択事件コード					
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分					
	準禁治産者区分			準禁治産者区分					
	破産宣告人区分			破産宣告人区分					
	犯歴区分			犯歴区分					
	新氏名		届書ファイル 仮9条2項ファイル	新氏名				変更があった場合のみ記載	
	旧氏名			旧氏名					
	新本籍			新本籍				変更があった場合のみ記載	
	旧本籍			旧本籍					
	新筆頭者			新筆頭者				変更があった場合のみ記載	
	旧筆頭者			旧筆頭者					
	新生年月日			新生年月日				変更があった場合のみ記載	
	旧生年月日			旧生年月日					

システム環境仕様書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	住基法9条2項						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
仮9条2項ファイル	入力		
住民票異動ファイル	出力		
住民票通知ファイル	出力		
中間ファイル(統計)	出力		
中間ファイル(発送)	出力		

3.処理概要

(1)仮9条2項ファイルを基に以下の処理を行う
(2)新旧のデータを比較し、変更のあるデータだけを次の条件でファイルに振り分ける
(3)事件本人が住所人の場合、住民票異動ファイルを作成する
(4)事件本人が非住所人の場合、住民票通知ファイル(住基法9条2項通知)と発送ファイルを作成する
(5)住民票異動ファイル作成数及び住民票通知作成数の統計を取得する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(住民票異動ファイル作成)
- 2.0 データ編集表(住民票通知ファイル作成)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(統計))
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	住基法9条2項

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む		/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮9条2項ファイルを検索する		/		
(3)該当する受領番号の仮9条2項ファイルが無くなるまで(4)～(36)の処理を繰り返す		/		
(4)変更フラグに0をセットする		/		
(5)旧氏名=新氏名である(YES,NO)		/		
YES (6)新氏名を空白にする		/		
NO (7)変更フラグに1をセットする		/		
(8)旧生年月日=新生年月日である(YES,NO)		/		
YES (9)新生年月日を空白にする		/		
NO (10)変更フラグに1をセットする		/		
(11)旧父母との続柄=新父母との続柄である(YES,NO)		/		
YES (12)新父母との続柄を空白にする		/		
NO (13)変更フラグに1をセットする		/		
(14)旧本籍(本籍コード)=新本籍(本籍コード)である(YES,NO)		/		
YES (15)新本籍(本籍コード)を空白にする		/		
NO (16)変更フラグに1をセットする		/		
(17)旧筆頭者=新筆頭者である(YES,NO)		/		
YES (18)新筆頭者を空白にする		/		
NO (19)変更フラグに1をセットする		/		
(20)変更フラグ=1(YES,NO)		/		
YES (21)異動者は住所人である(YES,NO)		/		
YES (22)9条2項情報を住民票異動ファイルに出力する	[1.0]	/		住所人は住民票異動ファイルを作成する
(23)中間ファイル(統計)の住民票異動作成数に1を加える	[3.0]	/		
NO (24)住所は日本国内である(YES,NO)		/		外国に住所がある者は9条2項通知は不要
YES (25) → (27)へ		/		
NO (26) → (3)へ		/		
(27)9条2項情報を住民票通知ファイルに出力する	[2.0]	/		住所人以外は住民票通知ファイルを作成する
(28)中間ファイル(統計)の住民票通知作成数に1を加える	[3.0]	/		
(29)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)		/		発送ファイルを作成する

要件定義ワークシート					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名				住基法9条2項						
処理名				0.0 本紙					備考	
			YES	(30)中間ファイル(発送)の数だけ(31)～(33)の処理を繰り返す	/					
				(31)異動者の住所と発送ファイルの市区町村が同じ(YES,NO)	/					
				YES (32)中間ファイル(発送)の送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定する [4.0] → (3)へ	/					
				NO (33) → (30)へ	/					
				(34) → (35)へ	/					
			NO	(35)受領番号と異動者の住所(住所コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定する [4.0] → (3)へ	/					
		NO	(36) → (3)へ		/					
→							(37)次の処理を行う		「決裁･受付」の要件定義書に戻る	

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	住基法9条2項							
処理名	1.0 住民票異動ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
住民票異動ファイル	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				国籍取得、帰化のみ設定
	住民日			住民日				国籍取得、帰化のみ設定
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				出生、国籍取得、帰化のみ設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	住基法9条2項							
処理名	2.0 住民票通知ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
住民票通知ファイル	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				国籍取得、帰化のみ設定
	住民日			住民日				国籍取得、帰化のみ設定
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				出生、国籍取得、帰化のみ設定

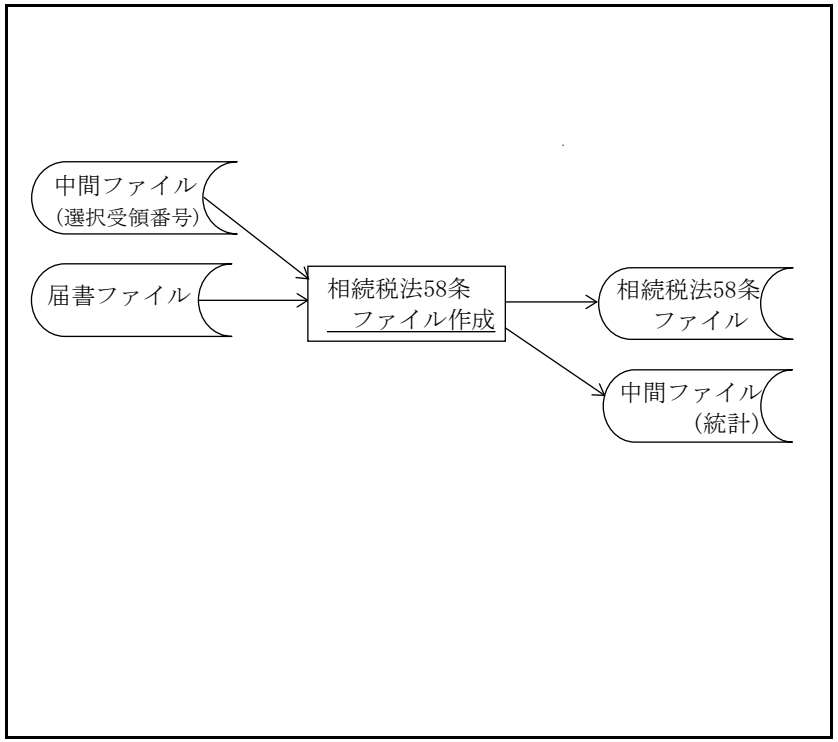
データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	住基法9条2項								
処理名	3.0 中間ファイル(統計)更新								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル(統計)	受領番号								
	出張所番号								
	受理送付区分								
	本非区分								
	増減戸籍数								
	増減本籍人数								
	新戸籍編製数								
	全部除籍数								
	照会数								
	附票一部記載数								
	附票全部記載数								
	附票一部消除数								
	附票全部消除数								
	附票通知作成数								
	住民票通知作成数		住基法9条2項処理	住民票通知作成数					
	住民票異動作成数			住民票異動作成数					
	相続税法58条通知作成数								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	住基法9条2項							
処理名	4.0 中間ファイル(発送)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				更新の場合は住民票通知フラグのみを設定
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所				住所コードの上5桁(送付する市区町村名が分かればよい)
	郵便番号					有		
	住所					有		住所コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号、住所、宛名を設定する
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知		住基法9条2項処理					有:「1」を設定する
	附票通知							

システム環境仕様書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	相続税法58条通知						

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
相続税法58条ファイル	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3. 処理概要

(1)届書ファイルを基に以下の処理を行う
(2)死亡届及び失踪届の受理扱い分であれば相続税法58条ファイルを作成する
(3)相続税法58条通知の統計を取得する

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(相続税法58条ファイル)
　　└ 2.0 データ編集表(中間ファイル(統計))

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	相続税法58条通知						
処理名	0.0 本紙					備考	
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む			/				
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する			/				
(3)届書ファイルの在外送付区分=0(受理分の届) または 2(在外公館からの直接送付)である (YES NO)			/				
YES	(4)相続税法58条ファイルを作成する [1.0]		/				
	(5)中間ファイル(統計)の相続税法58条通知作成数に1を設定する [2.0]			(6)次の処理を行う		「決裁･受付」の要件定義書に戻る	
NO	→						

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	相続税法58条通知							
処理名	1.0 相続税法58条ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
相続税法58条ファイル	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	住所			住所				
	本籍			本籍				本非区分=1(本籍分届)のとき設定
	筆頭者区分							
	生年月日			生年月日				
	相続開始年月日			死亡日				
	死亡地			死亡地				死亡届のとき設定
	届出人氏名			届出人氏名				
	届出人住所			届出人住所				死亡届のとき設定

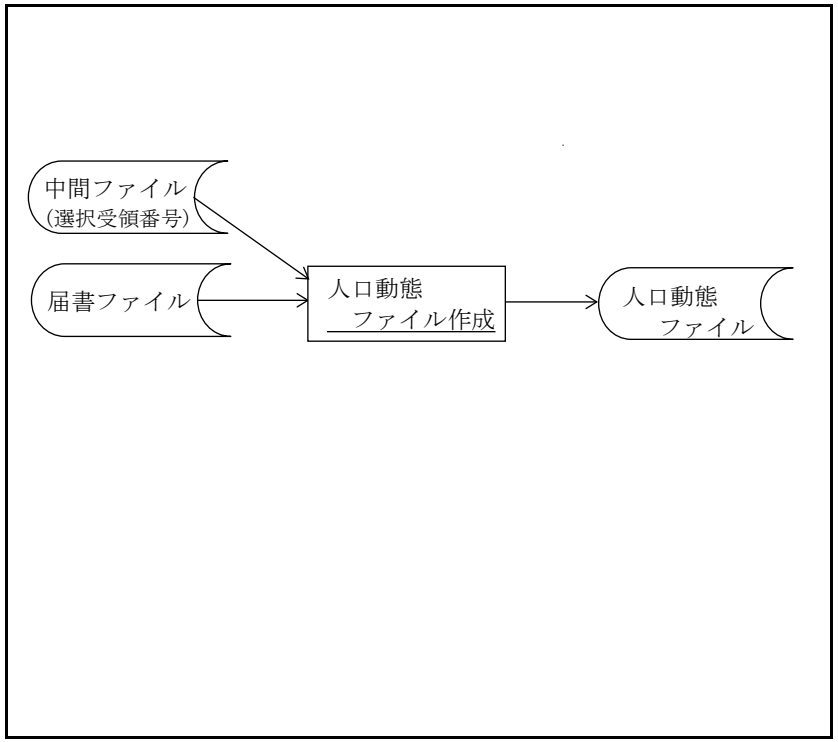
データ編集表				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	相続税法58条通知								
処理名	2.0 中間ファイル(統計)更新								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数							
	増減本籍人数							
	新戸籍編製数							
	全部除籍数							
	照会数							
	附票一部記載数							
	附票全部記載数							
	附票一部消除数							
	附票全部消除数							
	附票通知作成数							
	住民票通知作成数							
	住民票異動作成数							
	相続税法58条通知作成数		相続税法58条通知処理	相続税法58条通知作成数				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	人口動態ファイル

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
人口動態ファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイルを基に以下の処理を行う
(2)出生届、死亡届、婚姻届、離婚届で受理扱い分の場合、人口動態ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 ― 本紙

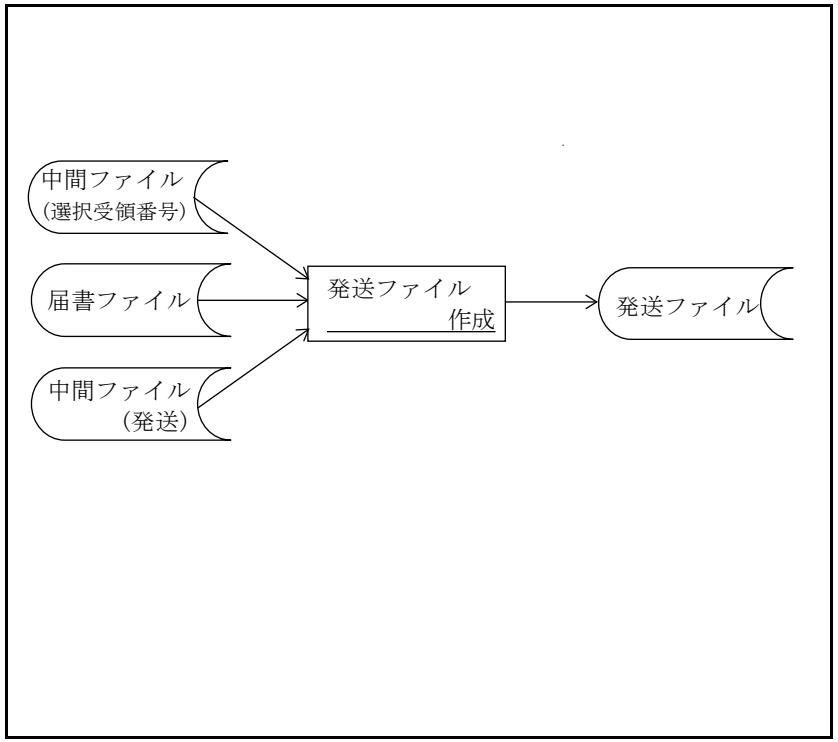
5.備考(特記事項含む)

データ編集表は削除する
データ編集内容は厚生省の「標準仕様書」を参照のこと

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	人口動態ファイル							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読み込む				/				
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する				/				
(3)届出事件は何か(出生、死亡、婚姻、離婚)				/				
出生届	(4)人口動態ファイル(出生)を作成する	[1.0]			(8)次の処理を行う		「決裁･受付」の要件定義書に戻る	
死亡届	(5)人口動態ファイル(死亡)を作成する	[2.0]						
婚姻届	(6)人口動態ファイル(婚姻)を作成する	[3.0]						
離婚届	(7)人口動態ファイル(離婚)を作成する	[4.0]						

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	発送ファイル					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
中間ファイル(発送)	入出力		
発送ファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイルを読み届書の送付が必要な場合、中間ファイル(発送)があれば追加し、なければ中間ファイル(発送)を作成する
(2)中間ファイル(発送)があればその内容を発送ファイルに登録する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(中間ファイル(発送))
　　└ 2.0 データ編集表(発送ファイル)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	発送ファイル

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読み込む	/			
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する	/			
(3)在外送付区分は0:「受理分の届」 又は 2:「在外公館の直接送付」である(YES,NO)	/			
YES (4)届書ファイルの本籍(現本籍、異動後本籍)の数だけ(5)～(13)の処理を繰り返す	/			届書の送付が必要な場合は発送ファイルを作成する(他市区町村へ:国外は除く)
(5)その本籍は管外本籍(国籍を除く)である(YES,NO)	/			
YES (6)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/			
YES (7)中間ファイル(発送)の数だけ(8)～(10)の処理を繰り返す	/			
(8)中間ファイル(発送)の市区町村コードと本籍コードが同じ(YES,NO)	/			
YES (9)中間ファイル(発送)の送付書類区分の届書フラグに1を設定する → (4)へ [1.0]	/			中間ファイルがあれば届書フラグを設定する
NO (10) → (7)へ	/			
(11) → (12)へ	/			
NO (12)受領番号と本籍コードで中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の届書フラグに1を設定する → (4)へ [1.0]	/			中間ファイルがなければ作成し、届書フラグを設定する
NO (13)→(4)へ	/			
(14)→(16)へ	/			
NO (15)→(16)へ	/			
(16)中間ファイル(発送)が存在する(YES,NO)	/			
YES (17)中間ファイル(発送)の数だけ以下の処理を繰り返す	/			
(18)中間ファイル(発送)の内容で発送ファイルを作成する → (17)へ [2.0]	/			
→		(19)次の処理を行う		「決裁･受付」の要件定義書に戻る
NO →				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	発送ファイル							
処理名	1.0 中間ファイル(発送)作成							

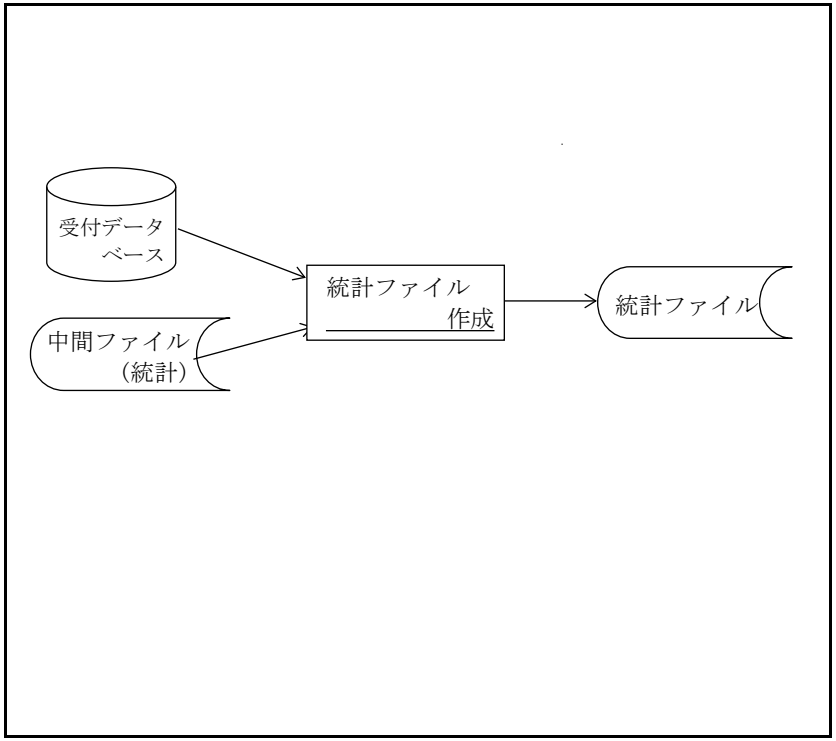
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		届書ファイル	受領番号				更新の場合は届書フラグのみを設定
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			本籍コード				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名がわかればよい) 本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号、住所、宛名を設定する
	郵便番号							
	住所							
	宛名							
	送付書類区分							
	届書		発送ファイル処理					有:「1」を設定する
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知							
	附票通知							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	発送ファイル							
処理名	2.0 発送ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
発送ファイル	受領番号		中間ファイル(発送)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	郵便番号			郵便番号				
	住所			住所				
	宛名			宛名				
	送付書類区分			送付書類区分				
	届書			届書				
	不受理申出			不受理申出				
	胎児認知			胎児認知				
	住民票通知			住民票通知				
	附票通知			附票通知				

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	統計ファイル					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付データベース	入力		
中間ファイル(統計)	入力		
統計ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(統計)の内容と受付DBから統計ファイルを作成する

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　―　1.0　データ編集表(統計ファイル)

5. 備考(特記事項含む)

再製の統計は除く

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	統計ファイル					
処理名	0.0 本紙					

						備考
(1)中間ファイル(統計)を読み込む				/		
(2)処理日と中間ファイル(統計)の出張所番号で統計ファイルを読み込む				/		
(3)統計ファイルが存在する(YES,NO)				/		
YES	(4)中間ファイル(統計)の増減戸籍数～相続税法58条通知作成数を統計ファイルの同じ項目に加える		[1.0]	/		統計ファイルがあれば中間ファイル(統計)の内容を追加する
NO	(5)処理日と中間ファイル(統計)の出張所番号で統計ファイルを作成し、中間ファイル(統計)の増減戸籍数～相続税法58条通知作成数を統計ファイルの同項目に設定する		[1.0]	/		統計ファイルがなければ中間ファイル(統計)の内容で作成する
(6)中間ファイル(統計)の受領番号で受付DBを検索する				/		
(7)中間ファイル(統計)の受理送付区分=1:受理である(YES,NO)				/		
YES	(8)中間ファイル(統計)の本非区分=1:本籍である(YES,NO)			/		
	YES	(9)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の本籍届出数に1を加える	[1.0]	/		
	NO	(10)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の非本籍届出数に1を加える	[1.0]	/		
NO	(11)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の送付数に1を加える		[1.0]	/		
(12)以下の処理((13)～(19))を繰り返す				/		
	(13)次のファイル(統計)の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)			/		
	YES	(14)受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)		/		
		YES	(15)中間ファイル(統計)の受理送付区分=1:受理である(YES,NO)	/		事件の本、非、送付の別で統計を振り分ける
			YES	(16)中間ファイル(統計)の本非区分=1:本籍である(YES,NO)	/	
				YES (17)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の本籍届出数に1を加える → (13)へ [1.0]	/	
				NO (18)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の非籍届出数に1を加える → (13)へ [1.0]	/	
			NO	(19)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の送付数に1を加える → (13)へ [1.0]	/	
		NO	→			(20)次の処理を行う 「決裁･受付」の要件定義書に戻る
	NO	→				
→						

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	統計ファイル							
処理名	1.0 統計ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
統計ファイル	日付							システムで自動的に設定
	出張所番号		中間ファイル(統計)	出張所番号				
	本籍数			＋増減戸籍数				
	本籍数の増減			増減戸籍数				
	本籍人口数			＋増減本籍人数				
	本籍人口数の増減			増減本籍人数				
	出生		受付DB					受付事件コードによるカウント処理
	本籍人届出数							
	非本籍人届出数							
	送付数							
	国籍留保 〜 不受理申出							出生と同じ項目を持つ (事件表の事件の数分ある:省略)
	新戸籍編製数		中間ファイル(統計)	＋新戸籍編製数				
	戸籍全部消除数			＋戸籍全部除籍数				
	違反通知数							
	戸籍の再製･補完数							
	その他		中間ファイル(統計)	＋照会数				
	謄抄本の発行件数 (有料、無料)							省略(統計ファイルを参照)
	附票一部記載数			＋附票一部記載数				
	附票全部記載数			＋附票全部記載数				
	附票一部消除数			＋附票一部消除数				
	附票全部消除数			＋附票全部消除数				
	附票通知作成数			＋附票通知作成数				
	住民票通知作成数			＋住民票通知作成数				
	住民票異動作成数			＋住民票異動作成数				
	相続税法58条通知作成数		中間ファイル(統計)	＋相続税法58条通知作成数				

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
									･本籍届出の件数を＋1する: 受理送付区分=1(受理)で 本非区分=1(本籍)の場合 ･非本届出の件数を＋1する: 受理送付区分=1(受理)で 本非区分=2(非本)の場合 ･送付の件数を＋1する: 受理送付区分=2(送付)の場合
統計ファイル	出生	本籍届出		受付データベース					受付事件コード= 0101[出生] 0102[出生(国籍留保)] 0103[出生(認知)] 0104[出生(棄児発見)] 0105[出生(認知･国籍留保)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍留保	本籍届出							受付事件コード= 0102[出生(国籍留保)] 0105[出生(認知･国籍留保)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	認知	本籍届出							受付事件コード= 0201[認知] 0202[認知(胎児)] 0203[認知(遺言)] 0204[認知(審判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	養子縁組	本籍届出						受付事件コード= 0301[養子縁組] 0302[養子縁組(実方と親族関係終了)] 0501[特別養子縁組] 3501[縁組取消]の場合、カウントアップする	
		非本届出							
		送付							
	縁組取消	本籍届出							受付事件コード= 3501[縁組取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	養子離縁	本籍届出							受付事件コード= 0401[養子離縁] 0402[養子離縁(調停)] 0403[養子離縁(裁判)] 0601[特別養子離縁] 3601[離縁取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	離縁取消	本籍届出							受付事件コード= 3601[離縁取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	法73条の2 69条の2	本籍届出							受付事件コード= 0701[戸籍法73条の2] 0801[戸籍法69条の2] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	婚姻	本籍届出							受付事件コード= 0901[婚姻] 3701[婚姻取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	婚姻取消	本籍届出							受付事件コード= 3701[婚姻取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	離婚	本籍届出							受付事件コード= 1001[離婚] 1002[離婚(調停)] 1003[離婚(裁判)] 3801[離婚取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	離婚取消	本籍届出							受付事件コード= 3801[離婚取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	法75条の2 77条の2	本籍届出							受付事件コード= 1101[戸籍法77条の2] 1201[戸籍法75条の2] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	親権･未成	①届出	本籍届出						受付事件コード= 1301[親権者指定] 1302[親権者指定(調停)]
			非本届出						

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	年者の後見･後見監督	送付							1303[親権者指定(裁判)] 1304[親権者変更(調停)] 1305[親権者変更(裁判)] 1306[親権者喪失(裁判)] 1307[管理権喪失(裁判)] 1308[親権喪失取消] 1310[親権辞任] 1311[管理権辞任] 1312[親権回復] 1313[管理権回復] 1321[親権停止取消し] 1401[後見開始] 1402[後見終了] 1403[後見人更迭] 1410[後見監督開始] 1411[後見監督終了] 1412[後見監督更迭] 1501[保佐開始] 1502[保佐終了] 1503[保佐人更迭] 4101[未成年者の後見開始] 4102[未成年者の後見終了] 4103[未成年後見人更迭] 4110[未成年者の後見監督開始] 4111[未成年者の後見監督終了] 4112[未成年者後見監督人更迭] 4118[未成年後見人地位喪失] 4120[未成年後見監督人地位喪失] の場合、カウントアップする

データ編集表(補足説明)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	決裁処理							
処理名	事件の統計の取り方							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	②嘱託 甲類審判	本籍届出			受付事件コード= 1314[親権喪失(嘱託)] 1315[管理権喪失(嘱託)] 1320[親権停止(嘱託)] 1404[後見辞任(嘱託)] 1405[後見解任(嘱託)] 1413[後見監督辞任(嘱託)] 1414[後見監督解任(嘱託)] 1504[保佐辞任(嘱託)] 1505[保佐解任(嘱託] 4104[未成年後見人辞任(嘱託)] 4105[未成年後見人解任(嘱託)] 4113[未成年後見監督人辞任(嘱託)] 4114[未成年後見監督人解任(嘱託)] 4117[未成年後見人選任(嘱託)] 4119[未成年後見監督人選任(嘱託)] 4121[未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定め(嘱託)] 4122[未成年後見人財産に関する権限単独行使の定め(嘱託)] 4123[未成年後見人財産に関する権限事務分掌行使の定め(嘱託)] 4124[未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)] 4125[未成年後見人財産に関する権限単独行使の定めの取消し(嘱託)] 4126[未成年後見人財産に関する権限事務分掌行使の定めの取消し(嘱託)] 4127[未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定め(嘱託)] 4128[未成年後見監督人財産に関する権限単独行使の定め(嘱託)] 4129[未成年後見監督人財産に関する権限事務分掌行使の定め(嘱託)] 4130[未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)] 4131[未成年後見監督人財産に関する権限単独行使の定めの取消し(嘱託)] 4132[未成年後見監督人財産に関する権限事務分掌行使の定めの取消し(嘱託)] の場合、カウントアップする				
		非本届出							
		送付							
	②嘱託 保全処分	本籍届出					受付事件コード= 1316[親権停止代行選任(嘱託)] 1317[親権停止代行改任(嘱託)] 1318[管理権停止代行選任(嘱託)] 1319[管理権停止代行改任(嘱託)] 1406[後見命令(嘱託)] 1407[後見停止代行選任(嘱託)] 1408[後見停止代行改任(嘱託)] 1409[財産管理者改任(嘱託)] 1415[後見監督停止代行選任(嘱託)] 1416[後見監督停止代行改任(嘱託)] 1506[保佐命令(嘱託)] 1507[保佐停止代行選任(嘱託)] 1508[保佐停止代行改任(嘱託)] 1509[財産管理者改任(嘱託)] 4107[未成年者の後見停止代行者選任(嘱託)] 4108[未成年者の後見停止代行者改任(嘱託)] 4115[未成年者の後見監督停止代行者選任(嘱託)] 4116[未成年者の後見監督停止代行者改任(嘱託)] の場合、カウントアップする		
		非本届出							
		送付							

データ編集表(補足説明)			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	決裁処理							
処理名	事件の統計の取り方							

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	死亡	本籍届出							受付事件コード= 1601[死亡] 1602[高齢者消除] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	失踪宣告	本籍届出							受付事件コード= 1701[失踪宣告] 3901[失踪宣告取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	失踪宣告取消	本籍届出							受付事件コード= 3901[失踪宣告取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	復氏	本籍届出							受付事件コード= 1801[復氏] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	婚姻関係終了	本籍届出							受付事件コード= 1901[婚姻関係終了] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	推定相続人廃除	本籍届出							受付事件コード= 2001[推定相続人廃除(調停)] 2002[推定相続人廃除(裁判)] 4001[推定相続人廃除取消(調停)] 4002[推定相続人廃除取消(裁判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	推定相続人廃除取消	本籍届出							受付事件コード= 4001[推定相続人廃除取消(調停)] 4002[推定相続人廃除取消(裁判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	入籍	本籍届出							受付事件コード= 2101[入籍] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	分籍	本籍届出							受付事件コード= 2201[分籍] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍取得	本籍届出							受付事件コード= 2301[国籍取得] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	帰化	本籍届出							受付事件コード= 2401[帰化] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍喪失	本籍届出							受付事件コード= 2501[国籍喪失] 2502[国籍喪失(国籍離脱)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍選択	本籍届出							受付事件コード= 2601[国籍選択] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	外国国籍喪失	本籍届出							受付事件コード= 2701[外国国籍喪失] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	氏の変更	法107条1項	本籍届出						受付事件コード= 2801[戸籍法107条1項] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						
		法107条2項	本籍届出						受付事件コード= 2901[戸籍法107条2項] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						
		法107条3項	本籍届出						受付事件コード= 3001[戸籍法107条3項] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						
		法107条4項	本籍届出						受付事件コード= 3101[戸籍法107条4項] の場合、カウントアップする
			非本届出						

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

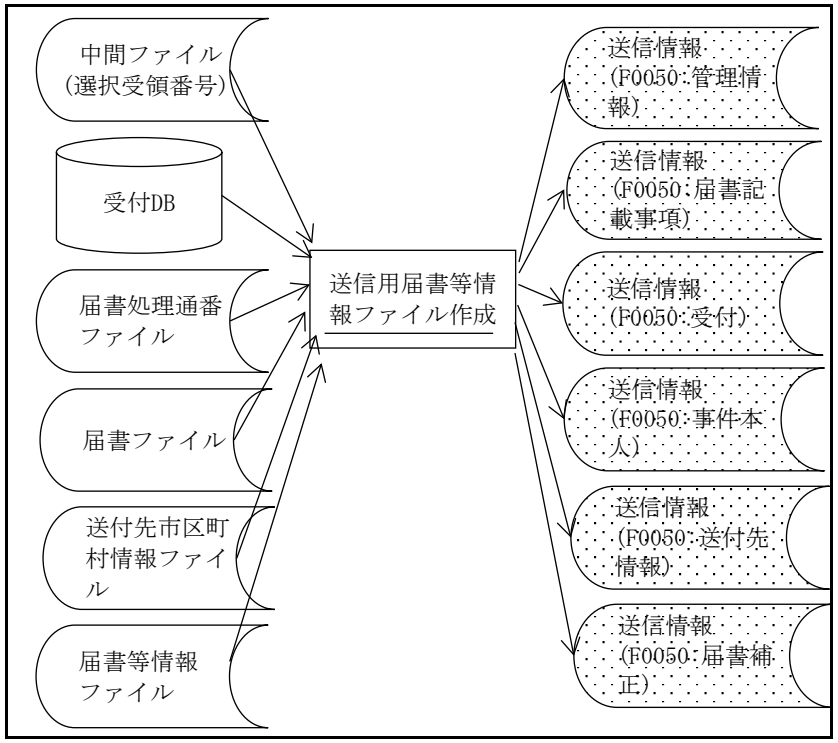
受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
			送付							
	名の変更	本籍届出								受付事件コード= 3201[名の変更] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	転籍	本籍届出								受付事件コード= 3301[転籍] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	就籍	本籍届出								受付事件コード= 3401[就籍] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	訂正・更正	市町村長職権	本籍届出							受付事件コード= 5001[訂正(市区町村長職権)] 7001[更正] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		法24条2項	本籍届出							受付事件コード= 5002[訂正(24条2項)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		法113条･法114条	本籍届出							受付事件コード= 5003[訂正(113条)] 5004[訂正(114条)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		法116条	本籍届出							受付事件コード= 5005[訂正(116条)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		続柄の記載更正(嘱託)	本籍届出							受付事件コード= 7003[続柄の記載更正(嘱託)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		続柄の記載更正(申出)	本籍届出							受付事件コード= 7004[続柄の記載更正(申出)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							

データ編集表(補足説明)				作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	平成23年 9月30日	版	14.1
作業名	決裁処理								
処理名	事件の統計の取り方								

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	追完	本籍届出							受付事件コード= 8001[追完] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	その他	本籍届出							受付事件コード= 4401[その他] 4402[その他(本籍分明)] 4403[その他(胎児死産)] 4404[その他(死亡)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	不受理申出	本籍届出							
		非本届出							
		送付							

システム環境仕様書		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送信用届書等情報ファイル						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力	送信情報 (F0050:管理情報)	出力
受付DB	入力	同(届書処理通番)	出力
届書処理通番ファイル	入力	同(受付)	出力
届書ファイル	入力	同(事件本人)	出力
送付先市区町村情報ファイル	入力	同(送付先情報)	出力
		同(届書補正)	出力
届書等情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択受領番号)、受付DB、届書処理通番ファイル、届書ファイルの内容から戸籍情報連携システムに送信する届書等情報の各種送信情報を作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(送信情報(受付))
- 2.0 データ編集表(送信情報(事件本人))
- 3.0 データ編集表(送信情報(届書記載事項))
- 4.0 データ編集表(送信情報(送付先情報))
- 5.0 データ編集表(送信情報(届書補正))
- 6.0 データ編集表(送信情報(管理情報))

5.備考(特記事項含む)

届書等情報を戸籍情報連携システムに送信した場合、受付ファイルの送付日に送信した日を設定し、該当の届書処理通番ファイルの届書等情報送信区分を1(届書送信)に更新すること。

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	送信用届書等情報ファイル
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書処理通番ファイルを検索する					/	届書処理通番は決裁単位で1件であるため、1処理で複数の受付ファイルが作成される場合(離婚同時77条の2、生存養親と死亡養親との離縁等)、複数の受付情報を作成し送信する。
(2)届書処理通番に該当の受領番号をキーとして受付DBを検索する					/	
(3)送信情報(受付)、送信情報(事件本人)を作成する(複数件の場合がある) [1.0][2.0]					/	
(4)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する					/	
(5)届書ファイルがある場合は届書ファイル、ない場合は届書処理通番ファイルの在外送付区分=0(受理分) または 2(在外公館の直接送付)である(YES,NO)					/	届書ファイルが無い場合(審査結果入力処理等)届書処理通番ファイルで在外送付区分を渡してもらう
YES	(5-1)受付DBの渉外区分=2(外国)である(YES,NO)				/	完全渉外事件は以降の情報を送信しない
	YES	(5-2)→(15-1)へ			/	
	NO	(6)届書ファイルがある(ある:YES,ない:NO)				届書入力処理以外は送信情報(届書記載事項)を作成しない
		YES	(7)送信情報(届書記載事項)を作成する [3.0]		/	
		NO	(8)→(9)へ		/	
		(9)届書処理通番をキーとして送付先市区町村ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/	
		YES	(10)送信情報(送付先情報)を作成する [4.0]		/	
		NO	(11)→(12)へ		/	
		(12)届書処理通番をキーとして届書等情報ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)			/	
		YES	(13)届書補正情報がある(ある:YES,ない:NO)		/	
			YES	(14)送信情報(届書補正)を作成する [5.0]	/	
			NO	(15)→(15-1)へ	/	
		NO				
NO						
(15-1)届書処理通番ファイルの在外送付区分=0(受理分) または 2(在外公館の直接送付)である(YES,NO)					/	審査結果入力処理、訂正・更正・追完処理の場合は、受付帳記録において在外送付区分を入力してもらうか、F0080-S01の処理の場合に[TS03]を設定するか等の措置が必要となる。 ※戸籍情報連携システムが障害等で使用不可の場合に、従来どおり紙の届出等が送付される場合を想定してベンダー任意設計機能とする。
YES	(16)送信情報(管理情報)[TR01:届書等情報送信(法務省宛)]を作成する [6.0]				/	
NO	(16-1)送信情報(管理情報)[TR03:届書等情報送付地決裁]を作成する [6.0]				/	
(17) →						(18)次の処理を行う 「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル								
処理名	1.0　送信情報(受付)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報 (F0050-R02:受付)	市区町村コード							自市区町村コードを設定	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番				複数の受付ファイルがある場合は、 同じ処理通番で情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚で1件作成 77条の2で1件作成	
	受領番号		受付DB	受領番号					
	出張所名称			出張所番号		有			
	受付事件コード			受付事件コード					
	受付日			受付日					
	事件発生日			事件発生日					
	事件発生時分			事件発生時分					
	事件発生日時			事件発生日時					
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	渉外区分			渉外区分					
	発送日			発送日					
	郵送日			郵送日					
	発日			発日					
	収日			収日					
	指示日			指示日					
	許可日			許可日					
	関連受領番号1			関連受領番号(1)					
	関連受領番号2			関連受領番号(2)					
	関連受領番号3			関連受領番号(3)					
	関連受領番号4			関連受領番号(4)					
	関連受領番号5			関連受領番号(5)					
	届出人資格区分1			届出人資格区分1					
	届出人資格名称1			届出人資格名称1					
	届出人氏名1			届出人氏名1					

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル								
処理名	1.0　送信情報(受付)作成処理								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
	届出人資格区分2				届出人資格区分2				
	届出人資格名称2				届出人資格名称2				
	届出人氏名2				届出人氏名2				
	届後本籍区分				届後本籍区分				
	届後本籍コード				届後本籍コード				
	届後本籍				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者				届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1				送達確認1				
	証書提出区分				証書提出区分				
	届書送付目録区分				届書送付目録区分				
	処分区分				処分区分				
	決裁区分				決裁区分				
	届後戸籍番号								他情報から設定
	更新日								システム日付を設定
	更新時間								システム時刻を設定

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル								
処理名	2.0　送信情報(事件本人)作成処理								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
送信情報 (F0050-R03:事件本人)	市区町村コード								自市区町村コードを設定
	届書処理通番			届書処理通番 ファイル	届書処理通番				複数の受付ファイルがある場合は、同じ処理通番で情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚で事件本人ごとに作成 77条の2で事件本人ごとに作成
	受領番号			受付DB	受領番号				
	行番号				行番号				
	事件本人区分				事件本人区分				
	届出人区分				届出人区分				
	個人番号								他情報から設定
	カナ氏名			受付DB	カナ氏名				
	漢字氏名				漢字氏名				
	生年月日				生年月日				
	本籍コード				本籍コード				
	本籍				本籍				
	筆頭者				筆頭者				
	送達確認２				送達確認2				
	更新日								システム日付を設定
	更新時間								システム時刻を設定

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	3.0　送信情報(届書記載事項)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報 (F0050-R01:届書記載事項)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	バージョン情報							バージョン情報を設定
	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	選択事件コード			選択事件コード				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			届区分				
	渉外区分			渉外区分				
	同時決裁受領番号(1～5)			同時決裁受領番号(1～5)				情報無しを含め5個固定で設定
	ロック戸籍番号			ロック戸籍番号				情報無しを含め5個固定で設定
	事件別内容			事件別内容				
	不受理申出処分区分			不受理申出処分区分				
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
	届書排他区分			届書排他区分				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	4.0　送信情報(送付先情報)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報 (F0050-R04:送付先情報)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	送付地市区町村コード		送付先市区町村情報ファイル	送付地市区町村コード				
	市区町村内送付先情報連番			市区町村内送付先情報連番				
	事件対象区分			事件対象区分				
	送付先区分			送付先区分				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル							
処理名	5.0　送信情報(届書補正)作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報 (F0050-R05:届書補正)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番				
	届書補正情報		届書等情報ファイル	届書補正情報				複数の届書に補正がある場合は、 各々で補正情報を作成し、作成した情報を1つに連結する。 例)離婚同時77条の2の場合 　離婚の補正情報に77条の2の補正情報を追加して作成

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日		改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送信用届書等情報ファイル									
処理名	6.0　送信情報(管理情報)作成処理　※各レコードを分けて表示									
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考		
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目						
	名称	記号名		名称	記号名					
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR01:届書等情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							[TR01]を設定		
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番						
	追完届有無フラグ							届書処理通番ファイルに設定される		
	届書画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書PDFファイル名				複数の届書がある場合は、受領番号順に届書画像情報をページ追加して画像情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚の画像情報に77条の2の画像情報を追加して作成 ※添付書面も同様		
	届書PDF更新年月日			届書PDF更新年月日						
	届書PDF更新時分秒			届書PDF更新時分秒						
	添付書面画像情報ファイル名			届書添付書面PDFファイル名						
	添付書面PDF更新年月日			届書添付書面PDF更新年月日						
	添付書面PDF更新時分秒			届書添付書面PDF更新時分秒						
	申入書画像情報ファイル名		申入書情報ファイル	申入書PDFファイル名				申入書情報は届書に該当する情報があれば登録する。 ※決裁においては届書と同時に申入書が出されたケースが該当		
	申入書PDF更新年月日			申入書PDF更新年月日						
	申入書PDF更新時分秒			申入書PDF更新時分秒						
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR03:届書等情報送付地決裁]	届書種別コード							[TR03]を設定		
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番						
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR04:補正情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							[TR04]を設定		
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番						
	届書補正画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書補正PDFファイル名				届書画像情報と同様、離婚の補正画像情報に77条の2の補正画像情報を追加して作成		
	届書補正PDF更新年月日			届書補正PDF更新年月日						
	届書補正PDF更新時分秒			届書補正PDF更新時分秒						

システム処理の概要説明書	作成日付	平成11年3月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.1
作業名	在外選挙人異動者リストファイル					

(1) 在外選挙人異動者リストファイル
決裁する仮戸籍ファイル中の異動(記載･入籍･除籍)者で、当該附票DBに在外選挙人名簿登録市区町村欄に記載がある者について、各異動処理にて作成された中間ファイル(30条の13第1項)の作成有無チェック及び、異動処理で作成されない者(事件本人以外)の通知漏れを防止する為に、在外選挙人異動者リストファイルを作成する。

当処理は、附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が、戸籍システムで可能な場合であり、あくまでも、サンプル提示とする。

(2) 公職選挙法30条の13第1項通知該当者リスト
当処理で作成された在外選挙人異動者リストファイルに基づき、公職選挙法30条の13第1項通知該当者リストを出力する。

当処理は、附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が、戸籍システムで可能な場合であり、出力項目/運用等は全てメーカー任とする。‥基準書提示はしない。

在外選挙人異動者リスト

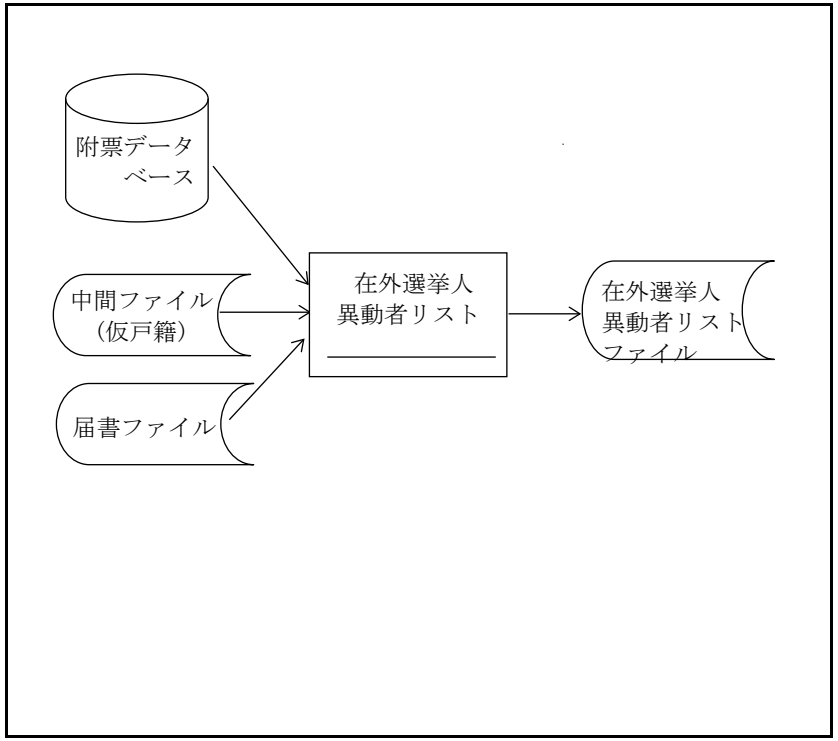
出力範囲(H11.06.01～H11.06.02)　　平成XX年XX月XX日XX頁

受領番号	受領･送付日	事件名	氏名	生年月日	本籍　選管登録地	筆頭者	異動区分
99000123	H11.06.01	婚姻	甲野義太郎	S50.05.05	平河町二丁目…… 東京都新宿区	甲野幸雄	除籍
99000130	H11.06.02	死亡	乙野忠治	S30.01.01	永田町一丁目…… 京都市左京区	乙野忠治	除籍

参考的に在外選挙人異動者リストを提示する

システム環境仕様書	作成日付	平成11年 3月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.1
作業名	在外選挙人異動者リストファイル					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
附票データベース	入力		
届書ファイル	入力		
在外選挙人異動者リストファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイル、中間ファイル(仮戸籍)を読む
(2)該当する附票データベースを読む
(3)在外選挙人異動者リストファイルを編集･出力する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　―　1.0データ編集表(公在外選挙人異動者リストファイル)

5.備考(特記事項含む)

サンプル

要件定義ワークシート	作成日付	平成11年 3月 1日	改訂日付	平成31年 3月31日	版	22
作業名	在外選挙人異動者リストファイル					
処理名	0.0 本紙				備考	

(1)中間ファイル(届書)を読み込む					/	
(2)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(3)～(12)を繰り返す					/	
(3)構成員の数だけ(4)～(11)を繰り返す					/	
(4)個人異動区分は入籍、除籍又は記載である(YES,NO)					/	
YES	(5)個人番号で附票DBを検索する				/	
	(6)当該附票DBは存在する(YES,NO)				/	
	YES	(7)当該者は在外選挙人である(YES,NO)			/	
		YES	(8)在外選挙人異動者リストファイルを編集･出力する [1.0]		/	
		NO	(9) → (3)へ		/	
	NO	(10) → (3)へ			/	
NO	(11) → (3)へ				/	
(12) → (2)へ					/	
→						(13)次の処理を行う

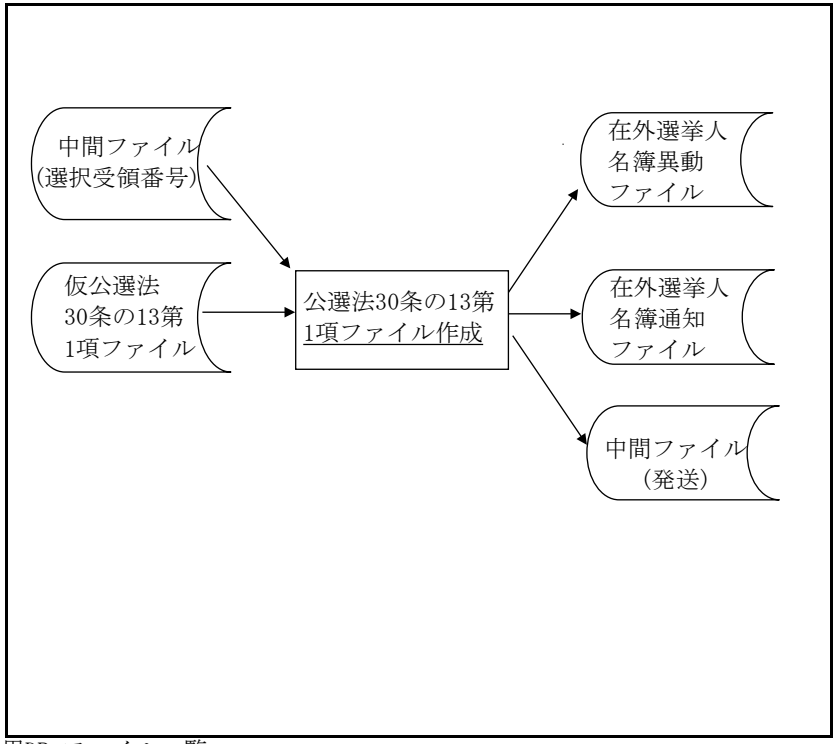
「決裁･受付」の要件定義書に戻る

データ編集表			作成日付	平成11年3月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	2.1
作業名	在外選挙人異動者リストファイル							
処理名	1.0　在外選挙人異動者リストファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
在外選挙人異動者リストファイル	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		届書ファイル	事件コード				
	受理日			受領日　または　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号		中間ファイル(仮戸籍)	個人番号				
	氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	個人異動区分			個人異動区分				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	公選法30条の13第1項通知作成処理					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力	中間ファイル(発送)	出力
仮公選法30条の13 第1項ファイル	入力		
在外選挙人名簿異動 ファイル	出力		
在外選挙人名簿通知 ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)仮公選法30条の13第1項ファイルを基に以下の処理を行う
(2)新旧のデータを比較し、変更のあるデータだけを次の条件でファイルに振り分ける
(3)在外選挙人名簿の登録市町村の場合、在外選挙人名簿異動ファイルを作成する
(4)在外選挙人名簿の登録市町村以外の場合、在外選挙人名簿通知ファイルと発送ファイルを作成する

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(在外選挙人名簿異動ファイル作成)
- 2.0 データ編集表(在外選挙人名簿通知ファイル作成)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(発送))

5. 備考(特記事項含む)

サンプル

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	公選法30条の13第1項通知作成処理					
処理名	0.0 本紙				備考	

(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む			/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮公選法30条12の1項ファイルを検索する			/		
(3)該当する受領番号の仮公選法30条の13第1項ファイルが無くなるまで(4)～(32)の処理を繰り返す			/		
	(4)変更フラグに0をセットする		/		
	(5)新氏名=空白である(YES,NO)		/		
	YES	(6) → (8)	/		
	NO	(7)変更フラグに1をセットする	/		
	(8)新生年月日=空白である(YES,NO)		/		
	YES	(9) → (11)	/		
	NO	(10)変更フラグに1をセットする	/		
	(11)新性別=空白である(YES,NO)		/		
	YES	(12) → (14)	/		
	NO	(13)変更フラグに1をセットする	/		
	(14)新本籍=空白である(YES,NO)		/		
	YES	(15) → (17)	/		
	NO	(16)変更フラグに1をセットする	/		
	(17)新筆頭者=空白である(YES,NO)		/		
	YES	(18) → (20)	/		
	NO	(19)変更フラグに1をセットする	/		
	(20)変更フラグ=1(YES,NO)		/		
	YES	(21)在外選挙人名簿の登録市町村である(YES,NO)	/		
		YES	(22)30条の13第1項情報を在外選挙人名簿異動ファイルに出力する [1.0]	/		在外選挙人名簿の登録市町村は在外選挙人名簿異動ファイルを作成する
		NO	(23)30条の13第1項情報を在外選挙人名簿通知ファイルに出力する [2.0]	/		在外選挙人名簿の登録市町村以外は在外選挙人名簿通知ファイルを作成する
			(24)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/		発送ファイルを作成する
			YES	(25)中間ファイル(発送)の数だけ(26)～(28)の処理を繰り返す	/	
				(26)在外選挙人名簿の登録市町村と発送ファイルの市町村が同じ(YES,NO)	/	
				YES	(27)中間ファイル(発送)の送付書類区分の在外選挙人名簿通知フラグに1を設定する→(3)へ [3.0]	/	

要件定義ワークシート					作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名				公選法30条の13第1項通知作成処理						
処理名				0.0 本紙					備考	
				NO (28) → (25)へ		/				
				(29) → (30)へ		/				
			NO	(31)受領番号と在外選挙人名簿の登録市町村(市町村コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の在外選挙人名簿通知フラグに1を設定する → (3)	[3.0]	/				
	NO	(32) → (3)へ				/				
→							(33)次の処理を行う		「決裁･受付」の要件定義書に戻る	

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	公選法30条の13第1項通知作成処理							
処理名	1.0　在外選挙人名簿異動ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
在外選挙人名簿異動ファイル	受領番号		仮公選法30条の13第1項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	公選法30条の13第1項通知作成処理							
処理名	2.0　在外選挙人名簿通知ファイル作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
在外選挙人名簿通知ファイル	受領番号		仮公選法30条の13第1項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	公選法30条の13第1項通知作成処理							
処理名	3.0　中間ファイル(発送)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		仮公選法30条の13第1項ファイル	受領番号				更新の場合は在外選挙人名簿通知
	出張所番号			出張所番号				フラグのみを設定
	市区町村コード			市区町村コード				
	郵便番号					有		市区町村コードを基に送付する
	住所					有		市区町村の郵便番号、住所、宛名
	宛名					有		を設定する
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知							
	附票通知							
	在外選挙人名簿通知		仮公選法30条の13第1項ファイル					有:「1」を設定する

第7.2.(12)

「証明書発行」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	4、5、6	「証明書発行」処理	(新規)「システム概要説明」を追加 証明処理/証明書選択メニュー ・新規証明書の選択肢及び次処理への展開を追加 ・既存の補足説明を証明処理/証明書選択メニューの補足説明として構成変更し、新規証明書の説明を追加 (新規)「証明処理/証明書発行確認(副本)」を追加 (新規)「証明処理/証明書発行確認(届書等情報内容証明)」を追加
2	R3	B01、 B02、 B06	「証明書発行」処理	証明処理_システム処理の概要説明 1.処理概要 ・ｶ.を削除：1通も証明書を出力しなかった場合に情報を送信する ・ｶ.を追加：申入書がある場合は注意喚起のメッセージを表示する 2.留意点 ・「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)で渡される届書等情報についての留意点を追加 証明処理_補足説明書 3. 受付ファイル検索 ・削除：1通も証明書を出力しなかった場合に情報を送信する ・追加：申入書がある場合は注意喚起のメッセージを表示する 4. 副本記録情報検索(4)全般を削除
3		B01、 B02、 B06		証明書の発行が1度もされなかった場合、その情報の通知は不要となったことにより以下の仕様書を修正した。 ・証明発行確認(副本) ・証明発行確認（届書等情報内容証明）
4		B06		届書等情報内容証明等で申入書イメージ及び届書イメージの表示を追加したことにより以下の仕様書を修正した。 ・証明発行確認（届書等情報内容証明）
5		－		「戸籍情報システム標準仕様書誤記一覧_R2.2版作業指摘」による修正
6	R4	B01	「証明書発行」処理	該当戸籍一覧(副本・証明)画面を新設したことによる修正 ①証明書発行処理 システム処理の概要説明 1.処理概要 (1)ｳ.に追記
7				本籍人を副本検索した場合、対象が再製原戸籍であった場合の対処による修正 ①証明書発行処理 システム処理の概要説明 1.処理概要 (2)ｸ.を追加
8		B01、 B02、 B06		広域交付戸籍証明書と戸籍電子証明書の処理を分けたことによる修正 ①証明書選択メニュー 補足説明書 ②証明書発行確認(副本)を全て証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)に変更 ③証明書発行確認(電子戸籍証明書等)を全て追加
9				上記証明書交付に合わせたことによる修正 ①証明書発行確認(届書等情報内容証明書等) システム環境仕様書、0.0 本紙、1.0 証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面表示、2.0 データチェック、3.0 届書等情報内容証明書等発行履歴の登録
10		B06		注意喚起区分があった場合の対処による修正 ①証明書発行処理 システム処理の概要説明 1.処理概要 (2)ｶ.に追記、ｷ.を追加 ②証明書発行確認(届書等情報内容証明書等) システム環境仕様書、0.0 本紙

システム処理の概要説明		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行処理						

1. 処理概要

(1) 「7-2-(2) 「検索」処理」と同様の処理で発行対象を選択し、証明書発行確認画面へ遷移する。なお、発行対象を選択する方法は以下のとおり。

ｱ. 個人検索
「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」「一部証明書」については、戸籍DBを検索し、対象を選択する。

ｲ. 受付ファイル検索
「届書受理証明書」「戸籍法41条証書提出の証明書」「届書預り証明書」「届書等情報内容証明書等」については受付ファイルを検索し、対象を選択する。

ｳ. 副本記録情報検索
「広域交付戸籍証明書等」「戸籍電子証明書等」については、副本記録情報を検索し、対象を選択する。
※再製原戸籍等は証明の対象とならないため、該当戸籍一覧(副本・証明)画面を使用して検索する。それ以降は副本検索画面(戸籍構成員一覧(副本)等)を使用する。該当戸籍一覧(副本)画面を使用して検索した場合は、(2)ｸ.に準じた処理を行うこと。

(2) 証明書発行確認画面で指定された管掌者と発行部数をもとに、証明書を編集し出力する。なお、証明書発行の際には、以下の処理を行うこと。

ｱ. 「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」「一部証明書」を発行する際に、該当戸籍に排他制御(ロック)が設定されている場合は、警告を表示すること。

ｲ.「広域交付戸籍証明書等」を発行する際には、WebAPI(IO030:副本記録情報確認(副本参照処理通番)から取得した全部事項イメージ(PDFデータ)のみを用いて編集すること。テキスト情報等を編集に用いないこと。

ｳ.「届書等情報内容証明書等」を発行する際には、WebAPI(IO170:届書等情報取得)から取得した最新の履歴のみからの発行を可能とすること。また、届書等情報に登録されているPDFデータから、証明書として発行すべき頁を選択して発行できること。

ｴ. 証明書に記載されている者が、管掌者又は管掌者親族として登録されている場合は、警告を表示すること。また、管掌者を変更しないと発行できない措置をとること。なお、この要件の実現方法については任意設計とする。

ｵ. 「広域交付戸籍証明書等」「戸籍電子証明書等」「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)を発行した場合は、WebAPIを利用して戸籍情報連携システムへ発行履歴を通知すること。

ｶ. 「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の検索において、申入書がある場合は注意喚起を促すメッセージを出力すること。
※申入書画像情報PDFファイルの登録前に注意喚起情報が登録されている場合も同様である。

ｷ. 「広域交付戸籍証明書等」「戸籍電子証明書等」の検索において、個人状態ファイルに注意喚起区分が設定されている場合、証明書の出力前に本籍地に確認したこと等を確認するメッセージを出力すること。

ｸ. 本籍人の「戸籍電子証明書等」申請においては、該当戸籍一覧(副本・本籍人)画面で検索を行う。この検索では再製原戸籍等も検索対象となるため、証明書の対象に再製原戸籍、再製原除籍、再製原平成改製原戸籍が選択された場合は、エラーとすること。

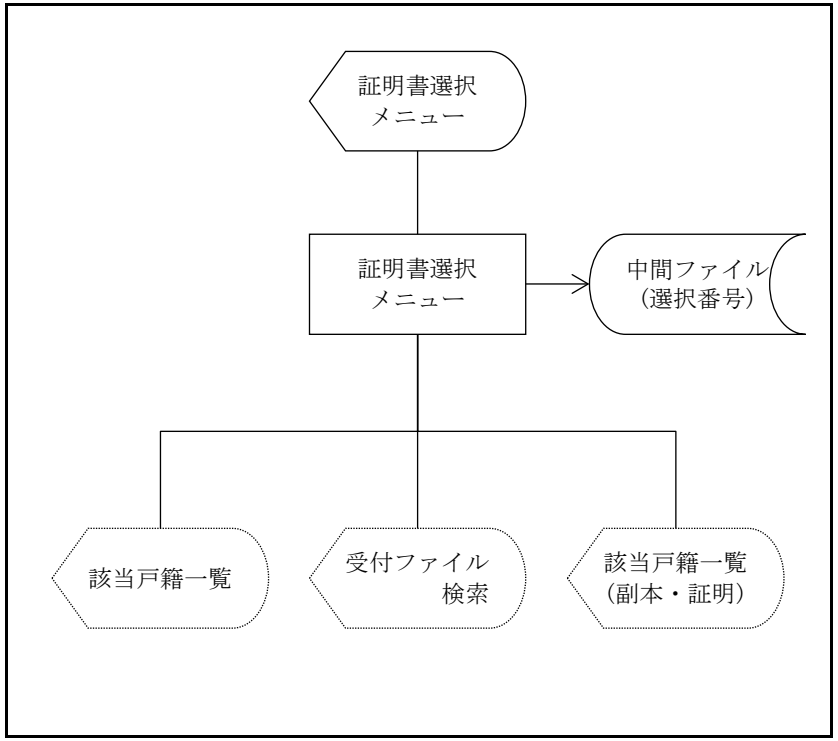
システム処理の概要説明		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行処理						

2. 留意点

・広域交付戸籍証明書等において、複数の戸籍を連続で発行する場合の発行履歴は、処理開始時に取得した副本参照処理通番を用いて発行の都度戸籍情報連携システムへ通知すること。
・戸籍電子証明書等において、複数の戸籍を連続で発行する場合の発行履歴は、初回発行時に取得した戸籍電子証明書処理通番を用いて処理終了時にまとめて戸籍情報連携システムへ通知すること。
・証明処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。
・「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の届書等情報は、戸籍情報連携システムから届書処理通番単位で渡される。届書処理通番は1決裁単位の番号であるため、2通以上の届書処理においては全ての届書等の画像が1ファイルとして送信される。したがって、「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の作成においては、画像の範囲を職員が判断する機能を有すること。

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	証明書選択メニュー					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	出力		

3.処理概要

(1) 選択番号を中間ファイルに出力する
(2) 該当戸籍一覧（証明）、受付ファイル検索又は該当戸籍一覧（副本・証明）に制御を渡す
(選択番号により制御先を決定する)

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データチェック
　　└ 2.0 データ編集表(中間ファイル/選択番号)

5.備考(特記事項含む)

システム環境仕様書			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	証明書選択メニュー							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)キー選択(実行キー、PF1、その他)					/			
実行キー	(2)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO)			[1.0]	/			
	YES	(3)中間ファイル(選択番号)を編集･出力する		[2.0]	/			
		(4)選択番号(1～9)			/			
		1,2,6	→			(5)該当戸籍一覧(証明)に制御を渡す		
		3,4,5,9	→			(6)受付ファイル検索(証明)に制御を渡す		
		7,8	→			(7)該当戸籍一覧(副本･証明)に制御を渡す		
	NO	(8)エラーメッセージを表示する				(9)同画面を編集する		
PF1	→					(10)戸籍業務メニューに制御を渡す		
その他	(11)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(12)同画面を編集する		

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和2年3月25日	版	R2.2
作業名	証明書選択メニュー								
処理名				画面名	画面ID				
1.0　データチェック				証明書選択メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
1	選択番号	○	数字	1～9であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明書選択メニュー							
処理名	2.0 中間ファイル編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	選択番号		証明書選択メニュー画面	選択番号				

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書選択メニュー						
処理名							

証明書選択メニューで入力した選択番号に応じて、検索業務と同様の処理で発行対象を選択する。発行対象を選択する各処理については「7-2-(2) 「検索」処理」を参照することとするが、証明業務として別途必要な処理について、以下に概要を示す。

1. 個人検索

(1) 該当戸籍一覧

無し

(2) 戸籍構成員一覧

・証明書選択メニューで中間ファイルに出力された選択番号(全部・個人事項証明書、一部事項証明書、一部証明書)を証明書種別(*1)として中間ファイルに出力する。
証明書種別=1:全部・個人事項証明書　=3:一部事項証明書　=7:一部証明書

・証明書種別=1のとき、個人詳細表示に制御を渡す。

・証明書種別=3のとき、画面表示用中間ファイル(戸籍事項選択)を出力し、戸籍事項選択に制御を渡す。

・証明書種別=7のとき、画面表示用中間ファイル(個人特定事項選択)を出力し、個人特定事項選択に制御を渡す。

(3) 個人詳細表示

・PF3にて全部証明書、PF4にて個人証明書を決定し、証明書発行確認に制御を渡す。このとき、個人証明書ならば中間ファイル(戸籍構成員一覧)の証明書種別に2を設定する。

・PF10、PF11はPFキーエラーとする。

(*1) :証明書種別は、証明書発行確認にて出力証明書を識別するのに使用する。

2. 受付ファイル検索

・画面レイアウトについては同様とし、証明を発行しようとする選択番号を別途設ける。

・選択された受付ファイルの情報を中間ファイルに出力する。

・その後、証明書発行確認の画面へ制御を渡す。対象とする証明書種別と証明書は、以下とする。

証明書種別=4:届書受理証明書　=5:戸籍法41条証書提出の証明書　=6:届書預り証明書

・届書等情報内容証明書等については、届書等情報表示画面を表示しファンクションキーにて指示した発行区分を中間ファイル(受付ファイル表示)に出力して、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)に制御を渡す (PF3にて届書等情報内容証明書(発行区分=1)、PF4にて届書等情報内容閲覧用帳票(発行区分=2)を指示)。選択番号にて証明書が特定できるため、証明書種別は使用しない。
※発行区分は届書等情報表示画面でのファンクションキー指示ではなく、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面において入力する方式も可とす
ﾅ
・「届書等情報内容証明書等」(閲覧用帳票を含む)の検索において、申入書又は注意喚起情報がある場合は注意喚起を促すメッセージを出力すること。

補足説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書選択メニュー						
処理名							

3. 副本記録情報検索

(1) 該当戸籍一覧(副本・証明)

・選択番号=8(戸籍電子証明書等)の場合、本籍人の副本記録情報の検索を可とする。

・該当戸籍一覧(副本)で検索する場合は、検索キー(戸籍種別)について「4:再製原戸籍」、「9:再製原除籍」及び「10:再製原新改」の指定は不可とするか、検索結果として表示された「4:再製原戸籍」、「9:再製原除籍」及び「10:再製原新改」を選択した場合にエラーとする。

(2) 戸籍構成員一覧(副本・証明)　※戸籍構成員一覧(副本)を流用

・PF3にて選択番号=7:広域交付戸籍証明書等であれば、証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)に制御を渡す。

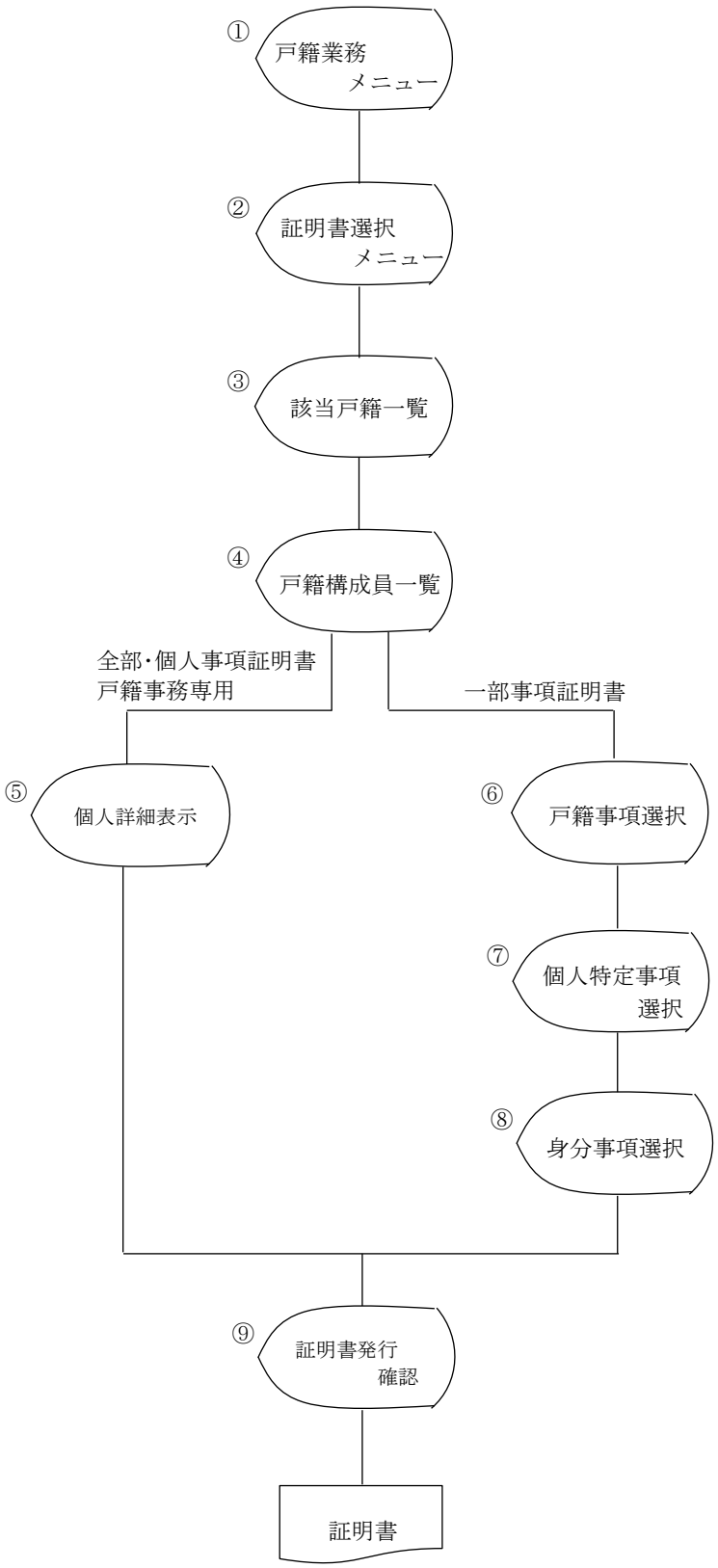
・PF3にて選択番号=8:戸籍電子証明書等であれば、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)に制御を渡す。

(3) 個人詳細表示(副本・証明)　※個人詳細表示(副本)を流用

・PF3にて選択番号=7:広域交付戸籍証明書等であれば、証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)に制御を渡す。

・PF3にて選択番号=8:戸籍電子証明書等であれば、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)に制御を渡す。

第7 2 (12)	オンライン処理の流れ図(概略)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
証明書発行業務		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



概要説明

①戸籍業務メニュー
「5.証明処理」を選択。

②証明書選択メニュー
発行する証明書の選択番号を指定する。

③該当戸籍一覧
検索キーを入力し該当する戸籍を画面上に表示する。証明書を発行する該当戸籍を選択。

④戸籍構成員一覧
選択された戸籍の戸籍事項内容及び構成員(個人)の主な内容を表示。
個人事項証明書、一部事項証明書を発行する場合、詳細選択番号により個人を指定する。
(複数人選択可)

⑤個人詳細表示
選択された個人の身分事項詳細内容を表示する。

※⑥～⑧は、一部事項証明書を選択した場合のみ遷移

⑥戸籍事項選択
戸籍事項詳細内容を表示。
戸籍事項毎(タイトル)に記録事項を選択することが可能。

⑦個人特定事項選択
個人特定事項詳細内容を表示。
項目毎に記録事項を選択することが可能。

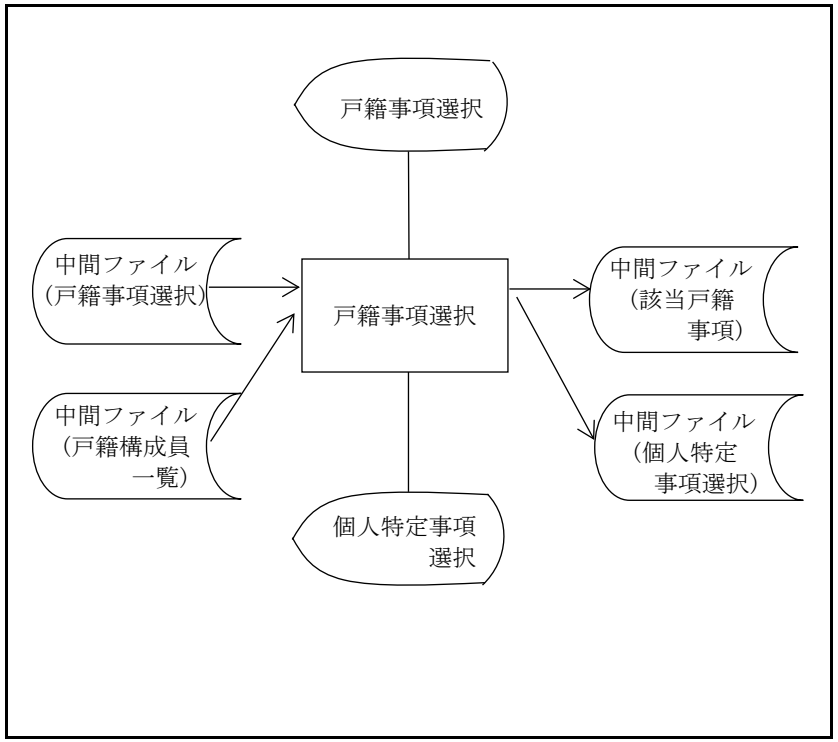
⑧身分事項選択
身分事項詳細内容を表示。
身分事項毎(タイトル)に記録事項を選択することが可能。

⑨証明書発行確認
選択された戸籍内容(本籍･筆頭者･記載者)を表示。
内容を確認し証明書出力を行う。

発行部数を指定する。
(2部以上発行する場合に入力する)
管掌者を指定する。
(変更がある場合のみ)

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (戸籍事項選択)	入力	中間ファイル (個人特定事項選択)	出力
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力		
中間ファイル (該当戸籍事項)	出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(戸籍事項選択)より当該戸籍の全戸籍事項を表示する
(2) 選択された戸籍事項(複数指定可)を中間ファイル(該当戸籍事項)に出力する
(3) 個人特定事項選択に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(戸籍事項選択画面)
- 2.0 データチェック
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当戸籍事項)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/個人特定事項選択)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイルより戸籍事項選択画面を編集･表示する [1.0]				/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PP5、PF7、PF8、その他)				/				
実行キー	(3)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/				
	YES	(4)選択番号の指定があるか(ある:YES,ない:NO)		/				
		YES	(5)中間ファイル(該当戸籍事項)を編集･出力する [3.0]	/				
		NO	→	/				
		(6)中間ファイル(個人特定事項選択)を編集･出力する [4.0]			(7)個人特定事項選択に制御を渡す			
	NO	(8)エラーメッセージを表示する			(9)同画面を編集する			
PF1	→				(10)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→				(11)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF4	→				(12)証明書発行確認に制御を渡す			
PF5	→				(13)戸籍構成員一覧に制御を渡す			
PF7	(14)戸籍事項の前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/				
	YES	(15)前ページ分の戸籍事項選択画面を編集する			(17)同画面を編集する			
	NO	(16)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(18)戸籍事項の次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/				
	YES	(19)次ページ分の戸籍事項選択画面を編集する			(21)同画面を編集する			
	NO	(20)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(23)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択							
処理名	1.0 戸籍事項選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
戸籍事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (戸籍事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	項番							先頭ページの1行めから連番
	戸籍事項名			戸籍事項コード		有		複数有り
	戸籍事項記録項目			戸籍事項記録項目				

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　データチェック				戸籍事項選択					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号		数字	当該戸籍事項の数を越えていないこと 番号が重複していないこと		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択							
処理名	3.0 中間ファイル編集･出力							

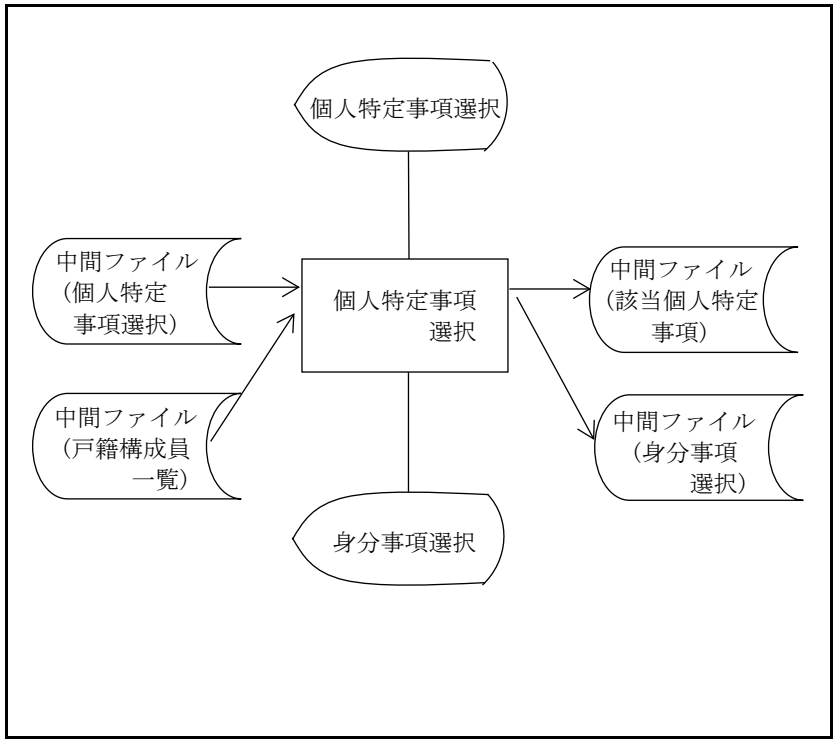
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍事項)	編製日		中間ファイル (戸籍事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	戸籍事項コード			戸籍事項コード				画面で指定されたもののみ移送
	戸籍事項記録項目			戸籍事項記録項目				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/戸籍事項選択							
処理名	4.0 中間ファイル編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者区分			配偶者区分				
	生年月日			生年月日				
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人特定事項選択)	入力	中間ファイル (身分事項選択)	出力
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力		
中間ファイル (該当個人特定事項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人特定事項)より当該個人特定事項を表示する。
(2)選択された個人特定事項(複数指定可)を中間ファイル(該当個人特定事項)に出力する。
(3)身分事項選択に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(個人特定事項選択画面)
- 2.0 データチェック
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当個人特定事項)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/身分事項選択)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)中間ファイルより個人特定事項選択画面を編集･表示する [1.0]					/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF4、PF5、その他)					/				
実行キー	(3)選択コードのチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/				
	YES	(4)選択コードの指定があるか(ある:YES,ない:NO)			/				
		YES	(5)中間ファイル(該当個人特定事項)を編集･出力する [3.0]			(7)身分事項選択に制御を渡す			
		NO	→						
		(6)中間ファイル(身分事項選択)を編集･出力する [4.0]							
	NO	(8)エラーメッセージを表示する				(9)同画面を編集する			
PF1	→					(10)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→					(11)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF4	→					(12)証明書発行確認に制御を渡す			
PF5	→					(13)戸籍事項選択に制御を渡す			
その他	(14)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(15)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択							
処理名	1.0 個人特定事項選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人特定事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	編製日		中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者			配偶者区分				配偶者区分=1:夫 2:妻 上記以外:スペースを設定
	生年月日			生年月日		有		
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄		有		
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄		有		

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　データチェック				個人特定事項選択					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択コード		英数	'S'又はスペースであること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択							
処理名	3.0 中間ファイル編集･出力							

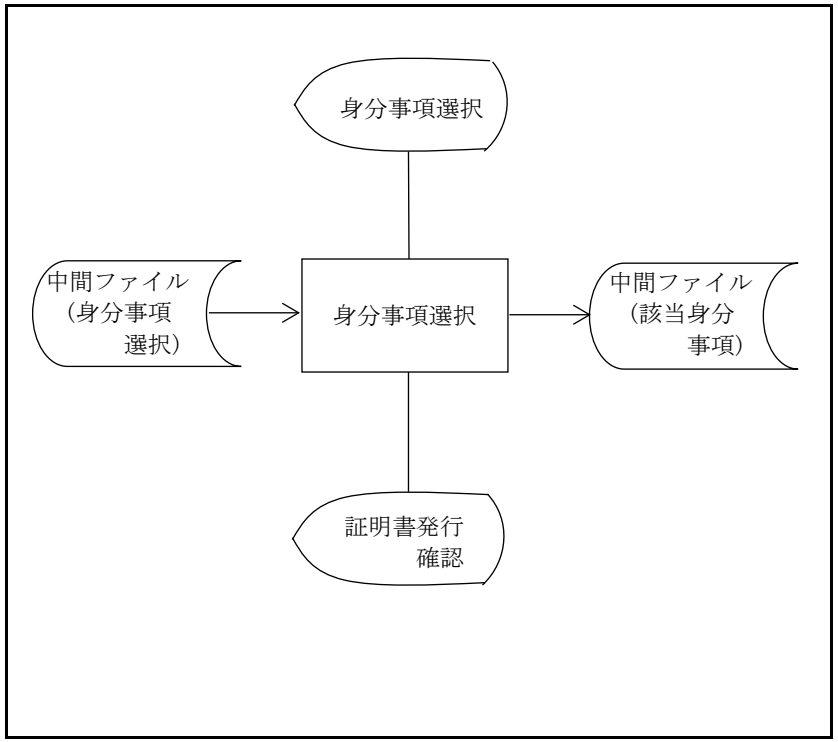
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (該当個人特定事項)	編製日		中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者区分			配偶者区分				画面で指定されたもののみ移送
	生年月日			生年月日				
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄				

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/個人特定事項選択								
処理名	4.0 中間ファイル編集･出力								
受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名			名称	記号名				
中間ファイル (身分事項選択)	編製日			中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日					
	消除日				消除日					
	個人除区分				個人除区分					
	本籍コード				本籍コード					
	本籍地番				本籍地番					
	筆頭者				筆頭者					
	カナ氏名				カナ氏名					
	漢字氏名				漢字氏名					
	タイトルコード				タイトルコード					複数有り
	身分事項記載項目				身分事項記載項目					

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	証明処理/身分事項選択

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (身分事項選択)	入力		
中間ファイル (該当身分事項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(身分事項選択)より当該個人の全身分事項を表示する。
(2)選択された身分事項(複数指定可)を中間ファイル(該当身分事項)に出力する。
(3)証明書発行確認に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(身分事項選択画面)
　　├ 2.0 データチェック
　　└ 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当身分事項)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/身分事項選択							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイルより身分事項選択画面を編集･表示する [1.0]				/				
(2)キー選択(実行キー、PP1、PF2、PF4、PF5、PF7、PF8、その他)				/				
実行キー	(3)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/				
	YES	(4)選択番号の指定があるか(ある:YES,ない:NO)		/				
		YES	(5)中間ファイル(該当身分事項)を編集･出力する [3.0]		(6)証明書発行確認に制御を渡す			
		NO	→					
	NO	(7)エラーメッセージを表示する			(8)同画面を編集する			
PF1	→				(9)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→				(10)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF4	→				(11)証明書発行確認に制御を渡す			
PF5	→				(12)個人特定事項選択に制御を渡す			
PF7	(13)身分事項の前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/				
	YES	(14)前ページ分の身分事項選択画面を編集する			(16)同画面を編集する			
	NO	(15)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(17)身分事項の次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/				
	YES	(18)次ページ分の身分事項選択画面を編集する			(20)同画面を編集する			
	NO	(19)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(22)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/身分事項選択							
処理名	1.0 身分事項選択画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
身分事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	現ページ、総ページ						Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (身分事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	項番							先頭ページの1行めから連番
	身分事項名			タイトルコード		有		複数有り
	身分事項記録項目			身分事項記録項目				

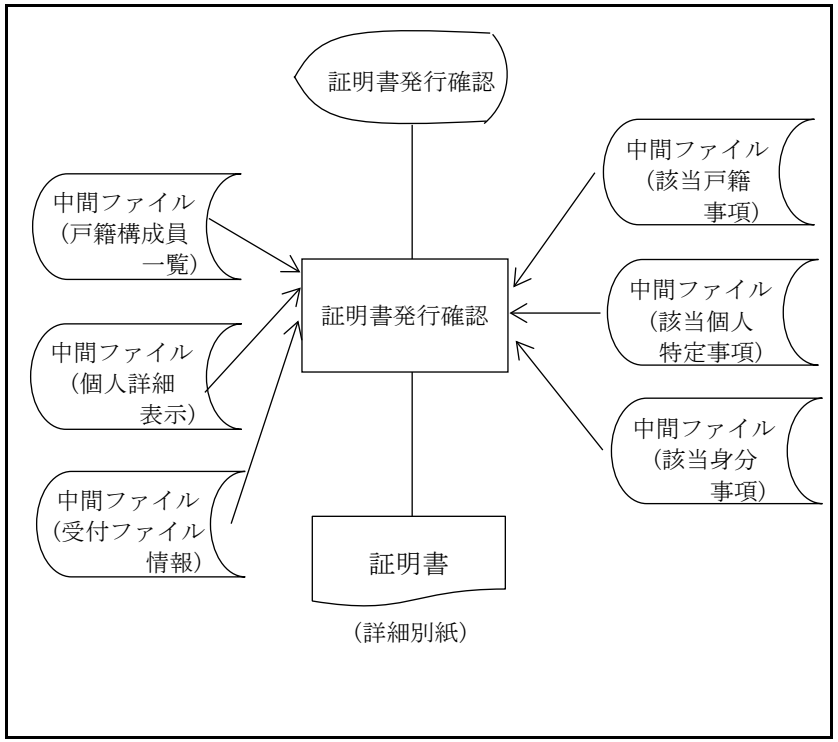
データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/身分事項選択								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　データチェック				身分事項選択					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考	
1	選択番号		数字	当該身分事項の数を越えていないこと 番号が重複していないこと		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	証明処理/身分事項選択							
処理名	3.0 中間ファイル編集･出力							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当身分事項)	編製日		中間ファイル (身分事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	タイトルコード			タイトルコード				画面で指定されたもののみ移送
	身分事項記録項目			身分事項記録項目				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	証明処理/証明書発行確認					

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力	中間ファイル (該当個人特定事項)	入力
中間ファイル (個人詳細表示)	入力	中間ファイル (該当身分事項)	入力
中間ファイル (該当戸籍事項)	入力	中間ファイル (受付ファイル情報)	入力

3. 処理概要

(1)中間ファイル(戸籍構成員一覧)等より証明書発行確認画面を表示する。
(2)各中間ファイルより、指定された証明書を出力する。
(3)各中間ファイルを削除する。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　―　1.0 データ編集表(証明書発行確認画面)

5. 備考(特記事項含む)

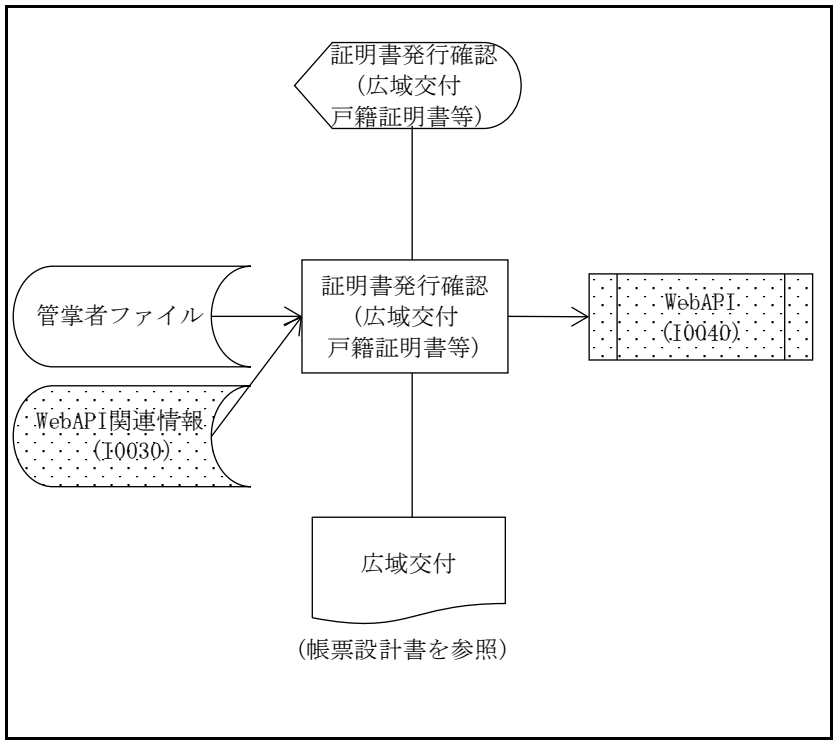
要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	証明処理/証明書発行確認							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(戸籍構成員一覧)より証明書発行確認画面を編集･表示する [1.0]				/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PP2、その他)				/				
実行キー	(3)各証明書を発行する(1:全部事項証明、2:個人事項証明、3:一部事項証明)			/				
	1	(4)全部事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	2	(5)個人事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	3	(6)一部事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	4	(7)届書受理証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	5	(8)戸籍法41条証書提出の証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	6	(9)届書預り証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	7	(9-1)一部証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)		/				
	(10)各中間ファイルを削除する			/				
PF1	→				(11)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2	→				(12)証明書選択メニューに制御を渡す			
その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する				(14)同画面を編集する			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	証明処理/証明書発行確認							
処理名	1.0　証明書発行確認画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
証明書発行確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	証明書種別		中間ファイル (戸籍構成員一覧)					証明書種別=1:全部事項証明書 =2:個人事項証明書 =3:一部事項証明書 =4:届書受理証明書 =5:戸籍法41証書提出の証明書 =6:届書預り証明書 =7:一部証明書
	編製日			編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	選択事項名(項番)							一部事項証明及び一部証明書を選択された場合の証明項目を出力する
	選択事項名(事項名)							
	発行部数							初期値として1を出力
	管掌者コード			管掌者コード				
	管掌者名					有		

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
管掌者ファイル	入力		
WebAPI関連情報 (I0030)	入力		
WebAPI(I0040)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)、管掌者ファイル及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面を編集･表示する
(2)広域交付戸籍証明書等を出力する
(3)WebAPI(I0040:広域交付発行履歴登録)を呼び出し、発行履歴を通知する
(4)中間ファイルを削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面)
　　　 └ 3.0 データ編集表(広域交付発行履歴登録)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

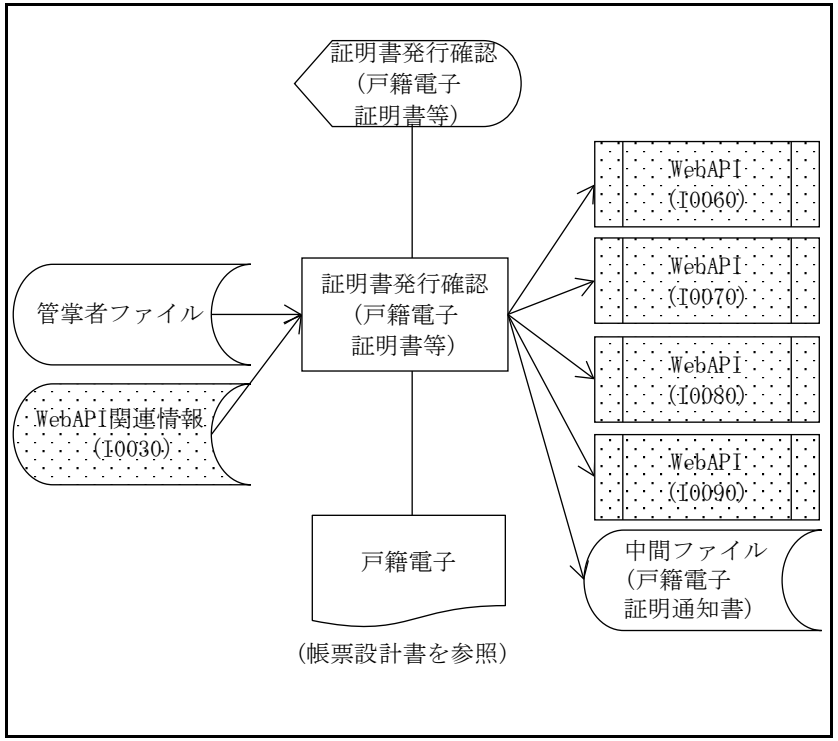
作業名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)			
処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(選択番号)、管掌者ファイル及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み、証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面を編集・表示する [1.0]		/		
		/		発行する証明書が分かるため(2)は削除(R4版)
(3)キー選択(実行キー、PF1、PP2、PP6、その他)		/		
実行キー		/		数字項目であるため単体チェック(4)は削除(R4)
(5)管掌者コードが入力された(YES,NO)		/		実行キーは管掌者コード変更に対応する(R4版)
YES	(6)入力された管掌者コードに対応するコードがあるまで、管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)	/		
YES	(7)管掌者資格名称、管掌者氏名を証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面に設定する		(9)証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面を表示する	
NO	(8)エラーメッセージ 「管掌者コードが間違っています。」を表示する			
NO	(10)→			(11)～(13)はPF6に移す(R4版)
PF1		/		広域交付の発行が1度もされなかった場合、その情報の通知は不要となったため、(16)(18)(19)(21)を削除する。(R3版)
	→		(17)戸籍業務メニューに制御を渡す	
PF2		/		
	→		(20)証明書選択メニューに制御を渡す	
PF6	(20-1)広域交付戸籍証明書等を発行部数分出力する	/		PF6は証明書発行に対応する(R4版) 編集方法は帳票設計書を参照
	(20-2)WebAPI(I0040:広域交付発行履歴登録)を呼び出す [3.0]	/		
	(20-3)WebAPI(I0040:広域交付発行履歴登録)結果 (OK:YES,NG:NO)	/		
YES	(20-4)各中間ファイルを削除する		(20-5)同画面を編集する	
NO	(20-6)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する			
その他	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			
				(24)～(47)は証明書発行確認(戸籍電子証明書等)を新たに作成して移す(R4版)

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)								
処理名	1.0　証明書発行確認(副本)画面表示								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
証明書発行確認 (広域交付戸籍証明書等)画面	画面ID				画面ID				
	システム日付				システム日付				
	管掌者コード			管掌者ファイル	管掌者コード				
	管掌者資格				管掌者資格				
	管掌者氏名				管掌者氏名				
	認証日				システム日付				
	編製日			WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	編製日		有		
	消除日				消除日		有		
	戸籍種別				戸籍種別		有		
	本籍				本籍				
	筆頭者				筆頭者				
	筆頭者の生年月日				生年月日(筆頭者)				
	発行部数								初期値として1を出力

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)								
処理名	3.0　広域交付発行履歴登録								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI (I0040-R01:広域交付発行履歴の登録)	発行日時			システム日時					
	発行市区町村コード							管内の都道府県コード+市区町村コードを設定	
	副本参照処理通番		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	副本参照処理通番					
	選択番号（行番号）			選択番号（行番号）					
	発行部数		証明書発行確認(広域交付戸籍証明書等)画面	発行部数					

システム環境仕様書		作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)						

1.詳細フロー



(帳票設計書を参照)

2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
管掌者ファイル	入力	中間ファイル (戸籍電子証明通知書)	出力
WebAPI関連情報 (I0030)	入力		
WebAPI(I0060)	出力		
WebAPI(I0070)	出力		
WebAPI(I0080)	出力		
WebAPI(I0090)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)、管掌者ファイル及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を編集･表示する
(2)戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書を出力する
(3)WebAPI(I0090:戸籍電子証明書等発行履歴登録)を呼び出し、発行履歴を通知する
(4)中間ファイルを削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(戸籍電子証明通知書))
- 5.0 データ編集表(戸籍電子証明書提供用識別符号等生成)
- 6.0 データ編集表(戸籍電子証明書提供用識別符号等確定要求)
- 7.0 データ編集表(戸籍電子証明書等発行履歴登録)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和 年 月 日	版	R4

作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)
処理名	0.0 本紙

								備考
(1)中間ファイル(選択番号)、管掌者ファイル及びWebAPI関連情報(I0030:副本記録情報確認(副本参照処理通番))を読み込み、証明書発行確認(副本)画面を編集する [1.0]					/			戸籍構成員一覧(副本・証明)又は戸籍個人詳細(副本・証明)から遷移した場合は(1)で画面に情報を設定し、表示はI0070の情報取得後に行う。 「同画面を表示する」の場合は(16)に遷移する。
(2)新たに選択された戸籍がある(ある:YES,ない:NO)					/			
YES	(3)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)の戸籍電子証明書処理通番=0(未取得)である(YES,NO)				/			
	YES	(4)WebAPI(I0060:業務利用目的送信(戸籍電子証明書処理通番))を呼び出し、戸籍電子証明書処理通番を取得する			/			
		(5)WebAPI(I0060:業務利用目的の送信)結果(OK:YES,NG:NO)			/			
		YES	(6)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録する [4.0]		/			戸籍電子証明書処理通番を登録
		NO	(7)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する			(8)証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を表示する		戸籍電子証明書処理通番の再取得の方法は任意設計とする
	NO	(9)→(10)へ			/			
	(10)WebAPI(I0070:戸籍電子証明書提供用識別符号等生成)を呼び出し、戸籍電子証明書提供用識別符号等を取得する [5.0]				/			
	(11)WebAPI(I0070:戸籍電子証明書提供用識別符号等生成)結果(OK:YES,NG:NO)				/			
	YES	(12)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録し、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を表示する [4.0] [1.0]			/	(13)同画面を表示する		複数戸籍を一度に発行する場合もあるため、戸籍電子証明書提供用識別符号を中間ファイルに保存する 本籍、筆頭者、戸籍種別も同時に登録する
	NO	(14)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						
NO	(15)→							
(16)キー選択(実行キー、PF1、PP2、PF5、PF6、PF7、PP8、その他)					/			
実行キー	(17)入力項目の単体・関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]				/			
	YES	(18)管掌者コード(n)が入力された(YES,NO)			/			
		YES	(19)入力された管掌者コード(n)に対応するコードがあるまで、管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)		/			
			YES	(20)管掌者資格名称、管掌者氏名を中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録し、証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を表示する [4.0] [1.0]		(21)証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を表示する		
			NO	(22)エラーメッセージ 「管掌者コードが間違っています。」を表示する				
		NO	(23)→					
	NO	(24)単体・関連チェックにて編集したメッセージを表示する						
PF1	→					(25)戸籍業務メニューに制御を渡す		

要件定義ワークシート			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	0.0　本紙						備考	
PF2	→				(26)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF5	(27)確認メッセージ 「検索項目を変えて戸籍を検索し直しますか？」を表示する(YES,NO)			/			(28)の場合は該当戸籍一覧(副本･証明)は初期画面を表示し、(30)の場合は中間ファイルから検索済の該当戸籍一覧(副本･証明)を表示する 1件以上の選択された戸籍があり、該当戸籍一覧(副本･証明)において新たに戸籍が選択されずに戻る場合は、本処理に戻る仕組みとするこ	
YES	(28)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)以外の中間ファイルを削除する				(29)該当戸籍一覧(副本･証明)に制御を渡す			
NO	(30)→							
PF6	(31)入力項目の単体･関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
YES	(32)管掌者コードに入力がない(YES,NO)			/			証明書発行確認(副本)画面で管掌者コードに入力がなく発行する戸籍がある場合は、戸籍電子証明書等の発行を行う	
YES	(33)発行選択(n)を中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録する [4.0]			/				
	(34)発行選択(n)=1(発行)が1件以上ある(YES,NO)			/				
YES	(35)発行選択(n)=1(発行)について発行番号を取得し 中間ファイル(戸籍電子証明通知書)に登録する [4.0]			/				
	(36)発行選択(n)=1(発行)の情報を設定し [6.0] WebAPI(I0080:戸籍電子証明書提供用識別符号等確定要求) を呼び出す			/				
	(37)WebAPI(I0080:戸籍電子証明書提供用識別符号等確定要求)の結果 (OK:YES,NG:NO)			/				
YES	(38)→(41)			/				
NO	(39)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する				(40)同画面を編集する			
	(41)中間ファイル(戸籍電子証明通知書)の発行選択(n)=1(発行)について 中間ファイル(戸籍電子証明通知書)の情報で戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書を出力する			/			編集方法は帳票設計書を参照	
	(42)WebAPI(I0090:戸籍電子証明書等発行履歴登録)を呼び出す [7.0]			/				
	(43)WebAPI(I0090:戸籍電子証明書等発行履歴登録)結果 (OK:YES,NG:NO)			/				
YES	(44)各中間ファイルを削除する				(45)同画面を編集する			
NO	(46)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する							
NO	(47)メッセージ　「発行可能な証明書がありません。」を表示する							
NO	(48)メッセージ 「管掌者コードが入力されています。実行キーを押下して下さい。」 を表示する							
NO	(49)単体･関連チェックにて編集したメッセージを表示する							
PF7	(50)証明書発行確認(戸籍電子証明書等)の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
YES	(51)前ページ分の証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を編集する				(52)同画面を編集する			

要件定義ワークシート			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名		証明書発行確認(戸籍電子証明書等)						
処理名		0.0　本紙					備考	
	NO	(53)エラーメッセージ　「先頭ページです。」を表示する			る			
PF8	(54)証明書発行確認(戸籍電子証明書等)の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/					
	YES	(55)次ページ分の証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面を編集する			(56)同画面を編集する			
	NO	(57)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する						
その他	(58)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表				作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)								
処理名	1.0　証明書発行確認(戸籍電子証明書等)画面表示								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
証明書発行確認 (戸籍電子証明書等) 画面	画面ID				画面ID				
	システム日付				システム日付				
	現ページ、総ページ							Z9/Z9	
	認証日				システム日付				
	編製日(n)			WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	編製日		有		
	消除日(n)				消除日		有		
	戸籍種別(n)				戸籍種別		有		
	本籍(n)				本籍				
	筆頭者(n)				筆頭者				
	筆頭者の生年月日(n)				生年月日(筆頭者)				
	管掌者コード(n)			管掌者ファイル	管掌者コード				複数選択の場合、前の管掌者と同じ場合はコピー機能等による入力簡略化を考慮すること
	管掌者資格(n)				管掌者資格				
	管掌者氏名(n)				管掌者氏名				
	発行可否(n)								I0070-S01の結果コード 正常:1(可)、エラー:0(否)を設定
	発行選択(n)								発行可否:1(可)の場合、1:(発行)を設定 発行可否:0(否)の場合、0:(不発行)を設定
	結果コード(n)			WebAPI関連情報 (I0080-S01:戸籍電子証明書提供用識別符号等の確定要求結果)	結果コード				呼び出し前は空欄 結果コードがエラーの場合、結果コードの内容が表示できる機能を考慮すること
	結果状況(n)								結果コード 正常:OK エラー:NG を設定

データチェック（単体表）				作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　データチェック(単体表)				証明書発行確認 (戸籍電子証明書等)					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	発行選択	○	数字	1(発行)、0(不発行)であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データチェック（関連表）		作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)						
処理名		画面名	画面ID				
3.0　データチェック(関連表)		証明書発行確認 (戸籍電子証明書等)					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	発行可否(n)＝0(否)の時、発行選択(n)＝0(不発行)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		発行可否(n)=0(否)の時は発行選択(n)及び管掌者コード(n)を入力不可にする対応も可
2	発行可否(n)＝0(否)の時、管掌者コード(n)に入力がないこと			

データ編集表				作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)								
処理名	4.0　中間ファイル(戸籍電子証明通知書)								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (戸籍電子証明通知書)	戸籍電子証明書処理通番		WebAPI関連情報 (I0060-S01:業務利用目的の確認結果)	戸籍電子証明書処理通番					
	本籍(n)		WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	本籍				以降、認証者の表記まで繰り返し項目	
	筆頭者(n)			筆頭者					
	戸籍種別(n)			戸籍種別					
	発行選択(n)		証明書発行確認 (戸籍電子証明書等)画面	発行選択(n)					
	戸籍電子証明書提供用識別符号(n)		WebAPI関連情報 (I0070-S01:戸籍電子証明書提供用識別符号生成の結果)	戸籍電子証明書提供用識別符号					
	発行番号(n)		戸籍情報システム					戸籍情報システムで生成した発行番号を設定 平成18年2月20日民一440号通知による措置をする場合を含む	
	認証者の表記(n)		証明書発行確認 (電子証明書等)画面	管掌者資格(n)				編集仕様はWebAPI(I0080-R01)の備考参照	
				管掌者氏名(n)					

データ編集表				作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)								
処理名	5.0　戸籍電子証明書提供用識別符号等生成								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
WebAPI (I0070-R01:戸籍電子証明書提供用識別符号等生成の要求)	戸籍電子証明書処理通番			中間ファイル(戸籍電子証明通知書)	戸籍電子証明書処理通番				
	副本参照処理通番			WebAPI関連情報 (I0030-S01:副本記録情報照会結果)	副本参照処理通番				
	選択番号（行番号）				選択番号（行番号）				

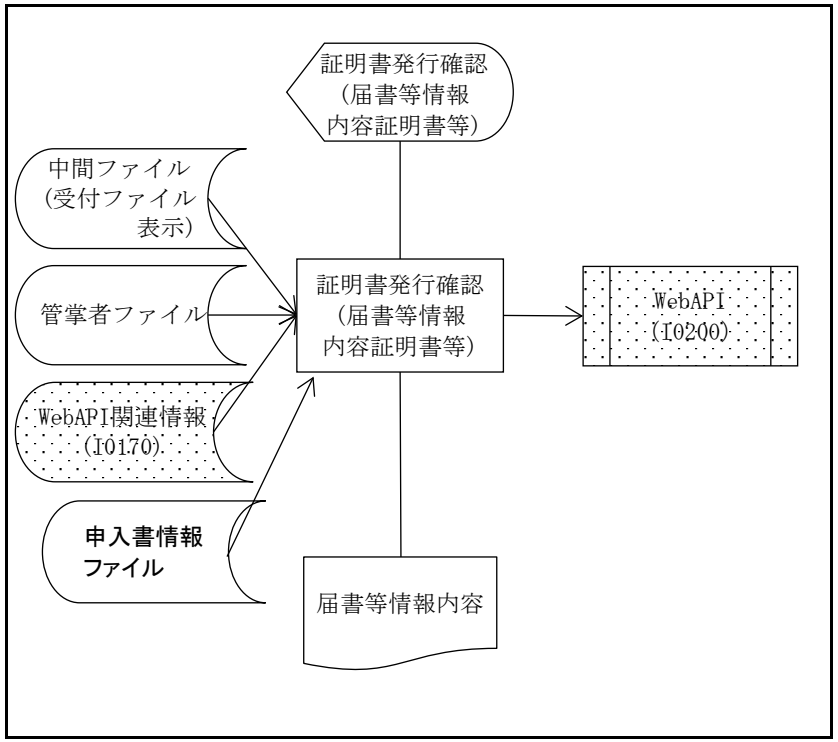
データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	6.0　戸籍電子証明書提供用識別符号等確定要求							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI (IO080-R01:戸籍電子証明書提供用識別符号等の確定要求)	戸籍電子証明書処理通番		中間ファイル (戸籍電子証明書提供用識別符号)	戸籍電子証明書処理通番				
	戸籍電子証明書提供用識別符号(n)			戸籍電子証明書提供用識別符号(n)				以降、認証者の表記まで繰り返し項目
	発行番号(n)			発行番号(n)				
	認証者の表記(n)			認証者の表記(n)				

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	証明書発行確認(戸籍電子証明書等)							
処理名	7.0　戸籍電子証明書等発行履歴登録							
受取側			引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI (IO090-R01:戸籍電子証明書等発行履歴の登録)	発行日時			システム日時				
	発行市区町村コード							管内の都道府県コード+市区町村コードを設定
	戸籍電子証明書処理通番		中間ファイル (戸籍電子証明通知書)	戸籍電子証明書処理通番				

システム環境仕様書		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (受付ファイル表示)	入力	WebAPI(I0200)	出力
管掌者ファイル	入力		
WebAPI関連情報 (I0170)	入力		
申入書情報ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル表示)、管掌者ファイル、WebAPI関連情報(I0170:届書等情報取得)を読み込み、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面を編集･表示する
(2)発行区分に応じて、届書等情報内容証明書又は届書等情報内容閲覧用帳票を出力する
(3)WebAPI(I0200:届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)を呼び出し発行履歴を通知する
(4)本届書に申入書又は注意喚起情報がある場合は注意喚起メッセージを表示する
(5)指定により申入書イメージを表示する(PF6)
(6)届書画像を表示し、証明･閲覧する範囲を職員が判断(選択)する。
※WebAPI関連情報(I0170)は届書処理通番単位で送受信する。そのため、1決裁で複数の
届書等の処理が行われた場合は、全ての届書等の画像が1ファイルとして送信される。
(7)中間ファイルを削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面)
└ 3.0 データ編集表(届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)

5.備考(特記事項含む)

･「(注)届書等情報内容証明書等は届書処理通番単位で情報が戸籍情報連携システムから送信される。離婚同時戸籍法第77条の2届のように複数の届を1回で決裁した場合、双方の届書情報が送信されるため、証明書の作成においては画像情報を選択する機能を考慮すること。
上記届において離婚2件、戸籍法第77条の2届1件が申請された場合は、発行部数3として戸籍情報連携システムに送信する。」
･証明書と閲覧の双方の申請があった場合は、証明書と閲覧を分けて処理する。

要件定義ワークシート	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)
処理名	0.0 本紙

						備考
(1)中間ファイル(受付ファイル表示)、管掌者ファイル、WebAPI関連情報(I0170:届書等情報取得)を読み込み、証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面を編集する [1.0]				/		画面に情報を設定し、表示は(1-2)～(1-3)の処理で行う(R4版)
(1-1)WebAPI関連情報(I0170:届書等情報取得)の申入書区分=1(申入書あり)である(YES,NO)				/		
YES	(1-1-1)WebAPI関連情報(I0170:届書等情報取得)に申入書画像情報PDFファイルがある(YES,NO)			/		
	YES	(1-2)メッセージ 「申入書があります。出力してはいけない情報を確認して対処して下さい。」を表示する			(1-2-1)証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面を表示する	
	NO	(1-2-2)メッセージ 「申入書がまだ登録されていません。状況を確認して対処して下さい。」を表示する				
NO	(1-3)→					
(2)キー選択(実行キー、PF1、PP2、PF6、PF10、その他)				/		
実行キー				/		数字項目であるため単体チェック(3)は削除(R4)
	(4)管掌者コードが入力された(YES,NO)			/		実行キーは管掌者コード変更に対応する(R4版)
	YES	(5)入力された管掌者コードに対応するコードがあるまで、管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)		/		
				/		
		YES	(6)管掌者名を証明書発行確認(副本)画面に設定する		(8)同画面を編集する	
		NO	(7)エラーメッセージ 「管掌者コードが間違っています。」を表示する			
	NO	(9)→				
						(9-1)～(14)はPF6に移す(R4版)

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF1				/			届書等情報内容証明書等の発行が1度もされなかった場合、その情報の通知は不要となったため、(17)(19)(20)(22)を削除する。(R3版)	
	→				(18)戸籍業務メニューに制御を渡す			
PF2				/				
	→				(21)証明書選択メニューに制御を渡す			
PF6	(21-1)届書イメージを表示し メッセージ 「証明・閲覧する範囲を届書イメージを表示して選択して下さい。」を表示する				(21-2)同画面を編集する		PF6は証明書発行に対応する(R4版)	
	(21-3)発行区分(1,2)			/				
	1	(21-4)届書等情報内容証明書を発行部数分出力する		/			編集方法は帳票設計書を参照	
	2	(21-5)届書等情報内容閲覧用帳票を発行部数分出力する		/			編集方法は帳票設計書を参照	
	(21-6)発行部数を発行総部数に加える			/			発行部数のカウントは任意設計とする(R4版)	
	(21-7)確認メッセージ 「別の届書を発行しますか？」を表示する(YES,NO)			/	(21-8)同画面を編集する		離婚同時77の2届は関連受領番号があるが複数人の入籍届は関連受領番号がないため、複数の届書があることを分かる情報が無い(R4版)	
	YES	(21-9)→(21-1)へ		/			発行部数を変えることも考慮する(R4版)	
	NO	(21-10)WebAPI(IO200:届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)を呼び出す	[3.0]	/				
		(21-11)WebAPI(IO200:届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)結果 (OK:YES,NG:NO)		/				
		YES	(21-12)各中間ファイルを削除する		(21-13)同画面を編集する			
		NO	(21-14)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する					
PF10	(22-1)WebAPI関連情報(IO170:届書等情報取得)に申入書画像情報PDFファイルがある (YES,NO)			/				
	YES	(22-2)申入書イメージを表示する			(22-3)同画面を編集する		印刷機能を考慮すること(R4版)	
	NO	(22-4)メッセージ 「情報がありません。」を表示する						
その他	(23)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)							
処理名	1.0　証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	管掌者コード		管掌者ファイル	管掌者コード				
	管掌者資格			管掌者資格				
	管掌者氏名			管掌者氏名				
	認証日			システム日付				
	発行区分		中間ファイル (受付ファイル表示)	発行区分				発行区分=1のとき「届書等情報内容証明書」を出力 発行区分=2のとき「届書等情報内容閲覧用帳票」を出力
	受領番号			受領番号				西暦年下2桁受領番号5桁-枝番で編集
	受理送付区分			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分区分			処分区分		有		
	事件名			事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	決裁区分			決裁区分		有		
	出張所番号			出張所番号				
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外区分			渉外区分		有		
	指示日			指示日		有		
	関連事件番号1			関連事件番号1				

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)								
処理名	1.0　証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面表示								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	関連事件番号2			関連事件番号2					
	関連事件番号3			関連事件番号3					
	関連事件番号4			関連事件番号4					
	関連事件番号5			関連事件番号5					
	発行部数							初期値として1を出力	
	発行総部数							初期値として0を出力	

データ編集表				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)								
処理名	3.0　届書等情報内容証明書等発行履歴の登録								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI(IO200-R01:届書等情報内容証明書等発行履歴の登録)	届書処理通番		中間ファイル(受付ファイル表示)	届書処理通番					
	発行日時			システム日時					
	発行市区町村コード							管内の都道府県コード+市区町村コードを設定	
	証閲覧区分		中間ファイル(受付ファイル表示)	発行区分					
	発行部数		証明書発行確認(届書等情報内容証明書等)画面	発行総部数				システム環境仕様書5.備考に記載の発行部数対応はベンダーの任意設計とする。	

第7.2.(13)

「各種ファイル更新」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B04	「ファイル更新」処理	・ファイル更新処理選択概要説明に下記修正をした。 -資料名称「【ファイル更新処理の概要説明】」の追加 -各更新処理の処理概要を修正、新規処理の追加 -各更新画面でのPFｷｰの修正 -留意点、画像処理についてを追加
				・更新処理追加について、ファイル更新処理選択を修正した。 ・不受理申出書画像の登録・更新及び入籍に伴い従前戸籍から不受理申出画像を取得する機能について、不受理申出ファイル更新を修正し、不受理申出情報更新を追加した。 ・入籍に伴い従前戸籍から胎児認知届画像を取得する機能について、個人状態ファイル更新を修正した。
				・受付ファイルの更新情報を戸籍情報連携システムに送信する情報登録の機能について、受付ファイル更新処理を修正した。 ・届書等情報登録機能について、届書等情報更新を追加した。 ・送付先市区町村情報作成について、送付先市区町村情報更新を追加した。 ・申入書情報作成について、申入書情報選択、申入書情報更新を追加した。
2		B05		届書補正情報登録機能について、届書等情報更新を追加した。
3		―		条文等の見直しで以下の処理を修正 ・受付ファイル更新処理
4		―		誤り等で以下の処理を修正 ・受付ファイル更新処理
5		15		「届書入力処理誤記一覧_R2.2版統合作業指摘」による修正
6	R4	B04	「ファイル更新」処理	不受理申出情報を送信するのは本籍市区町村であることによる修正 ①ファイル更新処理選択 システム処理の概要説明 1. A.に追記
7				送達確認書の郵送事務が残ることによる修正 ①ファイル更新処理選択 システム処理の概要説明 1. G.に追記 ②送付先市区町村情報更新 0.0 本紙、1.0 送付先市区町村情報更新画面編集、2.0 単体チェック表、3.0 関連チェック表、4.0 送付先市区町村情報ファイル、5.0 送信情報(送付先情報)作成処理
8				不受理申出情報(F0150)のデータ編集表追加による修正 ①不受理申出ファイル更新 システム環境仕様書、0.0 本紙、6.0 送信情報(不受理申出情報)作成処理 ②不受理申出情報更新 4.0 不受理申出補正情報(イメージ)の作成
9				F0050に[TR02]～[TR05]に規則第四一条処理区分が追加されたことによる修正 ①受付ファイル更新処理 8.0 送信情報(管理情報)作成処理 ②届書等情報更新 5.0 送信情報(管理情報)作成処理 ③送付先市区町村情報更新 6.0 送信情報(管理情報)作成処理
10		B06		申入書が届出された場合は必ず注意喚起情報を送信することへの変更による修正 ①ファイル更新処理選択 システム処理の概要説明 1. F.に追記 ②申入書情報選択 システム環境仕様書、4.0 届書等情報の注意喚起情報設定
11		申し送り事項一覧№9		受付ファイルの発送日を、発送日と発信日に切り分けることによる修正 ①送付先市区町村情報更新 1.0 送付先市区町村情報更新画面編集、2.0 単体チェック表、3.0 関連チェック表、4.0 送付先市区町村情報ファイル
12		―		ファイル更新メニュー画面の選択番号に合わせた修正 ①ファイル更新処理選択 0.0 本紙

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	ファイル更新処理選択						

【ファイル更新処理の概要説明】

1.ファイル更新処理業務の概要

A.不受理申出･個人状態ファイル更新処理
･不受理申出･個人状態ファイル更新には、該当戸籍一覧表示、戸籍構成員一覧表示、不受理申出ファイル更新、個人状態ファイル更新がある。
･該当戸籍一覧表示では、該当戸籍を表示選択し、戸籍構成員一覧表示では、該当戸籍の構成員を表示し個人を選択する。
不受理申出ファイル更新では、選択された個人の不受理申出ファイルを全件検索して表示･更新する。
個人状態ファイル更新では、選択された個人の個人状態ファイルを検索して表示･更新する。
･該当戸籍一覧表示での検索項目及び当説明での検索キーは、検索処理と同様である。
･戸籍の処理により、新たに入籍した者に不受理申出書又は胎児認知届がある場合、WebAPI(IO230:画像等情報取得)により戸籍情報連携システムから画像情報を取得し、システムに保存する。
･不受理申出書の申請において、不受理申出画像(添付書面があれば不受理申出添付書面画像)を作成する。
不受理申出書の補正は、補正情報を作成し不受理申出補正画像を作成する。
不受理申出取下げ書の申請があった場合は、不受理申出取下画像を作成する。
･不受理申出をした者について氏名及び本籍の変更があった場合、市区町村長は不受理申出変更履歴を作成するが（平成20年4月7日付け法務省民一第1000号法務省民事局長通達　第6-1-(9)-ｳ　別紙７の３の様式）、これを画像データに変換し不受理申出画像情報に頁追加し、変更した不受理申出情報と画像情報を戸籍情報連携システムに送信する。
･戸籍情報連携システムへ送信する前の情報であれば更新及び削除を可能とする。戸籍情報連携システムへ送信した後に更新した情報は、履歴として管理する。
※添付書面画像及び補正画像の更新は上書き更新とし履歴とはしない。
･登録した情報は(F0150:不受理申出情報送信)を利用して戸籍情報連携システムに送信する。
失効等により一定期間経過後、不受理申出情報を削除した場合も同様である。
なお、送信は本籍地市区町村が実施し、不受理申出書等を受領した非本籍市区町村は当該不受理申出書を本籍市区町村に送付する。

B.受付ファイル更新処理
･戸籍情報連携システムに送信した後に受付DBを更新した場合、更新後の情報を(F0050:届書等情報送信(法務省宛))を利用して戸籍情報連携システムに送信する。

C.戸籍DB更新処理

D.管掌者親族情報更新
決裁処理、証明処理及び再製処理等の法令により管掌者の除斥を行う必要のある処理において、管掌者又はその親族に関する処理を行う際には、管掌者を変更する必要がある。管掌者変更の職員判断を補助する手段として、戸籍DBの検索及び副本記録情報の検索を経て管掌者及びその親族を特定し、管掌者コードに紐付けて情報を登録・管理する「管掌者親族情報更新」処理を設ける。
本機能における以下の要件について、実現方法は任意設計とする。
･戸籍DBを検索し、管掌者及びその親族を特定して登録できること。
･副本記録情報を検索し、管掌者及びその親族を特定して登録できること。
※本処理は、ファイル更新処理選択メニューだけ仕様を作成し、それ以外の詳細仕様は示さない。

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	ファイル更新処理選択						

E.届書等情報更新

届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村は、該当の受付ファイルに紐づけて届書画像(添付書面があれば添付書面画像)を作成する。

・届書の補正は、補正情報を作成し届書補正画像を作成する。
・届書処理通番は決裁単位で1件であるため、1処理で複数の受付ファイルが作成される場合(離婚同時77条の2、生存養親と死亡養親との離縁等)、送信する情報は1件の情報にまとめる。
生存養親と死亡養親との離縁の場合、受領番号の小さい受付ファイルに届書等情報を登録し、それ以外の受付ファイルには登録しない。
・戸籍情報連携システムへ送信する前の情報であれば更新及び削除を可能とする。戸籍情報連携システムへ送信した後に更新した情報は、履歴として管理する。
※添付書面画像及び補正画像の更新は上書き更新とし履歴とはしない。
・登録した情報は(F0050:届書等情報送信(法務省宛))を利用して戸籍情報連携システムに送信する。
・保存期間を経過した届書等情報は、本処理ではなくバッチにより一括削除する。

F.申入書情報更新

申請された申入書は、申入書に該当する届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村で、該当の受付ファイルに紐づけて申入書画像を作成する。

・申入書取下げの申請があった場合、申入書取下画像は作成しない。
・申入書の申請があった場合、申入書を直ちに登録できる場合でも、画像登録等処理に時間を要することが想定され、また、副本記録情報として参照できるようになるまでも一定の時間を要するため、DV関係は社会的重要性が高いことを踏まえ、常にWebAPI(IO250:届書等情報の注意喚起情報設定)を戸籍情報連携システムに送信する。申請された市区町村の届書の受付市区町村が異なる場合は、申請地からの連絡により受付地が戸籍情報連携システムに送信する。
・申入書画像の更新は履歴として管理する。
・登録した情報は(F0160:申入書情報送信)を利用して戸籍情報連携システムに送信する。
・F0160の申入書情報処理区分(1:申入書情報の期限切れに伴う更新)の設定により、期限切れ前のデータの申入書取下日は戸籍情報連携システムで処理日が設定される。そのため、期限切れ前のデータは申入書取下日を送信しない。
・情報の無効等により一定期間経過後申入書情報を物理的削除した場合は、戸籍情報連携システムに送信しない。

G.送付先市区町村情報更新処理

届書等を受理又は在外公館から直接送付を受けた市区町村は、届書入力処理における処分決定処理(又は審査結果入力処理、訂正・更正・追完処理における受付ファイル作成処理)で作成された送付先市区町村情報ファイルに登録された者以外で、他市区町村で戸籍の記載が必要な者がある場合その情報を作成する。

・同一市区町村で同一決裁のデータ(届書処理通番)単位で作成する。
・登録した情報は(F0050:届書等情報送信(法務省宛))を利用して戸籍情報連携システムに送信する。
・戸籍情報連携システムに送信した送付先市区町村情報を更新した場合は、送信済の情報を含む全ての情報を再送信する。
・送信済のデータは更新、削除ができないこと。
・何らかの理由で届書等情報が戸籍情報連携システムに送信できない場合は、戸籍情報連携システム運用前と同様に紙の届書と送達確認書を送付先市区町村に送付する。この場合、送信区分を3(送達中(紙送付))とし発信(発送)日を設定すること。
送達確認書が送付先市区町村から返送された場合は、送信区分を4(到着済(紙送付))に更新する。
※送達確認書は送付先市区町村情報から印刷する(5.6-.(2) 帳票設計書を参照)。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	ファイル更新処理選択

2.各検索画面でのPFキー(Aの場合のみ)

画面 / PFキー	ファイル更新処理メニュー	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示	不受理申出ファイル更新	個人状態ファイル更新
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2		ファイル更新処理メニュー	ファイル更新処理メニュー	ファイル更新処理メニュー	ファイル更新処理メニュー	ファイル更新処理メニュー
PF3				前頁構成員		
PF4				次頁構成員		
PF5			該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧
PF6					不受理申出画像取得	胎児認知届画像取得
PP7		前頁表示	構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示	
PF8		次頁表示	構成員項目次頁	次頁表示	次員表示	
PF9					個人詳細表示	個人詳細表示
PF10			戸籍項目前頁	不受理申出ﾌｧｲﾙ更新		不受理申出ﾌｧｲﾙ更新
PF11			戸籍項目次頁	個人状態ﾌｧｲﾙ更新	個人状態ﾌｧｲﾙ更新	胎児認知届画像表示
PF12		入力画面初期化			不受理申出ファイルの更新	個人状態ファイルの更新
実行キー	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示		画面入力項目ﾁｪｯｸ	画面入力項目ﾁｪｯｸ

※PFキーは拡張して任意に設定が変更できる

システム処理の概要説明		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	ファイル更新処理選択						

3.留意点

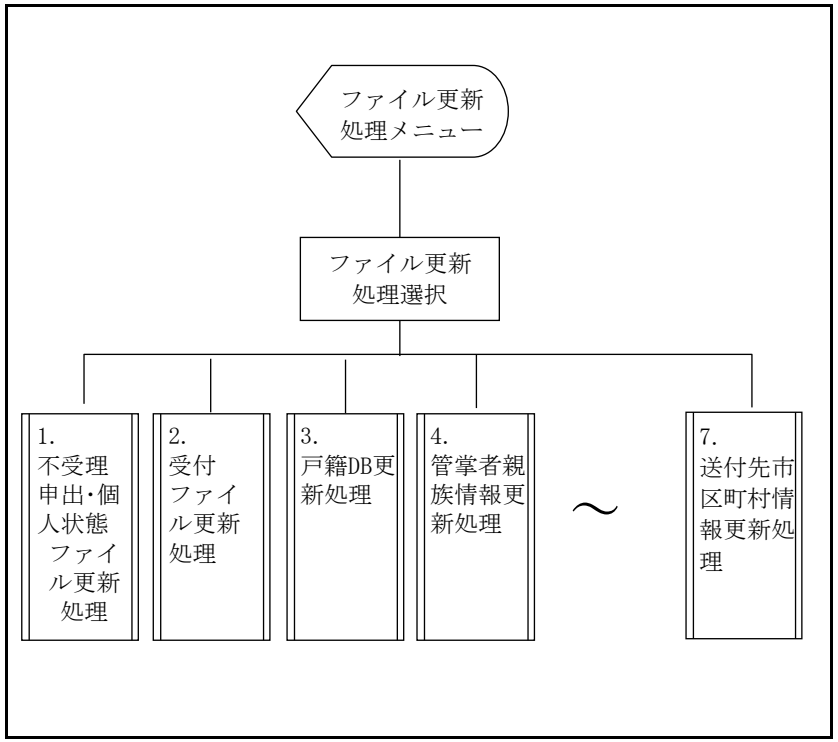
・戸籍の記録をする処理や証明書を認証する処理等の戸籍法第2条及びそれに準ずる法令等で管掌者の除斥が必要な処理において、管掌者及びその親族の情報を参照し、該当する者が関連する場合に誤って取り扱わないようにする措置を講じること。
・管掌者及びその親族に関する副本記録情報に異動があった場合には登録情報の更新が必要となる。
・届書等の決裁に伴い戸籍情報連携システムに送信する届書等情報は、原則として決裁処理後に送信することとしているため、各種ファイル更新処理においては送信後に変更があった際の処理概要を上記に記載している。ただし、決裁処理時に届書画像情報が登録されていない場合は、戸籍情報連携システムへの送信対象としないため、各種ファイル更新処理で届書画像情報を登録した後に送信対象とする制御を行うこと。
届書等情報の送信漏れ防止や作成状況等の確認を行う等の目的で、作成、更新した届書等情報データを管理するファイルの作成は任意実装機能とする。
また、送付地においては決裁処理後に無条件で送信対象とするため、各種ファイル更新処理での制御は不要である。
・新規登録された届書及び添付書面の画像はF0050-C02の届書等種別コード[TR01]で、更新された届書及び添付書面の画像は[TR02]で、届書補正情報(新規登録、更新とも)はF0050-R05で、届書補正画像は[TR04]で送信する。
但し、F0050の送信においてF0050-C02の届書処理通番は重複しての設定が不可であるため、届書画像[TR01]と届書補正画像[TR04]は同時に送信できない。この場合は、[TR01]を先に送信してその後別のF0050ファイルで[TR04]を送信することになる。届書画像(更新)[TR02]と届書補正画像[TR04]も同様である。
・戸籍情報連携システムへの送信情報は、再送信等で再度設定する場合があることから、それらの情報を基本のファイルに紐づけて保持することを検討すること。
戸籍副本データ管理システムに送信する情報に、戸籍情報システム内で保持しないデータを補記して送信するファイルと同等である。
・各種ファイル更新処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。
また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

4.画像処理について

・画像として保存する処理としては、紙の資料をスキャン等によりイメージファイルとして登録するもの及び既に画像化されたものを取得(戸籍情報連携システムから取得、戸籍情報システムからコピー) するものがある。
この画像の処理に関してはベンダーの任意設計であるが、戸籍情報システム標準仕様書としては以下の前提とする。
→イメージファイルは登録された時点で、元情報に紐づくファイル名が付けられることとする。
例1)処理通番2021053872410233357の履歴1番目の届書のファイル名：idou_202105387241023357_001.pdf(戸籍情報連携システムに送信する際は履歴番号は不要)
例2)個人番号5763100002の2つ目の不受理申出書のファイル名：5763100002_fujyuri_002.pdf(戸籍情報連携システムに送信する際は個人番号は不要)
※例1の履歴番号や例2の個人番号は管理情報に保持し、ファイル名は戸籍情報連携システムに送信するファイル名と同じにすることも考えられる。
従って、スキャン等による画像化又は戸籍情報連携システムから取得において、上記ファイル名で登録がされることとしている。
・各種更新処理において画像を登録する場合は、イメージの表示が行えることで画像情報の有無を判断している。
・受領した書面は実寸大でスキャンを行い、各々イメージファイルを作成する。
・補正画像は補正情報からイメージファイルを作成する。
・戸籍情報システムで保持するイメージはPDFファイルでなくても構わないが、戸籍情報連携システムへはPDFファイルで送信する。
※PDFファイルの仕様は、戸籍情報連携システム外部インターフェイス仕様書を確認すること。

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	ファイル更新処理選択					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1)検索処理選択番号の入力チェック
(2)不受理申出・個人状態ファイル更新処理に制御を渡す
(3)受付ファイル更新処理に制御を渡す
(4)戸籍DB更新処理に制御を渡す
(5)管掌者親族情報更新処理に制御を渡す
(6)届書等情報更新処理に制御を渡す
(7)申入書情報更新処理に制御を渡す
(8)送付先市区町村情報更新処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データチェック(単体表)
　　　　└ 2.0 別紙1(パスワード・チェック)

5.備考(特記事項含む)

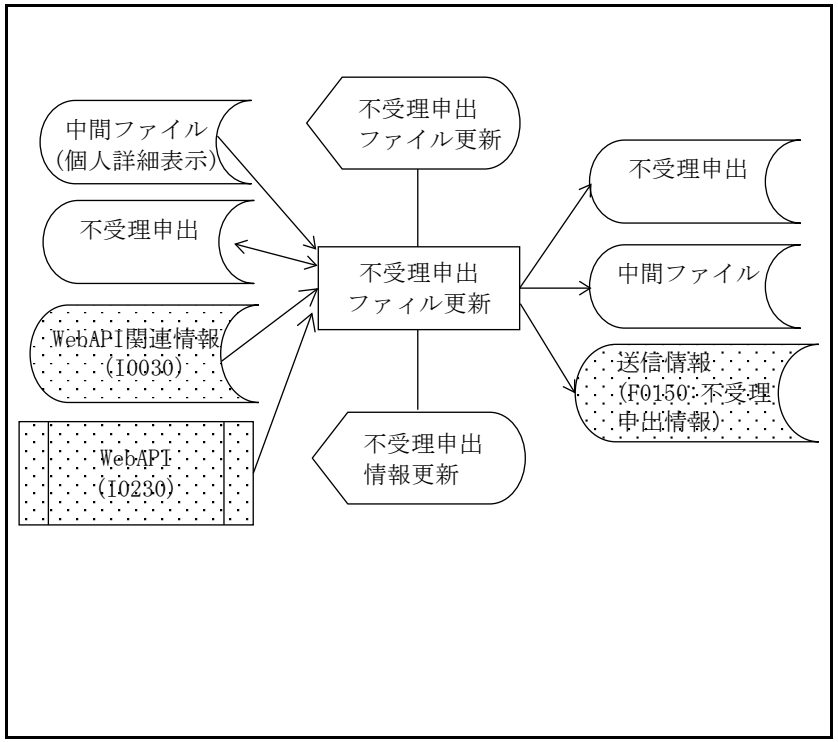
要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	ファイル更新処理選択								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)検索処理メニュー画面を出力する						/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)パスワードのチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)選択番号			/			
			1	(6)不受理申出･個人状態ファイル更新処理			(7)該当戸籍一覧表示に制御を渡す		
			2	(8)受付ファイル更新処理			(9)受付ファイル更新処理に制御を渡す		
			3	(10)戸籍DB更新処理			(11)戸籍DB更新処理に制御を渡す		
			4	(11-1)管掌者親族情報更新処理			(11-2)管掌者親族情報更新処理に制御を渡す	※管掌者親族情報更新処理は詳細仕様を作成しない(任意設計)。	
			5	(11-3)届書等情報更新処理			(11-4)届書等情報更新処理に制御を渡す		
			6	(11-5)申入書情報更新処理			(11-6)申入書情報更新処理に制御を渡す		
			7	(11-7)送付先市区町村情報更新処理			(11-8)送付先市区町村情報更新処理に制御を渡す		
		NO	(12)エラーメッセージ 「パスワード･エラー」を表示する				(13)同画面を編集する		
	NO	(14)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する							
PF1	→						(15)業務選択に制御を渡す		
その他	(16)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						(17)同画面を編集する		

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	ファイル更新処理選択								
処理名				画面名		画面ID			
1.0 データチェック(単体表)				ファイル更新処理メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1～7であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	パスワード	○	数字	数字であること					

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	ファイル更新処理選択							
処理名	2.0 別紙1(パスワード･チェック)						備考	
(1)入力されたパスワードをキーにパスワードファイルを読む(ある:YES,なし:NO)					/			
YES	(2)内容をチェックする(OK:YES,NG:NO) 《自治体、メーカー独自》				/		パスワードチェック･サブルーチン	
	YES	(3)操作員資格区分を参照する			/			
	NO	(4)エラー			/			
NO	(5)エラー				/			

システム環境仕様書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル更新						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力	不受理申出情報 ファイル	出力
不受理申出ファイル	入出力	中間ファイル (処理項番)	出力
WebAPI関連情報 (I0030)	入力	送信情報 (F0150:不受理申出 情報)	出力
WebAPI(I0230)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに不受理申出ファイルを検索し、ファイルの内容等を編集する
(2)不受理申出ファイル更新画面の表示
(3)非本籍地から異動により入籍した場合は、個人情報をキーにWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出し、取得した不受理申出画像情報を登録する
(4)不受理申出ファイルの登録・更新・削除を行い、送信情報(不受理申出情報)を作成する
(5)登録したイメージの確認及び不受理申出の補正を行うために不受理申出情報更新に遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(不受理申出ファイル更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(不受理申出ファイル編集)
- 5.0 データ編集表(不受理申出書画像情報等取得)
- 6.0 データ編集表(送信情報(不受理申出情報))

※4.0、5.0を削除し後続の番号を変更(R3版)、6.0はR4版で追加

5.備考(特記事項含む)

・不受理申出をした者について氏名及び本籍の変更があった場合、市区町村長は不受理申出変更履歴を作成するが（平成20年4月7日付け法務省民一第1000号法務省民事局長通達第6-1-(9)-ｳ　別紙７の３の様式）、これを画像データに変換し不受理申出画像情報に頁追加し、変更した不受理申出情報と画像情報を戸籍情報連携システムに送信する。
・登録済みの不受理申出を削除した情報も戸籍情報連携システムに送信する。
・戸籍情報連携システム稼働前の不受理申出情報の更新、削除に関しては、WebAPI(I0230)で不受理申出情報を取得し、そのデータを不受理申出ファイルに登録してから処理する。この場合、送信された不受理申出登録番号で登録し、更新、削除後の戸籍情報連携システムへの送信は、この不受理申出登録番号を設定すること。

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	不受理申出ファイル更新

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(個人詳細表示)を個人番号をキーとして不受理申出ファイルを全件検索する(ある、なしに係わらず)	/			
(2)不受理申出ファイル更新画面を編集・表示する [1.0]	/	(3)同画面を編集する		
(4)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF11、PF12、その他)	/			
実行キー (5)処理選択番号がある(YES,NO)	/			
YES (6)処理選択番号(1～4、その他)	/			
1 (7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/			
YES (8)不受理申出ファイル更新画面を再編集する [1.0]	/			
(9)メッセージ「チェックOKです。不受理申出ファイルを追加して下さい。」を表示する		(11)同画面を編集する		
NO (10)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する				
2	/		(12)削除(R3版)	
(13)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/			
YES (14)不受理申出ファイル更新画面を再編集する [1.0]	/			
(15)メッセージ「チェックOKです。不受理申出ファイルを更新して下さい。」を表示する		(18)同画面を編集する		
NO (16)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する				
			(17)削除(R3版)	
3 (19)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/			
YES (20)メッセージ「チェックOKです。不受理申出ファイルを削除して下さい。」を表示する		(20-1)同画面を編集する	(23)を(20-1)に変更、(23)は削除(R3版)	
NO (21)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する				
4 (21-1)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/			
YES (21-2)中間ファイル(処理項番)を作成する		(21-3)不受理申出情報更新へ制御を渡す		
NO (21-4)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する		(21-5)同画面を編集する		
その他 (22)エラーメッセージ「処理選択番号入力が違います。再度、入力して下さい。」				

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			不受理申出ファイル更新						
処理名			0.0 本紙					備考	
		他	「処理選択番号入力が違います。再度、入力して下さい。」を表示する						

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	0.0 本紙						備考	
	NO	(24)エラーメッセージ 「処理選択番号を入力して下さい。」を表示する			(25)同画面を編集する			
PF1	→				(26)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(27)ファイル更新処理選択に制御を渡す			
PF5	→				(28)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す			
PF6	(28-1)非本籍人検索に遷移し、従前戸籍を特定してWebAPI関連情報(I0030)を作成する		/				7.2.(2)「検索」処理の「該当戸籍一覧表示(副本)」～「不受理申出イメージ表示(副本)」の仕様を参照 ※本処理を画像専用処理で実施しても可	
	(28-2)該当個人情報でWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出す [5.0]		/					
	(28-3)WebAPI(I0230:画像等情報取得)結果 (OK:YES,NG:NO)		/					
	YES	(28-4)取得した不受理申出書画像情報を不受理申出情報ファイルに登録する	/					
		(28-5)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する			(28-6)同画面を編集する			
	NO	(28-7)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						
PF7	(29)前ページがある(YES,NO)		/					
	YES	(30)前ページ不受理申出ファイル更新画面出力			(32)同画面を編集する			
	NO	(31)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(33)次ページがある(YES,NO)		/					
	YES	(34)次ページ不受理申出ファイル更新画面出力			(36)同画面を編集する			
	NO	(35)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
PF9	→				(37)個人詳細表示に制御を渡す			
PF11	→				(38)個人状態ファイル更新に制御を渡す			
PF12	(39)入力項目のチェック済みである(YES,NO)		/					
	YES	(40)処理選択番号(1～3)	/					
		1 (41)不受理申出ファイルを編集･追加する [4.0]	/					
		(42)メッセージ 「不受理申出ファイルが追加されました。」を表示する			(43)同画面を編集する			

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			不受理申出ファイル更新						
処理名			0.0 本紙					備考	
		2	(44)不受理申出ファイルを編集･更新する [4.0]		/				
			(45)メッセージ 「不受理申出ファイルが更新されました。」を表示する			(46)同画面を編集する			
		3	(47)不受理申出ファイルを削除する		/				
			(47-1)不受理申出画像情報ファイルから削除する		/			画像削除は別処理で実施も可	
			(48)メッセージ 「不受理申出ファイルが削除されました。」を表示する			(49)同画面を編集する			
			(49-1)送信情報(不受理申出情報)を作成する [6.0]		/				
	NO		(50)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する			(50-1)同画面を編集する			
その他	(51)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する								

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	1.0 不受理申出ファイル更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出ファイル更新画面	ページ							
	カナ氏名		中間ファイル (個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
	項番		不受理申出ファイル	行番号				不受理申出ファイルがある場合のみ処理を行う(MAX2件)
	出張所番号			出張所番号				
	受理･送付別			受理送付区分				
	開始日			開始日(届出日)		有		
	送付日			送付日		有		
	失効日			失効日		有		
	失効区分(コード)			失効区分		有		
	失効区分(漢字)							
	不受理申出事件(コード)			不受理申出事件コード		有		
	不受理申出事件(名称)							
	不受理申出相手氏名1			相手方氏名1				
	不受理申出相手氏名2			相手方氏名2				
	処理選択番号							
	処理項番							

データチェック(単体表)				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル更新								
処理名				画面名	画面ID				
2.0 単体チェック表				不受理申出ファイル更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	出張所番号		数字	自治体固有の出張所番号であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		2件目迄入力があれば、2件目もチェックを繰り返す
02	受理･送付別		数字	1又は2であること			
03	開始日		数字	元号、日付チェックでOKであること			
04	送付日		数字	元号、日付チェックでOKであること			
05	失効日		数字	元号、日付チェックでOKであること			
06	失効区分		数字	1:終了　2:取下　3:失効			
07	不受理申出事件		数字	01～04,07～13,18,19,21,22,26,28～33であること			
08	不受理申出相手氏名1		漢字				
09	不受理申出相手氏名2		漢字				
10	処理選択番号		数字	1～4であること			
11	処理項番		数字	画面上に表示されている項番であること			旧5.0入力項目チェックを統合(R3版)

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル更新						
処理名		画面名	画面ID				
3.0 関連チェック表		不受理申出ファイル更新					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
0-1	(NO.10)処理選択番号が1(追加)の時、(NO.11)処理項番が入力無しであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
0-2	(NO.10)処理選択番号が1(追加)以外の時、(NO.11)処理項番が入力有りであること			
0-3	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新)の時、 (NO.1)出張所番号、(NO.2)受理･送付別、(NO.3)開始日、(NO.7)不受理申出事件が 入力有りであること			
01	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.2)受理･送付別が1(受理)の時、 (NO.4)送付日が入力無しであること			
02	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.2)受理･送付別が2(送付)の時、 (NO.4)送付日が入力有りであること			
03	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.4)送付日に入力有りの時、 送付日は(NO.3)開始日以降であること			
04	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.5)失効日に入力有りの時、 失効日は(NO.3)開始日以降であること			
05	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.4)送付日に入力有り かつ (NO.5)失効日に入力有りの時、 (NO.4)送付日は失効日以前であること			
06	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.5)失効日に入力有りの時、 (NO.6)失効区分が入力有りであること			
07	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.5)失効日に入力無しの時、 (NO.6)失効区分が入力無しであること			
08	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.8)不受理申出相手氏名1に入力無しの時、 (NO.9)不受理申出相手氏名2が入力無しであること			
09	(NO.10)処理選択番号が1(追加)、2(更新) かつ (NO.9)不受理申出相手氏名2に入力有りの時、 (NO.8)不受理申出相手氏名1が入力有りであること			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	4.0 不受理申出ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出ファイル	個人番号		中間ファイル (個人詳細表示)	個人番号				
	行番号		不受理申出ファイル	項番				追加の時、該当個人番号の全不受理ファイル中最終行番号+1をセット
	出張所番号		不受理申出ファイル更新画面	出張所番号				
	受理･送付区分			受理･送付別				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件(コード)				
	開始日(届出日)			開始日		有		
	送付日			送付日		有		入力無しの時は、0(ゼロ)をセット
	失効日			失効日		有		
	失効区分			失効区分(コード)				
	作成日(処理日)			現年月日				
	相手方氏名1			不受理申出相手氏名1				入力無しの時は、ブランクをセット
	相手方氏名2			不受理申出相手氏名2				入力無しの時は、ブランクをセット

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	5.0　不受理申出画像情報等取得							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(IO230-R01:画像等情報の照会要求)	副本参照処理通番		WebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)	副本参照処理通番				
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)				
	戸籍記録順位番号		中間ファイル(個人詳細表示(副本))	詳細選択番号				
	取得対象区分							「20:不受理申出情報(有効分)」を設定

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	6.0　送信情報(不受理申出情報)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報(F0150-R01:不受理申出情報)	本籍地市区町村コード							自市区町村コードを設定
	不受理申出情報処理区分		不受理申出ファイル更新画面	処理選択番号				1(追加)→0(登録) 2(変更)→1(更新) 3(削除)→2(削除)　を設定
	不受理申出情報登録番号							F0150-R01(不受理申出情報)の備考欄を参照して設定
	個人番号		不受理申出ファイル	個人番号				
	行番号			行番号				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件コード				
	開始日(届出日)			開始日(届出日)				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	作成日(処理日)			作成日(処理日)				
	相手方氏名1			相手方氏名1				
	相手方氏名2			相手方氏名2				
	相手方氏名3							保持している場合に設定
	相手方氏名4							
	更新日							F0150-R01(不受理申出情報)の備考欄を参照して設定
	更新時間							
	不受理申出画像情報ﾌｧｲﾙ名							各画像の情報は不受理申出情報ファイルから編集する
	不受理申出画像更新年月日							
	不受理申出画像更新時分秒							
	不受理申出添付書面画像情報ファイル名							
	不受理申出添付書面画像更新年月日							
	不受理申出添付書面画像更新時分秒							

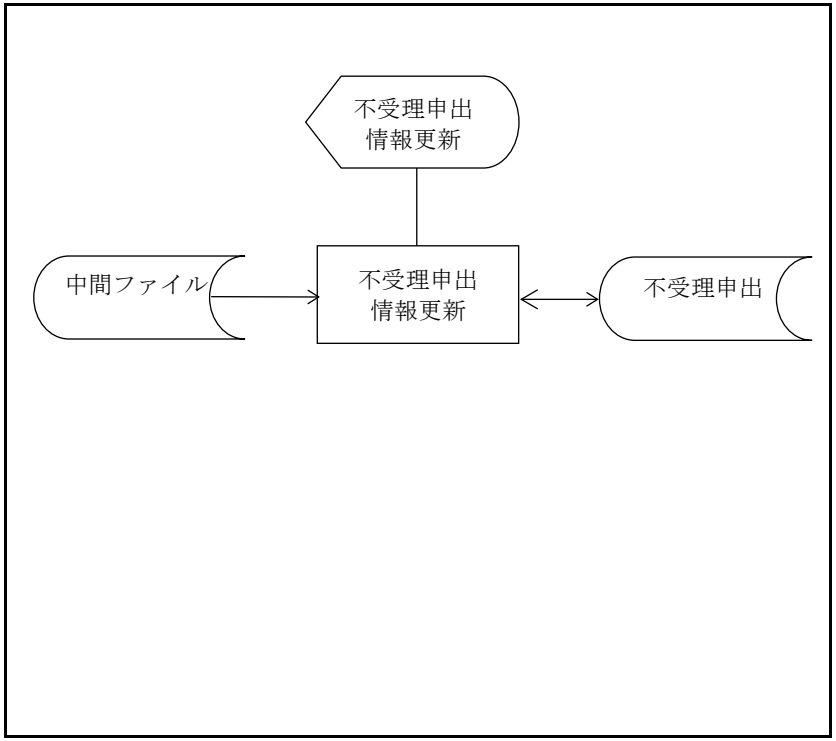
データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	6.0　送信情報(不受理申出情報)作成処理							
受取側			引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	不受理申出補正情報								

データ編集表			作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	不受理申出ファイル更新							
処理名	6.0　送信情報(不受理申出情報)作成処理							
受取側			引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	不受理申出補正画像情報 ファイル名								
	不受理申出補正画像 更新年月日								
	不受理申出補正画像 更新時分秒								
	不受理申出取下画像情報 ファイル名								
	不受理申出取下画像 更新年月日								
	不受理申出取下画像 更新時分秒								

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	不受理申出情報更新

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (処理項番)	入力		
不受理申出情報 ファイル	入出力		
送信情報 (F0150:不受理申出 情報)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(処理項番)に該当する情報を不受理申出情報ファイルから検索し、
不受理申出情報更新画面を表示する
(2)指定により該当の画像情報を表示する
※表示により登録の有無を判定する
(3)補正情報の入力及び更新により、不受理申出補正画像情報を作成する
※補正情報更新後に補正画像の確認が可

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(不受理申出情報更新画面編集)
├ 2.0 データチェック(単体表)
├ 3.0 データチェック(関連表)
└ 4.0 補足説明書 不受理申出補正情報(イメージ)の作成

5.備考(特記事項含む)

システム環境仕様書			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和 年 月 日	版	R3
作業名	不受理申出情報更新							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(処理項番)に該当する不受理申出情報を不受理申出情報ファイルから検索する					/			
(2)不受理申出情報更新画面を編集･表示する [1.0]					/			
(4)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF12、その他)					/			
PF1	→					(5)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(6)ファイル更新処理選択に制御を渡す		
PF5	→					(7)不受理申出ファイル更新に制御を渡す		
PF6	(8)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]				/			
	YES	(9)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する				(10)同画面を編集する		
	NO	(11)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
PF12	(12)不受理申出補正内容が更新された(YES,NO)				/			
	YES	(13)不受理申出補正内容で不受理申出補正画像を作成し、不受理申出情報ファイルに登録する			/			
		(14)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する				(15)同画面を編集する		
	NO	(16)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
その他	(17)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

システム環境仕様書			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出情報更新							
処理名	1.0　不受理申出情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
不受理申出情報更新画面	カナ氏名		中間ファイル (処理項番)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	項番			項番				
	出張所番号			出張所番号				
	受理･送付別			受理･送付別				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	失効区分表示			失効区分表示				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件コード				
	不受理申出事件名称			不受理申出事件名称				
	不受理申出相手氏名1			不受理申出相手氏名1				
	不受理申出相手氏名2			不受理申出相手氏名2				
	不受理申出イメージ更新日		不受理申出情報ファイル	不受理申出イメージ更新日		有		登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)のデータを表示する 各情報を別ファイルに分けることも可
	不受理申出イメージ更新時間			不受理申出イメージ更新時間				
	不受理申出イメージ最終履歴番号			不受理申出イメージ登録番号				
	不受理申出添付書面イメージ更新日			不受理申出添付書面イメージ更新日		有		
	不受理申出添付書面イメージ更新時間			不受理申出添付書面イメージ更新時間				

システム環境仕様書			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出情報更新							
処理名	1.0　不受理申出情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	不受理申出補正イメージ更新日			不受理申出補正イメージ更新日		有		
	不受理申出補正イメージ更新時間			不受理申出補正イメージ更新時間				
	不受理申出取下イメージ更新日			不受理申出取下イメージ更新日		有		
	不受理申出取下イメージ更新時間			不受理申出取下イメージ更新時間				
	イメージ種別番号							
	表示履歴番号							
	不受理申出補正内容		不受理申出情報ファイル	不受理申出補正情報				

データチェック(単体表)				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出情報更新								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				不受理申出情報更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～4であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				
03	不受理申出補正内容		漢字				

データチェック(関連表)		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	不受理申出情報更新						
処理名		画面名	画面ID				
3.0　関連チェック表		不受理申出情報更新					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(不受理申出)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦不受理申出イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面)　又は　3(不受理申出補正)　又は　4(不受理申出取下)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

補足説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	不受理申出情報更新
処理名	4.0　不受理申出補正情報(イメージ)の作成

不受理申出情報更新画面で入力されたテキスト情報とテキスト情報を以下の様式でイメージ化した情報で、連携情報ファイル(不受理申出情報:F150-R01)を作成する。
イメージ化した情報は不受理申出情報ファイルに登録する。

1.不受理申出補正情報(イメージ)

不受理申出補正情報　　Z9/Z9 頁

本　籍　　K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
筆頭者　　K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
氏　名　　K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
生年月日　　K－－K(11)－－K
事件名　　K－－－－－K(15)－－－－－K
開始日　　K－－K(11)－－K
失効日　　K－－K(11)－－K
補正内容　　K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K
K－－－－－－－－－－K(30)－－－－－－－－－－K

2.項目一覧

項目名	出力元	出力元項目名
本籍	不受理申出情報更新画面	本籍
筆頭者		筆頭者
氏名		漢字氏名
生年月日		生年月日
不受理申出事件名		不受理申出事件名称
不受理申出事件開始日		開始日
不受理申出事件失効日		失効日
補正内容		不受理申出補正内容

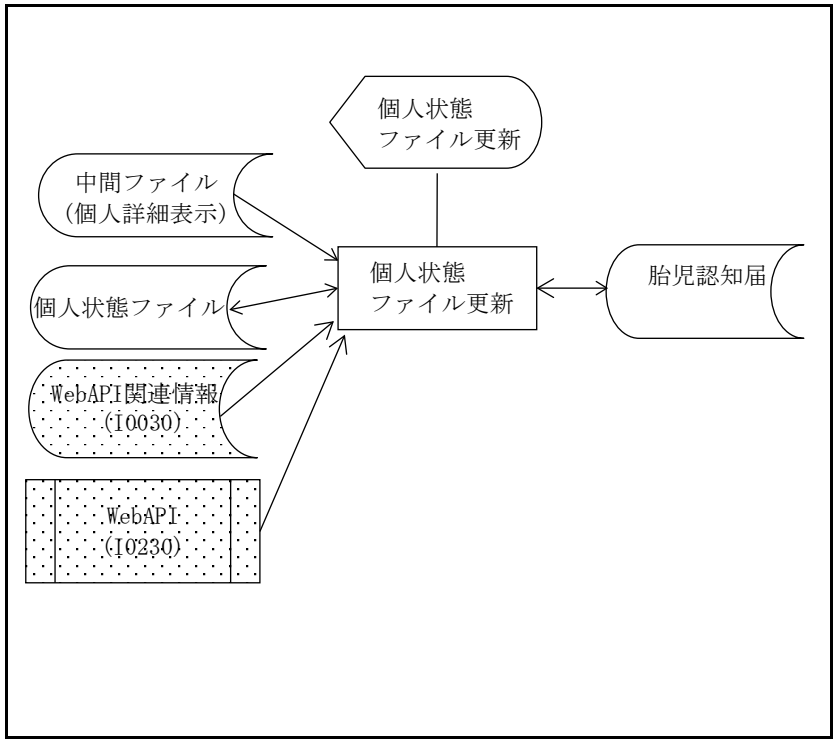
3.その他

・様式はA4版縦とする。
・補正事項が多い場合は複数頁になることも考えられるため頁印字を行う。
・出力形式は任意とするが、戸籍情報連携システムにはPDF形式で送信する。

【注】本帳票仕様は戸籍情報連携システム稼働までの間に変更される場合がある

システム環境仕様書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル更新					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力	胎児認知届情報ファイル	入出力
個人状態ファイル	入出力		
WebAPI関連情報 (I0030)	入力		
WebAPI(I0230)	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに個人状態ファイルを検索し、ファイルの内容等を編集する
(2)個人状態ファイル更新画面の表示
(3)非本籍地から異動により入籍した場合は、個人情報をキーにWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出し、取得した胎児認知届画像情報を登録する
(4)個人状態ファイルの登録・更新を行う
※胎児認知区分=0で更新された場合は、胎児認知届情報ファイルから該当の情報を削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(個人状態ファイル更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(個人状態ファイル編集)
- 5.0 データ編集表(胎児認知届情報等取得)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル更新							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし、該当データを読み込む				/				
(2)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する（ある、なしに係わらず）				/				
(3) 個人状態ファイル更新画面を編集･表示する [1.0]				/	(4) 同画面を編集する			
(5) キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF6、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)				/				
実行キー	(6) 入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
	YES	(7) メッセージ「チェックOKです。個人状態ファイルを更新(PF12)して下さい。」を表示する			(9) 同画面を編集する			
	NO	(8) 入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する						
PF1	→				(10)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(11)ファイル更新処理選択に制御を渡す			
PF5	→				(12)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す			
PF6	(12-1)非本籍人検索に遷移し、従前戸籍を特定してWebAPI関連情報(I0030)を作成する			/			7.2.(2)「検索」処理の「該当戸籍一覧表示(副本)」～「不受理申出イメージ表示(副本)」の仕様を参照	
	(12-2)該当個人情報でWebAPI(I0230:画像等情報取得)を呼び出す [5.0]			/				
	(12-3)WebAPI(I0230:画像等情報取得)結果 (OK:YES,NG:NO)			/				
	YES	(12-4)取得した胎児認知届画像情報を胎児認知届情報ファイルに登録する		/				
		(12-5)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する			(12-6)同画面を編集する			
	NO	(12-7)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する						
PF9	→				(13)個人詳細表示に制御を渡す			
PF10	→				(14)不受理申出ファイル更新に制御を渡す			
PF11	(14-1)胎児認知届区分=1(有)である(YES,NO)			/				
	YES	(14-2)胎児認知届イメージを表示する			(14-3)同画面を編集する			
	NO	(14-4)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
PF12	(15)入力項目のチェック済みである(YES,NO)			/				
	YES	(16)中間ファイル(個人詳細表示)が存在している(YES,NO)		/				
		YES	(17)個人状態ファイルを編集･更新する [4.0]	/				
		NO	(18)個人状態ファイルを編集･追加する [4.0]	/				
		(18-1)胎児認知区分が0(無)に変更された(YES,NO)		/			死産届出等により胎児認知区分が0(無)に変更された場合は情報を削除する	
		YES	(18-2)該当の胎児認知届書画像を胎児認知届情報ファイルから削除する	/				

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名			個人状態ファイル更新						
処理名			0.0 本紙					備考	
		NO	(18-3)→(19)へ			/			

要件定義ワークシート				作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名		個人状態ファイル更新							
処理名		0.0 本紙						備考	
		(19)メッセージ 「個人状態ファイルが更新されました。」を表示する			(20)同画面を編集する				
	NO	(21)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							
その他		(22)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	個人状態ファイル更新							
処理名	1.0 個人状態ファイル更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
個人状態ファイル更新画面	カナ氏名		中間ファイル (個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者			筆頭者				
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				個人状態ファイルがない場合全ての項目へ0(ゼロ)をセット
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	(犯歴区分)			(犯歴区分)				犯歴区分は、民刑担当者が操作の場合のみ更新できるようにする等、市町村の判断に委ねられる
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理･処理伺い			受理伺い区分				
	保留			保留区分				
	メモ			メモ				入力無しの時、ブランクをセット

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	個人状態ファイル更新						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表		個人状態ファイル更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	禁治産者区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	準禁治産者区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
03	破産宣告人区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
04	裁判所通知区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
05	犯歴区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
06	胎児認知区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
07	受理･処理伺い	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
08	保留	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	個人状態ファイル更新						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　関連チェック表	個人状態ファイル更新		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)禁治産者区分、(NO.2)準禁治産者区分の一方が必ず0(ゼロ)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	個人状態ファイル更新							
処理名	4.0 個人状態ファイル編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号		中間ファイル (個人詳細表示)	個人番号				
	禁治産者区分		個人状態ファイル 更新画面	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	犯歴区分			犯歴区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理照会区分			受理･処理照会				
	保留区分			保留				
	メモ			メモ1～5				

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	個人状態ファイル更新								
処理名	5.0　胎児認知届書画像等情報取得								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
WebAPI(IO230-R01:画像等情報の照会要求)	副本参照処理通番		WebAPI関連情報(IO030:副本記録情報取得)	副本参照処理通番					
	選択番号(行番号)			選択番号(行番号)					
	戸籍記録順位番号		中間ファイル(個人詳細表示(副本))	詳細選択番号					
	取得対象区分							「10:胎児認知情報」を設定	

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理					

受付ファイル更新処理は、通常の異動処理では出来ない受付ファイルに対する処理を直接行う業務であり、次の10業務の処理を行える。
検索業務の受付ファイル検索と同様の流れにより、受付ファイルを特定して処理を行う。

No.	受付ファイル更新業務	処理概要	処理対象		履歴
			処分区分	決裁区分	
1	便宜訂正	処分及び戸籍の記録内容の変わらない軽微些細な受付ファイルの記録誤りを訂正する処理。	---	決裁	○
2	返戻(受理処分の撤回)	送付先から不受理が相当と判断され、届書が返戻されてきた場合に、受付ファイルの処分を「受理」から「受理処分の撤回」に変更する処理。	受理	決裁	○
3	返戻(本籍不分明)	送付先において該当者が確定できずに本籍不明とされ、届書が返戻されてきた場合に、受付ファイルの本籍欄を「不詳」に変更する処理。	受理	決裁	○
4	発日、発送日入力･修正	照会をする場合における発日、届書 送付をする場合における発送日の入力･修正を行う処理。	---	---	×
5	関連受領番号入力･修正	特定の受付ファイルに対して、関連する受付ファイルの受領番号(関連受領番号)を入力･修正する処理。	---	決裁	×
6	受理後の処理照会	受理処分を行ったが、戸籍の記録方法等が不明確で処理照会を行う場合、処分区分を「受理」から「処理照会」に変更し、発日を入力する処理。	受理	未決裁	○
7	送達確認消し込み	届書等の送達が確認できた場合で、受付ファイルの送達区分を「未到着」から「到着済」に変更する処理。	受理	決裁	×
8	受付ファイル更新	受付帳の記載項目ではなく、システムで使用される項目の更新を行う処理。	---	---	×
9	本籍地変更後の届出 (標準準則第34条)	届書等の受理後に本籍地の変更が明らかになった場合、受付ファイルで修正を必要とする項目を変更する処理。	受理	決裁	○
10	本非区分変更(胎児認知)	胎児認知届後の出生届により、胎児認知届の受付ファイルの本非区分が変更となる場合に、本非区分を変更する処理。	受理	決裁	○

※処理対象は、各受付ファイル更新業務別に、処理を行おうとする受付ファイルの処分区分･決裁区分の状態で異なるが、決裁区分が「欠番」のものはすべてにおいて対象外である。
※履歴管理は、受付ファイル受領番号の枝番を使用して行われる。上記の表では、履歴欄の『○』業務が履歴管理の対象となり、他は上書き処理となる。
※本籍受領分で戸籍の記載がされている場合は、戸籍訂正処理が必要となる場合もある。
※決裁前に関連受領番号を修正すると、同時に決裁がされずに決裁区分が未更新のまま決裁が完了する場合があるため、関連受領番号入力･修正については、決裁後に実施する。
※受付ファイルを更新した場合は、その情報を送信情報(F0050:届書等情報送信(法務省宛))で戸籍情報連携システムに送信する。

次頁以降に、それぞれの業務処理サンプルを受付ファイル(抜粋)で示す。[(2)が主に該当業務の処理結果であり ⁝⁝ 部分が変更個所である。]

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理					

1.便宜訂正

便宜訂正の対象となる項目としては、届出人氏名1～2、届後本籍、届後戸籍の筆頭者、漢字氏名、本籍等がある。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目25番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 甲野英助の本籍が「三丁目52番地」と判明

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

2.返戻(受理処分の撤回)

特定の受付ファイルを選択し、処理を行うことにより履歴が取られ処分区分か変更される。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子の本籍地に婚姻の不受理申出が出されていたのが判明

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受撤回	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

3.返戻(本籍不分明)

特定の受付ファイルを選択し、処理を行うことにより履歴が取られ指定された本籍欄が「不詳」に変更される。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子が該当する本籍に存在せず本籍不分明とされて返戻されてきた場合

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	不詳

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理					

4.発日、発送日入力･修正
　発日、発送日の入力及び修正を行う。
　(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

　(2) 翌日が閉庁日のため発送日を、H7.01.23と入力する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

5.関連受領番号入力･修正
　特定の受付ファイルを選択し、その受付ファイルと関連する受付ファイルの受領番号を関連受領番号として入力及び修正する。
　ここでの入力等の判断は、操作者に委ねられる
　(1) H17.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編成)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号		
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	000000000	000000000	…

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

　(2) 他の受付ファイル(受領番号:199500130)と関連付ける。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号		
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	199500130	000000000	…

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

6.受理後の処理照会
　特定の受付ファイル(受理･未決裁)を選択し、発日を入力する。システムでは、収日のクリア、届書Fの削除を行う。
　(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管内に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	発日	収日	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍X	筆頭者名	受理	未決裁			

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

　(2) 受理は確定しているが、戸籍編製の記録が不明確。(発日を入力する)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	発日	収日	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍X	筆頭者名	処理照会	未決裁	H7.01.21		

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

　(3) 戸籍DB更新でロックを解除、個人状態F更新で受理処理照会区分を設定する。

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理					

7.送達確認消し込み

送達の確認が取れた特定の受付ファイルを選択し、送達確認区分を設定する。この処理の利用は、市町村に委ねられる。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管内に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	送達確認1	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管内本籍X	筆頭者名	受理	決裁	不要	

漢字氏名	本籍	送達確認
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地	未到着
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地	未到着

(2) 乙野梅子の本籍地への送達が確認された場合。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	送達確認1	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管内本籍X	筆頭者名	受理	決裁	不要	

漢字氏名	本籍	送達確認
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地	未到着
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地	到達済

8.受付ファイル更新

受付帳の記載項目ではなく、システムで使用される項目の更新を行う。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	カナ氏名	本籍
甲野　英助	コウノ　エイスケ	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	オトヤ　バイコ	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子のカナ氏名「オトヤ　バイコ」が「オツノ　ウメコ」と判明。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	カナ氏名	本籍
甲野　英助	コウノ　エイスケ	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	オツノ　ウメコ	管外本籍A一丁目16番地

システム処理の概要説明	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理					

9.本籍地変更後の届出(標準準則34条)
入力変更項目としては、本非区分、発送日(転送日を設定)、届後本籍(転籍先市町村名を入力)、関連受領番号、本籍がある。届後筆頭者はクリアする。
(1)H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号			漢字氏名	本籍
1995000100	0	婚姻	H7.1.20	受理	本籍	H7.1.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	000000000	000000000	…	甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

※戸籍記録は行われており、乙野梅子は除籍となっている。

(2)H7.01.22 転籍届送付(H7.1.19に乙野梅子在籍戸籍の転籍届を転籍先市町村で受領、転籍先本籍:管外本籍X)
―戸籍訂正処理(受領番号:199500130)‥‥婚姻届により除籍となっている乙野梅子を回復させる。
―転籍処理　　(受領番号:199500132)‥‥乙野梅子を回復した戸籍の転籍処理を通常の異動処理で行う。
―準則34条によるファイル更新処理‥‥‥婚姻届の受付ファイルを更新する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号			漢字氏名	本籍
1995000100	1	婚姻	H7.1.20	受理	非本	H7.1.22			受理	決裁	199500130	199500132	…	甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍X

〃『戸規第41条により』+転籍先市町村名+『長へ転送』〃の形で自動設定する。
例)
a.届後本籍入力欄に、「東京都千代田区」が入力される。
b.受付ファイルの届後本籍に、「戸規第41条により東京都千代田区長へ転送」を設定し更新する。

10.本非区分変更(胎児認知)
特定の受付ファイルを選択し、本非区分を変更する。この処理の利用は、市区町村に委ねられる。
(1)H31.01.20 胎児認知届出(母となる乙野梅子が本籍地に届出)

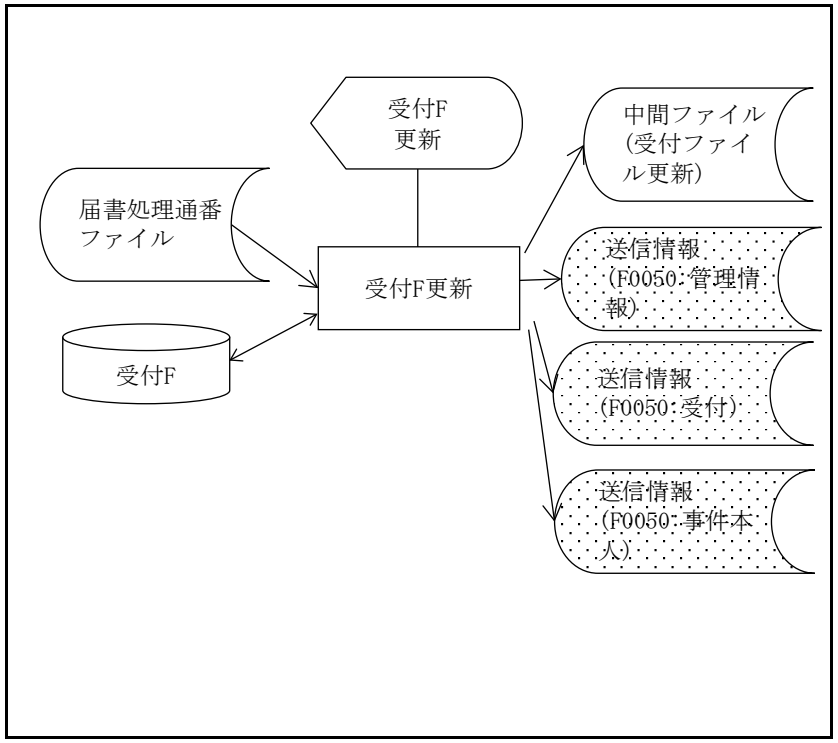
受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁			漢字氏名	本籍	
2019000100	0	認知(胎児)	H31.1.20	受理	本籍		管外本籍A	筆頭者名	受理	決裁		…	乙野　梅子の胎児	管内本籍A	

(2)H31.03.02 出生届送付(H31.3.1に母につき管外へ新戸籍編製する出生届を新戸籍編製先市区町村で受領)
―ファイル更新処理…胎児認知届の受付ファイルを更新する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁			漢字氏名	本籍	
2019000100	1	認知(胎児)	H31.1.20	受理	非本		管外本籍A	筆頭者名	受理	決裁		…	乙野　梅子の胎児	管内本籍A	

システム環境仕様書		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付F	入出力	中間ファイル (受付ファイル更新)	出力
届書処理通番 ファイル	入力		
送信情報 (F0050:管理情報)	出力		
同(受付)	出力		
同(事件本人)	出力		

3.処理概要

(1)入力された受領番号をもとに受付Fを検索し画面へ表示する
(2)入力された項目の単体チェックを行う
(3)入力された項目の関連チェックを行う
(4)入力されたデータから受付Fを編集･出力する
(5)中間ファイル(受付ファイル更新)、送信情報(F0050:受付)、送信情報(F0050:事件本人)、送信情報(F0050:管理情報)を作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(受付F更新入力画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 データ編集表(受付F)
- 5.0 データ編集表(受付F更新確認画面)
- 6.0 データ編集表(送信情報(受付))
- 7.0 データ編集表(送信情報(事件本人))
- 8.0 データ編集表(送信情報(管理情報))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理					
処理名	0.0 本紙				備考	

(1)入力時の受領番号7桁=検索データの受領番号3～9桁目と同じ場合繰返し処理を行う					/		
(2)入力された受領番号をキーとして受付Fを検索する					/		
(3)受付F更新入力画面を編集･表示する [1.0]					/		
(4)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、その他)					/		
実行キー	(5)入力項目の単体チェック(OK,NG) [2.0]				/		
	OK	(6)入力項目の関連チェック(OK,NG) [3.0]			/		
		OK	(7)受付Fを編集する [4.0]		/		
			(8)受付F更新確認画面を編集･表示する [5.0]		/		
			(9)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF9、その他)		/		
			PF1	→		(10)業務選択に制御を渡す	
			PF2	→		(11)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す	
			PF5	(12) 受付F更新入力画面を表示する	/		
				(13)→(4)へ	/		
			PF7	(14)前ページがある(YES,NO)	/		
				YES (15)前ページ受付F更新確認画面表示		(16)同画面を編集する	
				NO (17)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する			
			PF8	(18)次ページかある(YES,NO)	/		
				YES (19)次ページ受付F更新確認画面表示		(20)同画面を編集する	
				NO (21)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する			
			PF9	(22)処理No.=4 又は 5 又は 7 又は 8(YES,NO)	/		
				YES (23)受付Fを更新する(REPLACE処理)	/		(24)削除(R3版)
				NO (25)受付F･受領番号の枝番に1を加える	/		
				(26)受付Fを追加する(ADD処理)	/		(27)削除(R3版)
				(27-1)送信情報(受付)を作成する [6.0]	/		
				(27-2)送信情報(事件本人)を作成する [7.0]	/		
				(27-3)送信情報(管理情報)を作成する [8.0]	/		
				(27-4)中間ファイル(受付ファイル更新)を作成する		(27-5)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す	
			その他	(28)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する		(29)同画面を編集する	
		NG	(30)エラーメッセージを表示する			(31)同画面を編集する	

要件定義ワークシート			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	0.0 本紙						備考	
	NG					る		
PF1	→					(32)業務選択に制御を渡す		
PF2 PF5	→					(33)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す		
PP7	(34)前ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(35)前ページ受付F更新入力画面表示				(36)同画面を編集する		
	NO	(37)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(38)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(39)次ページ受付F更新入力画面表示				(40)同画面を編集する		
	NO	(41)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
その他	(42)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	1.0 入力画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付F更新入力画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新入力画面 受付F(受付)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	受領番号		受付F(受付)	受領番号				3～9桁目を移送
	受付事件名			受付事件コード		有		
	出張所No.			出張所番号				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	発送日			発送日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	受送区分			受理送付区分				
	受送名					有		
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	本非区分			本非区分				
	本非名					有		
	指示日			指示日				
	収日			収日				
	渉外区分			渉外区分				
	渉外名					有		
	許可日			許可日				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	届書送付目録名					有		
	送達1			送達確認1				
	送達1名					有		
	処分区分			処分区分				
	処分名			処分区分		有		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	1.0 入力画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分			決裁区分				
	決裁名					有		処理名称を編集
	関連受領No.1～5			関連受領番号1～5				3～9桁目を移送
	届出人資格1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍名					有		
	届抜本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	事件発生日時			事件発生日時				
受付F更新入力画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新入力画面 受付F(事件本人)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	事件本人No.1～n							1～n件のシーケンス番号設定
	事件本人区分1～n		受付F(事件本人)	事件本人区分				
	事件本人名1～n					有		
	届出人区分1～n			届出人区分				
	届出人名1～n					有		
	カナ氏名1～n			カナ氏名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				
	本籍(上段)1～n			本籍				1～25文字を設定

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年 3月 1日	版	10
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	1.0 入力画面編集							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	本籍(下段)1～n							26～50文字を設定
	筆順者1～n			筆頭者				
	送達2 1～n			送達確認2				
	送達2名1～n					有		

補足説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3

作業名	受付ファイル更新処理
処理名	1.0　入力画面編集

選択処理番号により、以下の項目が入力可能となる。(入力可能項目名は高輝度表示とする。)

選択処理番号　1　(便宜訂正)
　　届出人氏名1～2、届後本籍コード、届後本籍、届後戸籍の筆頭者、漢字氏名、本籍コード、本籍　等

選択処理番号　2　(返戻(受理処分の撤回))

選択処理番号　3　(返戻(本籍不分明))
　　本籍

選択処理番号　4　(発日、発送日修正)
　　発日、発送日

選択処理番号　5　(関連受領番号入力･修正)
　　関連受領番号1～5

選択処理番号　6　(受理後の処理照会)
　　発日

選択処理番号　7　(送達確認消し込み)
　　送達1、送達2

選択処理番号　8　(受付ファイル更新)
　　出張所番号、届書送付目録区分、カナ氏名

選択処理番号　9　(本籍地変更後の届出)
　　本非区分、発送日(転送日)、届出後本籍、関連受領番号1～5

選択処理番号　10 (本非区分変更(胎児認知届))
　　本非区分

データチェック(単体表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	受付ファイル更新処理						
処理名		画面名		画面ID			
2.0 単体チェック表		受付ファイル更新画面					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受付日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	事件発生日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	事件発生時分		数字				
6	受理送付区分	○	数字	(1:受理、2:送付)であること			
7	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	発日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
10	指示日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	収日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	渉外区分	○	数字	(0:日本人、1:渉外、2:外国人)であること			
13	許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	送達確認1		数字	(△:不要、0:到着済、2:未到着)であること			
15	処分区分		数字	(1:受理、2:不受理、3:受理伺い、4:処理伺い、5:返戻、6:取下げ、7:保留、8:受理処分後の撤回、9:誤処理)であること			
16	決裁区分		数字	(0:未決裁、1:決裁、3:修正、4:欠番)であること			
17	関連受領番号		数字				
18	届出人資格区分1		数字	コード表参照			
19	届出人資格名称1		漢字				
20	届出人氏名1		漢字				
21	届出人資格区分2		数字	コード表参照			
22	届出人資格名称2		漢字				
23	届出人氏名2		漢字				
24	届後本籍区分		数字	(1:入籍、2:新戸籍編製)であること			
25	届後本籍コード		数字				
26	届後本籍		漢字				

データチェック(単体表)					作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成16年11月 1日	版	8.3
作業名	受付ファイル更新処理									
27	届後戸籍の筆頭者		漢字							
28	事件発生日時		漢字							
29	事件本人区分		数字	コード表参照						
30	届出人区分		数字	(0:△、1:届出人)であること						
31	カナ氏名		カナ							
32	漢字氏名		漢字							
33	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」						
34	本籍コード		数字							
35	本籍		漢字							
36	筆頭者		漢字							
37	送達確認2		数字							

データチェック(関連表)		作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	受付ファイル更新処理						
処理名		画面名	画面ID				
3.0　関連チェック表		受付ファイル更新 (受付、事件本人)画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(NO. 3)事件発生日≠スペースの時、(NO. 2)受付日≧(NO. 3)事件発生日であること	「関連エラーかあります。正しく入力して下さい。」		
2	(NO. 4)発送日≠スペースの時、(NO. 2)受付日≦(NO. 4)発送日であること			
3	(NO. 8)発日≠スペースの時、(NO. 2)受付日≦(NO. 8)発日であること			
4	(NO.11)収日≠スペースの時、(NO. 8)発日≠スペースかつ(NO. 8)発日≦(NO.11)収日であること			
5	(NO.28)事件発生日時≠スペースの時、受付F.受付事件コード=16(死亡)であること			

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年3月1日	版	10
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	4.0 受付F編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付F(受付)	出張所番号		受付F更新確認画面	出張所No.				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	事件発生日時			事件発生日時				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号1～5			関連受領番号1～5				
	届出人資格区分1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1			送達確認1				
	届書送付目録区分			届書送付目録				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年3月1日	版	10
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	4.0 受付F編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				
受付F(事件本人)	事件本人区分1～n			事件本人区分				
	届出人区分1～n			届出人区分				
	カナ氏名1～n			カナ氏名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				
	本籍1～n			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2 1～n			送達確認2				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年3月1日	版	10
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	5.0 確認画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付F更新確認画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新確認画面 受付F(受付)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	受領番号		受付F(受付)	受領番号				3～9桁目を移送
	受付事件名			受付事件コード		有		
	出張所No.			出張所番号				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	発送日			発送日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	受送区分			受理送付区分				
	受送名					有		
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	本非区分			本非区分				
	本非名					有		
	指示日			指示日				
	収日			収日				
	渉外区分			渉外区分				
	渉外名					有		
	許可日			許可日				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	届書送付目録名					有		
	送達1			送達確認1				
	送達1名					有		
	処分区分			処分区分				
	処分名					有		

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年3月1日	版	10
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	5.0 確認画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	決裁区分			決裁区分				
	決裁名					有		
	関連受領No.1～5			関連受領番号1～5				
	届出人資格1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍名					有		
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	事件発生日時			事件発生日時				
受付F更新確認画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新確認画面 受付F(事件本人)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	事件本人No.1～n							1～n件のシーケンス番号設定
	事件本人区分1～n		受付F(事件本人)	事件本人区分				
	事件本人名1～n					有		
	届出人区分1～n			届出人区分				
	届出人名1～n					有		
	カナ氏名1～n			カナ氏名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				

データ編集表			作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	平成18年3月1日	版	10
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	5.0 確認画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	本籍(上段)1～n			本籍				1～25文字を設定
	本籍(下段)1～n							26～50文字を設定
	筆頭者1～n			筆頭者				
	送達2 1～n			送達確認2				
	送達2名1～n					有		

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理							
処理名	6.0　送信情報(受付)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報(F0050-R02:受付)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				履歴も含め全て送信する
	受領番号		受付DB (受付ファイル)	(同項目)				
	出張所名称			出張所番号		有		
	受付事件コード			(同項目)				
	受付日			(同項目)				
	事件発生日			(同項目)				
	事件発生時分			(同項目)				
	事件発生日時			(同項目)				
	受理送付区分			(同項目)				
	本非区分			(同項目)				
	渉外区分			(同項目)				
	発送日			(同項目)				
	郵送日			(同項目)				
	発日			(同項目)				
	収日			(同項目)				
	指示日			(同項目)				
	許可日			(同項目)				
	関連受領番号1			(同項目)				
	関連受領番号2			(同項目)				
	関連受領番号3			(同項目)				
	関連受領番号4			(同項目)				
	関連受領番号5			(同項目)				
	届出人資格区分1			(同項目)				
	届出人資格名称1			(同項目)				
	届出人氏名1			(同項目)				
	届出人資格区分2			(同項目)				

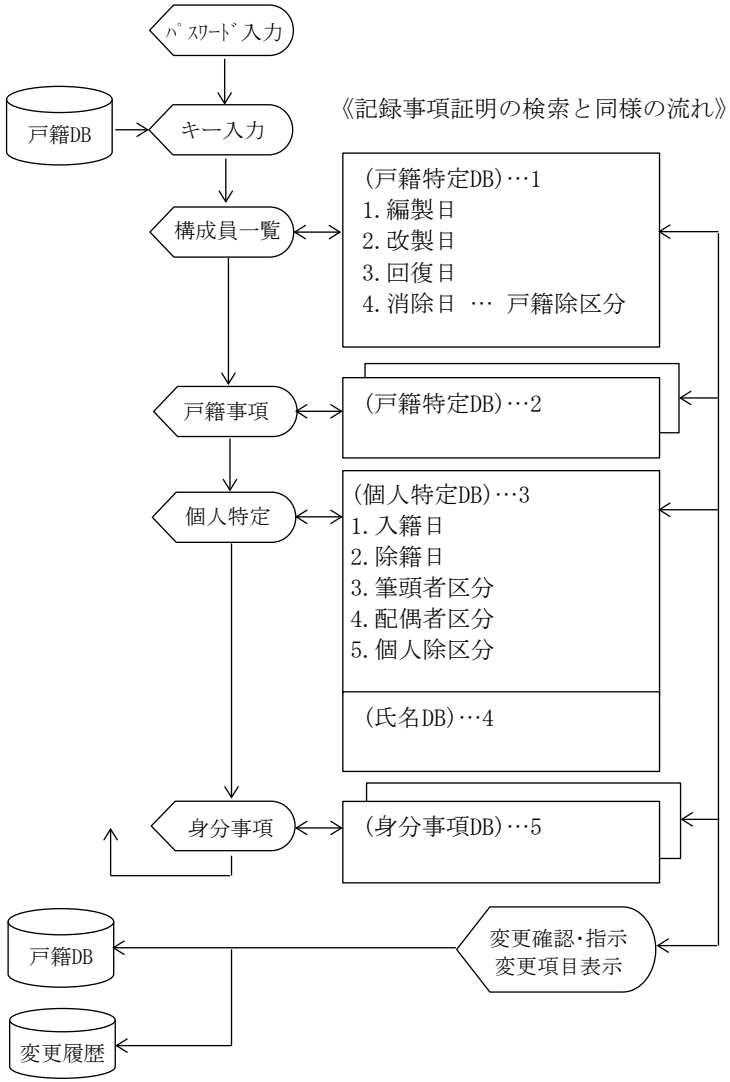
データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理								
処理名	6.0　送信情報(受付)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
	届出人資格名称2			(同項目)					
	届出人氏名2			(同項目)					
	届後本籍区分			(同項目)					
	届後本籍コード			(同項目)					
	届後本籍			(同項目)					
	届後戸籍の筆頭者			(同項目)					
	送達確認1			(同項目)					
	証書提出区分			(同項目)					
	届書送付目録区分			(同項目)					
	処分区分			(同項目)					
	決裁区分			(同項目)					
	届後戸籍番号							他情報から設定	
	更新日							システム日付を設定	
	更新時間							システム時刻を設定	

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	受付ファイル更新処理								
処理名	7.0　送信情報(受付情報)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報(F0050-R03:事件本人)	市区町村コード							自市区町村コードを設定	
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				履歴も含め全て送信する	
	受領番号		事件本人ファイル	(同項目)				※「受領番号」～「更新時間」まで事件本人分設定する	
	行番号			(同項目)					
	事件本人区分			(同項目)					
	届出人区分			(同項目)					
	個人番号			個人番号				他情報から設定	
	カナ氏名		事件本人ファイル	(同項目)					
	漢字氏名			(同項目)					
	生年月日			(同項目)					
	本籍コード			(同項目)					
	本籍			(同項目)					
	筆頭者			(同項目)					
	送達確認2			(同項目)					
	更新日							システム日付を設定	
	更新時間							システム時刻を設定	

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	受付ファイル更新処理								
処理名	8.0　送信情報(管理情報)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR02:届書等情報更新(法務省宛)]	届書種別コード							受理地での更新は[TR02]を設定	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ					
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分					
	届書画像情報ファイル名								
	届書PDF更新年月日								
	届書PDF更新時分秒								
	添付書面画像情報ファイル名								
	添付書面PDF更新年月日								
	添付書面PDF更新時分秒								
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR03:届書等情報送付地決裁]	届書種別コード							送付地での更新は[TR03]を設定	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				届書処理通番ファイルに設定される	

システム処理の概要説明書	作成日付	平成6年12月 1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	戸籍DB更新処理					

戸籍DBの特定項目のみを、資格(パスワード制御)をもった者が変更できる処理を「戸籍DB更新処理」と呼ぶ。
　　戸籍原簿としてのデータ項目以外で、システムが使用する特定項目のみが対象。



【処理条件概要】

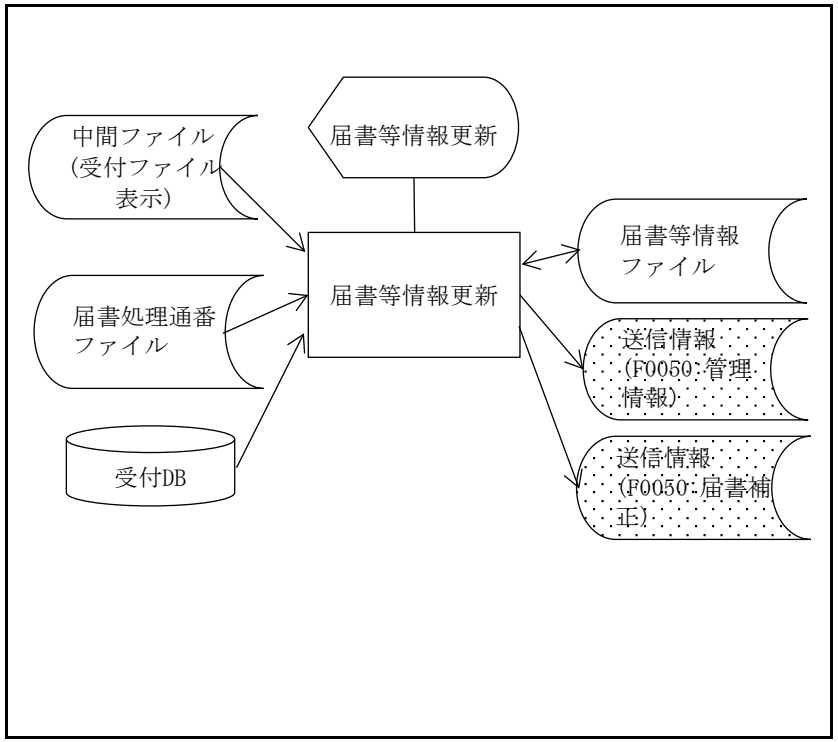
1. 処理操作者の限定を、パスワード等により行う。
2. 変更可能な項目を、左記の枠組みの中の項目のみとする。
3. 戸籍事項･身分事項等との係わりは、操作者の責任で確認する。
4. 配偶者区分の更新は、「生存配偶者」から「未」へのみ可とする。
5. カナ氏名については、変更前のカナ氏名を「旧氏名」とする。(氏名DB履歴)
   他の項目については、上書き方式とする。
6. 戸籍DBの検索から更新までの間の排他制御は、行うようにする。
7. すべての変更に対して、変更履歴ファイルを作成する。
   作成後のファイル利用は、各自治体に委ねる。
8. 戸籍異動区分については、特に配慮を要する。

【戸籍DB変更履歴F】 レコード長:200バイト　順次編成

NO	項目名	項目のバイト数	備考
1	変更日	9(8)	yyyymmdd(西暦)
2	変更時間	9(9)	ttmmssnnn
3	変更者	N(15)	パスワード
4	変更場所	N(7)	出張所(3)+端末(4)
5	戸籍番号	9(10)	
6	個人番号	9(10)	戸籍特定、戸籍事項DBの変更時は不使用。
7	行番号	9(2)	戸籍事項、身分事項、氏名DBの変更時のみ使用。
8	記載コード	9(4)	戸籍事項、身分事項DBの変更時のみ使用。
9	変更対象区分	9(2)	11:戸籍特定DB･編製日～51:身分事項DB･事件発生日
10	区分別内容	X(120)	変更前と後を持つ。変更対象区分が「11」であれば変更前編製日:9(7)と変更後編製日:9(7)を持つ。
11	予備	X(13)	

システム処理の概要説明書		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報更新						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(受付ファイル表示)	入力	送信情報(F0050:管理情報)	出力
届書処理通番ファイル	入力	同(届書補正)	出力
受付DB	入力		
届書等情報ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の届書処理通番に該当する情報を
　届書等情報ファイルから検索し、届書等情報更新画面を表示する
(2)指定により該当の画像イメージを表示する
　※表示により登録の有無を判定する
(3)補正情報の入力及び更新により、届書補正画像情報を作成する
　※補正情報更新後に補正イメージの表示が可

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(届書等情報更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(送信情報(届書補正))
- 5.0 データ編集表(送信情報(管理情報))
- 6.0 補足説明書 届書補正情報(イメージ)の作成

5.備考(特記事項含む)

・届書処理通番単位で作成するため、届書処理通番に該当する受付帳全てが対象となる。

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3

作業名	届書等情報更新
処理名	0.0　本紙

					備考
(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の受領番号に該当する受付帳　又は　前受付帳　又は後受付帳で受付DBを検索する		/			
(2)中間ファイル(受付ファイル表示)の受領番号に該当する受付帳　又は　前受付帳　又は後受付帳で届書等情報ファイルを検索する		/			
(3)届書等情報更新画面を編集･表示する [1.0]		/			
(4)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF12、その他)		/			
PF1	→		(5)業務選択に制御を渡す		
PF2	→		(6)ファイル更新処理選択に制御を渡す		
PF5	→		(7)ファイル更新処理選択に制御を渡す		
PF6	(8)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/			
	YES (9)イメージ選択番号、履歴番号(ある場合)の画像を表示する		(10)同画面を編集する		
	NO (11)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する				
PF7	(12)届書処理通番ファイルを検索し、一件前の受付帳があるか?(ある:YES,なし:NO)	/			
	YES (13)→(1)へ	/			
	NO (14)エラーメッセージ　「情報はありません。」を表示する		(15)同画面を編集する		
PF8	(16)届書処理通番ファイルを検索し、一件後の受付帳があるか?(ある:YES,なし:NO)	/			
	YES (17)→(1)へ	/			
	NO (18)エラーメッセージ　「情報はありません。」を表示する				
PF12	(19)届書等の画像情報　又は　届書補正内容が更新された(YES,NO)	/			
	YES (20)届書補正内容が更新された(YES,NO)	/			届書補正内容は受付帳単位で登録する 補正画像は複数の画像を1ファイルにまとめて登録するか、受付帳単位で登録する ※戸籍情報連携システムへは、届書補正内容も画像情報も1つにまとめて送信する
	YES (21)届書補正内容を届書等情報ファイルに登録する	/			
	(22)届書補正内容で届書補正画像を作成し、届書等情報ファイルに登録する	/			
	NO (23)→(24)へ	/			
	(24)送信情報(届書補正)、送信情報(管理情報)を作成する [4.0][5.0]	/			
	(25)メッセージ　「情報が登録されました。」を表示する		(26)同画面を編集する		
	NO (27)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する				
その他	(28)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する				

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報更新								
処理名	1.0　届書等情報更新画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
届書等情報更新画面	受領番号		中間ファイル (受付ファイル更新) 又は受付DB	受領番号				3～9桁目を表示	
	受理送付の別			受理送付区分		有			
	受付日			受付日		有			
	処分内容			処分区分		有			
	決裁内容			決裁区分		有			
	事件名			受付事件コード		有			
	事件日			事件発生日		有			
	事件発生時分			事件発生時分					
	出張所番号			出張所番号					
	発送日			発送日		有			
	郵送日			郵送日		有			
	本籍非本籍の別			本非区分		有			
	発日			発日		有			
	収日			収日		有			
	許可日			許可日		有			
	渉外内容			渉外区分		有		0:日本人のときブランク	
	指示日			指示日		有			
	関連受領番号1			関連受領番号1					
	関連受領番号2			関連受領番号2					
	関連受領番号3			関連受領番号3					
	関連受領番号4			関連受領番号4					
	関連受領番号5			関連受領番号5					
	届書イメージ更新日		届書等情報ファイル	届書PDF更新年月日		有		登録番号の最新のデータ(最終履歴番号)のデータを表示する 各情報を別ファイルに分けることも可	
	届書イメージ更新時間			届書PDF更新時分秒					
	届書イメージ最終履歴番号			届書画像情報履歴番号					
	届書添付書面イメージ更新日			届書添付書面PDF更新年月日		有			

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報更新							
処理名	1.0　届書等情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	届書添付書面イメージ時間			届書添付書面PDF更新時分秒				
	届書補正イメージ更新日			届書補正PDF更新年月日		有		
	届書補正イメージ更新時間			届書補正PDF更新時分秒				
	イメージ種別番号							
	表示履歴番号							
	届書補正内容		届書等情報ファイル	届書補正情報				

システム環境仕様書				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報更新								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				届書等情報更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	イメージ種別番号		数字	1～3であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	表示履歴番号		数字				
03	届書補正内容		漢字				

システム環境仕様書		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報更新						

処理名	画面名	画面ID	
3.0　関連チェック表	届書等情報更新		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)イメージ種別番号=1(届書)の時、 1≦(NO.2)表示履歴番号≦届書イメージ最終履歴番号であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)イメージ種別番号=2(添付書面)　又は　3(届書補正)の時、 (NO.2)表示履歴番号＝スペースであること			

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	届書等情報更新							
処理名	4.0　送信情報(届書補正)作成処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報(F0050-R05:届書補正)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	届書補正情報		届書等情報ファイル	届書補正内容				複数の届書に補正がある場合は、 各々で補正情報を作成し、作成した情報を1つに連結する。 例)離婚同時77条の2の場合 　離婚の補正情報に77条の2の補正情報を追加して作成

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報更新								
処理名	5.0　送信情報(管理情報)作成処理　※各レコードを分けて表示								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR01:届書等情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							初回[TR01]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される
	届書画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書PDFファイル名				複数の届書がある場合は、受領番号順に届書画像情報をページ追加して画像情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚の画像情報に77条の2の画像情報を追加して作成 ※添付書面も同様 ※届書画像の更新により情報連携システムで履歴管理される
	届書PDF更新年月日			届書PDF更新年月日				
	届書PDF更新時分秒			届書PDF更新時分秒				
	添付書面画像情報ファイル名			届書添付書面PDFファイル名				
	添付書面PDF更新年月日			届書添付書面PDF更新年月日				
	添付書面PDF更新時分秒			届書添付書面PDF更新時分秒				
	申入書画像情報ファイル名		申入書情報ファイル	申入書PDFファイル名				申入書情報は届書に該当する情報があれば登録する。
	申入書PDF更新年月日			申入書PDF更新年月日				
	申入書PDF更新時分秒			申入書PDF更新時分秒				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR02:届書等情報更新(法務省宛)]	届書種別コード							更新[TR02]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
	届書画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書PDFファイル名				複数の届書がある場合は、受領番号順に届書画像情報をページ追加して画像情報を作成する。 例)離婚同時77条の2の場合 離婚の画像情報に77条の2の画像情報を追加して作成 ※添付書面も同様 ※届書画像の更新により情報連携システムで履歴管理される
	届書PDF更新年月日			届書PDF更新年月日				
	届書PDF更新時分秒			届書PDF更新時分秒				
	添付書面画像情報ファイル名			届書添付書面PDFファイル名				
	添付書面PDF更新年月日			届書添付書面PDF更新年月日				
	添付書面PDF更新時分秒			届書添付書面PDF更新時分秒				

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	届書等情報更新							
処理名	5.0　送信情報(管理情報)作成処理　※各レコードを分けて表示							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR04:補正情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							初回、更新とも[TR04]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				届書処理通番ファイルに設定される
	届書補正画像情報ファイル名		届書等情報ファイル	届書補正PDFファイル名				届書画像情報と同様、離婚の補正画像情報に77条の2の補正画像情報を追加して作成
	届書補正PDF更新年月日			届書補正PDF更新年月日				
	届書補正PDF更新時分秒			届書補正PDF更新時分秒				

補足説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3

作業名	届書等情報更新
処理名	6.0　届書補正情報(イメージ)の作成

届書等情報更新画面で入力されたテキスト情報とテキスト情報を以下の様式でイメージ化した情報で、送信情報(F0050:(管理情報))を作成する。
イメージ化した情報は届書等情報ファイルに登録する。

1.届書補正情報(イメージ)

届書補正情報　　Z9/Z9 頁

受理市区町村　K－－－－－－K (20) －－－－－－K
受理番号　999999999
事件名　K－－－－－K (15) －－－－－K
補正内容　K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K
K－－－－－－－－K (30) －－－－－－－K

2.項目一覧

項目名	出力元	出力元項目名
受理市区町村		管内の都道府県コード+市区町村コードをコード変換して設定
受理番号	届書等情報更新画面	受領番号
事件名		事件名
補正内容		届書補正内容

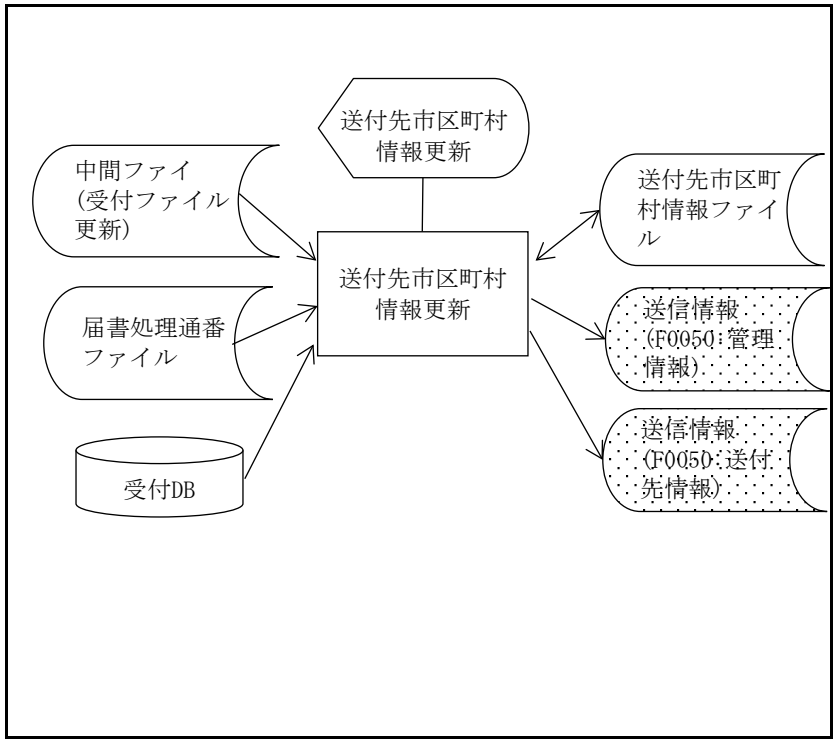
3.その他

・様式はA4版縦とする。
・補正事項が多い場合は複数頁になることも考えられるため頁印字を行う。
・複数の届書で補正がある場合は、1つの補正で画像を作成し、次の補正の画僧をページ追加する。
・出力形式は任意とするが、戸籍情報連携システムにはPDF形式で送信する。

【注】本帳票仕様は戸籍情報連携システム稼働までの間に変更される場合がある

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送付先市区町村情報更新					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(受付ファイル表示)	入力	送信情報(F0050:管理情報)	出力
届書処理通番ファイル	入力	同(送付先情報)	出力
受付DB	入力		
送付先市区町村情報ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル更新)の届書処理通番に該当する情報を
送付先市区町村情報ファイルから検索し、送付先市区町村情報更新画面を表示する
(2)送付先市区町村情報ファイルを登録･更新する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(届書補正情報更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(送付先市区町村情報ファイル)
- 5.0 データ編集表(送信情報(送付先情報))
- 6.0 データ編集表(送信情報(管理情報))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	送付先市区町村情報更新

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(受付ファイル更新)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で送付先市区町村情報ファイルを検索する		/		登録済みの送付先市区町村情報を表示する
(2)中間ファイル(受付ファイル更新)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で受付DBを検索する		/		前後受付帳の情報は受付帳部分の画面だけの表示に切り替える ※送付先市区町村情報は届書処理通番単位で保持
(3)PF7(前受付帳) 又は PF8(後受付帳)による表示である(YES,NO)		/		
YES	(4)送付先市区町村情報更新画面の受領番号～関連受領番号5に取得したデータを編集し表示する [1.0]	/		
NO	(5)送付先市区町村情報更新画面の全ての項目に取得したデータを編集し表示する [1.0]	/		
(6)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF12、その他)		/		
実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
YES	(8)→(11)へ	/		
NO	(9)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを表示する		(10)同画面を編集する	
(11)処理区分≠0(無)のデータ分処理を繰り返す		/		
	(11-1)処理区分=3(削除)である(YES,NO)	/		削除の場合は無条件で削除する ※(12)～(25)の審査でエラーとなる情報は作成されないが、処分決定等他の処理でエラーとなる情報が作成された場合の対処
	YES (11-2)→(11)へ	/		
	NO (11-3)→(12)へ	/		
	(12)送付先市区町村コードnが同じデータが以前のデータ(備考欄参照)にある (ある:YES,ない:NO)	/		以前のデータには処理区分＝0(無)を含み、3(削除)は含まない
	YES (12-1)同じ送付先市区町村コードnの事件対象区分nが異なる (異なる:YES,同じ:NO)	/		同一市区町村は、事件対象区分が異なるデータしか作成できない
	YES (12-1)→(19)へ	/		
	NO (13)メッセージ 「事件対象区分が異なる場合だけ、同一の市区町村が入力できます。」を表示する		(14)同画面を編集する	
				(16)(17)を削除R4版
	NO (18)→(19)へ	/		
	(19)送付先区分n＝2(参考送付先) かつ (受付事件コード＝0202(胎児認知) 又は 4403(その他(胎児死産)))以外 である (YES,NO)	/		
	YES (20)確認メッセージ(YES,NO) 「送付先区分が「参考送付先」のデータがあります。間違いありませんね。」		(21)同画面を編集する	
	YES (22)→(11)へ	/		

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	送付先市区町村情報更新

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(受付ファイル更新)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で送付先市区町村情報ファイルを検索する	/			登録済みの送付先市区町村情報を表示する
(2)中間ファイル(受付ファイル更新)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で受付DBを検索する	/			前後受付帳の情報は受付帳部分の画面だけの表示に切り替える ※送付先市区町村情報は届書処理通番単位で保持
(3)PF7(前受付帳) 又は PF8(後受付帳)による表示である(YES,NO)	/			
YES (4)送付先市区町村情報更新画面の受領番号～関連受領番号5に取得したデータを編集し表示する [1.0]	/			
NO (5)送付先市区町村情報更新画面の全ての項目に取得したデータを編集し表示する [1.0]	/			
(6)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF12、その他)	/			
NO (23)→		(24)同画面を編集する		
NO (25)→(11)へ	/			
→(26)へ	/			
(26)処理区分n＝4(遺漏追加)のデータ かつ 送信区分n＝1(未送信)のデータだけである(YES,NO)	/			
YES (27)確認メッセージ(YES,NO) 「遺漏追加以外の情報がありません。間違いありませんね。」を表示する		(28)同画面を編集する		
YES (29)→				
NO (30)→				
NO				
PF1 →		(31)業務選択に制御を渡す		
PF2 →		(32)ファイル更新処理選択に制御を渡す		
PF5 →		(33)受付ファイル更新処理に制御を渡す		
PF7 (34)同じ届書処理通番で一件前の受付帳があるか?(ある:YES,なし:NO)	/			
YES (35)→(2)へ		(36)同画面を編集する		
NO (37)エラーメッセージ 「情報はありません。」を表示する				
PF8 (38)同じ届書処理通番で一件後の受付帳があるか?(ある:YES,なし:NO)	/			
YES (39)→(2)へ		(40)同画面を編集する		
NO (41)エラーメッセージ 「情報はありません。」を表示する				
PF12 (41-1)画面入力がない(YES,NO)	/			
YES (41-2)→(49)へ	/			データ入力が全くない場合は(49)に遷移する

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(受付ファイル更新)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で送付先市区町村情報ファイルを検索する					/		登録済みの送付先市区町村情報を表示する	
(2)中間ファイル(受付ファイル更新)の受領番号に該当する受付帳 又は 前受付帳 又は 後受付帳で受付DBを検索する					/		前後受付帳の情報は受付帳部分の画面だけの表示に切り替える ※送付先市区町村情報は届書処理通番単位で保持	
(3)PF7(前受付帳) 又は PF8(後受付帳)による表示である(YES,NO)					/			
YES	(4)送付先市区町村情報更新画面の受領番号～関連受領番号5に取得したデータを編集し表示する [1.0]				/			
NO	(5)送付先市区町村情報更新画面の全ての項目に取得したデータを編集し表示する [1.0]				/			
(6)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF12、その他)					/			
	NO	(41-3)→(42)へ			/			
	(42)入力項目のチェック済みである(YES,NO)				/			
	YES	(43)データの最初から最後まで以下の処理を繰り返す			/			
		(44)処理区分nは何か(0、1、2、3、4)			/			
		0	(45)→		/			
		1、4	(46)送付先市区町村情報ファイルにデータを追加する [4.0]		/			
		2	(47)送付先市区町村情報ファイルのデータを更新する [4.0]		/			
		3	(48)送付先市区町村情報ファイルのデータを削除する		/			
		→(49)へ			/			
		(49)送信情報(送付先情報)、送信情報(管理情報)を作成する [5.0][6.0]			/			
		(50)メッセージ 「情報が登録されました。」を表示する				(51)同画面を編集する		
	NO	(52)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
その他	(53)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名	1.0　送付先市区町村情報更新画面編集								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送付先市区町村情報更新画面	ページ								
	受領番号		中間ファイル (受付ファイル更新) 又は受付DB	受領番号				3～9桁目を表示	
	受理送付の別			受理送付区分		有			
	受付日			受付日		有			
	処分内容			処分区分		有			
	決裁内容			決裁区分		有			
	事件名			受付事件コード		有			
	事件日			事件発生日		有			
	事件発生時分			事件発生時分					
	出張所番号			出張所番号					
	郵送日			郵送日		有			
	本籍非本籍の別			本非区分		有			
	発日			発日		有			
	収日			収日		有			
	許可日			許可日		有			
	渉外内容			渉外区分		有		0:日本人のときブランク	
	指示日			指示日		有			
	関連受領番号1			関連受領番号1					
	関連受領番号2			関連受領番号2					
	関連受領番号3			関連受領番号3					
	関連受領番号4			関連受領番号4					
	関連受領番号5			関連受領番号5					
	発送日			発送日　又は 発信(発送)日		有		送付先市区町村情報ファイルに発信(発送)日がある場合は、その情報で上書きする	
	送付先市区町村情報管理番号n		送付先市区町村情報ファイル	市区町村内送付先情報連番				同一の届書処理通番で保持しているデータを1件ずつ表示する	

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新							
処理名	1.0　送付先市区町村情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	送付先市区町村コードn			送付先市区町村コード		有		
	送付先市区町村名称n							
	事件対象区分n			事件対象区分		有		1:対象 2:対象外を表示
	事件対象区分名称n							
	送付先区分n			送付先区分		有		1:送付先 2:参考送付を表示
	送付先区分名称n							
	送信区分n			送信区分		有		1:未送信　2:送信済 3:送付紙　4:到着紙を表示
	送信区分名称n							
	処理区分n			処理区分		有		0:無、1:追加、2:更新、3:削除、4:遺漏を表示
	処理区分名称n							

データチェック（単体表）				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				送付先市区町村情報更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	送付先市区町村コードn		数字	存在するコードであること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		ALL9は入力不可 合併等で未設定の場合は設定後に本処理を実施
02	事件対象区分n		数字	1:事件対象、2:事件対象以外であること			
03	送付先区分n		数字	1:送付先、2:参考送付先であること			
04	処理区分n		数字	0:無、1:追加、2:更新、3:削除、4:遺漏追加であること			
05	送信区分(n)		数字	1:未送信、2:送信済、3:送達中(紙送付)、4:到着済(紙送付)であること			
06	発送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック（関連表）		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新						

処理名	画面名	画面ID	
3.0 関連チェック表	送付先市区町村情報更新		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(№1)送付先市区町村コードn≠スペースの場合、 (№2)事件対象区分n≠スペース　かつ　(№3)送付先区分n≠スペース　かつ (№4)処理区分n≠スペース　かつ　(№5)送信区分n≠スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(№1)送付先市区町村コードn＝スペースの場合、 (№2)事件対象区分n＝スペース　かつ　(№3)送付先区分n＝スペース　かつ (№4)処理区分n＝スペース　かつ　(№5)送信区分n＝スペース　かつ (№6)発送日＝スペース　であること			
03	(№4)処理区分n=1(追加)　又は　4(遺漏追加)の場合、 送付先市区町村情報管理番号n＝スペース　かつ　(№1)送付先市区町村コードn≠スペース　かつ (№5)送信区分n＝1(未送信)　又は　3(送達中)　であること			追加の場合、紙送付は3(送達中)とする
04	(№4)処理区分n=2(更新)　又は　3(削除)の場合、 送付先市区町村情報管理番号n≠スペース　かつ　(№1)送付先市区町村コードn≠スペース　かつ (№5)送信区分n＝1(未送信)　又は　3(送達中)　であること			
05	(№5)送信区分n=3(送達中(紙送付))の場合、(№6)発送日≠スペース　であること			発送日を届書送付後入力する運用を採用する場合は、本チェックは不要

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名	4.0　送付先市区町村情報ファイル								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送付先市区町村情報ファイル	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				更新の場合は全ての情報を送信する	
	送付地市区町村コード		送付先市区町村情報更新画面	送付先市区町村コード					
	市区町村内送付先情報連番							処理区分=1:追加、4:遺漏追加の場合、システムで付番する	
	事件対象区分			事件対象区分					
	送付先区分			送付先区分					
	遺漏追加区分							処理区分=4:遺漏追加の場合、1:遺漏追加分を設定 F0050-C02[TR06]にて送信する	
	送信区分			送信区分					
	発信(発送)日			発送日					

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新							
処理名	5.0　送信情報(送付先情報)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報(F0050-R04:送付先情報)	市区町村コード							自市区町村コードを設定
	届書処理通番		送付先市区町村情報ファイル	届書処理通番				同一の届書処理通番で複数の送付先情報がある場合は、F0050-R04を送付先情報分作成する。
	送付地市区町村コード			送付地市区町村コード				
	市区町村内送付先情報連番			市区町村内送付先情報連番				
	事件対象区分			事件対象区分				
	送付先区分			送付先区分				

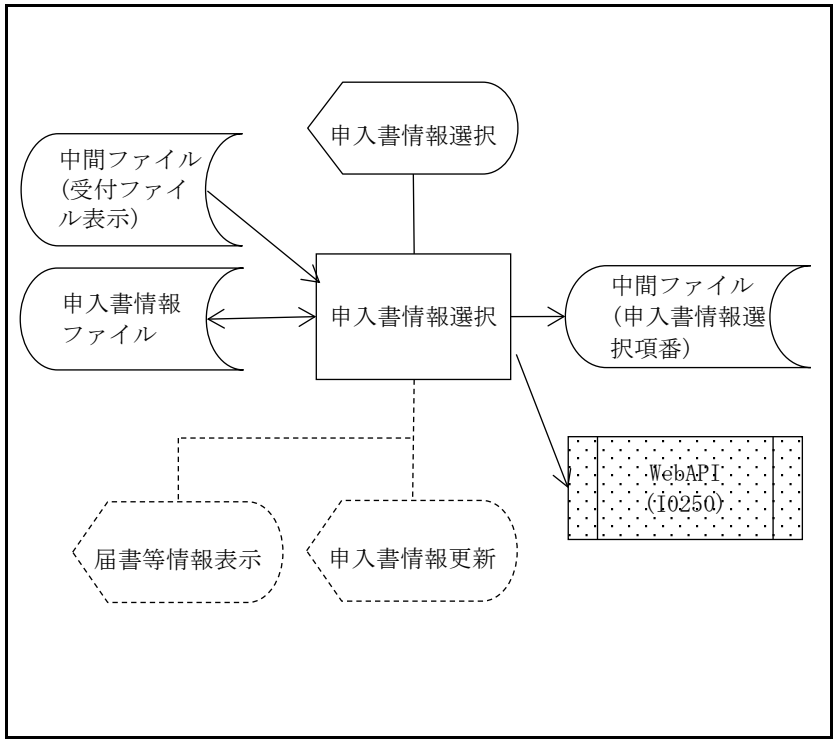
データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名	6.0　送信情報(管理情報)作成処理								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR01:届書等情報送信(法務省宛)]	届書種別コード							初回[TR01]を設定
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される
	届書画像情報ファイル名							
	届書PDF更新年月日							
	届書PDF更新時分秒							
	添付書面画像情報ファイル名							
	添付書面PDF更新年月日							
	添付書面PDF更新時分秒							
	申入書画像情報ファイル名							
	申入書PDF更新年月日							
	申入書PDF更新時分秒							
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR02:届書等情報更新(法務省宛)]	届書種別コード							更新[TR02]を設定 →送付先市区町村情報ファイルの遺漏追加区分=0(通常分)で作成
	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				
	追完届有無フラグ			追完届有無フラグ				届書処理通番ファイルに設定される
	規則第四十一条処理区分			規則第四十一条処理区分				
	届書画像情報ファイル名							
	届書PDF更新年月日							
	届書PDF更新時分秒							
	添付書面画像情報ファイル名							
	添付書面PDF更新年月日							
	添付書面PDF更新時分秒							

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付先市区町村情報更新								
処理名	6.0　送信情報(管理情報)作成処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR06:届書等情報送付先遺漏分送信(法務省宛)]	届書種別コード							[TR06]を設定 ※受理地及び送付地の戸籍の記録が完了した届書において、新たな送付先を追加する必要がある場合(指定すべき送付先の設定を遺漏した、規則第四十一条に示す新本籍への送付を要する等)にのみ利用する。 →送付先市区町村情報ファイルの遺漏追加区分=1(遺漏追加)で作成	
	届書処理通番		届書処理通番 ファイル	届書処理通番					

システム処理の概要説明書		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	申入書情報選択(サンプル)						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (受付ファイル表示)	入力		
申入書情報ファイル	入出力		
中間ファイル (申入書情報選択項番)	出力		
WebAPI関連情報 (I0250)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(受付ファイル表示)から申入書情報選択画面を編集し、表示する
(2)届書等情報イメージ及び申入書イメージを表示する場合は届書等情報表示へ遷移する
(3)申入書の申請があった場合は、直ちにWebAPI(I0250:届書等情報の
注意喚起情報設定)を送信する
(4)中間ファイル(申入書情報選択項番)を作成して申入書情報更新へ遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(申入書情報選択画面編集)
├ 2.0 データチェック(単体表)
├ 3.0 データチェック(関連表)
└ 4.0 データ編集表(届書等情報の注意喚起情報設定)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報選択(サンプル)							
処理名	0.0　本紙						備考	
(1)中間ファイル(受付ファイル表示)の受領番号(又は届書処理通番)をキーとして申入書情報ファイルを全件検索する(ある、なしに係わらず)				/				
(2)申入書情報選択画面を編集･表示する [1.0]				/				
(3)キー選択(PF1、PF2、PF5、PF6、PF7、PF8、PF11、PF12、その他)				/				
PF1	→				(4)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(5)ファイル更新処理選択に制御を渡す			
PF5	→				(6)受付ファイル更新処理に制御を渡す			
PF6	→				(7)届書等情報表示に制御を渡す			
PF7	(8)申入書情報選択画面に前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(9)前ページ分の申入書情報選択画面を編集する			(10)同画面を編集する			
	NO	(11)エラーメッセージ　「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(12)申入書情報選択画面に次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)			/				
	YES	(13)次ページ分の申入書情報選択画面を編集する			(14)同画面を編集する			
	NO	(15)エラーメッセージ　「最終ページです。」を表示する						
PF11	(16)処理区分＝スペース　かつ　申入書情報選択項番＝スペースである(YES,NO)			/			注意喚起情報の送信	
	YES	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「注意喚起情報を送信してもいいですか。」を表示する			(18)同画面を編集する			
		YES	(19)WebAPI(IO250:届書等情報の注意喚起情報設定)を送信する [4.0]	/				
			(20)WebAPI(IO250:届書等情報の注意喚起情報設定結果) (OK:YES,NG:NO)	/				
			YES	(21)メッセージ「情報を送信しました。」を表示する		(22)同画面を編集する		
			NO	(23)結果コード、メッセージからエラー内容を表示する				
		NO	→					
	NO	(24)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する						
PF12	(25)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
	YES	(26)中間ファイル(申入書情報選択項番)を作成する			(27)申入書情報更新に制御を渡す			
	NO	(28)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを表示する			(29)同画面を編集する			
その他	(30)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報選択(サンプル)							
処理名	1.0　申入書情報選択画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
申入書情報選択画面	ページ							
	受領番号		中間ファイル (受付ファイル表示)	受領番号				3～9桁目を表示
	受理送付の別			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分内容			処分区分		有		
	決裁内容			決裁区分		有		
	事件名			受付事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	出張所番号			出張所番号				
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍非本籍の別			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外内容			渉外区分		有		0:日本人のときブランク
	指示日			指示日		有		
	関連受領番号1			関連受領番号1				
	関連受領番号2			関連受領番号2				
	関連受領番号3			関連受領番号3				
	関連受領番号4			関連受領番号4				
	関連受領番号5			関連受領番号5				
	申入書情報総数		申入書情報ファイル	申入書情報管理番号(最後)				最後のデータの申入書情報管理番号
	申入書情報管理番号 1～2			申入書情報管理番号				保持しているデータを表示する
	申入書届出日 1～2			申入書届出日		有		
	申入書期間満了日 1～2			申入書期間満了日		有		

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報選択(サンプル)							
処理名	1.0　申入書情報選択画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	申入書取下日 1～2			申入書取下日		有		1:有効　2:失効
	申入書状態 1～2			申入書状態区分		有		
	申入人氏名 1～2			申入人氏名				
	申入人生年月日 1～2			申入人生年月日		有		
	申入人本籍 1～2			申入人本籍				
	申入人筆頭者 1～2			申入人筆頭者				
	申入書イメージ更新日 1～2			申入書イメージ更新日		有		
	申入書イメージ更新時間 1～2			申入書イメージ更新時間				
	処理区分							
	申入書情報選択項番							

データチェック（単体表）				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報選択(サンプル)								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				申入書情報選択					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	処理区分	○	数字	1～6であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	申入書情報選択項番		数字				

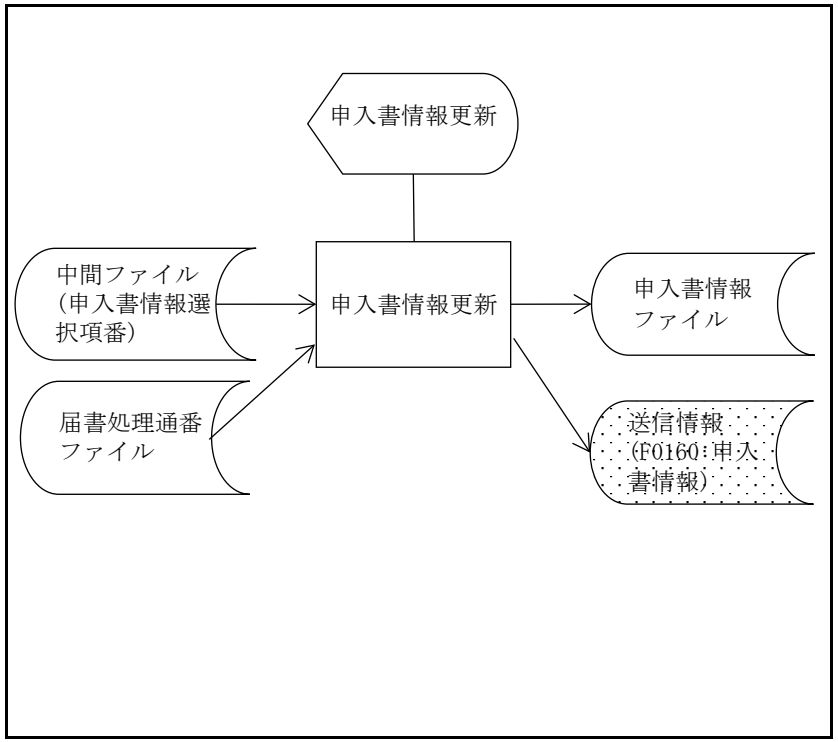
データチェック（関連表）		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報選択(サンプル)						
処理名		画面名	画面ID				
3.0　関連チェック表		申入書情報選択					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)処理区分＝1(追加)の時、(NO.2)申入書情報選択項番＝スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	(NO.1)処理区分≠1(追加)以外の時、(NO.2)申入書情報選択項番≠スペースであること			
03	(NO.1)処理区分＝2(期間満了による追加)の時、申入書情報選択項番の申入書状態＝有効であること			
04	(NO.1)処理区分＝4(取下げ)の時、申入書情報選択項番の取下日＝スペースであること			
05	(NO.1)処理区分＝5(取下げ解除)の時、申入書情報選択項番の取下日≠スペースであること			

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	申入書情報選択(サンプル)							
処理名	4.0　届書等情報の注意喚起情報設定							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
WebAPI(I0250-R01:届書等情報の注意喚起情報設定要求)	届書処理通番		中間ファイル (受付ファイル表示)	届書処理通番				
	申入書区分							0:(有効な)申入書なしを設定する

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (申入書情報選択項番)	入力		
届書処理通番 ファイル	入力		
申入書情報ファイル	出力		
送信情報 (F160:申入書情報)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(申入書情報選択項番)から申入書情報更新画面を編集し、表示する
(2)申入書情報を登録・更新・削除する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(申入書情報更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(申入書情報)
  - 4.1 データ編集表(申入書情報(期間満了前))
- 5.0 データ編集表(送信情報(申入書情報))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和 年 月 日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)中間ファイル(申入書情報選択項番)の情報で、申入書情報更新画面を編集･表示する [1.0]				/				
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF12、その他)				/				
実行キー	(3)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]			/				
	YES	(4)メッセージ 「チェックOKです。情報を更新して下さい。」を表示する			(5)同画面を編集する			
	NO	(6)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを表示する						
PF1	→				(7)業務選択に制御を渡す			
PF2	→				(8)ファイル更新処理選択に制御を渡す			
PF5	→				(9)受付ファイル更新処理に制御を渡す			
PF12	(10)入力項目はチェック済みである(YES,NO)			/				
	YES	(11)申入書情報選択での処理区分は何か(1,2,3,4,5,6)		/				
		1	(12)申入書情報を追加する [4.0]	/				
			(13)送信情報(申入書情報)を作成する [5.0]	/				
			(14)メッセージ「情報が登録されました。」を表示する		(15)同画面を編集する			
		2	(16)申入書情報を追加する [4.0]	/				
			(17)申入書情報(期間満了前)を更新する。 [4.1]	/			期間満了前の申入書の情報を更新する	
			(18)送信情報(申入書情報)を作成する [5.0]	/				
			(19)メッセージ「情報が登録されました。」を表示する		(20)同画面を編集する			
		3、4、5	(21)申入書情報を更新する [4.0]	/				
			(22)送信情報(申入書情報)を作成する [5.0]	/				
			(23)メッセージ「情報が登録されました。」を表示する		(24)同画面を編集する			
		6	(26)申入書情報を削除する	/				
			(27)メッセージ「情報が削除されました。」を表示する		(28)同画面を編集する			
	NO	(29)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する						
その他	(30)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)							
処理名	1.0　申入書情報更新画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
申入書情報更新画面	受領番号		中間ファイル (申入書情報選択項番)	受領番号				
	受理送付の別			受理送付の別				
	受付日			受付日				
	処分内容			処分内容				
	決裁内容			決裁内容				
	事件名			事件名				
	事件日			事件日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	出張所番号			出張所番号				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	本籍非本籍の別			本籍非本籍の別				
	発日			発日				
	収日			収日				
	許可日			許可日				
	渉外内容			渉外内容				
	指示日			指示日				
	関連受領番号1			関連受領番号1				
	関連受領番号2			関連受領番号2				
	関連受領番号3			関連受領番号3				
	関連受領番号4			関連受領番号4				
	関連受領番号5			関連受領番号5				
	申入書情報管理番号			申入書情報管理番号				申入書情報選択の処理区分＝1(追加)又は＝2(期間満了による追加)の場合、全て空欄 申入書情報選択の処理区分＝3(更新)又は4(取下げ)又は5(削除)の場合、申入書情報管理番号～申入書イメージ更新時間を表示する
	申入書届出日			申入書届出日				
	申入書期間満了日			申入書期間満了日				
	申入書取下日			申入書取下日				
	申入書状態			申入書状態				

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)								
処理名	1.0　申入書情報更新画面編集								

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	申入人氏名			申入人氏名				
	申入人生年月日			申入人生年月日				
	申入人本籍			申入人本籍				
	申入人筆頭者			申入人筆頭者				
	申入書イメージ更新日			申入書イメージ更新日				
	申入書イメージ更新時間			申入書イメージ更新時間				
	申入書情報管理番号(期間満了前)			申入書情報管理番号(期間満了前)				申入書情報選択の処理区分＝2(期間満了による追加)の場合、申入書情報管理番号(期間満了前)～申入書イメージ更新時間(期間満了前)を表示する 申入書情報選択の処理区分≠2(期間満了による追加)以外の場合、全て空欄
	申入書届出日(期間満了前)			申入書届出日(期間満了前)				
	申入書期間満了日(期間満了前)			申入書期間満了日(期間満了前)				
	申入書取下日(期間満了前)			申入書取下日(期間満了前)				
	申入書状態(期間満了前)			申入書状態(期間満了前)				
	申入人氏名(期間満了前)			申入人氏名(期間満了前)				
	申入人生年月日(期間満了前)			申入人生年月日(期間満了前)				
	申入人本籍(期間満了前)			申入人本籍(期間満了前)				
	申入人筆頭者(期間満了前)			申入人筆頭者(期間満了前)				
	申入書イメージ更新日(期間満了前)			申入書イメージ更新日(期間満了前)				
	申入書イメージ更新時間(期間満了前)			申入書イメージ更新時間(期間満了前)				

データチェック（単体表）				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				申入書情報更新					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	申入書届出日		英数	元号、日付チェックでOKであること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
02	申入書期間満了日		英数	元号、日付チェックでOKであること			
03	申入書取下日		英数	元号、日付チェックでOKであること			
04	申入人氏名		漢字				
05	申入人生年月日		英数	元号、日付チェックでOKであること			
06	申入人本籍		漢字				
07	申入人筆頭者		漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)						
処理名		画面名	画面ID				
3.0　関連チェック表		申入書情報更新					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	申入書情報選択での処理区分＝1(追加)、2(期間満了による追加)の時、 (NO.3)申入書取下日＝スペース　かつ　他の項目全てに入力があること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		・入力禁止項目は、画面表示時に入力禁止状態にして入力させない対応も可 ・更新で登録済の取下日の更新は可 ・取下げ、取下げ解除で取下日以外の項目の更新を許さない仕様も可
02	申入書情報選択での処理区分＝3(更新)の時、入力項目が1項目以上更新されていること			
03	申入書情報選択での処理区分＝3(更新)の時、 (NO.3)申入書取下日がスペースから≠スペースに更新されていないこと			
04	申入書情報選択での処理区分＝3(更新)の時、 (NO.3)申入書取下日が≠スペースから＝スペースに更新されていないこと			
05	申入書情報選択での処理区分＝4(取下げ)の時、(NO.3)申入書取下日≠スペースであること			
06	申入書情報選択での処理区分＝5(取下げ解除)の時、(NO.3)申入書取下日＝スペースであること			
07	申入書情報選択での処理区分＝6(削除)の時、全ての項目が変更されていないこと			

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)							
処理名	4.0　申入書情報							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
申入書情報ファイル	受領番号		申入書情報更新画面	受領番号				処理区分=6(削除)の場合はデータを物理的削除する(画像情報も同様)
	申入書情報管理番号							処理区分=1,2の場合、番号を設定
	申入書届出日			申入書届出日		有		
	申入書期間満了日			申入書期間満了日		有		
	申入書取下日			申入書取下日		有		
	申入人氏名			申入人氏名				
	申入人生年月日			申入人生年月日		有		
	申入人本籍			申入人本籍				
	申入人筆頭者			申入人筆頭者				
	申入書イメージ更新日			申入書イメージ更新日		有		処理区分=1,2の場合、申入書情報管理番号のイメージが存在すれば設定
	申入書イメージ更新時間			申入書イメージ更新時間				
	申入書状態区分							処理区分=1,2,5の場合、1:有効を設定 処理区分=4の場合、2:失効を設定
	データ送信区分							処理区分=1,2,5の場合、1:登録を設定 処理区分=3,4の場合、3:更新を設定 処理区分=6の場合、0:無を設定

画像再スキャンによる再登録の場合、データ送信区分は2:登録(画像のみ)とする。

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)								
処理名	4.1　申入書情報(期間満了前)								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
申入書情報ファイル	受領番号								
	申入書情報管理番号								
	申入書届出日								
	申入書期間満了日								
	申入書取下日			申入書取下日		有			
	申入人氏名								
	申入人生年月日								
	申入人本籍								
	申入人筆頭者								
	申入書イメージ更新日								
	申入書イメージ更新時間								
	申入書状態区分							2:失効を設定	
	データ送信区分							4:更新(期間満了前)を設定	

本データは戸籍情報連携システムにはデータ部分を送信しないため、データ送信区分で4:更新(期間満了前)を設けそれが分かるようにした。別の方法による管理も可である。

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	申入書情報更新(サンプル)							
処理名	5.0　送信情報(申入書情報)作成処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
送信情報(F0160-R01:申入書情報)	届書処理通番		届書処理通番ファイル	届書処理通番				データ送信区分:0(無)は作成しない
	申入書情報処理区分							データ送信区分 1(登録)の場合、0(登録)を設定 3(更新)の場合、1(申入書情報の期限切れに伴う更新)を設定 4(更新(期間満了前))の場合、2(申入書情報の取下)を設定 2(登録(画像のみ))の場合、3(画像再スキャンによる再登録)を設定
	申入書情報連番		申入書情報ファイル	申入書情報管理番号				1(登録)の場合、設定しない
	申入書画像情報ファイル名			申入書PDFファイル名				1(登録)、2(登録(画像のみ))の場合、 情報があれば設定する 3(更新)の場合、画像情報が更新されていれば設定する
	申入書PDF更新年月日			申入書PDF更新年月日				
	申入書PDF更新時分秒			申入書PDF更新時分秒				
	申入書取下日			申入書取下日				4(更新(期間満了前))の場合、設定しない

第7.2.(14)

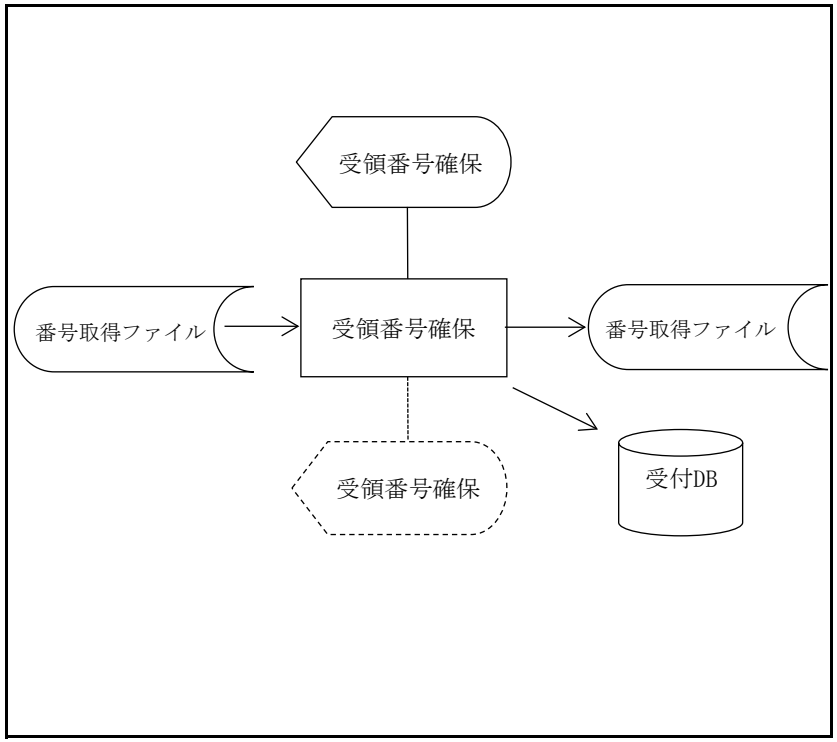
「受領番号確保」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1				

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保					

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
番号取得ファイル	入出力		
受付DB	出力		

3.処理概要

(1)届出日と届出日毎の届書枚数の入力及び受領番号の確保
(2)受領番号に対応する受付DBの作成

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(休日･夜間分(受領番号確保)画面作成)
- 2.0 データ編集表(番号取得ファイル更新)
- 3.0 データチェック(単体表)
- 4.0 データ編集表(受付DB)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保							
処理名	0.0　本紙						根拠法令(マニュアル処理)	
(1)休日･夜間分(受領番号確保)画面を出力する					/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)					/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)		[3.0]		/			
	YES	(4)日付の年度をキーとして番号取得ファイルを読む			/			
		(5)休日･夜間分(受領番号確保)画面を編集する	[1.0]		/			
		(6)届出枚数分行う(受領番号･開始番号から受領番号･終了番号まで)			/			
		(7)受領番号で受付DBを作成する	[4.0]		/			
		(8)番号取得ファイルを更新する	[2.0]			(9)同画面を編集する		
	NO	(10)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する						
PF1	→					(11)業務選択に制御を渡す		
その他	(12)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する					(13)同画面を編集する		

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保							
処理名	1.0　休日･夜間分(受領番号確保)画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
休日･夜間分 (受領番号確保)画面	日付		同画面	(同項目)				
	届書枚数			(同項目)				
	受領番号･開始番号		番号取得ファイル	受領番号				受領番号
	受領番号･終了番号			受領番号				受領番号 + 届書枚数 - 1

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日		改訂日付	令和 年 月 日		版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保										
処理名	2.0　番号取得ファイル更新										
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考		
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目						
	名称		記号名		名称		記号名				
番号取得ファイル	受領番号			番号取得ファイル	受領番号				受領番号 + 届書枚数		

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保								
処理名				画面名	画面ID				
2.0　単体チェック表				不受理申出ファイル更新					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	日付	○	英数	「日付チェックサブルーチン」		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			
02	届書枚数	○	数字						

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	休日・夜間分　受領番号確保							
処理名	4.0　受付DB(受付)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
受付DB(受付)	受領番号			受領番号				
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	休日・夜間分 受領番号確保							
処理名	4.0 受付DB(受付)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	送達確認1							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書送付目録区分							

第7.2.(15)

「帳票出力」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1	R4	B04	「帳票出力」処理	届書目録の追加による修正 ①システム処理の概要説明書 (2)に追記

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	帳票出力処理					

1.処理範囲

(1)帳票出力処理では、戸籍法令等で示されている帳票または、戸籍事務内で使用する帳票を対象にしている。

(2)帳票レイアウトは、帳票設計書で示した様式で規定する。(一部除く)

2.処理概要

(1)帳票出力する際、抽出条件が必要となるものがあるため、各帳票毎に抽出条件入力画面を設け範囲指定を行う。
入力された抽出条件の妥当性をチェックし、正しければ帳票出力処理を行う。
(出力処理については、対象ファイル全件検索しなければならないものもあるため、バッチ起動を行う等システム環境に合わせた運用が必要となる。
そのため、出力手順(方式)についてはメーカに任せる)

(2)帳票の種類
・受付帳
・種類番号帳
・届書送付目録(本籍人、渉外関係) ・・・戸籍情報連携システム運用後に廃止
・届書目録及び届書目録(完全渉外分)・・・戸籍情報連携システム運用後に作成
※種類番号帳を届書目録及び届書目録(完全渉外分)として使用する場合は作成不要
※届書目録及び届書目録(完全渉外分)は受理分と受理以外分に分けて作成
・届書送達確認書
・戸籍事務専用
・宛名シール
・高齢者消除該当一覧(許可申請書)
・本籍町名変更通知

その他、運用に合わせて帳票追加しても構わない

第7.2.(16)

「統計」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	7	「統計」処理	3.留意点 ・電子証明書の件数は、戸籍情報連携システムより提供履歴を取得して集計することを追記 ・集計結果の事件表情報を戸籍情報連携システムに送信することを追記
2	R3	B07	「統計」処理	2.処理概要 ・戸籍情報連携システムより通知される全国、管区及び法務局・地方法務局単位の事件表データの取扱いについて追記

システム処理の概要説明書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	統計処理						

1.処理範囲

(1)統計処理では、戸籍事件表を作成するための処理を行う。事件表を作成するため、自治体毎に日計表、週計表、月計表など作成し管理を行っているが、基準書内では、最終目的とする事件表(年計)を対象としている。
(日計表～月計表においては、オプションでシステム化を図っても可)

(2)また、証明書発行枚数等、一部システム化に馴染まない項目があるため統計ファイル更新処理機能を取り込み、実態の数値を直接入力できることとした。

2.処理概要

(1)事件表出力処理は、統計ファイルの情報を編集し、事件表を作成する。(月計表など出力条件が必要な場合は、出力条件入力画面を設け階層的に展開するものとし、対象ファイルは統計ファイルのみから編集可能な内容とする)

(2)統計ファイル更新処理は、日単位に作成される統計情報に対して更新する。累積データ(週計、月計等)を作成した場合は、それぞれの整合性(表間突合)が合うように更新する必要がある。

(3)受信情報(F0140:事件表提供)により、全国、管区及び法務局・地方法務局単位の事件表データを帳票等により確認することができる。

3.留意点

(1)戸籍電子証明書等の件数については、戸籍情報連携システムより通知される提供履歴情報を基に集計すること。なお、提供履歴情報の取得方法については「第7-2(25) 戸籍情報連携システム」を参照のこと。

(2)市区町村全体の年度計として確定した事件表の情報は、「第7-2(25) 戸籍情報連携システム」に示すバッチ処理にて戸籍情報連携システムへ通知する。
なお、別途事務連絡は必要となるが、法令等で定められた報告期間外でも戸籍情報連携システムへのデータ送信は可能とする。

第7.2.(17)

「関連業務」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	関連業務処理

1.処理範囲

(1)関連業務処理では、戸籍事務の一連処理として行う業務を特定し展開するものである。性質的に、他省庁との協議事項が関与するため、詳細仕様について今後検討する必要がある。

(2)以下に示す関連業務は、参考的に載せているのでシステム化に当り、事前の調整・検討が必要となる場合もある。また、厚生省で検討を進めている「人口動態システム」においても、関連事務として位置づけ今後取り入れていく。

2.処理概要

関連業務処理として位置づけているものを以下に示す。

(1)身分証明書
現状では、発行する自治体により様式が異なっている。証明項目では(準)禁治産者及び、破産者の有無について証明している点が共通しているため、出力項目について標準化を図っている。

(2)相続税法58条通知
現状では、地域により用いられている様式が異なっている。(連名方式、単票方式等)
帳票設計書で示したレイアウトは、国税庁の承認を得て参考的に示している。実際の運用に関しては、管轄税務署との事前承認を得てシステム化を図る必要あり。

(3)附票関連事務
平成4年度における「戸籍附票部会結果報告書」を参照。

要件定義書として、9条2項処理を示す。

システム処理の概要説明書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	関連業務処理

1. 9条2項処理の内容

(1) 9条2項ファイルメンテ処理

9条2項ファイルの内容の確認、追加、修正、削除が生じた場合、9条2項ファイルメンテから処理を開始する。
本処理が使用できるのは、仮9条2項ファイルが存在する間(処分決定(受理)後～決裁(決裁)前)、または住民票異動ファイル及び住民票通知ファイルが存在する間である。
画面展開は
①9条2項ファイル内容表示:処理する9条2項ファイルを選択する。
②9条2項通知者一覧:処理対象となる者を選択する(処理内容も)。
③9条2項内容:9条2項内容を表示、入力する。

(2) 仮9条2項ファイル表示処理
仮9条2項ファイルの内容を表示するだけの処理で、決裁処理から制御が渡される。
画面展開は
①9条2項通知者一覧:処理対象となる者を選択する(処理内容は入力不可:表示のみ)。
②9条2項内容:9条2項内容を表示する。

2. 9条2項ファイルメンテでのPFキー

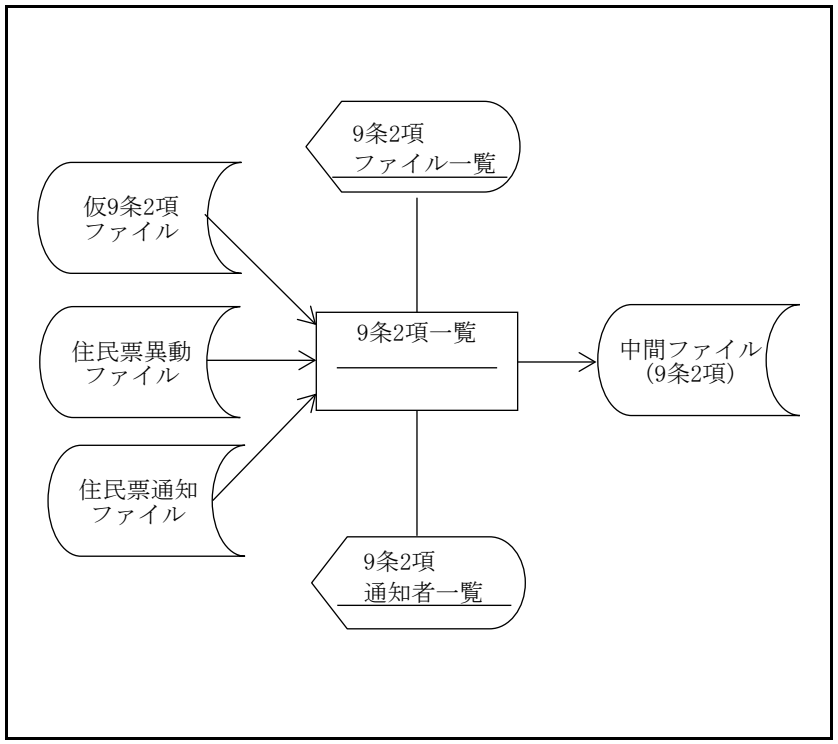
画面 / PFキー	9条2項ファイル一覧	9条2項通知者一覧	9条2項内容処理
PF1	戸籍業務メニューへ	戸籍業務メニューへ	戸籍業務メニューへ
PF2	ファイルメンテ画面へ	ファイルメンテ画面へ	ファイルメンテ画面へ
PF3			9条2項内容処理
PF4			
PF5	戸籍業務メニューへ	9条2項ファイル一覧へ	9条2項通知者一覧へ
PF6			
PF7	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示	次頁表示	
PF9			
PF10			
PF11			
PF12			画面の初期化
実行キー	9条2項通知者一覧へ	9条2項内容処理へ	画面内容確認

仮9条2項ファイル表示でのPFキー

画面 / PFキー	9条2項通知者一覧	9条2項内容処理
PF1	決裁処理画面へ	決裁処理画面へ
PF2		
PF3		
PF4		
PF5	決裁処理画面へ	9条2項通知者一覧へ
PF6		
PF7	前頁表示	
PF8	次頁表示	
PF9		
PF10		
PF11		
PF12		
実行キー	9条2項通知者一覧へ	

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	9条2項ファイル一覧表示						

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
仮9条2項ファイル	入力		
住民票異動ファイル	入力		
住民票通知ファイル	入力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)仮9条2項ファイル、住民票異動ファイル、住民票通知ファイルのデータ一覧を表示する。

(2)処理する受領番号を選択して、9条2項通知者一覧へ制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 データ編集表(9条2項ファイル一覧画面:仮9条2項ファイル)
  - 2.1 データ編集表(9条2項ファイル一覧画面:住民票異動ファイル)
  - 2.2 データ編集表(9条2項ファイル一覧画面:住民票通知ファイル)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(9条2項))

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項ファイル一覧表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)仮9条2項ファイルがある(YES,NO)					/			
YES	(2)仮9条2項ファイルの内容を9条2項ファイル一覧画面に表示する [2.0]				/			
NO	(3) → (4)へ				/			
(4)住民票異動ファイルがある(YES,NO)					/			
YES	(5)住民票異動ファイルの内容を9条2項ファイル一覧画面に表示する [2.1]				/			
NO	(6) → (7)へ				/			
(7)住民票通知ファイルがある(YES,NO)					/			
YES	(8)住民票通知ファイルの内容を9条2項ファイル一覧画面に表示する [2.2]				/			
NO	(9) → (10)へ				/			
(10)表示が1件もない(YES,NO)					/			
YES	(11)エラーメッセージ 「9条2項データが1件も有りません」を表示する					(12)ファイルメンテに制御を渡す	エラーメッセージはファイルメンテ画面で表示	
NO	(13) → (14)へ				/			
(14)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、その他)					/			
実行キー	(15)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/			
	YES	(16)選択番号に該当する9条2項データがある(YES,NO)			/			
		YES	(17)該当するデータの受領番号とファイル種別を基に、ファイル(仮9条2項、住民票異動、住民票通知)を読み、その内容で中間ファイル(9条2項)を作成する。 [3.0]			(18)9条2項通知者一覧に制御を渡す	同一受領番号でレコードがあるだけ作成する	
		NO	(19)エラーメッセージ 「選択番号に該当するデータがありません」を表示			(20) → (14)へ		
	NO	(21)エラーメッセージを表示する						
PF1	→					(22)業務選択に制御を渡す		
PF2	→					(23)ファイルメンテに制御を渡す		
PF5	→					(24)業務選択に制御を渡す		
PF7	(25)前ページがある(YES,NO)				/			
	YES	(26)前ページ分の9条2項ファイル一覧画面を編集する				(27)同画面を編集する→(14)へ		
	NO	(28)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する						
PF8	(29)次ページがある(YES,NO)				/			
	YES	(30)次ページ分の9条2項ファイル一覧画面を編集する				(31)同画面を編集する→(14)へ		
	NO	(32)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する						
その他	(33)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する					(34)同画面を編集する→(14)へ		

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	9条2項ファイル一覧表示								
処理名				画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表				9条2項ファイル一覧					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字			「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項ファイル一覧表示							
処理名	2.0 9条2項ファイル一覧編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
9条2項ファイル一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	項番							連番で表示する
	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	ファイル名称		システム処理					「仮9条2項」と表示する
	選択番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項ファイル一覧表示							
処理名	2.1 9条2項ファイル一覧編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
9条2項ファイル一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	項番							連番で表示する
	受領番号		住民票異動ファイル	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	ファイル名称		システム処理					「住民票異動」と表示する
	選択番号							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項ファイル一覧表示							
処理名	2.2 9条2項ファイル一覧編集処理							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
9条2項ファイル一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	項番							連番で表示する
	受領番号		住民票通知ファイル	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	ファイル名称		システム処理					「住民票通知」と表示する
	選択番号							

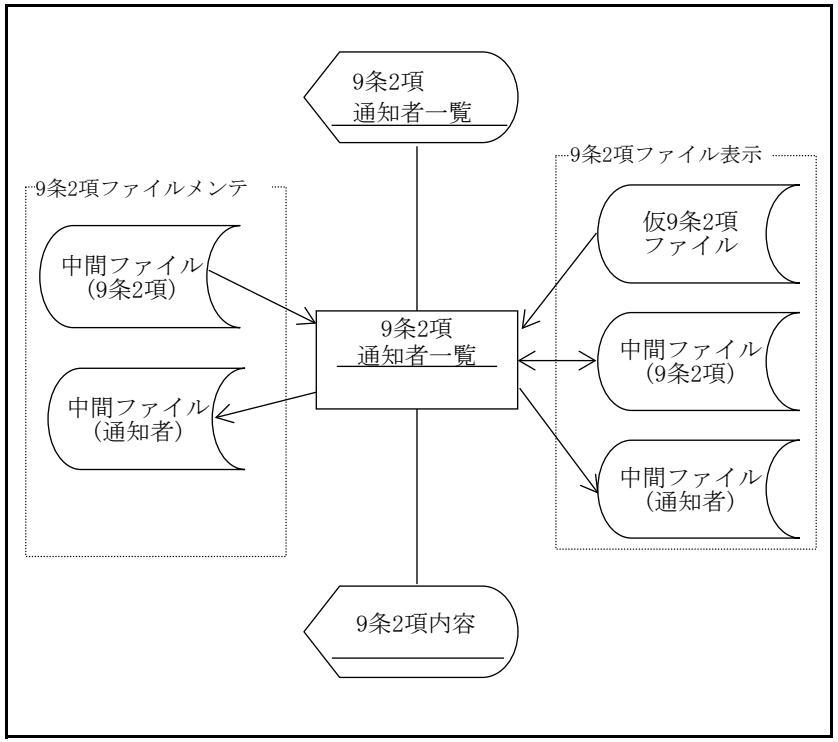
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項ファイル一覧表示							
処理名	3.0 中間ファイル(9条2項)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		仮9条2項ファイル 住民票異動ファイル 住民票通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別		システム処理					1:仮9条2項ファイル 2:住民票異動ファイル 3:住民票通知ファイル

システム環境仕様書	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	9条2項通知者一覧表示

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
【9条2項ファイルメンテ】		【9条2項ファイル表示】	
中間ファイル(9条2項)	入力	仮9条2項ファイル	入力
中間ファイル(通知者)	出力	中間ファイル(9条2項)	入出力
		中間ファイル(通知者)	出力

3.処理概要

(1)9条2項ファイル一覧から制御を渡されたとき
①中間ファイル(9条2項)から通知者一覧を表示する。
②通知者の内容の表示、変更、削除か、追加を指定して9条2項処理へ制御を渡す。
(2)決裁処理から制御を渡されたとき
①該当の受領番号から仮9条2項ファイルを検索し、通知者一覧を表示する。
②表示する通知者の選択番号を指定して、9条2項処理へ制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 関連チェック表
- 3.0 データ編集表(9条2項一覧画面)
  - 3.1 データ編集表(中間ファイル(9条2項):9条2項表示)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(通知者):9条2項メンテ)
  - 4.1 データ編集表(中間ファイル(通知者):9条2項表示)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項通知者一覧表示								
処理名	0.0 本紙							備考	
(1)9条2項ファイルメンテから制御が渡された(YES,NO)					/				
YES	(2)中間ファイル(9条2項)から9条2項通知者一覧画面を表示する [3.0]				/				
	(3)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、その他)				/				
	実行キー	(4)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]			/				
		YES	(5)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]		/				
			YES	(5) → (9)へ	/				
			NO	(6)エラーメッセージを表示する		(7) → (3)へ			
		NO	(8)エラーメッセージを表示する						
		(9)該当番号に当たるデータがある(YES,NO)			/				
		YES	(10)画面に入力の処理区分は2:「追加」である		/				
			YES	(11)中間ファイル(通知者)を作成し、処分区分を設定する [4.0]		(12)9条2項内容処理へ制御を渡す		「受領番号」～「受理日」は必ず設定	
			NO	(13)該当のレコードで中間ファイル(通知者)を作成し、処分区分を設定する [4.0]					
		NO	(14)エラーメッセージ 「該当のデータは有りません」を表示する			(15) → (3)へ			
	PF1	→				(16)業務選択へ制御を渡す			
	PF2	→				(17)ファイルメンテへ制御を渡す			
	PF5	→				(18)9条2項ファイル一覧へ制御を渡す			
	PF7	(19)前ページがある(YES,NO)			/				
		YES	(20)前ページ分の9条2項通知者一覧画面を編集する [3.0]			(21)同画面を編集する→(3)へ			
		NO	(22)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する						
	PF8	(23)次ページがある(YES,NO)			/				
		YES	(24)次ページ分の9条2項通知者一覧画面を編集する [3.0]			(25)同画面を編集する→(3)へ			
		NO	(26)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する						
	その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(28)同画面を編集する→(3)へ			
NO	(29)決裁処理している受領番号を基に仮9条2項ファイルを検索する(ある:YES,なし:NO)				/				
	YES	(30) → (33)へ			/				
	NO	(31)エラーメッセージ 「9条2項データは存在しません」を表示する				(32)決裁処理へ制御を渡す		エラーメッセージは決裁処理で表示する	
	(33)該当のデータで中間ファイル(9条2項)を作成する [3.1]				/			同一受領番号でデータがあるだけ作成する	
	(34)中間ファイル(9条2項)から9条2項通知者一覧画面を表示する [3.0]				/				

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項通知者一覧表示							
処理名	0.0 本紙						備考	
(35)キー選択(実行キー、PF1、PF5、PF7、PF8、その他)				/				
実行キー	(36)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)		[1.0]	/				
	YES	(37) → (40)へ		/				
	NO	(38)エラーメッセージを表示する			(39) → (35)へ			
	(40)該当番号に当たるデータがある(YES,NO)			/				
	YES	(41)該当のレコードで中間ファイル(通知者)を作成し、処分区分を設定する	[4.0]		(42)9条2項内容処理へ制御を渡す			
	NO	(43)エラーメッセージ 「該当のデータは有りません」を表示する			(44) → (35)へ			
PF1	→				(45)決裁処理へ制御を渡す			
PF5	→				(46)決裁処理へ制御を渡す			
PF7	(47)前ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(48)前ページ分の9条2項通知者一覧画面を編集する	[3.0]		(49)同画面を編集する→(35)へ			
	NO	(50)エラーメッセージ 「先頭ページを表示中です」を表示する						
PF8	(51)次ページがある(YES,NO)			/				
	YES	(52)次ページ分の9条2項通知者一覧画面を編集する	[3.0]		(53)同画面を編集する→(35)へ			
	NO	(54)エラーメッセージ 「最終ページを表示中です」を表示する						
その他	(55)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(56)同画面を編集する→(35)へ			

データチェック（単体表）				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	9条2項通知者一覧表示								
処理名				画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表				9条2項通知者一覧					
No	項目名	必須	属性	内容		出力エラーメッセージ		ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	(1:表示、2:追加、3:修正、4:削除)であること		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」			9条2項表示は1のみ
2	該当番号		数字						9条2項表示は必須

データチェック（関連表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	9条2項通知者一覧表示						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		9条2項通知者一覧					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)処理区分 ＝ 2(追加)のとき、(No.2)該当番号 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		9条2項ファイルメンテのみ関連チェックが必要
2	(No.1)処理区分 ≠ 2(追加)のとき、(No.2)該当番号 ≠ スペースであること			

データ編集表				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項通知者一覧表示								
処理名	3.0 9条2項通知者一覧編集処理								
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
9条2項通知者一覧画面	画面ID		システム処理						
	システム日付								
	現ページ、総ページ								
	項番								
	受領番号		中間ファイル (9条2項)	受領番号					
	支所番号			出張所番号					
	事件名称			事件コード		有			
	氏名			旧氏名					
	処理区分								
	該当番号								

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項通知者一覧表示							
処理名	3.1 中間ファイル(9条2項)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別		システム処理					1:仮9条2項ファイル　を設定

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項通知者一覧表示							
処理名	4.0 中間ファイル(通知者)作成							

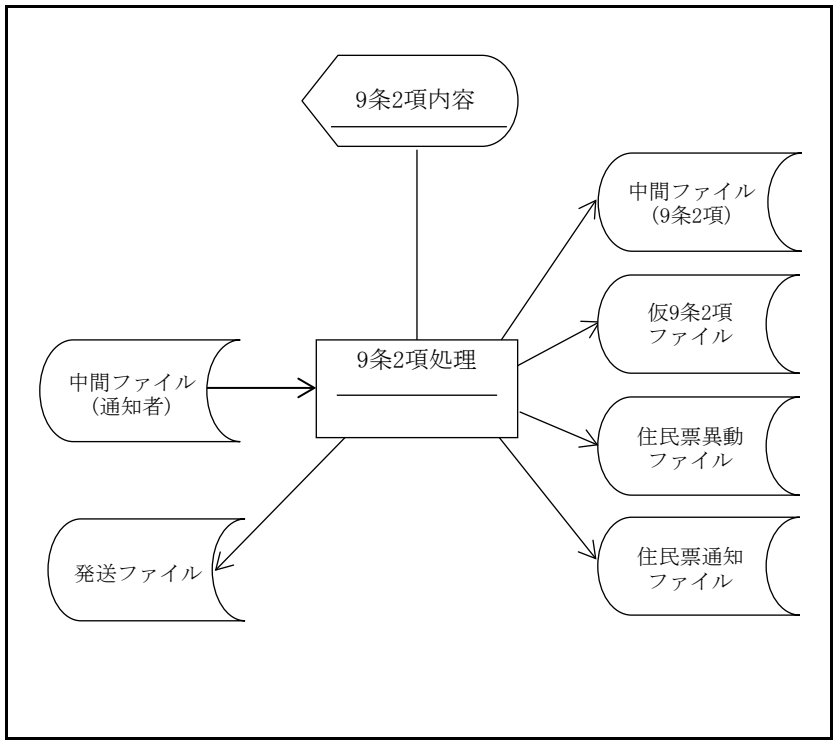
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (通知者)	受領番号		中間ファイル (9条2項)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				処理区分が2「追加」の場合 「新氏名」～「世帯主との続柄」は空白とする(データの移送はない)
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別			ファイル種別				
	処理区分		システム処理	処理区分				1:表示、2:追加、3:修正、4:削除

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項通知者一覧表示							
処理名	4.1 中間ファイル(通知者)作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (通知者)	受領番号		中間ファイル (9条2項)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別			ファイル種別				1:仮9条2項ファイル のみ
	処理区分		システム処理	処理区分				1:表示 のみ

システム環境仕様書		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	9条2項内容処理						

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(通知者)	入力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
仮9条2項ファイル	出力		
住民票異動ファイル	出力		
住民票通知ファイル	出力		
発送ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)処理区分により以下の処理を行う

・「表示」:9条2項内容画面に表示し、内容を確認してもらう
(9条2項表示はこの処理のみ)
・「追加」:9条2項内容画面に追加するデータを入力してもらう
確認後(実行キーの押下)、PF3キーの押下によりデータを追加する
・「修正」:9条2項内容画面に表示し、データを修正してもらう
確認後(実行キーの押下)、PF3キーの押下によりデータを更新する
・「削除」:9条2項内容画面に表示し、内容を確認してもらう
確認後(実行キーの押下)、PF3キーの押下によりデータを削除する

(2)住民票通知ファイルへデータを追加する場合、発送ファイルも作成する

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 関連チェック表
- 3.0 データ編集表(9条2項内容画面)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(9条2項))
  - 4.1 データ編集表(仮9条2項ファイル)
  - 4.2 データ編集表(住民票異動ファイル)
  - 4.3 データ編集表(住民票通知ファイル)
- 5.0 データ編集表(発送ファイル)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	9条2項内容処理
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)中間ファイル(通知者)を読んで9条2項内容画面を編集する					[3.0]	/	
(2)処理区分別に以下の処理を行う(1:表示、2:追加、3:修正、4:削除)						/	
表示	(3)9条2項ファイルメンテの処理である(YES,NO)					/	
	YES	(4)キー選択(PF1、PF2、PF5、その他)				/	
		PF1	→				(5)業務選択に制御を渡す
		PF2	→				(6)ファイルメンテに制御を渡す
		PF5	→				(7)9条2項通知者一覧に制御を渡す
		その他	(8)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(9) → (4)へ
	NO	(10)キー選択(PF1、PF5、その他)				/	
		PF1	→				(11)決裁処理に制御を渡す
		PF5	→				(12)9条2項通知者一覧に制御を渡す
		その他	(13)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(14) → (10)へ
追加	(15)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF12、その他)					/	
	実行キー	(16)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)			[1.0]	/	
		YES	(17)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)		[2.0]	/	
			YES	(18) → (22)へ		/	
			NO	(19)エラーメッセージを表示する			(20) → (15)へ
		NO	(21)エラーメッセージを表示する				
		(22)キー選択(実行キー、PF1.PF2、PF3、PF5、PF12、その他)				/	
		実行キー	(23) → (22)へ			/	
		PF1	→				(24)業務選択に制御を渡す
		PF2	→				(25)ファイルメンテに制御を渡す
		PF3	(26)画面入力されたデータを中間ファイル(9条2項)に追加する		[4.0]	/	
			(27)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮9条2項、2:住民票異動、3:住民票通知)			/	
			1	(28)画面入力されたデータを仮9条2項ファイルに追加する	[4.1]	/	
			2	(29)画面入力されたデータを住民票異動ファイルに追加する	[4.2]	/	
			3	(30)画面入力されたデータを住民票通知ファイルに追加する	[4.3]	/	
			(31)中間ファイル(通知者)のファイル種別は、3(住民票通知)である (YES,NO)			/	

要件定義ワークシート	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1

作業名	9条2項内容処理				
処理名	0.0 本紙				備考
	YES (32)中間ファイル(通知者)の受領番号を基に、発送ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)		/		
	YES (33)中間ファイル(通知者)の住所と発送ファイルの市区町村が同じ(YES,NO)		/		
	YES (34)発送ファイルの送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定し、発送ファイルを更新する [5.0]			(35)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
	NO (36)発送ファイルの送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定し、発送ファイルを作成する [5.0]				
	NO (37)発送ファイルの送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定し、発送ファイルを作成する [5.0]				
	NO →				
	PF5 →			(38)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
	PF12 (39)9条2項内容画面を初期化する → (15)へ		/		
	その他 (40)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(41)同画面を編集する→(22)へ	
PF1 →				(42)業務選択に制御を渡す	
PF2 →				(43)ファイルメンテに制御を渡す	
PF5 →				(44)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
PF12 (45)9条2項内容画面を初期化する → (15)へ			/		
その他 (46)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(47)同画面を編集する→(15)へ	
修正 (48)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF12、その他)			/		
実行キー (49)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]			/		
YES (50)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/		
YES (51) → (55)へ			/		
NO (52)エラーメッセージを表示する				(53) → (48)へ	
NO (54)エラーメッセージを表示する					
(55)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF3、PF5、PF12、その他)			/		
実行キー (56) → (55)へ			/		
PF1 →				(57)業務選択に制御を渡す	
PF2 →				(58)ファイルメンテに制御を渡す	
PF3 (59)画面入力されたデータで中間ファイル(9条2項)を更新する [4.0]			/		

要件定義ワークシート				作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理								
処理名	0.0 本紙							備考	
			(60)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮9条2項、2:往民票異動.3:住民票通知)		/				
			1	(61)画面入力されたデータで仮9条2項ファイルを更新する [4.1]			(62)9条2項通知者一覧に制御を渡す		
			2	(63)画面入力されたデータで住民票異動ファイルを更新する [4.2]					
			3	(64)画面入力されたデータで住民票通知ファイルを更新する [4.3]					
		PF5	→				(65)9条2項通知者一覧に制御を渡す		
		PF12	(66)9条2項内容画面を初期化する → (48)へ		/				
		その他	(67)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(68)同画面を編集する→(55)へ		
	PF1	→					(69)業務選択に制御を渡す		
	PF2	→					(70)ファイルメンテに制御を渡す		
	PF5	→					(71)9条2項通知者一覧に制御を渡す		
	PF12	(72)9条2項内容画面を初期化する → (48)へ			/				
	その他	(73)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する					(74)同画面を編集する→(48)へ		
削除	(75)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、その他) メッセージ 「削除してよろしいですね、確認して下さい(実行キー)」を表示する				/				
	実行キー	(76)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF3、PF5、その他) メッセージ 「PF3キーでデータが削除されます」を表示する			/				
		実行キー	(77) → (76)へ		/				
		PF1	→				(78)業務選択に制御を渡す		
		PF2	→				(79)ファイルメンテに制御を渡す		
		PF3	(80)確認されたデータを中間ファイル(9条2項)から削除する		/				
			(81)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮9条2項、2:住民票異動、3:住民票通知)		/				
			1	(82)確認されたデータを仮9条2項ファイルから削除する			(83)9条2項通知者一覧に制御を渡す		
			2	(84)確認されたデータを住民票異動ファイルから削除する					
			3	(85)確認されたデータを住民票通知ファイルから削除する					
		PF5	→				(86)9条2項通知者一覧に制御を渡す		
		その他	(87)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する				(88)同画面を編集する→(76)へ		
	PF1	→					(89)業務選択に制御を渡す		
	PF2	→					(90)ファイルメンテに制御を渡す		

要件定義ワークシート			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理							
処理名	0.0 本紙					備考		
PF5	→			(91)9条2項通知者一覧に制御を渡す				
その他	(92)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する			(93)同画面を編集する→(75)へ				

データチェック（単体表）		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	9条2項内容処理						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		9条2項内容					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	現氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		「追加」の場合必須
2	新氏名		漢字				
3	現本籍		漢字				「追加」の場合必須
4	新本籍		漢字				
5	現筆頭者		漢字				「追加」の場合必須
6	新筆頭者		漢字				
7	現生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
8	新生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
9	現父母との続柄		数字	(10:男　～　49:十九女)であること			
10	新父母との続柄		数字	(10:男　～　49:十九女)であること			
11	住所		漢字				「追加」の場合必須
12	方書		漢字				
13	世帯主		漢字				「追加」の場合必須
14	世帯主との続柄		数字				「修正」の場合は「住所」～「住民日」だけ修正可能
15	住定日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
16	住民日		数字	「日付チェックサブルーチン」			

データチェック（関連表）	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	9条2項内容処理

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	9条2項内容		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1		「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2				
3				
4	「追加」のとき、(No.8)新生年月日 ≠ スペースであれば、 (No.7)現生年月日 ≠ スペースであること			
5	「追加」のとき、(No.10)新父母との続柄 ≠ スペースであれば、 (No.9)現父母との続柄 ≠ スペースであること			
6	「追加」のとき、 (No.2)新氏名　または　(No.4)新本籍　または　(No.6)新筆頭者　または　(No.8)新生年月日 または　(No.10)新父母との続柄のいずれかに入力があること			
7	「追加」のとき、(No.2)新氏名 ≠ スペースであれば (No.1)現氏名 ≠ (No.2)新氏名　であること			
8	「追加」のとき、(No.4)新本籍 ≠ スペースであれば (No.3)現本籍 ≠ (No.4)新本籍　であること			
9	「追加」のとき、(No.6)新筆頭者 ≠ スペースであれば (No.5)現筆頭者 ≠ (No.6)新筆頭者　であること			
10	「追加」のとき、(No.8)新生年月日 ≠ スペースであれば (No.7)現生年月日 ≠ (No.8)新生年月日　であること			
11	「追加」のとき、(No.10)現父母との続柄 ≠ スペースであれば (No.9)現父母との続柄 ≠ (No.10)現父母との続柄であること			

データ編集表		作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理						
処理名	3.0 9条2項内容編集処理						

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
9条2項内容画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	受領番号		中間ファイル (通知者)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	現氏名			旧氏名				
	新氏名			新氏名				
	現本籍			旧本籍コード		有		
				旧本籍				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	現筆頭者			旧筆頭者				
	新筆頭者			新筆頭者				
	現生年月日			旧生年月日		有		
	新生年月日			新生年月日		有		
	現父母との続柄			旧父母との続柄				
	現父母との続柄名称					有		
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	新父母との続柄名称					有		
	住所			住所コード		有		
				住所				
	方書			方書				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄		有		
	世帯主との続柄名称					有		
	住定日			住定日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理							
処理名	3.0 9条2項内容編集処理							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	住民日			住民日				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理							
処理名	4.0 中間ファイル(9条2項)作成・更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別							

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理							
処理名	4.1 仮9条2項ファイル 作成･更新							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
仮9条2項ファイル	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	市区町村コード		9条2項内容処理	住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			宛名				上記部分を宛名に変換した項目
	事件コード		9条2項内容画面	事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理							
処理名	4.2 住民票異動ファイル 作成･更新							

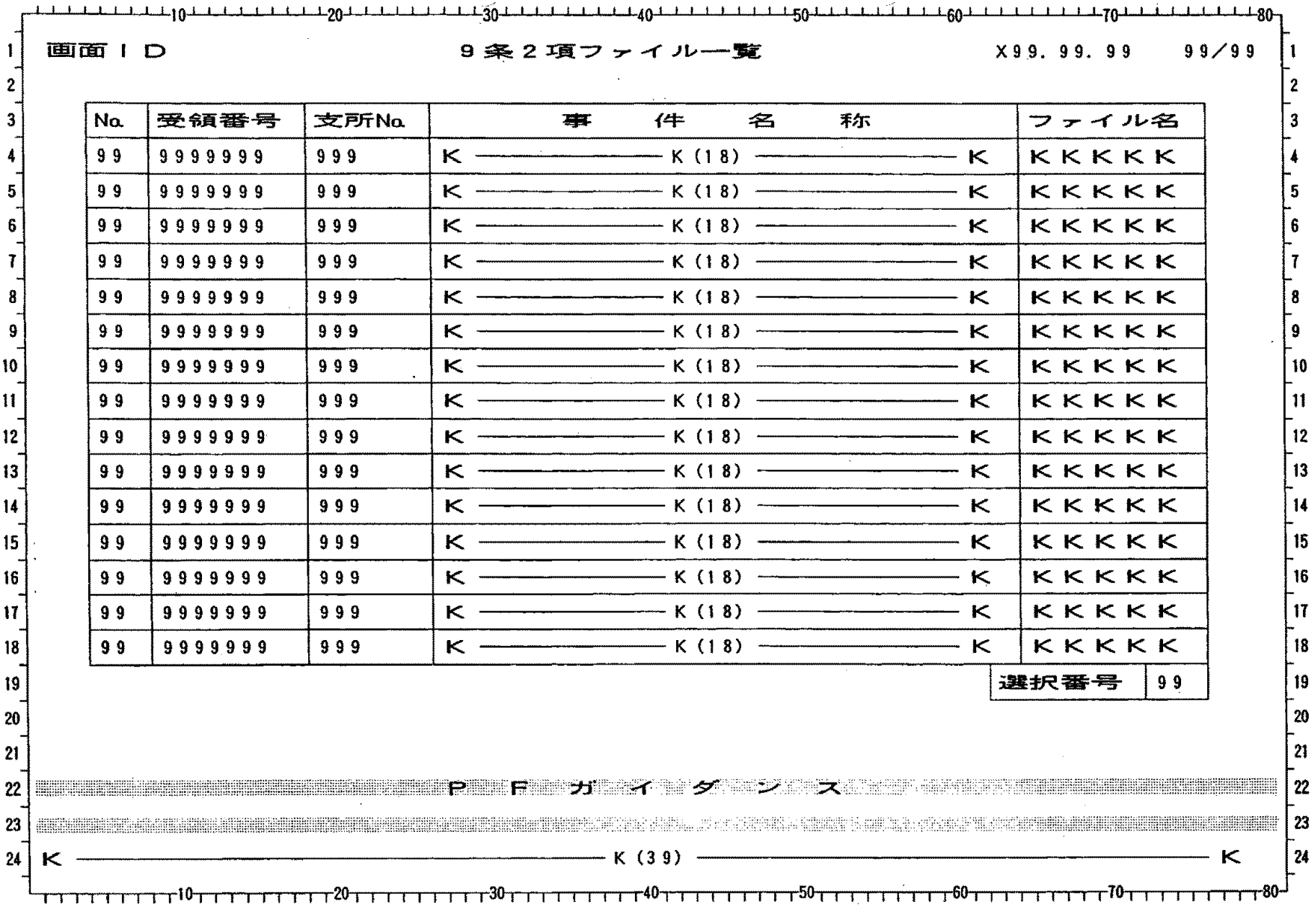
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
住民票異動ファイル	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

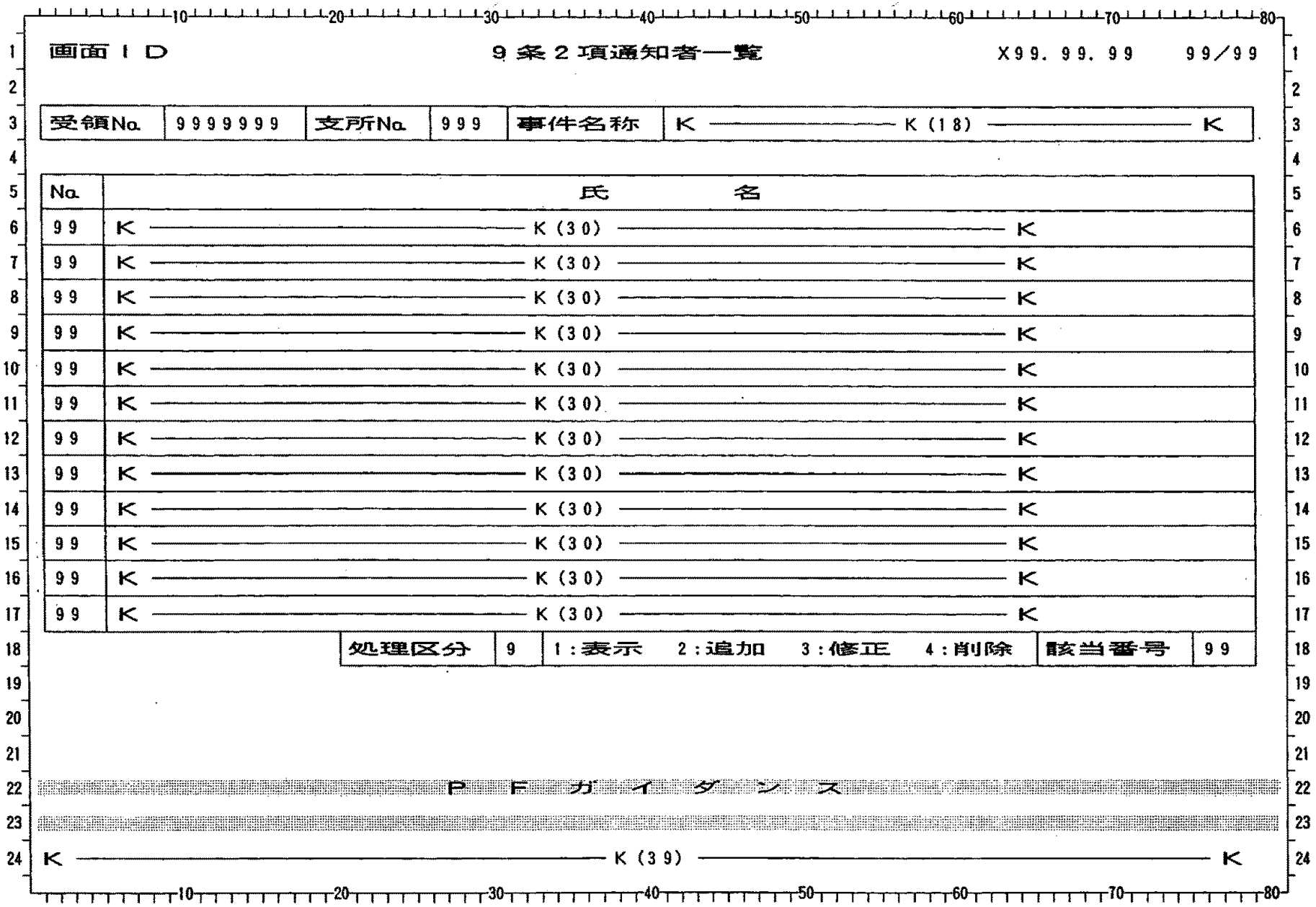
データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理							
処理名	4.3 住民票通知ファイル 作成･更新							

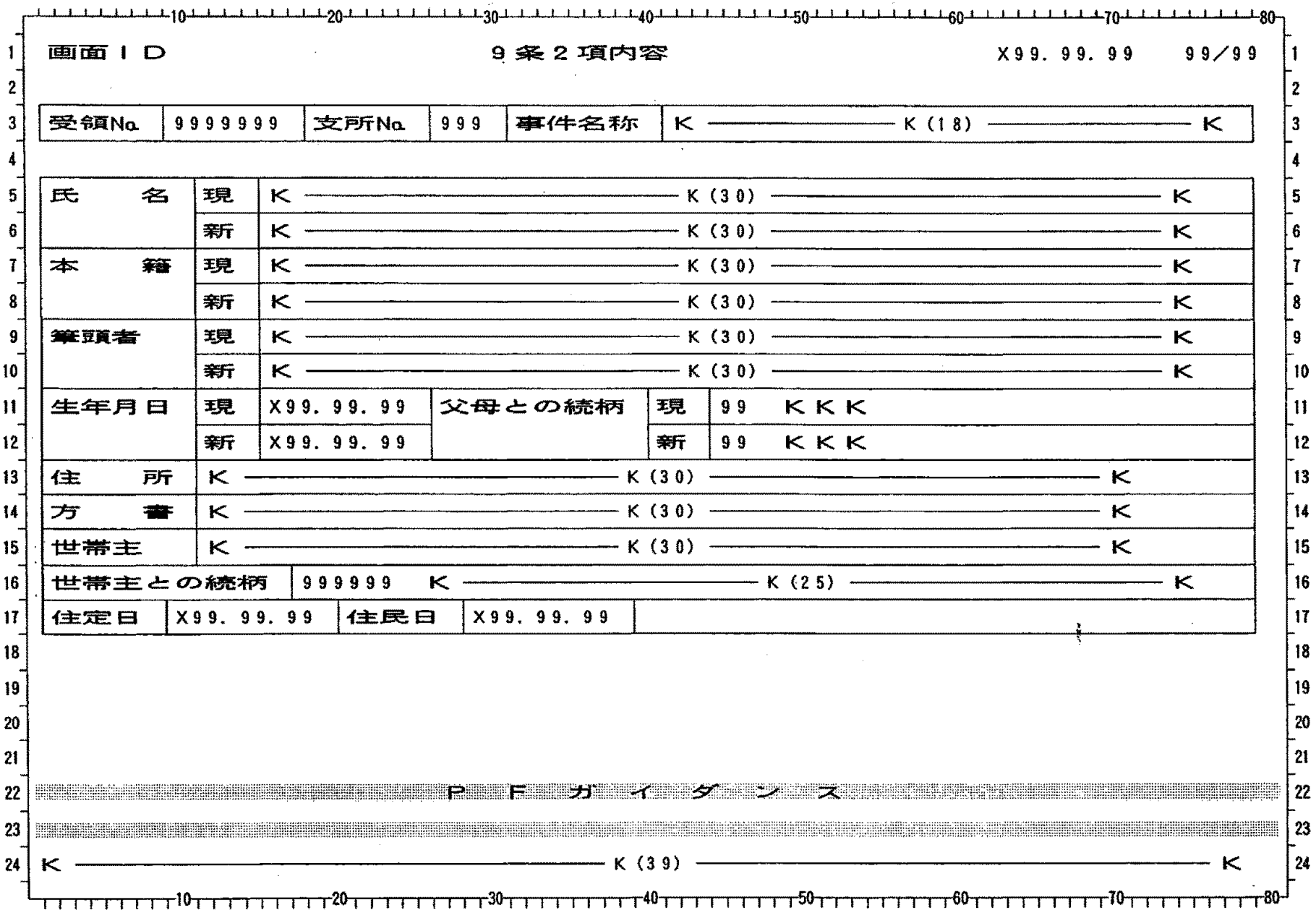
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
住民票通知ファイル	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	市区町村コード		9条2項内容処理	住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			宛名				上記部分を宛名に変換した項目
	事件コード		9条2項内容画面	事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

データ編集表			作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	9条2項内容処理							
処理名	5.0 発送ファイル 作成							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
発送ファイル	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	市区町村コード			住所コード				住所コードの上5桁(送付する市区町村名がわかればよい)
	郵便番号					有		
	住所					有		住所コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号、住所、宛名を設定する
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知		9条2項内容処理					1:「有」を設定する
	附票通知							


画面ＩＤ
９条２項ファイル一覧
X99.99.99
99/99
No.
受領番号
支所No.
事　件　名　称
ファイル名
99
9999999
999
K ―― K(18) ―― K
KKKKK
選択番号
99
PF ガイダンス
K ―― K(39) ―― K


画面ＩＤ
９条２項通知者一覧
X99.99.99
99/99
受領No.
9999999
支所No.
999
事件名称
K
K(18)
K
No.
氏　　名
99
K
K(30)
K
処理区分
9
1:表示　2:追加　3:修正　4:削除
該当番号
99
ＰＦガイダンス
K(39)


画面ＩＤ
９条２項内容
X99. 99. 99 99/99
受領No. 9999999 支所No. 999 事件名称 K K(18) K
氏名 現 K K(30) K
新 K K(30) K
本籍 現 K K(30) K
新 K K(30) K
筆頭者 現 K K(30) K
新 K K(30) K
生年月日 現 X99. 99. 99 父母との続柄 現 99 KKK
新 X99. 99. 99 新 99 KKK
住所 K K(30) K
方書 K K(30) K
世帯主 K K(30) K
世帯主との続柄 999999 K K(25) K
住定日 X99. 99. 99 住民日 X99. 99. 99
ＰＦガイダンス
K K(39) K

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

9条2項ファイル一覧

画面番号		画面名	9条2項ファイル一覧		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	面面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	項番	2	数字	出	
5	受領番号	7	数字	出	
6	支所番号	3	数字	出	
7	事件名称	18	漢字	出	
8	ファイル名称	5	漢字	出	
＊　上記4～8を一画面MAX15件分表示する　（複数ページ有り）					
9	選択番号	2	数字	入	
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

9条2項通知者一覧

画面番号		画面名	9条2項通知者一覧		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	支所番号	3	数字	出	
6	事件名称	18	漢字	出	
7	項番	2	数字	出	
8	氏名	30	漢字	出	
＊　上記7～8を一画面MAX12件分表示する　（複数ページ有り）					
9	処理区分	1	数字	入	1:表示 2:追加 3:修正 4:削除
10	該当番号	2	数字	入	
11	PFガイダンス1	39	漢字	出	
12	PFガイダンス2	39	漢字	出	
13	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

画面項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

適用業務名

9条2項内容処理

画面番号		画面名	9条2項内容

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	支所番号	3	数字	出	
6	事件名称	18	漢字	出	
7	現氏名	30	漢字	入	
8	新氏名	30	漢字	入	
9	現本籍	30	漢字	入	
10	新本籍	30	漢字	入	
11	現筆頭者	30	漢字	入	
12	新筆頭者	30	漢字	入	
13	現生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	新生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	現父母との続柄コード	2	数字	入	コード入力有
16	現父母との続柄名称	3	漢字	出	
17	新父母との続柄コード	2	数字	入	コード入力有
18	新父母との続柄名称	3	漢字	出	
19	住所	30	漢字	入	
20	方書	30	漢字	入	
21	世帯主	30	漢字	入	
22	世帯主との続柄コード	6	数字	入	コード入力有
23	世帯主との続柄名称	25	漢字	出	
24	住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第7.2.(18)
「一括」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	一括処理

1. 処理範囲

(1)該当ファイル全件を検索する処理、またはオンライン処理中に実行すると、著しく性能低下を招くような処理を一括処理として切り分ける。
例えば、高齢者消除の該当者抽出処理のように、戸籍DB全件(現在戸籍)を順次検索し、条件に適合した者を抽出する処理などがあげられる。

2. 処理概要

(1)純粋なるバッチ処理、または、オンライン起動によるバッチ処理など運用形態がシステム処理により異なるが、前者の純粋なるバッチ処理を想定し概要を示す。

(ア)高齢者消除抽出処理
①基準日を指定し、戸籍DBを以下の条件で検索する。
ア)現在戸籍のもの
イ)満100才以上でありかつ他に生存している在籍者が存在しない
ウ)戸籍附票データの住所欄がスペースである
②条件に全て該当する者を抽出し、一覧表に出力する。

以降の処理については、運用にあわせてシステム化を図ること。(参考的に次頁参照)

(イ)本籍町名変更通知
①現本籍と、新本籍の対応表を作成する(事前準備)。
②変更する現本籍コードを指定し、戸籍DBを以下の条件で検索する。
ア)現在戸籍のもの
イ)現本籍コードと同じ戸籍
③条件に全て該当する戸籍事項(本籍、筆頭者)を抽出し、地番順に並び替える。
④地番順に並び替えられたデータを新本籍の対応表と突き合わせ、新本籍を付加する。
⑤現本籍と新本籍の比較が把握できる一覧表を作成。
⑥変更する内容を確認(目検)。
⑦正しければ、新本籍に置き替える(更正事項も付加)。
⑧変更履歴確認リストを出力。
⑨⑤の内容で本籍町名変更通知を作成する。

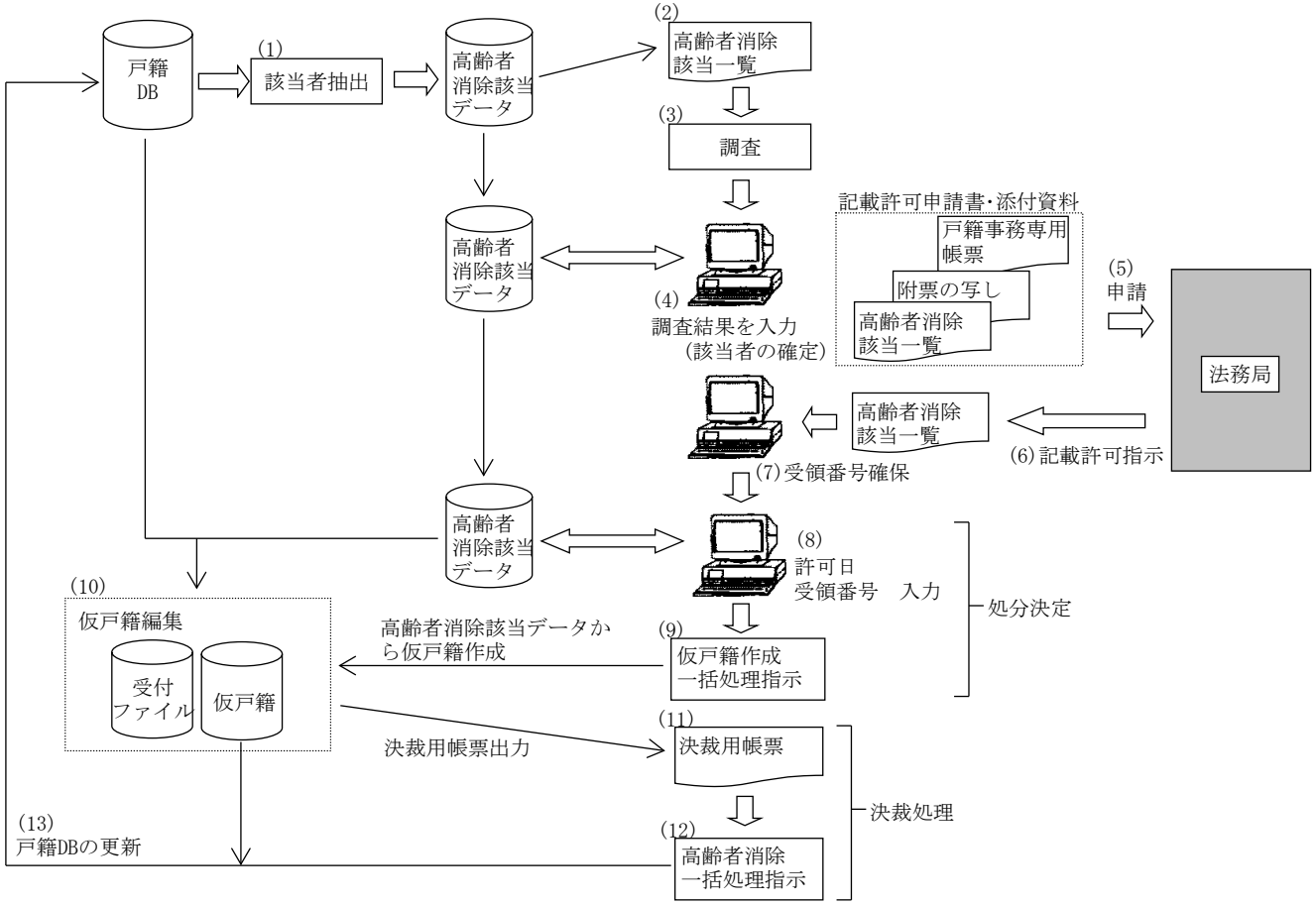
システム処理の概要説明	作成日付	平成 6年12月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	一括処理					

高齢者消除処理

1. 処理概要

戸籍DBから該当データを抽出して一覧表を作成する。(抽出条件は、帳票設計書を参照)
高齢者消除該当一覧表をもとに、調査を行い高齢者消除の許可申請書を作成し法務局に提出する。
法務局から許可を得られた者に対して、高齢者消除処理を行う。高齢者消除処理は、審査結果入力処理で対応するか、バッチ処理で行うかは任せる。
以下に、高齢者消除処理をバッチ処理で行った場合の流れ(参考)を示す。バッチ処理においても、仮戸籍データを作成しオンラインの流れに準じて各事務工程を設定すること。

2. 処理の流れ



第7.2.(19)

「行政区画土地の名称変更」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明		作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更						

0.前提

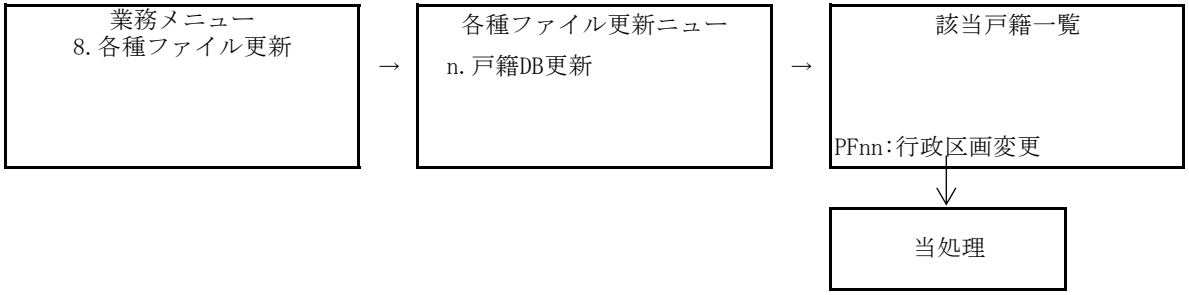
本基準書はオンラインによる「行政区画土地の名称変更」処理の一例を示すものであり、画面・PFキー・位置付け等はサンプルとします。

但し、「行政区画土地の名称変更」処理機能を業務メニュー等の前面に提示することは、なるべく避けていただきたい。

当仕様では、同時に附票DB、住民票異動ファイル、住民票通知ファイルを更新・作成しているが、参考仕様と考えていただきたい。

特に、住民票通知は通常の通知の様式とは自治体毎に異なる可能性が大きいと思える。

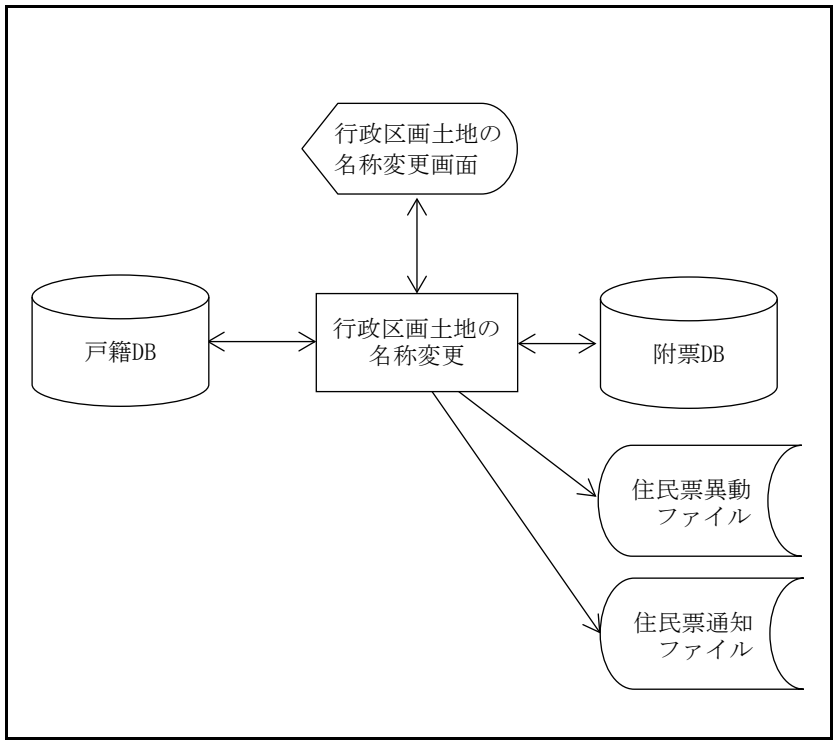
当処理の位置付け(参考)



システム環境仕様書	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1

作業名	行政区画土地の名称変更

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入出力		
附票DB	入出力		
住民票異動ファイル	出力		
住民票通知ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)選択された戸籍に対し,新本籍,記録日,更正事由(事件発生日,事由)を入力し,
戸籍DBを更新する。
(2)当該附票DBを更新する。　←参考
(3)当該戸籍に在籍している者が住所人の場合,住民票異動ファイルを作成する。　←参考
(4)当該戸籍に在籍している者が非住所人の場合,住民票通知ファイルを作成する。←参考

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 単体チェック表
├ 2.0 関連チェック表
├ 3.0 データ編集(戸籍特定DB)
└ 3.1 データ編集(戸籍事項DB)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート				作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更								
処理名	0.0 本紙							根拠法令（マニュアル処理）	
(1)行政区画土地の名称変更画面に必要データを入力する。						/			
(2)キー選択(実行キー、PF3、PF5、PF10、PF12、その他)						/			
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]					/			
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]				/			
		YES	(5)戸籍特定DBの編集･出力 [3.0]			/			
			(6)戸籍事項DBの編集･出力 [3.1]			/			
			(7)附票DBの編集･出力			/		★参考:編集･出力は決裁等参照	
			(8)当該戸籍に在籍している人数分(9)～(11)の処理を繰り返す			/			
				(9)当該戸籍に在籍している者は住所人である(YES,NO)		/			
				YES	(10)住民票異動ファイルの編集･出力	/		★参考:編集･出力は決裁等参照	
				NO	(11)住民票通知ファイルの編集･出力 → (8)へ	/		★参考:編集･出力は決裁等参照	
			(12) → (13)へ				(7)同画面を編集する		
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF3	→						(9)該当戸籍一覧へ制御を渡す		
PF5	→						(10)構成員一覧へ制御を渡す		
PF10	→						(11)管内住所SUBへ制御を渡す		
PF12	(12)入力画面を初期化する						(13)同画面を編集する		
その他	(14)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました」を表示する								

データチェック（単体表）				作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更								
処理名				画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表				行政区画土地の名称変更					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	新本籍	○	漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		管内住所SUBより
2	記録日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」、未来日チェック			
3	事件発生日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」、未来日チェック			
4	事件発生事由		数字	1:土地の名称変更　～　6:町となったため			
5	事由入力		漢字				

データチェック（関連表）		作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		行政区画土地の名称変更					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.2)記録日 ≧ (No.3)事件発生日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)事件発生事由、(No.5)事由入力　のいずれか一方に入力があること			
3	(No.1)新本籍は現在の本籍と異なること			

データ編集表			作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更							
処理名	3.0 戸籍特定編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍特定	戸籍番号		行政区画土地の名称変更画面					
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			新本籍のコード				*当然、管内のみ
	本籍			新本籍				
	筆頭者							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍･除籍区分							
	戸籍異動区分							

データ編集表			作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更							
処理名	3.1 戸籍事項編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
戸籍事項	戸籍番号		行政区画土地の名称変更画面					
	行番号							
	出力区分							「0」を設定
	タイトルコード							7001:「更正」を設定
	記録コード							7001:「基本事項の更正の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			記録日				
	更正 更正日			記録日				
	更正 更正事項							’本籍’を設定
	更正 更正事由			事件発生日				(事件発生日) + 選択された(事件発生事由) 又は (事件発生日) + (事由入力)を編集し、設定
				事件発生事由				
				事由入力				
	従前の記録			本籍				
	特記事項							

補足説明書	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和 年 月 日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更					

行政区画土地の名称変更画面(サンプル)

```
PROGRAM-ID                 行政区画土地の名称変更(入力)        X.99.99.99

 本        籍  K ──────────────────────────────────────────────────── K
 筆   頭   者  K ──────────────────────────────────────────────────── K

 新     本     籍  K ──────────────────────────────────────────────── K
 記     録     日  9 99 99 99        【更正日】に記録されます。
 更   正   事   由
   事件発生日     9 99 99 99        【更正事由】日付＋事由の日付へ記録されます
   事件発生事由   9  下記区分を入力して下さい。ない場合は直接事由入力となります
       事由入力   K ──────────────────────────────────────────────── K
                  K ──────────────────────────────────────────────── K
                     (事     由) 1. 土地の名称変更
                                 2. 行政区画変更
                                 3. 行政区画の名称変更
                                 4. 行政区画及び土地の名称変更
                                 5. 市となったため
                                 6. 町となったため

 PF3:該当戸籍選択   PF5:戸籍構成員一覧   PF10:管内住所選択
                    PF12:画面初期          実    行:確認画面
```

本籍　:選択された戸籍の本籍　(表示)
筆頭者:選択された戸籍の筆頭者氏名　(表示)

新本籍:管内住所SUB等で設定した本籍　(入力)
記録日:更正する日　(入力)

事件発生日　:更正事案施行日　(入力)
事件発生事由:事由区分(1～6)　(入力)
事由入力　:事由入力領域　(入力)

補足説明書	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	行政区画土地の名称変更					

行政区画土地の名称変更　前

（1の1）　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製	【編製日】平成１０年１月１日
戸籍に記録されている者	【名】義太郎

行政区画土地の名称変更　後

（1の1）　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町八丁目１０番地 河野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製 更　　正	【編製日】平成１０年１月１日 【更正日】平成１２年１月５日 【更正事項】本籍 【更正事由】平成１２年１月１日行政区画変更 【従前の記録】 【本籍】東京都千代田区平河町一丁目１０番地
戸籍に記録されている者	【名】義太郎

第7.2.(20)

「受付ファイル欠番」処理

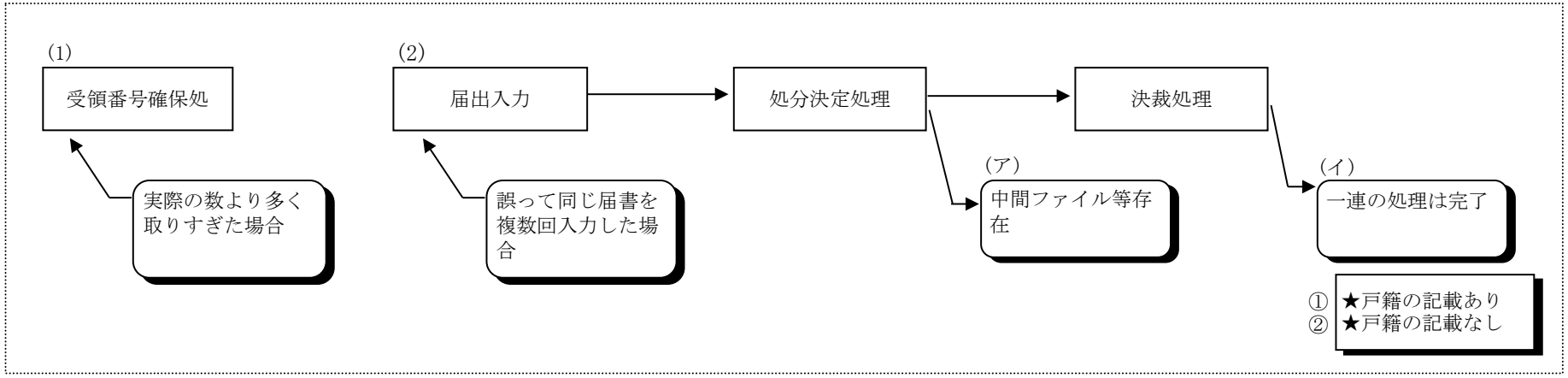
戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

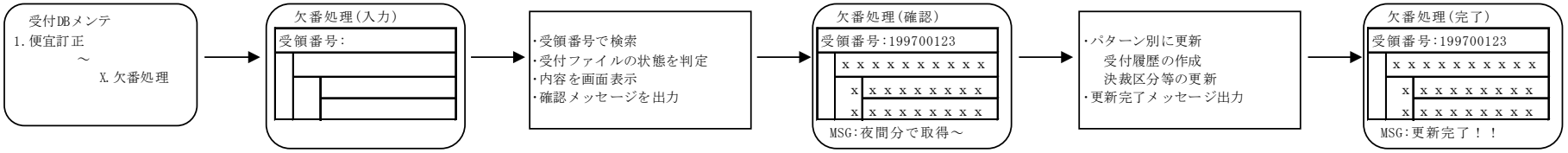
システム処理の概要説明	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	受付ファイル欠番処理					

1.欠番処理の目的
夜間･休日分の受領番号を余分に取得した場合や、非本籍分等の届書入力を誤って複数処理した場合など、1度採番された受領番号に対して取消を行うことを目的とする。

2.処理概要
業務メニューの｢ファイル更新｣→｢受付DBメンテ｣処理内に｢欠番処理｣を設け、異動処理から独立した処理とする。
欠番処理を行うに当たって、受付ファイルの状態により以下のパターンに分類することができると共に、そのパターン毎に処理内容が異なるので確認すること。
《パターン》
(1)夜間･休日分受領番号取得処理において余分に取りすぎた場合
受付ファイルの内容は未入力状態(受領番号のみで、他の項目は初期化状態)
(2)同一届書を複数入力してしまった場合
(ア)決裁処理未完了(処分決定まで完了)
受付ファイルは｢未決裁｣の状態。届書ファイル、仮戸籍ファイル等の中間ファイルが存在する。
(イ)決裁処理まで完了
一連の処理が完了し受付ファイルは｢決裁済｣の状態。届書の内容により、戸籍記載の有無がある。
受理分については、住基法9条2項通知など通知関係のファイルが作成されている。また事件表に関する統計情報もカウントされた状態
①戸籍の記載があるもの
本籍分の同一届書入力を複数行ってしまった場合
②戸籍の記載がないもの
非本籍分の同一届書入力を複数行ってしまった場合、または、本籍人分ではあるが戸籍の記載がないもの



システム処理の概要説明	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	受付ファイル欠番処理					



欠番処理を行おうとする受付ファイルの内容を画面表示させ、操作者が確認できるよう考慮すること。(履歴があれば参照できるのが好ましい)
処理権限(パスワードチェック)を、必要に応じて行うことは特に差し支えない。

3.処理詳細
処理概要であげたパターン別に処理詳細を以下に示す。画面レイアウト等については特に示さないので、必要に応じて設計すること。
受領番号を指定した際に、その受領番号種別をシステムが判定し確認させるためのメッセージを出力するものとする。

3.1　夜間･休日分受領番号取得処理において余分に取りすぎた場合
・受領番号を指定入力
・確認メッセージ出力:「夜間分で取得された受付帳です」
・受付ファイルの決裁区分を書き換えて更新する。(履歴レコードは作成しない)

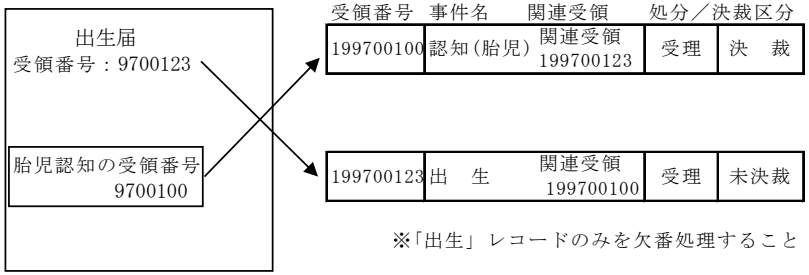
	「受領番号」	「処分区分」	「決裁区分」
更新前	199700100-0	スペース	スペース
更新後	199700100-0	スペース	欠番

3.2　同一届書を誤って複数入力した場合
3.2.1　決裁前
・受領番号を指定入力
・確認メッセージ出力:「決裁前の受付帳です(中間ファイルの削除、同時に作成した受付帳の欠番処理を行います」
・当該届で作成された受付ファイルに履歴を追加して決裁区分が欠番のものを作成する。

	「受領番号」	事件本人　～	「処分区分」	「決裁区分」	
更新前	199700100-0	甲野　太郎	受理	未決裁	
更新後	199700100-0	甲野　太郎	受理	欠番	
	199700100-1		スペース	欠番	←追加

システム処理の概要説明	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	受付ファイル欠番処理					

・当該届で複数作成された受付ファイルについても上記と同様な処理を行うものとする。
　届書の同時決裁受領番号を参照し欠番処理を行う。→胎児認知の出生届で認知の受付帳を欠番処理しないための方策)
　基本となる届出の受領番号からでないと選択できないため。(届書ファイルは基本部のみ)



⇒既に一連処理完了済

出生届を欠番する場合、既に作成されている「認知(胎児)」の受付レコードまで欠番しないよう注意が必要である。
あくまで、該当届出で作成された受付レコードを対象とすること。

・本籍人の場合、戸籍にロックがかかっているので解除する。
・中間ファイルの削除処理を行う。
　仮戸籍ファイル、届書ファイル、エラー履歴ファイル、(要旨ファイル)

3.2.2　決裁後
(1)戸籍に記載があるもの
　・欠番処理は不可
　　戸籍訂正処理により対応することとなる。
　　但し、システム側で戸籍記載の有無について判定できないため、操作員が判断するものとする。

(2)戸籍に記載がないもの
　・受領番号を指定入力
　・確認メッセージ出力:「決裁済の本籍人分の受付帳です。戸籍に記載されているか内容を確認して下さい。」 ← 本非区分を判定してメッ
　　「決裁済の非本籍人分の受付帳です。内容を確認して下さい。」 ← セージ内容を変える。
　・指定された受領番号のみの受付ファイルに履歴を追加して決裁区分が欠番のものを作成する。

	「受領番号」	事件本人　～	「処分区分」	「決裁区分」	
更新前	199700100-0	甲野　太郎	受理	決裁	
更新後	199700100-0	甲野　太郎	受理	決裁	
	199700100-1		スペース	欠番	←追加

複数受付ファイルが作成されている届出であったとしても、個別に指定し複数回処理するものとする。

システム処理の概要説明	作成日付	平成 10年2月27日	改訂日付	令和　年　月　日	版	1
作業名	受付ファイル欠番処理					

※作成済のファイル等については、システムから更新等連動しない
・統計(事件表):そのまま
・送付目録　　:印刷物を修正
・通知関係　　:印刷物を廃棄
・人口動態　　:人口動態システムにおいて欠番処理を行う

4.欠番データの扱い

(1)検索画面表示
・一覧画面には表示させないものとする。
→事件本人氏名等による検索を行っても、一覧表示および詳細表示できないものとする
・詳細表示については、受領番号ダイレクト検索により表示できるものとする。
・詳細表示の際、極力最新データを先に表示する。
→欠番のデータは、内容が初期化状態のため履歴データを先に表示した方が良いとの考えもあるため

(2)受理証明書
受理証明書の発行を抑止するものとする
(送付分と同様に発行できないような仕掛けを設ける)

(3)受付帳(印刷)
印刷する際に、「欠番」のレコードをスキップし出力しない方が望ましい。
(欠番のデータは、受付帳(ファイル)ではない扱いとなるため)

5.補足
「帰化」「入籍」届出において、当初入力した人数に変更があった場合も欠番処理にて対応することとなる。
【理由】:届出入力側で再入力時に人数のチェックを行っているため変更ができない。

(1)増分するケース(3人→4人)
・増分の1名を新規届書入力で対応
・受付ファイルメンテで関連受領番号を入力し対応付けする
(連続した受領番号を付番する場合には、右記(2)の処理を行う)

(2)減少するケース(4人→3人)
・当初入力した該当届について欠番処理を行う(必ず決裁前の状態)
・正しい人数で再度新規届書入力する
(当初入力した届出は欠番(取消))

第7.2.(21)「再製」処理

21.再製

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明	作成日付	平成10年2月27日	改訂日付	平成17年 3月1日	版	9

作業名	再製

1.処理範囲
(1)申出再製制度により相当と認められる関係人から再製の申出があった場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。
システム戸籍において再製が発生する場合として以下のような事案等が考えられる。
・市区町村長の過誤により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
・錯誤による届出等により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
・虚偽の届出等により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
(2)成年後見制度により成年後見登記センタに移行した場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。
(3)嫡出でない子の戸籍における父母との続柄の更正後、再製の申出があった場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。

2.処理概要
(1)再製処理
ア)再製後のシステム戸籍の作成に関して、戸籍情報システムでその機能を規定することを必須とはしないが以下の点に留意する。
(但し、戸籍情報システムで対応するとした場合の戸籍処理選択メニューへの組み込みは、メーカーの任意とする。)
・再製原戸籍の戸籍特定の戸籍・除籍区分は、再製の事由により設定内容を区別する。
申出再製制度により再製した場合:「4:申出再製原戸籍」とする。
成年後見制度により再製した場合:「3:再製原戸籍」とする。
申出再製制度発足前に成年後見制度による再製以外で再製した場合:「3:再製原戸籍」とする。
・保存年限について
戸籍・除籍区分が「3:再製原戸籍」の場合は1年保存の対象とする。
戸籍・除籍区分が「4:申出再製原戸籍」の場合は以下2通りとする。
Ⅰ.戸籍法第11条の2第1項の規定による再製の場合…80年
Ⅱ.戸籍法第11条の2第2項の規定による再製の場合…1年
※除籍を再製する場合、再製完了時点で除籍の保存年限が再製原戸籍の年限より下の場合は、除籍の保存年限を継続で活用する。
・再製をした際の戸籍特定の各種日付の設定内容については以下の内容に従う。

〈戸籍の再製〉

日　付	再製原戸籍	再製後の戸籍
編製日	変更なし	変更なし
改製日	変更なし	変更なし
回復日	変更なし	変更なし
消除日	再製した日	変更なし

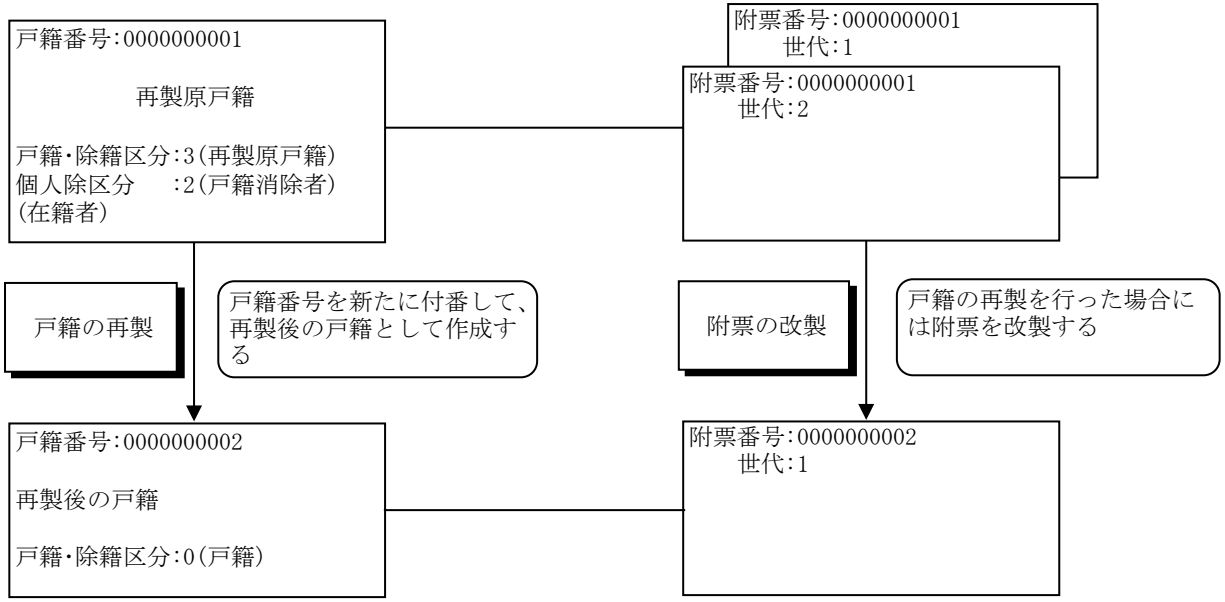
〈除籍の再製〉

日　付	再製原戸籍	再製後の戸籍
編製日	変更なし	変更なし
改製日	変更なし	変更なし
回復日	変更なし	変更なし
消除日	変更なし	変更なし

・再製原戸籍中の在籍している個人の個人特定の個人除区分は「2:戸籍消除者」とする。
(在籍者以外は設定中の内容の通りとする。)
・統計において、「戸籍の再製・補完」(事件表　第2表)を計上する。
・統計において、「新戸籍編製」「戸籍全部消除」(事件表　第2表)は計上しない。
・統計において、「本籍数」「本籍人口数」(事件表　第3表)は計上しない。
再製により人の増減は発生しない。戸籍訂正により、人を増減させてから再製する。
・受付ファイルは作成しない。

システム処理の概要説明	作成日付	平成10年2月27日	改訂日付	平成17年 3月1日	版	9
作業名	再製					

イ)再製処理後の再製原戸籍、戸籍及び附票データの持ち方
・再製処理を行うことにより、再製原戸籍、戸籍及び附票データの関連は以下のようにする。
(但し、附票に関してはサンプル提示である。)
※申出再製制度発足以前に成年後見制度による再製以外で再製した場合または成年後見制度による再製をした場合のデータの持ち方の事例
申出再製制度による再製の場合は、上記事例における再製原戸籍の戸籍・除籍区分が「4:申出再製原戸籍」となる。



システム処理の概要説明	作成日付	平成10年2月27日	改訂日付	平成17年 3月1日	版	9
作業名	再製					

(2)再製原戸籍の扱いに関して

ア)画面表示

・システム上で再製原戸籍であることの認識が行えること。
画面上に再製原戸籍と分かる表記がある、該当戸籍を選択すると再製原戸籍である旨のメッセージが表示される等

イ)証明書･帳票の発行

・再製原戸籍の戸籍証明書としての発行は抑止する。
・再製原戸籍の戸籍事務専用帳票としての発行は可能とする。出力帳票を図1及び図2に示す。
・認証文については以下に示す。
申出再製制度による再製原戸籍の場合　　:「これは,戸籍法第11条の2第1項(又は第2項)の規定による再製原戸籍の写しである。」(図1参照)
申出再製制度以外による再製原戸籍の場合:「これは,再製原戸籍に記録されている全ての事項を出力したものである。」(図2参照)
・証明枠の左上の枠に「再製原戸籍」と印字する。
・一般行政証明として出力する場合、証明書右上の「事務専用帳票」及び管掌者コードが表示されるのは好ましくない。一般行政証明としてのレイアウトを次頁図3及び図4に示す。認証文は戸籍事務専用帳票と同様である。

ウ)再製原戸籍の訂正

・訂正を行う･行わないかは自治体の判断による。
・訂正を行う場合は、履歴を残した訂正をする(訂正事項を付記する)。
・再製原戸籍訂正単独の受付ファイルは作成しない。

再製現戸籍	(1の1) 戸籍事務専用
本籍	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
氏名	甲野　太郎
戸籍事項 0101 戸籍改製 0103 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】戸籍法第１１条の２第１項の規定による再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】太郎 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 0101 出　生	【略】
0102 婚　姻	【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは,戸籍法第11条の2第1項(又は第2項)の規定による再製原戸籍の写しである。
平成yy年yy月yy日

図1　申出再製制度による再製原戸籍(戸籍事務専用帳票)

再製現戸籍	(1の1) 戸籍事務専用
本籍	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
氏名	甲野　太郎
戸籍事項 0101 戸籍改製 0103 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】太郎 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 0101 出　生	【略】
0102 婚　姻	【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは,再製原戸籍に記載されている全ての事項を出力したものである。
平成yy年yy月yy日

図2　申出再製制度による再製原戸籍(戸籍事務専用帳票)

システム処理の概要説明	作成日付	平成10年2月27日	改訂日付	平成17年 3月1日	版	9
作業名	再製					

再 製 原 戸 籍	（1の1）
本　　籍	ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
氏　　名	甲野　太郎
戸籍事項 戸籍改製 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】戸籍法第１１条の２第１項の規定による再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】 太郎 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 出　　生	【略】
婚　　姻	【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは，戸籍法第11条の2第1項（又は第2項）の規定による再製原戸籍の写しである。

平成yy年yy月yy日

東京都△△△△市長　東京　太郎　職印

図3　申出再製制度による再製原戸籍（一般行政証明書）

再 製 原 戸 籍	（1の1）
本　　籍	ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ
氏　　名	甲野　太郎
戸籍事項 戸籍改製 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】 太郎 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 出　　生	【略】
婚　　姻	【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは，再製原戸籍に記載されている全ての事項を出力したものである。

平成yy年yy月yy日

東京都△△△△市長　東京　太郎　職印

図4　申出再製制度以外による再製原戸籍（一般行政証明書）

第7.2.(22)

本人届出確認台帳管理
(サンプル)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

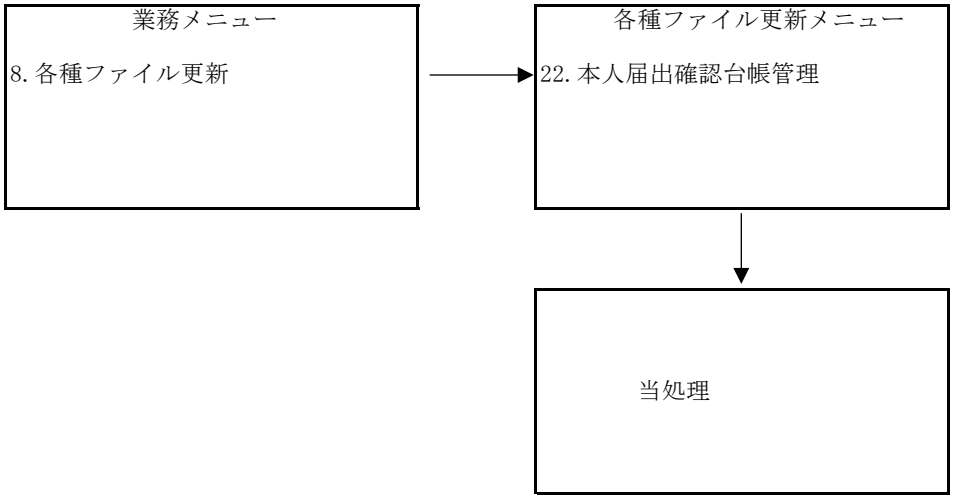
システム処理の概要説明	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1

作業名	本人届出確認台帳管理

0. 前提

・本仕様創設的届における届出本人確認用の確認台帳の管理処理の一例を示すものです。

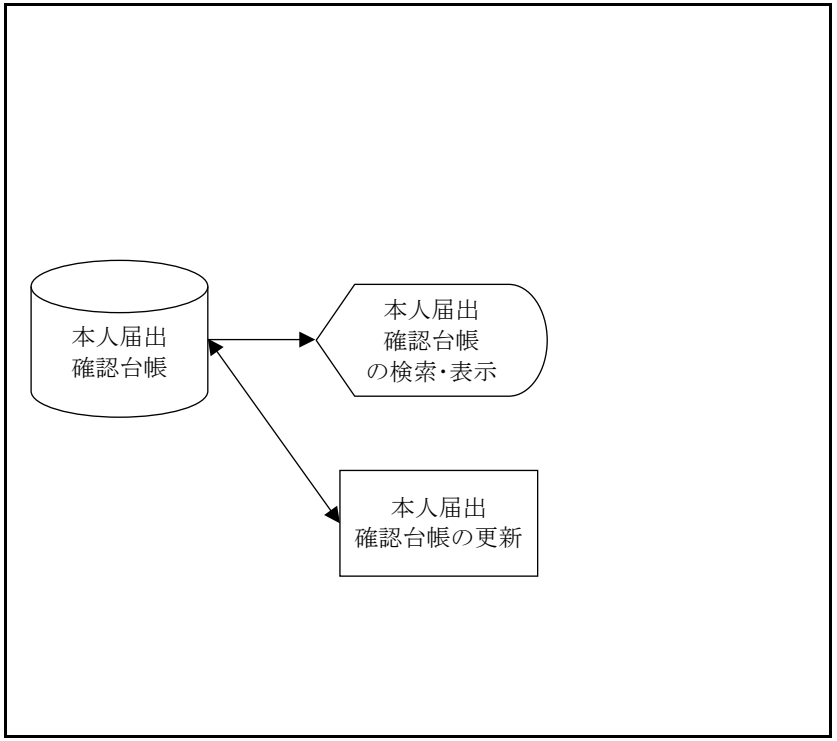
・当処理の位置付け



システム環境仕様書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1

作業名	本人届出確認台帳管理

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
本人届出確認台帳ファイル	入出力		
本人届出確認通知ファイル	入出力		
発送ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる本人届出確認台帳の検索
- a.受領番号(9桁)
- b.受付日　　※範囲指定も検索可能
- c.事件名
- d.漢字氏名(氏、氏名)
- e.処分区分
- f.台帳対象区分

(2)キーを基に本人届出確認台帳を検索し、データの内容等を編集する
(3)本人届出確認台帳一覧画面の表示
(4)本人届出確認台帳の更新

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック表
- 2.0 関連チェック表
- 3.1 データ編集表(検索画面編集)
- 5.2 データ編集表(確認台帳表示・更新画面編集)

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1

作業名	本人届出確認台帳管理
処理名	0.0 本紙

										備考
(1)本人届出確認台帳検索画面を表示する。								/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、その他)								/		
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0][2.0]							/		
	YES	(4)受領番号～台帳対象区分で本人届出確認台帳ファイルを検索する。						/		
		(5)0 < 検索件数 < 100 か?(YES,NO)						/		
		YES	(6)本人届出確認台帳検索画面を編集・表示する。 [3.1]					/		
			(7)キー選択(該当番号の入力(実行キー)、PF1、PF7、PF8、PF12、その他)					/		
			実行キー	(8)該当番号のチェック(OK:YES,NG:NO)				/		
				YES	(9)本人届出確認台帳表示・更新画面(該当受領番号)を編集・出力する。 [3.2]				(10)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す	
					(11)キー選択(PF1、PF7、PF8、PF9、その他)				(12)同画面を編集する	
					PF1	→			(13)業務選択画面に制御を渡す	
					PF2	→			(14)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す	
					PF7	(15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/		
						YES	(16)前ページ分の本人届出確認台帳表示・更新画面編集			
						NO	(17)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する		(18)同画面を編集する	
					PF8	(19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/		
						YES	(20)次ページ分の本人届出確認台帳表示・更新画面編集		(20-1)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す	
						NO	(21)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する		(22)同画面を編集する	
					PF9	(23)本人届出確認台帳ファイルを更新する。			(24)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す	
					その他	(25)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(26)同画面を編集する	

要件定義ワークシート						作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名			本人届出確認台帳管理								
処理名			0.0 本紙							備考	
				NO	(27)エラーメッセージ 「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」 を表示する						
			PF1	→				(28)業務選択画面に制御を渡す			
			PF7	(29)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/					
				YES	(30)前ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集			(31)同画面を編集する			
				NO	(32)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
			PF8	(33)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/					
				YES	(34)次ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集						
				NO	(35)エラーメッセージ 「最終ページです。」を表示する						
			PF12	(36)入力画面を初期化する							
			その他	(37)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する							
		NO	(38)検索件数 ＝ 0	エラーメッセージ 「該当がありません。再度、検索キーを入力して ください。」を表示する							
			(39)検索件数>99	エラーメッセージ 「該当が多すぎます。再度、検索キーを入力して ください。」を表示する							
	NO	(40)エラーメッセージ 「検索キーが正しくありません。再度、検索キーを入力してください。」 を表示する									
PF1	→							(41)業務選択画面に制御を渡す			
PF12	(42)入力画面を初期化する							(43)同画面を編集する			
その他	(40)エラーメッセージ　「無効なキーが入力されました。」を表示する										

データチェック（単体表）		作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理						
処理名		画面名	画面ID				
1.0　単体チェック表		本人届出確認台帳検索画面					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	受領番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受付事件		数字	※コード一覧参照			
3	受付日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	受付日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	漢字氏名		漢字				
6	処分区分		数字	※コード一覧参照			
7	台帳対象区分		数字	(1:対象、2:対象外)であること			

データチェック（関連表）		作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理						
処理名		画面名	画面ID				
2.0　関連チェック表		本人届出確認台帳検索画面					

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)受領番号 ＝ スペース(未入力) かつ (No.2)受付事件 ＝ スペース(未入力) かつ (No.3)受付日(1) ＝ スペース(未入力) かつ (No.4)受付日(2) ＝ スペース(未入力) かつ (No.5)漢字氏名 ＝ スペース(未入力) かつ (No.6)処分区分 ＝ スペース(未入力) かつ (No.7)台帳対象区分 ＝ スペース(未入力) の時	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.2)受付事件 ＝ スペース(未入力) かつ (No.3)受付日(2) ＝ スペース(未入力) の時			

データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.1 検索画面編集	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面				← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認台帳 検索画面	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号							
	受付事件							
	受付日1							
	受付日2							
	処分区分							
	台帳対象区分							
	漢字氏名							
	No1～n		本人届出確認台帳 ファイル					1～n件のシーケンス番号設定
	受領番号1～n			受領番号				
	受付日1～n			受付日				
	受付事件1～n			受付事件コード		有		
	氏名1～n			漢字氏名				

データ編集表			作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理							
処理名	3.2 確認台帳表示・更新画面編集		(受取側) 本人届出確認台帳表示・更新画面		← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認台帳表示・更新画面	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号		本人届出確認台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件			受付事件コード		有		
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分		有		
	台帳対象区分			台帳対象区分		有		
	事件本人(1) 氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)		有		
	確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	事件本人(2) 氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)		有		

データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.2 確認台帳表示･更新画面編集			(受取側) 本人届出確認台帳表示･更新画面		← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		確認方法1(2)			確認方法1(2)		有		
		確認手段1(2)			確認手段1(2)				
		確認方法2(2)			確認方法2(2)		有		
		確認手段2(2)			確認手段2(2)				
		確認担当者(2)			確認担当者(2)				
		通知要否(2)			通知要否(2)		有		
		通知日(2)			通知日(2)				
		通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	事件本人(3)	氏名(3)			漢字氏名(3)				
		住所(3)			住所(3)				
		本人区分(3)			本人区分(3)		有		
		来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
		確認区分(3)			確認区分(3)		有		
		確認方法1(3)			確認方法1(3)		有		
		確認手段1(3)			確認手段1(3)				
		確認方法2(3)			確認方法2(3)		有		
		確認手段2(3)			確認手段2(3)				
		確認担当者(3)			確認担当者(3)				
		通知要否(3)			通知要否(3)		有		
		通知日(3)			通知日(3)				
		通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	事件本人(4)	氏名(4)			漢字氏名(4)				
		住所(4)			住所(4)				
		本人区分(4)			本人区分(4)		有		
		来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
		確認区分(4)			確認区分(4)		有		
		確認方法1(4)			確認方法1(4)		有		

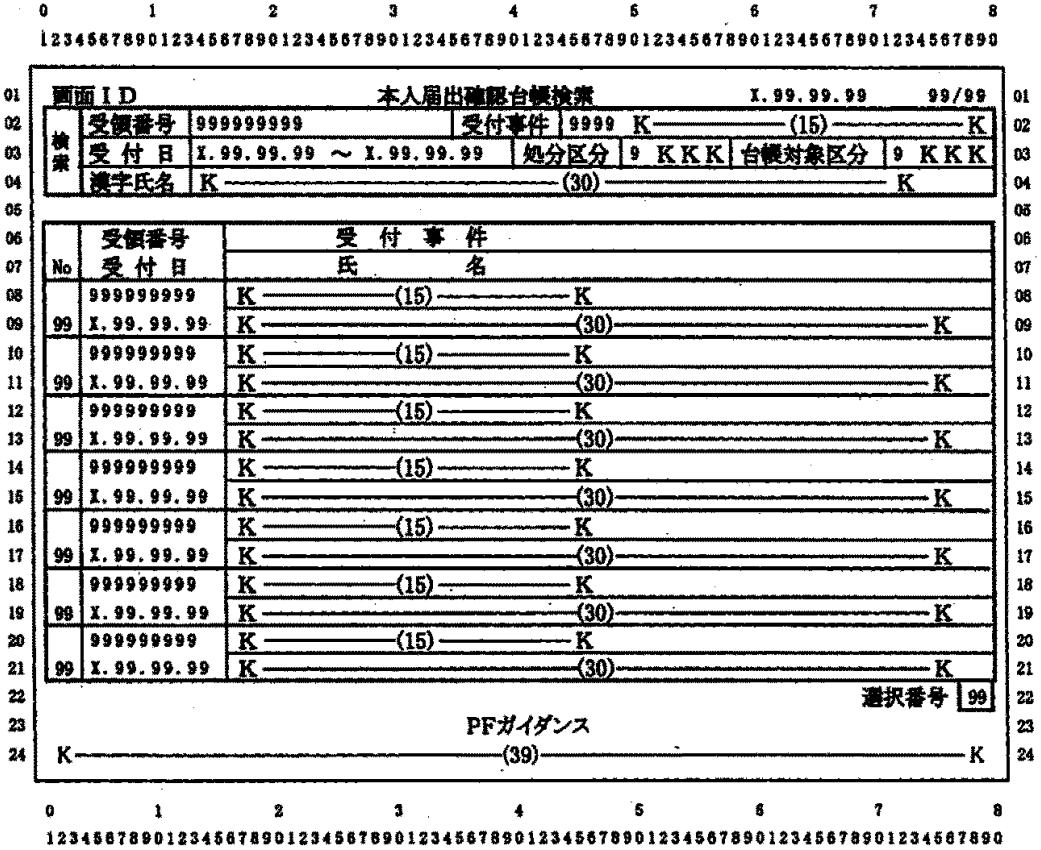
データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.2 確認台帳表示･更新画面編集			(受取側) 本人届出確認台帳表示･更新画面		← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		確認手段1(4)			確認手段1(4)				
		確認方法2(4)			確認方法2(4)		有		
		確認手段2(4)			確認手段2(4)				
		確認担当者(4)			確認担当者(4)				
		通知要否(4)			通知要否(4)		有		
		通知日(4)			通知日(4)				
		通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人(1)	氏名(1)			届出人氏名(1)				
		住所(1)			届出人住所(1)				
		本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
		来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
		確認区分(1)			届出人確認区分(1)		有		
		確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
		確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
		確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
		通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
		通知日(1)			届出人通知日(1)				
		通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人(2)	氏名(2)			届出人氏名(2)				
		住所(2)			届出人住所(2)				
		本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
		来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
		確認区分(4)			届出人確認区分(2)		有		
		確認方法1(4)			届出人確認方法1(2)		有		
		確認手段1(4)			届出人確認手段1(2)				

データ編集表				作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理								
処理名	3.2 確認台帳表示･更新画面編集			(受取側) 本人届出確認台帳表示･更新画面		← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル			
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
		確認方法2(4)			届出人確認方法2(2)		有		
		確認手段2(4)			届出人確認手段2(2)				
		確認担当者(4)			届出人確認担当者(2)				
		通知要否(4)			届出人通知要否(2)		有		
		通知日(4)			届出人通知日(2)				
		通知担当者(4)			届出人通知担当者(2)				
	使者(1)	氏名(1)			使者氏名(1)				
		住所(1)			使者住所(1)				
		確認区分(1)			使者確認区分(1)		有		
		確認方法1(1)			使者確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
		確認方法2(1)			使者確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
		確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者(2)	氏名(2)			使者氏名(2)				
		住所(2)			使者住所(2)				
		確認区分(2)			使者確認区分(2)		有		
		確認方法1(2)			使者確認方法1(2)		有		
		確認手段1(2)			使者確認手段1(2)				
		確認方法2(2)			使者確認方法2(2)		有		
		確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
		確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考				備考				

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理					

本人届出確認台帳検索の画面



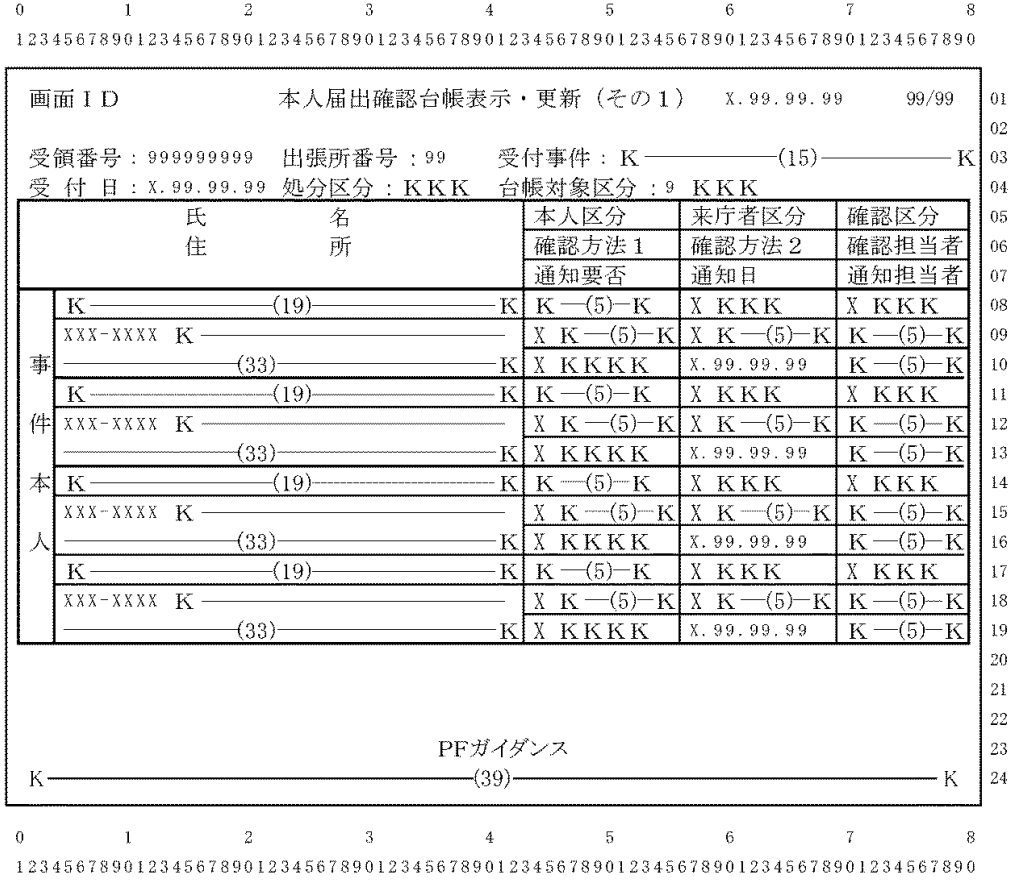
検索キー:受領番号、受付事件、受付日、漢字氏名、処分区分、台帳対象区分

※検索事件数:MAX99件
※受付日は範囲指定も可とする。

氏名:事件本人の複数表示も可とする。

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理					

本人届出確認台帳の画面



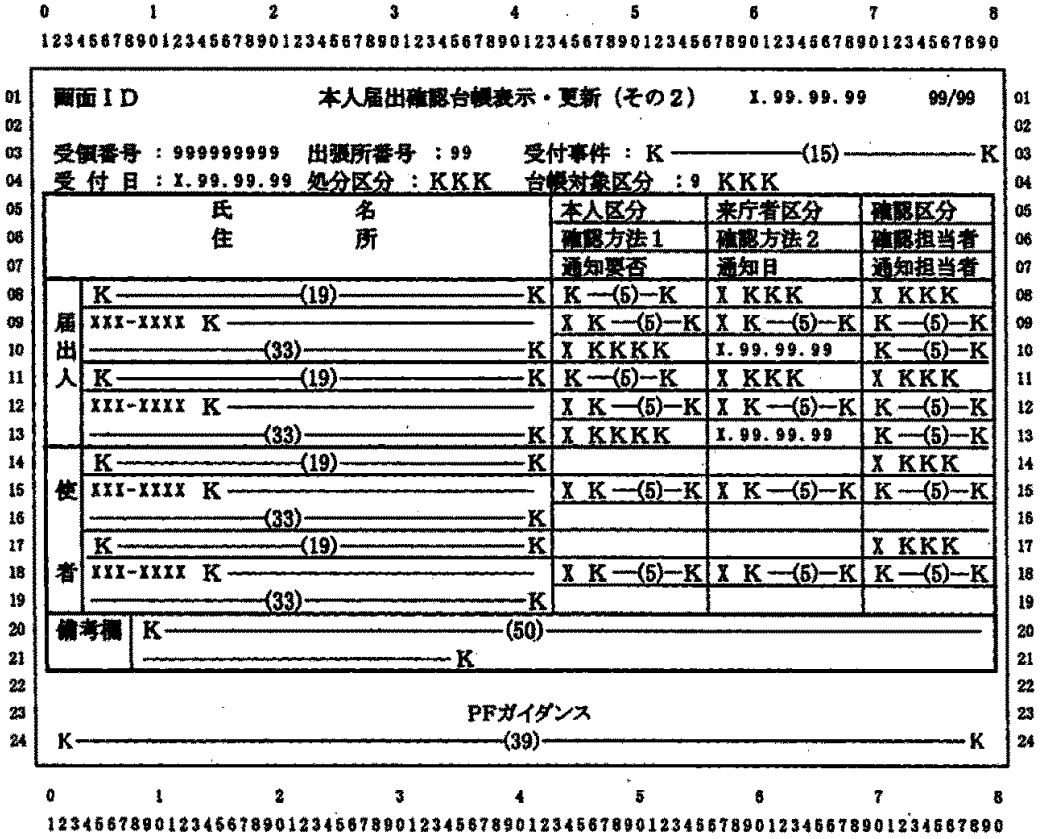
受付事件　:受付事件名
処分区分　:コード一覧参照
台帳対象区分:1.対象
　2.対象外
来庁者区分　:1.来庁者
　2.郵送
確認区分　:1.確認
　:0.未確認
確認方法1･2　:1.運転免許証　2.パスポート
　3.個人番号カード 4.健康保険証
　5.その他
　※「その他」のときはワープロ的に入力できるものとする。
　※その他確認方法の参考例
　クレジットカード、免許証、許可証、学生証などがある
確認担当者　:本人確認をした職員氏名
　※職員コード･職員氏名についてはメーカー任意とする
通知要否　:1.通知要
　2.通知不要
通知日　:届出人に対して通知をした日
通知担当者　:通知をした職員氏名
　※職員コード･職員氏名についてはメーカー任意とする。

本人届出確認通知書:処分決定で発送ファイルが作成された後は、当該処理または帳票出力において発行することは、メーカー任意とする。

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1

作業名	本人届出確認台帳管理

本人届出確認台帳の画面



使者の欄　：入力可能となっているが、運用に合わせて不要としてもよい

備考欄　　：届出人からの連絡の記録等をワープロ的に記録できるものとする

補足説明書	作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理					

本人確認が必要と思われる届

No	届書	届出種類	創設種別	報告種別	届出人候補	事件本人候補	備考
1	出生(認知)	創設・報告	認知	出生	父、母	出生子、父	認知が創設の為、父に対して確認要。
2	出生(国籍留保)	創設・報告	国籍留保	出生	父、母	出生子	国籍留保が創設の為、国籍留保の届出人に対し本人確認要。
3	認知	創設・報告	右以外	裁判認知、外国の方式	父、子、親権者母、親権者養父、親権者養母、その他	父(認知者)、子(被認知者)	
4	養子縁組	創設・報告	右以外	証書提出	養子、養女、養父、養母、法定代理人(父、母、母の親権者、特別代理人、母の未成年後見人、未成年後見人、未成年後見監督人、児童福祉施設の長)	養子、養女、養父、養母	
5	養子離縁	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養親、養子	養親、養子	養子が15歳未満のときは法定代理人(親権者、後見人)が届出人になる。
6	73の2	創設	創設のみ	無	離縁によって縁組前の氏に復した者	離縁によって縁組前の氏に復した者	届出人は本人のみ。法定代理人も不可。
7	離縁同時73の2	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養子、養女、養父、養母	養子、養女、養父、養母	
8	婚姻	創設・報告	右以外	証書提出	夫、妻	夫、妻	
9	離婚	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	
10	77の2	創設	創設のみ	無	複氏者	復氏者	
11	離婚同時77の2	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	創設的な離婚時、77の2は離婚の本人確認状態を引き継ぐ。 報告的な離婚時、77の2は77の2の処分決定で本人確認情報を入力する。
		創設	創設のみ	無	夫、妻	夫、妻	
12	親権(管理権)	創設・報告	親権辞任、親権回復、管理権辞任、管理権回復、親権者指定(協議)	親権変更、親権喪失、管理権喪失、親権者指定(調停・裁判)	父、母、養父、養母、親族	親権者、未成年の子、親権協議者	
13	復氏	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	
14	姻族関係終了	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	

補足説明書						作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理										
No	届書	届出種類	創設種別	報告種別	届出人候補		事件本人候補	備考			

補足説明書						作成日付	平成15年5月30日	改訂日付	令和　年　月　日	版	7.1
作業名	本人届出確認台帳管理										
15	入籍	創設	創設のみ	無	入籍者、入籍者の配偶者(配偶者があるとき)、法定代理人(15歳未満のとき)		入籍者	民791条2項の場合は氏変更許可の審判所の謄本が必要			
16	分籍	創設	創設のみ	無	分籍者		分籍者				
17	国籍選択	創設	創設のみ	無	親権者父、親権者母、親権者養父、親権者養母、未成年後見人、法定代理人		国籍選択者				
18	107の2	創設	創設のみ	無	外国人との婚姻による氏の変更者		外国人との婚姻による氏の変更者				
19	107の3	創設	創設のみ	無	事件本人		事件本人				
20	転籍	創設	創設のみ	無	筆頭者、配偶者、親権者父、親権者母、親権者養父、親権者養母、未成年後見人		筆頭者、配偶者				

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

適用業務名

本人確認通知

1.様式

(1)A4版縦

2.編集条件

(1)出力サイクル
日時

(2)抽出条件
本人届出確認台帳ファイルから該当項目を抽出

(3)出力条件
特になし

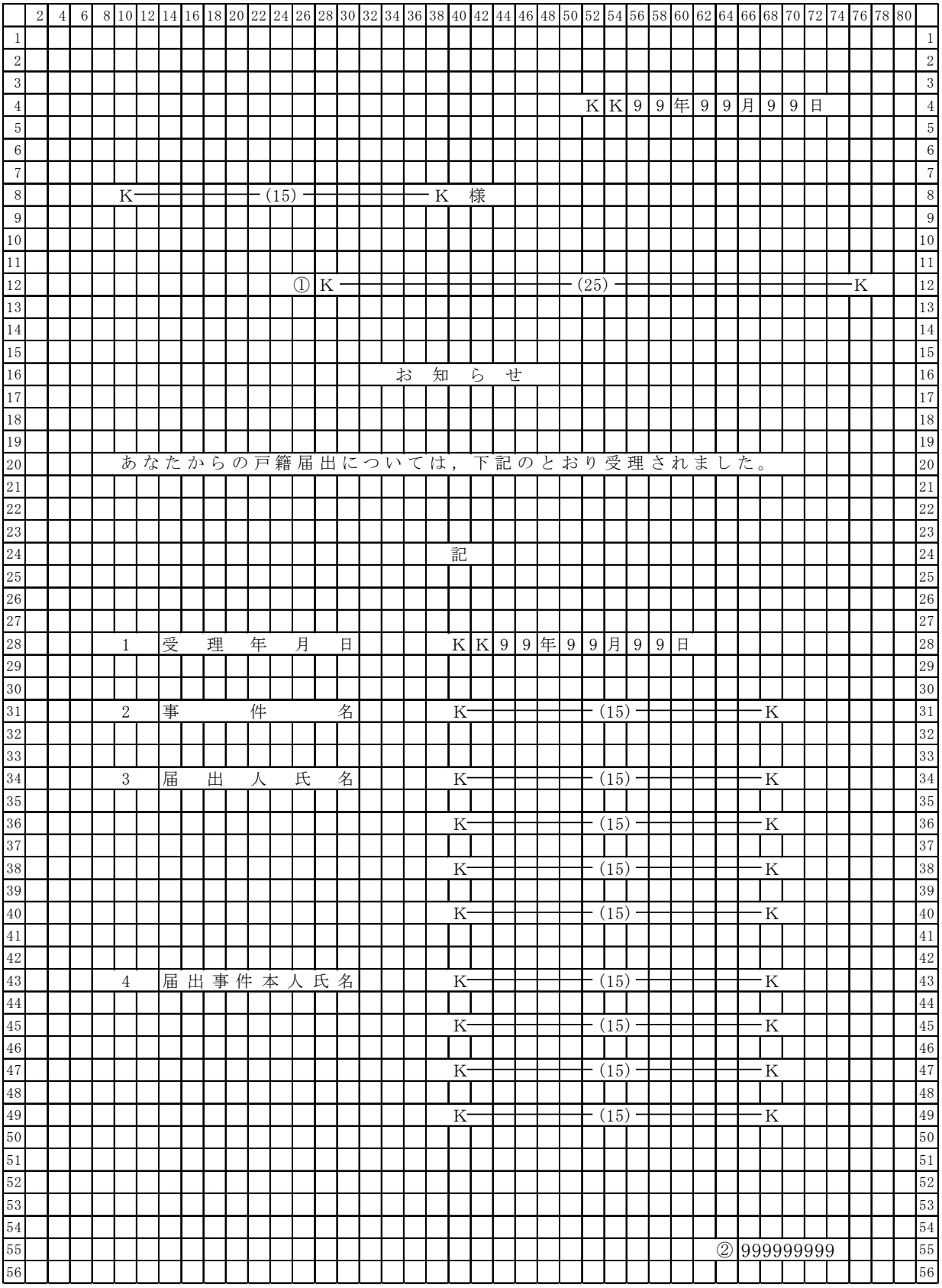
3.運用関係

本通知書は、
法務省民一第748号、戸籍の届出における本人確認の取扱いについて(通達)
法務省民一第749号、戸籍の届出における本人確認の取扱いについて(依命通知)
により運用すること。

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

適用業務名

本人確認通知



①発行市区町村名+"長"
②受領番号

帳票項目一覧	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

適用業務名

本人確認通知

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	11	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	事件本人氏名	15	漢字	
3	発行市区町村名	25	漢字	市区町村名 + "長"
4	受理年月日	11	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
5	事件名	15	漢字	
6	届出人氏名1	15	漢字	
7	届出人氏名2	15	漢字	
8	届出人氏名3	15	漢字	
9	届出人氏名4	15	漢字	
10	届出事件本人氏名1	15	漢字	
11	届出事件本人氏名2	15	漢字	
12	届出事件本人氏名3	15	漢字	
13	届出事件本人氏名4	15	漢字	
14	受領番号	9	数字	

コード設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1
適用業務名			

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
た					
	台帳対象区分	区分	1	本人届出確認台帳の作成有無	「対象」「対象外」
	通知要否区分	区分	1	本人確認通知の要否	「通知不要」「通知要」
は					
	本人確認区分	区分	1	本人確認の有無	「未確認」「確認」
	本人確認方法	区分	1	届書持参者の本人識別	「運転免許証」「パスポート」
ら					
	来庁者区分	区分	1	届出の方法	「来庁者」「郵送」

コード一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	平成31年3月31日	22
適用業務名			

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	台帳対象区分	対象	1	1		
		対象外	2			
	通知要否区分	通知不要	0	1		
		通知要	1			
	本人確認区分	未確認	0	1		
		確認	1			
	本人確認方法	運転免許証	1	1		
		パスポート	2			
		個人番号カード	3			
		健康保険証	4			
		その他	5			
	来庁者区分	来庁者	1	1		
		郵送	2			

[ ]内は、民二7002号通達での名称

メッセージ一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1
適用業務名			

コード	メッセージ
Mnnnnn	作成された本人届出確認台帳は1件だけです。

第7.2.(23)

不受理処分整理簿管理
(サンプル)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明	作成日付	平成19年 3月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	11

作業名	不受理処分整理簿

0.前提
本仕様は不受理処分整理簿および不受理証明書の管理処理の一例を示すものである。

1.【遵守】不受理処分整理簿のレイアウト･出力項目
後述の不受理処分整理簿の帳票設計書･帳票項目一覧表を参照

2.【遵守】不受理処分整理簿用のファイル仕様書
後述のファイル仕様書の不受理処分ファイルを参照
〈補足説明〉
不受理処分整理簿中、受付ファイル中に存在しない項目は以下の4つ存在する。
①不受理処分決定年月日　②届出年月日(受付ファイルの項目「受付日」と同一日)　③返戻年月日　④不受理の理由
上記②を除く3項目に受領番号を加えた(受付ファイルとのリンク付用)4項目を格納するものが不受理処分ファイルである。

3.【任意】不受理処分レコード作成･修正方法
メーカーに一任とする。

4.【遵守】不受理証明書のレイアウト･出力項目
後述の不受理証明書の帳票設計書･帳票項目一覧表を参照

5.【遵守】不受理処分整理簿、不受理証明書の作成条件
受付ファイルの処分区分は「不受理」または「受理処分の撤回」であること。

6.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分
受付ファイル	入出力
不受理処分整理簿ファイル	入出力

ファイル仕様書	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

適用業務名

戸籍(共通)

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
不受理処分	受領番号		ディスク	DB	400

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(　9)	無	無	
2	返戻年月日	9(　8)	無	無	
3	不受理処分決定日	9(　8)	無	無	
4	不受理の理由	K(123)	無	無	
5	予備	X(129)	-	-	

新帳票一覧	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

適用業務名

証明に係わる業務

項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間(年)	オンラインバッチ区分	出力サイクル
1	不受理処分整理簿	有	準則		オンライン	随時
2	不受理証明書	有	戸規66条		オンライン	随時

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11
適用業務名			
不受理処分整理簿			

1.様式

(1) A4版横
(2) 出力項目及び様式は規定

2.編集条件

(1) 出力サイクル
随時

(2) 編集内容
帳票項目一覧を参照

3.運用関係

特になし

帳票設計書	作成日付	平成19年 3月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	11
作業名	不受理処分整理簿					

平成　年　月　日　ページ

不　受　理　処　分　整　理　簿

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
不受理処分整理簿	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	不受理処分決定年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
4	受領番号	9	漢字	
5	受理・送付の区分	2	漢字	受理'、'送付'
6	件名	12	漢字	
7	届出年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
8	返戻年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
9	不受理の理由	123	漢字	
10	届出人氏名	30	漢字	最大2
11	届出人資格	11	漢字	最大2
12	事件本人氏名	30	漢字	最大4
13	事件本人資格	11	漢字	最大4
14	事件本人生年月日	(10)	漢字	最大4 外国人:Z999.Z9.Z9 日本人:元号99.Z9.Z9
15	生年月日表示	1	漢字	最大4'生'
16	事件本人本籍	(50)	漢字	最大4

帳票設計書	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11
適用業務名			
不受理証明書			

1.様式

(1) A4版横又は縦
(2) 出力項目は規定

2.編集条件

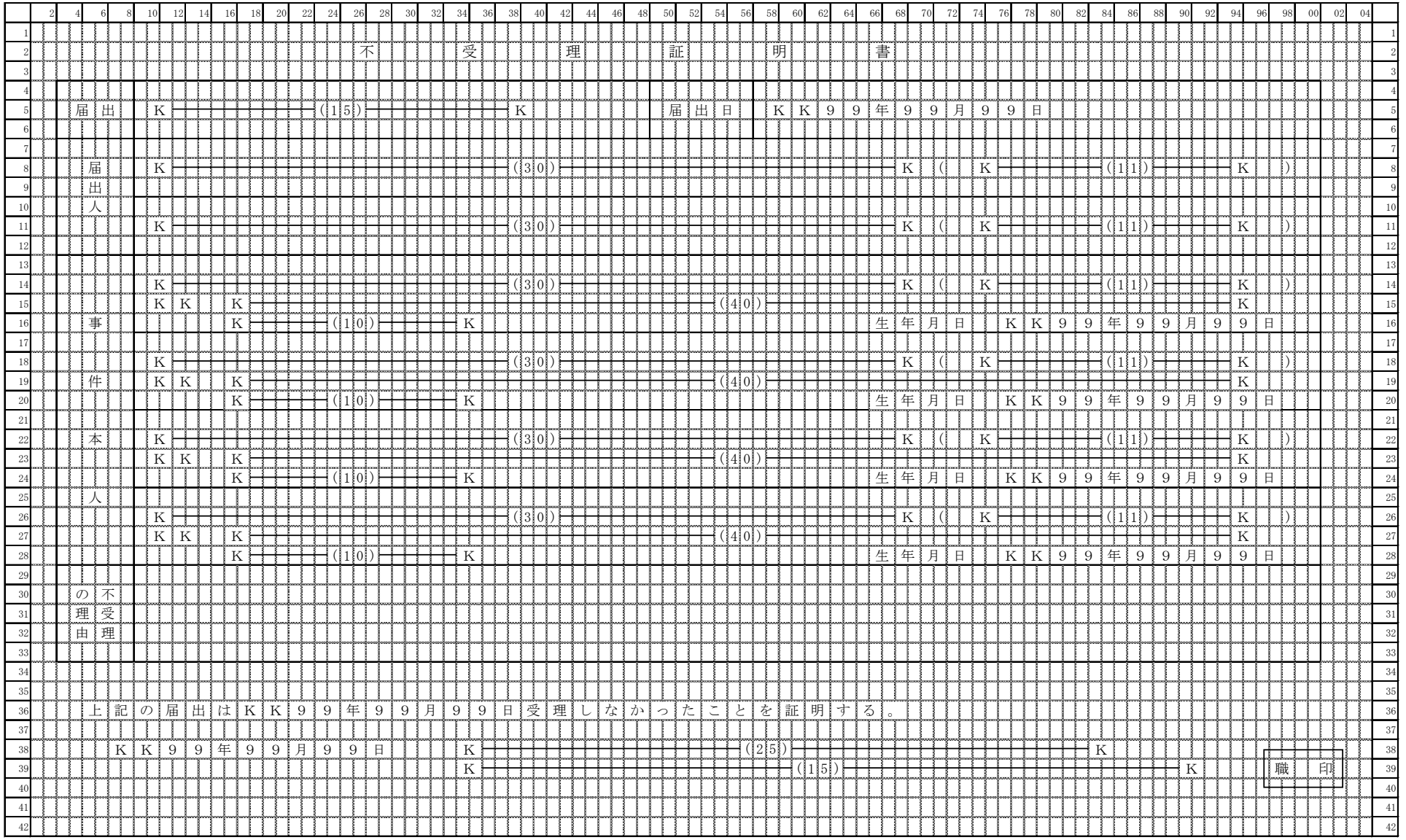
(1) 出力サイクル
随時

(2) 編集内容
帳票項目一覧を参照

3.運用関係

特になし

帳票設計書	作成日付	平成19年 3月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	11
作業名	不受理証明書					



帳票項目一覧表	作成日付	改訂日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

適用業務名

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
不受理証明書	汎用	単票	A4縦または横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	届書名	15	漢字	
2	届出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	NO3～4は最大2件			
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合'本籍' 外国人の場合'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	NO5～9は最大4件			
10	不受理の理由	123	漢字	
11	不受理年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
12	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
13	市区町村名+役職名	25	漢字	
14	首長氏名	15	漢字	横倍角
15	職印	-	電子印	

第7.2.(24)

戸籍副本データ管理システム

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正 版数	修正要件 番号	修正箇所	修正内容
1				

システム処理の概要説明	作成日付	平成25年 3月1日	改訂日付	令和　年　月　日	版	16

作業名	戸籍副本データ管理システム

1.戸籍副本データ管理システムの構築に伴う、電算化戸籍の副本の送信方法等については、別紙の「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」を参照すること。

第7.2.(25)

戸籍情報連携システム

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	1,2	戸籍情報連携システム	・作成 WebAPIに係る以下のインターフェイスを追加 ・「届書等情報表示」
2	R3		戸籍情報連携システム	・別紙の名称を変更

システム処理の概要説明書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	戸籍情報連携システム					

1.戸籍情報連携システムの構築に伴う、WebAPI及びファイル転送での連携方法等については、別紙の「戸籍情報連携システム 外部インターフェイス仕様書」を参照すること。

第7.2.(26)

「連携情報」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「連携情報」処理	・作成 (新規)「システム概要説明」を追加 (新規)「連携情報処理選択」を追加
2	R3		「連携情報」処理	連携情報処理の追加により下記仕様書を修正した。 ①連携情報処理選択 各ベンダーシステム構築に対して下記仕様書を修正した。 ①連携情報処理 システム処理の概要説明書

システム処理の概要説明書		作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	連携情報処理						

1. 処理概要

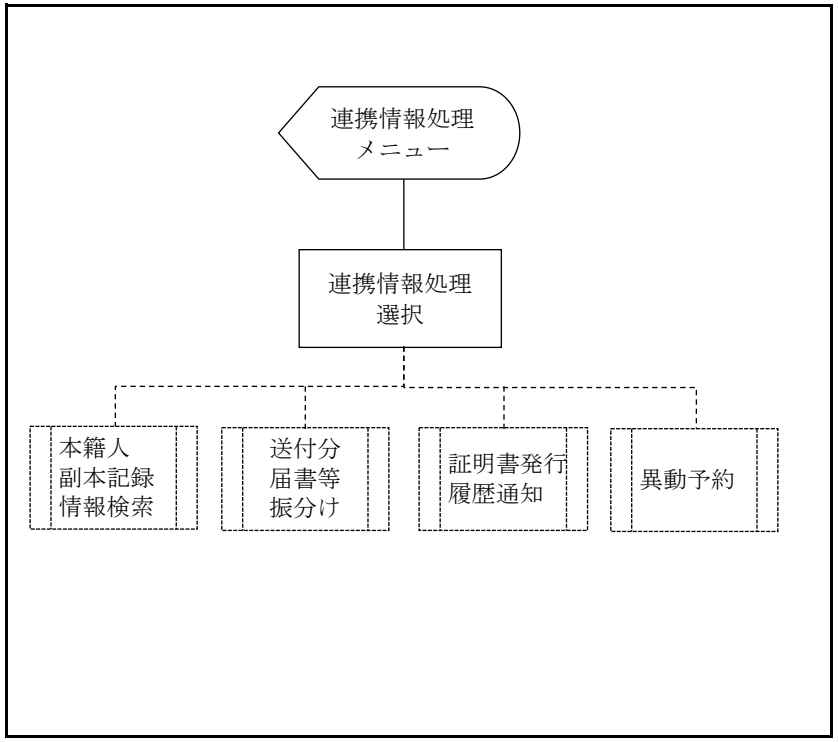
連携情報処理は、戸籍情報連携システムに関連する処理を中心に、既存の機能体系に合致しない処理をまとめている。連携情報処理選択から制御を渡す各処理については、各処理の要件定義書を参照のこと。

2. 戸籍情報システム標準仕様書での戸籍情報連携システムと送受信するファイル等の扱い

実処理においては、Webサービス連携で受信したデータは中間ファイルとして一時保存し、処理終了後に削除又は保存ファイルに登録する。
ファイル連携への送信データは、各処理で登録したデータをバッチ処理で抽出し、送信用情報ファイルを作成して送信する。
ファイル連携からの受信データは、保存ファイルに登録し、データに関する処理後に削除又はそのまま登録する。
戸籍情報システム標準仕様書では、戸籍情報連携システムにファイル連携で送信するデータの作成は、7.2.(11)決裁処理_決裁・受付の「送信用届書等情報ファイル」で記載したが、これはサンプルとしての扱いである。それ以外のデータ作成は、保存ファイルに登録する記載としている。
※各処理で作成するファイルは第5.3オンライン処理の流れ図(詳細)(2)作成方法「ケ. ファイル」を参照のこと。
Webサービス連携に関しては、必要に応じてデータ編集表(送信情報)及びデータ編集表(受信情報)を記載している。
※各処理で実施するWebサービス連携は第5.3オンライン処理の流れ図(詳細)(2)作成方法「サ. WebAPIインターフェイス及びファイル」を参照のこと。
各ベンダーにおいては、任意設計によりシステム対応すること。

システム環境仕様書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	連携情報処理選択					

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3. 処理概要
(1)選択番号の入力チェック
(2)本籍人副本記録情報検索処理へ制御を渡す
(3)送付分届書等振分け処理へ制御を渡す
(4)証明書発行履歴通知処理へ制御を渡す
(5)異動予約処理へ制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙　　—　　1.0 データチェック(単体表)

5. 備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート			作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	連携情報処理選択							
処理名	0.0 本紙						備考	
(1)連携情報処理メニュー画面を出力する					/			
(2)キー選択(実行キー、PF1、その他)					/			
実行キー	(3)選択番号の入力チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/			
	YES	(4)選択番号			/			
		1	→			(5)本籍人副本記録情報検索処理に制御を渡す		
		2	→			(5-1)送付分届書等振分け処理に制御を渡す		
		3	→			(5-2)証明書発行履歴通知処理に制御を渡す		
		4	→			(5-3)異動予約処理に制御を渡す		
	NO	(6) エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する				(7)同画面を編集する		
PF1	→					(8)業務選択に制御を渡す		
その他	(9) エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する					(10)同画面を編集する		

データチェック（単体表）				作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和3年3月31日	版	R3
作業名	連携情報処理選択								
処理名				画面名		画面ID			
1.0　選択番号のチェック				連携情報処理メニュー					
No	項目名	必須	属性	内容			出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1～4であること			「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

第7.2.(27)

「本籍人副本記録情報検索」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R2.2	3	「本籍人副本記録情報検索」処理	・作成 (新規)「システム概要説明」を追加

システム処理の概要説明書	作成日付	令和2年3月25日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R2.2

作業名	本籍人副本記録情報検索

1.処理概要

本籍人副本記録情報検索処理には、該当戸籍一覧(副本・本籍人)表示、目的内利用確認(本籍人)、戸籍構成員一覧(副本・本籍人)表示、個人詳細表示(副本・本籍人)、個人状態表示(副本・本籍人)、不受理申出表示(副本・本籍人)がある。
各処理については以降に記述する点を除いて「検索」処理の「副本記録情報検索」処理における仕様と同様である。
「検索」処理の「副本記録情報検索」処理との違いとして、本処理は本籍人の副本記録情報を検索する機能であるため、WebAPI(IO020:副本記録情報検索)に渡す検索キーのうち「検索対象市区町村」については画面で選択する内容ではなく当該市区町村の市区町村コードを設定する。

なお、以下の点に注意すること。
・「検索」処理の「副本記録情報検索」処理の順守事項については本機能でも順守すること。
・「検索」処理の「個人検索」処理及び「副本記録情報検索」処理と区別できること。通常事務とは異なるため、本籍人の副本記録情報を参照する操作であることが分かるような画面設計とすること。

2.留意点

本籍人副本記録情報検索処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

第7.2.(28)

「送付分届書等振分け」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B04	「送付分届書等振分け」処理	新規作成
2	R4	B04	「送付分届書等振分け」処理	送付分届書等一覧画面で選択されたデータの届書処理通番で検索する機能の追加による修正 ①送付分届書等振分け システム処理の概要説明書 1.(1)ｵ.を追加、2.送付分届書等一覧画面でのPFキーを修正 ②送付分届書等振分け システム環境仕様書、0.0 本紙
3				送付地が誤送付として処理する機能の追加による修正 ①送付分届書等振分け システム処理の概要説明書 2.送付分届書等一覧画面でのPFキーを修正 ②送付分届書等振分け システム処理の概要説明書、0.0 本紙、5.0 送信情報(管理情報)作成処理

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付分届書等振分け					

1.処理概要

(1)送付分届書等一覧画面編集

ｱ.受信情報(F0080:受付情報)及び受信情報(F0080:届書記載事項)の未処理分を、送付分届書等一覧画面に編集し、表示する。
ｲ.添付される各種画像情報のイメージ表示は、PFキーによる各種イメージ表示へ遷移するまでを仕様として表す。
ｳ.データ状態は、通常の届書等情報、再送信の届書等情報、届書補正情報、父の本籍地に送付された胎児認知届、父の本籍地に送付された死産届を区分して
表示する。
ｴ.再送信の届書等情報又は届書補正情報の場合、その元の通常の届書等情報が処理中の場合は送付分届書等一覧画面には表示されないため、PFキーにより届書処理通番の届書等情報表示へ遷移するまでを仕様として表す。
ｵ.基本届書に届書補正情報等の再送信があった場合、基本の届書と再送信データを個別に確認する煩雑さをなくすため、選択した送付分届書等一覧の届書処理通番と同じ届書処理通番のデータを一覧表示する。

(2)送付分届書等振分け

ｱ.送付分届書等一覧から選択された届書等を確認し、受理地で入力した処理方法に応じた処理に制御を渡す。

ｲ.入力方法を選択(届書入力又は審査結果入力･訂正･更正･追完入力)した場合は、選択された処理に制御を渡す。

ｳ.届書補正情報(補正内容及び補正イメージ)は、届書補正情報を取得するだけで振分けはしない。

ｴ.父の本籍地に送付された胎児認知届は画像情報を取得し、死産届は画像情報を印刷(確認)するだけで振分けはしない。

ｵ.受領番号に入力があった場合は、確保した受領番号を中間ファイル(届書)に編集する。

ｶ.次処理へ制御を渡す場合に、受理地での入力情報を活用するために、以下に示す情報を作成して制御を渡す。

受理地での入力	選択キー	作成する中間ファイル			次処理
		届書	参照戸籍	届書処理通番	
届書入力	実行キー	○※1	○※2	○	受理地で選択した届書入力画面
	PF4(届書入力)	○※1	○※2	○	受理地で選択した届書入力画面
	PF5(審査結果)		○※2	○	訂正メニュー画面※3
	PF6(訂正･更正･追完入力)		○※2	○	訂正メニュー画面※4
審査結果入力	実行キー		○※2	○	訂正メニュー画面※3
	PF4(届書入力)	○※1	○※2	○	届書選択メニュー画面
	PF5(審査結果)		○※2	○	訂正メニュー画面※3
	PF6(訂正･更正･追完入力)		○※2	○	訂正メニュー画面※4
訂正･更正･追完入力	実行キー		○※2	○	訂正メニュー画面※4
	PF4(届書入力)	○※1	○※2	○	届書選択メニュー画面
	PF5(審査結果)		○※2	○	訂正メニュー画面※3
	PF6(訂正･更正･追完入力)		○※2	○	訂正メニュー画面※4

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	送付分届書等振分け

※1:受信情報(F0080:届書記載事項)を基に作成する。受信情報(F0080:届書記載事項)がない場合は、受信情報(F0080:受付情報)から編集して作成する。
※2:受信情報(F0080:副本記録情報)の非本籍分について作成する。
※3:審査結果入力処理は訂正メニューより審査結果入力処理を選択して処理を行うため、遷移先の訂正メニューにおいて審査結果入力処理のみが選択できるよう制御すること。
※4:遷移先の訂正メニューにおいて、訂正(文字訂正等を含む。)、更正(文字更正等を含む。)及び追完処理のみが選択できるよう制御すること。

2.送付分届書等一覧画面でのPFキー

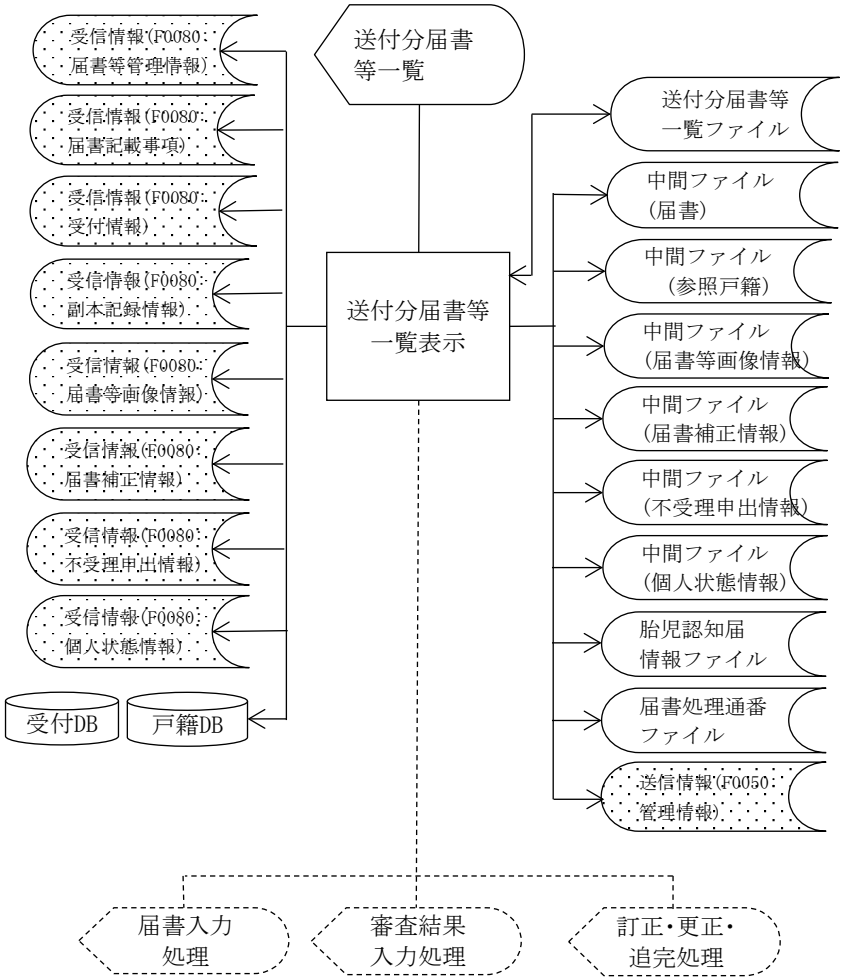
画面 / PFキー	送付分届書等一覧画面
PF1	戸籍業務メニュー
PF2	
PF3	
PF4	届書入力処理
PF5	審査結果処理
PF6	訂正･更正･追完入力処理
PF7	前頁表示
PF8	次頁表示
PF9	各種イメージ表示処理
PF10	届書処理通番届書等情報表示
PF11	誤送付処理
PF12	同一届書処理通番検索処理
実行キー	処理振分け/ファイル作成

3.留意点

(1)戸籍情報連携システムから送信される届書画像イメージ、添付書面イメージ及び届書補正イメージは、通知後に修正されることもあるため、修正されたデータを受信した場合は元のデータと組み合わせ処理を継続すること。不要な通信を発生させないため、非本籍人検索等、常に最新情報を取得するような実装はしないこと。
(2)各種受信情報は、戸籍情報システムに取り込む際に受信日時や処理状況を管理するための処理区分等を補完して管理すること。
(3)送付分届書等振分け処理で作成又は利用した中間ファイル及びWebAPI関連情報については、利用目的に必要な範囲にのみ利用すること。また、個人情報保護の観点から処理を終了する際等、利用する必要がなくなったときには遅滞なく削除すること。

システム環境仕様書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付分届書等振分け					

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受信情報(F0080:届書等管理情報)	入力	送付分届書等一覧ファイル	入出力
同(届書記載事項)	入力	中間ファイル(届書)	出力
同(受付情報)	入力	同(参照戸籍)	出力
同(副本記録情報)	入力	同(届書等画像情報)	出力
同(届書等画像情報)	入力	同(届書補正情報)	出力
同(届書補正情報)	入力	同(不受理申出情報)	出力
同(不受理申出情報)	入力	同(個人状態情報)	出力
同(個人状態情報)	入力	胎児認知届情報ファイル	出力
受付DB	入力		
戸籍DB	入力	送信情報(F0050:管理情報)	出力
届書処理通番ﾌｧｲﾙ	出力		

3.処理概要

(1)受信情報(F0080:届書等情報)を読み、送付分届書等一覧を編集し、表示する
(2)各種イメージの表示はPFキーでイメージ表示処理に遷移する
(3)送信データが届書等情報の再送信又は届書補正で、その元となる届書等情報が処理中で
　本画面に表示されない場合は、PFキーで届書処理通番届書等情報表示処理に遷移する
(4)誤送付データは、PFキーで送信情報(F0050:管理情報)を作成する
(5)同一の届書処理通番のデータは、PFキーで送付分届書等一覧を編集し、表示する
(6)選択された内容に応じた中間ファイル等を作成する
(7)指示された処理に遷移する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(送付分届書等一覧ファイル)
　　├ 2.0 データ編集表(送付分届書等一覧画面編集)
　　├ 3.0 単体チェック
　　├ 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))
　　└ 5.0 データ編集表(送信情報(管理情報))

※割愛したデータ編集表は、受信情報から中間ファイルをコピーして作成するものである

5.備考(特記事項含む)

要件定義ワークシート	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	送付分届書等振分け
処理名	0.0 本紙

							備考
(1)受信情報(F0080:届書等管理情報)の未処理分を全件検索し、送付分届書一覧ファイルを作成する [1.0]					/		
(2)送付分届書一覧ファイルの処理状況区分=1のデータが1件以上ある(ある:YES,ない:NO)					/		
YES	(3)送付分届書等一覧画面を編集し、表示する [2.0]				/		
NO	(4)メッセージ 「未処理の送付分届書はありません。」を表示する					(5)同画面を編集する	
(6)キー選択(実行キー、PF1、PF4、PF5、PF6、PF7、PF8、PF9、PF10、PF11、PF12、その他)					/		
PF1	(7) →					(8)業務選択に制御を渡す	
実行キー PF4 PF5 PF6	(9)入力項目の単体チェックを行う(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/		
	YES	(10)取得済受領番号≠スペースである(YES,NO)			/		
		YES	(11)取得済受領番号で受付DBを検索する		/		
			(12)受付情報がある(YES,NO)		/		
			YES	(13)受付情報の処分区分＝スペースである(YES,NO)	/		
				YES	(14)→(21)へ	/		
				NO	(15)エラーメッセージ 「入力された受領番号の受付DBは処理済みです。」を表示する		(16)同画面を編集する	
			NO		(17)エラーメッセージ 「入力された受領番号で受付DBはありません。」を表示する			
		NO	(18)→(21)へ			/		
	NO	(19)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する					(20)同画面を編集する	
	(21)選択番号のデータ状態区分=5,6,7,8,13,14 かつ PF4,5,6が選択された					/		状態区分は2.0送付分届書等一覧画面編集の欄外参照
	YES	(22)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する					(23)同画面を編集する	
	NO	(24)→(25)へ				/		
	(25)選択番号のデータ状態区分					/		
	5, 13	(26)届書画像を胎児認知届情報ファイルに登録する				/		父への胎児認知届は個人状態ファイルに画像情報を紐づける
		(27)送付分届書等一覧ファイルの処理状況区分を「3:処理完了」に更新する→(2)へ				/		
	6, 14	(28)確認メッセージ (YES,NO) 「画像情報を印刷 (確認) しましたか？」を表示する				/		父への死産届の場合は画像情報を印刷(確認)すれば処理を完了とする
		YES	(29)送付分届書等一覧ファイルの処理状況区分を「3:処理完了」に更新する →(2)へ			/		

要件定義ワークシート				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名			送付分届書等振分け						
処理名			0.0 本紙					備考	
		NO	(30)→(2)へ		/				
	7		(31)届書画像を中間ファイル(届書等画像情報)に登録する		/				
			(32)送付分届書等一覧ファイルの処理状況区分を「3:処理完了」に更新する→(2)へ		/				
	8		(33)届書補正情報を中間ファイル(届書補正情報)に登録する		/				
			(34)送付分届書等一覧ファイルの処理状況区分を「3:処理完了」に更新する→(2)へ		/				
	上記以外		(35)選択番号の受信情報(F0080:副本記録情報)から非本籍人に関して、中間ファイル(参照戸籍)を作成する		/				
			(36)届書処理通番ファイルを作成する		/				
	(37)選択キー(実行キー、PF4、PF5、PF6)				/				
	実行キー		(38)選択番号のデータ状態区分=1,2,9,10である(YES,NO)		/				
		YES	(39)中間ファイル(届書)を作成する [5.0]		/				
		NO	→		/				
	PF4		(40)中間ファイル(届書)を作成する [5.0]		/				
	PF5		→		/				
	PF6		→		/				
	(41)選択キー(実行キー、PF4、PF5、PF6)				/				
	実行キー		(42)選択番号の届書番号≠スペースである(YES,NO)		/				
		YES	→			(43)届書入力処理に制御を渡す			
		NO	(44)01≦選択番号の受付事件コードの上2桁≦49である。(YES,NO)		/				
			YES	→		(45)審査結果入力処理に制御を渡す			
			NO	→		(46)訂正・更正・追完処理に制御を渡す			
	PF4		→			(47)届書入力処理に制御を渡す			
	PF5		→			(48)審査結果入力処理に制御を渡す			
	PF6		→			(49)訂正・更正・追完処理に制御を渡す			
PF7	(50)前ページがあるか(YES,NO)				/				
	YES		(51)前ページ分の送付分届書等一覧画面を編集する			(52)同画面を編集する			
	NO		(53)エラーメッセージ 「先頭ページです。」を表示する						
PF8	(54)次ページがあるか(YES,NO)				/				
	YES		(55)次ページ分の送付分届書等一覧画面を編集する			(56)同画面を編集する			
	NO		(57)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する						

要件定義ワークシート			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4
作業名	送付分届書等振分け							
処理名	0.0 本紙						備考	
PF9	(58)選択番号≠スペース(YES,NO)			/				
	YES	→			(59)各種イメージ表示に制御を渡す			
	NO	(60)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する			(61)同画面を編集する			
PF10	(62)選択番号≠スペース かつ 選択番号のデータ状態区分=7,8である(YES,NO)			/				
	YES	→			(63)届書処理通番届書等情報表示に制御を渡す			
	NO	(64)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する			(65)同画面を編集する			
PF11	(66)選択番号≠スペース(YES,NO)			/				
	YES	(67)送信情報(管理情報)を作成する	[5.0]	/				
	NO	(68)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する			(69)同画面を編集する			
PF12	(70)選択番号≠スペース(YES,NO)			/				
	YES	(71)選択番号の届書処理通番で送付分届書一覧ファイルを検索し、送付分届書一覧ファイルを作成する	[1.0]		(73)同画面を編集する			
	NO	(72)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する						
その他	(74)エラーメッセージ 「無効なキーが押下されました。」を表示する							

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日		改訂日付	令和　年　月　日		版	R3
作業名	送付分届書等振分け										
処理名	1.0　送付分届書等一覧ファイル作成										
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考		
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目						
	名称	記号名			名称	記号名					
送付分届書等一覧ファイル	届書処理通番			受信情報(F0080:届書等管理情報)	届書処理通番						
	受理地市区町村コード				受理地市区町村コード						
	届書番号			受信情報(F0080:届書記載事項)	届書番号				届書記載事項の添付が無い場合は設定しない		
	届出選択事件コード				届出選択事件コード						
	受信日			受信情報(F0080:届書等管理情報)	受信日						
	受信時間				受信時間						
	受付番号			受信情報(F0080:受付情報)	受付番号						
	受付事件コード				受付事件コード						
	事件本人区分			受信情報(F0080:事件本人)	事件本人区分						
	事件本人氏名				事件本人氏名						
	同時決裁受領番号1～5			受信情報(F0080:受付情報)	関連受領番号1～5				関連受領番号14桁の上位9桁を移送する		
	届書種別コード			受信情報(F0080:届書等管理情報)	届書種別コード						
	事件対象区分				事件対象区分						
	参考送付区分				参考送付区分						
	追完届有無フラグ				追完届有無フラグ						
	不受理申出区分				不受理申出区分						
	胎児認知届書区分				胎児認知届書区分						
	処理状況区分								1:未処理を設定		

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送付分届書等振分け								
処理名	2.0　送付分届書等一覧画面編集								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
送付分届書等一覧画面	ページ								
	一連番号	1～n							順に番号を振る
	受理地	1～n		送付分届書等一覧ファイル	受理地市区町村コード		有		
	届書番号	1～n			届書番号				
	届出選択事件名	1～n			届出選択事件コード		有		
	受付日	1～n			受付日		有		
	受信日	1～n			受信日		有		
	受信時間	1～n			受信時間				
	受付番号	1～n			受付番号				
	受付事件名	1～n			受付事件コード		有		
	事件本人区分名称	1～n			事件本人区分		有		
	事件本人氏名	1～n			事件本人氏名				
	同時決裁受領番号1	1～n			同時決裁受領番号1				
	同時決裁受領番号2	1～n			同時決裁受領番号2				
	同時決裁受領番号3	1～n			同時決裁受領番号3				
	同時決裁受領番号4	1～n			同時決裁受領番号4				
	同時決裁受領番号5	1～n			同時決裁受領番号5				
	データ状態	1～n					有		欄外参照
	選択番号								
	取得済受領番号								

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送付分届書等振分け							
処理名	2.0　送付分届書等一覧画面編集							
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

データ編集表			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送付分届書等振分け							
処理名	2.0　送付分届書等一覧画面編集							

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

データ状態の編集内容(例)

届書種別コード	届書記載事項	事件対象区分	参考送付区分	胎児認知届書区分	データ状態編集事例	データ状態区分
TS01	ある	1:事件対象	0:参考送付以外		届書入力／事件対象	1を設定する
TS01	ある	2:事件対象以外	0:参考送付以外		届書入力／事件対象以外	2を設定する
TS01	ない	1:事件対象	0:参考送付以外		審査結果・訂正／事件対象	3を設定する
TS01	ない	2:事件対象以外	0:参考送付以外		審査結果・訂正／事件対象以外	4を設定する
TS01			1:参考送付	1:胎児認知届書あり	胎児認知届／父への参考送付	5を設定する
TS01			1:参考送付	0:胎児認知届書なし	死産届／参考送付	6を設定する
TS02					届書画像の再送信	7を設定する
TS03					届書補正情報	8を設定する
TS04	ある	1:事件対象	0:参考送付以外		届書入力／事件対象／遺漏	9を設定する
TS04	ある	2:事件対象以外	0:参考送付以外		届書入力／事件対象以外／遺漏	10を設定する
TS04	ない	1:事件対象	0:参考送付以外		審査結果・訂正／事件対象／遺漏	11を設定する
TS04	ない	2:事件対象以外	0:参考送付以外		審査結果・訂正／対象以外／遺漏	12を設定する
TS04			1:参考送付	1:胎児認知届書あり	胎児認知届／父への送付／遺漏	13を設定する
TS04			1:参考送付	0:胎児認知届書なし	死産届／参考送付／遺漏	14を設定する

データチェック（単体表）			作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送付分届書等振分け							
処理名			画面名		画面ID			
3.0　単体チェック			送付分届書等一覧					

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	一連番号(最小)≦選択番号≦一連番号(最大)であること	「正しい番号を入力して下さい。」		
2	取得済受領番号		数字				

データ編集表				作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	送付分届書等振分け								
処理名	4.0　中間ファイル(届書)作成処理								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
中間ファイル(届書)	受領番号			受信情報 (F0080:届書記載事項)	受領番号				届書等情報が添付されていない場合は、受付及び事件本人から設定できる情報だけ設定する
	選択事件コード				選択事件コード				
	出張所番号				出張所番号				
	受領日				受領日				
	送付日				送付日				
	発送元				発送元				
	在外送付区分				在外送付区分				
	処理日				処理日				
	指示日				指示日				
	許可日				許可日				
	受理送付区分				受理送付区分				
	本非区分				本非区分				
	郵送日				郵送日				
	動態区分				動態区分				
	届区分				届区分				
	渉外区分				渉外区分				
	同時決裁受領番号(1～5)				同時決裁受領番号(1～5)				
	ロック戸籍番号(1～5)				ロック戸籍番号(1～5)				
	事件別内容				事件別内容				
	不受理申出処分区分				不受理申出処分区分				
	処分区分				処分区分				
	決裁区分				決裁区分				
	届書排他区分				届書排他区分				

データ編集表				作成日付	令和4年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R4
作業名	送付分届書等振分け								
処理名	5.0　送信情報(管理情報)作成処理								
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名			名称	記号名			
送信情報 (F0050-C02:管理情報ファイル) [TR05:届書等情報更新(法務省宛)]	届書種別コード								[TR05]を設定
	届書処理通番			送付分届書等一覧ファイル	届書処理通番				
	規則第四十一条処理区分								0(該当しない)を設定

第7.2.(29)

「証明書発行履歴通知」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B01, B02, B06	「証明書発行履歴通知」処理	・作成 (新規)「システム概要説明」を追加

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和　年　月　日	版	R3
作業名	証明書発行履歴通知(サンプル提示)					

1.処理概要

戸籍証明書等の広域交付、戸籍電子証明書提供用識別符号等通知書、戸籍電子証明書等の提供及び届書等情報内容証明書等の交付により、交付した情報が証明書発行市区町村等からWebサービス連携で戸籍情報連携システムに通知される。
通知された証明書発行情報は、戸籍情報連携システムから証明書該当本籍市区町村等関係する市区町村に、ファイル連携により通知される。
この通知された証明書発行履歴データを管理する処理である。
機能としては以下のものが考えられる。

ｱ.該当証明書検索機能
利害関係者等から証明書発行の問い合わせ等があった場合、即時に該当証明書の有無を検索する機能
ｲ.帳票出力機能
日別・月別・年別帳票等により証明書発行状況を確認する機能
ｳ.データ削除機能
データの保存期間が準則等により定められた場合、該当するデータを一括で削除する機能

2.留意点

証明書発行履歴通知ファイル項目は、F0010-S01(広域交付発行履歴の通知)、F0020-S01(戸籍電子証明書等発行履歴の通知)、F0030-S01(証明書提供履歴の通知)及びF0120-S01(届書等情報内容証明書等の発行履歴通知)から渡される項目で構成すること。
他の項目を追加する場合は、情報を補助する程度の項目とし秘匿性の高い項目の追加はしないこと。

第7.2.(30)

「異動予約」処理

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R3	B03	「異動予約」処理	・作成 (新規)「システム概要説明」を追加
2	R4	B03	「異動予約」処理	イメージで管理している除籍等は異動予約の対象外であること及び、対象が除籍(者)であった場合の対処による修正 ①異動予約 システム処理の概要説明書 2.留意点に追記

システム処理の概要説明書	作成日付	令和3年3月31日	改訂日付	令和4年3月31日	版	R4

作業名	異動予約

1.処理概要

(1) 届書等入力処理、訂正・更正・追完・審査結果入力及び不受理申出処理等において、システム処理前に事件本人及び事件に関係する戸籍(戸籍の筆頭者)等に異動予約をするための情報を異動予約情報ファイルに格納するとともに、戸籍情報連携システムに予約情報を送信する。
①本籍人の異動予約
本籍人検索で該当者を選択し異動予約を登録した後で、WebAPI(IO120-R01:異動予約の要求)を呼び出し戸籍情報連携システムに予約情報を送信する。
戸籍情報連携システムから送信されたWebAPI(IO120-S01:異動予約完了通知)の異動予約番号及び処理年月日を、異動予約情報ファイルに登録する。
②非本籍人の異動予約
副本記録情報検索(7.2.(2)「検索」処理参照)で該当者を選択し異動予約を登録した後で、WebAPI(IO120-R01:異動予約の要求)を呼び出し戸籍情報連携システムに予約情報を送信する。
戸籍情報連携システムから送信されたWebAPI(IO120-S01:異動予約完了通知)の異動予約番号及び処理年月日を、異動予約情報ファイルに登録する。
(2) 登録した異動予約を解除する場合は、その情報を異動予約情報ファイルから削除した後で、WebAPI(IO130-R01:異動予約解除の要求)を呼び出し戸籍情報連携システムに予約解除情報を送信する。

〔順守事項〕
・異動予約及び解除における副本記録情報検索の目的IDは、外部インターフェイス仕様書別紙２－１ 電文設計書の■電文設計書(項目説明)5目的IDの入力仕様を参照のこと。

2.留意点

・異動予約を行う対象が増える可能性があるため、拡張性を考慮したファイル設計とすること。
・異動予約情報が登録されている事件本人等に対する処理を開始した場合、戸籍情報連携システムからWebAPI(IO160:届書取り込み通知)で異動予約番号が渡される。この情報を元に異動予約情報ファイルで管理している情報と突合し、異動予約情報ファイル情報の更新する等の機能を備えることができる。
・非本籍の受理市区町村が受領した不受理申出の異動予約をした場合、本籍地で不受理申出書の登録を行ってもその情報が渡されないため、情報による異動予約情報の解除ができない。
そのため、異動予約情報を定期的に確認し不要な情報を削除すること。削除した場合は必ずWebAPI(IO130-R01:異動予約解除の要求)を呼び出し戸籍情報連携システムに予約解除情報を送信すること。
・異動予約情報ファイルは任意設計であるが、WebAPI(IO120-R1:異動予約の要求)に設定する情報が異動検索等で必要になる場合があるため、ファイル項目に設定情報を保持することを検討すること。
・届書入力等で届書処理一覧から事件本人等を選択する場合、WebAPIに設定する情報がある。この情報を異動予約登録において設定できるか検討すること。
WebAPI(IO140-R1:業務利用目的の送信):届出事件コード、届書処理方法区分
WebAPI(IO150-R1:副本記録情報照会要求)、WebAPI(IO160-R1:異動処理状況更新要求):入力識別番号、事件本人区分、事件対象戸籍区分
・異動予約は電算化後の戸籍及び除籍に限り、イメージで管理する除籍等は対象外であるため、選択できない等の対応をすること。
また、除籍及び除籍者が選択された場合は、選択者が正しいか確認メッセージ等で注意を促す対応を考慮すること。

第7.2.(31)

「戸籍電子証明書利用申請履歴表示」処理

(サンプル提示)

戸籍情報システム標準仕様書　修正履歴

項番	修正版数	修正要件番号	修正箇所	修正内容
1	R4	B08	「戸籍電子証明書利用申請履歴表示」処理	新規作成

システム処理の概要説明書	作成日付	令和4年3月31日	改訂日付		版	R4

作業名	戸籍電子証明書利用申請履歴表示

1.処理概要

戸籍法第120条の3第1項及び第2項に基づく戸籍電子証明書等の提供の請求において、当該請求をオンラインによってしようとする場合は、請求者は、事前にオンラインによって利用申請することになる。
この利用申請の履歴が、戸籍情報連携システムからファイル連携で請求者の本籍地市区町村に通知される。
この通知された戸籍電子証明書利用申請履歴データを管理する処理である。
機能としては以下のものが考えられる。

ｱ.戸籍電子証明書利用申請履歴表示機能
本籍人に係るオンラインによる戸籍電子証明書等の提供がどの程度利用されているのかを確認するため、利用申請件数(有効分、失効分)を表示する機能
利用申請した本籍人を表示する機能
ｲ.帳票出力機能
月別・年別帳票等により戸籍電子証明書利用申請状況(利用申請、利用解除申請)を確認する機能
ｳ.データ削除機能
利用解除申請のデータを削除する機能

2.留意点

(1) 本処理は任意実装とする。
(2) 証明書発行履歴通知データを管理するファイル項目は、戸籍情報連携システムから通知される項目で構成するが、通知された基本4情報から本籍人を特定し、戸籍の個人番号で管理しても構わない。
(3) オンラインによる戸籍電子証明書等の発行処理は戸籍情報連携システムが実施するため、利用申請に係る特殊項目(利用者証明用電子証明書、署名用電子証明書)の表示可否は任意とする。
(4) オンラインによる戸籍電子証明書等を発行した場合は発行履歴の通知(F0020-S01)、戸籍電子証明書等を提供した場合は提供履歴の通知(F0030-S01)の戸籍電子証明書等請求元区分に1(マイナポータル)が設定される。
この情報から戸籍電子証明書利用申請履歴表示画面において、戸籍電子証明書等の発行及び提供した履歴を関連付けて表示することもできる。

3　その他関連資料

（目次）

(1)「民事行政審議会の答申について」

(2)「セットアップ部会検討結果報告書」

(3)「附票部会検討結果報告書」

民事行政審議会の答申について

法務省民事局

1　法務大臣の諮問事項

電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することについて意見を承りたい。

2　審議会の日程

平成５年１０月１４日に第１回の会議を開催し，平成６年１月３１日答申，この間４回にわたり会議を開催した。

3　答申の内容

(1)　電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度の導入について

電子情報処理組織（以下「コンピュータシステム」という。）を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，相当である。

(2)　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式についての基本構想について

ア　戸籍事務を全国的に統一した内容及び方式により処理するため，市区町村長は，法務省が定める統一性確保のための基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

イ　戸籍事務のコンピュータシステムは，市区町村における他の事務に必要な戸籍情報を提供することができるものとするとともに，他の事務を処理するコンピュータシステムからはアクセスできないシステムとするものとする。

ウ　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，自動審査機能及び自動記録機能を有するものとする。

(3)　戸籍情報の保全及び保護対策について

ア　戸籍情報の改ざんを防止するため，コンピュータシステム自体が不当

な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備え，戸籍事務担当者がパスワードを入力しない限り戸籍情報ファイルに変更を加えることができず，また，戸籍情報ファイルに痕跡を残さないでこれを変更することができない仕組みとする等，この点についての十分な対策を講ずべきである。

イ　戸籍情報の保全のため，市区町村長は，戸籍情報ファイルの万全なバックアップ体制を備えるべきものとし，これに加えて，監督法務局若しくは地方法務局又はその支局にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを送付し，監督法務局等がこれを保管し，障害に備えるものとすべきである。

ウ　戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

(4)　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書について

ア　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する市区町村における戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明は，全部事項証明書，個人事項証明書及び一部事項証明書を交付してするのが相当である。

イ　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書は，左横書きとし，アラビア数字を用いるものとし，その記録事項の表示方法についても，インデックスを設ける等の改善を図るべきである。

(5)　コンピュータシステムの導入に関しての基本方針について

ア　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該指定は，官報に告示してするものとする。

イ　段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

(6) 移行について

ア　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，戸籍に記載されている事項のうち，新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

イ　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，誤字・俗字を解消すべきである。

誤字・俗字を解消する場合には，誤字・俗字の正字への対応関係が明らかなものである場合を除き，事前又は事後に本人にその旨を告知するものとする。

ウ　移行作業を外部委託する市区町村長は，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとする。

(7) その他

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，戸籍の附票事務についても，同時にコンピュータ化を図るのが相当である。

民事行政審議会答申

第１　電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度の導入について

電子情報処理組織（以下「コンピュータシステム」という。）を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，相当である。

（説明）

コンピュータシステムを用いて大量の情報を迅速かつ正確に処理することは，我が国の社会，経済の多くの分野におけるすう勢であり，市区町村においても，行政需要の増大と多様化に対応するため，住民基本台帳事務を始めとする各種業務の分野にコンピュータシステムを導入し，その一層の拡大が図られているところである。

このような状況の中で，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，以下の観点からして相当であると考えられる。

(1)　行政サービスの向上

戸籍事務のコンピュータ化により，戸籍事務処理の迅速化及び正確化が図られることとなるため，国民の身分関係が速やかに，かつ，正確に公示されることが可能となるとともに，戸籍に記録されている事項等についての証明書の速やかな交付が可能となる。また，市区町村の支所又は出張所においても，端末装置を設置することにより本庁と同様のサービスの提供が可能となる。

このように，戸籍事務のコンピュータ化により行政サービスの向上が図られる。

(2)　戸籍事務処理の迅速性及び正確性の向上

戸籍事務のコンピュータ化により，コンピュータシステムが通有する情報処理の迅速性，正確性，自動処理性等の特性を活用することが可能となり，戸籍事務処理の迅速化及び正確化が図られることとなる。すなわち，コンピュータシステムにおける戸籍の「検索機能」により検索時間の短縮が図られ，「記録機能」により記録時間の大幅な短縮とより正確な戸籍の

記録が確保されることとなる。また，コンピュータシステムに「審査機能」を付加することにより審査事務の的確性を確保することができることとなり，さらに，統計事務，報告事務等をコンピュータシステム化することにより戸籍事務処理全体としての効率化及び正確化が図られることとなる。

なお，帳簿のブックレス化により，戸籍及び除かれた戸籍の編綴作業や見出帳の記載作業がなくなり，戸籍事務処理の負担が軽減される。

(3) 関連事務処理の迅速性及び正確性の向上

戸籍事務のコンピュータ化により，戸籍事務と住民基本台帳事務，人口動態調査事務等のいわゆる戸籍関連事務との一元的な処理が可能となり，これにより，これら関連事務の大半を占める転記や点検の作業の迅速化及び正確化が図られるとともに，事務量の軽減が図られることとなる。

なお，この場合には，第２の２に記述するとおり，プライバシー保護及びデータ保護を図る必要がある。

(4) 戸籍情報の保全及び保護

戸籍事務のコンピュータ化については，プライバシー保護及びデータ保護の観点から，磁気データ化された戸籍情報の保全及び保護をいかに確保するかが重要な問題となるが，これについては，第３で記述するとおりの対応方策を講じることにより，その保全及び保護を図ることができ，コンピュータシステムの導入の障害とはならないものと考えられる。

第２　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式についての基本構想について

１　戸籍事務を全国的に統一した内容及び方式により処理するため，市区町村長は，法務省が定める統一性確保のための基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

２　戸籍事務のコンピュータシステムは，市区町村における他の事務に必要な戸籍情報を提供することができるものとするとともに，他の事務を処理するコンピュータシステムからはアクセスできないシステムとするものとする。

3　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，自動審査機能及び自動記録機能を有するものとする。

（説明）

1　戸籍事務処理の統一性の確保

戸籍は日本国民の身分関係を登録及び公証するものであり，その様式及び事務処理の内容は，民法，戸籍法，戸籍法施行規則等により厳格に規定され，戸籍事務は，国の事務として，全国的に統一した内容及び方式により処理されるべきものである。そのため，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する市区町村長は，統一性確保のために法務省が定める基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

2　戸籍情報と関連事務との関係

戸籍事務をコンピュータ化する場合は，市区町村における他の事務にも必要な戸籍情報を提供し，情報の一元化を図ることにより，他の事務の処理の正確化及び迅速化並びに事務量の軽減化に資することが望ましい。しかし，同時に，戸籍事務は国民の親族的身分関係を登録及び公証するものであり，国民のプライバシーにかかわる事務であるので，戸籍事務のコンピュータシステムを構築するに当たっては，他の事務を処理するコンピュータシステムから戸籍情報ファイルに自由にアクセスし，戸籍情報を自由に用いることなどを厳に防止する必要がある。

そこで，戸籍事務を処理するコンピュータシステムは，他の事務を処理するコンピュータシステムに，法令の規定に基づき必要とされる範囲のデータを提供するが，他の事務を処理するコンピュータシステムからは戸籍情報ファイルに直接アクセスできないシステムとするものとする。

3　審査機能及び戸籍記録機能

(1)　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，コンピュータシステムに自動審査機能を付加し，これにより戸籍事務処理の正確性を高めるべきである。すなわち，戸籍の届出事件の処理に当たっては，届出の内容をコンピュータに入力することにより，コンピュータシステムが当該届

出データの内容が民法，戸籍法等の法令に適合しているかどうかを審査し，これが法令に違反している場合はその旨を画面に表示するなど，可能な範囲において自動的に審査を行う機能を有するシステムとすべきである。(2) 現行の戸籍事務処理においては，戸籍の記載事務がその事務の相当の部分を占めていることから，戸籍のコンピュータシステムにおいては，届出を受理するに際し入力された情報や既に戸籍情報ファイルに記録されている情報に基づき，可能な範囲において自動的に記録を行う機能を持つことにより，戸籍の記録の正確性を確保するとともに迅速化を図るシステムとすべきである。

第3　戸籍情報の保全及び保護対策について

1　戸籍情報の改ざんを防止するため，コンピュータシステム自体が不当な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備え，戸籍事務担当者がパスワードを入力しない限り戸籍情報ファイルに変更を加えることができず，また，戸籍情報ファイルに痕跡を残さないでこれを変更することができない仕組みとする等，この点についての十分な対策を講ずべきである。

2　戸籍情報の保全のため，市区町村長は，戸籍情報ファイルの万全なバックアップ体制を備えるべきものとし，これに加えて，監督法務局若しくは地方法務局又はその支局にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを送付し，監督法務局等がこれを保管し，障害に備えるものとすべきである。

3　戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

（説明）

1　戸籍情報の改ざんの防止

戸籍情報の改ざんの防止は，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度に対する国民の信頼を確保する上で最も重要な課題である。

(1) 戸籍情報ファイルの改ざんは，コンピュータシステム内の戸籍情報ファイルの内容の不当な更新によって行うことが可能であるから，その最も有効な防止策は，システム自体が不当な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備えることである。そのため，市区町村の戸籍情報ファイルについては，端末装置を順次操作しなければ，これを変更することができない仕組みとすべきである。

具体的には，戸籍事務処理の手続に従い，届書の記載内容の入力，受理・不受理の処分決定，移記事項入力，校合指示という一連の手順を踏むことによって，初めて戸籍情報ファイルの内容が変更できる仕組みとすることが考えられる。

(2) 新たな戸籍情報を戸籍情報ファイルに付加する校合事務については，その端末装置の操作者が正当な権限を有する者であることをコンピュータが確認した上でなければ，その処理ができない仕組みとすべきである。例えば，事前に登録されたパスワードによって，校合事務を処理する権限を有する者であることが確認されて，初めてその処理ができるものとするなどの措置を講ずることが相当である。

(3) 戸籍情報ファイルの改ざんは，戸籍情報ファイルを構成するデータの一部を別のデータに差し替える方法によって行われることもあり得る。したがって，戸籍情報ファイルを構成するデータについては，当該データの変更，訂正等によりその差し替えをした場合には，その差し替えをしたことが明らかとなり，かつ，差し替え前のデータが変更，訂正等の経緯と共に必ず保存されることとすべきである。

2 市区町村及び監督法務局におけるバックアップ体制

(1) 戸籍情報の重要性から，その保全のためのバックアップ体制は万全なものでなければならない。そのため，市区町村においては，万全なバックアップ体制を備えるべきであることは当然である。その方策として，市区町村長は，戸籍情報ファイルのほかに，必ず，別にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを保有するものとすべきである。

(2) 現行のブックシステムにおいては，市区町村長は，戸籍の副本を監督法務局若しくは地方法務局又はその支局に送付し，監督法務局等がこれを保存することとされているが，コンピュータシステムを用いる市区町村長は，この副本に相当するものとしてバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを監督法務局等に送付し，監督法務局等がこれを保管することにより，市区町村の戸籍情報ファイルの障害に備えるものとすべきである。

3 戸籍情報の適切な取扱いを確保するための措置

戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，戸籍事務を管掌する市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

第4 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書について

1 コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する市区町村における戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明は，全部事項証明書，個人事項証明書及び一部事項証明書を交付してするのが相当である。

2 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書は，左横書きとし，アラビア数字を用いるものとし，その記録事項の表示方法についても，インデックスを設ける等の改善を図るべきである。

（説明）

1 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書の交付

戸籍事務は，国民の身分関係を登録し，公証するものであるから，コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する場合には，戸籍及び除かれた戸籍の謄本，抄本並びに記載事項証明書の交付の制度に相当するものとして，戸籍に記録されている事項を証明した書面を交付する制度を設けるべきである。

証明書の種類は，戸籍及び除かれた戸籍に記録されている事項の全部を証明した全部事項証明書，戸籍及び除かれた戸籍に記録されている個人に関する事項の全部を証明した個人事項証明書並びに戸籍及び除かれた戸籍に記録

されている事項中の証明を求められた事項を証明した一部事項証明書とするのが相当である。

なお，戸籍の記録についての証明書を請求する場合の方法等は現行の戸籍の謄本等を請求する場合のそれ（戸籍法第１０条及び戸籍法施行規則第１１条参照。）と，また，除かれた戸籍についての証明書を請求することができる者及びその請求をすることができる場合等は現行の除かれた戸籍の謄本等を請求する場合（同法第１２条の２，同規則第１１条の２及び第１１条の３参照。）と同様とするのが相当である。

2　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書の様式

コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式の下では，戸籍は，コンピュータの電磁的記録として保存されることになるから，その記録事項の証明書の様式も，現行の謄抄本のそれにとらわれず，より分かりやすく見やすいものとすべきである。

現在の戸籍の謄本及び抄本は，いずれも，縦書きであり，これに使用される文字のうち年月日は壱，弐，参，拾の漢数字を用いるべきものとされている。しかし，近時の社会のすう勢にかんがみ，コンピュータシステムによる戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書については，その様式を左横書きにし，併せてそれらに表示する数字もアラビア数字を用いるものとすべきであり，その記録事項の表示方法についても，当該記録事項のインデックスを設ける等の改善を図るべきである。

第５　コンピュータシステムの導入に関しての基本方針について

1　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該指定は，官報に告示してするものとする。

2　段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

（説明）

1　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する市区町村長の指定

コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理することについては，国民の社会生活に深くかかわっている戸籍事務の処理の方法の大きな変更であることから，市区町村長が導入しようとするコンピュータシステムが法務省の定める基準に適合するかどうか，戸籍情報の保全及び保護対策が採られているかどうか等を審査した上で，これを導入する市区町村長を国民に対して明確に公示する必要がある。

そこで，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該法務大臣の指定は，広く一般国民に対して公示する意味で官報に告示してするものとする。

2　市区町村の一部の戸籍のコンピュータ化

コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理するについては，市区町村のすべての戸籍事務を一律に処理することが理想であり，これを原則とするが，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度への移行には，相当な費用と期間を要することが見込まれるため，段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

第6　移行について

1　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，戸籍に記載されている事項のうち，新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

2　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，誤字・俗字を解消すべきである。

誤字・俗字を解消する場合には，誤字・俗字の正字への対応関係が明らかなものである場合を除き，事前又は事後に本人にその旨を告知するものとする。

3　移行作業を外部委託する市区町村長は，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとする。

（説明）

1　移行する事項の範囲

移行のための戸籍情報ファイルの作成作業は，膨大な労力と経費を要する。移行を能率的に実施し，現行法の下での新戸籍を編製する場合との整合性を図るため，戸籍に記載されている事項の全部の入力を要せず，その事項のうち新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

2　誤字・俗字の解消

移行のための戸籍情報ファイルの作成作業に際しては，氏名についての誤字・俗字を解消して正字に引き直すものとするのが相当である。

誤字・俗字を解消する場合には，何らかの方法で事前又は事後に本人にその旨を告知するのが相当ではあるが，一方，コンピュータ化に際しては，この処理が多量に，かつ，同時期に実施されることになる。そこで，市区町村長が誤字・俗字を解消する旨の周知のための広報活動を十分に行う場合において，誤字・俗字である文字がその対応する正字に訂正されることが，一般人の常識をもって判断した場合に明らかであるときには，本人がその旨を知ることができるから，本人に対する個別の告知を要しないこととして差し支えないものとするのが相当である。

3　外部委託の場合のプライバシーの保護

移行のため戸籍情報ファイルを作成する作業は，相当規模の作業人員を必要とするものであることから，移行作業のうち外部委託になじむものについては，これを外部委託によって処理する必要があるが，この場合には，プライバシー保護についての必要かつ十分な措置が採られなければならない。

そのため，市区町村長は，移行作業を外部委託しようとするときは，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用すること

を防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。その方法としては，市区町村長は，プライバシー保護のため，受託業者に，戸籍データの保管の施設及び体制，移行作業の場所及び体制等を適正なものとさせるとともに，秘密保持義務を課した上，これに違反した場合の責任を明確にするなどの十分な措置を講ずべきである。

第７　その他

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，戸籍の附票事務についても，同時にコンピュータ化を図るのが相当である。

（説明）

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，市区町村における事務処理全体の合理化の観点から，戸籍事務に密接に関連する戸籍の附票事務も，同時にコンピュータ化を図るのが相当と考えられる。

戸籍コンピュータ化調査研究会

セットアップ部会

検討結果報告書

平成４年度

財団法人　民事法務協会

※※※※　目　　次　※※※※

はじめに …… 1

第1　戸籍事務をコンピュータにより処理するに当たっての移行の方法について
1　はじめに …… 2
2　移行の方法 …… 2
3　改製方式，再製方式及び第三方式の各移行方式の比較
(1)　各方式の比較 …… 3
4　改製方式，再製方式及び第三方式による作業工数について
(1)　作業工程について …… 8
(2)　作業工数について …… 9
5　改製方式，再製方式及び第三方式の検討結果 …… 11
(1)　現行の戸籍との整合性について …… 12
(2)　移行経費について …… 12
(3)　市区町村の職員が行う作業の軽減の問題について …… 13
7　結論 …… 13
8　移行作業に係る提言 …… 14

第2　戸籍事務のコンピュータ化に伴うシステム認容申請手続について
1　はじめに …… 15
2　システム認容申請手続について
(1)　システム認容申請手続の方法 …… 15
(2)　システム認容申請手順 …… 16
(3)　システム認容申請手続における問題点 …… 17

第3　移行作業期間中のデータ保護及びプライバシー保護
1　はじめに …… 19
2　データ保護・プライバシー保護のための遵守事項 …… 20
(1)　委託業者の全般に係る事項 …… 20
(2)　受託業者以外の第三者に係る事項 …… 20
(3)　データの管理・保管に係る事項 …… 21
(4)　データ等の授受・運搬に係る事項 …… 21
(5)　戸籍データ作成に係る事項 …… 21
(6)　受託業者の契約違反に伴う措置に関する事項 …… 22
(7)　その他 …… 22

第4　外字の取扱いについて
1　はじめに …… 23
2　誤字・俗字の解消 …… 23
3　外字の対応方法 …… 24
(1)　外字の対応ができない場合の取扱 …… 24
(2)　外字の管理及び統一化 …… 25

○　「各方式の比較表」 …… 別　紙　(1)
○　「作業方式別作業工程図」 …… 別　紙　(2)
○　「移行作業工数比較表」 …… 別　紙　(3)
○　「システム認容申請手順」 …… 別　紙　(4)

はじめに

戸籍事務のコンピュータ化については，昭和６０年から戸籍事務コンピュータ化調査研究会（以下「研究会」という。）が組織され，戸籍事務をコンピュータによって処理することとした場合の種々の問題点についての調査研究が進められてきているところである。

この研究会による調査研究は，各年度ごとに文書によって報告されており，平成元年度に，それまでの成果を集大成した「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合における設計・製造及び運用についての調査研究報告書」が提出され，この報告書において，戸籍事務にコンピュータを利用すれば，現在よりも能率的・合理的な処理が可能であるとの一応の結論が示された。この結果に基づいて，平成２年度から市区町村が将来戸籍事務にコンピュータ・システムを導入する場合に遵守すべき最小限の仕様・条件を定めた「基準書」の作成に取り組んでいる。「基準書」は，すでにその一部が完成し，残りの部分も近く完成する見込みである。また，豊島区の協力を得て，「基準書」の既に完成した部分についてその実用性を検証する作業（戸籍パイロット・システム）を開始している。

上記のとおり，戸籍事務のコンピュータ化の調査研究については，ほぼ最終段階にさしかかっており，研究会としては「基準書」の作成と並行して，現行の戸籍（簿）の移行作業の実施方法，戸籍情報システム（パッケージソフト）等の認容手順，移行作業におけるデータ保護・プライバシー保護の問題等について，検討する必要があるとされた。

そのため，研究会の下に「セットアップ部会」を設け，移行作業及びシステム認容手続における問題点の分析を行い，具体的な事務処理の方法，問題点の解決方法及び今後の課題等について検討するとともに，研究会における「基準書」及び法務省の「移行要領」等のための資料を提供することとされたものである。

今回，これらの検討結果を取りまとめたので，「セットアップ部会検討結果報告書」として提出する。

第１　戸籍事務をコンピュータにより処理するに当たっての移行の方法について

１　はじめに

戸籍事務をコンピュータによって処理する場合には，戸籍（簿）をはじめとした既存の戸籍関係諸帳簿に記載されている事項を，コンピュータの磁気記録媒体に移し替える作業が必要かつ不可欠となる。このための一連の作業を移行という。

本部会では，昭和６３年度の「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合における現行戸籍簿等の移行及びプライバシー・データ保護についての調査研究報告書」を前提に，より具体的な移行の方法及び問題点の再検討を行った。

昭和６３年度の報告書においては，戸籍に記載された身分事項等について，従前どおりの文書形式により移記して処理することを前提としていたが，その後の戸籍コンピュータ化調査研究会において，コンピュータ化に際しては，審査機能との関連などから身分事項等を各要素に分解し，項目化することが適切であるとの結論に達したため，これを前提に再検討を行ったものである。

２　移行の方法

戸籍は，日本人の身分関係を登録・公証するものであり，そこには，出生をはじめ婚姻，縁組等「人の身分」に関する様々な情報が登録されている。これらの戸籍データをどの範囲でコンピュータの磁気媒体へ移し替えるかについては，移行の効率化及び移行後の戸籍のあり方等を考慮した上で，慎重に決定されなければならない。

市区町村においては，戸籍事務のコンピュータ化に伴って，現存の戸籍等に記載された膨大なデータを短期間に移行する必要があり，また，それに要する経費も非常に高額となることが予想される。この点は，今後，戸籍事務のコンピュータ化を望む市区町村にとっては，避けられない問題であり，その方式のいかんは，戸籍事務のコンピュータ化の拡大を左右しかねない重要な問題であると考える。

現在の戸籍事務においては，戸籍（簿）に記載されている内容を新しい戸籍用紙に移し替える場合の取扱いとして，改製の手続による場合（戸籍法第１２８条）と再製の手続による場合（戸籍法第１１条）の二つの方式が規定されている。

戸籍法上，改製とは，戸籍（簿）の様式が法律又は命令に基づき改められた場合に，従前の規定による様式で編製されていた戸籍を新しい様式に改めるための編製替をいい，また，再製とは，戸籍（簿）が滅失の虞れがある場合，あるいは滅失した場合に，戸籍を元の状態に再現するための編製替をいう。

ところで，昭和６３年度の報告書においては，前述の改製方式と再製方式のほか，第三の方式として，除籍された者の事項を除き全部の事項をそのまま移記する，いわゆる在籍者再製方式（以下「第三方式」という。）が提案されている。そのため本部会においては，以上の三つの方式について，そのメリット・デメリットを比較検討することとした。

3　改製方式，再製方式及び第三方式の各移行方式の比較

(1)　各方式の比較

今回検討した各方式の異同について項目別に比較したのが，別紙(1)「各方式の比較表」である。

①　基本的内容について

各方式の法律上の根拠については，前述のとおり，改製方式及び再製方式については現行の戸籍法によって規定されており，これらは過去の法改正等に伴う改製作業あるいは滅失等に伴う再製作業等により，現実の戸籍実務において運用されてきている方法である。しかし，第三方式については，過去に実施された経緯がなく，まさに今回の戸籍事務のコンピュータ化のための便宜的な方法として検討されているものである。

すなわち，改製方式及び再製方式は，現行の法制度において対応することが可能であるが，第三方式を採用した場合は，別途このための法律的裏付け（法改正）が必要となる。

②　移記前の原本（戸籍）の取扱いについて

移記前の原本（戸籍）の保存期間については，改製方式とした場合は，

過去に改製が実施された際の取扱いから推測して，５０年ないし８０年の期間となると考えられる。再製方式による場合は，原則として現行の戸籍（簿）をそのまま移記することから，１０年間の保存とされている。また，第三方式の場合は，除籍者を除いた全ての事項が移記されるが，基本的には現在の戸籍（簿）の一部が移記される点において再製方式と異なり，改製方式と同様な取扱いとなるものと考えられる。

今後，コンピュータ化を実施する市区町村においては，前述の保存期間は依然として移記前の原本（戸籍）を保管しなければならないことから，この保存期間の長短は，市区町村の保管スペースの確保などこの保管のための負荷の面において大きな問題となると思われる。

しかしながら，現在の除籍簿の保管においては，マイクロフィルム等により管理することが認められていることから，保管スペースの問題はある程度解決されている問題と考える。

③　移記後の原本（戸籍）の取扱いについて

各方式による移記により，どのような形で戸籍がデータベース化されるかについては，できあがった戸籍の整合性の問題があり，相当に重要な要素となる。

改製方式によれば，移記される事項は戸籍法施行規則第３７条，３９条に規定された事項に限定され，従前の戸籍（簿）に記載されている事項が，現行の記載例に対応していない場合は，現行の記載例に引き直して移記される。また，追完・訂正事項については，原則として身分事項欄等に反映させた上で移記されることから，最も整理された形での戸籍となる。

再製方式によれば，原則として従前の戸籍（簿）に記載された全ての事項をそのまま移記することとなるため，戸籍（簿）によっては現行記載例に対応しない記載例が存在するが，改製方式と同様に，現行の記載例に引き直して移記することが認められている（昭48.11.17民二第8522号通知）。しかし，移記される事項は，従前の戸籍（簿）に記載された全ての事項を移記することが原則であるため，改製方式以上に項目化が対応できない部分が発生する可能性がある。

第三方式については，従前の戸籍に記載された事項のうち，除籍者以外の事項について，原則として全ての事項を移記することから，再製方式と同様の問題点が存在する。また，除籍者が離婚によるものである場合は，当該配偶者は除籍されているため移記の必要がないが，他方の配偶者の身分事項欄には，依然として婚姻・離婚事項が残ること等，戸籍の整合性が問題となる。はたして第三方式によりできあがった戸籍について該当住民等の理解が得られるか疑問であり，これが大きな問題となる可能性があろう。

④　システム上の問題点について

移記されたデータベースを基に，コンピュータ稼働後は処理を進めていくこととなるため，コンピュータに記録されるデータ量は増加の一途をたどることが予想される。そのためには，当初のデータ量は最小限のもので運用をスタートすることが望ましく，このことは導入するコンピュータの容量・機種を決定する上でも重要な要素となるものと考えられる。

改製方式では，戸籍法施行規則第３７条，３９条に基づく事項のみを移行すれば足りることから，移記事項が限定されデータ量が減少する。一方，再製方式では，原則として現行の戸籍（簿）に記載された事項の全てを移記することとなることから，データ量は相当大きなものとなると考えられる。また，第三方式では，除籍者のデータが移記されないことから，ある程度のデータを減少させることができ，データ量的には，改製方式と再製方式の内側の再製方式に近いところに位置するものと思われる。

さて，戸籍事務コンピュータ化のシステム開発において，特記されるものとしては，そのシステムで審査機能を付加した点が挙げられる。これは，市区町村が総合窓口制を採用する場合が増加し，戸籍事務に関する専門的な知識を有する職員の確保が非常に難しくなってきていることから，基本的なチェックをコンピュータに行わせようとするものである。例えば，離婚による女性の待婚期間の確認，婚姻における婚姻適齢の確認等である。これらの審査機能を活用するためには，従前の記載事項を

データベースとして保有していることが前提となるが，改製方式による場合は，移記事項が現に効力を有する事項のみとなることから，稼働後の一定期間においては，この機能が効果を発することができないことが生ずる。

ところで，移行作業は，戸籍のデータ量が膨大であることから，その作業は相当長期間に及ぶものと考えられ，移行期間中に発生する事件に係る戸籍データ（以下「異動データ」という。）については，再度入力することが必要となる。本来の改製方式によれば，従前のデータをいったんデータベース化した場合であっても，これらの異動データの入力も，稼働日の時点において整序され，改製した形とすることが望ましいが，現実問題として市区町村においてはこの追いかけ処理が不可能であると思われる。そこで，移行期間中の異動データについては，当該戸籍内に除籍者が生じている場合であっても，例外的に追加入力の処理ができるとする取扱いが認められれば，それらの異動事項がデータベースとして戸籍内に存在することとなり，審査機能の活用に資することも可能となると考える。

なお，第三方式において移行期間が6カ月以上かかる場合は，審査機能における待婚期間の審査について，移行期間中に待婚期間が満了してしまうことから，移行開始時までの離婚等の事項がデータベースに移記されていても審査機能に活用できないこととなる。

⑤　住民関係について

戸籍事務のコンピュータ化及び移記された戸籍データベースについては，地域住民としても大きな関心を寄せることが想定される。

これは「私の戸籍」という概念で示されるように，国民の感情論として戸籍が国の文書であるという意識よりも，当該国民個人のための文書と意識されるものとして存在してきていることを否定できないことによる。そのため，今回の戸籍事務のコンピュータ化に伴っても，どの程度の身分事項を移記し，どのような戸籍とするかは慎重に検討しなければならないものと思われる。

改製方式によれば，必要最低限の移記事項に特定され，戸籍の整合性

が確保される点において，住民感情的なトラブルは少ないと考えられるが，再製方式又は第三方式による場合には，現在戸籍の全て又は現存者の身分事項がそのまま移記されるため，依然として離婚歴が残る等により，地域住民の理解を得られるか，また，戸籍の整合性を説明し得るかが懸念される。

また，移記前の戸籍（簿）について，その謄抄本等の証明書（以下「証明書等」という。）の請求がどの程度発生するかの問題がある。

再製方式の場合は，原則として全ての記載事項が移記され，また，移記前の原本（戸籍）は戸籍原本としての効力を失っているため，原則として証明書等の発行には応じられないこと等から，その請求は数少ないものと思われる。改製方式の場合は，移記事項が整理された形となる反面，相続における従前戸籍の確認などのために改製原戸籍とされる移記前の戸籍の証明書等の請求が相当程度なされることが考えられる。また，第三方式の場合は，改製方式による場合よりは減少すると思われるが，同様な趣旨から，相当程度の請求がされるものと予測される。

しかし，そもそも今回の移行作業は，記載内容の項目化を前提としていることから，再製といっても従前の文書形式による記載内容と著しく異なる形式となるため，再製の場合であっても移記前の原本の証明が求められることが考えられ，はたして各方式によりどの程度の差が発生するかは予測し難いものがある。

⑥　移行用戸籍データの作成について

現行の戸籍（簿）に記載されたデータを移行するためには，パンチ入力を容易にし，入力によるミスを極力減少させる必要があるため，現在の戸籍に記載された事項を入力し安いように加工し，移行のための戸籍データを作成する必要がある。また，今回の戸籍事務のコンピュータ化に際しては，従前の文書形式による記載事項を各項目に分解し入力することを前提としているため，この項目化のためのコーディング作業が必要不可欠である。

移行用の戸籍データ作成に関しては，移行作業のコスト面及びその正確性の確保が大きな要素となる。

戸籍データのパンチ入力については，そのデータ量が減少すればパンチ入力の量が減少するため，結果的には入力によるミスも減少することが考えられる。この点に関しては，改製方式が最も効果的であるが，次の問題点が考えられる。

改製方式によれば，除籍された者及び在籍者の身分事項のうち，移記不要事項及び追完・訂正事項の身分事項への反映等についての判断及びこれに伴うマーキングが必要となり，再製方式によれば，改製方式による場合のような移記不要事項の見極め，マーキングは不要であるが，市区町村長限りの職権訂正事項についてはマーキング等が必要となり，また，第三方式によれば，在籍者についての訂正・追完事項については，内容によって身分事項に反映すべきものが存在するため，その判断及びマーキングが必要となる。

前述の移記不要事項の見極め及びマーキング作業は，戸籍の専門的知識を必要とすることから，市区町村職員が行うこと，あるいは移行作業を行う業者が独自に戸籍についての知識を有する要員を確保する必要が生ずる。

市区町村職員が行うこととした場合は，通常事務を処理しつつ当該事務の処理を進める必要があり，また，これができない場合は別途人員を確保する必要があるなど，市区町村が負担を負うことが問題となる。

一方，業者が要員を確保して行うこととした場合は，現実に適切な要員の確保が可能であるのかといった問題のほか，この専門知識を有する要員を確保するための移行経費の増加が考えられる。

以上のように，この入力不要部分のマーキング及び項目化のコーディング作業は，移行作業における経費面及び市区町村にかかる負担の点から，どの方式によるかを決定する上で重要なポイントであると思われる。

4　改製方式，再製方式及び第三方式による作業工数について

(1)　作業工程について

各方式による作業工程については，おおむね別紙(2)「作業方式別作業工程図」のとおりであると考えられる。

一般的な移行作業の実施に当たっては，移行すべき戸籍（簿）の特定の

ための事前準備として戸籍（簿）の点検及び入力データ作成のためのコード番号付け，入力用原票（移行用戸籍データ）の作成，従前の記載事項の見極めと項目化するためのマーキング及びコーディング，項目化後のデータに基づくパンチ入力，パンチ入力されたデータの照合及び修正，移行期間中の異動データの反映及び最終確認を行った上での納品という工程を踏むものと考えられる。

なお，ここで示したそれぞれの作業工程は，一般的に想定される一例として示したものであって，今後，市区町村が実際に移行作業を実施する際には，これとは異なる工程により行われることも当然にあり得るものと思われる。

別紙(2)のとおり，各方式により工程そのものには大きな差はないと思われるが，前述のとおり，従前の記載事項の見極めと項目化するためのマーキング及びコーディングの作業において，各方式により若干の相違が生ずるものと考えられる。

(2) 作業工数について

各方式によるメリット・デメリットを検討する上で，移行作業に係る経費の差がどの程度発生するかについては，実際にコンピュータを導入しようとする市区町村にとっては，最も関心があることであろう。

そこで，本部会においては，参加したセットアップメーカーに，実際の移行作業を前提に各方式による工数の積算依頼を行い，その結果を踏まえて検討することとした。各メーカーからの報告を集計した結果は別紙(3)「移行作業工数比較表」のとおりである。なお，この調査を依頼する際に示した前提条件は次のとおりである。

ア) 自治体作業レベルは，複写作業の立会い事務と検査作業の最終確認事務のみとし，メーカーにおいて，精度の高いデータを作成するものとする。

イ) 戸籍人数割合は，１戸籍２．８人とする。

ウ) 改製による入力不要部分の発生割合は，１割とする。

エ) その他算出基礎は，昭和６３年財団法人民事法務協会の報告書による。

なお，この集計表は各メーカー単位で各方式を比較することを目的とす

るものであって，メーカー間における作業工数は各メーカーの作業方法及び各作業に対するウエイトの置き方等がそれぞれ異なるため，各メーカー間での比較は適当でない。また，メーカーに対する積算依頼は，10,000戸籍と100,000戸籍とについて行い，この双方についての報告を受けたが，結果的に10,000戸籍と100,000戸籍との間においてはその数の差によるもののほかは，各方式においても格別の相違点も存しなかったことから，この報告書では10,000戸籍による比較を紹介するに留めることとした。

① 各メーカーの作業工数の比較

各メーカーによる工数の積算については，メーカー各社の移行作業におけるノウハウが加味され，また，各メーカーが具体的に想定する処理工程が異なり，これを事前に同一のものとして特定することが困難であったため，工数積算の前提が不明確となる点があったが，各メーカーにおける各方式による相違点を知るという点においては，ほぼ目的を達成できるものであると考えられる。

各方式による作業工数の比較は，A社を除き，改製方式が最も少なく，次いで第三方式，再製方式の順となっている。また，A社は第三方式が最も少なく，次いで改製方式，再製方式の順となっている。

これは，A社とその他社との間の移記不要部分のマーキング作業，マーキング作業により移記すべき事項が特定された後の項目化作業，入力作業及び確認作業のウエイトの置き方の差による工数の増減によるものと考えられるが，A社を含めても工数的には各社とも各方式による相違には大きな差は存在しない結果となっている。

② 各方式による移行経費の比較

今回の調査においては，工数のみの比較とし，実際の移行経費による比較は行わなかった。これは，移行経費額が提示されることにより，当該経費額がひとり歩きをすることを避けるため，あえて行わなかったものである。しかしながら，各作業区分毎における工数が実数で明示されていることから，移行経費額は各作業に従事する者の単価を設定すれば，容易に積算できるものであろう。

実際に経費を積算し，各方式を比較した場合には，入力データの不要

部分のマーキング作業には戸籍の専門的知識を要することから，経費積算の上で大きな影響力があるものと思われる。その結果，改製方式による場合はマーキング作業のウエイトが大きいことから，実際の経費額による比較では，改製方式による場合の経費が増加し，再製方式による場合はマーキング作業はほとんどないことから相対的に経費額は減少するものの，データ量が多いことから入力作業及び確認作業による経費並びにシステム稼働後のファイル容量の増に係る経費が増加するものと考えられる。

改製方式と第三方式との比較においては，作業工数に大きな差がなく，マーキング作業のウエイトからして，現実の経費額では第三方式によることが最も安価となるものと思われるが，改製方式との間ではそれほどのかい離がないものと見込まれる。

5　改製方式，再製方式及び第三方式の検討結果

移行作業の方式の決定については，各方式のメリット・デメリットを比較し，総合的に最も適当と思われる方式を検討する必要がある。今回検討した各方式については，前述のとおり，その比較項目ごとにそれぞれメリット・デメリットが存在し，一概にその結論を導き出すことは容易ではなかった。しかし，移行作業に当たっては，各市区町村が望むそれぞれ異なった方式により処理することは適当でなく，統一化される必要がある。そこで，この報告書では，検討の経緯を踏まえ一応の結論を提示することとする。

どの方式を採用するかの判断基準としては，次の事項が挙げられる。

その第一は，現行の戸籍（簿）との整合性の問題である。コンピュータ化後の戸籍は，戸籍事項及び身分事項の項目化を前提としている。これを踏まえた上で現行戸籍との整合性を検討する必要がある。

第二は，移行の経費の問題である。いわゆるバブル経済の崩壊後，市区町村においては税収が大幅ダウンするなど，移行経費の節減は重要な課題である。

第三は，市区町村の職員が行う作業の軽減の問題である。市区町村にとっては，この移行作業のための職員を特別に確保することは困難であり，現行の職員での対応を前提としなければならないことによる。

(1) 現行の戸籍との整合性について

改製方式は，法律的な裏付けがあり，過去の法改正等において実施されている方式であり，戸籍の整合性を論ずる上では，最も問題のない方式論であると考えられる。また，３－(1)－④で提案した移行期間中の異動データについて追加入力の方法が認められた場合は，結果的にコンピュータ処理がスタートした時点では，稼働日現在による改製戸籍となってはいないが，これは移行処理上やむを得ないことであって，このことが改製方式の適否を左右するものではないと考える。

再製方式についても，法律的な裏付けがあり整合性を論ずる上では問題はないと考えられるが，旧記載例について，項目化が困難なものが発生することも考えられ，この点をいかに解決するかの問題点が存する。

第三方式については，戸籍事務のコンピュータ化のために提案された経費節減及び市区町村職員の負担軽減のための新しい方式であり，当然のことながら法律的な裏付けは存在しない。この方式を実現するためには，戸籍法上新たな戸籍の移行方式として立法する必要がある。しかし，コンピュータ化のための移行方式として，経費節減あるいは市区町村職員の負担を軽減する目的のみということではたして国民に容認されるかという点については，戸籍の整合性の上で問題点を多く含んでいることから疑問が感じられる。既述のとおり，離婚歴がある場合に離婚した配偶者が除籍されているため移記されないにもかかわらず，身分事項欄には，婚姻事項及び離婚事項が移記されることなど，少なからず問題を抱えている。

(2) 移行の経費について

今回調査した別紙(3)「移行作業工数比較表」においては，各作業項目の内容及びメーカーごとの方法及び技術が異なり，また，メーカーと市区町村との作業分担のウエイトの置き方が統一されていないため，一概に結論を導き出すことは困難である。

しかし，工数的には，再製方式はデータ量が減少しないことから最も工数が増加し，改製方式及び第三方式は，ほとんど差が生じていない結果となっている。また，この結果は実際の経費により積算されたとしても方法論の決定を左右するほどの大きなかい離が生ずるものとは考えられないで

あろう。

(3) 市区町村の職員が行う作業の軽減の問題について

戸籍事務のコンピュータ化に関しては，その移行すべきデータが膨大であり，通常事務と並行して移行作業を行う必要があることから，市区町村職員の負担を極力軽減する方策を検討する必要がある。

移行作業における市区町村職員の負担は，移行にたずさわるメーカーの技術及び方法により異なる結果となっている。改製方式によれば，マーキング作業に戸籍の知識を有する要員が必要となるが，移行業者においてこの手当てがされることが予定されており，このことを前提として，それぞれの方式により大きな差は生じていない。

7 結論

戸籍事務のコンピュータ化は，市区町村にとって一大事業であり，地域住民に及ぼす影響も非常に大きなものである。この点を認識するならば，ただ単に移行のための経費節減及び市区町村職員の負担軽減ということのみで結論に到達することは，必ずしも相当ではないであろう。

市区町村としては，戸籍事務のコンピュータ化がスムーズになされるよう最善の方法を検討するとともに，その処理体制を確保することが重要であり，責務であると考える。また，コンピュータ化をひとつの契機として，従前の戸籍を整理し，整然とした戸籍を作り上げることも，将来，戸籍制度を運用していく上で重要な意味を有するものと考える。

部会における検討では，最終的に改製方式あるいは第三方式によるべきかが論議されたが，経費の問題，戸籍の整合性の問題，コンピュータ化による戸籍の将来の運用の問題からして，移行作業の方式は，改製方式によるのが適当であるとの結論に達した。

また，改製日をどの時点とするかについては，従前の戸籍（簿）を凍結した日，あるいは，個々の戸籍（簿）の移行が完了した日とする等の意見も出されたが，コンピュータ稼働日（官報に告示された日）とするのが最も適当であると考える。

なお，各方式の検討途中において提言された第三方式を指示する理由を次に付言する。

第一に，改製方式による場合は，移記不要事項の見極めが非常に大きな事務量となり，その結果，市区町村の負担が増加すること。

第二に，移記不要事項の見極めが専門的知識を必要とされることから，移記事項にミスが発生する可能性が高いこと。

第三に，移行期間中の異動データの追いかけ処理について，本来の改製戸籍とするためには，一端データベース化した事項も移記不要部分の見極めを行った上で再入力する必要があり，現実的にはその処理が不可能であること。

第四に，改製方式によれば，データベース化されたデータ量が少ないため，コンピュータによるシステム審査機能を活用できないこと。

等である。

8　移行作業に係る提言

本部会においては，移行作業方法として改製方式によるのが相当であるとの結論に達したが，前述のとおり第三方式を指示する意見があったことも事実である。そこで，本部会としては，改製方式によるデメリットを解決する方策等について検討する必要があると考え，次の事項を提言する。

ｱ）　市区町村職員の負担軽減のため，移記不要事項の見極め作業を移行メーカーが責任をもって処理できる体制を確保すること。

ｲ）　移行期間中の異動データの入力に関しては，改製方式による場合も，いったん移記されたデータに追加入力を行うという便宜的な処理を認めること。

ｳ）　改製原戸籍については，戸籍事項欄に改製による除籍事項の記載が必要となるが，稼働日現在で大量の処理を必要とするため，欄外にこの旨記載する等の便宜的な方法を検討すること。

ｴ）　改製原戸籍の保存方法については，従前どおりの紙による場合，マイクロフィルムによる場合等が考えられるが，今後，光ディスク等による場合も想定できることから，その可否について検討すること。

第２　戸籍事務のコンピュータ化に伴うシステム認容申請手続について

１　はじめに

市区町村が戸籍事務をコンピュータによって処理しようとする場合は，その事務が国の機関委任事務であることから，監督法務局との連絡・調整を密にし，統一的に手続が行われるよう配意する必要がある。

戸籍事務は性質上国の事務であり，全国統一の方式により処理されなければならないものであるから，理想をいえば，戸籍情報システム（以下「システム」という。）も，全国の市区町村が同一のハードで，同一のプログラムを用いることが望ましい。しかしながら，今日多くの市区町村においてＯＡ化が進められ，大規模な市や区にあっては，ホスト・コンピュータとして種々のメーカーの機種が導入されているほか，比較的規模の小さい市区町村においてもオフィス・コンピュータが導入されているなど，市区町村が使用するコンピュータの機種は同一ではない。このため，システムの設計に当たっては，こうした市区町村のコンピュータ化の状況を前提に置かなければならない。

そこで，考えられたのが「基準書」による統一化で，これは，現在各市区町村で用いられている各種のコンピュータのハードとソフトの共通要素を拾い出し，各機種の処理能力で実現可能な範囲内において，各機種に適応する統一の仕様を作成しようとするもの，すなわち，この範囲内においてプログラムの統一性を図ろうとするものである。

この結果，戸籍事務のコンピュータ化に参画するメーカーは，自社のコンピュータハードを使用し独自のシステムを開発したとしても，あたかもその処理は全国統一のシステムを用いて処理するのと同様の効果を得ることができるのである。

戸籍コンピュータシステムを開発するメーカーは，この趣旨を十分理解し，「基準書」を遵守することが，前提条件となることは言うまでもない。

２　システム認容申請手続について

(1)　システム認容申請手続の方法

市区町村が戸籍事務をコンピュータにより処理するためには，当然そのためのコンピュータ機器及びシステムを導入する必要がある。しかし，導入するシステムが「基準書」に示された基準をクリアしているか否かの判断をしなければならず，また，どのような方法によりその検証を行うかが問題となる。

従前は，メーカーが「基準書」に基づき開発したシステムを，メーカー単位のパッケージソフトとして認容する方法が検討されていたが，そもそも法務局あるいは法務省は，民間のメーカーが開発したパッケージソフトに対して直接許認可することができるか，その手続はどのようにするか等について疑問が存した。そこで，従来の戸籍事務の一部処理システムについての認容手続が，各法務局・地方法務局の定める戸籍事務取扱準則に示された「事務改善等により戸籍事務に関する処理方法及び組織機構を改めたとき」に該当するものとして取り扱われていることから，この方法に類した手続により一連の認容手続を進めることが現行の法制度の中では，最も適当であると考えられる。

(2) システム認容申請手順

システム認容申請手順として考えられる方法として，本部会としては，別紙(4)による手続方法を提案する。

① 移行作業に着手する前の手続

コンピュータを導入しようとする市区町村は，移行作業に着手する前提として，市区町村としての全体のコンピュータ化計画案及び移行作業のための計画案等を作成するとともに，導入するメーカー，機種，プログラム及びコンピュータ化後の戸籍事務の処理方法等について，管轄法務局・地方法務局長に対し認容申請を行う。

なお，この場合には，当該市区町村が，行政機関の保有する電子計算機処理に係る個人情報の保護に関する法律第２６条による個人情報の適切な取扱いを保護するための必要な施策を策定し，実施するものであることを明らかにしなければならない。

認容申請を受けた法務局・地方法務局は，全体計画の整合性を確認するとともに，導入されるシステムが「基準書」に適合するか否かを検証

する。確認・検証の結果，問題がないと判断された場合は認容し，問題がある場合は法務省に対し照会する。

照会を受けた法務省は，市区町村が導入するメーカーのソフトについても必要に応じ検証を行った上で，適宜，法務局・地方法務局に対し回答する。

なお，移行作業着手前の手続に関して，認容権者は法務局長又は地方法務局長となるのか，認容許可がないと移行作業に着手できないかといった問題が残されているが，今後，これらの問題点について検討する必要があるとともに，認可されたメーカーのソフトについては，法務省で適宜の方法により公表すること等も検討すべきであると考える。

② 移行期間中の手続

市区町村が戸籍データの移行に着手した場合，その処理の方法について，様々な疑義，不明事項が発生することが予想される。

当然，これらの事項についても，統一的に問題が解決され処理することが必要であるため，法務局・地方法務局に確認・照会を行うことが不可欠である。また，法務局・地方法務局において判断できない事項については，適宜，法務省に回答を求めることも必要である。

③ コンピュータ稼働前の手続

市区町村は，移行作業がある程度収束し，その終了日を特定できる状態になった時点で，監督法務局・地方法務局長に対し，コンピュータにより戸籍事務を取り扱うこと（コンピュータ稼働日の特定）についての申報を行う。

申報を受けた法務局・地方法務局の長は，移行作業の進捗状況等について調査を行い，稼働日等について問題がないと判断された場合は，法務大臣に対して，その具申を行う。

具申を受けた法務省は，どの市区町村（地域等が特定される場合も考えられる。）がいつから戸籍事務をコンピュータによって処理するか等について，官報に告示の手続を行う。

(3) システム認容申請手続における問題点

システム認容申請手続は，一例として，前述のとおりの方法が考えられ

る。この方法を部会において検討する上で，種々の問題点の提起がなされた。その主なものは次のとおりである。

ｱ) 戸籍事務の一部処理の認容申請において，申請から認容までの期間が相当長期間となり，問題となったケースがあるが，戸籍事務のコンピュータ化の認容申請に関しては短期間に処理がなされること。

ｲ) ひとつの市区町村で認可されたパッケージソフトを使用して認容申請をする場合は，原則どおりの手続を必要とせず，簡便な方法を検討すべきこと。

ｳ) 法務局においてパッケージソフトの検証する場合，処理システムのプログラムを直接確認できる要員もしくは専門的知識を有する職員を確保することは不可能であることから，その検証方法を確立する必要があること。

ｴ) 移行作業は短期間のうちに完了する必要があることから，その期間中に生じた疑義に対して，法務局等から早急に回答が得られるようにすること。

ｵ) 市区町村の一部の地域等を限定して，コンピュータ化を実施することについて，認容することができるのか。また，地域等の限定の方法に，一定の基準，制限が必要とされるか等について検討すること。

第３　移行作業期間中のデータ保護及びプライバシー保護

１　はじめに

戸籍簿又は除籍簿は，事変を避けるためでなければ，市区役所又は町村役場の外にこれを持ち出すことができないとされ（戸規第７条），また，これらの簿冊は，施錠のある耐火性の書庫又は倉庫に蔵めてその保存を厳重にしなければならないと規定されている（戸規第８条）。

戸籍データの移行作業に関連しても，当然にこれら規定は適用されるべきものであり，市区町村がセットアップ業者（以下「業者」という。）に委託して移行作業を処理する場合にも，戸籍簿又は除籍簿を直接市区役所又は町村役場の外に持ち出すことは許されないであろうと思われる。また，たとえ戸籍簿又は除籍簿の写しであっても，この戸籍の持つ特殊性を十分理解した上，データ保護及びプライバシー保護が図られなければならないことはいうまでもない。

したがって，移行作業は，そのすべてを公務員として守秘義務を負った市区町村職員が市区役所又は町村役場内で行うことが最も望ましいが，既存の戸籍に記載された膨大なデータを，平常事務を進めながら移行することは，現実に不可能であるといわざるを得ない。

そこで，当部会においては，各市区町村及び業者の移行作業工程を前提に，移行作業において当然に発生するであろうと思われる事項について検討を行った。

しかしながら，戸籍が人の身分関係の登録簿であるという性格を認識するならば，移行作業において，そのデータ及びプライバシイーに関する守秘義務が当然に発生するものであり，また，これが遵守されなければならないことはいうまでもないことである。現実に，各市区町村においては，各種の場面においてそのデータ保護・プライバシー保護に関しての独自の条例等が制定されており，その実現のため，細心の注意が払われていることは周知の事実である。そこで，ここで提案する事項は，最低限守らなければならない事項とし，その表現も一般的な規定程度のものに留めた。実際の移行作業に当

たっては，実施する市区町村がデータ保護・プライバシー保護の確保のために，具体的な措置を実際の移行作業に即して独自に講ずることが望ましいと考える。

2　データ保護・プライバシー保護のための遵守事項

移行作業について，市区町村が業者に委託して作業を進める場合は，データ保護及びプライバシー保護を十分図っていくことが重要である。そのためには，次の諸点について十分認識し，必要な措置等を講ずることが肝要であると考える。

(1)　委託業務の全般に係る事項

市区町村から委託された業者は，市区町村から提供された入力資料及び記録媒体等（以下「データ等」という。）について，善良な管理者の注意をもって保管・管理することを義務付ける必要がある。

具体的方策としては，次の諸点が考えられる。

ｱ)　受託業者は，データ等を委託した市区町村が指示した目的以外の目的に使用してはならないこと。

ｲ)　受託業務遂行過程において生じた記録又は入力情報が記載されているデータ等は，原則として，市区町村にその全てを返還すること。

ｳ)　受託業者は，契約業務終了後，又は契約解除後においても，受託業務によって知り得た情報を外部に洩らすことのないよう守秘義務を負うこと。

ｴ)　市区町村の職員は，入力資料等の管理状況その他これらに関する設備及び処理方法等を調査するため，受託業者の作業施設に立入り，必要に応じ改善させる等の措置を講ずること。

ｵ)　受託業者は，その責任を明確にするため，市区町村に対し受託業務の管理責任者，作業内容別の担当者及び従事者を文書をもって報告する等，必要な措置を講ずること。

(2)　受託業者以外の第三者に係る事項

戸籍を移行する場合は，そのデータ等が個人の身分関係に関するものであることから，移行作業の過程で，関係機関以外の第三者に流出することのないよう最善の注意を払わなければならないことは言うまでもない。し

かし，実際の移行作業には，移行用の戸籍データの作成，移記事項の項目化，パンチ入力，入力事項の確認等，様々な業者を介在して進めなければ実現できないことは事実であろう。

すなわち，戸籍に関するデータ等の一部もしくは全部が，作業を委託した市区町村が関知する範囲を超えて他の業者等に流れることは，そのデータ等の特殊性及び散逸を防止する観点から，細心の注意を払わなければならないと考える。

そこで，受託業者が，受託した業務の一部もしくは全部を他の業者に再委託する場合は，その再委託の範囲及び処理方法について，事前に市区町村の承認を得るなど，各作業の責任の所在を明確にすることが肝要である。ただし，市区町村の条例等によって再委託が禁止されている場合は，その条例に従うことは当然のことである。

(3) データの管理・保管に係る事項

受託業者は，業務を遂行するために必要なデータ等の保管体制，施設及び管理等について，内部規定を設定し，事前に市区町村の承認を得る等，データ保護・プライバシー保護に関して，十分な措置を講ずることが必要である。

具体的方策としては，次の諸点が考えられる。

ア) 受託業務の処理に当たっては，専用の処理室を設けるなどして，データ等の散逸を未然に防止する方策を検討すること。

イ) データ等の授受及び保管に当たっては，データリストを作成し，記録に残すこと。

ウ) 受託業務の処理に当たって作成されるチェックリスト，データ等についても，その保管には万全を期すること。

(4) データ等の授受・運搬に係る事項

市区町村と受託業者との間におけるデータ等の授受に当たっては，授受・運搬途中におけるデータ等の飛散及び紛失を防ぐため，それぞれ指定した職員が，内容及び数量等の確認を行う等，その管理，方法に十分な注意を払うことが必要である。

(5) 戸籍データ作成に係る事項

コンピュータ化のためには，現行の戸籍（簿）に記載されたデータをコンピュータの記録媒体に入力することが前提となるが，その入力用の戸籍データの作成については，遺漏，散逸がないよう留意する必要がある。戸籍データの作成方法には，マイクロフィルムによる場合，戸籍（簿）を複写機を用いてコピーする場合，光ディスクに記録する場合等，様々なものが考えられる。

そこで，入力用の戸籍データの作成に当たっては，その場所，方法等に関して事前に市区町村と協議して定め，データ等の散逸がないよう厳格に管理することが必要である。

(6) 受託業者の契約違反に伴う措置に関する事項

一連の移行作業においては，委託した市区町村と受託した業者との信頼関係が重要であり，信義則に反するような行為があってはならないことが前提となる。

そこで，受託業者が契約内容に違反した場合は，直ちに契約を解除することができること，委託した市区町村の損害又は業務の支障に対して，速やかに賠償又は修復の措置を講ずる等，移行作業の重要性を認識させるとともに，その責任の所在を明確にする必要がある。

(7) その他

戸籍事務のコンピュータ化に伴う移行作業に関しては，何ら問題なく完了することが原則であり，移行作業について少なからず問題が提起された場合は，社会的にも大きな問題に発展しかねないこと，及び今後のコンピュータ化の拡大を左右する問題となる点を十分認識する必要がある。そのため，次の点にも留意することが必要であると考える。

ア) 受託業者は，戸籍及びプライバシー保護の重要性を認識し，受託業務に係わる従事者に対して，必要な研修・教育を行う等，作業が厳格に行われるよう留意することが重要である。

イ) 受託業務に係る不明事項に関しては，市区町村と協議するとともに，市区町村が判断できない事項については，市区町村から必要に応じ監督法務局の指示を仰ぐ等，取扱いの統一を図る必要があり，今後，その具体的方法論を検討する必要があるものと考える。

第４　外字の取扱いについて

１　はじめに

現行の戸籍（簿）の記載事項は，手書きであるもの，タイプライターを使用したもの，戸籍の一部処理によりパソコン等のプリンターを使用したもの等，様々な記入方法により編製されている。

戸籍事務のコンピュータ化に伴って，戸籍の記載事項はコンピュータのデータベースとして管理されることとなり，当然に，戸籍に記載される文字（漢字）もコンピュータでの対応となる。しかし，戸籍に用いられる漢字は，通常の行政文書等と異なり，「氏」及び「名」が存在する関係から，正字とされている漢字についてはその全てを対応できるシステムが必要である。現在の戸籍（簿）には「氏」に用いる漢字についての制限がないことから，様々な漢字が存在する結果となり，移行作業及びコンピュータ稼働後の運用に大きな影響を及ぼす可能性がある。

現在のコンピューターシステムにおいては，ＪＩＳ規格に基づく第一水準及び第二水準程度の漢字については対応できるものの，全ての正字に対応できるものは開発されていない。

２　誤字・俗字の解消

平成２年１０月２０日付け法務省民二第5,２００号通達に基づき，婚姻，養子縁組，転籍等による新戸籍編製，他の戸籍への入籍又は戸籍の再製により，従前の戸籍に記載されている氏若しくは名を移記する場合，又は認知，後見開始等により戸籍の身分事項欄，父母欄等に新たに氏若しくは名を記載する場合は，当該氏又は名が従前戸籍，現在戸籍等において誤字又は俗字で記載されているとしても，これに対応する字種及び字体による正字で記載するものとされている。

戸籍事務のコンピュータ化に伴い，従前の戸籍（簿）の記載事項をコンピュータのデータベースに移記することとなるが，この場合も観念的には新戸籍編製と同様であることから，積極的に誤字・俗字を解消すべきものと考える。

ところで，前述の通達発出後は，市区町村においても通達の趣旨に則り事

務処理が行われているが，一部には，勝手に「氏」が変えられたとして当該人から苦情が寄せられるケースも発生している。戸籍事務のコンピュータ化に伴い，これらの処理が一律，広範囲にわたって実施されることから，大きな問題に発展する可能性も否定できない。

これらの問題を解決するためには，今以上に広く国民へ周知することが必要であると考えられ，具体的方法としては，通達の発出のみに留まらず，マスコミ等を利用した広報等を検討すべきであり，市区町村としても地域住民の理解を得られるよう周知の方法等を検討することが重要であると考える。

また，前述の通達は，コンピュータのデータベースへの移行の方法として，改製方式とすることを明言はしていないため，この趣旨をより明らかにするため，新たに通達を発出することも必要であると考える。

3　外字の対応方法

戸籍における「氏」及び「名」に用いられる漢字は，国民の感情論的な問題も付加され，それが正字である以上，現行の戸籍（簿）に記載されている漢字どおりに移記されることが原則であり，コンピュータにより対応できないことだけの理由をもって，他の文字あるいはひらがな等に変更することは許されないであろう。また，正字である漢字については，できるかぎりこれを忠実に表現することが戸籍制度の基本であるとして運用されてきており，これに対応できるシステムとすることが必要であると考える。

そこで，システムを開発するメーカーにおいては，この趣旨を十分理解し，何らかの方法で漢字の対応が可能となるよう期待するものである。

なお，本部会に参加したメーカーについて，その対応方法を確認したが，その方法論は異なるものの，ほぼ現行の戸籍（簿）に使用されている漢字については，対応できるとの確認がなされた。しかし，具体的な各メーカーの方法は，機密事項となるため，この報告書に提示することは省略する。

(1)　外字の対応ができない場合の取扱

移行作業に係る部分については，その期間がある程度長期となることから，期間内に外字として登録し，管理することによって，戸籍データベースへの入力は可能であると考える。

問題となるのは，稼働後に非コンピュータ化庁から転籍あるいは婚姻等

によりコンピュータ入力が必要となった場合，対応する漢字が登録されていないと処理ができないこととなる点にある。一端データベース化された戸籍については，漢字での対応ができないことをもってデータベース化されない戸籍（事故簿）とすることは，極力避けられるべきである。

そこで，このような事案の場合は，届出を受理した後，外字の作成のため，戸籍を編製するためには若干の期間を要することを届出人に説明し理解を得るとともに，受理証明の請求があった場合は，手書きにより対応するより方法がないものと思われる。

(2) 外字の管理及び統一化

戸籍事務処理のためのコンピュータは，市区町村単位で導入され，その機種も異なることから，前述のような市区町村間での異動があった場合は，ひとつの市区町村で作成・登録した外字を他の市区町村で活用することができない状況にある。

外字を作成しシステムに登録するためには，その期間と経費を必要とし，これを各市区町村ごとに同じ文字を作成することは，非常に非効率的であると思われる。本来であるならば，ひとつの登録パターンが作成され，それを画一的に使用できるシステムが望まれるが，現実的には不可能であろう。

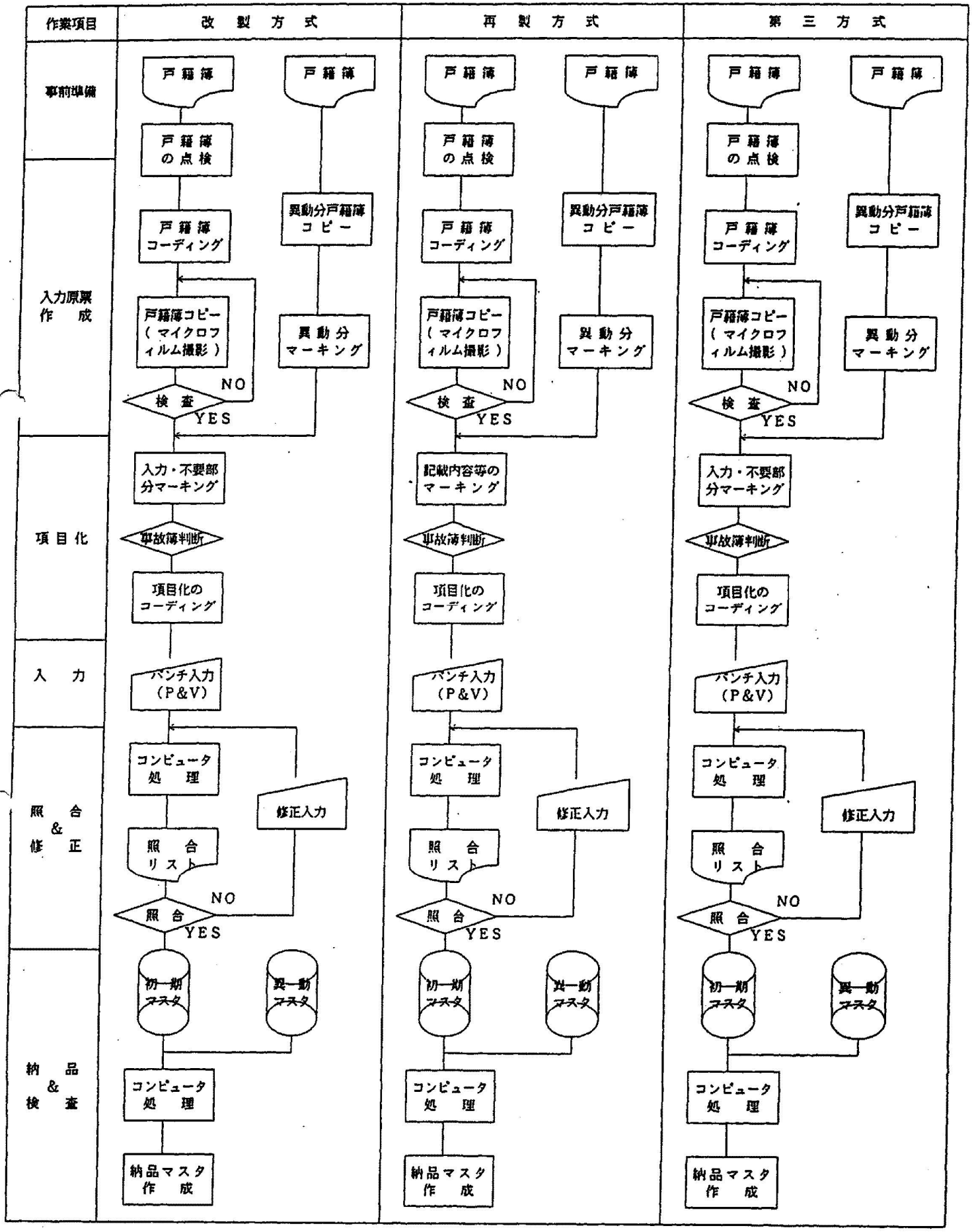
今後，外字の作成・登録が容易であり，その検索及び管理が可能なシステムの開発が望まれる。

各方式の比較表

項目	比較項目	改製方式	再製方式	第三方式
基本的内容	法律上の定義	戸籍の様式が法律または命令に基づき改められた場合に，従前の様式を新しい様式に改めるための手続。	戸籍の全部又は一部が，滅失したとき，又は滅失の虞れがある場合に戸籍を元の状態に戻すための手続。	戸籍のコンピュータ化に伴い，新たな方式として提案された手続。 ※ 現行法上の根拠はない。
	移記事項の取扱	現に効力を有する事項のみ項目化した上で移記する（戸籍法施行規則第37条ただし書き及び同第39条1項準用）。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。	従前戸籍の記載事項をそのまま項目化した上で移記する。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。	除籍者を除き在籍者の全ての身分事項を項目化した上で移記する。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。 改製方式と再製方式の中間的方式である。
	効力の発生時期	各戸籍につき，各市区町村が実際に改製した時（一戸籍ごとの処理）。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を改製日とすることが妥当である。	監督法務局が調査完了した時（大13.5.6民7383号回答）。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を再製日とすることが妥当である。	過去に実施した経緯がない。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を効力発生日とすることが妥当である。
移記前の原本の取扱	基本的な考え方	除籍	戸・除籍として効力はない。	除籍
	保存期間	当該年度の翌年から80年又は50年。	再製の翌年から10年（昭39.2.27民381号通達）	当該年度の翌年から80年又は50年。
	謄抄本の交付	改製原戸籍として交付する。 ※ 移記事項が限定されることから，証明発行件数は増加すると思われるが，改製原戸籍の検索はコンピュータ化される。	戸籍原本としての効力を失っているため，謄抄本の交付には応じられない。特に必要のある場合には，一般行政証明として交付（昭37.11.2 民3175号回答）。 ※ 項目化した後に移記することから，交付請求が全くないとは考えられない。	改製原戸籍として交付する。 ※ 移記事項が一部限定されることから，証明発行件数は若干増加すると思われるが，改製原戸籍の検索はコンピュータ化される。
	戸籍事項欄への記載等	戸籍事項欄に改製除籍の旨を記載する。なお，朱線交差又は除籍印をする必要はない（昭32.6.1民1002号通達）。 「改製原戸籍」と押印する。	上部欄外（右側）に再製除籍の旨を記載する。なお，朱線交差又は除籍印をする必要はない。 「再製原戸籍」と押印する。	取扱未定 ※ 改製原戸籍と同様の取扱になると思われる。
移記後の原本の取扱	基本的な考え方	戸籍	戸籍	戸籍
	戸籍事項欄への記載等	戸籍事項欄に改製による編製の旨を記載する。なお，各人の身分事項欄には，改製による入籍事由は記載しない。	戸籍事項欄に再製による編製の旨を記載する。なお，各人の身分事項欄には，再製による入籍事由は記載しない。	取扱未定 ※ 改製原戸籍と同様の取扱になると思われる。
	入力の方法	従前戸籍に記載されている事項が，現行の記載例に対応していない場合は現行記載例に引き直し，また，追完・訂正事項については，身分事項欄等に反映させ，項目化した後入力する。 ※ 最も理路整然とした戸籍となる。	原則として従前戸籍の記載事項全てを項目化した後入力するが，現行の記載例に対応していない場合は現行記載に引き直す。 ※ 対応しない記載例が増加する可能性がある。	従前の戸籍に記載された事項のうち，除籍者以外の事項について，原則として全ての事項を項目化した後入力するが，現行記載例に対応しない場合は現行記載例に引き直す。 ※ 追完・訂正事項については改製方式と，また，項目化については再製方式と同様の問題点が存在する。 ※ 一例として，離婚の事実がある場合，身分事項欄にはその事項が残るが，相手方は同一戸籍に記載されていない等，戸籍の合理性を欠くこととなる。
システム上の問題	コンピュータの負荷	入力データ量が減少することから，負荷が少ない。	ほとんど入力データ量が減少しないことから，負荷が大きい。	入力データ量は，改製方式と再製方式の中間に位置する。
	審査機能の活用	待婚期間等の審査ロジックが活用できない。 ※ 戸籍凍結後の異動データを上書きする方法によれば，審査ロジックが活用できるため，その方法論を検討する必要がある。	待婚期間等の審査ロジックが活用できる。	待婚期間等の審査ロジックが活用できる。 ※ 移行期間が6月以上となる場合は，移行期間中に待婚期間が満了するため，移記の必要性に欠ける。
住民関係	住民感情	最新の身分事項のみであるため，トラブルは少ない。	全身分事項が記載されているため，離婚歴が残る等の問題が解消されない。	在籍者の全身分事項が記載されているため，離婚歴が残る等の問題が解消されない。
	証明書の手数料負担	改製原戸籍の証明書が必要となる場合が増加すると考えられることから，手数料負担が増加する。	再製原戸籍の証明書は，原則発行されないことから，手数料負担は少ない。 ※ 入力事項が項目化されることから，どの程度住民の需要が減少するか疑問がある。	改製原戸籍の証明書が必要となる場合が増加すると考えられることから，手数料負担が増加する。

項目	比較項目	改製方式	再製方式	第三方式
データ作成	データ作成のコスト	データ量は減少するが，入力不要部分等の作業コストが増加する。	データ量が大きく，パンチ入力等のコストが増加する。	データ量は改製方式より大きく，再製方式より減少し，総合的なコストは安価となる。
	データ作成の正確性	身分事項欄に記載された事項について，入力不要部分をマーキングする必要があり，専門的な知識を求められる。	原則として古い戸籍記載事項を現行の記載事項に項目化した上で移記する必要があり，対応できない記載事項の発生及びデータ量が減少しないこと等から，正確性は落ちる。	身分事項欄に記載された事項について，入力不要部分をマーキングする必要はないが，再製方式と同様に現行の記載例に対応できない記載事項の発生が考えられる。
	照合の負荷	入力不要部分の確認が必要となるが，データ量が減少することから，総合的な負荷は減少する。	複雑な記載例の確認及びデータ量が大きいことから，負荷は大きい。	入力不要部分の確認が必要ないため，改製方式より照合の負荷は軽減される。
	異動処理	異動データについても，入力不要部分の判断が必要となるため，専門的な知識が必要となる。 ※ 追加入力が認められた場合は，この問題は解決する。	入力不要部分の判断は必要としない。	入力不要部分の判断は必要としない。

作業方式別作業工程図


作業項目
改製方式
再製方式
第三方式
事前準備
入力原票作成
項目化
入力
照合&修正
納品&検査
戸籍簿
戸籍簿の点検
戸籍簿コーディング
戸籍簿コピー（マイクロフィルム撮影）
検査
NO
YES
異動分戸籍簿コピー
異動分マーキング
入力・不要部分マーキング
記載内容等のマーキング
事故簿判断
項目化のコーディング
パンチ入力（P&V）
コンピュータ処理
修正入力
照合リスト
照合
初一期マスタ
異動マスタ
納品マスタ作成

別紙(3)

移行作業工数比較表

対象戸籍　10,000戸籍

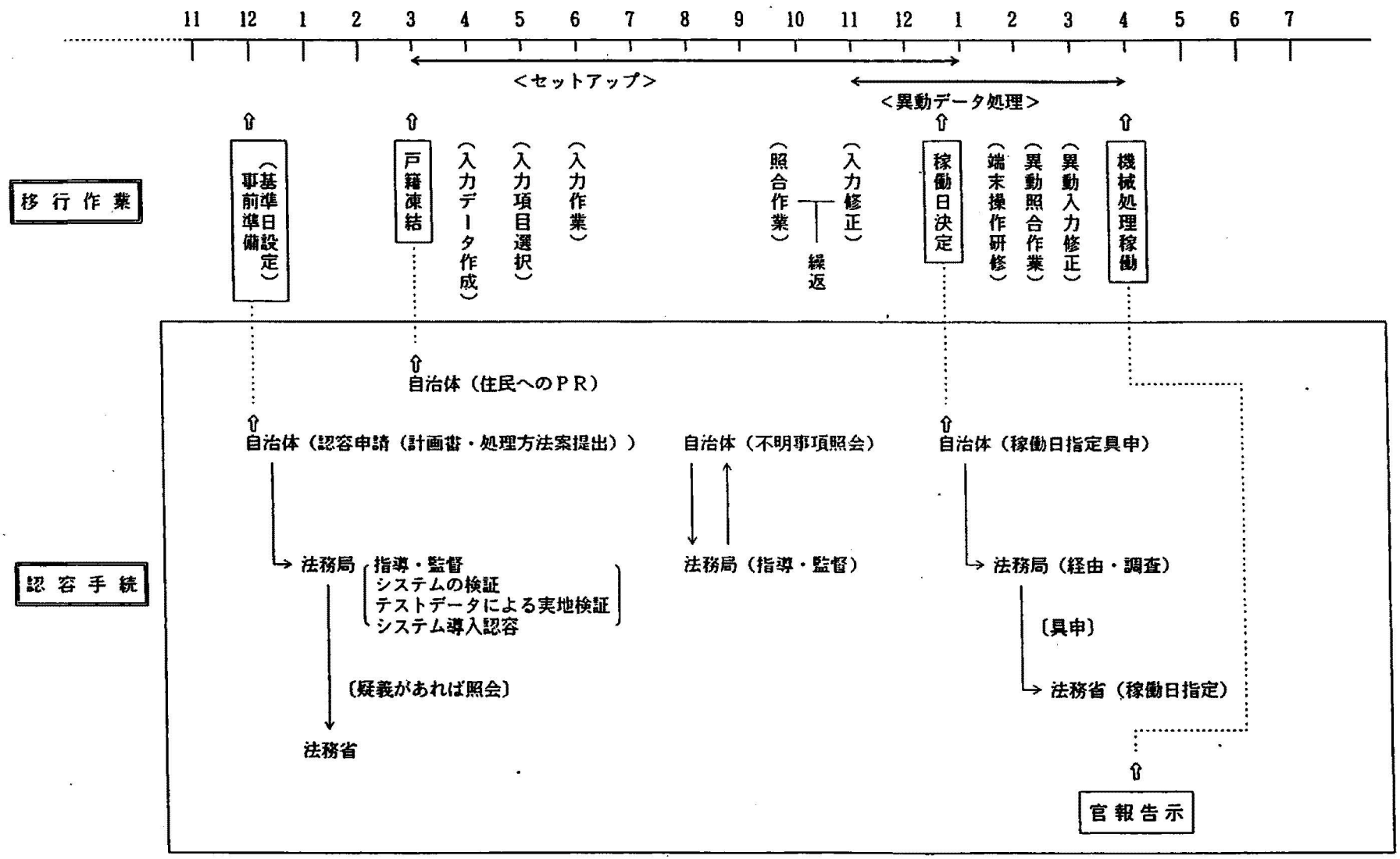
（単位：人月）

分類	作業項目	A社			B社			C社			D社			E社		
		再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三
事前準備	事前作業 入力用データ複写 台帳コード付け	※ 統一処理とし，比較検討項目から除外した。														
マーキング	資料事前審査等	3.7	3.0	3.1	1.6	1.4	1.5	2.0	0.0	5.0	2.4	2.4	2.4			
	入力不要部分ﾏｰｷﾝｸﾞ	0.0	4.3	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	6.6	6.0	1.4	5.0	4.0
	点検・確認	1.0	3.0	2.0				1.0	3.0	2.0				1.0	4.0	3.3
	（小計）	4.7	10.3	5.1	1.6	2.4	1.5	3.0	10.0	7.0	2.4	9.0	8.4	2.4	9.9	8.2
項目化	身分事項等コード化	25.0	19.0	21.0	4.8	4.3	4.3									
	項目化のマーキング				5.1	4.6	5.0	10.5	7.0	8.0	10.0	7.0	7.7	14.0	10.0	12.0
	事故簿判断・確認	3.7	2.8	3.1				3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	3.0			
	（小計）	28.7	21.8	24.1	9.9	8.0	9.3	13.5	10.0	11.0	13.5	10.0	10.7	14.0	10.0	12.0
入力	入力管理	1.0	1.0	1.0												
	入力作業	12.7	10.8	11.8	94.8	85.2	92.8	35.0	20.0	22.0	34.7	20.5	22.5	34.6	20.8	22.6
	電算処理・外字索引等	1.0	1.0	1.0				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0
	（小計）	14.7	12.8	13.8	94.8	85.2	92.8	37.0	22.0	24.0	36.7	22.5	24.5	37.6	23.8	25.6
照合	照合リスト作成										0.5	0.5	0.5			
	第1回照合	10.5	8.0	8.9	18.5	16.6	18.1	10.0	9.0	9.5	16.0	12.0	13.5	8.0	7.0	7.5
	第2回照合	1.0	0.8	0.9	0.3	0.3	0.3	3.0	2.0	2.5	1.0	1.0	1.0	8.0	7.0	7.5
	第3回照合	0.1	0.1	0.1	21.4	10.2	20.9	1.0	1.0	1.0	23.3	17.5	17.5			
	第4回照合				0.3	0.3	0.3	4.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0			
	（小計）	11.6	8.9	9.9	40.5	36.4	39.6	18.0	15.0	16.0	41.8	32.0	33.5	16.0	14.0	15.0
修正	修正箇所の入力	0.2	0.2	0.2	0.8	0.8	0.8	1.8	1.0	1.1	1.8	1.0	1.2	2.0	1.4	1.6
	（小計）	0.2	0.2	0.2	0.8	0.8	0.8	1.8	1.0	1.1	1.8	1.0	1.2	2.0	1.4	1.6
検査	原票との照合確認	0.7	0.7	0.7				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	入力不要部分検査等				6.4	6.3	6.2				0.3	0.3	0.3			
	（小計）	0.7	0.7	0.7	6.4	6.3	6.2	2.0	2.0	2.0	2.3	2.3	2.3	2.0	2.0	2.0
その他	運用管理	5.0	5.0	5.0												
	戸籍の点検										3.5	3.5	3.5			
	（小計）	5.0	5.0	5.0							3.5	3.5	3.5			
合計	自治体作業分工数	0.0	0.0	0.0	28.1	25.8	27.4	0.0	0.0	0.0	29.8	24.0	24.0	8.0	7.0	7.5
	メーカー作業分工数	65.6	59.7	58.8	125.9	114.2	122.8	75.3	60.0	61.1	72.2	56.3	60.1	66.0	54.1	56.9
	全作業工数合計	65.6	59.7	58.8	154.0	140.0	150.2	75.3	60.0	61.1	102.0	80.3	84.1	74.0	61.1	64.4

▒▒▒▒ の部分は，自治体において処理を行う。

別 紙 (4)

システム認容申請手順



(財)民事法務協会　殿

附票部会

検討結果報告書

平成５年３月３１日

戸籍コンピュータ化調査研究会
―― 附票部会 ――

―― 目　次 ――

はじめに ―――― 1

1．戸籍附票を電算化する必要性等
(1) 必要性 ―――― 2
(2) 開発方針 ―――― 3

2．現行制度について
(1) 戸籍制度と住民基本台帳制度 ―――― 4
(2) 戸籍附票の運用形態 ―――― 4
(3) 改製の方法 ―――― 6
戸籍附票事務の流れ図（資料） ―――― 7

3．〔附票システム〕の概要
(1) 〔附票システム〕の範囲 ―――― 24
(2) 他システムとの関係 ―――― 25

4．〔附票システム〕のシステム化案
(1) 異動処理の方法 ―――― 28
(2) データ保護と安全対策 ―――― 30
〔附票システム〕のドキュメント（資料） ―――― 36
システム化後の改製方式（資料） ―――― 62

5．まとめ
(1) 検討項目内容 ―――― 64

6．参考資料 ―――― 67
画面展開図（資料） ―――― 68
帳票仕様（資料） ―――― 76

はじめに

戸籍事務のコンピュータ化については，戸籍事務に直接携わってる市区町村からもかなりの要望があり，また，大量情報の処理にコンピュータを利用することは，時代のすう勢でもあることから，昭和６０年度から戸籍事務コンピュータ化調査研究会（以下「研究会」という）を組織し，戸籍事務をコンピュータによって処理することとした場合の種々の問題点等についての調査研究が進められてきているところである。

本研究の初年度である昭和６０年度の調査研究においては，「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合の問題点等」について調査研究がされ，コンピュータ化にあたっての基本的な問題の指示がされた。そして，昭和６１年度以降は，これらの指示事項について順次調査研究が行われ，昭和６１年度は，「電子情報処理組織に入出力する漢字の取扱い等について」，同６２年度は，「戸籍関係諸帳簿の様式及び記入方法等について」，同６３年度は，「現行戸籍簿の移行及びプライバシー・データ保護について」の各テーマについて調査研究が行われた。さらに，平成元年度には，コンピュータシステムを採用する場合のすべての事項を対象とした，「戸籍事務をコンピュータにより処理することとした場合のシステムの設計，製造及び運用について」の調査研究が行われた。そして，この５年間の調査研究によって，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理することは技術的に可能であり，しかも，現行の可視台帳を前提とする事務処理方法におけるよりは，事務の迅速化・正確化を図ることができるとの結論が得られた。この成果を踏まえて，平成２年度からは，戸籍事務のコンピュータ化の実現をめざし，本格的な調査研究を進めることとし，具体的なプログラム設計のための仕様・条件を明らかにした「基準書」を作成するため，市区町村における戸籍事務処理の実態調査を行い，現行の事務処理の分析，コンピュータ処理する事務の範囲，コンピュータ化した場合の事務処理手続の流れの概略，画面のレイアウト等について調査研究を行ってきている。上記の一連の研究過程において，戸籍事務をコンピュータで処理することとした場合の処理の流れのなかで，戸籍事務に関連する戸籍の附票，住民票，人口動態調査票等の事務処理の効率化をも考慮して，これらの事務処理についても検討する必要があるとされた。

これらのうち，附票の事務処理に関しては，「戸籍附票部会」を設け，戸籍と附票事務の現行業務の分析と相互の関連について及び現在研究中の戸籍事務のコンピュータシステムとの連携を図るとした場合にはどの様な方法が考えられるのか，また，そのための問題点はどこにあるのか，さらに今後の課題としてどのようなものが残されているのか，について検討をすることとされたものである。

今回，これらの検討の結果を取りまとめたので，「附票部会検討結果報告書」として提出する。

1．戸籍附票を電算化する必要性等

(1) 必要性

近年，コンピュータによる高度情報処理技術の発達は目覚ましいものがあり，現代社会のあらゆる分野に導入されている状況にある。こうした動きは全国の各地方公共団体の事務処理にも大きな影響を及ぼし，事務改革の一つの手段とするとともに，行政サービスの向上を図ることを目的として高度情報処理技術の導入が進められており，平成４年４月１日現在においては，全市区町村（3,259団体）の９９．０％にあたる3,227団体において，何らかの業務にコンピュータが利用されている（自治省調べ）。

こうした状況にあって，住民基本台帳事務については，昭和５９年度に自治省において「住民記録に係るプライバシーの保護等に関する研究委員会」が設定され，住民記録のコンピュータ化について，「現行の住民基本台帳事務の処理方法の中には，近年の新しい情報処理技術の活用を阻害している面も見受けられるため，個人情報の適正な保護・管理の方策と併せて，新しい情報処理技術を活用して住民の福祉の増進や行政事務の合理化を図る方向で，事務処理方法の再検討を行う必要がある。例えば，個人情報を記録した磁気ファイル等を住民基本台帳として認める等が挙げられる。」との研究委員会報告を得た。

この研究委員会報告を受けて，昭和６０年の住民基本台帳法の一部を改正する法律により，市町村長は住民票を磁気テープ（これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができるものを含む。）で調製することができるものとされた。

これは，第一に，改正前の法ではコンピュータ処理を行う場合の明文の規定がなかったため，たとえ磁気テープをもって住民票を調製するとしても，一方で必ず可視台帳を備え付けることとされていたものを，磁気テープを住民票の原本とみなし，可視台帳に代えることを可能とし，市町村の事務処理の簡素化，効率化等を図ったものである。

また，第二に，磁気テープによる住民票の調製方法，磁気テープの保護・管理の方法等，住民記録をコンピュータ処理する場合の基準を定めることにより，事務処理の統一化を図るとともに，コンピュータ処理の場合の住民記録の適正な管理を図ろうとしたものである。これにより，住民票を磁気テープをもって調製し，コンピュータ，端末機，電気通信関係装置，電気通信回線，プログラム等の全部又は一部により構成され，住民基本台帳に関する記録を管理し，住民基本台帳に関する事務を処理する住民記録システムが急速に普及することとなった。

住民記録システムの導入状況は，平成４年４月１日現在で，全市区町村の８５．２％，人口割合にすれば９６．６％にのぼっている（自治省調べ）。

しかし，上記法改正においては，戸籍事務がコンピュータ化されていないことから，戸籍の附票の事務については，コンピュータ化が見送られた。

一方，戸籍事務については，事務に直接携わっている市区町村から，戸籍事務のコンピュータ化の早期実現を要望されているところである。

このため，法務省において昭和６０年度から戸籍事務コンピュータ化調査研究会を組織し，昭和６０年度においては，戸籍事務を電子情報処理組織により処理すること

とした場合の問題点等について調査研究がなされ，同６１年度から同６３年度まで，これらの指摘事項について順次研究が進められた。

これらの調査研究においては，いずれも戸籍事務をコンピュータ化することは，一応可能であるとしている。

しかし，これらの調査研究は，戸籍事務の流れのうち，主要な事項を指摘して研究が行われたものである。このため，戸籍事務のコンピュータ化の実現に向けては，さらに問題点を洗い出し，これを詳細に検討する必要があるため，平成元年度以降引き続き調査研究が進められているところである。

今後，この調査研究結果を踏まえ，市町村長は戸籍を磁気媒体を利用し調製することができる旨の戸籍法等の所要の改正を待ち，平成７年中の実施を目指している。

以上のように，法的に住民基本台帳事務のコンピュータ化が認められ，また，戸籍事務のコンピュータ化を検討している現状を鑑みれば，本籍地で作成される戸籍と住所地で調製される住民票との間を連絡・媒介するための帳票である戸籍の附票の事務についても，磁気テープを戸籍の附票の原本とみなし可視台帳に代えることを可能とし，市町村の事務処理の簡素化，効率化等を図るとともに，住民記録の適正な管理を図るため，コンピュータ化を進める必要がある。

(2) 開発方針

戸籍の附票事務のコンピュータ化を進めるに当たっては，事務処理の簡素化，効率化及び住民サービスの面から，市町村の事務処理の統一化を図るための一定の基準を設ける必要がある。

この基準の設定に当たっては，現在，事務がどのようになされ，他の市町村と，あるいは他の行政事務とどのようにかかわっているかを整理しておく必要がある。

その上で，下記の事項について一定の基準を設定することとする。

ｱ) コンピュータ化するシステムの範囲，

ｲ) コンピュータ化した場合の戸籍システム，住民記録システムとのリンクの方法，範囲，

ｳ) 戸籍の附票の異動処理の方法

ｴ) 磁気テープの管理方法　等

2．現行制度について

(1) 戸籍制度と住民基本台帳制度

戸籍制度は，本籍地において人の親族的身分関係を登録・公証する制度であり，住民基本台帳制度は，住所地において人の居住関係を公証することを任務とする制度である。両制度とも同一人を公簿に記録し，これを基に公証するという点では同じであり，また，人を統一的に把握するためには身分関係と居住関係の両面から総合的にみることが必要である。したがって，人の出生や死亡の事実，又はその人が同一人であることを確定するための基本的事項，すなわち氏名，出生の年月日，性別等について戸籍の記載と住民票の記載とに矛盾があるとすれば，同一人物の把握に支障が生じ，市町村の行う公証制度や社会生活に混乱をもたらすことは言うまでもない。

他方，市町村長は住民基本台帳法に基づき，その市町村の区域内に本籍を有するものについて，その戸籍を単位として，戸籍の附票を作成しなければならない。附票には，戸籍の表示（本籍・筆頭者），その戸籍に在籍している者の氏名，住所，住所を定めた年月日が記載されている（住民基本台帳法１６条，１７条）。戸籍の届出があるつど，あるいは住所の変更に関する届出（転入届，転居届等）があるつど，戸籍の届出地から住所地へ，住所地から本籍地へ通知がなされ，住民票や戸籍の附票に記載がなされる（同法１８条，１９条，同法施行令１２条）。

すなわち，戸籍と住民票を相互に関連させ，それぞれの記載の公正性を保つための媒介物の役割を果たすものが戸籍の附票である。

(2) 戸籍附票事務の運用形態

7) 戸籍附票事務の運用形態

戸籍及び住民票の異動が起こったときに戸籍附票の処理が発生する。附票事務の運用形態としては次の３つが考えられる。

① 戸籍係（戸籍担当職員）が附票事務を処理する

② 住基係（住基担当職員）が附票事務を処理する

③ 附票係（附票担当職員）が附票事務だけを処理する

上記３形態の中では①の形態を採用している市区町村が殆どであると思われる。これは，附票の様式が戸籍と類似していること，戸籍の異動において附票の作成，消除が行われること等の理由が挙げられる。またこの場合に，附票は戸籍と一緒に綴られて管理されるのが一般的である。

②，③の形態で附票事務を運用している市区町村は稀であろうが，近年住民記録システムを導入している自治体において附票事務の電算化がなされた場合に，①から②，③の運用形態に移行するところが増えている。これは附票を磁気媒体で管理している（原票として可視台帳が必要），住民記録システムとデータ連携を図るため住基担当者が処理した方が効率的であること等の理由による。ただし附票を電算化している市区町村でも戸籍の一部処理システムを導入しているところは①で運用している。

ｲ) 附票事務

附票の事務は異動事務，証明事務，統計事務の３つに大別される。各事務で行われる主な処理を以下に示す。

① 異動事務

・戸籍の異動による附票の作成
・戸籍の異動による附票の消除及び住基法19-3通知の作成
・住民票の異動による附票の修正

② 証明事務

・附票の証明書発行（全部，一部）
・附票除票の証明書発行（全部．一部）
・改製原附票の証明書発行（全部，一部）

③ 統計事務

・附票事務に関する統計の取得

ｳ) 各処理形態における事務の流れ図

各処理形態における事務の流れ図を別紙に示すが，あくまでも一般的な流れを示しただけでこの流れで全市区町村が処理しているわけではない（戸籍，住基，附票とも電算化の有無は考えていない）。戸籍，住基独自の処理については附票に係わるもの以外は省略した。附票の処理は今回示したもの以外にもあるが，代表的な処理をとりあえず示した。また，まとめられるところはなるべくまとめて流れ図に記入した。ｱ)で示したように，附票を取り扱う係が異なることにより処理の流れも異なるが，大きくは書類の流れと担当する職員が異なる程度なので，各係別での流れ図の作成は省略した（相違点は流れ図から読み取っていただきたい）。

以上の点を踏まえ今回示す流れ図は以下のものである。

Ⅰ 異動処理

Ⅰ－１ 新しい戸籍を編製することによる附票の作成
Ⅰ－１－１ 同一本籍内で異動する場合
Ⅰ－１－２ 他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
Ⅰ－１－３ 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
Ⅰ－１－４ 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合
Ⅰ－２ 既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載
Ⅰ－２－１ 同一本籍内で異動する場合
Ⅰ－２－２ 他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
Ⅰ－２－３ 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
Ⅰ－２－４ 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合
Ⅰ－３ 戸籍の記載を変更したことによる附票の修正（氏名変更，管内転籍等）
Ⅰ－４ 戸籍から除かれたことによる附票の一部消除（離縁，離婚等）
Ⅰ－５ 戸籍から除かれたことによる附票の全部消除①（管外転籍）

Ⅰ－6　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除②（管外転籍以外：死亡，復氏等）

Ⅰ－7　住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正

Ⅰ－8　Ⅰ－7で附票が改製される場合

Ⅰ－9　住民基本台帳法の通知による附票の修正（法19条1項，法19条3項）

Ⅰ－10　Ⅰ－9で附票が改製される場合

Ⅱ　証明処理

Ⅱ－1　戸籍附票の証明（除票，改製原附票の証明も含む）

(3)　改製の方法

附票の改製については，住民基本台帳法施行令第21条で住民票の改製（同施行令第16条）に準ずることとなっており，市町村長が認める場合に改製できると規定されている。市町村長が認める場合とは，一般的には

①附票の記載欄（住所欄及び住所を定めた日欄）に余白がない場合

②附票の汚損，き損が著しい場合

が考えられる。①，②ともこのような状態になっているものは，書き換えない限り附票としての役割を果たしているとはいえないので改製をするのは当然のことである。

上記①に関連してシステム化後の記載欄は1欄で十分ではないかとの意見が出された。この理由として，

・住所の履歴を持つことを法律では定めていない

・附票の記載事項は現行の情報だけでよいと判断できる（住民基本台帳法第17条）

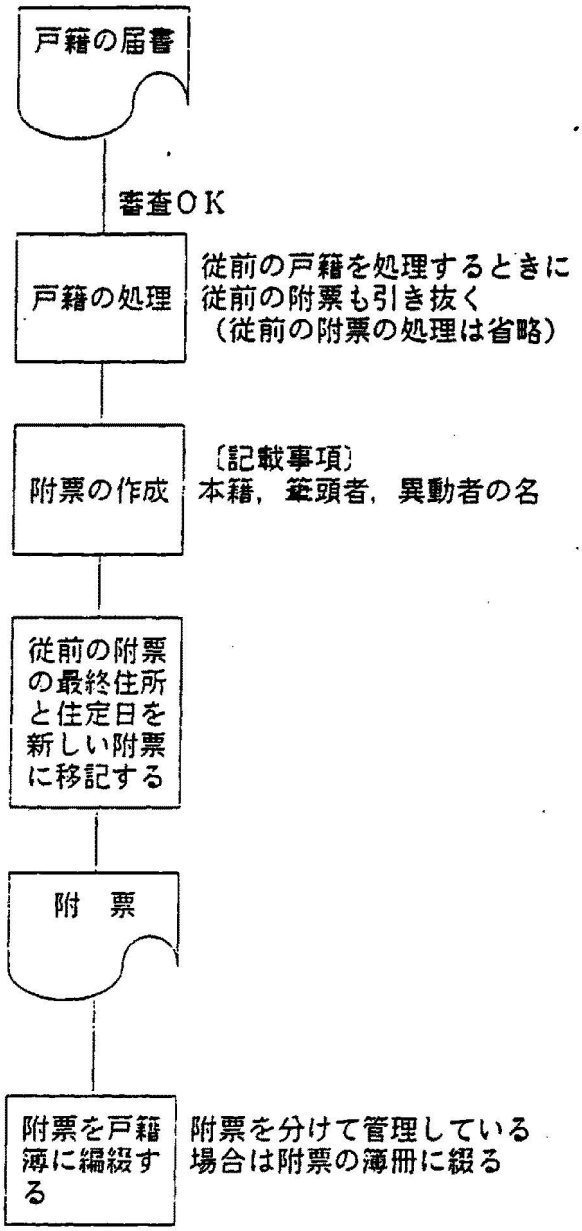
・従前の情報の証明も法律で定められているのではなく，行政サービスの一環である

が挙げられた（現行の運用形態は，住民基本台帳事務処理要領に掲げられている戸籍附票の参考様式（記載欄が5欄）がもとになっているためと考えられる）。

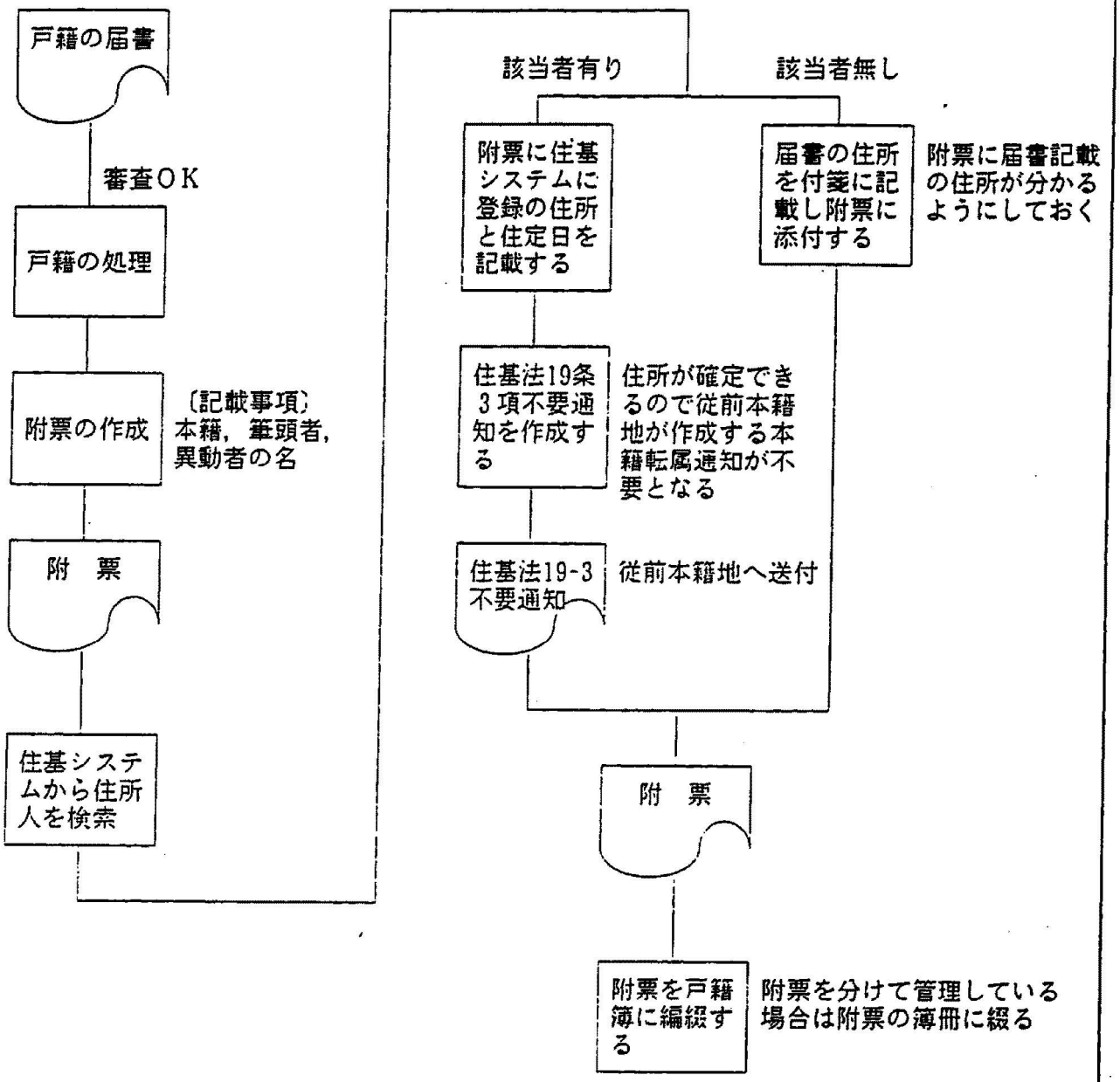
これに対し，実際に住所履歴を必要としている事務が存在すること（登記，車検，国外転入等），住民の要求が依然としてあること等を考えれば，システム化になったからといって現在の情報のみの証明でよいとするのは住民サービスの低下につながるのではないかとの意見が出された。

本報告書では，とりあえず現行と同じ取り扱いができるようなシステム提案を行うこととしている。

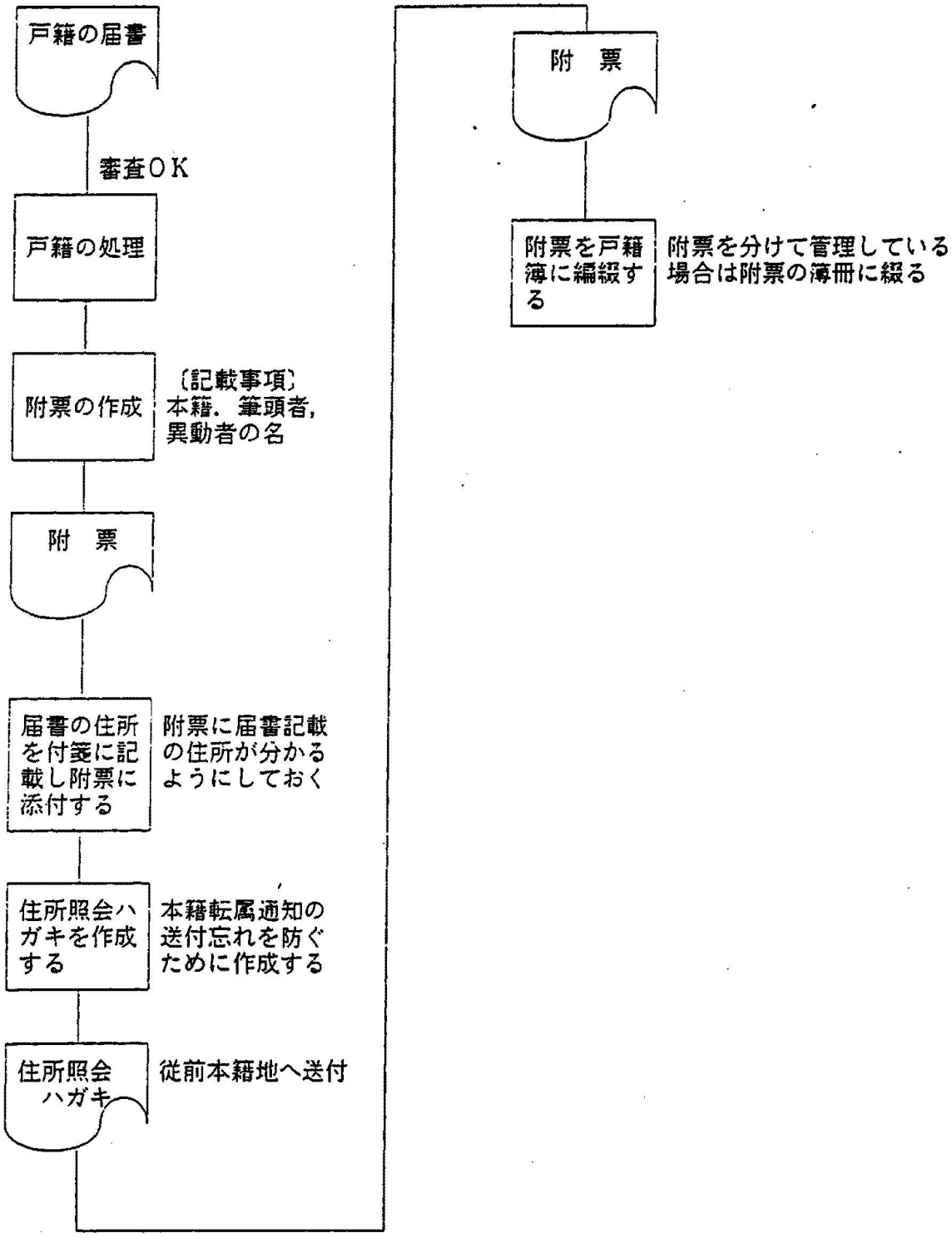
2．(2) I－1－1	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合 ――	頁　数 1／1



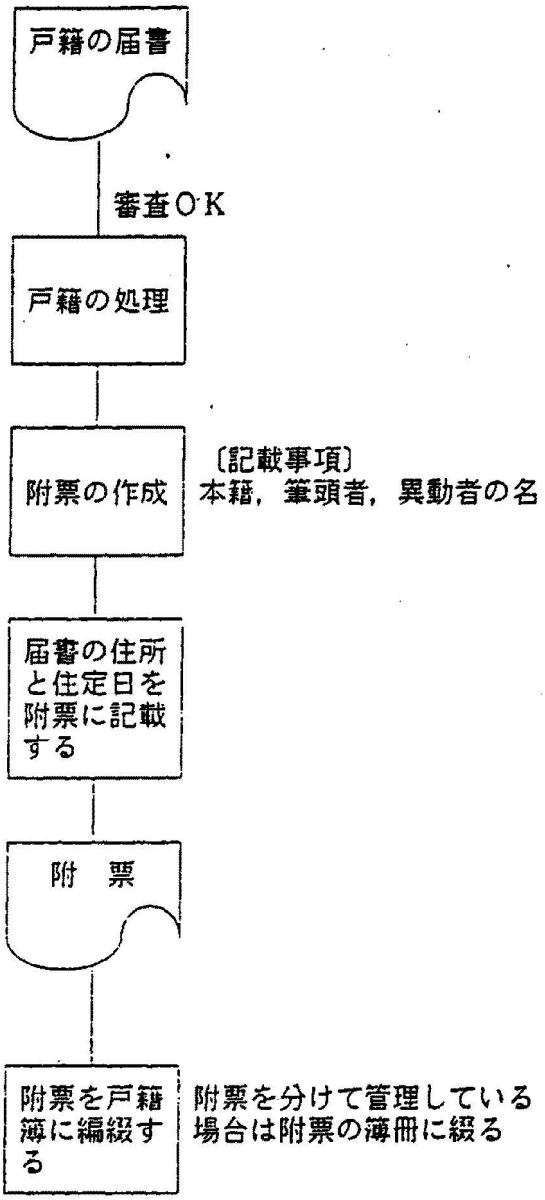
2．(2) I－1－2	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



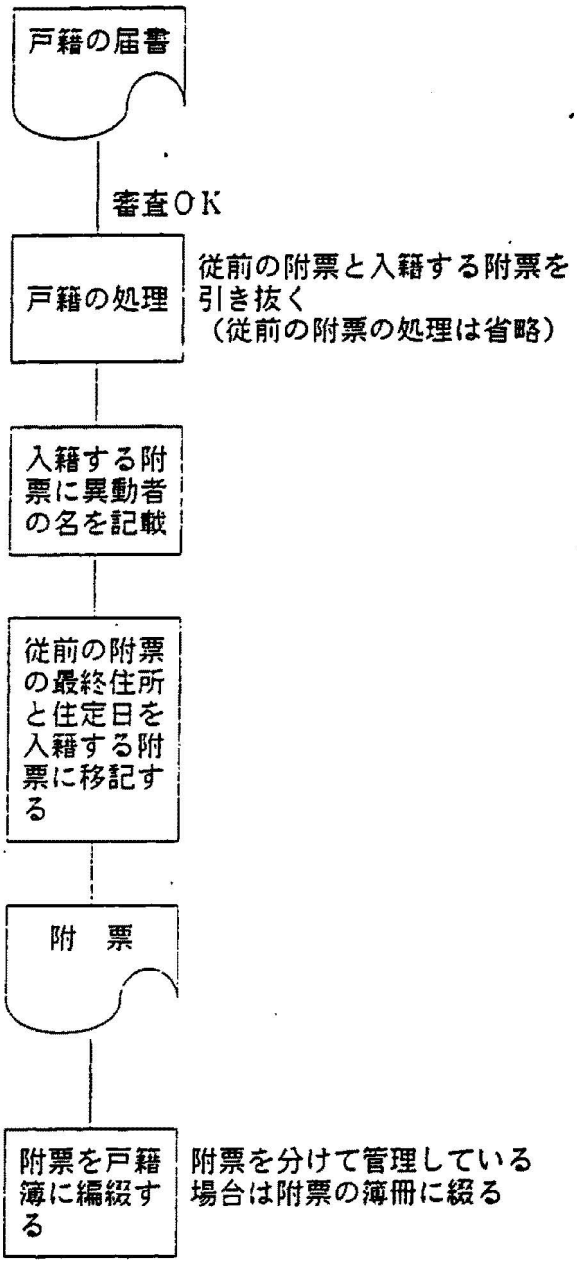
2．(2) I－1－3	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



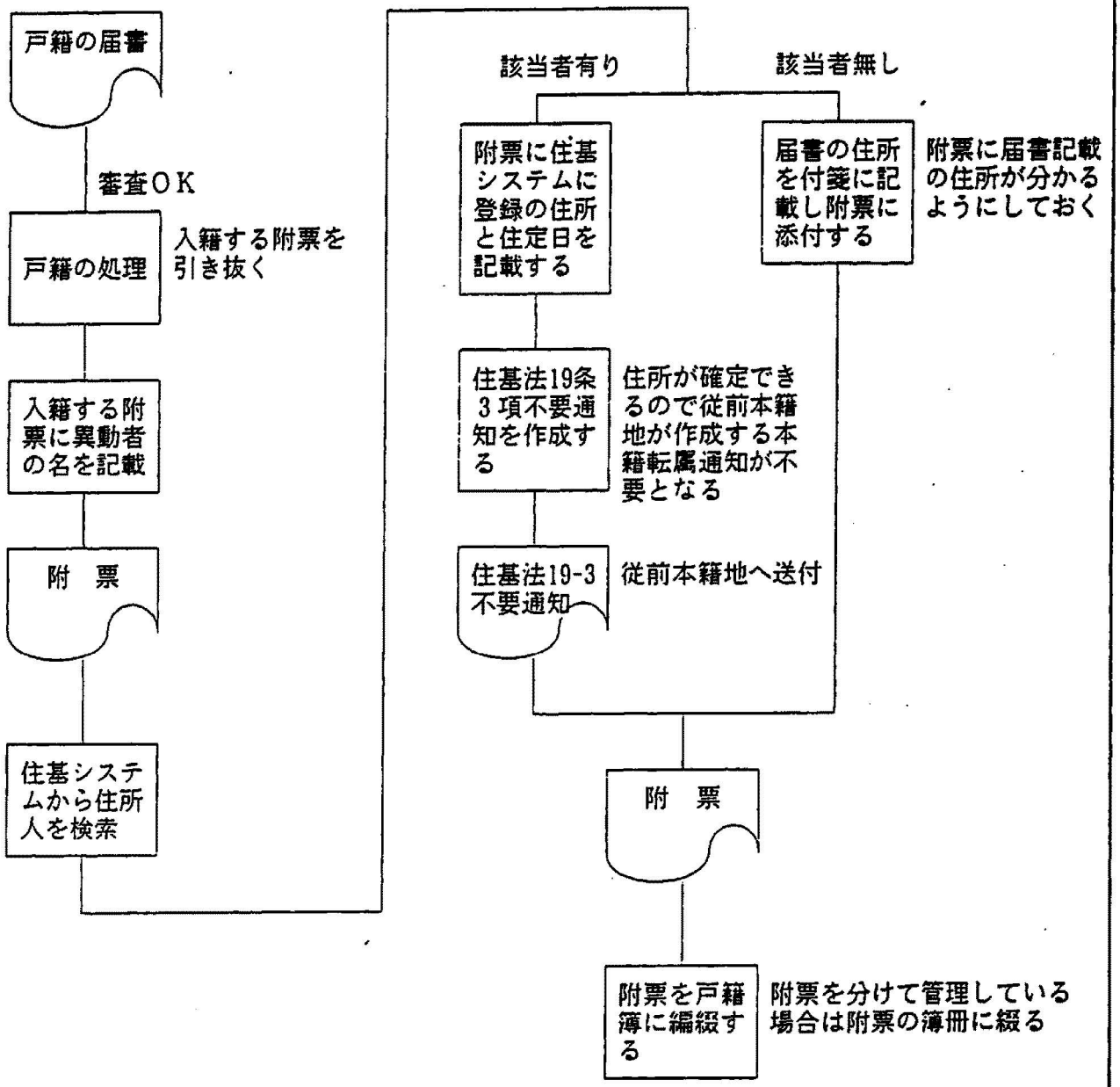
2．(2) I－1－4	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



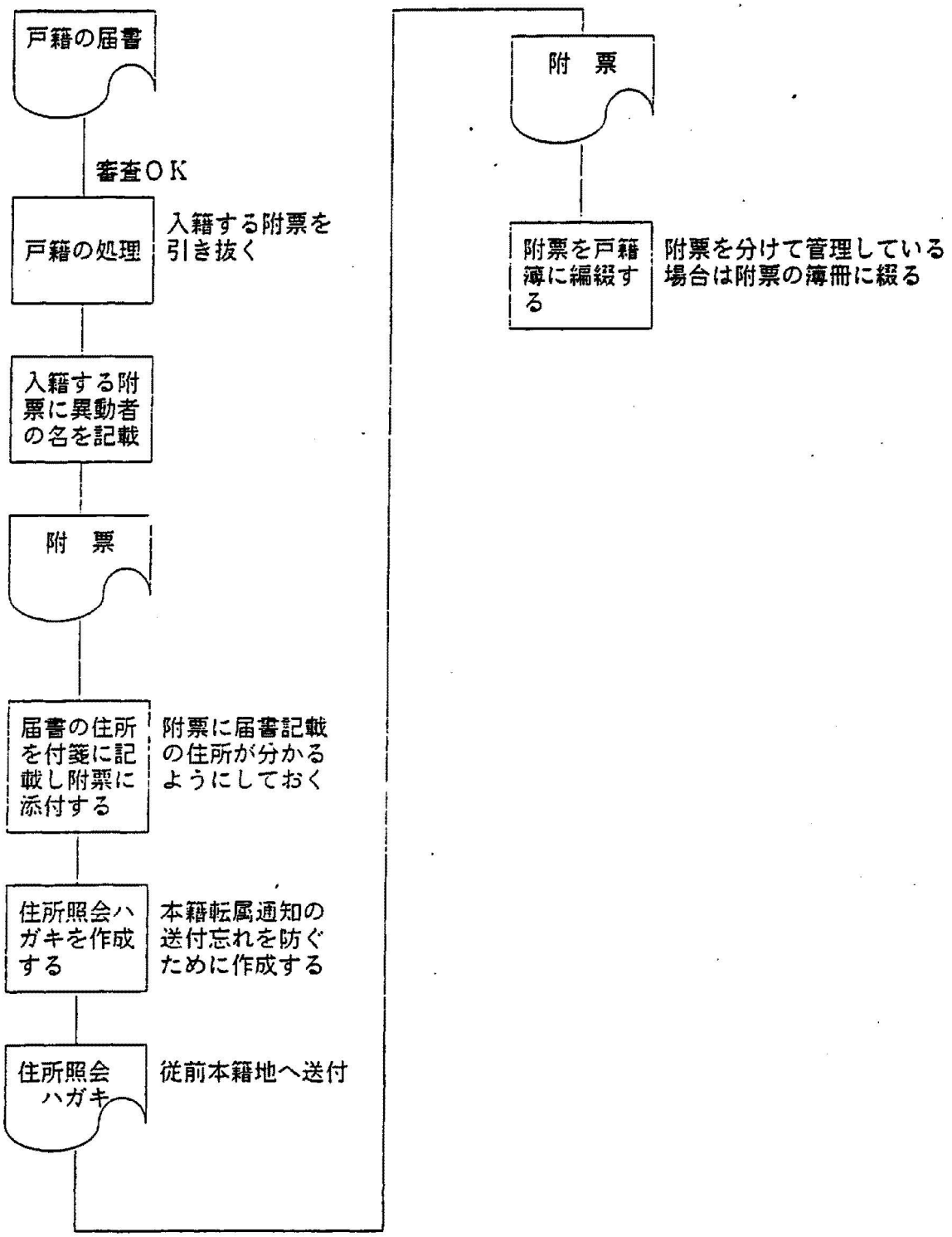
2．(2) I－2－1	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合 ――	頁　数 1／1



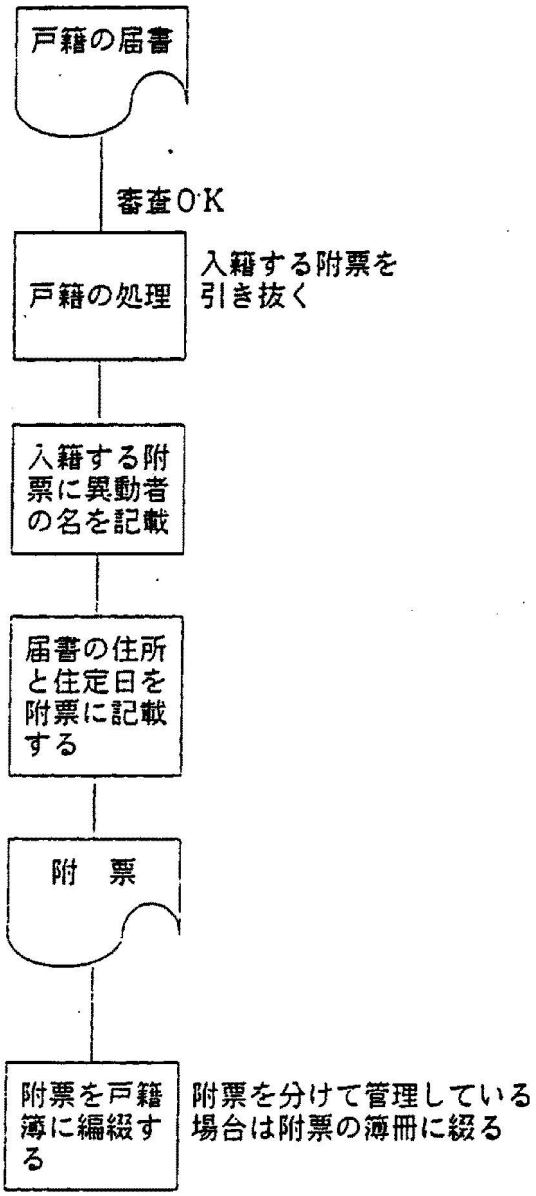
2．(2) Ⅰ－2－2	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



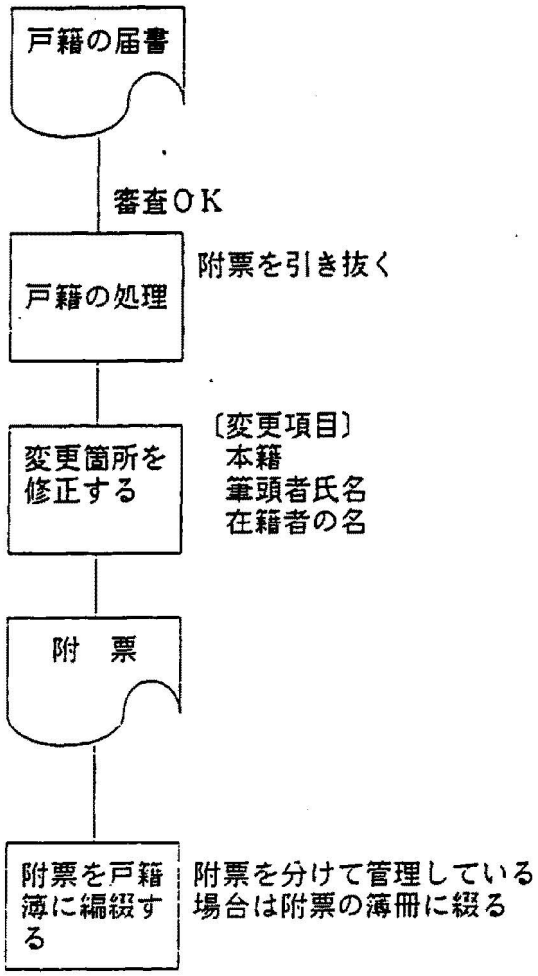
2．(2) I－2－3	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 —— 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ——	頁　数 1／1



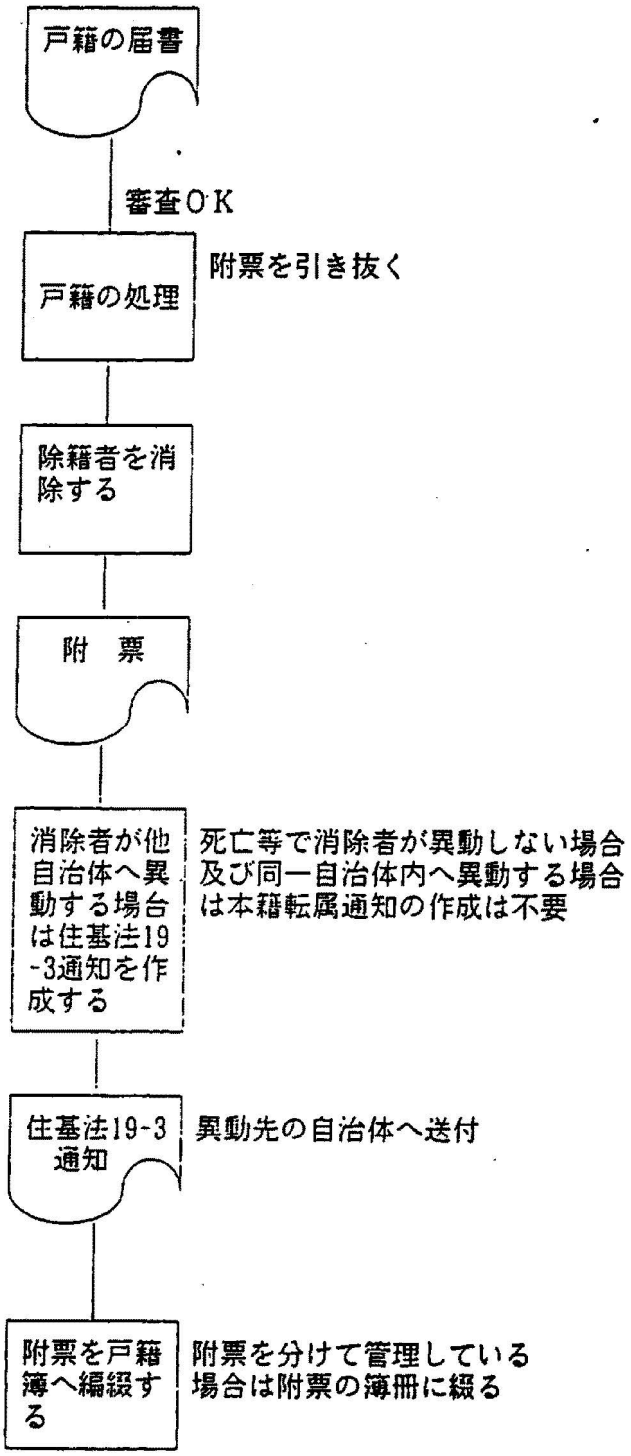
2．(2) I－2－4	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



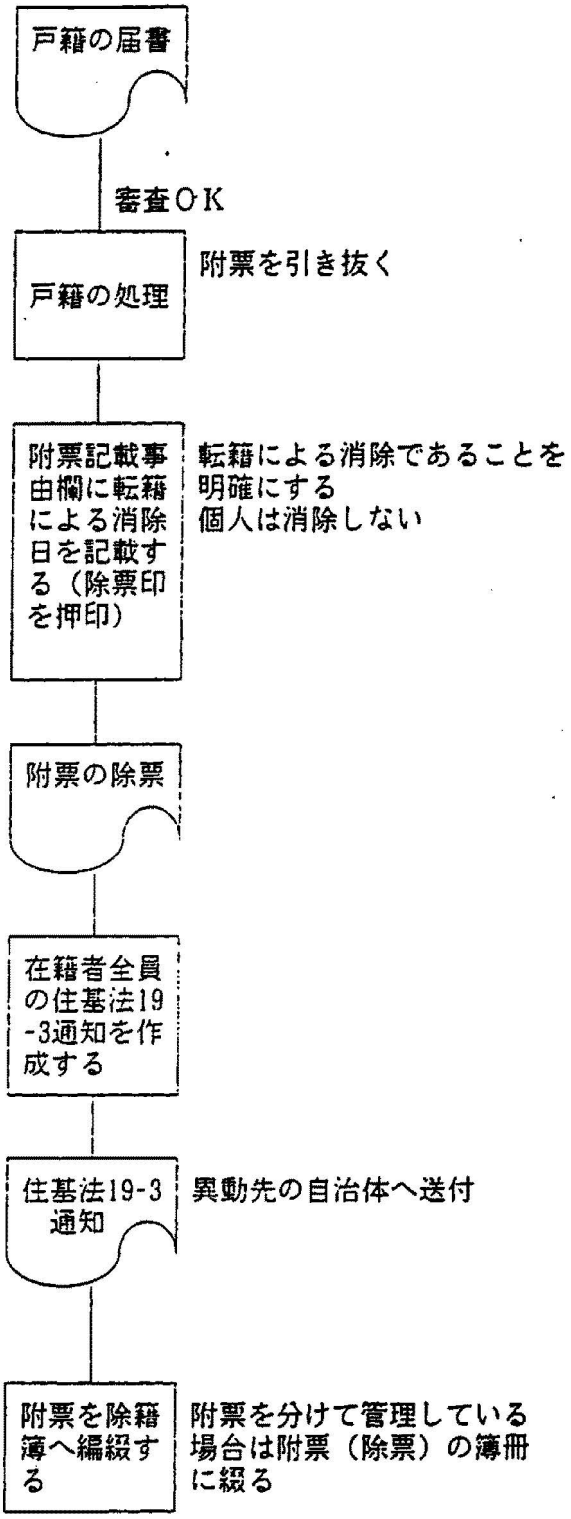
2．(2) I－3	戸籍の記載を変更したことによる附票の修正 ―― 氏名変更，管内転籍等 ――	頁　数 1／1



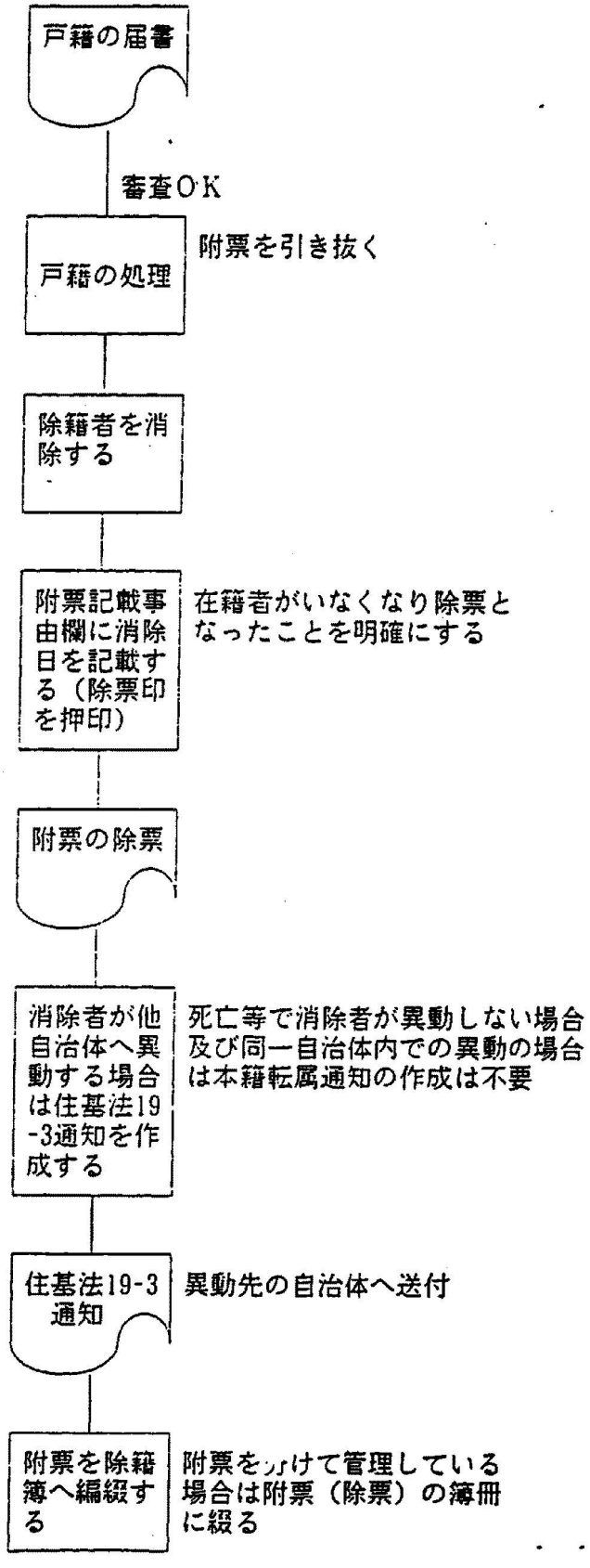
2．(2) I－4	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 離縁，離婚等 ――	頁　数 1／1



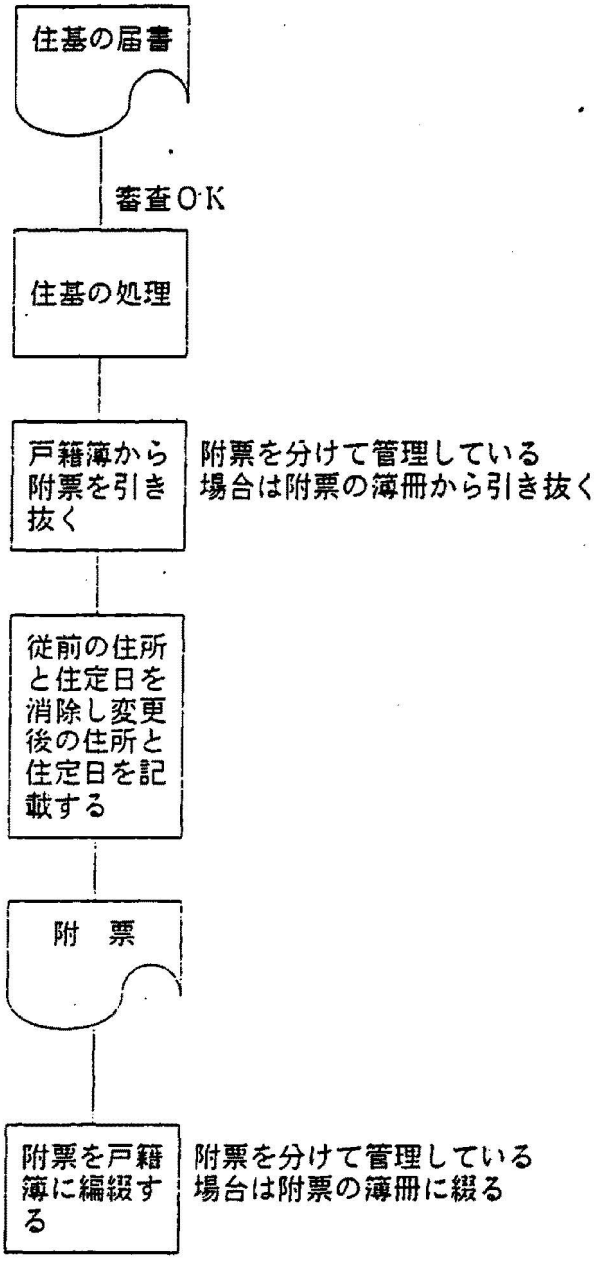
2．(2) I－5	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除① ── 管外転籍 ──	頁　数 1／1



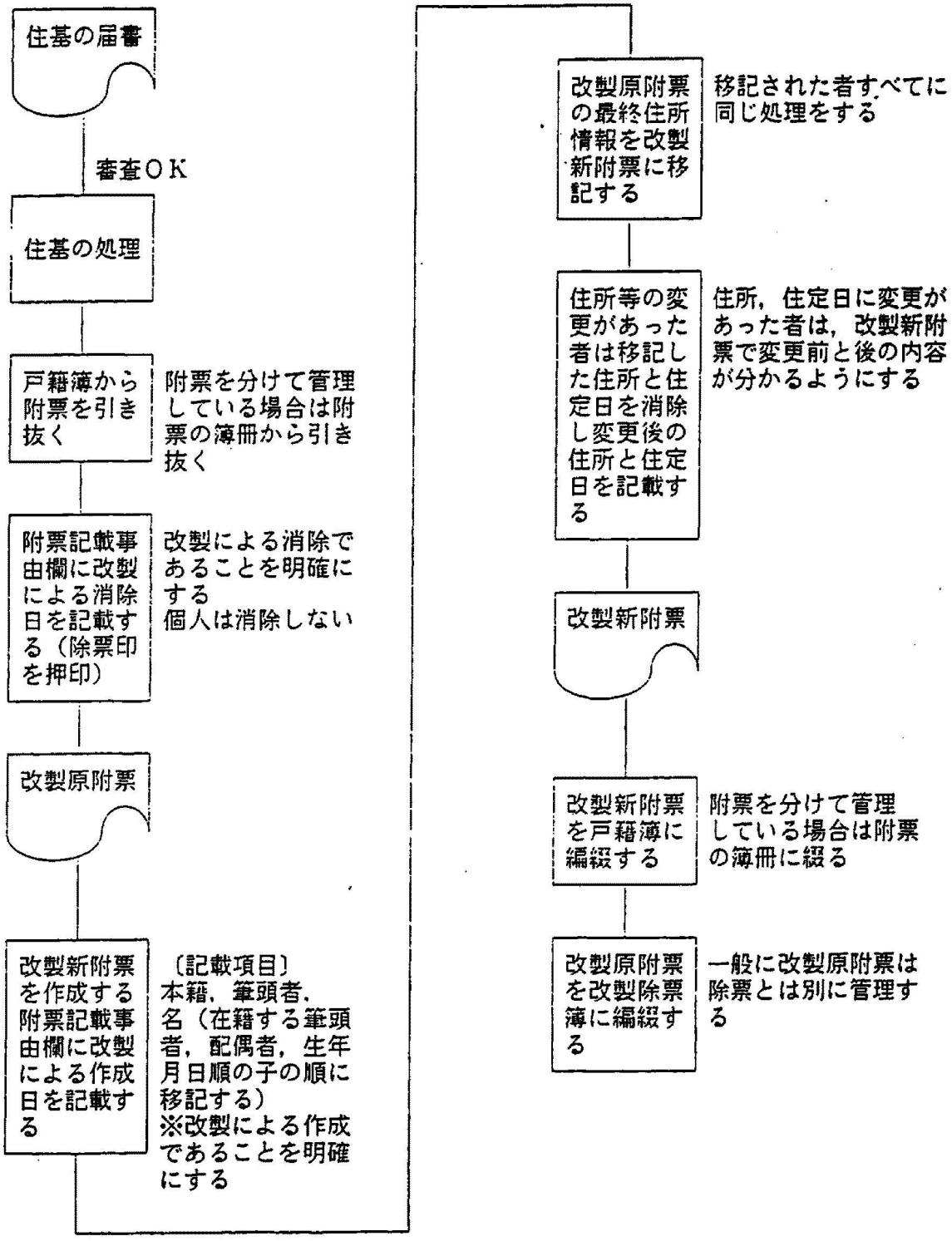
2．(2) I－6	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除② —— 管外転籍以外：死亡，復氏等 ——	頁　数 1／1



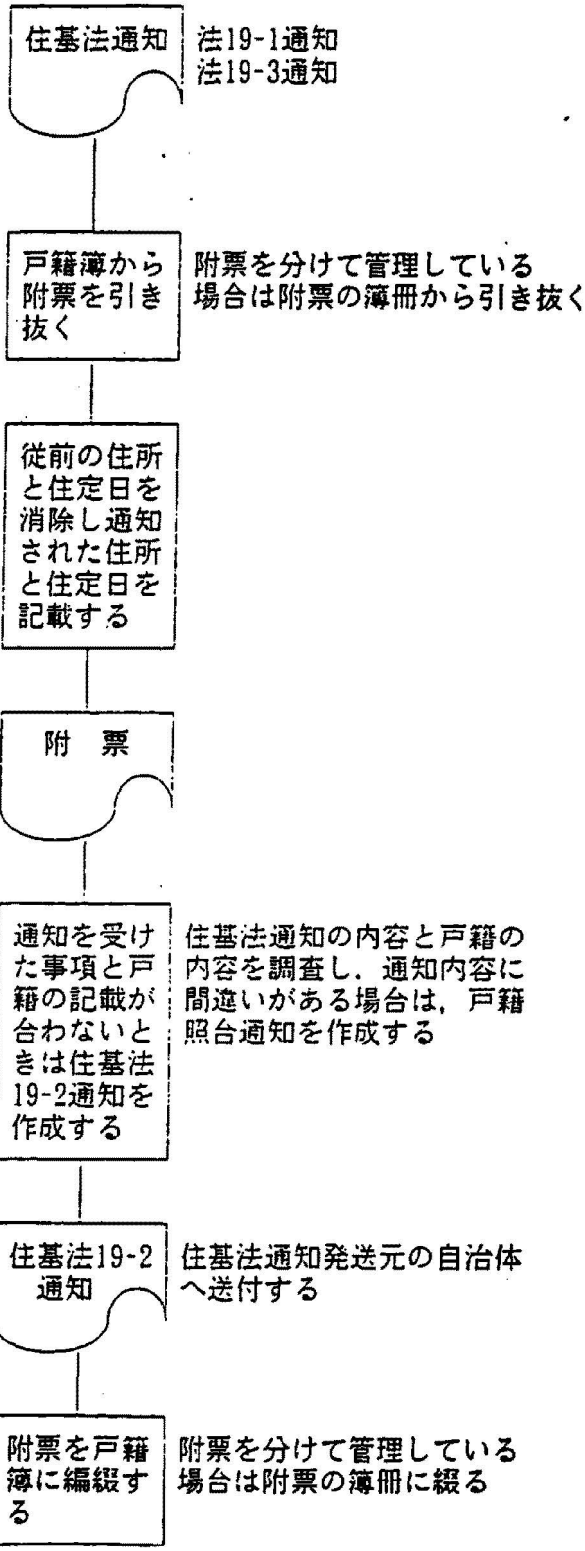
2．(2) I－7	住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正 ―― 転入，転居，住居表示変更等 ――	頁　数 1／1



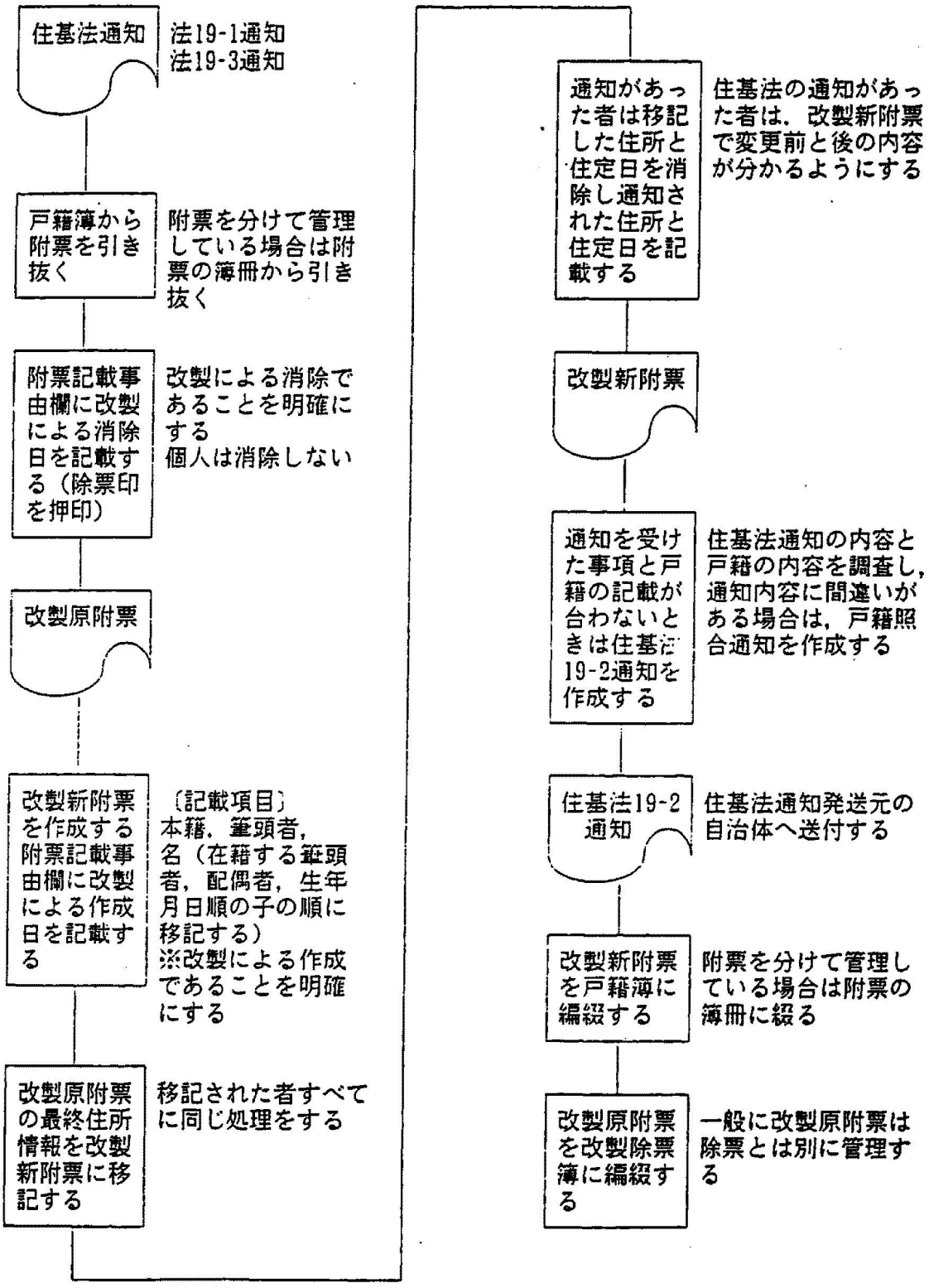
2．(2) I－8	住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1



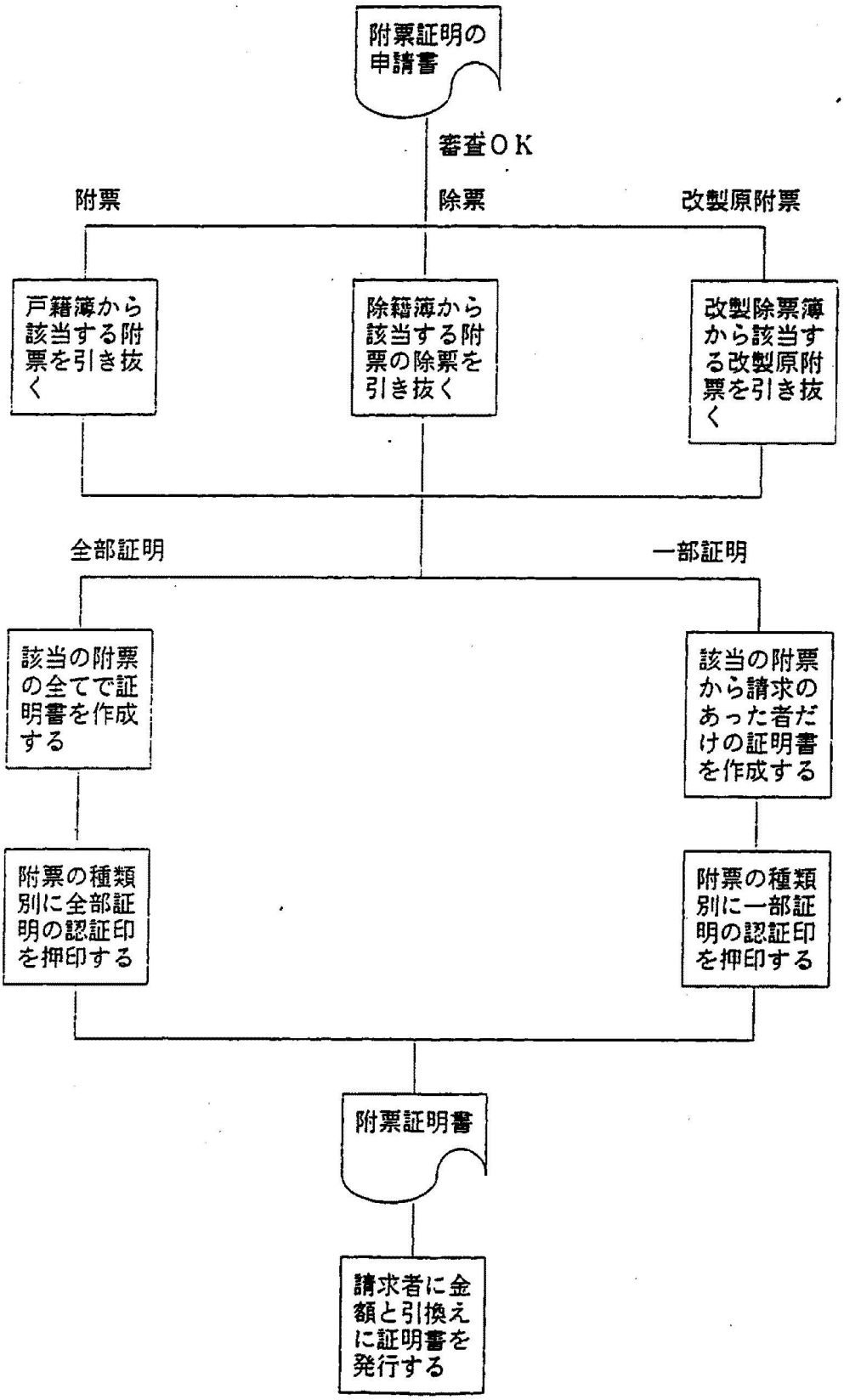
2．(2) I－9	住民基本台帳法の通知による附票の修正 ―― 住基法19-1通知，住基法19-3通知 ――	頁　数 1／1



2．(2) I－１０	住民基本台帳法の通知による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1



2．(2) Ⅱ－1	戸籍附票の証明 ―― 附票・除票・改製原附票（全部，一部証明） ――	頁　数 1／1



3．〔附票システム〕の概要

現在，戸籍の附票は紙で管理されるもので，住民票と異なり磁気テープで調製することは許されていない。しかし，いくつかの市町村では，附票の管理は紙で行うものの，事務処理の部分をコンピュータ処理させる附票システムを使用しているところがある。

本報告書で提示する附票のコンピュータ処理概要は，戸籍の附票をブックレス管理（磁気媒体で記録）するシステムであるので，すでに使用されている附票システムとは，根本的に異なるものである。そこで，本報告書ではカギ括弧付きの附票システム（〔附票システム〕）と呼ぶことで，現在使用されている附票システムとの混同を防ぐ。

(1) 〔附票システム〕の範囲

戸籍の附票事務内容については，2．(2)イ)の中で簡単に述べたが，ここでは，システム化する事務の範囲を，オンラインシステムによる事務の範囲，バッチシステムによる事務の範囲に区分して検討する。

ア) オンラインシステムによる事務の範囲

入力したデータがすぐに有効になる事務，データを即時に取得できる事務をオンライン処理とする。

① 戸籍の附票の異動事務

ア 戸籍の異動にともない発生する事務

- 附票の作成
- 附票への個人追加
- 附票の個人消除
- 附票の全部消除
- 附票の本籍，筆頭者，名の修正

イ 住民票の異動にともない発生する事務

- 附票の住所の変更
- 附票の住所の消除
- 附票の住所の回復

ウ 通知による事務

- 住民基本台帳法第１９条１項通知による，附票の住所の変更，消除，回復
- 住民基本台帳法第１９条３項通知による，附票の住所の記載

② 戸籍の附票の証明事務

- 全部証明書の発行
- 一部証明書の発行
- 記載事項証明書の発行

③ 戸籍の附票の統計事務

- 附票の異動に関する統計の取得
- 附票の証明書発行に関する統計の取得

イ) バッチシステムによる事務の範囲

即時対応が求められない事務で，サイクルを決めて一括処理を行うのに適している事務をバッチ処理とする。

① 戸籍の附票の通知書作成事務

・住民基本台帳法第１９条２項通知の作成
・住民基本台帳法第１９条３項通知の作成
・住民基本台帳法第１９条３項不要通知の作成
・住所照会通知の作成

② 戸籍の附票の統計表の出力

ロ) 戸籍附票事務のシステム化の範囲

上記で示した事務を関連する事務ごとにまとめ，システム化する事務とその処理形態をオンライン，バッチ（含むオンライン・バッチ）及び手作業の区分でまとめた表を次ページに示す（附票事務システム範囲表）。なお，△はシステムで処理ができなかった場合に，手作業によって補完することができる処理である。

(2) 他システムとの関係

イ) 戸籍システムとの関係

住民基本台帳法施行令第１８条の規定により，新しく戸籍が編製されたとき及び戸籍の編製後その戸籍に入った者があるときは附票にその者に関する記載をすることになっている。また，同施行令第１９条では戸籍にある者が消除されたときは附票からも消除する規定である。さらに，この場合に消除された者が他の市町村に転属したときは附票に記載してある事項を新本籍地の市町村長に通知しなければならない（住民基本台帳法第１９条３項）。

したがって，戸籍の附票事務をコンピュータ化した場合，戸籍システムの異動処理にともない，あるいは原籍地市町村長からの通知により戸籍の附票システムを稼動することとなる。

コンピュータ処理する際の処理の流れは下記のとおりとなる。

① 戸籍システムの異動処理にともなう処理

ア 出生届，婚姻届又は職権等により戸籍の記載を行うため，戸籍システムを使用し，処理を開始する。

イ 入力画面から，出生届等に記載されている項目，職権により記載すべき項目を入力する。

ウ 入力項目を法令等の面からチェックし，異動内容を仮の戸籍データベースに記録する。

エ 戸籍の異動形態によって他に記載がある場合はその内容を仮の戸籍データベースに追記する。

オ 仮の戸籍データベースの内容を再確認し，間違いがなければ戸籍データベースに記録する。

（附票事務システム範囲表）

関連届等	個別事務	オンライン処理	バッチ処理	手作業
戸籍の届による処理	附票の作成	○		
	附票の修正	○		
	附票の消除	○		
	住基法19-3通知の作成・出力		○	△
	住基法19-3不要通知の作成・出力		○	△
	住所照会通知の作成・出力		○	△
住届による処理	附票の修正	○		
基に処理	附票の改製	○		
住よる処理	附票の修正	○		
基る処理	附票の改製	○		
通処理	住基法19-2通知の作成・出力		○	△
知に				
その処理	附票証明書発行	○		
他の	統計事務	○		
	統計表の出力		○	

カ　戸籍の異動内容に則して，附票データベースを作成又は更新する。他の市町村に転属する場合は，法１９条３項通知ファイルを作成する。

キ　戸籍の附票システムを使用し，法１９条３項通知ファイルから住民基本台帳法第１９条３項通知を出力する。

②　原籍地市町村長からの通知による処理

ア　戸籍の附票システムを使用し，処理を開始する。

イ　附票データベースから本籍，氏名，生年月日等をキーに該当する附票を検索する。

ウ　入力画面から，原籍地市町村長からの通知に記載されている項目を入力し，附票データに記録する。

ｲ) 住民記録システムとの関係

現在，戸籍の附票の記載事項のうち，住所及び住所を定めた年月日は，本籍地と住所地が同一である場合には住民票の記載により，また，異なる場合には住所地市町村長からの通知により職権で記載されることになっている。

したがって，戸籍の附票事務をコンピュータ化した場合，住民記録システムの異動処理にともない，あるいは住所地市町村長からの通知により戸籍の附票システムを稼動することとなる。

コンピュータ処理する際の処理の流れは下記のとおりとなる。

① 住民記録システムの異動処理にともなう処理

ア　転入届，転居届又は職権により住民票の記載を行うため，住民記録システムを使用し，処理を開始する。

イ　入力画面から，転入届に記載されている項目，職権により記載すべき項目を入力する。

ウ　入力項目を法令等の面からチェックし，異動内容を住民記録データベースに記録する。

エ　住民記録データベースに記録するデータを基に，住民記録異動ファイルを作成する。

オ　住民記録異動ファイルを基に，戸籍の附票システムを使用し，異動内容を附票データベースに記録する。

② 住所地市町村長からの通知による処理

ア　戸籍の附票システムを使用し，処理を開始する。

イ　附票データベースから本籍，氏名，生年月日等をキーに該当する附票を検索する。

ウ　入力画面から，住所地市町村長からの通知に記載されている項目を入力し，附票データに追記又は更新する。

エ　住所及び住所を定めた年月日以外で通知の内容と戸籍の記載の内容が異なる場合には，住民基本台帳法第１９条２項通知を作成する。

4．〔附票システム〕のシステム化案

(1) 異動処理の方法

ここでは前段までの内容を踏まえ，附票を磁気テープをもって調製する方法，即ち附票事務をシステム化した場合の方法を考える。

今回作成したものは附票事務のシステム化の一実現方法であり，これが唯一の方法ではない。ここでシステム化案を作成した目的は，附票をコンピュータで処理できることを証明するのではなく，システム化において守られるべき事項の洗い出しにある。

ア) 〔附票システム〕の処理形態

戸籍附票事務のシステム形態は，戸籍及び住民基本台帳のシステムとの関連をどう考えるかで異なってくる。

① 戸籍システムとの連動を考えた附票システム

② 住民記録システムとの連動を考えた附票システム

③ 附票を独自で考える附票システム

④ 戸籍システム，住民記録システムの双方との連動を考えた附票システム

上記①～③は2．(2)ア)戸籍附票事務の運用形態で述べた①～③の形態に各々当てはまる。本来であれば全部の処理形態でシステム化案を示すべきであろうが，今回は①～③の形態をすべて程度取り込んでいる④の形態のシステム化案を示すこととする。④だけを示す理由としては他にも次のものが挙げられる。

- 戸籍附票のシステム化は現在法務省が進めている戸籍のシステム化に伴い発生したもので，その戸籍システムとの連動を考えなければならない。
- 戸籍附票は戸籍と住民票の双方の異動により処理が起こるもので，単一の業務との連動では附票システムの性能が半減してしまう。

しかし，④の処理から戸籍システムとの連動を外したものが②の処理であり，住民記録システムとの連動を外したものが①の処理であり，双方との連動を外したものが③の処理であるといえるので，①～③の処理の流れは報告書から読み取ることは可能である。

イ) 他システムとの連動における〔附票システム〕の範囲

附票事務のシステム範囲については3．(1)で述べたが，現行附票事務の中で他のシステムに係わる部分をどのように捕らえるかで〔附票システム〕の構成が変わってくる。構成が変わると言っても，3．(1)のシステムの範囲が変更になるのではなく，3．(1)で示した事務の一部を戸籍システムや住民記録システムに取り込むことにより，〔附票システム〕そのものの事務の数が変わるということである。

しかし，戸籍及び住民基本台帳に関する部分を各々のシステムで取り込めるかどうかは，法務省及び自治省の考えもあるので，本報告書で可能であるとは断言できない。しかしデータの有効利用及び使用者（運用）の使い勝手等，総合的にシステムを考えると，各システムで附票部分を取りみ，また，データを連動させた方がよいので，この考えに基づいたシステム化案を提案する。なお，住民記録システムとの連動は，本籍地と住所地が同一の者しか行えない。

ｳ) 〔附票システム〕の仕様

実際にシステム化する際には種々の仕様書が必要になるが，ここでは最小限必要と思われるものだけを示す。また，今回はシステム化の方途を探るのが目的で，システムそのものの構築を考えるのではないから，内容も抽象化して記載する。

今回示すドキュメントは以下のものである。

Ⅰ　戸籍・附票・住民記録システム関連図
Ⅱ　附票項目一覧
Ⅲ　附票処理パターン
Ⅲ－1　戸籍システムでの附票処理
Ⅲ－1－1　新しい戸籍を編製することによる附票の作成
Ⅲ－1－1－1　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除）
Ⅲ－1－1－2　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除）
Ⅲ－1－1－3　他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
Ⅲ－1－1－4　他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
Ⅲ－1－1－5　帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合
Ⅲ－1－2　既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載
Ⅲ－1－2－1　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除）
Ⅲ－1－2－2　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除）
Ⅲ－1－2－3　他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
Ⅲ－1－2－4　他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
Ⅲ－1－2－5　出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合
Ⅲ－1－3　戸籍の記載を変更したことによる附票の修正（氏名変更，管内転籍等）
Ⅲ－1－4　戸籍から除かれたことによる附票の一部消除
Ⅲ－1－4－1　他の本籍地へ異動する場合
Ⅲ－1－4－2　死亡等で他への異動がない場合
※　同一本籍地への異動はⅢ－1－1－1，Ⅲ－1－2－1で示したとおり
Ⅲ－1－5　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除（管外転籍）
Ⅲ－1－6　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除（管外転籍以外）
Ⅲ－1－6－1　他の本籍地へ異動する場合
Ⅲ－1－6－2　死亡等で他への異動がない場合
※　同一本籍地への異動はⅢ－1－1－2，Ⅲ－1－2－2で示したとおり
Ⅲ－2　住民記録システムでの附票処理
Ⅲ－2－1　住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正
Ⅲ－2－1－1　本籍地に転入してきた場合
Ⅲ－2－1－2　本籍人である住所人が転居等をした場合
Ⅲ－2－2　職権での住民票修正による附票の修正（住所人が本籍人の場合）
Ⅲ－2－3　住民基本台帳法に基づく届出又は職権での住民票修正による附票の修正（附票が改製される場合）
Ⅲ－3　附票システムでの附票処理
Ⅲ－3－1　附票修正処理

Ⅲ－３－１－１　住民基本台帳法の通知による附票の修正
Ⅲ－３－１－２　住民基本台帳法の通知による附票の修正（附票が改製される場合）
Ⅲ－３－２　証明書発行処理（附票・除票・改製原附票（一部証明，全部証明））
Ⅲ－３－３　各種帳票出力処理

ｴ）システム化後の改製について

改製については２．(3)で述べたとおりであるが，システム化においては附票を磁気媒体で管理するため記載欄の満欄が考えにくいこと，附票の汚損及びき損があり得ないことから，厳密にいえば現行の可視台帳上の改製はシステム化において発生しないことになる。

しかし改製がないとすると，附票の証明書ではすべての住所履歴が出力されるため，２．(3)の意見でもあったとおりその是非が問題となってくる。今回はとりあえず現行と同じ方途を残すこととし，住所の履歴回数がある規定回数を越えたら改製と同じ扱いをするということとしている。

一例として，履歴回数が５回を越えたデータが改製の条件に合致すると仮定し，【別紙】にシステム化での改製方法を２つ示す。

①　附票にいる者の１人を改製することで全員が改製となる方法
②　改製の条件にあった者だけを改製する方法

以上のように，システム化でも改製はある得ると考えるべきとは思うが，改製のきっかけをどうするのかは，自治省及び法務省の意見を待たなければならないと考える。

(2)　データ保護と安全対策

7）データ保護と安全対策の概要

当初，コンピュータによる情報処理システムは，コンピュータの四則演算機能，比較機能，記憶機能を利用したバッチ処理システムとして導入されてきた。さらに現在では，通信回線を利用したオンライン処理システムへの移行が進んでいる。

オンライン処理システムでは，データを記憶しておくファイルが集中化・大量化し，災害や故意・過失等の発生により，コンピュータによる情報処理システムが停止すると，行政サービスの停滞等，その影響は非常に大きなものとなる。

そのため，システム開発においては，信頼性の高いデータ保護と安全対策を講ずることが求められている。

①　データ保護と安全対策の必要性

コンピュータによる情報処理システムの停止による影響のほか，データ保護と安全対策を必要とする主な要因は次のとおりである。

ア　集中化，大容量化したデータファイルが壊されると，その再生に多大な時間と経費が必要となる。
イ　通信回線の利用やネットワーク化は，盗聴などの外部から介入されやすくなるため，犯罪や事故の可能性が増大する。

ウ　オンライン処理システムでは，文書決裁等のチェックが行われないまま処理が完結するため，故意による情報操作が容易となる。

エ　オンライン処理システムでは，端末装置が分散配置されるため，その管理が十分に行えなくなる。

オ　オンライン処理システムは，多数のプログラムが組み合わさって稼動しており，システムが巨大かつ複雑になってきている。そのため，設計者等，特定の者しかシステムの維持ができなくなりやすく，障害時の復旧も時間がかかるようになる。

イ）　データ保護対策

データ保護の目的は，データの正確性の確保，データの漏洩・損失・き損・改ざんを防止するとともに，火災や地震等の災害からデータを守ことにある。ここでは，運用管理面とソフトウェアから見たデータ保護対策について整理することとした。

①　運用管理面からのデータ保護対策

ア　入出力情報及び媒体の管理

i）　入力原票の受け渡しでは，受け渡し票により，原票の枚数，相手の氏名等の記入を確認する。

ii）　出力帳票は，配付先，部数等を一覧表にしておくとともに，受け渡しは，受け渡し票による確認のほか，特異な帳票については受領者を指名する。

iii）　定期，あるいは日時が指定された出力帳票が，その指定どおりに出力されないときは，その原因を調査する。

iv）　入出力帳票は，その保存期間を定めるとともに，廃棄するときは，シュレッダーの使用や焼却等の方法により復元できないようにする。

v）　未使用の入出力帳票の保管は，定期的に在庫管理を行い，不正使用や不足による処理の遅延を防止する。

vi）　帳票や磁気テープ等の出力媒体を外部に持ち出すときは，業務担当部門の承認の上，貸出期間等を記入した貸出票を作成し，変換等の管理をする。

vii）　入力原票から出力帳票の利用，廃棄までの一連の手続きは，帳票の流れ図等により，必ず明確にしておく。

イ　データベース（一般常駐ファイルを含む）の管理

i）　特定のパスワードまたはＩＤカードを登録し，権限のない者が端末装置によるデータベースのデータの操作ができないようにする。

ii）　データベースにどのような情報がどのような状態で保管されているかを，特定の者以外には秘密にしておく。

iii）　暗号等を使用し，データの内容を特定の者以外に理解できないようにする。

iv）　リカバリ対策として，データベースの世代管理や二重管理をしておく必要がある。

ウ　ドキュメント（システム設計者）の管理

i）　記入方法の標準化を図るとともに，管理体制を一元化する。

ii) 外部への持ち出しは，貸出方法等の手続きを明確にする。

iii) システムの変更等によるプログラムの修正が発生したときは，プログラム仕様書の訂正等，ドキュメントの内容を最新の状態にあわせておく。

エ オペレーション（機器操作）の管理

i) オペレータが的確に操作できるように，操作手引書（操作手順・異常時の対処の方法及び報告事項，完了時の報告事項等）を作成する。

ii) オペレータが適切に処理できるように，作業指示書（ジョブ名，処理日，使用ファイル，入出力帳票，手順等）を作成する。

iii) オペレータの教育訓練を行うとともに，職員の健康管理に留意する。

iv) オペレーション作業の標準化，簡略化を図る。

オ 電子計算機室等の入退室管理

i) 入室の許可を受けない者が入室できなようにする。

ii) 電算担当課職員以外の入室許可者の入退室の管理を行う。

iii) 部外者の入室には，電算担当課職員が必ず立ち会う。

iv) オペレーションは，複数の職員で行う。

v) 夜間等の無人時には，不用な者が入室できないようにする。

② ソフトウェアによるデータ保護対策

運用管理面以外のシステム設計時に，データ保護のチェックをソフトウェア（プログラム）で行う方法を紹介する。

ア オペレーティングシステム

i) 管理プログラムのデータ保全機能により，あるプログラムが他のプログラムに干渉したり，変更したりできないようにする。

ii) パスワードの設定時に更新不能のパスワードを付加して，情報の改ざんを防止する。

iii) データベース等のファイルにアクセスしたときに記録するロギング機能を使用し，問題が生じたときの解決の手がかりを確保する。

iv) 管理プログラム（オンライン制御，システム制御，保全管理，運用管理，データ管理等）の機能を有効に活用する。

イ プログラミング

プログラム上の障害としては，プログラミングの誤修正，本番データの破壊，不注意によるミス等がある。この対策として，構造化プログラミング（モジュール化）の採用，トップダウンプログラミングの採用等が挙げられる。

ウ システムの稼動テスト

プログラミングのミスや誤データの混入等によるデータの破壊を防止するには，十分なテスト計画やテスティング（システムの運用テスト）が必要である。

エ システムの保守

稼動後にシステムの修正や変更があったときは，ドキュメントの内容を最新の状態に合わせておくとともに，十分にシステムの運用テストを行う必要がある。

ｳ) 安全対策実施上の留意点

① 安全目標の明確化

コンピュータによる情報処理システムを取り巻く危険を防止する，絶対かつ確実な方策はあり得ないといえる。そのため，障害の発生に伴う損失や許容できるダウン対策などを，量的に表示した目標安全，あるいは，最低維持すべき機能やデータ，プログラムなどを，定期的に記述した目標安全度を設定し，安全対策を講ずることが求められている。

② 重点的な安全対策の実施

安全対策は，多くの費用や手数などを必要とする。しかし，いかなる危険によって，どの程度の損失を被るかを分析し，必要最小限の対策は講じなければならない。それには，滅多に生じない大きな災害はもちろん，日常生じやすい小さな事故やミス，エラー等についても十分に考慮する必要がある。

③ 安全対策に対する継続的な関心と努力

安全対策の前提となる危険や対策による効果の予測は，十分に把握されていないうえ，コンピュータ情報処理システムの内外環境も常時変化している。また，従事職員が運用管理を十分に認識していないと，安全対策に対する意識を低下させてしまう。したがって，安全対策の実効を維持していくためには，安全対策を定期的に見直すとともに，必要に応じて改善していく必要がある。

④ 組織的な安全対策の確立

安全対策は，様々な手段を組み合わせて初めて実効あるものとなる。それには，対策に投じる予算措置，関係法規の整備など，組織をあげての対策が必要となる。従事職員のデータ保護や重要性に対する自覚や認識をはじめ，管理者の積極的な指示と理解がなければ，安全対策を確立することは難しくなる。

⑤ 従事職員に対する管理の適正化

いかに精巧にできている装置や設備も，最終的には人間の操作や管理手続きに依存することになる。また，危険が生ずるのも人間の行動に起因するものがほとんどであり，安全対策の実効を確保する上で，従事職員の意識と行動は，大きなウェイトを占めている。したがって，職員の適材適所という人事管理面での配慮とともに，従事職員に対しては設備や装置の操作，運用管理手続きの習熟，倫理観の高揚を図るために，計画的，体系的な教育や研修が必要となる。

⑥ 応急対策及び復旧対策の重要性

地方公共団体の事務処理において，長期にわたるシステムの停止やデータ等の損失は許されない。このため，災害や事故が発生した場合は，その被害を最小限に抑え，業務を速やかに正常に戻す必要があり，応急対策や復旧対策が極めて重

要となる。

エ) 機器の安全対策

機器の安全対策については，通産省の「電子計算システム安全対策」がひとつのチェックの指標として作成されている。この基準は，保護される対象ごとに項目化し，それぞれ対策内容と三段階の基準が列挙されているので，これを参考としてシステムの特性に応じた最も有効な組み合わせ，選択を行う必要がある。

① 機器構成

処理が停止することによって，非常に大きな影響をもたらすときは，早期リカバリーあるいは瞬時に他のシステムが代替できるような構成にする必要がある。

② 設備

ア 共通事項

i) 防災設備の完備及び防災体制を確立する。
ii) 設備の現状を把握する。
iii) 保守点検を実施する。
iv) 保守作業スペースを確保する。

イ 建築物

i) 防水，耐震設備を完備する。
ii) 延焼遮断設備を完備する。
iii) ガラスの飛散を防止する。

ウ 電子計算組織室

i) 避難通路，非常口を設置する。
ii) カーテン等の不燃化物，防火設備を完備する。
iii) 静電気を帯びる物を設置しない。
iv) 侵入の防止設備を完備する。

エ 電子計算組織

i) 転倒防止を図る。

オ データ等の保管室

i) キャビネット等の施錠のできる保管庫に保管する。
ii) 磁界の影響を受けないような措置を講じる。

カ 電源室，空気調整室

i) 消火器を設置する。

キ 電気設備

i) 電子計算機の起動電流を考慮して，電源の容量を考慮する。
ii) 負荷変動の激しい機器との共用を避ける。
iii) 電流の遮断防止設備を完備する。
iv) 無停電装置を完備する。

ク 空気調整設備

i） フィルターや電気集塵機等により，電子計算機室内の空気中に埃や有毒ガスが混入することを防止する。

ii） 本体及び周辺機器の発熱容量を考慮し，余裕を持った機器を設置する。

オ） コンピュータシステム停止時の対策（ダウン対策）

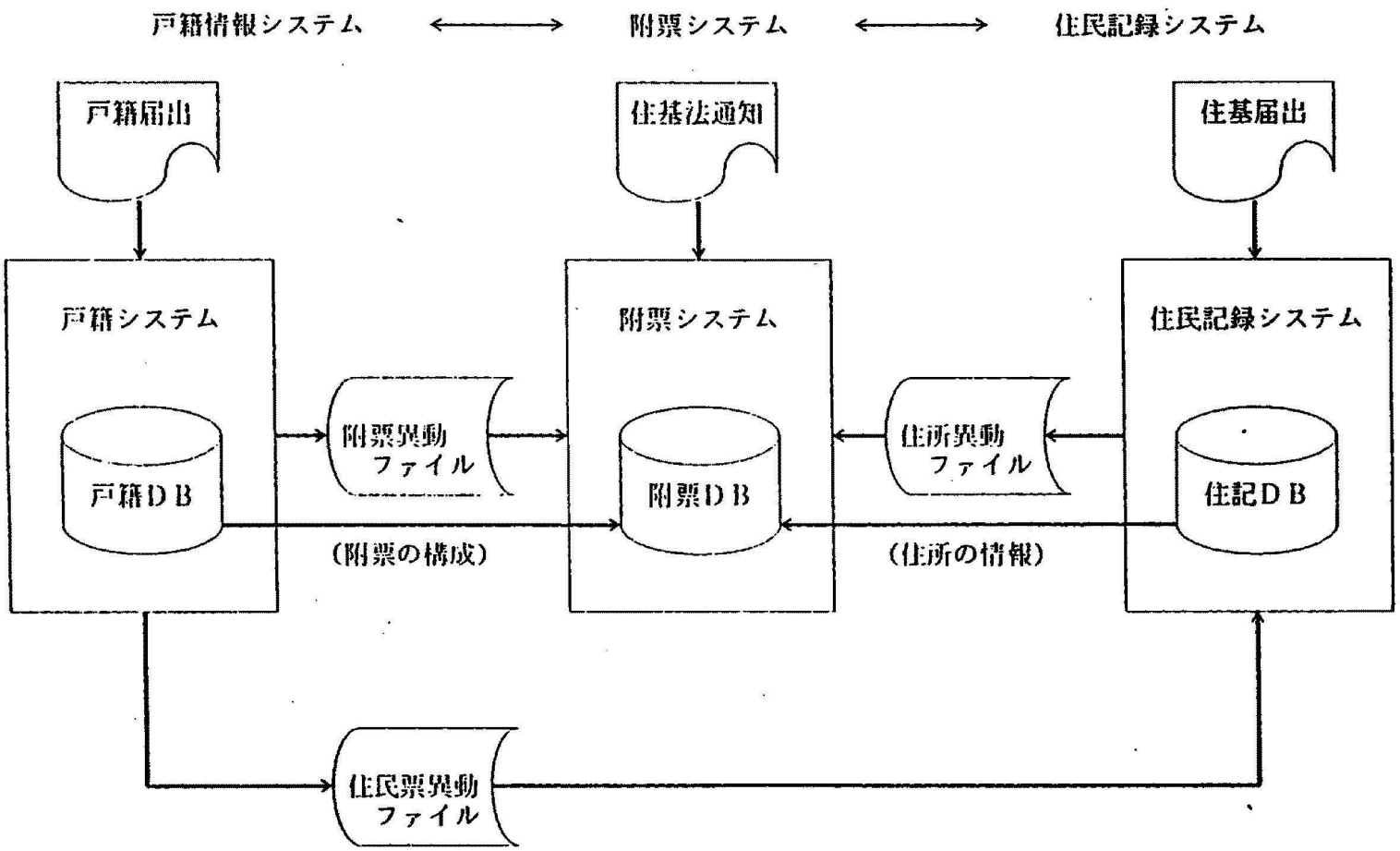
十分に考慮した安全対策を施してもなお，システムのトラブルを完全に避けることはできない。たとえ，可能性は少ないとしても，コンピュータシステムが全く停止してしまうという事態も想定しておかなければならない。このような場合，オンラインサービスを前提とした窓口をはじめとして，組織全体に大きな混乱が生じかねない。そこで，トラブルに応じた段階的な対処策をマニュアル化しておくなど，混乱を最小限に抑えるための工夫が必要となる。

多くのオンライン実施団体では，「ダウン対策マニュアル」，「バックアップ手順書」，等の呼称で，システム停止時の運用方法の取り決めを行っている。それらの中から，特に重要と思われる事項を以下に提示することとする。

- サービス窓口，コンピュータ所管部署の双方に連絡責任者を置き，緊急時の連絡体制を一本化する。なお，専用の連絡手段を確保し，必要なときに即座に連絡がとれるようにしておかなければならないこと。
- トラブル時の説明の方法など，来客に対する対応を決めおくこと。
- トラブル時の分担を決めておくこと。たとえば，業務運用担当（手処理，窓口説明等），復旧担当（連絡，機器操作等），状況記録，報告担当など。
- トラブルに応じた復旧の方法を洗い出しておくこと。

この他に，特にコンピュータ所管部署では，コンピュータメーカー，保守担当業者，電力会社，通信業者（ＮＴＴ）等との連絡網を整備して，早期の原因発見と復旧が行える体制を整えておくことが肝要である。

4．(1) 1	戸籍・附票・住民記録システム関連図	頁　数 1／1



戸籍情報システム：戸籍の処理，附票異動ファイルの作成，住民票異動ファイルの作成
住民記録システム：住民票の処理，住所異動ファイルの作成
附票システム　　：附票の処理，各異動ファイルの取り込み

4．(1) Ⅱ	附票項目一覧	頁　数 1／1

1．附票データベース項目

〔附票管理データ項目〕

No.	項　目　名	項目長	コード化の有無	備　　考
1	附票番号	9（　9）	無	戸籍番号と同一番号を使用する
2	附票作成日	9（　8）	無	附票が作成された日
3	附票作成区分	9（　1）	有	1：戸籍編製での作成　2：改製による作成
4	附票除票日	9（　8）	無	附票が消除された日
5	附票除票区分	9（　1）	有	1：消除　2：転籍消除　3：改製消除
6	本籍	K（50）	無	
7	筆頭者	K（30）	無	

〔附票データ項目〕

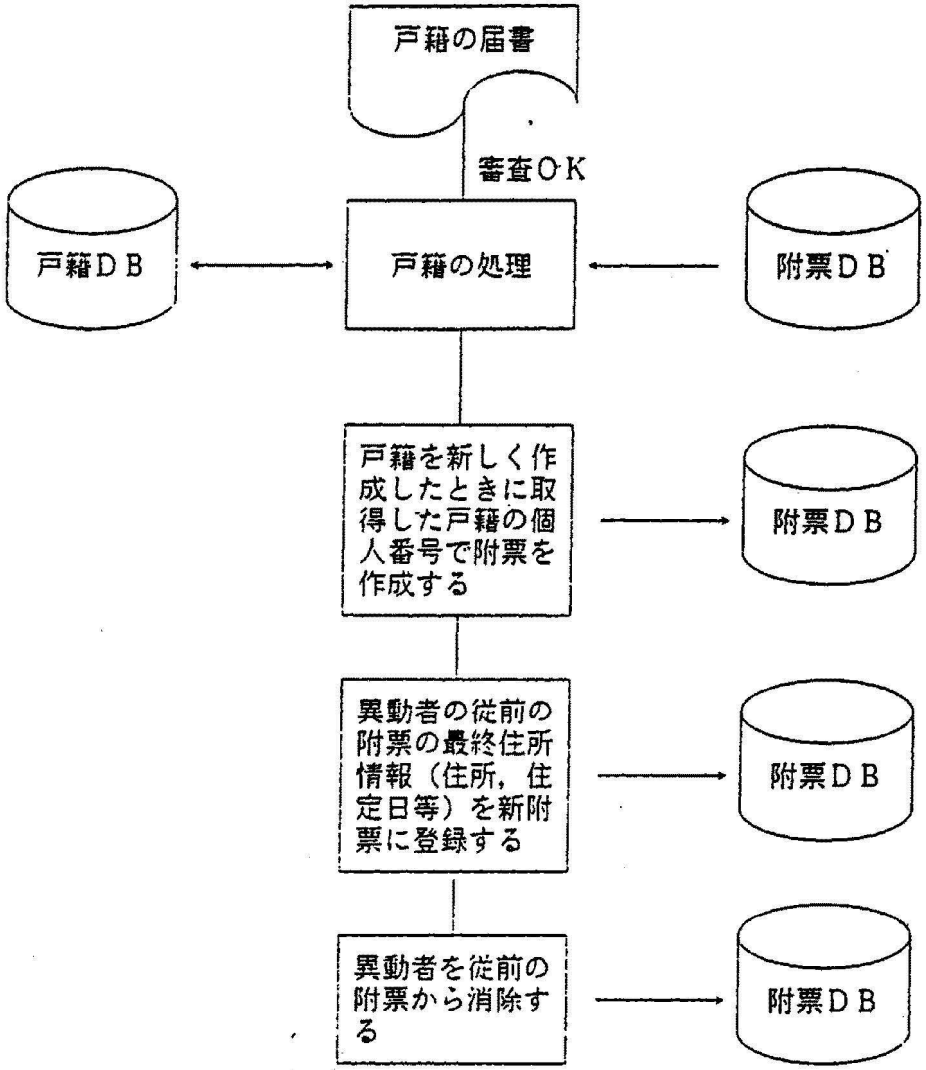
No.	項　目　名	項目長	コード化の有無	備　　考
1	附票番号	9（　9）	無	附票管理データと結び付ける番号
2	戸籍個人番号	9（10）	無	戸籍データベースと結び付ける番号
3	住記個人番号	9（10）	無	住記データベースと結び付ける番号
4	住所履歴番号	9（　2）	無	ＤＢの種別によっては不要項目
5	現除区分	9（　1）	有	1：現住所　2：消除住所
6	作成日	9（　8）	無	住所が記載された日
7	住所	K（50）	無	
8	方書	K（50）	無	
9	住定日	9（　8）	無	
10	消除日	9（　8）	無	住所が消除された日

住民基本台帳法第17条で規定されている項目（本籍，筆頭者，氏名，住所，住所を定めた年月日）以外はシステム化に伴い必要となる項目である。上記項目は附票データとして必要なものを示したのであり，附票ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽに必ず持つということではない（戸籍ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ，住記ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽで持っても構わない）。

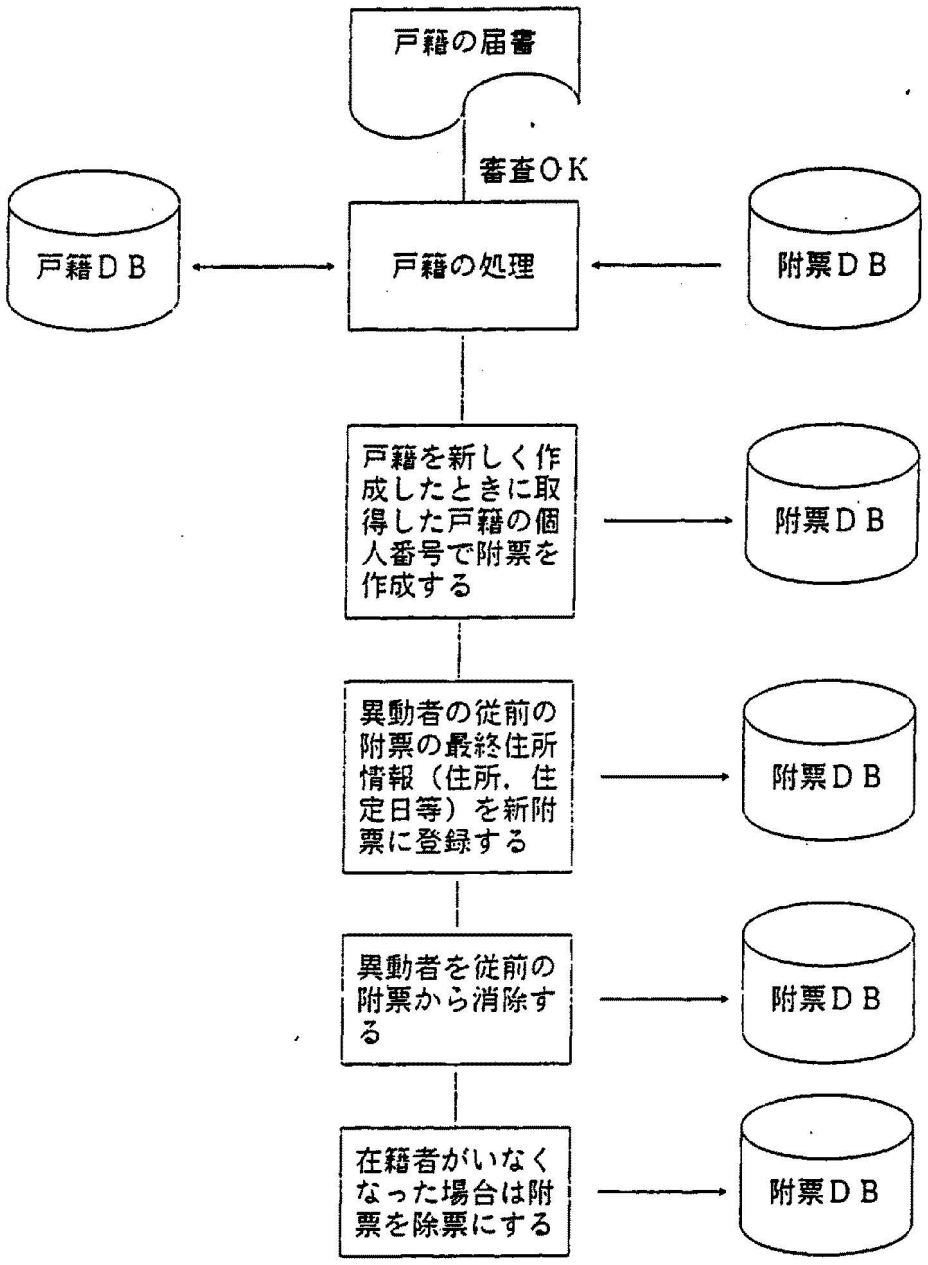
データベースの種別は問わない。

項目長，コード化の有無はシステムの内容により変更可能である。

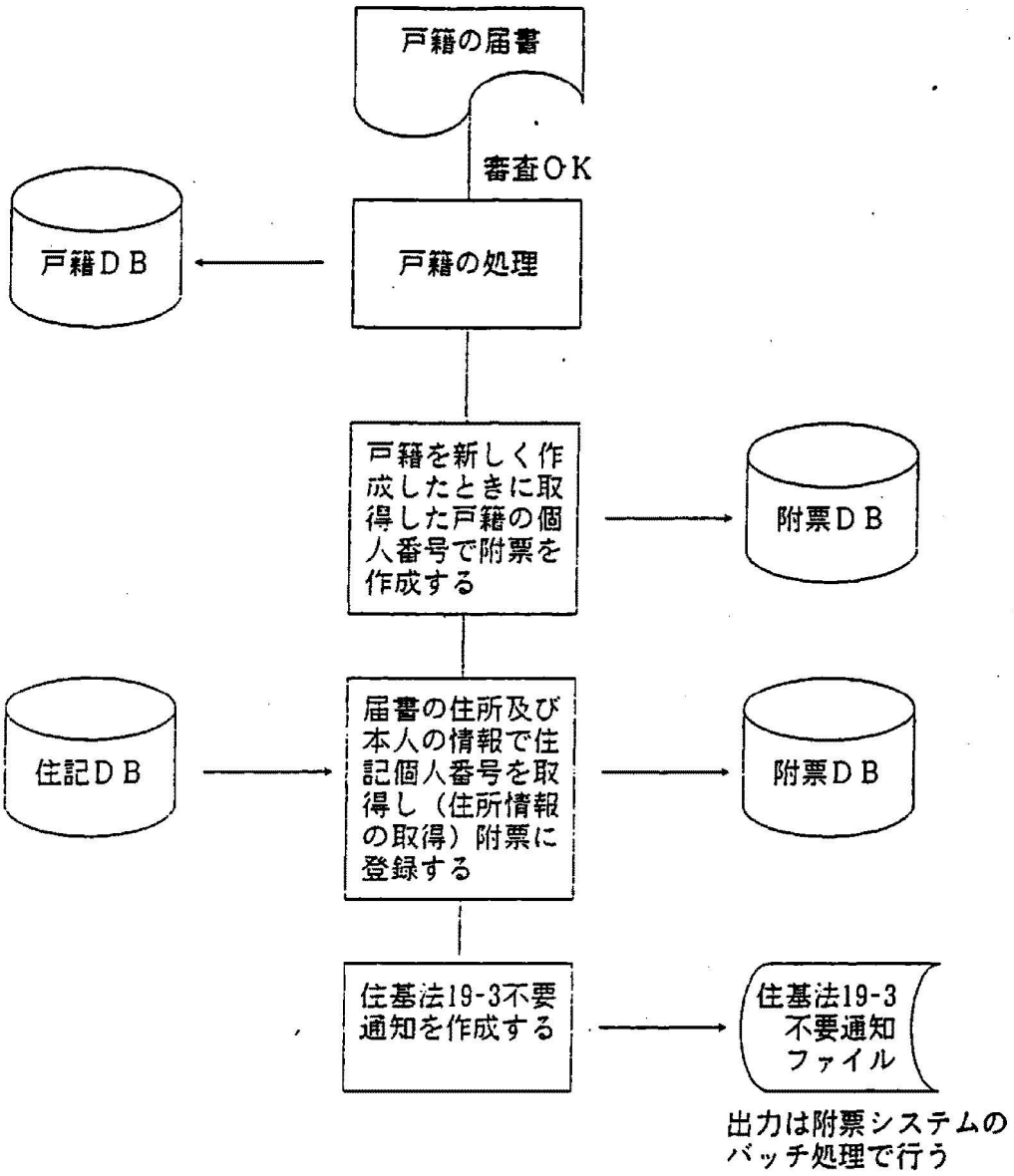
4．(1) Ⅲ－1－1－1	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除） ――	頁　数 1／1



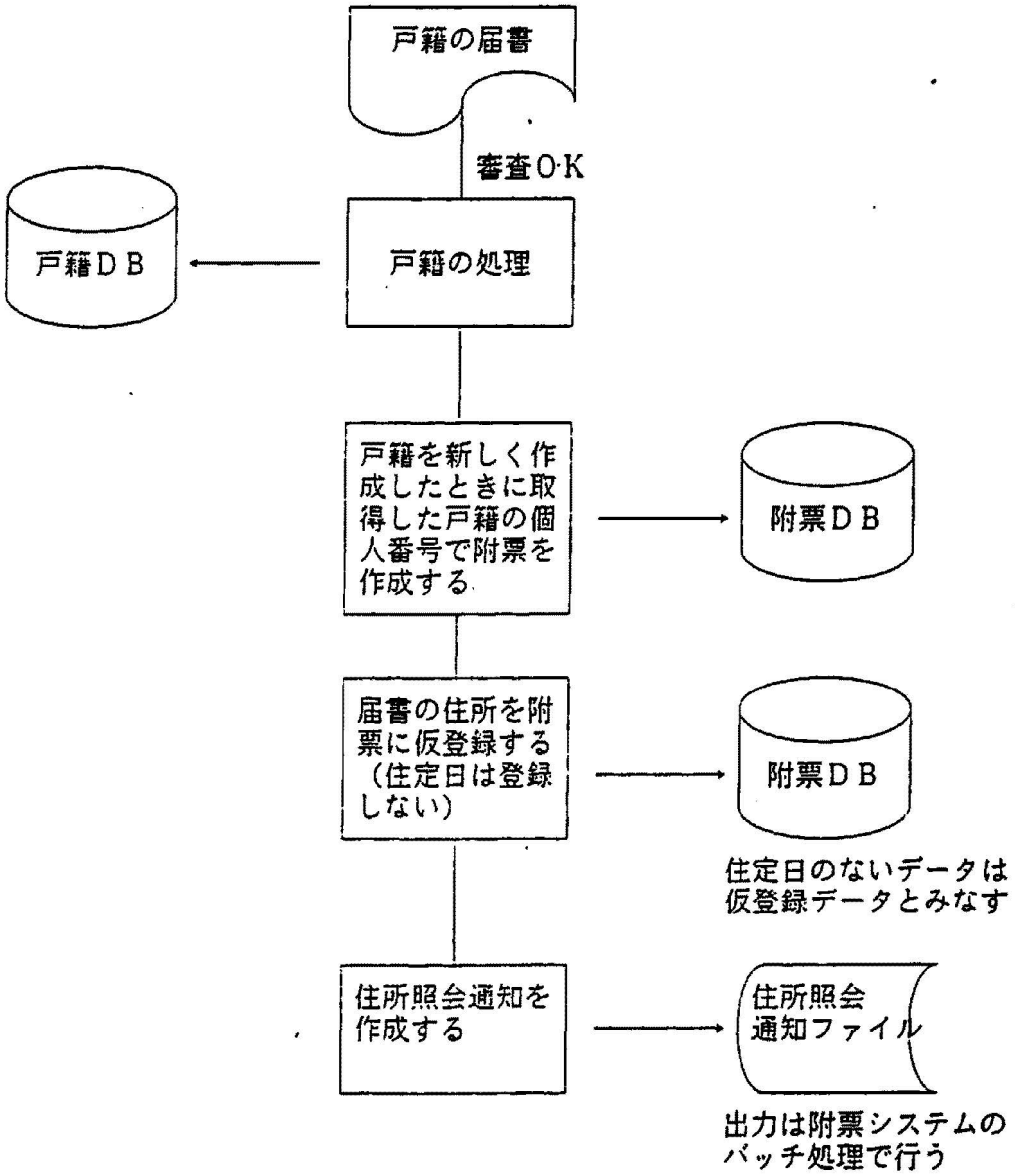
4．(1) Ⅲ－1－1－2	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除） ――	頁　数 1／1



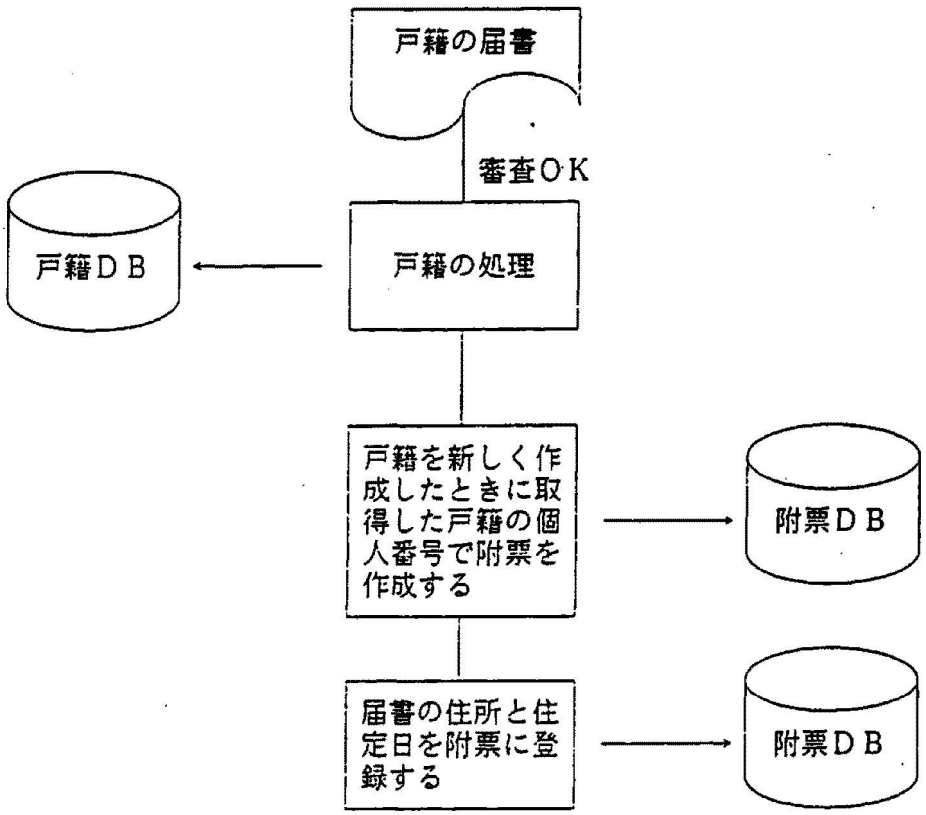
4．(1) Ⅲ－1－1－3	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



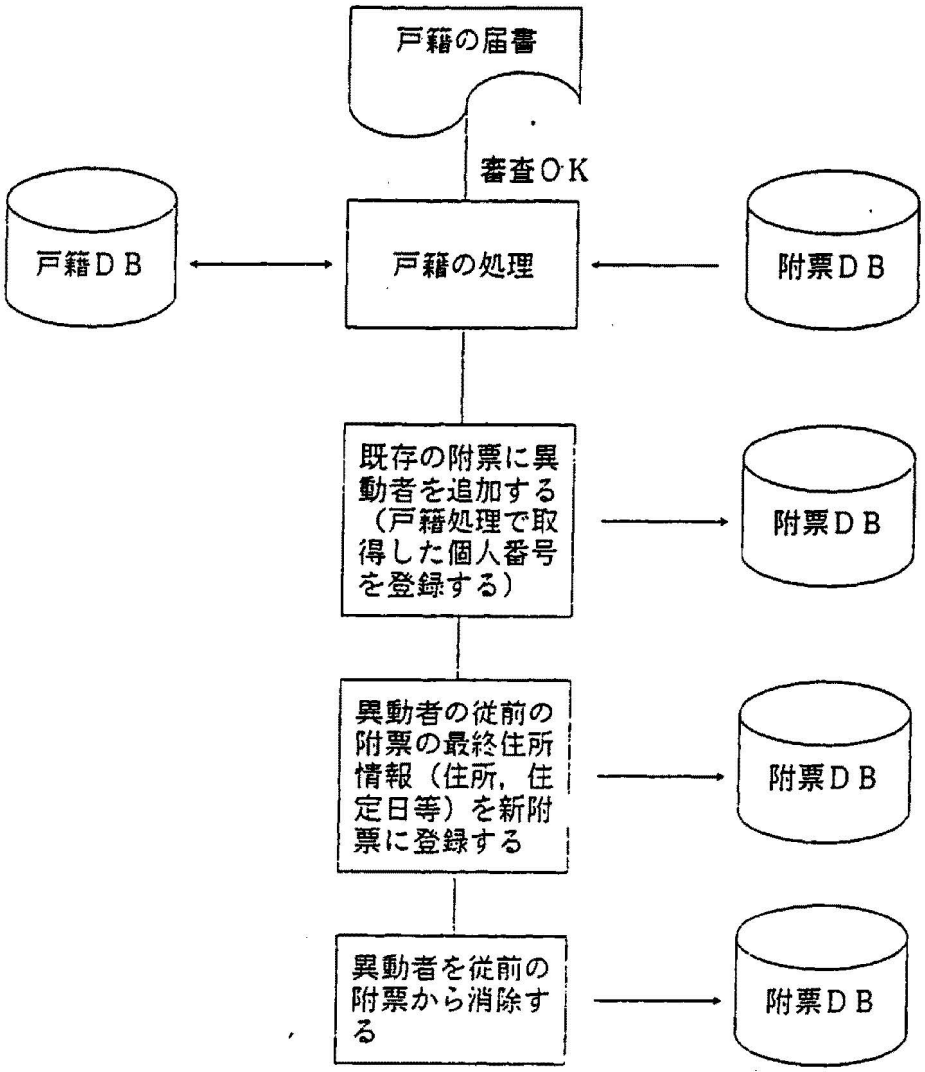
4．(1) Ⅲ－1－1－4	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



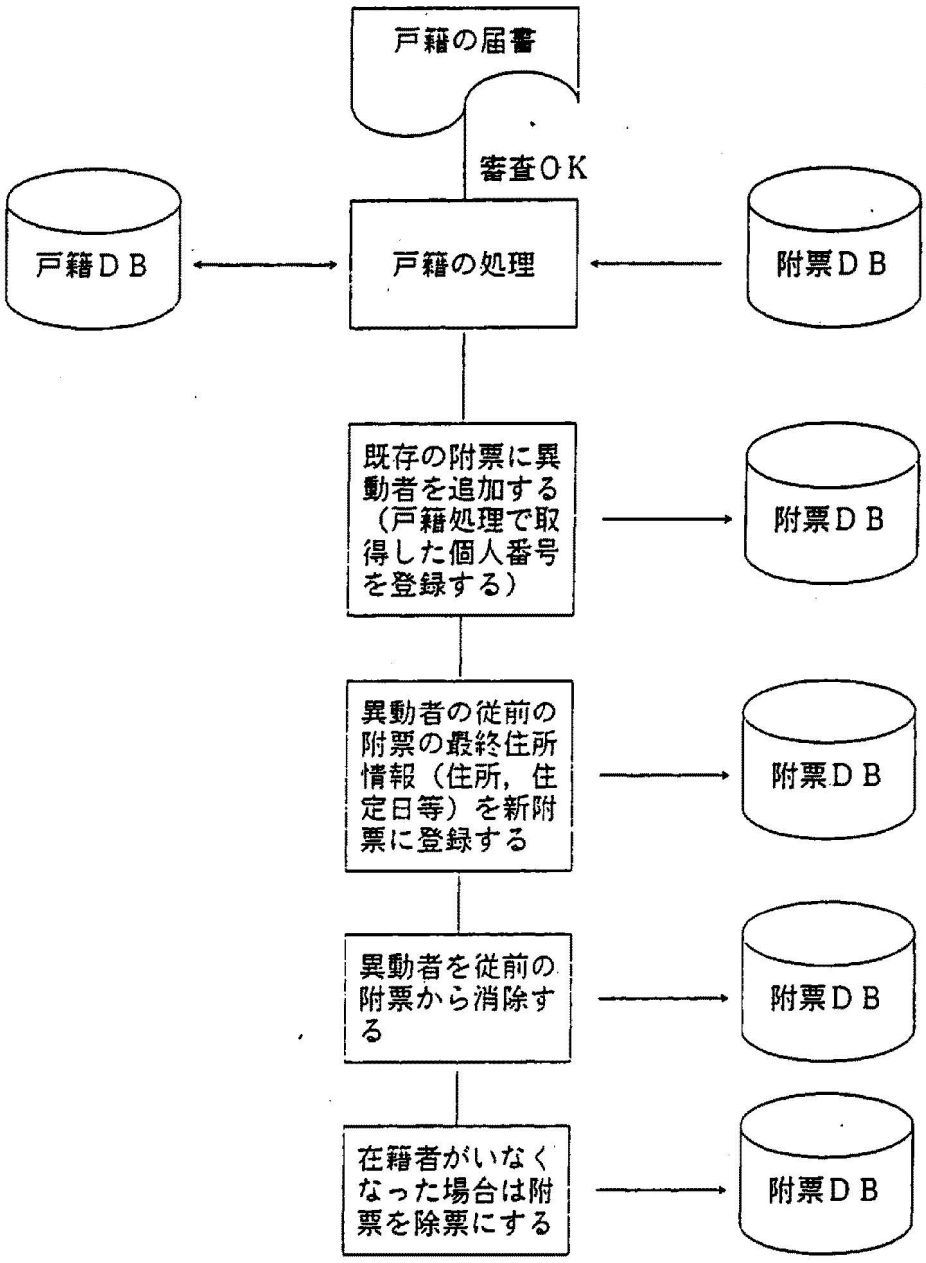
4．(1) Ⅲ－1－1－5	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



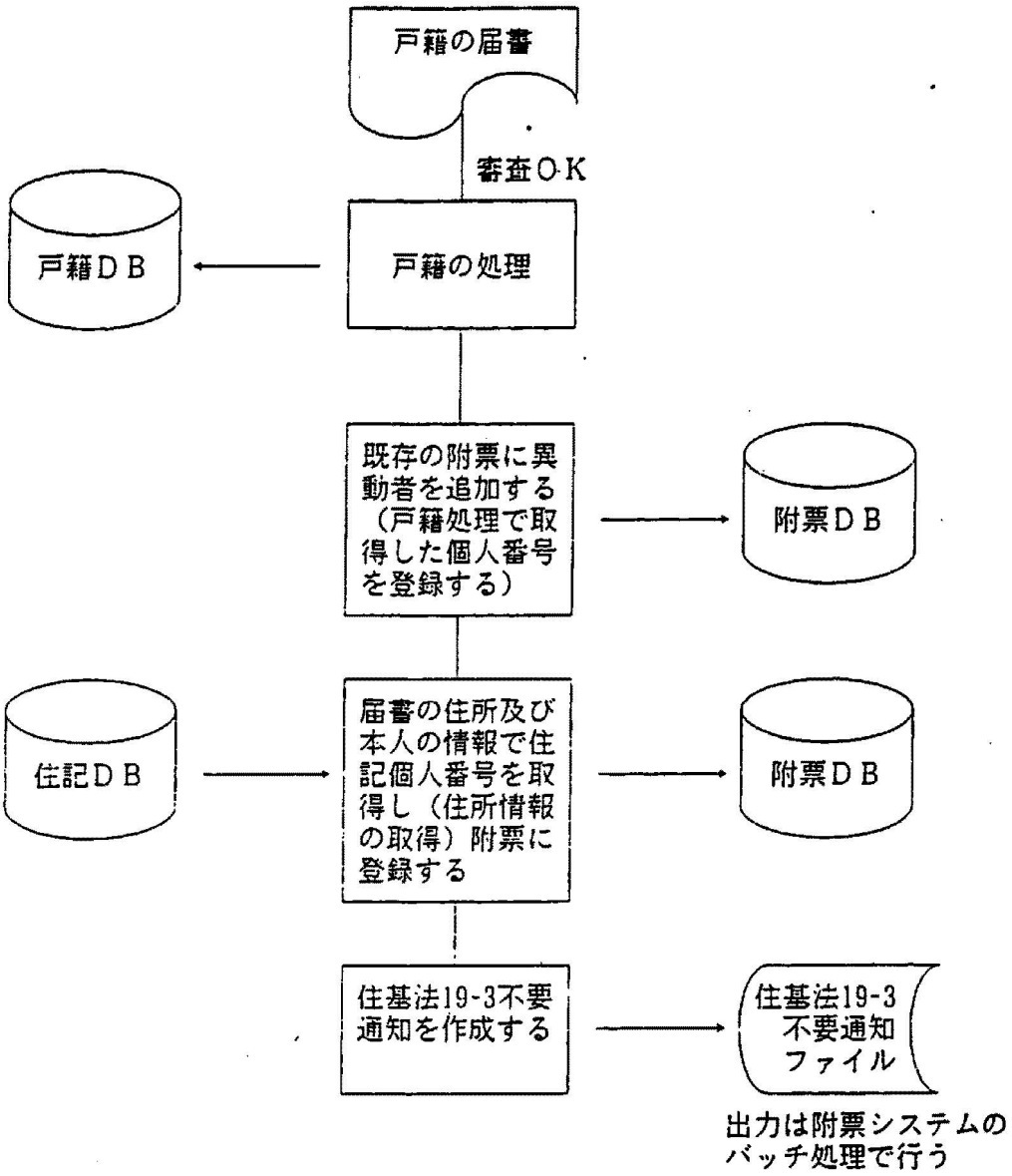
4．(1) Ⅲ－1－2－1	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除） ――	頁　数 1／1



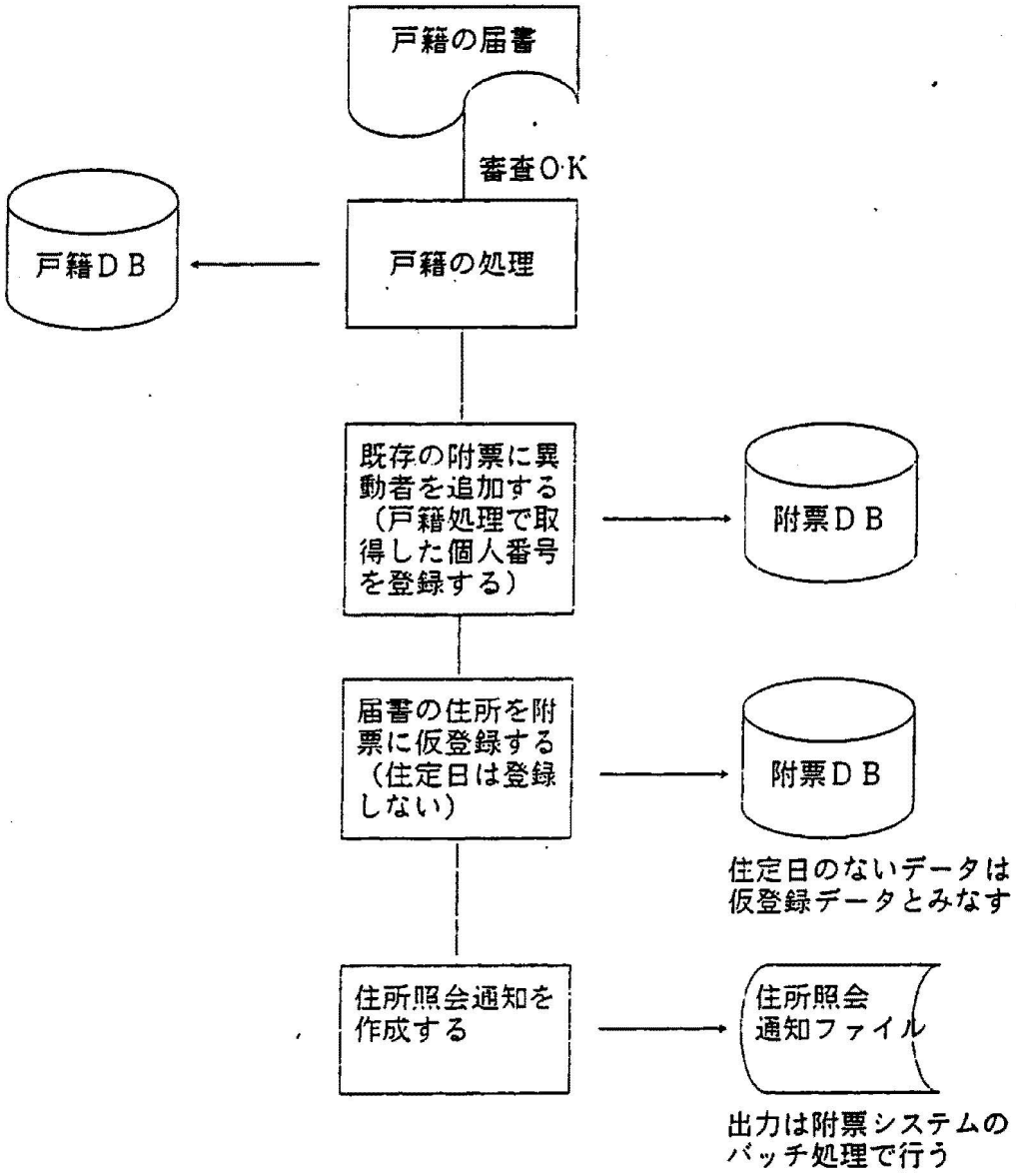
4．(1) Ⅲ－1－2－2	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除） ――	頁　数 1／1



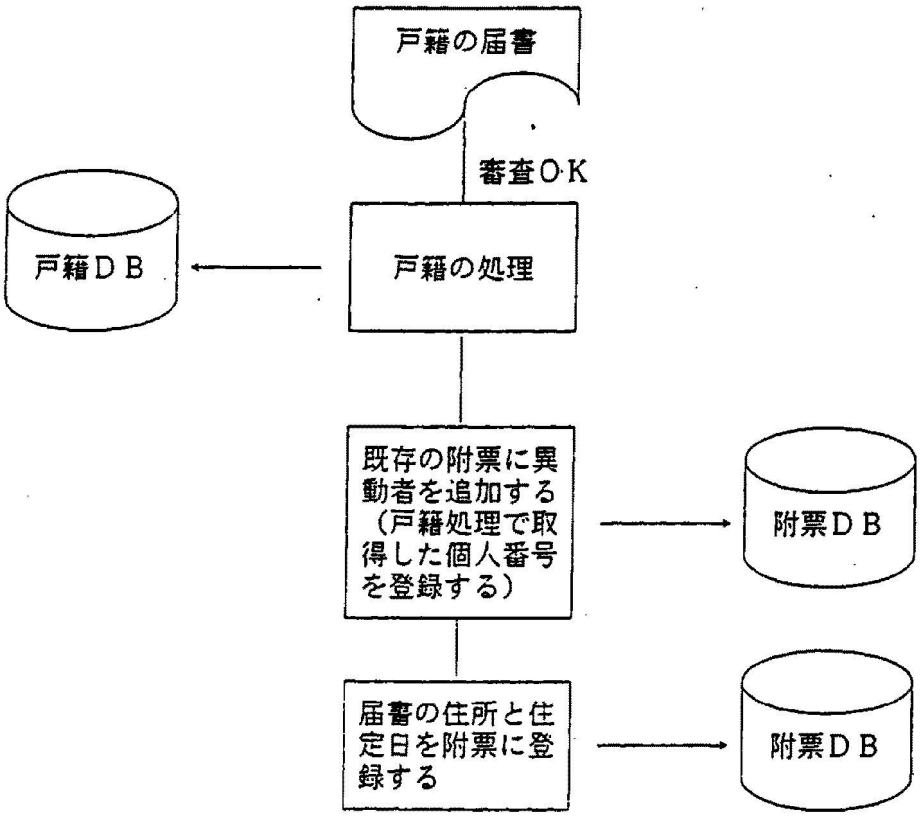
4．(1) Ⅲ－1－2－3	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



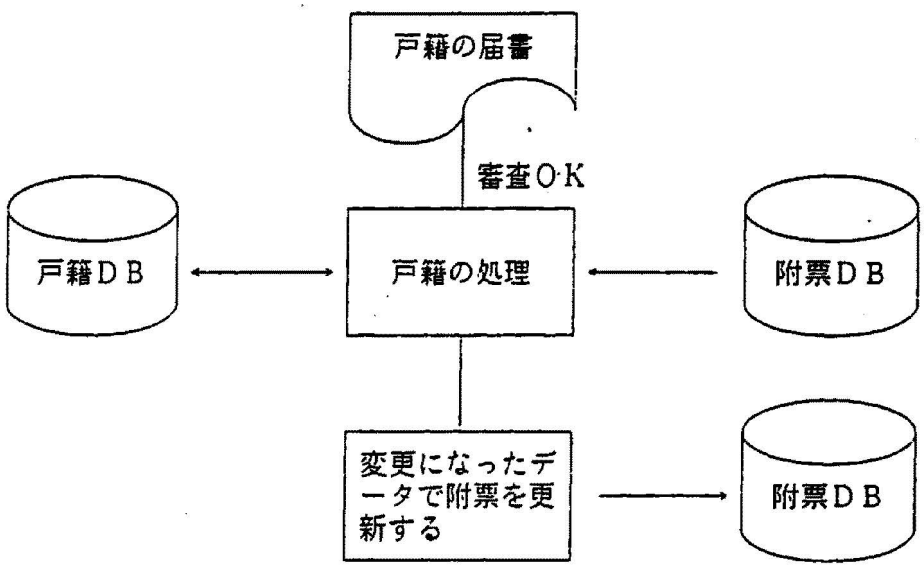
4．(1) Ⅲ－1－2－4	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



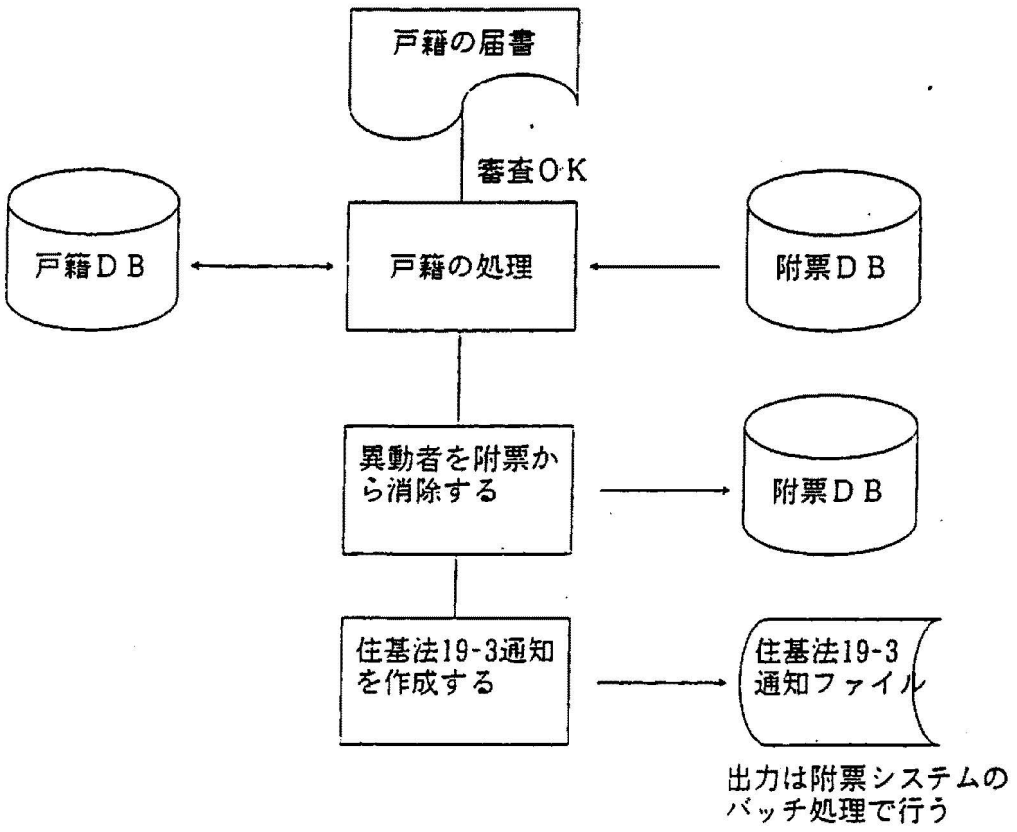
4．(1) Ⅲ－1－2－5	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



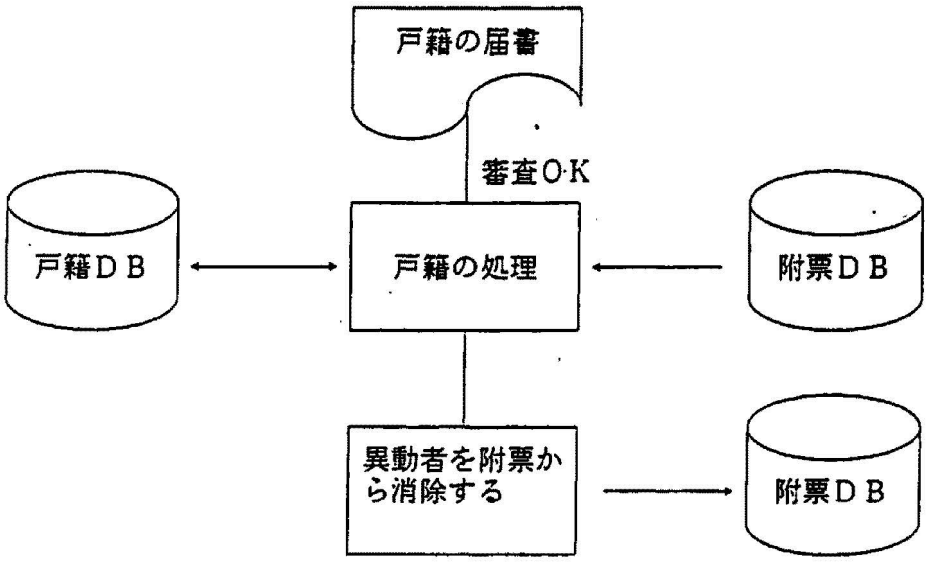
4．(1) Ⅲ－1－3	戸籍の記載を変更したことによる附票の修正 ―― 氏名変更，管内転籍等 ――	頁　数 1／1



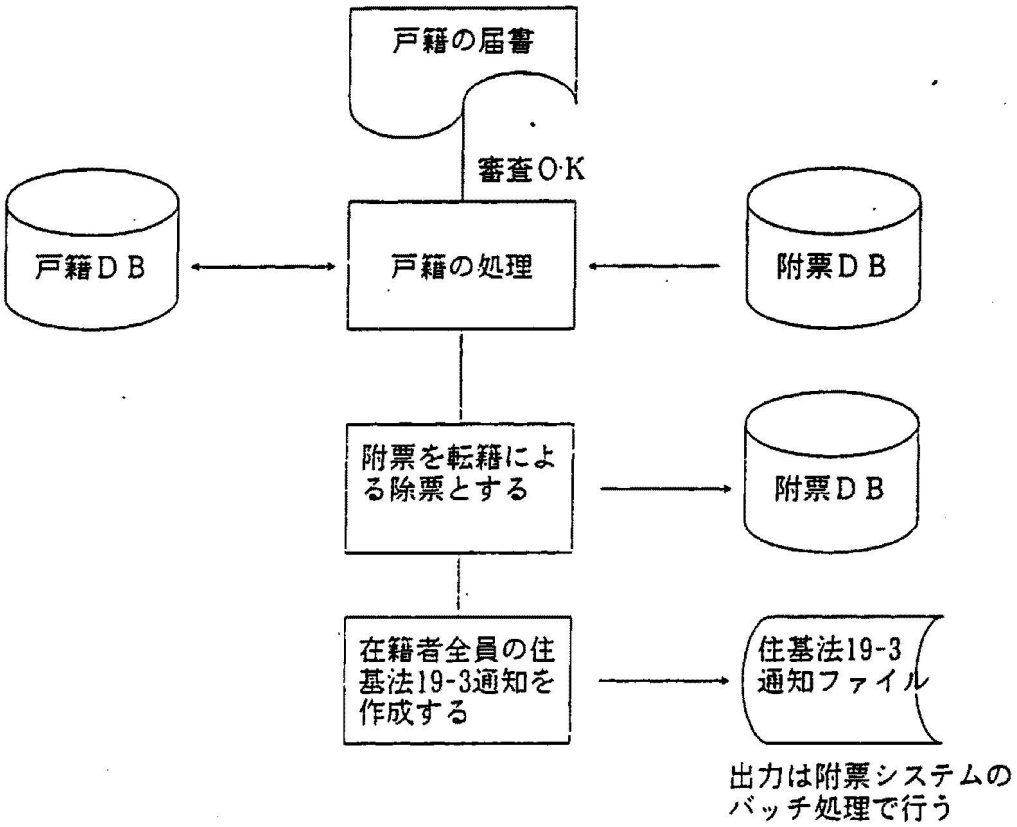
4．(1) Ⅲ－1－4－1	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 他の本籍地へ異動する場合 ――	頁　数 1／1



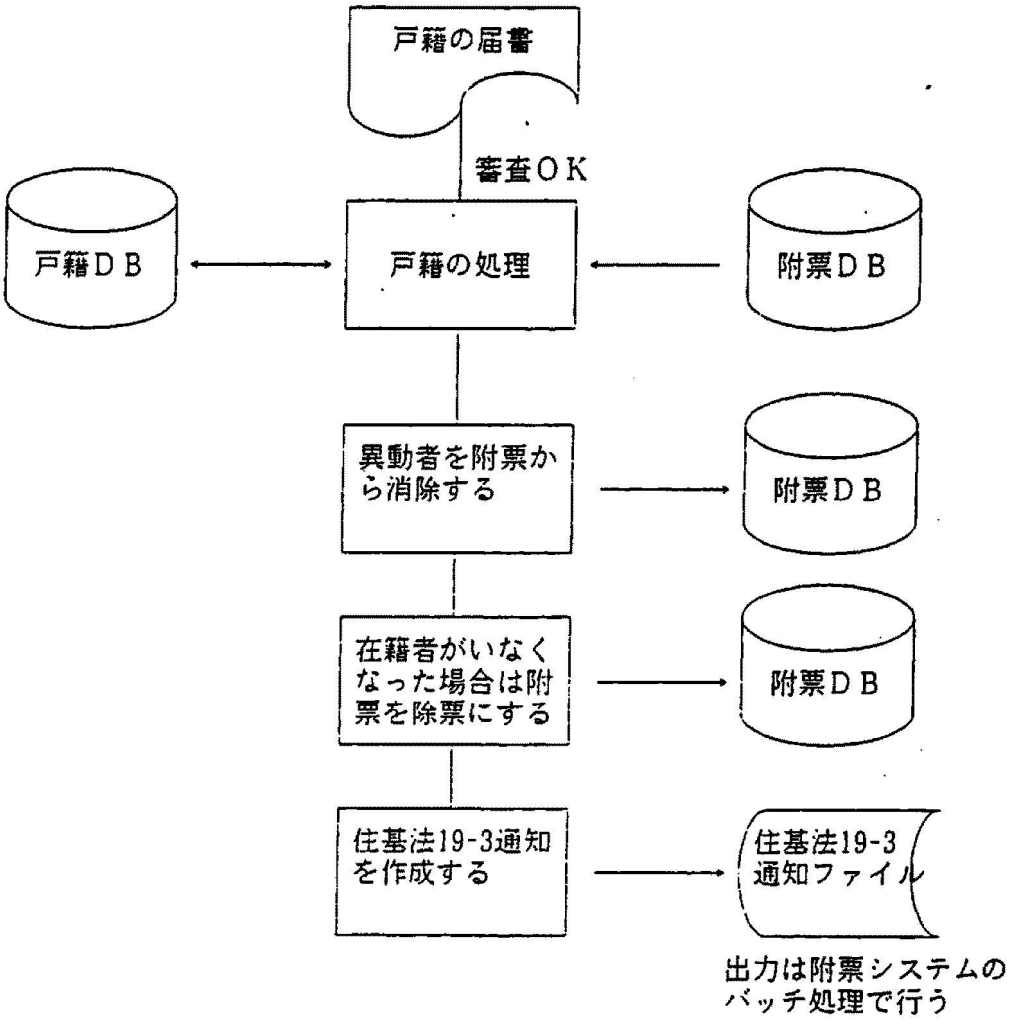
4．(1) Ⅲ－1－4－2	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 死亡等で他への異動がない場合 ――	頁　数 1／1



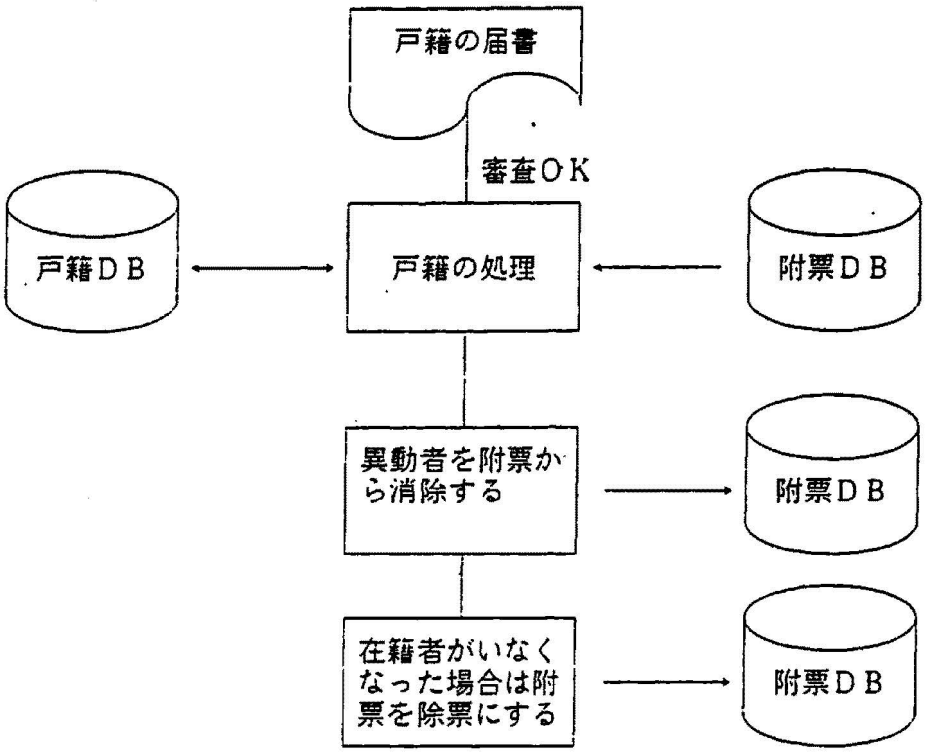
4．(1) Ⅲ－1－5	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 管外転籍 ――	頁　数 1／1



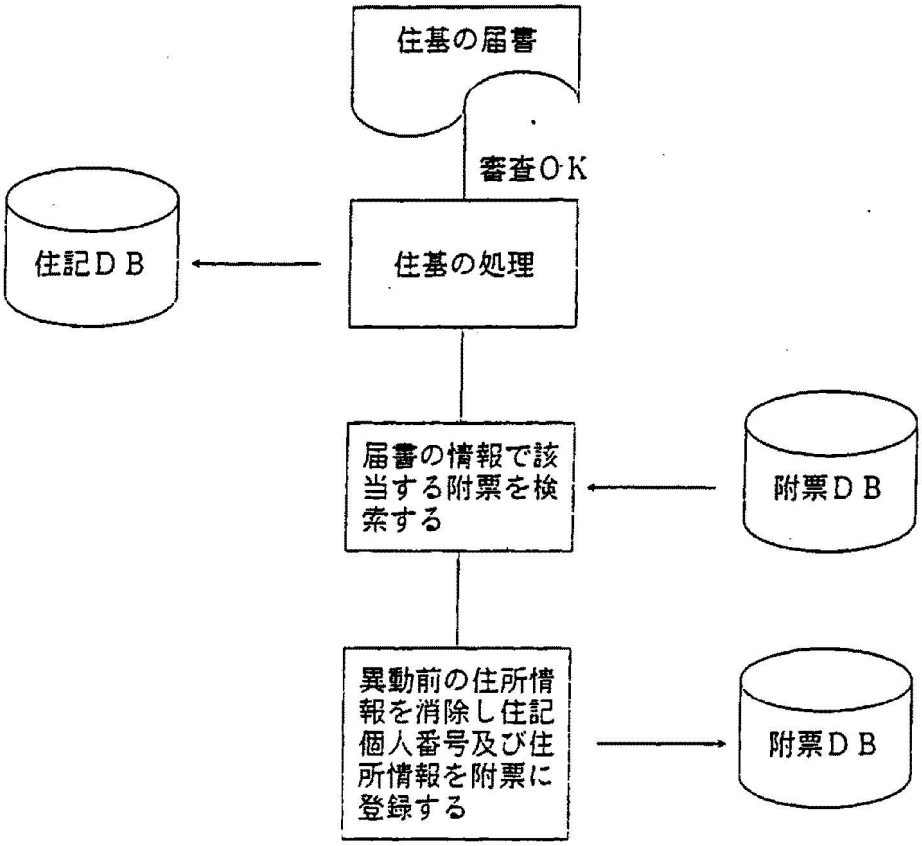
4．(1) Ⅲ－1－6－1	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 他の本籍地へ異動する場合 ――	頁　数 1／1



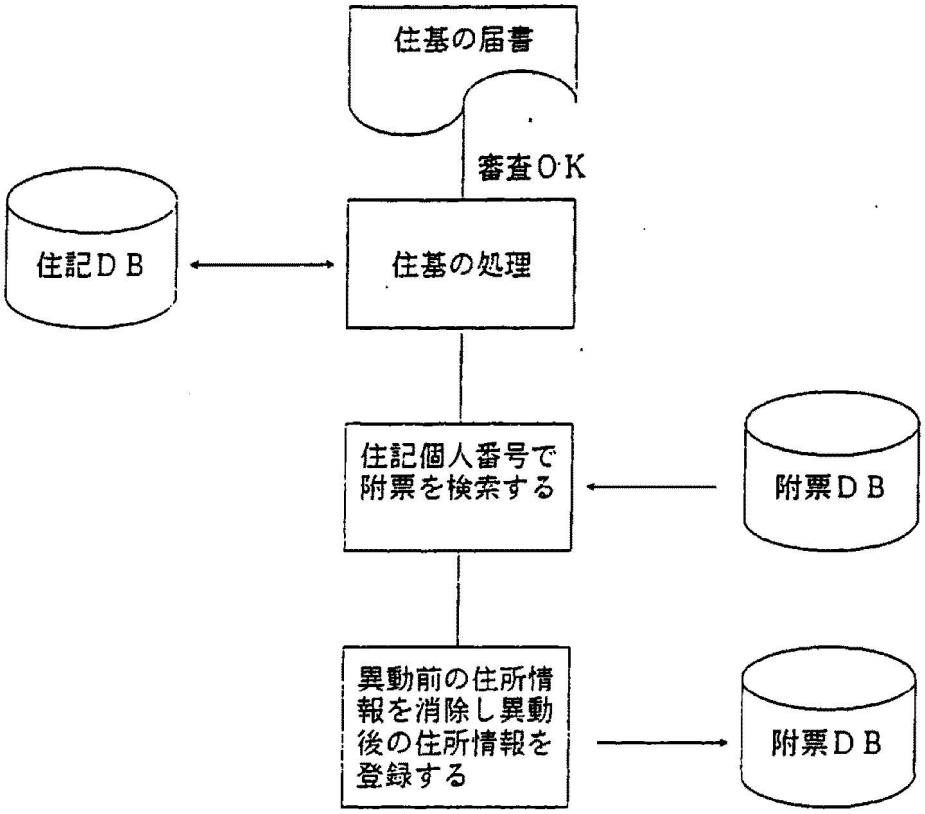
4．(1) Ⅲ－1－6－2	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 死亡等で他への異動がない場合 ――	頁　数 1／1



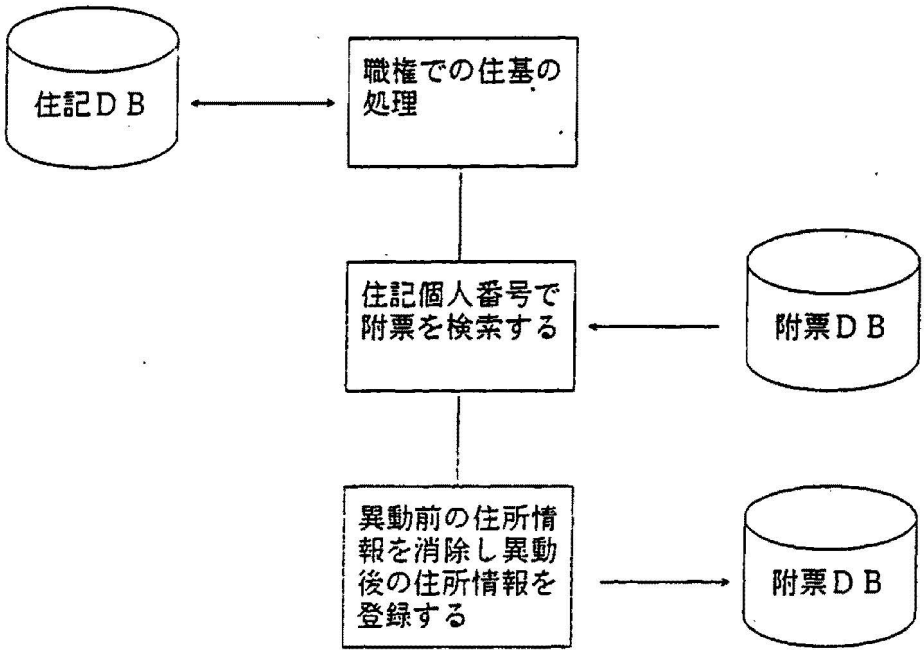
4．(1) Ⅲ－2－1－1	住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正 ―― 本籍地に転入してきた場合 ――	頁　数 1／1



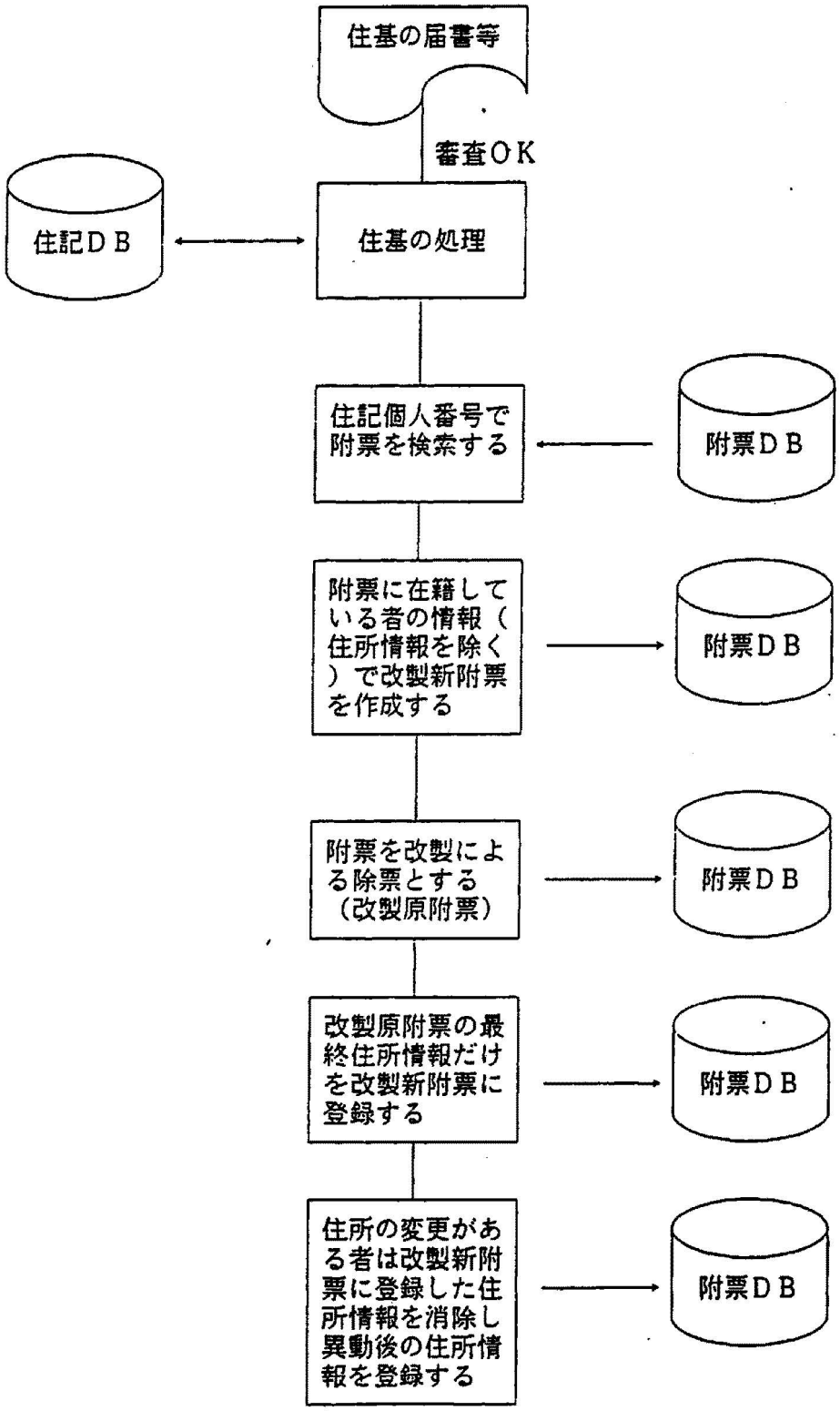
4．(1) Ⅲ－2－1－2	住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正 ―― 本籍人である住所人が転居等をした場合 ――	頁　数 1／1



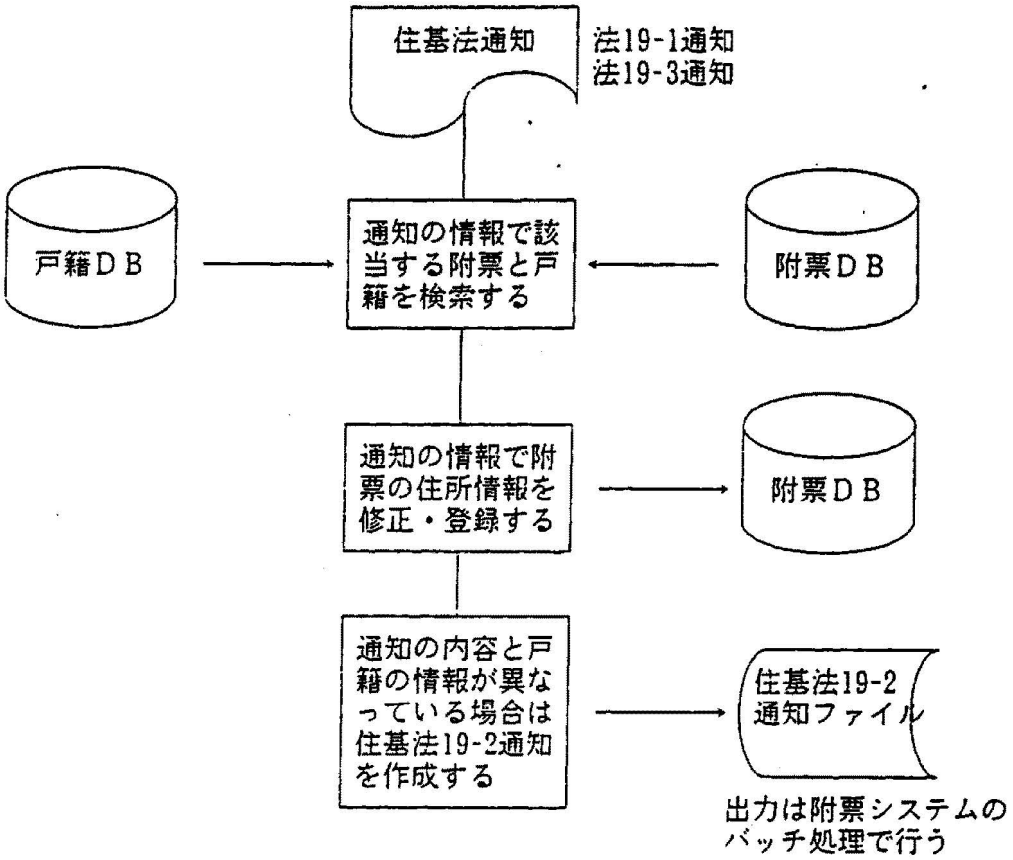
4．(1) Ⅲ－2－2	職権での住民票修正による附票の修正 ―― 住所人が本籍人の場合 ――	頁　数 1／1



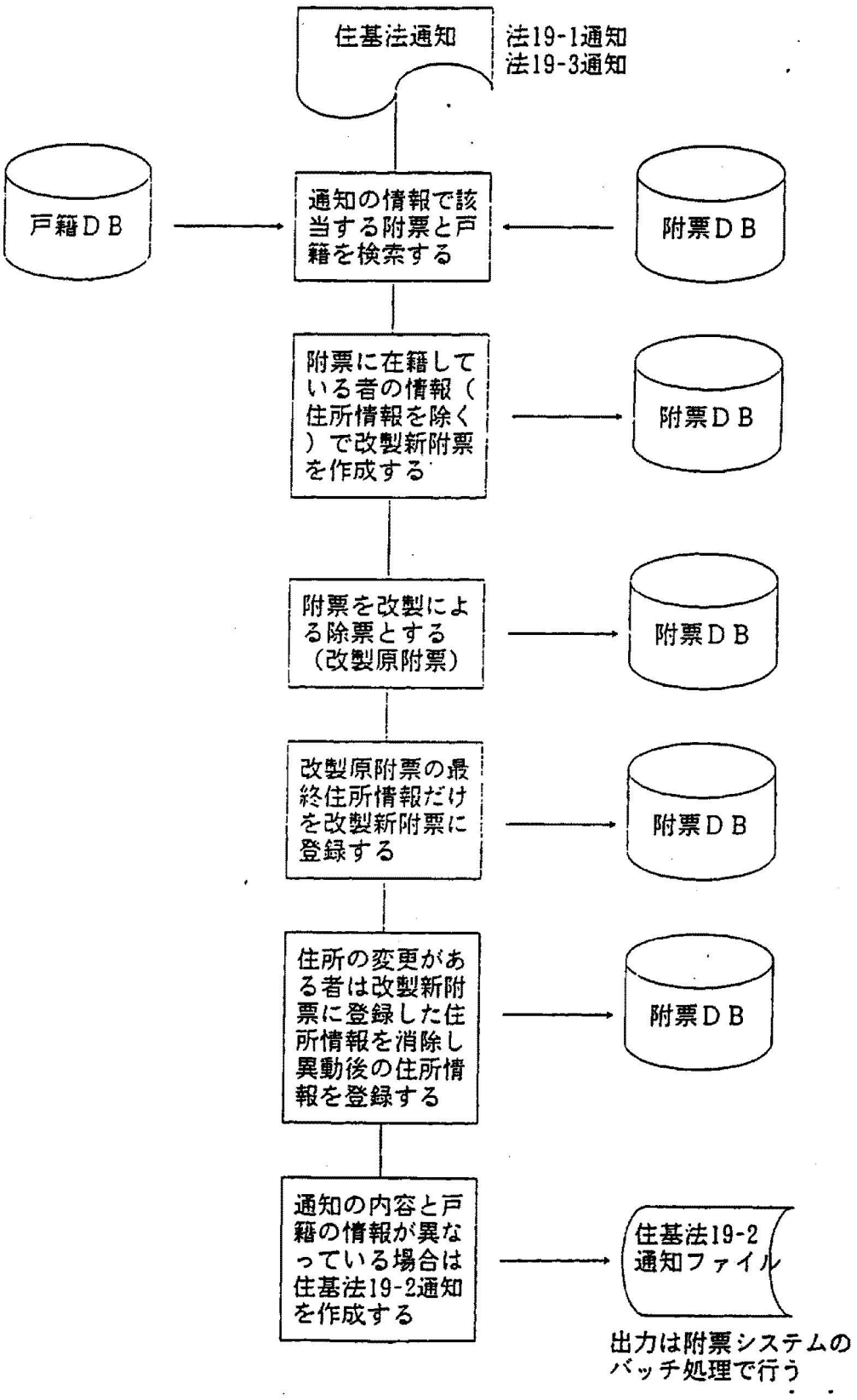
4．(1) Ⅲ－2－3	住民基本台帳法に基づく届出又は職権での住民票修正による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1



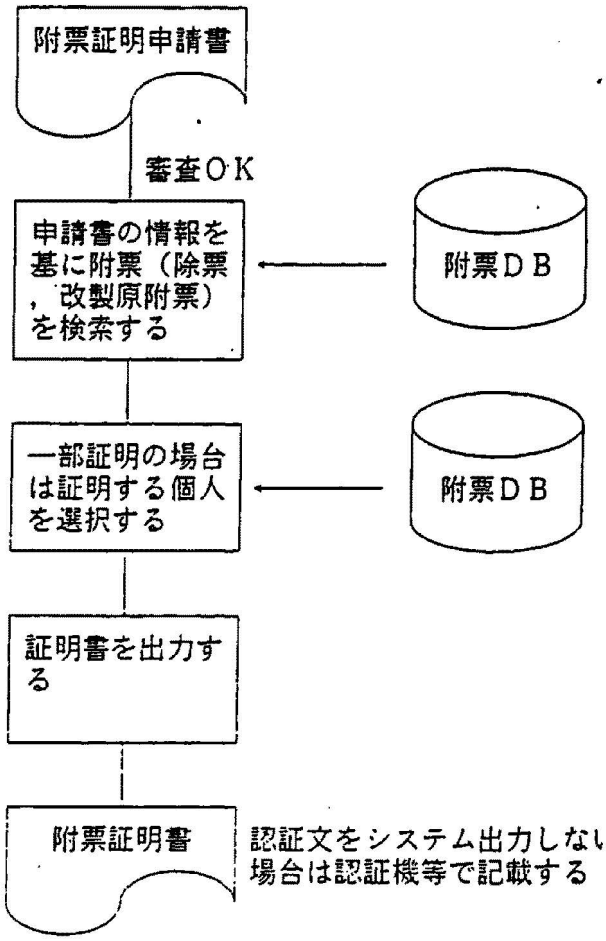
4．(1) Ⅲ－3－1－1	住民基本台帳法の通知による附票の修正	頁　数 1／1



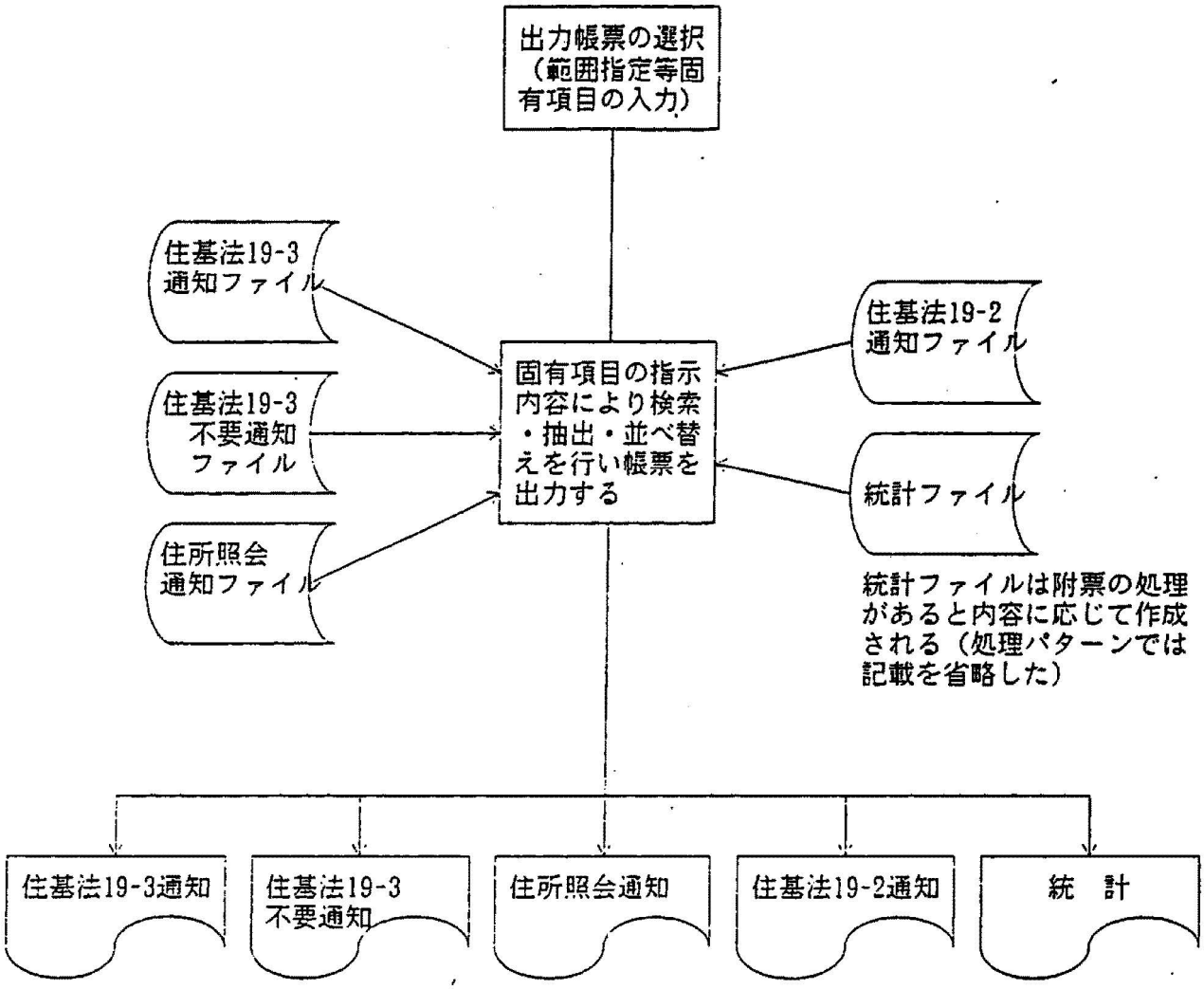
4．(1) Ⅲ－3－1－2	住民基本台帳法の通知による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1



4．(1) Ⅲ－3－2	証明書発行処理 ―― 附票・除票・改製原附票（一部証明，全部証明） ――	頁　数 1／1



4．(1) Ⅲ－3－3	各種帳票出力処理	頁　数 1／1



4．(1) 別　紙	附票の改製方法	頁　数 1／2

① 附票にいる者の１人を改製することで全員が改製となる方法

〔附票ＤＢ：異動前〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	

住所を「住所ＥＥＥ」から「住所ＦＦＦ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	
花子	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	

附票の改製方法

② 改製の条件にあった者だけを改製する方法

〔附票ＤＢ：異動前〕は①と同じ

住所を「住所ＥＥＥ」から「住所ＦＦＦ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	住所ＦＦＦ

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ

さらに住所を「住所ＦＦＦ」から「住所ＧＧＧ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	住所ＧＧＧ
	4	
	5	
花子	1	住所ＦＦＦ
	2	住所ＧＧＧ
	3	
	4	
	5	

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	住所ＦＦＦ

5．まとめ

(1) 検討項目内容

まとめとして，当戸籍附票システム部会で検討された議題とその経緯及び結論を示す。また，議題の中には法令に係わる部分等，自治省・法務省の検討を待たなければ結論が出せない問題もいくつかあったが，それについては当部会での検討経緯だけを示す。

ア) 戸籍の附票をシステム化するメリット

〔結論〕・現在の可視台帳処理では，附票への記載処理が遅い（住民基本台帳法第19条1項通知及び同法第19条3項通知の作成が遅いため）が，システム化により迅速に処理できると考えられる（通知及び記載の双方とも）。当然住民サービスの向上につながる。

・システムで処理するので，現在よりは転記ミスが少なくなると予想される（職員の負担軽減）。

イ) 附票システムの独立性について

〔問題〕附票がシステム化された場合，戸籍，住記のどちらのシステムに属するのか。

〔経緯〕・附票の所有する項目からみれば，戸籍との共通点が多いため，戸籍に属するといえる。

・運用の面からみれば，附票は単独で稼動されるシステムであるので，どのシステムにも属さず，独立であるといえる。

〔結論〕データの持ち方については作成する市町村に一任する（ただし，不適なデータの規制は行う）。

附票システムは独立である。

ウ) 附票の履歴の考え方

〔経緯〕・住民基本台帳法では，住所が変更されたときに前のデータを履歴として残しておくことも，残しておいた場合にその証明書を出すことも規定はしていない。したがって，最新住所のみを現在附票とし，前住所は改製原附票としても構わないと考える。

・附票の履歴の証明を必要とする事務はいくつかある（登記，車検，国外転入等）。

・以前の住所が改製原附票でしか証明できないとすると，住民の負担増につながる（金銭面から）。

・現在は附票の記載欄に余白が無くなったとき，附票の汚損・き損が著しいときに附票の改製が認められるが，システム化ではこの考えでの改製は無くなると予想される。システム化では附票の履歴を無限に持つのだろうか。

〔結論〕種々の事務との関連上，附票の履歴を無くすのは問題がある。
システム化でも，現在の改製の考えを踏襲する方法を考えるべきではあるが，その内容については自治省，法務省両省で考えていただきたい。
〔報告書での記載〕2．(3) 改製の方法
4．(1)．エ） システム化後の改製について

エ） 附票のセットアップ
〔経緯〕・附票のセットアップは改製と同じとみなし，最新住所だけ移記するとした方がよい（費用が安くあがる，職員の作業軽減にもなる）。
・改製することで可視台帳は改製原附票となり，5年後は廃棄されることにより住所の履歴がなくなる（住民サービスの低下となる）。
・現在も強制改製を行っていることを考えれば，住民サービスの低下になるとは思えない。
〔結論〕この方法についても自治省，法務省両省で考えていただきたい（メリット，デメリットを再度検討する必要がある）。

オ） 附票を作成するときの住記番号の取得について
〔問題〕附票を作成するとき，住所人に関しては住民記録データベースから住記番号を直接取得したい。
〔経緯〕・「行政機関の保有する電子計算機に係る個人情報の保護に関する法律」（個人情報保護法）の第9条1項の条項に引っ掛かるのではないか。
・住記番号は住民基本台帳法で定めた住民票の項目には無いため（システム化により必要となる特別なデータ），取得してよいとの明文化はできない。
・税システム等では住記番号の取得を容認している事例がある。
〔結論〕住民記録システムを主として考え，住民記録システムから附票システムへ住記番号を渡してやるという前提であれば，取得しても構わないと考える。

カ） 誤字・俗字の住基窓口対応
〔問題〕平成2年10月20日法務省民二第5200号通達で，戸籍の異動があったときに誤字・俗字を正字に引き直して構わないとのことである（常に引き直しができるということではない）が，住基の窓口でも引き直して構わないとしてほしい。
〔経緯〕・住基の届出が多い現在では，住基の窓口でこの処理を行わせることにより，誤字・俗字の解消が早まる。ひいては，戸籍コンピュータ化でのセットアップ時の職員の負荷が軽減される。
・住基の窓口では戸籍原本がないため，誤字・俗字が戸籍に記載されている文字同じとの確認がとれない。また，戸籍の一部の処理形態でしか引き直せないので，住基の窓口ではその判断がつかない。

・住所と本籍が同一の市町村にいる者だけを対象にするとか，手続きの方法を考えるなどして，何とか住基窓口でも対応できないものか。

〔結論〕現状では難しいとのことであるが，法務省で再度前向きに考えていただくよう要望する。

キ) 戸籍の附票事務のシステム化の範囲

〔経緯〕・住民基本台帳法第19条２項通知は手書きとすべきである。件数が少なく電算化のメリットも考えにくい。

・附票で必ず必要となる処理と，オプション処理とに切り分けるべきである。

〔結論〕戸籍の附票事務はそれほど多くなく，また，特別煩雑でシステム化に適していない事務は無いと思われるので，一応すべての事務をシステム化範囲とする。

オプションについては市町村に一任されるものでり，本報告書で切り分ける必要はない。

〔報告書での記載〕３．(1) 〔附票システム〕の範囲

6．参考資料

(1) 画面展開図

高野太郎が東京都台東区に転入したことにより，台東区（住所地）から千代田区（本籍地）へ住民基本台帳法第19条１項通知が送付され，それに基づいて附票処理する事例の画面展開図を表す。各画面の展開内容は以下のとおりである。

① 附票メニューから住基法19条１項通知処理を選択する（画面１）。
② 検索画面から該当者検索情報を入力する（画面２）。今回はカナ氏名を検索条件とする。
③ 該当附票一覧が表示されるので，合致する附票を選択する（画面３）。
④ 附票に記載されている者の一覧画面から該当者を選択する（画面４）。
⑤ 該当者の附票情報が表示される。該当者に間違いがないか確認する（画面５）。
⑥ 附票修正画面では現在の住所が旧住所欄に表示される（画面６）。
⑦ 旧住所の消除日と新しい住所の情報を新住所欄に記載する（画面７）。
⑧ 確認すると修正後の附票情報画面が表示される（画面８）。

(2) 帳票仕様

附票システムで作成される帳票仕様を示す。

① 附票の全部証明書
② 附票の一部証明書
③ 附票の除票の全部証明書
④ 改製原附票の全部証明書
⑤ 住民基本台帳法19条２項通知
⑥ 住民基本台帳法19条３項通知

附　票　業　務　メ　ニ　ュ　ー

H 5. 3. 31

1．検　索　処　理

2．住基法１９条１項通知処理

3．住基法１９条３項通知処理

4．修　正　処　理

5．附票の写し発行処理

6．住基法通知発行処理

7．統　計　処　理

業務選択番号 [2]

『業務を選択して下さい』

該　当　附　票　一　覧　　H 5. 3. 31　／

検索						
	カナ氏名	コウノ　タロウ				
	漢字氏名					
	本　　籍					
	筆頭者					
	生年月日		戸籍個人番号		住記個人番号	

No.	本人氏名　／　筆頭者	生年月日	編製日	除票日	改製日
01					
02					
03					
04					
05					
06					

該当番号

『該当者検索を行って下さい』

該　当　附　票　一　覧　　H 5. 3. 31　　1／ 2

検索	カナ氏名	コウノ　タロウ				
	漢字氏名					
	本　　籍					
	筆頭者					
	生年月日		戸籍個人番号		住記個人番号	

No.	本人氏名　／　筆頭者	生年月日	編製日	除票日	改製日
01	河野　太郎	M40. 2. 4	S23. 4. 7	S58. 12. 20	
	河野　弘	東京都千代田区平河町一丁目１５番地			
02	高野　太郎	S35. 9. 17	S25. 5. 15		
	高野　幸雄	東京都千代田区霞が関一丁目１番地			
03	甲野　太郎	S10. 12. 10	S33. 12. 10		S61. 4. 20
	甲野　太郎	東京都千代田区霞が関二丁目１０番地			
04	小宇野　太郎	S40. 8. 15	S37. 6. 10		
	小宇野　稔	東京都千代田区永田町五丁目３２０番地			
05	高野　太郎	S10. 12. 10	S61. 4. 20		
	高野　太郎	東京都千代田区千代田一丁目１番地			
06	河野　太郎	H 1. 1. 11	H 1. 1. 11		
	河野　太郎	東京都千代田区千代田一丁目１番地			

該当番号　2

『該当する附票を選択して下さい』

附　票　構　成　員　一　覧　　H 5. 3. 31　　1/ 1

編製日	H25. 5. 15	除票日		改製日	
本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目 1 番地				
筆頭者	高野　幸雄				
記載者数	7	在籍者数	4	除籍者数	3

No.	本　人　氏　名	生年月日	作成日	除籍日
01	高野　幸雄	S 2. 8. 27	S25. 5. 15	
02	高野　梅子	S 5. 8. 7	S25. 5. 15	
03	高野　太郎	S20. 8. 15	S28. 7. 18	
04	高野　花子	S30. 2. 7	S30. 2. 7	S60. 4. 12
05	高野　良子	S31. 8. 16	S31. 8. 16	S63. 11. 3
06	高野　弘子	S33. 11. 6	S33. 11. 6	H 1. 5. 19
07	高野　次郎	S35. 9. 17	S35. 9. 17	
08				
09				
10				

該当番号　3

『該当する個人を選択して下さい』

個人附票詳細表示　　H 5. 3. 31　　1/ 1

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

No.	住所			
	住定日	作成日	消除日	現除
01	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　千代田マンション２０１２号室			
	昭和 20年 8月 15日	昭和 20年 8月 15日	昭和 54年 4月 8日	除
02	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号　明和荘３号室			
	昭和 54年 4月 2日	昭和 54年 4月 8日	昭和 55年 4月 12日	除
03	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号　コーポ東池袋３０３号室			
	昭和 55年 4月 4日	昭和 55年 4月 12日		現
04				
05				

『確認して下さい』

附　票　修　正　画　面　　H 5. 3. 31

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ　タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

旧情報	
住　所	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号
方　書	コーポ東池袋３０３号室
住定日	S55. 4. 4
作成日	S55. 4. 12
消除日	

新情報	
住　所	
方　書	
住定日	
作成日	

『１９条１項通知の情報を入力して下さい』

附　票　修　正　画　面

H 5. 3. 31

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

旧情報	
住　所	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号
方　書	コーポ東池袋３０３号室
住定日	S55. 4. 4
作成日	S55. 4. 12
消除日	H 5. 3. 31

新情報	
住　所	東京都台東区東上野四丁目１０番
方　書	池の端マンションＡ－５０５号室
住定日	H 5. 3. 27
作成日	H 5. 3. 31

『確認して下さい』

個人附票詳細表示　　H 5. 3. 31　　1/ 1

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

No.	住所			
	住定日	作成日	消除日	現除
01	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　千代田マンション２０１２号室			
	昭和 20年 8月 15日	昭和 20年 8月 15日	昭和 54年 4月 8日	除
02	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号　明和荘３号室			
	昭和 54年 4月 2日	昭和 54年 4月 8日	昭和 55年 4月 12日	除
03	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号　コーポ東池袋３０３号室			
	昭和 55年 4月 4日	昭和 55年 4月 12日	平成 5年 3月 31日	除
04	東京都台東区東上野四丁目１０番　池の端マンションＡ－５０５号室			
	平成 5年 3月 21日	平成 5年 3月 31日		現
05				

『確認して下さい』

附　票　の　全　部　証　明　書

（1の1）　全　部　証　明

編　製　日	昭和５０年８月２０日
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
附票に記載されている者	梅子 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
附票に記載されている者 除余　来番	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５３年７月５日
	以下余白

発行番号００１２３４

この写しは戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

附　票　の　一　部　証　明　書

（1の1）　一　部　証　明

編　製　日	昭和５０年８月２０日
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
	以下余白

発行番号００２５７４

この写しは戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

附　票　の　除　票　の　全　部　証　明　書

除　票	（1の1）	全　部　証　明
編　製　日 消　除　日	昭和５０年８月２０日 平成５年３月３１日	
本　籍 氏　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎	
附票に記載されている者 除　票番	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日	
附票に記載されている者 除　票番	梅子 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日	
附票に記載されている者 除　票番	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５３年７月５日	
	以下余白	

発行番号００３５７９

この写しは戸籍の附票の除票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

改製原附票の全部証明書

改製原附票	（2の1）	全部証明
編製日 改製除票日	昭和４０年８月２０日 平成４年３月２７日	
本籍 氏名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎	
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日 【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年９月２２日 【住　所】新潟県北蒲原郡紫雲時町大字藤塚浜１２８４番地　紫雲アパート４号室 【住定日】昭和５０年１１月１３日 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号 【住定日】昭和４０年８月２０日	
附票に記載されている者	梅子 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日 【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年９月２２日 【住　所】新潟県北蒲原郡紫雲時町大字藤塚浜１２８４番地　紫雲アパート４号室 【住定日】昭和５０年１１月１３日 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号 【住定日】昭和４０年８月２０日	
附票に記載されている者	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日	

発行番号００４３４０

改製原附票の全部証明書

（2の2）　全部証明

	【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日
	【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年１２月１日
附票に記載されている者 除　籍番	花子 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日
	【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５７年３月３日
	以下余白

発行番号００４３４０

この写しは改製原の戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　名　　職印

住民基本台帳法第１９条２項通知

訂正通知書（法第１９条２項通知）

住　　所 世 帯 主	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 河野　義太郎
本　　籍 筆 頭 者	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番地 河野　義太郎
氏　名　１ 生年月日 性　別 続　柄	河野　太郎 昭和５５年１２月１日 男 長男
相違事項	本籍 生年月日（河野　太郎）

上記のとおり相違ありますから通知します。

平成　5年　3月31日

何市区町村長　　氏　　名　　職 印

住民基本台帳法第１９条３項通知

附票転属通知書（法第１９条３項通知）

新本籍	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番地
旧本籍	東京都千代田区平河町一丁目１０番地
筆頭者	河野　義太郎
異動者　1	義太郎
住所	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室
住定日	平成４年１２月３日
異動者　2	梅子
住所	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室
住定日	平成４年１２月３日
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	

上記のとおり通知します。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　名　　職印